# 南傳大藏經總索引

## 第二部

水野弘元著

日本学術振興会発行

# 凡　　　例

1. 既刊の第一部上〜下巻が南傳大藏經70冊に対する全体的索引であり，それは日本訳を項目として出したものであるのに対して，この第二部は，第一部の項目に掲げられているパーリ原語を項目として掲出したものであり，第一部を裏返しの形で，パーリ語のアルファベット順に示した索引である。

1. 従つてこれは南傳大藏經のパーリ語索引とも云うべく，第一部とは密接に連絡関係している。第一部に掲げられている南傳大藏經の巻数頁数等は，第二部では煩をおそれてすべてこれを省略したから，第一部に就いて見られたい。

1. 第二部は一種のパーリ語字典の体裁をなしているが，その訳語はすべて第一部にある南傳の訳語によるものである。従つてその訳語はそのパーリ語の訳を網羅したものではなく，また南傳の訳語が必ずしも適訳，正訳とは限らない。第二部では第一部の出ているそのすべての訳語を掲げているが，特に不適当な訳語と思われるものには，その語の右肩に * を付しておいた。なお第二部には第一部の出ていないパーリ語は全く掲げてないから，この点でも，パーリ字書としては不十分である。

1. 第一部と第二部では，経典，章節等のパーリ原語の語尾は必ずしも一致していないし，またそれはパーリ原典のものとも一致しているとは限らない。原典自身にも誤りや問題のあることもあり，また版（ローマ字版，シャム版等）によつても違うことがあるからである。

1. 書名，経名，章節(篇品)名等においては，第一部を単に裏返しただけでなく，その所属や位置を，パーリ聖典自身の組織の上から簡単に示し，使用者の検索の便を計つた。しかし経典や章節等は，南傳の掲げられているものに限り，南傳に出されていないものは掲げなかつたので，これも完全とは云えない。原典自身が章節や経名を明示しない場合があり，南傳ではこれをうけているからである。従つて南傳で掲げられている章節でも，その所属位置を組織の上から示し難いもの，又は細分にすぎたものは，その所属の説明を略した。

1. 第一部下巻の巻末に付録として，南傳大藏經65巻70冊の総目次を掲げておいたが，第二部でもこれと対応して，裏返した体裁のパーリ聖典自身の総目次を掲げた。ここにはパーリ原語のみを出し，その訳語は一切出さなかつた。また頁数もすべてパーリ原典のみにより，南傳の頁数は示さなかつた。第一部，第二部の両目次は相互に参照さるべきである。

1. 第一部の総目次にあつて，第二部の総目次でこれを除いたものは，界論（Dhātukathā）と發趣論（Paṭṭhāna）との註釋書（DhkA，PA）と，阿育王刻文とである。

1. 第二部の総目次は必ずしも第一部のものの順序に従わなかつたし，目次の内容も両者は全同でない。順序としては，第一部のものは南傳の巻数の順序に従つて掲げているが，第二部ではパーリ蔵経自身の列挙順序に従つた。従つて小部経15篇や論蔵7書では，第一部のものと、その順序が違つている。しかし第二部のものでも，聖典毎に南傳の巻数を示し，また各頁の上欄見出しには，南傳

の巻数を〔1〕,〔6〕,〔11上〕,〔59下〕等として，パーリ内容指示の後にこれを示しているから，これによつて南傳との連絡が知られうるであろう。

1. 総目次における第一部と第二部との章節や経名の掲出にも，多少の相違がある。特に第一部では増支部經（Aṅguttara）の第一集乃至第七集は，単に品名のみを掲げて，その中の経名を一々出さなかつた。これはパーリ原典自身に明示されていないからである。従つてそれらの経名は第一部，第二部の本文にも出ていない。しかし第二部の総目次では，その一々の経名も，各集の後にある攝頌（uddāna）によつて，これを掲げた。これは同じく原典に章節や経名の明示がなされていない律藏（Vinaya）や如是語經（Itivuttaka）等の場合も同様である。また逆に發趣論（Paṭṭhāna）の章節は，第二部の目次では，形式的なものはこれを簡略した場合も多い。

1. 総目次における原典の頁数は，第一部，第二部共に大体同じものに従つた。唯だ第二部ではYamaka（雙論），Milindapañha（彌蘭王問經）はローマ字本とシャム本（タイ本）の両者の頁数を示した。これはローマ字本による参照の便のためである。

1. 総目次で頁数を掲げた依用の原典については，第一部の総目次の凡例にも示した如く，一般にはPTS 出版のローマ字本，及び PTS 以外で定本となつて，PTS で出なかつたローマ字本（Vinaya, Jātaka, Dīpavaṁsa）に従い，その他のもの，すなわち Culla-niddesa（小義釋），Yamaka（雙論，これは前述の如く，PTS 本の頁数も出した），Paṭṭhāna（發趣論），Milindapañha は，シャム字本の頁数を示した。南傳がそれに従つて訳されているからである。

1. この中，Paṭṭhāna は PTS 本もあるが，これは極めて簡略化したもので，シャム本のように具説されておらず，両者の頁数も比較できない程に広略が甚だしいから，PTS 本の頁数は出さなかつた。Cullaniddesa も PTS 本があるが，これは本文を順序通り出したものではないから，その頁数も出せない。

1. Milindapañha はローマ字本とシャム本との間には，文章字句にもかなりの出入があり，その順序や内容にも幾分違つたものがある。また Rhys Davids が SBE 35, 36 に英訳している Milindapañha の原典はセイロン本によつたものであり，これはローマ字本に近いが，全同ではない。これら諸本及びこの一部に相当する漢訳那先比丘經（これにも二巻本と三巻本の2種がある）との，内容の出入前後等の比較に関する詳細は水野弘元：ミリンダ問経類について（駒沢大学研究紀要 17）参照。

1. パーリ原典名の略字は第一部の場合と同じである。これを再録すれば次の如し。
括弧内のゴヂック数字は南傳の巻数を示す。

A=Aṅguttara-nikāya（増支部經典 **17～22下**）

Abhsaṅg=Abhidhammattha-saṅgaha（攝阿毘達磨義論 **65（Ⅱ）**）

Ap=Apadāna（小部 13，譬喩經 **26～27**）

Bv=Buddha-vaṁsa（小部 14，佛種姓經 **41**）

CNd=Culla-Niddesa（小部 11 2，小義釋 **44**）

Cp=Cariyā-piṭaka（小部 15，所行藏經 **41**）

Cv=Cūḷa-vaṁsa（小王統史 61）

D=Dīgha-nikāya（長部經典 6～8）

Dhk=Dhātu-kathā（界論 47）

DhkA=Dhātukathā-atthakathā（界論註）

Dhp=Dhamma-pada（小部 2，法句經 23）

Dhs=Dhamma-saṅgaṇi（法集論 45）

Duka=Duka-paṭṭhāna（順二法發趣 53～54）

Duka-duka=Dukaduka-paṭṭhāna（順二法二法發趣 56）

Duka-tika=Dukatika-paṭṭhāna（順二法三法發趣 55）

Dv=Dīpa-vaṁsa（島王統史 60）

It=Itivuttaka（小部 4，如是語經 23）

J=Jātaka（小部 10，本生經 28～39）

Khp=Khuddaka-pāṭha（小部 1，小誦經 23）

KV=Kathā-vatthu（論事 57～58）

M=Majjhima-nikāya（中部經典 9～11下）

Mil=Milinda-pañha（彌蘭王問經 59上～59下）

MNd=Mahā-Niddesa（小部 11 1，大義釋 42～43）

Mv=Mahā-vaṁsa（大王統史 60）

Nd=Niddesa（小部 11，義釋 42～44）

P=Paṭṭhāna=Mahāpakaraṇa（發趣論 50～56）

PA=Paṭṭhāna-atthakathā（發趣論註）

Pp=Puggala-paññatti（人施設論 47）

Pṭs=Paṭisambhidā-magga（小部 12，無礙解道 40～41）

Pv=Peta-vatthu（小部 7，餓鬼事經 25）

S=Saṁyutta-nikāya（相應部經典 12～16下）

Sn=Sutta-nipāta（小部 5，經集 24）

Thag=Thera-gāthā（小部 8，長老偈經 25）

Thīg=Therī-gāthā（小部 9，長老尼偈經 25）

Tika=Tika-paṭṭhāna（順三法發趣 50～52）

Tika-duka=Tikaduka-paṭṭhāna（順三法二法發趣 55）

Tika-tika=Tikatika-paṭṭhāna（順三法三法發趣 56）

Ud=Udāna（小部 3，自說經 23）

V=Vinaya-piṭaka（律藏 1～5）

VA=Samanta-pāsādikā（一切善見律註序 65（Ⅰ））

Vibh=Vibhaṅga（分別論 46～47）

VM=Visuddhi-magga（清淨道論 62～64）

Vv=Vimāna-vatthu（小部 6, 天宮事經 24）

Y=Yamaka（雙論 48上～49）

なお原典の出版翻訳等については，水野弘元：パーリ語文法、附録（Ⅱ）等参照。

1. また本書に使用されているその他の略字や符号等も，第一部の場合と同じいから，第一部上巻の凡例及び第一部下巻後方の総目次の凡例を参照されたい。唯だ本書での＊（前出）のみは第一部のものと違つている。

1. 本書の巻末には，第一部上～下巻に対する正誤表及び追加表を掲げた。これは第一部下巻の末に付した正誤表及び追加表にある以外のものであるから，両者を併せ用いられたい。この正誤表に出ていない些細な誤植等も別にあるけれども，誤りであることが容易に知られうるもの，又は余り重要でないものは，すべてこれを省略した。期限に迫られ，印刷屋に急がされて，3回程の校正で終るのであるから，注意はしていても，誤植、脱漏等はなかなか避け難い。深く読者にお詫びすると共に，誤りを指摘して頂けば幸いである。

# 第 二 部 目 次

aṁta(A)=anta 邊疆人
Aṁtiyaka(A), Aṁtiyoka(A), Aṁtiyoga(A) 〔王〕アンティヨーガ
Aṁtekina(A), Aṁtikini(A)〔王〕アンテーキナ
Aṁdhra(A)〔國〕アンドラ，案達，案達羅
aṁbā-vaḍikyā(A) 菴羅樹林
aṁsa-kāsāva 肩袈裟
aṁsa-baddha, aṁsa-bandhaka, aṁsa-vaddhaka 肩紐
aṁsa-vaddhaka 肩當，肩紐
aṁsā ① 痲痺 ② 痔疾
akaṭṭha-pāka-sāli 耕さざるに熟する米
akaṇha-asukka 非黑非白
akaṇha asukka akaṇha-asukka-vipāka 非黑非白にして非黑非白の報
akaṇha-asukka-akaṇhāsukkavipāka-kammaṁ kammakkhayāya saṁvattati 非黑非白にして非黑非白果なりその業は業盡に導く，非黑非白にして黑白の異熟無く能く諸業を盡す業
akaṇha asukka nibbāna 非黑非白の涅槃
akaṇha-netta=piṅgala-netta 黄目
akata 無爲=涅槃
akataññutā 不知恩
akataññū 忘恩者，忘恩〔漢〕，恩を知らざる者
Akataññū-jātaka アカタンニュー•ヂャータカ，忘恩本生物語 J 90
akataveditā 不感恩
Akatti〔苦行者，佛の前生〕アカッティ
Akatti-cariyā〔經〕アカッティの所行 Cp 1 1
Akaniṭṭha〔天〕アカニッタ，阿迦膩吒，阿迦膩陀，有頂，色究竟
Akaniṭṭha-gāmin 色究竟に趣く者，色究竟に行く者，色究竟に至る，色究竟天に至る
Akaniṭṭha-deva〔五淨居天の一〕阿迦膩吒天，阿迦膩陀天，有頂天，色究竟天
akanta-rūpa 非可樂相
akappa 無分別
akappiya 不淨，不淨事，不淨物，不淨食，非淨行
akammañña 堪ゆること無し，堪任ならず
akammanīya 無堪任
Akammanīya-vagga 無堪任品 A 1 3
akammāsa 不雜色，無穢，無汚，無瑕
akaraṇīya 非事，不應作
Akarabhaṇḍu〔村〕アカラバンドゥ
Akalaṅka〔ダミラ人〕アカランカ
akāraka 不作者
akāraṇa 無因
akāla 非時
akālaka 非時，不時，無時的，卽時に〔果〕ある
akāla-cārin 非時行者
akāla-cīvara 非時衣
akālaññū 時を知らず
akāla-maccu 非時の死
akāla-maraṇa 非時死，非時の死
akāla-megha 非時雲
Akālarāvi-jātaka アカーララーヸ•ヂャータカ，非時叫喚者本生物語 J 119
akāla-vādin 非時說者，非時語者
akālika 卽時に〔果〕ある，非時，不時，無時的
akiñcana 無所有者，無所有，無一物
akitti 惡名
Akitti ①〔婆，佛の前生〕アキッティ ②〔仙〕
Akitti-jātaka アキッティ•ヂャータカ，アキッティ婆羅門本生物語 J 480
Akitti-tittha アキッティ渡
Akitti-dvāra アキッティ門
akiriya 作者なし，非業，非作業，無作，無作用，無所作
akiriyato samuṭṭhitā āpatti 不作業所起罪
akiriya-diṭṭhi 無作見
akiriya-vāda 無所作論者，無作用論者，無作論者，無作說，非作業論者
akujana 無轢聲
akuppa 不動，無過
akuppa-ñāṇa 不動の智
akuppa-dhamma 不動法
akuppa vimokkha 不動解脫
akuppā ceto-vimutti 不動心解脫

akusala 不善，悪
akusala-kamma 不善業
akusala-kammapatha 不善業道〔十種〕
akusala-kāyakamma 不善身業
akusala-citta 不善心 Dhs 1 2
akusalacitta-samaṅgin 不善心所有者
akusalacittena samuṭṭhita kāyakamma 不善心等起の身業
akusalacittena samuṭṭhita vacīkamma 不善心等起の口業
akusala-cinta 不善思
akusala-cetanā 不善思～不善の思惟
akusala-dhamma 不善法
Akusala-dhamma〔經〕不善法 S 45 22
akusala-dhātu 不善界〔三種〕
akusalabhāgiya dhamma 不善法
akusala-mūla 不善根，不善の根本＝不善因〔三種〕
akusalamūla-sahajāta dhamma 不善根俱生の法
akusala-rāsi 不善聚
akusala-rūpa 不善色
akusala-vacīkamma 不善口業
akusala-vitakka 不善尋思，不善尋＝不善思，不善想〔三種〕
akusala-vipāka 不善異熟
akusalavipāka-ahetuka-manoviññāṇa-dhātu 不善異熟無因意識界
akusala-vipāka citta 不善異熟心
akusalavipāka-pañcaviññāṇa 不善異熟五識
akusalavipāka-manodhātu 不善異熟意界
akusala-vippayutta citta 不善不相應の心
akusala-vedanā 悪受
akusala-saṅkappa 不善思，不善念〔三種〕
Akusala-saṅgaha 攝不善 Abhsaṅg 7 1
akusala-sañcetanā 不善の思惟～不善思
akusala-saññā 不善想〔三種〕
akusala-samuṭṭhāna rūpa 不善等起の色
akusala-sīla 不善戒
akusala-hetu 不善因＝不善根〔三種〕
akusalānaṁ dhammānaṁ pahānaṁ 不善法の捨離
Akodha or Avihiṁsā〔經〕無忿（無害） S 11 25
akodhana＝akkodhana 無瞋〔者〕，無忿，忿なき，不忿
Akodhano〔經〕無忿 S 37 15
akka〔草，樹〕アッカ，阿拘
akkanāla 阿拘草衣
Akkantasaññaka〔比丘の譬喩經〕アッカンタサンニャカ Ap 3 218
akkamana 敷物
Akkamanadāyaka〔比丘の譬喩經〕アッカマナダーヤカ Ap 3 452
akkavāṭa 阿羅迦門
akkulo pakkulo〔嚇し文句〕アックローパックロー
akkodhana＝akodhana 不忿〔者〕，無忿〔者〕，無瞋，忿なき
akkodhena jināti kodhaṁ 忍辱によりて忿怒を克服す
akkodho ca anupanāho ca 不忿と不恨
akkosa 悪罵，罵，罵詈，讒謗，呵罵，怒罵
Akkosa〔經〕讒謗 S 7 2
Akkosaka-Bhāradvāja〔婆，比〕讒謗婆羅墮婆闍
Akkosaka-vagga 罵詈品 A 5 211～220
akkosati 毀訾す，罵る，罵詈す
akkosanā 怒罵
Akkosa-vagga 罵詈品 A 10 41～50
akkosa-vatthu 呵罵事，怒罵事，罵事〔十種〕
akkha ① 賽，骰子，賭博，博奕，博戯，球戯，球抛げ ② 軸，車軸
akkhaka 頸骨，頸，鎖骨*
akkhakaṭṭhi 鎖骨
akkhaṭṭhi 眼骨，眼窩
akkhaṇa＝asamaya 非時節，不時，難
akkhaṇa asamaya 不時不節～非時節，難〔九種〕
Akkhaṇā〔經〕難 A 8 29
akkha-dassa 裁判官，司法官，判官，法官
akkha-dhutta 博戯者，博徒，賭博者，賭博漢，

賭博に惑溺
akkhanti 不堪忍，嫉悪，不忍
akkhabbhañjana〔-upamā〕 車軸の注油〔の譬喩〕
akkhamā paṭipadā 不堪忍行〔四行の一〕
akkhara 字，文字
akkhara-cintaka 文典家
akkharappabheda 語源論，語分別，音韻語源，音韻語源論，文字分別書
akkharikā 文字判じ
Akkharukkha-petavatthu 木軸鬼事 Pv 4 13
akkhāna 語り物，古譚，謠ひ
akkhāyin 論者
akkhi 眼
akkhi-kūpa 眼窠
akkhena dibbati 博奕を爲す，博戯をなす
akkhohiṇī〔數量〕 アッコーヒニー，阿閦婆
akhaṇḍa 不毀壞，無壞，無缺
akhārika 不苛
akhila 固陋ならず，剛腹なく
Akhilā〔尸棄佛の上足尼〕アキラー，無障礙
agatā disā 未到の域，未到の境
agati 不應行，不趣，不行處，非道
agati-gamana 不應行而行，不行處行
agada〔果，藥，解毒劑〕阿伽陀
agadaṅgāra 炭火の藥
agadassa tayo guṇā 阿伽陀藥の三德
agadāpaṇa 阿伽陀藥店（佛の）
aganthaniya dhamma 不順繫法
Agayha〔經〕不執著 S 35 136
agaru 非可尊重
agaru, agalu〔植〕アガル，沈香
agāra ① 家，家屋，屋舍，小屋 ② 在家，俗家
Agāraṁ〔經〕客舍 S 36 14
agāraka 弊屋
agāra-muni 在家牟尼
agārava 不尊重，不敬，不恭敬，無敬〔六種〕
agārika 在家者
agārin 在家
Agāriya-vimāna 在家天宮 Vv 65
agilāna 無病，無病者
agilāna bhikkhu 無病比丘
agutta-dvāra 不守護〔諸根〕門
agocara 非行處，不行境
agocaraggāhika-rūpa 不取境色
agga 第一，第一人者，最高，首者
agga-kārikā 第一味
aggaja〔花〕アッガヂャ
aggañña 起源，起原說，世界の起原
Aggañña-suttanta アッガンニャ•スッタンタ，起世因本經 D 27
agga dhamma 第一法
agga-paññatti 最上の施設〔四種〕
agga-pada 最勝句
agga-piṇḍa 第一の供養
Aggapupphiya〔比丘の譬喩經〕アッガフッピヤ Ap 3 260
aggappasāda 第一信〔四種〕
Aggappasāda-sutta 最上信樂經，第一信 A 4～34
agga-phala 最上果＝阿羅漢果
Aggaphalapariveṇa 頂果寮
aggabāhaṭṭhi 前腕の骨，橈骨と尺骨
agga-bīja 枝種，枝種子，枝より生ずる種子，枝の種子
Aggabodhi ①〔一世王〕アッガボーディ ②〔二世王〕③〔三世王〕④〔四世王＝シリサンガボーディ三世王〕⑤〔五世王〕⑥〔六世王〕⑦〔七世王〕⑧〔八世王〕⑨〔九世王〕⑩〔アッガボーディ六世王の親戚〕⑪〔マラヤ王〕
Aggabodhika〔ダッフラ王の兄〕アッガボーディカ
Aggabodhisa〔王族〕アッガボーディサ
agga-magga 最上道＝阿羅漢道
aggamagga-samaṅgin 最上道具足者
aggaḷa ① 閂，横木 ② 補綴布
aggaḷaṁ ākoṭeti 閂を敲く
Aggaḷapura〔城〕アッガラプラ，阿伽樓羅
aggaḷa-phalaka 閂
aggaḷa-vatti 閂
aggavatī parisā 有上の衆會，第一衆
agga-sāvaka 第一弟子

agga-suñña 最上空
aggābhā 火の光
Aggāḷava 〔廟〕アッガーラヴ，阿伽羅婆
aggi 火，火神，火天，祭火，壇火
Aggi ① 阿耆，火神 ② 〔經〕火 S 46 53
aggiṁ juhati 火を祀る
aggika 事火外道，火教徒，拜火
Aggika 〔經〕拜火 S 7 8
Aggika-jātaka アッギカ・ヂャータカ，火種本生物語 J 129
aggi-kapalla 火壺
Aggika-bhāradvāja 〔婆，比〕アッギカ・バーラドヴーヂャ，拜火婆羅墮婆闍，事火婆羅墮闍
aggikkhandha 火蘊，火聚
Aggikkhandha-pariyāya 〔經〕火聚の教
Aggikkhandhūpama-dhammapariyāya〔經〕火聚喩の法門＝前項，次次項～V 2 a 1, 21
aggikkhandhūpamā 火聚の譬喩
Aggikkhandhopama 〔經〕火蘊喩，火聚喩
aggiṭṭha 浴場
aggiṭṭhāna 竈，火爐
aggi-daḍḍha 燒殘〔布〕
Aggidatta 〔拘留孫佛の父〕アッギダッタ，火施，火授，祀得
Aggideva 〔傳∘轉輪王，力士〕アッギデーヴ，火天
Agginibbāpana 〔傳∘轉輪王〕アッギニッバーパナ
aggi-paricariyā 火祀，事火の境
aggiparicariyāya suddhi 火祀を以て清淨あり
Aggibrahmā 〔僧伽蜜多の夫，王子，比〕アッギブラフマー，阿耆梵
aggi-bhaya 火の怖畏，火の畏，火畏，火怖
Aggimāla 〔海〕アッギマーラ，火鬘
Aggimittā 〔尼〕アッギミッター
aggiyāyana 火屋
Aggi-vacchagotta-suttanta アッギ・ヴッチャゴッタ・スッタンタ，婆蹉衢多火〔喩〕經 M 72
aggi-vata 火務
aggi-vatika 火務者
Aggivessa 〔人〕アッギヱッサ
Aggivessana ① 〔比〕アッギヱーッサナ＝長爪 ②＝薩遮迦 ③＝阿夷羅和提
aggi-santāpa 消化熱
Aggisama 〔傳∘轉輪王〕アッギサマ
aggi-sālā 火室，火堂，溫室
Aggisikha 〔龍王〕アッギシカ，火焰
aggisikhā 火焰，火焰の頂
Aggisikhā 〔傳∘轉輪王〕アッギシカー
aggi-hutta ①火祀，火神の祭，火への供養，火への獻供，拜火供犧，事火法 ②祭火，供養火
aggihutta-missa 事火具
aggi-homa 火の護摩，火の獻供
aggha 供物
aggha-kāraka 評價官
agghapada-lakkhaṇa 〔呪文〕無價相
agghāpaniya 評價鑑定
agyantarāya 火の障礙〔十障礙の一〕
agyāgāra＝aggāgāra 火舍，火堂，火爐，聖火堂，護摩堂
agha ① 罪，痛，禍 ② 無蓋＝空
agha-bhūta 痛種
agha-mūla 痛根，罪根＝渴愛
Aghamūla 〔經〕痛根 S 22 31
Aṅkura 〔王，力士〕アンクラ
Aṅkura-petavatthu アンクラ鬼事 Pv 2 9
aṅkusa 鉤
aṅkusagayha-sippa 鉤を使ふ術
aṅkusaggaha 象師
aṅkūla-yañña 祖先供養
aṅkola 〔樹〕アンコーラ
aṅkolaka 〔樹〕アンコーラカ
Aṅkolapupphiya 〔比丘の譬喩經〕アンコーラプッピヤ Ap 3 362
Aṅkoḷaka 〔比丘の譬喩經〕アンコーラカ Ap 3 195
aṅga ① 支分，肢體，身分 ② 手の占相，手足判斷
Aṅga ① 〔國〕アンガ，鴦伽，央伽 ② 〔王〕アンガ，鴦伽 ③ 〔辟〕アンガ ④ 〔經〕部分 S 37 29 ⑤ 〔經〕支分 S 46 49, 50 ⑥ 〔經〕支

S 55 50
Aṅgaka〔婆，種德の甥〕アンガカ，鴦伽
Aṅgagāma〔池〕アンガガーマ
aṅga-jāta　男根，生支
aṅgaṇa　穢，煩惱
Aṅgaṇasālaka〔村〕アンガナサーラカ
Aṅgaṇikabhāradvāja〔比〕アンガニカ・バーラドヴーヂャ
Aṅgati〔王〕アンガティ
Aṅganeka〔國〕アンガネーカ，鴦伽尼迦
aṅga-paccaṅga 肢節
aṅga-paṇītatā 支の勝妙性
aṅgamaṅgānusārī-vāta 肢肢隨流風，肢體循環風，各肢體を流通する風
Aṅgamu〔地名〕アンガム
aṅga-vavatthāpana 支の確立
aṅga-vāta 肢痛
aṅga-vijjā 手足占ひ，手足判斷學，支節明，人相術，卜占明
aṅga-saṅkantika 支の超越
aṅga-santatā 支の寂靜性
aṅga-samatikkama 支の超越
aṅgahetuka〔鳥〕アンガヘートゥカ
aṅgātikkama 支の超越
Aṅgāni〔經〕分 A **10** 12
aṅgāra 炭火，炭，石炭，炭灰，灰，炎炭，黒炭
aṅgārakāsu 炭火の坑，火坑，火炭，炭窩，炭火
Aṅgārakāsūpama〔經〕火坑の譬喩
aṅgārakāsūpamā 火坑の如く，火坑の喩，炭窩の喩
aṅgāra-thūpa 炭灰塔，灰塔
aṅgāra-pabbata 炭火の山
aṅgārammaṇasaṅkantika 支と所緣との超越
aṅgārānaṁ thūpo 灰塔，炭灰塔
Aṅgārāma〔スマナ佛入滅の地〕アンガ園
aṅgīrasa 放光者，鴦耆羅，央祁羅娑
Aṅgīrasa ① アンギーラサ，鴦耆羅，鴦耆羅娑，央祁羅娑，放光者＝佛 ②〔古仙〕アンギーラサ，鴦耆羅，應疑羅沙 ③ アンギーラサ＝バーギーラサ上 ④〔醫者〕アンギーラサ
aṅgīrasī 天女
aṅguṭṭha 拇指
Aṅguttaraṭṭhakathā 增支〔部〕義疏
Aṅguttara-nikāya　アングッタラ・ニカーヤ，增支部，增支部經典 A **1～11**
Aṅguttara-bhāṇaka 增支部誦者
Aṅguttarāpa〔國〕アングッタラーパ，阿牟多羅，鴦崛多羅波，鴦伽北方水
aṅgula〔量〕指尺，指
aṅgula-pabba 指節
aṅguli 指
aṅgulicchinna 指截られし者
aṅguli-patodaka 指にて撲る
Aṅgulimāra〔外，比〕アングリマーラ，指鬘，央崛摩羅，鴦瞿利摩羅，鴦掘摩，鴦掘魔，鴦崛摩羅
Aṅgulimāla-sutta　アングリマーラ・スッタ，鴦掘摩經 M **86**
aṅguli-muddikā 指環，指輪
acakkhu 無目～無眼
acakkhuka 無眼，無眼子～無目
Acariṁ〔經〕〔我〕行ぜり S **14** 32
acala 不動
Acala〔比〕アチャラ
acalaṭṭhāna 不動處
acalā saddhā＝aveccappasāda 不動信
acavana-dhamma 不變の法
acittaka 無心〔者〕
acintiya 不可思議
acinteyya 不可思議，不思議〔四種〕
Aciravata〔比〕アチラヴタ，阿夷羅和提＝アッギヱーッサナ
Aciravatī〔河，五河の一〕アチラヴティー，阿致羅筏底，阿耆羅婆提，阿夷羅跋提，阿夷羅跋底，阿夷羅婆提，阿夷羅和提，伊羅跋提
acetana 無思
acetasika 非心所
acetasika dhamma 非心所法
acela 裸形，裸行者，裸形外道，裸形道士，裸形梵志，脫衣派，無衣外道
Acela ①〔經〕阿支羅 S **12** 17 ②〔經〕裸形 S **41** 9

acelaka 裸形，裸形外道，裸行者，裸行外道，裸形行者，裸行沙門
Acelaka-vagga ① 裸行品 V 1 a 5, 41〜50 ② 裸形品 A 3 151〜163
acelaka-vāda 裸形論者
Acela-Kassapa 〔婆, 比〕アチェーラカッサハ，裸形迦葉，阿支羅迦葉
accanta 究竟，畢竟
accanta-niṭṭha ① 畢竟究竟者 ② 究竟趣
accanta-niyāma 畢竟決定
Accantaniyāma-kathā 畢竟決定論 KV 19 7
accanta-pariyosāna 畢竟盡者
accanta-brahmacārin 畢竟梵行者
accanta-yogakkhemin 畢竟安穩者
accanta-virāga 究竟離貪
accanta-santi 究竟寂
accanta-suddhi 究竟淨
accaya 罪，過失，罪過
Accaya or Akodhana〔經〕罪過(無忿) S 11 24
acci 焰，火焰，光焰，光線
acci-khandha 火焰聚
Accimant 〔王〕アッチマー，阿哩止婆滿多
Accimukhī 〔龍女〕アッチムキー
accuta 不死，無死
Accuta ①〔天〕アッチュタ，阿周陀 ②〔辟〕アッチュタ ③〔仙〕阿周陀 ④〔俱留孫佛の信士〕アッチュタ，未死 ⑤〔傳◦長者〕アッチュタ ⑥〔象〕アッチュタ，阿周陀
Accutagāmabyāmaka 〔辟〕アッチュタガーマブヤーマカ
Accutagāmin〔大臣〕アッチュタガーミ
accuta ṭhāna 不死の境
accuta pada 無死の句，不滅の道＝涅槃
acceka-cīvara 特施衣
Accenti〔經〕時は過ぎ行く S 1 4
accela＝acela
accelaka＝acelaka
accogāḷha 奢侈
accha 熊
Acchagalla〔ka〕〔精舍〕アッチャガッラ〔カ〕
accha-camma 熊皮
accharā ① 天女，仙女，玉女 ② 彈指
Accharā〔經〕天女 S 1 46
accharā-saṁghāta 彈指，彈指の間，彈指の頃，一彈指
accharā-saṅghāta-matta 一彈指の頃
Accharāsaṅghāta-vagga 彈指品 A 1 6
acchariya 不思議，不可思議，希有，稀有
Acchariya〔經〕不思議 S 43 30
acchariya-abbhuta-dhamma 希奇未曾有法，希有未曾有の法，希有未曾有法
acchariyaṁ 甚奇なり，希有なり，偉なる哉，妙なる哉，奇なる哉，最勝なり，殊勝なる哉，感歎に堪へたり
acchariyagāmi-magga 不思議に達するの道
acchariya-dhamma 希有法
Acchariyabbhutadhamma-sutta アッチャリヤッブタダンマ•スッタ，希有未曾有法經 M123
acchariya-manussa 希有人
acchidda 不切斷，無斷，無瑕，無穿，無隙
acchindati 奪ふ
acchinna-cīvara 奪衣
Acchimutī〔毘沙門天女〕アッチムティー
acchiva〔樹〕アッチヴ
aja 牡羊，羊，山羊
ajaka 山羊
Ajakaraṇī 〔河〕アヂャカラニー
Ajakalāpaka〔夜叉〕アヂャカラーパカ，羊群
Ajakalāpaka-cetiya 羊群祠堂
Ajakalāpaka-yakkha 羊群夜叉
ajagara アヂャガラ，大蛇，蟒
aja-camma 山羊皮，羊皮
Ajacca〔人〕アヂャッチャ
ajajjara 不老
Ajajjaraṁ〔經〕不老 S 43 19
ajajjaragāmi-magga 不老に達するの道
ajaṭākāsa 空無虚空
ajaddhuka 絕食
ajaddhumārika 餓死〔者〕
aja-pati 山羊主
ajapada-daṇḍa 羊趾形の杖

Ajapāla ①〔司祭の子〕アヂャパーラ，羊護 ②〔榕樹〕アヂャパーラ，阿闍波羅，阿闍惒羅，羊牧
Ajapāla-kathā 阿闍波羅〔榕樹下〕縁 V 2 a 1, 2
Ajapāla-nigrodha アヂャパーラニグローダ，アヂャパーラ榕樹，阿闍波羅榕樹，阿闍波羅尼倶律陀樹，阿闍惒羅榕樹，阿踰波羅尼拘律樹，阿豫波羅尼拘律樹，羊牧尼拘律林
aja-pālikā 牧羊女
aja-yuddha 牡山羊闘
Ajarasā〔經〕不老に依りて S 1 52
ajarā 不老
ajarāmara 不老不死
ajarāmaraṇa-pada 不老不死の道
ajaḷa 不癡呆
ajaḷatā 無癡
aja-vata 山羊の誓
aja-visāṇa 山羊の角
ajā 牝羊
Ajātasattu〔王子，王〕アヂャータサットゥ，阿闍世＝韋提希の子
Ajātasattu-Vedehīputta アヂャータサットゥ・ヹーデーヒープッタ，阿闍世韋提希子＝阿闍世王
ajātā pathavī 不生地
ajāti 不誕生
ajānant 無知者，不識者，不知者
Ajānantassa pāpakaraṇa-apuñña-pañho 不知悪行非福の問 Mil 4〔2〕9
ajikā 牝羝羊
ajikā-khīra 山羊乳
ajikā-sappi 山羊乳酥，山羊酥
Ajita ①〔婆和利の弟子，婆，比〕アヂタ，阿耆多，阿逸多， 無勝〔譬喩經〕Ap 3 397 ②〔第二結集比丘〕アヂタ，阿夷頭 ③〔婆，佛の前生〕アヂタ， 未降 ④〔傳◦婆〕阿侍多 ⑤〔外〕アヂタ， 阿夷那 ⑥〔軍帥〕アヂタ ⑦〔經〕阿夷那 A 10 116
Ajita-Kesakambala, Ajita-Kesakambalin〔六師外道の一〕アヂタケーサカンバラ，アヂタケーサカンバリー，阿耆多翅舍欽婆羅，阿夷多翅舍欽婆離，阿耆陀翅舍欽婆羅，阿浮陀翅舍金披羅
Ajitajana〔王〕アヂタヂャナ
Ajitañjaya～Jitañjaya〔傳◦王〕アヂタンヂャヤ
Ajita-pañha〔經〕阿逸多の所問，阿耆多所問＝阿耆多學童所問
Ajitamāṇavakapañhā-niddesa 阿耆多學童所問の義釋 CNd 2
Ajitamāṇava-pucchā〔經〕阿耆多學童所問＝阿逸多の所問，阿耆多所問 Sn 5 2
ajina 羚羊皮，羚羊の皮，黒羚羊皮，黒羚羊の皮，羊皮，羊皮衣，鹿皮，鹿皮衣，鹿の皮衣，皮衣
Ajina〔比〕アヂナ
ajinakkhipa 鹿皮衣
ajina-camma 羚羊皮，羚羊の皮
Ajinadāyaka〔比丘の譬喩經〕アヂナダーヤカ Ap 3 222
ajinappaveṇi 羚羊皮の覆
ajela〔果，植〕アヂェーラ
Ajelaphaladāyaka〔比丘の譬喩經〕アヂェーラパラダーヤカ Ap 3 504
ajeḷaka 羊，山羊羊
Ajeḷaka〔經〕山羊羊 S 56 88
ajjava 正直，質直，直行
ajjavañ ca maddavañ ca 質直と柔和
ajjavañ ca lajjavañ ca 質直と柔和
ajjuka〔植〕アッヂュカ
Ajjuka〔比〕アッヂュカ，阿酬
ajjukaṇṇa〔樹〕アッヂュカンナ
ajjuṇha 月夜
ajjuna〔樹〕アッヂュナ，阿順那
Ajjuna ①〔佛〕アッヂュナ ②〔比〕③〔王，力士〕
Ajjunapupphiya〔比丘の譬喩經〕アッヂュナプッピヤ Ap 3 513
ajjhatta 内
Ajjhatta〔經〕内 S 35 185
ajjhattaṁ arūpasaññī bahiddhā rūpāni passatīti vimokkho 内無色想観外諸色解脱

ajjhatta ceto-samatha 内心の止，内心の寂止
Ajjhattattika 内三法 Tika 20
ajjhattattika-kusalattika 内三法善三法 Tika-tika 40
ajjhattattika-saraṇaduka 内三法有諍二法 Tika-duka 92
ajjhattattika-hetuduka 内三法因二法 Tika-duka 20
ajjhatta-dhamma 内法
ajjhatta-bahiddha dhamma 内外法
ajjhattabahiddhābhinivesā paññā 内外住〔慧〕
ajjhattabahiddhārammaṇa 内外所縁
ajjhattabahiddhārammaṇa dhamma 内外所縁法
ajjhatta-rūpa 内色
ajjhatta-vavatthāne paññā 内の決定の慧
ajjhatta-vuṭṭhāna vimokkha 内出離解脱
ajjhatta-saññojana 内結〔者〕
ajjhatta-santi 内の寂
ajjhatta-suñña 内空
ajjhattābhinivesā paññā 内住慧
ajjhattārammaṇa 内所縁
Ajjhattārammaṇattika 内所縁三法 Tika 21
ajjhattārammaṇattika-kusalattika 内所縁三法善三法 Tika-tika 41
ajjhattārammaṇattika-saraṇaduka 内所縁三法有諍二法 Tika-duka 93
ajjhattārammaṇattika-hetuduka 内所縁三法因二法 Tika-duka 21
ajjhattārammaṇa dhamma 内所縁法
ajjhattika aṅga 内の縁，自己中の因
ajjhattika indriya 内根
Ajjhattikaṁ〔經〕内 S 22 149
ajjhattika khandha 内蘊
Ajjhattika-duka 内二法 Duka 66
ajjhattikaduka-kusalattika 内二法善三法 Duka-tika 75
ajjhattika dhamma 内法
ajjhattika rūpa 内色
ajjhattikā ākāsa-dhātu 内空界，内の空界
ajjhattikā āpo-dhātu 内水界，内の水界
ajjhattikā tejo-dhātu 内火界，内の火界
ajjhattikā paṭhavī-dhātu 内地界，内の地界
ajjhattikā vāyo-dhātu 内風界，内の風界
ajjhattikāhāra 内食
ajjhācāra アッヂャーチャーラ，增上行，不淨行，小罪
ajjhājīva 增上活命
ajjhāyaka 讀誦者，諷誦者，學習者，聖典を讀誦す
ajjhupagamana 進行
ajjhena 讀誦〔婆羅門五法の一〕
ajjhesanā 勸請
ajjhokāsa 露地，露處
ajjhosana 意趣
ajjhosāna 取著，耽著，峨*
ajjhosita 固執
ajjhohāra〔大魚〕アッヂョーハーラ
Añcanavana Migadāya 安闍那鹿苑
Añcukotta ①〔ナーダールヴーラ官〕アンチュコッタ ②〔ラーヤラ官〕③〔地名〕
añjana ①アンヂャナ，塗薬，安闍那，安繕那，對眼薬，塗眼薬，塗眼膏，眼薬，眼の塗料 ②〔色〕アンヂャナ，漆黒，眞黒，青黒，安闍那，安繕那 ③ アンヂャナ，漆黒樹＝アンヂャニ
Añjana ①〔林〕アンヂャナ，安闍那，安禪 ②〔山〕アンヂャナ，安闍那 ③〔瞿曇彌の父〕アンヂャナ ④〔王臣〕アンヂャナ ⑤〔象〕アンヂャナ
Añjanadevī〔王女〕アンヂャナデーギー
Añjana-vana 安禪林，安闍那林
Añjanavaniya〔比〕安闍那林住
Añjanavasabha〔象〕アンヂャナヴサバ，黑牡牛
Añjanasa〔王子〕アンヂャナサ
añjani＝añjana アンヂャニ，漆黒樹
añjanimala-haraṇī 塗薬篦
añjani-salākā 膏薬篦，塗薬篦
añjanī 塗薬筐，膏薬壺
añjali 合掌
añjali-kamma 合掌，合掌業

añjali-karaṇīya 合掌せらるべき，應合掌
Añjalī〔尼〕アンヂャリー
Añjasa〔傳◦王〕アンヂャサ
aññaṁ jīvaṁ aññaṁ sarīraṁ 命と身とは異なり，命と身とは別別なり，命身異，靈と身と各別なり
Aññaṁ jīvaṁ aññaṁ sarīraṁ〔經〕命身異 S 24 14
aññaṁ satthāraṁ uddisati 他の師に就く，他の師を仰ぐ〔六逆罪の一〕
aññaṁ satthāraṁ uddesati 餘師を說く
añña-khanti 異信
Aññataraṁ〔經〕異 S 12 46
Aññataro bhikkhu〔經〕一比丘 S 45 6，7
añña-titthiya 外學，外道，外道派，異學，異學徒，異道，他宗
añña-titthiya-paribbājaka 外道遊行者，外道出家，異學外道，異學出家，異學の遊行者
aññatitthiyapubba-kathā 舊外道條 V 2 a 1，38
Aññatitthiya-peyyāla 異學廣說
Aññatitthiya-bhāṇa-vāra 外道誦品 V 2 a 2，1～16
Aññatitthiyā〔經〕異學 S 12 24
Aññatra〔經〕餘處 S 56 61
aññatra-yoga 異瑜伽
aññathatta 異心，變異
aññathā 變化
aññathā-cariya 異修行
aññathā-bhāva 變異性，異變
aññadatthu-dasa 全見者，一切見者，透見者，何物にてもあれ見る者，普觀察者，普見者
aññadatthu-hara 何物にても取り行く人
añña-diṭṭhi 異見
añña pada 異文
añña pariyāya 異方便
añña-byākaraṇa 異答〔五種〕
aññabhāgiya-adhikaraṇa 異事
aññamañña-paccaya 相互緣，互緣〔二十四緣の一〕
Aññamaññapaccaya-kathā 相互緣論 KV 15 2
aññamaññapaccaya-niddesa 相互緣廣說
aññamañña-paṭipakkhatā 相互相對性
aññamañña-parivāra 相互眷屬
aññamañña-mūla 互根
aññamaññamūla-mūla 互根根
añña-vajja 他人の過失
añña-vāda 他者の說
aññasamāna cetasika 同他（他に同ずる）心所
aññā 究竟智，完全智，完全知，正智，開悟，了悟，了解，了知，已知，解慧
Aññā ①〔經〕開悟 S 47 36 ②〔經〕悟了 A 10 86
Aññā-Koṇḍañña, Aññāta-Kondañña〔比〕アンニャーコンダンニャ，阿若憍陳如＝憍陳如〔譬喩經〕Ap 3 7
aññā-citta 知解心，智心，解慧心，菩提心
aññāṇa 無智，無知
Aññāṇa-kathā 無知論 KV 2 2
aññāṇa-cariya 無智行
aññāṇa-mūla 無智の根本
Aññāṇā〔經〕無知 S 33 1～5
aññātaka 非親里
Aññāta-Koṇḍañña＝Aññā-Kondañña〔比〕阿若憍陳如
aññātāvindriya 具知根，知根〔三無漏根の一〕
aññātika 非親里
aññā ruci 異樂
aññā-vimutta 解脫智，了知解脫
aññā-vimokkha 了知解脫，了解解脫
aññā-vyākaraṇa 已知の記說〔五種〕
aññā-sādhana 智慧の完成
aññindriya 已知根，知根〔三無漏根の一〕
aññena aññaṁ paṭicarati 異語をなす
Añño anusayo ti kathā 異隨眠論 KV 14 5
añño karoti añño paṭisaṁvedeti 作者異受者
Aṭaṭa〔地獄〕アタタ，阿吒吒
aṭavi-ārakkhika 森の護衛人
aṭavi-saṅkopa 曠野〔に住する〕叢賊
Aṭavī〔國，族〕アタギー，林住種族，森林住者～Āḷavī 阿臘毘，曠野
aṭṭa ① 見張臺，見張塔，塔，樓房 ② 訴訟，裁判

aṭṭaka 見張臺
aṭṭāna 摩浴所
aṭṭīyati 辛苦す
aṭṭha 營務
aṭṭha akaraṇīyāni 八非事，八不應作
aṭṭha akkhaṇā 八難，八不時
aṭṭh' akkhaṇā asamayā 八不時不節＝八難
aṭṭha acchariya-abbhuta-dhammā 八希有未曾有法，八種の希有未曾有法
aṭṭha acchariyā abbhutā dhammā 八種の希有未曾有法，八希有未曾有法
aṭṭha anariya-vohārā 八非聖言
aṭṭha abhibhāyatanāni 八勝處
aṭṭha ariya-puggalā 八輩の聖人
aṭṭha asaññī-vādā 八無想論
aṭṭha asaddhammā 八非法〔利，衰，稱，譏，敬，不敬，惡欲，惡友〕
aṭṭha ārabbha-vatthūni 八精進事
aṭṭhaka 八法，八部法 V 3 6 (8)
Aṭṭhaka ①〔古仙〕アッタカ，阿吒摩，夜吒，阿吒摩 ②〔王〕アッタカ，頻瑟撓迦 ③〔辟〕アッタカ ④〔經〕八支 S 36 17, 18
aṭṭhakathā アッタカター，註釋，註釋書，註解，註疏，義疏，義解，釋義書
Aṭṭhakathā-kaṇḍa 義釋品 Dhs 4
aṭṭhakathācariya 義疏師
Aṭṭhakanāgara〔居士〕アッタカ城人，アッタカナーガラ，八城
Aṭṭhakanāgara-suttanta アッタカ城人經，アッタカナーガラ・スッタンタ＝第十經 M 52
Aṭṭhaka-nipāta 第八集〔增支部〕A 8 1～95
Aṭṭhaka-vagga 義品〔經集〕Sn 4 1～16
Aṭṭhaka-vaggika 義品，義品經，八八品，八部品＝前項
aṭṭha kasiṇāni 八遍
aṭṭhakā 八日祭
aṭṭha kilesa-vatthūni 八煩惱事〔貪，瞋，癡，慢，見，疑，惛沈，掉擧〕
aṭṭha kusīta-vatthūni 八懈怠事
aṭṭha garu-dhammā 八重法
aṭṭha guṇā 八德
aṭṭhagopānasī アッタゴーパーナシー，八桷
aṭṭhaṅga 八支の音＝八支成就の音聲
aṭṭhaṅga uposatha 八戒，八支布薩＝八齋戒
aṭṭhaṅga-uposathakiriyā 八支布薩行，八齋戒
aṭṭhaṅga-vacana 八支分の語，八種言說
aṭṭhaṅga-vara 八支道
aṭṭhaṅga-samannāgata ①＝aṭṭhaṅga-samannāgata ghosa 八支成就，八種〔の聲〕〔玲瓏，淸徹，美妙，和雅，充滿，不亂，甚深，廣博〕②〔食〕八支成就
aṭṭhaṅga-samannāgata ghosa 八支を具備せる音聲
aṭṭhaṅga-sīla 八支戒＝八齋戒，八戒
aṭṭhaṅgika 八支＝八支聖道
aṭṭhaṅgika magga 八支道，八支の道，八支の聖道
aṭṭhaṅgika-micchāmagga 八邪道＝八邪
Aṭṭhaṅgiko〔經〕八支 S 14 28
aṭṭha cariyā 八行，八所行〔威儀，處，念，定，智，道，行道，世間利益〕
aṭṭha ñāṇāni 八智＝八觀智
aṭṭhatiṁsa kammaṭṭhānāni 三十八行處，三十八業處＝三十八所緣～四十業處
aṭṭhatiṁsa rāja-parisā 三十八王部衆
aṭṭhatiṁsa sumaṅgalāni 三十八吉兆
aṭṭhatiṁsārammaṇāni 三十八所緣＝三十八行處
aṭṭha dāna-vatthūni 八施事
aṭṭha dānuppattiyo 八施生
aṭṭha diṭṭhiṭṭhānāni 八見處
aṭṭha doṇā 八斛〔舍利〕
aṭṭhadhamma-kalāpa 八法聚
aṭṭha dhammā 八法
aṭṭha dhutaṅgāni 八頭陀支
aṭṭhanavuti rogā 九十八種の病
Aṭṭha-nipāta ① 八集 A 8 ② 八偈集 Thag 494～517；Thīg 196～203 ③ 第八篇 J 417～426
aṭṭha nirayā 八地獄＝八大地獄
aṭṭha neva-saññī-nāsaññī-vādā 八非有想非無想論

Aṭṭha paccaya-vāra 八緣章
aṭṭha paccayā 八因〔地震の〕
aṭṭhapada 八目碁，八條盤碁
aṭṭha parikkhārā 八要具
aṭṭha-parivatta 八轉
aṭṭha parisā 八衆，八會〔利帝利，婆羅門，居士，沙門，四王天，忉利天，魔，梵天〕
aṭṭha pāṭidesaniyā dhammā 八提舍尼法
aṭṭha pānāni 八種飲物，八種の飲物，八種の飲料
aṭṭha pārājikā 八波羅夷〔尼〕
aṭṭha puggalā 八輩，八種の人＝八輩者
Aṭṭha puggalā〔經〕八輩 A 8 59, 60
aṭṭha puggalā cattāri yugāni 八輩四雙，四雙八輩
aṭṭha puggalā dakkhiṇeyyā 八應供人，四向四果＝四雙八輩
aṭṭha purisa-dosā 八人過
aṭṭha purisa-puggalā 八輩者，八士夫人＝八輩，八種の人
aṭṭha purisa-bhūmiyo 八種の人地，八人地〔外道說〕
aṭṭha balāni 八力
Aṭṭhama〔辟〕アッタマ
aṭṭhamaka 第八人＝第八補特伽羅
Aṭṭhamaka-kathā 第八人論 KV 3 5
aṭṭhamaka puggala 第八補特伽羅，第八人
aṭṭhamaka sotāpatti-magga 第八預流道
Aṭṭhamakassa indriya-kathā 第八人根論 KV 3 6
aṭṭha maggaṅgāni 八道支＝八正道
aṭṭhama-pārājika 第八波羅夷
aṭṭhama bhava 第八有，第八の有，第八の生
aṭṭhama-vatthu 第八事
aṭṭhama-saṁghādisesa 第八僧殘＝第一瞋不護戒
aṭṭha mahā-nirayā 八大地獄＝八地獄
aṭṭha mahāpurisa-vitakkā 八大人覺，大人の八念
aṭṭha mahāvipāka-cittāni 八大異熟〔心〕＝欲界有因異熟心
aṭṭha mahā-vilokanāni 八大觀察〔菩薩の〕
aṭṭha micchattāni 八邪，八邪性＝八邪道〔邪見，邪思，邪語，邪業，邪命，邪精進，邪念，邪定〕
aṭṭha muttā 八種眞珠，八種の眞珠
aṭṭha yathābhucca-vaṇṇā 八無等法
Aṭṭharājaka 八王章 Cv 41
aṭṭha loka-dhammā 八世間法，八世法〔利，衰，稱，譏，毀，譽，樂，苦〕
aṭṭha vatthuka 八事罪
aṭṭha varā 八つの望～次項
aṭṭha varāni 八願～前項
aṭṭha vijjā 八明
aṭṭhavidhā kaṅkhā 八種の疑惑
aṭṭhavidhena rūpakkhandho 八種色蘊
aṭṭhavidhena rūpa-saṅgaho 八種色聚
aṭṭha vipassanā-ñāṇāni 八觀智＝八智
aṭṭha vimokkhā 八解脫
aṭṭhavīsati nakkhattāni 二十八宿
aṭṭha saṁvega-vatthūni 八悚懼事
aṭṭha-saṭṭhi balāni 六十八力
aṭṭha-saṭṭhi vimokkhā 六十八解脫
Aṭṭhasata〔經〕百八 S 36 22
aṭṭhasata-taṇhā 百八愛，百八の渴愛，百八耽染＝百八愛行
aṭṭhasata taṇhā-vicaritā 百八愛行＝百八愛
Aṭṭhasatapariyāya-vagga 百八理品 S 36 21～29
aṭṭhasata-vedanā 百八受，百八種受
aṭṭha-sadda 八の聲＝八支成就の音，八支音，八種の聲
Aṭṭhasadda-jātaka アッタサッダ•ヂャータカ，八聲本生物語 J 418
aṭṭha-samāpatti-ñāṇa 八等至智
aṭṭha samāpattiyo 八等至，八成就法
aṭṭha sammattāni 八正＝八正道
Aṭṭhasahassa〔ka〕〔地方〕アッタサハッサ〔カ〕，八千
Aṭṭhahetu-aṭṭhapaccayā mahābhūmicālapātubhāva-pañho 八地震の現はるる八因八緣の問 Mil 4〔1〕4

aṭṭhādasa vedanā 十八受，十八種受
aṭṭhāna 非處，無處
aṭṭhāna-kusalatā 非處善巧
Aṭṭhāna-jātaka アッターナ•ヂャータカ，非處本生物語 J 425
Aṭṭhāna-vagga 無處品 A 1 15
aṭṭhānāraha 不應理
aṭṭhārasa upakkilesā 十八隨煩惱
aṭṭhārasa taṇhā-vicaritāni 十八愛行
aṭṭhārasa diṭṭhi-pariyuṭṭhānāni 十八見纒
aṭṭhārasa deva-kulāni 十八部の天神
aṭṭhārasa dosā 十八過失〔ある精舍〕
aṭṭhārasa dhātuyo 十八界
aṭṭhārasa buddha-dhammā 十八佛法
aṭṭhārasa bhedakara-vatthūni 十八破事
aṭṭhārasa manopavicārā 十八意行，十八意近行
aṭṭhārasa mahā-vipassanā 十八大觀
aṭṭhārasa vijjaṭṭhānāni 十八種學藝，十八科目の學問＝十八學藝
aṭṭhārasa vyākaraṇāni 十八記別
aṭṭhārasa sippāni 十八學藝，十八種の學藝＝十八種學藝
aṭṭhārasa seṇiyo 十八の組合
aṭṭhi 骨，骸骨〔三十二身分の一〕
aṭṭhika 骸骨相，骨
Aṭṭhika〔經〕骨 S 46 57
aṭṭhi-kaṅkala 骨聚，骨鎖，骨の堆積
aṭṭhikaṅkalupamā 骨鎖の如く，骸骨の喩
aṭṭhika-saṅkhalikā 骸骨の連鎖，骨鎖，骸骨，骨鎖想*
aṭṭhika-saññā 骸骨想，骨想～骨相觀
aṭṭhita-dhamma 不住法
aṭṭhi-puñja 骨の積累
aṭṭhi-maya 骨製
aṭṭhimiñjā 髓，骨髓〔三十二身分の一〕
aṭṭhi-rāsi 骨の積聚，骨聚
aṭṭhilla 牛脛骨
aṭṭhi-saṅkhala 骨鎖
aṭṭhi-saṁkhalikā 骸骨，骨鎖，骸骨の連鎖
aṭṭhi-saṅghāṭa 骨の集聚，骨鎖
aṭṭhi-sañcaya 積める骨
aṭṭhi-saññā 骨相觀～骨想，骸骨想
Aṭṭhisena〔婆，佛の前生〕アッティセーナ
Aṭṭhisena-jātaka アッティセーナ•ヂャータカ，アッティセーナ婆羅門本生物語 J 403
Aṭṭhissara〔辟〕アッティッサラ
Aṭṭhīpesi〔經〕骨鎖 S **19** 1
aṭha-kaṁma（A）政務
aṭha-vaṣa-abhisita（A），aṭha-vaṣābhiṣita（A）灌頂八年
aḍḍha 富裕，富者
Aḍḍhakāsikā〔婬女，尼〕半迦尸〔譬喩經〕Ap 4 37
Aḍḍhakāsī〔婬女，尼〕アッダカーシー，半迦尸
aḍḍha-kumbha 半水の甕
aḍḍha-kusi 小壇
aḍḍhacanda〔花〕アッダチャンダ
Aḍḍhacandiya〔比丘の譬喩經〕アッダチャンディヤ Ap 3 263
Aḍḍhacelaka〔比丘の譬喩經〕アッダチェーラカ Ap 3 93
aḍḍha-telasa bhikkhu-sata 千二百五十比丘
aḍḍhapallaṅka 半跏趺坐〔比丘尼の〕
aḍḍha-māsaka 半錢
aḍḍhayoga 片屋根家，金翅鳥家，平覆屋
Aḍḍhayoga〔殿〕アッダヨーガ
Aḍḍha-vagga 半品 J 371～375
aṇu 微
aṇu-dhamma 微法
aṇu-matta 極微量，微量
aṇumatta vajja 細罪，微罪，微量の罪，微小の罪，微細の罪，小罪，少罪，少少罪，少量の罪
aṇusahagata kāmarāga 微俱行欲貪，微俱行貪欲
aṇusahagata byāpāda 微俱行瞋恚
aṇḍa 睾丸，陰嚢
aṇḍa-kosa 卵殼
aṇḍaja 卵生，卵生者
aṇḍaja-nāga 卵生龍
aṇḍaja-yoni 卵生〔四生の一〕
aṇḍaja-supaṇṇa 卵生金翅鳥

Aṇḍabharī-gāmakūṭako〔經〕腐敗せる判官 S 19 10
Aṇḍabhūta-jātaka アンダブータ・ヂャータカ，生卵本生物語 J 62
aṇṇava 海，海洋
atapanīya 非煩苦
atapanīya dhamma 非苦行法
Atappa deva 無熱天
atammaya 彼類を有せず
atammayatā 無彼作性，不彼作性，不彼所成性＝無渇愛
ataramāna 緩徐者
atāṇa 無救護所，無護
atikkanta-saññin 過想
aticārin 姦通者，犯し行ふ
aticārinī 姦婦
Aticārī〔經〕犯行 S 37 9
aticchatā 過欲
atijāta-putta 優生兒
atithi 賓客
atidiṭṭhi 增上見，勝見
Atideva〔婆，佛の前生〕アティデーヴ，越天
atidhāvati 超越す
atinijjhāyitatta 極觀察性
atinipāta 卑卑慢
atinivāsa 久住〔五失〕
atipaggahita citta 太高心
Atipaṇḍita〔人〕大賢
atiparitta〔ālambana〕極小〔所緣〕
atiparisuddhuppāda 極遍淨起
atibala〔鳥〕アティバラ
atimahanta〔ālambana〕極大〔所緣〕
atimāna 高慢，過慢，憍慢
Atimāna〔章〕過慢 A 8〔10〕15
atimānin 過慢者，過慢〔者〕，高慢
atimīḷhaja 大糞聚生
atimutta, atimuttaka〔花，樹〕アティムッタ，アティムッタカ，阿希物多，阿提目多迦，善思，苣藤龍舐
atimuttaka-mālā 阿希物多華鬘，善思華鬘
atiyakkhā 巫女
atiyācaka 過求
atiritta-bhojana 殘餘食，殘食
atireka-cīvara 長衣
atireka-tisata-aṭṭhika-samussaya 三百餘の骨聚
atireka-patta 長鉢
atireka-lābha 餘得，餘分の得
atirekavīsativagga-bhikkhusaṁgha 過二十比丘僧伽〔五種僧伽の一〕
atireka-saññin 過想
atilīna-viriya 懈怠
atilobha 過欲
ativākya 誹謗
ativisā〔植〕アティギサー，麥冬
atisāra 違越，過誤
atisāra-diṭṭhi 過誤の見～違越
atīta 過去，過去時
atīta-addhan 過去時，過去世
Atītaṁ khandhā ti ādi-kathā 過去等蘊論 KV 1 7
atītaṁ khandhā ti kathā 過去蘊論
atītaṁsa-ñāṇa 過去分智
atīta-citta 過去心
atīta-cittakkhaṇa 過去心刹那
Atītattika 過去三法 Tika 18
atītattika-kusalattika 過去三法善三法 Tika-tika 38
atītattika-saraṇaduka 過去三法有諍二法 Tika-duka 90
atītattika-hetuduka 過去三法因二法 Tika-duka 18
atīta dhamma 過去法
atīta-buddha 過去佛
atīta-bhāva 過去性
atītādi khandhā 過去等は蘊なり
Atītānāgatapaccuppanna〔經〕過去未來現在 S 22 9～11
Atītānāgatapaccuppanna-kathā 過去未來現在論 KV 9 12
atītānāgatapaccuppannānaṁ kamma-samādānānaṁ ṭhānaso hetuso vipākaṁ yathābhūtaṁ ñāṇabalaṁ 過去未來現在業所

得異熟從處從因如實智力，業異熟智力
atītārammaṇa 過去所緣
Atītārammaṇa-kathā 過去所緣論 KV 9 6
atītārammaṇa citta 過去所緣心
Atītārammaṇattika 過去所緣三法 Tika **19**
atītārammaṇattika-kusalattika 過去所緣三法善三法 Tika-tika 39
atītārammaṇattika-saraṇaduka 過去所緣三法有諍二法 Tika-duka 91
atītārammaṇattika-hetuduka 過去所緣三法因二法 Tika-duka 19
atītārammaṇa dhamma 過去所緣法
Atītena〔經〕過去にて S 35 173～178
atīraka-ñāṇadassana 無涯の智見
atula 無等，不平等
Atula ①〔尸棄佛の子〕アトゥラ，無比 ②〔醫〕アトゥラ ③〔塞〕アトゥラ ④〔龍王，佛の前生〕アトゥラ，アツラ，無比
Atulya〔傳◦轉輪王〕アトゥルヤ
atekiccha 救ふべからず
atta 自己，我，我體
Atta〔經〕我 S 45 52, 59, 66, 73, 80, 87
atta-kāma 自愛
attakāma-pāricariyā 婬欲供養
attakāma-rūpa 自愛形，自我を愛する者
atta-kilamatha 苦行，自己苦惱，自己の難苦，自の煩苦
attakilamathānuyoga 苦行への耽溺～自己苦惱，自の煩苦
atta-garahin 自ら呵すべきこと
attaññū 自己を知る
attattha 己利，自利，自義
attattha-parattha 自他の利
Attadaṇḍa-sutta アッタダンダ・スッタ，執杖經 Sn 4 15
Attadaṇḍasutta-niddesa 執杖經の義釋 MNd 15
atta-diṭṭhi 我見
atta-dīpa 自を洲とす，自洲，自己の依所，自らを島とす
Attadīpa〔經〕自洲 S 22 43
Attadīpa-vagga 自洲品 S 22 43～52
attan=atta
Attanipātana-pañho 投身の問 Mil 4〔5〕3
attaniya 我所
Attano〔經〕我 S 35 166
attano gati 自己の依所
attan-tapa 自を苦しむ，自を苦しめ，自苦〔者〕
atta-paṭilābha 我得〔三種〕
atta-paritta 自護呪
atta-bhāva 自體，自性
attabhāva-paṭilābha 自性獲得，自體得，得自體
Atta-vagga 自己品 Dhp **12** vv 157～166
attavāda 我論
attavāda-paṭisaññuttā diṭṭhi 我論所應見
attavādupādāna 我論取，我語取=有身見〔四取の一〕
atta-sañcetanā 自思
atta-saññā 我想
atta-sampadā 我具足
atta-sambhava 我有
atta-saraṇa 自を依とす，自を依處とす，自らを歸處とす
atta-sāra 我堅實
atta-hita 自利
attahita parahita 自利利他
atta-hitāya paṭipanno 自利行
attā ca loko ca 我と世界，我と世間
attāṇa 無護，無救護所
Attādāna-vagga 自取品 V 3 15, 5
attādhipateyya 我增上，自增上〔三增上の一〕
attānaṁ rakkhanto paraṁ rakkhati 自を護らば他を護る
Attānu〔經〕我 S 22 155
attānudiṭṭhi 我隨見，我の隨見，自我の見，隨我見=有身見
Attānurakkhita〔經〕自護 S 3 5
attānuvāda-bhaya 自責の怖畏，自責畏，自毀の怖畏
Attāḷhidhātusena〔精舍〕アッタールヒダートゥセーナ
attā hoti arogo 我は病むことなし
attukkaṁsaka-paravambhaka 自讚毀他

attukkaṁsana-paravambhana 自讃毀他
attūpanāyika dhamma-pariyāya 自利の法門
attha 勝義，義，利，善利，利益，饒益，理，義利，義趣，義務，義理
Attha〔經〕義 A **10** 137，181
atthaṁ upaparikkhati 義を觀察す
attha-karaṇa 裁斷，裁判の座
Attha-karaṇa〔經〕裁斷 S **3** 7
attha-kavi 義詩人
Atthakāma-vagga 利愛品 J 41～50
atthakkhāyi-mitta 善利を告ぐる友
atthagama 滅，滅沒，滅壞，滅盡，絕滅
attha-gambhīratā 義甚深
atthaṁgata 日沒
atthaṁgata-suriya 日沒
atthaṅgama=atthagama
attha-cara 利行人
attha-cariya 慈善家
attha-cariyā 利行〔四攝事の一〕
atthajāpikā paññā 性生の慧
Attha-jāla 義網〔經〕=梵網經
atthaññu 義を知る
atthaṭṭha 存在
Atthadassin ①〔佛〕アッタダッシー，義見 ②〔王〕アッタダッシー ③〔比〕アッタダッシー，利見
attha dhamma 義と法，利と法，事相理相
attha-nānatte paññā 義の種種相の慧
attha-paṭibhāna 義辯
attha-paṭisaṁvedin 義を領解す〔る者〕
attha-paṭisambhidā 義無礙解，義無礙辯
attha-paṭisambhide ñāṇaṁ 義無礙解智
attha-pada 句義，義と句
attharaṇa 敷具
attharaṇa-pāvuraṇa 褥被
attha-rasa 義味
attha-vasa 道理，義，利益，義利，義理，義趣，果報，因由，因力
Atthavasa-vagga 義利品 V **3** 19，2
atthavase pakaraṇaṁ 義利論
atthavādin 義語者，義說者
attha-veda 義の信受，義受，利義
attha vyañjana 義と文
attha-saṁhita 義と相應せる，利を引く，利益
atthasaṁhita anatthasaṁhita 利と不利
atthasaṁhita bhāsita 利を引く語
Atthasandassaka〔比丘の譬喩經〕アッタサンダッサカ Ap **3** 137
attha-sandassane ñāṇaṁ 義を顯示する智
attha-sarikkhatā 義相似性
Atthasālinī〔法集論の義疏〕アッタサーリニー，勝義說 DhsA
Atthassadvāra-jātaka アッタッサドヷーラ・ヂャータカ，利益門本生物語 J 84
atthassa dvāro 利益の門
atthassa ninnetā 利益を齎らす〔者〕，利益の將來者，義を齎らす者
atthāra 受持
atthāraka 作衣者
atthi arahato aññāṇaṁ 阿羅漢に無知あり
atthi arahato kaṅkhā 阿羅漢に猶豫あり
atthi arahato paravitāraṇā 阿羅漢に他令入あり
Atthi arahato puññūpacayo ti kathā 阿羅漢有福業積集論 KV **17** 1
atthika-vāda 說有論者，〔死後の〕存在を說く
atthitā natthitā 有と無
atthi devo 天あり
atthidhamma 存在法
Atthi nu kho pariyāyo〔經〕因由ありや S **35** 152
atthi-paccaya 有緣〔二十四緣の一〕
atthipaccaya-niddesa 有緣廣說
atthi-bhāva 實有
Atthi-rāgo〔經〕有貪 S **12** 64
atthi-sukha 所有の樂
atthupaparikkhā 觀義，義の研求
atthūpaparikkhin 義を觀察す〔る者〕
atha-kaṁma (A)=attha-kamma 政務
Athabbaṇa-veda〔婆羅門書〕阿闥婆吠陀
Atharandāmahābodhikkhandha〔村〕アタランダーマハーボーディッカンダ

Athalayunnāḍu〔地名〕アタラユンナードゥ
Athalayūru〔ダミラ人〕アタラユール
Athassumegha〔辟〕アタッスメーガ
athra-krama (A)=attha-kamma 政務
adanta-maraṇa 不調御の死
Adanta-vagga 無調品 A **1** 4
adalidda 不貧
Adalidda〔經〕不貧 S **46** 47
adasaka nisīdana 無緣座具，無縷邊坐具
adassana 無見
Adassanā〔經〕無見 S **33** 6～10
adāna-sīla 吝嗇
adāsa〔鳥〕アダーサ
adinna 不與物
Adinna〔經〕不與 S **56** 72
adinna-ādiyana 不與取～次項
adinnādāna 與へられざるを取る，與へられずして取ること，不與取，偸盜，竊盜
adinnādānā paṭivirato 離偸盜者
adinnādānā veramaṇī 不與取を離るること，不與取の離，不偸盜，離不與取
adinnādānā veramaṇī sikkhāpada 不與取より遠離の學處，不偸盜戒
adinnādāyin 與へられざるを取る者，不與取者，偸盜者
adukkhamasukha 不苦不樂，非苦非樂＝捨
adukkhamasukha-cetovimutti-samāpatti 不苦不樂なる心解脫の入
adukkhamasukhā cetovimutti 不苦不樂心解脫
adukkhamasukhāya vedanāya sampayutta-cetanā 不苦不樂受相應思
adukkhamasukhāya vedanāya sampayutto dhammo 不苦不樂受相應法
adukkhamasukhā vedanā 不苦不樂受，非苦非樂受＝捨受
adukkhamasukhin 不苦不樂〔者〕
Adukkhamasukhī〔經〕非苦非樂 S **24** 44
adukkhamasukhī attā ca loko ca 我と世界とは不苦不樂を有するものなり
adukkhamasukhī attā hoti arogo 苦にも非ず樂にも非ざる無病の我有り
adukkhe dukkhan ti 非苦を苦と謂ふ
aduṭṭha 無瞋
aduṭṭhulla 非麤惡，非麤惡語，非麤語
aduṭṭhullā āpatti 非麤罪，非麤重犯，不麁罪
adesa 非處
adesanāgāminī āpatti 非應悔罪，非教誡罪
adosa 無瞋
adosa-avyākatamūla 無瞋無記根
adosa-kusalamūla 無瞋善根〔三善根の一〕
adosajjhāsaya 無瞋意樂
adosa-hetu 無瞋因
addha-kahāpaṇa 半錢
addha-gata 晩年
addhagū 遍歷者
addha-daṇḍa 棒，半杖
addha-daṇḍaka 半杖，棍棒
addha-māsa 月の黑分白分，半月
Addhariya〔婆〕アッダリヤ
Addha-vagga 勝品 S **1** 61～70
addhā 確かに，必ず
Addhā-kathā 世論 KV **15** 3
addhāna ① 時間，世 ② 旅行〔障礙〕，行路
Addhāna〔經〕行路 S **45** 44; **54** 19
addhānagamana-samaya 行路時，旅行時
addhānantaratā 事無間性
Addhāna-pañha 時間の問 Mil **2**〔3〕1
addhāna-pariccheda 時限
addhāna-pariññā 行路の遍知，行路を遍知す
addhāna-magga 道路
addhāna-samuṭṭhāna 道戒等起
addhā-paccuppanna 一期現在
addhāmalaka 半菴摩羅果
addhuva=adhuva 不堅固，不恒
Addhuvasīla〔人〕アッドゥヴシーラ
Adha (A)〔國〕アンドラ，案達，案達羅
adhana 窮者，貧困者
adhamma 非法，不法，邪法
Adhamma ①〔天子〕アダンマ，非法 ②〔夜叉〕アダンマ ③〔經〕非法 A **10** 113～115, 173
adhammaka 非法者

adhamma-kamma　非法羯磨，非法の羯磨，非法業
adhammakamma-dvādasaka 非法羯磨十二事 V 2 b 1 (2)
adhamma-cariyā 非法行
adhammacārin 非法行〔者〕
adhamma-cuditaka 非法被呵責，非法被呵責者，非法被難詰
adhammacuditaka bhikkhu 非法被難詰比丘，非法被呵責者
adhamma-codaka　非法呵責，非法呵責者，非法難詰比丘
adhammaṭṭha 非法住者
adhamma-rāga 非法貪，非法欲
adhammavādin 非法說，非法說者，非法語者
adhammavādino parisā 說非法衆會
Adhammādi-vagga 非法等品 A **1** 10, 11
adhammā parisā 非法衆會
adhammika 非如法，非法，不如法
adhammika-pātimokkha-ṭhapana 非法遮說戒
adhammika vāda 非法說
adhammena vaggakammaṁ 非法別衆羯磨〔四種羯磨の一〕
adhammena samaggakammaṁ 非法和合羯磨〔四種羯磨の一〕
Adharaṭṭeri〔地名〕アダラッテーリ
Adhikakka〔河〕アディカッカ
adhikaraṇa ① 諍，諍事，諍論，論事，事柄 ② 事，作務，依所
Adhikaraṇa〔經〕鬪諍 A **10** 87
adhikaraṇaṁ vūpasameti 諍事を滅する〔適否の者〕
adhikaraṇa-kāraka 諍事を作す，諍論者，諍論す，口論者，爭論す
adhikaraṇaññabhāgiya 事異事
Adhikaraṇapaccaya-vāra 諍事緣章 V 3 4 (6)
Adhikaraṇa-bheda〔章〕諍事分解 V 3 9
Adhikaraṇa-vagga 諍論品 A 2 2
Adhikaraṇa-vāra 諍事章 V 3 1 (6, 14)
Adhikaraṇavūpasama-vagga 滅諍品 V 3 15 (10)
adhikaraṇa-saṁgaha 諍事聚
adhikaraṇa-samatha 滅諍法，止諍，止諍法，滅諍，滅法〔七種〕V **1** a 8; **1** b 7; **2** b 4
adhikaraṇika 鬪諍〔者〕
adhikāri〔官職〕アディカーリ
adhikuṭṭanā 斷頭臺
adhigama 得達，證得
adhigamantaradhāna 證得隱沒
adhigamesu paṭibhānavā 證得に對する應辯具者
Adhigayhamanasikāra-kathā 超越作意論 KV **16** 4
adhicitta 增上心
adhicitta-sikkhā 增上心學〔三學の一〕
adhicca 無因，自然
adhicca-samuppanna 無因生，自然生
adhicca-samuppannika 無因生論，無因生起說者，無因論
adhiccāpattika 偶然の犯罪
Adhicchattiya〔比丘の譬喩經〕アディッチャッティヤ Ap 3 141
adhijeguccha 增上遁世
adhiṭṭhāna　取著，持，受持，攝受，攝持，決意，加持，處，住著，偏見，依處，所托
adhiṭṭhāna-citta 決意心
adhiṭṭhāna-pāramī 決定波羅蜜，受持波羅蜜，加持波羅蜜〔十波羅蜜の一〕
adhiṭṭhāna-bala 攝持力，決意力
adhiṭṭhāna-vasin 攝持自在，在定自在
adhiṭṭhāna-suñña 攝持空
adhiṭṭhānā iddhi 攝受神通，決意神變
adhiṭṭhānuposatha 受持布薩
adhiṭṭhāne paññā 攝持の慧
adhiṭṭhāya〔ghāteti〕教殺
adhiṭṭhita 受持～攝持，加持，依處，住著
adhideva-ñāṇa-dassana 依天智見
adhipacca-saṁvattanīya kamma 支配を引く業
adhipaññatti 增上智，增上施設
adhipaññā 增上慧
adhipaññādhamma-vipassanā 增上慧法觀，增上慧による法の觀，增上慧法正觀

adhipaññā-vipassanā 增上慧觀，增上慧正觀
adhipaññā-sikkhā 增上慧學〔三學の一〕
adhipatattā paññā 增上性の慧
adhipati-paccaya 增上緣〔二十四緣の一〕
adhipatipaccaya-niddesa 增上緣廣說
adhipateyya 增上，卓越性，威力〔三種〕
adhipātaka 蛾
adhipātimokkha アディパーティモッカ，增上波羅提木叉
adhippāya 欲求，意趣，思量，興趣
adhippāya-iddhi 意趣神通
adhippāyosa 特相
adhimatta 增上
adhimāna 增上慢
adhimānika 增上慢〔者〕
adhimucca 信解，勝解
adhimutta 信解，勝解者〔六種〕
Adhimutta〔比〕アディムッタ，阿提目多〔譬喩經〕Ap 3 36
adhimutta-citta 心勝解，勝解心
adhimutti 增上解脱，勝解，信解，意志
Adhimutti〔經〕勝解 A 10 22
adhimutti-pada 勝解處
adhimokkha 勝解，信解
adhivacana 同義語，增語，增上語，名目，名辭，喩語
adhivacana dhamma 增語法
adhivacana-patha 增語の道，增語路，增語道，名目道
adhivacanapatha dhamma 增語道法
adhivacana-samphassa 增語觸，名目の觸
adhivāsana 忍，忍受，承認
adhivāseti 忍受す
adhivutti-pada 浮說
adhisīla 增上戒
adhisīla-sikkhā 增上戒學〔三學の一〕
adhuva=addhuva 不恒，不堅固
Adhokuraṁ〔村〕アドークラン
adhogama-vāta 下向風，下行風，下向の風
Adhopupphiya〔比丘の譬喩經〕アドーフッヒヤ Ap 3 84
adhobhāgiya-saṁyojana 下分結
adhomukho bhuñjati 口を下にして食す
anakkhāta 不可說法＝涅槃
anagāra-muni 非家牟尼
anagāriya 非家
anagāriyaṁ pabbajati 出家修行者となる～出家行者
anagāriyaṁ pabbajito 出家行者～出家修行者となる
anaggavatī parisā 無有上の衆會
anaṅgaṇa 無穢
Anaṅgaṇa-sutta アナンガナ・スッタ，無穢經 M 5
anajjava 不質直
anajjhosāna 無執著
anaññathatā 不他性，不異如性
anaññatha-vādin 確定論者
anaññathā 眞實，不異，不異如
anaññātaññassāmītindriya 未知當知根〔三無漏根の一〕
anaṇa 無債者，債なき人，負債無き
anaṇa-sukha 無債の樂
anaticārin 犯し行はざる
Anaticārī〔經〕無犯行 S 37 19
anatimāna 無過慢
anatiritta-bhojana 非殘食，殘食にあらざる〔波逸提〕
anativattana 不超越
anattan 非我，無我
Anattana〔比〕アナッタナ
anattani attā ti 非我を我と謂ふ
anattani attā ti vipallāso 無我を我なりとする顚倒
anattaniya 自の所應に非ず，非我所
Anattaniya〔經〕非自所應 S 22 69
anattamana 不喜心
anatta-lakkhaṇa 無我相
Anattalakkhaṇa-sutta アナッタラッカナ・スッタ，無我相經～S 22 59
anatta-saññā 無我想
Anattā〔經〕無我 S 22 14, 68 ; 23 17, 18, 29,

30, 41, 42; **35** 3, 6, 9, 12, 45; **46** 73
anattākāra 無我相
anattānupassanā 無我觀，無我隨觀
anattukkaṁsakatā aparavambhitā 自讃せず毀他せざる性
Anattena〔經〕無我 S **22** 143～145
anattha 不饒益，不利，無義，無益，無利，非義，非理
anattha-vādin 無益語者，無義說者
ananuññāta-samuṭṭhāna 不聽等起
ananubodha 不了悟
Ananubodha〔經〕不了悟 S **33** 16～20
ananuyoga 不勤行
Ananusociya-jātaka アナヌソーチヤ・ヂャータカ，不可悲本生物語 J 328
Ananussuta〔經〕未聞 S **47** 31
ananussuta dhamma 未聞の法，未だ聞かれざりし法
Ananussuta-vagga 未聞品 S **47** 31～40
ananta 無量，無邊
Ananta ①〔龍〕アナンタ ②〔浴池〕
Anantajālin〔傳◦轉輪王〕アナンタヂャーリ
ananta-jina 無限勝者，無邊勝者
ananta-ñāṇa 無邊知者
anantara 無間
anantara-paccaya 無間緣〔二十四緣の一〕
Anantarapaccaya-kathā 無間緣論 KV **14** 3
anantarapaccaya-niddesa 無間緣廣說
Anantara-peyyāla 無間省略 V **3** 4, 1～16
Anantarā-payutta-kathā 無間〔業〕計畫者論 KV **13** 3
anantarāyikā āpatti 不障罪
anantarūpanissaya 無間親依止，無間親依
anantavant 無邊
Anantavā〔經〕無邊 S **24** 12
anantavā attā ca loko ca 我と世界とは無限なり
anantavā-diṭṭhi 無邊見
anantavā loko 世は無邊なり，世界は無限なり，世界は無邊なり，世間は無邊なり
anantevāsika 無內住

anapaviddha-dāna 不[illegible]惜施
anabhijjhā 無貪，無貪欲，離貪〔十善業道の一〕
anabhijjhā dhammapada 無貪法足，無貪法迹〔四法足の一〕
anabhijjhālu 無貪欲者，不貪欲者
anabhijjhālutā 無貪欲性
anabhinandana 無愛樂
anabhinibbatti 不轉生
anabhinibbatti-sāmaggī 不生和合
anabhibhūta 無能勝者，不可征者
anabhirati 不欣喜，不可樂
Anabhirati〔經〕不可樂 S **46** 70
Anabhirati-jātaka ① アナビラティ・ヂャータカ，懊[illegible]本生物語 J 65 ②アナビラティ・ヂャータカ，不喜本生物語 J 185
anabhiraddhi 忿怒
anabhisamaya 不現觀
Anabhisamayā〔經〕不現觀 S **33** 11～15
anabhisametāvin 未現觀者
anabhissara 無主
anamatagga 無始
Anamatagga=Anamataggiya〔經〕無始〔終〕
Anamatagga-pariyāya 無始流轉の教～次項
Anamatagga-saṁyutta アナマタッガ・サムユッタ，無始相應 S **15** 1～20
anamatagga saṁsāra 無始の輪廻
anamataggiya 無窮の輪廻
Anamataggiya=Anamatagga
anaya 禍
anariya 不聖，非聖
anariya-dhamma 非聖法
anariya-pariyesanā 非聖求，非聖尋求
anariya-magga 非聖道
anariya-vohāra 非聖語，非聖言，非聖者言說，非聖者の言說
anariya-sukha 不聖樂，非聖樂，非聖の樂
anariyā parisā 非聖衆會
anavajja 無罪，無過，無瑕，訶責なきもの
Anavajja〔經〕無過 A **10** 140, 184
anavajja-āhāra 無瑕の食
anavajja-kamma 無罪業，無呵責業

anavajjatā 無罪
anavajja-paññatti 無罪制
anavajja-bala 無罪力, 無呵責力
anavajja-bhogin 無罪受用者
anavajja-sukha 無罪の樂
anavaññatti 名譽
anavaññatti-paṭisaṁyutta vitakka 不輕賤相應の尋, 不輕賤に關係せる尋, 不陵蔑尋, 不被害相應尋, 無蔑相應の尋思
anavaññatti-mada 不呵毀憍
anavatti-dhamma 不轉生法
anavattin 不還, 不退還, 不退轉, 還らざる
anavasesa-dohin 殘り無く乳を搾る, 遺餘なく犨る
anavasesā āpatti 無殘罪, 無殘犯, 無餘罪, 無餘犯
anavassuta 不漏泄, 無流漏
anavassuta-pariyāya 不漏泄の教法, 無流漏の教說
anasana 斷食
anassāsika 不安, 安息を與へざる
anassāsika brahma-cariya 安息を與へざる梵行〔四種〕
anāgata 未來, 未來時
anāgata addhan 未來世, 未來時
anāgataṁsa-ñāṇa 未來分智
anāgata-citta 未來心
anāgata-cittakkhaṇa 未來心刹那
Anāgatañāṇa-kathā 未來智論 KV 5 8
anāgata dhamma 未來法
Anāgata-pañho 未來の問 Mil 2〔7〕3
anāgata-bhaya 未來の怖畏, 當來怖畏〔五種〕
Anāgata-bhayāni〔經〕當來怖畏, 未來の怖畏
anāgata-bhāva 未來性
anāgatārammaṇa 未來所緣
Anāgatārammaṇa-kathā 未來所緣論 KV 9 7
anāgatārammaṇa citta 未來所緣心
anāgatārammaṇa dhamma 未來所緣法
anāgamaniya vatthu 不應近事
anāgāmitā 不還性, 不還, 不還位, 不還果
anāgāmin 阿那含, 不還, 不還者, 不還來者
anāgāmi-niyāma 不還決定
anāgāmin bhikkhu 不還の比丘
anāgāmi-phala 阿那含果, 不還果
anāgāmi-phala citta 阿那含果心
anāgāmiphala-sacchikiriyā 不還果現證, 不還果應證
anāgāmiphalasacchikiriyāya paṭipanno 向不還果現證者, 不還果應證位成就人, 不還果能作證向人, 不還果作證向, 不還果を證すべく修行する者, 阿那含向
anāgāmiphala-samāpatti 不還果得, 不還果等至, 阿那含果定
anāgāmi-magga 阿那含道, 不還道
anāgāmi-magga citta 阿那含道心
anāgāmimagga-samaṅgin 不還道具足者
anāgāmimagge ñāṇaṁ 阿那含道智
anāgāra～anagāra 出家者
anāgārika mitta 非家の友
anāgārika-vibhūsā 出家者の嚴飾
anācariyaka 無師範
anācāra 非法, 非行, 非法行, 不正行, 不淨行
anāciṇṇa 非常法
anājānīya 凡庸なる者
anātāpin 不熱心
anātura 無病
Anātha〔佛〕アナータ
Anāthapiṇḍika ①〔居士, 天〕アナータピンディカ, 給孤獨＝須達 ②〔經〕給孤獨 S 2 20
Anāthapiṇḍika-vagga 給孤獨品 S 2 11～20
Anāthapiṇḍikassa-ārāma 給孤獨園＝祇園精舍, 祇樹給孤獨園
Anāthapiṇḍikovāda-sutta アナータピンディコーヴーダ・スッタ, 教給孤獨經 M 143
anādariya 輕侮, 輕侮す, 不恭敬, 不尊敬
Anāpattādi-vagga 無犯等品 A 1 12
anāpatti 無罪, 無犯, 不犯, 非罪, 非罪過
anāpattika 無罪
anāpattikara-dhamma 生無罪法
Anāpatti-pannarasaka 無罪十五事, 無罪十五事品 V 2 a 2, 28
anāpanna 不犯

anābhoga 無功用，無觀念，不思惟
anāyatana 非因
anāyussa 壽を損する〔五法〕
anāyūhanā 不存積
anārambha 無難處
anārammaṇa dhamma 非所緣法，無所緣法
anārocanā 不告，不告示〔夜斷〕
anālaya 不執藏，無執著，非所執處，非住
anālayagāmi-magga 非住に達するの道
Anālayo〔經〕非住 S 43 39
anāḷhiya 困窮
anāvatti-dhamma 不退還法，不還の法，不退轉なる法，還らざる者，還り來らざる者，不還
anāvaraṇa-ñāṇa 無障智，無礙智
anāvila 無濁
anāvila citta 濁らざる心
anāsaka 斷食者～斷食
anāsakatta 斷食
anāsakā 斷食～斷食者
anāsava 無漏
Anāsava〔經〕無漏 S 43 14；A 10 139, 183
Anāsava-kathā 無漏論 KV 4 3
anāsavagāmi-magga 無漏に達するの道
anāsava dhamma 無漏法
anāsava-sukha 無漏樂
anāsavā paññā 無漏慧
anāsā 非望
anāsā-doḷasaka 非望十二事 V 2 a 7, 8
anāsitaka 不擯滅人
anāhāro bojjhaṅgānaṁ 覺支の不食
Anikaratta〔王〕アニカラッタ
aniketa-sārin 居家なき者，住處に在らず
Aniketānālaya-pañho 無家無屋の問 Mil 4〔4〕5
anigha 無苦，悶なく
Anigha〔辟〕アニガ
anicca 無常
Anicca〔經〕無常 S 23 13, 14, 25, 26, 37, 38；46 71
Aniccaṁ〔經〕無常 S 22 12, 66；35 1, 4, 7, 10, 43；36 9
aniccatā 無常性
Aniccatā〔經〕無常 S 22 45, 46
Aniccatā or Saññā〔經〕無常性(想) S 22 102
Aniccatā-kathā 無常性論 KV 11 8
anicca-lakkhaṇa 無常相
Anicca-vagga 無常品 S 22 12～21；35 1～12, 43～52
anicca-saññā 無常想，無常觀
aniccākāra 無常相
aniccānupassanā 無常隨觀，無常觀
aniccānupassin 無常の觀〔者〕，無常觀〔者〕
aniccā saṁkhārā 諸行は無常なり
anicce dukkha-saññā 無常に於て苦想，無常苦想，無常者苦想，無常卽苦想
Aniccena〔經〕無常 S 22 137～139
anicce niccan ti 非常を常と謂ふ
anicce niccan ti vipallāso 無常を常なりとする顚倒
aniñjana 不動
aniṭṭha ālambana 不好所緣
aniṭṭha-rūpa 非可愛相
Anitthigandha〔王子〕アニッティガンダ
anidassana 不可見，無見，無譬
anidassana appaṭigha 無見無對
anidassana-appaṭigha dhamma 無見無對法
anidassana-appaṭigha rūpa 無見無對色〔三色聚の一〕
Anidassanaṁ〔經〕無譬 S 43 22
anidassanagāmi-magga 無譬に達するの道
anidassana dhamma 無見法
anidassana rūpa 無見色，不可見色
anidassana-sappaṭigha 無見有對
anidassana-sappaṭigha dhamma 無見有對法
anidassana-sappaṭigha rūpa 無見有對色〔三色聚の一〕
anindriya-baddha 非根縛〔苦〕
aniphanna 不完〔色〕
anibbatti 不生成
animitta 無相，無因相，不因相，無形
animitta-cetovimutti-ṭhiti 無相心解脱の住
animitta-cetovimutti-vuṭṭhāna 無相心解脱よりの起

animitta-cetovimutti-samāpatti 無相心解脱の人
animitta cetosamādhi 無相心三摩地，無相心三昧，無相の心三昧，無相心定，無相なる心定
animitta jhāna 無相禪＝無相定
animitta-dhātu 無相界
animittaphala-samāpatti 無相果等至
animitta-phassa 無相觸
animitta-vipassanā 無相觀
animitta-vimokkha 無相解脱，無相の解脱，無因相解脱〔三解脱の一〕
animitta-vihāra 無因相住，無相住
animittavihāra-samāpatti 無相住定
animitta vihārin puggala 無相住補特伽羅
animitta samādhi 無相定，無相三昧，無相三摩地＝無相禪〔三定の一〕
animitta-samāpatti 無因相等至，無相正受
animittā 無相女
animittā ceto-vimutti 無相心解脱
animittānupassanā 無相觀，無相隨觀，無因相觀
animittā samāpatti 無相正受，無因相等至
Animitto〔經〕無相 S 40 9
aniyata 非決定，不定，不決定，不定者，不決定人
aniyata-dhamma ① 非決定法，不定法 ② 不定法，二不定 V 1 a 3
aniyata-rāsi 不定聚〔三聚の一〕
aniyatā āpatti 不決定罪，不定罪
aniyyānika dhamma＝anīyānika dhamma 不出法，不出離法
anila アニラ，風
Anivalakki〔koṭṭa〕〔地名〕アニヴラッキ〔コッタ〕
Anivalakkoṭṭa〔地名〕アニヴラッコッタ
anivatti 不退轉
anivattin 不退轉者
anissā ca amacchariyañ ca 不嫉と不慳
anissāyana 無嫉
anissita 無依，無依者，無執著，不依止
Anissita-vagga〔不〕依止品 V 3 15, 1
anissukin 不嫉者，不嫉，嫉なき
Anissukī〔經〕無嫉 S 37 17

anīka 軍隊，軍勢，扈從，兵隊
Anīkaṅga〔王子〕アニーカンガ
anīkaṭṭha 衛兵，近衛
anīka-dassana 閲兵
anītika 無災，無枉
Anītika〔經〕無災 S 43 32
anītikagāmi-magga 無災に達するの道
anītika-dhamma 無災法
Anītika-dhamma〔經〕無災法 S 43 33
anītikadhammagāmi-magga 無災法に達するの道
anīyānika dhamma 不出法，不出離法
anīvaraṇīya dhamma 不順蓋法
anukampaka 憐愍者，慈愍者，慈愛深く
anukampaka-mitta 同情ある友
anukampā 悲愍，悲愍心，同情，愍，哀愍心，哀憐，慈悲，憐愍
anukūla-yañña 隨〔族〕祀
Anukevaṭṭa〔婆〕アヌケーヴァッタ
anukkama 調歩，馬勒
anukkhittaka 順被擧人
anukhuddaka-sikkhāpada 隨小學處
Anugāra〔普行者〕アヌガーラ
anugiddha 隨貪
anuggaṇhāti 教護
anuggaha 攝益〔二種〕
anuggāhaka 誘披者
anucaṁkamana 遊歩
anucariyā 追隨
anucchaviya 適法，相合
anujāta putta 隨生兒
Anujīvisamiddha〔ダミラ人〕アヌヂーヸサミッダ
anujuka 不質直
Anujjā〔比豆梨の妻〕アヌッヂャー
anuññāta 許容
anuṭṭhāna 不精進
Anutīracārin〔獺〕アヌティーラチャーリン
anuttara 無上，最上者，無上者，無上士〔如來十號の一〕
anuttara-citta 無上心

anuttara dhamma 無上法
anuttara dhamma cakka 無上法輪
anuttara puññakkhetta 無上福田
anuttara purisadammasārathi 無上士調御丈夫
anuttara brahmacariya 無上梵行
Anuttara-bhisakka-pañho 無上醫師の問 Mil 4 〔4〕 9
anuttara yogakkhema 無上安穏，無上の安穏
Anuttara-saṁgāma-vijaya ①〔經〕無上戰勝＝梵網經 ②〔經〕無上戰勝＝多界經
anuttara santivara-pada 無上寂靜最上道
anuttara sammāsambodhi 無上等正覺，無上の等覺，無上の等正覺，無上正等覺，無上正等正覺
anuttariya 無上
Anuttariya-vagga 無上品 A **6** 21～30
Anuttiṇṇa〔比〕アヌッティンナ
anudayā, anuddayā 憐，哀愍，愛憐
anudiṭṭhi 邪見，隨見，見
anudūta 隨伴，隨伴者，同伴者
anudūta bhikkhu 隨伴比丘
anuddayatā 哀愍
anuddhaṁsati 誹謗す
anudhamma 隨順法，隨法
Anudhamma〔經〕隨法 S **22** 39～42
anudhamma-cārin 隨法行者，隨法行，隨法を行じ
anudhammatā 隨法行
anudhammatā-sati 隨法念，隨法の念
anudhamma-paṭipatti 隨法行
anunaya 隨從
anunaya-saṁyojana, anunaya-saññojana 愛結，隨貪結
anupaññatti 隨制，二制，隨結戒
anupada 隨句，隨語
anupada-dhamma-vipassanā 不斷の法觀，各別法觀
Anupada-vagga アヌハダ・ヴッガ，不斷品 M **111～120**
Anupada-sutta アヌパダ・スッタ，不斷經 M **111**

anupadhi 無依
anupadhika 無依
anupanāha 不恨
anupanāhin 恨なき，無恨〔者〕，不恨〔者〕
Anupanāhī〔經〕無恨 S **37** 16
anupapatti 不生起
Anupama ①〔スマナ佛の子〕アヌパマ ②〔シッダッタ佛の子〕アヌパマ，無譬喩
anupariyāya-patha 交通路
anupalakkhaṇā 不隨觀
Anupalakkhaṇā〔經〕不隨觀 S **33** 31～35
anupa-vajja 無罪
anupasama 非寂靜
anupasampanna 未受具戒者，未受具戒人，未具足者
anupasampanna-sīla 未具足戒
anupassanā 隨觀〔二種〕
anupassanā-ñāṇa 觀智
anupādā 不取著，無取，無取著，執取なく
anupādāna 無執著，無取，無取著
anupādāniya dhamma 不順取法
anupādā parinibbāna 無依涅槃，無取涅槃，無取般涅槃，無取著般涅槃，無餘般涅槃
Anupādāya〔經〕無取 S **45** 48
anupādā-vimutta 無取著解脱
anupādiṇṇa 非執受，無執受，非已取
anupādiṇṇa-anupādāniya dhamma 非已取非所取法，非已取非順取法，無執受無取法，不已取不順取法
anupādiṇṇa dhamma 無執受法，非已取法，非執受法，不已取法
anupādiṇṇa-rūpa 非執受色
anupādiṇṇānupādāniya dhamma 無執受無取法，非已取非所取法，非已取非順取法
anupādiṇṇupādāniya dhamma 無執受有取法，非已取所取法，非已取順取法，不已取順取法
anupādinna＝anupādiṇṇa 無執受，非已取，非執受，無生物
anupādisesa 無餘依，無餘
anupādisesa-nibbānadhātu 無餘涅槃，無餘涅槃界，無餘依涅槃界，無餘般涅槃，無取涅槃，

執取無き涅槃界
anupāyāsa 不害, 無悩
Anupiya ①〔園, 城〕アヌピヤ, 阿奴夷, 阿㝹夷土, 阿㝹比耶, 阿㝹夷 ②〔林〕阿奴夷
anupubba-kiriyā 漸漸行
anupubbato manasikāro 次第作意
anupubba-nirodha 次第滅, 次第滅尽〔九種〕
Anupubbanirodha〔經〕次第滅, 次第滅尽 A 9 31, 61
anupubba-paṭipadā 漸漸實踐
anupubba-passaddhi 次第輕安
Anupubba-passaddhi〔經〕次第輕安 A 9 59
anupubba-vihāra 次第住, 次第定〔九種〕
Anupubba-vihāra〔經〕次第住 A 9 32, 33
anupubbavihāra-samāpatti 次第住等至〔九種〕
anupubba-sikkhā 漸漸學
anupubbābhisamaya 漸現觀
Anupubbābhisamaya-kathā 漸現觀論 KV 2 9
anupubbi-kathā＝ānupubbi-kathā 隨次說, 次第說法
anuppatta-sadattha 己利を逮得し, 理想に逮達し
anuppanna 未生, 不已生
Anuppanna〔經〕未生 A 10 124, 128
anuppanna dhamma 未生法, 不已生法, 非已生法
anuppanna-paññatti 不隨犯制
Anuppannassa maggassa uppāda-pañho 未生の道を生ぜしむるものの問 Mil 4〔5〕10
anuppāda 不生, 無生
anuppāde ñāṇaṁ 無生智
anuppiyabhāṇita 追從
anuppiya-bhāṇin 甘言者
anubandhati 隨學す
anubandhanā 隨結
anubodha-ñāṇa 隨覺智
anubyañjana＝anuvyañjana 細相, 隨相, 隨好, 好, 隨形, 隨味, 別相, 文, 相, 抑揚, 隨相好
anubhavana 領納
anubhāva＝ānubhāva 勢力, 威力, 威神力
anubhāvatā 威力
Anuma〔ソービタ佛の侍者〕アヌマ
anumajjana 繼續思惟
anumati-kappa 承諾認容, 後聽可淨
anumāna 比量
Anumāna-pañho 比量の問 Mil 4〔9〕8
Anumāna-sutta アヌマーナ・スッタ, 思量經 M 15
anumodaka 隨喜者
anumodati 隨喜を述ぶ
anumodana 隨喜
anuyoga 修習, 修定, 專念, 隨勤, 檢問, 難詰
Anura〔園〕アヌラ
anurakkhaṇā-padhāna 隨護勤
anurakkhaṇābhabba 護不能〔者〕
Anurādha ①〔比〕アヌラーダ, 阿㝹羅度, 阿㝹羅陀 ②〔釋種〕阿㝹羅陀＝アヌラーダナッカッタ ③〔城〕アヌラーダ, 阿㝹羅陀＝アヌラーダフラ ④〔精舍〕アヌラーダ ⑤〔星〕アヌラーダ, 阿㝹羅陀
Anurādha-nakkhatta〔大臣〕アヌラーダナッカッタ＝阿㝹羅陀
Anurādha-pura〔都〕アヌラーダフラ＝アヌラーダ城
Anurādhapurābhigamana〔章〕アヌラーダフラに進軍 Cv 58
Anurādho ①〔經〕阿㝹羅度 S 22 86 ②〔經〕阿㝹羅陀 S 44 2
Anurārāma〔精舍〕アヌラ園
anuruddha 樂觀者
Anuruddha ①〔比, 天眼第一〕アヌルッダ, 阿那律, 阿那律陀, 阿㝹樓陀, 阿㝹樓馱 ②〔佛〕阿㝹樓陀 ③〔憍陳如佛の侍者〕アヌルッダ, 阿㝹樓陀 ④〔ヒヤダッシー佛の侍者〕阿那律陀 ⑤〔王〕阿㝹樓陀 ⑥〔ビルマ國王〕アヌルッダ, アノーラタ ⑦〔經〕阿那律 S 9 6; A 8 30, 46
Anuruddha-saṁyutta アヌルッダサンユッタ, 阿那律相應, 阿㝹樓陀相應 S 52
Anuruddha-sutta アヌルッダ・スッタ, 阿那律經 M 127
Anulatissa-pabbata〔精舍〕アヌラ・ティッサ山

Anulā ①〔吉祥佛の信女〕アヌラー ②〔迦葉佛の上足尼〕アヌラー，阿瓮羅 ③〔王妃〕アヌラー，阿瓮羅 ④〔賊ナーガ王妃〕アヌラー，阿瓮羅 ⑤〔王子妃〕阿瓮羅
anulepa 塗膏
Anulepadāyaka〔比丘の譬喩經〕アヌレーパダーヤカ Ap 3 308
anuloma 隨順，隨法，隨觀，順觀
anuloma-gotrabhū 順種姓有，隨順種姓
anuloma-ñāṇa 隨順智
Anulomadāyaka〔比丘の譬喩經〕アヌローマダーヤカ Ap 3 146
Anulomapaccanīya-tikattika-paṭṭhāna 順逆三法三法發趣
Anulomapaccanīya-tikaduka-paṭṭhāna 順逆三法二法發趣
Anulomapaccanīya-tika-paṭṭhāna 順逆三法發趣
Anulomapaccanīya-dukattika-paṭṭhāna 順逆二法三法發趣
Anulomapaccanīya-dukaduka-paṭṭhāna 順逆二法二法發趣
Anulomapaccanīya-duka-paṭṭhāna 順逆二法發趣
Anulomapaccanīya-paṭṭhāna-vaṇṇanā 順逆發趣之釋
anuloma-paṭiccasamuppāda 順の緣起
Anulomapaṭṭhāna-vaṇṇanā 順發趣之釋
anulomika 隨順，隨順行，隨順法
anulomikā khanti 隨順忍，隨觀の忍
anuvattin 從順
anuvāta ① 順風 ② 竪緣布
anuvāta-paṭivāta 順逆風
anuvāda 隨說者，隨說，教誡，非難
anuvāda-mūla 非難の根〔六種〕
anuvādādhikaraṇa 非難事，非難諍事，教誡諍事，教誡事〔四諍事の一〕
anuvādādhikaraṇassa mūlaṁ 教誡諍事の根本
anuvādo anuvādādhikaraṇaṁ 教誡と教誡諍事
anuvicarita manasā 意の所伺
anuvicca-kāra 熟慮
anuvijjaka 檢問者
anuvidita 隨知者
anuvyañjana=anubyañjana 文，隨相，隨味，別相，隨好，好，相，隨形好，細相，抑揚
Anusaṁsāvaka〔比丘の譬喩經〕アヌサンサーヴカ Ap 3 300
anusathi(A)=anusatthi 教勅
anusaya ① 意趣 ② 隨眠=煩惱
Anusaya ①〔經〕使 S 18 21 ②〔經〕隨眠 S 35 58, 59; 45 43, 175; 48 62; 54 18
anusaya-paṭipakkha 隨眠の對治
Anusaya-yamaka 隨眠雙論 Y 7
Anusaya-vagga 隨眠品 A 7 11～18
anusaya-samugghāta 隨眠の永斷
anusaya-samugghāṭana 隨眠を永斷す
Anusayā anārammaṇā ti kathā 隨眠無所緣論 KV 9 4
anusāyika-ābādha 慢性的疾病
anusāsaka 教誡者，輔師，顧問官
anusāsati 教誡を與ふ
anusāsana-vidhā 教誡法〔四種〕
anusāsani-pāṭihāriya 教戒示導，教誡示導，教誡神變〔三神變の一〕
anusāsanī 教示，教，教誡，教義
Anusāsika-jātaka アヌサーシカ・ヂャータカ，警告者本生物語 J 115
Anusissa〔仙，行者〕アヌシッサ
anuseti 隨眠す，隨增す，慮る
anusota-gāmin 順流行
anusotagāmin puggala 順流行人
anussatānuttariya 念無上，憶念無上〔六無上の一〕
anussati 隨念，念，憶念
Anussatikammaṭṭhāna-niddesa 隨念業處の解釋 VM 8
anussatiṭṭhāna 隨念處〔六種〕
Anussati-vagga 憶念品 A 11 12～22
Anussaritabba〔經〕應憶念 A 10 153, 197
anussava 傳聞，隨聞，傳說，風說～傳承
anussavika 傳承～傳聞，風說
anussāvaka 表白師

anussāvana 唱說
anussukka 嫉みなき者
Anūnanāma アヌナーマ＝不那奇龍
Anūpama〔比〕アヌーパマ
Anūpiya〔林〕アヌーピヤ，阿奴夷
anekaṁsika 不決定記
aneka-dhātu 多界，種種界，非一界
anekadhātuṁ nānādhātuṁ lokaṁ yathābhūta ñāṇa-bala 無數界種種界世間如實智力，種種界智力〔佛十力の一〕
Anekavaṇṇa-vimāna 種種色天宮 Vv 82
anekavihita-iddhividhā 多端神變，多種の神通，種種神通力，種種の神通，種種の神變，種種なる神通，無量種の神通～諸種の神通
aneja 不動の性，不動，無動著，不動者
Anejaka〔天〕アネーヂャカ，阿尼輸
aneḷa-mūga 不啞，不羊啞～無啞羊
aneḷamūgatā 無啞羊～不啞，不羊啞
anesanā 不法〔二十一種〕
anokasārin 家に在らず
anoghaniya dhamma 不順暴流法
anojakā〔花〕アノーヂャカー＝アノーヂャー
anojā〔花，樹〕アノーヂャー＝アノーヂャカー
Anojā〔劫賓那王妃〕アノーヂャー
Anotatta ①〔雪山の池，七大湖の一〕アノータッタ，阿耨達，無熱悩，無熱 ②〔セイロンの池〕アノータッタ
anottappa 無愧
anottappa-bala 無愧力
Anottappamūlakā-tīṇi〔經〕無愧の根本三 S 14 20
anottappin＝anottāpin 無愧者，無愧〔者〕，愧無く
Anottāpi〔經〕無愧 S 16 2
anottāpin＝anottappin 無愧者，無愧〔者〕，愧無く
anodhiso pharaṇaṁ 無別遍滿，制限なき遍滿
Anopama〔都，城〕アノーハマ，無喩，無譬
Anopamā〔尼〕アノーパマー，阿奴波摩
Anoma ①〔佛〕アノーマ ②〔ソービタ佛の侍者〕アノーマ，非卑 ③〔アノーマダッシー佛の第二弟子〕アノーマ，非卑 ④〔苦行者〕阿奴摩 ⑤〔傳。轉輪王〕アノーマ ⑥〔山〕阿奴摩 ⑦〔都〕アノーマ，非卑 ⑧〔園〕アノーマ，非卑
Anomadassin〔佛〕アノーマダッシー，高見
anoma-pañña 高慧者，卓智者
Anomā ①〔ナーラダ佛の母〕アノーマー，非卑 ②〔河〕阿奴摩
Anomiya〔經〕完き人 S 1 45
anta ① 極端，邊，終極，終邊，極邊，有邊 ② 腸，臟腑〔三十二身分の一〕
Antaṁ〔經〕終極 S 43 13
antaka アンタカ，死神，死魔，悪者，破壊者
antakassa vasaṁ 悪魔の領
Antakāya〔人〕アンタカーヤ
Antakāya-pañho アンタカーヤの問 Mil 2〔1〕4
antagāmi magga 終極に達するの道
antaguṇa 腸間膜，肛*〔三十二身分の一〕
antagū 極に達し
antaggāhika-diṭṭhi 邊見，邊取見，邊執見〔十事〕
antacchinna 端破〔布〕
Anta-jātaka アンタ・ヂャータカ，下賤者本生物語 J 295
anta-manta 偏見
antara 祕密
antara-kappa 中劫
antara-ghara 市井，俗家の間
antara-cakka 中間占
antara-cara 闖入者
antara-dhāna ① 隱沒〔三種〕② 忍術
Antarapeyyāla アンタラペッヤーラ，中略品 S 12 82～93
Antarabhaṇḍaka〔渡〕アンタラバンダカ
antara-bhogika 村主
Antaramegiri〔精舍〕アンタラメーギリ
antaravāsaka アンタラヴーサカ，安陀衣，內衣，安陀會
Antaraviṭṭhi〔ka〕〔村〕アンタラギッティ〔カ〕
antara sammasa 內觸
antarā-kāja 二人棒

Antarāgaṅga〔精舍〕アンタラーガンガ
antarāpatti 中間罪
antarā-parinibbāyin 中般涅槃，中般涅槃者，中間般涅槃〔者〕
antarā-bhava 中有
Antarābhava-kathā KV 8 2
antarāya 障道，障礙，障難，凶難，妨難
antarāya-kara 障害者
antarāyika 障，障礙
antarāyika-dhamma 障法，障礙法，障道法
antarāyikā āpatti 障罪，無間罪
antarāyikin 障難ある
Antarāsobbha〔地方，村〕アンタラーソッバ
antalikkha 虛空，空，空間，空中
Antalikkhacara〔傳。轉輪王〕アンタリッカチャラ
antalikkha-bhavana 天堂
Anta-vagga 邊品 S 22 103～112
antavant 有邊
Antavā〔經〕有邊 S 24 11
antavā attā ca loko ca 我と世界とは有限なり
antavā ca anantavā ca attā ca loko ca 我と世界とは有限にして又無限なり
antavā-diṭṭhi 有邊見，邊見
antavā loko 世は有邊なり，世界は有限なり，世界は邊有り，世間は有邊なり
antānantika 邊無邊論，有邊無邊論，有邊無邊說者〔四種〕
antima-deha 最後の身，最後身
antima-bhava 最後有
antima-vatthu 極罪
antima-samussaya 最後身，最後の身，最後の合成，最後の積集
antima-sarīra 最後の身體，最後身
antimā-jāti 最後の生
Antureḷi〔村〕アントゥレーリ
Ante〔經〕邊 S 22 103
antepura 內宮，後宮，內城，宮廷
Antevāsi〔經〕內住 S 35 150
antevāsika ① 侍者，門人，阿闍梨弟子，內住者，內住 ② 煩惱
antevāsika-vatta 侍者に對する承事 V 2 a 1, 33
antevāsi bhikkhunī 隨從比丘尼
antevāsūppadava 弟子としての苦
anto jaṭā 內縛
andu 鎖，拘鎖，綱
Andu〔村〕アンドゥ
andu-ghara 牢獄
andu-bandhana 鎖縛
andha ① 盲，盲者，盲人，盲目，闇黑，黑闇 ②〔將軍の職〕アンダ
andhaṁ karoti māraṁ 魔を盲と作す
Andhaka ①〔人〕アンダカ，安達，案陀羅 ②〔部派〕安達派
Andhakavinda ①〔地名〕アンダカギンダ，阿那伽賓頭，闍陀迦頻陀 ②〔經〕闍陀迦頻陀 S 6 13
Andhakavinda-vagga アンダカギンダ品 A 5 111～120
Andhakavinda-suttanta アンダカギンダ經，闍陀迦頻陀經
Andhakaveṇha〔國〕アンダカヱーンハ
Andhakaveṇhu〔奴僕〕アンダカヱーンフ
andhakāra 暗黑，闇黑
Andhakāra ①〔村〕アンダカーラ ②〔經〕闇黑 S 56 46
andhakāraka 闇黑
Andhakāra-vagga 闇夜品
Andhanāraka〔村〕アンダナーラカ
Andhapura〔都〕アンダプラ
andha-badhira 盲聾者
Andhabhūtaṁ〔經〕盲闇 S 35 29
andha-mūga 盲瘂者
andha-mūga-badhira 盲聾瘂者
Andhavana アンダ林，安陀林，暗林
andhaveṇūpamā 盲者の比喩
anna 食物，食
Anna〔經〕食 S 1 43
anna-kathā 食論，食事論，食物論，食物の話〔無用論の一〕
anna-pāna 飲食
annapāsana〔儀式〕アンナパーサナ，食初め

Annabhāra アンナバーラ，食物運搬者

Annabhāra-Varadhara〔外〕アンナバーラ・ヴラダラ

Annasaṁsāvaka〔比丘の譬喩經〕アンナサンサーヴカ Ap 3 25, 326

anvakkhara 隨字

anvaya 類句，推比，隨行，總相

anvaye ñāṇaṁ 類智，類に於ける智〔四智の一〕

Apagataṁ〔經〕遠離 S 18 22

apagata-gabbha 流產

apagabbha 離胎者

apacaya ① 損減，還滅，減滅，減，減漏，無積集，非積集，衆中に交らず ② ～apaccāyana 敬重

apacayagāmi dhamma 減滅趣法，還滅法，無積集行法，非積集行法，損減行法

apacaya-gāmin 損行，損減，還滅，減滅趣，無積集行，非積集行，能趣分散

Apacara アパチャラ＝ウパチャラ王

apacina-navaka〔衣分を〕著ふる九事 V 2 a 7

apacināti no ācināti 減じて增さず

apaccakkha-kamma 不現見

Apaccakkha-kammaṁ〔經〕不現見 S 33 51～55

apaccupalakkhaṇā 不近觀

Apaccupalakkhaṇā〔經〕不近觀 S 33 36～40

apaccupekkhaṇā 不近察

Apaccupekkhaṇā〔經〕不近察 S 33 46～50

apaññatta＝appaññatta 非所制

apaṭikkūla＝appaṭikūla 無厭，無厭逆，非違逆

apaṭikkūla-saññin＝appaṭikūla-saññin 無厭想，無厭逆想，非違逆想，不違逆想，快の想

apaṭicchanna-kamma 不覆藏業

apaṭicchanna〔-kilomaka〕不覆蔽〔膜〕

apaṭicchanna-parivāsa 不覆藏別住，非覆藏別住

apaṭicchanna-mānatta 不覆藏摩那埵

apaṭirūpa＝appaṭirūpa 非威儀，不適當，不淨

apaṇata citta 下向心

apaṇidhāya bhāvanā 無繫念修習

apaṇṇaka 無戲論，純眞

Apaṇṇaka-jātaka アパンナカ・ヂャータカ，無戲論本生物語，無戲論本生〔經〕J 1

apaṇṇakata-paṭipadā 無戲論の道～無戲論道

apaṇṇaka-dhamma 無戲論法

apaṇṇaka-paṭipadā 無戲論道～無戲論の道

apaṇṇaka-magga 無戲論道

Apaṇṇaka-vagga 無戲論品 A 4 71～80；J 1～10

Apaṇṇaka-suttanta アパンナカ・スッタンタ，アパンナカ經，無戲論經，純眞經 M 60

apatta 非器

apatta-parihāni 未得退

apada 無足

apadāna 譬喩，訓諭

Apadāna アパダーナ，譬喩經〔小部經の一〕Khuddaka 7

Apadāniya〔比丘の譬喩經〕アパダーニヤ Ap 3 287

apadesa 教法〔四種〕

apanidahati 隱す

apabhaṅgu 不壞法＝五蘊の滅

apamāra 顚狂，癲癇，癲狂，昏暈

apamārika 癲癇者，顚狂者

apamāriya 癲癇者，顚狂者

apara 後說

Aparaṁ gāthāsaṁgaṇikaṁ〔章〕別の伽陀集 V 3 10

Aparagoyāna〔洲〕西俱耶尼，西牛貨＝俱耶尼，瞿耶尼

aparaṇṇa 七菜，後食，穀物

Aparaṇṇa〔兀鷹〕アパランナ

aparaddha 咎

aparanta 未來～後際

Aparanta, Aparantaka〔國〕アパランタ，アパランタカ，阿波蘭多，阿波蘭多迦，西部地方

Aparanta-janapada 西部地方，阿波蘭多

aparantānudiṭṭhi 隨後邊見，後際隨見，後邊に隨ふ見

Apara-Rājagirika〔部派〕後王山

Aparaselika, Aparaseliya〔部派〕西山住部，西山部

Aparājita ①〔辟〕アパラーヂタ ②〔傳◦轉輪王〕
Aparā diṭṭhi〔經〕他の見 S 6 5
aparāpatti 後罪
aparāpariya-vedanīya kamma 順後受業，順後業，後後受業，後世受の業
aparāpariya-vepakka kamma 順後生異熟の業
Aparā pi samannāgata-kathā 餘者具足論 KV 4 9
aparāmaṭṭha 無執取，無傷觸，不惛昧
aparāmaṭṭha dhamma 不已取著法
aparāmaṭṭha-pārisuddhi-sīla 不惛昧淸淨戒，無執取遍淨戒
aparikkhamana 無行處
apariṇata-bhojin 食の不消化〔者〕
aparitassanā 不恐懼
aparideva 不悲
aparinipphanna 非圓成
Aparinipphanna-kathā 非圓成論 KV 23 5
aparipakka 不消化
aparipakka-vedaniya kamma 未熟受の業
aparipakka-vedanīya 未熟所受，未熟受
aparimāṇa 無量，無限
aparimāṇa metta-mānasa 無量の慈意
aparimāṇa-mettā 無限の慈悲心
aparimeyya kappa 不可測劫
apariyanta-pārisuddhi-sīla 無邊淸淨戒，無制限遍淨戒
apariyanta-sīla 無邊戒，無制限戒
apariyāpanna 無繫屬，不繫，非所攝，無所屬，非繫，非攝＝出世間
Apariyāpanna-kathā 無繫屬論 KV 14 9
apariyāpanna-kusala 非所攝善＝出世間善
apariyāpanna-kusalahetu 非所攝善因
apariyāpanna dhamma 非所攝法，不繫法
apariyāpanna-bhūmi 非所攝地，不繫地
apariyāpanna-vipāka 非所攝異熟＝出世間異熟
apariyāpanna-vipākahetu 非所攝異熟因
apariyāpanna-samādhi 不繫定＝出世間定
apariyāpannā paññā 無所屬慧＝出世間慧
aparisā 獨處
aparisuddha 不淨
aparisuddha-brahmacariya 不淨梵行
aparisuddha-vohāra 不淸淨言說
aparisuddhā dhammadesanā 不淨說法
aparisesa-ñāṇdassana 無餘知見
aparihāna 不退轉～不衰，不損
aparihāna-dhamma 不退法
aparihānadhamma puggala 不衰退法の人
Aparihāni〔經〕不損 S 46 25
aparihāni-dhamma～aparihāna-dhamma 不退法
aparihāniya dhamma 不損法，順不退法，不退法，不衰法
Apalāla〔龍王〕アパラーラ，阿鉢羅
apalibodha 非執受，無障礙
apalokana-kamma 求聽羯磨〔如法羯磨の一〕
apalokita 照見
Apalokitaṁ〔經〕照見 S 43 21
apalokitagāmi magga 照見に達するの道
apaḷāsa 不惱
apaḷāsin 不惱〔者〕
apaviddha-dāna 悋惜施
apasanna citta 不欣樂心
apasādana 譏訾
apasādetar 貶稱者
apasādeti 非難す～貶稱す
apassena 倚發
Apassena〔傳◦轉輪王〕アパッセーナ
apassenaka 倚凭物
apassena-phalaka 枕板，凭板
apāṭali〔花〕アパータリ
apādaka 無足者
apānaka～āpānaka 斷飲者
apāpuraṇa 鍵，鑰，戶鑰
apāya 苦界，苦處，無幸處，惡處，惡生，惡道，惡趣，離去處，墮地獄
apāya-kusala 去に巧，離去善巧，損減善巧
apāya-gamanīya 順惡趣行
apāyagāmanīya dosa 惡趣の瞋
apāyagāmanīya moha 惡趣の癡
apāyagāmanīya rāga 惡趣の貪

Apāya-duggati〔經〕惡生・惡趣 A 10 215
apāya-mukha 失敗の原由〔四種〕
Apāyimha-vagga 飲酒品 J 81～90
apāra 此岸
Apāra〔經〕此岸 S 51 1
apārāpāraṁgamana 到彼岸
apāsādika 不善業，非淨行，不端正者〔五種過患〕
apidhāna 蓋
apilāpana 枚擧
Apilāpiya〔傳∘轉輪王〕アピラーピヤ
apisuṇā-vācā 不離間語，不兩舌
apuñña 非福，非福行，非福業，惡，不徳
apuñña-bhāgiya 順非福分
apuñña saṅkhāra 非福行
apuññābhisaṅkhāra 非福現行，非福行〔三行の一〕
aputtaka 無子者
Aputtaka〔經〕子を持たず S 3 19, 20
apekkhaṁ karoti 期待す
apekhā 希望，期待，執著
apesiya 棘門
appa 瑣細
appaṁ jīvitaṁ 命は短少なり
Appaka〔經〕少數 S 3 6
appagabbha 無傲慢者，謙虚
Appacintī〔魚〕アッパチンティー，過少思
appaccaya 不滿，不機嫌，不興，不欣，不忍，無緣，憂苦
appaccaya dhamma 無緣法
appaccavekkhaṇā 不觀察
appaññatta=apaññatta 未制立
appaṭikamma āpatti 無懺罪，無懺除罪，無悔除罪，無悔除犯=次項
appaṭikammāpatti 無悔除犯，無悔除罪，無懺罪，無懺除罪=前項
appaṭikūla-saññā 不厭忌想，不違逆想，非違逆想，無厭想，無厭逆想，快の想
appaṭikkūla-saññin=apaṭikūla-saññin 非違逆想〔者〕，無厭想，無厭逆想，快の想〔者〕
appaṭikkosanā 許容
appaṭigha 無對
appaṭigha dhamma 無對法
appaṭigha rūpa 無對色
appaṭicchanna=apaṭicchanna 裸體
appaṭima 無比者
appaṭimaṁsa 無過
appaṭirūpa=apaṭirūpa 不淨，不適當，非威儀
Appaṭivāṇi〔經〕不退轉 S 12 87
appaṭivānitā padhānasmiṁ 精勤に於て遮止せざる，精勤に於て不被遮止，精勤を退轉せざること
appaṭivānī 不退轉，不退
Appaṭividitā〔經〕不了知 S 1 7
appaṭivedha 不通達
Appaṭivedhā〔經〕不通達 S 33 21～25
appaṭisaṅkhā nirodha 非擇滅
appaṭisanthāra 不款待
appaṭisandhi 不結生
appaṭihata-ñāṇa 無礙智
appaṇihita 無願
appaṇihita jhāna 無願禪=無願定，無願等至
appaṇihitaphala-samāpatti 無願果等至
appaṇihita-phassa 無願觸
appaṇihita-vipassanā 無願觀
appaṇihita-vimokkha 無願解脱〔三解脱の一〕
appaṇihita-vihāra 無願住
appaṇihita samādhi 無願三昧，無願三摩地，無願定〔三三昧の一〕
appaṇihitā dhātu 無願界
appaṇihitānupassanā 無願觀，無願隨觀
appaṇihitā samāpatti 無願等至，無願正受=無願定
appatissa 不從順，無祟
appatīta 不滿
appanā 安止，根本定，專注
appanā-kosalla 安止善巧
appanākosalla-kathā 安止善巧論
appanā-javana 安止速行
appanājavana-vāra 安止速行時分
appanā-bhāvanā 安止修習
appanā-vīthi 安止路

appanā-samādhi 安止定，根本定
appanā-samādhi-bhāvanā 安止定修習
appapañca 無戲論
appa-puñña 少福
appabhakkha-kantāra 飢饉難處
appabhassa 所言の制限
appabhoga 貧窮
appamañña 無量〔心所〕
Appamañña-vibhaṅga 無量分別 Vibh 13
appamatta 不放逸者，不放逸，精勤
Appamattaka-vagga 不放逸品 A **1** 19
appamattaka-vissajjaka ① 分雜細物人，雜細物の分配者 ② 捨些細人，捨雜細物人，捨少量人
appamattikā āpatti 輕犯
appamāṇa 無量
appamāṇa appamāṇārammaṇa 無量にして無量所緣，無量無量所緣
appamāṇa-ceto 無量心
appamāṇa-cetovimutti 無量心解脫
appamāṇa dhamma 無量法
appamāṇa parittārammaṇa 無量にして小所緣，無量小所緣
appamāṇa-saññin 無量想
appamāṇasaññī attā ca loko ca 我と世界とは無量想を有するものなり
appamāṇa samādhi 無量定，無量三摩提
Appamāṇasubha deva 無量淨天
Appamāṇābha deva 無量光天
appamāṇārammaṇa 無量所緣
appamāṇārammaṇa dhamma 無量所緣法
appamāda 不放逸，精勤
Appamāda〔經〕不放逸 S **3** 17, 18; **12** 93; **45** 54, 61, 68, 75, 82, 89; A **10** 5
appamāda-gāravatā 不放逸の尊敬
Appamāda-vagga 不放逸品 S **45** 139～148; **46** 89～98, 133～142; **48** 83～92, 141～150; **49** 13～22; **50** 13～22, 69～78; **51** 45～54; **53** 13～22; Dhp **2** vv 21～32
appamāda-vihāra 不放逸住
appamāda-vihārin 不放逸住者
appamāda-sampadā 不放逸具足
appamādena karaṇīyaṁ 不放逸を以て作さるべし
appamādena sampādeti 不放逸に行ず
appamādena sampādetha 不放逸によりて精進せよ，不放逸に勤めよ
appamādo kusalesu dhammesu 善法への不放逸
appameyya 無限者，無計量
appa-vajja 少罪
appavatta 不轉
appavedaniya-kamma 少受の業
appa-sadda 低聲
appasanna=apasanna 未信者
appasāda 不信，不喜，誹謗
appa-sāvajja 少罪〔者〕
appassuta 少聞，少聞者，寡聞，寡聞者，寡聞なる
Appassutena dve〔經〕少聞によるの二 S **14** 21
Appassuto〔經〕寡聞 S **37** 11
appa-harita 無草，無草地
appāṇaka 無蟲
appāṇaka-udaka 無蟲水
appāṇaka-jhāna 止息禪，無息禪〔五種〕
appātaṅka 少惱，少疾，健康，息災，無疾
appātaṅkatā 健康～少惱，少疾，息災，無疾
appābādha 少病，無病
appābādhatā 無病
appāyu 短壽
appāhāra 斷食
appāhāratā 少食
appiccha 少欲，少欲者
appiccha-kathā 少欲論，少欲の話，少欲の稱說〔十論事の一〕
appicchatā 少欲，小欲性
appita〔cīvara〕厚衣
appiya 非可愛，不愛，不愛者，愛せざる，怨敵，怨憎
appiya dāyāda 愛せざる後繼者，愛せざる相續者
appiya-sampayoga 怨憎との會合，怨憎會

appiyehi sampayogo dukkho 怨憎會苦，怨憎するものに會ふは苦なり
appītika dhamma 無喜法
appītikā paññā 無喜慧
appesakkha 微力
appoṭheti 拍手す
appossukkatā 無爲
apphoṭā〔植〕アッポーター
aphāsu 不安，惑惱
aphāsuṁ karoti 惑惱をなす～不安
aphāsu-vihāra 不安住
abaddha-pitta 流動膽汁
Ababa〔地獄〕アババ，阿婆婆
abala 無力
abalassa 駑馬
abīja 不成種子
abbuda ① アッブダ，阿部曇，阿浮陀，頞部曇，胞，垢濁〔胎内五位の一〕②〔數〕アッブダ，阿浮陀，頞部陀，垓 ③〔地獄〕アッブダ，阿浮陀，頞部陀
Abbuda〔傳◦轉輪王〕アッブダ
abbūḷhesika 箭を抜けり
abbha 雲
Abbhaṁ〔經〕闇 S 32 55
abbhakkhāna 誹謗
abbha-ghana むら雲
abbhañjana 塗藥，塗油，塗膏
Abbhañjanadāyaka〔比丘の譬喩經〕アッバンヂャナダーヤカ Ap 3 274, 521
abbhantara〔長さの量〕アッバンタラ，十四肘
Abbhantara-jātaka アッバンタラ・ヂャータカ，眞中木生物語 J 281
abbhantara-mātikā 內的論母
Abbhantara-vagga 眞中品 J 281～290
abbhavalāhaka deva 闇雲天
abbhāghāta 屠殺場
abbhāna 出罪，許容
abbhā mutto candimā 雲を離れたる月
Abbhāhata〔經〕窘迫 S 1 66
abbhuta ① 希有，未曾有，稀有 ② 賭 ③ abbhuta-dhamma の略
abbhutaṁ 未曾有なり
Abbhutaṁ〔經〕希有（未曾有）S **43** 31
abbhutagāmi magga 希有に達するの道
abbhuta-dhamma ① 未曾有法，未曾有の法 ② アップタダンマ，未曾有法，未曾有經，希法〔九分教の一〕
abbhūḷhesika 柴籬を引抜きし者
abbheti 出罪を與ふ，出罪をなす，復歸を許す，復權せしむ
abbhokāsa 自由，露地，露天，露天處，迥處，屋外，空處，空閑，曠野，野外
abbhokāsika 露地住者，露天坐行者，露天住者，迥處坐者，迥處坐行者
abbhokāsikaṅga 露地住支
abyatta 無能，不聰明，未熟者
abyākata～avyākata 無記
Abyākata-kathā 無記論 KV **14** 8；**22** 6
abyākata-citta 無記心 Dhs **1** 3
abyāpajjha～abyābajjha 無瞋，無瞋恚，無瞋害，無害，無惱害，無損，無損害，無恚，無恚界，不瞋恚，害心なく
abyāpanna-citta 非瞋恚者
abyāpāda-vitakka 無瞋の考想，無恚尋，不瞋覺
abyāpāda-saṁkappa 無恚念，無恚思，無恚の思惟，無瞋思惟＝無恚尋
abyābajjha～abyāpajjha 無害，無瞋恚
abyābajjha-vedanā 無害の受
abrahmacariya 非梵行，不梵行
abrahmacariya-vāsa 非梵行住〔四種〕
abrahmacārin 非梵行者，不梵行者，非淨行者
Abhabba〔經〕不能 A **10** 76, 100
abhabbaṭṭhāna 不能處〔五種〕
abhabbā-gamana 不能行〔者〕
abhabbāpattika 不適能罪人
abhaya 無畏，無怖畏
Abhaya ①〔アッタダッシー佛の侍者〕アバヤ，無畏 ②〔比〕無畏，阿婆耶〔譬喩經〕Ap 3 544 ③〔天愛帝須王の弟，比〕アバヤ，阿婆耶 ④〔長部師比丘〕アバヤ，無畏 ⑤〔比〕アバヤ，無畏＝三藏小無畏 ⑥〔相承比丘〕アバヤ，阿婆耶 ⑦〔ドゥッタガーマニ王時代の

比丘〕アバヤ ⑧〔パンチャハリエーナムーラ住比丘〕アバヤ ⑨〔鳩留孫佛時代の王〕阿婆耶 ⑩〔ヴッタガーマニ王〕アバヤ，阿婆耶 ⑪〔王〕アバヤ，阿婆耶 ⑫〔ゴーターバヤ王〕アバヤ ⑬〔アバヤナーガ王〕アバヤ，阿婆耶 ⑭〔ドゥッタガーマニ王〕アバヤ，阿婆耶 ⑮〔バーティカ・アバヤ王〕阿婆耶 ⑯〔カンチャデーヴの父〕アバヤ ⑰〔メーガヴンナ・アバヤ王〕阿婆耶 ⑱〔王，クティカンナの子〕阿婆耶 ⑲〔ビンビサーラ王の子，王子，塞〕無畏，阿婆耶 ⑳〔離車人〕アバヤ，阿婆耶 ㉑〔城市〕アバヤ，阿婆耶 ㉒〔精舎〕阿婆耶，アバユッタラ，無畏山寺 ㉓〔池〕アバヤ，阿婆耶 ㉔〔經〕無畏 S 46 56；A 9 56

Abhaya abhayada 〔王〕施無畏者阿婆耶＝阿婆耶

Abhayagallaka〔精舎〕アバヤガッラカ

Abhaya-giri 〔精舎〕アバヤギリ，アバヤ〔ギリ〕，無畏山＝アバヤ，アバユッタラ

Abhayagirika アバヤギリ家，無畏山寺派

Abhayaṁkara〔象〕アバヤンカラ

abhayaṭṭhāna 無畏處

abhayada 施無畏

abhaya-dakkhiṇā 無畏施

abhaya-dāna 無畏施

Abhaya-Duṭṭhagāmani〔王〕阿婆耶木杈伽摩尼 Dv 19

Abhayanāga 〔王〕アバヤナーガ

abhayappatta 無畏逮得者

Abhayappatta〔經〕無畏逮得者 A 9 57

Abhayamātar〔尼〕アバヤマーター，無畏母

Abhayarāja〔房舎〕アバヤラージャ

Abhayarājakumāra-suttanta アバヤラージャクマーラ・スッタンタ，無畏王子經 M 58

Abhaya Vaṭṭagāmani アバヤヴッタガーマニ＝ヴッタガーマニ王，アバヤ

Abhayā 〔尼〕アバヤー，無畏

Abhayuttara〔精舎〕アバユッタラ＝無畏山

Abhayuttara-mahāthūpa アバユッタラ大塔

abhayūparata 不怖畏抑制〔者〕

Abhayūvara-bhāṇavāra 無畏誦品 V 2 a 1，39～53

abhāvanīya 非可崇敬

abhāvita-kāya 身不修習

abhāvita-citta 心不修習〔者〕

abhāsita 非所言

abhikkantaṁ 偉なる哉，偉哉，奇なる哉，妙なる哉，秀妙なる哉，希有なり，希奇なり，最勝なり，殊勝なるかな，殊妙なり，甚奇なり，秀逸なり，微妙なる哉，善き哉，超勝なり，いとも優れたる哉，感歎に堪へたり，勝れたる

abhikkama 進展

abhicetasika 増上心

abhijacca-bala 家柄の力

abhijappā 欲望

abhijāti～ābhijāti 階級～生類

abhijāna 自證

abhijānāti 證知す

abhijīvanika 活命

Abhijjamāna-petavatthu 不斷鬼事 Pv 3 1

abhijjhā 貪欲，貪，貪愛，貪求，貪著

abhijjhā-kāyagantha 貪欲身繫，貪身繫〔四繫の一〕

abhijjhāyati 嫉妬す

abhijjhālu 貪欲者，貪慾者，貪欲，貪欲多き，貪，多貪者

abhijjhā-visamalobha 貪欲邪貪

Abhiñjika〔比，阿那律の弟子〕アビンヂカ

abhiññā 神通，神智力，通，通智，通知，超凡智，體得智，知解，證知，證智，證悟

Abhiññā〔經〕證知 A 8〔附〕

abhiññā-kathā 神通論

abhiññā-kusala 神通善〔心〕

abhiññā-citta 神通心

abhiññā-cetanā 神通思

abhiññā ñāṇa 神通智

Abhiññā-niddesa 神通の解釋 VM 13

abhiññānuyoga 神通徴問

abhiññā-paññā 通智の慧

abhiññā-pariññeyya 知解して曉了せらるべき

Abhiññāpariññeyyaṁ〔經〕知解而可所曉了 S 35 50
abhiññāpādaka-jhāna 神通の基礎禪，神通の基礎をなす禪定
abhiññā-bala 神通力
Abhiññā-vagga 通慧品 A 4 251～260
abhiññāvosāna-pāramī 通智圓滿究竟
abhiññeyya 勝知せらるべき，了解せらるべき
Abhiññeyyaṁ〔經〕可所了解 S 35 46
abhiṇata citta 上向心
Abhiṇha-jātaka アビンハ・ヂャータカ，常習本生物語 J 27
abhiṇhāpattika 常習的犯罪人
abhidhamma アビダンマ，論，論藏，阿毘達磨，阿毘曇，阿毘曇磨，阿毘法，增上法，最上法，勝法法，對法，勝論
abhidhamma-kathā 阿毘達磨説，阿毘曇の論，最上法の論，勝法の談
Abhidhammaṭṭhakathā 阿毘達磨の義疏＝阿毘曇の註釋
Abhidhammattha-saṅgaha〔書〕アビダンマッタサンガハ，攝阿毘達磨義論 Abhsaṅg **1～9**
Abhidhamma-pariyāya 阿毘達磨の教説，論の教説
Abhidhamma-piṭaka 論藏，阿毘達磨藏＝阿毘曇論
Abhidhammapiṭakassa Atthakathā 阿毘曇の註釋＝阿毘達磨の義疏
Abhidhammappakaraṇa 阿毘曇論＝阿毘曇藏，論藏
abhidhamma-bhājaniya 對法分別，論分別
abhidhamma-mātikā 論の論母，阿毘曇論母
Abhinandaṁ〔經〕隨喜 S **14** 35
abhinandati 隨喜す
abhinandana 愛樂
Abhinandanaṁ〔經〕歡喜 S **22** 65
Abhinandamāno〔經〕歡喜 S **22** 29
Abhinandena〔經〕歡悅によりて S **35** 19, 20
abhinikkhamana 踰城
abhiniggaṇhanā 抱
abhinippīḷanā 抱捉
abhinibbatti 再生，轉生
abhinibbattikkhandha 生起蘊
abhinibbuta 寂滅せる
abhinibbhidā 破殼，卵殼より出づ，卵殼を破る
abhinimmita 變化〔身〕
abhinivesa 執持，現貪，傾，思慕
Abhinivesa〔經〕現貪 S **22** 156, 157
abhinivesa-parāmāsa 現貪取見
abhinīla-netta 眼の紺碧〔三十二相の一〕
abhinīhāra 引發
Abhinīhāra—〔Sakkaccakārī〕〔經〕引發—〔恭敬〕S **34** 50
abhinīhāra-kusala 引發善〔巧〕，引發するに巧
Abhinīhāro〔經〕引發 S **34** 7, 51
Abhibhatta 阿毘浮性
abhibhāyatana 勝處
Abhibhāyatana〔經〕勝處 A **8** 65
abhibhū 勝者，征服者
Abhibhū ①〔尸棄佛の第一弟子〕アビブー，勝者，優勝者，阿毘浮 ②〔天〕アビブー，阿毘浮，勝者
Abhibhūta〔比〕アビブータ
Abhibhūyya〔經〕克服 S **37** 27
Abhiya-Kaccāna〔比〕アビヤカッチャーナ，眞迦旃延
Abhirāmā〔宮殿〕アビラーマー
abhirūpa 勝形，麗し，端正，形色端嚴，形相殊妙
Abhirūpanandā〔比丘尼の譬喩經〕アビルーパナンダー Ap 4 36
abhirūpa dassanīya pāsādika 端正美麗，顏貌端麗
abhilāpa 呼稱
abhilepana 染著
Abhivaḍḍhamānaka〔池〕アビヴッダマーナカ
abhivāda 禮敬，敬禮～問訊
abhivādana 敬禮，禮敬，讚仰，問訊
abhivādeti 問訊す
abhivinaya アビギナヤ，阿毘毘尼，阿毘毘奈耶，阿毘律，勝律，增上律
abhisaṅkhata 有爲

abhisaṅkharaṇa 行作，爲作
abhisaṅkharoti 現行す
abhisaṅkhāra-bhāra 行重擔
abhisaṅkhāra-viññāṇa 行作識
abhisaṁkhārika-piṇḍapāta 祈願食
abhisaṅgin 執念〔者〕
abhisañcetayita 所思惟
abhisaññā 增上想
abhisaññā-nirodha-sampajāna-samāpatti 增上想滅智定
abhisattha 呪詛
abhisanda 等流，潤澤
Abhisanda ①〔經〕潤澤 S 55 31～33, 41～43 ②〔經〕等流 A 8 39
abhisapati 呪詛す
abhisamaya 現觀，領會，解，說教，聖諦現觀
Abhisamaya-kathā 現觀論 Pṭs 3 3
Abhisamaya-vagga 現觀品 S 56 51～60
Abhisamaya-saṁyutta アビサマヤ・サムユッタ，現觀相應 S 13 1～11
abhisamācāra〔-sīla〕等正行〔戒〕
abhisamācārika 增上行儀，增上行，最上行儀，上進～等正行
abhisamācārika dhamma 最上行儀法，上進の法～增上行儀
abhisamācārika-sikkhā 增上行儀の學，增上行の學
abhisametāvin 已現觀者
abhisamparāya 未來の運命
abhisambuddha 正覺，現等覺
abhisambodhi 等正菩提，正覺
Abhisammata ①〔傳◦轉輪王〕アビサンマタ ②〔夜叉〕
abhisallikhatā 削減
Abhisāma〔傳◦轉輪王〕アビサーマ
abhisiñcati 灌頂の式をなす，灌頂を受く，灌頂す，灌頂卽位す
abhisitta 灌頂
abhiseka 灌頂，卽位灌頂，卽位式
Abhiseka〔佛〕アビセーカ，灌頂
abhiseka-udaka 灌頂の水
Abhisekamaṅgalādi-dīpaka〔章〕卽位祝事等 Cv 99
Abhisekamaṅgalādidīpana〔章〕灌頂祝典說明 Cv 89
abhisecana 灌頂
abhūta 非實，不實，無實，不眞，僞，虛誑，虛言
abhūta-vādin 不實說者，不實語者
abhedana-mukha 自然口
abhoga 非食
amakkhin 不覆〔者〕，無覆〔者〕
amakkho ca apaḷāso ca 不覆と不惱
amagga 邪道
amaṅkubhūta 無愧赧
amaṅgala 不吉，凶兆
amacca ① 廷臣，朝臣，大臣，顧問官 ② 同僚，知己
amacca-bala 大臣の力
amacca-ratana 大臣寶
amaccharin 不慳，無慳，不慳者，慳なき
amacchariya 不慳
Amaccharī〔經〕無慳 S 37 18
amata 不死，甘露，不死の甘露，無滅，不滅＝涅槃
Amata〔經〕不死 S 47 41；A 9 54
Amataṁ〔經〕甘露 S 43 25
Amatagadha〔章〕不死を究竟と爲す，不死究竟
amatagāmi-magga 不死に赴く道，甘露に達するの道
amata-tala 甘露の池
amata-disā 不死の國土
amata-dudrabhī, amata-dundubhi 甘露の鼓
Amatadundubhi 不死鼓〔經〕＝多界經
amata-dvāra 不死の門，不死への門，不死の戶，不死の扉，甘露の門
amata-dhātu 不死界，不死の界，甘露界
amatantaḷa 不滅の池，甘露の池
amata-pada 不死の道，不死の域，不死の處，不死句，不死なる道，不死なる法，無滅の道，涅槃道，甘露の道，甘露の道足

amata-pāna 不死の液，甘露
amatappatta 不死逮得者
Amatappatta〔經〕不死逮得者 A 9 55
amatapphala 甘露(涅槃)の果
amata-brahmaloka 不死の梵界
amata-bheri 不死の鼓，不死の法鼓，甘露の鼓
amata-mahānibbāna 不死の大涅槃
Amata-vagga 不死品 S 47 41～50
amata-vācā 不滅の語
amata-vuṭṭhi 甘露〔法〕雨
amatassa dātā 不死の施與者，不死を與ふる者，甘露味を施し
amatassa dvāro 甘露の門
amatāpaṇa 甘露店〔佛の〕
Amatārammaṇa-kathā 不死所緣論 KV 9 2
amatā vācā 甘露の語
Amatogadha〔章〕不死究竟
amatosadha 不死の藥，不死の靈藥
amattaññutā 不知量～量を知らず，不節制
amattaññū 量を知らず，不節制～不知量
amathita-kappa 不凝乳認容，不攪乳淨
amaddava 不柔和
amanasikāra 不作意，無作意
amanāpa 不可意，不愛語，非可意～不快なる
amanāpa-rūpa 非可意相
amanāpika 不快なる～不可意
amanussa 非人，超人，怪鬼，獄卒
amanussa-kantāra 非人難處，非人道路
amanussantarāya 非人の障礙〔十障礙の一〕
amanussa-purisa 非人男
amanussikābādha 非人病
amanussitthi 非人女
amara 不死，不老不死
Amara アマラ，不死＝アマラヴティー城
amara-gaṇa 不死衆
Amaragiri〔宮殿〕アマラギリ，無魔山
Amaravatī〔都〕アマラヴティー，不死，帝釋天の都
amara-vitakka 不死尋
Amarā〔王妃〕アマラー＝アマラーデーキー
Amarādevī アマラーデーギー，不死妃＝アマラー
Amarādevī-pañha アマラーデーギーパンハ〔チャータカ〕，不死皇后問〔本生物語〕，アマラー女の問 J 112
Amarādevī-pañho アマラー女の問＝J 112；Mil 4〔5〕6
amarā-vikkhepa 詭辯，鰻の捕へ難きが如く，不死憍亂，不死不散亂
amarāvikkhepa-dhamma 詭辯法
amarāvikkhepika 不死不散亂說者，詭辯論
Amarikā〔河〕アマリカー
amahaggata 狹小
amahaggata citta 非廣大心
amātāputtaka bhaya 母子無き怖畏〔三種〕
amāyā ca asāṭheyyañ ca 不誑と不諂
amāyāvin 無誑，不誑，不誑者，誑なく，不虛妄，不詭〔者〕，無諂*
Amita〔傳◦轉輪王〕阿彌陀
Amitañjara〔傳◦轉輪王〕アミタンチャジ
amita buddhi 無量覺
Amitā ①〔パヅゥムッタラ佛の第一比丘尼〕アミター，無量 ②〔王女〕アミター
Amitābha＝Amita〔傳◦轉輪王〕阿彌陀～アミッタバー
Amitodana〔王〕アミトーダナ，甘露飯
amitta 敵，敵者，仇敵
Amittatāpanā〔婆羅門女〕アミッタターパナー
Amittabhā〔傳◦轉輪王〕アミッタバー～アミターバ
Amittavāsana〔傳◦轉輪王〕アミッタヷーサナ
amissi-kata 不雜
amūla 無根
amūlaka 無根
amūlaka-pārājika dhamma 無根波羅夷法
amūlaka-saṁghādisesa 無根僧殘〔第八僧殘〕
amūḷha-vinaya 不癡毘奈耶，不癡毘尼〔七止諍の一〕
amogha 不空
amora〔果〕アモーラ
Amoraphaliya〔比丘の譬喩經〕アモーラパリヤ Ap 3 505

amosa-dhamma 不虚妄法
amoha 無癡＝慧
amoha-avyākatamūla 無癡無記根
amoha-kusalamūla 無癡善根〔三善根の一〕
amohajjhāsaya 無癡意樂
amoha-hetu 無癡因＝無癡根
amba〔果，樹〕アンバ，菴羅，菴婆，菴摩羅，檬果，マンゴー
Amba ①〔村〕アンバ，菴羅 ②〔渡〕アンバ，菴婆 ③〔池〕アンバ
amba-kaṭṭha 菴羅薪
ambaka-maddarī 雌鶏
ambagandhī〔植〕アンバガンディー
Amba-gāma 菴羅村
Ambaṅgaṇa 菴婆園〔錫蘭にあり〕
Ambacora-jātaka アンバチョーラ・チャータカ，菴羅果盗本生物語 J 344
Amba-jātaka アンバ・チャータカ，菴羅果本生物語 J 124 ,474
Ambaṭṭha ①〔學童〕アンバッタ，阿摩晝，菴跋吒 ②〔種族〕アンバッタ，阿摩晝
Ambaṭṭhakola〔ka〕〔村〕アンバッタコーラ〔カ〕
Ambaṭṭhaja〔傳◦轉輪王〕アンバッタヂャ
Ambaṭṭha-sutta アンバッタ・スッタ，阿摩晝經 D 3
Ambatittha〔地名〕アンバティッタ
Ambatthala ①〔塔〕アンバッタラ ②〔地名〕アンバッタラ，闍婆陀羅
Ambadāyaka〔比丘の譬喩經〕アンバダーヤカ Ap 3 68
amba-palla 菴羅の新芽
amba-pāna 菴婆果漿，菴摩羅汁〔八種飲料の一〕
Ambapāli〔經〕菴羅 S 47 1
Ambapāli-vagga 菴羅品 S 47 1～10
Ambapāli-vana 菴羅園，菴婆波梨林
Ambapālī ①〔遊女，尼〕アンバパーリー，菴婆波利，菴婆婆利〔譬喩經〕Ap 4 39 ②〔林，園〕アンバパーリー，菴婆波梨
Ambapiṇḍiya〔比丘の譬喩經〕アンバピンディヤ Ap 3 299, 436
Amba-petavatthu 菴羅鬼事 Pv 4 12
Ambamāla〔精舍〕アンバマーラ
Ambayāgudāyaka〔比丘の譬喩經〕アンバヤーグダーヤカ Ap 3 238, 353
Ambara〔都〕アンバラ
Ambaraṁsasama〔傳◦轉輪王〕アンバランササマ
Ambaravatiya〔都〕アンバラヴティヤ
Ambala〔樓門〕アンバラ
Ambalaṭṭhikā〔園，殿〕アンバラッティカー，菴羅絺，菴婆羅樹林
Ambalaṭṭhikā-Rāhulovāda-suttanta アンバラッティカー•ラーフローヴーダ•スッタンタ，教誡羅睺羅菴婆蘖林經 M 61
Ambalala〔地名〕アンバララ
amba-vana アンバ園，菴羅園，菴羅樹林，菴羅の森，菴羅林，菴婆林，菴婆園，菴摩羅林
Ambavana ①〔精舍〕アンバヴナ，アンバ園，菴婆林 ②〔地名〕アンバヴナ
Ambavāsā〔池〕アンバヴーサー
Ambaviṭṭhī〔精舍〕アンバギッティー
Amba-vimāna 菴婆天宮 Vv 46, 79
Ambasakkhara〔王〕アンバサッカラ
Ambasakkhara-petavatthu アンバサッカラ鬼事 Pv 4 1
Ambasaṇḍā〔村〕アンバサンダー
Amb-sāmaṇera 菴摩羅沙彌＝シラーカーラ王
Ambasāmaṇerādisilākāla アンバサーマネーラーディシラーカーラ＝シラーカーラ王
ambāṭaka〔樹，果〕アンバータカ
Ambāṭaka〔比丘の譬喩經〕アンバータカ Ap 3 434
Ambāṭaka-ārāma アンバータカ遊園
Ambāṭaka-vana アンバータカ〔樹〕林
Ambāṭakiya〔比丘の譬喩經〕アンバータキヤ Ap 3 443
ambārāma 菴婆園
Ambāla〔池〕アンバーラ
ambila 酸

Ambilapassava〔精舎〕アンビラハッサワ
Ambilayāgu〔村〕アンビラヤーグ，酸粥
Ambilāpika〔村〕アンビラーピカ
Ambillapadara〔村〕アンビッラパダラ
ambu アンブ，水
ambucārin 魚
ambuja ① アンブヂャ，蓮，水に生ぜるもの ② 魚
Ambuṭṭhi〔池〕アンブッティ
ambuda=abbuda 頞部曇
Ambuyyāna〔精舎〕アンブッヤーナ，菴婆羅園
ambūpama puggala 菴羅果喩人，菴羅に喩ふべき補特伽羅〔四種〕
Ambedugga〔池〕アンベードゥッガ
ambopamā 菴羅の譬喩
amma 母
ammaṇa〔量〕アンマナ
ayaṁ loko 此世
Ayakūṭa-jātaka アヤクータ・ヂャータカ，鐵鎚本生物語 J 347
ayasa 悪聲，譏，恥辱〔八世法の一〕
aya-sūla 槍
Ayujjhā=Ayojjhā〔城〕無鬪，阿毘陀處
ayo 鐵
ayo-kaṭāha 鐵器，鐵盤，鐵堝
ayo-kapāla 鐵鉢
ayo-kūṭa 鐵槌
ayo-khīla 鐵杙，鐵柱，鐵の柱，鐵杖
ayoganiya dhamma 不順軛法
ayo-guḷa 鐵丸
Ayoguḷa〔經〕鐵丸 S 51 22
Ayoguḷa-vagga 鐵丸品 S 51 21〜32
ayo-ghana 鐵斧
ayo-ghara 鐵の家，鐵屋
Ayoghara〔賢者，王子，佛の前生〕アヨーガラ，鐵屋
Ayoghara-cariyā〔經〕アヨーガラの所行 Cp 3 3
Ayoghara-jātaka アヨーガラ・ヂャータカ，鐵屋本生物語 J 510
ayojjha 無能勝

Ayojjhā ①〔都〕アヨッヂャー，阿毘陀處，無鬪 ②〔アユチャヤ，タイの都〕アヨッヂャー
ayo-thāla 鐵板
ayo-doṇi 鐵槨
ayo-nagara 鐵の都
Ayoniso〔經〕非如理 S 46 24
Ayoniso or Vitakka〔經〕不正思惟(思惟) S 9 11
ayoniso-brahmacariya 不正の梵行
ayoniso manasikāra 非理作意，非如理作意，不如理作意，不如理思惟，不正思惟，不正の思惟
ayo-paṭṭa 鐵板
ayo-patta 鐵鉢
ayo-pākāra 鐵壁
ayo-pīṭha 鐵床
〔ayo-〕phāla 鐵板
ayo-mañca 鐵牀
ayo-saṅku 鐵杙，鐵杭，鐵釘，鐵針
ayo-salākā 鐵の籌
ayya=ariya 貴族，支配者
Ayyauttiya〔王弟〕アイヤウッティヤ
ayyakā 祖母
Ayyakā〔經〕祖母 S 3 22
Ayyakākāḷaka〔牛〕アッヤカーカーラカ，祖母の黒子
ayyā 聖尼，大姉
ayyā bhariyā 貴顯夫人，支配者なる妻
ara 輻
Araka ①〔仙，賢者，佛の前生〕アラカ ②〔外道主〕
Araka-jātaka アラカ・ヂャータカ，アラカ仙本生物語 J 169
Araja〔宮殿〕アラヂャ，無塵
Arañjara〔山〕アランヂャラ
arañña 阿練若，阿蘭若，林野，森林，叢林，園林，森中，森，林中，林，閑林，閑靜處，空閑，空閑處，曠野，僻遠の地
araññaka〜āraññaka 森林住者，阿練若住者，阿蘭若住者，蘭若に住む，林住者，林に住し，住林者，閑林住者

araññaka bhikkhu=āraññaka bhikkhu 住林比丘，阿練若比丘，阿蘭若比丘，林住比丘
arañña-kuṭikā 森の小屋
Araññakuṭikā アランニャクチカー，森小屋
Arañña-jātaka アランニャ・ヂャータカ，森林本生物語 J 348
araññaṭṭha 阿蘭若物
arañña pavana 阿蘭若林
Arañña-vagga 森林品 J 271～280
arañña vanapattha 閑林の靜居
arañña-vāsin 阿蘭若住者
arañña-saññā 林想
araññāyatana 森林處，阿練若處，空閑處
Araññe〔經〕森に住みて S 1 10
araññe nāgo 林中に於ける象
araṇa 無諍
Araṇa〔經〕無諍 S 1 81
araṇa-citta 無諍心
Araṇadīpiya〔比丘の譬喩經〕アラナディーピヤ Ap 3 264
araṇa dhamma 無諍法
araṇa-paṭipadā 無諍道
araṇa-vibhaṅga 無諍分別
Araṇavibhaṅga-sutta アラナギバンガ•スッタ，無諍分別經 M 139
araṇa-vihāra 無諍住
araṇa-vihārin 無諍住〔者〕
araṇa-vihāre ñāṇaṁ 無諍住の智
araṇi 鑽，鑽木
Araṇi〔經〕鑽木 S 48 39
araṇika アラニ木製の壺
araṇi-sahita 鑽火具
arati 不樂，不快，不欣喜
Arati〔經〕不快 S 8 2
Aratī〔魔女〕アラティー，嫌惡，不樂，不快
Aranemi〔外〕アラネーミ，阿羅那
arasa-rūpa 無味の色，色無味
Aravāla ①〔龍王〕阿羅婆樓 ②〔池〕
Arahaṁ〔經〕阿羅漢 S 1 25; 22 110; 23 8; 48 4, 5, 27, 28, 33; 56 24
Arahato kāyikacetasikavedanā-pañho 阿羅漢の身受・心受の問 Mil 4〔7〕2
Arahato satisammosa-pañho 阿羅漢の念忘失の問 Mil 4〔7〕7
arahatta 阿羅漢位，阿羅漢果，阿羅漢性
Arahattaṁ〔經〕阿羅漢果 S 38 2
arahatta-niyāma 阿羅漢決定
arahatta-phala 阿羅漢果
arahatta-phala citta 阿羅漢果心
arahattaphala-sacchikiriyā 阿羅漢果現證，阿羅漢果作證
arahattaphala-sacchikiriyāya paṭipanno 阿羅漢果作證向，阿羅漢果を證すべく修行する者，阿羅漢向
arahattaphala-samāpatti 阿羅漢果定，阿羅漢果等至，阿羅漢果得
arahatta-magga 阿羅漢道
arahatta-magga citta 阿羅漢道心
arahattamagga-samāpanna 阿羅漢道に入れるもの
arahattamagge ñāṇaṁ 阿羅漢道智
Arahatta-vagga 阿羅漢果品 A 6 75～84
arahattasacchikiriyāya paṭipanno 阿羅漢果を證すべく修行する〔者〕，阿羅漢果作證向，阿羅漢向
arahattāya paṭipanno 阿羅漢果能作證向人，阿羅漢〔果應證位成就人〕，向阿羅漢性者=阿羅漢果作證向，阿羅漢向
arahant 應供，阿羅漢，羅漢，應供者，應供の者，聖者，眞人〔如來十號の一〕
Arahanta〔經〕阿羅漢 S 22 76, 77
arahantaṁ jīvitā voropeti 阿羅漢を殺す，阿羅漢を殺害す，阿羅漢の命を奪ふ
arahanta-ghātaka 殺阿羅漢者
arahantaghāta-kamma 殺阿羅漢業
arahanta-bhūmi 阿羅漢地
arahantamajjhe sotthānaṁ 阿羅漢中の吉祥
Arahanta-vagga 阿羅漢品 S 22 63～72; Dhp 7 vv 90～99
Arahantavaṇṇa-kathā 阿羅漢外形論 KV 23 2
arahantā 阿羅漢尼
arahantānaṁ abbhācikkhati 阿羅漢を誹謗す

arahā khīṇāsavo 阿羅漢漏盡
arahā jīvitā voropito hoti 阿羅漢を殺す，阿羅漢を弑す
arā nibbānaṁ 涅槃に遠ざかる
Arikāri〔精舍〕アリカーリ
ariṭṭha 酒精舍有物
Ariṭṭha ①〔辟〕アリッタ，阿利吒 ②〔鷹匠，比〕アリッタ，阿梨吒，阿梨瑟吒 ③〔大臣，持律比丘〕アリッタ，阿栗吒，阿栗咤＝大阿栗吒、摩訶阿栗吒 ④〔毘沙門の大臣〕アリッタ ⑤〔塞〕アリッタ，阿利咤 ⑥〔龍〕アリッタ，阿梨吒 ⑦〔都〕アリッタ，阿利吒＝アリッタフラ ⑧〔山〕アリッタ ⑨〔精舍〕アリッタ ⑩〔經〕阿梨瑟吒 S 54 6
ariṭṭhaka 木槵子
Ariṭṭhaka〔天〕アリッタカ，阿栗吒
Ariṭṭhajanaka〔王〕アリッタヂャナカ
Ariṭṭhapura〔城〕アリッタフラ＝アリッタ
aritta 舵
Arindama ①〔王，佛の前生〕アリンダマ，伏敵 ②〔傳ゝ轉輪王〕アリンダマ，阿隣陀寧
Arimaddana〔ビルマの都〕アリマッダナ
Arimaddavijaya〔村〕アリマッダギヂャヤ
ariya アリヤ，聖者，聖，聖人，聖民，尊貴者
Ariya ①〔辟〕アリヤ ②〔地方族〕アリヤ＝アーリヤ ③〔經〕聖 S 46 19；47 17；51 3
ariya aṭṭhaṅgika magga 八聖道，八聖道支，八聖道分，八支聖道，八正道，八支賢聖道，聖八支道，八支の道，聖八正道，聖八正道支
ariya āyatana＝ariyāyatana 聖民の住處，聖處，貴き場所
ariya uccāsayana mahāsayana 聖の高床大床
ariyaka 中國〔語〕人
ariya-kanta 聖者所愛，聖者所樂，聖者に愛せらるる，聖者に稱讃せらるる，聖所愛，聖樂，聖戒〔戒〕
ariya-cakkhu 聖眼
ariya-caṅkama 聖の經行
ariya-ñāṇa 聖智
ariya tuṇhī-bhava 聖なる默然，聖默，聖默然，尊き沈默
Ariyan ti kathā 聖論 KV 3 2
ariya-dhamma 聖者の法，聖人の法，聖法
Ariya-dhamma〔經〕聖法 A 10 135, 179
Ariyadhamma-vipāka-kathā 聖法異熟論 KV 7 9
ariyadhamma-savana 聖法の聲聞
ariya-dhovana 聖なる洗滌
ariya paccorohaṇi 聖なる捨法
ariya-paññā 聖慧，聖なる慧
ariya paññā-cakkhu 聖慧眼
Ariyapariyesana-sutta アリヤパリエーサナ・スッタ，聖求經 M 26
ariya-pariyesanā 聖求
ariya-puggala 聖者
ariyapuggala-saṁsandanā 聖人結合論
ariyaphala-rasānubhavana 聖果の味の嘗味
ariya-magga 聖道
Ariya-magga〔經〕聖道 A 10 145, 189
ariyamagga-cetanā 聖道思
Ariyamagga-vagga 聖道品 A 10 145〜154, 189〜198
Ariyamuni〔比〕アリヤムニ
ariya-rūpa 聖色
Ariyarūpa-kathā 聖色論 KV 14 4
ariya-vaṁsa 聖種，賢聖族〔四種〕
Ariyavaṁsa アリヤヴンサ，聖系譜
ariyavaṁsa-kathā 聖種說
ariya vaḍḍhi 聖增長
ariya vamana 聖なる吐劑
ariya-vāsa 聖居，聖者の居處〔十種〕
Ariya-vāsā〔經〕聖居 A 10 19, 20
ariya-vimutti 聖解脫
ariya-vimokkha 聖解脫
ariya virecana 聖なる下劑
ariya-vihāra 聖住〔三住の一〕
ariya-vohāra 聖語，聖言，聖者言說〔四種〕
ariya-saṅgha 尊き僧伽
ariya-sacca 聖諦
ariya-samādhi 聖定，聖三摩地
ariya-sammāsamādhi 聖正定＝七定具
ariya-sāvaka 聖弟子，聖聲聞
Ariyasāvaka〔經〕聖弟子 S 12 49, 50

ariya-sīla 聖戒
ariya-sukha 聖樂
ariyassa vinaye soceyyaṁ 聖者の律の淨行
ariyassa vinayo 聖者の律，聖人の毘奈耶，聖戒，聖律
ariyā iddhi 聖神通，聖神變
Ariyākari〔精舎〕アリヤーカリ
ariyā diṭṭhi 聖見
ariyāna mantanā 聖人の語
ariyā parisā 聖衆會
ariyāyatana=ariya-āyatana 聖處，聖民の住處
ariyūpavāda 聖者の誹謗
ariyūpavādin 聖者を謗る者
ariyūposatha 聖者布薩
aru-kāya 形骸
arukūpama-citta 漏瘡喩心
arukūpama-citta puggala 漏瘡喩心人
aru-gatta 瘡瘻身〔者〕
aruṇa 明相
Aruṇa ①〔天〕アルナ，阿羅那 ②〔王〕アルナ ③〔尸棄佛の父，王〕アルナ，明相 ④〔城〕アルナ，明相 ⑤〔園〕アルナ，日 ⑥〔蓮華〕アルナ
Aruṇaka〔傳◦轉輪王〕アルナカ
Aruṇañjaha〔傳◦轉輪王〕アルナンヂャハ
Aruṇapāla〔傳◦轉輪王〕アルナパーラ
Aruṇavatī ①〔城〕アルナヷティー，有日，明相=アルナ ②〔經〕アルナヷティー S 6 14
Aruṇavant〔王〕アルナヷント，アルナヷー=アルナ，明相
aruṇugga 日出
Arudhammarakkhita〔比〕大ダンマラッキタ
Aruppala〔村〕アルッパラ
Aru-buddharakkhita〔比〕大ブッダラッキタ
arūpa 無色，無色天，無色有，無形～無色界天
arūpa-kammaṭṭhāna 非色の業處
arūpakāyika deva 無色身天
arūpa-jīvitindriya 非色命根，無色の命根
arūpa-taṇhā 無色愛〔三愛の一〕
arūpa-dhātu 無色界〔三界の一〕
Arūpadhātu-hathā 無色界論 KV 8 6
arūpa-bhava 無色有，無色界，無色の存在
arūpa-rāga 無色貪
Arūpavavatthabhāva-pañho 非色法分析の問 Mil 2〔7〕18
arūpa-saññin 無色想
arūpa-santati 非色相續
arūpa-samāpatti 無色定～無色界定
arūpārammaṇa-sukha 無色緣樂
arūpāvacara 無色界，無色廛，無色界繫
arūpāvacara-kiriyā 無色界繫唯作
arūpāvacara-kiriyā-citta 無色界唯作心
arūpāvacara-kusala 無色界善，無色界繫善，無色廛善
arūpāvacara-kusala-citta 無色界善心
arūpāvacara-kusala dhamma 無色廛善法，無色界善法
arūpāvacara-kusalahetu 無色界繫善因
Arūpāvacara-duka 無色界繫二法 Duka **95**
arūpāvacaraduka-kusalattika 無色界繫二法善三法 Duka-tika 104
arūpāvacara dhamma 無色界繫法，無色界法，無色廛法
arūpāvacara-paṭisandhi 無色界結生
arūpāvacara-bhūmi 無色界地，無色廛地
arūpāvacara-vipāka 無色界繫異熟，無色界異熟
arūpāvacara-vipāka-citta 無色界異熟心
arūpāvacara-vipākahetu 無色界繫異熟因
arūpāvacara-samādhi 無色界定
arūpāvacara-samāpatti 無色界の等至，無色界定～無色定
arūpāvacarā paññā 無色廛慧，無色界慧
arūpin 無色，無色者，非有色，無形
arūpino devā 無色界天～無色天
arūpin khandha 非有色蘊
arūpin dhamma 無色法，非有色法
Arūpī attā〔經〕無色我 S 24 38
arūpī attā hoti arogo 無色無病の我あり
arūpūpapattiyā maggo 無色生の道
aroga 無病
alaṁ 有能

Alaṁ〔經〕有能 A 8 62, 78
alaṁvacanīya 離婚せられたる
Alakadeva〔比〕阿羅迦提婆
Alakandara〔精舍〕アラカンダラ＝カンダラ
alakka〔樹〕アラッカ
alakkhika 無祥～不運
alakkhī 不運～無祥
Alagakkonāra〔大臣, 王〕アラガッコーナーラ
alagadda 蛇, 毒蛇
Alagadda-suttanta 蛇喩經
Alagaddūpama-sutta アラガッドゥウパマ・スッタ, 蛇喩經 M 22
alagaddūpamā 毒蛇の喩＝毒蛇經
alaṁ-kammaṇiya 可淫
alaṁkāra 裝身具, 莊嚴, 瓔珞
alaṅkāra-palibodha 莊嚴障礙
alajjin 無恥者, 無慚者, 無恥漢
alajji-puggala 無恥人
alamariya-ñāṇadassana 最勝智見, 最上智見
Alampāna＝Ālampāna〔蛇使〕アランパーナ
Alambusā〔天女〕アランブサー
Alombusā-jātaka アランブサー・ヂャータカ, アランブサー天女本生物語 J 523
alasa 懶惰
alasaka 腹脹
Alasanda (A)＝Allasanda (A)〔市〕アラサンダ, アッラサンダ, 亞歴山, 亞歴山陀, 阿荔散
Alasandaka (A) アラサンダ人
alassa＝ālassa, ālasiya, ālasya 懶惰, 懈怠
alāta 火燼
Alāta, Alātaka〔大臣, 將軍〕アラータ, アラータカ
alāta-cakka 旋火輪
alāpu＝alābu, lābu 葫蘆, 南瓜
alābuka＝alāpu 葫蘆, 南瓜
alābū＝lābu アラーブー, 葫蘆, 南瓜
alābha 不得, 不利, 不利得, 衰〔八世間法の一〕
alika 虛妄, 虛假, 虛僞
Alikasudara (A), Alikyaṣudala (A)〔王〕アリキャシュダラ, アラサンダ, アッラサンダ
Aliya-vasāṇi (A)〔經〕聖種
Alīnacitta〔王子〕無私心
Alīnacitta-jātaka アリーナチッタ・ヂャータカ, 無私心本生物語 J 156
Alīnasattu〔王子, 佛の前生〕アリーナサットゥ, 不著敵＝アリーナスッタ
aluddha 無貪欲者
aluna アルナ鳥
aleṇa 無安處, 無避難所
aloṇika 不鹹
alobha 無貪
alobha-avyākatamūla 無貪無記根
alobha-kusalamūla 無貪善根〔三善根の一〕
alobhajjhāsaya 無貪意樂
alobha-hetu 無貪因
Alomā〔夷, 死後生天〕アローマー
Alomā-vimāna アローマー女天宮 Vv 42
alohitā 無血者, 無月水女
alla-kaṭṭha 生木, 濡れたる薪
Allakappa〔城〕アッラカッパ, 遮羅頗
alla-mattikā 濕土
Allasanda(A)＝Alasanda(A)〔市〕アッラサンダ, 亞歴山, 亞歴山陀＝アラサンダ, 阿荔散
Aḷaka〔國〕アラカ, 阿羅迦, 阿邏迦
Aḷakā〔毘沙門天の都〕アラカー
Aḷakhiya〔ダミラ人〕アラキヤ
Aḷagvānagiri〔地名〕アラグヴーナギリ
aḷacchinna 大指截られし者
Aḷattūru〔ダミラ人〕アラットゥール
Avakaṇṇaka〔卑名〕アワカンナカ
avakāraka 撒布す
avakujjapañña puggala 覆慧人
avakkāra 殘食, 屑物
avakkāra-pāti 屑物器, 盛殘食器
avagaṇḍa-kāra 頰を脹らす
avaṅga 點靑
avacanīya 不可共語
avacchedaka 斷る
avajāta putta 劣生兒
avajānāti 輕蔑す

avajjha 不可侵
avañjha 不唐捐
avaṭa〔植〕アワタ
Avaṭaphaliya〔比丘の譬喩經〕アワタパリヤ Ap 3 463, 501
avaṇṭa〔果〕アワンタ
Avaṇṭaphaladāyaka〔比丘の譬喩經〕アワンタパラダーヤカ Ap 3 378
Avaṇṭaphaladāyaka-vagga アワンタパラ品 Ap 3 378～387
avaṇṇa 不名譽，不稱讃，誹謗，不德
avaṇṇaṁ bhāsati 謗る，毀呰す
avaṇṇa-hārita 惡宣傳
avaṇṇāraha 讃むべからざる人，毀らるべきもの
avatthu 無事
avadaññutā 不寛仁性，不親愛
avadāniya 吝嗇
Avanti ①〔國，族〕アワンティ，阿般提，阿槃提，晩帝那 ②〔王〕阿槃提
Avantiputta〔王〕アワンティプッタ
avandiya 禮を受くべからざる人
Avandiya〔ダミラ人〕アワンディヤ
avaruddhaka〔魔鬼の類〕アワルッダカ，驅擯者
avalekhana-kaṭṭha 屎篦
avalekhana-pidhara 屎篦襤褸
Avavādaka〔尼乾子，比〕アワワーダカ，教令者
avasaṭa 外道に入れる
avasavattana 無自在
avasāya 極事，不可說法＝涅槃
avassiyapavatta-sallakkhaṇā 不自在の正察
avassuta 漏泄，流漏，染心
Avassuta〔經〕漏泄 S 35 202
avassuta-pariyāya 漏泄の教法，流漏の教說
avāpuraṇa 鑰，鍵，戶鑰
Avāriya-jātaka アワーリヤ・ヂャータカ，アワーリヤ渡守本生物語 J 376
Avāriya-vagga アワーリヤ品 J 376～385
Avāriyapitar〔渡守〕アワーリヤピター

avikkhambhituppanna 未鎭伏生起
avikkhepa 無散亂，不散亂，專念＝定
avikkhepa-parisuddha 無散亂淸淨
avikkhepa-pārisuddhi 無散亂淸淨
avigata-paccaya 不離去緣，不離緣，不去緣〔二十四緣の一〕
avigatapaccaya-niddesa 不去緣廣說
avicāra 無伺
avicāra dhamma 無伺法
avicārā paññā 無伺慧
avijātā 未產の女，未だ子を生まざる女
avijjamāna paññatti 非存在施設
avijjamānena avijjamāna paññatti 非存在非存在施設
avijjā 無明
Avijjā〔經〕無明 S **35** 53, 79, 80；**38** 9；**45** 1；**56** 17；A **10** 61
Avijjā or Bhikkhu〔經〕無明(比丘) S 22 113
avijjā-ogha 無明瀑流，無明流〔四瀑流の一〕
avijjā-khandha 無明蘊
avijjā-gata 無明人，無明に囚はれ，癡者
avijjā ca bhava-taṇhā ca 無明と有愛
avijjā-dhātu 無明界
avijjā-nīvaraṇa 無明蓋〔五蓋の一〕
avijjānusaya 無明隨眠〔七隨眠の一〕
Avijjā-paccayā〔經〕無明緣 S **12** 35, 36
avijjā-pabheda 無明の破壞
avijjābhāgi-dhamma 無明分法
avijjā-yoga 無明軛〔四軛の一〕
Avijjā-vagga 無明品 S 22 126～135；**35** 53～62；**45** 1～10
avijjāvinaya dhamma 無明調伏の法
avijjā-visadosa 無明の毒害
avijjā-saṁyojana 無明結
avijjā-samphassa 無明觸
avijjāsava 無明漏，無明の漏，無智の漏
avijjogha 無明流，無明瀑流
aviññatti 無表
Aviññatti dussīlyan ti kathā 無表惡戒論 KV **10** 11
aviññu 無智人

aviññeyya dhamma 非所知法
avitakka 無尋
avitakka-avicāra 無尋無伺，無覺無觀，尋伺なきもの
avitakka-avicāra samādhi 無尋無伺定，無尋無伺の定，無尋無伺三昧，無尋無伺三摩地＝無尋無伺禪
avitakka-avicāra jhāna 無尋無伺禪＝無尋無伺定
avitakka-avicāra dhamma 無尋無伺法
avitakka-avicārā pīti 無尋無伺の喜
Avitakkaṁ〔經〕無尋 S 28 2；40 2
avitakka dhamma 無尋法
avitakka-vicāramatta 無尋唯伺
avitakka-vicāramatta jhāna 無尋唯伺禪＝無尋唯伺定
avittakka-vicāramatta dhamma 無尋唯伺法
avitakka-vicāramatta samādhi 無尋唯伺三摩地，無尋唯伺定〔三定の一〕
avitakka samādhi 無尋定
avitakkā paññā 無尋慧
avitakkāvicāra citta 無尋無伺の心
avitakkāvicāra pacchima-citta 無尋無伺の最後心
avitakkāvicāra-bhūmi 無尋無伺地
avitathatā 不違如性，不虚妄性，不離如性
avitatha-vādin 眞論者
avitathā 不違如，不虚，不離如
Avidūre-nidāna 遠からざる因緣物語 JN 3
aviddasu 愚者
avidvant 無智者
avinaya 非律
avinaya-kamma 非毘尼羯磨，非律羯磨，非律業
avinaya-vādin 非律說者，非調伏語者
avinipāta 不退轉，不墮，不墮惡趣，不惡趣
avinipāta dhamma 不墮法，不墮惡趣，不墮惡趣者，不退轉法，不惡趣法
avinibbhoga-rūpa 不簡別色
avipakka-vipāka 不圓熟異熟
avipariṇāma-dhamma 不變易法，非變異法
aviparīta-dassana 顚倒せざる見
avipallattha 不顚倒
avipāka 無異熟
avippaṭisāra 無悔恨，不悔，無追悔
avippavāsa-sammuti 不失衣認可
avibhūta ālambana 不明瞭所緣
avimutta-citta 未解脫心，不解脫心
avirati-sīla 不離戒
Aviruddhaka〔外〕アギルッダカ
avivadamāna 無諍
avivara-danta 齒に隙間なし〔三十二相の一〕
avivāda 無諍
avivādeti 無諍なり
Avivitta-kathā 不遠離論 KV 21 2
avisaṁvādanatā 不欺誑～信義
avisaṁvādanā 信義～不欺誑
avisāra 無散逸
avisārada 畏懼
avisārin 分了，不亂，短音〔八音の一〕
avisuddha〔戒〕不淸淨
avissajjiya 不可捨物〔五種〕
avihiṁsā 不害，不殺生，無害，安全＝悲
avihiṁsā ca soceyyañ ca 無害と淸淨，不害と淸淨
avihiṁsā-dhātu＝avihesā-dhātu 無害界〔三善界の一〕
avihiṁsā-vitakka 無害尋，無害の考想，不害覺＝無害思〔三善尋の一〕
avihiṁsā-saṁkappa 無害思，無害思惟，無害の思，不害の思惟，無害念＝無害尋〔三善思の一〕
avihiṁsā saññā 無害想＝無害尋，無害思〔三善想の一〕
Aviha deva 無煩天，無造天
avihesā-dhātu＝avihiṁsā-dhātu 無害界〔三善界の一〕
avihesāvant 無害者
Avīci〔地獄〕無間，阿鼻
avīci-jarā 無間斷の老
Avīci-niraya 無間地獄，無間〔地獄〕，阿鼻地獄

avītarāga 未離欲
avītikkama 不犯
avuṭṭhi 旱魃
aveccappasanna 不動信〔者〕，證淨者
Aveccappasanna〔經〕證淨 A 10 64
aveccappasanda 不壞の信，證淨，正信，絕對信，絕對淨信，確乎たる信心，動きなき信心
avedagū 不明智者
avedaniya kamma 不受の業
avebhaṅgiya 不可分物
avera 無怨，無恚，無惱害，恚心なく，德
Avela〔宮殿〕アヱーラ
avyagga-nimitta 不亂相
avyatta 不聰明，無能，未熟者
avyākata=abyākata 無記
avyākata-dhamma 無記法
avyākata-mūla 無記根＝無記因
avyākatamūla-sahajāta dhamma 無記根俱生の法
avyākata-rūpa 無記色
Avyākata-vagga 無記品 A 7 51～60
avyākata-vatthu 無記事
avyākata-vissajjana 無記答
avyākata-vedanā 無記受
Avyākata-saṁyutta アヴヤーカタ・サンユッタ，無記說相應 S 44 1～11
avyākata-sīla 無記戒
avyākata-hetu 無記因＝無記根
avyākatahetu-samuṭṭhāna-rūpa 無記因等起色
avyādhi 不病
Avyādhika〔比丘の譬喩經〕アヴヤーディカ Ap 3 225
avyāpajjha, abyāpajjha～abyābajjha 無瞋，無瞋恚，無瞋害，無害，無惱害，無損，無損害，無恚，無恚界，不瞋恚，害心なく
avyāpajjha-attabhāva-paṭilābha 無害の自體得
avyāpajjhagāmi-magga 無損に達するの道
avyāpajjhādhimutta 無惱害信解
Avyāpajjho〔經〕無損 S 43 35
avyāpanna-citta 不瞋恚者
avyāpāda 離瞋，無瞋恚，無瞋，無恚，不瞋恚〔十善業道の一〕
avyāpāda-dhammapada 無恚法足，無瞋法迹〔四法足の一〕
avyāpāda-dhātu 無恚界〔三善界の一〕
avyāpādavant 無瞋者
avyāpāda-vitakka 無恚尋，無瞋の考想，不瞋覺〔三善尋の一〕
avyāpāda-saṁkappa 無恚思，無恚の思，無恚の思惟，無恚念，無瞋思惟〔三善思の一〕
avyāpāda-saññā 無恚想〔三善想の一〕
avyāpāra-naya 不作爲の理，營務なき理
avhāna 招待
Asaṁdhimittā〔阿育王妃〕アサンディミッター
asaṁyama 不抑制
asaṁyoga 無縛
asaṁvara 不律儀，非律儀，不攝護＝不護根門
asaṁvāsa 不共住者
asaṁvuta 不律儀者，不律儀，無底
asaṁsagga-kathā 不會合論，不衆會論，不雜處論，不雜論，無雜論，他と雜處せざる話，世間に染まざるの稱說〔十論事の一〕
asaṁsaṭṭha 他と雜處せざる者，非交遊者
asakkacca-kata 不恭敬作
asakkāra 不敬
asakyaputtiya 非釋子
Asaṁkiya-jātaka アサンキヤ・ヂャータカ，無憂本生物語 J 76
asaṁkiliṭṭha-asaṁkilesika dhamma 非已染非能染法
asaṅkiliṭṭha-asaṅkilesika dhamma 不已雜染不順雜染法，不染不汚法
asaṅkiliṭṭha dhamma 不已雜染法，非已染法
asaṁkiliṭṭha-saṁkilesika dhamma 非已染能染法，非已染順染法
asaṅkiliṭṭha-saṅkilesika dhamma 不染汚法，不已雜染順雜染法
asaṅkilesika dhamma 不順雜染法
asaṁkha 不可測，阿僧祇，無數
asaṁkhata 無爲，作爲されざるもの
Asaṅkhataṁ〔經〕無爲 S 43 12

asaṁkhatagāmi-magga 無爲に達するの道
asaṅkhata dhamma 無爲法，無爲の法
asaṅkhata-pura 無爲の城
asaṅkhata-lakkhaṇa 無爲相
Asaṁkhata-saṁyutta アサンカタ・サンユッタ，無爲相應 S 43 1～44
asaṁkhatā dhātu 無爲界
asaṅkhatā nibbānadhātu 無爲涅槃界
asaṅkhāra 無行
asaṁkhāra-parinibbāyin 無行般涅槃，無行般涅槃者〔五不還の一〕
asaṅkhārika 無行
asaṅkheyya 阿僧祇，不可測，無數
Asaṅgahītena saṅgahīta 非攝〔なるものの〕所攝 Dhk 3
Asaṅgahītena asaṅgahīta 非攝〔なるものの〕非攝 Dhk 5
asañcicca 無識，無識者，不知者，無意者
Asañcicca-kathā 不故思論 KV 20 1
asañña 無想
Asañña-kathā 無想論 KV 3 11
asañña-bhava 無想有
asañña-satta 無想有情
asañña-satta deva 無想有情天
Asaññasattūpika-kathā 令爲無想有情論 KV 15 10
asaññā samāpatti 無想定
asaññin 非想者，無想，無想者
asaññī-vāda 非想說者，無想論
asaññojaniya dhamma 不順結法
asaṭha 不奸〔者〕，不諂者，諂なく，無諂，不幻僞*，無詐*，不詐*
asat＝asant 不實，不眞，不正，虛妄，非淨行，愚惡，無所有
asatāsampajañña 不正念不正知
asati 無念，無念者
asati amanasikāra 無念無作意
Asattha〔園〕アサッタ
asadisa 無雙
Asadisa〔王子〕アサディサ，無雙
Asadisa-jātaka アサディサ・ヂャータカ，アサディサ本生物語，無雙王子本生物語 J 181
Asadisa-vagga 無雙品 J 181～190
asaddahanatā 不信
asaddha, assaddha 不信者，不信〔者〕，不信，無信，信無く
Asaddha〔經〕不信 S **14** 17
Asaddhamūlakā-pañca〔經〕不信の根本五 S **14** 18
asaddhamma 非正法，非法，邪法，惡法，不正法，不道德，染法，罪業，罪行
asaddhamma-savana 惡法の聽聞
asana〔樹〕アサナ
Asanabodhiya〔比丘の譬喩經〕アサナボーディヤ Ap 3 60
Asani〔經〕雷電 S **17** 6
asani-vicakka 雷鳴〔風雨〕，落雷
asanī 帝釋天の雷電，雷電
asanta＝asat 不實，不眞，不正，虛妄，非淨行，愚惡，無所有，非有，愚惡人，不善人，非淨行者
asanta-sannivāsa 不善人との同住
asantuṭṭha 不喜足者，無厭者，不知足
asantuṭṭhi 不知足，不喜足，不滿足，足るを知らず
asantuṭṭhitā 不知足，不知足性，不喜足，足るを知らず
asantuṭṭhitā kusalesu dhammesu 善法に厭足せざること，善法に於て喜足せざる，善法に於て不喜足
asantuṭṭhitā ca kusalesu dhammesu appaṭivānitā ca padhānasmiṁ 善法に於て喜足せざると精勤に於て遮止せざると，善法に於て不喜足と精勤に於て不遮止と
asanthata 無隔
asappāya-kiriyā 不攝生
asappurisa 不善士，非善士，惡知識，不正の士
Asappurisa〔經〕不善士 S **45** 25, 26
asappurisa-dāna 非善士施〔五種〕
asappurisa-dhamma 不善士法，非善士法
asappurisa-bhūmi 不善士地
asappurisa-saṁseva 惡知識に親近すること

asabala 不斑點，無雜
asabbaji 一切不勝者
asabhāga-vutti 無禮儀
asabhāga-vuttika 不同類活命〔者〕
Asama ①〔天〕アサマ ②〔外,天子〕アサマ，阿舍摩 ③〔傳◦轉輪王〕アサマ ④〔ソービタ佛の第一弟子〕アサマ，無等 ⑤〔パドゥマ佛の父〕アサマ，無等 ⑥〔パドゥマ佛の信士〕アサマ
Asamatta〔經〕無等 S **55** 66
asamatta-paññā 無等慧
asamannāhāra 無存念，不存念
asamapekkhaṇā 不等察
Asamapekkhaṇā〔經〕不等察 S **33** 41～45
asamaya=akkhaṇa 非時〔八種〕
asamaya-vimutta 非時解脫，不時解脫～一時的ならざる解脫
asamaya-vimutta arahant 不時解脫阿羅漢
asamaya-vimokkha 不時解脫，一時的ならざる解脫～非時解脫
asamayo padhānāya 精勤に堪へざる時〔五種〕
Asamā ①〔パヅゥムッタラ佛の第二比丘尼〕アサマー，無等 ②〔パドゥマ佛の母〕
asamādhi 非定
asamādhi-sukha 非定樂
asamāna-saṁvāsaka 不共住人
asamāhita 無定，不定，不定者，亂意者，不寂靜者，安靜ならず，未得定
Asamāhita〔經〕不寂靜 S **14** 23
asamāhita-citta 未得定心，不定心
asamāhita-vibhanta citta 不定散亂心
asamūhatuppanna 未根絕生起
asampajañña 不正知，不正智=無明
asampajāna 不正知，不知，亂意
Asampadāna-jātaka アサンパダーナ•ヂャータカ，不與本生物語 J 131
Asampadāna-vagga 不與品 J 131～140
asambhoga 不共住
asammūḷha 非癡者
asammoha 無癡
asammoha dhamma 無癡法
asammohādhimutta 無癡信解
Asayha ①〔辟〕アサキハ ②〔長者〕
asaraṇa 無歸依所，無歸依處
asaraṇī-bhūta 無歸依者
asallakkhaṇā 不等觀
Asallakkhaṇā〔經〕不等觀 S **33** 26～30
asallīnatta 不怠
asallīna viriya 不退の精進，不動の精進
asallekhatā 不損減
asassata 無常
asassato attā ca loko ca 我と世界とは無常なり
asassato loko 世界は無常なり，世は無常なり，世間は無常なり
Asassato loko〔經〕世間無常 S **24** 10
asahita 不稱順
asākhalya 不和順
asāṭheyya 不諂
asāta 不可意，不快，嫌惡
asāta-manta アサータマンタ，嫌惡の聖典
Asātamanta-jātaka アサータマンタ・ヂャータカ，嫌惡聖典本生物語 J 61
Asātarāga-kathā 不快貪論 KV **13** 8
Asātarūpa-jātaka アサータルーパ・ヂャータカ，嫌惡色本生物語 J 100
asādiyanta 不覺樂者，不受樂者
asādhāraṇa-paññatti 不共通制
asādhu 不良
asāmanta paññatā 無隣慧
asāmāyika 非時，非時不動
asāmāyika〔-cetovimutti〕非時不動〔心解脫〕，非時
asāra 不堅實，不實，無堅實，非精髓
asārambha 無憤激
asārāga 無欲
asi 劍，劔，刀，大刀
asi-koṭṭa=camma-kāra 皮師，革職人
asita ① 無依者 ② 鎌
Asita ①〔辟〕アシタ ②〔仙〕阿私陀 ③〔華鬘作者〕阿私陀
Asitañjana〔城〕アシタンヂャナ

Asita-deva アシタ・デーヴ＝アシタデーヴラ，カーラデーヴラ仙
Asita-Devala〔仙〕アシタデーヴラ，阿私羅提韓遲＝アシタデーヴ
Asitābhū〔王妃〕アシターブー
Asitābhū-jātaka アシターブー・ヂャータカ，アシターブー妃本生物語 J 234
asipatta 劒葉樹
Asipatta-niraya 劒葉地獄＝劒葉林
Asipatta-vana 劒葉林，劒の葉の林＝劒葉地獄
Asibandhakaputta〔村長，尼乾の弟子，塞〕アシバンダカプッタ
asi-māla 鋳刀の戲
Asilakkhaṇa-jātaka アシラッカナ・ヂャータカ，劒相師本生物語 J 126
asiloka-bhaya 不名聲怖畏，汚名の怖畏，非難怖畏
asi-loma 劍毛者
asiloma purisa 刀葉〔の如き〕毛の人
Asi-sūkariko〔經〕刀の屠猪者 S 19 5
asisūnā 屠殺場，屠殺所，屠舍
asisūnūpamā 屠殺場の喩，屠舍の如く
asi-sūla 刀の刄〔譬喩〕
asī〔樹〕アシー
asīti-anubyañjana 八十種隨相，八十種の隨好相，八十種の特徴，八十隨形好，八十隨好，八十隨相好
asīti kimi-kulāni 八十〔種〕の蟲聚
Asīti-nipāta 第二十一篇 J 533〜537
asīti mahā-vattāni 八十大義務
asīti mahā-sāvakā 八十大聲聞
asītisata-sandhī 百八十の關節
asīsaka kavandha 無頭の胴〜無頭の肢
asīsa-kavandha 無頭の肢〜無頭の胴
asuci 不淨，不淨物，不淨者，臭穢
asucim mocentassa saṁghādiseso 故出精僧殘〔第一僧殘〕
asucitā 不淨性
asuci-paṭipīta 飲不淨〔者〕
asuci-sukka-visaṭṭhi 不淨漏精
asuññatā 不空
asuddha 不清淨，不淨
asuddha-diṭṭhi 不清淨の見
asuddha-dhamma 不淨法
asuddhi 不淨
asubha 不淨
Asubha〔經〕不淨 S 46 67
asubha-kathā 不淨說，不淨論
asubha-kammaṭṭhāna 不淨業處
Asubhakammaṭṭhāna-niddesa 不淨業處の解釋 VM 6
asubha-dhātu 不淨界
asubha-niddesa 不淨の解釋
asubha-nimitta 不淨相
asubha-bhāvanā 不淨觀
asubha-saññā 不淨想
Asubhasaññā〔經〕不淨想 A 10 217
asubha-samāpatti 不淨定，不淨三昧
asubhānupassin 不淨觀〔者〕，不淨の觀〔者〕
asubhe subhan ti vipallāso 不淨を淨なりとする顚倒，不淨を淨と謂ふ顚倒
asura〔鬼神〕アスラ，阿修羅，修羅
asura-kāya 阿修羅衆，阿修羅の衆團，阿修羅，阿修羅界，阿修羅群
asura-gaṇa 阿修羅群
asuratta 阿修羅界
asura-pura 阿修羅宮，阿修羅の宮殿
asura-bhavana 阿修羅界
Asura-vagga 阿修羅品 A 4 91〜100
asura-vata 阿修羅務
asura-vatika 阿修羅務者
asurinda 阿修羅王
Asurinda〔經〕阿修羅王 S 7 3
Asurinda-Bhāradvāja〔婆，比〕阿修羅王婆羅隋婆闍
asekha 無學
Asekha〔經〕無學 A 10 111, 112
asekha-ñāṇa 無學の智
Asekhañāṇa-kathā 無學智論 KV 5 2
asekha dhamma 無學法
asekha paññakkhandha 無學の慧蘊
asekha puggala 無學人〔三人の一〕

asekha-phala 無學果
asekha-bhūmi 無學地
asekha-muni 無學牟尼
asekha vimuttikkhandha 無學の解脱蘊
asekha vimuttiñāṇakkhandha 無學の解脱知見蘊
asekha-samādhi 無學の定
asekha samādhikkhandha 無學の定蘊
asekha sammāājīva 無學の正命〔十無學法の一〕
asekha sammākammanta 無學の正業〔十無學法の一〕
asekha sammāñāṇa 無學の正智〔十無學法の一〕
asekha sammāvāyāma 無學の正精進〔十無學法の一〕
asekha sammāsaṁkappa 無學の正思〔十無學法の一〕
asekha sammāsamādhi 無學の正定〔十無學法の一〕
asekha-sīla 無學の戒
asekha sīlakkhandha 無學の戒蘊
asekhādhipati 無學増上
asekhā paññā 無學の慧〔三慧の一〕
asekhā sammādiṭṭhi 無學の正見〔十無學法の一〕
asekhā sammāvācā 無學の正語〔十無學法の一〕
asekhā sammāvimutti 無學の正解脱〔十無學法の一〕
asekhā sammāsati 無學の正念〔十無學法の一〕
asekhiya dhamma 無學法〔十種〕
Asela〔王子，王〕アセーラ
asevitabba 親しむ可からざる，親近すべからざる
asoka ① 無憂，不愁 ②〔樹，花〕アソーカ，阿育，阿輸迦，無憂
Asoka ①〔王〕アソーカ，阿育，無憂＝法阿育，正法阿育 ②〔王〕＝迦羅阿育 ③〔往昔の王〕アソーカ，阿育 ④〔塞，比〕アソーカ，阿育 ⑤〔毘婆尸佛の侍者〕アソーカ，無憂 ⑥〔比，アノーマダッシー佛の第二弟子〕アソーカ，無憂 ⑦〔婆〕アソーカ ⑧〔山〕無憂 ⑨〔道場〕アソーカ
asokatā 無憂性
Asokapūjaka〔比丘の譬喩經〕アソーカプーヂャカ Ap 3 194
Asokamālādevī〔旃陀羅女〕アソーカマーラーデーヰー
Asokā ①〔マンガラ佛の第二比丘尼〕アソーカー，無憂 ②〔夷〕アソーカー，阿育
Asokārāma 無憂園，阿育園
asoracca 不敦厚
asmimāna 我慢
asmīti anusaya 我隨眠
asmīti chanda 我欲
asmīti māna 我慢
assa 馬，馬兵，神馬
Assa or Haya〔經〕馬 S 42 5
assaka 所有なし
Assaka ①〔十六大國の一〕アッサカ，阿濕婆伽，阿濕亭迦，阿說迦，阿攝迦，阿濕婆 ②〔王〕アッサカ，阿濕摩迦
Assaka-jātaka アッサカ・ヂャータカ，アッサカ王本生物語 J 207
assakaṇṇa〔樹〕アッサカンナ，阿沙干那
Assakaṇṇa〔山〕アッサカンナ，阿沙干那，馬耳
assa-kāya 馬軍，馬軍勢，馬衆
assa-khaluṅka 未調馬
Assagutta〔比〕アッサグッタ，馬護
assa-gopaka 馬丁
Assaji ①〔五比丘の一〕アッサヂ，阿說示，阿濕波誓 ②〔六群比丘の一〕アッサヂ，阿說示，阿濕貝，阿濕婆 ③〔經〕阿濕波誓 S 22 88
assatara 騾馬，騾
Assatara〔龍〕アッサタラ，阿濕婆多羅
assatarī 騾，牝驢，牝驢馬，驢
assattha ①〔樹〕アッサッタ，鉢多樹，阿濕波他，阿說他，阿輸陀，菩提樹 ② 已蘇息者
assattha 馬の買
assa-damaka 調馬師

assa-damma 應調馬
assadamma-sārathi 馬術師，調馬師，調御者
assa-dosa 馬の過〔八種〕
assaddha 無信，不信，不信者，信無く
assaddhi 不信
assaddhiya 不信
Assapāla〔司祭の子〕アッサパーラ，馬護
assa-piṭṭhi 馬背
assapuṭa＝bhassapuṭa 灰器
Assapura アッサプラ，馬邑，馬の城
assa-bandha 馬丁
assa-bhaṇḍa 放馬人
assama ① 庵，菴屋，道院，草菴，仙處，仙人住處，住院 ② 四住期
assa-maṁsa 馬肉
assamaṇa 非沙門
Assamaṇḍala〔渡〕アッサマンダラ
assa-maṇḍalikā 馬屋
assa-medha 馬祠，馬の供犧，害馬，簡馬祭
assayuja〔月〕アッサユヂャ，阿濕縛庾闍
assa-yuddha 馬闘
assa-ratana 馬寶，紺馬寶〔七寶の一〕
assa-ratha 馬車
assa-rājan 馬王
Assalāyana ①〔青年〕アッサラーヤナ，阿濕想 ②〔拘絺羅の父〕アッサラーヤナ
Assalāyana-sutta アッサラーヤナ・スッタ，阿攝想經 M 93
assa-vata 馬務
assa-vatika 馬務者
assa-vāṇija 馬商人，伯樂
assa-vāṇijaka 伯樂
assa-sadassa 良馬〔三種〕
assa-sadda 馬聲
assa-sālā 馬屋
assa-sippa 馬を御するの術
assa-senā 馬軍
assājānīya 駿馬，良種の馬，良馬
assāda 味，味著，樂味，嘗味，味著物，愛味，快味，甘味，美味，福
assāda-diṭṭhi ① 味著見，味見，樂味見 ② 常見
assāda-saṁyojana 味結
assādānupassanā 味觀
Assādena〔經〕甘味によりて S 35 15, 16
Assādo〔經〕味 S 22 26〜28, 73, 129, 130
assānīka 馬兵隊
assāmanta-paññā 無等慧
assāmika 無主
assārūha, assāroha 乘馬者，調馬師，騎馬者，騎兵
assāroha-gāmaṇī 乘馬聚落主
assāva 濕瘡，膿
assāsa ① アッサーサ，入息，出息，出息風 ② 蘇息，安息，慰安，安穩者，已蘇息者，安穩處 ③ 〜assāda 美味，快味〜味，愛味，樂味，甘味
assāsaka 所願
assāsaniya-dhamma 蘇息法〔四種＝四證淨〕
assāsa-passāsa 出入息，出息入息，入出息，入息出息
Assāsapassāsa-pañho 出息入息を止滅するの問 Mil 2〔7〕13
Assāso〔經〕安息 S 38 5
assu 涙〔三十二身分の一〕
Assu〔經〕涙 S 15 3
Assutavato〔經〕無聞 S 12 61, 62
assutavā puthujjano 未聞の凡夫，無聞の異生，無聞の凡夫
ahaṁkāra 我慢，我見，我觀，我心，我の狀態
Ahaṅkārapiṭṭha〔地名〕アハンカーラピッタ
ahaṁkāra-mamaṁkāra-māna 我我所慢
Ahaha〔地獄〕アハハ，阿訶訶
ahi アヒ，蛇，蛇虺，毒蛇
Ahi〔島〕アヒ，蛇
ahiṁsaka 不害，不害者
Ahiṁsaka〔經〕不害 S 7 5
Ahiṁsaka-Bhāradvāja〔婆，比〕不害婆羅隋婆闍
ahiṁsā 不害，無害
Ahiṁsā-niggaha-pañho 不害と折伏の問 Mil 4〔4〕2
ahi-kuṇapa 蛇屍，死蛇

ahi-guṇṭika, ahi-guṇṭhika, ahi-guṇḍika, ahi-tuṇḍika 蛇使，蛇使ひ

Ahiguṇḍika-jātaka アヒグンディカ・ヂャータカ，蛇使本生物語 J 365

ahita 不利

ahinā daṭṭho kālakato hoti 蛇に噬まれて死す

Ahipāraka〔将軍の子〕アヒパーラカ

ahi-maṁsa 蛇肉

ahirāja-kula 蛇王族〔四種〕

ahi-rājan 龍王，蛇王

ahirika, ahirīka 無慚者，無慚，慚無く

ahirikañ ca anottappañ ca 無慚と無愧

ahirika-bala 無慚力

Ahirikamūlakā-cattāro〔經〕無慚の根本四 S 14 19

ahivātaka-roga 蛇風病

ahi-vijjā 蛇明

ahetu-apaccaya 無因無緣

ahetuka 無因，無因者

ahetuka avyākata 無因の無記

ahetuka-kiriya-cetanā 無因唯作思

ahetuka-kiriyā 無因唯作

ahetuka-kiriyā-citta 無因唯作心

ahetuka citta 無因心

ahetuka-diṭṭhi 無因見

ahetuka dhamma 無因法

ahetuka nāma 無因の名

ahetuka paṭisandhi 無因結生

ahetuka-manoviññāṇa-dhātu 無因意識界

ahetuka-moha 無因癡

ahetuka-vāda 無因說，無因論者

ahetuka-vādin 無因論者

ahetuka vipāka 無因異熟

ahetuka-vipāka-manoviññāṇa-dhātu 無因異熟意識界

ahetu-vāda 無因論者，無因說

ahetu-vādin 無因論者

Ahogaṅga〔山〕アホーガンガ，阿吁恒河，阿烋河

aho-ratta 日夜

ahosi-kamma 既有業

ākaṅkha 意欲=速行心
Ākaṅkha〔經〕願 A 10 71
ākaṅkhamāna-catupañcaka 若し欲せばの二十事 V 2 b 1, 4
Ākaṅkha-vagga 願品 A 10 71~80
Ākaṅkeyya-sutta アーカンケーヤ・スッタ，願經 M 6
ākaḍḍhanā 牽
ākappa 威儀，行儀
ākappa-sampanna 行儀の圓足せる
ākara 鑛山
ākāra 行相，相，相貌，形相，形容，因相
ākāra-parivitakka 行相覺，相省慮，因由の審慮
ākāsa ① 虛空，空，蒼穹 ② 空處碁，無盤碁 ③ 鉤引者
Ākāsa ①〔廟〕アーカーサ ②〔經〕虛空 S 28 5；40 5；45 155
Ākāsaṁ〔經〕虛空 S 36 12，13
Ākāsa-kathā 虛空論 KV 6 6
ākāsa-kasiṇa 虛空遍，空遍=限界虛空遍
Ākāsa-gaṅgā ①〔河〕空河 ②〔水路〕アーカーサガンガー，天河
Ākāsagotta〔醫〕アーカーサゴッタ
ākāsaṭṭha 虛空物
ākāsaṭṭhaka-vimāna 空居〔天〕宮
ākāsaṭṭhā devatā 虛空神
ākāsa-dhātu 空界，虛空界〔六界の一〕
ākāsa-maṇḍala 虛空曼陀羅
ākāsasama-bhāvanā 空の如き修行
ākāsassa dasa guṇā 虛空の十德
ākāsānañcāyatana 空無邊處，虛空無邊處
ākāsānañcāyatana-kammaṭṭhāna 空無邊處業處
ākāsānañcāyatana-kiriyā 空無邊處唯作
ākāsānañcāyatana-kusala 空無邊處善
ākāsānañcāyatana-dhātu 空無邊處界
ākāsānañcāyatana-saññā 空無邊處想
ākāsānañcāyatana-saññin 空無邊處想〔者〕
ākāsānañcāyatanasahagata saññā manasikāra 空無邊處と俱行する想作意
ākāsānañcāyatanūpaga deva 虛空無邊處天，虛空無邊處趣生天
Ākāsukkhipiya〔比丘の譬喩經〕アーカースッキピヤ Ap 3 261
ākāse padaṁ n'atthi 虛空に道なし
ākāse pado 空中の足跡
Ākāso sanidassano ti kathā 虛空有見論 KV 6 7
ākiñcañña 無所有
Ākiñcañña ①〔經〕無所有處 S 28 7 ②〔經〕無所有 S 40 7
ākiñcaññā cetovimutti 無所有心解脫
ākiñcaññādhimutta 無所有處に心を傾く
ākiñcaññā paṭipadā 無所有の行
ākiñcaññāyatana 無所有處
ākiñcaññāyatana-kammaṭṭhāna 無所有處業處 VM 10 3
ākiñcaññāyatana-kiriyā 無所有處唯作
ākiñcaññāyatana-kusala 無所有處善
ākiñcaññāyatana-dhātu 無所有處界
ākiñcaññāyatana-saññā 無所有處想
ākiñcaññāyatana-saññin 無所有處想〔者〕
ākiñcaññāyatana-sappāyā paṭipadā 無所有處利益行道
ākiñcaññāyatana-samāpatti 無所有處定
ākiñcaññāyatanasahagata saññā-manasikāra 無所有處と俱行する想作意
ākiñcaññāyatanūpaga deva 無所有處天
ākucca 蜥蜴
Ākoṭaka〔外，天子〕アーコータカ，阿考吒迦
ākolaka〔植〕アーコーラカ
āgata 歸來者
āgatāgama 聖典に通曉し，阿含に通じ，阿含を傳へ，聖教を傳ふ
āgati-gati 去來，來往
āgantuka 客，來る人
Āgantuka〔經〕客 S 45 159
āgantuka upakkilesa 客の隨煩惱
āgantuka-bhatta 來客の食物，到來者食
āgantuka-bhavaṅga 客來有分
āgantuka bhikkhu 客比丘，客來比丘
āgantuka-vatta 客比丘の作法

āgantukāgāra 客舎
āgantukānaṁ bhikkhūnaṁ vattaṁ 客比丘の儀法
āgama 阿含，傳承，聖教，聖典
āgama-piṭaka 阿含藏
āgāmin 還來者
āgārika-mitta 在家の友
āgariyassa vibhūsā 在家者の嚴飾
āgāḷhā-paṭipadā 深固道
āgu 罪惡
āgucārin 犯罪者，惡漢
āghāta 瞋害，瞋怒，嫌恨，障礙，害心
Āghāta〔經〕嫌恨 A **9** 29，30
āghātana ① 刑場，斬首臺，死刑場 ② 殺戮
āghāta-paṭivinaya 嫌恨調伏，瞋怒折伏
Āghātaṭivinaya-sutta 瞋怒折伏經，嫌恨調伏經
Āghāta-vagga 嫌恨品 A **5** 161～170
āghāta-vatthu 害心事，嫌恨事，瞋怒事〔九種〕
ācama 吸引
ācamana 灑水〔所〕
ācamana-sarāvaka 洗淨盤，灑鉢
ācamana-kumbhi 灑瓶
ācaya 積集，增
Ācayagāmi〔經〕積集 A **10** 142，186
Ācayagāmittika 積集趣三法 Tika **10**
ācayagāmittika-kusalattika 積集趣三法善三法 Tika-tika 30
ācayagāmittika-saraṇaduka 積集趣三法有諍二法 Tika-duka 82
ācayagāmittika-hetuduka 積集趣三法因二法 Tika-duka 10
ācayagāmi dhamma 積集趣法，流轉法
ācaya-gāmin 積集，積集行，積累，流轉，能趣積集
ācariya ①阿闍梨，軌範師，師，師匠，教授師 ② 煩惱，現行者，阿闍梨
ācariyaka 師範，行持，古傳
ācariya-dhana 師の報酬
ācariya-dhanu 師範弓
ācariya-paramparā 阿闍梨相承
ācariya-bhariyā 阿闍梨の妻
ācariya-matta 阿闍梨に等しき人，阿闍梨程度の人
ācariya-muṭṭhi 師拳，阿闍梨の拳，教師の握拳
ācariya-lesa 阿闍梨似
ācariya-vaṁsatā 師傳
ācariya-vatta 阿闍梨に對する承事 V 2 a 1，32
ācariya-vāda 阿闍梨說
ācariya-sama 阿闍梨に等しき者
ācariyūpaddava 師としての苦
ācāma 飯汁，飯泡，飯の泡，飯の泡汁，焦飯
Ācāmadāyikā-vimāna 飯泡施者天宮 Vv 20
ācāra 正行，行，正しき行，淨行，行處，軌則
ācāra-gocara 正行と行處，威儀，正行
Ācāraviṭṭhi〔村〕アーチャーラギッティ
ācāra-vipatti 行壞，壞行，破行〔四失壞の一〕
ācāra-vipanna 行の失壞，行壞，行壞者，破行，壞行
ācāra-sīla 慣行戒
ācikkhanā 說示，教說，開示
āciṇṇa 常法，常所行法，宿習
āciṇṇa-kappa 常法淨，慣習認容〔十事の一〕
āciṇṇa〔-kamma〕宿習〔業〕
ājañña＝ājānīya 駿馬，良駿，良馬
Ājaññaṁ〔經〕良馬 A 8 13
Ājañña-jātaka アーヂャンニャ・ヂャータカ，良馬本生物語 J 24
ājānīya ① 高貴者，駿敏，殊勝なる者 ②＝ājañña 駿馬，良駿，良馬
ājānīyajjhāyita 良馬の靜慮
ājānīyassūpama-dhammapariyāya 良種馬の喩の法門
ājīva 活命，命，生活，生計
ājīvaka＝ājīvika アーヂーヴカ，アーヂーギカ，邪命外道，邪命士，活命外道，活命外學，活命者，活命派，活命苦行者，阿耆毘伽，阿湏婆迦
Ājīvaka〔塞〕アーヂーヴカ，阿時婆迦
ājīvaka-bhaya＝ājīvika-bhaya 生活の怖畏，生計の怖畏，活命怖畏
ājīvakinī 活命者女
ājīvaṭṭhama 活命第八

ājīva-pārisuddhi 命清淨，活命遍淨
ājīvapārisuddhi-sīla 活命遍淨戒
ājīva-vipatti 命壞，壞命〔四失壞の一〕
ājīva-saṁvara 活命律儀
ājīva-sampadā 活命圓足
ājīvaka-sāvaka 邪命弟子
ājīvika=ājīvaka
ājīvika-bhaya=ājīvaka-bhaya
āṭa〔鳥〕アータ
Āṭānāṭā〔都〕アーターナーター
Āṭānāṭiya〔護呪〕アーターナーティヤ，阿吒曩胝〜次項
Āṭānāṭiya-suttanta アーターナーティヤ・スッタンタ，阿吒曩胝經 D 32
Āṭānāṭiya-paritta 稲竿護呪〜前項
āṇañja=ānañja, āneñja 不動
āṇañja-saññā 不動想
Āṇañjasappāya-sutta アーナンヂャサッパーヤ・スッタ，不動利益經 M 106
āṇañjasappāyā paṭipadā 不動利益行道
āṇañjādhimutta 不動に心を傾く
āṇatti 命令
āṇākkhetta 威令利土
āṇā-cakka 命令輪
āṇādesanā 威力說示=律藏
āṇi 橛，箸
Āṇi〔經〕鼓輻 S 20 7
āṇi-colaka 小帯
Āṇimanaṇḍavya アーニマンダヴヤ=マンダヴヤ道士
ātapa 陽光，熱，溫處
ātappa 熱勤，熱心，勇猛，熾然
Ātappaṁ〔經〕熱心 S 12 88
ātāpin 熱心，熱意，正勤
Ātuma〔比〕アートゥマ
Ātumā〔村〕アートゥマー，阿頭
ātura 苦惱者
āturakāyo ceva āturacitto ca 病身にして病心
āturakāyo pi no ca āturacitto 病身にして無病心
ātura-citta 病心
āthabbaṇa 魔法，魔術〜Athabbaṇa-veda
āthabbaṇika 魔術師
ādāna 取
ādānanikkhepa-rūpa 取捨色，生より死に至るまでの色
ādāya 執
Ādāyā-bhāṇavāra 所持品 V 2 a 7, 1〜7
ādāri〔蔓草〕アーダーリ
ādāsa 鏡，鏡面
Ādāsa-maṇḍapa アーダーサマンダパ，鏡堂
Ādāsa-mukha〔王子，王〕鏡面
Ādāsamukha-kumāra アーダーサムカ・クマーラ，鏡面王子=前項
ādi-kattar 最初の犯行者
ādikammika ① 初學者 ② 最初の犯行者，最初の犯戒者，初犯者
ādikara 初作
ādi-kalyāṇa 初善，初めよく
ādi-kalyāṇa majjhe-kalyāṇa pariyosāna-kalyāṇa 初善中善後善，初善なる中善なる後善なる，初善く中善く後善く，初善く中善く終亦善く，初中後善，初も善く中も善く後も善き，初めに善く中に善く終りに善き，初も美しく中も美しく終も美しく
ādi kusalānaṁ dhammānaṁ 善法の初=戒具足
ādicca 太陽，日，日輪
Ādicca ①〔王統〕アーディッチャ，日氏，アディティの子〜日種，日の族 ②〔王臣〕アーディッチャ ③〔經〕日輪 S 46 48
ādicca-kula-ketu 日種幢
Ādicca-bandhu〔王統〕アーディッチャバンドゥ，日種，日種姓，日種族，日親，日の族，日の親，日の親族
Ādiccupaṭṭhāna-jātaka アーディッチュパッターナ・ヂャータカ，日輪供養本生物語 J 175
āditta 熾然，燃燒
Āditta ①〔經〕熾然 S 22 61 ②〔經〕燃えつつ S 1 41
Ādittaṁ〔經〕燃燒 S 35 28
Āditta-jātaka アーディッタ・ヂャータカ，燃

燒本生物語 J 424
āditta-pariyāya アーディッタパリヤーヤ，燃火の教，燃火の教說，燃燒方便，燃燒の法，熾然品 V 2 a 21
Ādittapariyāya-desanā 燃燒方便の說法，燃火の教の說示～前項
Āditta-vagga 燃燒品 S **1** 41～50
āditta-sīsa 頭燃，頭燒，頭髮燃ゆ
Ādittena〔經〕燃燒にて S **35** 194
ādipāda〔官職〕アーディパーダ
Ādipādakajambu〔地方〕アーディパーダカヂャンブ
Ādipādapunnāgakhaṇḍa〔地名〕アーディパーダプンナーガカンダ
ādibrahmacariyaka 根本梵行，根本の淨行，根本順梵行的，初梵行，梵行の初，梵行の基礎
ādibrahmacariyakā paññā 根本順梵行的なる慧，根本梵行の慧，初梵行慧
ādibrahmacāriyikā sikkhā 初梵行の學
ādi-majjha-pariyosāna-kalyāṇatta 初中後善＝初善中善後善
Ādimalaya〔將軍〕アーディマラヤ
ādīnava 過患，患，患難，過失，禍，災患，厄難，惡罪，危險
ādīnava-ñāṇa～ādīnava-ñāṇa 過患智
ādīnava-saññā 過患想，患想，苦想
ādīnavānupassanā 過患隨觀，過患觀，患觀
ādīnavānupassanā-ñāṇa 過患隨觀智
ādīnave ñāṇaṁ 過患智
ādesa 宣示，讀心，記心
ādesanā 記心〔四種〕
ādesanā-pāṭihāriya 記心示導，記心神變，記說神變，知他心神變，告他心神變，觀察他心神變
ādhāna-gāhin 堅固執〔者〕，堅固執を起し
ādhāraka 文机
Ādhāradāyaka〔比丘の譬喩經〕アーダーラダーヤカ Ap 3 209
ādhinātha〔官職〕アーディナータ＝アーディナーヤカ
ādhināyaka〔官職〕アーディナーヤカ＝アーディナータ
ādheyya-mukha 輕信のもの
ānaka〔太鼓〕アーナカ，阿能訶
ānañjaṁ manasikaroti 不動を作意す
ānañja-kāraṇa 不動術
ānañja-samādhi 安闍三昧，不動三昧＝第四禪
ānaṇya 無債
ānantarika 無間罪，無間業，障罪，墮無間者，五無間
ānantarika-kamma 無間業
ānantarika ceto-samādhi 無間心定
ānantarika-samādhi 無間定，無間三摩地，不斷の三昧
ānantarika-samādhismiṁ ñāṇaṁ 無間三摩地の智
ānantariya＝ānantarika 無間〔業〕，無間罪，障罪
ānantariya-kamma 無間業＝逆罪
ānantariya〔-magga-samādhi〕無間〔道定〕
Ānanda ①〔佛〕阿難陀 ②〔比，佛の從弟，侍者〕アーナンダ，阿難，阿難陀，慶喜 ③〔辟〕アーナンダ ④〔プッサ佛の子〕阿難陀 ⑤〔蓮華上佛の父〕慶喜，阿難陀 ⑥〔マンガラ佛の異母弟〕アーナンダ，慶喜 ⑦〔王〕アーナンダ，阿難陀 ⑧〔青年〕アーナンダ ⑨〔兀鷹王〕アーナンダ ⑩＝毘提訶道士，阿難 ⑪〔魚〕アーナンダ，歡喜 ⑫〔廟〕アーナンダ，阿難，阿難陀 ⑬〔菩提樹〕阿難陀 ⑭〔經〕阿難 S **8** 4；**9** 5；**22** 21，37，38，83，158；**51** 27，28；**54** 13，14；**55** 13；A **9** 37；**10** 5，39，40，82
Ānanda-cetiya 阿難廟，阿難陀支提
Ānandabhaddekaratta-sutta アーナンダバッデーカラッタ・スッタ，阿難一夜賢者經 M 132
Ānanda-vagga 阿難品 A 3 71～80
ānanda-somanassa 喜樂
Ānando or Atthatto〔經〕阿難（我は有り）S **44** 10
ānāpāna 安般，出息入息，出入息，安那波那
Ānāpāna〔經〕入出息 S **46** 66
Ānāpāna-kathā 入出息論
ānāpāna-kammaṭṭhāna 安般念業處

ānāpāna-kammaṭṭhānika 安般業處者
ānāpāna-pabba 安般節
Ānāpāna-vagga 入出息品 S 46 57～66
Ānāpāna-saṁyutta アーナーハーナ・サンユッタ，入出息相應 S 54 1～20
ānāpāna-sati 安般念，阿那波那念，入出息念，出入息念，念出入息，數息觀
ānāpānasati-samādhi 入出息念三摩地，入出息念定，阿那波那三昧，安般念定
ānāpānasati-samāpatti 安般念定～阿那波那念三昧
Ānāpānasati-sutta アーナーハーナサティ・スッタ，入出息念經 M 118
Ānāsava〔辟〕アーナーサヴ
ānisaṁsa 功德，勝利，利益，福利
Ānisaṁsa-kathā 功德論 KV 9 1
Ānisaṁsa-paṇṇāsaka 初功德五十經 A 10 1～50
Ānisaṁsa-vagga ① 勝利品 A 6 96～106 ② 功德品 A 10 1～10
ānisada 臀部
ānisadaṭṭhi 尾閭骨
ānupubbi-kathā＝anupubbi-kathā 次第説法，隨順說，古傳說
ānubhāva＝anubhāva 威神力
ānejja, āneñja＝āṇañja, ānañja 不動
Āneñja-kathā 不動論 KV 22 3
āneñjaphala-samāpatti 不動果等至
āneñja saṅkhāra 不動行
āneñja samādhi 不動三昧，安闍三昧
āneñjābhisaṁkhāra 不動行，不動現行〔三行の一〕
āpaṇa 店，市肆
Āpaṇa〔地名，町〕アーハナ，阿摩那，阿惒那，阿波那
āpaṇa-sālā 店屋
āpaṇikassa gharaṁ 商家
āpattaññabhāgiya 罪異時
āpattādhikaraṇa 罪過諍事，罪諍事，罪事，犯罪事，犯罪諍事〔四諍事の一〕
āpattādhikaraṇassa mūlaṁ 犯罪諍事の根本
āpatti アーハッティ，罪，罪過，犯，犯罪，犯戒，有罪
āpatti āpattādhikaraṇaṁ 犯罪と犯罪諍事
āpattikara-dhamma 生罪法
āpatti-kusalatā 入罪善巧，犯善巧
āpatti-kusalatā ca āpatti-vuṭṭhāna-kusalatā ca 入罪善巧と出罪善巧，犯善巧と出犯善巧
āpattikkhandha 罪聚，罪蘊
āpatti-bhaya 毀犯の怖畏〔四種〕
āpattiyā adassane ukkhepaniya-kammaṁ 罪を見ざるによる擧罪羯磨 V 2 b 1，25～30
āpattiyā appaṭikamme ukkhepaniya-kammaṁ 罪を懺悔せざるによる擧罪羯磨 V 2 b 1
āpatti-lesa 罪似
Āpatti-vagga 犯畏品 A 4 241～250
āpatti-vuṭṭhāna-kusalatā 出罪善巧，出犯善巧
āpatti-saṁgaha 罪聚
āpatti-samuṭṭhāna 犯罪等起
āpattisamuṭṭhāna-kathā 犯罪等起論
āpadā 災禍，災害，事故，艱難
āpanna 犯，犯戒
āpanna bhikkhu 罪を犯せる比丘
āpāṇa-koṭika 終身〔戒〕
āpātha 視野，視路，識域，領域
āpāthaka 四衢街
āpādikā 養母，嬭母
āpādetar 養者
āpāna 飲水所
Āpāna〔ヴンニー人〕アーパーナ
āpānaka～apānaka 不飲者，不飲水行者
āpāniya-kaṁsa 水飲器，青銅の杯
āpāyika 惡生有情，惡生の，惡趣者，惡趣の
āpāyika dukkha 惡趣の苦
Āpāyika-vagga 惡趣品 A 3 111～120
apo アーポー，水
Āpo〔天〕水
āpo-kāya 水身，水界〔七身の一〕
āpo-kasiṇa 水遍〔十遍處の一〕
āpokasiṇa-samāpatti 水遍等至
āpokasiṇārammaṇa jhāna 水遍處定
āpo-gata 水性，水態

āpo-dhātu 水界
āpo-saṁvaṭṭa 水壞
āpo-saññā 水想
āpo-saññin 水想〔者〕
āposama-bhāvanā 水の如き修行
ābandhana-bhāva 結著性
ābandhana-lakkhaṇa 結著相＝水界
ābādha 病，病氣，疾，惱
ābādhā kamma-vipākajā 業異熟所生の諸病，業報所生病
ābādhika 病人
ābharaṇa 瓔珞，莊身具，莊飾品
Ābhassara 極光天，極光淨天，光音天〔第二禪天〕
Ābhassaratta 極光天性
Ābhassara deva 極光淨天，極光天，光音天
ābhā 光，光明
Ābhā-deva 光天
ābhā-dhātu 光界，光明界〔七界の一〕
Ābhā-vagga 光品 A 4 141～150
ābhijāti～abhijāti 生類～階級〔六種〕
ābhidosika-kummāsa 殘粥
ābhidhammika 阿毘達磨師，論師，論學者
ābhidhammika-gaṇa 論學の衆，論師衆
ābhisekika 灌頂〔衣〕
ābhujī〔植〕アーブヂー
ābhoga 觀念，思惟，功用
āmaka-dhañña 生の穀類，生穀
āmakadhañña-paṭiggahaṇa 生穀の收受
Āmakadhañña-peyyāla 生穀廣說品 S 56 61～131
Āmakadhañña-peyyāla Cakka-peyyāla 生穀廣說輪廣說 S 56 61～70
āmaka-maṁsa 生肉
āmaka-maṁsa-paṭiggahaṇa 生肉の收受
āmaka-lohita 生血
āma-gandha 臭穢，腥
Āmagandha-sutta 臭穢經 Sn 2 2
āmaṇḍa〔植〕アーマンダ，蓖麻
Āmaṇḍa〔王〕アーマンダ＝アーマンダガーマニ王
Āmaṇḍagāmani〔王〕アーマンダガーマニ＝アーマンダ，アーマンディヤ
Āmaṇḍaphaladāyaka〔比丘の譬喩經〕アーマンダパラダーヤカ Ap 3 526
Āmaṇḍiya アーマンディヤ＝アーマンダガーマニ王
āmattikāpaṇa 陶器店
āmalaka＝āmalakī〔樹，藥果〕アーマラカ，阿摩勒，阿麿勒，阿摩羅，阿摩洛迦、阿末羅，菴摩羅果，餘甘子，山査
āmalaka-palibodha 阿摩勒障礙
āmalaka-phāṇita 菴摩羅果汁
āmalakavaṇṭika-pīṭha 阿摩勒莖の如き小床
āmalakī＝āmalaka〔果，樹〕アーマラキー
Amalakī-vana アーマラキー樹園
Āmala-cetiya〔精舍〕アーマラチェーティヤ
āmasana 捉摩
āmāvasesa 消化
āmāsaya 生臟＝胃
āmisa 財，食，飲食，餌，食樂，味，利養
āmisa-iddhi 財成滿
āmisa kiñcikkha 些細な利益
āmisa-khāra 灰汁
āmisa-cāga 財捨
āmisa-dāna 財施
āmisa-dāyāda 財の相續者，財の後繼者，肉嗣
āmisa-paṭisanthāra 財遍覆護
āmisa-pariccāga 財遍捨
āmisa-pariyeṭṭhi 財遍尋性
āmisa-pariyesanā 財遍尋
āmisa-pūjā 財供養
āmisa-bhoga 財受用
āmisa-yāga 財供養，財の供養
āmisa-ratana 財寶
Āmisa-vagga 願望品 J 51～60
āmisa-vuḍḍhi 財增長，財產の得
āmisa-vepulla 財廣大
āmisa-saṁvibhāga 財均布，財の均分
āmisa-saṅgaha 財攝受
āmisa-santhāra 財覆護
āmisa-sannicaya 財積集

āmisa-sambhoga 財等受用，食共事
āmisātitheyya 財款待
āmisādhimutta 欲に心を傾く
āmisānukampā 財哀愍
āmisānuggaha 財攝益，財の攝益
āmisesanā 財尋
āya 收益
āya-kosalla 增益善巧，入來善巧，來に巧〔三善巧の一〕
āyataka-gītassara 長調の歌音
āyata〔-cīvara〕長衣
āyatana ① 處，入處，因 ② 精進
Āyatana〔經〕處 S 4 17；56 14
āyatana-kusala 處善巧
āyatana-kusalatā 處善巧
āyatana-kusalatā ca paṭiccasamuppāda-kusalatā ca 處〔に關する〕善巧と緣起〔に關する〕善巧
āyatana-cariyā 處行
Āyatana-dhātu-niddesa 處・界の解釋 VM 15
āyatana-paññatti 處施設
Āyatana-yamaka 處雙品 Y 3
Āyatana-vibhaṅga 處分別 Vibh 2
āyata-paṇhin 足跟廣長，跟廣長なり〔三十二相の一〕
āyatta-vutti 勤勞
āyasmant 尊者，具壽
Āyasmanta〔將軍〕アーヤスマンタ
āyasmā 具壽者よ
Āyācana〔經〕勸請 S 6 1
Āyācana-vagga ① 所問品 S 23 23～34 ② 希求品 A 2 12
Āyācitabhatta-jātaka アーヤーチタバッタ・ヂャータカ，所願供養本生物語 J 19
āyāga 供物の容器，受獻者
Āyāgadāyaka〔比丘の譬喩經〕アーヤーガダーヤカ Ap 3 38
āyu 壽，壽命
Āyu〔經〕壽命 S 4 9，10
āyu usmā viññāṇa 壽と煖と識
āyukkhaya-maraṇa 壽盡死
āyukkhayena maraṇaṁ 壽盡による死
āyutta-sakaṭa 牛車
Āyupāla〔比〕アーユパーラ
Āyupālī〔尼，僧伽蜜多の阿闍梨〕アーユパーリー，阿由波羅
āyuppamāṇa 壽量，年壽
āyubbeda〔衞生・醫療の學〕アーユッベーダ
Āyura〔大臣〕アーユラ
āyu-saṁkhaya 壽命の滅盡，壽盡
āyu-saṅkhāra 壽行，壽命の素因，生命の素因
āyu-sampatti 壽成就
āyussa 壽を益する〔五法〕
āyūhana 增益
āyūhanā 存續
āyoga ① 研究 ② 紐，繫紐
āra 錐
ārakkha 護，守護，保護
ārakkhakammanātha〔官職〕アーラッカカンマナータ
ārakkha-gocara 守護行處
Ārakkhadāyaka〔比丘の譬喩經〕アーラッカダーヤカ Ap 3 224，311
Ārakkhadāya-vagga アーラッカダーヤ品 Ap 3 311～320
ārakkha-devatā 守護神，守護天
ārakkha-sampadā 守護具足
ārakkhika 護衞人
ārakkheyya 不護
āragga 錐尖
Ārañjara〔山〕アーランヂャラ
āraññaka＝āraññika，araññaka 阿練若住者，阿練若者，阿蘭若住者，阿蘭若に住するもの，蘭若に住む，林住者，閑林住者，森林住者，住林者，林に住し，林住者
āraññakaṅga＝āraññikaṅga 阿蘭若者分，阿練若住支，林住法
āraññakatta 林住，林中に住ふこと
āraññaka-nāga 野象
āraññaka-bhikkhu＝araññaka-bhikkhu 阿練若比丘，阿蘭若比丘，林住比丘，住林比丘
āraññaka-miga 野鹿，林野の鹿，林棲の鹿

āraññaka-sīla 野性
āraññaka senāsana 阿蘭若住處，阿蘭若の床座
āraññakānaṁ bhikkhūnaṁ vattaṁ 阿練若比丘の儀法
Ārañña-vagga 阿蘭若品 A 5 181～190
āraññika=āraññaka, araññaka
āraññikaṅga=āraññakaṅga
āraddha-viriya 勤精進，勤精進者，精勤者，精進を起せる，發勤，發勤者，發勤精進，努力精進者
āraddha-viriyatā 發勤精進性
ārabbha 行
ārabbha-vatthu 精進事〔八種〕
ārambha 勵醒，發勤，勤
ārambha-dhātu 發勤界，發勤，勤界，發起界
ārambhānaṁ nirodho 勵醒の滅
Āramma〔人〕アーランマ
ārammaṇa 所緣，緣境，冥想の對象，觀念の對象
Ārammaṇa〔經〕所緣 S 34 5, 42～45
Ārammaṇa—Gocara〔經〕所緣—行境 S 34 41
ārammaṇa-kusala 所緣善
ārammaṇato manasikāro 所緣に依る作意
ārammaṇa-paccaya 所緣緣〔二十四緣の一〕
ārammaṇapaccaya-niddesa 所緣緣廣說
ārammaṇa-paṭipādaka-manasikāra 所緣に赴かしむる作意
ārammaṇa-paṭṭhāna 所緣發趣
ārammaṇa-paṇītatā 所緣の勝妙性
ārammaṇa-purejāta 所緣前生
ārammaṇa-mātikā 所緣論母
ārammaṇa-vaḍḍhana 所緣の增大
ārammaṇa-vavatthāpana 所緣の確立
ārammaṇa-vibhatti 所緣分別
ārammaṇa-saṅkantika 所緣の超越
ārammaṇa-saṅgaha 所緣の攝 Abhsaṅg 3 5
ārammaṇa-santatā 所緣の寂靜性
ārammaṇa-samatikkama 所緣の超越
ārammaṇātikkama 所緣の超越
ārammaṇādhiggahituppanna 所緣堅執生起
ārammaṇādhipati 所緣增上
ārammaṇūpanissaya 所緣親依，所緣親依止
Āravāla, Āravāḷa〔龍王〕アーラヴーラ，阿羅婆樓
Āravāla〔池〕アーラヴーラ，阿羅婆樓
ārā 遠離
ārācārin 遠行者
ārādhaka 倘意に適ふ
ārāma 園，園林，林園，遊園，公園，苑囿，僧園，僧伽藍，伽藍，阿蘭若*
ārāmaṭṭha 園物
Ārāmadaṇḍa〔婆〕アーラーマダンダ
Ārāmadāyaka〔比丘の譬喩經〕アーラーマダーヤカ Ap 3 307
Ārāmadūsaka-jātaka アーラーマドゥーサカ・ヂャータカ，毀園本生物語 ① J 46 ② J 268
ārāma-devatā 園神
Ārāma-vagga 僧園品 V 1 b 4, 51～60
ārāma-vatthu 園地，園林地
Ārāmassa〔村〕アーラーマッサ
ārāmika 園林を司る人，守園人，寺男，淨人，下僕
ārāmika-gāma 守園人村
ārāmika-gāmaka 淨人村
ārāmika-pesaka 管淨人，管園林人，使淨人主
Āriya〔地方族〕アーリヤ=アリヤ
Āriyakkhatta〔族〕アーリヤッカッタ
āruppa 無色界，無色
Āruppa-kathā 無色論 KV 6 4
Āruppa-niddesa 無色の解釋 VM 10
Āruppe rūpa-kathā 無色界有色論 KV 8 8
ārogya 無病，健康
ārogya-mada 無病憍，無病の憍，無病の憍逸〔三憍の一〕
ārogya-sampadā 無病成就，無病の圓足〔五成就の一〕
ārogyā paramā lābhā 無病は最上の利
ārodana 慟哭〔處〕
Ārohanta〔大臣〕アーローハンタ
āroha-pariṇāha 高さと幅，長廣
āroha-mada 長高憍
ālapanā 無間虛談

ālama(A)=ārāma 精舎
Ālampāna=Alampāna〔蛇使〕アーランパーナ
ālamba〜āḷambara 〔樂器〕アーランバ，鐃鼓
Ālambagāma〔池〕アーランバガーマ
Ālambanadāyaka〔比丘の譬喩經〕アーランバナダーヤカ Ap 3 221
Ālambanadāyaka-vagga アーランバナダーヤカ品 Ap 3 221〜230
ālambana-bāha 欄干
ālambara〜ālamba 大鼓，太鼓，鼓
Ālambāna=Ālambāyana 〔婆〕アーランバーナ，アランバーヤナ
Ālambāyana-manta アーランバーヤナの呪文
ālaya アーラヤ，阿頼耶，愛，愛著，愛著心，愛貪，執著，所執處，避難の處
ālayābhinivesa 執著現貪，執住著
Ālavatta〔王〕アーラヴッタ
ālasiya, ālasya, ālassa=alassa 懶惰，懈怠
āli〔魚〕アーリ
ālinda 玄關，外縁
ālu〜ālula〔球根，植〕アール
ālula〜ālu〔樹〕アールラ
āluva〔草〕アールヴ
Āluvadāyaka〔比丘の譬喩經〕アールヴダーヤカ Ap 3 278
āloka アーローカ，光，光明，明
Āloka〔窟〕アーローカ
āloka-kara 放光者〔三種〕
āloka-kasiṇa 光明遍
āloka-pharaṇatā 光明遍滿，光明偏滿性，明遍滿〔五正定支の一〕
āloka-saññā 光明想
ālopa ① 握り飯，食團 ② 窃盗，奪取，掠奪
āḷaka, āḷakā〔炎，植〕アーラカ，アーラカー
Āḷakamandā〔天の都〕アーラカマンダー
āḷambara〔樂器〕アーランバラ，鼓，大鼓，太鼓，鐃鼓
Āḷava〔經〕阿蕳毘 S 10 12
āḷavaka 住林者，阿羅婆
Āḷavaka ①〔夜叉，鬼〕アーラヴカ，阿羅婆迦，阿蕳婆迦，曠野 ②〔塞〕アーラヴカ
Āḷavaka bhikkhu 阿羅毘〔邑〕の比丘
Āḷavaka-sutta 曠野〔夜叉〕經 Sn 1 10
Āḷavanda〔ダミラ人〕アーラヴンダ
Āḷavandapperūmāḷa〔ダミラ人〕アーラヴンダッペールーマーラ
Āḷavikā ①〔尼〕アーラギカー，阿蕳毘迦 ②〔經〕阿蕳毘迦 S 5 1
Āḷavi-Gotama〔比〕アーラギゴータマ，阿邏毘瞿曇
Āḷavī 〔邑〕アーラギー，阿羅毘，阿羅鞞，阿蕳毘，阿臘毘，曠野
Āḷāra〔長者，人〕アーラーラ
Āḷāra-Kālāma〔仙〕アーラーラ・カーラーマ，阿羅邏迦羅摩，阿羅邏迦蘭，阿羅羅迦羅摩，阿羅羅迦蘭摩
āḷārika 料理人，厨人
Āḷāhaṇa〔房舎〕アーラーハナ
āḷāhana 火葬場，荼毘の場所，墓地
āḷi 堤，堤塘
Āḷi〔湖〕アーリ
Āḷisāraka〔地方〕アーリサーラカ
āḷha〔量〕阿羅迦
āḷhaka〔量〕アールハカ，アーラカ，升，阿宅迦，阿羅迦，瓶
āvajjana 轉向，轉，向轉，運心，傾心，傾注
āvajjanakiriyāvyākata 傾心行無記，轉向唯作無記
āvajjana-manodhātu 向轉意界，轉向意界
āvajjana-manoviññāṇa-dhātu 向轉意識界，轉向意識界
āvajjana-vasin 傾心自在，轉向自在
āvajjanūpekkhā 轉向(顧念)の捨
āvaṭṭa 渦卷，旋流，洄洑
āvaṭṭanā=āvajjanā 運心，轉，轉向，向轉，傾心，傾注
āvaṭṭanin 化術〔者〕
āvaṭṭanī māyā 誘引の術
āvaṭṭa-bhaya 渦の怖〔畏〕，旋流の怖畏，洄洑の怖畏，洄洑畏
Āvattagaṅgā〔河〕アーヴッタガンガー
āvaraṇa 障，禁斷，防禦

āvaraṇa nīvaraṇa 障蓋〔五種〕
Āvaraṇa-nīvaraṇa〔經〕障蓋 S **46** 38
āvaraṇīya-dhamma 障法，障礙法，障礙の法，覆障法
āvasatha 住所，住處，居宅，房舍，內室，施食處
āvasatha-cīvara 屋內衣，月華衣
āvasatha-piṇḍa 施食處の食
āvasathāgāra 休息所，休息堂，休息の家，福德舍
āvāsa 住處，住所
āvāsa-kappa 住處認容，住處淨
āvāsa-palibodha 住處執持
āvāsa-macchariya 住處慳〔五慳の一〕
āvāsika 居住者
āvāsika bhikkhu 舊住比丘，舊比丘
Āvāsika-vagga ① 舊住比丘品 V 3 15，13 ② 舊住品 A **5** 231〜240
āvāsikānaṁ bhikkhūnaṁ vattaṁ 舊比丘の儀法
āvāsena suddhi 住に依りて清淨あり
āvāha 嫁取り，嫁を娶ること，嫁娶〜娶ること
āvāhana 娶ること〜嫁取り，嫁を娶ること，嫁娶
āvāha-maṅgala 成婚祭禮
āvāha-vivāha 嫁の遣り取り，嫁娶婚姻，嫁娶，結婚，婚姻
āvāha-vivāhaka 婚姻
āviñchanacchidda 紐孔
āviñchana-rajju 紐
āvibhāva-pāṭihāriya 顯現示導
āvila citta 濁れる心
āvudha 武器，武具，兇器
āvuso 尊者，友よ，卿
āveṇi 不共
āveṇi-uposatha 不共の布薩
āveṇi-kamma 不共の羯磨
Āveṇikā〔經〕特殊 S **37** 3
āveṇi-pavāraṇā 不共の自恣
āveṇi-saṁgha-kamma 不共の僧伽羯磨
āvedhiya 隱閉論
Āvela〜Āveyya〔傳◦轉輪王〕アーヹーラ
āveḷa 頭爺
āvesana-vitthaka 抽匣
Āvopupphiya〔比丘の譬喩經〕アーヷーフッピヤ Ap 3 62
āsaṁsa 正希望〔者〕
Āsaṁka-kumārikā 疑姬
Āsaṁka-jātaka アーサンカ・ヂャータカ，疑姬本生物語 J 380
āsaṅkā 危險
Āsaṅkā〔女〕アーサンカー，疑
āsajja 駁論
āsañcicca 不知者，無意者，無識者〜不故思
āsatti 執著
āsana 坐具，坐所，坐床，座，座具，座所，座床，座榻，床座，牀座
Āsanatthavika〔比丘の譬喩經〕アーサナッタヸカ Ap 3 316
āsana-paññāpaka 知臥坐具人
āsana-pariyantika 座による制限者
āsana-sālā 坐堂
Āsanūpaṭṭhāyaka〔比丘の譬喩經〕アーサヌーパッターヤカ Ap 3 108
āsane nisīdati 座牀に著く
āsandi 高床，交椅
āsandika 交椅
āsanna〔-kamma〕近〔業〕
āsabha 牛王，牛，牡牛
āsabha-ṭhāna 牛王の地位
āsaya ① 所依，依所，住窟，棲處 ② 分泌物
āsayānusaya-ñāṇa 他心知通
āsava 漏
Āsava〔天〕アーサヴ，伊灑
Āsava-kathā 漏論 KV **15** 5
āsavakkhaya 漏盡，漏の盡
āsavakkhaya-ñāṇa 漏盡智
āsava-khaya 漏の盡，漏盡
Āsavakhaya〔經〕漏盡 S **45** 45；**48** 64；**54** 20；**56** 25
āsava-gocchaka 漏聚，漏群
āsavagocchakaduka-hetuduka 漏群二法因二法

Duka-duka 43
Āsava ceva āsava-sampayutta-duka 漏漏相應二法 Duka 18
āsava ceva āsava-sampayutta dhamma 漏漏相應法, 漏法にして漏相應なる
āsava c'eva dhamma āsava-sampayutta ca 漏法にして漏相應なる, 漏漏相應法
āsava c'eva dhamma sāsava ca 漏法にして有漏なる, 漏有漏法
Āsava ceva sāsava-duka 漏有漏二法 Duka 17
āsava ceva sāsava dhamma 漏有漏法, 漏法にして有漏なる
āsavaṭṭhāniya dhamma 有漏法
Āsava-duka 漏二法 Duka 14
āsavaduka-kusalattika 漏二法善三法 Duka-tika 35
āsava dhamma 漏法
āsava-nirodha 漏の滅
āsavanirodhagāminī paṭipadā 漏の滅に導く道
āsavavippayutta-anāsava dhamma 漏不相應無漏法, 漏不相應法にして無漏なる
āsava-vippayutta dhamma 漏不相應法
āsava-vippayutta dhamma anāsava 漏不相應法にして無漏なる, 漏不相應無漏法
āsava-vippayutta dhamma sāsava 漏不相應法にして有漏なる, 漏不相應有漏法
Āsavavippayutta-sāsava-duka 漏不相應有漏二法 Duka 19
āsavavippayutta-sāsavaduka-kusalattika 漏不相應有漏二法善三法 Duka-tika 40
āsavavippayutta-sāsava dhamma 漏不相應有漏法, 漏不相應法にして有漏なる
āsava-samucchede paññā 漏を斷ずることの慧
āsava-samudaya 漏の集
āsava-sampayutta 漏相應
āsava-sampayutta c'eva dhamma no ca āsava 漏相應法にして非漏なる, 漏相應非漏法
āsavasampayutta ceva no ca āsava dhamma 漏相應非漏法, 漏相應法にして非漏なる
Āsavasampayutta-duka 漏相應二法 Duka 16
āsavasampayuttaduka-kusalattika 漏相應二法善三法 Duka-tika 37
āsava-sampayutta dhamma 漏相應法
āsavasāsavaduka-kusalattika 漏有漏二法善三法 Duka-tika 38
Āsavā ①〔經〕諸漏 S 35 56, 57 ②〔經〕漏 S 38 8; 45 163; 47 50; A 10 122
āsavānaṁ khaye ñāṇaṁ 漏盡智
āsavānaṁ khaye ñāṇa vijjā 漏盡智明
āsavānaṁ khaye yathābhūta ñāṇa-balaṁ 漏盡如實智力〔佛十力の一〕
āsavānaṁ khayo 漏盡, 漏の盡, 漏の滅盡, 諸漏の滅盡, 諸漏を滅盡す
Āsavānaṁ khayo〔經〕漏盡 S 48 20
āsavāsava-sampayuttaduka-kusalattika 漏漏相應二法善三法 Duka-tika 39
āsā 希望, 願望, 望, 意欲
Āsā〔天女〕アーサー
āsāṭikaṁ sāṭetā 蟲卵を除く
āsāṭikā 蟲卵
āsā-doḷasaka 望十二事 V 2 a 7, 9
āsāḷha ①〔月〕アーサールハ, 阿沙陀, 阿沙荼, 頞沙荼 ②〔星宿〕阿沙荼, 阿沙陀
āsāḷhichaṇa-ussava 阿沙荼月祭
āsāḷhi-nakkhatta〔秋祭〕阿沙陀祭
āsāḷhī〜āsāḷha〔月〕阿沙陀, 頞沙荼
Āsā-vagga 希望品 A 2 11
āsāvati, āsāvatī アーサーヴティ〔一〕, 蔓草
āsiṁsati 希望す
āsītika〔草〕アーシーティカ
āsīvisa 毒蛇, 毒牙, 蛇, 毒ある蛇
āsīvisa-ghoravisa 猛烈なる毒ある蛇, 毒蛇
āsīvisa nāga 毒龍
Āsīvisa-vagga 毒蛇品 S 35 197〜207
Āsīvisūpama 毒蛇喩〔經〕＝毒蛇經
āsīvisūpama puggala 蛇喩人, 蛇に喩ふべき補特伽羅〔四種〕
Āsīvisūpama-suttanta 蛇喩經〜次項
Āsīviso〔經〕毒蛇 S 35 197
āsevana-paccaya 習行緣, 修習緣, 習熟緣〔二十四緣の一〕
Āsevanapaccaya-kathā 習熟緣論 KV 22 7

āsevana-paccayatā 習熟縁性
āsevanapaccaya-niddesa 修習縁廣說
āsevanā 習行
āsevanā-bhāvanā 習修習
Āsevitabba 〔經〕 應習 A **10** 150, 194
āhacca-pada 引用句
āhacca-pādaka 〔臥床〕 アーハッチャパーダカ, 阿遏遮脚
āhaccapādaka-pīṭha 脱脚椅子, 阿遏遮脚小床
āhaccapādaka-mañca 脱脚床, 阿遏遮脚床
āhavanīya 奉獻せらるべき
āhāra 食, 食物, 糧料
āhāra-atthipaccaya 食有縁
āhāra-ja 食生=食等起
āhāraṭṭhitika 食によりて住立す
āhāra-nirodha 食の滅
āhāra-paccaya 食縁〔二十四縁の一〕
āhārapaccaya-āhārasamuṭṭhāna 食縁食等起
āhārapaccaya-utusamuṭṭhāna 食縁時節等起
āhārapaccaya-niddesa 食縁廣說
āhāra-maya 食所成
āhāra-rūpa 食色
Āhāra-vagga 食品 S **12** 11～20
āhāra-samuṭṭhāna 食等起
āhārasamuṭṭhāna-kalāpa 食等起聚
āhāra-samuṭṭhāna-rūpa 食等起色
āhāra-sambhava 食所成, 食生
āhārasambhūto ayaṁ kāyo 食より此の身は生ず
Āhārā 〔經〕 食 S **12** 11 ; **46** 51
āhārūparodha 斷食
āhārena suddhi 食に依り清淨あり
āhāre paṭikūlasaññā-bhāvanā 食厭想の修習 VM **11** 1
āhāre paṭi〔k〕kūla-saññā 食厭想, 食厭忌想, 食違逆想, 食に於て違逆想, 食不淨想
āhāre paṭikkūlasaññī 食に於て違逆の想〔者〕, 食厭想者
āhāro nīvaraṇānaṁ 蓋の食
āhāro bojjhaṅgānaṁ 覺支の食
āhuti 供犧, 供祭, 生贄, 祭祀, 護摩供
āhuneyya 應請, 供養せらるべき, 可供養者
Āhuneyya 〔經〕 應請 A **8** 57, 58 ; **9** 10 ; **10** 16, 97
āhuneyyaka 崇拜さるべき人, 應請者
āhuneyyaggi 供養火, 應請火〔三火の一〕
āhuneyyabhāvādi-siddhi 應供養者たること等の成就

ikkāsa 粘泥
ikkhaṇika 易者
ikkhaṇikā 卜占女
iṅgāḷakhu～aṅgārakāsu 炭火の坑
Iṅgirīsi インギリーシ人，イギリス人
icchā 欲，欲求，欲望
Icchā ①〔經〕欲望 S 1 69 ②〔經〕欲 A 8 61, 77
Icchānaṅkala＝Icchānaṅgala〔村〕伊車能伽羅，伊奢能伽羅，一奢能伽羅
Icchānaṅkala-vanasaṇḍa 伊車能伽羅林，一奢能伽羅林
Icchānaṅgala ①〔村〕一奢能伽羅，伊奢能伽羅，伊車能伽羅 ②〔經〕一奢能伽羅 S 54 11
Icchānaṅgala-vana 一奢能伽羅林，伊車能伽羅林
icchā-pakata 悪性，欲爲性
icchāvacara 欲の領域
icchā-vinaya 欲調伏
ijjhanaṭṭhe paññā 神通の義の慧，成就の義の慧
iñjita 動轉
iñjita-nirodha 動轉の滅
iṭṭha 可愛
iṭṭha〔-ālambana〕好〔所緣〕
iṭṭhakā 煉瓦，瓦，甎
iṭṭhakā-kuḍḍa～iṭṭhakā-pākāra 瓦牆，瓦籬
iṭṭhakā-caya 瓦積
iṭṭhakā-chadana 瓦屋
iṭṭhakā-pākāra 瓦籬，瓦牆
iṭṭhakā-santhāra 瓦床
iṭṭhakā-sopāna 瓦段
iṭṭha-rūpa 可愛相
Iṭṭhā〔經〕可愛 A 10 73
iṭṭhikā＝iṭṭhakā 煉瓦，瓦，甎
Iṭṭhiya〔比〕壹帝臾，一地臾
iṇa 債，債務，負債，借財
iṇa-paribhoga 借用受用
iṇāyaka 負債者，負債人
iṇāyika 借金取り，債權者
itara 此方＝生死界
itara＝para-vādin 他論師
itaram pi māsaṁ parivāso 第二月別住
itikirā 傳說，臆說
itibhavābhava-kathā かくありなしの話，斯く有り無しの論，有無論，有非有所說，如是有無論，如是存在非存在論〔無用論の一〕
itivādappamokkha 饒舌
itivuttaka イティヴッタカ，如是語，如是說，本事，伊帝曰多伽，因緣經*〔九分教の一〕
Itivuttaka イティヴッタカ，如是語經〔小部經の一〕Khuddaka 4
itihāsa イティハーサ，伊帝訶寫，傳說，古傳說，史傳，如是語
itihāsa-pañcama 第五說話集～伊帝訶寫，傳說，古傳說，史傳，史話
itihītiha 傳聞，相傳，受け賣りの說
itihītiha-paramparā 相傳，受け賣りの說，傳聞
Ito dinna-kathā 此處施論 KV 7 6
ittara 無常，暫時
ittara-dhamma 暫時〔的世〕法
itthatta 婦女性
itthāgara 後宮，宮女，女官，妃妾
itthi, itthī 女，女人，婦，婦人，婦女，女性
itthi-kathā 女人論，女論，婦女論，婦女の話，婦人論〔無用論の一〕
itthi-dhutta 婦女に惑溺
itthindriya 女根〔二十二根の一〕
itthi-paṇḍikā 黃門女，女黃門
itthi-bhāva 女性
itthibhāva-dasaka 女性十法
itthiyā malaṁ 婦女の垢穢
itthi-ratana 玉女寶，女寶〔七寶の一〕
itthi-rūpa 婦女の姿，婦人の色，女色
itthi-liṅga 女相，女子の相
Itthi-vagga 婦女品 J 61～70
Itthi-vimāna-vagga 女人天宮品
itthi-sota 婦女の孔穴
itthī＝itthi 女，婦，女人，婦人，婦女，女性
ithidhiyakha-mahāmāta (A), ithījhakha-mahāmāta (A) 監婦大官
Idaṁ dukkhan ti kathā 是苦論 KV 11 4

idaṁ-saccābhinivesa-kāyagantha 此實執身繫，此實執取身繫，此實住著身繫，眞實住著身繫，諦著身繫，此諦住著身繫，是眞實執取身繫＝十事の邊見〔四繫の一〕
idappaccayatā 此緣性，相依性，緣性，依緣性，此が緣に依るといふこと
idappaccayatā paṭiccasamuppanna-dhamma 相依性緣起法
iddhānubhāva 神通威力，神通力，如意力
iddhābisaṁkhāra 神變行，神通行，神通勝行，神通變化
iddhi 神變，神通，神通力，神足，神，神變力，神力，威力，仙術
Iddhi ①〔經〕神變 S 52 12 ②〔經〕天耳界 S 52 13
iddhikatā 神變
Iddhi-kathā 神通論，神變論 Pṭs 3 2；KV 21 4
iddhi-citta 神變心
iddhi-pāṭihāriya 神通神變，神通變化，神變示導，神通不可思議，神通力〔三神變，三示導の一〕
iddhi-pāda 神足，如意足〔四種〕
Iddhipāda-pañho 四神足の問 Mil 4〔1〕10
iddhipāda-bhāvanā 神足の修習
Iddhipāda-vagga 神足品 A 9 83～92
Iddhipāda-vibhaṅga 神足分別 Vibh 9
Iddhipāda-saṁyutta 神足相應 S 51 1～86
Iddhipādā〔經〕如意足 S 43 7
iddhipādānaṁ ijjhanaṭṭho 神足の神通の義
iddhi-bala 神力，神通力
Iddhibala-kathā 神力論 KV 11 5
iddhibalena samannāgato 神力具足者
iddhi-mada 神通憍，神變憍
iddhimant 神通具足者，神通力者，神變者，神變を有し，通を具へ
iddhi-maya〔-cīvara〕神變所作〔衣〕
iddhi-mahatta 神變の偉大
iddhiyā aṭṭha padāni 神通の八句，神變の八句
Iddhiyā kammavipāka-balavatara-pañho 神通より業報强きやの問 Mil 4〔5〕1
iddhiyā koṭi 神通の至極
iddhiyā cattāro pādā 神通の四足，神變の四足
iddhiyā soḷasa mūlāni 神通の十六根
iddhividha-ñāṇa, iddhividhe ñāṇaṁ 神通類智，神通類の智，神變智
iddhi-vidhā 神變，神通類，神通の種類
Iddhividhā-niddesa 神變の解釋 VM 12
iddhividhe ñāṇaṁ 神通類智，神通類の智，神變智
idha 此界
idha parinibbāyī puggalo 此處般涅槃補特伽羅
idha-loka 此世
idhaloka-vijaya 此世の勝伏
idhaloka-saññin 此世想〔者〕
Idhalokika〔經〕此世 A 8 49, 50
idha vihāyaniṭṭho puggalo 此處究竟補特伽羅
Inandapada〔ダミラ人〕イナンダパダ
Inda ①〔天〕インダ，因陀，因陀羅，帝釋＝天帝釋，釋提桓因 ②〔傳○王〕因陀羅
Indaka ①〔夜叉〕インダカ，因陀迦 ②〔經〕因陀迦 S 10 1
Indakūṭa〔山〕因陀峯
inda-ketu 因陀羅の旗
inda-khīla 因陀羅柱，帝柱，市門の標柱，門柱，門閾，閾，柵門
Inda-khīla〔經〕因陀羅柱 S 56 39
Indagutta ①〔阿育王時代の比丘〕インダグッタ，因陀掘多 ②〔ドゥッタガーマニ王時代の比丘〕インダグッタ，因陀羅掘多
indagū 根行者，自在行者
indagopaka インダゴーパカ，赤色甲蟲，臙脂
indajālika 手品師
indatta 帝釋界
inda-nīla〔寶珠〕帝釋靑
Inda-paṭimā 帝釋像
Indapatta〔クル國の都〕インダパッタ，因陀羅波羅薩多
Inda-pura インダ城，帝釋の都
inda-laṭṭhi 因陀羅の杖，帝釋の杖
inda-vajira 帝金剛，因陀羅金剛　電光
inda-vata 帝釋務
inda-vatika 帝釋務者

indavāruṇika 〔樹〕古魯聖篤
Indasagotta インダサ姓＝カーティヤーナ
Indasama 〔傳◦轉輪王〕インダサマ
Indasamāna-gotta 〔苦行者〕因陀羅同姓
Indasamānagotta-jātaka インダサマーナゴッタ・ヂャータカ，因陀羅同姓本生物語 J 161
Indasāla 〔窟〕インダサーラ，因陀娑羅，因陀薩羅
indīvara 〔花〕インディーヴラ，青睡蓮，蓮
indriya 根
Indriya ①〔經〕諸根 S 35 153 ②〔經〕根 S 43 8；52 20
Indriya-kathā 根論 Pṭs 1 4；KV 19 8
Indriya-jātaka インドリヤ・ヂャータカ，根本生物語 J 423
indriya-paccaya 根縁〔二十四緣の一〕
indriyapaccaya-niddesa 根緣廣說
indriya-paññatti 根施設
indriya-paropariyatta 根上下，根の上下
indriya-paropariyattaṁ yathābhūta-ñāṇa-balaṁ 根上下如實智力〔佛十力の一〕
indriya-paropariyatte ñāṇaṁ 根上下智
indriya-baddha 根縛，苦
Indriyabaddha-kathā 根縛論 KV 17 4
indriya-bhāvanā 根修習，根の修習
Indriyabhāvanā-sutta インドリヤバーヴナー・スッタ，根修習經 M 152
Indriya-yamaka 根雙論 Y 1
indriya rūpa 根色
Indriya-vagga 根品 A 4 151～160
Indriya-vibhaṅga 根分別 Vibh 5
indriya-vemattatā 根の種種性，根の差別性
Indriya-saṁyutta 根相應 S 48 1～185
Indriya-saṁyutta catuttha 第四根相應
indriya-saṁvara 根律儀，根防護，根の防護，根を護ること，諸根の律儀，諸根の制御
indriyasaṁvara-pariyanta 根律儀周邊
indriyasaṁvara-sīla 根律儀戒
Indriya-sacca-niddesa 根・諦の解釋 VM 16
indriya-samatā 根の平等
indriyasamatta-paṭipadā 根平等の行道
indriya-sampanna 根具足，諸根具足
indriyānaṁ adhipateyyaṭṭho 根の增上の義
indriyānaṁ avakkanti 諸根の入
indriyānaṁ avekallatā 根の無缺
indriyānaṁ pasādo 根明淨
indriyānaṁ vipariṇāmo 諸根の變壞
indriyāsaṁvara 根を護らざる事，非根律儀
indriyūpasama 諸根の寂靜
indriyesu aguttadvāratā 不護根門，根門を護らぬこと，根に於ける不護門，不守護根門，諸根に於ける不護門
indriyesu aguttadvāratā ca bhojane amattaññutā ca 不護根門と食不知量，根門を護らざると食の量を計らざると
indriyesu aguttadvāro 不護根門〔者〕，根門を護らざる者
indriyesu guttadvāratā 根門守護，根門の守護，根門を護る，根門を護ること，守護根門，根の守護，護根門，諸根に於ける護門，諸根の守護，諸根の門を護る，能護根門
indriyesu guttadvāratā ca bhojane mattaññutā ca 能護根門と於食知量，根門を能く護ると食の量を知ると
indriyesu guttadvāro 根門を護る者，五官の門のよき監視者，諸根の門を護る，諸根に於てその門をよく守護す，護根門者
ibbha＝ibha 賤奴，卑俗，醜奴，毘舍
ibbha kiṇha 邪黑の醜奴
ibha(A)＝ibbha 毘舍，賤奴，醜奴，卑俗
Imamhā kāyā aññaṁ kāyaṁ saṅkamana-pañho 此の身より他の身に轉移するやの問 Mil 2〔5〕7
imasmiṁ asati idaṁ na hoti これ無き時にかれなし，彼無きが故に此無し
imasmiṁ sati idaṁ hoti これある時にかれあり，彼有るが故に此有り
imassa nirodhā idaṁ nirujjhati 彼滅するが故に此滅す，これ滅する時にかれ滅す
imassuppadā idaṁ uppajjati 彼生ずるが故に此生ず，これ生ずる時にかれ生ず
imbara 〔樹〕インバラ

Irandatī〔龍女〕イランダティー
iriyā 威儀
iriyāpatha 威儀路，威儀
iriyāpatha-cariya 威儀路行，威儀行
iriyāpatha-pabba 威儀節
iriyāpatha-mada 威儀憍
iriyāpathasaṅkhāta-kuhanavatthu 威儀に依る詭詐事
Irubbeda, Iruveda 梨倶吠陀
Ilaṅkiya〔ダミラ人〕イランキヤ
Ilanāga〔王〕イラナーガ
Isayo araññakā or Gandha〔經〕森の聖者(香) S 11 9
Isayo samuddakā or Sambara〔經〕海邊の聖者(參婆羅) S 11 10
isi 仙，仙人，仙士，大仙，仙者，聖者
Isigiri-passa 仙人山
Isigili〔山〕伊師耆利，仙人山，仙呑
Isigili-passa=Isigiri-passa 仙人山
Isigilipassa-kālasilā 仙人黑石窟
Isigili-sutta イシギリ・スッタ，仙呑經 M 116
Isidatta ①〔鹿住の叔父，長者，塞〕梨師達多 ②〔大工〕梨師達多，仙餘 ③〔阿槃提國人，比〕隷犀達多 ④〔經〕隷犀達多 S 41 2, 3
isi-nisabha 仙人牛王
Isipatana 仙人墮處，仙人住處，仙人降處
Isipatana Migadāya 仙人墮處鹿野苑，仙人墮處鹿野園，仙人住處鹿野苑，仙人降處鹿野苑
isi-pabbajja 仙人道出家
isi-bhāsita 仙人所說
Isibhūmaṅgaṇa 聖人の庭
isi sattama 第七仙，第七の仙，第七の仙人，第七の聖者=釋迦佛，第七牟尼
isīka 葦
isīnaṁ dhajo 聖者の幢，仙人幢
istrijakṣa-mahamatra (A), istridhiyakṣa-mahamatra (A) 監婦大官
issattha 弓術，射技，武術，射手
Issattha〔經〕弓術 S 3 24
issara 自在者，自在天，自在主，天主，主宰者
Issara〔經〕主 S 1 77
issara-kāraṇa-vāda 神爲說=神明化作說
issarakāraṇa-vādin 神爲論者
Issara-kutta 自在天所造
issara-nimmāna 自在者の化作，自在天所變，神の化作
Issaranimmāna〔精舍〕化自在天王
issara-nimmāna-vāda 神明化作說=神爲說
issaranimmāna-hetu 自在〔天〕所變因
issarāparādhika 國事犯
issarāyatana 自在天處
issariya 自在
Issariyakāmakārikā-kathā 自在欲行論 KV 23 3
issariya-kāmakāriya 自在欲行
issariya-bala 自在力
issariya-mada 主權の憍
issariya-saṁvattanīya kamma 自在を引く業
issā ① 嫉み妬み，嫉，嫉妬，怨恨 ② 主權
Issā〔章〕嫉 A 8〔10〕8
issā ca macchariyañ ca 嫉と慳
issāmanaka, issāmanika 嫉妬心，嫉妬心あり
issāyanā 嫉妬
issāsa 弓手，射師，弓士，弓術者
issā-saññojana 嫉結=嫉
issukin 嫉〔者〕，嫉者，嫉妬者
Issukī〔經〕有嫉 S 37 7

īti 憹，患，疾，疫
īriṇa 沙漠
Īsadhara〔山〕イーサダラ，伊沙陀羅，持軸
īsā 轅，轅桿
īsā-danta 轅の如き牙
Īsāna〔天王〕イーサーナ，伊舍那，伊沙那

Ukkacelā=Ukkācelā〔村〕ウッカチェーラー，郁伽支羅
Ukkaṭṭha〔城，邑〕ウッカッタ，郁伽羅，有迦帝
ukkaṭṭha-akkosa 貴罵
ukkaṭṭha-kamma 貴業
ukkaṭṭha-gotta 貴姓
ukkaṭṭha-nāma 貴名
ukkaṭṭha-patta 大鉢
ukkaṭṭha-liṅga 貴相
ukkaṭṭha-sippa 貴技
ukkaṭṭhā-jāti 貴種
ukkaṇṭha 戀情
ukkaṇṭhanā 失望
ukkaṇṇaka 疥瘡
Ukkanaga〔精舍〕ウッカナガ
ukka-piṇḍaka 害蟲害獸
Ukkama〔ビルマの都〕ウッカマ
Ukkala〔村〕ウッカラ，鬱迦羅
Ukkala-vassa ウッカラ住人
ukkā ① 鍛冶場，爐，鞴，釜 ② 炬，炬火，松明 ③ 流星
Ukkā〔經〕釜 S 20 4
ukkācanā 擧說
ukkācita 僞の美
Ukkācelā=Ukkacelā〔村〕ウッカーチェーラー
ukkādhāra 炬火を掲ぐる者
ukkā-pāta 流星
ukkā-mukha 熔爐，熔鑛爐，坩堝
ukkāra-bhūmi 不淨處
ukkāsati 謦咳す，謦咳をなす
Ukkāsatika〔比丘の譬喩經〕ウッカーサティカ Ap 3 470
ukkāsita 咳嗽，咳拂
ukkuṭika ① 蹲踞，蹴跪，跪坐，膝行す ② 蹲踞行者，蹲踞者，常蹲者，常蹲踞行者，常蹲坐者
ukkuṭikaṁ nisīditvā añjaliṁ paggaṇhati 蹴跪合掌す，蹲坐し合掌す
ukkuṭikappadhāna 跪坐の精勤者，蹲踞行，蹲行，蹲踞の行
ukkusa 鶚
ukkoṭa 發起
ukkoṭana 賄賂，瞞賄，苞苴，詐欺
Ukkoṭana〔經〕虛僞 S 56 95
ukkhali-kapāla 揚げ鍋
ukkhalikā 鍋遊び
ukkhitta 擧罪せられたる，擯せらる
ukkhittaka ① 擧す，衣を引き上ぐ ② 被害者，被擧者，被擧人
ukkhitta-citta 亂心者
Ukkhittapadumiya〔比丘の譬喩經〕ウッキッタパドゥミヤ Ap 3 337
ukkhitta-paligha 障礙を去りし者，關を抜けり
ukkhitta bhikkhu 被擧比丘
ukkhittānuvattikā bhikkhunī 隨擯比丘尼
ukkhipati 擧す
ukkhepaka 投げ入れる
Ukkhepakatavaccha〔比〕ウッケーパカタヴッチャ
ukkhepanā 冷笑
ukkhepaniya 擧罪
ukkhepaniya-kamma 擧罪羯磨，應除却所作
ugga 高級武官
Ugga ①〔比〕ウッガ ②〔毘舍離出身の居士〕ウッガ，郁瞿婁，郁伽 ③〔傳◦長者〕ウッガ ④〔拘那含牟尼佛の信士〕ウッガ，上
Uggata ①〔傳◦轉輪王〕ウッガタ，嘔羯吒，上行 ②〔スヂャータ佛の父，王〕ウッガタ，上行 ③〔居士〕ウッガタ，嘔羯吒
Uggata-sarīra〔婆，塞〕ウッガタサリーラ，優埸提舍利
uggatthana〔寶珠〕ウッガッタナ
Uggarinda〔ナーラダ佛の信士〕ウッガリンダ
Uggasena〔王〕ウッガセーナ
Uggaha〔メンダカの孫〕ウッガハ
uggaha-kosalla 把持善巧
uggaha-nimitta 取相
Uggāhamāna=Samaṇa-maṇḍikāputta〔普行者〕ウッガーハマーナ
ugghaṭitaññū 略開知者

ugghāṭana-kiṭika 揭帳
ucca-āsana 高き座
Uccaṅkuṭṭha〔地名〕ウッチャンクッタ
Uccaṅgamāya〔辟〕ウッチャンガマーヤ
ucca-mañca 高き床，高床
Uccavālika〔精舍〕ウッチャヴーリカ
uccākaṇerukā 大長鼻〔象〕
uccākāḷārikā 大突牙〔象〕
uccākulin 貴族
uccākulīnatā 高貴
uccā-mañca 高床，高き床
uccāra 大便，糞，屎
uccāraṭṭhāna 不淨處
uccāra-passāva 大小便
uccāliṅga〔蟲〕ウッチャーリンガ，慰周伽，毛蟲
uccāliṅga-pāṇaka 毛蟲，慰周伽蟲，ウッチャーリンガ
uccā-sadda 高聲，喧聲
uccā-sayana 高床，高牀
uccāsayana-mahāsayana 高床大床
uccāsoṇḍa 高慢
ucchaṅga 襜
Ucchaṅga-jātaka ウッチャンガ・ヂャータカ，膝本生物語 J 67
ucchaṅga-pañña puggala 膝慧人
Ucchaṅgapupphiya〔比丘の譬喩經〕ウッチャンガプッピヤ Ap 3 414
ucchādana ① 削減，破壞 ② 塗身
ucchiṭṭhaka 殘食
Ucchiṭṭhabhatta-jātaka ウッチッタバッタ・ヂャータカ，殘食本生物語 J 212
ucchinnamūla tāla 根を截りたる多羅樹，根の截られたる多羅樹
ucchu 甘庶，甘蔗，糖蔗，氷砂糖
ucchu-kaṇḍika 甘庶棒
Ucchukaṇḍika〔比丘の譬喩經〕ウッチュカンディカ Ap 3 432
ucchukkhetta 甘蔗田，甘庶畑
ucchu-puṭa 糖菓
Ucchu-petavatthu 甘庶鬼事 Pv 4 5
ucchu-yanta 製糖機，甘庶の締機
ucchu-rasa 甘庶漿
ucchu-vana 甘庶の林
Ucchu-vimāna 甘庶天宮 Vv 30, 48
uccheda 斷滅，斷
uccheda-diṭṭhi 斷見
ucchedadiṭṭhi-nissita 斷見依者
uccheda-vāda ① 斷滅論，斷論 ② 斷見論者，斷滅論者，斷論者，死後斷滅說者
uccheda-vādin 斷滅論者，斷見論者，斷論者，死後斷滅說者
ucchepaka 殘食
uju 質直，直心
ujuka 質直，端直，眞直
uju-gata 正直，直行の人
ujugata-citta 心正直
Ujuññā〔國，邑〕ウヂュンニャー，委若，鬱頭隨若
Ujeni(A)=Ujjenī〔國〕ウヂェーニ
Ujjaya ①〔辟〕ウッヂャヤ ②〔比〕ウッヂャヤ，優闍迦 ③〔婆〕ウッヂャヤ，鬱闍迦 ④〔經〕鬱闍迦 A 8 55
ujjuka〔花〕ウッヂュカ
ujjugata 直行の人，正直=阿羅漢
ujju-jātika 質直〔者〕
Ujjuhāna〔鳥〕ウッヂュハーナ
Ujjenaka 鬱禪尼人
Ujjenī〔國，都〕ウッヂェーニー，尉禪，優禪尼，鬱闍尼，鬱禪尼，鬱支，ウヂェーニ
Ujjhaggika-vagga 哄笑品 V 1 a 7, 11〜20
ujjhaggikā 戲笑，哄笑す
ujjhatti 毀呰
Ujjhānasaññikā devatā 嫌責天神
ujjhāna-saññin 不滿の思，嫌責
Ujjhānasaññino〔經〕嫌責天 S 1 35
ujjhāpeti 嫌恨す
ujjhāyati khīyati vipāceti 譏嫌非難す
uñcha 遺穗，落穗
uñchā-patta 殘食の鉢
uññā=avaññā 輕侮
uṭṭanda=uddaṇḍa, uddhaṇha 寶庫

uṭṭhāna ① 起，立禮 ② 勤勇，起策
uṭṭhāna-phala 起策の果
uṭṭhāna-saññā 起想
uṭṭhāna-sampadā 起策具足～勤勇
Uṭṭhāna-sutta 起立經 Sn 2 10
Uḍḍita〔經〕纏がる S 1 67
uṇṇa, uṇṇā 白毫，毫，羊毛
uṇṇata〔寶珠〕ウンナタ
uṇṇati 高貴，高慢
Uṇṇanābhi〔蜘蛛〕ウンナナービ
uṇṇa-bhisi 毛臥褥
uṇṇama 高貴
uṇṇala 高慢，高慢なる，憍慢，憍傲，傲慢，虚誇，尊大，不遜，心騒がしく
uṇṇa-loma 白毫
Uṇṇaloma〔堂〕ウンナローマ，眉間毫
uṇṇā＝uṇṇa
Uṇṇābha〔婆〕ウンナーバ
Uṇṇābha-brāhmaṇa〔經〕ウンナーバ婆羅門 S 48 42
uṇṇā bhamukantare 眉間の毫，白毫相〔三十二相の一〕
uṇṇī 毛衣
uṇha 熱，暑，暑熱，煖，熱氣，熱惱＝消化力 usmā
uṇha〔udaka〕湯
Uṇhaṁ〔經〕熱 S 32 54
uṇha-kāla 暑時
Uṇhanāgara〔地方〕ウンハナーガラ
uṇha-bhāva 熱煖性
uṇha-lohita 熱血
uṇhavalāhaka deva 熱雲天
uṇha-samaya 暑時
uṇhīsa 肉髻，冠子，王冠，笠木
uṇhīsa-sīsa 頭上の肉髻〔三十二相の一〕
uṇhodaka＝uṇha-udaka 温水
utu ① 季節，時，時節 ② 月經，月水
utu-kāla 月經時
utu-ja＝utu-samuṭṭhāna 時生
utu-nibbatta 時節生
utunī 經水者，經水〔者〕，經婦，月經婦，月忌女，受胎期にある者
utupaccaya-āhārasamuṭṭhāna 時節緣食等起
utupaccaya-utusamuṭṭhāna 時節緣時節等起
utu-pamāṇa 時季
utu-pariṇāma 季節の轉變，季節の變易，季節の變化，時節變化，時候の變化
utu-pariṇāma-jā ābādhā 氣候變化所生病，季節の變易所生の諸病
utu-parissaya 時節の危險
utu-pubba 季節祭
utu-maya 時節所成
utuḷhi〔植〕ウトゥルヒ
Utuḷhipupphiya〔比丘の譬喩經〕ウトゥルヒプッピヤ Ap 3 442
utu-saṁvacchara 年と季節
utusaṁvaccharā parivattanti 年季の循環す
utu-samuṭṭhāna 時節等起，時等起
utusamuṭṭhāna-kalāpa 時節等起聚
utusamuṭṭhāna-rūpa 時節等起色
utūpasevanā 季節の荒行
Utta〔比〕ウッタ
uttanta＝uttasta 氣絶
uttama 最上，最善
Uttama ①〔毘舍婆佛の第二弟子〕鬱多摩 ②〔傳◦比〕ウッタマ，鬱多摩 ③〔將軍〕ウッタマ ④〔塔廟〕ウッタマ，最上
uttamattha 最上義，最上利
uttama-paṭipatta 最上に達せる
uttama-purisa 最上の人，最上の人士，最上人，最勝人，上人
uttama-saraṇa 最上の依所，最上の歸依
Uttamā〔尼〕ウッタマー
Uttara ①〔比〕ウッタラ，鬱多羅 ②〔第二結集比丘離婆多の弟子〕ウッタラ，鬱多羅 ③〔阿育王時代の傳道師〕ウッタラ，鬱多羅 ④〔ドゥッタガーマニ王時代の比丘〕ウッタラ ⑤〔毘沙浮佛の第二弟子〕ウッタラ，上勝 ⑥〔拘那含牟尼佛の第二弟子〕ウッタラ，上勝，鬱多樓，鬱多羅 ⑦〔沙彌〕ウッタラ ⑧〔學童〕ウッタラ，鬱多羅 ⑨〔天子〕ウッタラ，優多羅 ⑩〔マンガラ佛の父〕ウッタラ ⑪〔蓮

華上佛の子〕ウッタラ ⑫〔倶留孫佛の子〕ウッタラ ⑬〔佛の前生〕ウッタラ，上勝 ⑭〔塞〕鬱多羅 ⑮〔青年〕優多羅 ⑯〔夜叉童子〕鬱多羅 ⑰〔大臣〕ウッタラ ⑱〔戰士〕ウッタラ ⑲〔長者〕ウッタラ ⑳〔都〕ウッタラ，上勝 ㉑〔村〕ウッタラ ㉒〔精舍〕ウッタラ＝アバユッタラ，アバヤギリ，無畏山 ㉓〔經〕優多羅 S 2 19 ㉔〔經〕鬱多羅 A 8 8

Uttarakā〔都〕ウッタラカー

Uttarakuru ①〔國，洲〕ウッタラクル，鬱單越，北俱盧，北拘盧 ②〔園〕ウッタラクル

Uttarakuru-pañho 鬱單越洲の問 Mil 2〔7〕11

uttaracchada, uttaracchadana 天蓋

Uttara-tissa〔精舍〕ウッタラ・ティッサ＝ティッサ

uttarattharaṇa ① 臥布，上覆，上敷布 ②外套

Uttara-pañcāla＝Pañcāla〔國，都，王〕ウッタラパンチャーラ，優多羅般闍羅，北般闍羅

Uttarapassa〔地名〕ウッタラパッサ

Uttarapāla〔比〕ウッタラパーラ

uttara-pāsaka 枘

Uttaramadhurā〔城，地名〕ウッタラマドゥラー

Uttaramātar〔夜叉女〕ウッタラマーター，鬱多羅母

Uttaramātu-petīvatthu 鬱多羅母鬼事 Pv 2 10

Uttara-yavamajjhaka 北麥中村

Uttara-vimāna 鬱多羅天宮 Vv 74

Uttarasena〔住院〕ウッタラセーナ

Uttarā ①〔ナーラダ佛の第一比丘尼〕ウッタラー，上勝 ②〔拘那含牟尼佛の第二比丘尼〕ウッタラー ③〔尼〕ウッタラー，優多羅，鬱多羅 ④〔拘那含牟尼佛の母〕ウッタラー，善勝 ⑤〔マンガラ佛の母〕ウッタラー ⑥〔パドゥマ佛の妃〕ウッタラー ⑦〔毘婆尸佛の信女〕ウッタラー ⑧〔夷〕ウッタラー，鬱多羅，沒怛囉＝Khujjuttarā ⑨〔宮殿〕ウッタラー

uttarā disā mittāmaccā 北方は朋友

Uttarā Nandamātar〔夷，禪定第一〕鬱多羅難陀母

Uttarāpatha〔地方〕ウッタラーパタ，北路

Uttarāpathaka〔部派〕北道派

Uttarābhaya〔地名〕ウッタラーバヤ

uttarāraṇi 鑽木，木燧

Uttarāla〔池〕ウッタラーラ

Uttarāḷha〔精舍〕ウッタラールハ

Uttarā-vimāna 鬱多羅女天宮 Vv 15

uttarāsaṅga ウッタラーサンガ，鬱多羅僧，鬱多羅僧伽，上衣，上著衣，外衣

uttarāsāḷhā〔星〕ウッタラーサールハー

uttari-dhamma 上法

uttari-bhaṅga 添味，副食物，珍味

uttarimanussa-dhamma 上人法，上人の法，過人法，超人法，人間以上の法，人法を越えたる

Uttareyyadāyaka〔比丘の譬喩經〕ウッタレッヤダーヤカ Ap 3 335

Uttaromūla〔房舍〕ウッタロームーラ

uttāna 淺し

uttānaka 顯露處

uttānā parisā 麤顯衆會

uttānī-kamma 顯發，顯了

Uttārārāma〔精舍〕鬱多羅園

uttāsa＝utrasta, uttasta 怖懼，驚愕，恐怖，怖

Utti ①〔王子〕ウッティ ②〔王〕＝Uttiya 鬱帝，鬱帝臾

Uttiya ①〔比〕＝Uttika ウッティヤ，鬱帝臾，鬱帝迦，鬱低迦〔譬喩經〕Ap 3 28 ②〔外〕ウッティヤ，鬱低迦 ③〔王〕鬱帝耶 ④〔居士〕鬱低迦 ⑤〔戰士〕ウッティヤ

Uttiya or Uttika〔經〕鬱低迦 S 45 30；47 16；A 10 95

utrasta, utrassa＝uttāsa 驚愕，恐怖，怖懼，怖

udaka ウダカ，水

Udaka〔山〕ウダカ，水

udaka-kaṭāka 水盤

udaka-kāka 水烏，鵜

udaka-koṭṭhaka 浴室

Udaka-gāma〔村〕ウダカガーマ

udakagāhana-kamma 潜水の行

udakaṭṭha 水中物
udakaṭṭhāna 給水處
udakaṇṇava 水流，水の流れ
udaka-tittha 水浴場
udaka-telaka 水油
Udakadāyaka〔比丘の譬喩經〕ウダカダーヤカ Ap 3 206, 494
Udakadāyikā〔比丘尼の譬喩經〕ウダカダーイカー Ap 4 10
udaka-doṇi 水槽
udaka-dhāra 水流
udaka-niddhamana 排水溝
udaka-nimitta 水相
udakantarāya 水の障礙
udaka-paṭiggaha 受水器
udaka-paṭiggāhaka 受水者
udaka-paṭicchādī 水中被覆物
udaka-patta 水鉢，水盤
udaka-pariyantika 水による制限者
udaka-puñchanī 拭具
Udakapūjaka〔比丘の譬喩經〕ウダカプーヂャカ Ap 3 106
udakappasādaka-maṇi=cintā-maṇi 水を淨化する摩尼珠
udaka-phusita 水滴
udaka bubbuḷa 水泡，水の泡
udaka-bhaya 水の怖畏，水の畏，水畏
udaka-bhāra 水荷
udaka-maṇikā 水瓶，水瓮，水甕
udaka-rahada 湖，池，湖水，湖泉，水沼，水池
udakarahadūpama puggala 湖水に喩ふべき補特伽羅，池喩人〔四種〕
udaka-rāsi 水の積集
udakālekhūpama puggala 水刻喩人
udakalekhūpamā 水に書く喩，水刻喩
udaka-vāra 貯水池
udaka-vāhaka 洪水
udaka-sarāvaka 水盤
udaka-sāṭikā 水浴衣，浴衣，浴水衣
udaka-sālā 水倉
udaka-suddhika 水淨行者
udakassa dve guṇā 水の二德
udakassa dhārā 水を持てる女
Udakassa sattajīva-pañho 水の命・靈の問 Mil 4〔7〕5
udakādhāna 水盤
udakāvasesa 殘餘水
Udakāsanadāyaka〔比丘の譬喩經〕ウダカーサナダーヤカ Ap 3 231
Udakāsanadāyaka-vagga ウダカーサナダーヤカ品 Ap 3 231～240
Udakāsecana〔傳◦轉輪王〕ウダカーセーチャナ
udakukkhepa〔結界〕ウダクッケーパ
uda-kumbha 水瓶
udakūpama puggala 水喩人〔七種〕
udako pādānaṁ 洗足の水
udakorohaka 沐浴行者
udakorohana-kamma 浴行
udagga-citta 歡喜心，欣悅心
Udañcani-jātaka ウダンチャニ・ヂャータカ，釣瓶女本生物語 J 106
udañcanī 釣瓶の如き女
uda-patta 水鉢，水盤
udapāna 井戸，井，泉井
Udapānadāyaka〔比丘の譬喩經〕ウダパーナダーヤカ Ap 3 174
Udapānadūsaka-jātaka ウダパーナドゥーサカ・ヂャータカ，泉井汚濁本生物語 J 271
udapāna-panāḷi 井樋
udapāna-sālā 井堂
uda-bindu 水滴
Udaya ①〔婆和利の弟子，婆，比〕ウダヤ，優陀耶 ②〔ティッサ佛の第二比丘〕ウダヤ，上昇 ③〔王子，王〕ウダヤ，優陀耶，鬱陀耶 ④〔傳◦王〕優陀耶，鬱陀耶=Udayabhadda ⑤〔阿闍世王の子，王〕優陀耶，優陀耶跋陀，優陀夷跋陀 ⑥〔一世王〕ウダヤ ⑦〔二世王〕ウダヤ ⑧〔三世王〕ウダヤ ⑨〔セーナ五世の弟〕ウダヤ ⑩〔大臣〕ウダヤ ⑪〔經〕優陀耶 S 7 12
udayagāminī paṭipadā 向上道

Udayaggādibodhi〔房舍〕ウダヤッガーディボーディ

Udaya-jātaka　ウダヤ・ヂャータカ，優陀耶王子本生物語 J 458

udayatthagāminī paññā　生滅慧，生滅の慧，生滅に通達する慧，起滅を知る智慧

Udaya-pañhā=Udayamāṇava-pucchā〔經〕優陀耶所問

udayabbaya 生滅，興廢

udayabbaya-ñāṇa=udayabbayānupassanā　生滅智

udayabbaya-dassana　生滅觀

udayabbayānupassanā 生滅隨觀

udayabbayānupassanā-ñāṇa 生滅隨觀智，觀生滅智

Udayabhadda ①〔傳◦王子，王〕優陀耶跋陀 ②〔阿闍世王の子，王〕=Udāyibhadda ウダヤバッダ，優陀夷跋陀，鬱陀耶跋陀 ③〔王〕鬱陀耶跋陀〔羅〕，優陀夷跋陀，優陀耶跋陀=優陀耶，鬱陀耶

Udayabhaddā〔王女〕ウダヤバッダー

Udayamāṇavakapañhā-niddesa　優陀耶學童所問の義釋 CNd 14

Udaya-māṇava-pucchā=Udaya-pañhā〔經〕優陀耶學童所問 Sn 5 14

Udayā=Udayabhaddā〔王女〕優陀耶女

udara 胃，腹

udaracchavi 腹皮

udara-paṭala 胃膜

udara-vāta　腹痛

udaravātābādha 腹痛

Udarasaṁyama-pañho 胃自制の問 Mil 4〔4〕6

udariya 胃物，胃*，腹*〔三十二身分の一〕

udāna　ウダーナ，優陀那，憂陀那，烏陀那，鄔陀那，無問自說，自說，自偈，自慶，自頌，感興語，感慨深い偈，歡喜語，頌文，句經〔九分教の一〕

Udāna　ウダーナ，自說經〔小部經の一〕Khuddaka 3

Udānaṁ〔經〕優陀那 S 22 55

udāna-gāthā 優陀那の偈

Udāyin ①〔比〕=Kāḷudāyin，Lāludāyin ウダーキ，優陀夷，鄔陀夷 ②〔比〕優陀夷，鄔陀夷 ③〔婆，塞〕優陀夷 ④〔普行者〕=善生優陀夷

Udāyi-bhadda=Udaya-bhadda，Udaya〔阿闍世の子，王〕ウダーキバッダ，優陀夷跋陀

Udāyi-vagga 優陀夷品 S 46 21〜30

Udāyī〔經〕優陀夷 S 35 193；46 30

udāsīna 無關心

udāharaṇa 譬喩

udukkhala 臼

udukkhala-bhaṇḍika 臼

udukkhalikā 閾

udupāna=udapāna 井泉

udumbara ①〔樹〕ウドゥンバラ，優曇，優曇婆羅，優曇跋羅，優曇鉢，優曇鉢羅，優曇華，憂曇鉢羅，烏暫婆羅，烏曇婆羅，烏曇跋羅，鬱曇鉢羅，無花果 ②〔俱那含佛の菩提樹〕ウドゥンバラ

Udumbara〔國〕ウドゥンバラ，優曇婆邏

udumbara-kaṭṭha 優曇婆羅薪

udumbara-khādika 優曇鉢果食〔者〕

Udumbara-gāmaka〔池〕ウドゥンバラガーマカ

Udumbara-jātaka ウドゥンバラ・ヂャータカ，優曇婆羅本生物語 J 298

Udumbaraphaladāyaka〔比丘の譬喩經〕ウドゥンバラパラダーヤカ Ap 3 380

Udumbarā〔王妃〕優曇婆羅

Udumbarika-paribbājakārāma 優曇婆邏梵志女林

Udumbarika-sīhanāda-suttanta　ウドゥンバリカ・シーハナーダ・スッタンタ，優曇婆邏師子吼經 D 25

Udumbarikā〔梵志女林〕ウドゥンバリカー

Udena ①〔比〕ウデーナ，優陀那，優陀延那〔譬喩經〕Ap 3 407 ②〔スマナ佛の侍者〕ウデーナ，上昇 ③〔王〕ウデーナ，優陀延，憂陀延那，優塡，優塡那 ④〔塞〕ウデーナ，憂陀延 ⑤〔シッダッタ佛の父〕ウデーナ ⑥〔傳◦王〕優陀延 ⑦〔廟〕ウデーナ，優陀延，

優園
Udena-cetiya 憂園廟，優陀延塔，優陀延祠堂
udda 獺～水獺
Uddaka-Rāmaputta 〔仙〕ウッダカラーマプッタ，鬱陀迦羅摩子，鬱頭藍弗、優陀羅羅摩子、ラーマの子なるウッダカ
Uddako 〔經〕優陀羅 S 35 103
udda-camma 獺皮
uddaṇḍa=uṭṭanda, uddhaṇha 寶庫
udda-pota 水獺～獺
uddāna 嗢陀南，攝頌
uddāpa 城壁
uddārakā 〔獸〕ウッダーラカー
uddāla 〔樹〕鬱陀羅
uddālaka 〔花，樹〕ウッダーラカ，鬱陀羅
Uddālaka 〔苦行者〕鬱陀羅迦
Uddālaka-jātaka=Uddāla-jātaka ウッダーラカ・ヂャータカ，鬱陀羅迦苦行者本生物語 J 487
Uddāla-jātaka=Uddālaka-jātaka ウッダーラ・ヂャータカ
Uddāladāyaka 〔比丘の譬喩經〕ウッダーラダーヤカ Ap 3 250
Uddālapupphiya 〔比丘の譬喩經〕ウッダーラプッピヤ Ap 3 364
uddisati 誦す，誦經す
uddisāpeti 經を誦せしむ，說法を請ふ
uddisika 指定して
uddekanika 釣瓶
uddesa 說示，教示，教說，說，總說，說明，說戒，誦經，說教，讀誦，讀誦法，諷誦，制規，表標
uddesa-bhatta 指定食，別請食
Uddesa-vāra 總說分
Uddesavāra-vaṇṇanā 略說分之釋
uddesa-vibhaṅga 總說の分別
Uddesavibhaṅga-sutta ウッデーサギバンガ・スッタ，總說分別經 M 138
uddesācariya 教授せる阿闍梨
Uddesika 〔塔廟〕ウッデーシカ
uddosita 小屋
uddhaṁgama-vāta 上向風，上行風，上行の風
uddhaṁsota akaniṭṭhagāmin 上流〔般涅槃〕，上流者，上流般，上流色究竟天行，上流阿迦膩吒行，上流趣阿迦膩吒，上流至色究竟者，上流到色究竟、上流となりて色究竟天に到る，上流の色究竟に往くもの
Uddhakandaraka 〔精舍〕ウッダカンダラカ
Uddhakuraṁ 〔村〕ウッダクラン
Uddhagāma〔ka〕〔地名〕ウッダガーマ〔カ〕
uddhagga-loma 身毛も逆立ち，〔身〕毛の上靡〔三十二相の一〕
Uddhacūḷābhaya 〔王子〕ウッダチューラーバヤ
uddhacca 掉擧
uddhacca-kukkucca 掉悔，掉擧惡作、掉擧と惡作，調悔〔五蓋の一〕
uddhacca-kukkucca-nīvaraṇa 掉擧惡作蓋〔五蓋の一〕
uddhacca-cetanā 掉擧思
uddhacca-nīvaraṇa 掉擧蓋
uddhacca-sahagata 掉擧俱行，掉擧俱
uddhacca-sahagata-citta 掉擧俱行心
uddhaṇha=uṭṭanda, uddaṇḍa 寶庫
uddhata 掉擧，掉動，掉悔者，掉擧者，掉擧せる，高慢者
uddhata-avūpasanta-citta 掉擧非寂靜心
uddhata-citta 掉擧心
uddhana 竈
Uddhanadvāra〔ka〕〔村〕ウッダナドゥヴーラ〔カ〕
Uddha-Pañca 〔國〕ウッダパンチャ，上部五州
uddham āghātanā 死後
Uddhambhāgiya 〔經〕上分〔結〕S 45 180
uddhambhāgiya-saṁyojana 上分結
Uddhambhāgiyā 〔經〕順上分結 A 9 70
Uddhambhāgiyāni 〔經〕上分〔結〕S 47 102；48 128, 185；49 54；50 56, 110
uddhara 負債
uddharaṇa 出時
Uddhavāpī 〔村〕ウッダワーピー
uddhāra ①〔動〕ウッダーラ ② 齊限時

uddhumātaka 膨脹相
Uddhumātaka 〔經〕 膖脹 S 46 61
uddhumātaka-saññā 脹膨想，膨脹想，膖脹想
udraya 效果
undura 鼠
undūra-khāyita 鼠嚙〔布〕
unnaka 〔植〕 ウンナカ
unnati 高慢，高貢
Unnamaka 〔ダミラ人〕 ウンナマカ
unnala, unnaḷa 高慢，憍慢，高慢なる，虛誇，傲慢，尊大，憍傲，不遜，心騷がしく
Unnalā 〔尼〕 ウンナラー
Unnavalli 〔精舍〕 ウンナヴッリ
unnahanā 纒絡語
Upaka ① 〔外，比〕 ウパカ，優波迦 ② 〔外〕 =Maṇḍikāputta ウパカ，優波迦
Upakaṁsa 〔王子〕 ウパカンサ
upakacchaka 大便所
Upakañcana-kumāra 〔苦行者〕 ウパカンチャナクマーラ，金次童子
upakāra 補佐役，援助者，利益，助成，助味
upakāra puñña 福の助成
upakāra-mitta 援助の友
upakārin 堡壘
Upakārī 〔都〕 ウパカーリー
upakāre ñāṇaṁ 利益智〔八種〕
upakkama 修治
upakkama-dhātu 逼切界
upakkama-maraṇa 災横死
upakkitaka 小商
upakkilesa 隨煩惱，隨染，汚濁，垢穢，塵垢，銹，翳
Upakkilesa-sutta ウパッキレーサ・スッタ，隨煩惱經 M 128
upakkosati 非難す
upagamana 著手
Upagutta 〔比〕 優波毱多
upaggaṇha 執持
upaghāta 惱害
upaghātaka 破損
upaghātika 違害

Upacara 〔王〕 ウパチャラ，鄔波遮羅
upacāra 擲石所及所，近郊，近分，近行
upacāraka-mahāmatta 侍從大臣
upacāra-bhāvanā 近行修習
upacāra-bhūmi 近行地
upacāra-samādhi 近行定
upacārasamādhi-bhāvanā 近行定修習
Upacāla 〔比〕 ウパチャーラ，優〓遮羅
Upacālā ① 〔尼〕 ウパチャーラー，優波遮羅 ② 〔ブッサ佛の第二比丘尼〕 ウパチャーラー，近動 ③ 〔スマナ佛の信女〕 ウパチャーラー，近動 ④ 〔經〕 優波遮羅 S 5 7
upacikā 蟻，白蟻，白蛾*
upacikā-khāyita 白蟻嚙〔布〕
Upacela 〔傳◦王〕 ウパチェーラ
Upajotiya 〔人〕 ウパヂョーティヤ
upajjhā=upajjhāya 和上，和尙，親教師，戒師
upajjhāya=upajjhā 和上，和尙，親教師，戒師
Upajjhāya 〔人〕 ウパッヂャーヤ
upajjhāya-matta 和尙に等しき人，和尙程度の人
upajjhāya-lesa 和尙似
upajjhāya-vatta 和尙に對する承事 V 2 a 1, 25
Upajjhāyavatta-bhāṇavāra 和尙承事誦品 V 2 a 1, 25〜30
upajjhāya-sama 和尙に等しき者
upajjhāyānaṁ saddhivihārikesu vattaṁ 和尙の弟子に於ける儀法
upaṭṭhāka 侍者，侍僕，常侍，常隨弟子，奉事者，看護者，看護人
upaṭṭhāka-kula 檀越家，檀越の家，特信家
upaṭṭhāna 現起，顯現，近住，近事
Upaṭṭhāna 〔經〕 看護 S 9 2
upaṭṭhāna-sāra 信行
upaṭṭhāna-sālā 侍者堂，勤行堂，集會所，集會堂，講堂，供養堂
upaṭṭhāpana 看病
upaṭṭhāpeti 給仕す
Upaṭṭhāyaka 〔比丘の譬喩經〕 ウパッターヤカ Ap 3 286
upaṭṭhita-sati 念現前，念現前者，念現在前せ

る，存念，專念，持念，住念，具念，正念者，正念あり，正念樹立者，不忘念，確立せる念
upaṭṭhita-satitā 專念性，念現前
upaṭṭhitasati sampajāna 住念正知
upaṭṭhitā sati asammuṭṭhā 確立不亂の念
Upaḍḍha〔經〕半 S 45 2
Upaḍḍhadussadāyaka〔比丘の譬喩經〕ウパッダドゥッサダーヤカ Ap 3 492
upaḍḍha-patha 半路
upaḍḍharaṅga 半身の舞踊
upaḍḍhāsana 半座
Upaṇīta〔辟〕ウパニータ
upatiṭṭhati 給仕す
Upatisa-pasina (A)〔經〕優波帝沙問
Upatissa ①〔佛〕ウパティッサ，鄔波底沙 ②〔辟〕ウパティッサ ③〔外，比〕ウパティッサ，優波帝須，優波帝沙，優波提舍，優波室沙，優婆帝沙＝Sāriputta ④〔比〕ウパティッサ ⑤〔相承比丘〕ウパティッサ，優波帝須 ⑥〔一世王〕ウパティッサ ⑦〔二世王〕ウパティッサ ⑧〔シラーカーラ王の末子〕ウパティッサ ⑨〔大臣〕ウパティッサ，優波帝須 ⑩〔村，都〕ウパティッサ，優波帝須
Upatissā〔憍陳如佛の上足尼〕ウパティッサー，優波帝沙
Upatisso〔經〕優波低沙 S 21 2
upatthambha 支持
upatthambhaka 支持
upatthambhaka〔-kamma〕支持〔業〕
upaddava 禍，害，災橫，厄事，困厄
upadduta 累せられ
Upaddutaṁ〔經〕所累 S 35 51
upadhāna 枕
upadhāraṇa ① 確持 ② 搾乳桶，乳桶，乳器
upadhi ウパディ，依，依著，億波提，有依，依身，本質，有質，所依，生の素質，煩惱依，價依
upadhikkhaya 依の滅，依の滅盡，所依滅盡，諸依盡き
upadhi-paṭinissagga 依の捨離
upadhi-viveka 依遠離
upadhi-vepakka 依果
upadhi-saṅkhaya 諸依盡き，所依滅盡，依の滅，依の滅盡，依滅盡，依身の滅，煩惱の依を盡し
upadhi-sukha 依樂
Upananda ①〔辟〕ウパナンダ ②〔釋子，比〕ウパナンダ，優波難陀，跋難陀 ③〔將軍〕ウパナンダ，跋難陀 ④〔傳◦轉輪王〕優波難陀 ⑤〔龍王〕優波難陀，跋難陀
Upananda-Sakyaputta〔比〕優波難陀釋子，跋難陀釋子
upanayana 入法式
upanayhati 怨念あり，恨む
upanāha 恨
Upanāha〔章〕恨 A 8〔10〕5
upanāhin 恨ある，恨〔者〕，恨を懷く者，有恨，怨恨者，怨者
Upanāhī〔經〕有恨 S 37 6
upanikkhipana 安殺具
upanikkhepa 抵當物
upanijjhāyati 嫉妬に燃える
upanidhi 受寄
upanibandha-gocara 近縛行處
Upanisa〔經〕所依 A 11 3～5
upanisā 所依，因，基，緣，譬類，方便，近習
Upanisā ①〔經〕緣 S 12 23 ②〔經〕所依 A 10 4
Upanisinna-vagga 侍坐品 S 23 35～46
upanissaya ① 近依，親依，强き原因 ② 機根
upanissaya-gocara 近依行處
upanissaya-paccaya 親依止緣，親依緣，近依緣〔二十四緣の一〕
upanissayapaccaya-niddesa 親依止緣廣說
upanissita 依著者
upanissāya 依止して
upanīta 誹謗
Upanemi〔辟〕ウパネーミ
upaneyya 導引者
Upaneyya〔經〕導かるるもの S 1 3
upapajjati 往生す
upapajjavedanīya kamma 順生受業，次生受業
upapatti 生起，再生，轉生
upapatti-deva 生起天，出生天

upapatti-bhava〜uppatti-bhava　再有，起有，生有
upapattiyā suddhi　生に依りて清淨あり
upapanna　生起者
upa-pāramī　近波羅蜜，近小波羅蜜
upapisana　香料
upapīḷaka〔kamma〕妨害〔業〕
upamā　譬喩，比喩，譬，喩
Upamā-pañho　譬喩問　Mil 5 1〜8
upaya　近著，近著者，牽引
Upayanti〔經〕膨脹　S 12 69
upayāna　獻上品
upayoga　對格
uparajja　副王位
uparata　寂靜
Uparāmā〔パヅゥマ佛の第二比丘尼〕優波羅摩
Uparicara〔王〕ウパリチャラ
Uparittha ①〔辟〕ウパリッタ，婆利吒 ②〔比〕ウパリッタ
Uparipaññāsaka　後五十經〔相應部經〕S 22 103〜158
Upari-paṇṇāsa　ウパリ・パンナーサ，後分五十經篇〔中部經〕M 101〜152
Upari-paṇṇāsaka＝Upari-paṇṇāsa　後分五十〔經〕
upari-pabbata　山頂
uparibhaddaka〔樹〕ウパリバッダカ
uparibhāva-pariyāya　上昇の法門
Uparimaṇḍakamāla-vāsin　ウパリマンダカマーラ住〔者〕
Uparimaṇḍalaka-malaya〔地名〕ウパリマンダラカ・マラヤ
uparimā disā samaṇa-brāhmaṇā　上方は沙門婆羅門
uparivehāsa-kuṭī　階上
Uparuci〔傳◦轉輪王〕ウパルチ
upalāpeti　慰撫す
Upavattana ①〔林〕ウパヴッタナ，惒跋單 ②〔地名〕
Upavattana-sālavana　惒跋單沙羅林
upavadati　罵詈す
Upavāṇa ①〔比，佛の侍者〕ウパヴーナ，優波摩〔那〕，優波婆那，優和洹，優婆摩那〔譬喩經〕Ap 3 22 ②〔アノーマダッシー佛の子〕ウパヴーナ ③〔經〕優波摩那　S 12 26 ④〔經〕優波婆那　S 35 70 ④〔經〕優波摩　S 46 8
Upavāḷa〔比〕ウパヴーラ
upavāsa　斷食
upavicāra　近行
upavijañña　臨月
upasagga ① 禍，災患，災，過患 ②〔病〕ウパサッガ
upasaṅkamati　來詣す，往詣す
upasaṁkamana　往詣すること，來詣
upasanta　寂靜，寂靜者，靜淑者
Upasanta ①〔アッタダッシー佛の第二弟子〕ウパサンタ，安息 ②＝Upasannaka〔毘沙浮佛の侍者〕ウパサンタ，近寂，寂滅
Upasannaka＝Upasanta〔毘舍浮佛の侍者〕寂滅，近寂
upasama　寂靜，寂止，止息，安息，休息，寂寂
Upasama〔經〕寂靜　S 48 19
upasama-rati　寂靜の樂
upasama-sukha　寂靜の樂，寂靜樂，寂止の樂，止息樂
Upasamā〔尼〕ウパサマー，寂靜
upasamādhiṭṭhāna　寂靜住處，止息處〔四住處の一〕
upasamānussati　止息隨念，寂止隨念，念休息，寂靜念〔十隨念の一〕
upasampada-maṁgala　受戒道場，受戒法會
upasampadā　具足戒，具足，進具，進入，受戒，受具，授戒
Upasampadā〔經〕具足戒　A 10 33
upasampadā-kamma　具足戒羯磨，授具羯磨　V 2 a 1，76
upasampadācariya　授具足せる阿闍梨
Upasampadādetabba-chakka soḷasa-vāra　具足戒を授くる六分十六事品
Upasampadādetabba-pañcaka soḷasa-vāra　具

足戒を授くる五分十六事品
Upasampadā-vagga 近圓品 A **5** 251～271
upasampanna 已具足者，受具者，受戒者
Upasampanna-pañho 佛は具足戒を受けたりやの問 Mil **2**〔6〕5
upasampādeti 具足戒を授く
Upasāgara〔王子〕ウパサーガラ
Upasāla〔パヅゥマ佛の第二弟子〕ウパサーラ，優波沙羅
Upasālaka, Upasāḷhaka〔傳◦婆〕ウパサーラカ，ウパサールハカ
Upasāḷha-jātaka ウパサールハ・ヂャータカ，ウパサールハ婆羅門本生物語 J 166
Upasiri〔宮殿〕ウパシリ，近榮
Upasīdarin〔辟〕ウパシーダリー
Upasīva〔婆和利の弟子，婆，比〕ウパシーヴ，優波私婆〔譬喩經〕Ap **3** 402
Upasīva-pañhā＝Upasīvamāṇava-pucchā〔經〕優波私婆所問＝優波私婆學童所問
Upasīvamāṇavakapañhā-niddesa 優波私婆學童所問の義釋 CNd 7
Upasīvamāṇava-pucchā＝Upasīva-pañhā〔經〕優波私婆學童所問 Sn **5** 7
Upasumbha〔佛〕ウパスンバ，近倒
Upaseṇī〔王女〕ウパセーニー
Upasena ①〔比〕ウパセーナ，優波斯那，優波先那，烏波斯那 ②〔スヂャータ佛の子〕ウパセーナ，近軍 ③〔經〕優波先那 S **35** 69
Upasena-Vaṅgantaputta〔比〕ウパセーナ・ヴンガンタプッタ，優婆斯那朋健陀子，優波斯那嗙揵多子，優波斯婆檀提子，優波斯那婆檀提子，優波先那婆檀提子〔譬喩經〕Ap **3** 17
Upasenā〔ティッサ佛の信女〕ウパセーナー
Upasoṇa〔憍陳如佛の信士〕ウパソーナ
Upasoṇā〔スマナ佛の第二比丘尼〕ウパソーナー，優波輸那
upassaṭṭha 壓せらる
Upassaṭṭhaṁ〔經〕所壓 S **35** 52
upassaya 住房
Upassayaṁ〔經〕止住處 S **16** 10
Upassaya-dāyaka-vimāna 住家施者天宮 Vv 68
upassuti 屏聽
Upassuti〔經〕侍聞 S **35** 113
upahacca-parinibbāyin 生般涅槃，損害般涅槃，除般涅槃〔五不還の一〕
upahatindriya 敗根
Upāgatabhāsaniya〔比丘の譬喩經〕ウパーガタバーサニヤ Ap **3** 269
upādā 取著
Upādā-duka 所造二法 Duka **67**
upādāduka-kusalattika 所造二法善三法 Duka-tika 76
upādā-dhamma 所造法，所造性法
upādāna ① 取，取著，執著，執取 ② 薪素，燃素，燃料
Upādāna〔經〕取 S **12** 52；**22** 121；**38** 12；**45** 173
Upādānaṁ ①〔經〕執取 S **35** 110 ②〔經〕取執 S **35** 123
Upādānaṁ parivaṭṭaṁ〔經〕取轉 S **22** 56
Upādānakkhandhā〔經〕取蘊 A **9** 66
upādānakkhaya 取〔蘊〕の盡，取〔蘊〕の滅，取〔蘊〕の滅盡，取盡，執著の盡
upādānakkhayādhimutta 取盡信解
upādāna-gocchaka 取聚
upādānagocchakaduka-hetuduka 取群二法因二法 Duka-duka 46
Upādāna-ceva-upādāna-sampayutta-duka 取取相應二法 Duka **73**
upādāna ceva upādāna-sampayutta dhamma 取取相應法，取法にして取相應なる
Upādāna-ceva-upādāniya-duka 取順取二法 Duka **72**
upādāna ceva upādāniya dhamma 取順取法，取法にして順取なる
upādāna c'eva dhamma upādāna-sampayutta ca 取法にして取相應なる，取取相應法
upādāna c'eva dhamma upādāniya ca 取法にして順取なる，取順取法
Upādāna-duka 取二法 Duka **69**
upādānaduka-kusalattika 取二法善三法 Duka-tika 78

upādāna dhamma 取法
upādānavippayutta anupādāniya dhamma 取不相應非順取法，取不相應法にして不順取なる
Upādānavippayutta-upādāniya-duka 取不相應順取二法 Duka **74**
upādānavippayutta-upādāniyaduka-kusalattika 取不相應順取二法善三法 Duka-tika 83
upādānavippayutta-upādāniya dhamma 取不相應順取法，取不相應法にして順取なる
upādāna-vippayutta dhamma 取不相應法
upādāna-vippayutta dhamma anupādāniya 取不相應法にして不順取なる，取不相應非順取法
upādāna-vippayutta dhamma upādāniya 取不相應法にして順取なる，取不相應順取法
upādāna-sampayutta c'eva dhamma no ca upādāna 取相應法にして非取なる，取相應非取法
upādāna-sampayutta c'eva no ca upādāna dhamma 取相應非取法，取相應法にして非取なる
Upādānasampayutta-duka 取相應二法 Duka **71**
upādānasampayuttaduka-kusalattika 取相應二法善三法 Duka-tika 80
upādāna-sampayutta dhamma 取相應法
upādāniya c'eva dhamma no ca upādāna 順取法にして非取なる，順取非取法
upādāniya ceva no ca upādāna dhamma 順取非取法，順取法にして非取なる
Upādāniya-duka 順取二法 Duka **70**
upādāniyaduka-kusalattika 順取二法善三法 Duka-tika 79
upādāniya dhamma 取法，順取法，執取すべき法，所取の法
upādānupādāna-sampayuttaduka-kusalattika 取取相應二法善三法 Duka-tika 82
upādānupādāniyaduka-kusalattika 取順取二法善三法 Duka-tika 81
upādāpaññattānuyoga 所依施設問
Upādāparitassanā〔經〕取著恐懼 S 22 7, 8
Upādāya〔經〕執取 S 35 105
upādā-rūpa 所造色
upādiṇṇa=upādinna 已取，有執受，執受
upādiṇṇa-upādāniya 已取順取，已取所取，執受有取
Upādiṇṇattika 已取三法 Tika **4**
Upādiṇṇattika-vaṇṇanā 已取三法之釋
Upādiṇṇa-duka 已取二法 Duka **68**
upādiṇṇa dhamma 已取法，有執受法
upādiṇṇa-rūpa 執受色，已取色
upādiṇṇupādāniya 執受有取，已取所取，已取順取
upādiṇṇupādāniya dhamma 已取順取法，已取所取法
upādinna=upādiṇṇa 有執受，已取，執受，有生物
upādinnattika-kusalattika 已取三法善三法 Tika-tika 24
upādinnattika-saraṇaduka 已取三法有諍二法 Tika-duka 76
upādinnattika-hetuduka 已取三法因二法 Tika-duka 4
upādinnaduka-kusalattika 已取二法善三法 Duka-tika 77
upādinna dhamma 有執受法，已取法
upādinna mano 高貢心，執受意
upādinnupādāniyattika 已取順取三法，已取所取三法
Upādiyamāno〔經〕取 S 22 63
upādisesa 餘依，有餘，有依，餘取，殘餘
upāya 方便，近，近倚，封滯，封滯者，善巧*
Upāya〔經〕封滯 S 22 53
upāya-kusala 方便に巧
upāya-kusalatā 方便善巧
upāya-kosalla 方便善巧〔三善巧の一〕
upāya-kosalla-ñāṇa 方便善巧智
upāya-paññā 方便智
upāya-pariggaha-ñāṇa 方便攝取の智慧
Upāya-vagga 封滯品 S 22 53~62
upāyāsa 惱，愁，煩勞，失望，絕望，悶

upāyāsa-dhamma 悩法
upārambha 攻撃，論詰，難詰
upārambha-citta 忽める心，難詰心
upārambha-cittatā 難詰心
Upāli ①〔比，持律第一〕ウパーリ，優波離，優波利〔譬喩經〕Ap 3 6, 41 ②〔セイロンの相承比丘〕ウパーリ，優波離 ③〔セイロンに教團を傳へたるシャム國比丘〕ウパーリ④〔十七群童子の一人〕ウパーリ，優波離 ⑤〔尼乾の徒，塞〕ウパーリ，優波離 ⑥〔經〕優波離 A 10 99
Upāliṭṭhapana〔經〕優波離遮說戒 A 10 31
Upāli-pañcaka〔章〕優波離(問)五法 V 3 15
Upālipucchā-bhāṇavāra 優波離所問誦 V 2 a 9, 1～4
Upāli-vagga 優波離品 A 10 31～40；Ap 3 41～50
Upāli-suttanta ウパーリ・スッタンタ，優波離經 M 56
Upālī〔尼〕ウパーリー
upāsaka ウパーサカ，優婆塞，信士，信男
Upāsaka-vagga 優婆塞品 S 7 11～22；A 5 171～180；10 91～100
upāsana 弓射
Upāsabha〔辟〕ウパーサバ
upāsikā 優婆夷，信女
Upāsikā〔經〕優婆夷 A 10 203, 204
Upāsikā-vihāra 優婆夷精舍
Upāhana-jātaka ウパーハナ・ヂャータカ，革履本生物語 J 231
upāhanatthavika 履袋
Upāhanadāyaka〔比丘の譬喩經〕ウパーハナダーヤカ Ap 3 256
Upāhana-vagga 革履品 J 231～240
upāhanā 履，履物，草鞋，上靴，革履，屣
Upekkhako〔經〕捨 S 40 4
upekkhako viharati 捨にして住し
upekkhā＝upekhā 捨，捨心
Upekkhā〔經〕捨 S 28 4；46 65
upekkhā-nimitta 捨相，捨因
upekkhānubrūhanā 捨の隨增
upekkhā-pāramī 捨波羅蜜〔十波羅蜜の一〕
upekkhāphala-samāpatti 捨果等至
upekkhā-brahmavihāra 捨梵住＝捨無量
upekkhā-bhāvanā 捨の修習 VM 9 4
upekkhārammaṇa-sukha 捨緣樂
Upekkhāsamannāgata-kathā 捨具足論 KV 4 5
upekkhā-sambojjhaṅga＝upekhā-sambojjhaṅga 捨覺支，捨等覺支，捨の覺意，行捨覺支
upekkhā-saññā 捨想
upekkhā-sahagata 捨俱行，捨俱
upekkhāsahagata-ahetuka-manoviññāṇa-dhātu 捨俱無因意識界
upekkhāsahagata-uddhacca-sampayutta 捨俱行掉擧相應，捨俱掉擧相應＝掉擧俱心
upekkhāsahagata citta＝upekhāsahagata-ceto 捨俱心，捨俱行心，捨と俱なる心
upekkhāsahagata-jhāna 捨俱禪
upekkhāsahagata-ñāṇa-vippayutta 捨俱智不相應，捨俱行智不相應
upekkhāsahagata-ñāṇa-sampayutta 捨俱行智相應，捨俱智相應
upekkhā-sahagata-diṭṭhigata-vippayutta 捨俱行成見不相應，捨俱惡見不相應
upekkhāsahagata-diṭṭhigata-sampayutta 捨俱惡見相應，捨俱行成見相應
upekkhā-sahagata-dhamma 捨俱行法
upekkhāsahagata paritta-kiriyā 捨俱行小唯作
upekkhāsahagata-vicikicchā-sampayutta 捨俱行疑相應，捨俱疑相應，捨俱行猶豫相應
upekkhāsahagata-santīraṇa 捨俱推度〔心〕
upekkhāsahagata-samādhi 捨俱定，捨俱行定
upekkhāsahagatā paññā 捨俱行慧，捨俱〔慧〕
upekkhāsahagatā-hetuka-kiriyā 捨俱無因唯作
upekkhā-sukha 捨樂
upekhaṁ bhāvayati 捨を修習す
upekhā＝upekkhā 捨，捨心
upekhā kusalanissitā 善相應の捨
upekhā ceto-vimutti 捨心解脫
upekhā-ṭhānīya 順捨處
upekhā-dhātu 捨界
upekhā-nimitta 捨因，捨相

upekhā-sambojjhaṅga=upekkhā-sambojjhaṅga 捨等覺支，捨覺支，行捨覺支，捨の覺意〔七覺支の一〕
upekhā-sahagata 捨倶，捨倶行
upekhāsahagata-ceto 捨倶行心，捨倶行の心，捨倶心，捨と倶なる心
Upekhāsahagata-duka 捨倶行二法 Duka **92**
upekhāsahagataduka-kusalattika 捨倶行二法善三法 Duka-tika 101
upekhāsahagata saññā-manasikāra 捨と倶行する想作意
upekhāsahagata-samādhi 捨倶行定，捨倶定
upekhindriya 捨根
upekhūpavicāra 捨近伺〔六種〕
uposatha 布薩，布薩會，布薩日，齋戒，八齋戒，齋日，說戒
Uposatha ①〔辟〕ウポーサタ ②〔王〕ウポーサタ，烏逋沙多 ③〔王子〕ウポーサタ，布薩 ④〔象王〕ウポーサタ，布薩，布薩陀 ⑤〔園〕ウポーサタ ⑥〔經〕布薩 S **29** 3～6；A 8 20
uposatha-kamma 布薩羯磨，布薩儀式，布薩行，布薩業，布薩の業
Uposatha-kula 〔家〕ウポーサタクラ，布薩種
Uposathakkhandhaka 布薩犍度 V 2 a 2
Uposathakkhandha-bhāṇavāra 布薩犍度誦品
uposathagga 布薩堂
uposatha-ghara 布薩堂
uposathaṅga 八齋戒，布薩支，布薩支分
uposatha-divasa 布薩日
uposatha-pamukha 布薩堂前庭
Uposatha-vagga 布薩品 A 8 41～50
uposatha-saṁyutta 布薩相應
Uposatha-sutta 布薩經
Uposathā〔夷，死後生天〕ウポーサター
uposathāgāra 布薩堂，布薩室
Uposathā-vimāna ウポーサター女天宮 Vv 24
uposathika ① 布薩者 ② 布薩食
uppakkā okilinī okiriṇī itthī 炒られ炙られ煤けし女
Uppajjana-jānana-pañha 再生する者は再生すべしと知るやの問 Mil 2〔5〕9
Uppajjana-vāra 生分
uppajjamāna khaṇa 現生の刹那
uppaṇḍuppaṇḍukajāta 黄色となる
Uppatika〔經〕生 S **48** 40
uppatti ① 生起，生處 ②=upapatti 轉生，再生
Uppatti-kathā 生阿羅漢論 KV 4 2
uppattikkama 生起の順序
uppatti-citta 生心，生起心
uppatti-deva 出生天，生起天
uppatti-paṭilābhika saṁyojana 生得結
uppatti-bhava=upapatti-bhava 生有，起有，再有，再起有
uppattesiya citta 生心
uppatha 非道，邪道，惡道
Uppatha〔經〕非道 S **1** 58
uppanna 再生，已生
Uppannattika 已生三法 Tika **17**
uppannattika-kusalattika 已生三法善三法 Tika-tika 37
uppannattika-saraṇaduka 已生三法有諍二法 Tika-duka 89
uppannattika-hetuduka 已生三法因二法 Tika-duka 17
uppanna dhamma 已生法
Uppannā〔經〕生 S **46** 9，10
uppala〔花〕ウッパラ，優鉢羅，優鉢花，鬱波羅，靑蓮，靑蓮華，黄蓮華，睡蓮，水蓮，蓮華
Uppala ①〔辟〕ウッパラ ②〔プッサデーヴ戰士の父〕③〔宮殿〕
Uppalaka〔地獄〕ウッパラカ，靑蓮，靑蓮華，蓮華
Uppalaka-niraya=Uppala-niraya 靑蓮地獄
uppala-gandha 靑蓮華香，優鉢羅香
uppalagandha-paccatthika 乾陀賊怨家
Uppaladāyikā〔比丘尼の譬喩經〕ウッパラダーイカー Ap 4 33
Uppala-niraya=Uppalaka-niraya 靑蓮地獄
uppala-mālā 優鉢羅華鬘，靑蓮華鬘，蓮華の華鬘
Uppalavaṇṇa〔神〕ウッパラヴンナ，蓮華色=

毘紐拏
Uppalavaṇṇā ①〔尼〕ウッパラヴンナー，優鉢羅色，蓮華色，蓮花色〔譬喩經〕Ap 4 19 ②〔王女〕ウッパラヴンナー，蓮華色 ③〔經〕蓮華色 S 5 5
Uppala-vīthi 蓮華街
uppala satapatta 百葉蓮華
Uppalahatthiya〔比丘の譬喩經〕ウッパラハッティヤ Ap 3 103
Uppalā〔アノーマダッシー佛の信女〕ウッパラー
uppalinī 青蓮池，青蓮華池，青蓮華の池林
uppāṭaka 蚤虱
uppāta=uppāda 天變地異判斷
uppāda ① 生，生起 ② 吉凶の兆，變事，兆相の占ひ，前兆占，豫占，天變地異判斷
Uppāda〔經〕生 S 48 59, 60
Uppādaṁ〔經〕生 S 22 30
uppādakkhaṇa 生刹那
Uppāda-nirodha-vāra 生滅分
uppāda-lakkhaṇa 生相
Uppāda-vāra 生分
Uppāda-saṁyutta ウッパーダ・サンユッタ，生相應 S 26 1～10
uppādāgamana 變事發生
uppādi dhamma 當生法，生起法
uppādin 可生，當生
Uppāde〔經〕生起 S 45 14, 15
uppādetabba 生ぜしめらるべき
Uppādetabba〔經〕應起 A 10 149, 193
Uppādena〔經〕生起によりて S 35 21, 22
Uppādo〔經〕生起 S 14 36
Ubbarī〔王妃〕ウッパリー，鬱婆利
Ubbarī-petavatthu 鬱婆利鬼事 Pv 2 13
Ubbarī-vagga 鬱婆利品〔餓鬼事經〕Pv 2
ubbāhika 斷事人
Ubbāhika〔經〕斷事人 A 10 32
Ubbāhika-vagga 斷事人品 V 3 15, 9
ubbigga 倦厭，驚愕
Ubbiddha〔傳○轉輪王〕ウッビッダ
Ubbirī〔尼〕ウッビリー
ubbilla 歡喜
ubbegā pīti 踊躍喜
Ubbhaṭaka〔公會堂〕ウッバタカ
ubbhaṭṭhaka 常立行者，常立者，常直立者，住立行者，直立排座行
ubbhamukho bhuñjati 口を仰けて食す
ubbhida-loṇa 厨房鹽，厨鹽
ubbhidodaka 深泉，泉
ubhato-kāja 天秤棒
ubhatokoṭika-pañhā 兩刀論法，兩刄性の窮問，兩端を有する問
ubhato-paññatti 兩部衆制
Ubhatobhaṭṭha-jātaka ウバトーバッタ・ヂャータカ，二重失敗本生物語 J 139
ubhatobhāga-vimutta 俱解脫，俱分解脫，俱解脫者，俱分解脫者
Ubhatobhāga-vimutta〔經〕俱分解脫者 A 9 45
ubhatobhāga-vimutti 俱解脫，俱分解脫
ubhato-vinaya 兩部の律
Ubhato-vibhaṅga 兩分別，兩分別篇，兩毘崩伽，兩部の毘崩伽 V 1 a, b
ubhato-vyañjanaka 二根，二根者，兩性者，半陰陽
ubhato-vyañjanā 二根女
ubhato-saṁgha 兩僧伽
ubhayattha 俱利，兩の利，俱義，自他の義
ubhaya-pātimokkha 兩波羅提木叉，兩部の波羅提木叉
ubhaya-hita 兩者の利
ubhayāni pātimokkhāni 兩部の波羅提木叉，兩波羅提木叉
ubho antā 兩極端，兩端，兩邊
ummagga ① 誘導 ② 隧道
Ummagga-jātaka=Mahā-ummagga-jātaka ウンマッガ・ヂャータカ，隧道本生物語
ummagga-patha 邪路
ummatta 狂者，狂人，癡狂者，發狂せり
ummattaka 狂者，狂人，顚狂者，顚狂人，癡狂者，發狂者，狂氣の所作
ummattaka-sammuti 狂羯磨
ummattikā 癡狂者

Ummadantī〔長者女〕ウンマダンティー
Ummadantī-jātaka ウンマダンティー・ヂャータカ，ウンマダンティー女本生物語 J 527
ummaddāpeti 揉ましむ
ummasanā 逆摩
ummā〔花〕ウンマー，烏麻，烏摩〔迦〕，烏莫迦，亞麻
ummāda 狂氣，憍酔，憍慢*
Ummādacittā=Mattakalā〔王女〕ウンマーダ質多
Ummādantī〔女，蓮華色比丘尼の前生〕ウンマーダンティー
Ummādaphussadeva〔戰士〕ウンマーダフッサデーヴ
ummā-puppha ① 亞麻の花 ②〔寶珠〕ウンマーフッパ
Ummāpupphiya〔比丘の譬喩經〕ウンマーフッピヤ Ap 3 145, 321
Ummāpupphiya-vagga ウンマーフッピヤ品 Ap 3 321〜330
ummāra ①〔花〕ウンマーラ，烏摩羅 ② 境界標
ummi=ūmi 波
ummi-bhaya=ūmi-bhaya 波の怖，波の怖畏，浪の怖畏，波浪の怖畏，浪畏
ummuka 松明
uyyāna 園地，遊園地，園林，庭園
uyyāna-pāla 守園人，園丁，苑守
Uyyānādikārāpana〔章〕園林その他をつくらしむること Cv 79
uyyuttā senā 出征軍
uyyodhika 演習，模擬戰，合戰
ura 胸
uraga ウラガ，胸行者，蛇
Uraga-jātaka ① ウラガ・ヂャータカ，龍本生物語 J 154 ② ウラガ・ヂャータカ，蛇本生物語 J 354
Uraga-petavatthu 蛇鬼事 Pv 1 12
Uraga-vagga 蛇品 ①〔經集〕Sn 1 1〜12 ②〔餓鬼事經〕Pv 1
Uraga-sutta 蛇經 Sn 1 1
ura-cakka 鐵輪
uracchada 胸飾
Uracchadā〔王女〕ウラッチャダー，胸飾り
uraṭṭhi 胸骨，肋軟骨
urattāḷiṁ kandati 胸を椎つて哭す，胸を椎つて號泣す，胸を敲いて哭す
urabbha 牡山羊，牡羊，羊，猪*
Uruvela ①〔スメーダ佛の信士〕ウルヹーラ ②〔王子〕③〔池〕④〔精舍〕
Uruvela-kappa〔村〕ウルヹーラカッパ，鬱鞞羅劫波
Uruvela-kassapa〔外，比〕ウルヹーラカッサパ，優樓頻螺迦葉，優樓頻羅迦葉，鬱鞞羅迦葉〔譬喩經〕Ap 3 535
Uruvela-pāṭihāriya 優樓頻螺神變
Uruvelamaṇḍala〔地名，セイロンにあり〕ウルヹーラマンダラ
Uruvela-vagga 優樓比螺品 A 4 21〜30
Uruvelā ①〔迦葉佛の上足尼〕ウルヹーラー，優樓頻羅 ②〔村〕ウルヹーラー，優樓頻螺，優樓頻羅，優樓比羅，優留毘羅，鬱鞞羅，鬱毘羅，鬱婁頻螺 ③〔セイロンの村〕ウルヹーラー
Ulada〔地名〕ウラダ
ulūka 梟，鵂鶹
ulūka-camma 梟の皮
Ulūka-jātaka ウルーカ・ヂャータカ，梟本生物語 J 270
ulūka-pakkha 梟羽衣，梟羽の衣，梟羽編衣，梟翅衣，鵂鶹翼〔衣〕，角鵄翅衣
ulūka-pakkhika 梟羽の衣，梟翅衣
ullaṅghanā 擧
Ullapana〔村〕ウッラパナ
ullapanā 讃虛談
ullumpati 濟度す
ulloka 下敷
uḷārabhoga-kula 大財家
uḷāra-bhogatā 富豪
uḷāra-vaṇṇatā 妙色
Uḷāra-vimāna 優天宮 Vv 29
uḷuṅka 匙

uḷumpa 筏
Uḷumpa〔町〕ウルンパ
uḷurāja〔樹〕ウルラーヂャ，竹王
usabha ①〔長さの量〕ウサバ，勒沙婆 ②＝āsabha, nisabha 牡牛，牛，牛王
Usabha ①〔辟〕ウサバ ②〔比〕③〔比〕＝Nisabha
Usabhakkhandha〔燃燈佛の子〕ウサバッカンダ，牛王肩
usabha-camma 牛皮
usabha chinna-visāṇa 角を截れる牛
usabha-yuddha 牡牛鬪
usabha-rāja 牛王
Usinnara, Usīnara〔王〕ウシンナラ，ウシーナラ
usīra〔草〕ウシーラ，ウシーラ香，嗢尸羅，優尸羅，憂尸羅，ビーラナ草の根
Usīraddhaja〔山〕ウシーラッダヂャ
usu 矢，箭
usu-kāra 箭工，箭匠，箭作り
Usu-kāsaṇiyo〔經〕矢の裁き S 19 7
usuyya 嫉妬，嫉み
usuloma 箭毛者
usuloma purisa 矢の〔如き〕毛の人
usmā＝uṇha 熱，煖，消化力
usmā-gata 暖性
usmī 煖
ussaṅkin 恐懼，疑惧
ussaṅkha-pāda 踝高し，足踝〔三十二相の一〕
ussada ① 增盛，隆滿 ②〔地獄〕ウッサダ，增，小地獄，突起
Ussadakittana〔書名〕ウッサダキッタナ
ussada-cārika 地獄界
ussada-niraya 增地獄，突起地獄，小地獄
ussaya-vādika＝usuyya-vādika 訴訟
ussayavādikā bhikkhunī 訴訟比丘尼
ussava 祭禮，祭會，祭日，休日
ussava-divasa 祝日
ussādana 稱譽，喊聲
ussādetar 稱揚者
Ussānaviṭṭhi〔村〕ウッサーナギッティ
Ussāvana〔苑林〕ウッサーヴナ，興起
ussāva-bindu 露の玉，露滴
ussāha 勇，勇健，勇猛，勉勵，敢行
ussuka 貪欲者
ussukka＝ussuyya 嫉み，嫉妬
usseneti 擧る，近づく
ussoḷhi 努力，勤勇，勢猛，增上精進
Ussoḷhī〔經〕努力 S 12 86

ūkā-palibodha 虱障礙
ūkā-sira 虱の頭
Ūcena〔軍〕ウーチェーナ
ūnaka-saññin 減想
ūnavīsati-vassa 二十歳未滿
ūmi＝ummi 波浪
ūmi-bhaya＝ummi-bhaya 波の怖，波の怖畏，浪の怖畏，波浪の怖畏，浪畏
ūraṭṭhi 腿骨
Ūriyeri〔地名〕ウーリエーリ
ūru 髀
ūrukkhambha 髀の痳痺
ūru-balin 股力〔者〕
Ūva〔國〕ウーヴ
ūsara 鹽分

eka 一，獨一
Eka ①〔王〕エーカ ②〔經〕單一 S **37** 28
ekaṁsa 一肩
ekaṁsaṁ uttarāsaṅgaṁ karitvā 上衣を一肩にし，上衣を偏に袒ぎ，上衣を偏袒にし，上衣を偏袒になし，一肩に上衣を被て，偏袒右肩す
ekaṁsaṁ uttarāsaṅgaṁ karoti 偏袒右肩す，衣を一肩にす，上衣を一肩にし，上衣を偏袒にし，一肩に上衣を被て
ekaṁsaṁ cīvaraṁ karitvā 衣服を一肩にし
ekaṁsa-vāda 一向論者
ekaṁsa-vyākaraṇīya-pañha 一向記問，一向に解答せらるべき問，應一向記問〔四記問の一〕
ekaṁsika 決定記
ekaka 一法 V 3 6 (1)
eka-kamma 同一羯磨
eka-kammākamma 同一羯磨非羯磨
Eka-kāpilla 〔精舍〕エーカカーピッラ
ekagga 一境
ekagga-citta 心一境，一境心，心統一者
ekaggatā 一境性
eka-cakkhu 一眼，一眼〔者〕，一眼人
Eka-cakkhu 〔城〕一目
Ekacampakapupphiya 〔比丘の譬喩經〕エーカチャンパカプッピヤ Ap 3 365
ekacara-nāga 獨行の龍
eka-cariyā 獨行
ekacārika-bhikkhu 雲水比丘
ekacārika-hatthin 獨行象
Ekacāriya 〔比丘の譬喩經〕エーカチャーリヤ Ap 3 189
Ekacintita ①〔傳◦轉輪王〕エーカチンティタ ②〔比〕〔譬喩經〕Ap 3 187
Ekaccaṁ atthīti kathā 一分有論 KV **1** 8
ekaccaṁ me khamati ekaccaṁ me na khamati 予は或物を認容す或物を認容せず
ekacca-sassatika 一分常論，一分常住論，一部常住說者
ekacca-sassatika-ekacca-asassatika 一分常住一分無常論〔四種〕
Ekachattiya 〔比丘の譬喩經〕エーカチャッティヤ Ap 3 409, 454
ekaja 一生
Ekajjha 〔傳◦轉輪王〕エーカッヂャ
Ekañjalika 〔比丘の譬喩經〕エーカンヂャリカ Ap 3 29
Ekañjaliya ①〔傳◦轉輪王〕エーカンヂャリヤ ②〔比〕〔譬喩經〕Ap 3 275, 347
eka-tiṁsa-kappa 三十一劫
ekato-kāja 一方擔棒
ekato-paññatti 一部衆制
ekatta 一，一性，一種，獨一，離，禪定，獨住
ekatta-kāya 一類の身，一種の身，身一
ekatta-naya 同一の理
ekatta-saññā 一類の想，一想，一種の想，想一
ekatta-saññin 想一，一想，一種の想，一類の想
ekattasaññī attā ca loko ca 我と世界とは一想を有するものなり
ekatta-suñña 一性空
Ekatthamba-pāsāda 〔殿樓〕エーカッタンバ(一柱)パーサーダ
ekatthambhaka pāsāda 一本柱の宮殿
Ekatthambhika 〔比丘の譬喩經〕エーカッタンビカ Ap 3 12
Ekadīpiya 〔比丘の譬喩經〕エーカディーピヤ Ap 3 177, 413
Ekadussadāyaka 〔比丘の譬喩經〕エーカドゥッサダーヤカ Ap 3 419
Ekadvāra 〔精舍〕エーカドゥヴーラ
Ekadhamma 〔經〕一法 S **46** 29; **54** 1
Ekadhamma-peyyāla 〔章〕一法廣說
Ekadhamma-vagga 一法品 S **54** 1～10; A **1** 16
Ekadhammasavanīya 〔比〕エーカダンマサヴニーヤ，能聽一法〔譬喩經〕Ap 3 424
Ekadhītu 〔經〕一女 S **17** 24
eka-navuta-kappa 九十一劫
eka-nāma 同名
Ekanāḷa 〔婆羅門村〕エーカナーラ，一葦，一茅

Eka-nipāta ① 一集〔増支部經〕 A **1** 1～21 ② 一集〔如是語經〕 It **1** ③ 一偈集〔長老偈經〕 Thag 1～120 ④ 一偈集〔長老尼偈經〕 Thīg 1～18 ⑤ 第一篇〔本生經〕 J 1～150
ekanta-dukkhin 一向苦
Ekantadukkhī〔經〕一向苦 S **24** 42
ekantadukkhī attā ca loko ca 我と世界とは一向苦を有するものなり
ekantadukkhī attā hoti arogo 一向苦なる無病の我有り
Ekanta-nibbidā〔經〕一向厭患 A **10** 127, 131
ekanta-vītarāga 一向離貪，一向離貪者
ekanta-sukha, ekanta-sukhin 一向樂
Ekantasukhī〔經〕一向樂 S **24** 41
ekantasukhī attā ca loko ca 我と世界とは一向樂を有するものなり
ekantasukhī attā hoti arogo 一向樂なる無病の我有り
Ekapaṇṇa-jātaka エーカパンナ・ヂャータカ，一葉本生物語 J 149
Ekapatī〔王妃〕エーカパティー
Ekapattadāyaka〔比丘の譬喩經〕エーカパッタダーヤカ Ap **3** 499
Ekapada-jātaka エーカパダ・ヂャータカ，一句本生物語 J 238
Ekapadumiya〔比丘の譬喩經〕エーカパドゥミヤ Ap **3** 338
Ekapadumiya-vagga エーカパドゥミヤ品 Ap **3** 338～347
eka-pavāraṇā 同一自恣
eka-passayika 一脇地臥者
ekapiṭaka 一藏〔師〕，一藏持者
Ekapiṇḍapātadāyikā〔比丘尼の譬喩經〕エーカヒンダハータダーイカー Ap **4** 6
Ekapuggala-vagga 一人品 A **1** 13
Ekapuṇḍarīka ①〔比〕エーカフンダリーカ〔譬喩經〕Ap **3** 279 ②〔園〕
Ekapupphiya〔比丘の譬喩經〕エーカフッピヤ Ap **3** 284
eka-pokkhara 片鼓
Ekaphusita〔傳・轉輪王〕エーカフシタ

Ekabala〔國〕エーカバラ，一力王
ekabījin 一種，一種者，一種子，一間
Ekabyohāra＝Ekavyohārika〔部派〕一說
eka-bhatta 一食
ekabhattika 一食者，一日一食者，午前食者
Ekabhāvagata-pañho 諸法の合一せられたるを〔分解し得るや〕の問 Mil **2**〔4〕2
Ekamagga-kathā 一道論 KV **18** 5
Ekamandāriya〔比丘の譬喩經〕エーカマンダーリヤ Ap **3** 358
ekamāsa-parivāsa 一月別住
eka-mūla 一の根，同根
Eka-mūla〔經〕一根 S **1** 44
Ekamūlaka〔章〕一根章
ekamūla-mūla 同根根
Ekaraṁsaniya〔比丘の譬喩經〕エーカランサニヤ Ap **3** 138
eka-rasa 一味
ekarasaṭṭhe ñāṇaṁ 一味の義の智
ekarasa-bhāvanā 一味修習
ekarasa-loṇarasa 一味鹹味
ekarasa-vimuttirasa 一味解脫味
Eka-rāja〔王，佛の前生〕エーカラーヂャ
Ekarājaka 一王章 Cv 50, 81
Ekarāja-cariyā〔經〕エーカラーヂャの所行 Cp **3** 14
Ekarāja-jātaka エーカラーヂャ・ヂャータカ，一王本生物語 J 303
Ekavandiya〔比丘の譬喩經〕エーカヷンディヤ Ap **3** 230
eka-vācika 一說
ekavihārin 單獨住者，獨住者
Ekavihāriya〔比〕エーカギハーリヤ〔譬喩經〕Ap **3** 428
Ekavihāri-vagga エーカギハーリ品 Ap **3** 428～437
ekavīsati anesanā jīvikā 二十一の不相應による生活
ekavīsati antabhogā 二十一の腸の屈折處
ekavīsatividha-anesanā 二十一種の不法，二十一の不相應

ekavokāra-bhava=asañña-bhava 一蘊有
Ekavyohārika=Ekabyohāra〔部派〕一説
Ekasaṅkhiya〔比丘の譬喩經〕エーカサンキヤ Ap 3 429
ekasaṅgatā-nānattekatta-paṭivedhe paññā 攝一異性一性を通達する慧
eka-saṁghakamma 同一僧伽羯磨
Ekasaññaka〔比丘の譬喩經〕エーカサンニャカ Ap 3 75, 214
ekasāṭa, ekasāṭaka 一衣外道, 一衣者, 一布者
Ekasāṭaka〔婆〕エーカサータカ
eka-sikha 一髻者, 一髻ある者
eka-seyya 一臥
ekassa caritaṁ 獨一の行, 獨行
Ekassara〔傳・轉輪王〕エーカッサラ
ekahetuka 一因
ekāgārika 一家受食者
ekādasaka 十一法 V 3 6 (11)
Ekādasaka-nipāta 十一集 A **11** 1～25
ekādasa kāma-bhavā 十一欲有
Ekādasa-nipāta ① 十一偈集〔長老偈經〕Thag 597～607 ② 十一偈集〔長老尼偈經〕Thīg 213～223 ③ 第十一篇〔本生經〕J 455～463
ekādasa bhedānuvattaka-saṁghādisesa 第十一助破僧僧殘
ekādasama-saṁghādisesa 第十一僧殘=第二破僧戒
ekādasavidhena rūpakkhandho 十一種色蘊
ekādasavidhena rūpa-saṅgaho 十一種色聚
ekādasa vyasanāni 十一難〔誹謗の報〕
ekādasahi dhammehi samannāgato bhikkhu 十一法を具足する比丘, 十一法を成就せる比丘
ekādasānisaṁsā 十一種功德〔慈心解脫の〕
ekā dāṭhā 一牙
ekādhippāya 同意趣
Ekādhippāya-kathā 同意趣論 KV 23 1
Ekāpassita〔傳・轉輪王〕エーカーパッシタ
Ekābhiñña or Ekabījī〔經〕一種 S 48 24
ekāyana 一乘道, 一行道, 唯一趣向の道
ekāyana-magga 一行道, 一乘道, 唯一趣向の道
ekārāmatā 一樂遊
ekālopika 一摶食者
ekāsana 獨坐, 一座
Ekāsanadāyaka〔比丘の譬喩經〕エーカーサナダーヤカ Ap 3 252, 420
Ekāsanadāyikā〔比丘尼の譬喩經〕エーカーサナダーイカー Ap 4 14
ekāsana-bhojana 一坐食
ekāsanika 一坐食者, 一座食者, 一食行者, 一食者
ekāsanikaṅga 一坐食支
ekāsanin 但一座食者
Ekāsanīya〔比丘の譬喩經〕エーカーサニーヤ Ap 3 114
ekāsane rato 一坐食欣樂者
Ekāha〔池〕エーカーハ
ekāha-parivāsa 一日別住〔因緣と作法〕
ekindriya 一根=植物
ekībhāva 一趣, 一致
Ekuttaraka, Ekuttarika 增一法 V 3 6
Ekuttarika-nikāya=Aṅguttara-nikāya 增一部
Ekuddāniya〔比〕エークッダーニヤ, 一優陀那
ekuddesa 同一說戒
ekunavīsati-vasābhisita (A) 灌頂十九年
ekupaṭṭhānavasena cittassa ṭhiti 一性近住力に依る心の住
ekuposatha 同一布薩
ekūnavīsatibheda-paccavekkhanā-ñāṇa 十九種の觀察智
ekūnavīsati vipāka-viññāṇāni 十九異熟識
Ekūposathika-vagga エークポーサティカ品 Ap 4 11～20
Ekūposathikā〔比丘尼の譬喩經〕エークポーサティカー Ap 4 11
ekeka-loma 毛は一つ一つ〔三十二相の一〕
eko carati 獨り行く, 獨り遊行す, 獨り行ず
eko caritvāna 獨り行ぜる
ekodi 專一, 一趣, 一心を成ず

ekodi-bhāva 專一性，一趣性
ekodi-bhūta 心一境相，專一性
ekodi hoti 一心を成ず，專一となる
Eja〔經〕動著 S 35 90, 91
ejā 動，動著，愛欲
eṇi=eṇeyya〔鹿〕エーニ，伊泥延，伊尼，麋鹿，羚羊
eṇi-jaṅgha 鹿の如き脛，腨は伊泥延鹿の如し，麋鹿の蹲〔三十二相の一〕
Eṇijaṅgha〔經〕麋鹿の蹲 S 1 30
Eṇī〔河〕エーニー
eṇeyya=eṇi〔鹿〕エーネッヤ，伊泥延，羚羊，エーナ鹿
eṇeyyaka 羚羊刑
Etadagga-vagga 是第一品 A 1 14
Etam mama〔經〕我所 S 22 150; 24 2
Enipassā〔女〕エーニパッサー
eraka〔草，樹〕エーラカ
Eraka〔比〕エーラカ
Erakakaccha ①〔城〕エーラカカッチャ ②〔町〕
eraka-vattika 驅行刑
eragu〔敷具〕エーラグ
eraṇḍa=elaṇḍa〔草〕エーランダ，伊蘭，伊蘭檀，蓖麻
eraṇḍaka-tela 蓖麻子油
Eraṇḍagalla〔池〕エーランダガッラ
eraṇḍa-tela エーランダ油，蓖麻子油
Erāpatha〔四種蛇王族の一〕エーラーパタ，伊羅漫，伊羅鉢〔多〕
Erāvaṇa, Erāvana〔龍王〕エーラーヴナ，伊羅婆陀，伊羅婆那，藹羅伐拏
Erāhuḷu〔地名〕エーラーフル
Erukkāṭṭa〔村〕エールッカーッタ
Erukkāvūra〔堡壘〕エールッカーヴーラ
elaṇḍa=eraṇḍa〔草〕
elambara〔植〕エーランバラ
elambuja エーランブヂャ，水蓮
elāluka 胡瓜，南瓜
eḷa 聾
eḷaka ① 羊，山羊，牡羊，白羊 ② 閾
eḷaka-camma 羊皮
eḷakapādaka-pīṭha〔椅子〕山羊脚
Eḷakamāra〔王〕エーラカマーラ
eḷaka-loma 羊毛
eḷakalomaka 羊毛戒
eḷakaloma-samuṭṭhāna 羊毛等起
eḷagala-vāca 啞
eḷagalā〔草〕エーラガラー
eḷa-mūga 羊啞，啞，啞羊，聾瘂，口涎を流す
Eḷavadda, Eḷavaddana〔國〕エーラヴッダ，伊羅跋陀，伊羅跋陀那
Eḷāra〔王〕エーラーラ
eḷāruka〔樹〕エーラールカ
eḷāluka 南瓜
eḷikā 牝山羊
Eḷeyya〔王〕エーレッヤ
evaṁ-dhammatā-naya 如是法性の理
Esana-vagga 尋覓品
esanā 求，尋求，尋覓〔三種〕
Esanā〔經〕尋覓 S 45 161
Esanā-pāli 尋覓品
Esanā-vagga 尋覓品 S 45 161～170; 46 101～110, 155～165; 47 83～93; 48 163～175; 49 35～44; 50 35～46, 91～100; 51 67～76; 53 35～44
esanā-bhāvanā 尋求修習
esanā-suñña 尋求空
esanī 探針
esika, esikā 柱，石柱
Esika〔國〕エーシカ
Esukārin ①〔婆〕エースカーリー，鬱瘦歌邏 ②〔王〕
Esukāri-sutta エースカーリ・スッタ，鬱瘦歌邏經 M 96
Eso attā〔經〕我 S 22 151
ehi 善來，來れ
ehipassika 來り見よ的，來觀

oka 窩宅，家
oka-cara 牡獸
oka-cārikā 牝獸
okapiṁḍa (A) オーカピンダ蜥蜴
okāsa 空地，場所
okāsakatuppanna 作機會生起
okāsa-kamma 聽許羯磨
okāsa-loka 空間世間＝器世間
okāsādhigama 徑路〔三種〕
Okilini-Sapattaṅgārakokiri〔經〕炙らるる女，仲間の一人に炭火を投ぐ S 19 15
okoṭimaka 矮少，駝背
okkanti 入胎
Okkantika-saṁyutta オッカンティカ・サンユッタ，入相應 S 25 1〜10
okkantikā pīti 繼起喜
okkantikkhaṇa 入胎刹那
okkamana 墮落
okkamaniya dhamma 退法〔五種〕
Okkala オッカラ，ウッカラの住人
Okkāka〔王，族〕オッカーカ，甘蔗，懿摩
Okkāmukha〔王子，王〕オッカームカ，炬面
okkhitta-cakkhu 眼を下に投げ，目を下方に注ぐ
Ogadha〔經〕預流 S 55 2
ogaha〔動〕オーガハ
ogahana 水浴場
ogāha 行水處
oguṇṭhita 頭を裹む，被覆を著く
oguṇṭhita-sīsa 覆面せる
ogha 暴流，瀑流，流
Ogha〔經〕暴流 S 1 1; 38 11; 45 171
Ogha〔-duka〕暴流〔二法〕
ogha-gocchaka 暴流聚，瀑流群
ogha c'eva dhamma oghaniya ca 暴流法にして順暴流なる
ogha c'eva dhamma ogha-sampayutta ca 暴流法にして暴流相應なる
Oghataraṇa-sutta 瀾度經
ogha dhamma 暴流法
oghaniya c'eva dhamma no ca ogha 順暴流法にして非暴流なる
oghaniya dhamma 順暴流法
Ogha-yogagocchaka-duka Duka 32〜43
Ogha-vagga 暴流品 S **45** 171〜180; **46** 111〜120, 166〜175; **47** 94〜102; **48** 118〜128, 176〜185; **49** 45〜54; **50** 47〜56, 101〜110; **51** 77〜86; **53** 45〜54
ogha-vippayutta dhamma 暴流不相應法
ogha-vippayutta dhamma anoghaniya 暴流不相應法にして不順暴流なる
ogha-vippayutta dhamma oghaniya 暴流不相應法にして順暴流なる
ogha-sampayutta 暴流相應
ogha-sampayutta c'eva dhamma no ca oghaniya 暴流相應法にして非順暴流なる
ogha-sampayutta dhamma 暴流相應法
oghassa nittharaṇā 暴流の度脫
ocaraka ① 看索，偵察者 ② 賤業者
Oja〔傳◦セイロン島の古名〕オージャ，堀闍
ojaṭṭhamaka 食素第八
ojaṭṭhamaka-rūpa 食素を第八とする色
ojavant 甘露
Ojasi〔大臣〕オージャシ
ojā 食素，滋養素，養分，榮養＝段食
oṭṭha 駱駝
Oṭṭhaddha＝Mahāli〔離車人〕オッタッダ，兎唇
oṭṭha-pada 駱駝の足
oṇi-rakkha 看守
oṇojana 布施物
otāpeti 曬す
otiṇṇa ① 已渡者 ② 欲情を起し，貪愛
otiṇṇa citta 貪愛心
ottappa 愧
ottappa-gāravatā 愧の尊敬
ottappa-dhana 愧財〔七財の一〕
ottappa-bala 愧力
ottappin, ottāpin 有愧，有愧者，愧者，愧，愧あり，愧有る者
Otturāmallaka〔戰士〕オットゥラーマッラカ
odakantika 末水法

odaka satta 水生の有情
Odakā〔經〕水 S **56** 65
odana 飯，米飯，飯球，粥，乳糜
Odana〔傳◦轉輪王〕オーダナ
odana-kummāsa 乳糜，飯粥，飯乳
odana-surā 米酒
odanika 米商
odaniya-ghara 厨屋
odapattakinī 水得婦
odarikatta 飽食
odāta 白，白色，白衣
odāta-kasiṇa 白遍〔十遍處の一〕
odātakasiṇajjhāna 白遍定
Odāta-gayha〔天〕オーダータガキハ，嗚婆提奇呵
odāta-dusa 白衣
odāta balivadda 白色の牛
odāta-vaṇṇa 白色
odāta-vattha 白布，白衣，白淨衣，白き衣
odāta-vasana 白衣，白衣者＝在家者
odāta〔sukka〕白精
Odumbaraka 優曇華〔の譬喩〕
Odumbaraṅgaṇa〔村〕オードゥンバランガナ
Odhiso-kathā 分斷論 KV **1** 4
odhisodhiso kilese jahati 分分に煩惱を斷ず
odhiso pharaṇā 有利遍滿
onaha 妨
onīta-patta-pāṇi 鉢より手を放つ
opakkamika ① 侵害，侵入，傷害 ② 痙攣性
opakkamika ābādha 傷害所生病，侵害所生の病
opakkamika-dukkhā 劇痛苦
opadhika puñña 未來の生の功德
opanayika 隨順
opanāyika 導引的
opapātika ① 化生，化生者 ② 不還
opapātika-nāga 化生龍
opapātika-yoni 化生〔四生の一〕
opapātika-satta 化生有情，化生の有情
opapātika-supaṇṇa 化生金翅鳥
Opamañña〔夜叉神〕オーパマンニャ，嗚呼杈奴
Opamadhamma-vagga オーパマダンマ・ヴッガ，譬喩法品 M **21～30**
opamma 喩，譬喩，比喩
Opammakathā-pañho＝Upamā-pañho 譬喩說問
opamma-kusala 譬喩に巧み
Opamma-vagga 譬喩品＝法句經雙要品
Opamma-saṁyutta オーパマ・サムユッタ，譬喩相應 S **20** 1～12
opamma-saṁsandana 譬喩結合
Oparakkhī〔妃〕オーパラッキー
Opavuyha〔比丘の譬喩經〕オーパヴキハ Ap **3** 55
opasamika dhamma 能寂靜の法
Opasāda〔村〕オーパサーダ
opāta 坑陷
opādhika-puññakiriyavatthu 有依福業事
opāna 給水者〔とその報果〕
opāna-bhūta ① 所望を滿す泉 ② 如意堂
obhata-cumbaṭā 鐶得婦
obhāsa ① オーバーサ，光，光輝，光明，光燿，照 ② 暗示
obhāsa-kamma 暗示業
obhāsa-gāthā 光明偈
obhāsati 惡口す
obhāsana 光燿
obhāsa-nimitta 光明相
Obhāsa-mata〔傳◦轉輪王〕オーバーサマタ
omaka-patta 小鉢
omasanā 順摩
omasa-vāda 罵詈語，罵詈言
omāna 卑慢
ora ① 此岸 ② 卑近
orabbhika 屠羊者，殺羊者
Orambhāgiya〔經〕下分〔結〕S **45** 179
orambhāgiya saṁyojana 順下分結，下分結
Orambhāgiyā〔經〕順下分結 A **9** 67
orasa 嗣子
Orittiyūrutombama〔地名〕オリッティユールトンバマ
Orima〔經〕此岸 A **10** 118

orimañ ca tīraṁ pārimañ ca tīraṁ 此岸と彼岸
orima-tīra 此岸
orodhā 侍女
olaṅghanā 下
Olanda〔人〕オーランダ，和蘭
olambaka 提荷
olambanaka 欄格
oligalla=oḷigalla
oliyati 執著す
olokana 檢視
oḷārika 麁
oḷārika obhāsa 廣大の現
oḷārika kāmarāga 麤欲貪，麁欲貪
oḷārika nimitta 廣大の相
oḷārika byāpāda 麤瞋恚，麁瞋恚
oḷārika rūpa 麁色
oḷārika vihāra 麤住
oḷārika saṅkhāra 麁行
oḷārikā vedanā 麁受
oḷārikā saññā 麁想
oḷigalla=oligalla 水溜，下水路，沼澤，汚物溝
ovaṭṭika 手環
ovadati 教誡す
ovaraka 後室，内室，内房，幽室
ovāda 訓誡，教訓，教誡，教導
Ovāda〔經〕教誡 A 8 52
ovādaṁ ṭhapeti 教誡を遮す
ovādaka 勸誡者，教誡者
Ovāda-vagga 教誡品 V **1** a 5, 21～30
Ovādo〔經〕教誡 S **16** 6～8
osadha オーサダ，藥，藥草，藥草水，醫藥，良藥，魔藥，魔藥の草
osadha-kumāra 藥童子
Osadha-dāraka オーサダダーラカ，藥王子
osadhāpaṇa 藥店（佛の）
osadhi〔星〕オーサディ，烏沙斯，烏沙那斯，太白星，明星，曉の明星
osadhi, osadhikā 藥草
osadhi-tārakā 烏沙斯星，烏沙那斯星，太白星，明星，曉の明星，藥王星
osadhī 明星，曉の明星
osadhītiṇa-vanaspati 藥草林樹
osaraka 檐
osāna 終末
osāraṇa 解罪，解
osārita 復權せる
osāreti 解羯磨を與ふ，解羯磨をなす，解罪す
osuḍha (A)=osadha 藥草
Ohā〔河〕オーハー
ohita-bhāra 重擔を棄て，重擔を捨て，重擔を捨てたる者，重擔をおろし，已に重擔を棄て
ohiyyaka 留守者

Kaṁboja(A), Kaṁboya(A)=Kamboja〔國〕カンボーヂャ
kaṁsa ① 貨幣，青銅，銅鑼，赤銅* ②〔量〕カンサ
Kaṁsa ①〔國〕カンサ ②〔王〕
kaṁsa-kūṭa 貨幣を僞り，貨幣を詐り，僞貨，僞斤，升を欺き
kaṁsa-tāla 銅鑼，鐃鈸
kaṁsa-pāti 銅鉢，鍮鉢，銅盤，青銅の鉢
kaṁsa-bhaṇḍa 鍮物
kaṁsa-bhājana 青銅の器具
kaṁsa-maya 鍮所成
kaṁsūpadhāraṇa 乳入
kakaca 鋸
kakacūpama-ovāda 鋸の喩の教
Kakacūpama-sutta カカチューパマ・スッタ，鋸喩經 M 21
kakacūpamā 鋸の譬喩
kakaṇṭaka カメレオン
Kakaṇṭaka-jātaka カカンタカ・ヂャータカ，カメレオン本生物語 J 170
Kakaṇṭaka-vagga カメレオン品 J 141～150
Kakuṭapādinī〔天〕鳩足
Kakuṭṭhā=Kakutthā〔河〕カクッター，脚倶多
Kakuddha〔佛〕カクッダ
kakudha ①〔果，樹〕カクダ，迦休，迦屈婆，迦鳩陀 ②〔鳥〕カクダ，迦鳩陀
Kakudha ①=Koliyaputta〔拘利人，塞，天子〕カクダ，迦休，覺陀 ②〔池〕カクダ ③〔經〕覺陀 S 2 18
kakudhaphala-muttā 迦鳩陀果珠
Kakudha-vagga カクダ品 A 5 91～100
Kakusanda〔婆〕カクサンダ
Kakusandha〔佛，過去七佛の一〕カクサンダ，拘留孫，拘樓孫，鳩留孫，俱留孫，迦鳩孫陀，羯句忖那
Kakusandha bodhisatta 俱留孫菩薩
kakka 煉粉
Kakkaṭa ①〔比〕カッカタ，伽伽羅 ②〔塞〕カッカタ，閣迦舍 ③〔鹿〕カッカタ
kakkaṭaka 蟹
Kakkaṭa-jātaka カッカタ・ヂャータカ，蟹本生物語 J 267
Kakkaṭa-rasa-dāyaka-vimāna 蟹味施者天宮 Vv 54
kakkara 鷓鴣
Kakkara-jātaka カッカラ・ヂャタカ，鷓鴣本生物語 J 209
Kakkarapatta〔村〕カッカラパッタ
kakkaru=kakkāru〔果〕カッカル
kakkassa 暴言
kakkāru=kakkaru〔天華，樹〕カッカール
Kakkāru-jātaka カッカール・ヂャータカ，カッカール華本生物語 J 326
Kakkārupūjaka〔比丘の譬喩經〕カッカールプーヂャカ Ap 3 154
Kakkhalaviṭṭhi〔村〕カッカラギッティ
kakkhaḷa 麤悪，堅固
kakkhaḷa-bhāva 堅固性，麁悪性
kaṅka 蒼鷺
kaṅkana 腕環
kaṅkhā 疑，疑意，疑惑，猶豫
Kaṅkhā-kathā 猶豫論 KV 2 3
Kaṅkhā-revata=Revata〔比，住定第一〕カンカーレーヴタ，頡離伐多，狐疑離曰，疑離越，疑惑離曰〔譬喩經〕Ap 3 539
kaṅkhāvitaraṇa-visuddhi 度疑清淨，斷疑清淨
Kaṅkhāvitaraṇavisuddhi-niddesa 度疑清淨の解釋 VM 19
kaṅkhāvitaraṇa-visuddhi pārisuddhi-padhāniyaṅga 度疑清淨清淨勤支〔九清淨勤支の一〕
kaṅkhin vecikicchin 惑疑
Kaṅkheyya〔經〕盧夷强耆 S 54 12
Kaṅgakoṇḍakalappa〔ダミラ人〕カンガコンダカラッパ
Kaṅgakoṇḍapperayara〔ダミラ人〕カンガコンダッペーラヤラ
Kaṅgakoṇḍāna〔堡壘〕カンガコンダーナ
Kaṅgayara〔ダミラ人〕カンガヤラ
kaṅgu〔植，穀〕カング，稗，稗子，粟粒，稷
kacavara 塵

Kaccāna ①=Kaccāyana〔姓〕カッチャーナ ②=Mahākaccāyana〔比〕カッチャーナ，迦旃延 ③=Vekhanassa〔外，塞〕迦旃延 ④=Belaṭṭha-kaccāna〔商人〕迦旃 ⑤〔經〕迦旃延 A **10** 172
Kaccānagotta ①〔比〕迦旃延氏 ②〔經〕S **12** 15
Kaccāna-vagga 迦旃延品 Ap 3 528〜537
Kaccānā ①=Bhaddakaccānā〔王女〕カッチャーナー，迦旃延 ②〔王女〕カッチャーナー
Kaccāni-jātaka カッチャーニ・ヂャータカ，迦旃延本生物語 J 417
Kaccāni-vagga 迦旃延品 J 417〜426
Kaccānī〔女〕迦旃延
Kaccāyana ①=Kaccāna〔姓〕カッチャーヤナ ②=Mahākaccāyana〔經〕迦旃延 ③=Sabhiya kaccāna〔比〕迦旃延 ④=Puṇṇaka〔龍〕カッチャーヤナ，迦多衍那
kaccikāra〔樹〕カッチカーラ
kaccha ① 沼地 ② 蘆
kaccha〔ka〕〔樹〕カッチャ〔カ〕，犍遮耶，無花果
Kaccha〔ka〕〔渡〕カッチャ〔カ〕
kacchapa 龜
Kacchapa-jātaka カッチャパ・ヂャータカ，龜本生物語 ① J 178 ② J 215 ③ J 273
kacchapa-loma 龜毛
Kacchavāla〔精舍〕カッチャヴーラ
kacchu 疥，疥疹，疥癬，風癬
kacchu-roga 疥癬
Kojaṅgalā〔町〕カヂャンガラー，迦旦遮羅，迦微伽羅，迦戰羅，羯朱嗢祇羅
Kajaṅgalā Veḷuvana 迦戰羅竹園
kajjopakkamaka〔寶珠〕カッヂョーパッカマカ
kañcaka〔植〕カンチャカ
kañcana カンチャナ，金，黃金
Kañcana ①〔山〕カンチャナ，黃金 ②〔窟〕カンチャナ ③〔宮殿〕
kañcanakkhandha 金塊
Kañcanakkhandha-jātaka カンチャナッカンダ・ヂャータカ，金塊本生物語 J 56
Kañcana-guhā 黃金窟
Kañcanadevī カンチャナデーヸー，金子姬
Kañcanapatti〔僧院〕カンチャナパッティ，金得
kañcana-pabbata 金山
kañcana-miga 黃金の鹿
kañcana-rūpaka 黃金の像
Kañcanaveḷa〔ピヤダッシー佛の子〕カンチャナヹーラ，金濱
Kañcamba〔ダミラ人〕カンチャンバ
Kañci〔都〕建志
kañcuka ① ジャケツ，襯衣 ② 鎧
kañcuki=kañcukinātha〔官職〕カンチュキ
kañcukinātha，kañcukināyaka〔官職〕カンチュキナータ，カンチュキナーヤカ
kañjika〜kaṇājaka 酸粥，粥，糠飯
Kañjika-dāyika-vimāna 酸粥施者天宮 Vv 43
kaññā 娘
Kaṭa〔村〕カタ
Kaṭakandhakāra ①〔地名〕カタカンダカーラ ②〔精舍〕
Kaṭakandhakāra-vāsin カタカンダカーラ住〔者〕
kaṭacchu 匙
kaṭacchu-parissāvana 三角漉水器
Kaṭacchubhikkhadāyikā〔比丘尼の譬喩經〕カタッチュビッカダーイカー Ap 4 7
kaṭattā-kamma 已作業
kaṭattā rūpaṁ=kammasamuṭṭhāna-rūpa 業作色，業果色，已作色
Kaṭadorāvādambagallaka〔村〕カタドーラーヴーダンバガッラカ
Kaṭandhakāra〔住院〕カタンダカーラ
Kaṭamoraka-tissaka=Katamodaka-Tissaka〔提婆の徒，比〕カタモーラカティッサカ，迦吒無迦利，迦留羅提舍
kaṭasi 墓所，墓場
kaṭāha 瓶，瓮，盤，便器
Kaṭāhaka〔奴隷〕カターハカ
Kaṭāhaka-jātaka カターハカ・ヂャータカ，カターハカ奴隷本生物語 J 125

Kaṭi〔池〕カティ
kaṭi-aṭṭhi 臀骨
kaṭi-bhāra 腰荷
Kaṭiyāgāma〔村〕カティヤーガーマ
Kaṭisaha〔ダンマダッシー佛の信士〕カティサハ
kaṭi-suttaka 腰紐，腰飾
Kaṭissabha=Kaṭissaha〔塞〕カティッサバ，迦多梨沙婆
Kaṭissaha ①〔比〕カティッサハ，迦多黎沙 ②=Kaṭissabha〔塞〕
kaṭuka ① 辛，苦澁 ②〔果，樹〕カトゥカ
kaṭuka-rohiṇī 黒藜蘆，辛胡蓮
Kaṭunnarū〔池〕カトゥンナルー
Kaṭuvandu〔地名〕カトゥヴンドゥ
kaṭuviya 吐出食
kaṭūpaga 腰飾
kaṭerukkha〔花〕カテールッカ～次項
kaṭeruha〔植〕カテールハ～前項
kaṭṭha ① 薪，薪木，木，木片 ② 屎橛
kaṭṭhaka〔草〕カッタカ
Kaṭṭhaka〔天〕カッタカ，伽沙
kaṭṭhaggi 薪火
kaṭṭha-tāla 木鍵
kaṭṭha-tumba 木壺
Kaṭṭhanta〔都〕カッタンタ
kaṭṭha-pādukā 木履
kaṭṭha-puñja 薪堆，薪の堆積
kaṭṭha-phālaka 樵夫
kaṭṭha-maya 木製
kaṭṭha-rūpaka 木像
kaṭṭha-vāha 載薪
Kaṭṭhavāhana〔王，佛の前生〕カッタヴーハナ，運薪
Kaṭṭhahāra〔經〕採薪 S 7 18
kaṭṭha-hāraka 採薪者，柴採人
kaṭṭha-hārikā 取薪女
Kaṭṭhahāri-jātaka カッタハーリ・ヂャータカ，採薪女本生物語 J 7
Kaṭṭhahāla〔僧房〕カッタハーラ
Kaṭṭhī〔經〕誇 A 10 85

kaṭhala 礫，砂，瓦
kaṭhina〔衣〕カティナ，迦絺那，功德衣
kaṭhina〔-attharaṇa〕迦絺那衣式
kaṭhinaka 迦絺那衣戒
Kaṭhinakkhandhaka 迦絺那衣犍度 V 2 a 7
Kaṭhinatthāra-vagga 迦絺那衣受持品 V 3 15, 14
kaṭhina-dussa 迦絺那衣物
Kaṭhinabheda〔章〕迦絺那衣分解 V 3 14
kaṭhina-maṇḍapa 迦絺那廊
kaṭhina-rajju 迦絺那綱
Kaṭhina-vagga 迦絺那品 V 1 a 4, 1～10
kaṭhina-samuṭṭhāna 迦絺那衣等起
kaṭhina-sālā 迦絺那堂
kāthinassa palibadho 迦絺那衣の執持
Kaḍakkuḍa〔戰士〕カダックダ
Kaḍiliya〔ダミラ人〕カディリヤ
kaṇa 糠，雜麩
kaṇavera=kanavīra, karavīra〔花，植〕カナヹーラ，夾竹桃
Kaṇavera-jātaka カナヹーラ・ヂャータカ，カナヹーラ華本生物語 J 318
Kaṇaverapupphiya〔比丘の譬喩經〕カナヹーラプッピヤ Ap 3 162
kaṇa-homa 粉の護摩
kaṇājaka 屑米飯，糠飯，糠食，糠粥，粥
kaṇājaka bhojana 糠食
kaṇika〔樹〕カニカ
kaṇikāra〔花，植〕カニカーラ，迦尼迦，迦尼迦羅，迦尼割羅，羯尼迦，牙皂，黄花樹=kaṇṇikāra, kanikāra
Kaṇikāracchadaniya〔比丘の譬喩經〕カニカーラッチャダニヤ Ap 3 165
Kaṇikārapupphiya〔比丘の譬喩經〕カニカーラプッピヤ Ap 3 201
Kaṇikārapupphiya-vagga カニカーラプッピヤ品 Ap 3 201～210
Kaṇikāra-vagga カニカーラ品 Ap 3 498～507
Kaṇikārī〔天宮〕カニカーリー
Kaṇijānutissa=Kaṇirajānu〔王〕カニヂャーヌティッサ

Kaṇirajānu=Kaṇijānutissa 〔王〕カニラデャーヌ
kaṇṭaka 荊棘，棘，刺
Kaṇṭaka ①〔佛殿〕カンタカ ②〔經〕刺 A 10 72
kaṇṭakaṭṭhāna 荊地
Kaṇṭakadvāravāta 〔村〕カンタカドヴーラヴータ
kaṇṭaka-passayika=kaṇṭakā-passayika 荊棘床者，臥荊棘者，臥荊刺行者，臥刺行者，茨の床
Kaṇṭakapeṭaka 〔地方〕カンタカペータカ
Kaṇṭakavana 〔地名〕カンタカヴナ
kaṇṭaka-vārija 蕀莖の蓮
kaṇṭaka-seyya 刺坐
kaṇṭakā-passayika 臥荊棘者，臥棘刺行者，臥刺行者，荊刺床者
Kaṇṭakī 〔經〕カンタキー S 52 4～6
Kaṇṭakī-vana カンタキー林
kaṇṭakī-vāṭa 棘柵
kaṇṭakuraṇḍa 〔草〕カンタクランダ
Kaṇṭhapitthi 〔村〕カンタピッティ
kaṇṭha-suttaka 首飾
kaṇḍa 箭，箭簳
Kaṇḍaka 〔沙彌〕カンダカ，騫荼
kaṇḍaka-vuttika 黒信解
Kaṇḍakā 〔尼〕カンダカー
Kaṇḍadevamāḷava 〔ダミラ人〕カンダデーヴマーラヴ
kaṇḍapakka 〔植〕カンダパッカ
Kaṇḍamba 〔ダミラ人〕カンダンバ
Kaṇḍaraggisāma 〔醫〕カンダラッギサーマ
kaṇḍaracchinna 腱截られし者
Kaṇḍarāyana 〔婆〕カンダラーヤナ
Kaṇḍari 〔王〕カンダリ
Kaṇḍari-jātaka カンダリ・ヂャータカ，カンダリ王本生物語 J 341
Kaṇḍina-jātaka カンディナ・ヂャータカ，結節本生物語 J 13
Kaṇḍiyūru 〔ダミラ人〕カンディユール
kaṇḍu 痒，痒疥，疥癬
kaṇḍu-paṭicchādī 覆瘡衣
Kaṇḍura 〔象〕カンドゥラ
Kaṇḍula 〔漁夫〕カンドゥラ
Kaṇḍuvetti 〔ダミラ人〕カンドゥヱッティ
Kaṇḍuvethi=Narasīha 〔王〕カンドゥヹーティ
Kaṇṇakatthala-migadāya カンナカッタラ鹿野林，普棘刺林鹿苑，金槃鹿野林
Kaṇṇakatthala-sutta カンナカッタラ・スッタ，普棘刺林經 M 90
Kaṇṇakujja 〔國，都〕カンナクッヂャ，伽那慰闍，曲女
Kaṇṇagoccha 〔城〕カンナゴッチャ
kaṇṇacchidda 耳孔
kaṇṇacchinna 耳截られし者
kaṇṇaṭṭhi 耳骨，聽腔
kaṇṇa-nāsacchinna 耳と鼻と截られし者
Kaṇṇapeṇṇā 〔河〕カンナペーンナー
kaṇṇamala-haraṇī 挑耳篦
kaṇṇa-muṇḍa 無耳の犬
Kaṇṇamuṇḍaka=Kaṇṇamuṇḍā 〔雪山の七大湖の一〕カンナムンダカ，鈍角
Kaṇṇamuṇḍa-petavatthu 無耳犬鬼事 Pv 2 12
Kaṇṇamuṇḍā=Kaṇṇamuṇḍaka 〔雪山の七大湖の一〕カンナムンダー，鈍角
kaṇṇa-roga 外耳病，耳朶病
Kaṇṇavedha 〔儀式〕カンナヹーダ，耳貫
Kaṇṇāṭa 〔族〕カンナータ
kaṇṇika 〔鹿〕カンニカ
kaṇṇikā 耳環
kaṇṇikāra=kaṇikāra, kanikāra 〔花，樹〕カンニカーラ，羯尼迦
Kaṇṇikāragalla 〔池〕カンニカーラガッラ
kaṇha 黒，黒者（魔）
kaṇha=kiṇha 黒，黒法，黒者，黒奴
Kaṇha ①〔辟〕カンハ ②〔仙〕カンハ ③=Kesava〔餓鬼〕カンハ ④=Vāsudeva〔王子〕カンハ ⑤〔牛〕カンハ ⑥〔族〕カンハ ⑦〔悪鬼〕カンハ，黒 ⑧ 黒犬
kaṇha-uraga 黒蛇
kaṇha kaṇhavipāka 黒にして黒果，黒にして黒報，黒黒異熟
kaṇha kaṇhavipāka kamma 黒にして黒の異

熟ある業，黒にして黒報ある業，黒黒異熟業
kaṇha-kamma 黒業
Kaṇha-jātaka ① カンハ・ヂャータカ，黒牛本生物語 J 29 ② カンハ・ヂャータカ，カンハ賢者本生物語，カンハ本生物語 J 440
Kaṇhadinna〔比〕カンハディンナ
Kaṇhadīpāyana＝Dīpāyana〔道士，佛の前生〕カンハディーパーヤナ
Kaṇhadīpāyana-cariyā〔經〕カンハディーパーヤナの所行 Cp 3 11
Kaṇhadīpāyana-jātaka カンハディーパーヤナ・ヂャータカ，カンハディーパーヤナ道士本生物語 J 444
kaṇha-dhamma 黒法
kaṇhapakkha-navaka 黒分九事 V 2 b 4，2
Kaṇha-petavatthu カンハ鬼事 Pv 2 6
kaṇha-magga 黒道
Kaṇha-magga〔經〕黒道 A 10 146，190
kaṇhavattani カンハヴッタニ，火
Kaṇhavāta〔地名〕カンハヴータ
kaṇha-sappa 黒蛇，毒蛇
Kaṇhasirī＝Asita〔仙〕カンハシリー，黒妙
kaṇha-sukka 黒白，黒法と白法
kaṇha-sukka kaṇha-sukka-vipāka 黒白にして黒白報，黒白にして黒白果，黒白黒白異熟
kaṇhasukka kaṇhasukka-vipāka kamma 黒白にして黒白の異熟ある業，黒白黒白異熟業
kaṇha-sukka-sappaṭibhāga 黒白等分，黒白調和，黒白倶分，黒白倶備
kaṇhasukka-sappaṭibhāga-dhamma 黒白倶備の法，黒白倶分法
kaṇha-sota 黒〔魔〕の流
kaṇhassa pakkho 黒〔魔〕の分
kaṇhassābhippahāraṇī 黒〔魔〕の軍勢
kaṇhā 黒蚖
Kaṇhā ①〔王女〕カンハー ②＝Kaṇhājinā〔王女〕カンハー，黝挐 ③〔河〕カンハー，クリシュナ，キストナ
Kaṇhāgotamaka〔四種蛇王族の一〕カンハーゴータマカ，瞿曇冥，黒瞿曇
Kaṇhājinā＝Kaṇhā〔王女〕カンハーヂナー，黝挐延
kaṇhābhijāti, kaṇhābhijātika 黒生類，黒族，賤族
Kaṇhāyana〔姓，族〕カンハーヤナ
kataṁ karaṇīyaṁ 所作已に作し，所作已に辨じ，所作已に作されたり，作すべき事は已に作され，作すべきは已に作され，成辨すべきことは已に成辨せられたり，爲すべきことは爲され，爲すべきは爲されたり
kataṁñat (A)＝kataññutā 報恩，知恩
kataka〔樹，果〕カタカ，摩擦具
Kataka〔村〕カタカ
kataññu 知恩
kataññu-katavedin 恩を知り恩に感ずる人，知恩感恩
kataññutā 知恩
katamāya〔鹿〕カタマーヤ
Katamodaka-tissaka＝Kaṭamoraka-tissaka〔提婆の徒，比〕カタモーダカ低沙迦
kataveditā 知報，感恩
katavedin 感謝，感恩，知恩感恩，恩に感ずる人
Katāpatti-vāra 罪數章 V 3 1 (2, 10)
katika-saṇṭhāna 約定所，會議所
katikā 規約
Kati chinde〔經〕幾何を斷ぜん S 1 5
Katipucchā-vāra 問數章
katta 治癒者
kattar ① 造者，作者，創造主 ② 吏司，輔相
kattara-daṇḍa 杖，步杖
Kattala〔村〕カッタラ
kattika＝kattikā〔月〕カッティカ，迦底迦，迦刺底迦，迦提
Kattikacoraka カッティカチョーラカ，迦提賊
kattika-chaṇa カッティカ祭，迦刺底迦祭，迦提月祭
kattika chaṇa-pūja 迦提月祭供
Kattikapabbata〔村〕カッティカパッバタ
kattikā＝kattika〔月〕迦提，迦底迦，迦刺底迦
kattukāmatā 作欲性
Katthaka〔塔廟〕カッタカ

katthaṅga〔植〕カッタンガ
Katthapaññatti-vāra 制處章 V 3 1 (1, 9)
kathaṁkathā 惑，疑惑，猶豫，疑論
kathaṁkathā-salla 疑惑箭
kathā 言，說，論，正論，談話，物語
Kathā〔經〕論 S 56 10
kathā dukkathā 說き難き言說〔五種〕
kathā-vatthu 論事，言依〔三種〕
Kathāvatthu ① カターヴットゥ，論事，論事論，迦陀跋偸〔七論の一〕Abhidhamma 5 ②〔經〕論事 A10 69, 70
Kathāvatthuppakaraṇa 論事論，論事〔七論の一〕
kathāvatthu-visuddhi 論事の淸淨
kathā sukathā 說き易き言說〔五種〕
kathika 說者，論師，演說者，說法者
Kathika〔經〕說法者 S 22 115, 116; 35 154
kathin 論師，說者，演說者，說法者
kathojja 議論
kadamba〔鳥〕迦曇婆
kadamba〔ka〕~kalamba, kaḷamba〔樹〕カダンバ〔カ〕，迦曇婆，迦淡聞
Kadamba〔ka〕〔河〕カダンバ〔カ〕
Kadambagona〔精舍〕カダンバゴーナ
Kadambapupphiya〔比丘の譬喩經〕カダンバプッピヤ Ap 3 156, 363
kadariya 吝，慳，貪婪者，吝嗇者
kadariyatā 貪婪
kadalikkhandha 芭蕉樹幹，芭蕉樹，芭蕉の幹
kadali-miga=kadalī カダリ鹿，羚羊
kadalimigapavara-paccattharaṇa 殊勝羚羊皮の覆
kadalī ①〔植〕カダリー，芭蕉，羊角樵 ②=kadali-miga〔鹿〕
Kadalī〔村〕カダリー
Kadalīpatta〔村〕カダリーパッタ
Kadalīphaladāyaka〔比丘の譬喩經〕カダリーパラダーヤカ Ap 3 384
Kadalīvāṭa〔ヴンニー人〕カダリーヴータ
Kadalīsena〔村〕カダリーセーナ
kadalūpamā 芭蕉の如し

Kadallādinivātaka〔地名〕カダッラーデニヴータカ～次項
Kadalyādinivāta〔地名〕カダルヤーディニヴータ～前項
kaddama 泥色
kaddamodaka 汚水
Kaddūra〔村〕カッドゥーラ
Kaddūravaḍḍhamāna〔池〕カッドゥーラヴッダマーナ
Kaddūravaḍḍhavāna〔池〕カッドゥーラヴッダヴーナ
Kanakadattā〔尼〕カナカダッター
kanaka-vimāna 黃金宮，黃金宮殿，黃金の宮殿
kanavīra=kaṇavera, karavīra〔花，植〕カナギーラ，夾竹桃
Kanasiya〔地名〕カナシヤ
kanikāra=kaṇikāra, kaṇṇikāra〔花，樹〕牙皂，羯尼迦，迦尼割羅，黃花樹
Kaniṭṭhatissa〔王〕カニッタティッサ
kanta 可樂
Kantakacetiya カンタカ支提
kantati 紡ぐ
kanta-rūpa 可樂相
kanta-vacana 愛語
kantāra 險道，難所，難處，難路，沙漠，荒地，荒野，曠野
kantāraddhāna-magga 荒野の旅路，曠野の道
Kanthaka ①〔馬王，死後生天〕犍陟，乾陟②〔天〕犍陟
Kanthaka-vimāna 犍陟天宮 Vv 81
Kandagalaka〔鳥〕カンダガラカ
Kandagalaka-jātaka カンダガラカ・ヂャータカ，カンダガラカ啄木鳥本生物語 J 210
kandara 巖窟，洞窟，洞穴，窟，石窟，石室，溪谷，谿，瀧，峡谷
Kandara=Alakandara〔精舍〕カンダラ
Kandaraka〔遊行者〕カンダラカ
Kandaraka-suttanta カンダラカ・スッタンタ，カンダラカ經 M **51**
Kandaramasuka〔裸行沙門〕カンダラマスカ
Kandarahīnaka〔精舍〕カンダラヒーナカ

kandali〔花〕カンダリ
Kandalīpupphiya〔比丘の譬喩經〕カンダリープッピヤ Ap 3 319
kapaṇa 貧困者
kapaṇiddhika 貧窮者，貧民
kapalla ①〔塗藥〕煤烟 ② 大釜
Kapallakkhaṇḍa〔地名〕カパッラッカンダ
kapalla-pūva 饅頭
Kapallapūva〔地名〕カパッラプーヴ，鍋燒饅頭
Kapālanāga〔精舍〕カパーラナーガ
Kapālin カパーリ＝シヴ神
kapi 猿，獼猴
kapicchu〔毒果樹〕カピッチュ
Kapi-jātaka カピ・ヂャータカ，猿本生物語，猿猴本生物語，獼猴本生話 ① J 250 ② J 404
kapiñjara〔鳥〕カピンヂャラ
kapiṭṭha＝kapittha，kapiṭṭhaka〜kapitthana，kaviṭṭha〔果，樹〕カピッタ，劫比他，林檎，山林檎，迦捭多羅
Kapiṭṭha〔村〕カピッタ
kapiṭṭhaka＝kapiṭṭha，kapittha〔果，樹〕カピッタカ
Kapiṭṭhaphaladāyaka〔比丘の譬喩經〕カピッタパラダーヤカ Ap 3 509
kapiṭhana＝kapitthana〔樹〕カピタナ
kapittha＝kapiṭṭha，kapitthaka，kaviṭṭha〔樹〕劫比他，山林檎，林檎
kapitthaka＝kapittha，kapiṭṭha〔樹〕迦捭多羅，山林檎
kapitthana＝kapiṭhana〜kapittha，kapitthaka〔樹〕カピッタナ
Kapinaccanā カピナッチャナー，猿遊境
Kapirāja-cariyā〔經〕猿王の所行 Cp 3 7
Kapila ①〔族〕迦毘羅 ②〔比〕カピラ ③〔婆〕カピラ，迦毘羅 ④〔醫〕カピラ ⑤〔大臣〕カピラ，迦毘羅 ⑥〔都〕迦毘羅
Kapilavatthavā bhummā yakkhā 迦毘羅城地の夜叉
Kapilavatthu＝Kapila〔城〕カピラヴットゥ，迦維羅衞，迦毘羅抜兜，迦毘羅衞，迦毘羅，迦比羅衞
kapisīsa 閂，木栓
Kapisīsa〔ダミラ人〕カピシーサ
kapīsīsaka 木栓，閂
Kapīvanta〔都〕カピーヴンタ
kapota，kapotaka 鳩
Kapotakaṇḍarā〔精舍〕カポータカンダラー，迦布德迦
Kapotakandarā〔地名〕迦布德迦
Kapota-jātaka カポータ・ヂャータカ，鳩本生物語 ① J 42 ② J 375
kappa ①〔樹〕カッパ，劫波，如意 ② 劫，一劫，劫波，時間 ③ 計度，分別 ④ 點淨，免罪者
Kappa ①＝Nigrodha-kappa〔比〕劫波 ②〔婆和利の弟子，婆，比〕カッパ，劫波 ③〔學童，佛の前生〕カッパ，劫波
kappaṁ tiṭṭhati 一劫住す
kappaka 剃髮師，理髮師，理髮人
Kappakandara〔村〕カッパカンダラ
Kappakandarā〔河〕カッパカンダラー
kappaka-palibodha 調髮障礙
kappa-karaṇa 作淨
Kappagallaka〔村〕カッパガッラカ
Kappagāma〔殿樓〕カッパガーマ
kappaṭa 襤褸衣
Kappaṭa，Kappaṭakura〔比〕カッパタ，カッパタクラ
kappaṭṭha 一劫住，一劫住す，劫住，劫住者
Kappaṭṭha-kathā 劫住論 KV 13 1
kappaṭṭhitika 劫住
kappaṭṭhiya kibbisa 一劫住する罪過
kappati 淨なり
kappati adasakaṁ nisīdanaṁ 無縷邊坐具淨〔十事の一〕
kappati jalogi pātuṁ 飲闍樓伽酒淨，飲未醱酵淨〔十事の一〕
kappati jātarūpa-rajataṁ 金銀淨，金銀は淨なり，金銀は認めらる〔十事の一〕
Kappa-pañhā〔經〕劫波所問＝次次項
Kappamāṇavakapañhā-niddesa 劫波學童所問

の義釋 CNd 11
Kappa-māṇavaka-pucchā 劫波學童所問，劫波所問〔經〕Sn 5 11
kappara 肘
kappa-rukkha=pāricchattaka 劫樹，劫波樹，如意樹
Kapparukkhiya〔比丘の譬喩經〕カッパルッキヤ Ap 3 40
kappa-vuṭṭhāna 劫の滅盡
kappa-sahassa 一千劫
kappassa asaṅkheya 無數劫〔四種〕
kappānaṁ satasahassaṁ caturo asaṅkheyyā 四阿僧祇劫百千劫=四阿僧祇十萬劫
Kappāyana=Nigrodha-kappa, Kappiya〔比〕劫波，劫波師
kappāsa〔綿〕カッパーサ，劫貝，劫波娑，綿，木棉，木綿，綿花
Kappāsa〔村〕カッパーサ
kappāsa-picu 輕綿，綿花
kappāsika ① カッパーシカ，古貝，劫貝，綿，木綿衣，綿衣，綿布，綿絲，木綿，綿樹 ②〔薬用植物〕カッパーシカ
Kappāsika〔林〕カッパーシカ，迦囉波沙林，綿樹
kappāsika-dussa 綿布
kappāsika-sukhuma〔-cīvara〕古貝細衣
kappāsika-sutta 綿絲
kappāsiya=kappāsika 綿布
Kappitaka〔比〕カッピタカ
kappin 計度者
Kappina ①=Mahākappina〔比〕カッピナ，劫賓那，迦匹那，罽賓那 ②〔經〕罽賓那 S 54 7
Kappino〔經〕劫賓那 S 21 11
kappiya 淨，淨行，淨事，淨物，淸淨，相應，淸淨食
Kappiya=Nigrodhakappa, Kappāyana〔比〕劫比耶
kappiya-āhāra 淨食，淸淨食
kappiya-kāraka 給與者
kappiya-kuṭī 食厨，用房
kappiya-cīvara 淨衣
Kappilā〔都〕カッピラー
kappūra カップーラ，樟脳，龍脳香
Kappūra〔房舍〕カップーラ，樟脳
Kappūramūlāyatana〔精舍〕カップーラムーラーヤタナ
Kappo〔經〕劫波 S 22 124, 125
kabaḷa 飯塊，飯球
Kabaḷa-vagga 飯球品 V 1 a 7, 41～50
kabaḷikā 壓定布
kabaḷiṅkārāhāra 段食，摶食
kabaḷiṅkārāhāra-paccaya 段食緣
kabaḷiṅkārāhāra-bhakkha 段食長養
kabaḷīkāra-bhakkha deva 摶食の諸天
kama 順序
kamaṇḍalu 水瓶，罐
kamala〔草〕迦摩羅
Kampilla=Kampillaka, Kampilliya〔市〕カンピッラ
Kampillaka, Kampilliya=Kampilla〔市〕カンピッラカ，カンピッリヤ
kambala〔衣〕カンバラ，欽婆羅，毛絲，毛布，毛衣，毛織物，褐，褐衣
Kambala〔龍〕カンバラ，欽婆羅
Kambalavasabha〔王〕カンバラヴサバ
kambala sukhuma 欽婆羅細衣
kambala〔-sutta〕毛絲
Kambalassatara〔龍〕カンバラッサタラ，迦毘羅攝
kambalī 毛織，毛織衣，褐織
Kambu〔村〕カンブ
Kamboca(A)=Kamboja〔國〕カンボーヂャ
Kamboja=Kaṁboja, Kaṁboya, Kamboca〔國，十六大國の一〕カンボーヂャ，劍蒲闍，劍洴沙，劍浮
Kambojaka カンボーヂャ産
kamma 業，行業，行事，行爲，作業，作務，事業，羯磨，世俗事，家事，家業，宿業
Kammaṁ〔經〕業 S 14 15；35 145；52 16
Kamma-kathā 業論 Pṭs 1 7；KV 12 2；21 8
kamma-kara 雜仕，被傭者

kammakara-porisa 使用人
kamma-kāra 被傭者，被庸者，雑仕
kamma-kāraṇa 刑罰
Kammakāraṇa-vagga 科刑罰品 A 2 1
kamma-kārī 執作婦
kamma-kārin 作務者
kamma-kilesa 業垢
Kammakkhandhaka 羯磨犍度 V 2 b 1
kammaja=kamma-samuṭṭhāna 業生
kammaja-rūpa 業生色
Kammajākammaja-pañho 業生非業生の問 Mil 4〔7〕9
kammañña=kammaniya 堪任，適業，事業に堪ふ，調適
kammaññatā 使用に堪ゆる，堪任性，適業性
kammaṭṭhāna ① 業處，行處，公案，修行の具，禪定法，觀法，觀念修行 ② 事業，業事
Kammaṭṭhānagahaṇa-niddesa 業處把取の解釋 VM 3
Kammaṭṭhāna-saṅgaha-vibhāga 攝業處分別 Abhsaṅg 9
kamma-dāyāda 業を受嗣ぐ，業を相續す，業の相續者，業を領受す，業を領有す
kamma-dosa 羯磨の不成
kammanātha, kammanāyaka〔官職〕カンマナータ，カンマナーヤカ
Kammanānākaraṇa-pañho 業別異の問 Mil 2〔4〕4
kamma-nibbatta 業生
kamma-nimitta 業相
kammaniya=kammañña 適業，堪任，事業に堪ふ
kamma-nirodha 業の滅盡
kammanirodhagāminī paṭipadā 業の滅盡に違するの道
kammanta 家業，業，作業，職業，事業，業務，生業，産業，商業
kammanta-vipatti 業缺損
kammanta-sampadā 業圓足
kamma-paccaya 業緣〔二十四緣の一〕
kammapaccaya-āhārasamuṭṭhāna 業緣食等起
kammapaccaya-utusamuṭṭhāna 業緣時節等起
kammapaccaya-cittasamuṭṭhāna 業緣心等起
kammapaccaya-niddesa 業緣廣說
kamma-paṭibaddha 業繫屬
kamma-paṭisaraṇa=kammappaṭisaraṇa 業を所依とす，業を歸趣とす，業に依存す
Kammapatha-vagga 業道品 S 14 23～29；A 4 261～270
kammappaṭisaraṇa=kamma-paṭisaraṇa 業に依存す，業を歸趣とす，業を所依とす
kamma-phala 業果
Kammaphala-atthibhāva-pañho 業界の存在狀態の問 Mil 2〔5〕8
kammaphala-dassana 業果見
kamma-bandhu 業を親戚とす，業を親族とす，業を緣者とす，業を親緣とす
kamma-bhava 業有
kamma-bhūmi 業地
kamma-yoni 業を因とす，業を起源とす，業を胎とす，業を母胎とす
kamma-lakkhaṇa 羯磨標相，業相
Kamma-vagga ① 羯磨品 V 3 19, 1 ② 業品 A 4 231～240
kamma-vaṭṭa 業輪轉
kamma-vatthu 羯磨事
kamma-vācā 羯磨戒，羯磨儀軌
kamma-vāda 業論者，業因論者
kamma-vādin 業論者，業を說く
kamma-vipāka 業異熟，業の異熟，業報，業と異熟
kamma-vipākaja 業異熟生
kammavipāka-jā ābādhā 業報所生病，業異熟所生の諸病
kamma-vipākajā iddhi 業異熟生神通，業報生神變
kamma-santati 業相續
kamma-samaya 造營時
kammasamādānaṁ vipāko 業報の異熟，受業の異熟
kamma-samuṭṭhāna 業等起
kammasamuṭṭhāna-kalāpa 業等起聚
kamma-samuṭṭhāna rūpa 業等起色
kamma-sampatti 羯磨の成就

kammassaka 業は己がもの，業を己がものとす，業を所有す
kammassakata ñāṇa 自業智，業作智，業所作智
kammassa katattā 業の已作性
kammassakatā 業自性，自業，業作，業所作
Kammassadhamma＝Kammāsadamma 〔邑〕カンマッサダンマ
Kammahetu-kathā 業因論 KV 8 11
kammānaṁ saṁgaho 羯磨の攝聚
kammānaṁ samudayāya nidānaṁ 業の集の緣，業の集まるための緣〔三種〕
kammāyatana 事業，業處
kammāra 鍛工，鍛冶工，鍛冶屋，鍛冶職，工師，冶工，彫工
Kammāra〔村〕カンマーラ
kammāra-kula 鍛冶屋
kammāra-putta 鍛冶師，鍛冶の子，鍛冶屋の息子，鍛工子，金工，金工師，金師
kammārāmatā 欲愛樂，事業を樂しむこと
kammāvaraṇa 業障
kammāvaraṇatā 業障
kammāsa 雜色
Kammāsadamma＝Kammāsadhamma, Kammāssadhamma, Kammassadhamma 〔邑〕カンマーサダンマ，劍磨瑟曇，劍摩沙
Kammāssadhamma＝Kammāsadamma 〔邑〕カンマーッサダンマ
kammika 官人
kammūpacaya 業積集
Kammūpacaya-kathā 業積集論 KV 15 11
Kammoja(A)＝Kamboja〔國〕カンモーヂャ，劔蒲闍
kaya-vikkaya 賣買，交易
Kayavikkaya〔經〕賣買 S 56 92
karaka〔雨〕カラカ
karakaṭaka 滑車
karaja-kāya 業生身，業所生身
Karaja-kāya〔經〕業所生身 A 10 208
Karajakāya-vagga 業所生身品 A 10 200～209
karañja〔樹〕カランヂャ
karaṇa ① 遂行 ② 作格
karaṇīyatā 所辦
karaṇīya-doḷasaka 所用十二事 V 2 a 7 (10)
Karaṇīya-vimāna 所應作天宮 Vv 56
karaṇḍa 蛇皮
Karaṇḍaka〔地名〕カランダカ
Karaṇḍu〔王子，王〕カランドゥ
karati〔樹〕カラティ
Karatiya〔夜叉〕カラティヤ
karamanda〔植〕カラマンダ
karamara 捕虜，虜
Karamba〔ダミラ人〕カランバ
Karambiya〔港〕カランビヤ
Karambiya-acela＝Kārambiya カランビヤ裸形行者
Karavāḷagiri 〔地名〕カラヴーラギリ
Karaviṭṭhavilatta 〔池〕カラギッタギラッタ
karavīka〔鳥〕カラギーカ，迦陵頻伽，迦陵頻迦，迦羅毘伽，迦羅頻迦，伽陵賓伽，伽陵頻伽，郭公
Karavīka〔山〕カラギーカ，迦羅毘拘，郭公
Karavīka-bhāṇin 迦陵頻伽の音色
karavīra＝kaṇavīra, kanavīra 〔植〕カナギーラ，夾竹桃
karavīra-patta 夾竹桃葉箭
Karinda ①〔河〕カリンダ ②〔窟〕
Karindaka 〔山〕カリンダカ
karīsa ① 糞，屎，大便，排泄物〔三十二身分の一〕②〔面積〕カリーサ
karīsa-magga 大便道
Karuṁha〔天〕カルンハ，伽泄摩
karuṇā 悲，悲心
Karuṇā〔經〕悲 S 46 63
Karuṇā-kathā 悲論 KV 18 3
karuṇā ceto-vimutti 悲心解脫
karuṇā-jhāna 悲の禪定
karuṇā-brahmavihāra 悲梵住〔四梵住の一〕
karuṇā-bhāvanā 悲の修習 VM 9 2
karuṇā-saññā 悲想
karuṇā-sahagata 悲俱行
karuṇā-sahagata ceto 悲俱行の心，悲俱行心，悲と俱なる心

Karumbūḷatta 〔ダミラ人〕カルンブーラッタ
karumbhaka 〔稻〕カルンバカ
Karummaḷatta 〔ダミラ人〕カルンマラッタ
Karumha 〔天〕伽羅摩
kareri 〔樹〕カレーリ，迦里梨
Kareri 〔窟〕カレーリ，花林
Kareri-kuṭikā 花林窟
Kareri-maṇḍalamāḷa 花林圓堂
kareri-mālā カレーリの蔓草
karoṭi=supaṇṇa 金翅鳥
Karoto 〔經〕作 S 24 6
karonta 作す者
Kalaṇḍuka 〔奴隷〕カランドゥカ
Kalaṇḍuka-jātaka カランドゥカ・ヂャータカ，カランドゥカ奴隷本生物語 J 127
Kalanda 〔精舍〕カランダ
kalandaka 栗鼠
Kalandaka 〔村〕カランダカ，迦蘭陀
Kalandaka-nivāpa=Veḷuvana 〔精舍〕カランダカニヴーパ，迦蘭陀迦尼婆波，迦蘭陀〔迦〕園，栗鼠飼養處，栗鼠養飼處
kalamba～kaḷamba, kalambaka 〔樹，草根〕カランバ
kalambaka～kalamba 〔水草〕カランバカ
Kalambadāyaka 〔比丘の譬喩經〕カランバダーヤカ Ap 3 433
kalala カララ，迦羅邏，歌羅邏，羯羅藍，羯剌藍，卵黄，凝滑〔胎内五位の一〕
Kalalahallika 〔地〕カララハッリカ
kalasa 甕
kalaha 諍，諍手，諍訟，諍論，異論，爭鬪，諠譁，鬪，鬪手，鬪諍，不和，紛手，紛亂
kalaha-kāraka, kalaha-kārika 鬪手す，鬪諍す，諍亂者，紛亂者
Kalahanagara カラハナガラ，大聲城
Kalahayināḍu 〔地名〕カラハイナードゥ
Kalahavivāda-sutta 鬪諍經 Sn 4 11
Kalahavivādasutta-niddesa 鬪諍經の義釋 MNd 11
kalāpa 簇
kalāpa-yojanā 色の聚 Abhsaṅg 6 4
kalāpa-sammasanā 聚思惟
kalāpin 簇を持てる
Kalābu 〔王〕カラーブ，迦藍浮
kalāya 大豆，豌豆，小豌豆
Kalāyamuṭṭhi-jātaka カラーヤムッティ・ヂャータカ，一握豌豆本生物語 J 176
kalā soḷasī 十六分の一
kali 〔最惡の骰子數〕カリ，惡運，不利玉，骰子
Kalikāra 〔ダミラ人〕カリカーラ
Kalikāladisāhiccasabbaññū-paṇḍita カリカーラサーヒッチャサンバンニュー・パンディタ，カリ期に闘する全知の賢者=パラッカマバーフ二世
Kaliga(A), Kaligya(A)=Kaliṅga 〔國〕
kaliṅgara 丸木，丸太，木片，藁*
Kaliṅgaro 〔經〕藁 S 20 8
kaliṅgu 〔樹〕カリング，桂
kalyāṇa 善，善業，善人
Kalyāṇa=Kalyāṇī 〔王〕カルヤーナ，迦梨耶那
kalyāṇa-kamma 善業
kalyāṇa-kittisadda 善き名聲，名稱，名聲，好名聞
Kalyāṇa-gāma 美人村
kalyāṇa-dhamma 善法，善法者，善法行者，善行者，持善法者，具善法者，法に善き者
Kalyāṇadhamma-jātaka カルヤーナダンマ・ヂャータカ，善法本生物語 J 171
kalyāṇa-dhammatā 正眞法性，善法性，妙法性
Kalyāṇadhamma-vagga 善法品 J 171～180
kalyāṇa-pañña 慧に善き者
kalyāṇa-paṭibhāna 善良の即慧者
kalyāṇa-pāpa kamma 善惡業
kalyāṇa-pāpakānaṁ kammānaṁ vipāko 善惡業の果報
kalyāṇabhattika-gahapati 善飯居士
kalyāṇa-mitta 善友，善き朋友，善知識，良友
kalyāṇa-mittatā 善友，善友あること，善友たること，善友性，善友相應，善知識
Kalyāṇamittatā 〔經〕善友 S 45 49, 56, 63, 70, 77, 84
Kalyāṇamittādi-vagga 善友等品 A 1 8

Kalyāṇavatī 〔キッティニッサンカ王妃〕カリャーナヴティー
kalyāṇa-vākkaraṇa 語音善良，語善く，善語者，美聲
kalyāṇa-vācā 言善く，言詞調善，善き語
kalyāṇa-sampavaṅka 善伴黨，善き仲間
kalyāṇa-sahāya 善伴侶，善朋
kalyāṇādhimuttaka satta 勝れたる傾向の衆生
kalyāṇādhimuttika 善意志
Kalyāṇi ①〔地方〕カリャーニ，カルヤーニ，カルリヤーニー ②〔精舎，廟〕
Kalyāṇika 〔精舎〕カッリャーニカ，カルリヤーニカ
kalyāṇī 美女，美人
Kalyāṇī ①=Kalyāṇa〔王〕カルリヤーニー ②〔河〕カルリヤーニー，カリヤーニー ③〔經〕美人 S 17 22
Kalyāṇī-āgamana カッリヤーニー來降 Mv 1, 3
Kallakallena, Kallakālena 〔精舎〕カッラカッレーナ，カッラカーレーナ
Ka〔l〕lakka〔ダミラ人〕カ〔ッ〕ラッカ
kalla-citta 從順心，堪任心
Kallara〔軍〕カッララ
Kallavāḷamutta〔村〕カッラヴーラムッタ
Kallita〔經〕安樂 S 34 4, 36～40
Kallita—Ārammaṇa〔經〕安樂—所緣 S 34 35
kallita-kusala 安樂善，喜悦善巧，身安善巧，安らかにするに巧
kaḷamba=kalamba, kadamba〔樹，草根〕カランバ
Kaḷavaṇḍi〔ya〕〔ダミラ人〕カラヴンディ〔ヤ〕
kaḷāya=kalāya 豌豆，小豌豆，大豆
kaḷāya-yūsa 小豌豆汁
Kaḷāra〔經〕カラーラ S 12 32
Kaḷāra-khattiya〔比〕カラーラ刹利
Kaḷārakhattiya-vagga カラーラ刹利品 S 12 31～40
Kaḷārajanaka〔尼彌王の子，王〕カラーラヂャナカ
Kaḷimbha〔比〕カリンバ
kavaca 鎧
kavāṭa 戸，門屋
kavi 詩人
Kavi〔經〕詩人 S 1 60
kavikata 頌文
kaviṭṭha～kapiṭṭha, kapittha〔樹，林〕カギッタ
Kaviṭṭhaka〔僧院〕カギッタカ
kavyā-patha 詩法
Kasa〔村〕カサ
kasaka=kassaka 農家，農業者，農夫，百姓，田夫，耕作者，耕耘者
kasaṭa 過失，過患
kasambu 塵芥
kasambu-jāta 塵芥に等しき者
kasā 杖，鞭，鞭影
Kasālla〔池〕カサーッラ
Kasāllaka〔堡壘〕カサーッラカ
kasāva 澁，惡濁
kasāva-bhesajja 澁藥
kasāvodaka 澁水
kasā-hata 笞刑を受けたる者
kasi 耕作，耕耘，農業，農事，耕すこと
Kasi〔經〕耕田 S 7 11
kasiṇa 遍，遍處，遍處定，遍處觀法，一切，迦師那
kasiṇa-kammaṭṭhānika 遍業處者
kasiṇa-niddesa 遍の解釋
kasiṇa-nimitta 遍の相
kasiṇa-paṭiloma 遍の逆
kasiṇa-parikamma 偏處の豫備修行，遍處觀法の豫備修行，遍の準備定，觀念の豫備修行，觀法，一切入豫修法，遍處定
kasiṇa-maṇḍala 遍曼陀羅，遍處壇，遍の輪
kasiṇānuloma 遍の順
kasiṇānuloma-paṭiloma 遍の順逆
kasiṇāyatana 遍處〔十種〕
Kasiṇāyatana〔經〕遍處 A 10 25
kasiṇukkantika 遍の跳過
kasiṇugghāṭimākāsa 遍除虛空
Kasibhāradvāja〔婆，比〕カシバーラドヴーヂャ，耕田婆羅墮闍

Kasibhāradvāja-sutta 耕田婆羅墮闍經 Sn 1 4
Kasmīra〔國〕カスミーラ，迦濕彌羅，罽賓
kassaka=kasaka 農夫，農家，農業者，百姓，耕耘者，耕作者，耕夫
Kassaka〔經〕農夫 S 4 19
kassaka-gahapati 耕田家主，耕田居士
Kassapa ①〔姓〕カッサパ，迦葉，迦葉波 ②〔佛，過去七佛の一〕カッサパ，迦葉 ③=Mahākassapa〔比〕カッサパ，迦葉，迦葉波 ④=Uruvela-kassapa〔比〕迦葉 ⑤=Acela-kassapa〔比〕迦葉 ⑥=Kassapagotta〔比〕迦葉 ⑦=Nāgita〔比〕迦葉 ⑧=Lomasa-kassapa〔司祭の子，比〕迦葉 ⑨〔傳○婆，佛の前生〕迦葉 ⑩=Mahānārada-kassapa〔外〕迦葉 ⑪〔天子〕迦葉 ⑫〔古仙〕カッサパ，迦葉，加葉，迦葉波 ⑬〔一世王〕カッサパ ⑭〔三世王〕カッサパ ⑮〔四世王〕カッサパ ⑯〔五世王〕カッサパ ⑰=Silādāṭha〔二世王，アッガボーディ三世王の弟〕カッサパ ⑱=Vikkamabāhu〔王〕カッサパ ⑲〔髮舍利長，王〕カッサパ ⑳=Girikassapa〔王子〕カッサパ ㉑〔セーナ五世王の子〕カッサパ ㉒〔ローハナの領主〕カッサパ ㉓〔將軍〕カッサパ ㉔=Kassapagiri〔精舍〕カッサパ ㉕〔經〕迦葉 S 2 1, 2; 12 9
Kassapaka〔園〕カッサパカ，迦葉
Kassapakārāma 迦葉園
Kassapa-giri=Kassapa〔精舍〕カッサパギリ
Kassapagotta=Kassapa〔比〕カッサパゴッタ，迦葉氏，迦葉姓
Kassapagotta or Cheta〔經〕迦葉氏(獵夫) S 9 3
Kassapagotta-Majjhima〔比〕迦葉姓末示摩
Kassapa bodhisatta 迦葉菩薩
Kassapamandiya-jātaka カッサパマンディヤ・チャータカ，迦葉愚鈍本生物語 J 312
Kassaparājaka〔精舍〕カッサパラーヂャカ
Kassapa-saṁyutta カッサパ・サムユッタ，迦葉相應 S 16 1〜13
Kassapa-sīhanāda-sutta カッサパシーハナーダ・スッタ，迦葉師子吼經 D 8
Kassapasena〔精舍〕カッサパセーナ
Kassapādi-giri〔精舍〕カッサパーディギリ
Kassapika, Kassapiya〔部派〕飲光，迦葉遺
Kassipiṭṭhikapubbaka〔精舍〕カッシピッティカプッバカ
kahāpaṇa=20 māsaka〔貨幣〕カハーパナ，迦利沙波拏，迦利沙鉢拏，迦利沙槃，一錢，金貨，銅貨，貨幣，錢
kahāpaṇaka 錢刑
kahāpaṇa-daṇḍa 罰金
kahāpaṇa-vassa 金貨の雨
kahāpaṇa-sata 百錢
kāka 烏，鴉，雄烏
Kāka ①〔奴隷〕カーカ，烏 ②〔魚〕カーカ ③〔經〕鴉 A 10 77
kāka-kulāvaka 鴉の巢
kākacchati 鼾をかく
Kāka-jātaka カーカ・ヂャータカ，烏本生物語 ① J 140 ② J 146 ③ J 395
kākaṇika〔重量〕カーカニカ
Kākaṇḍaka〔婆〕カーカンダカ，迦乾陀
Kākaṇḍakaputta Yasa〔比〕迦乾陀子耶舍
Kākadīpa カーカディーパ，烏島
Kākaneru〔山〕カーカネール
Kākannāḍu〔地名〕カーカンナードゥ
Kākavaṇṇa=Kākavaṇṇatissa〔王〕カーカヴンナ
Kākavaṇṇatissa=Kākavaṇṇa〔王〕カーカヴンナティッサ
kāka-vata 鴉務
kāka-vatika 鴉務者
Kākavalliya〔貧者，長者〕カーカヴッリヤ
Kākāti-jātaka カーカーティ・ヂャータカ，カーカーティ妃本生物語 J 327
Kākātī〔王妃〕カーカーティー
Kākālaya〔村〕カーカーラヤ
kākī 牝烏
kākuṭṭepaka 驅烏人
kākorava-sadda 烏聲
kākola 大鴉，黑鴉
Kākola-niraya 大鴉の地獄

kāca 玻璃，鍮石
kāca-maya 鍮石所成
kāja 擔棒，擔扞
Kājara〔村〕カーヂャラ
Kājaragāmaka〔精舍〕カーヂャラガーマカ
Kāṭara〔村〕カータラ
kāṇa 片目，眇，眇目，瞎目，瞎子，隻眼者，偏目，偏盲
Kāṇa ①〔村〕カーナ ②=Kāṇagāma〔池〕
kāṇa-kacchapa 瞎龜，盲龜
kāṇakacchapopamā 盲龜〔浮木〕の譬喩
Kāṇagāma=Kāṇa〔池〕カーナガーマ
Kāṇatālavana〔渡〕カーナターラヴナ
Kāṇapaddāuda〔地名〕カーナパッダーウダ
Kāṇamātar=Kāṇāya mātā〔夷〕カーナマーター，カーナーの母，伽若の母
Kāṇamūla〔地名〕カーナムーラ
Kāṇavāpī ①〔村〕カーナヴーピー ②〔池〕
Kāṇā〔夷〕カーナー，伽若，迦若那
Kāṇāya mātā=Kāṇamātar〔夷〕迦若那の母，伽若の母
Kāṇāriṭṭha=Ariṭṭha〔龍〕カーナーリッタ，眇目の阿梨吒
Kātiyāna〔比〕カーティヤーナ
Kātiyānī〔夷，證淨第一〕カーティヤーニー，迦帝耶尼
kādamba 雁
Kāpaṭhika=Bhāradvāja〔靑年〕カーパティカ
Kāpilānī〔女〕カーピラーニー
kāpurisa 惡人
kāpotaka 鴿色
kāpotaka aṭṭhi 白骨，鴿の如き骨
kāpotikā〔酒〕カーポーティカー
kāma 欲，欲愛，欲念，欲樂，愛欲，愛樂，樂欲
Kāma〔經〕欲愛 S **1** 78
kāma-ogha 欲瀑流，欲流〔四暴流の一〕
kāma-kaṇṭaka 欲の荆
Kāma-kathā 欲論 KV 8 4
Kāma-guṇa〔經〕妙欲 S **45** 176；A **9** 65
Kāmaguṇa-kathā〔五〕種欲論 KV 8 3
kāmacchanda 欲貪，欲欲，愛欲，貪欲〔五下分結の一〕
kāmacchanda-nīvaraṇa 欲貪蓋，欲欲蓋〔五蓋の一〕
Kāma-jātaka カーマ・ヂャータカ，欲愛本生物語 J 467
kāmajjhosāna 欲著
Kāmaṇḍā〔城〕拘盤茶
kāma-taṇhā 欲愛，愛欲の渴愛〔三愛の一〕
Kāmada ①〔天子〕カーマダ，迦摩陀 ②〔經〕迦摩陀 S 2 6
kāma-dhātu 欲界〔三界の一〕
kāma-nandī 欲喜
Kāmanīta〔婆〕カーマニータ
Kāmanīta-jātaka カーマニータ・ヂャータカ，カーマニータ婆羅門本生物語 J 228
kāma-paṁka 欲泥
kāma-pariyesanā 欲の追求
kāma-pariḷāha 欲熱，欲熱惱，欲惱，欲焰熱
kāma-pipāsa 欲渴，欲渴望，欲欲
kāma-bhava 欲有，欲の存在，欲樂の生起〔三有の一〕
Kāmabhū ①〔比〕迦摩浮 ②〔經〕S **35** 192；**41** 5，6
kāma-bhogin 行欲人，受欲生活，受欲者，諸欲享受者，欲を縱にする者
Kāmabhogī〔經〕行欲人 A **10** 91
kāmabhogī-seyyā 受欲者の臥法
kāma-mucchā 欲迷，欲悶，欲昏睡
kāma-yoga 欲軛，欲の繫縛〔四軛の一〕
kāma-raja 渴愛の塵
kāma-rati 欲樂
kāma-rāga 欲貪，欲の貪，欲念
kāmarāga-saññojana 欲貪結
kāmarāgānusaya 欲貪隨眠〔七隨眠の一〕
kāma-vitakka=kāma-saṅkappa 欲尋，欲覺，欲念，欲の考想，愛欲觀，愛欲の心，貪欲の念〔三不善尋の一〕
Kāmavilāpa-jātaka カーマギィラーパ・ヂャータカ，愛欲悲歎本生物語 J 297
kāma-saṁkappa=kāma-vitakka 欲思，欲思惟，欲念〔三不善思の一〕

kāma-saṁyojana 愛の繫縛，欲結
kāma-saṁyojanānaṁ adhiṭṭhānaṁ 欲結の偏見
kāma-saññā 欲想，欲愛の想〔三不善想の一〕
kāmasahagata saññāmanasikāra 欲と倶行する想作意
kāma-sukha 欲樂，愛欲の樂
kāmasukhallikānuyoga 欲樂耽著，欲樂への耽溺，愛欲貪著
kāmasugati-paṭisandhi 欲善趣結生
kāmasugati-bhūmi 欲善趣地
Kāma-sutta カーマ・スッタ，欲愛經 Sn 4 1
Kāmasutta-niddesa 欲經の義釋 MNd 1
Kāmaseṭṭha 〔夜叉神，天〕カーマセッタ，加摩世致
kāma-sneha 欲愛，欲親
kāmassādābhinandin 肉體的享樂
kāmānaṁ assādo 欲の味
kāmānaṁ ādīnavo 欲の患，欲の過患
kāmānaṁ nibbidā 欲の厭
kāmānaṁ nissaraṇaṁ 欲の出離，欲よりの出離
kāmānaṁ pariññā 欲の遍智，欲に就いての智
Kāmānakoṭṭa〔地名〕カーマーナコッタ
kāmālaya 欲阿賴耶
kāmāvacara 欲界，欲界繫，欲界に屬し，欲塵
kāmāvacara-kiriyā 欲界繫唯作，欲界唯作
kāmāvacara-kusala 欲界善，欲界繫善
kāmāvacara-kusala-citta 欲界善心
kāmāvacara-kusalavipāka 欲界繫善異熟，欲界善異熟
kāmāvacara-kusalahetu 欲界繫善因
Kāmāvacara-duka 欲界繫二法 Duka 93
kāmāvacaraduka-kusalattika 欲界繫二法善三法 Duka-tika 102
kāmāvacara-dhamma 欲界繫法，欲塵法
kāmāvacara-paṭisandhi〔-citta〕欲界結生〔心〕
kāmāvacara-bhūmi 欲界地，欲塵地
kāmāvacara-mettā 欲界の慈悲
kāmāvacara-vipāka 欲界繫異熟，欲界異熟
kāmāvacara-vipākahetu 欲界繫異熟因
kāmāvacara-samādhi 欲界定
kāmāvacarā paññā 欲塵慧，欲界慧
kāmāsava 欲漏，愛欲の漏，愛慾の漏〔三漏の一〕
kāmupapatti 欲生〔三種〕
kāmupādāna 愛取，欲取〔四取の一〕
kāmesanā 欲求，欲尋，欲尋覓，欲愛〔三求の一〕
Kāmesu〔經〕欲 S 56 73
kāmesu micchācārā paṭivirato 愛欲に於ける離邪行者
kāmesu micchācārā veramaṇī 離欲邪行，欲邪行の離，欲邪行を離るること
kāmesu micchācārā veramaṇī sikkhāpadaṁ 欲邪行より遠離の學處，不邪婬戒
kāmesu micchācārī 欲邪行者，慾境に於て邪行ある者，愛欲に對する邪行者，邪淫者
kāmesu micchācāro 欲邪行，邪欲行，邪婬，愛慾，愛欲に於ける邪行，肉欲に於ける邪行
kāmogha=kāma-ogha 欲流，欲瀑流
kāya 身
Kāya〔經〕身 S 43 1；46 2；A 10 23
kāya-iñjanā 身の動作
kāya-kamma 身業
kāya-kammaññatā 身適應性，身適業性
kāya-kasāva 身不純
kāyagatā-sati 念身，身至念，身念，身想念，身念住，身行の念，身に向けたる念，身の觀念，身を念じ
Kāyagatāsati-kathā 身至念の論
kāyagatā-sati sāta-sahagatā 可意倶行の身念
Kāyagatāsati-sutta カーヤガターサティ・スッタ，身行念經，身至念經 M 119
kāyaḍāhābādha 熱病
kāya-tikicchiya 治身，內科
kāya-daṇḍa 身罰，身杖
kāya-dasaka 身十法
kāya-dukkha 身苦，身の苦
kāya-duccarita 身惡行，身惡業，身の惡行，身惡行者
kāyaduccarita-virati 離身惡行
kāya-duṭṭhulla 身麁重

kāya-dosa 身瑕
kāya-dvāra 身門
kāya-dhātu 身界
kāyanugata-dhamma 隨身法〔十種〕
kāya-pariyanta 身の分齊，身の邊際
kāya-pariyantikā vedanā 身を邊際とする受，身を際限とせる受
kāya-passaddhi 身輕安，身の輕安
kāya-pāguññatā 身練達性，身正性*
kāyappacālaka 體を振る
kāyappasāda 身淨
Kāyappiya-pañho 身不可愛の問 Mil 2〔6〕1
kāya-bandhana 帶，腰帶
Kāyabandhana-cetiya カーヤバンダナ(腰帶)支提
kāya-bhāvanā 身修習，身修
kāya-bheda 身發表
kāya-mudutā 身柔軟性，身軟性
kāya-moneyya 身牟尼，身寂默
kāya-roga 身病
kāya-lahutā 身輕快性，身輕性
kāya-vaṅka 身曲
Kāyavicchinda-jātaka カーヤギッチンダ・ヂャータカ，身體厭離本生物語 J 293
kāya-viññatti 身表
kāyaviññatti anavajja 無罪身表
kāyaviññatti-navaka 身表九法
kāyaviññatti-sāvajja 有罪身表
kāya-viññāṇa 身識
kāya-viññāṇa-dhātu 身識界
kāya-viññāṇa-vatthu 身識事，身識基
kāyaviññeyya-phoṭṭhabba 身可識の所觸
kāya-viveka 身遠離，身離
kāya-vūpakaṭṭha 身遠離
kāya-vūpakāsa 身寂滅，身遠離，身の閑靜
kāya-saṁvara 身律儀
kāya-saṁsagga 身觸
kāya-sakkhi 身證，身證者，身證人，身已證
Kāya-sakkhi〔經〕身證者 A 9 43
kāya-saṁkhāra 身行＝出入息
kāya-sacchikaraṇīya 身應證
kāya-sañcetanā 身思，身故思
Kāyasatti〔比〕カーヤサッティ
kāya-samācāra 身正行，身行，身業，身現行
kāya-samphassa 身觸
kāya-samphassajā vedanā 身觸所生の受
kāya-sukha 身樂，身の樂
kāya-sucarita 身の善行，身善行，身妙行
kāya-soceyya 身清淨，身淨
kāyassa aññathattaṁ 身の異態
kāyānupassanā 身隨觀，身觀
kāyānupassanā-satipaṭṭhāna 身隨觀念處，身觀念處＝身念處
kāyānupassin 順身觀～身隨觀
kāyāyatana 身處
kāyika 身的，身に屬する
kāyika-anācāra 身不正行
kāyika dukkha 身苦，身の苦
kāyika-dukkha-vedanā 身の苦受
kāyika-paribhoga 塗身用
kāyika pāgabbhiya 身傲慢
kāyika viriya 身の精進
kāyika-vedanā 身受，肉體的受
kāyika sukha 身樂，身の樂
kāyikā āpatti 身罪
kāyikā khiḍḍā 身戲
kāyindriya 身根
kāyujjukatā 身直性，身端直性
kāyura 腕飾，瓔珞
kāyena asoceyyaṁ 身不淨行
kāyena vācāya saṁvaṇṇeti 身語讚嘆
kāyena saṁvaṇṇeti 身讚歎
kāyena soceyyaṁ 身淨行
kāyo passambhati 身輕安なり
kāra〔樹〕カーラ，迦羅
Kāra〔島〕カーラ
kāraka 作者
Kāra-gaṅgā〔河〕カーラガンガー
kāraṇa ① 因，原因，根據 ② 懲罰，懲治，刑罰
Kāraṇapālin〔婆，塞〕カーラナパーリー
kāraṇika 治罪者，審判者

kāraṇḍava ① 籾滓，莠 ② 家鴨，鴨
Kāraṇḍava〔經〕莠 A 8 10
Kāraṇḍiya〔靑年，佛の前生〕カーランディヤ
Kāraṇḍiya-jātaka カーランディヤ・ヂャータカ，カーランディヤ靑年本生物語 J 356
Kārapiṭṭhi〔地名〕カーラピッティ
kāra-bhedaka 破獄
Kārambiya, Kārambhiya=Karambiya〔裸行者〕カーランビヤ
kārayanta 作さしむる者
Kāraḷiyagiri カーラリヤ山
Kāravī〔林〕カーラヴ
Kārāyana=Dīghakārāyana〔將軍〕カーラーヤナ
kārin 行者
kāruñña 悲心，悲
kāruṇika 悲愍者
Kārusa〔人〕カールサ
kāretar 教作者
kāreri〔樹〕カーレーリ
kāla ① 時，應時，正時 ②=kālā〔樹〕迦羅
kāla, kāḷa 黑月，黑分，新月
Kāla ①〔種族〕カーラ，伽藍 ②=Kāḷa, Mahākāḷa〔龍王〕迦羅
kāla akāla 時と非時
Kālakañja=Kālakañjaka〔阿修羅〕カーラカンヂャ，起屍
Kālakañjaka ①=Kālakañja〔阿修羅〕カーラカンヂャカ ②〔地獄〕黑繩
Kālakaṇṇitissa=Kuṭikaṇṇatissa〔王〕カーラカンニティッサ
kāla-kaṇṇin 不吉，惡運，黑耳，黑耳者，惡魔，不吉者，不運者
Kāla-kaṇṇī〔天女〕黑耳
kāla-kata 死者，死人，亡者
kālaka bhikkhu 黑比丘
kālaka vattha 黑布
kālakā 蕓
Kālakārāma〔經〕カーラカーラーマ，迦羅羅摩
kālakiriyā 臨終，命終
Kālagallaka〔村〕カーラガッラカ
kāla-cīvara 時衣
kālaññū 時を知り，時を知る
Kālatittha〔地名〕カーラティッタ
kāla-dāna 應時施
Kāladīgha〔池〕カーラディーガ，黑長
Kāladīghāvika〔精勤堂〕カーラディーガーギカ
Kālanāgara〔家系〕カーラナーガラ
kāla-paṭipakkhatā 時相對性
kāla-pariyanta〔-sīla〕時限〔戒〕
Kālapāsāṇa〔池〕カーラパーサーナ
Kāla-pāsāda 黑重閣寮
Kālapilla〔地名〕カーラピッラ
Kālabāhu〔猿〕カーラバーフ，黑腕
Kālabāhu-jātaka カーラバーフ・ヂャータカ，黑腕猿本生物語 J 329
Kālamattika〔池〕カーラマッティカ
kāla-maraṇa 時死
kāla-miga 黑鹿
Kālamukha〔國〕カーラムカ，黑面
Kālavalli〔池〕カーラヴッリ
kāla-vāta 黑風，颱風
kāla-vādin 時語者，時說者，時論者
Kālavāpi〔精舍〕カーラヴーピ，黑池
Kālavāpī〔村〕カーラヴーピー
Kālavela ①〔僕〕カーラヹーラ ②=Kālavelaka〔夜叉〕
Kālavelaka=Kālavela〔夜叉〕カーラヹーラカ
kāla-velā 時限界
Kālasira〔村〕カーラシラ
Kālasumana〔相承比丘〕カーラスマナ，伽羅須末那
Kālasela〔佛〕カーラセーラ，黑石
Kālahatthin=Kāḷa〔將軍〕カーラハッティ
kālā=kāla〔草，樹〕カーラー
Kālākālamaraṇa-pañho 時非時の死の問 Mil 4〔9〕1
kālānantaratā 時無間性
kālānusārin～kālānusārika カーラーヌサーリ，隨時香の木
Kālāmā=Āḷāra〔仙〕カーラーマ

Kālāyana〔地方〕カーラーヤナ
Kālāsoka〔王〕迦羅阿育
kāli〔量〕カーリ
Kāli〔池〕カーリ
Kālikarakkhiya〔仙〕カーリカラッキヤ
Kāliṅga ①=Kaliṅga〔國, 族〕カーリンガ, 迦陵誐 ②=Kalinga〔王〕カーリンガ, 迦陵迦, 迦陵誐 ③〔塞〕カーリンガ, 迦陵伽, 佉楞迦羅 ④〔ダミラ人〕カーリンガ
Kāliṅgabodhi-jātaka カーリンガボーディ・ヂャータカ, 迦陵誐王菩提樹供養本生物語 J 479
Kāliṅga-bhāradvāja〔司祭〕迦陵誐婆羅豆婆遮
Kāliṅgarāyara〔ダミラ人〕カーリンガラーヤラ
Kālindī〔水路〕カーリンディー
Kālī ① 黒姫 ②=Kāḷī〔夷〕迦梨 ③〔經〕迦梨 A 10 26
Kāludāyin=Kāḷudāyin、Udāyin〔比, 歡家第一〕柯留陀夷
Kāluvākī〔阿育王妃〕カールヴーキー
Kālūla〔精舍〕カールーラ
kālena bhāsitā 應時の語
kāḷa=kāla 黒月, 黒分, 新月
Kāḷa ①〔比, チャーパー尼の夫〕カーラ, 迦羅, 黒 ②=Kālahatthin〔將軍〕カーラ ③=Kāla, Mahākāḷa〔龍神〕カーラ, 迦羅, 時 ④〔鹿〕黒闇 ⑤〔池〕カーラ
kāḷaka 黒
Kāḷaka ①〔將軍〕カーラカ ②〔園〕
kāḷaka-camma 栗鼠の皮
Kāḷakañjaka〔阿修羅〕起屍
kāḷakaṇṇika-cola 黒耳(不吉)布
Kāḷakaṇṇi-jātaka カーラカンニ・ヂャータカ, 不運者本生物語 J 83
kāḷa-kaṇṇin 不吉者, 不吉, 不運者, 惡運, 黒耳, 黒耳者
Kāḷakaṇṇin〔給孤獨の幼友〕カーラカンニー、不運者
Kāḷakaṇṇī〔天女, 惡魔〕カーラカンニー, 黒耳
Kāḷakārāma 伽藍園
Kāḷakhemaka〔釋氏〕カーラケーマカ, 迦羅差摩
Kāḷakhemaka-Sakka 迦羅差摩釋種
Kāḷacampā〔町〕カーラチャンパー, 瞻波
kāḷañjana 黒塗藥
Kāḷadevala ①〔行者〕カーラデーヴラ, 黒執天 ②=Asita〔婆〕カーラデーヴラ
kāḷa-pakkha 黒分
kāḷapakkha-candimā 黒分の月
kāḷa balivadda 黒色の牛
Kāḷamattiya〔森〕カーラマッティヤ
kāḷa-loṇa 黒鹽
kāḷavaṇṇa カーラヴンナ, 黒色
Kāḷavallimaṇḍapa〔地名〕カーラヴッリマンダパ
kāḷa-vallī 黒葛
Kāḷavela-vāsin カーラヱーラ住〔者〕
kāḷa-sāma 黒褐色
Kāḷasilā〔窟〕カーラシラー, 黒石, 黒岩, 黒曜岩, 岐黒方石
Kāḷasutta〔地獄〕黒繩
Kāḷasena〔王〕カーラセーナ
Kāḷā ①〔山〕カーラー ②〔河〕
kāḷānusārika, kāḷānusāriya〜kālānusārin〔香料〕隨時檀, 黒栴檀香
kāḷāmeyya〔鳥〕カーラーメッヤ
Kāḷi〔經〕沙陀 S 55 39
Kāḷigodhā=Godhā〔夷, 跋提の母〕カーリゴーダー, 沙陀
kāḷiyā〜kālā〔植〕カーリヤー
Kāḷī ①=Kālī〔夷, 隨得聞信第一〕カーリー, 迦羅, 迦梨 ②〔尼〕カーリー ③〔遊女〕カーリー ④〔婢〕カーリー ⑤〔魔女〕カーリー, 黒
Kāḷudāyin ①=Kāludāyin, Udāyin〔比〕カールダーキ, 迦留陀夷, 柯留陀夷〔譬喩經〕Ap 3 34, 543 ②〔大臣〕迦留陀夷
Kāḷussa〔村〕カールッサ
Kāḷūpakāḷa〔獄卒〕カールーパカーラ
Kāvinda〔賢者〕カーギンダ
Kāvīra〔港〕カーギーラ

kāveyya 詩，詩歌，詩作，作詩法
kāveyya-sippa 詩術
Kāverī〔水路〕カーヱーリー
kāsa ①〔草〕カーサ，葦，迦尸 ② 咳，喘息，咳嗽
Kāsa〔山〕カーサ
Kāsagalla〔精舎〕カーサガッラ
kāsāya=kāsāva, bhinnapaṭa カーサーヤ，袈裟，袈裟衣，黄衣，黄色の衣，壊色の衣
kāsāya-vattha 袈裟，重衣，袈裟衣，黄衣，黄色の衣，壊色の衣
kāsāva=kāsāya, kāsāya-vattha 袈裟，袈裟衣，黄衣，黄色の衣，壊色の衣，重衣*
Kāsāva-jātaka カーサーヴ・ヂャータカ，袈裟本生物語 J 221
Kāsāva-vagga 袈裟品 J 221〜230
kāsāviya 死刑執行者
Kāsi〔國，族，十六大國の一〕カーシ，迦尸，伽尸 ②〔王〕カーシ，迦尸
Kāsika=Kāsiya カーシカ，カーシ國産，迦尸迦，迦尸國産
kāsika-candana 迦尸國〔産〕の栴檀〔香〕，迦尸迦の栴檀，迦尸の栴檀香，迦尸栴檀，迦尸白檀
Kāsikaṇḍa〔地方〕カーシカンダ
Kāsika〔-vattha〕迦尸衣，迦尸迦衣，迦尸絹，迦尸絹布，迦尸布
kāsikavatthūpama puggala 迦尸迦衣喩人
Kāsinaṁ puraṁ カーシの城
kāsiya=kāsika 迦尸國産，迦尸産，迦尸人
Kāsumāraphaladāyaka〔比丘の譬喩經〕カースマーラパラダーヤカ Ap 3 500
Kāsumāriphaladāyaka〔比丘の譬喩經〕カースマーリパラダーヤカ Ap 3 377
kāsumārī〔果，樹〕カースマーリー
Kāhalli〔池〕カーハッリ
Kiṁchanda-jātaka キンチャンダ・ヂャータカ，何欲本生物語 J 511
Kiṁdada〔經〕何を與へて S 1 42
kiṁphala〔樹〕何果
Kiṁsīla-sutta 何戒經 Sn 2 9
kiṁsuka〔花，樹〕キンスカ，緊叔迦，緊祝迦，甄叔迦，肉色花
Kiṁsukapupphiya〔比丘の譬喩經〕キンスカプッピヤ Ap 3 491
Kiṁsukapūjaka〔比丘の譬喩經〕キンスカプーヂャカ Ap 3 350
Kiṁsukavatthuka〔村〕キンスカヴァットゥカ
Kiṁsukā〔經〕緊叔迦 S 35 204
Kiṁsukopama-jātaka キンスコーパマ・ヂャータカ，緊祝迦喩本生物語 J 248
Kiṁsukopama-suttanta 緊祝迦喩經
Kikin〔王〕キキー，訖里計，汲毘，頻鞞
kikī 樫鳥，青樫鳥
Kikumāra〔人〕キクマーラ
kiṅkaṇika=kiṅkhaṇi〔花〕キンカニカ
kiṁkaṇikā 鈴
kiṅkiṇika=kiṅkiṇī キンキニカ鈴
kiṅkiṇika-jāla 鈴網
kiṅkiṇī=kiṅkaṇikā 鈴
kiṅkhaṇi=kiṅkaṇika〔花〕キンカニ
Kiṅkhaṇikapupphiya〔比丘の譬喩經〕キンカニカプッピヤ Ap 3 203
Kiṅkhaṇipupphiya-vagga キンカニプッピヤ品 Ap 3 488〜497
kicca 所作，作用，行事
kiccaṁ kiccādhikaraṇaṁ 事と事諍事
kiccayatā 所作
Kicca-saṅgaha 作用の攝 Abhsaṅg 3 3
kiccādhikaraṇa 行諍事，行事，義務諍事，事諍事〔四諍事の一〕
kiccādhikaraṇassa mūlaṁ 事諍事の根本
Kiccārattarayara〔ダミラ人〕キッチャーラッタラヤラ
kiccho buddhānaṁ uppādo 佛の出世は難し
kiñcana 障礙，障
kiñcikkha〔石〕キンチッカ
Kiñjakesara〔傳◦轉輪王〕キンヂャケーサラ
kiñjakka 蓮華
kiṭaka 銅板
kiṭanata(A), kiṭanāta(A)=kataññutā 報恩，知恩
Kiṭāgiri〔邑〕キターギリ，枳吒山，雞咤山

kiṭṭha 苗芽，稲田，穀物
kiṭrañata(A)＝kataññutā 報恩，知恩
kiṇṇa-pakkhitta 酵母酒
kiṇha＝kaṇha 黒，黒奴，黒法
kitava 詐欺者，賭博者，賭博師
Kitava〔王〕キタヴ
Kitavāsa〔人〕キタヴーサ
Kittakaṇḍaka〔池〕キッタカンダカ
Kittaggabodhi ①〔ダップラ三世王の甥〕キッタッガボーディ ②〔ローハナの領主〕③〔アーディパーダ官〕
Kittaggabodhi-pabbata 〔池〕キッタッガボーディ山
Kittā〔王女〕キッター
kitti 稱譽，稱讃
Kitti ①〔大臣，王〕キッティ ②〔デーヴマッラの父〕③〔將軍〕④〔アーディポッタキン官〕⑤〔ダンダナーヤカ官〕⑥〔バンダーラポッタキン官〕⑦〔チーギタポッタキン官〕⑧〔ランカーディナータ官〕⑨〔ランカープラ官〕⑩〔ナガラギリ官〕⑪〔髪舍利官〕⑫＝Vijayabāhu I ⑬〔村〕
Kittinissaṅka〔王〕キッティニッサンカ
Kittirājavāluka〔村〕キッティラーヂャヴールカ
kitti-sadda 稱讃の聲
Kittisiri＝Kittisirirājasīha 〔王〕キッティシリ
Kittisirimegha ①〔二世王〕キッティシリメーガ，名稱福雲 ②〔マーナバラナカ王子の子〕キッティシリメーガ ③〔王子〕キッティシリメーガ
Kittisirirājasīha＝Kittisiri 〔王〕キッティシリラーヂャシーハ
Kittisirirājasīha-dīpana 〔章〕キッティシリラーヂャシーハ王 Cv 100
Kittisena〔王〕キッティセーナ
Kittī ①〔王女〕キッティー ②〔マヒンダ四世王妃〕
Kinti-sutta キンティ・スッタ，如何經 M **103**
kinnara＝kimpurisa 緊那羅，人非人
Kinnarā〔王妃〕キンナラー
kinnarī＝kimpurisī 緊那羅女
Kinnughaṇḍu〔夜叉神〕キンヌガンドゥ，迦尼延豆
kipillika 蟻子
kibbisa 罪垢，罪過
Kimattha〔經〕何義 S **45** 5
Kimatthi〔經〕何在 S **38** 4
Kimatthiya ①〔經〕何功徳 S **35** 151 ②〔經〕何 A **11** 1
Kimatthiyaṁ〔經〕何義 A **10** 1
kimi 蛆蟲，蟲類，屍蟲
Kimikālā〔河〕キミカーラー，金鞞
kimi-rāsi 蛆蟲聚
kimpakka〔果〕キンパッカ，何果
Kimpakka-jātaka キンパッカ・チャータカ，有毒果本生物語 J 85
kimpurisa＝kinnara 緊那羅
kimpurisī＝kinnarī 精女，緊那羅女
Kimbila ①〔釋氏，比〕キンビラ，金毘羅，欽毘羅 ②〔經〕金毘羅 S **54** 10
Kimbila-vagga 金毘羅品 A **5** 201～210
Kimbilā 〔地名，町〕キンビラー，金毘羅，欽毘羅
Kimbilā-veḷuvana 金毘羅の竹林，金毘羅竹園
Kira〔王子〕キラ
Kirapatika〔人〕キラパティカ
Kirā〔池〕キラー
Kirinda〔村〕キリンダ
kiriyato samuṭṭhitā āpatti 作業所起罪
kiriyaphala-diṭṭhi 所作果見
kiriya-vāda～kiriya-vādin 業果論者，作業論者，有作用論者
kiriya-vādin～kiriya-vāda 有作用論者，行爲論者，所作を說く
kiriyā 所應作，唯作，所作，執行，業
kiriyākiriyato samuṭṭhitā āpatti 作業不作業所起罪
kiriyā-citta 唯作心，所應作心
kiriyā-cetanā 唯作思
kiriyā-javana 唯作速行
kiriyā dhamma 所應作法，唯作法

kiriyābhiññā 唯作神通〔心〕
kiriyā-manodhātu 唯作意界
kiriyā-manoviññāṇa-dhātu 唯作意識界
kiriyāvyākata 唯作無記，所應作無記，作無記
kiriyāvyākata-cetanā 唯作無記思
kiriyā-saṅgaha 業所攝
kiriyā-samāpatti 唯作等至
kiriyā-hetu 唯作因
kiriyāhetuka-manoviññāṇa-dhātu 唯作無因意識界
kiriyāhetuka-manoviññāṇadhātu upekkhā-sahagatā 唯作無因捨俱意識界
kilañja-chatta 藺蓋，藺傘
Kilañjadāyaka 〔比丘の譬喩經〕キランヂャダーヤカ Ap 3 234
kilañjā 藺，蓆，敷物
kilamati 疲憊す
kilamayant 惱まさしむる者
kilāsa 白癩，皮膚病，疥病，疱瘡，胎毒
kilāsika, kilāsiya 白癩〔者〕，疥病者
kilesa 煩惱，染，欲念，愛欲，欲結
Kilesa 〔經〕煩惱 S 46 33, 34
kilesa-kāma 煩惱欲
kilesakilesasampayuttaduka-kusalattika 染染相應二法善三法 Duka-tika 90
kilesa-gocchaka 煩惱聚，染群
kilesagocchakaduka-hetuduka 染群二法因二法 Duka-duka 47
Kilesa-ceva-kilesasampayutta-duka 染染相應二法 Duka **81**
kilesa ceva kilesa-sampayutta dhamma 染染相應法，煩惱法にして煩惱相應なる
kilesa c'eva dhamma kilesa-sampayutta ca 煩惱法にして煩惱相應なる，染染相應法
kilesa c'eva dhamma saṅkiliṭṭha ca 煩惱法にして已雜染なる，染已染法
kilesa c'eva dhamma saṅkilesika ca 煩惱法にして順雜染なる，染順染法
Kilesa-ceva-saṅkiliṭṭha-duka 染已染二法 Duka **80**
kilesa ceva saṁkiliṭṭha dhamma 染已染法，煩惱法にして已雜染なる
Kilesa-ceva-saṅkilesika-duka 染順染二法 Duka **79**
kilesa ceva saṅkilesika dhamma 染順染法，煩惱法にして順雜染なる
Kilesajahana-kathā 斷煩惱論 KV **19** 1
kilesa-jāta 煩惱種
Kilesa-duka 染二法 Duka **75**
kilesaduka-kusalattika 染二法善三法 Duka-tika 84
kilesa dhamma 煩惱法，染法
kilesappahāna 煩惱の捨，斷煩惱，離惡
kilesa-bhāra 煩惱重擔
kilesa-vaṭṭa 煩惱輪轉
kilesa-vatthu 煩惱事〔十種〕
kilesa-viddhaṁsana 煩惱の摧破
kilesa-vippayutta dhamma 煩惱不相應法，染不相應法
kilesa-vippayutta dhamma asaṅkilesika 煩惱不相應法にして不順雜染なる
kilesa-vippayutta dhamma saṅkilesika 煩惱不相應法にして順雜染なる，染不相應順染法
Kilesavippayutta-saṅkilesika-duka 染不相應順染二法 Duka **82**
kilesavippayuttasaṅkilesikaduka-kusalattika 染不相應順染二法善三法 Duka-tika 91
kilesavippayutta-saṅkilesika dhamma 染不相應順染法，煩惱不相應法にして順雜染なる
Kilesa-saṁyutta キレーサ・サンユッタ，煩惱相應 S **27** 1～10
kilesasaṅkiliṭṭhaduka-kusalattika 染已染二法善三法 Duka-tika 89
kilesasaṅkilesikaduka-kusalattika 染順染二法善三法 Duka-tika 88
kilesa-sampayutta 染相應，煩惱相應
kilesa-sampayutta c'eva dhamma no ca kilesa 煩惱相應法にして非煩惱なる
Kilesasampayutta-duka 染相應二法 Duka **78**
kilesasampayuttaduka-kusalattika 染相應二法善三法 Duka-tika 87
kilesa-sampayutta dhamma 煩惱相應法，染相

應法
kilesāvaraṇa 煩惱障
kilesāvaraṇatā 煩惱障
kiloma 肺
kilomaka 肋膜，膜〔三十二身分の一〕
kisa 羸痩，形體枯痩，痩，痩軀者
Kisalayapūjaka〔比丘の譬喩經〕キサラヤプージャカ Ap 3 196
Kisavaccha〔仙，行者〕キサヴッチャ
Kisa-Saṅkicca〔苦行者,外〕キササンキッチャ
Kisā-Gotamī ①〔尼〕キサーゴータミー，吉離舍瞿曇彌，翅舍憍答彌，翅舍瞿曇彌，枳薩憍答彌〔譬喩經〕Ap 4 22 ②〔ティッサ佛の信女〕キサーゴータミー ③〔フッサ佛の妃〕
kisora 駒
Kihimbila〔村〕キヒンビラ
kīṭa 昆蟲，蛆蟲
Kīṭā=Kiṭāgiri〔山〕キーター，枳吒
Kīṭāgiri-suttanta キーターギリ・スッタンタ，枳吒山邑經 M 70
kīḷa 蠍
Kīḷakoṭṭa〔地名〕キーラコッタ
kīḷati 嬉戲す
kīḷanaka 玩具
Kīḷamaṅgala ①〔ダミラ人〕キーラマンガラ ②〔地名〕
Kīḷākarā〔園〕キーラーカラー
Kīḷākaruyyāna〔水門〕キーラーカルッヤーナ
kīḷāpanaka 戲具
kīḷā-bhaṇḍaka 玩具
Kīḷāmaṇḍapa〔戲場〕キーラーマンダパ
kīḷā-maṇḍala 遊戲場
Kīḷenilaya〔都〕キーレーニラヤ
Kukuṭṭhā〔河〕迦屈嗟，脚倶多
kukutthaka〔鳥〕ククッタカ
kukku〔尺度〕肘
kukkukata 暫時のもの
kukkucca 惡作，後悔，悔，悔疑，有悔，疑惱，疑惑
kukkucca-nīvaraṇa 惡作蓋
kukkuccapakatā-pannarasaka 惡作性十五事 V 2 a 4, 10
Kukku-jātaka クック・ヂャータカ，クック本生物語 J 396
kukkuṭa 雞，鶏，雄鶏，野鶏
Kukkuṭa ①〔城〕クックタ ②〔精舍〕屈屈吒，鶏園寺，雞林寺 ③〔坊舍〕屈屈吒 ④=Kukkura〔山〕屈屈吒
Kukkuṭagiri〔精舍〕クックタギリ
kukkuṭacchāpaka 雛
Kukkuṭa-jātaka ① クックタ・ヂャータカ，鶏本生物語 J 383 ② クックタ・ヂャータカ，雄鶏本生物語 J 448
kukkuṭa-patta 鶏翼，鶏の翼，鶏毛
Kukkuṭa-sūkara〔經〕雞豕 S 56 89
Kukkuṭārāma ①〔精舍〕クックタアーラーマ，雞園，鶏園，雞園寺，雞林精舍，屈屈吒寺 ②〔經〕雞林精舍 S 45 18～20
kukkuṭī 雌雞，牝鶏，雞
kukkuṭī-aṇḍa 鶏卵，雞卵
kukkura 犬，狗
Kukkura=Kukkuṭa〔山〕クックラ
kukkura-kuṇapa 狗屍，死狗
kukkura-citta 狗心
Kukkura-jātaka クックラ・ヂャータカ，犬本生物語 J 22
kukkura-yuddha 犬鬪
kukkura-vata 狗行
kukkura-vatika 狗行者，犬の所作
Kukkuravatika-suttanta クックラヴティカ・スッタンタ，狗行者經 M 57
kukkura-sīla 狗戒
kukkurākappa 狗儀軌
kukkurovāda 犬の教訓
Kukkula=Kukkuḷa〔地獄〕クックラ，活火
kukkuḷa 熇煨，爐炎，熱灰
Kukkuḷa ①〔地獄〕活火，熱灰 ②〔經〕熇煨 S 22 136
Kukkuḷa-kathā 熇煨論 KV 2 8
Kukkuḷa-niraya 熱灰地獄，活火地獄
Kukkuḷa-vagga 熇煨品 S 22 136～148
Kukku-vagga クック品 J 396～405

kukkusa ①～kukkuha〔鳥〕クックサ ② 糠
kukkuha 鶚, 鵰鷹
kuṅkuma 鬱金香
kucchi 腹, 胎宮
Kucchicakka〔章〕中腔章
kucchi-roga 腹病
kucchi-vāta 腹風
kucchi-vikāra 腹病
kucchisaya vāta 腹中に在る風, 腹外風, 胃住風
kujja～khujja 傴僂
kuñjara クンヂャラ, 象
Kuñjara〔レーヴタ佛の信士〕クンヂャラ
Kuñjara-vagga 象品 Mil 5 5
Kuñjara-vimāna 象天宮 Vv 5
kuṭa 水瓶
kuṭaja＝kuṭaji〔樹, 花, 澁味の植物〕クタヂャ
Kuṭajapupphiya〔比丘の譬喩經〕クタヂャプッヒヤ Ap 3 181, 514
Kuṭajapupphiya-vagga クタヂャプッヒヤ品 Ap 3 181～190
kuṭaji＝kuṭaja〔樹, 花, 澁味の植物〕クタヂ
Kuṭikaṇṇa＝Kuṭikaṇṇatissa, Kālakaṇṇitissa〔王〕クティカンナ
Kuṭikaṇṇatissa＝Kuṭikaṇṇa, Kālakaṇṇitissa〔王〕クティカンナティッサ
kuṭikā 小房, 小舍, 草菴, 房室, 茅屋, 屋舍
Kuṭikā〔經〕茅屋 S 1 19
kuṭi-kāra 房の建立
kuṭikāra-saṁghādisesa 造房僧殘＝第六僧殘
Kuṭidāyaka〔比丘の譬喩經〕クティダーヤカ Ap 3 259
Kuṭidūsaka-jātaka クティドゥーサカ・ヂャータカ, 毀屋本生物語 J 321
Kuṭidūsaka-vagga 毀屋品 J 321～330
Kuṭidhūpaka〔比丘の譬喩經〕クティドゥーハカ Ap 3 245
Kuṭimbiyaṅgaṇa〔村〕クティンビヤンガナ
Kuṭimbiyaputta-tissa＝Kuṭumbikaputta-tissa〔比〕クトゥンビカプッタティッサ
Kuṭivihārin〔比〕屋舍住
kuṭī 小屋, 小舍, 房, 房舍, 茅舍
kuṭumba〔樂器〕クトゥンバ
kuṭumbika 地主
Kuṭumbikaputta-tissa＝Kuṭimbiyaputta-tissa〔比〕クトゥンビカプッタティッサ
Kuṭeṇḍu〔夜叉神〕クテーンドゥ
kuṭṭa-rājan＝kuḍḍa-rājan 小王
kuṭṭha ①〔樹〕クッタ ② 癩, 癩病
Kuṭṭhaka〔メールカンダラの領主〕クッタカ
kuṭṭhika, kuṭṭhin 癩患者, 癩者, 癩人, 癩病者, 癩病患者
kuṭṭhiya＝kuṭṭhika 瘡病〔者〕
Kuṭhārādisabhā〔役所〕クターラーディサバー
Kuṭhāri〔精舍〕クターリ
kuṭhārī 斧, 鋤*
kuḍḍa ①～kūṭa 奸邪 ② 壁, 墻, 堺
kuḍḍa-rājan＝kuṭṭa-rājan 小王
kuṇapa 死體, 死屍, 屍
Kuṇappunallura〔村〕クナッフナッルラ
kuṇāla〔鳥〕クナーラ, 鳩那羅
Kuṇāla〔雪山の池〕クナーラ, 郭公, 鳩那羅
kuṇālaka〔鳥〕郭公
Kuṇāla-jātaka クナーラ・ヂャータカ, 鳩那羅本生物語 J 536
kuṇi 曲手, 曲り臂, 瘸手, 手殘, 手不具, 手痿者, 駝背*
kuṇi-hatthaka 片曲手〔者〕
kuṇṭha〔草〕クンタ
kuṇḍaka 糿糠
Kuṇḍakakucchisindhava-jātaka クンダカクッチシンダヴ・ヂャータカ, 糠腹辛頭馬本生物語 J 254
Kuṇḍaka-kumāra〔佛の前生〕クンダカクマーラ
Kuṇḍakapūva-jātaka クンダカフーヴ・ヂャータカ, 粉菓子本生物語 J 109
Kuṇḍadhāna ①〔比〕クンダダーナ, 軍頭波漢〔譬喩經〕Ap 3 31 ②〔林〕クンダダーナ
Kuṇḍadhāna-vagga 軍頭波漢品 Ap 3 31～40
Kuṇḍayaṁkoṭṭa〔地名〕クンダヤンコッタ
Kuṇḍayamuttara〔ダミラ人〕クンダヤムッタ

ラ
kuṇḍala 耳環，耳璫，珠環
Kuṇḍala〔婆〕クンダラ
Kuṇḍalakesa-vagga 君荼羅槃頭品 Ap 4 21〜30
kuṇḍala-vatta 耳輪
Kuṇḍalā=Bhaddā〔尼〕クンダラー，君荼羅
Kuṇḍali〔經〕クンダリ S 46 6
Kuṇḍalinī〔九官鳥〕クンダリニー
Kuṇḍaliya〔外，塞〕クンダリヤ
kuṇḍalī〜kuṇḍala 耳環
Kuṇḍalī ①〔女〕クンダリー ②〔馬〕
Kuṇḍalī-vimāna 耳環天宮 Vv 72
Kuṇḍasālā〔宮殿〕クンダサーラー
Kuṇḍi〔町〕クンディ
Kuṇḍiṭṭhāna-vana クンディッターナヴナ，軍持處林
Kuṇḍiyā〔地名〕クンディヤー，軍持
kutumbaka〔花〕クツンバカ
kutūhala-sālā 論議堂
Kutūhala-sālā〔經〕論議堂 S 44 9
Kuttāṇḍā[ra]〔ダミラ人〕クッターンダー[ラ]
Kuttāpitisama〔村〕クッターピティサマ
kutthaka=kotthuka〔鳥〕クッタカ
Kutthikkulamahātissa〔比〕クッティックラマハーティッサ
kuthārī 鉞，斧
kuddāla 鋤，鍬，鉈*
Kuddāla〔賢者，佛の前生〕クッダーラ
kuddālaka 鋤
Kuddālaka〔外〕クッダーラカ，瞿陀梨
Kuddālaka-paṇḍita 鋤賢人
Kuddāla-jātaka クッダーラ・ヂャータカ，鋤賢人本生物語 J 70
kuddāla-piṭaka 鋤と籠，鍬と籠
Kuddālamaṇḍala〔村〕クッダーラマンダラ
kuddha 怒[者]
kudrūsaka〔穀物〕クドゥルーサカ，稗，草莠
kunta〔鳥〕クンタ
Kunta〔座席〕クンタ
kuntani 穀祿鳥
Kuntani-jātaka クンタニ・ヂャータカ，穀祿鳥本生物語 J 343
kunta-maṁsa 鳥の肉
Kuntavara〔軍〕クンタヴラ
Kuntī=Kontī〔緊那羅女〕クンティー
kuntha 蟻
kuntha-kipillika 蟻子
Kundukāla〔地名〕クンドゥカーラ
kunnadī 小川，小河
kupita 恚心，瞋り，憤激
kupita-anattamano 瞋り喜ばず
kuppa 有過
kuppati 怒る
kuppa-dhamma 動法[者]
kuppa vimokkha 動解脫
kuppila〔樹〕クッピラ
Kububandhā〔河〕クブバンダー
Kubūlagalla〔地名〕クブーラガッラ
Kubera=Kuvera, Vessavaṇa クベーラ，鳩鞞羅，倶毘羅
kubbara 轄
kubhā(A)=guhā 洞院
Kumāputta=Nanda〔比〕クマー〔母〕の子
kumāra 童子，王子，兒童，嬰兒，孺童
Kumāra ①〔バラナ戰士の父〕クマーラ ②=韋駄天〔神〕
Kumāra-kassapa〔比〕クマーラカッサパ，鳩摩羅迦葉，童子迦葉，王子迦葉
Kumāra-pañha 問沙彌文〔小誦經〕Khp 4
Kumāra-petavatthu ① 小兒鬼事 Pv 3 5 ②兒童鬼事 Pv 4 6
Kumārasīha〔セーナラタナ王の子〕クマーラシーハ
Kumārasena〔ダートゥセーナ王の弟〕クマーラセーナ
Kumārādidhātusena〔王〕クマーラーディダートゥセーナ，童初舍利軍
kumārikā 少女，童女，處女
Kumāri-pañha〔經〕童女所問=Dhītaro 娘達
Kumāribhūta-vagga 童女品 V 1 b 4, 71〜83
kumāri-bhūtā 童女，少女
kumāriyā 幼女

Kumāriyā〔經〕童女 S 56 86
kumāri-vaṇṇa 童女の姿
kumārī 童女，王女
Kumārodaya〔章〕王子誕生 Cv 62
kumāla(A)=kumāra 太守皇子
kumina 網，筌
kumuda〔花〕クムダ，拘勿頭，拘物頭，白蓮，黄蓮，黄蓮華，水蓮，白睡蓮
Kumuda ①〔地獄〕クムダ，水蓮，白睡蓮 ②〔宮殿〕クムダ
Kumudadāyaka〔比丘の譬喩經〕クムダダーヤカ Ap 3 160
Kumuda-niraya 水蓮地獄，白睡蓮地獄
kumudabhaṇḍikā〔穀〕クムダバンディカー
Kumudamāliya〔比丘の譬喩經〕クムダマーリヤ Ap 3 171, 320
Kumuda-vagga 拘物頭品 Ap 3 171～180
Kumba ①〔村〕クンバ ②〔ダミラ人〕
Kumbālaka〔池〕クンバーラカ
Kumbu〔村〕クンブ
kumbha ① 瓶，甕，瓦器，水瓶，水甕 ② 面瘤
Kumbha〔經〕瓶 S 45 27, 153
Kumbhakaṇṇa〔夜叉〕クンバカンナ，瓶耳
kumbha-kāra 陶工，陶師，陶器師，陶匠，陶物造り
Kumbhakāra-gāma 陶師村
Kumbhakāra-jātaka クンバカーラ・ヂャータカ，陶師本生物語 J 408
kumbhakāra-pāka 陶窯，陶師の窯
kumbhakāra-sippa 陶技
kumbhakārikā 陶物
kumbha-cetiya～kumbhassa thūpo 瓶塔
Kumbha-jātaka クンバ・ヂャータカ，瓶本生物語 J 512
kumbhaṭṭhāna-kathā 井戸論，井戸端論，井戸端噂の話，井戸端噂論，池邊論，水瓶處論，渠溝論〔無用論の一〕
kumbhaṇḍa ①〔鬼〕クンバンダ，鳩槃茶，鳩槃茶，俱番陀，甕形，甕形夜叉 ②～kumbhaṇḍī 冬瓜，胡蘆
Kumbhaṇḍa〔尼乾陀〕クンバンダ
kumbhaṇḍa purisa 颵の如き睾丸の者，瓮〔の如き〕睾丸の人
kumbhaṇḍī～kumbhaṇḍa クンバンディー，夕顔，瓢簞
kumbhatthenaka 夜盗
kumbha-thūṇā 銅鑼，銅鑼樂，大鼓
kumbha-thūnika 銅鑼打
Kumbha-vagga 瓶品 J 291～300；Mil 5 8
Kumbhavatī〔都〕クンバヴァティー
kumbhassa thūpo～kumbha-cetiya 瓶塔
kumbhi 大釜，鑊，釜，鼎，甕，瓯
Kumbhigallaka〔精舍〕クンビガッラカ
kumbhin=kumbha-kāra 陶工
Kumbhila-ārāma クンビラ園
Kumbhīra〔神〕クンビーラ，金毘羅
kumbhīla クンビーラ，宮毘羅，鰐，鰐魚，蛟龍
Kumbhīlakamahātissa〔比〕クンビーラカマハーティッサ
Kumbhīla-jātaka クンビーラ・ヂャータカ，鱷本生物語 J 224
kumbhīla-bhaya 鰐の怖，鰐の怖畏，鱷魚の難，蛟龍畏，蛟龍の怖畏
Kumbhīlavānakā〔河〕クンビーラヴーナカー
Kumbhīlasobbha〔池〕クンビーラソッバ
Kumbhīlasobbhakā〔池〕クンビーラソッバカー
kumbhūpama puggala 瓶喩人，瓶に喩ふべき補特伽羅
kumma 龜
Kumma〔經〕龜 S 17 3；35 199
kummagga 邪道，惡道
kummagga-sevanā 邪道修習，惡道依附
kummāsa 粥，酸粥，乳糜
Kummāsadāyaka〔比丘の譬喩經〕クンマーサダーヤカ Ap 3 472
kummāsa-piṇḍa 酢味粥食，飯團食
Kummāsapiṇḍa-jātaka クンマーサピンダ・ヂャータカ，酢味粥食本生物語 J 415
Kummūpama-suttanta 龜喩經

kuyyaka〔花〕クイヤカ
Kuraṅgavī〔王女〕クランガギー
kuraṇḍaka〔植〕クランダカ
Kuraṇḍaka〔窟〕クランダカ
kurara 鶚
Kuraraghara〔山〕クララガラ，クララ家，拘羅羅伽羅，拘羅羅咤
Kuraraghara-Papāta-pabbata〔山〕クララガラパパータパッバタ，拘留歎喜山曲，拘羅羅伽羅の波樓多
kuravaka=bimbijāla〔樹〕クラヴカ，具羅波劫
Kuravakagalla〔地名〕クラヴカガッラ
Kuru ①〔國，十六大國の一〕クル，拘樓，拘留，究留，俱盧 ②=Kurudīpa, Uttarakuru〔洲〕クル，俱盧 ③〔村〕俱盧
Kuruindiya〔精舍〕クルインディヤ
kuruṅga-miga 羚羊
Kuruṅgamiga-jātaka クルンガミガ・ヂャータカ，羚羊本生物語 ① J 21 ② J 206
Kuruṅga-vagga 羚羊品 J 21～30
Kuruṇḍaṅkuṇḍi〔ya〕〔地名〕クルンダンクンディ〔ヤ〕
Kuru-dīpa=Uttarakuru 究留洲，拘樓洲，拘留，俱盧
Kuru-dhamma 拘樓法
Kurudhamma-jātaka クルダンマ・ヂャータカ，拘樓國法本生物語 J 276
Kurunda〔精舍〕クルンダ
Kurundapāsaka〔精舍〕クルンダパーサカ
Kurundapillaka〔精舍〕クルンダピッラカ
Kurundī ①〔地名〕クルンディー ②=Kurunda-aṭṭhakathā〔註書〕
Kurumba〔ダミラ人〕クルンバ
Kurumbāṇḍanakali〔地名〕クルンバーンダナカリ
kuruvinda〔植〕クルギンダ
Kuruvinda〔石〕クルギンダ
kuruvindaka-sutti 朱砂紐
kurūra-kammanta 殘忍業者，殘酷なる行を爲す者
kureñjiya〔植〕クレーンヂヤ
Kureñjiyaphaladāyaka〔比丘の譬喩經〕クレーンヂヤパラダーヤカ Ap 3 508
Kureñjiyaphaladāyaka-vagga クレーンヂヤパラダーヤカ品 Ap 3 508～517
kula 良家，家，善家，貴家，族姓，俗家，在家，他家
Kulaṁ〔經〕家 S 20 3；42 9；A 9 17
kulagharaṇī 家婦
Kulagharaṇī〔經〕家婦 S 9 8
Kulatissa〔精舍〕クラティッサ
kulattha カラス豌豆
kulattha-yūsa 烏豌豆汁
kula-dūsaka 俗家を汚す，汚家
kuladūsaka-bhikkhu 汚家比丘，俗家を汚せる比丘
Kulanta-vāpi〔池〕クランタヴーピ，一族終焉の池
kula-padesa 家の階級
kula-putta 善男子，族姓の子，良家の子
Kulaputta〔經〕善男子 S 56 3, 4
Kulaputtena dukkhā〔經〕善男子・苦 S 22 146～148
kula-macchariya 家慳，家族慳，擅家慳〔五慳の一〕
kulala 兀鷹，鷹，鳶
kula-vaṁsa 家系
Kulavaḍḍhaka〔卑名〕クラヴッダカ
Kulavaddhana〔長者〕クラヴッダナ
Kulasekhara〔王〕クラセーカラ
kulānam upaghātāya aṭṭha hetū 家の損亡八種の因
kulāla-cakka 陶工の車輪
kulāva〔鳥〕クラーヴ
kulāvaka 鳥の巣，雛鳥
Kulāvaka〔經〕鳥の巣 S 11 6
Kulāvaka-jātaka クラーヴカ・ヂャータカ，雛鳥本生物語 J 31
Kulāvaka-vagga 雛鳥品 J 31～40
kulāvara〔樹〕クラーヴラ
kuliṅga〔鳥〕クリンガ
Kuliṅga〔族〕クリンガ

kulīna 系統
kulīraka, kuḷīraka 〔鳥〕 クリーラカ
kulīrapādaka-pīṭha 句利羅脚小床
kulīrapādaka-mañca 句利羅脚床
kulupaka bhikkhu 家に親近する比丘〔の可否〕
Kulupagaṁ 〔經〕 在家に入る S **16** 4
Kulumbāla 〔精舎〕 クルンバーラ
kulūpaka 檀越家, 檀越
kulūpaka bhikkhu=kulupaka bhikkhu 檀越比丘
kulūpikā bhikkhunī 檀越比丘尼
kulla 籠筏, 筏, 桴
Kulla 〔比〕 クッラ
kullūpama-dhamma-desita 筏の喩の説法
kullūpamā 筏喩の法
Kuḷa 〔比〕 クラ
kuḷira-pādaka 〔臥床〕 句利羅脚
kuḷīra 蟹
kuḷīraka 〔鳥〕 クリーラカ
kuḷīra-pādaka 〔臥床〕 クリーラパーダカ, 句利羅脚
Kuḷumbari 〔郡〕 クルンバリ
kuvalaya 睡蓮
kuviḷāra=koviḷāra 〔樹〕 クギラーラ
Kuveṇī 〔夜叉女〕 クヱーニー
Kuvera=Kubera, Vessavaṇa 〔四天王の一〕 クヹーラ, 俱毘羅, 俱吠羅, 俱吠囉, 俱尾羅, 鳩鞞羅
Kuvera-nalinī 俱尾羅蓮池
kusa ①=kusaka 〔植〕 クサ, 孤沙, 姑尸, 拘舍, 拘賒, 矩奢, 草, 茅草, 萱, 吉祥草 ②=kusa-pāta 籌
Kusa ① 〔王〕 クサ, 矩舍, 姑尸 ②=Kusāvatī 〔都〕 クサ
kusaka～kusa 〔草〕 クサカ
kusagga 草の尖
kusa-cīra 吉祥草衣, 草衣, 結茅草衣, 拘賒草衣
Kusa-jātaka クサ・ヂャータカ, 姑尸王本生物語 J 531
Kusaṭṭhakadāyaka 〔比丘の譬喩經〕 クサッタカダーヤカ Ap 3 473
Kusanāḷi-jātaka クサナーリ・ヂャータカ, 吉祥草本生物語 J 121
Kusanāḷi-vagga 吉祥草品 J 121～130
kusa-pāta 草の籤
Kusamāli 〔海〕 クサマーリ
kusala 善, 善業, 善巧, 善巧者, 善巧人
Kusala 〔經〕 善 A **10** 136, 180
kusala akusala 善と不善
Kusala-kathā 善論 KV **19** 6
kusala-kamma 善業
kusala-kammapatha 善業道 〔十種〕
kusala-kāyakamma 善身業
kusala-kiriyā 善業
kusala-cariyā 善行
kusala-citta 善心
Kusalacitta-kathā 善心論 KV **22** 2
kusalacitta-samaṅgin 善心所有者
kusalacittena samuṭṭhita kāya-kamma 善心等起の身業
kusalacittena samuṭṭhita vacī-kamma 善心等起の口業
kusala-cetanā 善思
kusalatā 善巧
Kusalattika 善三法 Tika 1
kusalattika-ajjhattattika 善三法內三法 Tika-tika 19
kusalattika-ajjhattārammaṇattika 善三法內所緣三法 Tika-tika 20
kusalattika-ajjhattikaduka 善三法內二法 Tika-duka 46
kusalattika-atītattika 善三法過去三法 Tika-tika 17
kusalattika-atītārammaṇattika 善三法過去所緣三法 Tika-tika 18
kusalattika-arūpāvacaraduka 善三法無色界繫二法 Tika-duka 68
kusalattika-ācayagāmittika 善三法積集趣三法 Tika-tika 9
kusalattika-āsavaduka 善三法漏二法 Tika-duka 35

異の問 Mil 4 〔5〕 5
Kusalākusalānaṁ balavābalava-pañho 善不善強弱の問 Mil 4 〔8〕 7
Kusalākusalānaṁ mahantāmahantabhāva-pañho 善不善大小の問 Mil 4 〔8〕 9
kusalānaṁ dhammānaṁ upasampadā 善法の具足
kusalābhisanda 善の等流，善潤澤
kusalā vedanā 善受
kusāṭaka 〔衣〕 クサータカ
Kusāvatī 〔拘夷那竭城の古名〕 クサーヴティー，拘舍婆提
kusi 大壇
Kusināṭā 〔都〕 クシナーター
Kusinārā ① 〔城〕 クシナーラー，拘尸城，拘尸那，拘尸那羅，拘尸那竭羅，拘夷那竭，倶尸那羅 ② 〔精舍，セイロンにあり〕 クシナーラー ③ 〔經〕 拘尸 A 10 44
Kusinārā-vagga 拘尸那掲羅品 A 3 121～130
kusīta 懈怠，懈怠者，懈怠なる，懶惰
Kusītaṁ 〔經〕 懈怠 S 14 22
kusīta-vatthu 懈怠事 〔八種〕
Kusītavatthu-ārabbhavatthūni 〔經〕 懈怠事精進事 A 8 80
kusīta-hīnaviriya 懈怠不精進
Kusīto 〔經〕 懈怠 S 37 12
kusubbha=kussubbha, kusobbha 小池，小湖
kusuma 〔花〕 クスマ
Kusuma=Pāṭaliputta 〔城〕 クスマ，拘蘇摩
Kusumārāma 〔精舍〕 クスマーラーマ
kusumā-vāta クスマー風
Kusumāsaniya 〔比丘の譬喩經〕 クスマーサニヤ Ap 3 126
Kusumi 〔港〕 クスミ
kusumbha=kosumbha 〔花，草〕 紅藍，赤花
kusumbhara～kosumbha 〔樹〕 クスンバラ
kusumbha-ratta 鬱金色
kusobbha=kussubbha 小湖，小池
kussubbha, kussobbha=kusubbha, kusobbha 湖，小川
kuha 詭詐，欺瞞
kuhaka 詭計，詭計者，詭詐，詭詐者，僞善者，詐欺師，詐欺漢
Kuhaka-jātaka クハカ・ヂャータカ，詐欺本生物語 J 89
kuhanā 詐欺，詭詐，詐術，欺瞞，欺騙
kuhanā-vatthu 詭詐事 〔三種〕
kūṭa ① 棟，屋頂，尖頂，二階，山頂 ② クータ，無角 ③ 欺瞞者，詐欺師 ④ 係蹄 ⑤ 鎚，鐵槌
Kūṭa 〔經〕 屋頂 S 45 141；46 7
Kūṭaṁ 〔經〕 棟 S 20 1
kūṭa-jaṭila 僞行者，僞編髮梵志
Kūṭatissa 〔精舍〕 クータティッサ
Kūṭadanta 〔婆，塞〕 クータダンタ，究羅檀頭
Kūṭadanta-sutta クータダンタ・スッタ，究羅檀頭經 D 5
Kūṭavāṇija-jātaka ① クータヴーニヂャ・ヂャータカ，邪商本生物語 J 98 ② クータヴーニヂャ・ヂャータカ，騙詐商人本生物語 J 218
Kūṭavinicchayaka-petavatthu 詐欺餓鬼事 Pv 3 9
kūṭa-simbali 拘吒賒摩利樹
kūṭāgāra 重閣，尖頂閣，樓閣，家屋，宮殿
Kūṭāgāra 〔經〕 重閣堂 S 56 44
kūṭāgāra-sālā クーターガーラサーラー，重閣講堂，重閣堂，樓閣，高樓閣，尖頂閣堂
Kūṭāli 〔精舍〕 クーターリ
kūṭeyya 詐瞞
Kūpe nimuggo paradāriko 〔經〕 坑に沈める不義者 S 19 11
keka 〔樹〕 ケーカ
Kekaka ① 〔國，都〕 ケーカカ ② 〔王〕
kekkhāru 〔花〕 ケッカール
Kekkhārupupphiya 〔比丘の譬喩經〕 ケッカールプッピヤ Ap 3 359
keṭubha=ketubha 儀式書，儀軌，式典，法式，楷畫，文典*，知明*
keṭubhin 矯詐，欺誑，欺瞞者
Keṇiya ①=Keniya 〔結髮外道，比〕 ケーニヤ，雞尼耶，計尼耶，翅寃 ② 〔族〕 計尼耶
ketaka～ketaki 〔化，樹〕 ケータカ

Ketaka〔園〕ケータカ
Ketakapupphiya〔比丘の譬喩經〕ケータカプッピヤ Ap 3 511
ketaki～ketaka〔花〕ケータキ
ketu 旗，旗幟
ketubha=keṭubha 儀軌，儀式書，式典，楷畫
Ketumatī ①〔天宮〕ケートゥマティー ②〔都，波羅奈城の未來名〕③〔河〕
Ketumant ①〔辟〕ケートゥマー ②=Ketumatī〔城〕ケートゥマ
Ketumbarāga〔辟〕ケートゥムバラーガ
kenaci na viññeyya dhamma 非所識法
Kenaci-viññeyya-duka 所識二法 Duka 13
kenaciviññeyyaduka-kusalattika 所識二法善三法 Duka-tika 34
kenaci viññeyya dhamma 所識法
Keniya=Keṇiya〔婆〕翅寃，雞尼耶，計尼耶
kebuka〔花〕ケーブカ
Kebukā〔河〕ケーブカー
Keraḍaputra（A），Keralaputra（A）〔國〕ケーララフタ
Keraḷa〔國，族〕ケーララ
Keraḷasīhamuttara〔ダミラ人〕ケーララシーハムッタラ
Kelalaputa（A）〔國〕ケーララプタ
Kelāsa〔山〕ケーラーサ
Kelivāta〔地方〕ケーリヴータ
Kelivāsa〔池〕ケーリヴーサ
Keḷisīla-jātaka ケーリシーラ・ヂャータカ，耽戲本生物語 J 202
kevaṭṭa 漁夫，漁師
Kevaṭṭa ①〔傳◦婆〕ケーヴッタ ②=Kevaddha〔塞〕枳跋多，堅固
Kevaṭṭagambhīra〔村〕ケーヴッタガンビーラ
Kevaṭṭa-dvāra ケーヴッタ門
kevaṭṭa-putta 漁夫の子
Kevaddha=Kevaṭṭa〔居士〕ケーヴッダ，堅固
Kevaddha-sutta ケーヴッダ・スッタ，堅固經 D 11
kevala 完全，獨存
kevala bodhi 一切智
kevalassa dukkhakkhandhassa nirodho 一切苦蘊の滅盡，全苦蘊の滅
kevalassa dukkhakkhandhassa samudayo 一切苦蘊の生起，全苦蘊の集
kevalin 獨存，獨存者，完全者，純一
kesa 髮，毛髮〔三十二身分の一〕
Kesa〔園〕ケーサ，毛髮
kesa-kambala 髮褐，髮毛の布，髮欽婆羅衣，人髮褐，人髮を編める衣，人髮編衣，人髮欽婆羅衣
kesa-kārikā 髮結の女
Kesakāriya-vimāna 髮結女天宮 Vv 17
kesa-dhātu 髮舍利，髮の記念物
Kesadhātu-vaṁsa 髮舍利史
Kesaputta〔村〕羇舍子
kesa-massu 鬚髮，髮髯，髮髭，髮鬚
kesamassu-locaka 拔鬚髮者，拔鬚髮行者，拔髭髮者
kesamassu-locana 鬚髮の剃除
kesara 花絲
Kesarapupphiya〔比丘の譬喩經〕ケーサラプッピヤ Ap 3 361
kesarin 獅子
Kesava ①=Vāsudeva〔傳◦力士，王〕ケーサヴ ②=Kaṇha〔餓鬼〕③〔行者〕
Kesava-jātaka ケーサヴ・ヂャータカ，ケーサヴ行者本生物語 J 346
Kesin ①〔調馬師〕ケーシ，只尸 ②〔塞〕ケーシ，鶏尸 ③〔馬〕ケーシ，只尸
Kesinī〔王女〕ケーシニー
Kesi-vagga 只尸品 A 4 111～120
kesohāraka 理髮者
Kehāla〔池〕ケーハーラ
Keheta〔村〕ケーヘータ
Kehella〔村〕ケーヘッラ
koka 豺狼，狼
Kokanada ①〔琵琶〕コーカナダ，拘迦那大 ②=Kokanudā〔宮殿〕コーカナダ
Kokanadā〔天女〕紅蓮
kokanisātaka〔動〕コーカニサータカ
kokanuda コーカスダ，蓮

Kokanuda ①〔外〕コーカヌダ，俱迦那 ②〔經〕俱迦那 A 10 96

Kokanudā=Kokanada〔宮殿〕コーカヌダー

Kokavāta ①〔地方〕コーカヴータ ②〔池〕

Kokālika ①=Kokāliya〔提婆の徒，比〕コーカーリカ，拘迦利，拘迦利迦，俱伽利伽，俱伽梨，瞿迦利迦 ②〔國〕拘迦利 ③〔經〕瞿迦利迦 S 6 7, 10 ④〔經〕拘迦利 A 10 89

Kokālika-jātaka コーカーリカ・ヂャータカ，拘迦利比丘本生物語 J 331

Kokāliya=Kokālika〔比〕コーカーリヤ，拘迦利耶

Kokāliya-sutta 拘迦利耶經 Sn 3 10

Kokāsa〔宮殿〕コーカーサ

kokāsika〔晝度樹の花〕花

kokila〔鳥〕コーキラ，拘耆羅，瞿枳羅，鴝鵒，時鳥，杜鵑，郭公

Kokila-vagga 時鳥品 J 331～340

Kokilā〔王女〕コーキラー，拘耆羅

Koṅgamaṅgala〔ダミラ人〕コンガマンガラ

Koṅgu〔地方〕コング

koccha ① 草椅，坐褥 ② 櫛

koccha-palibodha 梳髮障礙

kojava 氍毹

koñca 鷺，蒼鷺，白鷺，鵞鷺，鶴

Koñca ①〔王〕コーンチャ ②〔宮殿〕コーンチャ，鷺，蒼鷺

Koṭa ①〔ダミラ人〕コータ ②〔山〕③〔城〕

Koṭalla〔著作者〕コータッラ

koṭi ① コーティ，俱胝，俱底，一千萬 ② 終點

Koṭi〔村〕コーティ

koṭika〔植〕コーティカ

Koṭigāma コーティガーマ，拘利村

Koṭigāma-vagga 拘利村品 S 56 21～30

Koṭipabbata=Goṭapabbata 〔精舍〕コーティ山，コーティパッバタ

Koṭipassāvana〔精舍〕コーティパッサーヴ〔ナ〕

Koṭiyā purima-pañho 最初の始まりの問 Mil 2〔3〕3

Koṭisimbali-jātaka コーティシムバリ・ヂャータカ，綿樹頂本生物語 J 412

koṭṭaṭṭhi 肩〔胛〕骨

koṭṭāpeti 按摩せしむ

koṭṭeti 搗く

koṭṭha ①～koṭṭhaka 庫，藏庫，米倉，穀倉，穴藏 ②〔樹〕コッタ ③=koṭṭhaka〔鳥〕

koṭṭhaka ①～koṭṭha 庫，藏庫，穀倉，門屋，門戶 ②=koṭṭha〔鳥〕コッタカ

koṭṭhaka-kamma 木工業

Koṭṭhakabaddha〔瀑布〕コッタカバッダ

Koṭṭhabaddha〔堤〕コッタバッダ

Koṭṭhamālaka〔地名〕コッタマーラカ

Koṭṭhavāta〔地方〕コッタヴータ

Koṭṭhasāra〔ka〕〔村〕コッタサーラ〔カ〕

Koṭṭhā〔村〕コッター

koṭṭhāsaya-vāta 腹內風，下腹住風，腔處に在る風

Koṭṭhika ①=Koṭṭhita, Mahākoṭṭhita〔比〕拘瑟他迦 ②〔經〕拘瑟他迦 S 35 161～163

Koṭṭhiko〔經〕拘絺羅 S 35 191

Koṭṭhita ①=Mahākoṭṭhita, Koṭṭhika〔比〕拘絺羅，俱絺羅 ②〔經〕拘絺羅 S 22 133～135 ; A 9 13

Koṭṭhivāla〔郡〕コッティヴーラ

koṭṭhu〔動〕野干

koṭṭhu-suna コットゥ犲

Koṇāgamana ①〔過去七佛の一〕拘那含，拘那含牟尼，拘那伽牟那 ②〔經〕拘那含 S 12 8

Koṇāgamana bodhisatta 拘那含牟尼菩薩

koṇṭa 鐵面皮漢

koṇṭha 不具者

Koṇḍañña ①〔姓〕コンダンニャ，憍陳如，拘利若 ②〔佛〕コーンダンニャ，憍陳如 ③=Aññākoṇḍañña〔比，五比丘の一人〕コーンダンニャ，憍陳如 ④〔酒屋の小僧〕コーンダンニャ ⑤〔經〕憍陳如 S 8 9

Koṇḍivāta〔地方〕コンディヴータ

kotumbara=kodumbara〔衣〕コートゥンバラ

Kotumbara〔人〕コートゥンバラ

Kotumbariya〔比丘の譬喩經〕コートゥンバリヤ Ap 3 183

kotūhala 會式

kotūhala-maṅgala 瑞相，奇特瑞相
kotthaḷī 袋，袋物
Kotthumāla〔山〕コットゥマーラ
kodaṇḍa 弩
kodumbara=kotumbara〔衣〕コートゥンバラ
Koddhaṅgulikakedāra〔地名〕コッダングリカケーダーラ
kodha 忿，忿怒，瞋恚
Kodha〔章〕忿 A 8〔10〕4
kodhana 忿あり，忿ある，忿〔者〕，忿怒者，忿怒し易く，有忿，瞋恨〔者〕，瞋〔者〕
Kodhano〔經〕有忿 S 37 5
Kodhabhakkha〔夜叉〕食忿
Kodha-vagga ①忿品 A 2 16 ②忿怒品 Dhp 17 vv 221～234
kodhupāyāsa 忿惱，忿恚相，忿躁
kodhupāyāsin 忿惱者
kodho ca upanāho ca 忿と恨
Konāgamana〔佛，過去七佛の一〕コーナーガマナ，拘那含牟尼，拘那含，拘那伽寧那
Kontadisāvijaya 〔將軍〕コーンタディサーギチャヤ
Kontiputtatissa〔比〕コンタティッサ，拘多帝須
Kontimārā〔河〕コーンティマーラー
Kontī ①=Kuntī〔女〕コーンティ，拘多 ②〔緊那羅女〕拘多
Kondurva〔村〕コンドゥルヴ
kopa 忿，忿恨，忿怒，憤，憤怒，怒，怒氣，瞋恚
kopīna 陰所，圍腰子
Komāyaputta〔佛の前生〕コーマーヤプッタ
Komāyaputta-jātaka コーマーヤプッタ・チャータカ，コーマーヤプッタ婆羅門本生物語 J 299
komāraka 兒戲
komāraka-vejja 小兒醫，小兒科
komāra-brahmacariya 童子 無妻 梵行，童貞の梵行，童女梵行
komārabhacca 小兒醫師
Komārabhacca=Jīvaka〔小兒醫師〕コーマーラバッチャ
komārikā 處女，少女，童女
komudī コームディー，コームディーの滿月，滿月の夜，迦剌底迦月の滿月
Komba〔大臣〕コーンバ
koyaṭṭhi〔鳥〕コーヤッティ
Korakalamba〔婆〕コーラカランバ
Korakhattiya〔裸形沙門〕コーラカッティヤ，コーラ剎帝利種
koraṇḍa=koraṇḍaka〔華，樹〕コーランダ
koraṇḍaka=koraṇḍa〔樹〕コーランダカ
Koraṇḍaka ①〔村〕コーランダカ ②〔精舍〕
Koraṇḍakapupphiya〔比丘の譬喩經〕コーランダカプッピヤ Ap 3 422
Koraṇḍapupphiya〔比丘の譬喩經〕コーランダプッピヤ Ap 3 208, 490
Koravya〔王〕コーラヴヤ，拘牢婆，高羅婆
koriya〔樹〕コーリヤ
kola=kolaka〔果，樹〕コーラ，棗，棗果
Kola ①〔港〕コーラ ②〔池〕
kolaka=kola〔樹〕コーラカ
Kolaka コーラ人
kolaṅkola 家家
Kolaṅkolo ekabījī ti kathā 家家一種論 KV 12 6
kolaṭṭhi 棗の核，棗の種子
Koladāyaka〔比丘の譬喩經〕コーラダーヤカ Ap 3 439
kolamba 瓶，甕
Kolamba ①〔村〕コーランバ ②〔池〕③=コロンボ港
Kolambahālaka ①〔村〕コーランバハーラカ ②〔精舍〕
Kolika=Kolita, Moggallāna〔比〕コーリカ，拘律陀，拘離多
Kolita=Kolika, Moggallāna〔比〕コーリタ，拘利多，拘律陀，拘離多
Kolito〔經〕拘離多 S 21 1
Koliya ①=Koḷiya〔國，族〕コーリヤ，拘利 ②〔大臣〕コーリヤ
Koliya-putta=Kakudha 拘利耶子，拘羅子
Koliyavessa〔比丘の譬喩經〕コーリヤヹッサ，二十億 Ap 3 42
Koḷabhinna〔河〕コーラビンナ

Koḷiya=Koliya〔國，族〕コーリヤ，拘利
Koḷiya-putta=Koliyaputta, Kakudha コーリヤプッタ，コーリヤ人，拘羅子
Koḷuvukkoṭṭa ①〔地名〕コールヴッコッタ ②〔堡壘〕
Koḷuvura〔村〕コールヴラ
Koḷūru〔地方〕コールール
koviḷāra=kuviḷāra, pāricchattaka〔樹〕コーギラーラ，拘鞞陀羅，倶毘陀羅，倶毘羅，黒檀
Koviḷāra〔村〕コーギラーラ
kosa〔里程〕コーサ，倶盧舍，拘盧舍
Kosa〔ka〕vagga〔地名〕コーサ〔カ〕ヴッガ
kosa-kāraka 蠶繭，蠶，養蠶家
kosakāraka-kosa 蠶の繭
kosajja 懈怠，放逸*
kosamba〔果〕倶舍菴婆
Kosambaka-upāsaka 拘睒彌の優婆塞
Kosambakkhandhaka 拘睒彌犍度 V 2 a 10
kosamba-labuja〔樹〕コーサンバラブヂャ
Kosambika〔王〕憍賞彌迦
Kosambiya-sutta コーサンビヤ・スッタ，憍賞彌經 M 48
Kosambī ①〔都〕コーサンビー，憍賞彌，拘睒彌 ②〔經〕憍賞彌 S 12 68
Kosambī-jātaka コーサンビー・ヂャータカ，憍賞彌本生物語 J 428
Kosala ①〔國，十六大國の一〕コーサラ，拘薩羅，憍薩羅 ②〔王〕コーサラ，憍薩羅 ③〔辟〕コーサラ ④〔經〕拘薩羅 S 48 51；A 10 29, 30
Kosalaka ① 拘薩羅量 ② 拘薩羅〔國〕人
Kosala-devī〔波斯匿の姉妹，頻婆娑羅の妃〕コーサラデーギー，拘薩羅夫人
Kosala-brāhmaṇa-gāma 拘薩羅婆羅門村
Kosala-rājan 拘薩羅王
Kosala-saṁyutta コーサラ・サムユッタ，拘薩羅相應 S 3 1～25
kosalla 善巧
Kosalla-vihārin〔比〕拘薩羅住
kosātakī～kosātikī〔樹，蔓草〕コーサータキ，拘舍怛祇，胡蘆
kosātikī～kosātakī〔蔓草〕コーサーティキー
kosārakkha 理財官
kosika, kosiya 梟
Kosika ①=Kosiya 憍尸迦，拘翼，帝釋 ②〔佛〕憍尸迦 ③〔山〕憍尸迦 ④=Kosiya〔姓〕コーシカ，憍尸迦
Kosikī〔河〕コーシキー
Kosigotta=Kosiyagotta〔比〕コーシ姓
kosiya ① 梟 ②=koseyya 絹絲，絹布，絹，絹織，絹衣，野蠶衣，憍奢耶，憍賖耶
Kosiya ①=Kosika〔佛〕コーシヤ，憍尸迦 ②=Kosika〔姓〕コーシヤ ③=Kosika コーシヤ，憍尸迦，拘翼，帝釋 ④〔比〕コーシヤ ⑤〔傳◦仙，須菩提の前生〕拘私夜 ⑥〔仙〕コーシヤ，拘私夜 ⑦〔人〕コーシヤ，拘私夜 ⑧=Macchariya-Kosiya〔長者，司財官〕コーシヤ，拘私夜 ⑨=Kosiyagotta〔婆〕コーシヤ ⑩〔山〕憍尸迦
kosiya-kāraka 養蠶家
Kosiyagotta〔婆〕コーシヤゴッタ
Kosiya-jātaka ① コーシヤ・ヂャータカ，コーシヤ女本生物語 J 130 ② コーシヤ・ヂャータカ，梟本生物語 J 226 ③ コーシヤ・ヂャータカ，拘私夜長者本生物語 J 470
Kosiya-vagga ① 蠶綿品 ② 梟品 J 261～270
Kosiyā〔女〕コーシヤー
Kosiyāyanī〔女〕コーシヤーヤニー
kosī 鞘
Kosumbaphaliya〔比丘の譬喩經〕コースンバパリヤ Ap 3 510
kosumbha=kusumbha〔樹，花〕コースンバ，紅藍，赤花
koseyya=kosiya コーセッヤ，憍奢耶，憍賖耶，絹，絹絲，絹織，絹衣，絹布，野蠶衣
koseyya-sukhuma 憍奢耶細衣
kosohita 陰處
kosohita-vatthaguyha 陰馬藏，陰馬藏相，馬陰藏，陰處は覆被に隱さる，布もて覆ふべきものは陰藏せらる〔三十二相の一〕
Kohomba〔村〕コーホーンバ
Kyāna〔村〕キャーナ，クヤーナ

khagga ① 劍，劔，寶劍，刀，剪刀 ② 犀
khagga-gāha 持劔者
khagga-visāṇa 犀角，犀の角
khaggavisāṇa-kappa 犀角の如く
Khaggavisāṇakappa-sayambhū 麟角喩獨存
Khaggavisāṇa-sutta 犀角經 Sn 1 3
Khaggavisāṇasutta-niddesa 犀角經の義釋 CNd 2 19
khajjaka 硬食，菓子
Khajjakadāyaka 〔比丘の譬喩經〕カッヂャカダーヤカ Ap 3 163
khajjaka-bhājaka～khajja-bhājaka 分嚼食人，分餅人
Khajjaniya-vagga 所食品 S 22 73～82
Khajjanīyaka-suttanta 應瞰經
khajja-bhājaka～khajjaka-bhājaka 分瞰食人，分嚼食人，硬食分配者
khajjura 〔樹〕カッヂュラ
khajjurī～khajjūri 〔樹〕渴樹羅
Khajjūrakavaḍḍhamāna 〔池〕カッヂューラカヴッダマーナ
khajjūri～khajjurī 〔樹〕カッヂューリ
khajjota 螢
Khajjota 〔河〕カッヂョータ
khajjopanaka 螢火，螢光，螢
Khajjopanaka-jātaka カッヂョーパナカ・ヂャータカ，螢本生物語 J 364
Khajjopanaka-pañha 螢火問〔答〕～前項
khañja 跛，跛者，跛足，足疾者，傴僂*
khañjati 跛す
Khañjadeva 〔戰士〕カンヂャデーヴ
khaṭakhaṭa-sadda 喧騷の聲
khaṇa ① カナ，利那，寸時，瞬時，時節 ② 不難～akkhaṇa
khaṇanta 球根
khaṇa-paccuppanna 利那現在
khaṇa-bhaṅga 利那滅
Khaṇa-laya-muhutta-kathā 利那頃刻須臾論 KV 15 4
khaṇika 利那的
Khaṇika-kathā 利那論 KV 22 8
khaṇika-maraṇa 利那死
khaṇika-samādhi 利那定
khaṇikā pīti 利那喜
khaṇḍa 毀壞
Khaṇḍa 〔毘婆尸佛の第一弟子〕カンダ，騫荼
Khaṇḍaka 〔沙彌〕騫荼
Khaṇḍakavitthika 〔村〕カンダカギッティカ
Khaṇḍa-cakka 〔章〕斷片章，分斷章
Khaṇḍadeva 〔比〕カンダデーヴ，揵陀提婆
Khaṇḍadeviyā 〔比〕カンダデーギヤー，騫馱達多
Khaṇḍadeviyā-putta 〔提婆の徒，比〕カンダデーギヤープッタ，騫陀毘耶子，騫馱達多，乾陀驃
Khaṇḍarāja 〔精舍〕カンダラーヂャ
Khaṇḍarāji 〔村〕カンダラーヂ
Khaṇḍavagga 〔地名〕カンダヴッガ
Khaṇḍasīmā 〔道場〕カンダシーマー
Khaṇḍasumana 〔比〕カンダスマナ
Khaṇḍahāla 〔司祭〕カンダハーラ
Khaṇḍahāla-jātaka カンダハーラ・ヂャータカ，カンダハーラ司祭官本生物語 J 542
khaṇḍākhaṇḍika 丸太
Khaṇḍi 〔村〕カンディ
Khata-upahata 〔經〕損害 A 10 214
khatta 守衞
khatta-dhamma 統治の法
khattavijja-vādin 利己論者
khatta-vijjā 利帝利明
khattiya ① 利帝利種，利帝利族，利帝利，王族 ② 〔調〕象行，利帝利たること
Khattiya 〔經〕利帝利 S 1 14
Khattiya-kaññā-vagga 利帝利童女品 Ap 4 31～40
khattiya-kula 利帝利家，利帝利種
khattiya-jāti 利帝利種
khattiya-parisā 利帝利衆，王族會〔八衆の一〕
khattiya-manta 利帝利の學
khattiya-muddhāvasitta-rājan 利帝利灌頂王
khattiyābhiseka 利帝利卽位灌頂
khattiyī 利帝利女

khadira 〔堅木，樹〕カディラ，軻地羅，朅地羅，佉提羅，カヂラ，アカシヤ
Khadira 〔經〕佉提羅 S **56** 32
Khadiraṅgaṇi 〔要塞〕カディランガニ
khadiraṅgāra カディラ炭〔火〕
Khadiraṅgāra-jātaka カディランガーラ・ヂャータカ，カディラ樹炭火本生物語 J 40
Khadiraṅgāra-pariyāya 〔經〕カディラ炭火の法門～前項
Khadiravaniya ①〔鳥〕カディラヴニヤ ②＝Revata〔比〕カディラ林住者
Khadiravaniya Revata 朅地羅林の隷婆哆〔比丘の譬喩經〕Ap 3 9
Khadirāḷi 〔精舍〕カディラーリ
khantar 忍者，能忍者
khanti 忍，忍辱，堪忍，忍耐，所忍，信忍，信仰
khanti ca soraccañ ca 堪忍と可樂，忍辱柔和
khanti-ñāṇa 忍智
khanti-pāramī 忍波羅蜜，堪忍波羅蜜〔十波羅蜜の一〕
khanti-bala 忍辱力，忍力
khantiyaṁ ānisaṁso 忍辱の功德
Khantivaṇṇaka-jātaka カンティヴンナカ・ヂャータカ，堪忍禮讃者本生物語 J 225
khanti-vāda 忍辱の說者，堪忍宗
Khantivādi-jātaka カンティヴーディ・ヂャータカ，堪忍宗本生物語，忍辱主義者本生話 J 313
khanti-vādin 堪忍宗
Khantivādin 〔行者〕カンティヴーディー，堪任宗
khanti-saṁvara 忍律儀
khanti-suñña 忍空
khanti-soracca 忍辱柔和，堪忍可樂
Khandaphulliya〔比丘の譬喩經〕カンダプッリヤ Ap 3 193
Khandāvara〔家〕カンダーヴラ
khandha 蘊
Khandha ①〔毘婆尸佛の第一弟子〕カンダ②〔經〕蘊 S **18** 10, 20; **22** 48; **45** 178; **56** 13
Khandhaka カンダカ，犍度，犍度部〔律藏〕V 2 a～b
Khandhakapucchā-vāra 問犍度章 V 3 5
khandhaja 寄生木
Khandha-niddesa 蘊の解釋 VM **14**
Khandha-paññatti 蘊施設
Khandha-paritta 蘊護呪
khandha-bīja 莖の種子，莖種，幹より生ずる種子，樹種子
khandha-bhāra 蘊重擔，肩荷
khandhamūlaphala-bhojana 莖・根・果を食とする者
Khandha-yamaka 蘊雙論，蘊雙 Y 2
khandha-rasa 幹味
Khandha-vagga カンダ・ヴッガ，犍度篇，蘊品 S **22**～**34**
Khandhavagga-saṁyutta 蘊品相應～前項
Khandhavatta-jātaka カンダヴッタ・ヂャータカ，犍度本生物語 J 203
Khandha-vibhaṅga 蘊分別 Vibh 1
Khandha-saṁyutta カンダ・サンユッタ，蘊相應 S **22** 1～158
khandha-saṁgaha 蘊聚
khandhānaṁ udayabbayo 蘊〔法〕の生と滅，蘊の生滅，蘊の起滅
Khandhāvārapiṭṭhi カンダーヴーラピッティ，陣營案
Khandhena〔經〕蘊 S **25** 10; **26** 10; **27** 10
khamanīya 諸事便安
khamā paṭipadā 堪忍行〔四行の一〕
khamāpeti 悔過す
khambha-kata 手を腰に當て肘を張る，叉腰して
Khambhakata-vagga 扠腰品 V **1** a 7, 21～30
khaya 盡，盡滅，滅盡
Khaya ①〔經〕盡法 S **23** 19 ②〔經〕盡 S **23** 31, 43; **46** 26 ③〔經〕破壞 S **35** 39
khaya-dhamma 盡法，盡滅法，滅法，滅盡の法，破壞の法
khaya-dhammatā 壞法性，盡法性
khaya-virāga 盡滅離貪
khayānupassanā 盡觀，盡滅隨觀，滅觀，滅隨觀

khaye ñāṇaṁ 盡智
khaye ñāṇaṁ anuppāde ñāṇaṁ 盡智と無生智
khara 驢馬
Khara〔夜叉〕カラ，佉羅，粗皮
khara-kambala 粗毛の欽婆羅衣
Kharadāṭhika〔夜叉〕カラダーティカ，剛牙
khara-bhāva 固性
kharapatta〔樹〕カラパッタ
Kharaputta-jātaka カラプッタ・ヂャータカ，驢馬子本生物語 J 386
khara-mukha 大螺貝
Kharaloma〔夜叉〕カラローマ，粗毛，粗皮，佉羅
Kharassara-jātaka カラッサラ・ヂャータカ，騒音本生物語 J 79
kharājina 粗き獣皮衣，硬皮衣，獣皮服
Kharādiya〔鹿〕カラーディヤ
Kharādiya-jātaka カラーディヤ・ヂャータカ，カラーディヤ鹿本生物語 J 15
khari-gata 堅性，固態
khalaṅka 駻馬，未調馬
Khalatika〔山〕カラティカ
khala-mūsikā 床蝨
Khalātya-petavatthu 禿頭鬼事 Pv 1 10
khalikā 骰子投げ，骰投げ，骰子
khalu〔鳥〕カル
Khaluggata〔傳◦轉輪王〕カルッガタ
khaluṅkajjhāyita 未調馬の靜慮
khalupacchābhattika 時後不食者，不重受食者，不後食行者，不後食者
khalupacchābhattikaṅga 時後不食支
khalupacchābhattin 不重受食者，時後不食者，不後食行者
khallaka 鞾
Khallāṭanāga〔王〕カッラータナーガ
Khaḷuṅka〔經〕未調馬 A 9 22
Khaḷuṅkena〔經〕未調馬 A 8 14
khāṇu 切株，木株，樹株，株，杌株，杙，橛
Khāṇukoṇḍañña〔比〕カーヌコンダンニャ，羯那憍陳如，佉奴憍陳那
khāṇughāta 木樵
Khāṇumata=Khānumata〔村〕佉㝹婆提
khādati piṭṭhi-maṁsaṁ 背肉を喰ふ
khādana 可食物
khādaniya 噉食，硬食，嚼食，堅食，嚙むべきもの
khādaniya bhojaniya 硬軟の食
Khānu ①〔ダミラ人〕カーヌ ②〔村〕③〔池〕
Khānumata=Khāṇumata〔村〕カーヌマタ，佉㝹婆提
khāra アルカリ性，アルカリ水，灰汁，加里
khāraka 蕾
Khāra-nadī 灰河
khāra-lavaṇa 加里鹽
khārāpatacchika 灰汁刑
khāri, khārī〔量〕カーリ，カーリー，佉梨，石
khārika アルカリ，苛
khārikāja=khāribhāra 擔荷
khārī=khāri〔量〕カーリー
khārūdaka アルカリ水
Khārodaka-nadī 灰河地獄
khiḍḍā 戯
khiḍḍā-dasaka 戯十年
khiḍḍā-padūsika 戯笑，戯耽
Khiḍḍāpadūsika〔天〕キッダーパドゥーシカ，乞陀波頭灑，戯耽，戯忘
Khitaka〔比〕キタカ
khitta-citta 心散亂者，心錯亂者，心亂者，亂心者，喪心者，喪心人
khipa〜khippa 網
khipita 嚔，噴嚔
khippa〜khipa 網
khipanā 嘲笑
khippatta 利根
khippa-nisanta 速かなる諦察忍
khippa-nisanti 速疾に察忍す
khippābhiñña 速通者，速疾神通者
khippābhiññā 速疾神通，速神足
khila ① 礙，栽，頑固，蕪心，荒野〔三種〕② 〜khīla 橛柱，柱，杙，標杭
khila-jāta 不氣嫌
Khilā ①〔經〕礙 S 45 166 ②〔經〕栽 A 10

14
khīṇa-vāda 私語
khīṇā jāti 生は已に盡き，生は盡き，生は盡きたり，生已に盡き
khīṇāsava 漏盡き，漏盡，諸漏盡き，諸漏已に盡き，諸漏を滅せる者，漏盡者
khīṇāsava bhikkhu 漏盡比丘，漏盡の比丘
Khīṇāsavānaṁ abhaya-pañho 漏盡者は無怖畏なりやの問 Mil 4〔5〕7
khīyati 嫌瞋す
khīya-dhamma 不平
khīya-dhammaṁ āpajjati 嫌瞋す
khīra 乳，牛乳
Khīra〔村〕キーラ
Khīraṁ〔經〕乳 S **15** 4
Khīra-dāyika-vimāna 乳施者天宮
khīrapaṇṇin〔樹〕乳葉
Khīrapāla〔林，樹〕キーラハーラ
khīra-rukkha 乳樹，護謨の樹
Khīrarukkhena〔經〕乳樹にて S **35** 190
khīravaṇṇa〔sukka〕乳色精
Khīravāpika〔村〕キーラヴーヒカ
khīrassa dāyikā 授乳者，哺乳母，乳哺母
khīrodakī-bhūta 乳水の如く，水乳の如く，乳水和合，乳と水との如く，乳と水との合して存するが如く，乳水和合し，水と乳との如き性
khīrodana 乳飯
khīla 標杭，柱，杙，横柱
khuṁseti 悪口す
khujja～kujja 佝僂，傴僂，侏儒
Khujjanāga＝Cūḷanāga〔王〕クッヂャナーガ
Khujjasobhita〔第二結集比丘〕クッヂャソービタ，屈闍須毘多，級闍蘇毘多，不闍宗
Khujjuttarā〔夷，多聞第一〕クッヂュッタラー，拘讐多羅，久壽多羅
khudda 饑，飢
khuddaka 小事
Khuddaka〔人〕クッダカ
khuddaka-ghara 小屋
Khuddakañcakuṇḍa＝Cullakañcakuṇḍa〔ダミラ人〕クッダカンチャクンダ
Khuddakatissa〔比，マンガナ住者〕クッダカティッサ
Khuddaka-nikāya〔經〕小部 Khuddaka 1～15
khuddaka-patta 小鉢
khuddaka-paḷibodha 小障礙
Khuddaka-Pāṭha クッダカ・パータ，小誦經 Khuddaka 1
khuddaka-pāṇa 小蟲
Khuddaka-bhāṇaka 小部誦者
khuddakarāja-māsamugga 小王豆
khuddaka-vatthuka 小事
Khuddakavatthukkhandhaka 小事犍度 V 2 b 5
Khuddakavatthu-vibhaṅga 小事分別 Vibh **17**
khuddaka-sikkhāpada 小學處
khuddaka〔-sīla〕小戒，小事戒
khuddakā pīti 小喜
Khuddatissa〔比，マンガナ住〕クッダティッサ
Khuddanāga〔王〕クッダナーガ
Khuddapārinda〔王〕クッダパーリンダ
khuddapupphi〔樹〕クッダプッヒ
khuddamālaka〔植〕クッダマーラカ
Khuddarūpī〔王女〕クッダルーピー
Khuddavālika〔村〕クッダヴーリカ
Khuddānukhuddaka-pañho 小隨小學處の問 Mil 4〔2〕1
khuddānukhuddaka-sikkhāpada 小小戒，小小學處，小隨小の學處，細隨細の學處，微細の學處
khuddikā pīti, khuddakā pīti 小喜
Khuppipāsa〔地獄〕飢渇
Khuppipāsahata〔餓鬼〕クッピパーサハタ＝飢渇餓鬼
khuppipāsā ① 飢渇 ②〔地獄〕
khuppipāsin 飢渇餓鬼
khura 剃刀，剃刄～カミソリ
khura-kāsa 跑走
khura-kosa 剃刀鞘
khura-cakka 剪刀の輪
khura-dhāra 剃刀の刄
Khuradhāra〔地獄〕クラダーラ

Khuradhārā クラダーラー，劍波海
khurappa〔箭〕クラッパ，尖箭
Khurappa-jātaka クラッパ・ヂャータカ，箭本生物語 J 265
khura-bhaṇḍa 刀具，剃
Khuramāla〔海〕クラマーラ
khura-sipāṭikā 刀嚢
khura-silā 刮刀
khetta 田，畑，田畑，耕田，del土
Khetta〔經〕田 S 56 91；A 8 34
khetta-kammanta 田地の作業
khetta-jina 田の勝者
khettaṭṭha 田中物
khetta-pāla 畑の番人
khetta-vatthu 田地
khettavijjā-sippa 田相術
khettānam pati 農場の主
Khettūpamā-petavatthu 福田鬼事 Pv 1 1
khema 安穩
Khema ①＝Khemaka〔比〕ケーマ ②〔相承比丘〕ケーマ，差摩，企摩 ③〔王，佛の前生〕ケーマ，安穩 ④〔傳◦王〕安和 ⑤〔天子〕ケーマ，差摩 ⑥〔獵師〕ケーマ ⑦＝Khemaka〔都〕ケーマ，安穩 ⑧＝Khemavatī〔都〕ケーマ ⑨〔園〕ケーマ ⑩〔池〕ケーマ ⑪〔經〕差摩 S 2 22；22 89 ⑫〔經〕安穩 S 43 28；A 9 52
Khemaka ①＝Khema〔比〕ケーマカ，差摩 ②〔釋種〕差摩 ③ ケーマカ＝ケーマ獵師 ④＝Khema〔都〕ケーマカ
khemagāmi-magga 安穩に達するの道
Khemaṁkara〔尸棄佛の侍者〕ケーマンカラ，作安穩，忍行
khemanta 安穩
khemanta-bhūmi 安穩地
khemappatta 安穩逮得者
Khemappatta〔經〕安穩逮得者 A 9 53
Khema-migadāya ケーマ鹿園，安樂鹿野苑
Khema-vagga 安穩品 A 9 52〜62
Khemavatī＝Khema〔都〕ケーマヴティー，安和，有安穩
khema-vācā 安穩の語
khema-vitakka 安穩の尋思
khema-sara 靜穩の池
Khemā ①〔ダンマダッシー佛の第一比丘尼〕ケーマー，安穩 ②〔尼，智慧第一〕ケーマー，讖摩，差摩〔譬喩經〕Ap 4 18 ③〔夷〕ケーマー，差摩 ④〔王妃〕ケーマー，讖摩，差摩 ⑤〔河〕ケーマー
Khemātherī〔經〕讖摩長老尼 S 44 1
Khemābhirata〔辟〕ケーマービラタ
Khemārāma ケーマーラーマ，和睦精舍
Khemiya〔天〕ケーミヤ，差摩
Khemiyambavana ケーミヤ菴婆園
kheḷa 唾，唾液，痰唾，痰*〔三十二身分の一〕
kheḷa-piṇḍa 唾團，痰塊
kheḷa-mallaka 唾壺
kheḷāsika 痰を食ふ者*
khoma コーマ，芻麻，劫芻麻衣，亞麻，亞麻衣，麻，麻布，麻織，麻衣
Khomadāyaka〔比丘の譬喩經〕コーマダーヤカ Ap 3 30
Khomadussa ①〔村〕コーマドゥッサ ②〔經〕コーマドゥッサ邑 S 7 22
khoma-pilotikā 芻摩衣
khoma-sukhuma 芻摩細衣
khoma-sutta 亞麻絲，麻絲
Kholakkhiya〔尊像〕コーラッキヤ

Gaṁdhara (A), Gaṁdhāla (A)=Gandhāra〔國〕ガンダーラ

Gagga ①〔比〕ガッガ, 伽伽 ②〔鴦掘摩の父, 婆〕ガッガ, 伽伽 ③〔夜叉〕ガッガ

Gagga-jātaka ガッガ・ヂャータカ, ガッガ婆羅門本生物語 J 155

gaggama〔樂器〕ガッガマ

Gaggara=Cūḷagaggaraka〔園〕ガッガラ

Gaggarā ①〔池〕ガッガラー, 伽伽, 伽伽羅, 掲伽, 恒伽, 迦迦 ②〔經〕伽伽羅池 S 8 11

gaggarī 鞴

Gaggali〔村〕ガッガリ

Gaṅgaṇa〔國〕ガンガナ, 恒伽那

Gaṅgamāla〔理髪師〕ガンガマーラ

Gaṅgamāla-jātaka ガンガマーラ・ヂャータカ, 理髪師ガンガマーラ本生物語 J 421

Gaṅgasenaka-pabbata〔精舍〕ガンガセーナカ山

Gaṅgā ①〔五河の一〕ガンガー, 殑伽, 恒河, 恒伽 ②〔セイロン島の河〕ガンガー=マハーガンガー ③〔園〕ガンガー ④〔經〕恒河 S **15** 8

Gaṅgāgiri=Gaṅgāsiri〔都〕ガンガーギリ

Gaṅgātaṭāka=Gaṅgātaḷāka〔地名, 村〕ガンガータターカ

Gaṅgātīriya bhikkhu 恒河岸住比丘

Gaṅgādoṇi〔山〕ガンガードーニ

gaṁgā-pupuṭaka〔魚〕ガンガーフフタカ

Gaṅgā-peyyāla〔品〕恒河廣說

Gaṅgā Bhāgirasī=Gaṅgā〔河〕恒河婆擬羅

Gaṅgāmāti〔精舍〕ガンガーマーティ

Gaṅgāya vālukā 恒河の沙, 恒伽の砂

Gaṅgārāma〔精舍〕ガンガーラーマ

Gaṅgārohaṇa-sutta=Ratana-sutta ガンガーローハナ經

Gaṅgeyya-jātaka ガンゲーヤ・ヂャータカ, 恒伽魚本生物語 J 205

gaccha 草原

gaja 象

Gajakumbha-jātaka ガヂャクンバ・ヂャータカ, 龜本生物語 J 345

Gajabāhu ①=Gajābāhuka-gāmani〔王〕ガヂャバーフ ②=Gajabhuja〔二世王〕③〔印度本土の將軍〕

Gajabhuja=Gajabāhu II〔王〕ガヂャブヂャ

Gajābāhuka-gāmani=Gajabāhu〔王〕ガヂャーバーフカガーマニ

gajjita ca vassita ca 鳴り又雨らす人

gajjita no vassita 鳴りて雨らさざる人

gaṇa ガナ, 伽那, 團隊, 衆, 衆人, 衆社, 會衆, 組合, 群, 別衆

gaṇaka 計算者, 算數家, 算數者, 司暦官, 主財官

gaṇaka-mahāmatta 主藏大臣, 主計

Gaṇaka-Moggallāna〔婆, 塞〕算數家目犍連

Gaṇakamoggallāna-sutta ガナカモッガッラーナ・スッタ, 算數家目犍連經 M **107**

gaṇakī 村主婦

gaṇana-saṅgaha 數所攝

gaṇana-sippa 算術

gaṇanā 計算, 算數, 計數, 算術, 數

Gaṇa-petavatthu 群集鬼事 Pv 4 10

gaṇa-bhojana 別衆食, 別衆食戒, 衆食

gaṇa-sāmaggī 衆和合

gaṇācariya 群集の師, 群の師

gaṇā vavassaggo 群を捨離す

gaṇika 數學

gaṇikā 婬女, 遊女, 娼婦

gaṇin 教團の元首, 衆主, 伽那主

Gaṇin〔鹿〕ガニン

gaṇe uposatho 別衆布薩

gaṇe pavāraṇā 別衆自恣

Gaṇṭhamba〔渡〕ガンタンバ

gaṇṭhi ① 結處 ②〔花〕ガンティ

gaṇṭhika 頸飾

gaṇṭhika-phalaka 紐板

gaṇṭhikā ① 紐 ② ガンティカー木製

Gaṇṭhipupphiya〔比丘の譬喩經〕ガンティフッピヤ Ap 3 129

Gaṇṭhimāna〔村〕ガンティマーナ

gaṇḍa 癰, 癰病, 腫, 腫物, 瘡, 癌, 膿腫

Gaṇḍa ①〔王園長〕ガンダ ②〔經〕癰 A 9 5

Gaṇḍatinduka-jātaka ガンダティンドゥカ・ヂャータカ，結節鎮頭迦樹神本生物語 J 520
gaṇḍa-mattikā 蚯蚓糞土
gaṇḍa-mūla 苦根
gaṇḍamba〔樹〕ガンダンバ，ガンダ菴婆，揵吒菴羅
Gaṇḍālādoṇī-ārāma〔精舎〕ガンダーラードーニーアーラーマ
gaṇḍika 癰〔者〕，膨病者
gaṇḍiya～gaṇḍika 皮膚病〔者〕
gaṇḍī 銅鑼
gaṇḍuppādaka ガンドゥッパーダカ，腫脹を起す虫
gaṇḍuppāda-pāṇa 蚯蚓
gatapaccāgata 往還〔布〕
gatapaccāgatena dūtena〔mārāpeti〕往來使殺
Gatasaññaka〔比丘の譬喩經〕ガタサンニャカ Ap 3 82, 313
gati 趣〔五種〕
Gati〔經〕趣 A 9 68
gatika 交友
Gati-kathā 趣論 Pṭs 1 6；KV 8 1
gati-nimitta 趣相
Gatipacchedana〔傳・轉輪王〕ガティパッチェーダナ
gathita 繋縛
Gaddula〔經〕繋繩 S 22 99, 100
gaddha-bādhi 鷹師，鷹飼
gadrabha 驢，驢馬
Gadrabha-pañha ガドラバ・パンハ，驢馬問〔本生物語〕J 111
Gadhara A =Gandhāra〔國〕ガンダーラ
gantar 行者，能行者
gantha ① 繋，繋縛，結縛〔四種〕② 經偈，聖典，典籍，讀書
Gantha〔經〕繋 S 45 174
ganthaganthaniyaduka-kusalattika 繋順繋二法善三法 Duka-tika 50
ganthaganthasampayuttaduka-kusalattika 繋繋相應二法善三法 Duka-tika 51
gantha-gocchaka 繋聚
gantha ceva ganthaniya ca dhamma 繋順繋法，繋法にして順繋なる
Gantha-ceva-ganthaniya-duka 繋順繋二法 Duka **29**
Gantha-ceva-gantha-sampayutta-duka 繋繋相應二法 Duka **30**
gantha ceva gantha-sampayutta dhamma 繋繋相應法，繋法にして繋相應なる
gantha c'eva dhamma ganthaniya ca 繋法にして順繋なる，繋順繋法
gantha c'eva dhamma gantha-sampayutta ca 繋法にして繋相應なる，繋繋相應法
Gantha-duka 繋二法 Duka **26**
ganthaduka-kusalattika 繋二法善三法 Duka-tika 47
gantha dhamma 繋法，縛法
ganthaniya c'eva dhamma no ca gantha 順繋法にして非繋なる
ganthaniya ceva no ca gantha dhamma 順繋非繋法
Ganthaniya-duka 順繋二法 Duka **27**
ganthaniyaduka-kusalattika 順繋二法善三法 Duka-tika 48
ganthaniya dhamma 順繋法
Ganthavippayutta-ganthaniya-duka 繋不相應順繋二法 Duka **31**
ganthavippayuttaganthaniyaduka-kusalattika 繋不相應順繋二法善三法 Duka-tika 52
gantha-vippayutta-ganthaniya dhamma 繋不相應順繋法，繋不相應法にして順繋なる
gantha-vippayutta dhamma 繋不相應法
gantha-vippayutta dhamma aganthaniya 繋不相應法にして不順繋なる
gantha-vippayutta dhamma ganthaniya 繋不相應法にして順繋なる，繋不相應順繋法
gantha-sampayutta 繋相應
gantha-sampayutta c'eva dhamma no ca gantha 繋相應法にして非繋なる，繋相應非繋法
gantha-sampayutta ceva no ca gantha-dhamma 繋相應非繋法，繋相應法にして非繋なる

Ganthasampayutta-duka 繫相應二法 Duka 28
ganthasampayuttaduka-kusalattika 繫相應二法善三法 Duka-tika 49
gantha-sampayutta dhamma 繫相應法
Ganthākara〔精舍〕ガンターカラ，文源
ganthika 即興詩人
gandha 香，芳香，薫香，香料，塗香
Gandhaka ガンダ人，揵陀人
gandha-kathā 香論，香料論，香料の話，塗香論〔無用論の一〕
gandha-karaṇḍaka 香篋
gandha-kuṭī 香室，香房，香殿，佛房
gandha-gandha 香香
Gandhajāti-kathā 香氣論 KV 18 4
gandha-taṇhā 香愛
gandhatthena 香の盗人，香盗人
gandha-thūpa 香塔，香の塔婆
Gandhathūpiya〔比丘の譬喩經〕ガンダトゥーピヤ Ap 3 331
gandha-dhātu 香界
gandha-dhura 聖典研究
gandhana-palibodha 香料障礙
gandha-pañcaṅgulika 五指香印
Gandhapūjaka〔比丘の譬喩經〕ガンダプーヂャカ Ap 3 457
gandhabba ① ガンダッバ，乾達婆，乾闥婆，乾闥婆鬼，揵闥婆，音樂神 ② 音樂師，音樂 ③ 香陰
Gandhabba〔人〕ガンダッバ
gandhabba-kāya 乾闥婆界，乾闥婆身，揵闥婆界
Gandhabbakāya-saṁyutta ガンダッバカーヤ・サンユッタ，乾達婆相應 S 31 1～112
gandhabbakāyika deva 乾達婆天
gandhabbatta 揵闥婆界
gandhabba-nagara 蜃氣樓，乾闥婆城
gandhabba-putta〔音樂神〕乾闥婆の子，乾闥婆子，揵闥婆子
gandhabba-bhavana 揵闥婆界
gandhabba-rāja 乾闥婆王
gandhabba-hatthaka 乾闥婆掌
gandhabba-vata 揵闥婆務
gandhabba-vatika 揵闥婆務者
gandhabbī 乾闥婆女
gandha-bhoga 香樂
Gandhamādana ガンダマーダナ，揵陀摩羅，香醉山
Gandhamāliya〔比丘の譬喩經〕ガンダマーリヤ Ap 3 95
Gandhamutthiya〔比丘の譬喩經〕ガンダムッティヤ Ap 3 373
Gandhara〔山〕ガンダラ
gandha-rasa 香味
Gandha-vilepana〔經〕薫香塗香 S 56 80
gandha-sañcetanā 香思
gandha-saññā 香想
gandhasīla〔植〕ガンダシーラ
gandhāpaṇa 香店（佛の）
gandhāpaṇika 香商人
gandhāyatana 香處
Gandhāra ①〔國，十六大國の一〕ガンダーラ，健陀羅，健駄羅，健駄邏，揵陀羅，乾陀羅 ②〔王〕揵陀羅 ③〔道士〕健陀羅 ④〔辟〕ガンダーラ
Gandhāra-jātaka ガンダーラ・ヂャータカ，健陀羅王本生物語 J 406
Gandhāra-vagga 健陀羅品 J 406～416
Gandhārī〔呪〕ガンダーリー，建駄梨
gandhika 香商
gandhūpahāra 香持現
gandhodaka 香水
Gandhodaka〔比丘の譬喩經〕ガンドーダカ Ap 3 54
Gandhodaka-vagga ガンドーダカ品 Ap 3 331～337
Gandhodākiya〔比丘の譬喩經〕ガンドーダーキヤ Ap 3 124
gabbha ① 胎，母胎，胞胎，胎兒 ② 内室，幽室，房
gabbhaṁ gaṇhati 妊娠す
gabbha-karaṇa 懐妊術
gabbha-karaṇīya 懐妊術者
gabbhapātana 墮胎

gabbhavipattimūlaka dukkha 墮胎に由る苦
gabbha-seyya 母胎，胎兒
gabbhaseyyaka 胎生者
gabbhaseyyaka-satta 胎生有情，胎生の有情
gabbhāvakkanti 入胎〔四種〕
Gabbhhāvakkanti-pañho 入胎の問 Mil 4〔1〕6
gabbhinī 懐姙〔者〕，懐姙せる女，懐胎者，懐胎女，姙婦，妊婦，妊娠〔者〕，妊娠せる者
Gabbhinī-vagga 姙婦品 V **1** b 4，61～70
gabbhokkantimūlaka dukkha 入胎に由る苦
gamanānuyoga 使に行く
gamanī narī 辻女
gamanīya 隱夫，密夫
gamika 去る人
Gamika〔人〕ガミカ
gamika-bhatta 出發者食，出て行く人の食物
gamika-bhikkhu 遠行比丘
gamikānaṁ bhikkhūnaṁ vattaṁ 遠行比丘の儀法
Gamiṭṭhavāli〔精舎〕ガミッタヴーリ
gamiya 密夫，隱夫
gambhīra ① 甚深，深，深し ② 深音〔八音の一〕
Gambhīra ①〔港〕ガンビーラ ②〔河〕ガンビーラ ③〔經〕深 S **55** 65
gambhīra-kathā 甚深の談
gambhīra〔kūpa〕深坑
Gambhīracārin〔頓〕ガンビーラチャーリン
gambhīrattha 義甚深
gambhīra-paññā 深慧
gambhīra〔samudda〕深海
gambhīrā parisā 隱密衆會
gamma～jamma 賤陋
Gayā ①〔城，邑〕ガヤー，伽耶 ②〔河〕ガヤー，伽耶 ③〔經〕伽耶 A 8 64
Gayā-Kassapa〔外，比〕ガヤーカッサパ，伽耶迦葉
Gayāsīsa〔山〕ガヤーシーサ，象頭，迦耶斯舍，伽闍尸利沙
garahati 呵責す
Garahadinna〔比〕ガラハディンナ
garahā 譏責，呵責，非難，罵詈
Garahita-jātakā ガラヒタ・ヂャータカ，誹謗本生物語 J 219
Garahita-piṭṭhipāsāṇa ガラヒタ(誹謗)平岩
Garītara〔池〕ガリータラ
garu 可尊重
garuka〔-kamma〕重〔業〕
garuka parikkhāra 重物，重資具
garu-karoti 尊重す
garukā āpatti 重罪，重犯
garu-kāra 尊重，名聞
garukāra-mada 尊重憍
garuḍa，garuḷa 金翅鳥，迦樓羅，妙翅鳥
garu-dārā 師の妻
garu-dhamma 敬重法，重法，尊法〔八種〕
garu-parikkhāra 重資具，重物
garu-pāvuraṇa 重衣
garu-bhaṇḍa 重物
garu-bhāra 重擔
garuḷa=garuḍa ガルラ，迦樓羅，金翅鳥，妙翅鳥
Garuḷa〔宮殿〕ガルラ
garu-vacana 敬語
galagaṇḍin 癭者
Galambatittha〔塔〕ガランバティッタ
Gallakapīṭha〔村〕ガッラカピータ
Gallambaṭṭhika〔村〕ガッランバッティカ
gaḷa 鉤針
gaḷagaḷāyati 雷鳴る
gaḷagaḷāyant 雷鳴
gava 牛群
Gavaghātaka〔經〕屠牛者 S **19** 2
gava-ghātana 屠牛場
gavaja～gavaya 野牛
gavampati 牛主
Gavampati ①〔耶舎の友人，比〕ガヴンパティ，伽梵婆提，憍梵波提，牛主 ②〔經〕伽梵婆提 S **56** 30
gavaya～gavaja ガヴヤ，牛，野牛
Gavara〔ダミラ人〕ガヴラ
Gavaratissa〔精舎〕ガヴラティッサ

gavā-kappa 牛儀軌
gavipphala 蔓果
Gavesin〔傳◦塞，比〕ガヹーシー
gaha ① 家居，家 ② 捕捉者，夜叉 ③ 鰐魚
gaha-kāra，gaha-kāraka 屋舍の工人，屋舍を作るもの
gahaṭṭha 在家者
gahaṭṭha-sīla 在家戒
gahaṇa 捉，捉へ，把持，執持
gahaṇī ① 消化器，消化器官，消化力，善消化力 ② 血統
gahatha(A)=gahaṭṭha 在家者
gahana 密林，稠林，藪，淵叢
gahapataggi 居士火，長者火
gahapatānī 居士婦
gahapati 居士，家主，家長，長者，居士族，商主
gahapatika ① 家長，居士 ② 受領衣
gahapati-kula 居士種
gahapati-cīvara 居士衣
gahapati-cīvara-dhara 俗服を纏ふ者
Gahapati-jātaka ガハパティ・ヂャータカ，家長本生物語 J 199
gahapati-parisā 居士衆，家主會〔八衆の一〕
gahapati-putta 居士兒，家主子
gahapati-ratana 居士寶〔七寶の一〕
Gahapati-vagga ① ガハパティ・ヴッガ，居士品 M **51～60** ② 家主品 S **12** 41～50 ③ 居士品 S **35** 124～133；A **8** 21～30
Gahvaratīriya〔比〕ガフヴラティーリヤ
gāthā ガーター，伽陀，伽他，偈，偈頌，偈經，諷頌，經*〔九分教の一〕
gāthābhigīta 偈を歌ひて，偈を唱へ〔て得〕たる〔食〕，偈を唱へて得たる食
Gāthābhigītabhojana-dānakathāya kathena pañho 偈を唱へて得た食と施論をなすとの問 Mil 4〔3〕7
Gāthā-saṁgaṇika 伽陀集 V **3** 8
gādha 足場，穴
gādhaṁ khatto ca vasito 穴を掘り又住む人
gādhaṁ khatto no vasito 穴を掘りて住まざる人
gāma 村，村落，聚落，村邑，村里
gāma-kathā ① 村論，村落の話，村里論，部落論，聚落論〔無用論の一〕② 卑俗の論
gāma-kūṭa 村の嘘つき，判官
gāma-ghātaka cora 村落破壞の群盜
gāmaṭṭha 村落物
gāmaṇi=gāmaṇī 村長，聚落主
Gāmaṇi ①=Gāmaṇicaṇḍa～Gāmaṇī〔人〕ガーマニ ②=Mahāgāmaṇika〔池〕③=Gāmaṇitissa〔池〕
gāmaṇika=gāmaṇi 村長
Gāmaṇicaṇḍa〔人〕ガーマニチャンダ
Gāmaṇicaṇḍa-jātaka ガーマニチャンダ・ヂャータカ，ガーマニチャンダ農夫本生物語 J 257
Gāmaṇi-jātaka ガーマニ・ヂャータカ，首領王本生物語 J 8
Gāmaṇi-tissa〔池〕ガーマニティッサ
Gāmaṇi-saṁyutta ガーマニ・サンユッタ，聚落主相應 S **42** 1～13
gāmaṇī=gāmaṇi 聚落主，村長
Gāmaṇī ①～Gāmaṇi〔王〕ガーマニー ②〔釋種〕ガーマニー，伽寧尼 ③〔ダミラ人〕ガーマニー ④=Dīghagāmaṇī〔王子〕ガーマニー，伽寧尼 ⑤=Duṭṭhagāmaṇī〔王〕ガーマニー
Gāmaṇī-abhaya=Duṭṭhagāmaṇī〔王〕ガーマニーアバヤ
gāmaṇḍala=gomaṇḍala 牧牛者，牧童
gāma-dvāra 門闕，村の門
gāma-dhamma 卑行，卑業，村の法，村人の法，粗野のこと，卑猥法，穢法，婦女法，在俗法，凡鄙
gāmanigama duvidha 村落の二種
gāmantara 村邑，村落間
gāmantara-kappa 近聚落淨，村落間認容〔十事の一〕
gāmanta-vihārin 村落住者，聚落の近くに住し，聚落の邊に住する人
gāmapoddava 彩身者
gāma-bandhana 村縛

gāma-bhojanaka 村長
gāma-vara 良邑
gāma-saññā 邑想
gāmika-purisa 田舎者
gāmūpacāra 村の近邊，村落界
Gāmeṇḍi〔池〕ガーメーンディ
Gāyikā〔妃〕ガーキカー
gārayha-ṭhāna 呵責處，難詰處
gārava 恭敬，尊重，敬重，敬虔，敬
Gārava〔經〕恭敬 S 6 2
gāravatā 尊敬，恭敬すること
Gālu〔河〕ガール
Gāḷha〔河〕ガールハ
gāvī 牝牛，母牛
Gāvī〔經〕牛 A 9 35
gāvī pabbateyyā 山中の牛
gāvuta〔里程〕ガーヴタ，伽脣陀，牛呼，四分一由旬
Gāvuta〔精舍〕ガーヴタ
gāha ① 執見 ② 水鬼
giṁgamaka〔寶珠〕ギンガマカ
gijjha 鷲，兀鷹，鷹
Gijjha〔山〕ギッチャ
Gijjha-kūṭa ①〔山〕ギッチャクータ，靈鷲，鷲峰，耆闍崛 ②〔池〕ギッチャクータ，鷲峰
Gijjhakūṭa-pabbata 耆闍崛山，耆闍窟山，靈鷲山，鷲峰山
Gijjha-jātaka ① ギッチャ・チャータカ，鷲本生物語 J 164 ② ギッチャ・チャータカ，兀鷹本生物語 J 399 ③ ギッチャ・チャータカ，鷹本生物語 J 427
Giñjaka〔精舍〕ギンチャカ，揵祁
Giñjakāvasatha ①〔精舍〕ギンチャカーヴサタ，煉瓦の家，煉瓦造屋，煉瓦堂，甎堂，塼瓦堂，犍椎處，揵祁精舍，繁耆迦精舍＝ナーティカの甎堂 ②〔經〕煉瓦の家 S 14 13 ③〔經〕繁耆迦精舍 S 55 8～10
giddha 貪求
giddhi-lobha 貪欲
giddhi-lobhin 貪欲者
gimha 夏，夏季，夏期，夏時，暑季，熱季，春季
Gimhatittha〔村〕ギンハティッタ
gimhāna 熱季
gimhika 夏期，夏季の
giragga-samajja ギラッガサマッチャ，山上祭，山頂祭
girā 語
giri 岳，山
Giri ①〔尼犍子〕ギリ ②〔族〕ギリ ③〔島〕ギリ ④〔郡〕ギリ ⑤〔堤〕ギリ ⑥〔宮殿〕ギリ，山 ⑦〔精舍〕ギリ
Girikaṇḍa〔山〕ギリカンダ
Girikaṇḍaka〔精舍〕ギリカンダカ
Girikaṇḍasiva〔王子〕ギリカンダシワ
girikaṇṇika〔樹，花〕ギリカンニカ
Girikassapa ギリカッサパ，山迦葉＝カッサパ王子
Girikālī〔尼〕ギリカーリー
Girikumbhila〔精舍〕ギリクンビラ
giri-gabbhara 山窟
giri-guhā 山窟，山窩，山洞，山龕，山峽，山穴，洞穴，巖窟
Giriguhā〔宮殿〕ギリグハー，山窟
Giritaṭāka〔村〕ギリタターカ
Giritaḷāka〔池〕ギリタラーカ
Giridanta〔御者〕ギリダンタ，山牙
Giridanta-jātaka ギリダンタ・チャータカ，山牙本生物語 J 184
Giridāsa〔傳◦隊商主〕ギリダーサ
Giridīpa ギリ島
Giriddhī〔尼〕ギリッディー
girinela〔花〕ギリネーラ
Girinelapanākhandha〔精舍〕ギリネーラパナーカンダ
Girinelapūjaka〔比丘の譬喩經〕ギリネーラプーチャカ Ap 3 524
giripunnāga〔樹〕ギリフンナーガ
Giripunnāgiya〔比丘の譬喩經〕ギリフンナーギヤ Ap 3 474
Giribā ①〔地方〕ギリバー ②〔池〕
Giribbaja ギリッバチャ，耆利跋提，山圍城，

山谷城，山窟＝王舍城
Giribhaṇḍa〔精舎〕ギリバンダ
giribhaṇḍa-gahaṇa 〔供養〕ギリバンダガハナ
Giribhaṇḍa-mahāpūja ギリバンダの供養
Girimaṇḍala 〔地名〕ギリマンダラ
Girimānanda ①〔比〕ギリマーナンダ，耆利摩難〔譬喩經〕Ap 3 394 ②〔經〕耆利摩難 A **10** 60
Girimekhala〔象〕ギリメーカラ，山帶
Giriya ①〔ダミラ人〕ギリヤ ②〔豺〕
Giriyā〔池〕ギリヤー
Girilaka〔地名〕ギリラカ
Girivāhanā〔宮殿〕ギリヴーハナー，山窟
Girivihāra＝Girisālika〔精舎〕ギリギハーラ
Girivhanagara〔精舎〕ギリヴハナガラ
Girisālika＝Girivihāra〔園〕ギリサーリカ
girisikharassa pañca guṇā 山頂の五德
Girisigāmuka〔池〕ギリシガームカ
gilāna 病人，病者，病ある，有病者
Gilāna〔經〕病 S **35** 74，75；**46** 14～16；**47** 9
Gilāna-dassanaṁ〔經〕見病 S **41** 10
gilānapaccaya-bhesajja-parikkhāra 醫藥，醫藥資具，病者の資具たる藥品，病藥資具，病緣藥資具，疾病の資具藥品資糧，疾病の爲の醫藥，病資具たる藥湯，病資具たる藥資具，病に必要なる藥資具，病に因みての藥たる諸資料
gilāna-bhatta 病者食，病人の食物
gilāna bhikkhu 病比丘
gilāna-bhesajja 病藥，病人の藥，醫藥
Gilāna-vagga 病品 S **35** 74～83；**46** 11～20；A **5** 121～130
gilāna-samaya 病時
gilāna-sālā 病者室
gilānupaṭṭhāka 看病〔者〕，看病者，看病人
gilānupaṭṭhāka-bhatta 看病者食，看病人の食物
gilānupaṭṭhāka〔-bhikkhu〕看病比丘
gilānūpama puggala 病喩人〔三種〕
Gilāyana〔經〕疾病 S **55** 54
Gilīmalaya〔村〕ギリーマラヤ
Givulaba〔村〕ギヴラバ
gihigatā 曾嫁女
gihin 在家，在家者，在家人，家住者
gihinī 居士婦，在家女，白衣女
gihin odāta-vasana 在家白衣，在家白衣者，白衣の在俗者，白衣在家
Gihino pārājikajjhāpannassa abhisamayantarāyakara-pañho 在家の時波羅夷を犯せるものに法現觀の障ありやの問 Mil 4〔7〕3
gihi-paṭisaṁyutta 在家相應，在家相應者
Gihipabbajita-sammāpaṭipatti-pañho 在家出家正行道の問 Mil 4〔6〕9
gihi-byañjana，gihi-vyañjana 在家の標識，世俗の相
gihi-liṅga 在家者の特徴
gihi-saññojana 家住の結
gihisāmīcika sikkhāpada 在家和敬の戒
gihisāmīci-paṭipadā 在家に隨順する行
Ginī-arahatta-pañho 在家者阿羅漢の問 Mil 4〔6〕3
gihī arahā 家住阿羅漢
gihī-bhūta 家居者，在家
gihī-sukha 在家樂
Gihī 'ssa arahā ti kathā 家住阿羅漢論 KV 4 1
gīta 歌，歌謠，歌詠，歌曲，歌吟，唱歌，讃歌，子守歌
gīta-vādita 音樂
gīta-sadda 歌聲，歌謠聲
gītassara 歌音，絃音
gīvaṭṭhi 頸骨，頸椎
gīvūpaga 頸飾
gīveyyaka 首飾，頸飾，頸環，頸帖
guggula〔植〕グッグラ
Guṇa〔裸形外道〕グナ，求那，德者
Guṇa-ājīvaka 德者邪命〔外道〕
Guṇa-jātaka グナ・ヂャータカ，有德本生物語 J 157
guṇa-teja 德威力
guṇa-pāṇaka 木蟲
Gutijjita〔辟〕グティッヂタ
gutta 守護
Gutta〔ka〕〔王〕グッタ〔カ〕
Guttaka〔ダミラ人〕グッタカ

gutta-dvāra〔根〕門守護者，守護根門
Guttasāla〔ka〕〔地方〕グッタサーラ〔カ〕
Guttahāla〔ka〕=Guttasālaka〔地名〕グッタハーラ〔カ〕
Guttā ①〔尼〕グッター，笈多 ②〔王女〕グッター
gutti 守護，保護，支持
Guttila〔樂師〕グッティラ
Guttila-jātaka グッティラ・ヂャータカ，グッティラ音樂師本生物語 J 243
Guttila-vimāna グッティラ天宮 Vv 33
Guttila-vimānavatthu グッティラ・ギマーナヴァットゥ，グッティラ天宮事
Gundāvana グンダー園，グンダー林
Gumba〔國〕グンバ，軍婆
Gumbika=Gumbiya〔夜叉〕グンビカ
Gumbiya=Gumbika〔夜叉〕グンビヤ
Gumbiya-jātaka グンビヤ・ヂャータカ，グンビヤ夜叉本生物語 J 366
guyha 祕密
guyha-attha 密義，隱密の義，祕密事
Guyhaka〔夜叉〕グヰハカ，密迹
guyha-manta 祕密事，密事
Guralaṭṭhakalañca〔地名〕グララッタカランチャ
Gula〔夜叉〕グラ
Gulissāni〔比〕グリッサーニ，瞿尼師
Gulissāni-suttanta グリッサーニ・スッタンタ，瞿尼師經 M 69
guḷa ① 玉，球，絲玉 ② 砂糖，糖
guḷa-karaṇa 製糖場
guḷa-kumbha 砂糖壺
guḷa-vālaka 古著類
guḷāguṇṭhika=guḷigandhika 腫物に覆はれたる
guḷāsava 甘庶酒
guḷikā 團土
guḷigandhika=guḷāguṇṭhika 腫物に覆はれたる
guḷodaka 砂糖水
Guhaṭṭhaka-sutta 窟八偈經 Sn 4 2
Guhaṭṭhakasutta-niddesa 窟八偈經の義釋 MNd 2
guhā 窟，洞窟，石窟，石房，地窟，山窟，洞，洞穴，小屋*
Guhā〔浴院〕グハー，窟
guhāsaya グハーサヤ，窟居者，蛇
Guhā-sela〔宮殿〕グハーセーラ，窟石山
gūtha 糞，屎，大便，排泄物
Gūtha〔地獄〕グータ，沸屎
gūthaṁ khādanto puriso 糞を喰ふ人，糞を食せる人
gūtha-kūpa 糞坑，糞壺，厠
gūthakūpe sasīsakaṁ nimuggo puriso 糞坑に頭の〔沒するまで〕沈める人
gūthakūpe sasīsako nimuggo 糞壺に頭も共に沈める人
gūtha-khādaka pāṇaka 糞喰蟲
Gūthakhādaka-petavatthu 糞食鬼事 Pv 4 8, 9
Gūthakhādi—Duṭṭhabrāhmaṇo〔經〕糞を喰ふ邪惡の婆羅門 S 19 12
gūtha-gata 大便
gūthagata-ahi 糞中の蛇
gūthaṭṭha 糞坑
Gūtha-naraka, Gūtha-niraya 糞尿地獄
Gūthapāṇa-jātaka グータパーナ・ヂャータカ，糞喰蟲本生物語 J 227
gūtha-bhakkha 糞食
gūtha-bhāṇin 糞語人，糞語〔者〕
gūtha-rāsi 糞堆
gūtha-hārika 擔糞者
gūḷhaka 祕密〔行籌の一〕
gūḷhaka-salākagāha 祕密行籌
Geṭṭhumba〔水路〕ゲットゥンバ
gedha 貪求，結
Gedha-sutta 貪求經
gedhi 囑望
geyya ゲイヤ，祇夜，應頌，諷誦〔九分教の一〕
geruka 赭土，紅土子
geruka-parikamma 紅土子を塗る
Gelañña〔經〕疾病 S 36 7, 8
gelāṭa ゲーラータ鶴

geha 在家，家
gehatha(A)=gahaṭṭha 在家者
geha-nissita 家に依止せる，家居に著する，家に著する，家に依れる，俗的
gehasita-upekhā 在家に依る捨〔六種〕
gehasita-chanda 俗的欲望
gehasita-domanassa 在家に依る憂〔六種〕
gehasita-vitakka 家に依れる思，家に著する念，俗的考想
gehasita-somanassa 在家に依る喜〔六種〕
go 牛，牡牛
gokaṇṇa ① 牛 ② 牛耳鹿 ③〔箭〕ゴーカンナ，牛耳
Gokaṇṇa ①〔ガヂャバーフ二世王の大臣〕ゴーカンナ ②〔ダンダナーヤカ官〕③〔精舍〕
Gokaṇṇa〔ka〕〔大海〕ゴーカンナ〔カ〕，牛耳
Gokaṇṇanāṇḍanāyaka〔ダミラ人〕ゴーカンナナーンダナーヤカ
go-kāṇa 瞎牛
go-kula 牛舍
Gokulika〔部派〕牛家，雞胤部
go-khāyita 牛嚙〔布〕
go-khīra 牛乳
go-gaṇa 牛群
go-ghātaka 屠牛者，屠牛師，殺牛人
goghātaka-sūnā 屠牛處
go-camma 牛皮
gocara ① 牧場，餌所 ② 行域，行境，行處，行界，境界，範圍，親近處，親近，所行
Gocara—abhinīhāra〔經〕行境—引發 S 34 46
gocara-kusala 行境善，行境を解す，行處を知る，境界に巧
gocaraggāhika-rūpa 取境色
gocara-nānatte ñāṇaṁ 行境の種種相の智
gocariya 褐色
Gocaro〔經〕行境 S 34 6，47～49
go-citta 牛心
Goṭapabbata=Koṭipabbata〔園〕ゴータパッバタ
Goṭha〔海〕ゴータ
Goṭha-imbara=Goṭhaka〔戰士〕ゴータインバラ
Goṭha〔ka〕=Goṭha-imbara ゴータ〔カ〕
Goṭhakābhaya=Meghavaṇṇa〔王〕ゴータ〔カ〕ーバヤ
goṭhaphala〔藥果〕ゴータパラ
Goṭhābhaya〔王〕ゴーターバヤ
goṇa 牡牛，牛
Goṇa〔河〕ゴーナ
goṇaka ① 山羊毛 ② 黑毛氈
Goṇagāma〔港〕ゴーナガーマ
Goṇagāmuka〔地名〕ゴーナガームカ
Goṇa-petavatthu 牛鬼事 Pv 1 8
goṇa-ratha 牛車
goṇasira 野牛
Goṇḍi〔村〕ゴンディ
Goṇṇagiri〔納舍〕ゴンナギリ
goṭṭha 牧舍
Gotama ①〔姓〕ゴータマ，瞿曇 ② ゴータマ，瞿曇，喬答摩=釋子 ③〔比〕ゴータマ，瞿曇 ④ 瞿曇=阿難 ⑤〔仙〕瞿曇 ⑥〔山〕瞿曇
Gotamaka ① 瞿曇派 ②〔外〕ゴータマカ
Gotamaka-cetiya ゴータマカチェーティヤ，ゴータマカ廟，瞿曇廟，瞿曇塔，瞿曇祠堂，瞿曇支提
Gotamaka-suttanta 瞿曇經
Gotama-tittha 瞿曇渡場，瞿曇津
Gotama-dvāra 瞿曇門
Gotama bodhisatta 喬答摩菩薩
Gotama Sakya-puṅgava 瞿曇釋種
Gotama-sāsana 瞿曇の教
Gotamivatthadāna-pañho 瞿曇彌の衣布施の問 Mil 3 1
Gotamī ①〔尼，佛姨母〕ゴータミー，瞿曇女，瞿曇彌，喬多彌=大愛道，摩訶波闍波提，摩訶瞿曇彌〔譬喩經〕Ap 4 17 ②〔毘舍浮佛の信女〕ゴータミー ③〔王妃〕喬多彌 ④〔經〕瞿曇彌 S 5 3；A 8 51
Gotamī-vagga 瞿曇彌品 A 8 51～60
gotta 姓，氏姓，種姓，家系，名字
gotta-mada 種憍，姓憍
gotta-rakkhitā 姓護女

gotta-lesa 種姓似
gotta-vāda〔種〕姓の論議
gotrabhū 種姓，進姓，種姓有，種姓者，種姓地，向種姓者
gotrabhū-citta 種姓心
gotrabhū-cetanā 進姓思
gotrabhū-ñāṇa 種姓智，種姓地の智
gotrabhū-dhamma 種姓地法
Godatta ①〔比〕ゴータッタ，牛達多 ②〔比，阿毘達磨師〕ゴーダッタ ③〔經〕牛達多 S 41 7
go-damaka 調牛師
go-damma 應調牛
godhaka〔鳥〕ゴーダカ
Godhagatta-tissa 〔比〕ゴーダガッタティッサ
Godha-jātaka ゴーダ・ヂャータカ，蜥蜴本生物語 ① J 138 ② J 141 ③ J 325 ④ J 333
go-dharaṇī 孕める牛
godhā イグワナ，蜥蜴，大蜥蜴
Godhā ①〔釋氏，塞〕ゴーダー，沙陀 ②=Kāḷigodhā〔夷，跋提の母〕ゴーダー ③〔經〕沙陀 S 55 23
Godhāvarī〔河〕ゴーダーヴリー，瞿陀婆利
Godhika ①〔比〕ゴーディカ，瞿低迦 ②〔經〕瞿低迦 S 4 23
Godhiputta=Devadatta ゴーディプッタ，ゴーディ子
godhūma 小麥
Gona〔地方〕ゴーナ
Gonakā〔河〕ゴーナカー
gonaṅgula 黒面猿
Gonaddha〔地名〕ゴーナッダ，瞿那陀
gonasira 野牛
Gonisādi〔精舎〕ゴーニサーディ，牛臥
Gonusu〔地方〕ゴーヌス
Gonnaviṭṭhika〔村〕ゴンナギッティカ
gopa 牧牛者
Gopaka ①〔比〕ゴーパカ ②〔天子〕ゴーパカ，瞿婆
Gopaka-Moggallāna〔婆〕ゴーパカモッガッラーナ，瞿默目犍連
Gopakamoggallāna-sutta ゴーパカモッガッラーナ・スッタ，瞿默目犍連經 M 108
go-pakhuma 眼睫は牝牛の如し〔三十二相の一〕
gopati=gavampati 牛主
go-pada 牛跡
go-pariṇāyaka 牛群の首領
gopānasī 垂木，榱，重簷，桷
go-pāla 牧者
Gopāla ①〔司祭の子〕ゴーパーラ，牛護 ②〔夜叉〕ゴーパーラ ③〔山〕ゴーパーラ
go-pālaka 牛飼，牧牛者，牧牛士，牧者，放牛者，放牛人
Gopālaka〔經〕放牛者=牧牛者大經 A **11** 18
gopālakūposatha 牧牛者布薩
Gopālamātar〔王妃〕ゴーパーラマーター
Gopāla-vimāna 牧牛天宮 Vv 80
go-pālikā 牧牛女
Gopikā〔釋女〕ゴーピカー，瞿毘
Gopikā guhā ゴーピカー洞院
go-pitar 牛父
gopphaka 踝
gopphakaṭṭhi 踝骨
Gomagga〔地名〕牛路
Gomaṭa-kandara ゴーマタ窟
gomaṇḍala=gopāla-dāraka 牧童，牧牛者
Gomatī〔水路〕ゴーマティー
gomaya 牛糞
Gomayaṁ=Gomayapiṇḍa-ovāda〔經〕牛糞 S 22 96
Gomayagāma ゴーマヤガーマ，牛糞村
gomayaggi 牛糞火
gomaya-pāṇaka 牛糞を喰ふ甲虫
gomaya-piṇḍa 牛糞摶
Gomayapiṇḍa-ovāda=Gomayapiṇḍika-sutta, Gomayaṁ 牛糞の訓論
Gomayapiṇḍika-sutta=Gomayapiṇḍa-ovāda 牛糞塊經
gomaya-hārikā 取牛糞女
gomika 牛主
Goyāna, Goyāniya=Aparagoyāna〔洲〕ゴーヤーナ，ゴーヤーニヤ，倶耶尼，瞿耶尼

go-yuga 牛軛
go-yuddha 牝牛闘
go-rakkhā 牧畜，牧牛，放牧，飼牛
Gorimanda〔人〕ゴーリマンダ
golikā 蜥蜴
Goḷakāla〔人〕ゴーラカーラ，黒丸
Goḷapānu〔村〕ゴーラパーヌ
Goḷabāha〔渡〕ゴーラバーハ
Goḷihaḷa〔軍〕ゴーリハラ
Gova ゴーヴ＝ゴア港
Govaḍḍhamāna〔村〕ゴーヴッダマーナ
go-vata 牛務，牛行，牛禁，牛の誓
go-vatika 牛務者，牛行者
go-vāṇijaka 牛商人
go-vikattana, go-vikantana 牛刀，屠刀
Govinda〔婆〕典尊
Govindamala〔山〕ゴービンダマラ
govindiya 典尊位
go-sappi 牛酥，牛乳酥
Gosāla〔比〕ゴーサーラ，巨舎羅
Gosiṅga〔沙羅林〕ゴーシンガ，牛角
Gosiṅgasāla-vanadāya 牛角娑羅林，牛角沙羅林
go-sīla 牛戒
gosīsa〔-candana〕牛頭栴檀，香木
Gosīsanikkhepa〔比丘の譬喩經〕ゴーシーサニッケーパ Ap 3 295
Gosujāta〔傳◦轉輪王〕ゴースヂャータ
go-hanuka 牛顎骨
grahatha(A)＝gahaṭṭha 在家者

ghaṭa ① 甕，瓮，瓶 ②～ghata 熟酥，蘇油
Ghaṭa ガタ＝ローヒネッヤ
ghaṭaka 瓶
Ghaṭāya〔釋氏〕ガターヤ，迦羅
Ghaṭāya-Sakka 迦羅釋種
ghaṭikā 楔，小棒，棒打ち，逆立遊び
Ghaṭikāra ①〔迦葉佛の侍者〕ガティカーラ，作瓶 ②〔迦葉佛の信士〕ガティカーラ
Ghaṭīkāra ①〔人〕ガティーカーラ，陶工，陶師，作瓶，瓦師 ②〔梵天〕ガティーカーラ，瓦師 ③〔天子〕陶師 ④〔經〕陶師 S 1 50; 2 24
Ghaṭīkāra-pañho ガティーカーラ工の問 Mil 4〔6〕6
Ghaṭīkāra-sutta ガティーカーラ・スッタ，ガティカーラ經，陶師經 M **81**
Ghaṭo〔經〕瓮 S **21** 3
Ghaṭṭiyā〔妃〕ガッティヤー
ghaṇa＝ghana
ghaṇṭānurava 鐘の餘韻
ghata 蘇油，熟酥
Ghata〔王〕ガタ，蘇油
Ghata-jātaka ① ガタ・ヂャータカ，蘇油王子本生物語 J 355 ② ガタ・ヂャータカ，ガタ賢者本生物語 J 454
Ghatapaṇḍita〔力士〕ガタ賢者
ghata-maṇḍa 酥醍醐
Ghatamaṇḍadāyaka〔比丘の譬喩經〕ガタマンダダーヤカ Ap 3 423, 493
ghatāsana 火焰
Ghatāsana〔傳◦轉輪王〕ガターサナ
Ghatāsana-jātaka ガターサナ・ヂャータカ，火焰本生物語 J 133
ghana ガナ，堅肉，犍南，鍵南〔胎内五位の一〕
ghana-saññā 厚想，厚聚想
Ghanasela〔山〕ガナセーラ
ghamma 炎暑
ghara ① 家，俗家 ② 魔藥
gharaṇī 姑
ghara-bandhana 家縛
ghara-mala 家の垢穢
ghara-suṇhā 嫁
gharasta(A)＝gahaṭṭha 在家者
gharāvāsa 家の居住，家居，在家
gharāvāsattha 家業
ghāta 殺傷，劫掠
ghātaka 屠殺者
ghāteti 殺戮刑に處す
ghāna 鼻
ghāna-dasaka 鼻十法
ghāna-dvāra 鼻門
ghāna-dhātu 鼻界
ghāna-roga 鼻病
ghāna-viññāṇa 鼻識
ghānaviññāṇa-dhātu 鼻識界
ghānaviññeyya gandha 鼻可識の香
ghāna-samphassa 鼻觸
ghāna-samphassajā vedanā 鼻觸所生の受
ghānāyatana 鼻處
ghānindriya 鼻根
ghāyana 嗅
ghutta 銅鑼
Ghoṭamukha〔婆〕ゴータムカ，瞿哆牟伽
Ghoṭamukha-sutta ゴータムカ・スッタ，瞿哆牟伽經 M **94**
Ghoṭamukhī〔講堂〕ゴータムキー，瞿哆牟伽
ghoravisa ゴーラギサ，恐ろしき毒ある者，蛇，猛毒
Ghorassara-vagga 驢馬品 Mil 5 2
ghosa 音聲，世間の巷說
Ghosasaññaka〔比丘の譬喩經〕ゴーササンニャカ Ap 3 515
Ghosita ①〔居士〕ゴーシタ，瞿師多，瞿師羅，瞿史羅 ②〔經〕瞿史羅 S 35 129
Ghositārāma ゴーシターラーマ，ゴーシタ園，瞿師羅園，瞿師多〔羅〕園，瞿師多林，瞿私多園，瞿私多林，瞿史羅園，瞿史羅精舍，美音精舍

cakavāka(A)=cakkavāka 鴛鴦
cakora 鷓鴣
cakka 輪，車輪，金輪，輪鐵，武器，轆轤
Cakkadaha チャッカダハ，輪寶池
cakka-peyyāla 輪法省略
cakka-bheda 破〔法〕輪
cakka-ratana 輪寶，金輪寶，金輪〔七寶の一〕
cakka-lakkhaṇa 輪相
cakkalī 遮伽利衣
Cakka-vagga 輪品 A 4 31～40
cakka-vaṭṭaka 汲水輪
cakka-vattana 轉〔法〕輪
Cakkavatti〔經〕轉輪 S 46 42
cakkavattin 轉輪王，輪王，轉輪聖王
Cakkavatti-vagga ① 轉輪品 S 46 41～50 ② 轉輪王品 Mil 5 4
cakkavatti-satta 轉輪有情
Cakkavatti-sīhanāda-suttanta チャッカヴッティ・シーハナーダ・スッタンタ，轉輪聖王師子吼經 D 26
cakkavāka チャッカヴーカ，斫迦羅婆迦，鴛鴦，赤鵝鳥，好聲鳥
Cakkavāka-jātaka チャッカヴーカ・ヂャータカ，鴛鴦本生物語 ① J 434 ② J 451
Cakkavāḷa チャッカヴーラ，鐵圍，鐵圍山，輪圍，輪圍山，大世界
Cakkavāḷasiluccaya 輪圍山脈
cakka-viddha〔弓技〕車輪貫
cakka-vyūha 戰車軍
cakkālaṅkāra 輪寶
cakkāvudha〔武器〕輪鎗
cakkhāyatana 眼處
cakkhu 眼，智眼=慧
Cakkhu〔經〕眼 S 18 1，11；25 1；26 1；27 1
cakkhu-karaṇī 淨眼を生ぜしめ，眼を生じ
cakkhu-dasaka 眼十法
cakkhu-dāna 眼の布施
cakkhu-dvāra 眼門
cakkhu-dhātu 眼界
Cakkhunā rūpaṁ passatī ti kathā 眼見色論 KV 18 9
cakkhundriya 眼根
cakkhu-pasāda 眼淨
Cakkhupāla〔比〕チャックパーラ
cakkhu-bhūta 眼たり，眼たる者，具眼者，天眼者
cakkhumant 具眼者，具眼，有眼者，眼あるもの，烱眼
cakkhumā puriso 具眼者，具眼の者，具眼の士
cakkhu-roga 眼疾，眼病
cakkhu-viññāṇa 眼識
cakkhuviññāṇa-dhātu 眼識界
Cakkhuviññāṇa-manoviññāṇa-pañho 眼識意識の問 Mil 2〔3〕7
cakkhuviññāṇa-vatthu 眼識事，眼識基
cakkhuviññeyya-rūpa 眼可識の色
cakkhu-sacchikaraṇīya 眼應證
cakkhu-samphassa 眼觸
cakkhu-samphassajā vedanā 眼觸所生の受
cakkhussa raho 見祕密
caṅkama 經行處，經行
caṅkamati 經行す
Caṅkamadāyaka〔比丘の譬喩經〕チャンカマダーヤカ Ap 3 48
caṅkamana 經行
caṅkamana-sālā 經行堂
caṅkama-nisajjā 經行と坐禪
Caṅkī〔婆〕チャンキー，商伽
Caṅkī-sutta チャンキー・スッタ，商伽經 M 95
caṁkora 鷓鴣
caṅkola〔花〕チャンコーラ
Caṅkolapupphiya〔比丘の譬喩經〕チャンコーラプッピヤ Ap 3 226
caṅgavāra 容器
caṅgoṭaka 花籠
Caṅgoṭakiya〔比丘の譬喩經〕チャンゴータキヤ Ap 3 273
caccara 四辻
caṇḍa 兇惡，兇暴，凶暴，暴，暴惡，亂暴，惡，險惡，怒り易き
Caṇḍa ①〔龍王〕チャンダ ②〔村長〕暴惡

caṇḍa assa 惡馬
Caṇḍakālī〔尼〕チャンダカーリー
caṇḍa-kukkura 惡狗
caṇḍa-goṇa 惡牛
Caṇḍa-Pajjota=Pajjota 〔王〕チャンダ・パッヂョータ，梅陀鉢殊多，猛光
caṇḍa-balivadda 惡牛
Caṇḍalakappa～Caṇḍālakappa〔地名〕チャンダラカッパ，旃達羅劫波
caṇḍa-hatthin 惡象，暴象
caṇḍāla ① チャンダーラ，旃陀羅，旃陀羅族，闍陀羅，賤民 ② 鐵丸戲
Caṇḍālakappa〔地名〕旃達羅劫波
caṇḍāla-gāma 旃陀羅村，栴陀羅村
caṇḍāla-jāti 旃陀羅種
caṇḍāla-vaṁsa 幢
caṇḍāla-vaṁsadhopana 賤人の輕業
caṇḍāla-vaṁsika 緣幢伎師
Caṇḍāli-vimāna 旃陀羅女天宮 Vv 21
caṇḍālī 旃陀羅女，旃陀羅の娘
Caṇḍāsoka チャンダーソーカ，忿怒阿育
caṇḍikata 瞋る
caṇḍin 瞋恚ある
Caṇḍī ①〔ナーラダ佛の信女〕チャンディー ②〔水門〕
Caṇḍo〔經〕暴惡 S 42 1
Caṇḍoraṇa〔山〕チャンドーラナ
Catasso〔經〕四 S 14 30
catasso agatiyo～cattāri agati-gamanāni 四非道，四惡趣，四不行
catasso anariya-pariyesanā 四非聖尋求
catasso appamaññāyo 四無量=四梵住〔慈，悲，喜，捨〕
catasso arūpāvacara-samāpattiyo 四無色靡定
catasso ābhā 四の光〔月，日，火，慧〕
catassa āruppa-samāpattiyo 四無色定，四無色等至
catasso iddhiyo=catu-iddhi 四神力，四種の神通，四神變，四如意德
catasso upādinna-dhātuyo 四取界
catasso gabbhāvakkantiyo 四入胎，四種の入胎
catasso dakkhiṇā-visuddhiyo 四施淨，四の淸淨施物
catasso diṭṭhiyo 四見
catasso dhātuyo 四界〔地，水，火，風=四大，四大種〕
catasso paṭipadā 四通行，四行，四種の通行〔苦遲，苦速，樂遲，樂速〕
catasso paṭisambhidā 四無礙解，四無礙辯
catasso pabhā 四の光明〔月，日，火，慧〕
catasso pāricariyā 四種の奉事
catasso bhavūppattiyo 四有生〔四種天〕
catasso bhāvanā 四修習〔尋求，獲得，一味，習〕
catasso bhūmiyo 四地
catasso mūsikā 四の鼠
catasso yoniyo 四生，四胎〔卵，胎，濕，化〕
catasso viññāṇaṭṭhitiyo 四識住
catasso vipattiyo 四種の失壞〔戒，行，見，命〕
catasso vipassanā 四正觀
catasso saññā 四想〔少，多，無量，無所有〕
catasso samādhi-bhāvanā 四修定，四定修
catasso sikkhā 四種の學
catasso sīmāyo 四界
catasso seyyā 四の臥法
catu-iddhi=catasso iddhiyo 四神變，四神力，四種の神通，四如意德
catu-iriyāpathā 四威儀，四威儀路〔行，住，坐，臥〕
catu-kaṇṇaka 四角衣
catu-kuṇḍika 四足にて行く
catukka 四法
catukkaṇṇa 四隅，四角
catukka〔naya-〕jhāna 四種禪
Catukka-nipāta ① 四集〔增支部經〕A 4 1～271 ② 四集〔如是語經〕It 100～112 ③ 四偈集〔長老偈經〕Thag 267～314 ④ 四偈集〔長老尼偈經〕Thīg 63～66 ⑤ 第四篇〔本生經〕J 301～350
catu-gihi-pabbajjā 四在家出家 V 2 a 1, 9
catuguṇaṁ saṁghāṭim paññāpeti 僧伽梨を四疊す
catugguṇa=catuguṇa 四重

catu-cakka 四の車輪
Catu-cakka〔經〕四輪 S 1 29
catu-cattārīsa ñāṇa-vatthūni 四十四智事
catu-cattārīsa ñāṇāni 四十四智
catutthaka-bhāṇavāra 第四誦品
Catuttha-gamana 第四章
catutthajjhāna, catuttha-jhāna 第四禪, 第四禪定, 第四靜慮
catuttha-pāṭihāriya 第四變化 V 2 a 1, 18
catuttha-pārājika 第四波羅夷=上人法戒
catuttha magga 第四道=阿羅漢道
Catuttha-vagga 第四品
catuttha-saṁghādisesa 第四僧殘
catutthā bhūmi 第四地
catudīpaka 四洲〔雲〕
catuddīpa-rāja 四洲の主
catu-dvāra 四門
Catudvāra-jātaka チャトゥドワーラ・ヂャータカ, 四門本生物語 J 439
catudhamma-vavatthāne paññā 四法の決定の慧
catudhā atītaṁ 四種の過去〔世, 相續, 時, 刹那〕
catudhātu-kammaṭṭhānika 四界〔差別〕業處〔修習〕者
catudhātu-vavatthāna 四界差別
catudhā maraṇuppatti 四種死の生起
catunavuti-pārivāsika-vatta 別住〔比丘〕の行法九十四事
catunikāyika 四部師
catunnaṁ mahābhūtānaṁ upādāya 四大種所造, 四大に依れる
catunnaṁ mahābhūtānaṁ upādāya rūpaṁ 四大所成色, 四大所造色, 四大種所造の色, 四大種所造色, 四大に依れる色
catu-paṭisambhidā 四無礙辯, 四無礙解
Catuparivaṭṭa=Bahudhātuka-sutta 四轉〔經〕
Catuposathika-jātaka=Catuposatha-jātaka チャトゥポーサティカ・ヂャータカ, チャトゥポーサタ本生物語, 四布薩誓願本生物語 J 441
catuppada 四足, 四足獸, 四足者
catuppada-gāthā 四句偈の法
catuppada-veyyākaraṇa 四句の解說
catuppādaka=catuppada 四足獸, 四足, 四足者
catubbidha avyākata 四種無記
catubbidha gambhīra-bhāva 四種の深義
catubbidha-vipariyesa=cattāro vipariyesā 四種の顚倒
catubbidhā paṭisandhi 四種結生
catubbidhā suddhi 四種淨
catubbidhena rūpakkhandho 四種色蘊
catubbidhena rūpa-saṅgaho 四種色聚
Catubhāṇavāra-vaṇṇanā〔書名〕四誦釋義
Catumaṭṭa-jātaka チャトゥマッタ・ヂャータカ, 四美本生物語 J 187
catu-madhura 四甜劑, 四甘
catu-madhura-bhuñjā 四甘食, 四甜劑
catu-mahābhūtika 四大種, 四大種所成, 四大種所造, 四大所成, 四大所造, 四大所屬, 四大より成り
caturaṅga-samannāgata andhakāra 四支を具備せる闇黑
caturaṅga-samannāgata uposatha 四支を有する布薩=四分布薩戒
caturaṅga-samannāgata tama 四支を具せる黑闇
caturaṅgasamannāgata brahmacariya 四支具足の梵行〔苦行, 貧穢行, 嫌厭行, 孤獨行〕
caturaṅginī senā 四軍, 四支軍, 四種軍, 四種の兵, 四部兵, 四兵〔象, 馬, 車, 步〕
caturassā pokkharaṇī 四角の池
Caturājaka 四王章 Cv 45
caturādhiṭṭhāna 四住處, 四處〔慧, 諦, 捨, 寂靜〕
Caturāsīti brāhmaṇa-kaññā bhikkhunī sahassāni 八萬四千の婆羅門童女比丘尼〔の譬喩經〕Ap 4 32
caturāsīti vihāra-sahassāni 八萬四千の精舍
caturāsīti-sahassa 八萬四千〔法門〕
caturāsītisahassa-vidhā dhammakkhandhā 八萬四千法聚
caturāsītisahassāni dhammakkhandhā 八萬四

千の法蘊
caturāsīti sahassāni dhammā 八萬四千の法門
Caturitthi-vimāna 四女人天宮 Vv 45
caturo aṅgā=caturaṅga-samannāgata uposatha 四分〔布薩戒〕
caturo asaṅkheyyā 四阿僧祇，四無量
caturo' dadhī 四大海
caturo nimittā 四種の相
caturo padā 四句=四聖諦
caturo mahantā=cattāro Mahārājāno 四天王
catuvagga-karaṇa 四衆可作
catuvagga-bhikkhusaṁgha 四比丘僧伽〔五種僧伽の一〕
catuvīsati antarāyikā dhammā 二十四障法〔比丘尼の〕
catuvīsati paccayā 二十四縁
catuvīsati paṭṭhānāni 二十四鉢多那
catuvīsati buddhā 二十四佛
catuvīsati-bhāṇavāra 二十四誦品 V 2 a 6, 31～33
catu-vesārajja=cattāri vesārajjāni 四無所畏，四無畏
catu-vesārajja-ñāṇa 四無所畏〔智〕
catuvesārajja-visārada 四無畏の熟達者
catu-vokāra-bhava 四蘊有=無色有
catu-saṅkhepa 四略，四重
catusaccābhisamaya 四諦現觀
catu-saṭṭhi ākārā 六十四行相
catu-santati-samuṭṭhāna 四相續等起
catu-samuṭṭhānika rūpa 四等起色
catu-sampajañña-pabba 四正知節
catu-sīlakkhandha 四戒蘊
catuhi dhammehi samannāgato 四法成就〔の沙門〕
catūhi aṅgehi samannāgatā vācā 四支具足の語，四支を具備せる語
catta 捨棄
cattāri akaraṇīyāni 四非事，四非事品，四不應作 V 2 a 1, 78
cattāri agati-gamanāni～catasso agatiyo 四不應行，四不應而行，四不行處行〔欲，瞋，癡，怖畏〕
cattāri aggāni 四の第一
cattāri acinteyyāni 四の不思議，四不可思議〔佛境界，定境界，業異熟，世界〕
cattāri adhikaraṇāni 四種の諍事，四諍事〔爭論，非難，罪過，義務〕
cattāri adhiṭṭhānāni 四處，四住處〔慧，諦，捨，止息〕
cattāri apassenāni 四依〔受用，忍受，遠避，遣除〕
cattāri ambāni 四の菴羅
cattāri arakkheyyāni 四不護〔身，語，意，活命〕
cattāri ariya-saccāni 四聖諦，四種の聖諦
cattāri asaṅkheyyāni kappa-satasahassāni=kappānaṁ satasahassaṁ caturo asaṅkheyyā 四阿僧祇十萬劫
cattāri ahirāja-kulāni 四の蛇王族
cattāri ākaṅkhiya-ṭhānāni 四の願はしき處=四證淨
cattāri āpatti-bhayāni 四の毀犯の怖畏
cattāri ārammaṇāni 四所緣
cattāri indriyāni 四の根〔信，精進，念，定〕
cattāri upādānāni 四取〔欲，見，戒禁，我語〕
cattāri kappassa asaṅkheyāni 四の無數劫〔壞，空，成，住〕
cattāri kammāni 四業，四種の業〔黑黑異熟等〕
cattāri cakkāni 四輪
cattāri jhānāni 四靜慮，四禪
cattāri ñāṇāni 四智
cattāri ṭhānāni 四處
cattāri duccaritāni 四惡行〔殺生，不與取，邪婬，妄語〕
cattāri dhanāni 四種の財物
cattāri dhamma-padāni 四法句，四法迹，四法足〔無貪，無恚，正念，正定〕
cattāri dhamma-samādānāni 四法受，四得法
cattāri pañha-vyākaraṇāni 四記問，四種の問の解答〔一向，分別，反詰，應捨〕
cattāri padhānāni 四勤=四正勤〔律儀，斷，修，隨護〕

cattāri pārājikāni 四波羅夷
cattāri pārijuññāni 四種の衰亡
cattāri purisa-yugāni 四雙士夫，四雙者
cattāri purisa-yugāni aṭṭha purisa-puggalā 四雙八輩，四雙八士，四雙の人八の人補特伽羅
cattāri balāni 四力
cattāri brāhmaṇa-saccāni 四の婆羅門眞諦
cattāri bhayāni 四怖畏，四種の怖，四の畏〔波，鰐，渦，鮫〕
cattāri mahā-bhūtāni＝cattāro mahābhūtā～catu-dhātu 四大，四大有，四大種〔地，水，火，風〕
cattāri yugāni 四雙
cattāri vacī-duccaritāni 四語惡行
cattāri vacī-sucaritāni 四語善行，四語妙行
cattāri vesārajjāni＝catuvesārajja 四無畏，四無所畏
cattāri saṁgaha-vatthūni 四攝事，四攝法〔布施，愛語，利行，同事〕
cattāri saccāni 四諦＝四聖諦
cattāri saccāni soḷasa ākārā 四諦十六行相
cattāri sāmañña-phalāni 四沙門果
cattāri sukhāni 四の樂
cattāri suvidūra-vidūrāni 四極遠
cattāri sokhummāni 四微細智
cattārīsa ākārā 四十行相〔有爲法の〕
cattārīsa-danta 四十齒，四十の齒〔三十二相の一〕
Cattārīsa dhammā〔經〕四十法 A **10** 213
cattāro acchariyā abbhutā dhammā 四の希奇未曾有法
cattāro attabhāva-paṭilābhā 四自體得，四の得自體
cattāro adhipatī 四增上
cattāro anariya-vohārā 四非聖者言說，四非聖言
cattāro antarāyā 四障礙〔施物の〕
cattāro antā 四邊〔有身に關する〕
cattāro apāyā 四惡趣，四道
cattāro abrahmacariya-vāsā 四種の非梵行住
cattāro ambūpamā puggalā 四菴羅果喩人
cattāro ariya-maggā 四聖道＝四向，四道
cattāro ariya-vaṁsā 四聖種
cattāro ariya-vohārā 四聖言，四聖者言說
cattāro arūpā 四無色
cattāro arūpino khandhā 四非有色蘊
cattāro arūpino dhammā 四非有色法
cattāro asaṅkheyyā 四阿僧祇，四無量
cattāro asaddhammā 四の不正法
cattāro assāsaniyā dhammā 四蘇息法＝四證淨
cattāro ahi-rājā 四大龍王
cattāro āruppā 四無色
cattāro ālokā 四の明〔月，日，火，慧〕
cattāro āsavā 四漏〔欲，有，見，無明〕
cattāro āsīvisā 四の蛇
cattāro āsīvisūpamā puggalā 四蛇喩人
cattāro āhārā 四食〔段，觸，意思，識〕
cattāro iddhi-pādā 四神足，四如意足
cattāro udaka-rahadā 四の湖水
cattāro udakarahadūpamā puggalā 四池喩人
cattāro oghā 四暴流，四瀑流〔欲，有，見，無明〕
cattāro obhāsā 四の照〔月，日，火，慧〕
cattāro kavī 四詩人
cattāro kālā 四の應時〔聽法，法談，止，觀〕
cattāro kumbhā 四の瓶
cattāro kumbhūpamā puggalā 四瓶喩人
cattāro ganthā 四繫，四繫縛〔貪，恚，戒禁取，此實執〕
cattāro guṇā 四功德〔佛の〕
cattāro jhāyī 四修定者
cattāro taṇhuppādā 四愛生，四渴愛生
cattāro thūpārahā 四塔婆所應〔佛，緣覺，聲聞，輪王〕
cattāro dāsā 四種の奴隷，四奴僕
cattāro dīpā＝cattāro mahādīpā 四洲，四大洲
cattāro deva-puttā 四天子
cattāro dhamma-kathikā 四の說法師
cattāra dhamma-kathikā puggalā 四說法人
cattāro dhammakkhandhā 四法蘊〔戒，定，慧，解脫〕
cattāro dhammā 四法

cattāro dhammuddesā 四の總說
cattāro nikāyā 四尼柯耶
cattāro nissayā 四依, 四依品 V 2 a 1, 77
cattāro paccayā＝cattāro nissayā 四資具, 四事
cattāro pajjotā 四の燈, 四つの光〔月, 日, 火, 慧〕
cattāro paṭipannā cattāro phalā 四向四果
cattāro pabbajitassa rogā 四の出家の病〔四資具の不知足〕
cattāro paribhogā 四受用
cattāro pariyantā 四周邊〔戒律儀, 根律儀, 食知量, 警寤隨勤〕
cattāro parisa-dussanā 四の衆汚穢
cattāro parisa-sobhaṇā 四の衆淨飾
cattāro pāṭidesaniyā dhammā 四悔過法, 四提舍尼法
cattāro pārājikā dhammā 四波羅夷法
cattāro pārisuddhi 四の清淨〔戒, 心, 見, 解脫〕
cattāro puggalā 四種人, 四種の人, 四人, 四補特伽羅
cattāro petā 四餓鬼
cattāro phala-samaṅgino puggalā 四果具足人
cattāro bandhavo 四親類
cattāro balivaddā 四の牛, 四軛牛
cattāro balivaddūpamā puggalā 四軛牛喩人
cattāro Buddhā 四佛
cattāro brahma-vihārā 四梵住, 四梵天住＝四無量
cattāro bhusā 四煩惱〔貪, 瞋, 憍, 癡〕
cattāro magga-samaṅgino puggalā 四道具足人
cattāro mahā-dīpā＝cattāro dīpā 四大洲
cattāro mahā-padesā 四大教法, 四大處
cattāro mahābhūtā＝cattāri mahābhūtāni 四大, 四大有, 四大種〔地, 水, 火, 風〕
cattāro Mahārājā 四天王, 四大王, 四大天王, 四王
cattāro mahā-samuddā 四大海
cattāro mūsikūpamā puggalā 四鼠喩人
cattāro yogā 四軛〔欲, 有, 見, 無明〕
cattāro rukkhā 四の樹
cattāro rukkhūpamā puggalā 四樹喩人
cattāro lokapālā 四天王
cattāro vaṇṇā 四種の姓, 四種の階級, 四姓
cattāro vaṇṇā samasamā 四姓は平等
cattāro varā 四福利
cattāro valāhakā 四の雲
cattāro valāhakūpamā puggalā 四雲喩人
cattāro vādī 四の論師
cattāro vinipātā 四惡道＝四惡趣
cattāro vipariyesā, cattāro vipallāsā＝catubbidha-vipariyesa 四顚倒
cattāro visaṁyogā 四離繫, 四離軛, 四種の離
cattāro vihārā 四精舍
cattāro saṁvāsā 四住
cattāro sacchikaraṇīyā dhammā 四應證法, 四の應證の法
cattāro sati-paṭṭhānā 四念住, 四念處
cattāro samaṇā 四沙門〔不動, 白蓮, 紅蓮, 柔軟〕
cattāro samādhī 四定〔退分, 住分, 勝進分, 決擇分〕
cattāro sammappadhānā 四正勤, 四正勝, 四正斷, 四精進
cattāro sārā 四の實〔戒, 定, 慧, 解脫〕
cattāro suddhāvāsa-kāyikā devā 四淨居天
cattāro sotāpattiyaṅgā ① 四預流支, 四預流分〔善士親近, 正法聽聞, 如理作意, 法隨法行〕② 四預流支＝四證淨, 四預流果支
cattāro sotāpannassa aṅgā 四預流果支＝四證淨, 四預流支
cattālīsaka 四十事 V 2 b 3, 27
Cattālīsa-nipāta ①四十偈集〔長老偈經〕Thag 1051～1090 ② 四十偈集〔長老尼偈經〕Thīg 400～447 ③ 第十七篇〔本生經〕J 521～525
cattāḷīsa kammaṭṭhānāni 四十業處～三十八業處
canda 月, 月天, 月輪, 月の輪, 戰達羅
Canda ①＝Candaka〔王子, 佛の前生〕チャンダ, 戰達羅 ②〔王子, 舍利弗の前生〕チャンダ, 月 ③〔尸棄佛の信士〕チャンダ, 月 ④〔婆〕チャンダ ⑤〔婆, 王師〕チャンダ

⑥〔天子〕チャンダ，月 ⑦=Candaka〔山〕チャンダ，月 ⑧=Candaka〔宮〕チャンダ，月 ⑨〔經〕月 S 45 146

Candaka=Canda ① チャンダカ，戰達羅王子 ②〔山〕チャンダカ，月 ③〔宮〕チャンダカ

candakanta〔寶珠〕チャンダカンタ

Candakinnara-jātaka チヤンダキンナラ・ヂャータカ，月緊那羅本生物語 J 485

Candakumāra-cariyā 〔經〕チャンダクマーラの所行 Cp 1 7

Candagiri ① 月山 ②〔精舍〕チャンダギリ

Candagutta ①〔比〕チャンダグッタ ②〔王〕チャンダグッタ，旃陀掘多，栴陀羅崛多，旃陀羅崛多 ③〔殿〕栴陀掘多

candaggāha 月蝕

Candatitta〔傳◦轉輪王〕チャンダティッタ

Candadeva〔力士〕チャンダデーヴ

Candadhara チャンダダラ，持月=シヴ神

candana チャンダナ，栴檀，旃檀，栴檀香，栴檀樹，栴檀木，栴檀材，白檀

Candana ①〔比〕栴檀 ②〔佛子〕栴檀 ③〔天子〕栴檀 ④〔夜叉神，天子〕チャンダナ，旃陀那，旃檀 ⑤〔傳◦王子〕チャンダナ，旃檀 ⑥〔村〕チャンダナ，旃檀 ⑦〔殿樓〕チャンダナ ⑧〔經〕栴檀 S 2 15

candana-gaṇṭhi 栴檀木

candana-gandha 栴檀香

candana-ghaṭikā 栴檀樹枝

Candanaṅgalika〔塞〕チャンダナンガリカ，栴檀庵伽梨迦

candana-cuṇṇa 栴檀末，栴檀抹香，栴檀香

Candanapūjaka〔比丘の譬喩經〕栴檀プーヂャカ Ap 3 133

candana-phalaka 栴檀の板

Candanamāliya〔比丘の譬喩經〕チャンダナマーリヤ Ap 3 482

candana-sāra 栴檀香，栴檀精，栴檀の精，栴檀髓

candanikā ドブ池，どぶ池，泥沼，汚水溜，糞尿坑，沼澤

Candano〔經〕栴檀天子 S 40 11

Candapadumasirī〔文荼長者の妻〕チャンダパドゥマシリー

Candapadumā 〔迦旃延の母〕チャンダパドゥマー

canda-pabhā 月光

Canda-passa〔山〕月邊

Candabhāgā, Candabhāgī, Candabhāgiyā〔河〕チャンダバーガー，チャンダバーギー，チャンダバーギヤー

Candabhānu〔ヂャヴ王〕チャンダバーヌ

canda-maṇḍala 月輪

Candamittā 〔毘婆尸佛の第二比丘尼〕チャンダミッター，月友

Candamukha〔王〕チャンダムカ，月面

candarī〔植〕チャンダリー

canda-lekhā 弦月

Candavajja, Candavajji 〔比〕チャンダヴッヂャ，チャンダヴッヂ，栴陀跋闍，栴檀跋闍

canda-vata 月務

canda-vatika 月務者

Candavatī ①〔拘絺羅の母〕チャンダヴァティー ②〔王女〕チャンダヴァティー ③〔城〕チャンダヴァティー，有明

candasuriyā parivattanti 日月の運轉す

Candasena=Bhaddasena〔王子〕チャンダセーナ

candassa kālapakkho 月の黑分

candassa juṇhapakkho 月の白分

candassa pabhā 月の光

Candā ①〔毘婆尸佛の第一比丘尼〕チャンダー，月 ②〔尼〕チャンダー，月 ③〔ヒヤダッシー佛の母〕チャンダー，月 ④〔妃〕チャンダー，月 ⑤〔緊那羅の妻〕チャンダー，月姬

Candābha ①〔梵天〕月光 ②〔傳◦轉輪王〕チャンダーバ，月光

Candābha-jātaka チャンダーバ・ヂャータカ，月光本生物語 J 135

candābhā 月の光

Candārāma〔憍陳如佛の入滅地〕チャンダーラーマ，月園

Candikāputta〔比〕チャンディカープッタ，月

子
Candima〔經〕月天子 S 2 9
Candimant ①〔神〕チャンディマー ②〔王〕
candima-pabhā 月光
Candimasa ①〔天子〕月自在 ②〔經〕S 2 11
candima-suriya 日月
candimasuriyānaṁ upakkileso 日月の翳〔四種：雲，霧，烟塵，羅睺〕
Candimā 月神〜月天
Candimā devaputto 月天子
Candupama〔傳◦轉輪王〕チャンドゥハマ
Candupamaṁ〔經〕月喩 S 16 3
candupamā 月喩
Capaḍa〔彫刻者〕チャパダ
capala 浮動，浮薄，動搖，虛飾，輕薄，輕躁，輕躁なる
capu-capu〔食事の音〕チャフチャフ，啖啖
camara 犛牛，犛牛，〔犛〕牛
camarī ① 犛牛，犛牛 ②〔鹿〕チャマリー
campa=campaka〔植，花〕チャンパ，瞻波，瞻波迦
campaka=campa〔花，樹〕チャンパカ，素馨，旃簸迦，瞻波迦，瞻波，キンコウボク
Campaka ①〔傳◦轉輪王〕旃簸迦 ②〔都〕チャンパカ，詹蔔迦
Campakapupphiya 〔比丘の譬喩經〕①旃簸迦フッピヤ Ap 3 136 ② チャンパカプッヒヤ Ap 3 343
Campakā〔尼〕チャンパカー，詹蔔迦
Campanāmā〔俱留孫佛の上足尼〕チャンパナーマー
Campā ①〔城〕チャンパー，チャムパー，瞻波，瞻婆 ②=Kāḷacampā〔町〕瞻波 ③〔水路〕チャンパー
Campeyya ①=Campeyyaka〔龍王，佛の前生〕チャンヘーヤ，チャンペッヤ，瞻波 ②〔犍度〕瞻波
campeyyaka〔樹〕チャンヘッヤカ
Campeyyaka=Campeyya〔龍王，佛の前生〕チャンベーヤカ，瞻波
Campeyyaka-vinayavatthu 瞻波律事
Campeyyakkhandhaka 瞻波犍度 V 2 a 9
Campeyya-jātaka チャンペッヤ・ヂャータカ，チャンペッヤ本生物語 J 506
Campeyyanāga-cariyā〔經〕チャンペッヤ龍の所行 Cp 2 3
Cambutti〔池〕チャンブッティ
camma ① 皮，膚，皮膜，革，皮革，獸皮 ② 楯
camma-kāya 皮聚
camma-kāra 革職人
cammakāra-sippa 皮革技
Cammakkhandhaka 皮革犍度 V 2 a 5
camma-khaṇḍa ① 獸皮 ② 革瓶
camma-paṭṭa 皮布
camma-bandha 皮紐
camma-yodhin 裝甲兵，胸甲兵
Cammasāṭaka〔普行者〕チャンマサータカ，皮衣
Cammasāṭaka-jātaka チャンマサータカ・ヂャータカ，皮衣普行者本生物語 J 324
caya 積土
cara 密偵，間諜
Cara=Caraka〔王〕チャラ，遮羅
caraka 徘徊者，偵察者
Caraka=Cara〔王〕チャラカ
caraṇa 行，徳行
caraṇa-teja 行威力
caraṇavant 有行者
caraṇa-sampanna 行具足
carati 行く
caranta 行者
cara-purisa 間諜，密偵
Cara-vagga 行品 A 4 11〜20
carita ① 所行，行，步行せる ② 行者，性行者，性格者
cariya, cariyā 行，所行
cariyā ① 正行，行，所行 ② 性行，性格
Cariyā-kathā 所行論 Pts 3 5
cariyā-nānatte ñāṇaṁ 所行の種種相の智
Cariyā-piṭaka チャリヤー・ピタカ，所行藏經〔小部經の一〕Khuddaka 15
cariyā-vavatthāne paññā 所行の決定の慧

Carukkaṭṭa〔村〕チャルッカッタ
cala 動, 動搏
Cala〔將軍〕チャラ
calaka 參謀, 元帥
calanī〔鹿〕チャラニー
calita 動搖, 動轉
cākavāka(A)=cakkavāka 鴛鴦, 鵞鳥
cāga 施, 捨, 施捨, 布施, 施與, 寄捨, 棄捨
Cāga〔經〕棄捨 A 8〔附〕
cāga-cetanā dāna 捨思施
cāga-dhana 施財, 捨財〔七財の一〕
cāgavant 捨施者
cāga-sampadā 捨具足
cāga-sampanna 捨具足, 棄捨具足
cāgādhiṭṭhāna 捨住處, 捨處〔四住處の一〕
cāgānussati 捨隨念, 念施, 念捨
cāgin 施捨具足者
cāṭi 土管
cāṭukammatā 阿諛, 諂諛, 諂媚性
Cāṇakka=Cānakka〔婆〕チャーナッカ
cātuddasika 十四日自恣, 十四日布薩
cātuddisa nara 四方の人
cātuddisa yati 行雲流水
cātuddisa saṁgha 四方僧, 四方僧伽, 四方僧團, 四方に行く〔僧〕, 招提僧
cātubbeda 四吠陀
Cātuma〔釋氏〕チャートゥマ, 車頭
Cātuma-suttanta チャートゥマ・スッタンタ, 車頭聚落經 M 67
cātu-mahābhūtika=cātummahābhūtika
cātumahābhūtika kāya 四大種所成身, 四大所成身, 四大所造の身
Cātumahārājikā devā=Cātummahārājikā devā
Cātumā〔邑〕チャートゥマー, 車頭
cātumāsa〔祭〕チャートゥマーサ
cātumāsapaccaya-pavāraṇā 四月藥資具請
cātumāsinī 季節祭
cātummahāpatha 四大道, 四衢大街, 四衢街道, 四衢道, 四衢路, 四通の公道, 十字路
cātummahābhūtika 四大所成, 四大所造, 四大所屬, 四大種, 四大種所成, 四大種所造, 四大より成り
Cātummahārājika-parisā 四天王衆, 四天王會, 四大王衆〔八衆の一〕
Cātummahārājika-bhavana 四天王
Cātummahārājikā devā 四大王衆天, 四大王天, 四王天, 四大天王, 四天王
cātuvaṇṇi-suddhi 四姓清淨
Cāthamaṅgana〔池〕チャータマンガナ
Cānakka=Cāṇakka〔婆〕チャーナッカ
Cānavela=Tanaveli〔精舍〕チャーナヹーラ
Cānura〔力士〕チャーヌラ
cāpa 弓
cāpa-lasuṇa チャーパ蒜
cāpalya 浮薄
Cāpā〔尼〕チャーパー
Cāpāla〔廟〕チャーパーラ, 遮波羅, 遮婆羅, 遮頗羅
Cāpāla-cetiya 遮波羅廟, 遮波羅支提, 遮婆羅塔, 遮頗羅祠堂
Cāpāla-vagga 遮婆羅品 S **51** 1～10
cāmara 拂子
cārika 遊行
cārittaṁ āpajjati 邪淫を行ふ
cāritta-sīla 作持戒
Cāla〔比〕チャーラ, 遮羅
cālanī 篩
Cālā ①〔尼〕チャーラー, 遮羅 ②〔プッサ佛の第一比丘尼〕チャーラー, 動 ③〔スマナ佛の信女〕チャーラー, 動 ④〔經〕遮羅 S 5 6
Cālikā ①〔國, 邑〕チャーリカー ②〔山〕
Cāvala〔山〕チャーヴラ
cikisa(A), cikisaka(A), cikīcha(A) 療院
cikkhalla 泥地
ciṅgulaka 風車, 風車戲, 風車遊び
cicciṭāyati ciṭiciṭāyati〔シュッシュッと蒸發する音〕チチチチ, チッチタチティチタと音を發す, 沸騰し火烟を出す, 沸騰す
ciñca〔樹〕チンチャ
Ciñca-Māṇavikā=Ciñcā〔外道女〕チンチャマーナヸカー, 旃闍摩那祇
Ciñcā=Ciñcamāṇavikā〔外道女〕チンチャー,

旃闍，栴闍，栴遮
citaka 火葬堆，火堆，積，香積，葬堆，塚
Citakanibbāpaka 〔比丘の譬喩經〕チタカニッバーパカ Ap 3 460
citaka-pūjaka 塚の供養
Citakapūjaka 〔比丘の譬喩經〕チタカプーヂャカ Ap 3 116, 253, 277
citantaraṁsa 兩肩の間充實〔三十二相の一〕
Citapūjaka 〔比丘の譬喩經〕チタプーヂャカ Ap 3 291, 374, 459
Citapūjaka-vagga チタカプーヂャカ品 Ap 3 291～300
citta ① 心，意 ②=citra 繪畫，繪，畫，彩色
Citta ①〔比〕チッタ，質多羅，象首=象舍利子 ②〔旃陀羅の子，佛の前生〕質多 ③〔居士，衆中の智慧第一〕チッタ，質多，質多羅 ④〔スヂャータ佛の信士〕チッタ ⑤〔番卒〕チッタ ⑥= Cittaka〔鹿〕チッタ ⑦= Cittarāja〔夜叉〕チッタ ⑧〔山〕チッタ ⑨〔宮殿〕チッタ ⑩〔浴池〕チッタ ⑪〔憍陳如佛の塔廟〕チッタ ⑫〔經〕心 S 1 62
citta-adhipati 心增上
citta-anātura 心の無病
cittaṁ passambhati 心輕安なり
cittaṁ samādhiyati 心定を得
Cittaka ①〔比〕チッタカ ②=Citta〔鹿〕チッタカ，チッタ鹿
citta-kathika 妙說者
citta-kathin 巧說者
citta-kamma 繪畫
citta-kammaññatā 心適業性，心適應性
citta-kāra 繪師，畫工，畫師，彫刻師*
citta-kāraka 畫工，畫師
Cittakūṭa ①〔山〕チッタクータ，心峰 ②〔樓門〕チッタクータ
Cittakūṭalatā〔園〕チッタクータラター
cittakkhara 美字
cittakkhepa 亂心
Cittagutta〔比〕チッタグッタ，護心，心護
Cittacūḷa〔龜〕チッタチューラ
citta-cetasika 心心所
citta-cetasika dhamma 心心所法
citta-ja=citta-samuṭṭhāna 心生
cittaja-rūpa=cittasamuṭṭhāna-rūpa 心生色
cittaṭṭhiti=cittekaggatā 心止，心住
Cittaṭṭhiti-kathā 心住論 KV 2 7
Cittadassin〔王〕チッタダッシー
Citta-duka 心二法 Duka 56
cittaduka-kusalattika 心二法善三法 Duka-tika 65
citta dhamma 心法
citta-nimitta 心の相
citta-niyama 心決定
cittapaccaya-āhārasamuṭṭhāna 心緣食等起
cittapaccaya-utusamuṭṭhāna 心緣時節等起
citta-paṭibaddha 心繫屬，心に縛せられたるもの，心に依縛せらる
citta-payoga 心加行
Cittapariyādāna-sutta 心醉經
citta-passaddhi 心輕安，心の輕安
citta-pāguññatā 心練達性，心正性
cittapāṭalī 〔樹〕チッタパータリー，チトラパータリー，蘇質怛邏波吒羅，灰彩色華
citta-pārisuddhi 心清淨，心遍淨
citta-bhāvanā 心修習，心修，心の修習
citta-mudutā 心柔軟性，心軟性
Citta-yamaka 心雙論，心雙，雙心論 Y 8
Cittaratha〔園〕チッタラタ
Cittarāja ①=Citta〔夜叉〕チッタラーヂャ ②〔祠〕
cittalatā〔植〕チッタラター
Cittalatā〔園〕チッタラター，心蘿，心羅
Cittalatā-vagga チッタラター園品 Vv 18～28
Cittalatā-vana 心蘿園
Cittalatā-vimāna チッタラター天宮 Vv 75
Cittala-pabbata〔精舍〕チッタラ山
citta-lahutā 心輕快性，心輕性
Citta-vagga 心品 Dhp 3 vv 33～43
citta-vipatti 心缺損
citta-vipariyesa, citta-vipallāsa 心顚倒
citta-vippayutta 心不相應
citta-vippayutta dhamma 心不相應法

citta-vimutta 心解脱
citta-vimokkha 心解脱
citta-vivaṭṭa 心退轉
citta-vivaṭṭe ñāṇaṁ 心退轉の智
citta-viveka 心離，心遠離
citta-visaṁsaṭṭha dhamma 心不相雜法
citta-visuddhi 心清淨〔七清淨の一〕
citta-visuddhi pārisuddhi-padhāniyaṅgaṁ 心清淨清淨勤支〔九清淨勤支の一〕
citta-vūpakāsa 心寂滅，心遠離，心の閑靜
citta-vodānā sattā visujjhanti 心淨まるが故に衆生淨まる
citta-vyañjana 美文
cittasaṁkilesā sattā saṁkilissanti 心染せらるるが故に衆生染せらる
Citta-saṁyutta チッタ・サンユッタ，質多相應 S 41 1～10
citta-saṁsaṭṭha 心倶住，心相雜
Cittasaṁsaṭṭha-duka 心相雜二法 Duka **59**
cittasaṁsaṭṭhaduka-kusalattika 心相雜二法善三法 Duka-tika 68
cittasaṁsaṭṭha dhamma 心相雜法，心倶住法
cittasaṁsaṭṭha-samuṭṭhāna 心倶住等起，心相雜等起
Cittasaṁsaṭṭha-samuṭṭhāna-duka 心相雜等起二法 Duka **63**
cittasaṁsaṭṭha-samuṭṭhānaduka-kusalattika 心相雜等起二法善三法 Duka-tika 72
citta-saṁsaṭṭha-samuṭṭhāna dhamma 心相雜等起法，心倶住等起法
Cittasaṁsaṭṭha-samuṭṭhāna-sahabhu-duka 心相雜等起倶有二法 Duka **64**
cittasaṁsaṭṭha-samuṭṭhānasahabhuduka-kusalattika 心相雜等起倶有二法善三法 Duka-tika 73
citta-saṁaṭṭha-samuṭṭhāna-sahabhū dhamma 心相雜等起倶有法，心相雜等起倶在法
Cittasaṁsaṭṭha-samuṭṭhānānuparivatti-duka 心相雜等起隨轉二法 Duka **65**
cittasaṁsaṭṭha-samuṭṭhānānuparivattiduka-kusalattika 心相雜等起隨轉二法善三法 Duka-tika 74
citta-saṁsaṭṭha-samuṭṭhānānuparivattin dhamma 心相雜等起隨轉法
citta-saṅkhāra 心行
Citta-saṅgaha-vibhāga 攝心分別 Abhisaṅg 1
citta-santati 心相續
citta-samaṅgin 心具足者
citta〔-samādhi〕心〔定〕
cittasamādhi-padhānasaṁkhāra-samannāgata iddhipāda 心三摩地勤行成就神足，心三摩地勝行成就神足〔四神足の一〕
citta-samuṭṭhāna 心等起
cittasamuṭṭhāna-kalāpa 心等起聚
Cittasamuṭṭhāna-duka 心等起二法 Duka **60**
cittasamuṭṭhānaduka-kusalattika 心等起二法善三法 Duka-tika 69
citta-samuṭṭhāna dhamma 心等起法
cittasamuṭṭhāna-rūpa 心等起色
citta-sampadā 心具足，心圓足
citta-sampayutta 心相應
Cittasampayutta-duka 心相應二法 Duka **58**
cittasampayuttaduka-kusalattika 心相應二法善三法 Duka-tika 67
citta-sampayutta dhamma 心相應法＝心所法
Cittasambhūta-jātaka チッタサンブータ・ヂャータカ，質多三浮陀本法物語 J 498
Cittasahabhu-duka 心倶有二法 Duka **61**
cittasahabhuduka-kusalattika 心倶有二法善三法 Duka-tika 70
citta-sahabhū 心倶在，心倶有
citta-sahabhū dhamma 心倶在法，心倶有法
Cittasena〔犍闥婆〕チッタセーナ，支多羅斯那
cittassa aññathattaṁ 心の變異
cittassa ādhāro 心の依持
cittassa upakkileso 心の隨煩惱，心の穢，心穢，心の汚濁，心隨煩惱
cittassa ekaggatā 心一境性，一心
cittassa nimittaṁ 心の相
cittassa parikkhāro 心の資具
Cittahattha-sāriputta〔比〕チッタハッタサーリプッタ，象首舍利弗，質多羅象舍利子，質

多羅象舍利弗
Cittahatthi-sāriputta=Cittahattha-sāriputta〔比〕
Cittā ①〔尼〕チッター，心 ②〔ソービタ佛の信女〕チッター ③〔尸棄佛の信女〕チッター，心 ④〔女〕チッター，思惟 ⑤=Ummāda-cittā〔マッタカラー王女〕チッター，質多
cittāgāra 繪畫堂
Cittāgāra-vagga 畫堂品 V 1 b 4, 41～50
cittānuparivatti 心隨轉
Cittānuparivatti-duka 心隨轉二法 Duka 62
cittānuparivattiduka-kusalattika 心隨轉二法善三法 Duka-tika 71
cittānuparivattin dhamma 心隨轉法
cittānupassanā 心隨觀
cittānupassanā-satipaṭṭhāna 心隨觀念處
Cittārammaṇa-kathā 心所緣論 KV 5 7
cittikata-dāna 至心施
cittiddhipāda 心神足=心三摩地勤行成就神足
cittujukatā 心端直性，心直性
cittuppāda 心生，心生起，發心
Cittuppāda-kaṇḍa 心生起品 Dhs 1
cittuppāda-pariyāya 發心の法門
cittekaggatā=cittassa ekaggatā 一心，心一境性
cittena cintitaṁ 心の所思
cittena loko niyyati 世は心に導かる
citra=citta 彩色，繪畫
citrapāṭalī=cittapāṭalī, paṭalī〔樹〕チトラパータリー
citrupāhana 彩履
Cinatā〔河〕チナター
Cintā ①〔經〕思 S 56 8 ②〔經〕思惟 S 56 41
cintā-kavi 思詩人
cintā-maṇi 如意寶
Cintāmaṇi〔園林〕チンターマニ，如意寶珠
cintā-mayā paññā 思所成慧，思所成の慧〔三慧の一〕
cintin 思惟者
cimilikā チミリカ布
ciraṁ jīva 老壽
Cirakata-saraṇa-pañho 久遠所作憶念の問 Mil 2〔6〕10
ciraṭṭhitika 久住
cira-pabbajita 久修行者，上臘
Cirappa〔傳◦轉輪王〕チラッパ
Ciravāsin〔バドラガカ聚落主の子〕チラヴーシー
cirīṭa 鸚鵡
cilimikā 褥
cilīma 筋
cillaka 傀儡
cīna〔布〕チーナ，支那
Cīna〔國〕チーナ，支那
cīnaka ①〔植〕チーナカ ② 支那豆
cīna-paṭṭa 支那布，支那製の布
Cīnamāla〔傳◦轉輪王〕チーナマーラ
Cīra〔池〕チーラ
cīraka-vāsika 皮衣刑
Cīra-mātikā〔水路〕チーラマーティカ
cīriḷikā 蟋蟀
cīvara 衣，衣服，上衣，法衣
Cīvara〔塔廟〕チーヴラ，法衣
Cīvaraṁ〔經〕衣 S 16 11
cīvarakāra-samaya 作衣時
cīvara-kāla, cīvara-kālasamaya 衣時
Cīvarakkhandhaka 衣犍度 V 2 a 8
Cīvaragumba〔精舍〕チーヴラグンバ
cīvara-cetāpana 衣料
cīvaradāna-samaya 施衣時
cīvara duvidha 衣の二種
cīvara-dussa 衣材
cīvara-paṭiggāhaka 受衣人，納衣人
cīvara-paṭivisa 衣分
cīvara-palibodha 衣執持
cīvara-paviveka 衣〔所生染〕の遠離
cīvara-bhājaka 分衣人
cīvara-rajju 衣綱，衣繩
cīvara-lesa 衣似
cīvara-vaṁsa 衣架，衣懸
cīvara-vaḍḍhaka 裁縫師
cīvare pariyāyo 衣法

cuṇṇa 細末，粉，粉抹，洗粉，細麺，粉薬
cuṇṇa-piṇḍa ① 團子 ② 粉薬塊
cuṇṇa-bhesajja 粉薬
Cuṇṇasālā 〔地名〕チュンナサーラー
cuti 死，死沒
cuti-carimaka 死を最後とする〔出入息〕
cuti-citta 死心，死沒心
cutupapatti 死生通
cutūpapāta 死生，生死
cutūpapāta-ñāṇa 死生智
cuditaka 被呵責人，被呵責者
cudita bhikkhu 被難詰比丘，諫詬せられたる比丘
cuddasa khandhaka-vattāni 十四義務
Cuddasa-nipāta 十四偈集〔長老偈經〕Thag 645～672
cuddasa buddha-ñāṇāni 十四佛智
cuddasa bhattāni 十四食
Cunda ①〔舍利弗の弟，沙彌，比〕チュンダ，周陀，純陀，周那＝大周那〔譬喩經〕Ap 3 50 ②〔鍛工子〕チュンダ，准陀，純陀，淳陀 ③〔王子〕チュンダ，准陀 ④〔經〕純陀 S 47 13 ⑤〔經〕周陀 A 10 24 ⑥〔經〕淳陀 A 10 176
Cundaka〔比〕淳陀，准陀
Cundaṭṭhila〔地名〕チュンダッティラ
Cunda-sutta 淳陀經 Sn 1 5
Cundī〔頻毘娑羅王女，夷〕チュンディー，准提，准陀
Cullakañcakuṇḍa＝Khuddakañcakuṇḍa〔ダミラ人〕チュッラカンチャクンダ
culla-kappa 小劫
Cullakammāsadamma〔村〕小カンマーサダンマ
Cullakaseṭṭhi-jātaka チュッラカセッティ・ヂャータカ，周羅財官本生物語 J 4
Cullaka-seṭṭhin〔佛の前生〕チュッラカセッティ，小財官
Cullakāliṅga〔王子〕小迦陵誐
Cullakāliṅga-jātaka チュッラカーリンガ・ヂャータカ，小迦陵誐王女本生物語 J 301
Cullakāḷa〔山〕小黒
Cullakuṇāla-jātaka チュッラクナーラ・ヂャータカ，小郭公本生物語 J 464
Cullakuṇāla-vagga 小郭公品 J 341～350
Cullagallaka＝Gaggala〔精舍〕チュッラガッラカ
Cullatuṇḍila〔豚〕チュッラトゥンディラ，小鼻
Culladaddara〔龍〕チュッラダッダラ
Culladhanuggaha〔賢者〕チュッラダヌッガハ，小弓取
Culladhanuggaha-jātaka チュッラダヌッガハ・ヂャータカ，小弓術師本生物語 J 374
Culladhanuggaha-paṇḍita＝Culladhanuggaha チュッラダヌッガハ・パンディタ，小弓術師賢者
Culladhammapāla-jātaka チュッラダンマパーラ・ヂャータカ，小護法王子本生物語，チューラダンマパーラ本生話 J 358
Cullanandikā〔女〕チュッラナンディカー
Cullanāga〔渡〕チュッラナーガ
Cullanāradakassapa-jātaka＝Cullanārada-jātaka チュッラナーラダカッサパ・ヂャータカ，小那羅陀苦行者本生物語
Cullanārada-jātaka チュッラナーラダ・ヂャータカ，小那羅陀苦行者本生物語 J 477
Cullantevāsika〔周羅槃特の前生〕チュッランテーヴーシカ
Cullapaduma-jātaka チュッラパドゥマ・ヂャータカ，小蓮華王本生物語 J 193
Cullapantha〔房舍〕チュッラパンタ
Culla-panthaka＝Cūḷa-panthaka〔比，化作第一，心解脱第一〕朱利槃特，周利槃特，周羅槃特，周羅槃陀，周羅半託迦，朱荼半託迦，小路
Cullapalobhana-jātaka チュッラパローバナ・ヂャータカ，小誘惑本生物語 J 263
Cullabodhi-jātaka チュッラボーディ・ヂャータカ，小菩提童子本生物語 J 443
Cullamātika〔村〕チュッラマーティカ
Cullalohita〔牛〕チュッラローヒタ，小赤
Culla-vagga＝Cūḷa-vagga 小品 ① V 2 b 1～12 ② A 3 41～50 ③ Ud 7 ④ Sn 2 1～14

⑤ Pv 3
Cullasuka-jātaka チュッラスカ・ヂャータカ，小鸚鵡本生物語 J 430
Cullasutasoma-jātaka チュッラスタソーマ・ヂャータカ，小スタソーマ王本生物語 J 525
Cullasubhaddā ①〔給孤獨の女〕チュッラスバッダー，チューラスバッダー，小善賢 ②〔象王妃〕小善賢
culla-sotāpanna 小須陀洹
Cullahaṁsa-jātaka チュッラハンサ・ヂャータカ，チュッラハンサ本生物語，小鵞本生物語 J 533
cullāsīti-mahākappa 八十四大劫
Cūlaṅgaṇiya〔piṭṭhi〕〔戰場〕チューランガニヤ〔ピッティ〕
Cūlanāga-pabbata〔精舍〕チューラナーガ山
Cūḷa-Anāthapiṇḍika＝Cūḷānāthapiṇḍika〔長者〕チューラアナータピンディカ，小給孤獨
Cūḷaassapura-sutta チューラアッサプラ・スッタ，馬邑小經 M 40
Cūḷaka〔比〕チューラカ
Cūḷakammavibhaṅga-sutta チューラカンマギヴンガ・スッタ，小業分別經 M 135
Cūḷa-kokanadā〔天女〕小紅蓮
Cūḷagalla〔精舍〕チューラガッラ
Cūḷagavaccha〔比〕チューラガヴッチャ
Cūḷagopālaka-sutta チューラゴーパーラカ・スッタ，牧牛者小經 M 34
Cūḷagosiṅga-sutta チューラゴーシンガ・スッタ，牛角林小經 M 31
Cūḷa-cunda＝Cunda〔舍利弗の實弟〕周羅純陀
Cūḷajanaka-jātaka チューラヂャナカ・ヂャータカ，小ヂャナカ王本生物語 J 52
Cūḷataṇhāsaṅkhaya-sutta チューラタンハーサンカヤ・スッタ，愛盡小經 M 37
Cūḷadukkhakkhandha-sutta チューラドゥッカカンダ・スッタ，苦蘊小經 M 14
Cūḷadeva〔相承比丘〕チューラデーヴ，周羅提婆
Cūḷadhammapāla-jātaka＝Culladhammapāla-jātaka チューラダンマパーラ本生話
Cūḷadhammasamādāna-sutta チューラダンマサマーダーナ・スッタ，得法小經 M 45
Cūḷa-nandiya〔猿〕小ナンディヤ
Cūḷanandiya-jātaka チューラナンディヤ・ヂャータカ，小ナンディヤ猿本生物語 J 222
Cūḷanāga ①〔相承比丘〕チューラナーガ，專那伽，小龍 ②〔比〕チューラナーガ，小龍 ③＝Khujjanāga〔王〕チューラナーガ
Cūḷanāga-leṇa 小龍洞
Cūḷanāgā〔尼〕チューラナーガー
Cūḷa-niddesa チューラニッデーサ，小義釋〔小部經の一〕Khuddaka 11 2
Cūḷanī ①＝Brahmadatta〔王〕チューラニー ②〔人〕
Cūḷanī-Brahmadatta〔王〕チューラニー・ブラフマダッタ
cūḷantara 小中雙
Cūḷa-panthaka＝Culla-panthaka〔比〕チューラパンタカ，朱利槃特，朱荼半託迦，周利槃特，周梨槃特，周羅槃特，周羅槃陀，周羅半託迦，小路〔譬喩經〕Ap 3 14
Cūḷapiṇḍapātika-Tissa〔比〕小乞食帝須
Cūḷapuṇṇama-sutta チューラプンナマ・スッタ，滿月小經 M 110
Cūḷabodhi〔仙，佛の前生〕チューラボーディ
Cūḷabodhi-cariyā〔經〕チューラボーディの所行 Cp 2 4
Cūḷamāluṅkya-suttanta チューラマールンクャ・スッタンタ，摩羅迦小經 M 63
Cūḷayamaka-vagga チューラヤマカ・ヴッガ，雙小品 M 41～50
Cūḷa-ratha-vimāna 小車天宮 Vv 63
Cūḷarāhulovāda-sutta チューララーフローヴーダ・スッタ，教羅睺羅小經 M 147
Cūḷa-vaṁsa〔書〕チューラヴンサ，小王統史 Cv 37～101
Cūḷa-vagga＝Culla-vagga
Cūḷavāpiya〔村〕チューラヴーピヤ
Cūḷaviṭṭhi〔精舍〕チューラギッティ
Cūḷaviyūha-sutta 小集積經，小積集經 Sn 4 12
Cūḷaviyūhasutta-niddesa 小集積經の義釋 MNd 12
Cūḷavedalla-sutta チューラヹーダッラ・スッ

タ，有明小經 M 44
Cūḷavyūha-suttanta 小積集經，小集積經＝Cūḷaviyūha-sutta
Cūḷa-saṁgāma〔章〕小諍 V 3 12
Cūḷasakuludāyi-sutta チューラサクルダーヰ・スッタ，善生優陀夷小經 M 79
Cūḷasaccaka-sutta チューラサッチャカ・スッタ，薩遮迦小經 M 35
Cūḷasāropama-sutta チューラサーローパマ・スッタ，心材喩小經 M 30
Cūḷasiva, Cūḷasīva〔比，相應部師〕チューラシヴ，小尸婆，小シーヴ
cūḷa-sīla 小戒
Cūḷasīhanāda-sutta チューラシーハナーダ・スッタ，師子吼小經 M 11
Cūḷasugandha〔比丘の譬喩經〕チューラスガンダ Ap 3 547
Cūḷasuññata-sutta チューラスンニャタ・スッタ，空小經 M 121
Cūḷasutasoma〔仙〕チューラスタソーマ
Cūḷasutasoma-jātaka＝Cullasutasoma-jātaka チューラスタソーマ・ヂャータカ
Cūḷa-Subhaddā＝Cullasubhaddā〔給孤獨の女，夷〕チューラスバッダー，小善賢，小須跋陀
Cūḷa-Sumana〔比〕チューラスマナ，周羅須摩那
Cūḷa-sumanā〔尼〕小須摩那
Cūḷaseṭṭhī-petavatthu 權商鬼事 Pv 2 8
Cūḷahatthipadopama-sutta チューラハッティパドーパマ・スッタ，象跡喩小經，小象跡喩經 M 27
Cūḷānāthapiṇḍika＝Cūḷa-Anāthapiṇḍika〔長者〕小給孤獨
Cūḷānāthapiṇḍika-Tissa〔比〕小給孤獨帝須
Cūḷābhaya ①〔相承比丘〕チューラーバヤ，周羅婆耶，小無畏 ②〔王〕チューラーバヤ
cūḷā-maṇi 寶冠，髻寶珠
Cūḷāmaṇi-cetiya チューラーマニチェーティヤ，髻寶珠の祠
Cūḷodara〔龍〕チューローダラ，小腹
Cecca〔王〕チェッチャ
Ceta＝Ceti〔國〕チェータ
cetaka 小德
Cetaka〔比〕チェータカ，制多迦
cetakedu〔鳥〕チェータケードゥ
cetanā 思
Cetanā〔經〕思 S 12 38〜40；25 7；26 7；27 7；A 10 2；11 2
cetanā-kamma 思業
cetanābhabba 思不能〔者〕
Cetanālakkhaṇa-pañho 思の特相の問 Mil 2〔3〕11
cetanāhāra 思食＝意思食
Cetaputta〔人〕チェータフッタ
cetayita 思已，所思
cetasa〔樹〕チェータサ
cetasā suparicitaṁ 意を以て積習せられたる
cetasika ① 心的，心の，心に屬する ② 心所，心に屬す，心に屬するもの
Cetasika-kathā 心所法論 KV 7 3
Cetasika-duka 心所二法 Duka 57
cetasikaduka-kusalattika 心所二法善三法 Duka-tika 66
cetasika-dukkha 心苦，心の苦，心中の苦悶
cetasika-dukkha-vedanā 心の苦受，心苦受
cetasika dhamma＝cittasampayutta dhamma 心所法
cetasika pāgabbhiya 心傲慢
cetasika viriya 心の精進
cetasika-vedanā 心受，心的受，心に屬する受
Cetasika-saṅgaha-vibhāga 攝心所分別 Abhisaṅg 2
cetasika sukha 心の樂，心樂
cetaso adhiṭṭhānaṁ 心の取著，心の攝受，意の攝受
cetaso abhiniropanā 心の專精
cetaso avūpasamo 心の非寂止，心不寂靜
cetaso āghāto 心の嫌恨
cetaso ārakkho 心の守護
cetaso upakkileso 心隨煩惱，心穢，心の穢，心の隨煩惱，心の汚濁
cetaso ekodi-bhāvo 心專一，心一趣性，心の一

趣性，心の一境相，心の專一性
cetaso pasādo 心の清淨
cetaso līnattaṁ=thīna 心の退縮，心退縮，心昧劣性
cetaso vikkhepo ①=uddhacca 心散亂 ② 心亂
Cetaso vinibandhā〔經〕心縛 A 9 72, 82, 92
cetaso vinibandho 心の束縛，心縛〔五種〕
cetaso vivaraṁ 心の離障
cetaso vūpasamo 心寂靜，心の寂止
cetaso sārāgaṁ 心の染著
Cetā〔比豆梨の嫁〕チェーター
Cetāli〔村〕チェーターリ
Cetāvi〔村〕チェーターギ
Ceti=Ceta〔國，十六大國の一〕チェーティ，支提，枝提，制底
cetiya ① チェーティヤ，支提，制多，塔廟，靈祠，祠堂，祠廟，塔，墓所，廟塔，記念塔，舍利廟 ②〔樹〕支提
Cetiya ①〔國〕チェーティヤ ②〔王〕チェーティヤ，徵 ③〔山，精舍〕チェーティヤ，支提，支提耶 ④〔經〕塔 S 51 10
cetiya-ghara 舍利堂
cetiyaṅgaṇa 塔廟の庭
cetiya-cārika 廟の巡禮者
Cetiya-jātaka チェーティヤ・ヂャータカ，支提王本生物語 J 422
Cetiya-pabbata〔精舍〕支提山，支提耶山，支帝耶山
Cetiyapabbata-paṭiggahaṇa 支提山の受納 Dv 14, 2；Mv 16
cetiya-pūja 支提供養
cetiya-rukkha 神廟樹
cetiya-vandana 支提禮拜
Cetiya[-vāda]〔部派〕制多〔山〕
Cetiyā〔夜叉女〕チェーティヤー
ceteti 思量す
ceto 心想，心
ceto-khila 心栽，心の荒野，心蕪〔五種〕
Ceto-khila〔經〕心栽 A 9 71
Cetokhila-sutta チェートーキラ・スッタ，心荒野經 M 16
ceto-dukkha 心の苦，心苦
ceto-paṇidhi 心願
Cetoparicca〔經〕心 S 52 14
ceto-paricca-ñāṇa=cetopariyāya-ñāṇa 心を知るの智慧，他心智
cetopariya-ñāṇa 解心智，他心智，他心通，心差別智，心證解智，他心を知る
ceto-pariyāya 心の習性，心差別，他心を知る，他心智
cetopariyāya-iddhi 心差別神通，心差別通=心差別智，他心通，他心智
cetopariyāye ñāṇaṁ=cetopariya-ñāṇa 他心智，他心通，心差別智，心證解智，他心を知る，解心智
ceto-parivitakka 心の所念
ceto-pharaṇatā 心遍滿，心遍滿性〔五正定支の一〕
ceto-vasin 心自在，心の自在
ceto-vasippatta 心の自在を得たる，心自在者
ceto-vimutti 心解脫，心解脫者
ceto-vimutti ca paññā-vimutti ca 心解脫と慧解脫
cetovimutti-phala 心解脫果
ceto-vivaṭṭa 思退轉
ceto-vivaṭṭe ñāṇaṁ 思退轉の智
ceto-vivaddha-kusala 心解脫善巧
ceto-vivaraṇa 心の離蓋
ceto-samatha 心寂止，心靜止，心の安息
ceto-samādhi 心三昧，三昧心
ceto-sukha 心の樂，心樂
Cela〔傳・王〕チェーラ
celaka ① 旗手，軍旗手 ② 裁縫師
cela-vitāna 天幕
celāvaka〔鳥〕チェーラーヴカ
Cellāru〔村〕チェッラール
Ceḷa ①〔經〕支羅 S 47 14 ②〔經〕衣 S 56 34
coca〔樹〕チョーチャ，有種蕉，ココア，俱羅果
coca-pāna 俱羅果漿，蕉汁〔八種飲料の一〕
Coḍa (A)=Coḷa〔國〕チョーダ

Coḍagaṅga〔王〕チョーダガンガ
Coḍagaṅgādeva〔ダミラ人〕チョーダガンガーデーヴ
codaka 呵責者，呵責人，訶責者，諫誨者，訶責
codaka bhikkhu 呵責比丘，難詰比丘，叱責する比丘，徴問する比丘，諫誨する比丘
codanā 呵責，訶責，督促，擧罪，嫌譏，呵責法
Codanā-kaṇḍa 呵責品 V 3 11
codanā-vatthu 擧罪事〔三事〕
Codanā-vatthu〔地名〕チョーダナーヴットゥ
Codanāvatthu-bhāṇavāra チョーダナーヴットゥ誦品 V 2 a 2, 17〜27
codasa-vasābhisita (A) 灌頂十四年
codita 被呵責者
codeti 呵責す
cora ① 賊，盗，盗人，盗賊，強盗，劫賊，兇賊，山賊 ②=coraka〔植〕チョーラ
Cora〔經〕賊 A 8 84
coraka=cora〔植〕チョーラカ
Coraka〔精舎〕チョーラカ
cora-kathā 賊論，盗賊論，盗賊の話，盗論〔無用論の一〕
cora-kantāra 賊難處，盗賊難所，盗賊難處
cora-gāma 盗賊村
cora-ghāta=cora-ghātaka 行刑者，刑吏，殺賊者，死刑執行人，司獄，魁膾
cora-ghātaka=cora-ghāta 魁膾
Coranāga=Mahānāga〔王〕チョーラナーガ，賊ナーガ
corantarāya 賊の障礙，盗賊の障礙〔十障礙の一〕
cora-paccatthika 賊怨家
Cora-papāta チョーラ崖，盗賊嶽，盗人嶽，盗賊の谷
cora-bhaya 賊の怖畏，賊畏，賊の畏
Coramba〔村〕チョーランバ
corī 賊女，盗賊
corī bhariyā 盗賊なる妻，盗掠婦人
corīvuṭṭhāpana-samuṭṭhāna 度賊女等起
cola 布
colaka 小布，雜巾，拭布
Colakatissa〔精舎〕チョーラカティッサ
cola-paṭṭa 朱羅布
cola-bhisi 布臥褥
cola-vaṭṭi 朱羅褶
cola-veṇi 朱羅條
Coḷa=Coḍa〔國〕チョーラ
coḷaka=colaka
Coḷakulantaka〔村〕チョーラクランタカ
Coḷakonāra〔ダミラ人〕チョーラコーナーラ
Coḷagaṅgakumāra〔王子〕チョーラガンガクマーラ
Coḷagaṅga〔ra〕〔ダミラ人〕チョーラガンガ〔ラ〕
Coḷatirikka〔ダミラ人〕チョーラティリッカ
Coḷarāja〔大臣〕チョーララーヂャ

cha agāravā 六不恭敬，六種の不敬〔佛，法，僧，戒，不放逸，親暱への不恭敬〕
cha ajjhattika-bāhira-āyatanāni 六內外處
cha ajjhattikāni āyatanāni 六內處＝六眼
cha ajjhāsayā 六意樂
cha anuttariyāni 六無上，六無上支〔見，聞，利得，學，行，憶念〕
cha anuvāda-mūlāni 六種の非難〔諍事〕の根
cha anussatiṭṭhānāni 六隨念處＝六隨念，六念
Cha-anussati-niddesa 六隨念の解釋 VM 7
cha anussatiyo 六隨念＝六隨念處，六念
cha apariyāpanna-hetū 六非所攝因
cha aparihāniya-dhammā 六不退法，六の順不退法
cha abhijātiyo＝chaḷabhijātiyo, chaḷābhijātiyo 六種の階級，六階級，六生類，六種族，六種姓〔外道說〕
cha abhiññā＝chaḷabhiññā 六神通，六通
cha abhiññā-ñāṇāni 六通智
cha abhiṭhānāni 六逆罪，六重罪＝六無間業
cha abhibhāyatanāni 六勝處
cha arūpāvacara-hetū 六無色麼因，六無色界因
cha asādhāraṇa-ñāṇāni 六不共智
cha ākārā 六行相〔空觀の〕
Cha āpattisamuṭṭhāna-vāra 六種犯罪等起章 V 3 4 (2)
cha āpatti-samuṭṭhānā 六種の犯罪等起
Cha āpatti-samuṭṭhānānaṁ katāpatti-vāraṁ 六種犯罪等起罪數章 V 3 4 (3)
cha indriyāni 六根＝六內處
cha upekkhā＝chaḷaṅgupekkhā 六捨
cha upekhupavicārā 六捨行，六捨近行，六捨近伺
chakana 牛糞
cha kala 六種の術
chakalaka 牡羝羊
chakalī 牝山羊
cha-kāmaggi 六欲の焰
cha kāma-saggā＝cha devalokā 六欲天
cha kāmāvacara-devā 六欲天
Chakka-nipāta 六集 A 6 1～124

cha gatiyo 六趣
Chagāma＝Chaggāma〔村〕チャガーマ，六村
cha gāravā 六恭敬，六種の敬
cha gehasitā upekhā 六在家捨
cha gehasitāni domanassāni 六在家憂
cha gehasitāni somanassāni 六在家喜
chagocchaka-duka 六群二法
chagocchakaduka-hetuduka 六群二法因二法 Duka-duka 44
Chaggāma＝Chagāma〔村〕チャッガーマ，六村
cha cīvarāni 六種衣〔亞麻，綿，絹，毛，麻，苧の衣〕
cha cetanā 六思
Chachakka-sutta チャチャッカ・スッタ，六六經 M 148
cha chakkāni 六六
cha chandarāga-gehasitā dhammā 六在家欲貪法，六境への貪
chaṭṭha-pārājika 第六波羅夷
chaṭṭha-bhāṇavāra 第六誦品
Chaṭṭha-vagga 第六品
chaṭṭha-saṁghādisesa 第六僧殘＝造房戒
chaṭṭhāyatana 第六處
chaḍḍita 放棄
chaḍḍita kheḷa-piṇḍa 吐痰の團子
chaḍḍeti 棄つ
chaṇa 饗宴，祭
chaṇaka〔草〕チャナカ
chaṇa-kīḷā 祭の遊
cha taṇhā 六渴愛，六愛
cha taṇhā-kāyā 六渴愛身，六渴愛聚，六愛身，六境への渴愛
cha tathāgata-balāni 六如來力
chatta 蓋，傘，傘蓋，蓋傘，日傘
Chatta ①〔婆〕チャッタ ②〔青年，歸依三寶，死後生天〕チャッタ ③〔王子〕チャッタ，傘蓋 ④〔ダミラ人〕チャッタ ⑤〔宮殿〕
chatta-gāha 持傘者
Chattagāhaka〔池〕チャッタガーハカ，傘持
Chattagāhaka-Jantu〔王〕傘持のヂャントゥ

Chattadāyaka〔比丘の譬喩經〕チャッタダーヤカ Ap 3 293
Chattapāṇi ①〔塞〕チャッタパーニ，傘掌 ②〔理髪師〕チャッタパーニ
chatta-maṅgala 天蓋祭禮，天蓋祝
Chatta-māṇavaka-vimāna チャッタ青年天宮 Vv 53
Chatta-vagga ①蓋品 ②チャッタ品 Ap 3 141～150
Chattavaḍḍhi〔房舍〕チャッタヴッディ，授傘
chattiṁsaka 三十六事 V 2 b 3, 28
chattiṁsa taṇhā-vicaritāni 三十六愛行，三十六渇愛行
chattiṁsatī sotā 三十六流
chattiṁsa satta-padā 三十六有情句
chattiṁsā vedanā 三十六受，三十六種受
Chattunnata〔池〕チャットゥンナタ
Chattupāhana-vagga 蓋屣品 V 1 b 4, 84～96
chadana 屋蓋〔五種〕
Chadanta-jotipāla-pañho 六牙象・光護の問 Mil 4〔6〕5
Chadanta-daha〔雪山の池，七大湖の一〕六牙池，六色牙湖
cha diṭṭhigatāni 六成見
cha diṭṭhiṭṭhānāni 六見處
cha diṭṭhiyo 六見
cha devalokā=cha kāma-saggā 六の天界
cha domanassupavicārā 六憂行，六憂近行，六憂近伺
chadda 覆障
Chaddanta ①〔象，龍王，佛の前生〕チャッダンタ，六牙，六色牙，六齒 ②=Chadanta〔雪山の池，七大湖の一〕チャッダンタ，六牙，六色牙
chaddanta-gaja=chaddanta-vāraṇa 六色牙象
Chaddanta-jātaka チャッダンタ・ヂャータカ，六色牙象本生物語，六牙象本生物語，六齒本生經 J 514
Chaddanta-nāgarājan 六牙の象王
chaddanta-vāraṇa=chaddanta-gaja, chabbisāṇa kuñjara 六色牙象
chaddisā 六方
cha dvārā 六根門，六門
cha-dvārika 六門
cha dhammā 六法〔正學女の〕
cha dhammā vijjābhāgiyā 六順明分法
cha dhātuyo 六界
chadhātu-vibhaṅga 六界分別
chadhā visaya-pavatti 六種の境轉起
Cha-nipāta ① 六偈集〔長老偈經〕Thag 375～458 ② 六偈集〔長老尼偈經〕Thīg 127～174 ③ 第六篇〔本生經〕J 376～395
cha nibbedhabhāgiya-saññā 六決擇分想
cha nissāraṇīyā dhātuyo 六出離界
cha nīvaraṇāni 六蓋
chanda ① 欲，志欲，意欲，欲求，欲貪，欲望，欲念，樂欲，貪欲，愛 ②=chandas
Chanda〔經〕志欲 S 45 51, 58, 65, 72, 79, 86
chanda-adhipati 欲增上
chandaṁ dadāti 承諾を與ふ
chandaka 寄附
chanda-nānatta 欲種種，種種欲
chanda-mūlaka 欲を根本とす，欲を根本と爲す
chanda-rāga 欲貪，欲，欲染
Chandarāga〔經〕欲貪 S 22 25, 111, 112; 23 9, 10
chandarāgaṭṭhānīya dhamma 欲貪の因なる法
chandarāga-vinaya 欲貪の調伏
Chandarāgī〔經〕欲貪 S 22 111, 112; 23 9, 10
chandavāsinī 樂住婦
chanda-vūpasama 欲寂靜
chandas, chanda, chando 詩學，婆羅門書，聖偈，韻，雅語
chanda-samādhi 欲定
chandasamādhi-padhānasaṁkhāra-samannāgata iddhipāda 欲三昧地勤行成就神足，欲三摩地勝行成就神足〔四神足の一〕
chanda-sampadā 志欲具足
chandāgati 貪欲の非道，貪欲不應行，欲趣，欲道，貪不行處
chandāgatiṁ gacchati 貪不行處行〔四不行處行の一〕

Chandāgārika〔部派〕六城
Chandāva〔婆〕チャンダーヷ
chandika 樂欲
chandiddhipāda 欲神足
Chandena〔經〕欲念にて S 35 167～172
Chando〔經〕欲 S 12 85；47 37；51 13
Chandoka〔婆〕チャンドーカ
chando pahīyati 欲を斷ず
chando-viciti 韻律學
channa 祕密，屏處
Channa ①〔比〕チャンナ，闡陀，闡那，闡怒，車匿 ②〔比，自殺す〕チャンナ，闡陀 ③〔大臣〕チャンナ，闡那 ④〔御者〕チャンナ，車匿 ⑤〔經〕闡陀 S 22 90；35 87
Channa-vagga 闡陀品 S 35 84～93
Channā〔尼〕チャンナー
channā kuṭikā 屋舍は葺かれ，小舍は葺かれ
channā kuṭī 家は葺かれ
Channovāda-sutta チャンノーヷーダ・スッタ，敎闡陀經 M 144
chapaka 旃陀羅〔本生話〕
cha paññattiyo 六施設〔蘊，處，界，諦，根，人〕
cha paṭṭhānāni 六發趣
cha parihāniyā dhammā 六退還法
Cha-pāṇa〔經〕六生物 S 35 206
cha puggalā 六補特伽羅
cha phassa-kāyā 六觸聚，六觸身
cha phassā 六觸
cha phassāyatanāni 六觸處，六種の觸處
cha phassāyatanika deva 六觸處所屬の天
cha phassāyatanika niraya 六觸處所屬の地獄，六觸處地獄
Cha-phassāyatanikā〔經〕六觸處 S 35 71～73
cha bāhirāni āyatanāni 六外處，六境
cha buddha-dhammā 六佛法
chabbaggiya 六群
chabbaggiyā bhikkhunī 六群比丘尼
chabbaggiyā bhikkhū 六群比丘
chabbidha-carita 六種の行者，性格者
chabbidhena rūpakkhandho 六種色蘊
chabbidhena rūpa-saṅgaho 六種色聚
chabbisāṇa kuñjara=Chaddanta-gaja 六色牙象
Chabbisodhana-sutta チャッビソーダナ・スッタ，六淨經 M 112
Chabbyāputta=Chabyāputta〔龍王〕チャッブヤープッタ，舍婆子，尸婆弗多羅
Chabyāputta=Chabbyāputta 〔四種蛇王族の一〕チャブヤープッタ，舍婆子，尸婆弗多
cha munayo 六牟尼
chambhitatta 硬直，恐怖
chambhi-bhīrukajātika 戰慄畏縮
Chambhī〔婆〕チャンビー
charattaṁ-mānatta 六夜摩那埵
Charājaka 六王章 Mv 21；Cv 37, 44, 48, 56
cha rūpāvacara-hetū 六色纏因
chaḷaṅga=chaḷaṅga-manta 六支吠陀，吠陀の六支，六支，六分
Chaḷaṅga〔婆〕チャランガ，六支
Chaḷaṅga-kumāra〔將軍〕チャランガクマーラ
chaḷaṅga-manta 六支の吠陀
chaḷaṅgavant〔吠陀〕六分
chaḷaṅgasamannāgata-dakkhiṇā 六支具足の施物
chaḷaṅgupekkhā=cha upekkhā 六支捨，六分捨
chaḷabhijātiyo=cha abhijātiyo 六階級，六種の階級，六種族，六生類，六種姓〔外道說〕
chaḷabhiñña 六神通者，六通者
chaḷabhiññatā 六神通〔性〕
chaḷabhiññā=cha abhiññā 六神通，六通
Chaḷa-vagga 棄捨品 S 35 94～103
chaḷābhijātiyo=chaḷabhijātiyo, cha abhijātiyo 六生類，六階級，六種の階級，六種族，六種姓
Chaḷindriya-vagga 六根品 S 48 21～30
chava 屍男
Chavaka-jātaka チャヷカ・ヂャータカ，屍漢本生物語 J 309
chava-kuṭikā 納屍堂
chavaṭṭhika 髑髏

chava-ḍāhaka 火葬夫，燒場人，隱亡
chava-dussa 屍衣，塚間衣，弊衣
chava-sarīra 屍體
chava-sīsa 髑髏
chavā 屍女
chavālāta 火葬に用ひたる薪，火葬場の炬火，火燼，塚間の火燼，燃差
chavi 皮，皮膚，表皮，外被
Chavi〔經〕皮 S **17** 28
cha vicārā 六伺
cha viññāṇa-kāyā 六識身＝六識
cha viññāṇāni 六識＝六識身
cha vitakkā 六尋＝六思惟
chavidosābādha 皮膚病
cha vinīta-vatthūni 六種の修習事
cha virodha-vatthūni 六違逆事，六境への瞋怒
cha vivāda-mūlāni 六諍根，六種の口論の根
cha vīthiyo 六路
cha vedanā 六受，六種受
cha vedanā-kāyā 六受聚，六受身
cha sañcetanā-kāyā 六思身
cha saññā 六想＝六想身
cha saññā-kāyā 六想身＝六想
cha satata-vihārā 六恒住
cha satthāro 六師
cha sārāṇīyā dhammā 六可念法，六種の可念法，六和敬法
cha sikkhāpadāni 六學處
cha suttāni 六種の絲〔麻，綿，絹，毛，大麻，粗麻の絲〕
cha somanassupavicārā 六喜行，六喜近行，六喜近伺
cha hetū 六因
Chāta〔山〕チャータ，車多迦
chātaka-bhaya 飢饉の畏怖
chādana 覆藏
chādent 覆藏者
chāyā 影，日蔭，木蔭，樹蔭
chārikā 灰，炭
Chiggaḷa ①〔經〕毛 S **56** 45 ②〔經〕孔 S **56** 47, 48
chindant 切る者，切斷者，斷切るもの
Chindi〔經〕截れり S **17** 31
chinna 切斷
chinna-katha 啞者
chinna-papañca 障害を斷ち
chinnam anupassane paññā 所斷を觀ずることの慧
chinna-vaṭuma 道を斷ち
chinna-vaṭumaka 斷路者＝佛
chinniriyāpatha 威儀路斷ぜられたる者
chupana 捺し，捺摩
chejja 拷問
chejja-āpatti 斷〔頭〕罪
chejja-vatthu 斷〔頭〕事
cheta 獵師，獵夫
Chetvā〔經〕殺して S **1** 71；**11** 21
Chetvā-vagga 斷品 S **1** 71～81
cheda 斷略論
chedana 割截，截斷，裁斷，切斷，傷害，斬切
chedāpayant 切らしむる者，斷切らしむるもの
cheppā 垂肉

jaṁghummagga 徒步隧道
Jagatikāraka〔比丘の譬喩經〕ヂャガティカーラカ Ap 3 239
Jagatidāyaka〔比丘の譬喩經〕ヂャガティダーヤカ Ap 3 448
Jagatidāyaka-vagga ヂャガティダーヤカ品 Ap 3 448〜457
jagatī ヂャガティー，大地，基壇
jagatī-pāla 世界の守護者
Jagatipāla〔王〕ヂャガティーパーラ
Jagadvijaya〔將軍〕ヂャガドギヂャヤ
jaṅgha 脛，腨
jaṅghaṭṭhi 脛骨
jaṅgha-pesanika 使ひ走り，歩宣傳者，餬口
Jaṅghābhāra〔園〕ヂャンガーバーラ
jaṅgheyyaka 脚帖
jacca 生
jacca-ummattaka 生れ乍らの精神錯亂者
jacca-eḷamūga 生れ乍らの聾啞者
jaccandha 生盲，生盲人，生れ乍らの盲者
jaccandha-badhira 生盲聾
Jaccandha-vagga 生盲品 Ud 6
jacca badhira 生聾，生れ乍らの聾者
Jajjara ①〔河〕ヂャッヂャラ ②〔瀑布〕
jajjara-rathaka 老朽の車
jaṭā 結髮，結鬘，縈髻，螺髻，結縛，縛，纏縺
Jaṭā ①〔經〕纏縺 S 1 23 ②〔經〕縈髻 S 7 6
Jaṭā-Bhāradvāja〔婆，比〕縈髻婆羅墮婆闍
jaṭā-missa 螺髻
jaṭila〜jaṭilaka 結髮行者，結髮外道，結髮，結髮者，結髮道士，縈髮外道，髻髮外道，編髮梵志，縺髮者，螺髻，螺髻外道，螺髻梵志，螺髻仙〔人〕
Jaṭila ①〔佛の前生〕ヂャティラ，結髮 ②〔婆〕ヂャティラ，編髮 ③〔居士〕ヂャティラ，闍梨羅，闍提羅 ④〔經〕結髮行者 S 3 11
jaṭilaka〜jaṭila 螺髻梵志，螺髻，編髮者
Jaṭilāgāhiyā〔尼〕ヂャティラーガーヒヤー，闍知羅
jaṭī isi 結髮仙人
jaṭuka=jatūka 蝙蝠
jaṇṇukaṭṭhi 膝〔蓋〕骨
jatu 樹脂，樹膠
Jatukaṇṇin〔婆和利の弟子，比〕ヂャトゥカンニ，闍都乾耳〔譬喩經〕Ap 3 406
Jatukaṇṇi-māṇava-pucchā=Jatukaṇṇī-pañhā〔經〕闍都乾耳學童所問 Sn 5 12
Jatukaṇṇī-pañhā=Jatukaṇṇi-māṇava-pucchā〔經〕闍都乾耳所問
Jatukaṇṇī-māṇavakapañhā-niddesa 闍都乾耳學童所問の義釋 CNd 12
jatu-bhesajja 樹脂藥
jatu-maṭṭhaka 樹膠生支
jatu-maya 樹脂製
jatu-māsaka 樹膠錢
jatūka=jaṭuka 蝙蝠
jana 人
Jana〔經〕生因 S 1 55〜57
janaka 能生
Janaka=Mahājanaka〔王〕ヂャナカ，ジャナカ
janaka〔-kamma〕令生〔業〕
janaka-paccaya 生緣
jana-pati 民の主
janapada 國，國土，地方，田舍
Janapada ①〔地名〕ヂャナパダ ②〔經〕國土 S 47 20
janapada-kathā 國土論，國土の話，地方論，田舍論〔無用論の一〕
Janapadakalyāṇi-sutta ヂャナハダカッリャーニ・スッタ，國美經
janapada-kalyāṇī 田舍の美人，地方の美人，國美
Janapadakalyāṇī ①〔難陀の妃〕ヂャナパダカッリャーニー，國美 ②〔女〕ヂャナパダカッリャーニ，國美，美人
janapada-desa duvidha 國土の二種
janapada-nirutti 國土の言語
janapada-vitakka 國土尋，住鄉尋
Janavasabha=Janesabha〔乾達婆夜叉〕ヂャナヴサバ，闍尼沙
Janavasabha-suttanta ヂャナヴサバ・スッタン

タ，闍尼沙經 D 18
Janasandha ①〔ティッサ佛の父〕チャナサンダ，結民 ②〔王〕チャナサンダ，結民，闍那散陀
Janasandha-jātaka チャナサンダ•チャータカ，闍那散陀王本生物語 J 468
Janābrahmamahārāja 〔ダミラ人〕チャナーブラフママハーラーヂャ
janinda 民の主
Janesabha=Janavasabha 〔犍闍婆王〕チャネーサバ，闍尼沙
Janogha 〔都〕チャノーガ
jantāghara 暖房，溫室，溫浴室，浴室，浴房，事火室，風呂場，火舍
jantāghara-paṭicchādi 暖房被覆物
jantāghara-pīṭha 暖房臺
jantāghara-vatta 暖房の儀法
jantāghara-sālā 暖房堂
jantu ① 人 ②〔敷具〕チャントゥ
Jantu ①〔天子〕チャントゥ ②=Chattagāhaka-jantu〔王〕チャントゥ ③〔村〕ジャントゥ，闍闘 ④〔經〕チャントゥ S 2 25
japa 讀誦，讃歎，吠陀
jappanā, jappā 熱望
jambālī 泥池
Jambāvatī〔王妃〕チャンバーヴァティー
jambu〔樹，果〕チャンブ，閻浮，野薔薇
Jambu ①〔ダミラ人〕チャンブ ②〔村〕チャンブ，閻浮
jambuka 豺
Jambuka ①〔比〕チャンブカ ②〔豺〕③〔鸚鵡〕
Jambuka-jātaka チャンブカ・チャータカ，豺本生物語 J 335
Jambukola ①〔港〕チャンブコーラ，閻浮俱羅 ②〔精舍〕チャンブコーラ
Jambukolaka〔窟院〕チャンブコーラカ
Jambukhādaka〔比〕チャンブカーダカ，閻浮車
Jambukhādaka-jātaka チャンブカーダカ・チャータカ，閻浮果食本生物語 J 294
Jambukhādaka-saṁyutta チャンブカーダカ・サンユッタ，閻浮車相應 S 38 1〜16
Jambu-gāma 閻浮村
Jambugāmika-putta〔比〕閻浮村出身兒
jambucchāyā 閻浮樹蔭，閻浮樹影
Jambuṭi〔池〕チャンブティ
Jambudīpa〔洲〕チャンブディーパ，閻浮提，閻浮洲，南贍部洲，印度
Jambudīpaka 閻浮提人
Jambudīpa-tala 印度
Jambuddoṇī〔都〕チャンブドーニー
jambupāna 閻浮果漿，閻浮汁〔八種飲料の一〕
Jambuphaliya〔比丘の譬喩經〕チャンブパリヤ Ap 3 437
Jamburantaragalla 〔精舍〕チャンブランタラガッラ
Jambu-saṇḍa 閻浮林，印度
Jambu-saṇḍassa issaro 閻浮洲の君，閻浮林の主宰者
Jambelambaya〔村〕チャンベーランバヤ
jambonada チャンボーナダ，閻浮那提種，閻浮檀金，閻浮河產，閻浮河の金
jambonada-nekkha 閻浮檀金の鉓
jaya 勝利
jayaṁ veraṁ pasavati 勝利は怨憎を生ず
Jaya-gaṅgā〔水路〕チャヤガンガー
Jayaṅkoṇḍāna〔村〕チャヤンコンダーナ
Jayaddisa〔王〕チャヤッディサ，伏敵
Jayaddisa-cariyā 〔經〕チャヤッディサの所行 Cp 2 9
Jayaddisa-jātaka チャヤッディサ•チャータカ，伏敵本生物語 J 513
Jayanta ①〔辟〕チャヤンタ ②〔迦葉佛時代の王〕チャヤンタ，支衍多
Jayabāhu ①〔一世王〕チャヤバーフ ②〔二世王〕③〔ダミラ人〕
Jayabāhuādisattarāja-dīpaka〔章〕チャヤバーフ等七王 Cv 92
Jayabāhuka〔四世王〕チャヤバーフカ
Jayamahālāna〔戰士〕チャヤマハーラーナ
Jayampati〔王子〕チャヤンパティ

jayampatikā 夫婦
Jayavaḍḍhanakoṭṭa〔都〕ヂャヤヴッダナコッタ
jayasumanā〔植，花〕ヂャヤスマナー
Jayasena ①〔比〕闍耶先那 ②〔王，シッダッタ佛の父〕ヂャヤセーナ，勝軍 ③〔フッサ佛の父〕ヂャヤセーナ，勝軍 ④〔王〕ヂャヤセーナ，ジャヤセーナ，闍耶先那 ⑤〔王子〕ヂャヤセーナ ⑥〔傳◦王子〕ヂャヤセーナ，勝軍
Jayasena-pabbata〔精舍〕ヂャヤセーナ山
jara 瘧
jara sakaṭa 古車
jarasālā-gopānasī 朽屋の椽
jara-sigāla 老豺
jarā 老，老衰
Jarā ①〔獵師〕ヂャラー ②〔經〕老 S 1 51；35 34；48 41
jarā dukkhā 老苦，老は苦なり
jarā-dubbala 老弱者
jarā-dhamma 老法，老の法
jarā-pārijuñña 老衰亡
jarā-bhaya 老の怖畏，老の畏，老畏
jarā-maraṇa 老死
Jarāmaraṇaṁ vipāko ti kathā 老死異熟論 KV 7 8
Jarāmaraṇa-kathā 老死論 KV 15 6
jarā-maraṇassa pāraṁ 老死の彼岸
Jarā-vagga 老品 S 1 51～60；48 41～50；Dhp 11 vv 146～156
Jarā-sutta 老經 Sn 4 6
Jarāsutta-niddesa 老經の義釋 MNd 6
Jarudapāna-jātaka ヂャルダパーナ・ヂャータカ，古井戸本生物語 J 256
jarūdapāna 古井
Jala-uttama＝Padumuttara〔佛〕最勝水草
Jalaka〔堂〕ヂャラカ
jala-kīḷā 水戲
jalanta aggikkhandha 燃えたる火團
jala-sāṭikā 洗浴衣
Jalasikha〔傳◦轉輪王〕ヂャラシカ
jalābuja 胎生，胎生者，水生者*
jalābuja-nāga 胎生龍
jalābuja-yoni 胎生〔四生の一〕
jalābuja-supaṇṇa 胎生金翅鳥
jalita 光輝
Jaluttama〔傳◦轉輪王〕ヂャルッタマ
jalūka 蛭
jalogi〔酒〕ヂャローギ，闍樓伽
jalogi pātuṁ 飲未醱酵，飲闍樓伽酒
jalla 塗塵
Jallibāva〔池〕ヂャッリバーヴ
Jallura〔池〕ヂャッルッラ
jaḷa 癡呆，愚癡
java 速疾，勢速，勝速
Java ①〔天子〕ヂャヴ ②〔國〕ヂャヴ，闍婆
Java-kaṇṇaka〔卑名〕ヂャヴカンナカ
javana 速行，勢速，捷疾，證用
Javana〔經〕速 S 55 72
javana-cetanā 速行思
javana-pañña 捷慧〔者〕，速慧者，迅慧〔者〕，捷慧〔者〕，捷智〔者〕，聰き智慧〔者〕，敏捷な智慧〔者〕
javana-paññā 速慧，速智，敏捷な智慧，敏智
javana-paṭipādaka 速行に赴かしむる〔作意〕
javana〔-vāra〕速行〔時分〕
javana-vīthi 速行路，證用經路
Javanahaṁsa-jātaka ヂャヴナハンサ・ヂャータカ，敏捷鵞本生物語 J 476
java-pañña～javana-pañña 迅慧〔者〕
Javamāli〔渡場〕ヂャヴマーリ
Javasakuṇa-jātaka ヂャヴサクナ・ヂャータカ，速疾鳥本生物語 J 308
Javahaṁsaka〔比丘の譬喩經〕ヂャヴハンサカ Ap 3 267
Jahati-kathā 捨離論 KV 1 5
jāgara 寤め，警寤，不眠
Jāgara〔經〕不眠 S 1 6
Jāgara-jātaka ヂャーガラ・ヂャータカ，不寢番本生物語 J 414
jāgariyaṁ anuyutto 覺醒に專心〔者〕，警寤を持す〔るもの〕
jāgariyā 警寤，覺醒

jāgariyānuyoga 警寤策勵，警寤して勉む，警寤への努力，警寤隨勤
jāgariyānuyoga-pariyanta 警寤隨勤周邊
Jāṇussoṇi〔經〕生聞 S **12** 47；A **10** 177
Jāṇussoṇin〔婆，塞〕ヂャーヌッソーニ，生聞，生漏
Jāṇussoṇi-vagga 生聞品 A **10** 167～177
jātaka ヂャータカ，本生，本生經，本生話，本生譚，本生物語，闍多迦〔九分敎の一〕
Jātaka 本生經 Khuddaka **10** 1～547
jātaka-bhāṇaka 本生誦者
jātarūpa ヂャータルーパ，金，黃金，生色，金銀*，金鑛
jātarūpa-paṭirūpaka 贋金
jātarūpa-paripūrā pathavī 黃金の充てる地
jātarūpa-rajata 金銀
jātarūparajata-paṭiggahana 金銀の收受
jātarūpassa upakkileso 金の隨煩惱，金の銹
jātaveda ヂャータヹーダ，火，火花
jātassara 湖
jātā paṭhavī 生地
jāti ① 生，誕生，生れ，種，種姓，系統，系譜，血脈 ②〔花〕ヂャーティ，大花素馨
Jāti〔經〕生 S **35** 33
jātika 生，生種，種
jātikkhaya 生の滅盡
jātikkhetta 生誕刹土
jātikhayanta 生の盡邊
jāti-jarā-maraṇa-khaya 生老死の滅盡
jāti-jarāya vippahānaṁ 生と老との捨斷
jāti-thera 生長老〔三長老の一〕
jāti dukkhā 生苦，生は苦なり
jāti-dhamma 生法，生の法
Jātidhamma-vagga 生法品 S **35** 33～42
jāti-paññā 生〔得〕慧
jāti-puppha〔樹〕肉荳蔲
Jātipupphiya〔比丘の譬喩經〕ヂャーティプッピヤ Ap **3** 455
Jātipūjaka〔比丘の譬喩經〕ヂャーティプーヂャカ Ap **3** 120
jātipūjanā 素馨供養
jāti-bhaya 生畏，生の畏，生怖，生の怖畏
jāti-mada 生憍
Jātimanta〔婆〕ヂャーティマンタ
jātimaraṇa-pāragū 生死の彼岸に到り
jātimaraṇa-saṁsāra 生死輪廻
Jātiyā〔林〕ヂャーティヤー，勝葉
Jātiyā-vana 勝葉林
jāti-rūpa 生色
jāti-lesa 種似
jāti-vāda 出生の論，種姓の論，生れの論議，系統說，血統
jāti-saṁsāra 生の流轉，生〔死〕輪廻
jāti-saṅgaha 生所攝
jāti-sampatti 生成就
jātissara-ñāṇa，jātissaraññāṇa 宿命智，前生追憶の智慧，本生を記憶する智慧
Jāna-ajāna-pañho 知りて惡業をなすと知らずしてなすとの問 Mil 2〔7〕10
jānant 知者，正知者
jānapada 地方人
jānāti 知る
jāni 強奪，沒收，壓制
jānu-maṇḍala 膝圓，膝輪，膝
jānettī 生母
jāpitatthā paññā 生性の慧
jāpeti 剝奪刑に處す
jāmātar 女婿
jāyā 婦，夫婦*
jāra 情人，情夫，愛者，愛人
jārī 情人，情婦
jāla 網，縵網，羅網，網縵
jāla-vātapāna 網窓
jāla-hattha-pāda 手足に網縵〔三十二相の一〕
Jālin ①〔辟〕ヂャーリ ②〔王子，王〕ヂャーリ，耶利
jālinī 欲纒，網の如き
Jālinī〔阿那律の故妻〕ヂャーリニー，闍利〔
Jāliya〔離車人，遊行者〕ヂャーリヤ，闍利
Jāliya-sutta ヂャーリヤ・スッタ，闍利經 D 7
Jāva〔ka〕〔人〕ヂャーヷ〔カ〕
jiguccha～jeguccha 厭離，嫌厭
jigucchati 嫌厭す

jighacchā 飢，饑
jighacchā paramā rogā 飢餓は最大の病
jiñjuka=guñjā〔植〕チンチュカ，グンヂャの實，グンヂャー
jiṇṇa 老人，老衰者，老衰
Jiṇṇaṁ〔經〕老 S 16 5
jiṇṇa-koñca 老鷺
jiṇṇa purisa 老人
jiṇṇa brāhmaṇa 老婆羅門
Jita〔辟〕ヂタ
jitagiri〔官職〕ヂタギリ
Jitamitta〔ナーラダ佛の第二弟子〕ヂタミッタ，勝友
Jitasena〔傳・轉輪王〕ヂタセーナ
Jitasenā〔ナーラダ佛の妃〕ヂタセーナー
Jitā〔宮殿〕ヂター
jina 勝者
Jinadattā〔尼〕ヂナダッター
jina-putta 勝者の子=佛子，釋子
jina-bimba 佛像
jina-sāsana 勝者の教
jimha 曲
jimheyya 歪曲
jiyā 弦，弓の弦
jivhā 舌
jivhā-dasaka 舌十法
jivhā-dvāra 舌門
jivhā-dhātu 舌界
jivhā-nicchāraka 舌を出す
jivhāyatana 舌處
jivhā-roga 舌病
jivhā-viññāṇa 舌識
jivhāviññāṇa-dhātu 舌識界
jivhāviññeyya-rasa 舌可識の味
jivhā-samphassa 舌觸
jivhāsamphassajā vedanā 舌觸所生の受
jivhindriya 舌根
jīraka〔植物種〕ヂーラカ，葛縷子，時蘿，只蘭伽
jīva ヂーヴ，命，生命，命者，靈，靈魂，長命
jīvaṁjīvaka=jīvajīvaka〔鳥〕ヂーヴンヂーヴカ，耆婆耆婆迦，耆婆耆婆鳥，共命鳥，命命鳥，鶮鵠
jīvaka ①=jīvaṁjīvaka〔鳥〕耆婆鳥 ②〔樹〕ヂーヴカ
Jīvaka ①=Jīvaka-Komārabhacca〔醫〕ヂーヴカ，耆婆 ②〔人〕生命あるもの ③〔經〕耆婆 A 8 26
Jīvaka-Komārabhacca=Jīvaka〔醫〕ヂーヴカコーマーラバッチャ，耆婆コーマーラバッチャ，耆婆童子，時縛迦養童子，童子醫王耆域
Jīvakambavana ① ヂーヴカアンバ林，耆婆菴婆羅林，耆婆菴婆園，耆婆菴摩羅樹林，耆婆菴羅林，耆婆菴羅園，耆婆伽梨園，耆婆迦の菴羅林 ②〔經〕耆婆菴羅林 S 35 159, 160
Jīvaka-suttanta ヂーヴカ・スッタンタ，ヂーヴカ經 M 55
jīvajīvaka ①〔植〕ヂーヴヂーヴカ ②=jīvaṁjīvaka, jīvaka〔鳥〕ヂーヴヂーヴカ，耆婆耆婆迦，耆婆耆婆鳥，共命鳥，命命鳥，鶮鵠
jīvatu 長壽
jīva-pariyanta 命の分齊
jīvaputtā〔鳥〕ヂーヴプッター
Jīvā〔女〕ヂーヴー
jīvita 命，生命，活命
Jīvita〔經〕命 S 48 22
jīvita-navaka 命九法
jīvitantarāya 命の障礙，命難
jīvita-parikkhāra 活命の具
jīvita-pariyantikā vedanā 命を際限とせる受，命を邊際とする受
jīvitapotthakin〔官職〕ヂーギタポッタキン
jīvita-mada 活命憍，活命の憍逸，命憍，命の憍〔三憍の一〕
jīvita-rūpa 命色
jīvita-saṅkhāra 命行
jīvita-saṁkhāraṁ adhitiṭṭhati 壽命を留む
Jivitā voropana-kathā 奪命論 KV 12 7
jīvitindriya 命根〔二十二根の一，色法，心所法〕
Jīvitindriya-kathā 命根論 KV 8 10
Juṇha ①〔比〕ヂュンハ，白 ②〔童子，王〕ヂュンハ，月光

Juṇha-jātaka ヂュンハ・ヂャータカ，月光王本生物語 J 456
juṇhā 滿月，白分，白月，明月，月夜
juṇhā-pakkha 白分
Jutideva〔傳◦轉輪王〕ヂュティデーヴ
Jutindhara〔傳◦轉輪王〕ヂュティンダラ
juhana 供犧
Jūjaka〔婆〕ヂューヂャカ
jūta 賭博，骰子の遊
jūta-gīta 賭歌
jeguccha～jiguccha 嫌厭，厭離
jegucchin 厭離者，嫌棄者，厭嫌者，嫌厭行者
jeṭṭha〔月〕ヂェッタ，逝瑟吒，逝瑟咤
Jeṭṭhatissa ①〔王〕ヂェッタティッサ ②〔二世王〕③〔三世王〕
Jeṭṭhamūla ①〔月〕ヂェッタムーラ ②〔祭〕
Jeṭṭhā〔王妃〕ヂェッター
Jeṭṭhārāma〔精舍〕ヂェッター園
Jeta ①〔辟〕ヂェータ ②〔王子〕ヂェータ，祇陀，祇多 ③〔精舍〕ヂェータ
Jeta〔-vana〕〔精舍，アヌラーダプラにあり〕ヂェータ〔ヴナ〕，逝多林
Jetavana ①〔精舍〕ヂェータヴナ，ヂェータの森，逝多林，祇陀林，祇園，祇園精舍，祇多林，祇多の森，祇樹，祇樹園，祇樹林 ②〔精舍，プラッティにあり〕ヂェータヴナ ③〔塔〕ヂェータヴナ ④〔經〕祇園 S 1 48
Jetavana Anāthapiṇḍikassa-ārāma〔精舍〕ヂェータヴナ・アナータピンディカッサーラーマ，祇樹給孤獨園，祇樹林給孤獨園，祇園精舍，祇多林給孤獨園，祇陀林給孤獨の遊園
Jetuttara〔都〕ヂェートゥッタラ
Jenta〔比〕ヂェーンタ
Jentī〔尼〕ヂェンティー，禪頭
jevanīya 擲器
joti 火，火天，明
Joti ①〔天〕ヂョーティ，樹提，火天 ②〔園〕光明，光明林
jotiṁ samādahati 火を燃す
jotika 薰鉢
Jotika〔居士，長壽の父〕ヂョーティカ，錠底迦，殊提，樹提
joti joti-parāyana 光より光に赴くもの，明にして明に赴く
jotiṭṭhāna 供犧の火處
joti tama-parāyana 光より闇に赴くもの，明にして闇に赴く
Jotidāsa〔比〕ヂョーティダーサ，樹提陀娑
Jotipāla ①＝Sarabhaṅga〔王子，仙，佛の前生〕ヂョーティパーラ，光護，光の守護者 ②〔司祭の子，佛の前生〕ヂョーティパーラ，火護 ③〔比〕ヂョーティパーラ ④〔學童〕ヂョーティパーラ，光護，儲提摩麗 ⑤＝Mahāgovinda〔學童〕護明，光護，儲提摩麗 ⑥〔傳◦外道〕儲提摩麗，光護，護明
Jotipāla〔ka〕〔セイロン比丘〕ヂョーティパーラ〔カ〕
jotimālika 火鬘刑
Jotiya〔尼乾子〕ヂョーティヤ
jotirasa〔寶珠〕ヂョーティラサ，星色
Jotirasa ①〔苦行者〕ヂョーティラサ，光味 ②〔天宮〕ヂョーティラサ
Jotivana＝Nandanavana〔精舍〕ヂョーティヴナ，光明林
jotisā 天文

jhāna 靜慮，禪，禪定，禪那
Jhāna〔經〕靜慮 S 52 21；A 9 36
jhānakasiṇukkantika 禪と遍との跳過
jhāna-kīḷā 禪定の樂，禪定の愉悅
jhānaṅga 禪支，靜慮支
jhāna-carimaka 禪を最後とする〔出入息〕
jhānantarika 禪定中間，中間禪
Jhānantarika-kathā 禪定中間論 KV 18 7
jhāna-paccaya 靜慮緣，禪緣〔二十四緣の一〕
jhānapaccaya-niddesa 靜慮緣廣說
jhāna-paccavekkhaṇa 禪觀察
jhāna paññā 禪と慧，禪定と智慧
jhāna-paṭiloma 禪の逆
jhāna-mada 靜慮憍
jhāna-rati 禪定の樂
Jhāna-vagga 靜慮品 A 1 20，21
Jhāna-vibhaṅga 禪定分別 Vibh 12
jhāna-vimokkha 靜慮解脫
jhāna-vimokkha-samādhi-samāpattīnaṁ saṅkilesaṁ vodānaṁ vuṭṭhānaṁ yathābhūta-ñāṇa-balaṁ 靜慮解脫等持等至染淨出離如實智力，靜慮解脫等持等至智力〔佛十力の一〕
jhāna-visaya 定境界
Jhāna-saṁyutta ① チャーナ・サンユッタ，禪定相應 S 34 1～55 ② チャーナ・サンユッタ，靜慮相應 S 53 1～54
Jhānasaṅkanti-kathā 入禪定論 KV 18 6
Jhānasaññuttassa pathamasuddhiyā suttantaṁ 靜慮相應の初清淨經
jhāna-sampayutta 禪相應
jhāna-sīlin 修定者
jhāna-sukha 禪定の樂，禪定樂
Jhānasodhana-jātaka チャーナソーダナ・チャータカ，禪定清淨本生物語 J 134
jhānāgāra 禪堂
jhānānuloma 禪の順
jhānānulomapaṭiloma 禪の順逆
Jhānābhiññā〔經〕定と勝智 S 16 9
jhānābhisamaya 禪現觀
jhānukkantika 禪の跳過
jhānupekkhā 禪捨
Jhāpita〔猿〕チャーピタ
jhāpeti 荼毘す，荼毘に附す
jhāmaka〔樹〕チャーマカ
jhāma-khāṇu 燒杭
jhāyaka 思念者
jhāyati 禪思す
jhāyin 禪思者，修定者，修禪者，禪定者，專念せる者，靜慮者，坐禪者，禪師
jhāyī bhikkhu 禪定比丘

ñattajjhāpanna 有名
ñatti 白，表白
ñatti-kamma 白羯磨，單白羯磨
ñatti-catuttha 白四
ñatticatuttha-kamma 白四羯磨
ñattidutiya-kamma 白二羯磨
ñattiyā karaṇaṁ 白の行作
ñāṇa 智，慧，正智
Ñāṇa ①〔經〕智 S 45 47; **51** 9 ②〔經〕知 S **48** 23
Ñāṇaṁ anārammaṇan ti kathā 智無所緣論 KV 9 5
Ñāṇaṁ cittavippayuttan ti kathā 智心不相應論 KV **11** 3
Ñāṇa-kathā 智論 Pṭs **1** 1; KV **11** 2; **20** 2, 6
ñāṇa-karaṇī 智を生じ，眞智を生ぜしめ
ñāṇa-khagga 智劍
ñāṇa-cakkhu 智眼
ñāṇa-carita 智行者
ñāṇa-cariyā 智行
Ñāṇathavika〔比丘の譬喩經〕ニャーナタギカ Ap 3 431, 481
ñāṇa-dassana 智見，知見
ñāṇadassana-visuddhi 知見淸淨, 智見淸淨〔七淸淨の一〕
Ñāṇadassanavisuddhi-niddesa 智見淸淨の解釋 VM 22
ñāṇadassana-visuddhi pārisuddhi-padhāniyaṅga 知見淸淨淸淨勤支〔九淸淨勤支の一〕
ñāṇadassana-visesa 殊勝智見
Ñāṇadhara〔傳◦轉輪王〕ニャーナダラ
ñāṇa-patha 智路
Ñāṇapāla〔比〕ニャーナパーラ
ñāṇa-bhūta 智たり，妙慧者
ñāṇa-ratana 智寶
ñāṇa-vajira 智慧の金剛
ñāṇa-vatthu 智所依
ñāṇa-vāda 智論，智者
ñāṇa-vippayutta 智不相應
ñāṇavippayutta-citta 智不相應心
ñāṇavippayutta-vipāka 智不相應異熟
ñāṇa-vipphārā iddhi 智遍滿神通，智遍滿神變
Ñāṇa-vibhaṅga 智分別 Vibh **16**
ñāṇa-vimokkha 智解脫
ñāṇa-vivaṭṭa 智退轉
ñāṇa-vivaṭṭe ñāṇaṁ 智退轉の智
ñāṇa-saṁvara 智律儀
Ñāṇasaññaka〔比丘の譬喩經〕ニャーナサンニャカ Ap 3 102, 128
ñāṇa-sampayutta 智相應
ñāṇasampayutta-kiriyā 智相應唯作
ñāṇasampayutta-kusala 智相應善
ñāṇasampayutta-citta 智相應心
ñāṇasampayutta-mahāvipāka 智相應大異熟
ñāṇasampayutta-vipāka 智相應異熟
Ñāṇassa vatthūni〔經〕智事 S **12** 33, 34
Ñāṇāloka〔佛〕智光
ñāṇāsi 智劍
ñāṇin 有智者
Ñāṇodaya〔書〕ニャーノーダヤ，上智論
ñāta 令名あり
ñātaka 親族，親戚
ñātaṭṭhe ñāṇaṁ 所知の義の智
ñāta-pariññā 知遍知
ñāta-vibhūta 知無有
ñāti 親族，親屬，親戚，親里，因緣ある者
ñātika 親里，親戚
Ñātika ①=Nātika, Nādika〔村〕ニャーティカ，那陀，那梨，那梨迦，那提迦，那地迦 ②〔經〕那提迦 S **12** 45
ñāti-kathā 親戚論，親戚の話，親族論，親論，近親論〔無用論の一〕
ñāti-kula 親戚
ñāti-parihāni 親屬を失ふ事
ñāti-pārijuñña 親族衰亡
ñāti-byasana=ñāti-vyasana 親戚の不幸，親屬損失，親屬損減，親族の喪失，親戚を失ふ，親族の厄難，血緣の不幸
ñātibyasana-dukkha 親戚を失ふ苦
ñāti-rakkhitā 親戚の護る女，親族に護られたる女，宗親護女

ñāti-vitakka 親里尋，親緣尋
ñāti-vuddhi 親屬の得
ñāti-vyasana＝ñāti-byasana 親屬損失，親屬損減，親戚の不幸，親族の喪失，親族の厄難，血緣の不幸〔五損失の一〕
ñāti-saṁgha 親族群
ñāti-sampadā 親屬成就，親族の圓足〔五成就の一〕
ñāti-sālohita 親族・血緣
ñāya 理趣，正理，眞理

Ṭaṁkita-mañca タンキタ石床，石床
ṭīkā 復註，複註

Ṭhakuraka〔族〕タクラカ
ṭhapana 禁止，遮
ṭhapanā 置止
ṭhapanīya-pañha 應捨記問，應捨置記問，捨置せらるべき問〔四記問の一〕
Ṭhapanīyābyākaraṇa-pañho 捨置せらるべき問の問，捨置記問 Mil 4〔2〕2
Ṭhapetvā ariyamaggan ti kathā 除聖道論 KV **17** 5
ṭhāna 位處，處，理，在定
Ṭhāna〔經〕處 S **46** 23；**52** 15；A **9** 21
Ṭhānaṁ〔經〕位處 S **37** 32
ṭhāna-kusalatā 處善巧
ṭhāna-kusalatā ca aṭṭhāna-kusalatā ca 處〔に關する〕善巧と處に非ざること〔に關する〕善巧
Ṭhānakoṅkana〔園〕ターナコーンカナ
ṭhānaṭṭhāna 處非處
ṭhānāṭhānaṁ-yathābhūta-ñāṇa-bala 處非處如實智力〔佛十力の一〕
ṭhānāṭhāna-kusala 處非處善巧
ṭhānāṭhāna-kosalla～ṭhānāṭhāna-kusala 處非處善巧
ṭhānāṭhāna-gamana 處非處の行
ṭhānāraha 應理
ṭhita 住まり，住，停住，立てる，住立，不動
ṭhita-kappin 住劫〔者〕
ṭhitaññathatta-lakkhaṇa 住異相
ṭhitatta 自住
ṭhitatta puggala 自住人
ṭhita-dhamma 常法，一定の法
ṭhitānaṁ aññathattaṁ 住の異
Ṭhitāsanthāraka〔傳◦轉輪王〕ティターサンターラカ
ṭhiti 住，止住
Ṭhiti ①〔經〕住 S **47** 22 ②〔經〕止住 S **34** 2；A **10** 53
Ṭhiti—kallita〔經〕止住—安樂 S **34** 21～27
Ṭhiti—vuṭṭhāna〔經〕止住—出起 S **34** 20
ṭhiti-kusala 止住善，住するに巧，住定善巧
ṭhiti-kusalatā 住善能，住定善巧
ṭhiti-dhātu 持界
ṭhiti-bhāgin 住分，順住分
ṭhiti-bhāgiya-samādhi 住分定，順住分定，止分定〔四定の一〕
ṭhitibhāgiya-sīla 住分戒

ḍaṁsa＝daṁsa 虻
ḍayhati 荼毘に附す
ḍayhati matthako 頭髮燃ゆ
ḍaha 煩熱，熱惱
ḍāka 菜
ḍāka-rasa 菜汁
ḍāha 熱病

taṁ jīvaṁ taṁ sarīraṁ 命は即ち身なり，命は即ち此身なり，命はこれ身なり，命即身，命身一，命と身とは一なり，即命即身なり，靈即身なり
Taṁ jīvaṁ taṁ sarīraṁ〔經〕命即身 S 24 13
taka〔樹，樹脂藥〕タカ
taka-paṇṇī〔樹，樹脂藥〕タカパンニー
taka-pattī〔樹，樹脂藥〕タカパッティー
takka ① 思擇，理論，推論，尋思，論理學 ② タッカ，酪，酪漿，生酥 ③ 棗椰子
Takka-jātaka タッカ・ヂャータカ，棗椰子本生物語 J 63
Takka-paṇḍita〔傳◦仙，佛の前生〕棗椰子の賢人
Takkambila〔殿樓〕タッカンビラ
takkara 盜賊，盜人
Takkarā〔地名〕タッカラー
takkaḷa〔樹〕タッカラ，球莖
Takkaḷa-jātaka タッカラ・ヂャータカ，球莖本生物語 J 446
takkavaṇṇa〔sukka〕タッカ色精
Takkasilā〔都〕タッカシラー，德迦尸羅，德叉尸羅，得叉尸羅
Takkasilā-jātaka=Telapatta-jātaka タッカシラー本生物語
takkārika〔樹〕タッカーリカ
Takkārika-jātaka=Takkāriya-jātaka タッカーリカ・ヂャータカ
Takkāriya〔青年，佛の前生〕タッカーリヤ
Takkāriya-jātaka=Takkārika-jātaka タッカーリヤ・ヂャータカ，タッカーリヤ青年本生物語 J 481
takkārī 蔓樹
takkāvacara 尋思の境
takkin 理論家，推論家
takkoṭaka タッコータカ，蛆蟲
Takkola〔國〕タッコーラ，磔拘羅
takkolaka〔樹〕タッコーラカ
Takhasilā (A)=Takkasilā〔都〕タカシラー
tagara〔樹，香〕タガラ，格香，多伽羅，多掲羅，多堨羅，多劫羅，逹子香，零凌香，零陵香
Tagara-Sikhin〔辟〕タガラシキン，多伽羅尸棄，多迦羅支棄
Taṅkuttara〔ダミラ人〕タンクッタラ
taca ① 皮，皮膚，外皮，深皮〔三十二身分の一〕② 樹皮，皮材
taca-gandha 樹皮香
taca-pañcaka 皮の五法，皮の五種
taca-pañcaka-kammaṭṭhāna 皮五業處
taca-sāra 竹
Tacasāra-jātaka タチャサーラ・ヂャータカ，竹梏本生物語 J 368
taccha=tathiya 如實，如眞
tacchaka=tacchakāra 大工，木匠，木工
Tacchaka ①〔龍〕タッチャカ，怛叉迦 ②〔豚〕タッチャカ
tacchakāra=tacchaka 大工，木匠，木工
taccha-sūkara 大工養猪
Tacchasūkara-jātaka タッチャスーカラ・ヂャータカ，大工猪猪本生物語 J 492
tajjaniya 苦切
tajjaniya-kamma 苦切羯磨，應呵所作 V 2 b 1
tajjaniyakamme aṭṭhārasa-vattaṁ 苦切羯磨十八事 V 2 b 1，5
taṭṭikā 座
taṇḍula〔植〕タンドゥラ，米，稻，稻米，玄米，粳米，硬米
taṇḍula-nāḷi 稻稈
Taṇḍulanāḷi-jātaka タンドゥラナーリ・ヂャータカ，稻稈本生物語 J 5
Taṇḍulapatta〔村〕タンドゥラパッタ
Taṇḍulapāladvārā〔地名〕タンドゥラパーラドヴーラー
taṇḍula-homa 米の護摩
Taṇhaṁkara〔佛〕タンハンカラ，作欲，作愛
taṇhakkhaya 愛盡，愛の盡滅，渴愛の盡，渴愛の滅盡
taṇhakkhayagāmi magga 愛盡に逹するの道
taṇhakkhaya-sukha 愛盡の樂
taṇhakkhayādhimutta 愛盡信解
Taṇhakkhayo〔經〕愛盡 S 43 29；52 7
taṇhā 渴愛，愛，愛欲

Taṇhā ①〔魔女〕タンハー，愛，渇愛 ②〔經〕愛 S 18 8, 18; 25 8; 26 8; 27 8; 38 10 ③〔經〕渇愛 S 1 63; 45 170; A 9 23
taṇhā-kappa 愛分別，愛計度
taṇhā-kāya 愛身，渇愛身
taṇhā-gāha 愛執
taṇhā-carita 渇愛行者
taṇhā-jāla 愛網，渇愛の網
taṇhā-dāsa 愛の奴隷
taṇhā-nirodha 渇愛の滅
taṇhā-nivesanā 愛執著，愛住著
taṇhā-nissaya 愛依
taṇhā-nissita 愛依
taṇhānusaya 渇愛隨眠
taṇhā-pakappanā 愛遍計
taṇhā-papañca 愛障礙
taṇhā-pariggaha 愛遍取
taṇhā-purekkhāra 愛重視
taṇhā-bhava 愛有，愛欲の生起
taṇhā-mamatta 愛我執
taṇhāmūlaka-dhamma 愛根法，渇愛を根本とする法〔九種〕
taṇhāya pahānaṁ 渇愛の捨斷
taṇhā-lepa 愛著
Taṇhā-vagga 愛欲品 Dhp 24 vv 344～359
taṇhā-vicarita 愛行
taṇhā-vinicchaya 愛決定
taṇhāvippayutta-citta 渇愛不相應の心
taṇhā-saṁyojana＝taṇhā-saññojana 愛結
taṇhā-saṅkilesa 渇愛雜染
taṇhāsaṅkhaya-vimutti 愛盡解脱
taṇhā-saṅghāta 愛聚
taṇhā-saññojana＝taṇhā-saṁyojana 愛結
taṇhā-sambhūto ayaṁ kāyo 愛より此の身は生ず
taṇhā-salla 愛箭，渇愛の箭
taṇhā-sota ① 愛耳 ② 渇愛の流
taṇhā-sneha 愛親愛
taṇhuppāda 愛生，愛生起，愛の起處，渇愛の生〔四種〕
taṇhūpaya 愛近著

Tatavāpika〔村〕タタヴーピカ
Tatiya-gamana 第三章
tatiyajjhāna 第三禪，第三禪定，第三靜慮
Tatiya-nāga-vimāna 第三象天宮 Vv 62
tatiya-pāṭihāriya 第三神變 V 2 a 1, 17
tatiya-pārājika 第三波羅夷＝人體戒
tatiya-phala 第三果＝不還果
tatiya-bhāṇavāra 第三誦品
tatiya magga 第三道＝阿那含道
Tatiya-vagga 第三品，第三篇
tatiya-saṁghādisesa 第三僧殘＝麤語戒
tatiya-saṅgaha＝tatiya-saṅgīti 第三結集
tatiya-saṅgīti 第三結集，第三合誦 Mv 5 : VA 4
Tatiya-saññāvedayita-kathā 第三想受論 KV 15 9
tatiyā bhūmi 第三地
Tatojasi〔大臣〕タトーヂャシ
Tatotalā〔大臣〕タトータラー
Tatolā〔大臣〕タトーラー
tatta ayosaṅku 熱鐵鉗
tatta tamba-loha 熱洋銅
Tattalā〔大臣〕タッタラー
tatta lohaguḷa 熱鐵丸
tattha tattha sammāpayoga-paccayā ijjhanaṭṭhena iddhi 彼彼處正加行緣成神變，隨處の正加行に緣る通の義の神通
tatraṭṭhaka 据置きの〔地遍〕
tatramajjhattatā 中捨性，中捨，處中性
Tatha〔辟〕タタ
tathaṭṭhe paññā 如義の慧
tathatā＝tathatta 如，眞如，如性
Tathatā-kathā 眞如論 KV 19 5
tathatta＝tathatā 眞如，如，如性
tathā 如，如實
Tathā〔經〕如 S 56 20, 27
tathāgata タターガタ，如來，眞人
Tathāgata〔經〕如來 S 45 139; 51 32
tathāgata arahan sammāsambuddha 如來 應供 正自覺者
tathāgata-nisevita 如來の行跡
tathāgata-pada 如來の足跡

tathāgata-bala 如來力
tathāgata-vihāra 如來住
tathāgata-sāvaka 如來の弟子
tathāgata-seyyā 如來の臥法
Tathāgatassa abhejjaparisā-pañho 如來の衆不分裂の問 Mil 4〔2〕8
Tathāgatassa uttarikaraṇīyabhāva-pañho 如來の更にそれ以上作すべきことの問 Mil 4〔1〕9
tathāgatassa thūpo 如來の塔
tathāgatassa dhamma-desanā 如來の說法
Tathāgatassa〔pa〕duṭṭhena cittena lohitam uppādeti 悪心を以て如來の血を出す，悪心にして如來の血を出でしむ，瞋心を以て如來の血を出す
Tathāgatassa parinibbutassa asādiyantassa vañjhāvañjha-pañho 如來供養の效無效の問 Mil 4〔1〕1
tathāgatassa pūjā 如來供養
Tathāgatassa pharusāvācā natthīti-pañho 如來に粗語なきやの問 Mil 4〔3〕2
Tathāgatassa sabbasattānaṁ hitacaraṇa-pañho 如來の一切有情饒益行の問 Mil 4〔2〕6
tathāgatassa sāsanaṁ 如來の教
tathāgatārañjita 如來の鑿道
tathāgatena āciṇṇo 如來の常所行法
tathāgatena paññattaṁ 如來の所制
Tathāgatena vuttaṁ〔經〕如來所說 S **56** 11, 12＝轉法輪經～V 2 1, 6
tathā tathā 如如に
tathā-vādin 如論者
tathiya＝taccha 如眞，如實
tadaṅga-nibbāna 一向涅槃
Tadaṅga-nibbāna〔經〕一向涅槃 A **9** 50
tadaṅga-nibbuta 一向涅槃者
tadaṅgappahāna 彼分捨斷，決定斷
tadaṅga-viveka 彼分離，決定離
tadaṅga-santi 彼分寂
tadaṅga-suñña 定空，彼分空
tad-adhimuttatā 彼勝解
tadanvaya 同類〔緣〕
Tadādhimutta〔辟〕タダーディムッタ
tadārammaṇa 彼所緣
tadārammaṇatā 彼所緣性
tadārammaṇa-bhavaṅga 彼所緣有分
tadārammaṇa〔-vāra〕彼所緣〔時分〕
Taddhigāma〔王臣〕タッディガーマ
Tanagaluka〔村〕タナガルカ
Tanaveli＝Cānavela〔精舍〕タナヱーリ
Tanasīva〔王侍者〕タナシーヴ
tanta ① 織機 ② 蜘蛛の絲
tanta-vāya 織物職人，織物屋，織師
tantavāyā 機織女
Tantavāyikacāṭika〔村〕タンタヴーキカチャーティカ
tanta-vuta 絲織
tantākulaka 絲の縺れたる
tanti ① 經典 ② 絃
tantiggāha〔動〕タンティッガーハ
tanti-dhara 聖典持者
tanti-baddha 執事
tantissara 歌聲
tantra 儀軌
tandī 倦怠，瞢憒，頻申，懶惰，怠慢
Tannaru〔村〕タンナル
Tannitittha〔地名〕タンニティッタ
tapataṁ seṭṭho 最勝の火
Tapana＝Tāpana〔地獄〕焦熱，炎熱，熱炙
tapanīya 煩苦
Tapanīya〔經〕煩苦 A **10** 141, 185
tapanīya dhamma 苦行法
tapassitā 苦行
tapassin＝tāpasa 苦行者
Tapassin ①＝Dīgha-tapassin〔尼乾の徒〕タパッシン ②〔使臣〕
tapassino upakkileso 苦行者の垢穢
Tapassu＝Tapussa〔商人，塞〕タパッス，多梨富沙，多婆富沙，帝梨富沙，提謂
Tapussa ①〔燃燈佛の信士〕タプッサ ②＝Tapassu〔商人，塞〕タプッサ，多梨富沙，多婆富沙，帝梨富沙，提謂 ③〔經〕多梨富沙 A **9** 41

tapo 苦行，鍛錬，道行
Tapo kammañ ca〔經〕苦業 S 4 1
tapo-guṇa 苦行功德〔外道五戒の一〕
tapa-jigucchā 苦行修行
tapo-jigucchā-allīna 苦行修行執
tapo-jigucchā-vāda 苦行修行說
tapo-jigucchā-sāra 苦行修行義
tapoda 溫泉，多浮陀
Tapoda=Tapodārāma〔園，精舍〕タポーダ，多浮陀，多浮陀溫泉，榻補，楡補，溫泉
Tapodakandara タポーダカンダラ，多浮陀崫，溫泉窟〜前項
Tapodā〔河〕タポーダー，多浮陀，楡補，溫泉
Tapodārāma=Tapoda 多浮陀園，溫泉精舍，溫泉林，榻補園，楡補園
tapo-vana 苦行林，行者の林
Tappā〔尼〕タッパー
tappetar 他足〔者〕
Tabbā ①〔地方〕タッバー ②〔池〕
tabbhāgiya 同事，同分
Tabbhāgiya-vāra 同分章
tama 闇，闇黑
tama joti-parāyana 闇にして明に趣く，闇にして明に趣くもの，闇より光に赴くもの
tama tama-parāyana 闇にして闇に趣く，闇にして闇に趣くもの，闇より闇に赴くもの
Tamalī〜Tāmalitti〔國〕タマリ，多摩梨
tamāla〔樹〕タマーラ
Tamālapupphiya〔比丘の譬喩經〕タマーラプッピヤ Ap 3 191
Tamālapupphiya-vagga タマーラプッピヤ品 Ap 3 191〜200
tamokkhandha 闇蘊，闇冥
Tamonuda〔傳◦轉輪王〕タモーヌダ
tamba 銅，赤銅，銅色
Tamba ①〔王〕タンバ，銅 ②〔ダミラ人〕タンバ ③〔大臣〕タンバ ④〔村〕タンバ
Tambaunnamaka〔地名〕タンバウンナマカ
tambacūḷaka〔鳥〕タンバチューラカ
Tambapaṇi (A)=Tambapaṇṇi〔島，洲〕タンハパンニ
Tambapaṇṇi ①=Laṅkā, Sīhala〔島，洲〕タンバパンニ，銅葉，銅鍱，赤銅鍱，銅掌 ②〔都〕タンバパンニ
Tambapaṇṇi-dīpa 赤銅鍱洲，銅葉洲，銅鍱洲，銅掌島，錫蘭島
Tambapaṇṇī〔水路〕タンバパンニー
Tambapiṭṭha〔村〕タンバピッタ
tamba-puppha 赤銅色の花
Tambapupphiya〔比丘の譬喩經〕タンバプッピヤ Ap 3 152
Tambala〔村〕タンバラ
tambaloha-maya 銅鐵所成
Tambaviṭṭhi〔村〕タンバギッティ
tambupadhāna 丹枕
tambūla〔樹〕タンブーラ，擔步羅，蒟醬，檳榔子
tammayatā 彼作性=渴愛
tayo akusala-dhammā 三不善法
tayo akusala-vitakkā 三不善尋，三不善尋思，三不善覺=三不善思，三不善界，三不善想〔欲，恚，害〕
tayo akusala-saṁkappā 三不善思=三不善尋，三不善界〔欲，恚，害〕
tayo akusala-hetū 三不善因=三不善根
tayo aggappasādā 三勝信〔三寶の信〕
tayo aggī〜tividhaggi 三火〔貪，瞋，癡〕
tayo addhā 三時
tayo antā 三邊〔有身，有身集，有身滅〕
tayo avyākata-hetū 三無記因=三無記根
tayo asaddhammā 三非法
tayo assa-khaḷuṅkā 三未調馬
tayo assa-sadassā 三良馬
tayo āsavā 三漏〔欲，有，無明〕
tayo upaṭṭhānā 三近住
tayo kamma-pathā 三業道
tayo kasāvā 三濁，三瑕
tayo kāsikavatthūpamā puggalā 三迦尸迦衣喩人
tayo kiñcanā 三障〔貪，瞋，癡〕
tayo kusala-dhammā 三善法
tayo kusala-vitakkā 三善尋，三善尋思=三善

界，三善思〔出離，無恚，無害〕
tayo kusala-saṁkappā 三善思＝三善尋，三善界〔出離，無恚，無害〕
tayo kusala-hetū 三善因＝三善根
tayo khandhā 三蘊，三聚〔戒，定，慧〕
tayo khilā 三礙＝三毒
tayo gāhā 三執〔見，慢，愛〕
tayo gilānūpamā puggalā 三病喩人
tayo therā 三長老〔生，法，認定〕
tayo devā 三天〔世俗，生起，清淨〕
Tayodhamma-jātaka タヨーダンマ・ヂャータカ，三法本生物語 J 58
tayo dhammā 三法，三事
tayo nighā 三搖＝三毒
tayo nissayā 三依
tayo paṭibhānavanto 三應辯具者
tayo parihāniyā dhammā 三順退法
tayo pāsādā 三時殿，三殿，三の殿，三宮殿
tayo puggalā 三人〔學，無學，非學非無學〕
tayo puttā 三兒〔優，隨，劣〕
tayo purisa-khaḷuṅkā 三未調人
tayo purisa-sadassā 三人良馬
tayo potthakūpamā puggalā 三樹皮衣喩人
tayo phassā 三觸〔空，無相，無願〕
tayo buddhakkhettā 三佛剎土〔生誕，威令，境〕
tayo bhaddā assājāniyā 三最良馬
taya bhaddā purisājānīyā 三人最良馬
tayo bhavā＝ti-bhava 三有，三界〔欲，色，無色〕
tayo bhārā 三重擔
tayo maggā 三道
tayo madā 三憍〔無病，年壯，活命〕
tayo mānā＝tividha māna, tisso vidhā 三慢〔慢，卑，過〕
tayo māsā 三月
tayo meghā 三雨
tayo rāsī 三聚〔邪定，正定，不定〕
tayo rogā 三病
tayo lokā 三世間〔行，有情，空間〕
tayo vimokkhā＝tayo samādhi 三解脫〔空，無相，無願〕
tayo vivekā 三遠離
tayo vihārā 三住〔天，梵，聖〕
tayo vedā＝ti-veda 三吠陀，三部吠陀，三つの吠陀
tayo vyūhā 三軍
tayo saṁvaṭṭā 三壞＝大三災
tayo saṅkhārā ① 三行〔身，語，心〕② 三行〔福，非福，不動〕③ 三行，三世行
tayo satipaṭṭhānā 三念住
tayo satthāro 三師
tayo samādhī ① 三定，三三昧〔有尋有伺，無尋唯伺，無尋無伺〕② 三定，三三昧，三三摩地〔空，無相，無願〕
taraccha 鬣狗，羆
Taraccha ①〔族〕タラッチャ ②〔池〕
taraccha-maṁsa 鬣狗肉
taraṇa 度，度脫
Taraṇiya〔比丘の譬喩經〕タラニヤ Ap 3 204, 270, 280, 485
taramāna 早急者
taruṇa 幼樹
Taruṇa〔經〕幼樹 S 12 57
taruṇa rukkha 幼樹
taruṇūpamā 嬰兒の喩，幼〔犢〕喩
tala 掌
Talaṅga＝Talaṅgara, Tālaṅkara〔精舍〕タランガ
Talaṅgara＝Talaṅga, Tālaṅkara〔精舍〕タランガラ
Talaḍilla〔港〕タラディッラ
Talatādevī〔母后〕タラターデーギー
Talanigāma〔渡〕タラニガーマ
Talapuṭa〔比〕タラプラ
Taḷākatthali〔堡壘〕タラーカッタリ
Taḷāṭṭhala〔堡壘〕タラーッタラ
Tavakaṇṇika〔長者〕タヴカンニカ
Tavakka〔婆〕タヴッカ
tasa 怖動者，動けるもの＝凡夫
tasara, tasala 梭
tassapāpiyyasikā 覓罪相，求彼罪，實覓，求其

罪處〔七滅諍の一〕
tassapāpiyyasikā-kamma 覓罪相羯磨，實覓羯磨
Tassa sutaṁ〔經〕聞 S 29 7〜10
Tā〔ṅ〕gipperūmāḷa〔ダミラ人〕ター〔ン〕ギッペールーマーラ
tāṇa 救護所，護，庇護，庇護處，避難所
Tāṇaṁ〔經〕庇護 S 43 42
tāṇagāmi-magga 庇護に達するの道
tādin 如同，如同者，如如，如者，斯る者
Tāpana〜Tapana〔地獄〕炎熱
tāpasa=tapassin 苦行者，仙人
Tāmalitti〜Tamalī〔港〕ターマリッティ
Tāyana ①〔天子〕ターヤナ，多耶那 ②〔經〕多耶那 S 2 8
Tāyana-gāthā 多耶那の偈
tāraka-rūpa 星の光明，星の光
tārakarūpānaṁ pabhā 星の光明，星の光，星辰の光明
tārakā 星，星宿，恒星
Tāraṇa〔傳◦轉輪王〕ターラナ
tārāsabha 星の牛王
Tārukkha〔婆〕タールッカ，多梨車
tāla ①〔果，樹〕ターラ，多羅，棕櫚 ②〔高さの量〕ターラ，多羅 ③=tāḷa 鑼，小鐃 ④簇
tālaka〔植〕ターラカ
Tālakkhetta〔村〕ターラッケッタ
Tālaggallaka〔池〕ターラッガッラカ
tālacchādi, tālacchāyā 多羅樹の蔭
tāla-pakka 多羅の果
tāla-paṇṇa 多羅葉
tāla-patta 多羅葉
tāla-panti 多羅の並樹〔七種〕
Tālapuṭa〔比〕ターラプタ
Tālaphaliya〔比丘の譬喩經〕ターラパリヤ Ap 3 506
tāla matthakācchinna 頭を斷たれしターラ
tāla-vaṇṭa 多羅葉扇，多羅葉の扇，多羅葉，多羅莖，扇，圓扇
tālavaṇṭaka 多羅莖衣
Tālavaṇṭakadāyaka〔比丘の譬喩經〕ターラヴンタダーヤカ Ap 3 217
Tālavatthu〔精舍〕ターラヴットゥ
tālavatthukata, tālāvatthukata 本を失へるターラ，本を失へる多羅樹の如く，本を失ひしターラの如く，本無き多羅樹の如く，本を抜かれしターラ，多羅樹の頭を截るが如く，多羅樹の頭を截りしが如く，多羅樹の頂を切られたる如く，多羅樹の如くなし，多羅樹の幹の如く，多羅樹の株の如く，多羅樹の本なきが如く，多羅の幹を斷つ如く，根を絶たれたるターラ樹の如く，切りたる多羅樹の株の如く
tāla-sadda=tāḷa-sadda 小鐃聲，銅鑼聲
tālahīraka ターラヒーラカ，皮を破る蟲
tālisa, tālissa〔樹，香〕ターリサ，達子香
Tālissara〔王〕ターリッサラ
tālīsa=tālisa, tālissa〔樹，香〕達子香
tālīsaka ターリーサカ，達子香の木
tālu 上齶
Tāḷaṅkara=Talaṅga, Talaṅgara〔精舍〕ターランカラ
tāḷacchiggaḷa 鍵孔
tāḷacchidda 鍵穴，鍵孔
Tāḷayūrunāḍu〔地名〕ターラユールナードゥ
Tāḷaveḷi-magga ターラヹーリ通
tāḷa-sadda=tāla-sadda 銅鑼聲，小鐃聲
tāḷāvacara 樂器
tāva-kālika 暫借
Tāvatiṁsa=Tidasa, Tidasā devā, Tidiva〔六欲天の一〕ターヴティンサ，忉利天，三十三天
Tāvatiṁsa-parisā 三十三〔天〕衆，三十三天會，忉利天衆〔八衆の一〕
Tāvatiṁsa-bhavana 忉利天，忉利天界，三十三天
Tāvatiṁsā devā 三十三天，忉利天
Tiṁsa dhammā〔經〕三十法 A **10** 212
Tiṁsa-nipāta ① 三十偈集〔長老偈經〕Thag 949〜1050 ② 三十偈集〔長老尼偈經〕Thīg 366〜399 ③ 第十六篇〔本生經〕J 511〜520
tiṁsa nissaggiya-pācittiyā 三十捨墮，三十尼

薩耆波逸〔提〕
tiṁsa nissaggiyā 三十尼薩耆
tiṁsa pāramī 三十波羅蜜
Tiṁsamattā〔經〕約三十 S 15 13
tika 三法，三聚 V 3 6 (3)
Tikaṇḍaki-vagga ティカンダキ品 A 5 141～150
Tikaṇḍakivana ティカンダキ林
tikaṇḍi〔花〕ティカンディ
Tikaṇḍipupphiya〔比丘の譬喩經〕ティカンディプッピヤ Ap 3 199
Tikaṇṇa〔婆〕ティカンナ
tikaṇṇi〔樹〕ティカンニ
Tikaṇṇipupphiya〔比丘の譬喩經〕ティカンニプッヒヤ Ap 3 188
Tikatika-paṭṭhāna 順三法三法發趣，三法三法發趣 Tikatika 1～42
Tikatikapaṭṭhāna-vaṇṇanā 三法三法發趣之釋
Tikaduka-paṭṭhāna 順三法二法發趣，三法二法發趣 Tikaduka 1～94
Tikadukapaṭṭhāna-vaṇṇanā 三法二法發趣之釋
Tika-nipāta ① 三偈集〔長老偈經〕Thag 219～266〔長老尼偈經〕Thīg 39～62 ② 三集〔增支部經〕A 3 1～163 ③ 三集〔如是語經〕It 50～99 ④ 第三篇〔本生經〕251～300
Tika-paṭṭhāna 順三法發趣，三法發趣，三法鉢多那 Tika **1～22**
tika-bhojana 三人共食，三食
Tika-vagga 三法品 A 6 107～116
tikiccha 治療，醫學
tikicchaka 醫者，醫師
Tikicchaka〔比丘の譬喩經〕ティキッチャカ Ap 3 179
tikicchant 醫師，醫者
Tikicchā〔經〕醫 A **10** 108, 109
ti-kusala-sampatti 三善趣
Tikūṭa〔山〕ティクータ
tikoṭi-parisuddha 三點清淨，三種清淨〔魚肉の〕
Tikoṇamāla〔港〕ティコーナマーラ
Tikkha〔經〕利 S **55** 73
tikkha-pañña 利慧者，利慧〔者〕，捷慧〔者〕，銳慧者，銳智者，銳利な智慧者，銳き智慧〔者〕
tikkha-paññatā 利慧
tikkha-paññā 利慧，利智，銳智，銳利な智慧
tikkhindriya 利根，利根者
Tikhiṇamanti〔王子〕ティキナマンティ
Ticampakapupphiya〔比丘の譬喩經〕ティチャンパカプッピヤ Ap 3 254
ti-cīvara 三衣
ticīvara-dhara 著三衣者＝三衣者
ticīvarena avippavāso 三衣と不離
tiṇa 草，茅草，靑草，禾本，穢稻，雜草
tiṇa-kaṭṭha 草や薪
Tiṇakaṭṭhaṁ〔經〕薪草 S **15** 1
tiṇa-kalāpa 草把
tiṇa-kuṭikā 草屋，草房
Tiṇakuṭidāyaka〔比丘の譬喩經〕ティナクティダーヤカ Ap 3 334
tiṇa-khetta 茅草田
tiṇaggi 草火
tiṇacchādana, tiṇa-chadana 草葺，草屋
tiṇaṇḍupaka 草輪
tiṇa-dāya 草原
Tiṇadāyaka-vagga ティナダーヤカ品 Ap 3 518～527
tiṇadosaṁ khettaṁ 田は雜草により損はる
tiṇa-puñja 草堆，草の堆積
tiṇapupphaka-roga 草花病
tiṇa-purisaka 案山子
tiṇa-bhakkha 草食
tiṇa-bhisi 草臥褥
Tiṇamuṭṭhidāyaka〔比丘の譬喩經〕ティナムッティダーヤカ Ap 3 345, 518
tiṇava 鑼鼓，妓鼓
tiṇavatthāraka 如草覆地，如草覆地法，草掩，草覆地〔七滅諍の一〕
tiṇava-sadda 妓鼓聲
tiṇa-santharaka～tiṇa-santhāra 草座，草薦，草敷具
tiṇasantharaka-sayanāsana 草覆の床座
tiṇa-santhāra～tiṇa-santhāraka, tiṇa-santharaka 莚

tiṇa-santhāraka～tiṇa-santhāra, tiṇa-santharaka 草敷具，草座，草蓙
Tiṇasanthāradāyaka〔比丘の譬喩經〕ティナサンターラダーヤカ Ap 3 76, 192
tiṇasūla＝tiṇasūlika〔花，植〕ティナスーラ
Tiṇasūlaka〔比丘の譬喩經〕ティナスーラカ Ap 3 157
Tiṇasūlakachādaniya〔比丘の譬喩經〕ティナスーラカチャーダニヤ Ap 3 410
tiṇasūlika＝tiṇasūla〔花，植〕ティナスーリカ
tiṇa-hāraka 採草者，草刈人
tiṇāgāra 藁葺の家，草葺の家，草家
Tiṇukkadhāriya〔比丘の譬喩經〕ティヌッカダーリヤ Ap 3 451
tiṇukkā 草炬，乾草の炬，草の炬火，藁の炬火
tiṇukkūpamā 乾草の炬の喩，草炬の喩，草炬の如く
tiṇḍuka＝tinduka〔樹〕鎮頭迦
Tiṇḍuka-jātaka ティンドゥカ・ヂャータカ，鎮頭迦樹本生物語 J 177
Tiṇḍukaphaladāyaka〔比丘の譬喩經〕ティンドゥカパラダーヤカ Ap 3 346
tiṇṇa 度者
tiṇṇaṁ indriyānaṁ vasībhāvatā paññā 三根の得自在の慧
tiṇṇaṁ cittānaṁ vipphāro 三心の遍滿
tiṇṇaṁ sannipāto＝tisso sāmaggiyo 三事和合
tiṇṇaṁ vedāna pāragū 三種の吠陀に通達せるもの
tiṇṇa-vicikicchatā 疑惑を超えたること
tiṇha ayo-saṅku 銳利の鐵杭
tiṇha khura 銳利の剃刀
tiṇha nakhacchedana 銳利の爪刀
tiṇha-sattha 利刀，銳き刄
tiṇha-sikhara 利刀，利劍
tiṇhā kuṭhārī 利斧
tiṇhā satti 銳き刀，銳利の刄物
titikkhā 勘忍，隱忍
titta 自足〔者〕
tittaka 苦
tittakālābu 苦瓜，苦瓠，苦葫蘆，苦瓢
titti 厭足
tittira〔鳥〕ティッティラ，鷓鴣，沙鶏，鶉
Tittira-jātaka ティッティラ・ヂャータカ，鷓鴣本生物語 J 37, 117, 319, 438
tittiriya〔梵行〕ティッテリヤ，鶉法
Tittiriya〔婆〕ティッテリヤ
tittha 渡場，渡り場，渡處，度處，水浴場，浴場，淺瀨，上り場，津岸
Tittha〔村〕ティッタ
titthaṁ jānāti 度處を知る，渡處を知る
titthakara 一派の開祖，一派の祖，派祖，外道師，外道主，宗祖，祖師，敎祖，敎派主，救濟者，外道*
Titthagāma〔精舍〕ティッタガーマ
tittha-coḷa 浴津布
Tittha-jātaka ティッタ・ヂャータカ，沐浴場本生物語 J 25
tittha-nāvika 渡守
Titthamba〔ダミラ人〕ティッタンバ
titthāyatana 外道の所依處〔三種〕
titthiya 外道，外學，外道師，外道派，異學，異徒
titthiya-pakkantaka 外學に走れる者
titthiya-vatta 外道行事
titthiya-vihāra 外道寺院
titthiya-sāvaka 異教徒，外道の弟子，外道の聲聞
Tidasa ティダサ，三十＝忉利天，三十三天
tidasa-gaṇa 三十三天衆
Tidasā devā＝Tāvatiṁsa 三十諸天，三十天，三十三天
Tidiva＝Tāvatiṁsa 忉利天，三天，三十三天
ti-dubbaṇṇakaraṇa 三種壞色
ti-nikāyā 三宗派〔大寺派，無畏山寺派，祇陀林寺派〕
tintiṇa 欲貪
Tintiṇi, Tintiṇika〔村〕ティンティニ，ティンティニカ
Tintiṇigāmaka〔池〕ティンティニガーマカ
tindima＝dindima, deṇḍima〔樂器〕ティンディマ，小鼓，手鼓，鑵鼓，銅鑼，鐃鈸

tindu, tinduka〔樹，果〕ティンドゥ，ティンドゥカ，鎮頭迦
Tinduka-kandara ティンドゥカ崖，丁土伽窟
Tindukadāyaka〔比丘の譬喩經〕ティンドゥカダーヤカ Ap 3 197
tindukācīra 鎮頭迦樹苑
Tindukkhānu-paribbājakārāma ティンドゥッカーヌ出家園
tipada catuvīsatakkhara 三句二十四字
ti-parivaṭṭa-dvādasākāra 三轉十二行相
Tipallatthamiga-jātaka ティパッラッタミガ・ヂャータカ，三臥鹿本生物語 J 16
Tipavha〔ヴンニー人〕ティパウハ
tipiṭaka=tepiṭaka, tipiṭaka-dhara〜tipeṭakin 三藏，三藏師，三藏〔持〕者，通三藏
Tipiṭaka-Cūḷanāga〔比〕三藏小龍
Tipiṭaka-Cūḷābhaya〔比〕三藏〔師〕小無畏
tipiṭaka-dhara〜tepiṭaka, tipiṭaka 三藏持者
tipu 錫
Tiputhulla〔精舎〕ティプトゥッラ
Tipupphiya〔比丘の譬喩經〕ティフッヒヤ Ap 3 96
tipu-maya 錫所成
tipuloha-kāra 錫鍛冶
tipusa 胡瓜
tipeṭakin〜tipiṭaka-dhara 三藏に精通せる
tippa-upakkama 劇しき精進
tippa-padhāna 劇しき精勤
tippā kaṭukā vedanā 劇裂受
ti-bodhi 三菩提〔等正，辟支，聲聞〕
tibbadosa-jātika 重瞋生者
tibbamoha-jātika 重癡生者
tibba-rāga 苦貪，愛欲重者
tibbarāga-jātika 重貪生者
tibba vanasaṇḍa 大叢林
tibba-sārāga 劇しき染著
ti-bhava=tayo bhavā 三界，三有
Tibhuvanamalla=Tilokamalla〔パラッカマバーフ二世の子〕ティブヴナマッラ
ti-maṇḍala 三輪
timattāni aṭṭhisatāni 三百の骨
Timanda〔大魚〕ティマンダ
timi〔大魚〕ティミ，提麑，帝麑，帝彌
timiṅgala〔大魚〕ティミンガラ，提麑耆羅，帝麑伽羅，帝麑羅
timitimiṅgala〔大魚〕ティミティミンガラ，提麑提麑耆羅，帝麑帝麑伽羅，呑舟の大魚，大身魚
timira〔樹，花〕ティミラ
timirapiṅgala=timiramiṅgala〔大魚〕ティミラピンガラ，帝麑羅頻伽羅，提麑提麑耆羅
Timirapupphiya〔比丘の譬喩經〕ティミラプッピヤ Ap 3 81, 366
Timirapupphiya-vagga ティミラプッピヤ品 Ap 3 81〜90
timiramiṅgala=timirapiṅgala〔大魚〕ティミラミンガラ，帝麑羅頻伽羅，提麑提麑耆羅
timbaru=timbarūsaka〔樹，果〕ティンバル
Timbaru〔犍闥婆王〕ティンバル，耽浮樓，珍浮樓
Timbaruka〔遊行者〕ティンバルカ，玷牟留
Timbaruko〔經〕玷牟留 S 12 18
Timbarū ①〔渡場〕ティンバルー，耽浮樓 ②〔音樂〕ティンバルー
timbarūsaka=timbaru〔花，果〕ティンバルーサカ，鎮頭迦，瓜果
Tiyaggala〔湖〕ティヤッガラ
Tiraṁsiya〔比丘の譬喩經〕ティランシヤ Ap 3 318
tiracchāna 畜生，畜生類
tiracchāna-kathā 畜生論，畜生說，無用論，無益徒勞の話，無駄議論，雜談，遮道の論議，遮道濁亂の論說，俗語〔三十二種〕
Tiracchāna-kathā 畜生論 KV 20 4
tiracchānakathika 卑語〔者〕，無用論者
tiracchāna-gata 畜生，傍生，畜生趣，畜生男
tiracchānagata-pariggaha 畜生物
tiracchānagata-purisa 畜生男
tiracchānagatā, tiracchānagatitthi 畜生女
tiracchāna-yoni 畜生，傍生，畜生界，畜生趣，畜生道，畜生族〔五趣の一〕
tiracchāna-yonika 畜生，畜生界，畜生界の
tiracchānayoni-kathā 畜生論

tiracchānayoni-bandhana 傍生縛
tiracchānayoni-loka 畜生世間
tiracchāna-vijjā 畜生明，畜生呪，賤劣學，無益徒勞の明
Tirikkānappera〔地名〕ティリッカーナッペーラ
Tirinaveli〔地方〕ティリナヹーリ
Tirippāḷuru〔地名〕ティリッパールル
Tirípputtūru〔地名〕ティリップットゥール
Tirimalakka〔村〕ティリマラッカ
tiriyā〔草〕ティリヤー
tirivaccha〔樹〕ティリヴッチャ
Tirivekambama〔地名〕ティリヹーカンバマ
tirīṭa=tirīta ティリータ樹皮，ティリータ樹皮衣
tirīṭaka 樹皮衣
Tirīṭavaccha ①〔仙，佛の前生〕ティリータヴッチャ ②〔傳◦婆〕③〔長者〕④〔婆，迦旃延の父〕
Tirīṭavaccha-jātaka ティリータヴッチャ・ヂャータカ，ティリータヴッチャ仙本生物語 J 259
tirīṭi=tirīṭa, tirīta〔樹〕ティリーティ
tirīta=tirīṭa〔樹〕ティリータ
tiro-kuḍḍa 住家の外
Tirokuḍḍa-petavatthu 戸外鬼事 Pv 1 5
Tirakuḍḍa-sutta 戸外經，塀横斷經 Khp 7
tila 胡麻，栞種*
tilaka ①〔樹〕ティラカ，チラカ ② 痣，斑疹
tila-kakka 胡麻膏
ti-lakkhaṇa 三相，三性，三法印〔無常，苦，無我〕
Tilagulla〔村〕ティラグッラ
Tilagullaka〔池〕ティラグッラカ
tila-tela 胡麻油
Tiladakkhiṇa-vimāna 胡麻供養天宮 Vv 10
tila-daṇḍaka 胡麻幹
tila-piṭṭhi 胡麻〔粉〕
tila-phala 胡麻粒，胡麻子
tilaphala-matta 胡麻子量
Tilamuṭṭhi-jātaka ティラムッティ・ヂャータカ，一握胡麻本生物語 J 252
Tilamuṭṭhidāyaka〔比丘の譬喩經〕ティラムッティダーヤカ Ap 3 272
Tilavatthuka〔水路〕ティラヴットゥカ
tila-vāha 胡麻荷，栞種子*
tila-saṁgulika 胡麻餅
Tilokanandana〔園〕ティローカナンダナ
Tilokamalla=Tibhuvanamalla〔王子〕ティローカマッラ
Tilokasundarī〔ギヂャヤバーフ一世王妃〕ティローカスンダリー，三界の美女
tilodana 胡麻飯
Tivakka〔婆〕ティヴッカ
Tivaṅka〔堂〕ティヴンカ
ti-vaṭṭa 三輪轉
Tivaṇṭipupphiya〔比丘の譬喩經〕ティヴンティプッピヤ Ap 3 190
Tivarā ①〔人〕ティヴラー ②〔都〕ティヴラー，帝彌羅
tividha ākāsa 三種の虚空
tividha kalyāṇa 三種善〔初，中，後〕
tividha kuhaka-vatthu～tīṇi kuhana-vatthūni 三種の詐欺
tividhaggi～tayo aggī 三種の火～三火
tividha dāna 三種施
tividha paccuppanna 三種現在〔刹那，相續，一期〕
tividha maṇḍa 三種の醍醐
tividha māna=tayo mānā, tissa vidhā 三種の慢
tividha saññā 三種の想
tividha samādhi 三種の定〔刹那，近行，安止〕
tividha-sucarita-dhammā 三善法
tividhūpaparikkhā 三種の觀察〔界，處，緣起〕
tividhena rūpakkhandho 三種色蘊
tividhena rūpa-saṁgaho 三種色聚，三種の色種〔有見有對，無見有對，無見無對〕
ti-veda 三吠陀，三部吠陀，三つの吠陀
tisa(A)=tissa〔星〕ティサ
ti-sandhi 三連結
ti-saraṇagamana 三歸，三歸依

ti-sahassī mahāsahassī lokadhātu 三千大千世界

Tissa ①〔佛〕ティッサ，帝沙，帝須 ②〔辟〕ティッサ ③〔天〕ティッサ，底沙 ④〔燃燈佛の第二弟子〕ティッサ，帝沙 ⑤〔毘婆尸佛の第二弟子〕ティッサ，提舍，帝沙 ⑥〔迦葉佛の第一弟子〕ティッサ，提舍，帝沙 ⑦〔比，佛の從弟〕ティッサ，低舍，低沙，帝須 ⑧=Tissa Metteyya〔比〕ティッサ，帝須 ⑨=Losaka-tissa〔比〕ティッサ ⑩=Kuṭumbikaputta-tissa〔比，富豪の子〕帝須，帝沙 ⑪=Moggaliputta-tissa〔比〕帝須 ⑫〔比，祇陀林寺を建てしむ〕ティッサ ⑬〔相承比丘〕ティッサ，帝須 ⑭=Cūḷapiṇḍapātika-tissa〔比〕帝須 ⑮〔龍山住比丘〕帝須 ⑯〔比，書寫阿闍梨〕帝須 ⑰〔梵天，目犍連子帝須の前生〕帝須 ⑱=Cūḷānāthapiṇḍika-tissa〔比〕帝須 ⑲〔ヒヤンゲ島住比丘〕ティッサ ⑳=Mahātissa, Hambugallaka-mahātissa〔比〕ティッサ ㉑=Devānampiya-tissa〔王〕帝須 ㉒=Sūra-tissa, Suvaṇṇapiṇḍa-tissa〔王〕帝須 ㉓=Mahātissa, Abhaya, Duṭṭhagāmaṇī〔王〕帝須 ㉔=Vaṅkanāsika-tissa〔王〕帝須 ㉕=Yasalālaka-tissa〔王〕帝須 ㉖〔王，ギハーラデーギーの父〕ティッサ ㉗〔樵夫，王〕ティッサ，帝須 ㉘〔王，マハーチューラ王の子〕ティッサ，帝須 ㉙=Vohāraka-tissa〔王〕ティッサ，帝須 ㉚=Kaniṭṭha-tissa〔王〕帝須 ㉛=Saddhātissa〔ドゥッタガーマニー王の弟〕ティッサ ㉜〔王子〕帝須 ㉝〔大臣〕帝須 ㉞〔戰士，ドゥッタガーマニー王臣〕ティッサ ㉟〔蓮華上佛の信士〕ティッサ ㊱〔傳○王師の子〕ティッサ，提舍 ㊲〔釋種〕帝須 ㊳〔山〕ティッサ ㊴〔池〕ティッサ，帝須 ㊵=Uttaratissa〔精舍〕ティッサ ㊶〔精舍〕ティッサ，帝須

Tissaka ①=Kaniṭṭha-tissa〔王〕ティッサカ ②〔經〕低沙迦 S 6 8

Tissadatta〔相承比丘〕ティッサダッタ，帝須達多

Tissa-Metteyya～Tissa〔比，婆和利の弟子〕ティッサメッテーヤ，帝須彌勒〔譬喩經〕Ap 3 398

Tissametteyya-pañhā=Tissametteyyamāṇava-pucchā〔經〕帝須彌勒所問

Tissametteyya-māṇavakapañhā-niddesa 帝須彌勒學童所問の義釋 CNd 2

Tissametteyya-māṇava-pucchā=Tissametteyya-pañhā〔經〕帝須彌勒學童所問，彌德勒所問 Sn 5 3

Tissametteyya-vagga 帝須彌勒品 Ap 3 398～407

Tissametteyya-sutta 帝須彌勒經 Sn 4 7

Tissametteyyasutta-niddesa 帝須彌勒經の義釋 MNd 7

Tissavaḍḍhamānaka〔地名〕ティッサヴッダマーナカ

Tissavasabha〔住院〕ティッサヴサバ

Tissā ①〔憍陳如佛の上足尼〕ティッサー，帝沙 ②〔尼〕帝須 ③〔尼〕ティッサー ④〔夷〕ティッサー ⑤〔女〕ティッサー ⑥〔ウダヤ一世王妃〕ティッサー ⑦〔カッサパ四世王妃〕ティッサー ⑧〔王女〕ティッサー

Tissāya mātā〔夷〕ティッサーの母

Tissārakkhā〔阿育王妃〕ティッサーラッカー

Tissārāma ①〔尼房〕ティッサーラーマ ②=Mahāvihāra, Mahāmeghavana〔精舍〕帝須園

Tisso ①〔經〕低沙 S 21 9 ②〔經〕低舍 S 22 84

tisso akusala-dhātuyo 三不善界=三不善尋〔欲，恚，害〕

tisso akusala-saññā 三不善想〔欲，恚，害〕

tisso anupassanā 三隨觀

tisso upamā 三つの喩

tisso esanā 三求，三尋，三尋覓，三愛〔欲，有，梵行〕

tisso kaṅkhā 三疑

tisso kāmupapattiyo 三欲生

tisso kusala-dhātuyo 三善界〔出離，無恚，無害〕

tisso kusala-saññā 三善想〔出離，無恚，無害〕

tisso cariyāyo 三所行

tisso taṇhā 三愛，三渇愛〔欲，有，無有〕
tisso dukkhatā 三苦，三苦性〔苦苦，壞苦，行苦〕
tisso dhātuyo 三界 ①＝三有〔欲，色，無色〕②＝三有〔色，無色，滅〕③〔劣，中，勝〕
tisso nissaraṇīyā dhātuyo 三出要界，三出離界
tisso paññā 三慧 ①〔學，無學，非學非無學〕②〔聞，思，修所成〕
tisso paṭipadā 三道
tisso pariññā 三遍知〔知，度，斷〕
tisso pariyattiyo 三種の暗誦
tisso parisā 三衆會，三の衆
Tisso pi anusaya-kathā 三亦隨眠論 KV 11 1
Tisso pi kathā 亦三論 KV 22 5
tisso bhāvanā ① 三修習〔遍作，近行，安止〕② 三修〔身，心，慧〕
tisso vandanā 三禮〔身，語，意〕
tisso vijjā 三明，三種の明〔宿命，天眼，漏盡〕
tisso vidhā～tayo mānā, tividha māna 三慢，三自負，三類，三次第
tisso vipattiyo 三缺損〔戒，心，見又は業，活命，見〕
tisso vuddhiyo 三增長〔信，戒，慧〕
tisso vedanā 三受，三種受〔樂，苦，不苦不樂〕
tisso samaṇa-saññā 三沙門想
tisso sampattiyo 三成就
tisso sampadā 三圓足 ①〔戒，心，見又は業，活命，見〕②〔信，戒，慧〕
tisso sāmaggiyo＝tiṇṇaṁ sannipāto 三和合
tisso sikkhā 三學〔戒，定，慧〕
tisso sukhupapattiyo 三樂生
tihetuka 三因，三因者
tihetuka-upekkhāsahagata-kiriyā 三因捨俱行唯作
tihetuka-kāmāvacara-vipāka 三因欲界繋異熟
tihetuka-paṭisandhi-citta 三因結生心
tihetuka-mahāvipāka 三因大異熟
tihetuka-vipāka 三因異熟
tihetuka-somanassasahagata-kiriyā 三因快俱行唯作，三因喜俱唯作
tīṇādhipateyyāni 三增上〔我，世，法〕
tīṇānuttariyāni 三無上〔見，行，解脫〕
tīṇi akusala-mūlāni 三不善根〔貪，瞋，癡＝三毒，三火〕
tīṇi aṅgaṇāni 三穢
tīṇi antaradhānāni 三隱沒（正法の）
tīṇi āvudhāni 三仗〔聞，離，慧〕
tīṇi indriyāni 三根＝三無漏根〔未知當知，已知，具知〕
Tīṇikaṇikārapupphiya〔比丘の譬喩經〕ティーニカニカーラプッピヤ Ap 3 498
tīṇi kathā-vatthūni 三論事
tīṇi kammāni 三業 ①〔身，語，意〕②〔順現受等〕
Tīṇikiṅkhaṇikapūjaka〔比丘の譬喩經〕ティーニキンカニカプーヂャカ Ap 3 341
Tīṇikiṅkhaṇipupphiya〔比丘の譬喩經〕ティーニキンカニプッピヤ Ap 3 488
tīṇi kulāni 三家
tīṇi kusala-mūlāni 三善根〔無貪，無瞋，無癡〕
tīṇi kuhana-vatthūni～tividha kuhaka-vatthu 三詭詐事
tīṇi kosallāni 三善巧〔增益，損減，方便〕
tīṇi gandha-jātāni 三種の香
tīṇi cakkhūni 三眼〔肉，天，慧〕
tīṇi cetokhilāni 三心栽〔貪，瞋，癡〕
tīṇi codanā-vatthūni 三擧罪事〔見，聞，疑による〕
tīṇi ñāṇāni 三智〔過去の智等〕
tīṇi tathāgatassa arakkheyyāni 如來の三不護
tīṇi tamāni 三暗
tīṇi titthāyatanāni 三外道處
tīṇi daṇḍāni 三罰
tīṇi duccaritāni 三惡行，三惡業＝三不善業〔身，語，意〕
Tīṇinaḷamālikā〔比丘尼の譬喩經〕ティーニナラマーリカー Ap 4 5
tīṇi nimittāni ① 三因，三相 ② 三相〔遍作，取，似〕
tīṇi paṭicchannāni 三法〔隱さるべきもの〕
Tīṇipadumiya〔比丘の譬喩經〕ティーニパドゥミヤ Ap 3 80

tīṇi-pahānāni 三捨斷，三捨離〔鎭伏，彼分，正斷〕
tīṇi pāgabbhiyāni 三傲慢
tīṇī pāṭihāriyāni 三神變，三種の神變，三種の神通，三示導〔神通，記說，敎誡〕
tīṇi puññakiriya-vatthūni 三福業事〔施，戒，修〕
tīṇi bhayāni 三畏，三畏怖，三恐怖〔飢，疾，刀〕
Tīṇimakkula〔村〕ティーニマックラ
tīṇi maṅgalāni 三祭禮
tīṇi malāni ① 三垢，三の垢＝三毒 ② 三垢〔破戒，嫉，慳〕
tīṇi moneyyāni 三牟尼，三寂默〔身，語，意〕
tīṇi lakkhaṇāni＝tīni lakkhaṇāni, tīṇi saṅkhata-lakkhaṇāni 三相〔生，住，滅〕
tīṇi vimokkhā-mukhāni 三解脫門〔空，無相，無願〕
tīṇi vivaṭāni 三法〔顯はされ輝くもの〕
tīṇi visamāni 三邪
tīṇi saṁkhata-lakkhaṇāni＝tīṇi lakkhaṇāni 三有爲相〔生，住，滅〕
tīṇi saṁyojanāni 三結〔有身見，疑，戒禁取〕
tīṇi saṭṭhi osaraṇāni 六十と三の異端說
tīṇi satthāni 三刀〔身，語，意〕
Tīṇisaraṇāgamaniya〔比丘の譬喩經〕ティーニサラナーガマニヤ Ap 3 23
tīṇi sucaritāni 三善行，三妙行，三善業〔身，語，意〕
tīṇi soceyyāni 三清淨〔身，語，意〕
Tīṇuppalamāliya〔比丘の譬喩經〕ティーヌッパラマーリヤ Ap 3 339, 370
Tītimīti ティーティミーティ，大魚
tīni lakkhaṇāni＝tīṇi lakkhaṇāni 三性
Tīya〔婆〕ティーヤ
Tīra〔經〕岸 A 10 170
tīraṇaṭṭhe ñāṇaṁ 度の義の智
tīraṇa-pariññā 度遍知
tīraṇa-vibhūta 度知無有
tīradassin sakuṇa 視岸鳥，陸地を搜むる鳥
Tīritara〔王〕ティーリタラ
Tīvala〔阿育王子〕ティーヴラ
Tīsucullasa〔村〕ティースチュッラサ
Tīhi〔經〕三〔法〕S 37 4
tīhi saraṇagamanehi upasampadā-kathā 三歸依具足戒 V 2 a 1, 12
Tuṅgabhadda〔水路〕トゥンガバッダ
tuccha 空虛，虛僞，虛
tucchaṁ musā vilapati 虛誑妄語す
tucchasaṅkhāra-samanupassanā 空無なる行の正觀
tucchākāsa 空虛空
tuṭṭha 充悅〔者〕
Tuṭṭha〔塞〕トゥッタ，他梨舍瓷
Tuṭṭhaka〔將軍〕トゥッタカ
tuṭṭha-citta 知足の心
tuṭṭhi 知足
Tuṇḍila〔遊女の兒〕トゥンディラ
Tuṇḍila-jātaka トゥンディラ・ヂャータカ，鼻豚本生物語 J 388
tuṇhīra＝tūṇīra, tunhīra 箭筒，箙
Tudu〔梵天〕トゥドゥ，都頭
Tudu-brahmā〔經〕都頭梵天 S 6 9
tunna-kāra 仕立屋
tunna-vāya 仕立屋，裁縫師，裁縫匠
tunhīra＝tūṇīra 箙
tumba ① 壺 ②〔量〕トゥンバ
Tumba〔精舍〕トゥンバ
tumba-kaṭāha 瓠壺
Tumbariyaṅgaṇa〔湖〕トゥンバリヤンガナ
Tumbaru〔窟〕トゥンバル
Turamaya(A), Turamāya(A), Tulamaya(A)〔王〕トゥラマヤ
turita-kāraṇa 速行事
turiya 樂器，鐃，器樂，妓人
turī 牝鹿
tula 平等，等
tula atula sambhava 等と無等の有
tulanā 考量，思量
Tulamaya(A)〔王〕トゥラマヤ
tulasi〔植〕羅勒
tulā ① 秤，秤器，重量，秤稱，槓杆 ②〔量〕

トゥラー，斗秤
tulā-kūṭa 秤を欺き，僞秤，重量を僞り，秤稱を詐り
Tulā-kūṭa〔經〕僞秤 S 56 94
Tulādhara〔精舎〕トゥラーダラ山
tulādhāra 商人
Tulādhāra ①〔村〕トゥラーダーラ ②〔精舎〕トゥラーダーラ山
tuliya〔動〕トゥリヤ
tuḷasi〔花〕トゥラシ
tuvaṁtuva, tuvantuva 相違，相違語，抗爭，爭論
Tuvaṭaka-paṭipadā=Tuvaṭaka-sutta トゥヴタカ行道
Tuvaṭaka-sutta 迅速經 Sn 4 14
Tuvaṭakasutta-niddesa 迅速經の義釋 MNd 14
Tuvaṭṭa-vagga 共臥品 V 1 b 4, 31〜40
tuvantuva=tuvaṁtuva 抗爭，爭論，相違，相違語
tuvara〔花〕トゥヴラ
Tuvaradāyaka〔比丘の譬喩經〕トゥヴラダーヤカ Ap 3 241
Tuvaradāyaka-vagga トゥヴラダーヤカ品 Ap 3 241〜250
Tuvarādhipati〔veḷāra〕〔ダミラ人〕トゥヴラーディパティ〔ヱーラーラ〕
Tusita=Santusita〔天，天宮，六欲天の一〕トゥシタ，兜率，兜率陀，都率，覩史多，都史多，滿足
Tusita-kāya 兜率身，兜率天
Tusita-bhavana 兜率天宮
tūla〔綿〕トゥーラ，兜羅，綿，木棉，棉花
tūla-picu 輕綿，兜羅綿，綿花葉，綿
tūlikā 厚褥子
tūlinī〔樹〕トゥーリニー，絹綿樹
te-kaṭula-yāgu 三味粥，三辛粥
Tekicchakāni〔比〕テーキッチャカーニ
Tekula〔比〕テークラ，瞿婆
tecīvarakatta=tecīvarikatta 三衣にて足ること，三衣
tecīvarika 三衣者，但三衣者，三衣を持するもの，唯三衣を有す
tecīvarikaṅga 三衣支，但三衣支
tecīvarikatta=tecīvarakatta 三衣，三衣にて足ること
tecīvarin 但持三衣者
teja=tejo 威光，威力，火
tejana 箭
Tejasi〔大臣〕テーヂャシ
tejo=teja テーヂョー，火，火天，威力，威光，毒火*
tejo-kasiṇa 火遍〔十遍處の一〕
tejo-kāya 火身，火界〔七身の一〕
tejo-gata 火性，火態
tejo-jhāna 火大定
tejo-dhātu 火界，火界三昧，火大定
tejodhātuṁ samāpajjati 火光三昧に入る，火炎三昧に入る，火焰三昧に入る，火定に入る，光界三昧に入る
tejodhātu-kusala 火界善巧
tejo-saṁvaṭṭa 火壞
tejo-saññin 火想〔者〕
tejosama-bhāvanā 火の如き修行
tedaṇḍika 執三杖〔者〕，三杖を持てる者〔外道〕
tedaśa-vaṣabhisita(A), tedasa-vasābhisita(A) 灌頂十三年
tedhātuka 三界の
Tenkoṅgu〔地名〕テンコング
Tennavanappalla〔ダミラ人〕テンナヴナッパッラ
tepiṭaka〜tipiṭaka, tipiṭakadhara 三藏，三藏師，三藏者，通三藏
Temiya〔王子，佛の前生〕テーミヤ
Temiya-cariyā〔經〕テーミヤの所行 Cp 3 6
Temiya〔-jātaka〕=Mūgapakkha-jātaka テーミヤ〔本生物語〕
terasa kuladūsaka-saṁghādisesa 第十三汚家僧殘
terasa garukāpattī 十三重罪
terasa dhuta-guṇā〜terasa dhūtaṅgaguṇā 十三頭陀分

terasa dhutaṅgāni 十三頭陀支，十三頭陀，十三頭陀行
terasa dhūtaṅga-guṇā～terasa dhutaguṇā 十三頭陀支
Terasa-nipāta ① 十三偈集〔長老偈經〕Thag 632～644 ② 第十三篇〔本生經〕J 474～483
terasama-saṁghādisesa 第十三僧殘＝汚家戒
terasa saṁghādisesā 十三僧殘，十三僧伽胝施沙
terasa sīsāni 十三首
Teri〔村〕テーリ
tela テーラ油，ティラ油，胡麻油，油，香油*
Telakandarika-vatthu テーラカンダリカ物語
Telakāni〔比〕テーラカーニ
tela-kumbha 油瓶
tela-doṇi 油槽，油桶
tela-dhārā 油河
tela-nāḷi 油筒
Telapakka〔瀑布〕テーラパッカ
tela-patta 油鉢，油瓶
Telapatta-jātaka テーラパッタ・ヂャータカ，油鉢本生物語 J 96
tela-padīpa, telappadīpa 油燈，胡麻油燈，胡麻油の燈火，燈
telamakkhana-palibodha 塗油障礙
Telamakkhiya〔比丘の譬喩經〕テーラマッキヤ Ap 3 262
tela-yanta 油締機，製油機
tela-vaṇṇa〔sukka〕油色精
Telavāhā〔河〕テーラヴーハ
tela-homa 油の護摩
Telovāda-jātaka テーローヴーダ・ヂャータカ，油教訓本生物語 J 246
tevācika 三語，三歸依を唱へたる
tevācikā pavāraṇā 三說自恣
tevijja 三明者，三明〔者〕，三明通，三明に通ぜる，三明あり，三吠陀學者，三吠陀に通じ
tevijjaka 三吠陀に關する
tevijja-chaḷabhiññā 三明六通〔者〕
tevijjatā 三明〔性〕
tevijja-brāhmaṇa 三明婆羅門，三明の婆羅門
Tevijja-vacchagotta-suttanta テーヴィッヂャ・ヴッチャゴーッタ・スッタンタ，婆蹉衢多三明經 M **71**
Tevijja-sutta テーヴィッヂャ・スッタ，三明經 D **13**
te-vijjā 三明，三種の明〔宿命，天眼，漏盡〕
Tesakuṇa-jātaka テーサクナ・ヂャータカ，三鳥本生物語 J 521
te-sattati ñāṇāni 七十三智
Toṇḍamāna〔堡壘〕トンダマーナ
Toṇḍi〔地名〕トンディ
Toṇḍipāsa〔地名〕トンディパーサ
Todeyya ①〔婆〕トーデーヤ，トーデーッヤ，都提，堵提氏，刀提耶，忉提耶，兜泥耶 ②〔婆和利の弟子，婆，比〕トーデーヤ，刀提耶〔譬喩經〕Ap **3** 405 ③〔村〕トーデイヤ，都提
Todeyya-pañhā＝Todeyyamāṇava-pucchā〔經〕刀提耶所問
Todeyyaputta＝Subhamāṇava〔婆，塞〕都提の子
Todeyyamāṇavakapañhā-niddesa 刀提耶學童所問の義釋 CNd 10
Todeyya-māṇava-pucchā＝Todeyya-pañhā 刀提耶學童所問 Sn **5** 10
Tondamānā〔raya〕〔ダミラ人〕トンダマーナ〔ーラヤ〕
Tondriya〔ダミラ人〕トンドゥリヤ
Tobbalānāga-pabbata＝Nāgapabbata〔精舍〕トッバラーナーガ山
tomara 槍
Tompiya〔ダミラ人〕トンピヤ
Toya〔池〕トーヤ
toraṇa 樓門，城門，砦
Toraṇa-vatthu〔地名〕トーラナヴットゥ
Tosalī (A)〔市〕トーサリー
traidasa-vāsābhisita (A), tedasa-vasābhisita (A), todaśa-vaṣabhisita (A), treḍaśa-vaṣabhisita (A) 灌頂十三年

thaṇḍila-sāyika～thaṇḍila-seyyaka 地上の横臥，露地臥
thaṇḍila-seyyaka～thaṇḍila-sāyika 地臥者，臥地者
thaddha 頑強，强情，頑迷，頑迷者，片意地，傲岸，傲頑，傲强，傲慢
thaddha-bhāva 堅性
thaddha-lakkhaṇa 堅固相＝地界
thana 乳房
Thapatayo〔經〕大工 S 55 6
thapati 大工，工匠，建築師
thambha ①傲，傲慢，强情，剛情，頑迷 ②柱
Thambha〔章〕傲 A 8〔10〕12
Thambhāropaka 〔比丘の譬喩經〕タンバーローパカ Ap 3 142
thambhitatta 動性
thambhin 慢〔者〕，强情者
tharu 劍，劔
tharu-sippa 劍術
thala 陸，陸地，乾地，高地，彼岸*
thala-ja 陸生
thalaja satta 陸生の有情
thalaṭṭha 地上物
thala-niyāmaka 陸の案內者
thale tiṭṭhati 陸に住する
thavikā 袋，嚢，財布，錢嚢
thāma 力，勢力，剛毅，確立
thāma-dhātu 勢界
thāma-mahatta 體力の偉大
thāmasā parāmāso 執拗なる妄取
thālikā 鍋
thālipāka 祭食，祭祀の飯食，祝宴，上饌，鉢供，乳粥
thāvara 定立者，定者，動かざるもの（阿羅漢）
thīna 惛沒，昏沈
thīna-middha 昏眠，惛眠，惛沈睡眠，惛沈と睡眠，昏沈睡眠，愚鈍*，睡眠*
thīna-middha-nīvaraṇa 惛沈睡眠蓋，昏沈睡眠蓋，惛眠蓋〔五蓋の一〕
thulla-kacchā 疥，疥癬，大疥病
thulla-kumārikā，thulla-kumārī＝thūlakumārī 年長童女，處女，長じたる處女，適年の童女，淫女*
thulla-kumārī-gocara 適年の童女に親近
Thullakoṭṭhita〔村〕トゥッラコッティタ，鍮蘆吒
thullaccaya〔罪名〕トゥラッチャヤ，トッラッチャヤ，偸蘭遮，偸蘭若
thullaccaya-ajjhāpanna 偸蘭遮犯戒者
thullaccayāpattikkhandha 偸蘭遮罪聚
Thullatissā〔尼〕トゥッラティッサー，偸羅低舍
Thullanandā〔尼〕トゥッラナンダー，偸羅難陀，偸蘭難陀
thulla-phusitaka 密雲，雨
thullaphusitaka deva 雨天
thusa 稃，籾，殼，穀皮
thusaggi 穀皮火
Thusa-jātaka トゥサ・ヂャータカ，稃本生物語 J 338
thusa-piṇḍa 稃團
Thusavaṭṭhika〔村〕トゥサヷッティカ
Thusavāpī〔池〕トゥサヷーピー
thusa-homa 殼の護摩
thusodaka 酸粥，粥汁，麸酒*
thūṇa 柱，祭壇の柱
Thūṇa〔婆羅門村〕トゥーナ，ツゥーナ
thūpa 塔，塔婆，佛塔，墓
thūpa-cīvara 塔衣
thūpa-pūjā 佛塔供養，塔婆の供養
Thūpaviṭṭhī〔精舍〕トゥーパギッティー
Thūpasikha〔傳∘轉輪王〕トゥーパシカ
thūpārahat 塔を建つるに價する〔四人；如來，辟支佛，聲聞，輪王〕
Thūpārāma〔精舍〕トゥーパーラーマ，塔波園，塔園
thūla-kumārī＝thulla-kumārī 長じたる處女，年長童女，適年の童女，淫女*
Thūlathana〔王〕トゥーラタナ
thūla-vajja 麤重の過
theta 正直
thena 竊盜，盜心

theyya 盗心
theyya-paribhoga 盗取受用
theyya-saṁvāsaka 賊住者
theyyasaṁvāsaka titthiya 賊住外道
theyya-saṅkhāta 偸盗
theyya-sattha 盗賊隊
theyyasatthaka 賊隊戒
theyyasattha-samuṭṭhāna 賊隊等起
thera 長老，上座，長老比丘，上臘
Thera ①〔比〕長老 ②〔經〕長老 A **10** 98
thera-karaṇa-dhamma 上座を作る法〔四種〕
theraka vattha 麁布
Thera-gāthā テーラ・ガーター，長老偈經〔小部經の一〕Khuddaka 8 vv 1〜1279
Theranāmo〔經〕長老と名づくる S **21** 10
therapariveṇa〔職〕テーラパリヹーナ，精舎長老
Theraputtābhaya〔戰士, 比〕テーラプッタ〔アバヤ〕
thera bhikkhu 長老比丘
Therambatthala, Therambatthalaka〔精舎〕テーランバッタラ，テーランバッタラカ
Thera-vagga 長老品 S 22 83〜92；A 5 81〜90；**10** 81〜90
thera-vāda 長老説，上座部，上座説
Theravāda〔部派〕上座部，上座説，長老説
Theravādin 上座部，長老部
Therassa tikkhapaṭiññāya pañho 長老の嚴重なる約束につきての問 Mil 2〔1〕3
Therānāṁbandhamālaka〔地名〕テーラーナーンバンダマーラカ
Therāpadāna〔經〕長老の譬喩 Ap 3 1〜547
therikā 長老尼
Theriya=Theravāda 上座〔部〕
Therī-Apadāna 長老尼の譬喩 Ap 4 1〜40
Therī-gāthā テーリーガーター，長老尼偈經〔小部經の一〕Khuddaka 9 vv 1〜522
Thomadāyaka〔比丘の譬喩經〕トーマダーヤカ Ap 3 251
Thomadāyaka-vagga トーマダーヤカ品 Ap 3 251〜260

daṁḍa-samatā (A) 處罰に於ける公平
daṁsa 虻
Dakapāsāṇa〔園〕ダカパーサーナ
daka-rakkha 水魔，水羅刹
Dakarakkha-pañha=Dakarakkhasa-jātaka 水魔問〔答〕
Dakarakkhasa-jātaka ダカラッカサ・ヂャータカ，水羅刹本生物語 J 517
dakavaṇṇa〔sukka〕水色精
Dakasāṭika〔塔廟〕ダカサーティカ，洗浴衣
Dakkhiṇa=Dakkhiṇārāma, Dakkhiṇamūla〔精舍〕ダッキナ，南寺
dakkhiṇa janapada 南國
dakkhiṇa-jānumaṇḍala 右膝輪
dakkhiṇa-passa 右脇
Dakkhiṇamūla=Dakkhiṇa〔精舍〕ダッキナムーラ
Dakkhiṇayava-majjhaka 南麦中村
Dakkhiṇavihāraka ダッキナ精舍家
dakkhiṇa-sara 南海
dakkhiṇā 施，施物，供物，供養，供養物
Dakkhiṇā〔水門〕ダッキナー
Dakkhiṇāgiri〔地名〕ダッキナーギリ，南山，特欐那〔祇〕梨，南天竺*
Dakkhiṇāgiri〔daḷha〕〔精舍〕ダッキナーギリ〔ダルハ〕，南山
dakkhiṇā disā ācariyā 南方は師匠
Dakkhiṇāpatha〔地名〕ダッキナーパタ，南路
dakkhiṇāya phalaṁ 布施の果
Dakkhiṇārāma=Dakkhiṇa〔精舍〕ダッキナーラーマ
Dakkhiṇāvibhaṅga-sutta ダッキナーギバンガ・スッタ，施分別經 M 142
dakkhiṇā-visuddhi 施淨，施清淨〔四種〕
Dakkhiṇā visuddhi-kathā 供物淨化論 KV 17 11
dakkhiṇeyya 應施者，應施，應供施，應供者，應供養者，受施者，惠施，供養すべきもの，被供養者，奉施せらるべき
dakkhiṇeyyaggi 應施火，惠施火
dakkhiṇeyya puggala 應供人
dakkheyya=viriya 精進
Daṭṭhabba〔經〕應觀 S 48 8
Daṭṭhabbena〔經〕當見 S 36 5
daṇḍa 杖，笞，棒，欄，刀杖，罰，杖罰，刑罰，罰杖，笞杖，科料，害心*
daṇḍaka 手杖，簳
Daṇḍaka〔山，森〕ダンダカ，檀特
daṇḍa-kathālikā 柄杓
Daṇḍakappaka〔村〕ダンダカッパカ
daṇḍakamma-vatthu 罰事 V 2 a 1, 57～58
Daṇḍaka-hiraññа〔山〕檀特金
Daṇḍakī〔王〕ダンダキー
Daṇḍadāyaka〔比丘の譬喩經〕ダンダダーヤカ Ap 3 352, 523
daṇḍanātha=daṇḍanāyaka, daṇḍādhināyaka〔官職〕ダンダナータ
daṇḍanāyaka=daṇḍanātha〔官職〕ダンダナーヤカ
Daṇḍapāṇi〔釋氏〕ダンダパーニ，ダンダパーニー，執杖者
daṇḍa-bhaya 刑罰の怖畏，刑罰畏，刀杖の怖畏
daṇḍa-māṇavaka 杖少年
daṇḍa-yuddha 杖闘，棒撃
daṇḍarājin 筏
Daṇḍa-vagga 刀杖品 Dhp 10 vv 129～145
daṇḍa-sattha 刀杖
Daṇḍasena〔傳◦轉輪王〕ダンダセーナ
daṇḍādāna 執杖，刑罰
daṇḍādhināyaka=daṇḍanātha, daṇḍanāyaka〔官職〕ダンダーディナーヤカ
Daṇḍissara〔布施〕ダンディッサラ
Daṇḍo〔經〕杖 S 15 9; 56 33
datta 愚人
Datta ①=Mantidatta〔長老比丘〕ダッタ ②〔王〕③〔門衛〕④=Bhūridatta〔龍王〕
Dattā〔尼〕ダッター
Dattābhaya〔比〕ダッターバヤ，施無畏
dadato malaṁ 施者の垢穢
dadant 施者
daddabha〔音〕ダッダバ
Daddabha-jātaka ダッダバ・ヂャータカ，墮墮

音本生物語 J 322
Daddara ①〔山〕ダッダラ，達陀羅 ②〔龍王〕ダッダラ
Daddara-jātaka ① ダッダラ・ヂャータカ，ダッダラ山本生物語 J 172 ② ダッダラ・ヂャータカ，ダッダラ龍本生物語 J 304
Daddara-pura ダッダラ城
Daddalla-vimāna 光輝天宮 Vv 34
daddu 輪癬，癘
daddula〔米〕ダッドゥラ，頭々羅
dadhi 酪，凝乳
dadhi-thālaka 酪器
dadhi-maṇḍaka 生酥
Dadhimāla〔海〕ダディマーラ，酪鬘
Dadhimukha〔夜叉〕ダディムカ
dadhivaṇṇa〔sukka〕酪色精
Dadhivāhana〔王〕ダディヴーハナ
Dadhivāhana-jātaka ダディヴーハナ・ヂャータカ，凝乳運搬王本生物語 J 186
danta ① 調御者，調順者，調御せられたる者 ② 齒，牙，象牙〔三十二身分の一〕
danta-kaṭṭha 楊枝，楊子
danta-kāra 象牙師，象牙工，象牙細工人
Danta-geha 齒院
dantaṭṭhi 齒骨
dantaṭṭhike nimittaṁ 齒骨の相
Dantapura〔カリンガの都〕ダンタプラ，榛多布囉
danta-poṇa 楊枝，楊子
danta-bhūmi 調御地，調御所，調御の地位
Dantabhūmi-sutta ダンタブーミ・スッタ，調御地經 M 125
danta-maṁsa 齒齦
danta-maya 牙製
danta-maraṇa 調御の死
danta-roga 齒病
Dantika〔地名〕ダンティカ
Dantikā〔尼〕ダンティカー，憚多
dandhatta 愚鈍
dandha-diṭṭhi 見癡
Dappula ①〔一世王〕ダップラ ②〔二世王〕③〔三世王〕④〔四世王〕⑤〔五世王〕⑥〔マヒンダ二世の從兄弟〕
Dappula-pabbata〔住院〕ダップラ山
dabba〔草〕ダッバ，突婆
Dabba=Dabba-mallaputta〔比〕ダッバ，沓婆，陀驃
Dabba-Malla〔比丘の譬喩經〕陀驃摩羅 Ap 3 531
Dabba-Mallaputta=Dabba〔比，敷牀座第一〕ダッバマッラプッタ，沓婆摩羅子，摩羅子陀驃，陀驃摩羅子
Dabbasena〔王〕ダッバセーナ
dabbi-gāha 杓子の持者
Dabbila〔辟〕ダッビラ
dabbi-homa 匙の獻供，杓子の護摩
dabbī 匙，食匙
dabbha ダッバ，吉祥草
Dabbhapuppha-jātaka ダッバプッパ・ヂャータカ，ダッバ草花本生物語 J 400
dama 調御，調順，調伏，自制，自調
damaka 殘食行者
damatha 調伏，調御者
Damatha〔傳◦轉輪王〕ダマタ，調伏
damatha-samatha 調伏寂靜
Damana〔龍王〕ダマナ，陀摩那
damā paṭipadā 調伏行〔四行の一〕
Damiḷa ①〔國，族〕ダミラ，陀眉羅，ドラギダ ②〔塔〕ダミラ
Damiḷadevī〔王妃〕陀眉羅デーギー、ダミラー妃
damiḷādhikāri〔官職〕ダミラーディカーリ
damupasama 忍辱
damma 調御せらるべき
dayā 慈愍，慈悲心
Dara-aga〔地名〕ダラアガ
daratha 不安，患惱
Darīmukha〔司祭の子〕ダリームカ
Darīmukha-jātaka ダリームカ・ヂャータカ，ダリームカ辟支佛本生物語 J 378
dalidda 貧窮，貧困，貧者
Dalidda ①〔經〕貧人 S 11 14 ②〔經〕貧窮

S 46 46
dalidda kammakāra 賤傭人
Dalla=Moggallāna Ⅲ〔王〕ダッラ
Daḷha〔精舍〕ダルハ
Daḷhadhamma〔王〕ダルハダンマ，堅法
Daḷhadhamma-jātaka ダルハダンマ・ヂャータカ，堅法本生物語 J 409
daḷhadhamma-dassin 堅固法の見者，堅固の法を見
daḷhadhamma-dhanu 强木の弓
Daḷhadhamma-suttanta～Daḷhadhamma-jātaka ダルハダンマ・スッタンタ
Daḷhanemi〔王〕ダルハネーミ，堅固念，堅輻
Daḷha-vagga 剛强品 J 151～160
Daḷhika〔比〕ダルヒカ
dava 戲笑，戲樂，嬉戲
davaḍaha 林火
davaḍāhaka 炭燒夫
dasa akusala-kammapathā 十不善業道
dasa akkosa-vatthūni 十怒罵事，十種の罵事
dasa aṅgāni 十支〔良馬具足〕
dasa attha-vasā 十利〔制戒の〕
dasa anussatiyo 十隨念
dasa antarāyā 十障礙〔王，賊，火，水，人，非人，猛獸，蛇，命，梵行〕
dasa ariya-vāsā 十聖居
dasa asaddhammā 十邪法
dasa asubhā 十不淨〔觀法〕
dasa asekha-balāni 十無學力
dasa asekhā dhammā 十無學法，十正道〔無學の八正道及び正智，正解脫〕
dasa ākārā 十行相〔空觀〕
dasa ādīnavā 十過失〔入王宮〕
dasa ānisaṁsā 十功德〔身念の〕
dasa itthiyo 十種の女人
dasa iddhi-balāni 十神通力＝十神變
dasa iddhiyo 十神變＝十神通力〔決意，變化，意所成，智遍滿，定遍滿，聖，業報生，具福，呪術所成，彼彼處正加行緣成〕
dasa upakkilesā 十隨煩惱
dasa upadhī 十依〔愛，見，煩惱，業，惡行，食，瞋恚，四取界，六內處，六識身〕
dasa upāsaka-guṇā 優婆塞の十德
dasaka 十法 V 3 6 (10)
dasa kaṇṭakā 十刺
dasa kathā-vatthūni 十論事
Dasa-kammapathā〔經〕十業道 S **14** 27
dasa kasiṇa-samāpattiyo 十遍定＝十遍，十遍處
dasa kksiṇāni 十遍＝十遍處，十遍定
dasa kasiṇāyatanāni 十遍處＝十遍，十遍定〔地，水，火，風，靑，黃，赤，白，空，識〕
dasa kāma-bhogī 十行欲人
dasa kāyānugatā dhammā 十隨身法
dasa kilesa-vatthūni 十煩惱事，十染事，十害心事＝十煩惱〔貪，瞋，癡，慢，見，疑，惛沈，掉擧，無慚，無愧〕
dasa kilesā 十煩惱＝十煩惱事
dasa kusala-kammapathā 十善業道
dasa kusala-dhammā 十善の法
dasa kusalāni 十善
dasa khīṇāsava-balāni 十漏盡力
dasa guṇā 十德
dasa gotrabhū-dhammā 十種姓法
Dasaṅga〔經〕十支 S **14** 29
dasaṅga-sīla 十支戒
dasacchinna 絛破〔布〕
dasa ñāṇāni 十智
Dasaṇṇa〔國〕ダサンナ
Dasaṇṇaka-jātaka ダサンナカ・ヂャータカ，ダサンナ國製劍本生物語 J 401
dasa tathāgata-balāni 十如來力，如來十力
dasadhamma-kalāpa 十法聚
dasa-dhammā 十法
Dasa-dhammā〔經〕十法 A **10** 210
dasadhā-manasikāra-kosalla 十種の作意善巧
dasadhā varā 十種の願，十の願望
dasa nātha-karaṇā dhammā 十救護事法，十依因法
dasa nijjarā-vatthūni 十盡事，十滅事，十邪の滅＝十無學法
dasa niddhamanā dhammā 十消法，十邪と十正

Dasa-nipāta ① 十集 A **10** 1〜219 ② 十偈集〔長老偈經〕Thag 527〜596 ③ 第十篇〔本生經〕J 439〜454
dasa-pada 十條聲碁，十目碁
dasa palibodhā 十障礙
dasa pasādaniyā dhammā 十可喜法
dasa pāpakāni 十惡
dasa pāramiyo 十波羅蜜
dasa pāsaṁsāni ṭhānāni 十應稱讃處
dasa puggalā 十補特伽羅
dasa bandhanāni 十縛〔出離の〕
Dasa-bala 十力者，十力尊
dasabala-dhara=dasabala-dhārin 十力の持者
dasabala-dhārin=dasabala-dhara 持十力者，十力の保持者
Dasabala-vagga 十力品 S **12** 21〜30
Dasabalā〔經〕十力 S **12** 21, 22
dasa balāni 十力
Dasabrāhmaṇa-jātaka ダサブラーフマナ・ヂャータカ，十婆羅門本生物語 J 495
dasa bhariyāyo 十種の婦
dasabhi upeto 十具足=十無學法
Dasama ①〔居士〕ダサマ，第十 ②〜Aṭṭhakanāgara-suttanta〔經〕第十 A **11** 17
dasama-saṁghabheda-saṁghādisesa 第十破僧僧殘
dasama-saṁghādisesa 第十僧殘=第一破僧戒
dasa micchattā 十邪，邪性
Dasaratha〔王〕ダサラタ，十車
Dasaratha-jātaka ダサラタ・ヂャータカ，十車王本生物語 J 461
Dasarājaka 十王章 Mv 33
dasa rāja-dhammā 十王法，十の王法
dasa-lakkhaṇa-sampanna 十相具足，十相成就
Daṣalatha(A)=Dasaratha〔王，阿育の孫〕十車
dasa lesā 十種の類似
dasavagga-karaṇa 十衆可作
dasavagga-bhikkhusaṁgha 十比丘僧伽〔五種僧伽の一〕
dasa vaḍḍhī 十增長
dasa-vatthukā antaggāhikā diṭṭhi 十事ある邊見，十事邊見，十事邊執見
dasa-vatthukā micchā-diṭṭhi 十事ある邪見，十事邪見
dasa-vatthukā sammā-diṭṭhi 十事の正見
dasa vatthūni 十事〔第二結集の非法〕
dasa varā 十の願望，十種の願
dasa-varsābhisita(A), dasa-vasābhisita(A), daśavaṣabhisita(A) 灌頂十年
dasa-vāsā 十居
dasavidha-appanā-kosalla 十種の安止善巧
dasa-vidhena rūpakkhandho 十種色蘊
dasa-vidhena rūpa-saṅgaho 十種色聚
dasa vipassanā-ñāṇāni 十觀智
dasa vipassanupakkilesā 十の觀の隨煩惱，十の觀隨染
dasa vivāda-mūlāni 十諍根
dasa vyasanāni 十難〔誹謗の報〕
dasa saṁghādisesā 十僧殘
dasa saṁyojanāni ① 十結〔經所說；五上分結と五下分結；有身見，疑，戒禁取，欲貪，瞋恚，色貪，無色貪，慢，掉擧，無明〕②十結〔論所說：欲貪，瞋恚，慢，見，疑，戒禁取，有貪，嫉，慳，無明〕
dasa saññā ① 十想〔無常，無我，不淨，過患，斷，離貪，滅盡，一切世間不可樂，無常，安般〕②十想〔無常，無我，死，食厭，一切世間不可樂，骨，蟲噉，青瘀，穿孔，膖脹〕③十想〔不淨，死，食厭，一切世間不可樂，無常，無常苦，苦無我，斷，離貪，滅盡〕
dasa saññā-bhāvanā 十想修習
dasa saddā 十種の聲
dasasahassī-lokadhātu 十千世界，大千世界
Dasa-sikkhāpada 十戒文 Khp 2
dasa sikkhāpadāni 沙彌の十學處
dasa sīlāni 十戒
dasa sekha-balāni 十有學力
dasahi dhammehi samannāgato 十法成就〔の沙門〕
dasā 緣，袖
das' āyatanāni 十處
Dasāraha〔人〕ダサーラハ，陀舍羅訶
dasika-sutta 末織の絲

dasuttara 十上法
Dasuttara-suttanta ダスッタラ・スッタンタ，十上法 D 34
dassana 見，正見
Dassanattika 見三法 Tika 8
dassanattika-kusalattika 見三法善三法 Tika-tika 28
dassanattika-saraṇaduka 見三法有諍二法 Tika-duka 80
dassanattika-hetuduka 見三法因二法 Tika-duka 8
Dassana-duka 見二法 Duka 83
dassana-bhūmi 見地〔慧〕
dassana-visuddhi-ñāṇa 見清淨の智
dassana-saṁsagga 見交
dassana-sacchikiriyā 見作證
dassana-samāpatti 見定〔四種〕
dassana-suvisuddha 見清淨
dassanādhipateyya 見增上
dassanānuttariya 見無上
dassanena pahātabba 見所斷
dassanena-pahātabba-duka 見所斷二法
dassanenapahātabbaduka-kusalattika 見所斷二法善三法 Duka-tika 92
dassanena pahātabba dhamma 見所斷法
dassanena pahātabbahetuka 見所斷因
dassanena-pahātabba-hetuka dhamma 見所斷因法
Dassanena pahātabba hetuttika 見所斷因三法 Tika 9
dassanenapahātabbahetuttika-kusalattika 見所斷因三法善三法 Tika-tika 29
dassanenapahātabbahetuttika-saraṇaduka 見所斷因三法有諍二法 Tika-duka 81
dassanenapahātabbahetuttika-hetuduka 見所斷因三法因二法 Tika-duka 9
Dassanena-pahātabbahetu-duka 見所斷因二法 Duka 85
dassanenapahātabbahetuduka-kusalattika 見所斷因二法善三法 Duka-tika 94
Dassamālinī〔園〕ダッサマーリニー
dahati=ḍahati 荼毘に附す
Dahara〔經〕幼少 S 3 1
dahara-kumāra 幼孩兒
dahara yuva 盛年期
Dāṭhaggabodhi〔住院〕ダータッガボーディ
dāṭhā 牙齒
Dāṭhā〔王女〕ダーター
Dāṭhākoṇḍañña〔精舍〕ダーターコーンダンニャ
dāṭhā-dhātu 齒舍利
Dāṭhādhātu-ghara 齒舍利堂
dāṭhādhātu-cāritta 齒舍利行事
Dāṭhādhātupāṭihāriyadassana〔章〕齒舍利尊神變示現 Cv 82
dāṭhādhātu-pūjā 齒舍利供養
Dāṭhādhātu-vaṁsa〔書〕齒舍利史話
Dāṭhānāga〔比〕ダーターナーガ
Dāṭhānāma〔居士子〕ダーターナーマ
Dāṭhāpabhuti ①〔シラーカーラ王の父〕ダーターパブティ ②〔州知事〕
Dāṭhāpabhuti〔ka〕〔一世王〕ダーターパブティ〔カ〕
Dāṭhābhāra〔將軍〕ダーターバーラ
Dāṭhāvaḍḍha〔村〕ダーターヴッダ
dāṭhāvudha ダーターヴダ，牙を武器とする者，蛇
Dāṭhāsiva ①〔比〕ダーターシヴ ②〔ナーガサーラ住院比丘〕③〔副王〕④〔ローハナ領主〕
Dāṭhāsiva〔ka〕=Dāṭhopatissa I〔大臣，王〕ダーターシヴ〔カ〕
Dāṭhika=Dāṭhiya〔王〕ダーティカ
dāṭhikā 髯
Dāṭhiya ①=Dāṭhika〔將軍，王〕ダーティヤ ②〔第二世王〕
Dāṭhopatissa ①=Dāṭhāsiva〔一世王〕ダートーパティッサ ②〔二世王〕
dāḍima〔果〕柘榴
dātar 施與者，施者
Dātā〔經〕施者 S 31 3~12
dāna 布施，施，施與，布施行，施物

Dāna〔經〕布施 A 8 31, 32
dāna-kathā 施論，布施の說，施の說，布施の話，施與の說話〔三論の一〕
Dāna-kathā 施論 KV 7 4
dānagga 布施堂
dāna-pati 施主，檀越
dāna-pāramitā 施波羅蜜，布施波羅蜜，布施行〔十波羅蜜の一〕
Dānapāramitā〔章〕施波羅蜜 Cp 1
dāna-phala 布施の果報，施報
dāna-maya 布施所成，施所成
dānamaya puññakiriya-vatthu 施行福業事，施類福業事〔三福業事の一〕
dānamayā paññā 施所成慧，布施所成慧
dānava〔阿修羅，鬼〕ダーナヴ，陀那婆，ダヌの係，魔鬼
Dānava〔姓〕ダーナヴ
Dāna-vagga ① 施品 A 2 13 ② 布施品 A 8 31〜40
dāna-vatthu 布施事〔八種〕
Dānaveghasa〔阿修羅〕ダーナヱーガサ
dāna-saṁvibhāga 施物の頒與
dānasaṁvibhāga-rata 施と頒與とを喜ぶ者
dāna-sālā 布施堂，布施所，慈善堂，救恤院
dānāsā 財施
Dānupakāra〔經〕布施利益 S 29 11〜50; 30 7〜46; 31 13〜112; 32 3〜52
dānuppatti 施生〔八種〕
Dānūpapatti〔經〕布施受生 A 8 35
dānūpapattiyo 布施と受生〔八種〕
dāma 繩
Dāma〔精舍〕ダーマ
Dāmagallaka〔精舍〕ダーマガッラカ
Dāmali ①〔天子〕ダーマリ，陀摩利 ②〔經〕陀摩利 S 2 5
Dāmā〔毘沙浮佛の第一比丘尼〕ダーマー，調伏
dāya 園，森
dāyaka 施者，施主，施與者
Dāyagāma〔精舍〕ダーヤガーマ
dāyajja 遺產，家督，餘財
dāyajja-paribhoga 嗣受受用
dāyajja-bhāṇavāra 餘財誦品
Dāyapassa〔王園〕ダーヤパッサ
dāya-pāla 林の守護者，守林人
dāyāda 相續者，相續人，後繼者，嗣續者，遺產相續者，後嗣，嫡子，法嗣
dāyādaka 嗣子
dāraka 子供，幼兒
dāraka-tikicchā 小兒治療
dāru 木，材，鑽木
dāruka 木材
dāru-kamma 大工職
dāru-kammika 材木商
Dārukassapa〔王〕ダールカッサパ
dāru-kuṭikā 木屋
dāru-kuḍḍa 木墻
dārukkhandha 木聚，木塊
Dārukkhandha〔經〕木塊 S 35 200, 201
dārugahe gaṇako 守材人
dāru-caya 木積
dāru-dhītalikā 木女像
Dāruno〔經〕恐ろし S 17 1
dāru-patta 木鉢
Dārupattika〔人〕ダールパッティカ
dāru-pākāra 木墻，木籬
dāru-pādukā 木履
dāru-bhaṇḍa 木具，木物
dāru-māsaka 木錢
dāru-yanta 機關〔人形〕
dāru-vāraka 木瓶
dāru-santhāra 木床
dāru-sopāna 木段
Dārūru〔村〕ダールール
dāresu sotthānaṁ 妻女の中に於ける吉祥
dālika-laṭṭhi〔樹〕柘榴
dāliddiya 貧窮
dāsa 僕，奴僕，下男，奴隷，奴婢*
Dāsaka ①〔比〕ダーサカ，陀娑，駄索迦 ②〔相承比丘〕ダーサカ，駄索迦，大象狗，駄寫拘
dāsaka-putta 奴隷出身者，奴僕子
dāsa-kammakara 奴僕，奴僕傭人
dāsa-kammakara-porisa 奴僕使丁，奴僕

dāsavya 奴隷の境遇，僕
Dāsikā=Dāsiyā〔尼〕ダーシカー
dāsi-bhoga 婢事
dāsima〔植〕ダーシマ
Dāsiyā=Dāsikā〔尼〕ダーシヤー
dāsī 婢，下婢，女中，賤女，侍女，奴婢，婢取婦
Dāsī ①〔尼〕ダーシー ②〔經〕婢 S 56 87
dāsī-dāsa 奴婢
dāsī bhariyā 婢なる妻，婢女夫人
Dāsī-vimāna 下婢天宮 Vv 18
diṅgulaka〔穀物〕ディングラカ
dija 二生，二生者，再生，再生者，再生族(婆羅門)，鳥
diṭṭha 見，所見
diṭṭhajjhosana 見著
diṭṭha-dhamma 現法，現世，見られたる法
diṭṭhadhamma-nibbāna 現法涅槃
Diṭṭhadhamma-nibbāna〔經〕現法涅槃 A 9 51
diṭṭhadhammanibbānappatta bhikkhu 現法涅槃に達せる比丘
diṭṭhadhamma-nibbāna-vāda 現法涅槃論，現法涅槃說者，現在涅槃論〔五種〕
diṭṭhadhamma vajja 現世の罪
diṭṭhadhamma-vedanīya 現法所受，現法受，順現受
diṭṭhadhammavedanīya kamma 順現法受業，現法受業，現法受の業
diṭṭhadhamma-sukhavihāra 現法樂住，現見の法樂に住す，現法に樂に住す，現世安樂生活
diṭṭhadhamma-sukhavihārin 現法樂住者，現法樂住せる者
diṭṭhadhamma-hitattha 現法中の利
diṭṭhadhammika 現法の
diṭṭhadhammika attha 現法の利，現世の利
diṭṭhadhammika ānisaṁsa 現世の功德
diṭṭhadhammika bhaya 現世の怖畏
diṭṭhadhammupakkama 現法の行動
diṭṭha-dhamme aññā 現法に於ける智，現法に於ける究竟智，現法に於て開悟す，現世に於ける完全智
diṭṭhadhamme arahā 現法阿羅漢
diṭṭhabhinivesa 見現貪
Diṭṭhamaṅgalikā〔長者女〕ディッタマンガリカー
diṭṭhānugati 見趣，見隨，成見
diṭṭhānusaya 見隨眠〔七隨眠の一〕
Diṭṭhāvikamma-vagga 異見提示品 V 3 15, 4
diṭṭhāsava 見漏
diṭṭhi 見，見解，意見，異見，所見，正見
Diṭṭhi〔經〕見 S 45 53, 60, 67, 74, 81, 88；A 10 93
diṭṭhi ujukā 見の正直
diṭṭhi-ogha 見瀑流，見流〔四瀑流の一〕
Diṭṭhi-kathā 見論 Pṭs 1 2
diṭṭhi-kantāra 見の難道
diṭṭhi-kappa 見分別，見計度
diṭṭhigata 惡見，成見，謬見
diṭṭhigata-vippayutta 惡見不相應，成見不相應
diṭṭhigatavippayutta-lobhasahagata 成見不相應貪俱行，惡見不相應貪俱
diṭṭhigatavippayutta-lobhasahagata-citta 成見不相應貪俱行心，惡見不相應貪俱心
diṭṭhigata-sampayutta 惡見相應，成見相應
diṭṭhigata-sampayutta-citta 成見相應心，惡見相應心
diṭṭhigatasampayutta-lobhasahagata 成見相應貪俱行，惡見相應貪俱
diṭṭhigatika 惡見者，成見者
diṭṭhi-gahana 見の稠林，見の叢林，邪見の密林
diṭṭhi-gāha 見執
diṭṭhi-carita 見行者
diṭṭhi-jāla 見網，邪見の網
Diṭṭhijāla=Brahmajāla-sutta〔經〕見網
diṭṭhiṭṭhāna 見處
diṭṭhi-taṇhā 見愛
diṭṭhin 見者
diṭṭhi-nandi 見喜
diṭṭhinijjhāna-khanti 見審諦忍，見歡受，意見の歡受容認，歡受容認
diṭṭhi-nivesanā～diṭṭhī-nivesa 見執著

diṭṭhi-nissaya 見の依處，見依，見處
diṭṭhi-nissita 見依
diṭṭhi-pakappanā 見遍計
diṭṭhi-paṭilābha 見得
diṭṭhi-paṭivedha 見決擇
diṭṭhi-papañca 見障礙
diṭṭhi-parāmāsa 見取著
diṭṭhi-pariggaha 見遍取
diṭṭhi-pariyuṭṭha 見纒
diṭṭhi-pariḷāha 見惱
diṭṭhi-paḷāsa 頑固の見
diṭṭhi-pipāsa 見渇
diṭṭhi-purekkhāra 見重視
diṭṭhippatta 見至，見至人，見至者，見到，見到者，見得
diṭṭhi-byasana-dukkha〔正〕見を失ふ苦，見缺損苦，見の失壞の苦，見壞苦
diṭṭhi-mamatta 見我執
diṭṭhi-mucchā 見悶
diṭṭhi-yoga 見軛〔四軛の一〕
diṭṭhi-rāga 見貪，見の貪，見の欲
diṭṭhi-lepa 見著
Diṭṭhi-vagga 見品 S 22 149～158
diṭṭhi-vinicchaya 見決定
diṭṭhiviniveṭha-kathā 邪見離脱論議＝經藏
diṭṭhi-vipatti 見壞，見缺損，見衰耗，見の失壞，壞見，破見
diṭṭhi-vipanna 破見，壞見，見壞
diṭṭhi-vipariyesa 見顚倒
diṭṭhi-vipallāsa～diṭṭhi-vipariyesa 見顚倒
diṭṭhi-vipphandita 見の悶亂，見の紛爭
diṭṭhi-visuddhi 見淸淨，淨見
diṭṭhi-visuddhi ca yathādiṭṭhissa ca padhānaṁ 見淸淨と如見精進，見淸淨と見に依る精勤
Diṭṭhivisuddhi-niddesa 見淸淨の解釋 VM 18
diṭṭhi-visuddhi pārisuddhi-padhāniyaṅga 見淸淨淸淨勤支〔九淸淨勤支の一〕
diṭṭhi-visūka 見の悶躁，見の亂鬪
diṭṭhi-vyasana＝diṭṭhi-byasana 見損失，見損減，見の不幸，見の喪失〔五損失の一〕
Diṭṭhi-saṁyutta ディッティ・サンユッタ，見相應 S 24 1～96
diṭṭhi-saṁyojana 見結，見の結縛
diṭṭhi-saṅkilesa〔惡〕見雜染
diṭṭhi-saññā 見想
diṭṭhi-sampadā 見圓足，見の圓足，見具足，見成就，具見
diṭṭhi-sampanna 見具足者，見具足人，見具足，見圓滿，具見者，具見人，正見を具へたる
diṭṭhisampanna puggala 見具足の人，正見を具へたる人
diṭṭhi-salla 見箭
diṭṭhi-sāmañña 見相應，見性
diṭṭhi-sneha 見親，見親愛
diṭṭhī-nivesa～diṭṭhi-nivesanā 見住著
diṭṭhūpaya 見近著
diṭṭhūpādāna 見取〔四取の一〕
diṭṭhogha＝diṭṭhi-ogha 見流，見瀑流
ditta 傲慢
Diddhaṁ〔經〕毒を含める S 17 7
diddha salla 毒を含める刺
dindibha〔鳥〕ディンディバ
dindima～tindima, deṇḍima 小鼓，鑼鼓，罐鼓，銅鑼，鐃鈸，手鼓
Dinna＝Sabbadinna〔人〕ディンナ
dipada 二足，二足者，兩足，人間
Dipadādhipati〔傳◦轉輪王〕ディパダーディパティ
dipadānaṁ aggo 兩足中の最勝者
dipādaka 二足，二足者
dibba-āyu 天壽
dibba āsana 天の坐
dibba uccāsayana mahāsayana 天の高床大床
dibba-ojā 天食
dibba-gandha 天香
dibba-gabbha 生天の行
dibba-cakkhu 天眼，天眼通＝有情死生智，死生通
dibbacakkhuka 天眼者，具天眼，天眼あるもの
Dibbacakkhuka〔苦行者〕ディッバチャックカ，天眼
Dibbacakkhu-kathā 天眼論 KV 3 7

dibbacakkhu-ñāṇa 天眼智
dibba ṭhāna 天界
dibba-nayana 天眼
dibba-patha 天の路
dibba-pāna 神酒
dibba-bhava 天界
dibba-bhavana 天宮
dibba-manta 魔法の呪文
dibba-māyā 天の幻術
dibba-yāna～deva-yāna 天車，天乘
dibba-yoga 天の軛，天上の束縛
dibba-vihāra 天住，天の住〔三住の一〕
dibba-sampatti 天成就
dibba-sota 天耳
Dibbasota-kathā 天耳論 KV 3 8
dibba-sotadhātu＝dibbā sotadhātu 天耳界，天的耳界，天耳，天耳通
dibba-sotadhātu-ñāṇa 天耳界智
dibbā sotadhātu＝dibba-sotadhātu 天耳界，天的耳界，天耳，天耳通
dibbosadha 天の藥
diyaḍḍha-sikkhāpada-sata 百五十學處，百五十餘の學處
divasa 晝，日時
divasa-bhāga 日分
Divācandantabāṭava〔地名〕ディヷーチャンダンタバータヷ
divā-vihāra 日中の安息，日中の止住，日中止住，日中休息，日中の休息，晝住，晝日住，日住，晝日坐，晝の休息，晝の憩，午後の休息
divā-saññā 晝想，晝日想，日想
divā-supita 晝眠る者
divā-seyya 日中の休息，午睡
diviya magga 天道
diviya-sukha 天樂
divilla〔太鼓〕ディギッラ
Disampati〔王〕域主
disā ① 方位，四方 ② 敵
Disā〔婢〕ディサー，方面
disā-kāka 方角を知らせる鴉，案內鴉
disā-ḍāha 天火
disā-pharaṇa〔十〕方遍滿
disābhāga 方角
disāmukho bhuñjati 口を四方に向けて食す
disā-vata 方務
disā-vatika 方務者
Dīghå ①〔相承比丘〕ディーガ ②〔夜叉〕
dīgha-aṅgulin 指長し〔三十二相の一〕
Dīgha-aṭṭhika-pañho 長き骨の問 Mil 2〔7〕12
Dīgha-Kārāyaṇa〔波斯匿王の將軍〕ディーガカーラーヤナ，長作
dīgha-kesa 長髮
Dīghagāmanī＝Gāmanī〔王子〕ディーガガーマニー
Dīghacaṅkama〔寮〕長經行
Dīghacārika-vagga 長遊行品 A 5 221～230
Dīghajantu〔ka〕〔戰士〕ディーガヂャントゥ〔カ〕
dīgha-jātika 爬蟲
Dīghajānu ①〔拘利人〕ディーガヂャーヌ，長膝 ②〔經〕長膝 A 8 54
Dīghatapassin〔尼乾の徒〕ディーガタパッシン，長苦行者
Dīghatālā〔女〕ディーガターラ，長多羅
Dīghati～Dīghīti〔王〕ディーガティ
Dīghathūṇikā〔馬〕ディーガトゥーニカー
Dīghathūpa〔塔〕ディーガトゥーパ，長塔
dīgha-dasa 長袖
dīgha-nakha 長爪
Dīghanakha＝Aggivessana〔婆，比〕長爪
Dīghanakha-suttanta ディーガナカ・スッタンタ，長爪經 M 74
Dīghanāmaka〔相承比丘〕ディガナーマカ，地伽那
Dīgha-nikāya＝Dīghāgama 長部 D **1～34**
Dīghapiṭṭhi〔人〕ディーガピッティ，長背
Dīghabāhukagallaka〔精舍〕ディーガバーフカガッラカ
Dīgha-bhāṇaka 長部誦者，長部〔誦〕師，長〔部經典の〕誦者
Dīghabhāṇaka-Abhaya〔比〕長部師無畏

Dīghamaddhāna-pañho 長時の問 Mil 2〔2〕9
Dīghalaṭṭhi ①〔天子〕ディーガラッティ，提伽羅低 ②〔經〕提伽羅低 S 2 13
Dīghalomi〔經〕長毛 S 17 4
dīghalomika eḷaka 長き毛の羊
Dīghavatthuka〔池〕ディーガワットゥカ
Dīghavāpi ①〔村〕ディーガヴーピ，長池 ②〔精舍，廟〕ディーガヴーヒ
Dīghavāpi-cetiya 長池支提
Dīghasanda〔地名〕ディーガサンダ
Dīghasandaka〔將軍〕ディーガサンダカ
Dīghasandasenāpati-pariveṇa ディーガサンダ將軍寮
Dīghasumana〔相承比丘〕ディーガスマナ，地伽須末那
Dīghāgama=Dīgha-nikāya〔經〕長阿含
Dīghābhaya〔王子〕ディーガーバヤ
Dīghābhayagallaka〔地名〕ディーガーバヤガッラカ
dīghāyu 長壽，長壽者
Dīghāyu ①=Dīghāvu〔王子，王〕ディーガーユ，長壽 ②〔村〕ディーガーユ
dīghāyuka 長壽
dīghāyuka deva 長壽天
Dīghāli〔地名〕ディーガーリ
Dīghālika〔平原〕ディーガーリカ
Dīghāvu ①=Dīghāyu〔王子，王〕ディーガーヴ，長壽，長生 ②〔塞〕長壽 ③=Dīghāyu〔釋種〕ディーガーヴ ④〔經〕長壽 S 55 3
Dīghāvu-bhāṇavāra 長生誦品 V 2 a 10, 1～2
Dīghāsana〔精舍〕ディーガーサナ
Dīghitikosala-jātaka ディーギティコーサラ・ヂャータカ，長災拘薩王本生物語 J 371
Dīghīti～Dīghati〔傳◦王〕ディーギーティ，長壽
dīpa ① 洲，洲渚，島，休息所，庇護所 ② 燈，燈火，燈明
Dīpa ①〔比〕ディーパ ②〔園〕ディーパ ③〔經〕燈明（洲）S 43 40 ④〔經〕燈 S 54 8
Dīpaṁkara ①〔佛〕ディーパンカラ，燃燈 ②〔王〕燃燈 ③〔城〕ディーパンカラ，燃燈
dīpagāmi magga 燈明に達するの道
Dīpanayā〔尼〕ディーパナヤー
Dīpanī〔牛飼娘〕ディーパニー
dīpa-pūjā 燈供養
dīpa-rukkha ディーパ(燈明)樹
Dīpavaṁsa〔書〕ディーパワンサ，島王統史，島史 Dv 1～22
Dīpāyana〔道士〕ディーパーヤナ
Dīpāla〔渡〕ディーパーラ
dīpi-camma 豹皮，彪皮
Dīpi-jātaka ディーピ・ヂャータカ，豹本生物語 J 426
dīpin 豹，彪
Dīpuyyāna ディープッヤーナ，島園
duka 二法 V 3 6 (2)
Dukatika-paṭṭhāna 順二法三法發趣，二法三法發趣 Dukatika 1～130
Dukatikapaṭṭhāna-vaṇṇanā 二法三法發趣の釋
Dukaduka-paṭṭhāna 順二法二法發趣，二法二法發趣 Dukaduka 1～48
Dukadukapaṭṭhāna-vaṇṇanā 二法二法發趣之釋
Duka-nipāta ① 二集〔增支部經〕A 2 1～17 ② 二集〔如是語經〕It 2=28～49 ③ 二偈集〔長老偈經〕Thag 121～218 ④ 二偈集〔長老尼偈經〕Thīg 19～38 ⑤ 第二篇〔本生經〕J 151～250
Dukanipātaṭṭhakathā 二法集の義疏
Duka-paṭṭhāna 順二法發趣，二法發趣，二法鉢多那 Duka **1～100**
Dukapaṭṭhāna-vaṇṇanā 二法發趣之釋
dukūla〔布〕ヅゥクーラ，ドゥクーラ，黃麻
Dukūla ①〔苦行者〕ドゥクーラ ②〔獅子の子〕
dukkaṭa〔罪名〕ドゥッカタ，悪作，突吉羅
dukkaṭa-ajjhāpanna 突吉羅犯戒者
dukkaṭakamma-kārin 悪所作〔者〕
dukkaṭāpattikkhandha 突吉羅罪聚
dukkata-kamma 悪行
Dukkara or Kumma〔經〕作し難し（龜）S 1 17
Dukkaraṁ〔經〕難爲 S 38 16；39 16
dukkara-kāraka 難行を行ずる者
Dukkarakārika-pañho 難行の行作の問 Mil 4

〔8〕6
dukkarakārikā 難行，苦行
dukkha 苦，苦痛，苦悩
Dukkha〔經〕苦 S **12** 43；**14** 34；**22** 13, 67, 104；**23** 15, 16, 27, 28, 39, 40；**35** 2, 5, 8, 11, 44, 106；**38** 14；**46** 72
dukkha ariyasacca 苦聖諦
dukkhaṁ parijānāti 苦を遍知す
dukkhakkhandha 苦蘊
dukkhakkhaya 苦盡，苦滅，苦の滅盡，苦悩の滅盡
dukkhatā 苦性，苦〔三種〕
Dukkhatā〔經〕苦 S **45** 165
dukkhatta 困難
dukkha-dukkha 苦苦
dukkha-dukkhatā 苦苦の性，苦苦性，苦苦〔三苦性の一〕
Dukkhadhammā〔經〕苦法 S **35** 203
dukkhadhammānaṁ apahattā 苦法の排除者
dukkha-dhātu 苦界
dukkha-nirodha 苦の滅，苦滅
dukkhanirodha ariyasacca 苦滅聖諦
dukkhanirodhagāminiyā paṭipadāya ñāṇaṁ 苦滅道智，順苦滅道智，苦の滅に至る道に於ける智
dukkhanirodhagāminī-paṭipadā 苦滅道，苦の滅に到る道，苦の滅に導く道，苦滅に至るの道
dukkhanirodha-gāminī paṭipadā ariyasacca 苦滅道聖諦，順苦滅道聖諦，苦の滅に趣く道聖諦，苦の滅に至る道の聖諦
dukkha-nirodhe ñāṇaṁ 苦滅智，苦の滅に於ける智
dukkhapaṭipadā khippābhiññā 苦行道速通達〔定〕，苦速通行
dukkhapaṭipadā dandhābhiññā 苦行道遲通達〔定〕，苦行道遲知通，苦遲通行
dukkha-lakkhaṇa 苦相
dukkha-vipāka 苦の異熟，苦果報，苦報
Dukkha-vipāka〔經〕苦報 A **10** 144, 188
dukkhavipāka-kamma 受苦異熟業，苦異熟業
dukkhavipāka dhamma 苦報ある法
dukkha-vedanā 苦受
dukkha-vedaniya kamma 苦受の業
dukkha-vedanīya 苦所受，苦受
dukkha-sacca 苦諦
dukkha-saññā 苦想
dukkha-samudaya 苦の集，苦集，苦の生起
dukkhasamudaya ariyasacca 苦集聖諦
dukkhasamudaye ñāṇaṁ 苦集智，苦の集に於ける智
dukkha-sahagata 苦倶
dukkhasahagata-kāyaviññāṇa 苦倶行身識
dukkha-sīla 苦戒，悲觀性
dukkhassa atthagamo 苦の滅沒，苦の滅
dukkhassanto 苦の終邊，苦の終，苦邊，苦の邊際，苦の果
dukkhassa pariññā 苦の曉了
dukkhassa bhavo 苦の發生
dukkhassa samudayo ca atthagamo ca 苦の生起と滅沒
dukkhākāra 苦相
dukkhādhivāha-dhamma 苦を引く法
dukkhānupassanā 苦觀，苦隨觀
dukkhā paṭipadā khippābhiññā 苦速通行，苦行道速通達〔四通行の一〕
dukkhā paṭipadā dandhābhiññā 苦遲通行，苦行道遲通達〔四通行の一〕
dukkhāya vedanāya sampayutta-cetanā 苦受相應思
dukkhāya vedanāya sampayutta-dhammā 苦受相應法
Dukkhāhāra-kathā 苦導入論 KV 2 6
dukkhindriya 苦根
dukkhudraya 苦趣に墮つるもの，苦果，苦を引く
Dukkhudraya〔經〕引苦 A **10** 143, 187
dukkhudraya-dukkhavipāka 苦果苦報
dukkhudraya-dhamma 苦を引く法
dukkhūpasama 苦の寂滅
dukkhe anatta-saññā 苦無我想，苦非我想，苦者非我想，苦に於て無我想，苦卽無我想

dukkhe anattasaññī 苦卽無我想〔者〕，苦無我想
dukkhe ñāṇaṁ 苦智，苦に於ける智〔四智の一〕
dukkhetta 悪田
Dukkhena〔經〕苦 S 22 140～142
dukkhe sukhan ti vipallāso 苦を樂なりとする顚倒
dugga 難路
Dugga〔池〕ドゥッガ
duggata 貧人
Duggataṁ〔經〕苦惱 S 15 11
duggati 悪趣
Duggati〔經〕悪趣 S 55 14, 15
Duggati-kathā 悪趣論 KV 12 8
duggati-paṭisandhi 悪趣結生
duggati-bhaya 悪趣の怖畏，悪趣怖畏，悪趣畏
duggati-bhūmi 悪趣地
duggandha 悪臭
duggandhatā 悪臭性
duggandhā itthī 悪臭ある女人
duggandhā maṅgulī itthī 悪臭ある醜女
duggahīta 誤解，謬見者
duccarita 悪行
Duccarita〔經〕悪行 S 47 47
Duccarita-vagga 悪行品 A 5 241～250
duccarita-saṅkilesa 悪行雜染
duccintita 悪思，悪思惟
duccintita-cintin 悪思惟〔者〕，悪思を思惟す
duccola 悪服，弊衣
dujivha ドゥヂヴハ，二舌者，重舌，蛇
Dujīpa〔王〕ドゥヂーパ，ドゥディーパ
Dujjacca〔人〕ドゥッヂャッチャ
Dujjaya〔傳∘轉輪王，純陀比丘の前生〕ドゥッヂャヤ
duṭṭha 瞋怒，瞋，悪，悪心
Duṭṭha-kumāra ドゥッタ・クマーラ，悪逆童子
Duṭṭhagāmanī〔王〕ドゥッタガーマニー
Duṭṭhagāminī Abhaya＝Duṭṭhagāmanī〔王〕ドゥッタガーミニー・アバヤ
duṭṭha-citta 瞋心〔者〕，悪心者
duṭṭha-citta-vipariṇata 悪心變心
Duṭṭhaṭṭhaka-sutta 瞋怒八偈經 Sn 4 3
Duṭṭhaṭṭhakasutta-niddesa 瞋怒八偈經の義釋 MNd 3
duṭṭha-dosa 悪瞋
duṭṭha-brāhmaṇa 悪婆羅門
duṭṭhāruka 悪漏瘡
duṭṭhulla 麤悪，麤重，麤語，汚行
duṭṭhullā āpatti 麤罪，麁罪，麤重犯
duṭṭhullā-vācā 麤悪語，麁悪語
dutiya 伴侶，隨伴，助伴者，同伴者，同伴比丘，陪席者，第二者
Dutiya〔經〕伴 S 1 59
Dutiya-agāriya-vimāna 第二在家天宮 Vv 66
dutiya-aniyata 第二不定
Dutiya-upassaya-dāyaka-vimāna 第二住家施者天宮 Vv 69
Dutiya-karaṇīya-vimāna 第二所應作天宮 Vv 57
Dutiya-kuṇḍalī-vimāna 第二耳環天宮 Vv 73
Dutiya-gamana 第二章
Dutiyagāthāsaṁgaṇika〔章〕第二伽陀集 V 3 17
dutiya citta 第二心
dutiyajjhāna 第二禪，第二禪定，第二靜慮
Dutiya-nāga-vimāna 第二象天宮 Vv 61
Dutiya-paṭibbatā-vimāna 第二貞淑女天宮 Vv 12
Dutiyapalāyi-jātaka ドゥティヤパラーキ・ヂャータカ，第二逃亡本生物語 J 230
dutiya-pāṭihāriya 第二神變
dutiya-pārājika 第二波羅夷＝不與取戒
dutiyapārājika-samuṭṭhāna 第二波羅夷等起
Dutiya-peyyāla 第二廣說
dutiya-bhāṇavāra 第二誦品
Dutiya-bhikkhādāyikā-vimāna 第二食施女天宮 Vv 28
dutiya magga 第二道＝斯陀含道
Dutiya-vagga 第二品，第二篇
dutiya-saṁgaha＝dutiya-saṅgīti 第二結集
dutiya saṁgīti＝dutiya saṅgaha 第二結集，第

二合誦 Mv 4; VA 3〜Dv 4, 2
Dutiyasaṁghabhedaka-vagga 第二破僧者品
dutiya-saṁghādisesa 第二僧残＝身觸戒
Dutiya-saññāvedayita-kathā 第二想受論 KV **15** 8
Dutiya-sūci-vimāna 第二針天宮 Vv 59
Dutiyasela〔精舎〕ドゥティヤセーラ
dutiyā bhūmi 第二地
dutiyika 伴友
Dudīpa〔王〕ドゥディーパ
Duddada-jātaka ドゥッダダ・ヂャータカ, 難施本生物語 J 180
duddasa 難見
duddassika 醜悪, 怪軀
dunīta attha 誤解されたる義
dundubhi 鑵鼓, 罐鼓
Dundubhissara〔比〕大鼓主
dunnikkhita padavyañjana 顚倒せる文句
Dunniviṭṭha〔婆羅門村〕ドゥンニギッタ
duppañña 無慧, 無慧者, 悪慧, 悪慧者, 智劣れる, 智慧なき者, 劣慧, 愚癡者, 愚鈍, 愚人
Duppañña〔經〕愚癡 S **46** 44
duppañña-eḷamūga 愚鈍闇昧
duppaññatā 無慧
duppaññā 悪慧, 愚鈍, 愚癡, 劣慧, 無慧
duppaṭinissaggin 棄捨し難し
duppaṭipadā 悪向道
duppaṭivijjha 解し難き
duppameyya 難計量〔者〕
Duppasaha〔王〕ドゥッパサハ
dupposatā 給養し難く, 難養
dubbaca 悪語, 難語, 悪口, 悪言, 悪言者, 難說者, 說き難く
Dubbaca-jātaka ドゥッバチャ・ヂャータカ, 背教者本生物語 J 116
dubbaca-jātika 悪口性
dubbaca-bhikkhu 悪口比丘
dubbaṇṇa 悪色, 醜悪, 醜陋, 麁色無し, 顔貌憔悴
dubbaṇṇa-karaṇa 壊色
Dubbaṇṇiya〔經〕醜陋 S **11** 22
Dubbalakaṭṭha-jātaka ドゥッバラカッタ・ヂャータカ, 弱木本生物語 J 105
dubbala-cīvara 薄弱衣, 弊衣
Dubbalavāpitissa〔ka〕〔精舎〕ドゥッバラヴーピティッサ〔カ〕
dubbhaga-lakkhaṇa 非運の相
dubbhara 難満
dubbharatā 難養, 難満, 扶養し難く
dubbhāsita〔罪名〕ドゥッバーシタ, 悪說, 悪語
dubbhāsita-ajjhāpanna 悪說犯戒者
dubbhāsita-bhāsin 悪說〔者〕
dubbhikkha 飢饉, 饑饉, 凶倹, 倹, 乞食し難く
dubbhikkha-kantāra 饑饉難所
dubbhikkha-bhaya 饑饉の怖畏
dubhato-vuṭṭhāna vimokkha 俱出離解脫
dubhato-vuṭṭhāna-vivaṭṭane paññā 俱出離退轉の慧
dubhato-suñña 俱空
Dumasāra〔傳○轉輪王〕ドゥマサーラ
dumbara＝udumbara〔樹〕ドゥムバラ
Dumbara〔地方〕ドゥンバラ
Dummitta〔比〕ドゥンミッタ
Dummukha ①〔王〕ドゥンムカ ②〔離車人〕ドゥンムッカ
Dummedha-jātaka ① ドゥンメーダ・ヂャータカ, 無智本生物語 J 50 ② ドゥンメーダ・ヂャータカ, 愚者本生物語 J 122
Duyyodhana〔王, 佛の前生〕ドゥッヨーダナ
duranubodha 難解
Durannaya〔辟〕ドゥランナヤ
Durabhisara〔比〕ドゥラビサラ
durāgata 誹謗
Durājāna-jātaka ドゥラーヂャーナ・ヂャータカ, 難知本生物語 J 64
durutta 罵詈
Duḷu〔地方〕ドゥル
duvaḍaśa-vasabhisita (A), duvāḍasa-vasābhisita (A) 灌頂十二年
du-vijātā 二度子を生める女, 二度お産をした

女
duviññāpaya 教へ難き，教導し難き
duvidha paccavekkhaṇa 二種の觀察〔獲得時，受用時〕
duvidhā-puggala 人の二種
duvidhena bhavo 二種有〔業有，生有〕
duvidhena rūpakkhandho 二種色蘊
duvidhenarūpa-saṅgaho 二種色聚
Duvera or Anāthapiṇḍika〔經〕怨讎 S 55 28
dussa 外衣
Dussa〔園〕ドゥッサ，衣服
dussa-karaṇḍaka 衣箱，衣筐
Dussadāyaka〔比丘の譬喩經〕ドゥッサダーヤカ Ap 3 168
Dussanta〔王〕ドゥッサンタ
dussa-paṭṭa 白布
dussa-yuga 一組の衣布
dussa-vaṭṭi 白布褶
dussa-vaṇijjā, dussa-vāṇijjā 衣商，布商
dussa-veṇi 白布條
dussika 衣服商
Dussin〔人〕ドゥッシー
dussīla 破戒，破戒者，悪戒，悪戒者，邪戒者，汚戒者，戒劣れる，戒を破る，無戒，無戒者
Dussīlaṁ〔經〕劣戒 S 37 10
dussīla pāpadhamma 悪戒悪法，破戒悪法，汚戒悪法，無戒悪法
dussīla sīlavipanna 破戒壊戒者，無戒壊戒者
dussīlassa paṭiggaho 破戒者の攝受
dussīlo hoti 戒を破る，悪戒者，破戒者，邪戒者
dussīlya 破戒，悪戒
Dussīlya ①〔經〕悪戒 S 14 24 ②〔經〕破戒 S 55 26, 27
duhana 掠奪
duhetuka=dvihetuka 二因，二因者
duhetuka-upekkhāsahagata-kiriyā 二因捨俱行唯作
duhetuka-vipāka 二因異熟
duhetuka-somanassasahagata-kiriyā 二因快俱行唯作，二因樂俱唯作
dūta 使者，受使
dūta-gamana 通使
Dūta-jātaka ドゥータ・ヂャータカ，使者本生物語 ① J 260 ② J 478
dūta-paramparāya〔mārāpeti〕重使殺
dūteti 使をなす
dūtena〔mārāpeti〕使殺
dūtena saṁvaṇṇeti 使讃嘆
dūteyya 遣使，使，使節，使者，使命
Dūteyya〔經〕使 S 56 93
Dūteyyaṁ〔經〕使命 A 8 16
dūteyyaṅga 使者の支分
dūteyya-pahiṇa 使を遣る
dūbhaka 摩尼
Dūbhiyamakkaṭa-jātaka ドゥービヤマッカタ・ヂャータカ，叛逆猿猴本生物語 J 174
dūra 遠
Dūra〔池〕ドゥーラ
Dūratissa〔地名〕ドゥーラティッサ
Dūratissa〔ka〕〔池〕ドゥーラティッサ〔カ〕
Dūratissavāpi〔精舎〕ドゥーラティッサヴーピ
Dūrabrahmaloka-pañho 梵天界への距離の問 Mil 2〔7〕4
Dūre-nidāna 遠き因緣物語 JN 2
dūre rūpaṁ 遠色
dūsaka 汚行者
dūsin 汚
Dūsin〔魔〕ドゥーシン，ドゥーシ，度使，羼嬈
dūseti 不淨法を行ふ
deḍḍubhaka 水蛇頭
deṇḍima=tindima, dindima 鑼鼓，饠鼓，銅鑼，鐃鈸，小鼓，手鼓
Demaṭavala〔地名〕デーマタヴラ
Demaṭṭhapādatthali〔村〕デーマッタパーダッタリ
Demeliyagama〔村〕デーメーリヤガマ
deyya-dhamma 施物，所施物，所施法，功德施
deva 天，天子，天神，天人
Deva ①〔比〕提婆 ②〔相承比丘〕デーヴ，提婆 ③〔カンブ村住比丘〕デーヴ ④〔スヂャータ佛の第二弟子〕デーヴ，天 ⑤=Khañjadeva

〔戰士〕デーヴ ⑥〔パラッカマバーフ一世の将軍〕デーヴ ⑦〔ランカーフラ官〕デーヴ ⑧〔アディカーリ官〕デーヴ ⑨〔精舎〕デーヴ ⑩〔經〕天 A **9** 39
deva-kaññā 天女
Devakaṭa-sobbha デーヴカタソーッバ，天造溝
deva-kāya 天身，天族
devakāyānaṁ nāmāni 天族の名
deva-kula 天祠
Devakūṭa ①〔山〕デーヴクータ，提婆鳩吒，天峯＝支提山の古名 ②〔地名〕デーヴクータ
Devagajjita〔傳◦轉輪王〕デーヴガッヂタ
Devagandha〔傳◦轉輪王〕デーヴガンダ
Devagabbhā〔王女〕デーヴガッバー
Devagutta〔殿〕提婆掘多
deva-cārika 天上界，天上遊行
Devacārika〔經〕天上遊行 S **55** 18～20
Devaṇapriya Priadraśi(A) 天愛喜見＝阿育王
devatā 天女，天神，天子，女神，神，鬼神
Devatā〔經〕天 A **9** 19
devatānaṁ saddo 天神の音聲，天神の聲
devatānussati 念天，天隨念〔六念，十念の一〕
Devatā-pañha 天人問〔答〕～次項
Devatāpañha-jātaka デーヴターパンハ・チャータカ，天神所問本生物語 J 350
devatā-bhāsita 天人所說
Devatā-vagga ① 天品 A **6** 31～42；**7** 31～40 ② 天神品 A **6** 65～74
Devatā-saṁyutta デーヴター・サムユッタ，諸天相應，天部 S **1** 1～81
Devatissaka〔村〕デーヴティッサカ
devatūposatha 天布薩
devatta 天界
Devadatta ①〔比，佛の從弟〕デーヴダッタ，提婆達多，提想達多 ②〔經〕提婆達多 S **6** 12；A **8** 7
Devadatta-pabbājita-pañho 提婆達多出家の問 Mil **4**〔1〕3
devadattiya 天授〔衣〕
Devadaha ①〔王〕デーヴダハ ②〔村，邑〕デーヴダハ，天臂，天現，提婆陀訶 ③〔經〕天現 S **22** 2
Devadaha-khaṇo〔經〕提婆陀訶 S **35** 134
Devadaha-vagga ① デーヴダハ・ヴッガ，天臂品 M **101～110** ② 提婆陀訶品 S **35** 134～144
Devadaha-sutta デーヴダハ・スッタ，天臂經 M **101**
devadāruka〔樹〕デーヴダールカ
deva-dundubhi 天鼓
devadundubhissara 天鼓鳴
deva-dūta 天使
Devadūta-vagga 天使品 A **3** 31～40
Devadūta-sutta デーヴドゥータ・スッタ，天使經 M **130**
devadeva 天中天，天中天者，天中の天＝佛
deva-dhamma 天法
Devadhamma-jātaka デーヴダンマ・チャータカ，天法本生物語 J 6
Devadhammika〔外〕デーヴダンミカ
Deva〔nagara〕〔都〕デーヴ〔ナガラ〕
Devanaṁpriya(A)，Devanapriya(A)＝Devānampiya，Asoka〔王〕天愛
Devanampriya Priyadraśi(A)＝Devānampiya Piyadassin，Asoka〔王〕天愛喜見
Devapa〔傳◦轉輪王〕デーヴパ
deva-pañha 神懸り
deva-pada 天道〔四種〕
Devapada〔經〕天道 S **55** 34，35
Devapāli〔村〕デーヴパーリ
deva-putta 天子
Devaputta-mahāraṭṭha 天子大國
Devaputta-saṁyutta デーヴプッタ・サムユッタ，天子相應 S **2** 1～30
deva-pura 天宮
Devappatirājan〔大臣〕デーヴッパティラーヂャ
Devabhūti〔傳◦轉輪王〕デーヴブーティ
Devamantiya〔人〕デーヴマンティヤ
Devamalla〔ギヂャヤバーフ一世の將軍〕デーヴマッラ
Devamānusā〔尼〕デーヴマーヌサー

deva-yāna〜dibba-yāna 天乘，天車
deva-rājan 天王
Devarājan 〔王臣〕デーヴラーヂャ，天王
Devala ①〔佛〕デーヴラ ②〔パヅゥムッタラ佛の第一弟子〕デーヴラ，執天 ③〔苦行者〕デーヴラ
Devalā 〔王女〕デーヴラー
deva-loka 天界
deva-vata 天務
deva-vatika 天務者
Devavana-sālavana 天林沙羅樹園
deva-sadda 天聲〔三種〕
Devasabha 〔比〕デーヴサバ
Devahita ①〔婆〕デーヴヒタ，提婆比多 ②〔經〕提婆比多 S 7 13
Devā or Vatapada 〔經〕諸天（禁戒足）S 11 11〜13
Devāgāra 〔精舍〕デーヴーガーラ
devātideva〜devadeva 天中天，天中の天
devānaṁ indo 天の主，諸天の主＝帝釋
Devānaṁpiya ①＝Devānampiya-tissa〔王〕デーヴーナンピヤ，天愛 ②＝Devānampiya Asoka 天愛
Devānaṁpiya Asoka 天愛阿育
Devānaṁpiya-tissa〔セイロン王〕デーヴーナンピヤティッサ，天愛帝須
Devānaṁpiya Daṣalatha (A)〔王，阿育の孫〕天愛十車
Devānaṁpiya Piyadasi (A), Devānaṁpriya Priyadasi (A), Devanampriya Priyadraśi (A), Devaṇapriya Priadraśi (A), 天愛喜見＝阿育王
Devānaṁpriya (A), Devānaṁpiya (A), Devanapriya (A), Devanaṁpriya (A), Devānāṁpriya (A) 天愛＝天愛阿育，阿育王
Devānaṁpriya Priyadasi (A)＝Devānampiya Piyadassin, Asoka〔王〕天愛喜見
Devānampiya＝Devānampiya-tissa〔王〕天愛
Devānampiya-tissa〔王〕天愛帝須
Devānāṁpriya (A) 天愛＝天愛阿育，阿育王
devālaya 天神堂
devāsura-saṅgāma 天と阿修羅の戰
Devinda〔賢者〕デーギンダ
Deviyāpattana〔地名〕デーギヤーパッタナ
Devila〔王臣〕デーギラ
devisi 天仙＝大仙
devī 女神，天女
Devī ①〔阿育王妃〕デーギー ②＝Vihāradevī〔妃〕
Devuttara〔傳∘轉輪王〕デーヴッタラ
Desaka〔村〕デーサカ
Desakittiya〔比丘の譬喩經〕デーサキッティヤ Ap 3 297
desanā 宣說，說示，教說，指示，懺悔
Desanā ①〔經〕法說 S 12 1 ②〔經〕說示 S 32 1; 51 19 ③〔經〕說教 S 42 7 ④〔經〕說 S 46 22
desanā-kusala 記心善巧
desanākkama 說示の順序
desanā-gambhīratā 說示甚深
desanāgāminī-āpatti 教誡罪，應悔罪
desanā-maṇḍa 宣說醍醐
desanā-suddhi 說示浄
Desapūjaka〔比丘の譬喩經〕デーサプーヂャカ Ap 3 164
desa-bhāsā 地方語
desāpeti 悔過を爲さしむ
doṇa＝doṇika〔量，枡目〕ドーナ
Doṇa ①〔婆〕香姓 ②〔婆〕ドーナ，頭那 ③〔渡場〕ドーナ，豆那 ④〔地名〕ドーナ
Doṇa-pāka〔經〕大食 S 3 13
doṇi ① 槽 ② 丸木舟
doṇika＝doṇa〔量〕ドーニカ，斗
doṇikā 桶
doṇi-nimmiñjana, doṇi-nimmujjana 油菓子
Doṇivagga〔地名〕ドーニヴッガ
dobha＝dubbha 不信
domanassa 憂，憂悲，憂惱，惱
domanassaṭṭhānīya 順憂處
domanassa-dhātu 憂界
domanassa-sahagata 憂倶行，憂倶
domanassa-sahagata-citta 憂倶行心，憂倶心

domanassasahagata-paṭighasampayutta 憂俱行恚逆相應，憂俱行恚相應，憂俱瞋恚相應
domanassindriya 憂根
domanassūpavicāra 憂近伺〔六種〕
Dorādattika〔地名〕ドーラーダッティカ
dolā 鞦韆，鞦韆戯，搖らぎ
Dolāmaṇḍapa ドーラーマンダパ，鞦韆堂
Doḷapabbata〔地名〕ドーラパッバタ
dovacassa-karaṇa 惼恢の性，說諭し難からしむる
dovacassakaraṇa-dhamma 說諭し難からしむる法
dovacassatā 惡言，惡言性，不受諫
dovacassatā ca pāpa-mittatā ca 惡言と惡友
dovārika ① 門衞，門番，門扉の番士，守門者，守門人 ② 巫祝官
Dovārika-maṇḍala=Dvāramaṇḍalaka〔村〕ドーヴーリカマンダラ
dovārikūpamā 門衞の譬喩
dosa ① 瞋，瞋恚，恚，忿，忿惡，忿恚，嫉忌 ② 瑕瑾，過失，缺點 ③ 病素
dosa-akusalamūla 瞋不善根〔三不善根の一〕
dosa-kiñcana 瞋障〔三障の一〕
dosakkhaya 瞋恚の壞滅
dosaggi 瞋火
dosa-carita 瞋行者
dosa-cariyā 瞋行
dosa-citta 瞋心
dosaniya-dhamma, dosanīya-dhamma 所瞋の法，瞋るべき物，瞋るべき法
dosantara 瞋心
dosa-mūla 瞋根=瞋因
dosa-vinaya 瞋恚調伏
dosavinayāya paṭipanno 瞋調伏の行跡
dosa-salla 瞋箭
dosa-sahagata 瞋俱行
dosa-hetu 瞋因=瞋根
dosāgati 瞋恚不應行，瞋恚の非道，瞋趣，瞋道，瞋不行處
dosāgatiṁ gacchati 瞋不行處行〔四不行處行の一〕

dosiṇā ratti 月明の夜
dose ādīnavo 瞋恚の過患
Dohaḷa〔山〕ドーハラ
dbādasa-vāsābhisita (A), duvāḍasa-vasābhisita (A), duvaḍaśa-vaṣabhisita (A) 灌頂十二年
drava-bhāva 流動性
dvaṅgula 二指
dvaṅgula-kappa 兩指淨，二指認容〔十事の一〕
dvaṅgula-paññā 二指の智慧，二指量の智慧
dvattiṁsa kulappabhedā kimayo 三十二種の蟲聚
dvattiṁsa koṭṭhāsā 三十二〔身〕分
dvattiṁsa tiracchāna-kathā 三十二の無用論
Dvattiṁsa-mahāpurisa-lakkhaṇa-pañho 三十二大人相の問 Mil 2〔6〕3
dvattiṁsa mahāpurisa-lakkhaṇāni 三十二種大人相，三十二種の大人の相好，三十二大人相，三十二の大人相
dvattiṁsa lakkhaṇāni 三十二相，三十二の相好=三十二種大人相
dvattiṁsākāra 三十二行相，三十二種，三十二身分
Dvattiṁsākāra 三十二身分 Khp 3
dvattiṁsākāra-kammaṭṭhāna 三十二行處
dvattiṁsākāra-pāḷi 三十二種〔身分を說ける〕聖典〜前前項
Dvayaṁ〔經〕二〔法〕S 35 92, 93
dvayaṁdvaya-samāpatti 唯有二人成就法
Dvayakāri〔經〕善惡業 S 30 3〜6
dvayatānupassanā 二種隨觀〔流轉，還滅〕
Dvayatānupassanā-sutta 二種隨觀經 Sn 3 12
dvākāra 惡行相
dvā-cattāḷīsa ākārā 四十二行相〔有爲の〕
dvādasa akusala-cittāni 十二不善心
dvādasa aṅgāni 十二支
dvādasa ākārā 十二行相〔空觀〕
dvādasa-āyatanāni 十二處
dvādasa kammāni 十二業
dvādasaṅga-paṭiccasamuppādā〜dvādasa paṭiccasamuppādaṅgāni 十二支緣起
Dvādasa-nipāta ① 十二偈集〔長老偈經〕Thag

608～631 ② 十二偈集〔長老尼偈經〕Thīg 224～235 ③ 第十二篇〔本生經〕J 464～473
dvādasa nissaggiya-pācittiyā 十二捨墮
dvādasa paṭiccasamuppādaṅgāni～dvādasaṅga-paṭiccasamuppādā 十二緣起支
dvādasa pāpāni 十二の惡
dvādasa maggaṅgāni 十二道支
dvādasama dubbaca-saṁghādisesa 第十二惡口僧殘
dvādasama-saṁghādisesa 第十二僧殘＝惡口戒
Dvādasasahassaka〔地方〕ドゥヴーダササハッサカ，一萬二千
dvādasāvaṭṭāni 十二の渦＝十二處
dvāra 門，門扉，戶，門孔
Dvāraka＝Dvāravatī〔町〕ドヴーラカ
dvāra-koṭṭhaka 門屋，樓門
dvāra-kosa 戶窓所
Dvāranāyaka〔村〕ドヴーラナーヤカ
Dvāra-pālaka-vimāna 守門者天宮 Vv 55
dvāra-bāha 戶の兩脇
Dvāramaṇḍala〔ka〕〔村〕ドヴーラマンダラ〔カ〕
dvāra-rūpa 門色
Dvāravatī＝Dvāraka〔都〕ドヴーラヴティー
dvāra-vimutta 離門
Dvāra-saṅgaha 門の攝 Abhsaṅg 3 4
dvāra-sālā 門房
dvāvīsati Khandhakāni 二十二犍度部
dvāsaṭṭhi diṭṭhigatāni＝dvāsaṭṭhi diṭṭhiyo 六十二見，六十二惡見，六十二成見
dvāsaṭṭhi diṭṭhiyo＝dvāsaṭṭhi diṭṭhigatāni 六十二見
dvi-kammavācā 二羯磨語
Dvikuḍḍageha〔精舍〕ドギクッダゲーハ
dvigocchaka-duka 二群二法
dvijāti～dija 再生族＝婆羅門
dvidhā-patha 岐路，二岐道
dvinnaṁ cittānaṁ samodhānaṁ 二心俱起
Dvinnaṁ piṇḍapātānaṁ mahapphalabhāva-pañho 二施食大果の問 Mil 4〔3〕4
Dvinnaṁ buddhānaṁ loke n' uppāda-pañho 二佛不出世の問 Mil 4〔6〕8
dvipada＝dipada 二足，二足者，兩足，人間
dvipada-seṭṭha 兩足尊
dvipiṭaka 二藏〔師〕，二藏持者
dvirasaññū ドゥギラサンニュー，二舌知味者，蛇
Dvirājaka 二王章 Cv 42, 51, 52
dvi-r-āvaṭṭa 二の面〔斷と常〕
dvi-sahassī majjhimikā lokadhātu 中二千世界，二中千世界
dvihetuka＝duhetuka 二因，二因者
Dvīhi sīlehī ti kathā 二戒論 KV **10** 6
dve atthavasā 二義〔自利，利他〕
dve aniyatā 二不定
dve aniyatā dhammā 二不定法
dve antā 二邊〔欲樂，苦行〕
dve kulāni 二家～二生家家
dve-cakkhu 兩眼人，兩眼〔者〕
dve diṭṭhi-gatāni 二成見〔常，斷〕
dve diṭṭhiyo 二見〔有，無〕
dvedhammika 二法者
dve dhātuyo 二界〔有爲，無爲〕
Dvedhāvitakka-sutta ドヱーダーギタッカ・スッタ，雙考經 M **19**
dvenavuti pācittiyā dhammā 九十二波逸提法，九十二單墮法
dve balāni 二力〔止，觀〕
dve bhayāni 二怖畏〔現世，來世〕
Dvebhāra〔傳。轉輪王〕ドヱーバーラ
dve mātikā 二本母〔比丘，比丘尼戒本〕
dvemāsa-parivāsa 二月別住
dve mūlāni 二根本〔無明，愛〕
Dverataniya〔比丘の譬喩經〕ドヱーラタニヤ Ap 3 223
dve rogā 二の病〔身，心〕
dvevācika 二歸依，再說
dvevācika upāsaka 二歸依を唱へる信士
dvevācikā pavāraṇā 二說自恣
dve vibhūsā 二嚴飾〔在家，出家〕
dve vedanā 二受，二種受〔樂，苦〕
dve saccāni 二諦〔世俗，眞〕

dhaṁma-kāmatā (A), dhrama-kamata (A)=dhamma-kāmatā 法に對する愛慕
dhaṁma-ghosa (A), dhrama-ghoṣa (A), dhama-ghoṣa (A) =dhamma-ghosa 法の鼓
dhaṁma-caraṇa (A), dhaṁma-calana (A), dhrama-caraṇa (A) =dhamma-caraṇa 法の宣行
dhaṁma-thaṁbha (A)=dhamma-thambha 法柱
dhaṁma-dāna (A), dhrama-dana (A) =dhamma-dāna 法の布施, 法施
dhaṁma-niyama (A) =dhamma-niyama 法の規正
dhaṁmanusathi (A) =dhammānusatthi 法の敎勅
dhaṁma-paliyāya (A) =dhamma-pariyāya 法門, 法教, 法の次第, 法理
dhaṁma-maṁgala(A), dhaṁma-magala (A), dhrama-maṁgala (A), dhrama-magala (A) =dhamma-maṅgala 法祈願
dhaṁma-mahāmāta(A), dhraṁma-mahamatra (A), dhrama-mahamatra (A) =dhamma-mahāmatta 法大官
dhaṁma-yāta (A), dhraṁma-yatra (A), dhrama-yada (A) =dhamma-yātrā 法巡行
dhaṁma-lipi (A), dhaṁma-lipī (A), dhrama-dipi (A)=dhamma-lipi 法勅
dhaṁma-vaḍhi (A), dhrama-vaḍhi (A), dhrama-vadhri (A)=dhamma-vaḍḍhi 法の増長, 法增長
dhaṁma-vata (A)=dhamma-vata 法實行
dhaṁmavāya(A), dhrama-śilana(A), dhrama-vaya (A) 法の遵奉
dhaṁma-vijaya (A), dhrama-vijaya (A) = dhamma-vijaya 法による勝利
dhaṁma-vuta (A), dhaṁma-vata (A), dhraṁma-vuta (A), dhrama-vuta (A), dhrama-vuṭa (A)=dhamma-vata 法實行
dhaṁma-saṁvibhāga (A), dhama-ṣavibhaga (A), dhrama-saṁvibhaga (A) =dhamma-saṁvibhāga 法の分與, 法均布, 法の均分
dhaṁma-saṁstava(A), dhrama-saṁstava (A), dhrama-saṁthava (A) =dhamma-santhava 法による親善
dhaṁma-sambadha (A), dhaṁma-ṣambadha (A), dhrama-saṁbaṁdha (A) =dhamma-sambaddha 法による結緣
dhaṁma-sāvana (A)=dhamma-savana 法の聽聞, 法を聽く, 聞法, 聽法
dhaṁma-susruṁsa (A), dhaṁma-susuṣā (A), dhrama-suśraṣa (A), dhaṁma-susūsa (A) =dhamma-sussūsā 法柔順
dhaṁmādhithānā (A)=dhammādhiṭṭhāna 法の樹立
dhaṁmānupaṭipatī (A) =dhammānupaṭipatti 法の遵行
dhaṁmānusasṭi (A), dhaṁmanusathi (A), dhraṁmanuśasti (A), dhramanuśasti (A) =dhammānusatthi 法の敎勅
dhaṁmānusāsana (A), dhramanuśaśana (A) =dhammānusāsana 法の敎誨
dhaṁmāpadāna (A) 法の敢行
dhaṁmāpekhā (A) =dhammāpekkhā 法に對する希求
dhaṅka 烏, 鴉
dhaja 幡, 幡旗, 幢, 幢幡, 幢旗, 旗幟, 法幢
Dhaja〔婆〕ダヂャ
dhajagga 旗の先, 幢頂, 幢群
Dhajagga ①〜②〔護呪〕ダヂャッガ, 幢頂②〜①〔經〕旗の先 S 11 3
Dhajagga-paritta, Dhaja-paritta 幢頂護呪, 幢首護呪〜前項
Dhajadāyaka〔比丘の譬喩經〕ダヂャダーヤカ Ap 3 58, 340
Dhaja-paritta=Dhajagga-paritta 幢頂護呪, 幢首護呪
Dhajaviheṭha-jātaka ダヂャヴィヘータ・ヂャータカ, 害魔法本生物語 J 391
dhajāhaṭa 放置旗
dhajāhaṭā 與旗婦
dhañña=dhāniya 穀物, 穀
Dhañña〔經〕穀 S 56 84

dhañña-karaṇa 打穀場
dhaññaphala-rasa 穀果汁
dhañña-rāsi 穀聚
Dhaññavatī〔都〕ダンニャヴティー，有穀
dhañña-vāṇija 穀物商
dhaññāgāra 穀倉
Dhataraṭṭha ①〔四天王の一，乾闥婆王〕ダタラッタ，持國，持國王，持國天，持國天王，提頭頼吒 ②〔龍王〕ダタラッタ，提頭頼吒 ③〔白鳥，鵝王〕ダタラッタ，提頭頼吒
dhana 財，財產，財物，財寶，金錢，富財
Dhana〔池〕ダナ，財
dhanakkītā 買得婦
Dhanañcaya=Dhanañjaya〔長者，文荼長者の子〕ダナンチャヤ
Dhanañja〔園林〕ダナンヂャ
Dhanañjaya ①=Dhanañjaya-korabba〔王，佛の前生〕ダナンヂャヤ，財勝 ②〔婆羅奈王〕ダナンヂャヤ ③〔フッサ佛の信士〕ダナンヂャヤ，財勝 ④=Dhanañcaya〔長者〕ダナンヂャヤ
Dhanañjayakorabba=Dhanañjaya〔王〕ダナンヂャヤ・コーラッバ
Dhanañjaya-cariyā〔經〕ダナンヂャヤの所行 Cp 1 3
Dhanañjānī=Dhānañjānī〔夷〕ダナンヂャーニー，陀然闍仁
dhana-dhañña 財穀
Dhanananda〔王〕ダナナンダ，陀那難陀
Dhanantevāsin〔從者〕ダナンテーヴーシン
Dhanapāla ①〔比〕ダナパーラ ②〔商人，死後に餓鬼〕財護 ③=Dhanapālaka〔象〕ダナパーラ，守財，護財
Dhanapālaka=Dhanapāla〔象〕ダナパーラカ，守財，護財
Dhanapāla-petavatthu 財護鬼事 Pv 2 7
Dhanapāla-hatthināga=Dhanapāla 護財象
Dhanapālin〔人〕寶守
Dhanapiṭṭhi〔地方〕ダナピッティ
dhana-lābha 財利
Dhana-vagga 財品 A 7 1～10
Dhanavatī, Dhanavatinī〔迦葉佛の母〕ダナヴティー，有財，財主
Dhaniṭṭha〔傳◦轉輪王〕ダニッタ
Dhaniṭṭhaka〔單名〕ダニッタカ
dhaniya 債主
Dhaniya ①=Dhaniya-kumbhakāraputta〔陶師子，比〕ダニヤ，壇尼迦 ②〔牛飼〕ダニヤ，陀尼耶
Dhaniya-kumbhakāraputta=Dhaniya〔比，第二波羅夷の初犯者〕壇尼迦陶師子，壇尼迦陶師子
Dhaniyagopālaka-sutta=Dhaniya-sutta 牧牛者陀尼耶經
Dhaniya-sutta=Dhaniyagopālaka-sutta 陀尼耶經 Sn 1 2
Dhanissara 財主=毘沙門天
dhanu ① 弓 ②〔尺度〕肘
Dhanu〔地方〕ダヌ
dhanuka 弓戲，弓遊び，玩具弓，小弓
dhanu-kalāpa 弓箭
dhanukārika〔樹，花〕ダヌカーリカ，陀奴劫利
dhanuggaha 弓師，弓術師，弓術士，弓術者，弓射手，射手，弓取り
Dhanuggaha-tissa〔比〕ダヌッガハ•ティッサ，弓術師帝須
Dhanuggaho〔經〕弓術師 S 20 6
dhanutakkāri〔樹〕ダヌタッカーリ
dhanu-pākāra 弓の柵
Dhanumaṇḍala〔地方〕ダヌマンダラ
Dhanuvillika〔地名〕ダヌボッリカ
dhanu-sippa 弓術
Dhanusekha〔王子〕ダヌセーカ
Dhannā〔尼〕ダンナー
dhama-ghoṣa (A)=dhamma-ghosa 法の鼓
dhamani 血管，靜脈，脈管，脈結
dhama-paripucchā (A), dhama-palipucchā (A), dhrama-paripuccha (A)=dhamma-paripucchā 法の試問
dhama-ṣavibhaga (A)=dhamma-saṁvibhāga 法の分與，法均布，法の均分

dhamma 法，正義，教法，本文*
Dhamma ①〔天子〕ダンマ，法 ②〔比〕ダンマ ③〔夜叉〕ダンマ ④〔殿〕ダンマ，法，達摩 ⑤〔園〕ダンマ ⑥〔經〕法 S 17 33；A 10 48, 138, 182
dhamma attha 法と義
dhamma-adhamma 法と非法，法非法
dhamma-ādāsa 法の鏡，法鏡
dhamma-iddhi 法成滿
dhamma-uposatha 法布薩
dhammaṁ apassanto na maṁ passati 法を見ざる者は我を見ず
dhammaṁ deseti 說法す，法を說く
dhammaṁ dhāreti 法を受持す
dhammaṁ paccakkhāti 法を誹謗す
dhammaṁ passanto maṁ passati 法を見る者は我を見る
dhammaṁ suṇāti 法を傾聽す
Dhammaka〔山〕ダンマカ，ダムマカ，有法
Dhamma-kathā 法論 KV 21 7
dhamma-kathika 說法者，說法〔者〕，說法師，法師，論師，法說者，如法說者，宣法者，說教師，布教師
dhammakathikatta 法を說くこと
dhamma-kathika puggala 說法人〔四種〕
dhammakathika bhikkhu 說法比丘
Dhammakathika-vagga 說法品 S 22 113〜125
Dhammakathiko〔經〕說法者 S 12 16
dhamma-kamma〜dhammika-kamma 如法羯磨，正法羯磨，法業，法羯磨
dhammakamma-dvādasaka 如法羯磨十二事 V 2 b 1, 3
dhamma-karaka 水甕，水瓶，水瓶漉水器〔比丘の七道具の一〕
Dhammakaraka-cetiya〔廟〕ダンマカラカ(漉水瓶)支提
dhamma-kāma 法欲
dhamma-kāya 法身
Dhammakitti ①〔比〕ダンマキッティ ②〔賢者〕
dhamma-ketu 法幟，法相，法を旗とし
dhammakkhāna 法話
dhamma-khīra 法乳
dhamma-gaṇṭikā 斷頭臺，首斬臺，刑場，處刑所
dhamma-gambhīratā 法甚深
dhammagaru dhammagārava 法を尊び法を重んず
dhamma-gāravatā 法の尊敬
dhammaguṇānussati 法德隨念
Dhammagutta ①〔王〕ダンマグッタ，曇摩崛多 ②〔比〕ダンマグッタ ③=Dhammaguttika〔部派〕法護，法藏
Dhammaguttā ①〔尼〕ダンマグッター ②〔夜叉女〕ダンマグッター，曇摩崛多
Dhammaguttika=Dhammagutta〔部派〕法藏，法護
dhamma-cakka 法輪，法の輪，正法輪
Dhammacakka ①〔堂〕ダンマチャッカ，法輪 ②=Dhammacakka-pavattana〔經〕〔轉〕法輪
Dhammacakka-kathā 法輪論 Pṭs 2 7
dhammacakka-pavattana 轉法輪
Dhammacakkapavattana-vagga 轉法輪品 S 56 11〜20
Dhammacakkappavattana=Tathāgatena vuttaṁ〔經〕轉法輪
Dhammacakkika〔比丘の譬喩經〕ダンマチャッキカ Ap 3 39
dhamma-cakkhu 法眼
dhammacariya-gāthā 法行偈，正行の偈
Dhammacariya-sutta 法行經 Sn 2 6
dhamma-cariyā 法行，如法行
dhamma-cāga 法捨
dhamma-cārin 法行者，正法實修者
dhamma-cuditaka 如法被呵責者，如法被呵責人
dhamma-cetiya 法莊嚴
Dhammacetiya-sutta ダンマチェーティヤ・スッタ，法莊嚴經 M 89
dhamma-codaka 如法呵責者，如法呵責人，如法難詰者
dhammacodaka-bhikkhu 如法難詰比丘，如法呵責者
Dhamma-jātaka ダンマ・ヂャータカ，法天子

本生物語 J 457
Dhamma-jāla=Brahma-jāla〔經〕法網
dhamma-ñāṇa 法智
dhammaññū 法を知る
dhammaṭṭha ① 法住，法住者，法に住する者 ② 裁判官
Dhammaṭṭha-vagga 法住品 Dhp **19** vv 256〜272
dhammaṭṭhitatā 法住性，法として確立し
Dhammaṭṭhitatā-kathā 法住性論 KV **11** 7
dhammaṭṭhiti-ñāṇa 法住智，法所依智
dhamma-takka 法思擇，法の尋思
dhamma-taṇhā 法愛，法渇愛
Dhammataṇhā abyākatā ti kathā 法渇愛無記論 KV **13** 9
Dhammataṇhā na dukkha-samudayo ti kathā 法渇愛非苦集論 KV **13** 10
dhamma-tanu 法身
dhammatā 法性，常法
dhammatā-dhammapariyāya 法性法門
Dhammatāpasā〔尼〕ダンマターパサー
dhammatā-rūpa 法性色
dhammatā-sīla 法性戒
dhamma-tejo 法威力
dhammatthenaka 法の盗人
dhamma-thera 法長老〔三長老の一〕
dhamma-dassana 法見
Dhammadassin〔佛〕ダンマダッシー，法見
dhamma-dāna 法施，法の布施
dhamma-dāyāda 法の相續者，法嗣，法繼承者，法の後繼者
Dhammadāyāda-dhammapariyāya=Dhammadāyāda-sutta〔經〕法嗣の法門
Dhammadāyāda-sutta ダンマダーヤーダ・スッタ，法嗣經 M 3
Dhammadāsiyā〔尼〕ダンマダーシヤー
Dhammadiṭṭha-pañho 法を見たりやの問 Mil 2〔5〕4
Dhammadinna ①〔比，ヒヤング島出身，タランガ住者〕ダンマディンナ，法授，曇摩陳那 ②〔塞〕ダンマディンナ，達摩提那 ③〔經〕達摩提那 S **55** 53
Dhammadinnā ①〔ヒヤダッシー佛の第一比丘尼〕ダンマディンナー，法與 ②〔尼，說法第一〕ダンマディンナー，法施，法授，法樂，曇摩提那〔譬喩經〕Ap 4 23 ③〔ヒヤダッシー佛の信女〕ダンマディンナー
dhamma-dīpa 法を島とす，法を洲とす，法を洲とし
Dhammadevaputta-cariyā〔經〕法天子の所行 Cp 2 8
dhammadesana-samuṭṭhāna 說法等起
dhamma-desanā 說法，法話
Dhammadesanā-kathā 法說示論 KV **18** 2
dhammadesanā paṭibhāti 說法す
Dhammadesanāya appossukkabhāva-pañho 說法休止の問 Mil 4〔3〕8
dhammaddasa 法見者，法見の人
dhammaddhaja 法幢，法を幢とし
Dhammaddhaja〔司祭官，佛の前生〕ダンマッダヂャ，法幢
Dhammaddhaja-jātaka ダンマッダヂャ・ヂャータカ，法幢本生物語 ① J 220 ② J 384
dhamma-dhana 法財
dhamma-dhara 持法，持法者，法を持つ，法を持ち，法を持し，法を持する者，法護持者
dhamma-dhātu 法界，法舎利
dhamma-dhāraṇa 法の受持，持法
dhamma-nagara 法城，法の都
dhamma-nandi 法喜
dhamma-nānatte ñāṇaṁ 法の種種相の智
dhamma-nānatte paññā 法の種種相の慧
dhammani-jāla 靜脈網
dhammanijjhāna-khanti 法知忍，法の歡受
dhamma-nimmita 法の化生
dhamma-niyāmatā 法決定性，法として定まり
dhamma-nisanti 法察忍，法の察忍
dhamma-netti 法眼，法の規矩
Dhammantarin〔古仙，醫〕ダンマンタリー
dhammantevāsika 隨身生
dhammanvaya 法の類句，法の次第，法の分齊，總相の法
dhamma-paññatti 法教示，法施設

dhamma-paṭibhāna 法辯
dhamma-paṭirūpakena vagga-kammaṁ 似法別衆羯磨〔六種羯磨の一〕
dhamma-paṭirūpakena samagga-kammaṁ 似法和合羯磨〔六種羯磨の一〕
dhamma-paṭisaṁvedin 法を領解す〔る者〕
dhamma-paṭisanthāra 法遍覆護
dhamma-paṭisambhidā 法無礙解, 法無礙辯〔四無礙解の一〕
dhamma-paṭisambhide ñāṇaṁ 法無礙解智
dhamma-paṭisaraṇa 法の所依
dhamma-pada 法句, 法迹, 法足
Dhamma-pada ダンマパダ, 法句經〔小部經の一〕Khuddaka 2 **1～26**=vv 1～423
dhamma-pariccāga 法遍捨
dhamma-pariyatti 法通達
dhamma-pariyāya=dhaṁma-paliyāya (A) 法門, 教法, 法教, 法の次第, 法の分別, 法理
dhamma-pariyeṭṭhi 法遍尋性
dhamma-pariyesanā 法遍尋
dhamma-pāla 法の護者
Dhammapāla ①〔比〕護法 ②〔王子, 佛の前生〕ダンマパーラ, 護法③=Vidhura 比豆梨〔賢者, 佛の前生〕ダンマパーラ, 法護 ④〔婆, 佛の前生〕護法 ⑤〔村〕護法
Dhammapāla-kumāra〔比豆梨の子〕ダンマパーラ・クマーラ
Dhammapālā〔尼, 僧伽蜜多の和尙〕ダンマパーラー, 曇摩波羅
Dhammapālita〔相承比丘〕ダンマパーリタ, 曇無波離
Dhamma-pāsāda 法高堂, 達摩殿
dhamma-pīti 法の喜
dhamma-pūjā 法供養
Dhamma-pokkharaṇī 法蓮池
dhammappati 法主
dhammappatti 法典
Dhamma-bhaṇḍāgārika, Dhamma-bhaṇḍāgāriya 法寶の管理者, 法寶の持者, 法寶の保持者, 法の藏, 法の寶庫=阿難
dhamma-bhāṇaka 說法師, 誦法師
dhamma-bhūta 法たり, 法たる者, 法體
dhamma-bheri 法鼓
dhamma-bhoga 法受用
dhamma-magga 法道
dhamma-macchariya 法慳〔五慳の一〕
dhamma-maya 法所成
Dhammamitta〔比〕ダンマミッタ, 法友
dhamma-megha 法雲, 法の雲, 法雨
Dhamma-yamaka 法雙論 Y **9**
dhamma-yāga 法供養, 法の供養, 法施
dhamma-yāgin 法の施者
dhamma-yāna 法乘
dhamma-yuddha 法の戰
dhamma-yoga 法相應者
dhamma-rakkha 法守護者
Dhammarakkhita ①=Mahādhammarakkhita〔臾那人, 比〕ダンマラッキタ, 達摩勒棄多, 法護 ②〔比〕ダンマラッキタ, 法護 ③〔人〕法護
dhamma-rakkhitā 法護女
dhamma-rata 法樂者
dhamma-ratana 法寶
dhamma-rati 法樂
dhamma-rasa 法味
dhamma-rāga 法愛
Dhammarāja〔章〕ダンマラーヂャ王 Cv 94
dhamma-rājan 法王
Dhammaruci〔比〕ダンマルチ〔譬喩經〕Ap 3 486
Dhammarucika, Dhammarucī=Abhayagirika〔部派〕ダンマルチー, 法喜部
dhamma-lābha 如法の利養
Dhamma-vagga 法品 A 2 9
dhamma-vara 殊勝の法
dhamma-vavatthāna 法差別, 法決定
dhamma-vādin 法說者, 法語者, 法を說く者, 如法說者, 如法說
dhammavādino parisā 說法衆會
Dhammavādī〔經〕法語者 S 38 3
Dhammavāra-uddesa 法分總說
dhammavicaya-sambojjhaṅga 擇法等覺支, 擇

法覺支，法研鑽の覺意〔七等覺支の一〕
dhamma-vitakka 法尋，法尋思
dhamma-vinaya 法律，法と律，經律
Dhammavinayapaṭicchanna-pañho 法律隱覆の問 Mil 4〔4〕7
dhamma-vinicchaya 法決定
dhamma-visesa 法差別
dhamma-vihārin 法住者
dhamma-vuḍḍhi 法增長，法の增長
dhamma-veda 法受，法の信受，眞理を得
dhamma-vepulla 法廣大
dhamma-saṁvibhāga 法均布，法の均分，法の分與
Dhamma-saṅgaṇi ダンマサンガニ，法集論，法聚論〔七論の一〕Abhidhamma 1
Dhammasaṁgaṇi-geha 法集論堂
Dhammasaṅgaṇi-mātikā 法聚論の論母
dhamma-saṅgaha ① 法攝受 ②=dhamma-saṅgīti 法結集
dhammasaṁgāyikatthera 正法結集の長老
dhammasaṅgāhaka-therā 法結集の諸長老
dhamma-saṅgīti=dhamma-saṅgaha 法結集，法合誦，正法結集，正法合誦
dhammasaṁgīti pañcadhā 五回の法結集
dhamma-saṅkha 法螺
dhamma-sañcetanā 法思〔六思身の一〕
Dhammasaññaka〔比丘の譬喩經〕ダンマサンニャカ Ap 3 304
dhamma-saññā 法想〔六想身の一〕
dhammasaññin saṅghabhedaka 有法想破僧者
dhamma-santati 法の相續，法相續
Dhammasantati-pañho 法相續の問 Mil 2〔2〕1
dhamma-santhāra 法覆護
dhamma-sannicaya 法積集
dhamma-sabhā 法堂，法座，說法堂
dhamma-samannesanā 法の吟味
dhamma-samaya 法會，法の集會
dhamma-samādāna 法受，得法〔四種〕
dhammasamādānaṁ paccuppanna-dukkhaṁ āyatiṁ sukha-vipākaṁ 現在苦未來樂報の得法
dhammasamādānaṁ paccuppanna-dukkhañ c'eva āyatiñ ca dukkha-vipākaṁ 現在苦未來苦報の得法
dhammasamādānaṁ paccuppanna-sukhaṁ āyatiṁ dukkha-vipākaṁ 現在樂未來苦報の得法
dhammasamādānaṁ paccuppanna-sukhañ c'eva āyatiñ ca sukha-vipākaṁ 現在樂未來樂報の得法
dhamma-samādhi 法三昧
dhamma-sambhoga 法等受用，法共事
dhamma-sammukhatā 法現前
dhamma-saraṇa 法を歸依處とす，法を依處とし，法を依とす
Dhammasava〔比〕ダンマサヴ
dhamma-savana 聞法，聽法，法の聽聞，法を聽く
Dhammasavaniya〔比丘の譬喩經〕ダンマサヴニヤ Ap 3 336
dhamma-sākaccha 法談，法を談る
dhamma-sāmaggī 法和合
dhamma-sāmin 法主，法王
dhamma-sāra 法核
Dhammasāla〔精舍〕ダンマサーラ
dhamma-sālā 說法堂
Dhammasena ①〔マンガラ佛の第二弟子〕ダンマセーナ，法軍 ②〔フッサ佛の第二弟子〕ダンマセーナ，法軍 ③〔比〕ダンマセーナ，達摩斯那 ④〔王〕ダンマセーナ，達摩斯那
Dhamma-senāpati 法將，法將軍，正法將軍=Sāriputta 舍利弗
dhamma serin 獨存の法
Dhammasoṇḍa ダンマソンダ，大須陀須摩本生物語？
dhamma-sota ① 法流，法の流 ② 法耳
dhammassa aññātā 知法者
dhammassa anudhammacārī 法の隨法行者
dhammassa anudhammo 法隨法，法の隨法，法隨順法，法に對する順法
dhammassa sudhammatā 法の善性，法の善法性，法の善き性

Dhammahadaya-vibhaṅga 法心分別 Vibh 18
Dhammā ①〔アッタダッシー佛の第一比丘尼〕ダンマー,法 ②〔尼〕ダンマー,達摩 ③〔王女,翅舍瞿曇彌の前生〕ダンマー
dhammāgadha 法の藥
dhammātitheyya 法款待
dhammādāsa 法鏡,法の鏡
Dhammādāsa＝Bahudhātuka-sutta〔經〕法鏡
dhammādāsa-dhammapariyāya 法鏡法門＝四證淨
dhammādhipateyya 法增上,法を主とし〔三增上の一〕
dhammānaṁ atthaṁ upaparikkhati 法の義を觀察す
dhammānādariya 法輕侮
dhammānukampā 法哀愍
dhammānuggaha 法攝受,法攝益,法の攝益
dhammānudhamma 法隨法,法隨順法,法と隨法,大小の法
dhammānudhamma-paṭipatti 法隨法行,法隨法の行道〔四預流向支の一〕
dhammānudhamma-paṭipadā 法隨法の道
dhammānudhamma-paṭipanna 法隨法行〔者〕,法隨法履修
dhammānudhamma-paṭipanna bhikkhu 法隨法履修の比丘
dhammānupassanā-satipaṭṭhāna 法隨觀念處
dhammānupassin 順法觀〔者〕
dhammānuloma 隨法
dhammānusārin 隨法行者,隨法行,隨法者
dhammānusāsaka 法の教師
dhammānussati 念法,法隨念,法念〔六念,十念の一〕
dhammāpaṇika 法商人
dhammā parisā 法衆會
dhammābhisamaya 法現觀,法の現觀,法洞察
Dhammābhisamaya-kathā 法現觀論 KV 22 4
Dhammābhisamaya-pañho 法現觀の問 Mil 4〔9〕3
dhammāyatana 法處
dhammāyatana-pariyāpanna 法處所攝,法處所屬
dhammāyatana-pariyāpanna rūpa 法處所攝の色
dhammārammaṇa 法所緣
dhammārāma 法樂,法を樂園とす
Dhammārāma 〔精舍〕ダンマーラーマ,法園
Dhammāsoka ①＝Asoka〔王〕ダンマーソーカ,法無憂,法阿育,正法阿育,達磨阿育②〔王子〕ダンマーソーカ,法無憂
Dhammāsokābhiseka 法阿育王の卽位 Mv 5, 2
dhammika ① 如法 ② 法師,持法者,正法者
Dhammika ①〔比〕ダンミカ,曇彌 ②〔塞〕ダンミカ,曇彌迦 ③〔ピヤダッシー佛の信士〕ダンミカ,適法 ④〔シャム國王〕ダンミカ
dhammika-kamma～dhamma-kamma 如法の羯磨〔四種〕
dhammika-pāṭimokkhaṭhapana 如法遮說戒
Dhammika-vagga ダンミカ品,曇彌品 A 6 43～54
dhammika-vāda 法說
dhammika-samaṇa 持法沙門
dhammika-sāmaggī 如法和合
Dhammika-silāmegha＝Mahinda Ⅲ〔王〕ダンミカシラーメーガ
Dhammika-sutta 曇彌迦經 Sn 2 14
dhammī-kathā 法話,法談,法說,法の談話,說法
dhammukkā 法炬
Dhammuttarika, Dhammuttariya〔部派〕法上
dhammūpahāra 法持現
dhamme aveccappasādo 法證淨〔四證淨の一〕
dhamme ñāṇaṁ 法智,法に於ける智〔四智の一〕
dhammena vagga-kammaṁ 如法別衆羯磨〔四種羯磨の一〕
dhammena samagga-kammaṁ 如法和合羯磨〔四種羯磨の一,六種羯磨の一〕
dhamme pasādo 法に對する淨信
dhamme vipassane paññā 諸法を正觀する慧
dhammesanā 法尋
dhammojā 法威力

dhammo mato 法は死せり
dhammosadha 法薬
dharaṇī ダラニー，地，地所，大地 界，總持
Dharaṇī〔湖〕ダラニー
dharaṇīruha〔樹〕ダラニールハ
Dharaṇīruha〔傳◦轉輪王〕ダラニールハ
dhava〔樹〕ダヴ
Dhavajālikā〔地名〕ダヴヂャーリカー
Dhavalaviṭṭhikagāma〔池〕ダヴラギッティカガーマ
Dhavalā〔水路〕ダヴラー
Dhātā〔神〕ダーター
dhātī 乳母
dhātu ① 界 ② 舍利，駄都，遺骨，身骨
Dhātu〔經〕界 S 14 1, 6; 18 9, 19; 25 9; 26 9; 27 9
Dhātu-kathā ダートゥカター，界論〔七論の一〕Abhidhamma 3
Dhātukathā-pakaraṇa-aṭṭhakathā 界論註
dhātu-kammaṭṭhāna 界業處＝界差別觀
dhātu-kusala 界善巧
dhātu-kusalatā ca manasikāra-kusalatā ca 界善巧と作意善巧
dhātukkhobha 界の動搖，四大不調
dhātu-gabbha 舍利室，納骨堂
dhātu-thūpa 舍利塔
dhātu-nānatta 界種種，種種界
dhātu-pakopa 界の動搖
dhātu-paññatti 界施設
Dhātupūjaka〔比丘の譬喩經〕ダートゥプーヂャカ Ap 3 247, 483
dhātu-pūjā 駄都供養，舍利供養，遺骨供養
Dhātubhājaniya-kathā 舍利配分譚 Bv 28
dhātu-manasikāra 界の作意＝界差別觀
dhātumanasikāra-pabba 界作意節
Dhātu-yamaka 界雙論 Y 4
dhātu-ratana 駄都寶
Dhātu-vāra 界分
dhātu-vinibbhoga 界の簡別
dhātu-vibhaṅga 舍利の配分
Dhātu-vibhaṅga 界分別 Vibh 3
Dhātuvibhaṅga-sutta ダートゥギバンガ・スッタ，界分別經 M 140
Dhātuvivaṇṇa-petavatthu 不敬塔鬼事 Pv 3 10
Dhātu-saṁyutta ダートゥ・サムユッタ，界相應 S 14 1〜39
dhātu-saṅkopa 界の動搖
dhātu-sarīra＝dhātu, sarīra 佛舍利
Dhātusena ①〔比，王〕ダートゥセーナ②〔王〕ダートゥセーナ ③〔居士〕ダートゥセーナ，舍利軍 ④〔精舍〕ダートゥセーナ
Dhātusena-pabbata〔精舍〕ダートゥセーナ山
Dhānañjāni〔婆〕ダーナンヂャーニ，陀然
Dhānañjāni-sutta ダーナンヂャーニ・スッタ，陀然經 M 97
Dhānañjānī ①＝Dhanañjānī〔婆羅門女，夷〕ダーナンヂャーニー，陀那奢尼，陀然闍尼②〔經〕陀然闍尼 S 7 1
dhāniya＝dhañña 財穀，穀，穀物
dhāmadhisṭānā (A), dhaṁmādhithānā (A), dhraṁmadhithana (A), dhramadhithana (A)＝dhammādhiṭṭhāna 法の樹立
dhāraka-jātika 受持する質
dhāraṇa ダーラナ，憶持
Dhāraṇa〔經〕受持 S 56 15, 16
dhāraṇaka 債務者
Dhāraṇī〔殿〕陀羅尼
dhārā-samphassa 流水の觸
dhāropa ダーローパ，杆
dhāva 競爭
dhiti 堅實，堅固心
dhitimant 堅固人
dhītar 娘，女
Dhītaro〔經〕娘達 S 4 25
Dhītā ①〔經〕姫 S 3 16 ②〔經〕娘 S 15 19; 17 42
dhīra 賢者，英雄，英賢，堅固者，慧者
Dhīrā〔尼〕ディーラー，堅固
dhuṭṭha-gahaṇika 便秘
dhuta＝dhūta 頭陀，頭陀行，除遣
dhuta-guṇa 頭陀行の德，頭陀の德
dhutaṅga＝dhūtaṅga 頭陀支，頭陀分，頭陀行，

頭陀
dhutaṅga-anugata 頭陀行者
dhutaṅga-cora 頭陀支の賊
Dhutaṅga-niddesa 頭陀支の解釋 VM 2
Dhutaṅga-pañho 頭陀支の問 Mil 4〔9〕9
dhutaṅga-samādhāra 頭陀支の受持者
dhutaṅge samācāro 頭陀分正行者
dhutatā～dhūtatta 頭陀行
dhuta-dhamma 頭陀法
dhuta-dhara 持頭陀者
dhuta-vāda 頭陀語，頭陀說，頭陀行，頭陀說者，頭陀行者
dhuta-vādaka 頭陀行說者
dhuta-vādin 頭陀說者
dhutta ① 惡人，弊惡人，暴惡人，狡猾者 ② 賭者
dhutta-paccatthika 放逸人怨家
dhura ① 軛，責任，忍持 ② 先導者
dhura-dhorayha 荷駄牛
dhura-nikkhepa 怠務戒
dhura-bhatta〔村〕邊〔家〕食
dhuva 常，常恒，恒，恒久，堅，堅牢，堅固
Dhuvaṁ〔經〕堅牢（無爭）S 43 20
dhuva-kāra 常恒食
dhuvagāmi magga 堅牢に達するの道
dhuva-colā 恒布者，恒布女
dhuva-bhatta 常恒食
dhuva-bhattika 常恒食を受く
dhuva-yāgu 常粥，日常の粥
dhuva-lohitā 恒出血者，常月水女
dhuva-saññā 堅固想，恒想，恒久想，常恒想
dhuva-sāra 恒堅實
dhūta=dhuta 頭陀，頭陀行，除遣
dhūtaṅga=dhutaṅga 頭陀，頭陀支，頭陀行
Dhūtaṅga-vagga 頭陀支品 V 3 15, 6
dhūtatta～dhutatā 除惡
Dhūpadāyaka〔比丘の譬喩經〕ドゥーパダーヤカ Ap 3 26
dhūpāyati 烟を起す
dhūma 烟
dhūmaṁ kattā 烟を起こす，放烟す
Dhūmakāri-jātaka ドゥーマカーリ・ヂャータカ，ドゥーマカーリ牧羊者本生物語 J 413
Dhūmakārin〔婆〕ドゥーマカーリ
dhūmakālika 荼毘時
Dhūmaketu〔傳◦轉輪王〕ドゥーマケートゥ
dhūma-netta 烟筒，烟道
Dhūmarakkha〔山〕ドゥーマラッカ
dhūma-raja 烟塵，煙と塵
Dhūmasikha〔龍王〕ヅーマシカ，煙焔
dhenu 牝牛，乳牛，犢*
dhenupā 乳牛
dhenu-vatthu 牝牛物語
Dhota=Dhotodana〔王〕斛〔飯〕
Dhotaka〔婆和利の弟子，婆，比〕ドータカ，度多迦〔譬喩經〕Ap 3 401
Dhotaka-pañhā=Dhotakamāṇava-pucchā〔經〕度多迦所問
Dhotakamāṇavaka-pañhā-niddesa 度多迦學童所問の義釋 CNd 6
Dhotaka-māṇava-pucchā=Dhotaka-pañhā〔經〕度多迦學童所問 Sn 5 6
dhota-pādaka 洗足布
Dhotodana〔王〕ドートーダナ，斛飯
dhona 除遣，除遣者
Dhonasākha-jātaka ドーナサーカ・ヂャータカ，張枝本生物語 J 353
dhopana〔技術〕ドーパナ
dhorayha 忍耐强き牛
dhovana ① 浣洗，洗滌 ②=dhopana 輕業
Dhovana〔經〕洗滌 A 10 107
dhovana-palibodha 洗髮障礙
dhraṁmadhithana (A)=dhammādhiṭṭhāna 法の樹立
dhraṁmanuśasti (A)=dhammānusatthi 法の教勅
dhraṁma-mahamatra (A) =dhamma-mahāmatta 法大官
dhraṁma-yatra (A)=dhamma-yātrā 法巡行
dhraṁma-vuta (A)=dhamma-vata 法實行
dhrama-kamata (A)=dhamma-kāmatā 法に對する愛慕

dhrama-ghoṣa (A)=dhamma-ghosa 法の鼓
dhrama-caraṇa (A)=dhamma-caraṇa 法の宣行
dhrama-dana (A)=dhamma-dāna 法の布施, 法施
dhrama-dipi (A)=dhamma-lipi 法勅
dhramadhithana (A)=dhammādhiṭṭhāna 法の樹立
dhramanuśaśana (A)=dhammānusāsana 法の教誨
dhramanuśasti (A)=dhammānusatthi 法の教勅
dhrama-paripuccha (A)=dhamma-paripucchā 法の試問
dhrama-maṁgala (A), dhrama-magala (A)=dhamma-maṅgala 法祈願
dhrama-mahamatra(A)=dhamma-mahāmatta 法大官
dhrama-yada (A)=dhamma-yātrā 法巡行
dhrama-vaḍhi (A), dhrama-vadhri (A) = dhamma-vaḍḍhi 法の増長, 法増長
dhrama-vaya (A) 法の遵奉
dhrama-vijaya (A)=dhamma-vijaya 法による勝利
dhrama-vuṭa(A), dhrama-vuta(A)=dhamma-vata 法實行
dhrama-saṁthava (A)=dhamma-santhava 法による親善
dhrama-saṁbaṁdha (A)=dhamma-sambandha 法による結緣
dhrama-saṁvibhaga (A)=dhamma-saṁvibhāga 法の分與, 法均布, 法の均分
dhrama-saṁstava (A)=dhamma-santhava 法による親善
dhrama-śilana (A)=dhamma-sīlana 法の遵奉
dhrama-suśraṣa(A)=dhamma-sussūsā 法柔順

na arūpāvacara dhamma 非無色塵法，非無色界繋法
na āsāṭikaṁ sāṭetā 蟲卵を除かず
Naupasampadādetabbaka vīsati-vāra 具足戒を授くべからざる二十人 V 2 a 1, 61～71
na-upasampādetabba 受具すべからざる人，授具すべからず
na upekkhā-sahagata dhamma 非捨俱行法
na kāmāvacara dhamma 非欲塵法，非欲界繋法
Nakāranibiḷupādi〔ダミラ人〕ナカーラニビルパーディ
na kutoci jātaṁ 無處生
nakula〔動〕ナクラ，鼬
Nakula ①＝Nakula-pitar〔長者，塞〕ナクラ，那拘羅，諾酤羅 ②〔アッタダッシー佛の信士〕ナクラ ③〔王〕ナクラ ④〔ダミラ人〕ナクラ
Nakula-jātaka ナクラ・ヂャータカ，鼬本生物語 J 165
Nakulanagara〔郡〕ナクラナガラ
Nakula-pitar＝Nakula〔居士，塞，信語第一〕ナクラピター，那拘羅父，那拘羅の父，ナクラ父
Nakulapitā ①〔經〕那拘羅父 S 22 1 ②〔經〕ナクラピター S 35 131
Nakulapitā-vagga 那拘羅父品 S 22 1～11
Nakula-mātar〔夷，信語第一〕ナクラマーター，ナクラ母，諾酤羅長者母，那拘羅母，那拘羅の母
Nakulamātā〔經〕那拘羅母 A 8 48
Nakulā ①〔ソービタ佛の上足尼〕ナクラー，諾酤羅 ②〔ソービタ佛の信女〕ナクラー
nakkhatta 星，星辰，星宿，星座，星祭，星宿の祭，祭，祭日，星宿運行，星まわり，占星
Nakkhatta＝Anurādha-nakkhatta〔大臣〕ナッカッタ
nakkhatta-kīḷanā 星祭
nakkhattaggāha 星蝕
Nakkhatta-jātaka ナッカッタ・ヂャータカ，星宿本生物語 J 49
nakkhatta-tārakā 星辰
nakkhatta-dhamma 星宿の法
nakkhatta-patha 星道
nakkhatta-pada 星宿
nakkhatta-pāṭhaka 占星者
nakkhatta-maha 星宿祭
nakkhatta-yoga 星宿運行，星宿の運行，宿曜の運行，占星，月蝕*
nakkhatta-rājan 星王
nakkhatta-vijjā 星占明，占星學，星占ひ
nakkhattāni tārakarūpāni parivattanti 星宿の運行す
nakha 爪〔三十二身分の一〕
nakhacchedana 爪刀，截爪刀
nakhasā 爬傷
Nakhasikhaṁ ①〔經〕爪頭 S 20 2 ②〔經〕爪頂 S 22 97；56 51
nakha-sikhā 爪頂，爪頭，爪先
Nakhasikhā〔經〕爪先 S 13 1
nagara 城，市，都市，都城，城市，城廓，城壁*
Nagara〔城〕那伽羅
Nagaraṁ〔經〕城邑 S 12 65
Nagaraka〔町〕ナガラカ，那竭羅迦
nagara-kathā 都市論，都會の話，都城論，市論〔無用論の一〕
nagaragalla〔官職〕ナガラガッラ
Nagaragalla〔村〕ナガラガッラ
nagaragiri＝nagaragiri-daṇḍanātha〔官職〕ナガラギリ
nagaragiridaṇḍanātha＝nagaragiri〔官職〕ナガラギリダンダナータ
nagara-guttika 警察官
Nagaraṅgaṇa〔精舎〕ナガランガナ
nagara-parikkhāra 町の資具
nagara-bandhana 城縛
nagara-vaḍḍhaki 築城者
Nagaravinda〔城〕ナガラギンダ，頻頭城
Nagaravindeyya-sutta ナガラギンデッヤ・スッタ，頻頭城經 M 150
nagara-sāmi 城主
nagala-viyohālaka (A)＝nagara-vohāraka 都

市執義官
na gocarakusalo 行處を知らず，行境を解せず
nagga 裸，裸體，裸形，裸形外道
nagga-cariyā 裸行
Naggaji〔王〕ナッガヂ
Naggadīpa〔島〕ナッガディーパ，裸島
Nagga-vagga 裸行品 A 3 151～163
naggiya 裸形，裸體
naggeyya 裸形
Naṅgaraka〔城〕ナンガラカ，邑色
naṅgala 犁，犂，鋤，鍬
naṅgalāvattanin 犂挽く〔牛〕
naṅgaliki〔花〕ナンガリキ
Naṅgalīsa-jātaka ナンガリーサ・ヂャータカ，鋤柄本生物語 J 123
naṅgalīsā 鍬の柄，鋤柄，轅*
Naṅguṭṭha-jātaka ナングッタ・ヂャータカ，象尾本生物語 J 144
nacca 舞踏，舞踊，歌舞，演劇
Nacca〔經〕舞踊 S 56 81
naccaka～naṭaka 舞踊者
naccakī～naṭṭakī 舞女
nacca-gīta-vādita-visūka 歌舞伎樂
Nacca-jātaka ナッチャ・ヂャータカ，舞踊本生物語 J 32
Na jīrati〔經〕不老 S 1 76
Najjupama〔傳・轉輪王〕ナッヂュパマ
najjuha〔鳥〕ナッヂュハ
naṭa～naṭaka 舞踊者，歌舞伎者，樂師，輕業師
naṭaka～naṭa, naccaka 演劇家，俳優，輕業師，役者
Naṭakuvera ①〔樂神〕ナタクヱーラ，音樂神 ②〔人〕ナタクヱーラ
naṭagāmaṇi 歌舞伎聚落主
naṭṭakī＝naccakī～nāṭakā 舞女
naṭṭha-cīvara 失衣
naṭṭha-patta 失鉢者
Nataṁdaḷha-vagga ナタムダルハ品 J 201～210
Nataṅga ナタンガ＝阿難
nati 繋著，意向
na titthaṁ jānāti 度處を知らず，渡處を知らず
Na tumhā〔經〕汝のものに非ず S 12 37
Natumhākaṁ ①〔經〕非汝所應法 S 22 33, 34 ②〔經〕非汝等有 S 35 101, 102
Natumhāka-vagga 非汝所應法品 S 22 33～42
nattamāla〔澁味の植物〕ナッタマーラ
nattar 孫
natthaṭṭha 非存在
Natthi〔經〕無 S 24 5
natthi attakāro 自作無し
Natthi arahato akāla-maccū ti kathā 阿羅漢無非時死論 KV 17 2
natthika-diṭṭhi 空無見者
natthika-vāda～natthi-vāda 無有論者，虛無論者
natthi dinnaṁ 施なし，施無し，施與なし，布施なし
natthi-paccaya 無有緣，非有緣〔二十四緣の一〕
natthipaccaya-niddesa 無有緣廣說
natthi parakāro 他作無し
natthi paraloko 他世なし
Natthi puttasamaṁ〔經〕子に等しきものなし S 1 13
natthi-bhāva 非實有
natthi yiṭṭhaṁ 供犧なし，供施無し，供養なし，獻供祀無し
n'atthi rāgasamo aggi 貪欲に等しき火なし
natthi-vāda～natthika-vāda 無有說
natthi sukaṭa-dukkaṭānaṁ kammānaṁ phalaṁ vipāko 善惡業の果報なし
natthi hutaṁ 燒施無し，燒供無し，祭祀なし，供犧なし，供養なし，犧牲なし
natthi hetu natthi paccayo 因無く緣無し
natthu 鼻腔治療
natthu-kamma 灌鼻
natthu-karaṇī 灌鼻筒
na dassanena pahātabba dhamma 非見所斷法
na dassanena pahatabba-hetuka dhamma 非見所斷因法
nadī 河，川
Nadī ①〔經〕河流 S 22 93 ②〔經〕河 S 45 160

Nadī-kassapa〔外，比〕ナディーカッサパ，那提迦葉

nadīcara〔動〕ナディーチャラ

nadī-nimitta 河相

Nadībhaṇḍa〔村〕ナディーバンダ

nadī-vidugga 川の淵

nadī-sota 河の流

Na dubbhiya〔經〕誑詐なき S 11 7

na dhūmaṁ kattā 烟を起こさず，放烟せず

na nimittaggāhī 相を執らず，相に執せず

na niyyānika dhamma 非出離法

nantaka, nantika 弊壞衣

Nanda ①〔辟〕ナンダ ②〔佛弟，比〕ナンダ，難陀〔譬喩經〕Ap 3 13 ③〔婆和利の弟子，婆，比〕ナンダ，難陀〔譬喩經〕Ap 3 403 ④=Nanda gopālaka〔出家，成阿羅漢〕難陀 ⑤〔セイロンに於ける比丘〕ナンダ ⑥〔傳◦王〕難陀，歡喜 ⑦〔王〕ナンダ ⑧〔王〕歡喜，難陀 ⑨〔王統〕ナンダ ⑩〔賢者〕ナンダ ⑪〔仙〕難陀 ⑫〔天子，天〕難陀，歡喜 ⑬〔大臣〕難陀 ⑭〔吉祥佛の信士〕難陀 ⑮〔婆〕難陀 ⑯〔婆靑年〕ナンダ ⑰〔難陀母の子〕難陀 ⑱〔奴隷〕難陀 ⑲=Nandopananda〔龍王〕難陀 ⑳〔家〕難陀 ㉑=Nandana〔園，林〕歡喜，難陀 ㉒〔宮殿〕ナンダ，喜悅 ㉓〔池〕ナンダ ㉔〔經〕難陀 S 2 27；21 8；A 8 9

Nandaka ①〔比，教誡比丘尼第一〕ナンダカ，難陀迦，難陀〔譬喩經〕Ap 3 542 ②〔夜叉〕ナンダカ ③〔經〕難陀 A 9 4

Nandakovāda-sutta ナンダコーヴーダ・スッタ，教難陀迦經，教誡難陀經 M 146

Nandagopā〔侍女〕ナンダゴーパー

Nanda gopālaka=Nanda〔出家，成阿羅漢〕牧牛者難陀

Nanda-jātaka ナンダ・ヂャータカ，難陀本生物語 J 39

Nandati〔經〕歡ぶ S 1 12

Nandattara〔靑年〕ナンダッタラ

Nandana ①〔天子〕難陀那 ②=Nanda〔三十三天の園林〕ナンダナ，難陀，難陀那，歡喜，喜林 ③〔園林，プラッティプラにあり〕ナンダナ ④〔房舍〕ナンダナ ⑤〔經〕歡喜園 S 1 11 ⑥〔經〕難陀那天子 S 2 14 ⑦〔經〕歡喜 S 4 8

Nandana-uyyāna=Mahānandavana 歡喜園，難陀園

Nandana-vagga 歡喜園品 S 1 11～20

Nandana-vana=Nandana, Nanda 歡喜園，難陀園，難陀那林，喜林苑

Nandana-vimāna 歡喜園天宮 Vv 76

Nanda-pañhā=Nandamāṇava-pucchā〔經〕難陀所問

Nandamāṇavakapañhā-niddesa 難陀學童所問の義釋 CNd 8

Nanda-māṇava-pucchā=Nanda-pañhā〔經〕難陀學童所問 Sn 5 8

Nanda-mātar=Veḷukaṇṭakiyā Nandamātar〔夷〕ナンダマーター，難陀母，難陀の母

Nandamūla, Nandamūlaka〔窟〕ナンダムーラ，ナンダムーラカ

Nandarāmā〔パドゥマ佛の信女〕ナンダラーマー

Nanda-vagga 難陀品 Ud 3

Nanda-vaccha〔苦行者〕ナンダ・ヴッチャ

Nandavatī ①〔尼〕ナンダヴティー ②〔婆女〕③〔女〕

Nanda-sikkhāpada 難陀戒

Nandasena〔塞〕ナンダセーナ

Nandā ①〔尼，禪定第一〕ナンダー，難陀〔譬喩經〕Ap 4 25 ②〔燃燈佛の第一比丘尼〕ナンダー，喜悅 ③=Abhirūpa-nandā〔尼〕難陀 ④〔尼，黑阿育の妹〕難陀 ⑤〔憍陳如佛の信女〕難陀 ⑥〔倶留孫佛の信女〕ナンダー，欣喜 ⑦〔王女〕難陀 ⑧〔ナンダセーナの妻，死後餓鬼となる〕難陀 ⑨〔婆女〕ナンダー ⑩〔女〕ナンダー，歡喜 ⑪〔宮殿〕ナンダー ⑫〔池〕ナンダー，歡喜

Nandādevī〔王妃〕ナンダーデーヸー

Nandā-petīvatthu 難陀鬼事 Pv 2 4

Nandāmūla〔ka〕〔村〕ナンダームーラ〔カ〕

Nandārāma ナンダー園

nandi 喜，歡喜，喜悅，悅喜，悅喜心
Nandi〔村〕ナンディ
Nandika ①〔ダミラ人〕ナンディカ ②〔鳥〕
Nandikā-petavatthu ナンディカ鬼事 Pv 4 3
nandikkhaya 喜盡，悅喜の消盡
Nandikkhaya ①〔經〕喜盡 S 22 51, 52 ②〔經〕悅喜消盡 S 35 155～158
Nandikkhaya-vagga 悅喜消盡品 S 35 155～166
Nandigāma〔精舍〕ナンディガーマ
Nandicakka〔比〕ナンディチャッカ
nandi-nirodha 喜の滅，喜悅心の滅
Nandipadmara〔ダミラ人〕ナンディパドマラ
Nandiya ①〔釋氏，塞，比〕ナンディヤ，難提 ②〔外，比〕難提 ③〔傳◦轉輪王〕ナンディヤ ④〔塞，死後生天〕ナンディヤ ⑤〔猿王〕ナンディヤ ⑥〔鹿〕難提 ⑦〔經〕難提 S 45 10 ; 55 40, 47 ; A 11 14
Nandiyamiga-jātaka ナンディヤミガ・ヂャータカ，難提鹿王本生物語 J 385
nandi-rāga 喜貪，悅喜愛樂，悅喜愛染，喜悅染心，悅喜染欲
nandirāga-sahagata 喜貪俱行，喜貪と俱にして
Nandivaḍḍha〔アノーマダッシー佛の信士〕ナンディヴッダ
Nandivāpi〔村〕ナンディヴーピ
Nandivisāla ①〔天子〕ナンディヸサーラ，難提毘舍羅 ②〔牛〕ナンディヸサーラ，歡喜滿 ③〔經〕難提毘舍羅 S 2 28
Nandivisāla-jātaka ナンディヸサーラ・ヂャータカ，歡喜滿牛本生物語 J 28
nandi-samudaya=nandī-samudaya 喜の集，喜悅心の生起
Nandisena ①〔大臣〕ナンディセーナ ②〔婆〕
nandī 喜，喜悅，歡喜，悅喜，悅喜心
nandī-nirodha 喜の滅，喜悅心の滅
nandī-bhava 有の喜
naṁdīmukha ナンディームカ水鳥
nandī-samudaya=nandi-samudaya 喜の集，喜悅心の生起
Nanduttarā〔尼〕ナンダウッタラー
Nandottara〔ナーラダ佛の子〕ナンドゥッタラ
Nandopananda=Nanda〔龍王〕難陀優波難陀
nandhi 紐，革紐
Nandhimitta〔戰士〕ナンディミッタ
napaṭippasambhetabba-aṭṭhārasaka 解くべからざる十八事 V 2 b 1, 6
Napabbājetabba-dvattiṁsa-vāra 出家せしむべからざる三十二人の品 V 2 a 1, 71
na pītaṁ jānāti 飲料を知らず，飲まるべきものを知らず
na pīti-sahagata dhamma 非喜俱行法
napuṁsaka 非男，非男女，中性
Nappaṭippasambhana-vagga 不解〔羯磨〕品
Nappaṭisandhigahaṇajānana-pañho 結生せざるを知るやの問 Mil 2〔2〕2
Nabbhava=Punabbhava〔經〕後有 S 48 21
Nabhaka (A)〔國〕ナーバカ
Nabhapaṁti (A)〔國〕ナーバパンティ
nabhā ca paṭhavī ca〔極遠〕天と地
na bhāvanāya pahātabba dhamma 非修所斷法
na bhāvanāya pahātabba-hetuka dhamma 非修所斷因法
Nabhiti (A)〔國〕ナーバパンティ
namataka ① 氈布 ② 刀欄*
na maraṇādhippāya 殺意無き者
Namuci〔惡魔〕ナムチ，那無夷，障解脫
namuci-bala 魔軍
namo 南無
Nammadā〔河〕ナンマダー，耐秣陀
naya 理趣，方法
nayato manasikāro 理趣に依る作意
Na yathā cittassa kāyakamman ti kathā 身業不如心論 KV 9 11
Na yathā cittassa vācā ti kathā 語不如心論 KV 9 10
Nayanussava〔園〕ナヤヌッサヴ
naya-mātikā 定式論母
naya-mukha-mātikā 定式面論母
naya-vipassanā 方法觀
nayitā〔植〕ナイター
nara 人

naraka=niraya 地獄，奈落，那落，淵
narakappapāta 坑崖
naraka-satta 地獄有情
Naratuṅgabrahma 〔ダミラ人〕ナラトゥンガブラフマ
narada〔植〕ナラダ，甘松
Naradeva ①〔王〕ナラデーヴ，那羅提婆 ②〔夜叉〕ナラデーヴ
Naramittā 〔尼〕ナラミッター
nara-sārathi 人間の御者
Narasīha=Kaṇḍuvethi〔王〕ナラシーハ
Narasīhadeva〔ra〕〔ダミラ人〕ナラシーハデーヴ〔ラ〕
Narasīhapadmara〔ダミラ人〕ナラシーハパドマラ
narāsabha 人牛王，人中の牛王，人中牛王
narī 女人
na-rūpaññū 色を知らず
na rūpāvacara dhamma 非色界繫法，非色塵法
na-lakkhaṇakusala 相に通ぜず，相を解せず
Nalamāla〔海〕ナラマーラ，葦鬘
Nalāgārika〔比丘の譬喩經〕ナラーガーリカ Ap 3 342
nalāṭaṭṭhi 額骨，前頭骨
Nalinī〔戯場〕ナリニー
naḷa 葦，葦草，蘆，葭，蘆葦
Naḷa〔王〕ナラ，那羅
Naḷakapāna ①〔村〕ナラカパーナ，那羅伽波寧，蘆飲 ②〔經〕那羅伽波寧 A 10 67, 68
Naḷakapāna-suttanta ナラカパーナ・スッタンタ，那羅伽波寧村經 M 68
naḷa-kalāpa 束蘆，葭の束
naḷa-kalāpiya 蘆束
Naḷakalāpiyaṁ〔經〕蘆束 S 12 67
naḷa-kāra 籠製造人，籠細工師，蘆細工師
Naḷakāra ①〔天子〕ナラカーラ，籠作 ②〔村〕ナラカーラ，那羅歌羅
naḷakāra-sippa 籠技
Naḷakuṭikadāyaka 〔比丘の譬喩經〕ナラクティカダーヤカ Ap 3 496
Naḷannaru〔池〕ナランナル
Naḷapāna-jātaka ナラパーナ・ジャータカ，蘆飲本生物語 J 20
naḷapin〔魚〕ナラピー
naḷa-mālā 蘆の華鬘，蘆の束
Naḷamālikā〔比丘尼の譬喩經〕ナラマーリカー Ap 4 16
Naḷamāliya〔比丘の譬喩經〕ナラマーリヤ Ap 3 107, 468
Naḷamāli-vagga ナラマーリー品 Ap 3 468～477
Naḷa-vagga 葦品 S 1 1～10
naḷasannibha〔動〕ナラサンニバ
naḷa-setu 葦の堤
naḷāgāra 葦の家，葦の舎，葦の小屋，葦葺の家，蘆葺の家，葭葺の家
Naḷinakesariya〔比丘の譬喩經〕ナリナケーサリヤ Ap 3 243
Naḷinikā〔王女〕ナリニカー
Naḷinikā-jātaka ナリニカー・ジャータカ，ナリニカー姫本生物語 J 526
Naḷinī〔殿〕ナリニー，那隣尼
Naḷira〔宮殿〕ナリラ
Naḷeru〔夜叉〕ナレール，那隣羅
Naḷerupucimanda〔樹〕ナレールプチマンダ，那隣羅賓洲曼陀羅
nava 下臘，新参
nava akkhaṇā asamayā brahmacariya-vāsā 九不時不節梵行住～八難處
nava anupubba-nirodhā 九次第滅
nava anupubbavihāra-samāpattiyo 九次第住定，九次第住等至，九次第定
nava anupubba-vihārā 九次第住
nava ākārā 九相
nava āghāta-paṭivinayā 九害心調伏，九嫌恨調伏
nava āghāta-vatthūni 九害心事，九嫌事，九嫌恨事
nava iñjitāni 九動
navaka ① 新入者 ② 九法 V 3 6 (9)
Navaka-Nipāta 九集 A 9 1～100
nava-kamma 修治，普請，造營，營事，新業，

新しき業
nava-kammika 營事監督
Navakammika〔經〕木匠 S 7 17
Navakammika-Bhāradvāja〔婆〕木匠婆羅墮婆闍
nava kāmāvacara-hetū 九欲塵因，九欲界因
Navagāmapura〔地名〕ナヴガーマプラ
navaṅga buddhavacana=navaṅga sāsana 九分佛語
navaṅga satthusāsana=navaṅga sāsana 九分の佛の聖教
navaṅga sāsana 九分教，九分の佛語，九分の佛の聖教〔契經，祇夜，授記，偈，自說，如是語，本生，未曾有法，毘陀羅〕
navaṅgika 九分教
nava-cīvara 新衣
nava-chidda=nava vaṇa-mukhāni 九孔
na vaṇaṁ paṭicchādetā 瘡痍を處置せず，瘡痍を覆護せず
nava taṇhāmūlakā 九愛根
nava taṇhāmūlakā dhammā 九愛根法
na-vattabba 不可說
Na vattabbaṁ buddhassa dinnaṁ mahapphalan ti kathā 佛に施して大果ありと言ふべからずの論 KV 17 10
Na vattabbaṁ saṁghassa dinnaṁ mahapphalan ti kathā 僧伽に施して大果ありと言ふべからずの論 KV 17 9
Na vattabbaṁ saṁgho dakkhiṇaṁ paṭigaṇhātī ti kathā 僧伽は供物を受くと言ふべからずの論 KV 17 6
Na vattabbaṁ saṁgho dakkhiṇaṁ visodhetī ti kathā 僧伽は供物を淨化すと言ふべからずの論 KV 17 7
Na vattabbaṁ saṁgho bhuñjatī ti kathā 僧伽は受用すと言ふべからずの論 KV 17 8
navattabbārammaṇa 不可說所緣
nava-dussa 新衣
nava-dussayuga 新衣
nava dvārā, nava dvārāni=nava vanamukhāni 九門，九の門孔
navadhamma-vavatthāne paññā 九法の決定の慧
Navanavatiya〔都〕ナヴナヴティヤ
navanavuti lomakūpa-sahassāni 九萬九千の毛孔
nava nahāru-satāni 九百の腱
nava nānattā 九種種
Nava-nipāta ① 九偈集〔長老偈經〕Thag 518～526 ② 九偈集〔長老尼偈經〕Thīg 204～212 ③ 第九篇〔本生經〕J 427～438
navanīta 乳酥，生酥，酥，熟酥，酪，牛酪
navapatta〔樹〕九葉
nava papañcitāni 九戲想
nava pārisuddhi-padhāniyaṅgāni 九清淨勤支，九精進致淨支〔戒，心，見，度疑，道非道知見，行知見，知見，慧，解脫〕
Navapurāṇa-vagga 新古品 S 35 145～154
nava purisa-malāni 九人垢
nava phanditāni 九悸動
nava balāni 九力
nava bhavā 九有
nava〔bhikkhu〕新參比丘，下臘
nava maṁsapesi-satāni 九百の肉塊，九百の肉片
nava maññitāni 九幻想
navama-saṁghādisesa 第九僧殘=第二瞋不謗戒
navamālikā〔樹〕ナヴマーリカー
Navayojana〔地方〕ナヴヨーヂャナ
nava yoniso-manasikāra-mūlakā dhammā 九正思惟根法
nava-ratta 新染
Navaratha〔王〕新車
nava lokuttara-dhammā=navavidha lokuttarā dhammā 九出世間法
nava vaṇa-mukhāni 九瘡口，九の瘡口
nava vitakkā 九尋
navavidha-māna 九種慢，九種の慢
navavidha lokuttarā dhammā=nava lokuttara-dhammā 九種の出世間法
navavidhena rūpakkhandho 九種色蘊

navavidhena rūpa-saṅgaho 九種色聚
nava vipassanā-ñāṇāni 九觀智
nava-vedanā 新しき苦痛
Navasaṁgaha-vagga 九聚會品 V 3 19, 5
nava saṅkhatāni 九有爲
nava saññā 九想
nava saññojanāni 九結
navasattapātubhāva-diṭṭhi 新有情出現見
nava sattāvāsā 九有情居, 九衆生居
nava samādhi-cariyā 九定行, 九三摩地行
nava sīvathika-pabbāni 九墓節
nava sotāni=nava vaṇa-mukhāni 九箇の孔, 九の孔, 九孔
nava hetū 九因〔三善因, 三不善因, 三無記因〕
navāvuta 新縫
na viññeyya dhamma 非所識法
na vīthiṁ jānāti 道路を知らず
Navo〔經〕年少 S **21** 4
Na saṁkamati paṭisandhigahaṇa-pañho〔身〕轉移せずして結生するやの問 Mil 2〔5〕5
Na santi〔經〕あらず S **1** 34
na sukha-sahagata dhamma 非樂俱行法
nahātaka=nhātaka 洗浴者, 洗浴せる者, 沐浴者, 淨行者, 梵行期終了者
nahāna=nhāna, sināna 沐浴, 洗浴, 水浴
nahāna-ghara 浴室
nahāna-coḷa 沐浴布
nahāniya-cuṇṇa 洗粉, 順浴散, 粉末石鹸, 浴粉
nahāpaka 浴僕, 浴師, 令浴者, 湯屋の浴僕, 侍浴者, 助浴者, 助浴師
nahāpana 沐浴
nahāpita 理髮師, 剃頭師
nahāpita-sippa 理髮技
nahāmin 理髮業者
nahāru=nhāru 筋, 腱〔三十二身分の一〕
nahāru-daddula 筋革, 腱の片
nahuta〔大數〕ナフタ, 那由多, 那庾多, 那由他
na hetu ahetuka dhamma 非因無因法, 非因法にして無因なる
na hetu dhamma 非因法
Nahetu-sahetuka-duka 非因有因二法 Duka 6
nahetusahetukaduka-kusalattika 非因有因二法善三法 Duka-tika 27
nahetusahetukaduka-hetuduka 非因有因二法因二法 Duka-duka 41
na hetu sahetuka dhamma 非因有因法, 非因法にして有因なる
Na hoti tathāgato〔經〕如來無 S **24** 16
na hoti tathāgato paraṁ maraṇā 如來は死後有ることなし, 如來は死後無なり, 如來は死後存在せず, 如來は死後に於て存在せず, ターガタは死後存せず
nāga ① ナーガ, 那伽, 龍, 象, 大象, 龍象, 龍蛇, 龍王, 龍神, 那伽象, 那伽鬼 ②〔樹, 花〕ナーガ, いぬしで, 蒟醬, 那伽, 赤鐵
Nāga ①〔カーラリヤ山住比丘〕龍 ②〔毘婆尸佛の信士〕ナーガ ③ 那伽, マハーダーティカ, マハーナーガ王 ④=Nāgadīpa〔島〕ナーガ, 龍 ⑤〔精舍〕ナーガ ⑥〔經〕象 S **4** 2; **20** 9 ⑦〔經〕龍 S **45** 151 ⑧〔經〕大象 A **9** 40
nāga-kaññā 龍女
nāgakesara〔花〕ナーガケーサラ
Nāgakesariya〔比丘の譬喩經〕ナーガケーサリヤ Ap 3 242
Nāgacatukka〔池〕ナーガチャトゥッカ
nāgati-gamana 非不應行而行
nāgatta 龍界
Nāgadatta ①〔比〕ナーガダッタ, 那伽達多 ②〔經〕那伽達多 S **9** 7
nāga-danta 象牙, 壁鉤
nāga-dantaka 釘
Nāgadassaka, Nāgadāsaka〔王〕ナーガダッサカ, ナーガダーサカ, 那伽陀娑迦, 那伽逐寫迦, 那迦逐寫迦, 那迦逮娑迦
Nāgadīpa〔地名〕ナーガディーパ, 龍ヶ島
Nāgadīpāgamana 龍が島來降 Mv 1, 1
Nāgapabbata ①〔村〕ナーガパッバタ②=Tobbalānāga〔ローハナにある精舍〕ナーガパッバタ, 龍山
Nāgapallavaka〔比丘の譬喩經〕ナーガパッラヴカ Ap 3 412

Nāgapālī〔尼〕ナーガパーリー

Nāgapupphiya〔比丘の譬喩經〕ナーガプッピヤ Ap 3 158, 512

Nāga-petavatthu 象鬼事 Pv 1 11

nāgabalā〔植〕ナーガバラー

nāga-bhavana 龍宮，龍界，龍の世界

nāga-bhoga 象の鼻

nāga-māṇavikā 龍女

Nāgamālaka ナーガ道場

nāgamālika〔樹〕ナーガマーリカ

Nāgamittā〔尼〕ナーガミッター

Nāgamuṇḍā ①〔ブーサバーの母〕ナーガムンダー ②〔婢〕

nāga-rājan 龍王，象王

nāga-latā〔樹〕ナーガラター，ナーガ蔓，蒟醬の蔓，檳榔

Nāga-vagga 象品 Dhp 23 vv 320～333

Nāgavaḍḍhana〔精舍〕ナーガヴッダナ

nāga-vata 龍務

nāga-vatika 龍務者

nāga-vana 象林，象の林，飼象林

nāgavanika ① 捕象師 ②〔植〕ナーガヴニカ

nāgavallika〔樹〕ナーガヴッリカ

Nāga-vimāna 象天宮 Vv 41, 60

Nāga-saṁyutta ナーガ・サンユッタ，龍相應 S 29 1～50

Nāgasamāla〔比，佛の侍者〕ナーガサマーラ，那伽娑摩羅，那伽波羅〔譬喩經〕Ap 3 71

Nāgasamāla-vagga ナーガサマーラ品 Ap 3 71～80

Nāgasamālā〔スヂャータ佛の第二比丘尼〕ナーガサマーラー，龍共鬘

Nāgasāla〔ka〕, Nāgasālā〔房舍〕ナーガサーラ〔カ〕，ナーガサーラー

Nāgasena ①〔比〕ナーガセーナ，那伽斯那，那先 ②〔王〕ナーガセーナ，那伽斯那

Nāgasoṇḍi〔池〕ナーガソンディ

Nāgā ①〔スヂャータ佛の第一比丘尼〕ナーガー，龍 ②〔フッサ佛の信女〕ナーガー③〔尼〕ナーガー

nāgādhipati-vimāna 龍宮

nāgāpalokita 象の眺むるが如く，象の視る時の如く

Nāgita〔比，佛の侍者〕ナーギタ，那耆多，那祇多

Nāgindapalliya〔比〕ナーギンダパッリヤ

nāgī 龍女

nāṭaka 芝居

nāṭakā～naṭṭakī 舞姫

Nāṭapuriyā〔都〕ナータプリヤー

Nāṭika＝Nātika, Nādika〔村〕那提迦，那陀村，那地迦，那梨，那梨迦

Nātaputta＝Nigantha, Nigantha-nātaputta ナータプッタ，若提子，親子

Nātika＝Nādika, Nāṭika〔村〕ナーティカ，那提迦，那陀村，那地迦，那梨，那梨迦

Nātika Giñjakāvasatha＝Giñjakāvasatha〔堂〕ナーティカの甎堂

nātha ① 救護 ② 主，守護者＝ギシュヌ

Nātha ① ナータ神＝ギシュヌ②〔アディカーリ官〕ナータ ③〔ナガラギリ官〕ナータ ④〔ランカーギリ官〕ナータ ⑤〔經〕救護 A 10 17, 18

nātha-karaṇa dhamma 救護事法，依因法〔十種〕

Nātha-vagga 救護品 A 10 11～20

Nāthasurālaya ナータ神祠

nādāḷvāra〔官職〕ナーダールヴーラ

Nādika＝Nātika, Nāṭika〔村〕ナーディカ，那提迦，那陀村，那地迦，那梨，那梨迦

nādiya〔樹〕ナーディヤ

Nānacchanda-jātaka ナーナッチャンダ・ヂャータカ，諸種願望本生物語 J 289

nānatta 異性，種種性，種種

nānatta-kathā 種種論，種種の事の論，異相論，雜論，雜多論，其の他の雜論，統一なき話〔無用論の一〕

nānatta-kāya 種種の身，異類の身，身異

nānatta-naya 別異の理

Nānatta-vagga 種種品 S 14 1～10

nānatta-saññā 異想，種種想，異類の想，想異

nānattasaññī attā ca loko ca 我と世界とは異

想を有するものなり
nānatta-suñña 異性空
nānattekatta-rūpanimittānaṁ dassanaṭṭhe paññā 異性一性の色相を見る義の慧
nānattekatta-viññāṇacariyā-pariyogāhane paññā 異性一性の識行を深解する慧
nānattekatta-sadda-nimittānaṁ pariyogāhane paññā 異性一性の聲相を深解する慧
nānatte ñāṇaṁ 種種相の智
nānatte paññā 異性の慧
Nānāekakiccakaraṇa-pañho 多種なるが一所作をなすやの問 Mil 2〔1〕15
nānā-karaṇa 殊異
nānākhaṇika 異刹那〔業〕
nānākhaṇika-kamma 異刹那業
nānākhaṇika-kammapaccaya 異刹那業緣
Nānātitthiya-vagga 種種外道品 S 2 21～30
Nānātitthiyā〔經〕種種の外道師 S **2** 30
Nānātissa〔精舍〕ナーナーティッサ
nānā-dhamma＝sabba-dhamma 種種法
nānādhammappakāsanatā-paññā 種種法を開演する慧
nānā-dhātu 種種界
nānādhātu-loka 種種界世間
nānādhimutti 種種意樂，種種勝解
Nānādhimutti〔經〕種種勝解 S 52 19
nānā-nāma 異名，種種名
nānāvajjana 多轉向
nānā-vatthu 別異事
nānā-vāda 異說
nānāvihita-iddhividhā＝anekavihita-iddhividhā 諸種の神通，多種の神通，多端神變，種種の神通，種種の神變
nānā-saṁvāsaka 異住者，異住〔者〕，異住處者
nānāsaṁvāsaka-bhūmi 異住處者地，不同住地
nānā-sīmā 異界，異境界者
nānāsīmā-ṭhita 異界住者
nānubyañjanaggāhin，nānuvyañjanaggāhin 隨相に執せず，別相を執らず
nāparaṁ itthattāya 更にかかる狀態に來ることなし，更にまた有を受けず，更に生を受くる事なし，後有なし
Nābhaka，Nabhaka（A）〔國〕ナーバカ
Nābhapaṁti（A），Nabhiti（A），Nabhapaṁti（A）〔國〕ナーバパンティ
Nābhasa〔龍〕ナーバサ，那陀瑟
nābhi ① 臍 ②＝nābhika 轂
nābhika＝nābhi 轂
nābhi-maṇḍala 臍圓
nāma 名
Nāma〔經〕名 S **1** 61
nāma-kamma 命名，名業
nāma-kāya 名身
nāma-gotta 名姓
nāmañ ca rūpañ ca 名と色
nāma-dhamma 名法
nāma-dheyya 授名
Nāma-pañho 名の問 Mil 2〔1〕1
nāma-mūla 名根
nāmamūla-sahajāta dhamma 名根倶生の法
nāma-rūpa 名色，名と色
Nāma-rūpa〔經〕名色 S **12** 58
Nāmarūpa-pañho 名色の問 Mil 2〔2〕8
Nāmarūpapaṭisandhigahaṇa-pañho 名色結生の問 Mil 2〔2〕6
nāmarūpaparicche da-kathā 名色識別論議＝論藏
nāmarūpa-vavatthāna 名色差別
nāmarūpokāsa 名色容有
nāma-lesa 名似
nāma-vavatthāpana-paññā 名差別慧
nāma-samuṭṭhāna rūpa 名等起の色
Nāmasiddhi-jātaka ナーマシッヂ・ヂャータカ，依名得運本生物語 J 97
nāmokāsa 名容有
nāyaka 導師
nāraṅga 蜜柑
Nārada ①〔佛〕ナーラダ，那羅陀②〔スヂャータ佛の侍者〕ナーラダ，那羅陀 ③〔比〕ナーラダ，那羅陀 ④＝Nārada-kassapa〔神，梵天〕ナーラダ，那羅陀 ⑤〔苦行者，仙，婆〕ナーラダ，那羅陀 ⑥＝Cullanārada〔那

羅陀仙の子〕那羅陀 ⑦〔王〕那羅陀 ⑧〔大臣〕ナーラダ ⑨〔醫〕ナーラダ ⑩〔山〕ナーラダ，那羅陀
Nārada-kassapa=Nārada 〔梵天〕那羅陀迦葉
Nāradakassapa-jātaka=Mahānāradakassapa-jātaka 那羅陀迦葉本生話
Nāravāhana〔宮殿〕ナーラヴーハナ
nārāca〔箭〕ナーラーチャ，鐵杵
Nārāyaṇa ①〔天〕那羅延 ②〔大臣〕ナーラーヤナ ③〔ダミラ人〕ナーラーヤナ
Nāri〔林〕ナーリ
Nārī〔宮殿〕ナーリー，婦女
Nāla=Nālaka〔村〕ナーラ，那羅
Nālaka ①〔阿私陀仙の甥，婆，比〕ナーラカ，那羅迦 ②=Nāla 〔村〕ナーラカ，那羅，那羅迦
Nālaka-paṭipadā=Nālaka-sutta ナーラカ道，ナーラカ行道
Nālaka-sutta 那羅迦經 Sn 3 11
Nālanda〔經〕那爛陀 S 35 126
Nālanda-vagga 那羅犍陀品 S 47 11〜20
Nālandā ①=Nāḷandā〔城，村〕ナーランダー，那蘭陀，那爛陀，那羅，那羅犍陀 ②〔經〕那羅犍陀 S 47 12
Nālā〔ウダヤー世王妃〕ナーラー
Nālāgiri=Nāḷāgiri 〔象〕ナーラーギリ，那羅祇梨
nāli=nāḷi〔量〕ナーリ
Nālika〔山〕ナーリカ
nālikera=nāḷikera〔樹〕椰子，那利蓟羅
Nālikeramahāthambha 〔池〕ナーリケーラマハータンバ
Nālikeravatthu〔渡〕ナーリケーラヴットゥ
Nāḷandā=Nālandā 〔城，村〕ナーランダー，那蘭陀，那爛陀，那羅，那羅犍陀
Nāḷāgiri=Nālāgiri 〔象〕ナーラーギリ，那羅祇梨
nāḷi=nāli〔量〕ナーリ
nāḷika ① 竹筒，藥袋 ②〔量〕ナーリカ，ナーリ量
Nāḷika〔ダミラ人〕ナーリカ
nāḷikā-gabbha 長房
Nāḷikīra〔王〕ナーリキーラ
nāḷikera=nālikera〔樹〕ナーリケーラ，那利蓟羅，椰子
nāḷikera-tela 椰子油
Nāḷikeradāyaka〔比丘の譬喩經〕ナーリケーラダーヤカ Ap 3 507
Nāḷijaṅgha〔婆〕ナーリヂャンガ，那利鵞伽
nāḷi-paṭṭa 帽子
Nāḷisobbha〔地名〕ナーリソッバ
nāvaṭṭha 船物
nāvā 舟，船，船舶，丸木舟
Nāvā〔經〕船舶 S 45 158
Nāvāgirisa〔村〕ナーヴーギリサ
nāvābhirūhana-samaya 乘船時
nāvā-lakanaka 錨
Nāvā-vimāna 船天宮 Vv 6, 7, 8
nāvā santāraṇī 渡舟
Nāvā-sutta 船經 Sn 2 8
nāvika 渡守，舟師
Nāvindaki〔人〕ナーギンダキ
nāsa-kūpa 鼻腔
nāsacchidda 鼻孔
nāsacchinna 鼻截られし者
nāsikaṭṭhi 鼻骨，鼻腔
nāsita 擯滅せらる
nāsitaka 擯滅者，擯滅人，被擯者
Nāsinna〔村〕ナーシンナ
nāseti 擯滅す，滅擯す
Nāsenti〔經〕放逐 S 37 30
nāhaṁ lokena vivadāmi 我は世間と諍はず
Niṁka ①〔外，天子〕ニンカ，任迦 ②〔鹿〕ニンカ
Nikaṭa ①〔比〕ニカタ，尼迦陀 ②〔塞〕ニカタ，尼迦吒
nikati 詐欺，詐術，奸詐，騙詐，虛僞，僞瞞
nikati-paññā 奸智
nikanti 欲求，欣求
Nikapennaka-padhānaghara〔精舍〕ニカペンナカパダーナガラ
nikāya ①〜āgama 尼柯耶，部 ②部派，部，

宗派
Nikumba〔國〕ニクンバ
niketa 居家，住處
niketa-sārin 居家者，標榜者＝在家者
nikkaḍḍhati 驅出す
nikkama-dhātu 精勤界，精進，出界
nikkāma 無欲者
nikkāraṇa 無所得
nikkha＝nekkha ニッカ，金貨，貨幣，金環，黃金の環，首飾，頸飾
Nikkhanta〔經〕出離 S 8 1
nikkhamant 出口
nikkhala〔貨幣〕ニッカラ
nikkhepa 捨
Nikkhepa-kaṇḍa 概說品 Dhs 3
nikkhepana-dhamma 捨棄すべき法
nikhādana 鑿，鋸，鍬
Nigaṇṭha ①＝Nigaṇṭha-nātaputta〔外〕ニガンタ，尼乾，尼乾子，尼乾提，尼乾陀，尼揵，尼揵子，尼揵陀，離繫，離繫派 ②〔經〕尼揵子 A **10** 78
Nigaṇṭha-Nātaputta＝Nigaṇṭha，Nigaṇṭha-putta〔六師外道の一〕ニガンタナータプッタ，尼揵子，尼揵親子，尼揵陀若提子，尼揵若提子，尼乾子，尼乾子若提子，尼乾若提子，尼乾陀若提子，離繫若提子
nigaṇṭha-parisā 尼乾陀集團
Nigaṇṭha-putta＝Nigaṇṭha-nātaputta 離繫派，尼乾子，尼揵子
nigaṇṭhūposatha 尼乾布薩
Nigaṇṭho〔經〕尼乾陀 S **41** 8
nigama 町，聚落
nigama-kathā 町村論，町村の話，町論，聚落論，村里論〔無用論の一〕
Nigamaggāmapāsāda〔精舍〕ニガマッガーマパーサーダ
Nigamana 結語〔淸淨道論の〕
nigama-bandhana 町縛
Nigaya〔ダミラ人〕ニガヤ
Nigaḷadha〔ダミラ人〕ニガラダ
nigoha(A)＝nigrodha〔樹，果〕榕樹，尼拘律〔陀〕，尼拘留他，尼俱律陀，尼俱盧陀，泥瞿陀
Nigoha-kubhā (A)＝Nigrodha-guhā 榕樹洞院
niggaha 負處，墮負，論破，折伏
Niggaha-kathā 制御論 KV **16** 1
niggahīta 負處に墮す
niggāhaka 壓制者
nigguṇṭhi＝nigguṇḍi〔樹，花，果〕ニッグンティ
Nigguṇṭhipupphiya〔比丘の譬喩經〕ニッグンティプッピヤ Ap 3 327
nigguṇḍi＝nigguṇṭhi〔樹，花，果〕ニッグンディ
Nigguṇḍipupphiya〔比丘の譬喩經〕ニッグンディプッピヤ Ap 3 205
Nigguṇḍivālukā〔渡〕ニッグンディヴールカー
nigrodha〔樹〕ニグローダ，尼拘律，尼拘律陀，尼拘留他，尼俱律陀，尼俱盧陀，泥瞿陀，榕樹
Nigrodha ①〔比〕尼拘律陀 ②〔沙彌，比〕ニグローダ，泥瞿陀，尼拘律，尼俱律陀③〔苦行者，婆〕ニグローダ，尼俱陀 ④〔王〕ニグローダ ⑤〔王臣〕ニグローダ ⑥〔童子〕尼拘律 ⑦〔鹿王〕ニグローダ，尼俱盧陀
Nigrodha-Kappa〔比，鵬耆舍の和尙〕ニグローダカッパ，尼俱律陀劫波，尼拘盧陀劫波，尼瞿陀劫波
Nigrodha-jātaka ニグローダ・ヂャータカ，尼拘律童子本生物語 J 445
nigrodha-parimaṇḍala 身の周，尼拘律樹の如し〔三十二相の一〕
Nigrodhamāragalla〔地方〕ニグローダマーラガッラ
Nigrodhamiga-jātaka ニグローダミガ・ヂャータカ，榕樹鹿本生物語 J 12
nigrodha-rājan 尼拘律樹王
Nigrodhasāmaṇera-dassana 尼拘律沙彌會見 Mv 5，3
Nigrodhārāma〔園〕ニグローダ園，尼拘律園，尼拘律樹園，尼拘盧陀園，尼俱律園
nigha 激情，搖

nighaṇḍu 語彙，字彙，物名集，吠陀名義集
Nighaṇḍu〔天，夜叉〕ニガンドゥ，尼延豆
Nighā〔經〕搖 S 45 168
nicca 常，常住
niccaggi 常の火
nicca-dāna 常時の施物，常施
nicca-pavāraṇā 常請，常施請
nicca-bhatta 常恒食，常食，常住食，常施食
nicca-bhattaka, nicca-bhattika 常施食，常施食者
nicca-bhikkha 常施物，常時の施
niccammagāvūpamā 皮膚なき牛の譬喩
niccammā gāvī 皮なき牛
Niccavinodavāṇava〔ダミラ人〕ニッチャギノーダヴーナヴ
nicca-saññā 常想
nicca-sāra 常堅實
Niccelaviṭṭhika～Niṭṭhilaveṭṭhi〔村〕ニッチェーラギッティカ
nicchavi 無皮人
Nicchavitthi—aticārinī〔經〕皮膚を剝がれし女—姦婦 S 19 13
nicchavī itthī 皮膚を剝がれし女，無皮女
Nicchavorabbhi〔經〕皮膚なき屠羊者 S 19 4
nicchāta 無欲
nicchāreti 下痢す
nijjara-vatthu 滅事，盡事〔十種〕
nijjarā 滅盡，滅〔三種〕
Nijjarā〔經〕滅 A 10 106
nijjarā-visuddhi 滅盡清淨〔三種〕
nijjhatti 審諦，處置，靜觀，和睦
nijjhanti-bala 審慮力
nijjhāna-khanti 歡受容認，意見の歡受認容，見審諦忍，見歡受
Nijjhāma-taṇhā〔地獄〕大渴
nijjhāmataṇhika-peta 燒渴餓鬼
nijjhāmā paṭipadā 劇苦道
nijhati（A）=nijjhatti 靜觀，審諦，處置
niṭṭha 依憑
niṭṭhā 究極，成就
Niṭṭhā〔經〕究竟 A 10 63
Niṭṭhilaveṭṭhi～Niccelaviṭṭhika〔村〕ニッティラヱッティ
niṭṭhuriya 嫉覗
nittharaṇa 度脫
nidassati dhammaṁ〔正〕法を放棄す
nidāna ニダーナ，因，因緣，因由，序，緒
Nidāna〔經〕因 S 12 60
Nidāna-kathā ニダーナカター，因緣物語〔本生經〕J N 1～4
Nidāna-vagga ① ニダーナ・ヷッガ，因緣篇〔相應部經〕S 12～21 ② 因緣品〔論事〕
nidāna-saṁgaha 因緣聚
Nidāna-saṁyutta ニダーナ・サムユッタ，因緣相應 S 12 1～93
nidāna-sambhava 緣起
Nidānādi-kathā 因緣等の論 VM（序語）
nidāhaka 收藏人
niddasa bhikkhu 無十の比丘
niddasa-vatthu～niddesa-vatthu 無十の事
niddā 眠，睡眠
Niddā tandi〔經〕睡眠懶惰 S 1 16
niddāna 草刈
niddāya vasaṁ 睡眠の領域
niddesa 問答，細說，義釋
Niddesa ニッデーサ，尼泥沙，義釋，義釋經〔小部經の一〕Khuddaka 11
niddesa-vatthu～niddasa-vatthu 殊妙事〔七種〕
Niddesa-vāra ① 義釋分 ② 廣說分
Niddesavāra-vaṇṇanā 緣廣說分之釋
Niddhamana〔經〕消 A 10 110
niddhamana dhamma 消法〔十種〕
nidhi 伏藏，寶藏，財寶
Nidhikaṇḍa-sutta 伏藏經 Khp 8
nidhi-mukha 寶藏，財寶，妙寶
nindā 毀，毀呰，非難，誹謗，難責
nindā-pasaṁsā 毀譽褒貶
nindā-rosa 毀恚
nindārosin 毀恚者
ninna 低地
ninnādin 廣博，大音〔八音の一〕
ninhāta-pāpaka 洗除惡者

nipaka 智者，常委，愼しみ深き
nipaccākāra 五體投地
nipajjati 偃臥す，臥憩す
Nipannapaṭimā〔窟〕ニパンナパティマー，臥像
nipuṇa 聰慧者，聰敏，能察，精智，巧妙，微妙，怜悧，完成者
Nipuṇa=Nipura〔王〕ニプナ
Nipuṇaṁ〔經〕巧妙聽細 S 43 17
nipuṇagāmi magga 巧妙に達するの道
nipuṇattha 微妙の義
Nipura=Nipuṇa〔王〕ニプラ，尼浮羅
nippapañca 無障礙，無戲論，戲論滅せる，離戲論
Nippapañca〔經〕無戲論 S 43 23
nippapañcagāmi magga 無戲論に達するの道
Nippapañca-pañho 無障礙の問 Mil 4〔6〕2
nippariyāya 非異門，論說，阿毘達磨說，純理論
nippariyāya-desita 非異門說
nippītika 無喜
nippītika jhāna 無喜禪
nippītika samādhi 無喜定
nippītika-sukha 無喜樂
nippītikārammaṇa-sukha 無喜緣樂
nippurisa-turiya 女の樂師
nippurisā 玉女
nippesika 方便硏求者，激磨
nippesikatā 騙詐，激磨
nipphanna〔-rūpa〕完〔色〕
nibbatti 生成
nibbatti-lakkhaṇa 成相，生相
nibbaddha-telaka nāliyā-sāka 油にて揚げたる野菜の莖
nibbāna 涅槃，寂滅，無欲林
Nibbānaṁ〔經〕涅槃 S 38 1；39 1；43 34；A 9 34，48
Nibbāna-kathā=Parinibbāna-kathā 涅槃論
nibbānagāmi magga 涅槃に達するの道
nibbāna-dhātu 涅槃界
nibbāna-nagara 涅槃の都
Nibbāna-ninna〔章〕涅槃趣向 S 45 115～126
nibbāna-paccavekkhaṇa 涅槃省察
nibbāna-pada 涅槃句，涅槃の句，涅槃の道
nibbāna-pariyosāna 涅槃を究盡と爲す
Nibbāna-pura 涅槃の町
nibbāna-bhāva 涅槃性
Nibbānalabhana-pañho 一切の人が涅槃を得るやの問 Mil 2〔4〕9
Nibbāna-saṁyutta=Amata-saṁyutta 涅槃相應
Nibbānasacchikaraṇa-pañho 涅槃作證の問 Mil 4〔9〕6
nibbāna-saññā 涅槃想
nibbāna-sampatti 涅槃成就
Nibbānasukhabhāva-jānana-pañho 涅槃の樂を知るやの問 Mil 1〔4〕10
nibbānasukha-sampatti 涅槃樂成就
Nibbānassa atthibhāva-pañho 涅槃存在の問 Mil 4〔7〕8
Nibbānassa dukkhamissabhāva-pañho 涅槃は苦を雜ふるやの問 Mil 4〔9〕4
Nibbānassa-patiṭṭhāna-pañho 涅槃住立の問 Mil 4〔9〕7
nibbānānupassanā 涅槃觀
nibbāne ñāṇaṁ 涅槃智
nibbidā 厭，厭患，厭離，厭惡，厭汚，厭背，出離
Nibbidā〔經〕厭患 S 46 20；51 4
nibbidā-ñāṇa 厭惡智，厭離智
nibbidānupassanā 厭離觀，厭離隨觀，厭惡觀，厭觀，厭逆隨觀
nibbidānupassanā-ñāṇa 厭離隨觀智
nibbidā-virāga 厭背離貪，厭離，厭患離貪
nibbindati 厭患す
Nibbindā〔水路〕ニッビンダー
nibbujjhati 角力す
nibbuta 寂滅，涅槃に達し
nibbuti 淸涼，寂滅
nibbuddha 角力
Nibbedha〔經〕決擇 S 46 28
nibbedha-bhāgin 決擇分，順決擇分
nibbedha-bhāgiya magga 決擇分の道

nibbedha-bhāgiya samādhi 決擇分定，順決擇分定〔四定の一〕
nibbedha-bhāgiya sīla 決擇分戒
Nibbedhika〔經〕決擇 S 55 74
nibbedhika-pañña 決擇慧者，決擇者，決慧〔者〕，透徹する智慧者，徹する智慧〔者〕，貫通慧者，擇慧者
nibbedhika-paññatā 擇慧
nibbedhika-paññā 決擇慧，擇慧，透徹せる智慧，明達慧，達智，銳智
nibbedhika-pariyāya 決擇法
nibbedhikapariyāya dhammapariyāya 決擇法の法門
nibbedhiya 開顯論
nibbhoga 無受用者，快樂を缺くもの
nimantana-bhatta 招待食，請食
nimantita 請待，請待を受く，請食
Nimi〔王，佛の前生〕ニミ，尼彌，轂
Nimi-jātaka ニミ・ヂャータカ，尼彌王本生物語 J 541
nimitta 相，因相，相貌，前兆，兆相，瑞兆，徵，徵相，特相，卜占，卜相，占相，占術，現相，本，婬相，界標，標識
nimitta-kamma 相業，示相業，現相
nimitta-karaṇa 相因
nimitta-kosalla 相善巧〔三種〕
nimitta-mattā 少相女，不全形
Nimittavyākaraṇīya〔比丘の譬喩經〕ニミッタヴヤーカラニーヤ Ap 3 467
Nimittasaññaka〔比丘の譬喩經〕ニミッタサンニャカ Ap 3 325
Nimirāja-cariyā〔經〕ニミ王の所行 Cp 1 6
Nimila=Sūranimila〔戰士〕ニミラ
Nimokkha〔經〕解脫 S 1 2
nimba〔樹，澁味の植物〕ニンバ，拈筏，絍婆，荏婆，苦味ある樹
nimba-kosa 荏婆樹空洞
nimma-nimma deva 化樂天群
nimmala 離垢者
Nimmala〔戰士〕ニンマラ
nimmātar 化生主，化作者，化者，造者
Nimmāna～Nimmānarati〔天〕變化
nimmānarati 化樂〔欲〕
Nimmānarati〔天〕化樂，樂變化
Nimmānarati deva 樂變化天
nimmita 化人，化神
Nimmita ①=Nimmānarati 所化〔天〕②〔傳。轉輪王〕ニンミタ
Nimmitapura〔園〕ニンミタプラ
nimmita-rūpa 化作色
niyata 決定，決定者，決定人
Niyata-duka 決定二法 Duka 98
niyataduka-kusalattika 決定二法善三法 Duka-tika 107
niyata dhamma 定法，決定法
niyata puggala 決定人
niyata-micchādiṭṭhi 決定邪見
niyata-micchādiṭṭhika 決定邪見者
Niyatassa niyāma-kathā 決定者入決定論 KV 13 4
niyatā āpatti 決定罪
niyati 決定
Niyama〔地名〕ニヤマ
Niyarāya〔ダミラ人〕ニヤラーヤ
niyassa-kamma～nissaya-kamma 應責所作，依止羯磨
niyāma 決定
niyāmaka 船頭
Niyāma-kathā 決定論 KV 5 4；6 1
niyāma-gamanāya ñāṇaṁ 決定に入る智
niyāmatā 決定性
Niyāmokkanti-kathā 入決定論 KV 4 8
Niyelatissa〔精舍〕ニエーラティッサ
niyyati 梵天界に達す
Niyyanti〔園〕ニッヤンティ
niyyātar 先達
niyyāna 出離，出
Niyyānaka-sutta 船乘りの經典
niyyānika 出，出離，解脫を欲す
Niyyānika-duka 出離二法 Duka 97
niyyānikaduka-kusalattika 出離二法善三法 Duka-tika 106

niyyānika dhamma 出離法，出法
niyyānika-sāsana 解脱教
niyyāsa 樹脂
niraggala, niraggaḷa 無遮會，無障礙，無鎖鑰，閂*
niraggaḷa=niraggala 戸を外せり，閂を除きし者
nirattan 非我
nirattha kaliṅgara 無用の木片
niranusaya 無隨眠
nirabbuda 〔大數〕ニラッブダ，尼羅部陀，尼剌部陀
Nirabbuda ①〔傳◦轉輪王〕ニラッブダ ②〔地獄〕ニラッブダ，尼羅浮陀，尼剌部陀
niraya=naraka 地獄，奈落，那落，泥犁，淵
niraya-kathā 地獄の論
Niraya-dukkha=Devadūta-sutta 地獄苦
niraya-pāla 獄卒
Nirayapāla-kathā 獄卒論 KV 20 3
niraya-bandhana 地獄縛
niraya-magga 墮地獄の道
niraya-loka 地獄世間
Niraya-vagga 地獄品 Dhp 22 vv 306～319
niraya-vāsin 地獄住者
Niraya-sagga〔經〕地獄天界 A 10 200, 201
nirāmisa 無味，無食欒，無染，無染汚，非愛染，非物質的，精神的，離財
nirāmisa-adukkhamasukha-vedanā 非物質的不苦不樂受，精神的不苦不樂受
nirāmisa-dukkhavedanā 非物質的苦受，精神的苦受
nirāmisa vimokkha 非愛染解脫，無食樂の解脫
nirāmisa-sukha 無染汚の樂，無染樂，非物質的樂，精神的樂
nirāmisa-sukhavedanā 非物質的樂受，精神的樂受
nirāmisā upekkhā 無食樂の捨
nirāmisā pīti 無食樂の喜，離財の喜
nirārambha yañña 劬勞を伴はざる祀
nirāsa 無希望〔者〕，無求，欲なし
nirāsa puggala 無希望の人
nirāsā 無求，無希望，欲なし
nirujjhamāna khaṇa 現滅の刹那
nirutti 詞，辭詞，訓釋詞，言語，言語學，言葉
nirutti dhamma 詞法
nirutti-nānatte paññā 詞の種種相の慧
nirutti-paṭibhāna 詞辯
nirutti-paṭisambhidā 詞無礙解，辭無礙解
nirutti-paṭisambhide ñāṇaṁ 詞無礙解智
nirutti-patha 言路，詞道，言語道，詞別の道，對話の用法
Niruttipatha〔經〕言路 S 22 62
nirutti-patha dhamma 詞道法
nirutti-pada 詞句，聖典の語義
nirudaka-kantāra 無水難處
nirupadhi 無依止，無餘，無餘依，餘依なき，生質なき，依著なく，依なきもの
nirupadhika 依著なく，依なきもの，生質なき
nirupadhi-sukha 無依樂
nirodha 滅，滅盡，止滅，滅盡〔定〕
Nirodha ①〔經〕滅 S 28 9; 46 27, 76 ②〔經〕滅盡 S 35 42; A 9 60
Nirodha-kathā 滅論 KV 2 11; 10 1
nirodhagāminī paṭipadā 滅に趣く道
nirodha-taṇhā 滅愛〔三愛の一〕
nirodha-dhamma 滅法，滅の法，滅盡の法，滅盡法
Nirodha-dhamma〔經〕滅法 S 23 22, 34, 46
nirodha-dhātu 滅界〔三界の一〕
nirodha-nibbānadhātu 滅盡涅槃界
Nirodha-nibbāna-pañho 滅が涅槃なりやの問 Mil 2〔4〕8
Nirodha-vagga 滅品 S 46 67～76
Nirodha-vāra 滅分
nirodha-sacca 滅諦
nirodha-saññā 滅盡想，滅想
nirodha-saññin 滅想〔者〕
nirodha-samāpatti=saññāvedayitanirodha-samāpatti 滅盡定，滅定
Nirodhasamāpatti-kathā 滅盡定論 KV 6 5
nirodha-samāpattiyā ñāṇaṁ 滅盡定の智
nirodhasamāpatti-vipassanā 滅定觀

nirodhasamāpattisamāpajjana-samatthatā 滅定に入定する可能性
nirodha-samāpanna 入滅定者，滅盡定に入りたる者，滅盡定に入れる者，滅盡定者
nirodhānupassanā 滅隨觀，滅觀，盡觀，盡滅隨觀
nirodhe ñāṇaṁ 滅智，滅に於ける智〔四智の一〕
Nilavāsin〔比〕ニラヴーシン
Niliya〔王〕ニ〔ー〕リヤ
Nilīya〔獵師〕ニリーヤ
nivāta 柔順者
Nivāpa-sutta ニヴーパ・スッタ，撒餌經 M 26
nivāsaṭṭhāna 住處
nivāsana 下衣，裙
nivāseti ① 下衣を著る，內衣にて覆ふ，內衣を著す ② 內衣〔衆學一〕
nivissa-vādin 執著論者
nivuta 有覆者
Nivuta-kathā 有覆論 KV 13 5
nivesana 住處，住屋，住居，宮殿
nivesanā 住著，執著
nisajjā 坐禪，安坐
nisada 挽臼
nisada-pota 磨石，小砥石
nisabha 牛王，牡牛，牛，雄者，人中の牛王
Nisabha ①〔アノーマダッシー佛の第一弟子〕ニサバ，人主 ②〔比〕ニサバ ③〔アッタダッシー佛の信士〕ニサバ，人主 ④〔山〕ニサバ，尼婆
Nisabhā〔宮殿〕ニサバー，人牛王
nisinna 坐せる，坐り
Nisinnapaṭimā〔窟〕ニシンナパティマー，坐像
nisīdati pallaṅkaṁ ābhujitvā 結跏趺坐す
nisīdana ニシーダナ，尼師壇，坐具，座具，敷具，敷布
nissaggiya=nissaggiya-pācittiya 尼薩耆
nissaggiya-cīvara 捨墮衣
nissaggiya-pācittiya=nissaggiya〔罪名〕ニッサッギヤパーチッティヤ，尼薩耆波逸提，捨墮 V 1 a 4; V 1 b 3
Nissaṅka=Kittinissaṅka〔王〕ニッサンカ
nissaṭṭha-patta 捨鉢
nissanda 等流
nissanda-phala 等流果
nissaya 依止，依，所依，所依止
Nissaya〔經〕依止 A 9 2
nissayaṁ dadāti 依止を與ふ〔資格十ヶ條〕
nissaya-kamma～niyassa-kamma 依止羯磨，應責所作 V 2 b 1, 9～12
nissayakamme aṭṭhārasavattaṁ 依止羯磨十八事 V 2 b 1, 11
nissaya-paccaya 依止緣，依緣〔二十四緣の一〕
nissayapaccaya-niddesa 依止緣廣說
nissaya-paṭippassaddhi 依止の解
nissaya-parivāra 依止眷屬
Nissaya-vagga 依止品 A 11 1～11
Nissaya-vāra 依止分
Nissayavāra-vaṇṇanā 依止分之釋
nissaya-sampanna 所依具足，基礎鞏固
Nissaya-sāmaṇera〔經〕依止沙彌 A 10 34
nissayācariya 依止せる阿闍梨
nissaraṇa 出要，出離，離，失去
nissaraṇajjhāsaya 出離意樂
nissaraṇa-paññā 出離慧
nissaraṇappahāna 出離斷
nissaraṇa-vimutti 遠離解脫，出離解脫
nissaraṇa-viveka 出離離
nissaraṇa-suñña 出離空
nissaraṇīya 去りて懺悔すべし，應退去，擯出
nissaraṇīya-dhātu 出離界
nissāraṇa 擯出，驅出
nissāraṇiya 擯出，應退去，去りて懺悔すべし
nissita 所依，依止，有依
nissita〔sīla〕依止〔戒〕
nisseṇi 梯，楷梯
Nisseṇikkhettaka〔地方〕ニッセーニッケッタカ
Nisseṇidāyaka〔比丘の譬喩經〕ニッセーニダーヤカ Ap 3 172
nihata 裁決，判定
nihitaṭṭhāna 貯藏處

nihīna-kamma 卑劣業，卑行
nihīna-kula 卑賤族
nīka〔鹿〕ニーカ
nīca-āsana 低き座
nīca-kula 卑賤〔族〕
nīca-kulin 卑族
nīca-citta 下意
nīca-mano 謙虚の意
Nīca-susānaka ニーチャスサーナカ，賤民墓地
Nīta〔比〕ニータ
nītattha 了義，已了の義
nītattha-suttanta 了義經
nīti 經國策，政治，正理說
Nītha〔辟〕ニータ
nīpa〔花，樹〕ニーパ
nīla 靑，藍，靑色
Nīla〔マヒンダ一世王の友〕ニーラ
Nīla-ārāma〔精舍〕ニーラ園，靑園
nīla-kasiṇa 靑遍〔十遍處の一〕
Nīlagalla-ārāma〔精舍〕ニーラガッラ園
Nīlagallaka ①〔將軍〕ニーラガッラカ ②＝Nīlagalla〔地方〕
Nīlagiri〔地名〕ニーラギリ
Nīlagehaparicchheda〔精舍〕ニーラゲーハパリッチェーダ
nīla-pupphi〔花〕ニーラプッピ
nīla-makkhika 靑蠅
nīla-maṇi 靑摩尼，綠柱玉
nīla-maṇḍūka 靑蛙
nīla-vaṇṇa 靑色
Nīlavaṇṇa-kusamāla〔海〕ニーラヴンナクサマーラ，靑色草鬘
nīla-vattha 靑衣，紺靑の衣
Nīlavāla〔渡〕ニーラヴーラ
Nīlavāhinī〔水路〕ニーラヴーヒニー
nīla〔sukka〕黑精，靑精
nīlābhijāti 靑生類
nīlika 靑
nīlī〔植〕ニーリー
nīvaraṇa 蓋
Nīvaraṇa〔經〕蓋 S **46** 40；A **9** 64
nīvaraṇa-gocchaka 蓋聚
nīvaraṇa c'eva dhamma nīvaraṇa-sampayutta ca 蓋法にして蓋相應なる，蓋蓋相應法
nīvaraṇa c'eva dhamma nīvaraṇīya ca 蓋法にして順蓋なる，蓋順蓋法
Nīvaraṇa-ceva-nīvaraṇasampayutta-duka 蓋蓋相應二法 Duka **48**
nīvaraṇa ceva nīvaraṇa-sampayutta dhamma 蓋蓋相應法，蓋法にして蓋相應なる
Nīvaraṇa-ceva-nīvaraṇiya-duka 蓋順蓋二法 Duka **47**
nīvaraṇa ceva nīvaraṇiya dhamma 蓋順蓋法，蓋法にして順蓋なる
Nīvaraṇa-duka 蓋二法 Duka **44**
nīvaraṇaduka-kusalattika 蓋二法善三法 Duka-tika 53
nīvaraṇa dhamma 蓋法
nīvaraṇanīvaraṇasampayuttaduka-kusalattika 蓋蓋相應二法善三法 Duka-tika 57
nīvaraṇa-nīvaraṇiyaduka-kusalattika 蓋順蓋二法善三法 Duka-tika 56
Nīvaraṇapahāna-vagga 斷蓋品 A **1** 2
Nīvaraṇa-vagga 蓋品 S **46** 31～40；A **5** 51～60
nīvaraṇa-vippayutta dhamma 蓋不相應法
nīvaraṇa-vippayutta dhamma anīvaraṇīya 蓋不相應法にして不順蓋なる
nīvaraṇa-vippayutta dhamma nīvaraṇīya 蓋不相應法にして順蓋なる，蓋不相應順蓋法
Nīvaraṇavippayutta-nīvaraṇiya-duka 蓋不相應順蓋二法 Duka **49**
nīvaraṇavippayuttanīvaraṇiyaduka-kusalattika 蓋不相應順蓋二法善三法 Duka-tika 58
nīvaraṇavippayutta-nīvaraṇiya dhamma 蓋不相應順蓋法，蓋不相應法にして順蓋なる
nīvaraṇa-sampayutta 蓋相應
nīvaraṇa-sampayutta c'eva dhamma no ca nīvaraṇa 蓋相應法にして非蓋なる，蓋相應非蓋法
nīvaraṇa-sampayutta ceva no ca nīvaraṇa dhamma 蓋相應非蓋法，蓋相應法にして非蓋なる

Nīvaraṇasampayutta-duka 蓋相應二法 Duka 46
nīvaraṇasampayuttaduka-kusalattika 蓋相應二法善三法 Duka-tika 55
nīvaraṇa-sampayutta dhamma 蓋相應法
Nīvaraṇāni〔經〕蓋 S 45 177
nīvaraṇiya ceva no ca nīvaraṇa dhamma 順蓋非蓋法，順蓋法にして非蓋なる
Nīvaraṇiya-duka 順蓋二法 Duka 45
nīvaraṇiyaduka-kusalattika 順蓋二法善三法 Duka-tika 54
nīvaraṇīya c'eva dhamma no ca nīvaraṇa 順蓋法にして非蓋なる，順蓋非蓋法
nīvaraṇīya dhamma 順蓋法
nīvāra 野生の穀類，生米，硬米，糙米，穱
nīvāla〔植〕ニーヴーラ
nekatika 詐僞者，欺瞞者
nekkha=nikkha 貨幣，金貨，金環，首飾
nekkhamma 出，出離，出要，離，厭離，離欲
nekkhammajjhāsaya 出家意樂
nekkhamma-dhātu 出離界，棄欲界〔三善界の一〕
nekkhamma-nissita 出離に依止せる〔受〕，出離に依る
nekkhamma-paṭipadā 出要行道
nekkhamma-pāramī出離波羅蜜〔十波羅蜜の一〕
nekkhamma-rati 出離の樂
nekkhamma-vitakka 出離尋，出離覺，離欲の考想〔三善尋の一〕
nekkhamma-saṁkappa 無欲の思，出離思，出離思惟，無欲念
nekkhamma-saññā 出離想，無欲想
nekkhammasita-upekhā 出離に依る捨，離に依る捨〔六種〕
nekkhammasita-domanassa 出離に依る憂〔六種〕
nekkhammasita-somanassa 出離に依る喜〔六種〕
nekkhammasitā upekkhā=nekkhammasita-upekhā 離に依る捨，出離に依る捨
nekkhamma-sukha 出離の樂，出離樂，無欲樂，厭離の樂，出家の樂
nekkhammādhimutta 出離信解
negama 市民，都人
Neṭṭūru〔地名〕ネットゥール
netta 眼
netti 嚮導者
Netti〔夜叉〕ネッティ
nettika 治水者，渠工，灌漑者
netthar 滅罪，罪を免るる道
nemantanika 請食を受け
nemantanika bhikkhu 受請の比丘
nemi 輞，車輞，輪*
Nemi ①〔辟〕ネーミ ②〔大臣〕
nemika 輞
nemitta 觀相者，占相者～次項
nemittaka=nemitta, nemittika, nemittiya 現相者，占相者
nemitta brāhmaṇa 占相婆羅門
nemittika=nemittaka, nemittiya 占相者，現相者
nemittikatā 示相，現相，占相
nemittiya=nemittika, nemittaka 占相師，占相者
Nemittiya〔人〕ネーミッティヤ
Nemindhara〔山〕ネーミンダラ，尼民陀羅，持輻山
Nemiya〔王〕ネーミヤ，尼彌耶
Nemisammata〔傳◦轉輪王〕ネーミサンマタ
neyya 所引導者，所化，未了
neyyattha 未了義，未了の義
neyyattha-suttanta 未了義經
Nerañjarā ①〔河〕ネーランヂャラー，尼連禪河，尼連禪那河 ②〔水路〕ネーランヂャラー
nerayika 墮地獄人，墮地獄者，地獄有情，地獄者，墮獄者，地獄に墮す，地獄に墮ちたるもの，地獄者，地獄の
nerayikagga 地獄火
nerayika dukkha 地獄の苦
nerayika satta 地獄の有情，墮獄有情，墮獄者
Neru ①〔王〕ネール，尼嚕 ②=Meru, Sumeru, Sineru, Hemameru 黃金山，須彌山

Neru-jātaka ネール・ヂャータカ，ネール黄金山本生物語 J 379
nela ①〔花〕ネーラ ② 柔和
neva antavā nānantavā attā ca loko ca 我と世界とは非有限非無限なり
neva ācayagāmī nāpacayagāmī dhammo 非流轉非還滅法，非積集非損行法，非積集趣非減滅趣法，無積集非損行法
neva gajjita no vassita 鳴らず雨らさざる人
neva gādhaṁ khatto no vasito 穴も掘らず又住まざる人
neva dassanena na bhāvanāya pahātabba 非見非修所斷
neva dassanena na bhāvanāya pahātabba dhamma 非見非修所斷法
neva dassanena na bhāvanāya pahātabba-hetuka 非見非修所斷因
neva dassanena na bhāvanāya pahātabba-hetuka dhamma 非見非修所斷因法
nevāpika 獵師
Neva rūpī nārūpī〔經〕非有色非無色 S 24 40
neva rūpī nārūpī attā hoti arogo 有色にも非ず無色にも非ざる無病の我有り
neva-vipāka-na-vipākadhamma-dhamma 非異熟非異熟法法
nevasaññā-nāsaññāyatana 非想非非想處
Nevasaññānāsaññāyatana-kathā 非想非非想處論 KV 3 12
nevasaññānāsaññāyatana-kammaṭṭhāna 非想非非想處業處
nevasaññānāsaññāyatana-kiriyā 非想非非想處唯作
nevasaññānāsaññāyatana-kusala 非想非非想處善
nevasaññānāsaññāyatana-dhātu 非想非非想處界〔七界の一〕
nevasaññānāsaññāyatana-vipāka 非想非非想處異熟
nevasaññānāsaññāyatana-saññin 非想非非想處想〔者〕
nevasaññānāsaññāyatana-sappāyā paṭipadā 非想非非想處利益行道
nevasaññānāsaññāyatanādhimutta 非想非非想處に心を傾く
nevasaññānāsaññāyatanūpaga deva 非想非非想處天
nevasaññi-nāsaññin 非想非非想，非想非非想者，非有想非無想，無想非無想者
nevasaññi-nāsaññi-bhava 非想非非想有
n'eva-saññi-nāsaññi-vāda 非有想非無想論，非想非非想說者〔八種〕
Nevasaññī〔經〕非非想 S 40 8
nevasaññī nāsaññī＝nevasaññi-nāsaññin 非有想非無想，非想非非想，無想非無想者
nevasaññīnāsaññī-vāda＝neva-saññi-nāsaññi-vāda 非想非非想說者，非有想非無想論
neva sassato nāsassato attā ca loko ca 我と世界とは非常住非無常なり
neva sekha nāsekha 非有學非無學，非學非無學
neva sekha nāsekha dhamma 非有學非無學法，非學非無學法
neva-sekha-nāsekha puggala 非學非無學人〔三人の一〕
neva-sekhā nāsekhā paññā 非學非無學の慧〔三慧の一〕
Neva hoti na na hoti〔經〕非有非無 S 24 36
Neva hoti na na hoti tathāgato〔經〕如來非有非無 S 24 18
neva hoti na na hoti tathāgato paraṁ maraṇā 如來は死後有るにあらず有らざるにもあらず，如來は死後有にも非ず無にも非ず，如來は死後存在せず又存在せざるに非ず，如來は死後に於て又は存在するにも非ず又は存在せざるにも非ず，タターガタは死後存するにもあらず亦存せざるにもあらず
nesajjaniya＝nesajjika 常坐行者
nesajjika 常坐者，常座者，常坐不臥者，常坐行者，坐不臥者
nesajjikaṅga 常坐不臥支，常坐支
nesāda 獵師，獵夫，獸獵，獸獵人，捕鳥者
Nesāda〔傳○婆〕ネーサーダ

Nesādaka〔山〕ネーサーダカ，獵夫
nesāda-jāti 獵師種
nesādī 獵師女
no ātura-citta 無病心
no āsava dhamma 非漏法
no upāda dhamma 非所造法，非所造性法
no upādāna dhamma 非取法
no ogha dhamma 非暴流法
no kilesa dhamma 非煩惱法，非染法
no gantha dhamma 非繫法
No ca me siyā〔經〕無我所 S 22 152；24 4
no citta dhamma 非心法
no citta-saṁsaṭṭha-samuṭṭhāna dhamma 非心相雜等起法
no citta-saṁsaṭṭha-samuṭṭhāna-sahabhū dhamma 非心相雜等起俱在法
no citta-saṁsaṭṭha-samuṭṭhānānuparivattin dhamma 非心相雜等起隨轉法
no citta-samuṭṭhāna dhamma 非心等起法
no citta-sahabhū dhamma 非心俱在法，非心俱有法
no cittānuparivattin dhamma 非心隨轉法
No c'etaṁ〔經〕これにあらず S 14 3, 8
No cetena〔經〕若しなかりせば S 35 17, 18
nonīta=navanīta 酥，生酥，熟酥，乳酥，酪，牛酪
no nīvaraṇa dhamma 非蓋法
no parāmāsa dhamma 非取著法，非取見法，非執法
no yoga dhamma 非軛法
no saññojana dhamma 非結法
no hetu dhamma ahetuka 非因法にして無因なる，非因無因法
no hetu dhamma sahetuka 非因法にして有因なる，非因有因法
nhātaka=nahātaka 淨行者，洗浴者，沐浴者
Nhātakamuni〔比〕ヌハータカムニ
nhāna=nahāna，sināna 沐浴，洗浴，水浴，沐浴戒
Nhāna-vagga 沐浴品 V 1 b 4, 21～30
nhāyati 沐浴す
nhāru=nahāru 筋，腱〔三十二身分の一〕

Paṁḍiya (A)〔國〕パンディヤ
paṁna-sasa (A)＝paṇṇa-sasa 栗鼠
paṁsu 塵，塵垢，小垢，塵土，汚物
Paṁsu〔鬼，毘舍闍〕パンス
paṁsukūla 糞掃衣，弊衣，塵堆衣，塵衣
paṁsukūla-dhara＝paṁsukūlika 著糞掃衣者
Paṁsukūlapūjaka〔比丘の譬喩經〕パンスクーラプーヂャカ Ap 3 489
Paṁsukūla-vagga パンスクーラ品 Ap 3 478～487
Paṁsukūlasaññika〔比丘の譬喩經〕パンスクーラサンニカ Ap 3 478
paṁsukūla-saññin 糞掃物想，棄物想
paṁsukūlika 糞掃衣者，糞掃衣行者，糞掃衣部，糞掃衣を著くるもの，著糞掃衣者，持糞掃衣のもの，著襤褸者
paṁsukūlikaṅga 糞掃衣支，糞掃衣者分
paṁsukūlikatta 糞掃衣を被ること，糞掃衣
paṁsu-dhovaka 塵垢洗滌者
paṁsu-pisācaka 泥鬼，瓢風鬼
paṁsu-puñja 土堆
paṁsvāgāraka 塵土の舍宅
pakaṭa-jarā 顯現の老
pakatatta-bhikkhu 清淨比丘
pakati＝padhāna 自性，初因
pakati-aggi 自然火
Pakatiaggito nerayaggīnaṁ uṇhakāra-pañho 自然火と地獄火の熱の問 Mil 2〔4〕6
pakati-citta 自然心
pakati-parisuddha 本性清淨
pakati-vādin 自性論者，數論派
pakati-sīla 自然戒
pakatūpanissaya 自然親依，本性親依止
pakappanā 遍計
pakappita-diṭṭhi 遍計の見
pakappeti 企つ
pakaraṇa 論〔七部＝七論〕
pakāsaniya-kamma 顯示羯磨
Pakiṇṇaka 雜論
pakiṇṇaka-kathā 雜論
pakiṇṇaka cetasika 雜心所
Pakiṇṇaka-nipāta 第十四篇，パキンナカ・ニパータ，パキンナカ篇〔本生經〕J 484～496
pakiṇṇaka-mātikā 特殊論母
Pakiṇṇaka-vagga 雜品 Dhp 21 vv 290～305
pakiṇṇaka-vinicchaya 雜判別，雜決定
Pakiṇṇaka-saṅgaha-vibhāga 攝雜分別 Abhsaṅg 3
pakuṭa 內緣
Pakuṇḍa〔ka〕＝Pakuṇḍakābhaya〔王〕パクンダ〔カ〕，波君茶〔迦〕
Pakuṇḍakābhaya＝Pakuṇḍaka〔王〕パクンダカーバヤ，婆君茶迦婆耶
Pakudhaka Kātiyāna＝Pakudha-Kaccāyana〔六師外道の一〕迦據陀迦旃延
Pakudha-Kaccāyana〔六師外道の一〕パクダカッチャーヤナ，迦求陀迦旃延，迦據陀迦旃延，迦羅鳩馱迦旃延，婆浮陀迦旃那，波拘陀迦旃延，波浮迦旃，波浮陀迦旃延
Pakula〔城〕パクラ
pakka ① 煮る ② 厨司
pakka-gatta 腐爛身〔者〕
pakkajjhāna 命數豫言
Pakkanta〔經〕去りて S 17 35
pakka-phala 熟せる果實
pakkabharita〔植〕パッカバリタ
pakkava〔澁味の植物〕パッカヴ
pakkāsaya 熟藏〔S狀結腸と直腸〕
pakkha 黨友，宗徒
Pakkha〔比〕パッカ
pakkhandana-paṭinissagga 跳入捨遣，躍進定棄
pakkhandana-vossagga 躍進最捨
pakkhandikā 下痢，赤痢
pakkhandin 突入隊，軍事探偵
pakkha-parivāsa 半月別住
pakkha-mānatta 半月摩那埵
pakkha-saṁkanta 外道に歸せる
pakkha-hata 半身不隨，半身不隨者，躄，躄足，片身痲痺者
pakkhālaka-loṇa パッカーラカ鹽
pakkhika 十五日食，半月食，月分食
pakkhin 鳥，翼ある，翼を有する

pakkhin sakuṇa 翼を有する鳥，翼ある鳥
pagabbha 傲慢者
paggaha 策勵，勤勵，精勤
Paggaha-kathā 策勵論 KV 16 2
paggahaṭṭhe paññā 精勤の義の慧
paggaha-nimitta 策勵相，精勤因，勤勵相，精勤相
paggahita-citta 策勵心
paggaho ca avikkhepo ca 精勤と專念，策勵と不散亂
paggāha 勤勵，策勵，精勤
paggāha-nimitta 勤勵相，精勤因，精勤相，策勵相
paggāhika-sālā 商店，商鋪
paggāho ca avikkhepo ca 策勵と不散亂，精勤と專念
paggharantī 漏出者，漏水女
paghana 防壁
paṅka 泥，染泥，泥土，汚泥，淤泥，泥地，泥土の沼，泥濘，塗泥，泥塗
paṅkacira＝paṅgacīra 葉笛
Paṅkadhā〔村〕パンカダー，崩伽闍
Paṅkavelaka〔村〕パンカヹーラカ
Paṅga〔辟〕パンガ
paṅgacīra＝paṅkacira 葉笛
paṅgura〔樹〕パングラ
paṅgula 跛者
paṅgulopamā 跛者の譬喩
pacati 煮る
pacant 責むる者
pacalāka〔動〕パチャラーカ
Pacāyika〔經〕尊重 S 56 70
Pacura〔園林〕パチュラ
pacuratthatā 義利豐富
Pacetana〔王〕パチェータナ
paccakkha 現見
paccattaṁ veditabbo viññūhi 諸識者が各自に知るべきもの，智者內證
paccatta-vedaniya 各別受苦地獄
paccattharaṇa 覆布，覆包，褥，敷具，毛氈
paccatthika 敵，怨敵，怨家

paccanīka 逆論，違義，障礙
Paccanīka〔經〕違義 S 7 16
paccanīka-dhamma 障礙法
Paccanīkasāta〔婆〕違義
Paccanīya-tikattika-paṭṭhāna 逆三法三法發趣
Paccanīya-tikaduka-paṭṭhāna 逆三法二法發趣
Paccanīya-tika-paṭṭhāna 逆三法發趣
Paccanīya-dukattika-paṭṭhāna 逆二法三法發趣
Paccanīya-dukaduka-paṭṭhāna 逆二法二法發趣
Paccanīya-duka-paṭṭhāna 逆二法發趣
Paccanīyapaṭṭhāna-vaṇṇanā 逆發趣之釋
Paccanīyānuloma-tikattika-paṭṭhāna 逆順三法三法發趣
Paccanīyānuloma-tikaduka-paṭṭhāna 逆順三法二法發趣
Paccanīyānuloma-tika-paṭṭhāna 逆順三法發趣
Paccanīyānuloma-dukattika-paṭṭhāna 逆順二法三法發趣
Paccanīyānuloma-dukaduka-paṭṭhāna 逆順二法二法發趣
Paccanīyānuloma-duka-paṭṭhāna 逆順二法發趣
Paccanīyānuloma-paṭṭhāna-vaṇṇanā 逆順發趣之釋
paccanta 邊地，邊境，國境
Paccantaṁ〔經〕邊地 S 56 62
paccanta nagara～paccantima nagara 邊境の城，邊地にある都城，國境の町
paccantima janapada 邊地，邊國，邊陬の地方，邊鄙地方，邊鄙の地
paccantima nagara～paccanta nagara 國境の町，邊境の城，邊地にある都城
paccaya ① 緣，助緣，動機 ② 資具，須要物〔四種〕
Paccaya ①〔比〕パッチャヤ ②〔象〕
Paccaya-kathā 緣論 KV 15 1
paccayatā 緣依性
paccaya-paṭisevana 資具の受用
paccaya-paṭisevanasaṅkhāta kuhanavatthu 資具の受用と稱せらるる詭詐事
paccaya-pariggahe paññā 緣攝受の慧
paccayapavattānaṁ dhammānaṁ

pariyogāhane paññā 緣所轉の諸法を深解する慧
Paccaya-vāra 緣依分
Paccayavāra-vaṇṇanā 緣依分之釋
Paccayavibhaṅga-vāra=Paccaya-niddesa 緣分別分
Paccaya-saṅgaha-vibhāga 攝緣分別 Abhsaṅg 8
paccayasannissita sīla 資具依止戒
paccaya-samuppanna 緣所生，緣已生，緣生，緣起所生，緣起
Paccayākāra-vibhaṅga 緣行相分別 Vibh 6
paccayānaṁ khayo 諸緣の滅盡
paccayika 誠心
Paccayuddesa 緣略說
Paccayo〔經〕緣 S 12 20, 27
paccavekkhaṇa〔javana〕觀察〔速行〕
paccavekkhaṇa-nimitta 相觀察，觀察相〔五正定支の一〕
paccavekkhaṇa-vasin 觀察自在
paccavekkhaṇa-suddhi 觀察淨
paccavekkhaṇā 觀察
paccavekkhaṇā-ñāṇa=paccavekkhaṇe ñāṇaṁ 觀察智
paccavekkhaṇā-nimitta 觀察因想，觀察相，相觀察
paccavekkhaṇe ñāṇaṁ=paccavekkhaṇā-ñāṇa 觀察智
paccavekkhana-citta 省察心
paccavekkhana-cetanā 省察思
Paccāgamanīya〔比丘の譬喩經〕パッチャーガマニーヤ Ap 3 63
paccābhaṭṭha 誦出法
paccāmitta 仇敵
paccāropeti 反駁す
paccāsā-cīvara 望衣
Paccuggamaniya〔比丘の譬喩經〕パッチュッガマニヤ Ap 3 283
paccuṭṭhapanā 反抗心
paccuṭṭhāti 迎逆す，起迎す
paccuṭṭhāna=paccupaṭṭhāna 起迎，迎逆
paccudhāra 授與〔迦絺那衣の〕
paccupaṭṭhāna ①現起，現狀 ②=paccuṭṭhāna 起迎，迎逆
Paccupaṭṭhānasaññaka〔比丘の譬喩經〕パッチュパッターナサンニャカ Ap 3 119
paccupaṭṭhita-kāma 現欲
paccuppanna 現在，現在時
paccuppanna addhā 現在世，現在時
padduppanna cittakkhaṇa 現在心剎那
Paccuppanna-ñāṇa-kathā 現在智論 KV 5 9
paccuppanna dhamma 現在法
paccuppanna-bhāva 現在性
paccuppannārammaṇa 現在所緣
paccuppannārammaṇa citta 現在所緣心
paccuppannārammaṇa dhamma 現在所緣法
paccekaṭṭhāna 別處
paccekabuddha 辟支佛，緣覺，獨覺，獨覺者
paccekabuddha-bhūmi 緣覺地
paccekabuddha-visaya 緣覺境
Paccekabuddhāpadāna〔經〕辟支佛の譬喩 Ap 2
pacceka-bodhi 辟支菩提，辟支佛の境地，辟支佛の位，獨覺，獨覺智，緣覺
paccekabodhi-ñāṇa 辟支菩提智，辟支佛智，辟支佛の智慧
pacceka-bodhisatta 辟支菩薩
pacceka-brahmā 辟支梵天，辟支梵
pacceka-muni 辟支牟尼
pacceka-sacca 獨一諦，別別の諦，自諦，偏見
pacceka-sambuddha=pacceka-buddha 獨等覺者，獨覺，獨覺者
paccorohaṇi 捨法〔婆羅門の祭式〕
Paccorohaṇi〔經〕捨法 A 10 119, 120, 167, 168
Paccorohaṇi-vagga 捨法品 A 10 113～122
pacchato gacchati 後より行く
pacchā apekkhaṁ karoti 後を期待す
pacchājāta〔-atthi〕後生〔有〕
pacchājāta-atthipaccaya 後生有緣
pacchājāta-paccaya 後生緣，後生起緣〔二十四緣の一〕
pacchājātapaccaya-niddesa 後生緣廣說
pacchājāta-vippayuttapaccaya 後生不相應緣

pacchānutāpin 後悔〔者〕
pacchā-bhatta 後食，食後
pacchābhūmaka brāhmaṇa 西方の婆羅門
Pacchābhūmako or Matako 〔經〕西地〔方〕人（死歿者）S 42 6
pacchābhūmagāmika bhikkhu 西方遠行比丘
pacchābhūma-janapada 西方國土
pacchā-samaṇa 隨從沙門，隨行沙門，隨後沙門，隨侍，隨僧，後侍
Pacchima〔精舍〕ハッチマ
pacchimaka 最後〔身〕
pacchimaka bhava～pacchima-bhava 最後有
pacchimaka vassāvāsa 後雨安居
pacchima-citta 最後心
pacchimacitta-samaṅgin 最後心具足者
pacchima-pāda 後足
pacchima-bhava～pacchimaka bhava 最後生
pacchima-bhavika 最後有〔者〕
pacchima-bhavika bodhisatta 最後有の菩薩
Pacchimayava-majjhaka 西麥中村
pacchima-yāma 後夜，後夜分，後更，後分
pacchimā disā putta-dhārā 西方は妻子
Pajaka〔王〕ハヂャカ
pajahati 斷ず
pajahati na upādiyati 捨てて取らず
Pajahana-vāra 斷分 Y 7 3
pajāna 主宰者
Pajānaṁ〔經〕了知 S 35 111, 112
pajānana 知解
pajāpatatta 生主性
Pajāpati ①〔王〕パヂャーパティ，波闍波提，鉢囉惹鉢帝，生主 ②〔經〕妻 S 17 43
pajāpatī 夫人，宮女
Pajāpatī=Mahāpajāpatī Gotamī〔佛姨母，尼〕波闍波提
pajja-udaka 洗足の水
pajjaraka-roga 頭熱病
pajjalati 熾然す
Pajjuna〔力士〕パッヂュナ
Pajjunna ①〔天，雨神〕パッヂュンナ，波純提 ②〔夜叉〕パッヂュンナ
Pajjunna-dhītā〔經〕雲天の姫 S 1 39, 40
Pajjunnassa dhītā 雲天の姫
pajjota 燈光，燈火，熾，光，光明，光炎
Pajjota ①=Caṇḍa-pajjota〔王〕パッヂョータ，燈光，波羅殊提 ②〔經〕光明 S 1 26 ③〔經〕光炎 S 1 80
pajjotakara 光の作者，燈明となる人
Pañca〔經〕五〔群比丘〕S 22 59
pañca akkhantiyā ādīnavā 五過失
pañca anāgata-bhayāni 五の未來の怖畏
pañca anāgāmino 五不還=五種不還〔中般涅槃，生般涅槃，無行般涅槃，有行般涅槃，上流趣阿迦尼吒〕
pañca anussatiṭṭhānāni 五隨念處
pañca abbhokāsikā 五の逈處坐者
pañca abhabbaṭṭhānāni 五不能處
pañca abhiññā 五神通，五通〔神變，天耳，他心，宿命，天眼〕
pañca ādīnavā 五患〔惡戒者の〕
pañca ādīnavā dussīlassa sīla-vipattiyā 惡戒犯戒者の五患，破戒の五失
pañca ānisaṁsā 五功德〔具戒者の〕
pañca ānisaṁsā dhammasavane 聽法の五利
pañca ānisaṁsā yāguyā 粥の五德
pañca ānisaṁsā sīlavato sīlasampadāya 具戒持戒者の五功德
pañca āpattikkhandhā 五罪蘊，五種の罪聚
pañca āpattiyo 五罪，五種の罪〔波羅夷，僧殘，波逸提，波提舍尼，惡作〕
pañca ābādhā 五種の病〔癩，癰，白癩，乾痟，顚狂〕
pañca āraññikā 五の住林者
pañca āvaraṇā nīvaraṇā 五障蓋
pañca āsayā 五願〔頻毘娑羅王の〕
pañca ekāsanikā 五の一食者
pañcaka ① 五法 V 3 6 (5) ②〔衣〕五條
pañca kakudhāni 五種の王標
Pañcakaṅga ①〔大工〕パンチャカンガ，五支 ②〔經〕パンチャカンガ S 36 19
pañcakajjhāna 五種禪
pañcaka-naya 五種法=五種禪

Pañcaka-Nipāta 五集〔增支部經〕A 5 1～271
pañca kammāni ānantarikāni 五無間業，五逆罪〔殺母，殺父，殺阿羅漢，惡心出佛身血，破僧〕
pañca kalyāṇa-dhammā 五美性
pañca kāmaguṇā 五欲，五欲功德，五欲の樂，五妙欲，五種欲，五種の欲，五種欲分，五種の欲念，五の愛鎣
pañca kāla-dānāni 五の應時施
pañca khandhā 五蘊
pañca khalupacchābhattikā 五の不後食者
Pañca-gati〔經〕五趣 S 56 102～131
pañca gatiyo 五趣〔地獄，餓鬼，畜生，人，天〕
Pañcagaru-jātaka パンチャガル・チャータカ，五師本生物語 J 132
pañca gorasa-phalāni 五味の實
pañca gorasā 五味，五種の牛乳〔乳 khīra，酪 dadhi，生酥 takka，熟酥 navanīta，醍醐 sappi〕
pañcaṅga 五肢〔椅子〕
pañcaṅga-samannāgata 五分成就
pañcaṅgika turiya 五支樂器，五支の樂器，五種の樂，五種の樂器，五種の音樂，五部の音樂
pañcaṅgika-bandhana 五種の縛縲
pañcaṅgika magga 五支道，五支の道
Pañcaṅgika-vagga 五支品 A 5 21～30
pañcaṅgika samādhi 五分の定，五支定
pañcaṅgika sammā-samādhi 五正定支，五支正定〔喜遍滿，樂遍滿，心遍滿，光明遍滿，相觀察〕
pañcaṅguli 五指印
Pañcaṅguliya〔比丘の譬喩經〕パンチャングリヤ Ap 3 170
pañca cakkhūni 五眼〔肉，天，慧，佛，普〕
pañca-cūḷa 五髻
pañca cetaso vinibandhā 五心縛
pañca ceto-khilā 五心栽，五心蕪〔佛，法，僧，戒への疑，同梵行への怒〕
pañca chandā 五欲〔遍求，獲得，受用，貯藏，費消〕
pañca chindati 五を斷つ
pañca jātaka-satāni 五百本生話
pañca ñāṇāni 五智
pañca-ñāṇika sammā-samādhi 五智正定，五正定智
pañca tathāgata-balāni 五の如來力〔信，慚，愧，勤，慧〕
pañca-tapa 五熱苦行，五火の苦行，五火の行
pañca tecīvarikā 五の但三衣者
pañca tejā 五威力〔行，德，慧，福，法〕
Pañcattaya-sutta パンチャッタヤ・スッタ，五三經 M **102**
pañca dānāni 五施，五の布施
pañca diṭṭhadhamma-nibbāna-vādā 五現法涅槃論〔六十二見の中〕
pañca diṭṭhiyo 五見
Pañcadīpadāyikā〔比丘尼の譬喩經〕パンチャディーパダーイカー Ap 4 15
Pañcadīpika〔比丘の譬喩經〕パンチャディーピカ Ap 3 57
Pañcadīpikā〔比丘尼の譬喩經〕パンチャディーピカー Ap 4 9
Pañcadīpin パンチャディーピ，五燈殿
pañca-dvāra 五門
pañcadvārāvajjana 五門轉向
pañcadvārāvajjana citta 五門轉向心
pañca-dvārika 五門
pañca dhanāni 五財〔信，戒，聞，捨，慧〕
pañca dhammakkhandhā 五法蘊，五分法身
pañca dhammā 五法
pañca nadī-satāni 五百河
pañca nikāyā 五部，五部經，五尼柯耶，五尼迦耶，五ニカーヤ〔長部，中部，相應部，增支部，小部〕
pañca-nikāyika 五部師
Pañca-nipāta ① 五偈集〔長老偈經〕Thag 315～374 ② 五偈集〔長老尼偈經〕Thīg 67～126 ③ 第五篇〔本生經〕J 351～375
pañca nimittāni 五相
pañca nirodhā 五止滅
pañca nissāraṇīyā dhātuyo 五出離界

pañca nīvaraṇāni　五蓋，五の障蓋〔欲貪，瞋恚，惛沈睡眠，掉擧惡作，疑〕
pañca nesajjikā 五の常坐者
pañcannaṁ nikāyānaṁ Aṭṭhakathā　五尼柯耶の義疏
pañca paṁsukūlikā 五の糞掃衣者
pañca-paññāsa samādhī 五十五の定
pañca-paṭṭhika 棚
Pañcapaṇḍita-jātaka　パンチャパンディタ・ヂャータカ，五賢人本生物語 J 508
pañca-paṇḍita-pañha 五智慧者問答〜前項
pañca-patthara 五の地場＝五欲
pañca padhāniyaṅgāni 五精勤支，五勤支，五勤行支
pañca pabbatā 五山〔王舍城の〕
Pañcapariveṇamūla〔住院〕パンチャパリヹーナムーラ
pañca pahānāni 五斷
Pañcapāpā〔女〕パンチャパーパー，五惡
pañca piṇḍapātikā 五の乞食者
Pañcaputtakhādaka-petavatthu 食兒鬼事 Pv 1 6, 7
pañca pubba-nimittāni 五前兆，五衰相〔天子の〕
Pañcappakaraṇatthakathā 五論の註釋
pañca phassā 五觸
pañca phāsu-vihārā 五安穩住
pañca-bandhana 五綴
pañca-bandhanā 五縛，五種縛，五種連，五種の梏桎
pañca balāni 五力
pañca-bali 五の獻供
pañca bīja-jātāni 五種の種子
pañca bhayāni 五怖畏
pañca bhayāni verāni 五畏罪，五の怖と怨，五怖畏怨讎
pañca bhesajjāni 五種藥，五種の藥〔熟酥，生酥，油，蜜，石蜜〕
pañca bhogānaṁ ādiyā 財を取得する五因
pañca bhojanāni 五正食，五種正食〔飯，粥，麨，魚，肉〕
pañca macchariyāni 五慳〔住處，家，利得，色，法〕
pañcamajjhāna 第五禪，第五禪定，第五靜慮
pañca-mattāni thālipāka-satāni 五百釜食の食施
pañca-mattāni sakaṭa-satāni 五百の車
pañcama-pāṭihāriya 第五神變 V 2 a 1, 19
pañcama-pārājika 第五の波羅夷
Pañcama-bhāṇavāra 第五誦品
Pañcama-vagga 第五品
pañcama-saṁghādisesa 第五僧殘＝媒嫁戒
pañca mahā-adhiṭṭhānāni 五大遺勅，五大決意
pañca mahā-corā 五種の大賊〔比丘〕
pañca mahā-nadiyo　五大河，五河〔Gaṅgā, Yamunā, Aciravatī, Sarabhū, Mahī〕
pañca mahā-puññā 五大福者
pañca mahā-supinā 五大夢〔菩薩の〕
pañca mārā 五魔〔煩惱，蘊，行，天子，死〕
pañca yathāsanthatikā 五の隨得座者
Pañcayojana〔raṭṭha〕〔地方〕パンチャヨーヂャナ〔ラッタ〕
pañca yodhājīvā 五戰士
pañca yodhājīvūpamā puggalā 五の戰士喩人
pañca rajāni 五塵＝五境
pañca ratanāni 五寶〔象，馬，摩尼，女，居士〕
Pañca-rājaka 五王章 Cv 49, 53
pañca rāja-kakudha-bhaṇḍāni 五種の王の標幟
Pañca-rājāno〔經〕五王 S 3 12
pañca rukkhamūlikā 五の樹下住者
pañcavagga-karaṇa 五衆可作
pañcavagga-bhikkhusaṁgha 五比丘僧伽〔五種僧伽の一〕
pañca-vaggika 五品
pañca-vaggiya 五群
pāñca-vaggiyā bhikkhū 五比丘，五群比丘〔Koṇḍañña, Bhaddiya, Vappa, Mahānāma, Assaji〕
pañca vaḍḍhī 五增長〔信，戒，聞，捨，慧〕
pañcavaṇṇa-paduma 五種の蓮華〔puṇḍarīka, uppala, paduma, kumuda, kamala〕
pañca-vaṇṇa-pīti 五種の喜悅，五種の歡喜

pañca-vaṇṇa-haṁsā 五種の鵝鳥
pañca vaṇṇā 五色〔靑，黄，赤，黑，白〕
pañca vasitā 五自在
pañca vasiyo 五自在〔轉向，入定，在定，出定，觀察〕
pañca vassa-satāni 五百年
pañca-viññāṇa 五識
Pañcaviññāṇa-samaṅgissa-magga-kathā 五識具足者道論 KV 10 3
Pañca viññāṇā kusalā pi akusalā pī ti kathā 五識善不善論 KV 10 4
Pañcaviññāṇā sābhogā ti kathā 五識有觀念論 KV 10 5
pañcavidha-paduma=pañcavaṇṇa-paduma 五種の蓮華
pañcavidha-bandhana 五種縛，五種の縛，五縛，五種連，五種の梏桎
pañcavidha-balāni 五種の力
pañcavidha-saṁvara 五種の律儀
pañcavidhā pīti 五種の喜
pañcavidhā vimutti 五種解脫〔彼分，鎭伏，正斷，安息，遠離〕
pañcavidhena rūpakkhandho 五種色蘊
pañcavidhena rūpa-saṅgaho 五種色聚
pañca vinīta-vatthūni 五種の修習事
pañca vimuttāyatanāni 五解脫處
pañca vimutti-paripācaniyā saññā 五解脫成熟想〔無常想，無常苦想，苦無我想，斷想，離貪想〕
pañca virāgā 五離貪
pañca vivekā 五離
pañca visuddhiyo 五淸淨
Pañcavihāra〔地名〕パンチャギハーラ
pañcavīsati ācariyaguṇā 阿闍梨の二十五德
pañcavīsati guṇā 二十五德〔阿闍梨の〕
pañcavīsati samādhissa samādhiṭṭhā 二十五の定の義
pañca vejja-kulāni 五家の醫者
pañca-veda 五吠陀
pañca vedanā 五受，五種受
Pañcaveraṁ〔經〕五禁 S 37 14
Pañcaverabhayā〔經〕五罪畏 S 12 41, 42
pañca verā 五讎=五破戒
pañcavokāra bhava 五蘊有
pañca vossaggā 五最捨
pañca vyasanāni 五損失，五喪失，五不幸〔親屬，財，病，戒，見〕
pañca saṅgā 五著
pañca saññā 五想
Pañcasata〔地方〕パンチャサタ
pañca-satika 五百〔結集〕，五百〔集法〕=第一結集
Pañcasatikakkhandhaka 五百〔結集〕犍度 V 2 b 11
Pañcasatikasaṅgītikkhandhaka 五百人結集犍度部～前項
Pañcasattati〔殿〕パンチャサッタティ
pañcasattatika 七十五事
pañcasattati sekhiyā 七十五學法，七十五衆學
pañca satthāro 五師，五種の師
pañca sampadā 五成就，五圓足〔親族，財，無病，戒，見〕
pañca sallā 五箭〔貪，瞋，癡，慢，見〕
pañcasahassī-lokadhātu 五千世界
Pañcasāla〔村〕パンチャサーラ，五葦
pañca sikkhāpadāni 五學處，五戒
Pañca-sikkhāpadāni〔經〕五學處 S 14 25
Pañcasikha ①〔犍闥婆子，樂神〕パンチャシカ，般遮翼，般闍尸呵，五髻，五頂，五結②〔經〕五結 S 35 119
Pañca-sīla〔經〕五戒 S 37 24
Pañcasīlasamādāniya〔比丘の譬喩經〕パンチャシーラサマーダーニヤ Ap 3 24
pañca sīlāni 五戒=五學處
pañca suddhāvāsā 五淨居〔無煩，無熱，善現，善見，阿迦膩吒〕
pañca sekha-balāni 有學の五力，五の有學力
pañca sosānikā 五の塚間坐者
pañca hattha 五手
Pañcahatthiya〔比丘の譬喩經〕パンチャハッティヤ Ap 3 45, 184
pañcābhiññā-ñāṇa 五神通智

Pañcāyatanakamma-nibbatta-pañho 五處業所生の問 Mil 2〔4〕3
Pañcāla ①=Uttara-pañcāla〔國，十六大國の一〕パンチャーラ，般遮羅，般闍羅，槃闍梨 ②〔王〕パンチャーラ，般闍羅 ③〔經〕般闍羅健 A 9 42
Pañcāla-caṇḍa ①〔天子〕パンチャーラチャンダ，般闍羅旃陀，般闍羅健 ②〔夜叉〕パンチャーラチャンダ，般闍羅健，般闍羅旃陀 ③〔司祭〕パンチャーラチャンダ ④〔婆羅門子〕パンチャーラチャンダ ⑤〔王子〕パンチャーラチャンダ ⑥〔經〕般闍羅旃陀 S 2 7
Pañcāla-caṇḍī〔王女〕パンチャーラチャンディー
Pañcāla-vagga 般闍羅健品 A 9 42〜51
Pañcālī ①〔毘舍佉比丘の母〕パンチャーリー，半闍羅 ②〔王妃〕パンチャーリー，槃遮梨
pañcāvudha 五種の武器，五の武器，五武器〔劍，槍，戰斧，弓，盾〕
Pañcāvudha〔太子，佛の前生〕五武器
Pañcāvudha-jātaka パンチャーヴダ・ヂャータカ，五武器太子本生物語 J 55
pañc' indriyāni 五根
Pañcimāni indriyāni〔經〕五根
Pañcuddha〔國〕パンチュッダ
pañc' uddhambhāgiyāni saṁyojanāni 五上分結，五順上分結〔色貪，無色貪，慢，掉擧，無明〕
pañc' upādānakkhandhā 五取蘊
pañcupādānakkhandhā dukkhā 五取蘊苦，五取蘊は苦なり，五取蘊の苦
pañcupādānakkhandhe catuparivaṭṭaṁ 五取蘊の四轉
Pañcūposatha-jātaka パンチューポーサタ・ヂャータカ，五者布薩會本生物語 J 490
pañcogha 五暴流
pañc' orambhāgiyāni saṁyojanāni 五下分結，五順下分結〔有身見，疑，戒禁取，欲貪，瞋恚〕
pañjarāgeha パンヂャラーゲーハ，籠堂
Pañjali〔山〕パンヂャリ
pañña 智者
paññakkhandha=paññākkhandha 慧蘊，慧聚
paññatta 所制
paññattānuyoga 施設問
paññatti=paṇṇatti 施設，制，所制，制戒，制定，結戒，教示，概念，名義，假名，假法，假設，符牒，記述法，表*，智*
Paññatti, Paṇṇatti-vāda〔部派〕說假
paññatti dhamma 假法，施設法
paññatti-patha 施設道，施設の道，施設路
paññatti-patha dhamma 施設道法
paññatti paramatthiyā 第一義の施設
paññatti-bala 施設力
Paññatti-vagga 制戒品 V 3 19, 4
Paññatti-vāra 施設分
Paññattivāra-vaṇṇanā 施設分之釋
paññavant=paññāvant 具慧，具慧者，慧有る者，慧あり，慧を具へ，有慧，持慧者，有智者，智慧者，智慧ある者，智慧を具す，智者，智ある者，智を具す，伶俐
Paññavā〔經〕有慧 S 46 45
paññā 慧，般若，智慧
Paññā〔經〕慧 S 56 63；A 8 2；9 25
paññā-kathā 慧論，智慧の話〔十論事の一〕
paññākkhandha=paññakkhandha 慧蘊，慧聚
paññā-gandha 慧香
paññā-cakkhu 慧眼，智眼
paññā-carita 慧行者
Paññā-jātaka=Pānīya-jātaka パンニャー・ヂャータカ
paññāṇa 標識，標相
paññā-teja 慧威力
paññā-dasaka 慧十年
paññā-dhana 慧財
paññādhiṭṭhāna 慧住處，慧處〔四住處の一〕
Paññānirujjhana-pañho 慧消滅の問 Mil 2〔2〕3
paññā-paṭilābha 智慧獲得
paññāpanato paññatti 施設せしむる施設
paññāpanā 施設〔六種；蘊，處，界，諦，根，人〕
paññā-parihāni 慧を失ふ事
paññā-pāramigata 慧通達者

paññā-pāramī, paññā-pāramitā 智慧波羅蜜，般若波羅蜜，最上の智慧〔十波羅蜜の一〕
paññāpīyattā paññatti 施設せらるる施設
paññā-bala 慧力，智慧の力
paññā-bāhulla 慧の多多
paññābbā 慧の光
paññā-bhāvanā 慧修，慧修習〔三修の一〕
Paññābhāvanānisaṁsa-niddesa 慧修習の功德の解釋 VM 23
Paññābhūmi-niddesa 慧地の解釋 VM 17
paññā-mahatta 慧の偉大
paññāya dubbalīkaraṇaṁ 慧羸
Paññāya patiṭṭhāna-pañho 慧の所住の問 Mil 2〔6〕8；2〔7〕16
paññāya bhūmi 慧の地
paññāya suparicito 慧を以て善く積習せられたる
paññā-ratana 慧寶
Paññālakkhaṇa-pañho 慧の特相の問 Mil 2〔1〕14
Paññā-vagga 慧品 Pṭs 3
paññāvacara 智慧界
paññāvant=paññavant 慧有る者，慧あり
paññā-vimutta 慧解脱，慧解脱者
Paññā-vimutta〔經〕慧解脱者 A 9 44
paññā-vimutti 慧解脱，慧解脱者
paññāvimutti-phala 慧解脱果
paññā-vivaddha-kusala 慧解脱善巧
paññā-visuddhi pārisuddhi-padhāniyaṅgaṁ 慧淸淨淸淨勤支〔九淸淨勤支の一〕
paññā-vuddhi 智慧增長，慧の得
paññāvudha 慧仗〔三仗の一〕
paññā-vepulla 慧廣大，智慧廣大
Paññāsaka 五十品 S 35 53～103，104～154，155～207
paññā-sacchikaraṇīya 慧應證
paññā-sattha 般若の劍
Paññāsa-nipāta 五十偈集〔長老偈經〕Thag 1091～1145
paññā-sampatti 慧成就
paññā-sampadā 慧具足，慧圓足，慧成就，智慧成就
paññāsampadā-kathā 慧成就の稱說
paññā-sampanna 慧具足，慧具足者
paññindriya 慧根
paññuttara 慧を增上と爲す，慧を最上と爲す
paññuttarā 最上慧，最上の慧
pañhaṁ pucchati 質問す
pañha-pucchā 質問
Pañhamba-malakaṭṭha 菴羅〔樹〕問答道場
Pañha-vāra 問分
Pañhavāra-vaṇṇanā 問分之釋
Pañhavārassa anuloma-gaṇanā 問分の順〔答〕數
Pañhavārassa anuloma-paccanīyo 問分の順逆〔答〕數
Pañhavārassa paccanīya-uddhāro 問分の逆摘出
Pañhavārassa paccanīya-gaṇanā 問分の逆〔答〕數
Pañhavārassa paccanīyānulomo 問分の逆順〔答〕數
Pañhavārassa vibhaṅgo 問分の分別
pañha-vīmaṁsaka 審判者
pañha-vyākaraṇa 記問〔四種〕
pañhā 質問，問
Pañhāpucchaka 問分
paṭa 外衣
paṭaka 綿布
paṭatantukā ハタタントゥカー，布絲の如き蟲
paṭala 白內障
paṭalikā 羊毛布
paṭavāsinī 衣物得婦
paṭahāra 大鼓
paṭāka 法幢
Paṭācārā〔尼乾子，尼，持律第一〕パターチャーラー，波吒左囉，波羅遮那，鉢吒左囉，反行〔譬喩經〕Ap 4 20
Paṭikacceva-vāyāmakaraṇa-pañho 豫め精進をなすの問 Mil 2〔4〕5
paṭikaḍḍhanā 推
paṭikamma ① 返論，反駁，救論 ② 懺悔

paṭikaroti 懺悔す
paṭikā 白氈，白き羊毛布
paṭikujjhati 忿り返す
paṭikuttaka〔鳥〕ハティクッタカ
paṭikūla=paṭikkūla 厭逆，厭忌，有厭，違逆
paṭikūlatā 厭逆性〔五種〕
paṭikūla-manasikāra 厭逆作意
paṭikūlamanasikāra-kammaṭṭhāna 厭逆作意業處
paṭikūla-manasikāra-pabba 厭逆作意節
paṭikūla-saññā=paṭikkūla-saññā 厭忌想，厭逆想，違逆想，有厭想
paṭikkama 減退
paṭikkamana パティッカマナ堂，分座堂
paṭikkamana-sālā 懺悔堂
paṭikkūla=paṭikūla 有厭，厭逆，厭忌，違逆
Paṭikkūla〔經〕違逆 S 46 69
paṭikkūla-saññā=paṭikūla-saññā 違逆想，厭逆想，厭忌想，有厭想
paṭikkūla-saññin 有厭想，厭逆想，厭忌想，違逆想，不快の想〔者〕
paṭikkosa 呵責
paṭikkhepa 制拒
paṭigādha 淺瀬
paṭigijjha 大鷲
paṭiggaha ① 領受，捉受 ② 容器，指鞘
paṭiggaha-maṇḍa 受者醍醐
paṭiggahita-paribhoga 受用物〔四種〕
paṭiggāhaka 受者，受納人
paṭigha ① 瞋，瞋恚，瞋恨，恚，恚逆，感動* ② 障礙
paṭigha-nimitta 瞋相，恚相，違相
paṭigha-saññā 有對想，對礙想
paṭigha-saññojana 瞋結，恚結
paṭigha-sampayutta-citta 瞋恚相應心
paṭigha-samphassa ① 有對觸=身觸 ②瞋觸*，瞋恚觸*
paṭighāta 防禦
paṭighānusaya 瞋隨眠，瞋恚隨眠，恚隨眠〔七隨眠の一〕
paṭicodeti 擧罪す
paṭicca 緣起*
Paṭicca-vāra 相緣分
paṭiccasamuppanna 緣生，緣已生，緣所生，緣起所生，緣起
paṭiccasamuppanna dhamma 緣已生法，緣生の法
paṭiccasamuppanna-viññāṇa 緣生の識
paṭicca-samuppāda 緣起，緣起の法
paṭiccasamuppāda-aṅga 緣起支
Paṭiccasamuppāda-kathā 緣起論 KV 6 2
paṭiccasamuppāda-kusala 緣起善巧
paṭiccasamuppāda-kusalatā 緣起善巧
paṭiccasamuppāda-naya 緣起法
Paṭiccasamuppāda-niddesa 緣起の解釋 VM 17
paṭicchanna 覆藏，覆蔽，屏處，屏覆處，被覆物，隱覆，身を覆ふ
paṭicchanna-kamma 覆藏羯磨，隱覆業
paṭicchanna〔-kilomaka〕覆蔽〔膜〕
paṭicchanna-jarā 隱密の老
paṭicchanna-parivāsa 覆藏別住
paṭicchanna-parissaya 隱密の危險，隱密の危難
paṭicchanna-mānatta 覆藏摩那埵
Paṭicchārā〔尼〕パティッチャラー
paṭicchādaniya 肉汁，肉味
paṭicchādī 被覆物，覆藏す
paṭicchādeti 覆藏す，被覆す
Paṭijagga〔傳◦轉輪王〕パティヂャッガ
paṭiññā 自言治，自言，自稱〔七滅諍の一〕
paṭiññāta 自言治〔如法と非法〕
paṭiññāta-karaṇa 自言治，自言をなすこと，自白〔七滅諍の一〕
paṭideseti 懺悔す
paṭinivāsana 副裙
paṭinissagga 捨遣，定棄，捨離，棄
Paṭinissagga〔經〕定棄 A 8〔附〕
paṭinissaggānupassanā 捨遣觀，捨遣隨觀，定棄觀
paṭinissaṭṭha 離脫
paṭipakkha 對話
paṭipattantaradhāna 行道隱沒
paṭipatti 行，行道，道行

Paṭipatti〔經〕行 S **45** 31
paṭipattikkama 行道の順序
paṭipatti-cariyā 行道行
Paṭipatti-vagga 行品 S **45** 31～138
paṭipatti-sāsana 行道の教
paṭipadā 道，行道，向道，道跡，行，聖道，所行，通行
Paṭipadā ①〔經〕道跡 S **12** 3 ②〔經〕道 S **22** 44；**45** 23，24；**52** 17
paṭipadā-ñāṇadassana-visuddhi 行道智見清淨，方途知見清淨〔七清淨の一〕
Paṭipadā-ñāṇadassana-visuddhi-niddesa 行道智見清淨の解釋 VM **21**
paṭipadā-ñāṇadassana-visuddhi pārisuddhi-padhāniyaṅgaṁ 行知見清淨清淨勤支〔九清淨勤支の一〕
Paṭipadādosa-pañho 行道の過の問 Mil 4〔6〕1
paṭipadānuttariya 道無上，行無上〔三無上の一〕
paṭipadāya ñāṇaṁ 道跡智
Paṭipadā-vagga 行品 A 4 161～170
paṭipadā-visuddhi 行道の清淨
Paṭipanna ①〔經〕行者 S **45** 32 ②〔經〕向 S **48** 18
paṭipannaka〔四〕向
paṭipassaddhi-pārisuddhi-sīla 止滅清淨戒，安息遍淨戒
paṭipassaddhippahāna 止斷
paṭipassaddhi-visuddhi 止滅清淨，安息清淨
paṭipassaddhi-suñña 止滅空
paṭipāṭi 順番
paṭipīḷana 抱下す
paṭipucchati 質問す
paṭipucchā ①反問，反詰 ②～paripucchā 質問
paṭipucchā-vyākaraṇīya-pañha 反詰記問，應反詰記問，反問によりて解答せらるべき問〔四記問の一〕
paṭippasambhetabba-aṭṭhārasaka 解くべき十八事 V 2 b 1，11
paṭippassaddha 安息
paṭippassaddhipārisuddhi-sīla 安息遍淨戒，止滅清淨戒
paṭippassaddhi-vimutti 寂靜解脱，安息解脱
paṭippassaddhi-viveka 止離
paṭippharati 敵對す
paṭibaddha-citta 染心，染著心，著念
paṭibala 有能
paṭibbatā 貞淑なる妻
Paṭibbatā-vimāna 貞淑女天宮 Vv 11
paṭibhaya 怖畏處，恐怖ある，恐怖
paṭibhāga-nimitta 似相
paṭibhāti 辯才に上る
paṭibhāna 辯才，辯，應辯，無凝辯，妙辯，頓才，奇智
paṭibhāna-kavi 辯詩人
Paṭibhāna-kūṭa パティバーナクータ，辯才峰
paṭibhāna-citta 男女交會像，戯畫
paṭibhāna-dhamma 顯出せる法
paṭibhāna-nānatte paññā 辯の種種相の慧
paṭibhāna-paṭisambhidā 辯無礙解，應辯無礙解〔四無礙解の一〕
paṭibhāna-paṭisambhide ñāṇaṁ 辯無礙解智
paṭibhāna-bahula 應辯を具せる
paṭibhāna-mada 辯才憍，應辯憍
paṭibhānavant 應辯具者，辯才者〔三種〕
paṭimalla 敵手の角鬪士
Paṭimā〔精舍〕パティマー，佛像寺
paṭimā-ghara〔佛〕像堂
Paṭiyāloka〔地名〕パティヤーローカ
paṭirājan 敵王
paṭirūpa 相稱，相應はしき，像似，淨，威儀
Paṭirūpa〔經〕相應はしき，相稱 S 4 14
Paṭirūpa-kathā 像似論 KV **23** 4
paṭirūpa-desa-vāsa 中國に住し
paṭilābha-chanda 獲得欲
paṭilābha-paññatti 獲得施設
paṭilābha-bhāvanā 獲得修習
paṭilābha-bhūmi 獲得地
paṭilābha-samannāgata 獲得具足
paṭilābha-suñña 獲得空
Paṭilābho〔經〕獲得 S **48** 11；**55** 59
paṭilīna 獨處，無滯著

paṭilīna-cara 無滯著行
paṭiloma 逆觀
paṭiloma-paṭiccasamuppāda 逆の緣起
paṭivāta 逆風
paṭivātaṁ 風に逆ひて
paṭiviruddha 悲觀者
paṭivisa=paṭiviṁsa 配分
paṭivisesa 差別論
paṭivedha 通達，證悟〔四種〕
paṭivedha-gambhīratā 通達甚深
paṭivedha-ñāṇa 通達智
paṭivedhaṭṭha 通達する義
paṭivedha-suñña 通達空
paṭisaṁvidita 豫告
paṭisaṅkhā-ñāṇa=paṭisaṅkhānupassanā-ñāṇa 省察智
paṭisaṅkhāna 計數，思擇，簡擇，擇，思惟
paṭisaṅkhāna-bala 擇力，簡擇力，思擇力，思惟力
paṭisaṅkhāna-balañ ca bhāvanā-balañ ca 思擇力と修習力，思惟力と修習力
paṭisaṅkhā-nirodha 擇滅
paṭisaṅkhānupassanā 省察隨觀，簡擇觀
paṭisaṅkhānupassanā-ñāṇa=paṭisaṅkhā-ñāṇa 省察隨觀智
Paṭisaṅkhāra〔傳◦轉輪王〕パティサンカーラ
paṭisanthāra 承迎，挨拶，供養，交友，遍習護
paṭisanthāraka 敬禮〔者〕
paṭisanthāra-gāravatā 承迎の尊敬
paṭisandhi 結生
paṭisandhika 結生者
paṭisandhi-kamma 結生の業
paṭisandhikkhaṇa 結生刹那
Paṭisandhigaha-pañho 結生の問 Mil 2〔1〕6
paṭisandhi-citta 結生心
paṭisandhi-bhava 結生有
paṭisandhi-viññāṇa 結生識
paṭisambhidā 無礙解，無礙辯，解說
Paṭisambhidā=Paṭisambhidā-magga パティサンビダー，波致參毘陀，無礙解道
Paṭisambhidā-kathā 無礙解論 Pts 2 6; KV 5 5
Paṭisambhidā-magga パティサンビダーマッガ，無礙解道，無礙辯道經〔小部經の一〕Khuddaka 12
paṭisambhidā-ratana 無礙解寶
Paṭisambhidā-vibhaṅga 無礙解分別 Vibh **15**
paṭisaraṇa 歸依處，歸依所，歸趣，所依
paṭisallāna, paṭisallāṇa 宴坐，宴默，禪思三昧，獨坐，獨居，獨想，寂想
Paṭisallāṇa〔經〕獨想 S 35 100
Paṭisallānā〔經〕宴默 S 22 6; 56 2
paṭisallīna 宴坐せる，禪思，靜處，獨居
paṭisallekhita 儉約者
paṭisāmeti 收藏す
paṭisāraṇiya 下意，應乞容赦
paṭisāraṇiya-kamma パティサーラニヤカンマ，下意羯磨，應乞容赦所作，遮不至白衣家羯磨
paṭisāraṇiyakammamhi aṭṭhārasa-vattaṁ 下意羯磨十八事 V 2 b 1, 21
Paṭisāraṇīya〔經〕下意 A 8 89
paṭisūra 敵士
paṭisenā 敵軍
paṭisenika 敵對者
paṭisevati 受用す
paṭisevanā 受用，用
paṭisota-gāmin 逆流行
paṭisotagāmī puggalo 逆流行人
paṭisseneti 還り擧る
paṭihaññati 嬈亂す
paṭola〔藥用植物〕パトーラ
paṭṭa ターバン
paṭṭana 貿易場
Paṭṭi〔ダミラ人〕パッティ
paṭṭuṇṇa 毛織物
paṭṭhapana 建立
paṭṭhāna 鉢多那，發趣
Paṭṭhāna パッターナ，發趣論〔七論の一〕Abhidhamma 7
paṭhama-aniyata 第一不定
paṭhama kappika 初劫者，劫初者
Paṭhama-cetiya〔塔廟〕第一支帝耶，第一靈祠
paṭhamajjhāna 初禪，初靜慮，第一禪定
paṭhamajjhānaṁ samāpanno 初禪入定者

paṭhama-dhammasaṅgīti=paṭhama-saṅgīti 第一結集 Mv 3～Dv 4; VA 2
paṭhama-pāṭihāriya 初神變 V 2 a 1, 15
paṭhama-pārājika 第一波羅夷=不淨戒
paṭhamapārājika-samuṭṭhāna 第一波羅夷等起
paṭhama-bhāṇavāra 第一誦品, 初誦品
paṭhama-magga 初道=須陀洹道
paṭhamamagga-ñāṇa 初道智
paṭhama-mahāsaṅgīti=paṭhama-saṅgīti 第一大合誦, 第一大結集
paṭhama yāma 初夜, 初夜分, 初更, 初分
Paṭhama-vagga=Pathama-vagga 初品
paṭhama-saṁgaha=paṭhana-saṅgīti 最初の結集
paṭhama-saṁghādisesa 第一僧殘=出精戒
paṭhama-saṅgīti=paṭhama-dhammasaṅgīti, paṭhama-mahāsaṅgīti 第一合誦, 第一結集
Paṭhama-suddhiya〔經〕初清淨
paṭhamā bhūmi 初地
paṭhavi-kampa 地震
paṭhavi-kāya=paṭhavī-kāya 地身, 地界〔七身の一〕
Paṭhavidundubhī〔傳◦轉輪王〕パタギドゥンドゥビー
paṭhavi-maṇḍala～puthuvi-maṇḍala 地曼陀羅
paṭhavilekhūpamā 地に書く喩, 地刻喩
paṭhavi-saññā 地想
paṭhavisaññin 地想〔者〕
paṭhavī=pathavī パタギー, 地, 大地, 地球, 場
Paṭhavī kammavipāka-kathā 地業異熟論 KV 7 7
paṭhavī-kasiṇa 地遍〔十遍處の一〕
Paṭhavīkasiṇa-niddesa 地遍の解釋 VM 4
paṭhavīkasiṇa-bhāvanā 地遍修習
paṭhavīkasiṇa samāpatti 地遍定, 地遍等至
paṭhavī-kāya=paṭhavi-kāya 地界, 地身
paṭhavījaya-manta 世界降伏神呪
paṭhavī-dhatu 地界
Paṭhavīdhātu sanidassanā ti ādi-kathā 地界有見等論 KV 6 8
paṭhavīlekhūpama puggala 地刻喩人
Paṭhavīsanṭhāraka-pañho 地の住立の問 Mil 2〔4〕7
paṭhavīsama-bhāvanā 地の如き修行
Paḍāvī〔地名〕パダーギー
paṇaka パナカ, 水草
paṇava 鑼, 銅鼓, 鐃鈸, 細腰鼓, 小鼓, 打鑼
paṇava-sadda 細腰鼓聲
paṇāmeti 擯出す
paṇidahati 欲心を持して
paṇidhāya bhāvanā 繫念修習
paṇidhi 願, 誓願
paṇiya 商品
Paṇiva〔地名〕パニヴ
Paṇivakkoṭṭa〔地名〕パニヴコッタ
Paṇihita-acchanna-vagga 向と隱覆との品 A 1 5
paṇīta 妙, 勝, 勝妙, 極妙, 殊妙, 妙善, 優勝, 美妙
Paṇītaṁ〔經〕極妙 S 43 26
paṇītagāmi-magga 極妙に達するの道
Paṇītataraṁ〔經〕妙勝 S 29 2
paṇīta dhamma 妙法, 勝法
paṇīta-bhojana 勝妙の食, 美味の食
paṇīta〔-samādhi〕勝〔定〕
paṇīta〔sīla〕勝〔戒〕
paṇītā dhātu 勝界, 妙界〔三界の一〕
paṇītādhimutta 勝意向〔者〕, 勝勝解者
paṇītādhimuttatā-paññā 妙勝解の慧
Paṇḍa〔池〕パンダ
paṇḍaka 黄門, 半擇迦
Paṇḍaka ①〔比〕パンダカ ②〔夜叉〕
paṇḍaka-gocara 半擇迦に親近
Paṇḍara〔龍王〕パンダラ
Paṇḍaraka ①〔象王〕パンダラカ ②〔山〕
paṇḍara-ketu 白旗
paṇḍaraṅga パンダランガ, 畔郎具, 塗灰〔外〕
paṇḍara-chatta 白傘
Paṇḍara-jātaka パンダラ・チャータカ, パンダラ龍王本生物語 J 518
Paṇḍarasa-gotta パンダラサ姓

Paṇḍava ①〔山〕パンダヴ，般茶婆，槃荼婆，白善 ②〔馬〕パンダヴ
Paṇḍava-pabbata 白善山，般茶婆山，槃荼婆山
Paṇḍavāpī〔精舍〕パンダヴーピー
Paṇḍavāvana〔園〕パンダヴー林
paṇḍicca 聰明
paṇḍita 賢者，賢人，賢能，賢智，賢明，博學，智人，智者，有智者
Paṇḍita ①〔人〕賢人 ②〔童子〕智賢
Paṇḍita-kumāraka パンディタクマーラカ，聰明童子
paṇḍita-codaka 有知呵責者
paṇḍita thera 智者上座
paṇḍita dhamma 賢法
Paṇḍita-pañha 智慧問答
paṇḍita-puggala 有智人
paṇḍita-bhūmi 賢者地
paṇḍita mahāpañña 賢人大慧者
paṇḍita-lakkhaṇa 賢相
Paṇḍita-vagga 賢品 Dhp 6 vv 76～89
paṇḍita-vāda 賢者の論，論に巧なる者
Paṇḍimaṇḍala〔ダラミ人〕パンディマンダラ
Paṇḍiya〔ダミラ人〕パンディヤ
Paṇḍiyāṇḍāra〔ダミラ人〕パンディヤーンダーラ
Paṇḍu ①=Paṇḍuvāsa〔王〕パンドゥ ②〔釋種王〕③=Vikkamapaṇḍu〔王〕④〔族〕⑤〔國〕⑥〔池〕
Paṇḍuka ①〔六群比丘の一人〕パンドゥカ，盤那，半豆 ②=Paṇḍukābhaya〔王子，王〕パンドゥカ，半特陀
Paṇḍu〔ka〕〔ダミラ人，王〕パンドゥ〔カ〕
Paṇḍukaṇṇa〔輕業師〕パンドゥカンナ，黃耳
paṇḍu-kambala 黃毛布，黃褐，黃色の毛布，黃布，凋葉氈，無垢白*，紅毛*
paṇḍukambala-silā 黃色石，黃色の毛布に包まれた石，無垢白石，紅毛石
paṇḍukambalasilāsana 赤黃の毛氈色をした石座，黃色の毛布に包まれた石の座，黃布に覆はれた座石，無垢白石座，紅毛石座，黃色石座
Paṇḍukābhaya=Paṇḍu〔王〕パンドゥカーバヤ
Paṇḍunāḍukoṭṭāna〔地名〕パンドゥナードゥコッターナ
paṇḍu-palāsa 枯葉
paṇḍupalāso bandhanā pamutto〔譬喩〕黃葉離幹
Paṇḍu-putta〔外〕パンドゥ子
paṇḍu-mattikā 黃土
Paṇḍuraṭṭha-vijaya〔章〕パンドゥ國に於ける勝利 Cv 77
Paṇḍurāja〔ダミラ人〕パンドゥラーヂャ
paṇḍu-roga 黃疸
paṇḍu-rogin 黃疸〔者〕
Paṇḍula ①〔婆〕パンドゥラ ②〔村〕
Paṇḍuvāsa=Paṇḍuvāsadeva〔王〕パンドゥヴーサ
Paṇḍuvāsadeva，Paṇḍuvāsudeva=Paṇḍuvāsa〔王〕パンドゥヴサーデーヴ，パンドゥヴースデーヴ，半頭婆修提婆
Paṇḍuvijaya〔村〕パンドゥギヂャヤ
paṇṇa 貝葉，葉，手紙
paṇṇa-kuṭī 木の葉の家，木の葉の小屋，木の葉葺きの小屋，草屋，柴の菴，茅屋
paṇṇa-chatta 葉傘，葉蓋
paṇṇa-chadana 葉屋
paṇṇatti=paññatti 假名，施設，概念，概念的，假法，記述法，符牒，名義，教示
paṇṇatti-vajja 制定罪
Paṇṇatti-vāda=Paññatti〔部派〕說假
Paṇṇadāyaka〔比丘の譬喩經〕パンナダーヤカ Ap 3 258，281
Paṇṇadāyaka-vagga パンナダーヤカ品 Ap 3 281～290
Paṇṇabhattaka〔村〕パンナバッタカ
paṇṇa-bhisi 樹葉臥褥
paṇṇa-bhesajja 葉藥
Paṇṇavallakabhūta〔精舍〕パンナヴッラカブータ
paṇṇa-santhāra 葉座，〔落〕葉座
Paṇṇasālaka〔村〕パンナサーラカ

Paṇṇāsaka 五十經
Paṇṇāsakāsaṅgahita-vagga 五十所不攝品
Paṇṇāsa-nipāta 第十八篇〔本生經〕J 526～528
paṇṇika 青物屋，青物商，八百屋
Paṇṇika-jātaka パンニカ・ヂャータカ，八百屋本生物語 J 102
paṇhikaṭṭhi 踵骨
pataṅga 蟋蟀
Patāpa〔王〕パターパ，照曜
Patāpana〔地獄〕パターパナ，極熱，大焦熱
Patikolamba〔料理人〕パティコーランバ
patittha 渡場
patiṭṭhā 依止，依所，根據，足場
Patiṭṭhāna〔阿羅迦の都〕パティッターナ，波底吒那
Patiṭṭhāraṭṭha〔洲〕パティッターラッタ＝ラーヂャラッタ
patiṭṭhita 安住處
Patiṭṭhita〔經〕依止 S 48 56
patoda 刺針，刺輪，鞭
patodaka 操る
patoda-laṭṭhi 笞杖
patta ① パッタ，鉢，器 ② 翼 ③ 葉 ④所得
Patta〔經〕鉢 S 4 16；A 8 87
pattaṁ ukkujjati 覆鉢を解く
pattaṁ nikkujjati 覆鉢
pattaka 鐵鉢
patta-kaṇḍolikā 鉢籠
patta-gandha 葉香
patta-gāhāpaka 分鉢人，受鉢人
pattaṅga〔花〕パッタンガ
patta-cīvara 鉢衣
patta-thavikā 鉢袋，鉢嚢
Pattadāyaka〔比丘の譬喩經〕パッタダーヤカ Ap 3 246
patta-nillehaka 鉢を舐む
patta-parihāni 已得退
Pattapāsāṇa〔池〕パッタパーサーナ，葉石
patta-piṇḍa 鉢食
pattapiṇḍika 一鉢食者，乞食行者*
pattapiṇḍikaṅga 一鉢食支
pattapiṇḍin～pattapiṇḍika 鉢乞食者
pattapphala 葉果
patta-maṇḍala 鉢臺
patta-māḷaka 鉢屏
patta-yogakkhema 涅槃に達せるもの
patta-yogin 鉢瑜伽者
patta-rasa 葉汁
pattali 芭蕉
patta-lesa 鉢似
pattalodda〔樹〕パッタロッダ
Patta-vagga 鉢品 V 1 a 4，21～30
patta-vaṭṭi 葉衣
patta-vaṇijjā 鉢商
pattānīka 歩兵隊
pattāḷhaka ① 升遊び，桝戲，枡遊び，玩具枡 ② 棕櫚の葉の尺
patti ①＝pattika 歩兵 ② 得
pattika＝patti 歩兵
Patti-kathā 得論 KV 19 4
patti-kāya 歩軍，歩兵衆，歩軍勢
Pattipupphiya〔比丘の譬喩經〕パッティフッピヤ Ap 3 371
patti-sadda 歩聲
pattī senā 歩軍
pattha〔量〕パッタ
Patthaṇḍila〔要塞〕パッタンディラ
patthanā 望，希望，悕望，冀求，誓*
Patthodanadāyaka〔比丘の譬喩經〕パットーダナダーヤカ Ap 3 416
Pathama-vagga＝Paṭhama-vagga 第一品，第一篇
pathaviyā rājā 世界主
pathavī＝paṭhavī 地，地球，大地，場
Pathavī ①〔天〕地 ②〔經〕地 S 13 5，6；15 2；56 55，56
pathāvin～padhāvin 旅行者，旅人
pada ① 足跡，足迹 ② 句，語法
Padakusalamāṇava-jātaka パダクサラマーナヴ・ヂャータカ，足跡善知童子本生物語 J 432
padakkhiṇa 右遶
padaṭṭhāna 足處，直接因

pada-nikkhepa 語接續
pada-parama 文句爲最者
Padapūjaka 〔比丘の譬喩經〕パダプーヂャカ Ap 3 104
pada-bhāṇa 經
padara ① 峽，溪，罅隙 ② 床板
padara-sākhā 溪澗
Padalañchana〔尼房〕パダランチャナ
Padavārasuññakaṇḍa 〔地名〕パダワーラスンニャカンダ
Padavikkamaṇa〔傳◦轉輪王〕パダギッカマナ
pada-vibhatti 語分別
pada-vyañjana 文句
Padasaññaka〔比丘の譬喩經〕パダサンニャカ Ap 3 72
pada-sandhi 句の接續
pada-silā 踏石
padaso-dhamma 句法戒
padasodhamma-samuṭṭhāna 句法等起
padāna 特質
Padī〔池〕パディー
padīpa 燈明，燈火，燈，燃燈
Padīpa-vimāna 燈火天宮 Vv 9
padīpeyya 燈光，燈具，燈燭，燈明
Padī〔raṭṭha〕〔地名〕パディー〔ラッタ〕
paduṭṭha citta 汚れたる心，汚心
paduṭṭha-mana-saṅkappa 害意，惛惡の思惟
paduṭṭhā lakkhaṇā 姦女の相
paduma パドゥマ，パドマ，鉢曇摩，鉢頭摩，波頭摩，紅蓮，紅蓮華，赤蓮，赤蓮華，赤蓮花，白蓮華，蓮，蓮華
Paduma ①〔佛〕パヅゥマ，パドゥマ，蓮華，鉢頭摩，波頭摩 ②〔辟〕パドゥマ ③〔王，パヅゥマ佛の父〕パヅゥマ ④〔比，ダンマダッシー佛の第一弟子〕パヅゥマ，パドゥマ，蓮華 ⑤〔比，五歲にて成阿羅漢〕鉢頭摩〔譬喩經〕Ap 3 59 ⑥〔傳◦轉輪王〕鉢頭摩 ⑦〔王子，王〕パドゥマ，蓮華，鉢頭摩 ⑧〔レーヴタ佛の信士〕パドゥマ ⑨〔山〕パドゥマ ⑩〔宮殿〕パドゥマ ⑪〔浴院〕パドゥマ，蓮 ⑫〔地獄〕蓮華，紅蓮
padumaka=padmaka 〔樹〕パドゥマカ
Padumakūṭāgāriya 〔比丘の譬喩經〕パドゥマクーターガーリヤ Ap 3 392
Padumakesariya 〔比丘の譬喩經〕パドゥマケーサリヤ Ap 3 301
Padumakesariya-vagga パドゥマケーサリヤ品 Ap 3 301～310
padumacchatta 蓮華の傘
Padumacchadaniya 〔比丘の譬喩經〕パドゥマッチャダニヤ Ap 3 46
Paduma-jātaka パドゥマ・ヂャータカ，蓮華本生物語 J 261
Padumadhāriya〔比丘の譬喩經〕パドゥマダーリヤ Ap 3 517
Paduma-niraya 紅蓮地獄，蓮華地獄
paduma-patta=padma-patta 鉢頭摩葉，蓮葉
Paduma-puppha or Puṇḍarīka〔經〕紅蓮（白蓮）S 9 14
Padumapupphiya〔比丘の譬喩經〕鉢頭摩プッピヤ Ap 3 90
Padumapūjaka 〔比丘の譬喩經〕鉢頭摩プーヂャカ Ap 3 130
paduma-byūha=paduma-vyūha 蓮華軍
Padumabhāsa〔傳◦轉輪王〕鉢頭摩バーサ
Padumavatī〔人〕パドゥマヷティー
paduma-vyūha=paduma-byūha 蓮華軍
padumassa ekaguṇo 蓮華の一德
Padumassara〔園〕パドゥマッサラ
Padumā ①〔尸棄佛の上足尼〕パドゥマー，パヅゥマー ②〔尼〕パドゥマー ③〔アノーマダッシー佛の信女〕パドゥマー ④〔スヂャータ佛の信女〕パドゥマー ⑤〔プッサ佛の信女〕パドゥマー ⑥〔ティッサ佛の母〕パドゥマー，パヅゥマー，蓮華 ⑦〔燃燈佛の菩薩時代の妃〕パドゥマー，蓮華 ⑧〔夷〕パドゥマー，波曇
padumini-patta 荷葉
paduminī～padumī 紅蓮華池，紅蓮池，紅蓮華の池林，赤蓮池
Padumissara〔傳◦轉輪王〕パドゥミッサラ
padumī～paduminī 蓮池

Padumukkhepa-vagga パドゥムッケーパ品 Ap 3 261～270
padumuttara 〔植〕パドゥムッタラ
Padumuttara ①=Jala-uttama 〔佛〕パドゥムッタラ，パヅゥムッタラ，蓮華上，最勝白蓮，上蓮華 ②〔辟〕パドゥムッタラ
Padumuttarā 〔傳○王女〕パドゥムッタラー
Pade 〔經〕足跡，足迹 S 45 140；48 54
Padesa 〔經〕一分 S 47 26；51 5
padesa-kārin 一分行者
padesa-paññatti 限定制
padesa-rājan 國王
padesa-vassin 地方的降雨
padesa-vihāre ñāṇaṁ 分住の智
padosa 瞋恚，瞋，瞋意，瞋怒
padmaka=padumaka 〔樹〕パドゥマカ
padma-patta=paduma-patta 蓮葉，蓮の葉
padhāna ① 勤，勤行，精勤，精懃 ②=pakati 初因，自性
padhāna-ghara 勤行堂
padhānaṅga～padhāniyaṅga 勤支，精勤支，勤行支〔五種〕
Padhānarakkha 〔精舍〕パダーナラッカ
padhāna-saṅkhāra 勝行=精進
Padhāna-sutta 精勤經 Sn 3 2
padhāniyaṅga～padhānaṅga 精勤支，勤行支，勤支〔五種〕
padhāvin～pathāvin 飛脚
Panaya 〔王〕パナヤ
Panayamāra 〔將軍，王〕パナヤマーラ
panasa 〔果，樹〕パナサ，半那娑，半娜娑，波羅蜜，ハラミツ，パン
Panasaphaladāyaka 〔比丘の譬喩經〕パナサパラダーヤカ Ap 3 385
Panasabukka 〔村〕パナサブッカ
Panasiya 〔ダミラ人〕パナシヤ
Panāda ①〔夜叉神〕パナーダ，波那攎 ②=Mahāpanāda 〔王〕パナーダ，鉢囉拏那 ③〔王子〕パナーダ
panuṇṇa-paccekasacca 別別の諦を除遣す
panta 邊際，邊境，邊地，僻陬，邊陬
panta sayanāsana=panta senāsana 邊地の臥坐所，邊陬の坐臥，僻陬の獨居
panta senāsana=panta sayanāsana 僻陬の獨居，僻陬獨住者，邊陬の坐臥，邊地の臥坐所
Pantha=Panthaka 〔比〕パンタ
Panthaka ①=Pantha, Cūḷapanthaka 〔比〕パンタカ，槃特，半託迦，道路，路の者②〔人〕旅慣
pantha-sakuṇa 道祖神
panthika 旅者〔衣〕
Pandriya 〔ダミラ人〕パンドゥリヤ
pannaga パンナガ，蛇，伏行者
Pannañjalika 〔比丘の譬喩經〕パンナンヂャリカ Ap 3 83
Pannaṭṭānkoṭṭa 〔地名〕パンナッターンコッタ
pannaddhaja 幢を收めし者，幡を倒せり
panna-bhāra 重荷を下せし人，荷を下せる者，擔を卸せり
pannarasika 十五日自恣，十五日布薩
papañca 戲論，障礙，障害，迷執，妄想
papañcati 戲論をなす
papañca-ratin 障を樂しむ者
papañca-saññā 妄想念，迷執の想
papañca-saññāsaṅkhā 迷執の想分，妄想念
papañca-sata 百戲論
papañcārāma 障を喜ぶ者
papañcita 戲論
papaṭikā ① 皮苔，外皮，薄皮 ② 鐵屑
papaṭikā-gandha 芽香
papatā 杈
papā 酒場
papāta 深嶮，深淵，崖，懸崖，斷崖，絕壁，堆阜
Papāta 〔經〕深嶮 S 56 42
Papāta-vagga 深嶮品 S 56 41～50
pappaṭaka 〔草〕パッパタカ
pappaṭakojā 醍醐味
Papphālama 〔港〕パッパーラマ
papphāsa 肺，肺臟〔三十二身分の一〕
papphāsa-pañcaka 肺臟の五種
pabbaja=babbaja 〔草〕パッバヂャ，パッバ草，

婆婆，婆羅婆，波羅波，刺蘿，燈心草，草笛
pabbajita 出家，出家者，出家行者，禁欲者，沙門
Pabbajita〔經〕出家 A 10 59
pabbajita-liṅga 出家者の特徵
pabbajitassa rogo 出家の病〔四種〕
pabbajitassa vibhūsā 出家者の嚴飾
pabbajja-sukha 出家樂
pabbajjā 出家，出家の生活
pabbajjācariya 出家せしめたる阿闍梨
Pabbajjā-pañho 出家の問 Mil 2〔1〕5
Pabbajjā-sutta 出家經 Sn 3 1
pabbata 山，山岳，山巖，山上，山中，山腹
Pabbata ①〔辟〕パッバタ ②〔神〕パッバタ，鉢婆多 ③=Pabbatissara〔仙〕パッバタ，鉢跋多 ④〔王，佛の前生〕パッバタ ⑤〔戰士〕パッバタ ⑥〔王臣〕パッバタ ⑦〔運河〕パッバタ ⑧〔園〕パッバタ，山 ⑨〔精舍〕パッバタ ⑩〔經〕山 S 15 5
pabbata-kandara 山巖
Pabbatachinnā〔尼〕パッバタチンナー
pabbata-nimitta 山相
pabbata-pāda 山麓
pabbata-muddha 山頂
pabbata-rāja=Himavant 山王
Pabbata-vagga 山品 S 46 1～10
pabbata-vivara 山山の洞窟，山間の洞窟
pabbata-visama 山の崖
pabbata-saṁkhepa 山頂，峽谷
Pabbatissara=Pabbata〔仙〕パッバティッサラ
Pabbatupamā〔經〕山喩 S 13 9～11；56 59, 60
Pabbatūpatthara-jātaka パッバトゥーパッタラ・チャータカ，山麓本生物語 J 195
Pabbatūpamaṁ〔經〕山の比喩 S 3 25
pabbateyyā nadī 山間の河流，山間の川
pabba-vāta 節痛
pabbājana 追放，流罪
pabbājaniya 驅出
pabbājaniya-kamma 驅出羯磨，應驅擯所作，擯出の刑 V 2 b 1, 9～12
pabbājaniyakamme aṭṭhārasa-vattaṁ 驅出羯磨十八事 V 2 b 1, 15
pabbājaniyakamme paṭippasambhetabba-aṭṭhārasakaṁ 驅出羯磨を解くべき十八事
pabbājeti 追放す，追放に處す
Pabbu-jātaka パッブ・チャータカ，猫本生物語 J 137
pabbedha 射程
pabbhāra 山崖，洞窟
pabbhāra-dasaka 傾十年
Pabbhāradāyaka〔比丘の譬喩經〕パッバーラダーヤカ Ap 3 310
pabhaṁkara buddha 作光覺者
Pabhaṅkara〔比丘の譬喩經〕パバンカラ Ap 3 333
pabhaṅgu 壞，壞法，毀
Pabhaṅgu〔經〕壞法 S 22 32
Pabhava 起，發生，出生，生出，根源
pabhassara 清淨，極光淨，光音，照曜
Pabhassara〔傳◦轉輪王，迦旃延の前生〕パバッサラ
Pabhassara-vimāna 極光天宮 Vv 40
pabhā 光明，後光〔四種〕
Pabhāvatī ①〔尸棄佛の母〕パバーヴァティー，光燿，有光 ②〔スヂャータ佛の母〕パバーヴァティー，發光 ③〔王女〕パバーヴァティー ④〔王女〕パバーヴァティー
pabhinna-ñāṇa 明了智
pamajjati 放逸なり
pamatta 放逸，放逸者，放逸人，懶惰*
pamatta-bandhu 放逸の縛，放逸者の親族=惡魔
pamāṇa 量，分量
pamāṇa-karaṇa 量因
Pamāṇa-gāthā 歸敬偈 Mil 1 1
pamāṇika ① 尺量 ② 籌量者
pamāda 放逸，不注意，懶惰
Pamāda ①〔經〕放逸 S 6 6 ②〔章〕放逸 A 8〔10〕17
pamādaṭṭhāna 放逸處
pamāda-vihāra 放逸住
pamāda-vihārin 放逸住者

Pamāda-vihārī〔經〕〔不〕放逸住者 S 35 97
Pamādādi-vagga 放逸等品 A 1 9
Pamitā〔王女〕パミター
pamukha パムカ，上首
pamudita 歡悅
pamūḷha 昏迷す
pamokkha 令解脫
Pamokkharaṇa〔傳◦轉輪王〕パモッカラナ
pampaka ①〔鳥〕パンパカ ② 狐猿
paya 牛乳
payata-pāṇin 淨手者
payassa hārī=kumbhaṇḍa 甕形夜叉
Payāga ①〔渡場，港〕パヤーガ，波夜迦，波夜伽 ②〔河〕パヤーガ
payirupāsati 承事す，敬奉す，恭敬す
payirupāsanā 恭敬
payoga 前方便，前行，加行
payogapaṭipassaddhi-paññā 加行止滅の慧
para 他，敵
Paraṁ maraṇaṁ〔經〕死後 S 16 12
paraṁ rakkhanto attānaṁ rakkhati 他を護らば自を護る
Parakusināṭā〔都〕パラクシナーター
Parakkanta=Parakkama〔パンドゥ國王〕パラッカンタ
Parakkantabāhu ①〔一世王〕パラッカンタバーフ ②〔二世王〕
Parakkantabhuja=Parakkamabāhu I〔王〕パラッカンタブヂャ
Parakkantibāhu〔林〕パラッカンティバーフ
Parakkama ①〔一世王〕パラッカマ ②〔パンドゥ國王〕③=Parakkamapaṇḍu I〔王〕④=Parakkamapaṇḍu II, Paṇḍu〔王〕⑤〔將軍〕
Parakkamataḷāka〔池〕パラッカマタラーカ
parakkama-dhātu 勤勇界，勇勤界，勇進界，勇猛
Parakkamapaṇḍu〔ダミラ人〕パラッカマパンドゥ
Parakkama-pura〔村，陣營〕パラッカマプラ
Parakkamabāhu ①〔一世王〕パラッカマバーフ ②〔二世王〕
Parakkamabhuja ①=Parakkamabāhu I〔王〕パラッカマブヂャ ②=Parakkamabāhu II〔王〕③=Parakkamabāhu III〔王〕④=Parakkamabāhu IV〔王〕⑤=Parakkamabāhu V ⑥=Parakkamabāhu VI〔王〕⑦=Parakkamabāhu VII〔王〕⑧=Parakkamabāhu VIII〔王〕
Parakkamabhujādicaturāja-dīpaka〔章〕パラッカマブヂャ等四王 Cv 91
Parakkama-sāgara〔池，水門〕パラッカマ海
Paragāmaka〔精舍〕パラガーマカ
paraṅkata 他作，他造
Paraṅgī パランギー，ポルトガル人
para-citta 他心
paracitta-kusala 他心善巧
paracittapariyāya-kusala 他心差別善巧
paracitta-vijānana 他心知
paracittavidū 他心知〔者〕
paracitte ñāṇaṁ 他心智，他心に於ける智
parajana 魔性の者
parajana yakkha 鬼藥叉
Parañcapabbata〔婆〕パランチャパッバタ
para-titthiya 外道
parattha 利他，他利，他義
paradattūpajīvin 他施活命餓鬼
para-dārika 姦夫，不義者
paradhammika 他法者
Paranimmita〔天〕他化自在，他所化
Paranimmita-vasavattī devo 他化自在天〔六欲天の一〕
parantapa 他を苦しむ，苦他
Parantapa〔從僕〕パランタパ
Parantapa-jātaka パランタパ・ヂャータカ，パランタパ從僕本生物語 J 416
para-pariggahita 他物
parapariggahita-saññin 他物想
parapiṭṭhimaṁsika 蔭口
parapiṭṭhimaṁsikatā 蔭口，噉他背肉
parapuggala-vimutti-ñāṇa 他人の解脫に關する智

parappavāda 論爭，爭論，異論，外道，外道の邪說，議論
Parappasādaka〔比丘の譬喩經〕パラッパサーダカ Ap 3 64
parama 最上者，最勝，第一，第一人者
parama-aroga 第一無病
parama-kusala 最勝善
Parama-gaṅgaṇa〔國〕パラマガンガナ，極遠恒伽那
parama-cakkhu 第一眼
paramaṭṭha=paramattha 勝義，第一義，第一義諦，眞諦，第一利
Paramaṭṭhakathā 第一義解明
Paramaṭṭhaka-sutta 第一八偈經 Sn 4 5
Paramaṭṭhakasutta-niddesa 第一八偈經の義釋 MNd 5
Paramaṇḍalappavattininnaya〔章〕他州事情視察 Cv 66
Paramaṇḍalābhigamana〔章〕他州へ旅立 Cv 64
parama-tapa 最上の苦行
Paramatta〔天〕パラマッタ
paramattha=paramaṭṭha 第一義，第一義諦，眞諦，第一義の義，第一義の利，第一利，勝義
paramattha-desanā 第一義說示=論藏
paramattha nibbāna 勝義涅槃
paramattha-pāramī=sacca-pāramī 眞諦波羅蜜，最上義波羅蜜
paramattha-visuddhi 第一義清淨，勝義清淨
paramattha-sacca 眞諦，第一義諦
paramattha-suñña 勝義空
parama-diṭṭhadhamma-nibbāna 最上現在涅槃，勝義現法涅槃
parama-diṭṭhadhamma-nibbāna-vāda 最上現在涅槃論
parama-nipaccākāra 最勝敬禮
parama niyāmatā 最上決定性
Paramannadāyaka〔比丘の譬喩經〕パラマンナダーヤカ Ap 3 303
Parama-yona〔國〕パラマヨーナ，極遠臾那
parama-visuddha 第一清淨
parama-sacca 最勝諦
parama-sukkābhijāti 極白生類
paramassāsa 最上安息
Paramassāso〔經〕最上安息 S 38 6
paramāṇu 極微
paramābhisambodhi 最上等正覺
parampara-bhojana 展轉食，相續食，數々食
paramparā 傳說，傳承，相承，展轉
parammukhā vikappanā 展轉淨施
para-loka 他世
Paralokagata-pañho 他界へ往く色の問 Mil 2〔7〕6
paraloka-vijaya 他世の勝伏
paraloka-saññin 他世想〔者〕
para-vāda 異教，外道の說
para-vādin 他論師
para-vitāraṇa 他令入
Para-vitāraṇa-kathā 他令入論 KV 2 4
para-visaya 他境界
para-sañcetanā 他思
para-samaya 他宗，他宗義
parassa dārā 他人の妻
para-hita 利他，他利
para-hitāya paṭipanno 利他〔行者〕
para-heṭhanā 他を害する
parājaya 敗北
parānuddayatā-paṭisaṁyutta vitakka 他への憐愍に關係せる尋，他人への憐憫に關係せる尋，他に同情するの尋，慈愍遠離相應の尋思
parānuvāda-bhaya 他責畏，他責の怖畏，他毀の怖畏
parābhava 破壞，敗亡
Parābhava-sutta 敗亡經 Sn 1 6
parāmaṭṭha 執取〔戒〕，已取著，已執
parāmaṭṭha c'eva dhamma no ca parāmāsa 已取著法にして非取著なる，已執非執法
parāmaṭṭha ceva no ca parāmāsa dhamma 已執非執法，已取著法にして非取著なる
Parāmaṭṭha-duka 已執二法 Duka 51
parāmaṭṭhaduka-kusalattika 已執二法善三法

Duka-tika 60
paramāṭṭha dhamma 已執法，已取著法，所取見法
paramāṭṭhā diṭṭhi 惛昧見
parāmasati 摩觸す
parāmasanā 重摩
parāmāsa 妄取，取，取著，取見，執，異取
parāmāsa-gocchaka 取著聚
parāmāsa c'eva dhamma parāmaṭṭha ca 取著法にして已取著なる，取見所取見法，執已執法
Parāmāsa-ceva-parāmaṭṭha-duka 執已執二法 Duka **53**
parāmāsa ceva parāmaṭṭha dhamma 執已執法，取見所取見法，取著法にして已取著なる
Parāmāsa-duka 執二法 Duka **50**
parāmāsaduka-kusalattika 執二法善三法 Duka-tika 59
parāmāsa dhamma 執法，取見法，取著法
parāmāsaparāmaṭṭhaduka-kusalattika 執已執二法善三法 Duka-tika 62
parāmāsa parāmaṭṭha dhamma 取見所取見法，取著法にして已取著なる，執已執法
parāmāsa-vippayutta aparāmaṭṭha dhamma 執不相應非已執法，取著不相應法にして不已取著なる
parāmāsa-vippayutta dhamma 執不相應法，取見不相應法，取著不相應法
parāmāsa-vippayutta dhamma aparāmaṭṭha 取著不相應法にして不已取著なる，執不相應非已執法
parāmāsa-vippayutta dhamma parāmaṭṭha 取著不相應法にして已取著なる，執不相應已執法
Parāmāsavippayutta-parāmaṭṭha-duka 執不相應已執二法 Duka **54**
parāmāsavippayuttaparāmaṭṭhaduka-kusalattika 執不相應已執二法善三法 Duka-tika 63
parāmāsa-vippayutta parāmaṭṭha dhamma 執不相應已執法，取著不相應法にして已取著なる
parāmāsa-sampayutta 取相應，取著相應，取見相應，異取相應
Parāmāsasampayutta-duka 執相應二法 Duka **52**
parāmāsasampayuttaduka-kusalattika 執相應二法善三法 Duka-tika 61
parāmāsa-sampayutta dhamma 執相應法，取見相應法，取著相應法，異取相應法
parāyana ① 依怙，依據，所趣處 ② 彼岸，到彼岸
Parāyanaṁ〔經〕到彼岸 S 43 44
parāyanagāmi magga 到彼岸に達するの道
parikathā 豫言，遠廻し
parikappa 定見
parikamma 淨治，遍作，準備，豫備修行，豫備的修行
parikamma-nimitta 遍作相
parikamma-bhāvanā 遍作修習，豫備修行
parikamma-manasikāra 遍作(準備)作意
parikamma-samādhi 遍作定
parikkamana 出離，回避
Parikkamana〔經〕出離 A 10 175
parikkamana-pariyāya 回避の法門
parikkhaya 遍盡
Parikkhaya〔經〕遍盡 A 8〔附〕
parikkhāra ① 資具，資財，資助 ② 祭法〔十六種〕
parikkhepa 籬
parikhā 濠，塹壕
parikhā-kūpa 溝坑
pariggaha 遍取，執持，執著，愛著，著，攝受
pariggaha-suñña 攝受空
paricāraka, paricārika 召使，侍者
paricārikā=pāricariyā 侍女，給仕
pariccāga 永捨，遍捨
pariccāgaṭṭhe ñāṇaṁ 永捨の義の智
pariccāga-paṭinissagga 永捨定棄，遍捨捨遣
pariccāga-vossagga 永捨最捨
paricce ñāṇaṁ 遍行の智
paricchinnākāsa-kasiṇa=ākāsa-kasiṇa 制限虛

空遍，限定虚空遍
pariccheda 限界
pariccheda-rūpa 限界色，區劃色
paricchedākāsa 限定虚空
paricchede ñāṇaṁ 他心智〔四智の一〕
parijanā 侍女
Parijānaṁ or Abhijānaṁ〔經〕遍智（證知）S 22 24
Parijānanā〔經〕曉了 S 35 26, 27
parijānāti 遍知す
pariññaṭṭhe paññā 遍智の義の慧
pariññā 遍知，遍智，知悉，智，會得智，曉了
Pariññā ①〔經〕遍智 S 22 23 ②〔經〕曉了 S 35 60 ③〔經〕遍知 S 48 63；A 8〔附〕
pariññātāvin 遍知人
pariññā paññā 遍智の慧
pariññā-paṭivedha 遍智通達
pariññābhisamaya 遍知現觀
Pariññāya〔經〕遍知 S 47 38；A 10 219
Pariññā-vāra 遍知分
pariññeyya 遍知せらるべき，知悉せらるべき
Pariññeyyaṁ ①〔經〕可所知悉 S 35 47 ②〔經〕應遍知 S 56 29
pariññeyya dhamma 遍知すべき法，遍知せらるべき法，所遍知法，所知法
Pariññeyyā〔經〕所遍知 S 22 106；23 4
pariṇata 寄進物，寄進
pariṇata-bhojin 食の消化〔者〕
pariṇāma 消化
pariṇāmeti 廻與す
pariṇāyaka 司令官，將軍，主兵臣
pariṇāpaka-ratana 主兵臣寶，主兵寶，將軍寶，顧問寶，典兵寶〔七寶の一〕
pariṇāha-mada 寛廣憍
paritassanā 恐怖，恐懼
paritta ① 小，少，有量 ② パリッタ，護呪，救護呪，護經，守護の呪文，呪文，護符，救解
paritta aggi 小火
paritta appamāṇārammaṇa 小にして無量所緣，小無量所緣
Parittaṭṭhakathā パリッタッタカター，護經義解
Parittattika 小三法 Tika 12
parittattika-kusalattika 小三法善三法 Tika-tika 32
parittattika-saraṇaduka 小三法有諍二法 Tika-duka 84
parittattika-hetuduka 小三法因二法 Tika-duka 12
paritta-duka 小二法
parittaduka-hetuduka 小二法因二法 Duka-duka 42
paritta dhamma 小法
paritta parittārammaṇa 小にして小所緣，小小所緣
paritta maccha 小魚
paritta-saññin 少想
parittasaññī attā ca loko ca 我と世界とは少想を有するものなり
paritta-samādhi 小定
Parittasubha-deva 少淨天
Parittābha-deva 少光天
parittābhā 少光
parittārammaṇa 小所緣
Parittārammaṇattika 小所緣三法 Tika 13
parittārammaṇattika-kusalattika 小所緣三法善三法 Tika-tika 33
parittārammaṇattika-saraṇaduka 小所緣三法有諍二法 Tika-duka 85
parittārammaṇattika-hetuduka 小所緣三法因二法 Tika-duka 13
parittārammaṇa dhamma 小所緣法
parittārammaṇa[-paññā] 小所緣〔慧〕
parittārammaṇa[-samādhi] 小所緣〔定〕
Parittikkuṇḍi〔地方〕パリッティックンディ
Parittikkuṇḍiyāra〔ダミラ人〕パリッティックンディヤーラ
parideva 悲，悲泣
parideva-dhamma 悲法
paridevayati 悲泣す
parinipphanna 圓成
parinibbāti=parinibbāyati 般涅槃に入る

parinibbāna 般涅槃
Parinibbāna〔經〕般涅槃 S 6 15
Parinibbāna-kathā 般涅槃論 KV 22 1
parinibbāna-dhamma 般涅槃法
Parinibbāna-pañho 涅槃の問 Mil 2〔2〕4；4〔9〕5
parinibbāna-pariyāya 般涅槃の法門
parinibbāne ñāṇaṁ 般涅槃の智
parinibbāyati=parinibbāti 般涅槃に入る
parinibbuta 般涅槃者，般涅槃せる者，般涅槃〔者〕，圓寂せる
Parinibbutānaṁ cetiye pāṭihīra-pañho 般涅槃者の塔廟に於ける神變の問 Mil 4〔9〕2
Parinda〔王〕パリンダ
paripakka 消化
paripakkavedaniya kamma 已熟受の業
paripakka-vedanīya 已熟所受，已熟受
paripañhati 熟慮す*
paripantha 障礙，障難
paripanthe ñāṇaṁ 阻害智〔八種〕
paripāka 成熟，毀熟
paripācana 成熟，火
paripācana-bhāva 遍熟性，成熟性
paripācana-lakkhaṇa 遍熟相=火界
paripācita 斡旋
paripucchakatā 遍問
paripucchati 質問す，尋問す，請問す，遍問す
paripucchā 遍問，質問，問義
paripucchāsu paṭibhānavā 遍問に對する應辯具者
Paripuṇṇaka〔比〕パリプンナカ
paripuṇṇa-pārisuddhi-sīla 圓滿淸淨戒，圓滿遍淨戒
paripūra 圓滿，全分
paripūra-kārin 全分行者
paribbaya 給銀
paribbasāna 遍住者
paribbājaka 遍歴者，遍行外道，徧行士，出家行者，普行者，普行出家，普行沙門，普行外道，普行梵志，遊行者，遊行僧，行脚僧，修行者，梵志，波利婆闍，般利婆闍迦
Paribbājaka-vagga パリッバーヂャカ・ヷッガ，普行者品 M 71～76
paribbājakārāma 普行者園，異學園
paribbājikā 遍行外道女，出家尼
paribhava 蔑視
paribhavati 輕蔑す
paribhāsa 罵倒，悪口
paribhāsaka 悪口〔者〕
paribhāsati 譏謗す，悪口す
paribhedaka 中傷者
paribhoga 受用〔四種〕
paribhoga-chanda 受用欲
Paribhogamayapuñña-kathā 受用所成福論 KV 7 5
paribhojaniya=paribhojanīya 用水，澡水，洗淨水
parikhojaniya-ghaṭa 用水瓶
paribhojanīya=paribhojaniya 洗淨水，用水，澡水
parimaṇḍala 全圓，圓形
Parimaṇḍala-vagga 全圓品 V 1 a 7，1～10
parimaddana ① 粉碎，磨滅 ② 按摩
parimaddāpeti 摩せしむ
parimāṇa 有量
Parimucchita〔經〕解脱 S 22 118，119
pariyatti 教法，教說，通達
pariyatti-dhamma 教法
pariyatti-pariharaṇa 聖典の研究
pariyatti-sāsana 教說の教
pariyanta 周邊，究竟
pariyanta-cārin 周邊行
pariyantapārisuddhi-sīla 制限遍淨戒，有邊淸淨戒
pariyanta-sīla 有邊戒
pariyādāna 了悟
Pariyādinnaṁ〔經〕了悟 S 35 61，62
pariyāpanna 繫，繫屬，所攝
Pariyāpanna-kathā 繫屬論 KV 14 7
Pariyāpanna-duka 所攝二法 Duka 96
pariyāpannaduka-kusalattika 所攝二法善三法 Duka-tika 105

pariyāpanna dhamma 攝法，所攝法＝世間法
pariyāya 異門，法門，教，教說，經說，經の說き方，部門，方便，因由，理趣
Pariyāya〔經〕理趣 S 46 52
pariyāya-kathā 經典說
pariyāya-desita 異門說
pariyāya-bhatta 定期食，定期食者，間隔食，間隔食者
pariyāya-bhattika 定期食行者，間隔食者
pariyāya-vāra 方便章
Pariyāya-sutta 理趣經 S 46 52
pariyāyesu paṭibhānavā 教說に對する應辯具者
pariyuṭṭhāna 纏
Pariyuṭṭhānaṁ cittavippayuttan ti kathā 纏心不相應論 KV 14 6
pariyuṭṭhāna-paṭipakkha 纏の對治
pariyeṭṭhi-suddhi 遍求淨
pariyesana, pariyesanā 遍尋，遍求，尋求，求
pariyesana-chanda 遍求欲
pariyesanā-nānatta 種種求，求種種
pariyesita 所求
pariyogāhana-suñña 深解空
pariyogāhane ñāṇaṁ 深解の智
pariyodāta 白潔，淨白，皎潔
pariyonāha [illegible]
pariyosāna 完了，究竟，滅度
pariyosāna-kalyāṇa 終善，後善
Parileyya〔經〕波陀聚落 S 22 81
Parileyyaka＝Pārileyyaka〔邑，林〕波陀
pariḷāha 熱悩，熱煩，焦，苦惱
Pariḷāha〔經〕熱煩 S 56 43
pariḷāha-nānatta 種種熱，熱種種
pariḷāha-samaya 熱時
parivajjana 避，避[illegible]，回避
parivajjeti 遠離す
parivatteti 交換す
parivadantika〔鳥〕ハリワダンティカ
parivāra 眷族，從者，圍繞者，伴屬，附隨物
Parivāra ハリヴーラ，附隨，附隨篇，附隨部，波利婆羅，附錄〔律藏〕V 3
parivāraṇa 帷帳
parivāra-mada 眷屬憍
parivāsa パリヴーサ，別住 V 2 b 3
parivāsa-dāna 與別住
parivitakka 審慮
Parivīmaṁsana〔經〕思量 S 12 51
pariveṇa 房，房舍，僧房
Pariveṇa〔精舍〕パリヱーナ
parivesanā 食物の分配，食物分配
parisaṅkā 疑，疑惑，疑意
parisaññū 衆會を知る
parisa-dussanā 衆汚濁
parisa-dūsaka 衆を毀辱する者，衆汚濁
parisa-maṇḍa 醍醐衆會
parisa-sārajja-bhaya＝parisāya sārajja-bhayaṁ 會衆の怖畏，衆中にて臆する怖畏，集會中羞恥怖畏，集恐怖畏，怯衆怖
parisa-sobhaṇa 衆莊嚴，衆淨飾
parisā 衆，衆會，集會，會，會衆，民衆，集會處
Parisā〔經〕他 A 8 69
parisā kasaṭā 糟糠衆會
parisāya sārajja-bhayaṁ＝parisa-sārajja-bhaya 衆中にて臆する怖畏，集會中羞恥怖畏，集恐怖畏，會衆の怖畏，怯衆怖
Parisā-vagga 衆會品 A 2 5
parisāvacara 衆を境界とす
parisuddha 淸淨，遍淨
Parisuddha ①〔傳◦轉輪王〕パリスッダ ②〔經〕淸淨 S 45 16, 17；A 10 123
parisuddha-ājīva＝parisuddhājīva 生活淸淨，活命淸淨，命淸淨
parisuddha-kāyakammantatā 淸淨なる身業性
parisuddha-kāyasamācāra 身行淸淨
parisuddha-ñāṇadassana 智見淸淨
parisuddha-dhammadesanā 說法淸淨
parisuddha pariyodāta 淸淨潔白
parisuddha-manoviññāṇa 淸淨の意識
Parisuddha-vagga 淸淨品 A 10 123～133
parisuddha-vacīsamācāra 口行淸淨
parisuddha-veyyākaraṇa 記說淸淨
parisuddha-vohāra 淸淨言說

parisuddha-sīla 戒清淨
parisuddhājīva=parisuddha-ājīva 命清淨，生活清淨，活命清淨，清淨生活者
parisuddhājīvatā 生活そのものの清淨性
parisuddhā dhamma-desanā 淨說法
Parisuddhābha deva 遍淨光天
parisuddhābhā 遍淨光
parisuddhuppāda 遍淨起
parissaya 危難，危險
parissaya-vinaya 危險の調伏
parissāvana 漉水器，漉水囊，漉水布，濾水器，水濾〔比丘七道具の一〕
Parihāna ①〔經〕退失 A 8 79 ②〔經〕衰退 A 10 55
Parihānaṁ〔經〕退 S 35 96
parihāna-dhamma～parihāni-dhamma 退法，退法者
parihānadhamma puggala 衰退法の人
parihāni 衰退，退，衰亡，衰滅，損減
Parihāni〔經〕損減 S 47 23
parihāni-kathā 退論
parihāni-dhamma～parihāna-dhamma 退法
parihāniya dhamma 順退法〔三種〕
parihāyati arahā arahattā 阿羅漢は阿羅漢果より退す
parihīna-pañña 賤劣慧者
Parupāhāra-kathā 他所與論 KV 2 1
Parosata-jātaka パローサタ・ヂャータカ，超百本生物語 J 101
Parosata-vagga 超百品 J 101～110
Parosahassa〔經〕千以上 S 8 8
Parosahassa-jātaka パローサハッサ・ヂャータカ，超千本生物語 J 99
Palaṁnagaraga〔精舍〕パランナガラガ
Palaka〔池〕パラカ
palagaṇḍa 石匠，建築師
Palaṅkoṭṭa〔地名〕パランコッタ
palaṇḍuka 玉葱
Palandīpa〔地方〕パランディーパ
Palaya〔王〕パラヤ
Palayamāra=Pilayamāra〔將軍，王〕パラヤマーラ
palāpa ① 粃糠，稃 ② 駄呪，談論
Palāyi-jātaka パラーキ・ヂャータカ，逃亡本生物語 J 229
palāla 藁
palāla-piṭṭhi-kāraṇa=palāla-pīṭhaka〔罰〕藁積
palāla-pīṭha 藁椅
palāla-pīṭhaka=palāla-piṭṭhi-kāraṇa〔罰〕藁の踏臺
palāla-puñja 藁積，藁堆，穰積處，藁を積める處，藁場，稻稈積，稈堆
palāla-puñjaka 藁堆住者
palāsa ①=paḷāsa 惱，惱害，惱害心，頑固 ②〔樹〕パラーサ，族葉樹，蘇芳樹，波羅奢 ③パラーサ鹿
Palāsa〔章〕惱 A 8〔10〕7
Palāsa-jātaka ① パラーサ・ヂャータカ，パラーサ樹本生物語 J 307 ② パラーサ・ヂャータカ，蘇芳樹本生物語 J 370
palāsata 犀
palāsa-patta 婆羅葉
Palāsa-vana パラーサ(族葉樹)林，葉林
palāsin 欺瞞〔者〕
Palāsinā〔經〕惡意者 S 35 137, 138
paligha 閂門，閂栓，閂，闢，鐵棒
palita=phalita 白髮
Palida (A)=Pārinda〔國〕パーリンダ
palipatha ① 險路，險阻 ② 泥濘，貪欲
palipa-palipanna 泥濘に陷沒せる
palipā 淤泥
palibodha=paḷibodha 障礙，執持，執受
Paluttha-giri〔山〕パルッタギリ
paloka 毀，壞，壞滅，壞敗，破壞，滅壞
Paloka〔經〕壞敗 S 35 84
paloka-dhamma 壞敗の法
pallaṁka ① 牀座，椅子，寢臺，長椅子，尼巳牀，鞏 ② 結跏趺坐，跏趺
pallaṅkaṁ ābhujati 結跏趺坐す，結跏す
Pallaṅkadāyaka〔比丘の譬喩經〕パッランカダーヤカ Ap 3 150
Pallaṅka-vimāna 臥臺天宮 Vv 31

pallaṅkena nisīdati 結跏趺坐す
pallatthikā 亂れがましき姿勢
pallala 沼，沼澤，泥沼
Pallava ①〔ダミラ人〕パッラヴ ②〔地名〕
Pallavaka 鉢羅婆〔國〕人
Pallavavaṅka〔港〕パッラヴヴンカ
Pallavavāla〔ka〕〔地名〕パッラヴヴーラ〔カ〕
Pallikāvāpī〔地名〕パッリカーヴーピー
paḷāsa＝palāsa 惱，惱害，惱害心，頑固
paḷāsin 惱〔者〕，惱害者，欺瞞者，惡意者
paḷibodha＝palibodha 障礙，執持，執受
pavaṅka 隨從
pavajita (A)＝pabbajita 出家者
pavaṭṭika 腕環
pavatta 轉，轉起，輪轉，流轉
Pavatta〔山〕パヴッタ，波樓多
pavatta-pariyādāne paññā 流轉永盡の慧
pavatta-phala-bhojana 落ちたる果實を食とする者
pavattar 宣說者，宣布者，說者
Pavattar〔辟〕パヴッター
pavatti 轉起，轉
pavattin 師
pavattinī 和尙尼
Pavatti-vāra 轉分
pavara 最頂
Pavarā〔毘沙門天女〕パヴラー
pavādiya 議論者
Pavāraṇakkhandhaka 自恣犍度 V 2 a 4
pavāraṇa-ṭhapana 自恣を中止すること
pavāraṇā 自恣，自恣日，自恣請，足食，請
Pavāraṇā〔經〕自恣 S 8 7
pavāraṇā-kamma 自恣羯磨
pavārita 受請者，滿足し已る
pavāḷa, pavāḷaka 珊瑚
pavāḷa-maya 珊瑚製
pavāsa 遠行
Paviṭṭha〔比〕パギッタ
pavivitta 遠離，遠離者，遠離[illegible]，獨居者，閑居者，孤獨行，孤獨行者
paviveka 遠離，離，獨居，閑居，孤獨，寂靜，閑寂，閑靜
paviveka-kathā 遠離論，遠離の話，出離論，獨居の稱說〔十論事の一〕
pavivekajjhāsaya 遠離意樂
pavivekatā 遠離
paviveka-pīti 遠離の喜
paviveka-rati 遠離の樂
paviveka-sukha 遠離樂，遠離の樂，捨離樂，獨住の樂
pavivekādhimutta 遠離信解
pavivekārāma 遠離を樂しむ者
pavivekāvudha 離仗〔三仗の一〕
pavisant 入口
pavīhi～vīhi〔植〕パギーヒ，稻，米
pavutta 歌詠
paveṇī 處女牛
pavesana 入時
pasaṁsati 讚嘆す，賞讚す
pasaṁsā 稱譽，賞讚，名譽，譽
pasaṁsiya〔樂器〕パサンシヤ
pasata ①〔量〕パサタ，合，一合 ②＝pasada-miga 斑鹿，パサタ鹿
paṣaḍa (A)＝pāsaṇḍa 宗派，外道
pasada-miga～pasata パサダ鹿，斑鹿，斑の鹿
pasanna 已信者，欣樂，澄淨
pasanna-citta 明淨心，澄淨心，淨心，淨き心，喜明心
pasanna-mukhavaṇṇa 顏色光澤，顏色よく
Pasayhā〔經〕抑制 S 37 26
pasākha パサーカ，波沙佉，鉢羅奢佉，肢節〔胎內五位の一〕
pasāda 澄淨，心喜，喜悅，明淨，淨心，淨信
Pasāda ①〔殿樓〕パサーダ ②〔經〕喜悅 A 8 88
pasāda-cakkhu 淨眼
pasādaniya-dhamma 可喜法〔十種〕
pasādanīya nimitta 淨相
Pasādapālā〔尼〕パサーダパーラー
pasāda-rūpa 淨色
pasāda-vatthu 淨基

pasādiyā〔植〕パサーディヤー
pasu 家畜，獸類，畜獸，畜生，牛馬，牛，牡牛
pasuka 畜獸，山羊
pasuta 熱中す
pasu-pālaka 牧畜者
Pasūra〔外〕パスーラ，波須羅
Pasūra-sutta 波須羅經 Sn 4 8
Pasūrasutta-niddesa 波須羅經の義釋 MNd 8
Pasenadi〔王，コーサラ國王〕パセーナディ，波斯匿
passaddha 安息，輕安
passaddha-kāya 身輕安，身の輕安，輕安身，安穩身
passaddha-kāyasaṅkhāra 身行輕利，身行寂靜
passaddha-citta 輕安心
passaddhi 輕安，止，安息
Passaddhi〔經〕輕安 A 9 58
passaddhi-sambojjhaṅga 輕安等覺支，輕安覺支，靜安の覺意〔七等覺支の一〕
passaddho kāyo asāraddho 輕安不激の身
passant 見者，正見者
passambhana 安息
passa-sukha～phassa-sukha 脇の樂，倚樂，轉臥の樂，橫臥の樂
passāva 小便，尿
passāva-kumbhī 尿瓮
passāvaṭṭhāna 小便所，小便處
passāva-doṇikā 尿甕，尿壺
passāva-pāduka 安脚處
passāva-magga 小便道
passāsa ①パッサーサ，入息，入息風 ②パッサーサ，出息
Passika〔比〕パッシカ
Passin〔辟〕パッシー
Pahasambahula〔傳◦轉輪王〕パハサンバフラ
pahātabba 捨棄せらるべき，斷ぜらるべき，斷ずべき，斷たるべき
Pahātabbaṁ〔經〕可所捨棄 S 35 48
pahātabba dhamma 斷たるべき法，斷ぜらるべき法，斷ずべき法

pahāna 捨斷，捨，斷，捨離
Pahāna ①〔經〕捨棄 S 35 24, 25 ②〔經〕斷 S 46 74；A 8〔附〕
pahānakkama 捨斷の順序
pahānaṅga 捨斷支
pahānaṭṭhe paññā 斷の義の慧，捨斷の義の慧
pahāna-paññā 斷の慧
pahāna-paṭivedha 斷通達
pahāna-padhāna 斷勤
pahāna-pariññā 斷遍知
pahāna-vibhūta 捨斷無有
pahāna-saññā 斷想，捨離想
pahāna-saññin 斷想〔者〕
pahānābhisamaya 捨斷現觀
Pahānena〔經〕捨棄 S 36 3
Pahārāda ①〔阿修羅〕パハーラーダ，波羅陀，波呵羅 ②〔比〕パハーラーダ ③〔經〕波呵羅 A 8 19
Pahāsa ①〔地獄〕喜笑 ②〔天〕
pahiṇa 使丁，仲介人
pahiṇa-gamana＝pahīna-gamana 使節，遣使，使丁
pahitatta 專念，持心，精勤
pahīna 捨離，已斷
pahīna-kilesa 已斷煩惱
pahīna-gamana＝pahiṇa-gamana 遣使，使節，使丁
Pahīna-vāra 已斷分 Y 7 5
pahu 有能者
pahūta-jivha 舌廣長，廣長舌，廣長舌相，舌の大〔三十二相の一〕
pahūta-jivhatā 廣長舌，廣長舌相，舌廣長，舌の大
Pahejja〔地所〕パヘーヂャ，波醯闍
Pahejja-vatthu 波醯闍處
pāka＝pāka-haṁsa パーカ，鵝鳥
pākaṭa-parissaya 顯現の危難，顯現の危險
pākatindriya 諸根不制御，諸根を護らざる，諸根制御なし，自性根
Pākatindriya or Sambahulā bhikkhū〔經〕不制御根（多比丘）S 9 13

Pākasāsana=Sakka パーカサーサナ
pāka-haṁsa=pāka パーカハンサ，鵝鳥
pākāra 墻，籬，城壁，壘，城壘，堡壘
pākāra-toraṇa 壁樓
pāgabbhiya 傲慢〔三種〕
pācana 刺棒，鞭
pācana-yaṭṭhi 牛追の棒
pācayant 責めしむる者
pācittiya〔罪名〕パーチッティヤ，波逸提，單墮
pācittiya-ajjhāpanna 波逸提犯戒者
Pācittiya-vagga 波逸提品
pācīna 東
Pācīna ①〔國〕パーチーナ，波夷那 ②=Pācīnadīpaka〔島〕パーチーナ ③〔經〕東 S 45 91～96，103～108，115～120，127～132
Pācīnaka〔國，人〕波夷那
Pācīnaka bhikkhu パーチーナ比丘，波夷那比丘
Pācīna-khaṇḍarāji〔地名〕パーチーナカンダラージ
Pācīnatissa-pabbata〔精舍〕パーチーナティッサ山，東の帝須山
Pācīnadīpaka=Pācīna〔地名〕パーチーナディーパカ
Pācīna-pabbata〔精舍〕東山
Pācīnayava-majjhaka 東麥中村
Pācīnavaṁsa〔園林〕東竹，東竹山
Pācīnavaṁsadāya パーチーナヴンサダーヤ，般那蔓闍寺林，東竹山林=前項
Pācīnārāma〔精舍〕パーチーナ園，東精舍
Pājalaka=Sājīlakandaka〔精舍〕パーヂャラカ
pāṭaṅkī=pātaṅkī 轎，椅子轎
pāṭala～pāṭali〔花〕波多羅
Pāṭala ①〔舞踊者〕パータラ ②〔池〕
pāṭali=citrapāṭalī，pāṭalika〔花，樹〕波吒釐，波吒梨，波吒羅，波波羅，波羅利
Pāṭali=Pāṭali-putta〔邑，城〕パータリ，邑蓮弗，邑吒釐，波吒梨，波吒離
Pāṭali or Manāpo〔經〕波羅牢（或可意）S 42 13
pāṭali〔ka〕〔樹，花〕波吒釐，波吒梨，波羅利
Pāṭaligāma=Pāṭali パータリガーマ，波吒離村，波吒梨，邑蓮弗邑，巴吒釐村
Pāṭaligāmiya-vagga 波吒離村人品 Ud 8
Pāṭaliputta=Pāṭali，Pāṭaligāma〔城〕パータリプッタ，巴連弗，巴羅利弗，波吒利弗，波吒梨子，波吒釐子，波羅利子，華子城
Pāṭaliputta-petavatthu 華子鬼事 Pv 4 11
Pāṭalipupphiya〔比丘の譬喩經〕① 波吒釐プッヒヤ Ap 3 78 ② パータリプッヒヤ Ap 3 369
Pāṭalipūjaka〔比丘の譬喩經〕パータリプーヂャカ Ap 3 248
Pāṭaliya gāmaṇi〔寨〕パータリヤ聚落主
pāṭalī=pāṭali，citrapāṭalī〔樹，花〕パータリー，波吒梨，波吒羅，波波羅，波羅利
Pāṭika ①〔地名〕パーティカ，波吒 ②=Pāṭiyā〔園〕パーチカ
Pāṭika-putta〔外〕パーティカ子，波梨子
Pāṭika-suttanta パーティカ・スッタンタ，波梨經 D 24
pāṭidesaniya=pātidesaniya〔罪名〕パーティデーサニヤ，悔過，波逸提沙尼耶，波羅提提舍尼，提舍尼
pāṭidesaniya-ajjhāpanna 波羅提提舍尼犯戒者
pāṭidesanīyaka 波逸提沙尼耶法，悔過法，波羅提提舍尼法，提舍尼 V 1 a 6；V 1 b 5
pāṭipadika 月初日食，月旦食，初日食
pāṭipuggalikā dakkhiṇā 對人施〔十四種〕
pāṭibhoga 保證，證者，成就者
Pāṭibhoga-vagga 成就者品〔如是語經〕It 1 1～10
pāṭimokkha〔uddesa〕=pāṭimokkhuddesa 說戒
pāṭimokkha-saṁvara=pātimokkha-saṁvara 別解脫律儀，波羅提木叉律儀，戒本防護，順解脫律儀
pāṭimokkhuddesa 波羅提木叉讀誦法，波羅提木叉の讀誦，波羅提木叉を誦むこと，說戒
Pāṭiya〔園，塔園の古名〕波利耶
Pāṭiyā=Pāṭika〔園〕パーティヤー，波利耶
pāṭihāriya=pāṭihīra，pāṭihera 神變，神通，示導，奇蹟

Pāṭihāriya-kathā 示導論 Pṭs 3 6
pāṭihāriya-pakkha 神變月，神變月分、神變分、神變を得る分，別の時
pāṭihīra=pāṭihāriya 神變，神通，示導，奇蹟
Pāṭihīrasaññaka 〔比丘の譬喩經〕パーティヒーラサンニャカ Ap 3 430
pāṭihera=pāṭihāriya，pāṭihīra 神變，神通，示導，奇蹟
pāṭhīna 〔魚〕パーティーナ
Pāṭheyya 〔邑〕パーテェッヤ，波利
Pāṭheyyaka パティヤ人
Pāṭheyyaka 〔bhikkhu〕波利〔比丘〕
Pāṭheyya bhikkhu パーテッヤ比丘，波利比丘
Pāḍā (A), Paṁḍiya (A) =Paṇḍiya 〔國〕パンディヤ
pāṇa 生物，有情，蟲
Pāṇa ①〔經〕生類 S 46 11；56 36 ②〔經〕生 S 56 71
pāṇaka 蟲
pāṇa-ghātar 殺生者
pāṇa-bhūta 生有
pāṇātipāta 殺生，殺害，斷生命
pāṇātipātā paṭivirato 離殺生者
pāṇātipātā veramaṇī 殺生の離，殺生を離るること，不殺生，離殺生，離斷生命，斷人命より遠離
pāṇātipātā veramaṇī sikkhāpada 斷人命より遠離の學處，不殺生戒
pāṇātipātin 殺生者
pāṇi 手，拳
pāṇikā 鏝
pāṇissara 手鈴，手鈴樂，手琴，小鼓
pātaṅkī=pāṭaṅkī 轎，椅子轎
Pātañjalī-mata パタンヂャリの教=ヨーガ派
Pātapata 〔地名〕パータパタ
pātala 地窖，地獄
pātala-raja 地獄の塵
Pātaliputta 〔出家者〕波吒離子
pātāla 嶮崖，龍淵，大渦潮
Pātāla 〔經〕嶮崖 S 36 4
pāti=pātī 茶碗，鉢，甌
Pāti 〔經〕鉢 S 17 11，12
Pātika-suttanta パーティカ・スッタンタ，波利經 D 24
pātidesaniya=pāṭidesaniya 〔罪名〕波羅提提舍尼，波逸提沙尼耶，悔過，提舍尼
pātimokkha=pāṭimokkha パーティモッカ，波羅提木叉，戒本，戒條，戒律，別解脫
Pātimokkha 〔經〕波羅提木叉 S 47 46
pātimokkha-ṭhapana 遮波羅提木叉，遮說戒，波羅提木叉を遮する，波羅提木叉を中止すること
Pātimokkhaṭhapanakkhandhaka 遮說戒犍度 V 2 b 9
pātimokkha-saṁvara=pāṭimokkha-saṁvara 波羅提木叉律儀，波羅提木叉の律儀，別解脫律儀，順解脫律儀，戒本防護
pātimokkhasaṁvara-sīla 別解脫律儀戒，波羅提木叉律儀戒
pātimokkhuddesaka 說戒者
pātī=pāti パーティー，甌
pātubhāva 顯現，出現
pātubhāva dullabha 出現の得難き〔六法〕
Pāttanallūru 〔地名〕パーッタナッルール
Pāthīṇa 〔精舍〕パーティーナ
pātheyya 糧食，路銀，路用の資，旅路の糧，道路糧，行路の糧食
Pātheyya 〔經〕糧食 S 1 79
pātho sināna 早朝の水浴
pāda ① 足，脚 ②〔貨幣〕パーダ，五錢=五マーサカ，四分一カハーパナ
pādaka 基底
pādaka-jhāna 基礎禪，基礎をなす禪定
pāda-kathalika 足布，足板，洗足板
pādaka-yoga 基本觀行，基礎瑜伽=基礎禪
pāda-khīla 胼胝
pāda-ghaṁsaniya 磨足物
pādaṅguṭṭha 足指，足の拇指
pāda-cetiya 足跡塔
pādacchinna 足截られし者，足切斷者
Pādañjali 〔王子〕パーダンチャリ
Pādañjali-jātaka パーダンチャリ・ヂャータカ，

パーダンヂャリ王子本生物語 J 247
pādaṭṭhi 足の骨
pāda-tala 足蹠
pādanakha-sikhā 距
pādapa〔樹〕パーダパ
Pādapāvara〔傳◦轉輪王〕パーダパーヴラ
pāda-pīṭha 洗足臺，足臺
Pādapīṭhiya〔比丘の譬喩經〕パーダピーティヤ Ap 3 445
pādapuñchana-maṇḍala 足拭き圓輪
pāda-puñchanī 足拭，足拭布
Pādapūjaka〔比丘の譬喩經〕パーダプーヂャカ Ap 3 296
pādabbhañjana 足油
pāda-maṇḍapa 足跡堂
pāda-lola 彷徨
pāda-sadda 跫音
Pādasika ペルシャ人
Pāduka-vagga 草履品 V 1 a 7, 61〜75
pādukā 履，履物，革履，草履
pādūpaga 足節
Pādūlaka〔池〕パードゥーラカ
pādesika 地方長官
pādodaka 洗足水，洗足の水，足水
pāna 飲物，飲料
pāna(A), prāṇa(A), praṇa(A)=pāṇa 生類，生物
pāna-kathā 飲物論，飲論，飲事論，飲料論，飲料の話〔無用論の一〕
pānadhi パーナディ，草履
Pānadhidāyaka〔比丘の譬喩經〕パーナディダーヤカ Ap 3 212, 476
pāna-bhojana 飲食
pāna-sakha 飲み友だち
pānāgāra 酒屋，酒肆，酒鋪，飲酒店
pānāgārika 酒屋
pāniya-ghaṭa 水瓶
pāniya-thālaka 水瓶，水椀
pāniya-maṇḍapa 水延堂
pāniya-sālā 水堂
pānīya=pāniya 飲水，水，飲用水，飲料，飲料水，飲物
Pānīya-jātaka パーニーヤ・ヂャータカ，水本生物語 J 459
pāpa 惡，惡人
pāpaka 惡，惡事，邪惡
Pāpaka〔人〕惡者
pāpaka akusala dhamma 惡不善法
pāpaka-ājīva 惡命
pāpaka kamma 罪業
pāpaka kittisadda 惡き名聲，惡しき名聲，惡名聞，惡評
pāpaka diṭṭhigata 惡成見，惡しき成見，惡見，惡邪見，邪見
pāpaka-dujjīvita 惡苦の生
pāpaka mitta〜pāpa-mitta 惡友
pāpa-kamma 惡業
pāpa-kammānaṁ vipāko 惡業の果
pāpaka saṁkappa 惡念
pāpaka sīla pāpaka diṭṭhi 惡戒と惡見
pāpakā icchā=pāpikā icchā 惡欲，邪欲，惡望
pāpaṇika 店先，店先の〔布〕
pāpa-diṭṭhi〜pāpikā diṭṭhi 邪見，惡見
pāpa-dhamma 惡法，惡法者，邪法
pāpa-dhammā 姦婦
pāpanā 惡口
Pāpanivāriya〔比丘の譬喩經〕パーパニヴーリヤ Ap 3 220
Pāpapuññabahutara-pañho 惡と福と何れが大なりやの問 Mil 2〔7〕9
pāpa-bhikkhu 惡比丘
pāpa-bhikkhunī 惡比丘尼
pāpa-makkhin 覆(僞善)ある惡人
pāpa-mitta〜pāpaka mitta 惡友，惡友ある，惡しき友
pāpamittatā 惡友，惡友性
pāpamitta pasevita 親近惡友
pāpamittānuyoga 惡友に交はる
pāpa-rogin 惡疾者
Pāpa-vagga 惡品 Dhp 9 vv 116〜128
pāpa-sakhi 惡友
pāpa-sadda 惡聲

pāpa-samācāra 悪行を行ず
pāpa-sāmaṇera 悪沙彌
pāpa-sāmaṇerī 悪沙彌尼
pāpa-sikkhamānā 悪式叉摩那
pāpa-siloka 悪名
Pāpasoṇa〔比〕パーパソーナ
pāpassa kammassa kiriyā 悪業の成熟(行作)
pāpassa kammassa pavatti 悪業の展開
pāpācāra 悪行
pāpika-vācā 悪しき語
pāpikā icchā=pāpakā icchā 邪欲，悪欲，悪望
pāpikā issā 悪嫉
pāpikā diṭṭhi～pāpa-diṭṭhi 悪見
pāpikāya diṭṭhiyā appaṭinissagge ukkhepaniya-kammaṁ 悪見を捨てざるによる擧罪羯磨
pāpikā vācā 悪口，悪語
pāpiccha 悪欲者，悪欲〔者〕，懐悪欲者，有罪者，邪婬*
pāpicchatā 悪欲，悪欲性
pāpicchā 悪欲，悪意，悪悕望，悪しき欲望
pāpimant=māra 波旬，害悪者，悪しき者，悪
pāpiya 悪人，悪處
pāmaṅga 耳璫
pāmujja=pāmojja 悦，喜樂，歡悦，歡喜，欣，愉悦，勝喜
pāmokkha 上首
pāmojja=pāmujja 勝喜，悦，喜樂，歡悦，歡喜，欣，愉悦
pāyantī 幼兒ある婦女
pāyamānā 授乳女，哺乳者
Pāyāga〔龍〕パーヤーガ，波耶伽
pāyāsa 乳糜，乳粥，乳飯，粥，乳米
Pāyāsadāyaka〔比丘の譬喩經〕パーヤーサダーヤカ Ap 3 123
Pāyāsi〔王族，塞〕パーヤーシ，弊宿
Pāyāsi-vagga パーヤーシ品 Vv 65～74
Pāyāsi-suttanta パーヤーシ・スッタンタ，弊宿經 D **23**
pāra ① 彼岸 ②～pāri〔植〕パーラ
Pāraṁ〔經〕彼岸 S **43** 16
Pāraga〔天〕パーラガ，波羅

pāra-Gaṅgā 恒河の彼岸
pāra-gata 到彼岸者，彼岸に到れり，彼岸に到り，彼岸に到れる，彼岸に達し，彼岸に達せる者，彼岸に渡りし者，彼岸に渡り著き，彼岸に行ける
pāra-gavesin 彼岸を求むるもの
Pāragāmi or Aparaṁ〔經〕到彼岸 S **46** 17
pāragāmin 彼岸に到る者，彼岸に達する
pāragāmi-magga 彼岸に達するの道
pāragū 到彼岸者，悟達者，彼岸に到れる，彼岸に到り，彼岸に到りたる，彼岸に達し，彼岸に達する，彼岸に達したる，彼岸に度り，彼岸の達人
Pāraṅgama〔經〕到彼岸 S **45** 34
Pāraphaliya〔比丘の譬喩經〕パーラパリヤ Ap 3 502
pārabhava 敗亡者，破壊
pāramiṁ gata～pārami-patta 彼岸に達したり，極意に達せり，波羅蜜滿たせる者，究竟得たり
pārami-ñāṇa 究竟智
pāramitā=pāramin 波羅蜜〔十種〕
pāramitā-sīla 波羅蜜戒
pāramin=pāramitā 波羅蜜
pārami-patta=pāramī-patta～pāramiṁ gata 彼岸に達したる，彼岸に到達し，究竟に達し，波羅蜜滿たせる者，波羅蜜に達せる
pārami-saṁgha 波羅蜜僧伽
pāramī-patta=pārami-patta 波羅蜜滿たせる者，波羅蜜に達せる，彼岸に達したる，彼岸に到達し，究竟に達し
pārājika〔罪名〕パーラーヂカ，波羅夷，驅擯罪 V **1** a 1; V **1** b 1
pārājika-ajjhāpanna 波羅夷犯戒者
Pārājika-kaṇḍa 波羅夷品，波羅夷章
pārājika-sāmanta 波羅夷相似
pārājikāpattikkhandha 波羅夷罪聚
pārāpata=pārevata 鳩，鴿，鳩色，播羅縛多
Pārāpariya〔比，佛滅後迄生存〕パーラーパリヤ
Pārāyana=Pārāyana-vagga〔經〕パーラーヤ

ナ，波羅延，波羅延那，彼岸道
Pārāyanaka 〔波羅衍を說ける十六婆羅門〕パーラーヤナカ，波羅衍
Pārāyana-vagga=Pārāyana, Pārāyana-samāgama 彼岸道品 Sn 5 1〜18
Pārāyana-samāgama=Pārāyana-vagga 彼岸道品
Pārāsariya ①〔婆〕パーラーサリヤ，波羅奢耶 ②〔佛の前生〕パーラーサリヤ
pāri〜pāra〔植〕パーリ
Pārimda(A), Pālada(A), Palida(A)=Pārinda〔國〕パーリンダ
Pārikā ①〔苦行尼〕パーリカー ②=Pārī〔獵師の女〕
pāricariya 奉事〔四種〕
pāricariyā=paricārikā 給仕，侍女
pāricariyānuttariya 行無上〔六無上の一〕
pāricchattaka〔樹，花〕パーリチャッタカ，波利質多羅，波利闍多伽，婆利闍多迦，波利夜怛邏，波利夜呾囉，跋里耶多羅迦，晝度樹，珊瑚樹，圓生樹
Pāricchattaka-vagga 晝度樹品 Vv 29〜38
Pāricchattaka-vimāna 晝度樹天宮 Vv 38
pārijañña〔樹〕パーリヂャンニャ
pārijuñña 衰亡〔四種〕
pārittaka cīvara 交易衣
pāripūri-mada 圓滿憍
pāribhaṭṭakatā 機嫌取りの語
pāribhaṭyatā〜pāribhaṭṭakatā 機嫌取り，機嫌取り語，溺愛性
Pāribhogika〔塔廟〕パーリボーギカ
pārima-tīra 彼岸
Pārileyya〔象〕パーリレッヤ，波陀
Pārileyyaka=Parileyyaka〔村，林〕パーリレッヤカ，パーリレーヤカ，婆羅，波陀林
pārivāsika 別住者
Pārivāsikakkhandhaka 別住犍度 V 2 b 2
pārivāsika-bhikkhu 別住比丘
pārivāsika-bhikkhūnaṁ vattaṁ 別住比丘の行法
pārivāsika-vatta 別住行法 V 2 b 2, 1〜3
pārisajja 侍臣，廷臣，會衆，衆
pārisuddhi 遍淨，淸淨
pārisuddhi-uposatha 淸淨布薩
pārisuddhi-padhāniyaṅga 淸淨勤支〔九種〕
pārisuddhupekkhā 遍淨捨
pārihāriya-kammaṭṭhāna 應用業處
pārihāriyā-paññā 將來慧
Pārī=Pārikā〔獵師の女〕パーリー
pāruta 纏衣
pārupati 上衣を著す〔衆學二〕
pārepata=pārevata, pārāpata 鴿，鳩，播羅縛多
pārevata ①=pārepata, pārāpata〔鳥〕パーレーヴタ，播羅縛多，鳩 ②〔樹〕パーレーヴタ，播羅縛多
pāla 守護者
Pālada(A)=Pārinda〔國〕パーリンダ
pāla-devatā 守護神
pāli=pāḷi 聖典，聖文，巴利，經典，本文=三藏
Pālika〔殿樓〕パーリカ
Pālita ①〔ピヤダッシー佛の第一弟子〕パーリタ，所護 ②〔マンガラ佛の侍者〕
pāli-dhamma パーリ正法
pālipādaka〔寶珠〕パーリパーダカ
pālibhaddaka〔樹〕パーリバッダカ=キンスカ樹
pāli-bhāsā パーリ語
Pālī=Suvaṇṇapālī〔王女〕パーリー
pāḷi=pāli 聖典，巴利，聖文，經典，本文=三藏
pāvaka パーヴカ，火
pāvacana 教語，經典
Pāvā〔城〕パーヴー，パーバー，波婆，波和
pāvāra 外衣
pāvārika 衣商
Pāvārika〔菴羅園〕パーヴーリカ，婆婆利，波波利，波婆離迦，賣衣者=次項
Pāvārikambavana〔園〕波婆離迦菴羅林，波波利菴婆林，婆婆利菴羅園，賣衣者菴羅園
pāvārikassa gharaṁ 衣服商

Pāvāriya〔王〕パーヴーリヤ
pāvāḷa-nipphoṭanā 拔髮
pāvusa〔魚〕パーヴサ
Pāveyyaka 波婆の，波婆族，波婆邑
pāsa 係蹄，罠，羂索，羂，桎
Pāsa ①〔地名〕パーサ ②〔經〕係蹄 S 4 4, 5
pāsaṁḍa (A), praṣaṁḍa (A), paṣaḍa (A)=pāsaṇḍa 宗派，外道
pāsaṁsa ṭhāna 應稱讚處〔十種〕
pāsaṁso hoti 稱讚す
pāsaka ① 鉤 ② 骰子
pāsaka-phalaka 鉤板
pāsa-ghaṭikā 魔法の賽
pāsaṇḍa 教見，宗派，異學，外道，外道の教
pāsaṇḍika 外道，宗派
pāsanika 試問者
pāsa-rāsi 罠
pāsāṇa 岩，石，小石
Pāsāṇa ①〔山〕パーサーナ ②〔經〕岩 S 4 11
Pāsāṇaka〔塔廟〕パーサーナカ，波沙那迦
Pāsāṇagāma〔池〕パーサーナガーマ
pāsāṇa-nimitta 石相
pāsāṇalekhūpama puggala 石刻喩人
pāsāṇalekhūpamā 岩に刻む喩
pāsāṇa-sakkhara 石礫，小石
Pāsāṇasinna〔地方〕パーサーナシンナ
pāsāda 殿堂，殿樓，重閣，臺觀，樓閣，樓觀，樓臺，高殿，高堂，高樓，宮殿，美屋
Pāsādakampana-vagga〔鹿母〕殿震動品 S 51 11〜20
pāsādanīya nimitta 信樂すべき相
pāsāda-maṅgala 瑤臺祭禮
pāsāda-vara 妙高殿
pāsādika 信心〔者〕，淨行，清淨，喜心，善業，端正，端正者
Pāsādika〔經〕清淨=D 29
pāsādikatā 端正，樂住
Pāsādika-suttanta パーサーディカ・スッタンタ，清淨經 D 29
Pāsānadīpa〔ka〕〔精舍〕パーサーナディーパ〔カ〕
pāsu-pāla 牧牛士，牧畜者
pāhavanīya 供獻せらるべき
pāhuṇa 饗宴
pāhunaka 贈物を交換する祭式
pāhuneyya 極應請，供奉せらるべき
piṅgala 褐色
Piṅgala ①〔王〕ピンガラ ②〔屠牛者〕ピンガラ，賓伽羅
Piṅgalakoccha〔婆〕ピンガラコーッチャ
Piṅgalā〔婢〕ピンガラー
Piṅgiya ①〔婆和利の弟子，婆，比〕ピンギヤ，頻祇耶，賓祇耶 ②〔司祭〕ピンギヤ ③ 夜摩の犬
Piṅgiya-pañhā=Piṅgiyamāṇava-pucchā〔經〕賓祇耶所問
Piṅgiyamāṇavakapañhā-niddesa 賓祇耶學童所問の義釋 CNd 17
Piṅgiya-māṇava-pucchā=Piṅgiya-pañhā〔經〕賓祇耶學童所問 Sn 5 17
Piṅgiyānī ①〔婆〕ピンギヤーニー ②〔王妃〕
Piṅguttara〔青年〕ピングッタラ
piṅgulā〔鳥〕ピングラー
picu〔猿〕ピチュ
picumanda〔樹〕ピチュマンダ
piñjarodaka〔植〕ピンヂャローダカ
piññāka 胡麻粉，胡麻の粉，胡麻滓，搯胡麻，糜汁
piṭaka ① 籠 ② ピタカ，藏，聖藏
piṭakaññu 通三藏〔者〕
piṭaka-sampadāna 藏〔經〕の教
piṭakānaṁ sajjhāyo 藏經の讀誦
piṭṭha ① 粉，粉末 ② 梠
piṭṭha-añjana 細末塗藥
piṭṭha-khādaniya 堅餅
Piṭṭhadhītalika-petavatthu 人形鬼事 Pv 1 4
piṭṭha-madda 糊
piṭṭha-maya 粉製
piṭṭha-saṁghāta 梠
piṭṭha-surā 小麥酒
piṭṭhi-kaṇṭaka 脊柱
piṭṭhikaṇṭaṭṭhi 脊椎骨

Piṭṭhigāma〔精舍〕ピッティガーマ
Piṭṭhicakka〔章〕背面章
piṭṭhi-duka 殘餘二法
piṭṭhiduka-hetuduka 爾後二法因二法 Duka-duka 48
piṭṭhi-bhavaṅga 有分頂，末後有分
piṭṭhi-maṁsika 陰言
piṭṭhimaṁsikatā 陰口
piṭṭhivaṁsa〔家の中の横木〕ピッティヴンサ
piṭṭhī āgilāyati 背痛む
piṇḍa 團食，摶食，食物
Piṇḍa〔經〕團食 S 4 18
piṇḍaka 施食
piṇḍacārika-bhikkhūnaṁ vattaṁ 乞食比丘の儀法
piṇḍa-dāyika～piṇḍa-dāvika 食糧部隊
piṇḍa-dāvika～piṇḍa-dāyika 戰士
piṇḍapāta 食，鉢食，飲食，施食，食物，摶食，團食，團飯，飯食，托鉢食，供養物，供養食，乞食
piṇḍapāta duvidha 食の二種
piṇḍapāta-nīhāraka 食持參者，送食の者
piṇḍapātanīhāraka bhikkhu 送食比丘
piṇḍapāta-paviveka 乞食〔所生染〕の遠離
Piṇḍapātapārisuddhi-sutta ピンダパータパーリスッディ・スッタ，乞食淸淨經 M **151**
Piṇḍapāta-vagga 施食品
piṇḍapātika 常乞食者，常乞食行者，乞食者，乞食行者，乞食，乞食を食とす，托鉢者，托鉢を行ずるもの
Piṇḍapātika〔比丘の譬喩經〕ピンダパーティカ Ap 3 357
piṇḍapātikaṅga 常乞食支，乞食法，乞食者分
Piṇḍapātika-Tissa〔比〕乞食者帝須
piṇḍapātikatta 托鉢を行ふこと，乞食
piṇḍapātika-bhikkhu 常乞食比丘，乞食比丘〔五種〕
piṇḍapātika-mada 乞食憍
Piṇḍasakuṇiyaṁ〔經〕一塊と捕鳥者 S **19** 3
piṇḍāya-sapadānacārin＝sapadānacārika 次第行乞者
piṇḍiyālopa 摶食，團飯，乞食
piṇḍiyālopa-bhojana 團飯，摶食，乞食
Piṇḍola ①〔辟〕ピンドーラ ②〔經〕賓頭盧 S 48 49
Piṇḍolabhāradvāja＝Bhāradvāja〔比，師子吼第一〕ピンドーラバーラドヴーヂャ，賓頭羅婆羅墮闍，賓頭羅婆羅陀闍，賓頭羅婆羅豆婆遮，賓頭羅跋囉惰闍，賓頭盧頗羅墮，賓頭盧頗羅墮誓，賓度羅跋囉墮闍〔譬喩經〕Ap 3 8
piṇḍolya 托鉢，乞食
Piṇḍolyaṁ〔經〕乞食 S **22** 80
pitar 父
pitara 祖神
pitaraṁ jīvitā voropeti 父の命を奪ふ，父を殺す，父を殺害す
Pitā〔經〕父 S **15** 15；**17** 38
pitā jīvitā voropito hoti 父を殺す，父を弑す
pitā bhūta-bhavyānaṁ 既有未有の父，過去未來の父
pitāmahā 祖父
Pitinikya(A)，Pitinika(A)〔國〕ピティニキャ，ピティニカ
Pitirājan＝Vaṭṭagāmaṇī〔王〕ピティラーヂャ，父王
pitu-ghātaka 殺父者
pitughāta-kamma 殺父業
pitu-pitar 父の父
pitu-rakkhitā 父護女，父の護る女，父に護られたる〔女〕
Pitenika(A)〔國〕ピティニカ
pitta 膽，膽汁，膽質，痰*〔三十二身分の一〕
pitta-kosaka 膽囊
pitta-samuṭṭhānā ābādhā 膽汁等起病，膽汁等起の諸病，膽質所起の病
pittābādha 膽汁病
pittika 膽汁疾〔者〕
pitti-visaya＝petti-visaya，peta-visaya 餓鬼の世界，餓鬼，餓鬼界，餓鬼境，餓鬼趣，餓鬼道
pittivisaya-loka 餓鬼世間
pittivisayika 餓鬼の，餓鬼界の
pināsa 外鼻病，感冒

pipāsa ① 渇，渇愛，渇望 ② 大酒家
Pipāsī〔河〕ピパーシー
pippala～pipphala〔植〕胡椒，畢波羅，蓽撥
pipphala＝pipphalī 〔樹〕畢鉢羅，畢波羅，蓽撥
Pipphalāyana〔抜陀迦比羅尼の夫〕ピッパラーヤナ
pipphali＝pipphalī〔植〕ピッパリ，畢波羅，畢鉢，蓽撥
Pipphali-guhā 畢鉢羅窟
Pipphalivana〔村〕ピッパリヴナ，畢鉢
pipphalī＝pipphali, pipphala～pippala〔薬果〕蓽撥，畢鉢，畢波羅，畢鉢羅，胡椒
piya ① 愛，可愛，愛者，愛人，愛好するもの，所愛，愛語 ② 櫂
Piya ①〔經〕愛者 S 3 4 ②〔經〕敬愛 A 8 3, 4
piyaka〔樹〕ピヤカ
Piyaka〔文荼王の理財官〕ピヤカ
Piyaketa〔殿〕ピヤケータ
Piyagallaka＝Piyaṅgallaka〔精舎〕ピヤガッラカ
Piyaṅkara ①〔夜叉童子〕ピヤンカラ ②〔經〕ピヤンカラ S **10** 6
Piyaṅkara-mātar 〔夜叉女〕ピヤンカラマーター，畢陵伽母
Piyaṅgallaka＝Piyagallaka〔精舎〕ピヤンガッラカ
piyaṅgu＝piyaṅguka〔樹，花〕ピヤング，巵子
Piyaṅgu〔島〕ピヤング
piyaṅguka＝piyaṅgu〔樹，花〕ピヤングカ，巵子
piya-cakkhu 愛眼，愛の眼，慈愛の眼，親愛の眼
Piyajātika-sutta ピヤヂャーティカ・スッタ，愛生經 M 87
Piyañjaha〔比〕ピヤンヂャハ
Piyadassana＝Asoka〔王〕喜見
Piyadassin ①〔佛〕ピヤダッシー，喜見 ②〔辟〕ピヤダッシン ③〔比〕ピヤダッシー
piya-nimitta 愛相
piya-bhāṇin 愛語を語る〔者〕
piya rūpa 喜色
Piya-vagga 愛好品 Dhp **16** vv 209～220
piya-vacana 愛語
piya-vācā 愛語
piya-vāda 愛語
piya-vādin 愛語〔者〕
piya-vippayoga 諸愛との別離
piya-saṅkhārā 愛する〔諸〕行
piya satta 愛する有情
piyasāta-rūpā senā 喜悦の軍
piyāpiya 愛憎
piyāyita jana 愛する人人
piyārittaṁ dhammani 陸舟の艫舵
piyāla〔果，樹〕ピヤーラ
Piyālapupphiya〔比丘の譬喩經〕ピヤーラプッピヤ Ap **3** 237
Piyālaphaladāyaka 〔比丘の譬喩經〕ピヤーラパラダーヤカ Ap **3** 497
piyehi vippayogo dukkho 愛別離苦，愛するものと別離するは苦なり
pilakkha＝pilakkhu〔樹〕ピラッカ，畢洛叉，無花果
Pilakkha-guhā ピラッカ窟
Pilakkhaphaladāyaka〔比丘の譬喩經〕ピラッカパラダーヤカ Ap **3** 381
pilakkhu＝pilakkha〔樹〕ピラック，畢洛叉，無花果
Pilakkhuphaladāyaka〔比丘の譬喩經〕ピラックパラダーヤカ Ap **3** 465
pilandhana 瓔珞
pilandhana-vikati 莊嚴具，莊飾物
Pilayamāla＝Palayamāla〔將軍，王〕ピラヤマーラ
pilava 水鳥，鴨
Pilavasu〔堡壘〕ピラヴス
Pilaviṭṭhika ①〔地方〕ピラギッティカ ②〔堡壘〕
Piliṁvatthu〔村〕ピリンヴァッツ
Pilinda-gāma 畢隣陀村，畢陵迦村＝守園人村
Pilinda-vagga 畢隣陀品 Ap **3** 388～397

Pilindavaccha〔比〕ピリンダヴッチャ，畢隣陀婆蹉，畢陵伽婆蹉，畢蘭陀筏蹉〔譬喩經〕Ap 3 15，388
Piliya〔長者〕ピリヤ
Piliyakkha〔王〕ピリヤッカ
pilotika 繃帶
Pilotika=Vacchāyana〔出家行者，塞〕ピローティカ
Pillaviṭṭhi〔地名〕ピッラギッティ
piḷakā〜pīḷaka 吹出物，瘡，疹子，膿腫，膿瘡，瘍腫
pisāca 畢舎遮，毘舎闍，吸血鬼，食人鬼，食肉鬼，悪鬼，鬼，餓鬼*
pisāca-bakkula 悪鬼妖魔
pisāca-yoni 鬼胎
pisācillikā 畢舎遮宗徒
pisīla ヒシーラ，飲水器
pisuṇāya vācāya veramaṇī 離離間語
pisuṇā-vāca 兩舌者，離間語者
pisuṇā-vācā〜pesuñña 離間語，兩舌
pisuṇāvācā paṭivirato 離離間語者
pisuṇā-vācāya veramaṇī 離間語の離，離間語を離るること，離離間語
pihaka 脾，脾臟〔三十二身分の一〕
pihā 羨望
Pihita〔經〕閉ぢ込めらる S 1 68
pīṭha 椅子，坐床，小床
pīṭhaka 繩床，椅子
Pīṭha-jātaka ヒータ・チャータカ，座席本生物語 J 337
Pīṭha-vagga 椅子品 Vv 1〜17
Pīṭha-vimāna 椅子天宮 Vv 1〜4
pīṭhasappin 跛者，躄，步行不能者
pīṭhikā 椅子
Pīṭhiya〔ダミラ人，王〕ビーティヤ
pīta ①〜pītaka，pītika 黄，黄色，金色 ② 喜
pītaṁ jānāti 飲料を知る，飲まるべきものを知る
pītaka=pītika 黄
pīta-kasiṇa 黄遍〔十遍處の一〕
pītaka〔sukka〕黄精
pīta-vaṇṇa 黄色
pīta-vattha 黄衣
Pīta-vimāna 金色天宮 Vv 47
pīti 喜，喜悅，歡喜，歡悅
Pīti〔經〕喜 S 28 3
pītika=pītaka 黄
Pītittika 喜三法 Tika 7
pītittika-kusalattika 喜三法善三法 Tika-tika 27
pītittika-saraṇaduka 喜三法有諍二法 Tika-duka 79
pītittika-hetuduka 喜三法因二法 Tika-duka 7
pīti-pharaṇatā 喜遍滿，喜遍滿性〔五正定支の一〕
pīti-sambojjhaṅga 喜等覺支，喜覺支，喜悅の覺意〔七等覺支の一〕
pītisahagata jhāna 喜倶禪
Pītisahagata-duka 喜倶行二法 Duka **90**
pītisahagataduka-kusalattika 喜倶行二法善三法 Duka-tika 99
pīti-sahagata dhamma 喜倶行法
pītisahagata saññā-manasikāra 喜と倶行する想作意
pītisahagata samādhi 喜倶定
pītisahagatā paññā 喜倶行慧
pīti-sukha 喜樂
pīnindriya 諸根肥大，諸根肥え
Pīlapiṭṭhi〔精舎〕ビーラピッティ
pīḷaka〜piḷakā 膿腫，膿瘡，瘡，瘍腫，疹子，吹出物
pīḷana 逼惱，逼迫
pukkusa〔賤族〕プックサ，補羯娑，弗拘沙，屠家，屠殺者，屠殺業，下水掃除人，掃除夫，除糞者，塵芥淨除
Pukkusa ①〔末羅人〕プックサ，福貴 ②〔大臣〕プックサ ③〔賢者〕プックサ
Pukkusāti〔比〕プックサーティ，沸久左底，弗迦羅娑梨
pukkusī 補羯娑女
puggala プッガラ，人，補特伽羅，士夫，個人
Puggala ①〔經〕人 S 3 21；**15** 10 ②〔經〕補特伽羅 A 9 9

puggala uttāna uttānobhāsa 淺くして淺く見ゆる人
puggala uttāna gambhīrobhāsa 淺くして深く見ゆる人
Puggala-kathā 補特伽羅論 KV **1** 1
puggala gambhīra uttānobhāsa 深くして淺く見ゆる人
puggala gambhīra gambhīrobhāsa 深くして深く見ゆる人
puggala tuccha pihita 空にして閉ぢたる人
puggala tuccha vivaṭa 空にして開きたる人
puggala dutappaya 滿足させ難き人
puggaladhammavāra-niddesa 人法分義釋，人法分總說
puggala pakka āma-vaṇṇin 熟して生色ある人
puggala pakka pakka-vaṇṇin 熟して熟色ある人
puggala-paññatti 補特伽羅施設，人施設
Puggala-paññatti プッガラパンニャッティ，人施設論〔七論の一〕Abhidhamma 4
puggala-paroparaññū 補特伽羅の勝劣を知る
puggala pūra pihita 盈ちて閉ぢたる人
puggala pūra vivaṭa 盈ちて開きたる人
Puggala-vagga ① 人品 A **2** 6；**3** 21〜30；**10** 155〜166, 199 ② 補特伽羅品 A **4** 131〜140
puggala-vādin 補特伽羅論者
puggalavāra-niddesa 人分義釋
puggala-saṁgaha 人聚
puggala-sammukhatā 人現前
puggala sutappaya 滿足させ易き人
puggala serin 獨存の人
puggalassa āsavā na vaḍḍhanti 漏の增さざる人
puggalassa āsavā vaḍḍhanti 漏の增す人
puggalānādariya 人輕侮
puggale uposatho 人布薩
puggale pavāraṇā 人自恣
puggalo āmo āma-vaṇṇī 生にして生色ある人
puggalo āmo pakka-vaṇṇī 生にして熟色ある人
puggalo upalabbhati saccikaṭṭha-paramaṭṭhena 補特伽羅は諦義・勝義に依りて得らる
puggalo dullabho lokasmiṁ 世に於て得難き人
Puṅkoṇḍa〔ダミラ人〕プンコンダ
Puṅkha〔村〕プンカ
puṅgava 牛王
pucimanda=nimba〔樹〕プチマンダ，賓洲曼陀羅
Pucimanda-jātaka フチマンダ・ヂャータカ，プチマンダ樹本生物語 J 311
Pucimanda-vagga プチマンダ樹品 J 311〜320
puccaṇḍatā 腐卵
pucchā 問，質問
Pucchārāma〔精舍〕プッチャーラーマ，問答園
pujjo hoti 供養す
puñña 福，福德，善，福業，善業，功德
puñña-kammānaṁ vipāko 福業の果
puñña-kiriya-vatthu 福業事〔三種〕
Puññakiriya-vatthu〔經〕福業事 A 8 36
puñña-kiriyā 福業，福行，功德業
puññakkhaya-maraṇa 福盡死，福盡による死
puññakkhetta 福田，福の田地
puñña-teja 福威力
puñña-phala 功德の果
puñña-bhāgiya〜puññā-bhāgiya 順福分
puñña-mahatta 福の偉大
puñña-mahī 功德地
Puññalakkhaṇā=Puṇṇalakkhaṇadevī〔給孤獨の第一夫人〕プンニャラッカナー，善相
Puññavaḍḍhana〔ダンマダッシー佛の子〕プンニャヴッダナ，善業增
puññavato iddhi 具福神通，具福神變
puñña-vatthu 福業事
puññavant 具福者，慈善家
puñña-vepulla 福廣大
puñña-saṅkhāra 福行
puññassa dhārā 福德の流，福水流
puññā-bhāgiya〜puñña-bhāgiya 福分
puññābhisaṁkhāra 福行，福現行
puññābhisanda 福德潤澤，福の等流
Puññābhisanda-vagga ① 福德潤澤品 S **55** 31〜

40 ② 福生品 A 4 51～60
puññūpacaya 福業(初)の積集
puṭa 器
Puṭadūsaka-jātaka プタドゥーサカ・チャータカ，毀籠本生物語 J 280
puṭabandha-upāhanā 袋靴
Puṭabhatta〔山〕プタバッタ
Puṭabhatta-jātaka プタバッタ・チャータカ，囊食本生物語 J 223
Puṭo〔經〕布吒 S 42 2
puṇḍarīka〔植〕フンダリーカ，分陀利迦，分陀利，白蓮，白蓮華，蓮華，蓮根
Puṇḍarīka ①〔地獄〕フンダリーカ，白蓮 ②〔象〕分陀利
Puṇḍarīka-niraya 白蓮地獄
Puṇḍarīkā〔女〕フンダリーカー
puṇḍarīkinī 白蓮池，白蓮華池，白蓮華の池林
Puṇṇa ①〔比，佛の教誡を受けて西方に行く〕フンナ，富樓那 ②=Puṇṇamantāniputta〔比，說法第一〕フンナ，富樓那 ③〔牛行者〕フンナ ④〔杓子の持者〕フンナ ⑤〔僕，文荼長者の下男〕フンナ，富樓那 ⑥〔經〕富樓那 S 35 88
Puṇṇaka ①〔婆和利の弟子，婆，比〕フンナカ，富那迦，富蘭那迦，富憐尼迦〔譬喩經〕Ap 3 399 ②〔傳◦轉輪王〕フンナカ，不那奇，布囉拏佉 ③〔長者〕プンナカ，富蘭那迦 ④〔夜叉〕プンナカ，不那奇 ⑤〔馬〕プンナカ，富蘭那迦
Puṇṇaka-jātaka=Vidhurapaṇḍita-jātaka フンナカ・チャータカ
puṇṇakanaraka〔頭熱病〕プンナカナラカ
Puṇṇaka-pañhā=Puṇṇakamāṇava-pucchā〔經〕富那迦所問，富憐尼迦所問
Puṇṇakamāṇavakapañhā-niddesa 富那迦學童所問の義釋 CNd 4
Puṇṇaka-māṇava-pucchā=Puṇṇaka-pañhā〔經〕富那迦學童所問 Sn 5 4
Puṇṇaji〔耶舍の友人，比〕フンナチ，滿勝
Puṇṇanadī-jātaka フンナナディー・チャータカ，河水滿本生物語 J 214
Puṇṇapāti-jātaka プンナパーティ・チャータカ，滿瓶本生物語 J 53
Puṇṇabhadda〔夜叉〕フンナバッダ，滿賢
Puṇṇabhadda-vata 滿賢〔夜叉〕務
Puṇṇabhadda-vatika 滿賢〔夜叉〕務者
Puṇṇa-Mantāniputta=Puṇṇa〔比，說法第一〕プンナマンターニフッタ，分耨文陀尼子，富樓那彌多羅尼子，滿願子，滿嚴飾女子〔譬喩經〕Ap 3 5
Puṇṇamā〔經〕滿月 S 22 82
Puṇṇamāsa〔比〕プンナマーサ
puṇṇamukha=kokila〔鳥〕プンナムカ
Puṇṇamukha〔長者〕プンナムカ
Puṇṇalakkhaṇa-devī=Puññalakkhaṇā〔給孤獨の妻〕プンナラッカナデーギー
puṇṇavaḍḍhana-vattha 滿增衣
Puṇṇavaddhana〔園〕プンナヴッダナ
Puṇṇavaddhanā ①〔地名〕プンナヴッダナー ②〔池〕
Puṇṇavallika〔精舍〕フンナヴッリカ
Puṇṇā ①〔尼〕プンナー，成滿 ②〔婢〕プンナー，滿
Puṇṇikā ①〔尼〕フンニカー〔譬喩經〕Ap 4 38 ②〔婢〕フンニカー，不尼
Puṇṇiya ①〔比〕プンニヤ ②〔經〕プンニヤ A 8 82；10 83
Puṇṇeli〔村〕プンネーリ
Puṇṇovāda-sutta フンナヴーダ・スッタ，教富樓那經 M 145
putta 兒，兒子，子，子供
Putta ①〔傳◦比〕フッタ ②〔經〕兒 It 74
puttajīva〔樹〕フッタヂーヴ
Puttatissa〔占師〕フッタティッサ
putta-dāra 妻子
Puttabhāga〔精舍〕プッタバーガ，兒分
putta-maṁsa 子肉，子の肉
Puttamaṁsa〔經〕子肉 S 12 63
puttamaṁsūpamā 子の肉の譬喩，兒の身肉の譬喩
puttimant 子ある者
Putto〔經〕子 S 15 18；17 23, 41

puthu 別性
Puthu〔經〕廣 S 55 63
puthu-aññavādīnaṁ maggo 異說の道
puthujja 凡俗
puthujjana 凡夫，異生，無智者
Puthujjana〔王〕プトゥッヂャナ
puthujjana-kalyāṇaka 善凡夫
puthujjana-kalyāṇikā 善凡夫女
puthujjana-bhūmi 凡夫地，異生地
puthujjana-sukha 凡夫樂，凡夫の樂
puthujjanānaṁ gotto 凡夫の姓
puthutta 異
puthu-nānattekatta-teja-pariyādāne paññā 別性・異性・一性・威力・永盡の慧
puthu-pañña 廣慧〔者〕，廣智〔者〕，廣き智慧〔者〕，博慧者
puthu-paññatā 博慧
puthu-paññatta 廣慧
puthupañña puggala 廣慧人
puthu-paññā 廣慧，博慧，廣智，多智
puthu-laddhika 異端者
puthu-loma 多髭魚
puthuvi-maṇḍala〜paṭhavi-maṇḍala 地輪
puthu-silā 大石
puthusilā dvedhā〔譬喩〕大石二分
Puna-paṭisandhigahaṇa-pañho 再び結生の問 Mil 2〔2〕7
puna-pavāraṇā 重請，更請
puna-pāka 更煮
Punapiṭṭhika〔精舍〕プナピッティカ
Punabbasu ①=Punabbasuka〔無恥比丘，六群比丘の一人〕プナッバス，分那婆藪，分那婆娑，弗那婆須，富那婆娑 ②〔夜叉童子〕プナッバス，富那婆藪 ③〔經〕富那婆藪 S 10 7
Punabbasuka=Punabbasu〔無恥比丘，六群比丘の一人〕プナッバスカ，分那婆藪，弗那婆須，富那婆娑
Punabbasumitta ①〔毘婆尸佛の信士〕プナッバスミッタ ②〔傳◦長者〕
punabbhava 再有，後有，輪廻轉生，轉生
punāvasuna プナーヴス日
punnāga〔樹，花〕プンナーガ，芬那伽
Punnāgapupphiya〔比丘の譬喩經〕プンナーガプッピヤ Ap 3 159
puppha ① 花 ② 月華
Puppha ①〜Pupphanāma〔相承比丘〕プッパ ②〔園〕
Pupphaka ①〔鸚鵡〕プッパカ，花 ②〔宮殿〕プッパカ
puppha-gandha 華香
Pupphacaṅgoṭiya〔比丘の譬喩經〕プッパチャンゴーティヤ Ap 3 70
Pupphacchattiya〔比丘の譬喩經〕プッパッチャッティヤ Ap 3 329
puppha-chaḍḍaka 花棄て人，花掃除夫，汚穢屋，不淨物の清除者
pupphachaḍḍaka-kamma 掃除業
Pupphachadaniya〔傳◦轉輪王〕プッパチャダニヤ
Pupphachadanīya〔比丘の譬喩經〕プッパチャダニーヤ Ap 3 134
Pupphathūpiya〔比丘の譬喩經〕プッパトゥーピヤ Ap 3 122
Pupphadhāraka〔比丘の譬喩經〕プッパダーラカ Ap 3 292
Pupphanāma〜Puppha〔相承比丘〕プッパナーマ
Pupphapura=Pāṭaliputta〔城〕プッパプラ，華氏
puppha-bhāṇin 華語〔者〕，華語人
Puppharatta-jātaka プッパラッタ・ヂャータカ，花祭本生物語 J 147
puppha-rasa 花汁
Puppha-vagga 華品 S 22 93〜102；Dhp 4 vv 44〜59
pupphavatī 月華あり
Pupphavatī〔都〕プッパヴァティー
pupphāpaṇa 花店（佛の）
pupphāpaṇika 花商人
pupphārāma 花園
Pupphāsaniya〔比丘の譬喩經〕プッパーサニ

ャ Ap 3 315
pupphāsava 花酒
Pupphita〔傳◦轉輪王〕プッピタ
pubba ① 膿，膿汁〔三十二身分の一〕② 前說
pubbaka isi 古仙，古仙人，昔の聖者
Pubbakaccāyana 〔醫〕プッバカッチャーヤナ
pubbakata〔-kamma〕宿作〔業〕，已作業，前世の所業
Pubbakammapiloti 〔比丘の譬喩經〕プッバカンマピローティ Ap 3 387
pubba-karaṇa 前行〔迦絺那衣の〕
pubba-koṭi 本際
Pubba-koṭṭhaka〔經〕東河 S 48 44
Pubbakoṭṭhakā〔河〕プッバコッタカー，東浴室
pubba-gata 膿
pubbaṅgama 先行者，先驅，先驅者，先導者，前驅，上首
Pubbaṅgama〔經〕先驅 A **10** 121
Pubbaṅgamaniya〔比丘の譬喩經〕プッバンガマニヤ Ap 3 290
Pubbajira〔村〕プッバヂラ
pubbaṇṇa 七穀，前食
pubba-devatā 古の天人，先天神
pubba-nimitta 前相，前兆
pubbanta 前際，前邊，過去
pubbantānudiṭṭhi 前際隨見，前邊に隨ふ見，隨前邊見
pubba-peta 祖先，先亡者，亡靈，先靈，餓鬼
pubbapeta-kathā 死者の話，先亡論，先靈論，靈魂論，亡靈論，祖先論〔無用論の一〕
pubba-buddha 過去佛
pubba-yoga 宿行，宿緣，前生との結合
pubba-lohita 膿血
Pubbavijjhana〔村〕プッバギッヂャナ
Pubbavideha〔洲〕東毘提訶，東勝身，弗婆提，弗婆毘提
pubba-samudāciṇṇa kilesa 前現行煩惱
Pubbaselika，Pubbaseliya〔部派〕東山住部，東山部
pubbahetuka-sīla 宿因戒
pubbācariya 先軌範師，先師，古師
pubbāpatti 前罪
Pubbārāma ①=Migāramāthu-pāsāda〔精舍〕プッバーラーマ，東園，淸信園林 ②〔經〕東園 S 48 45～48
Pubbārāmo Migāramātu pāsādo=Pubbārāma, Migāramātu-pāsāda〔精舍〕プッバーラーマミガーラマートゥパーサーダ，東園鹿母講堂，東園鹿子母講堂，東園鹿子母堂，東園鹿母殿
Pubbe〔經〕前 S 14 31；**51** 11
pubbe-ananussuta dhamma～ananussuta dhamma 前代未聞の法
pubbe-kata 前世の所業，前世に作れり，宿作，宿命
pubbe-kata-puññatā 宿世に福の所作ある
pubbekata-vāda 宿命說
pubbekata-vādin 宿命論者，宿作論者
pubbe-kata-hetu 宿作因
Pubbe ñāṇaṁ〔經〕宿智 S **36** 24
pubbe-nivāsa 宿住，宿世の居住，宿世，宿命，前生，過去に於ける生存
pubbenivāsa-anussati 宿住隨念，宿命，隨念宿住
pubbenivāsa-ñāṇa 宿住智
pubbe-nivāsānussati-ñāṇa 宿住隨念智，宿命智，憶宿命智
pubbenivāsānussati-ñāṇa-vijjā 宿住隨念智明
pubbenivāsānussati-yathābhūta-ñāṇa-bala 宿住隨念如實智力〔佛十力の一〕
Puracceri〔渡場〕プラッチェーリ
puratthima-janapada 東方地方
puratthimā disā mātā-pitaro 東方は母父
purāṇa プラーナ，古傳，古話
Purāṇa ①〔比〕プラーナ，富蘭那 ②〔鹿住の父〕プラーナ，富蘭那 ③〔大工〕プラーナ，宿舊 ④〔村〕プラーナ
purāṇa kamma 先業，故業，古き業
purāṇa cīvara 故衣
purāṇañjasa 古徑
purāṇa-dutiyikā 故の妻，元の妻，故二，舊妻，先妻，昔の妻，前妻，前の妻

purāṇa nagara 古城
purāṇa nisīdana 故座具
purāṇa magga 古道
purāṇa rājadhānī 故都
purāṇa-vedanā 古き苦痛
purāṇa santhata 故臥具
Purābheda-sutta 死前經 Sn 4 10
Purābhedasutta-niddesa 死前經の義釋 MNd 10
Purindada ① プリンダダ，富蘭陀羅，因陀羅，都市の破擊者，破城者，城を破る者，壞邑＝帝釋天 ②〔王〕プリンダダ
purimakā tayo sammāsambuddhā 過去三佛
Purimakoṭi-pañho 最初の始まり〔は認識せられざるや〕の問 Mil 2〔3〕2
Purima-gamana 第一章
purima-pāda 前足
purima-yāma 初更，初夜，初分
purimika-vassāvāsa 前雨安居
purisa 男子，男，丈夫，人，人間，神我
Purisa〔經〕人 S 3 2
purisa-kathā 男論，男子論〔無用論の一〕
purisa-khaluṅka 未調人，人未調馬〔三種〕
purisa-gutti 監視
purisatta 男子性
purisatta-kara 工人
purisa-thāma 人間の力，丈夫の勢，丈夫の勢力，丈夫の忍耐，人の勢用，人の勇猛
purisadamma-sārathi 調御丈夫，調御丈夫者，調御師，丈夫調御者，人人の調御者〔如來十號の一〕
purisa-dosa 人の過
purisa-dhorayha 人間の忍耐
purisa-parakkama 人間の努力，丈夫の勤勇，丈夫の勇猛，丈夫の勇決，人の勇健，人の精勤
purisa-puggala 男子
purisa-bhāva 男性
purisabhāva-dasaka 男性十法
purisa-medha 人の供犧，人祠，獻人，獻人祭
purisa-rūpa 男子の姿，男子の色
purisa-liṅga 男子の相，男相
Purisallu〔夜叉〕プリッサル
purisa-viriya 丈夫の精進，人間の精進，人の精進
purisa-visesa 人間差別
purisa-vyañjana 男根
purisa-sadassa 人中良馬，人良馬〔三種〕
purisa-sīla-samācāra 士夫の戒正行
purisa-sīha 人師子
purisājañña, purisājānīya 人良馬，吉祥士
purisāda＝porisāda 食人鬼，食人者，人食ひ，兇人
Purisālu〔獸〕フリサール
purisāsabha 人牡牛
purisindriya 男根〔二十二根の一〕
purisindriya-ñāṇa 人根智
purisuttama 最勝人，最上人，最上の人士，上人
pure apekkhaṁ karoti 前を期待す
purekkharāna 重視者
purekkhāra 重視
purekkhāra-mada 尊敬憍
pure javo 先行者
purejāta〔-atthi〕前生〔有〕
purejāta-atthipaccaya 前生有緣
purejāta-paccaya 前生緣，前生起緣〔二十四緣の一〕
purejātapaccaya-niddesa 前生緣廣說
purejāta〔-vippayutta〕前生〔不相應〕
purejāta-vippayuttapaccaya 前生不相應緣
pure-bhatta 食前
pure-samaṇa 先行沙門
purohita 司祭，司祭官，王師，帝師，國師，顧問
Pulacceri〔園〕プラッチェリ
Pulatthi〔都〕プラッティ
Pulatthipurakārāpana〔章〕プラッティ城を建設せしむること Cv 88
Pulatthipura-paṭisaṁkharaṇa-niddesa〔章〕プラッティプラ修理次第 Cv 73
Pulahattha＝Pūḷuhattha〔王，ダミラ人〕プラハッタ

Pulinda=Purinda〔族〕プリンダ
puḷava 蟲類，蛆蟲
Puḷavaka〔經〕噉 S 46 58
puḷavaka-saññā 蟲噉想，蟲聚想，蟲啖想，噉想
Puḷinacaṅkamiya〔比丘の譬喩經〕プリナチャンカミヤ Ap 3 477
Puḷinathūpiya 〔比丘の譬喩經〕プリナトゥーピヤ Ap 3 495
Puḷinapupphiya〔傳◦轉輪王〕プリナプッピヤ
Puḷinapūjaka〔比丘の譬喩經〕プリナプーヂャカ Ap 3 27, 322
Puḷinuppādaka〔比丘の譬喩經〕プリヌッパーダカ Ap 3 484
puḷuvaka=puḷavaka 蟲聚相
pussa=phussa 雄鶏
pūga ① 組合員，衆社，團體，同業組合，組合，民團 ②〔樹〕プーガ，檳榔子
Pūgadaṇḍaka-āvāṭa〔地名〕プーガダンダカアーヴータ
pūjanā 供養
pūjayati 供養を受く
Pūjā〔僧院〕プーヂャー
pūjita 應請者
pūjeti 供養す，崇拜す，讃歎す
pūti-kāya 臭身
pūti-bīja 朽種
Pūtimaṁsa〔豺〕プーティマンサ，腐肉
pūtimaṁsa-jātaka プーティマンサ・ヂャータカ，腐肉豺本生物語 J 437
Pūtimukha-petavatthu 臭口鬼事 Pv 1 3
pūti-mutta 腐尿，腐尿水，陳棄，牛溲，家畜の尿
pūtimutta-bhesajja 陳棄藥
pūti-latā〔草〕プーティ蔓草，臭蔓，臭氣蔓草
Pūnagāma〔渡〕プーナガーマ
Pūpapakkadāyaka〔比丘の譬喩經〕プーパパッカダーヤカ Ap 3 522
Pūraṇa〔長者〕プーラナ，富蘭那
Pūraṇa-Kassapa 〔六師外道の一〕プーラナカッサパ，富蘭迦葉，富蘭那迦葉，富樓那迦葉，不蘭迦葉
pūra-rahada 滿水の湖
pūraḷāsa 獻菓
pūliṇa-thūpa 砂粒の塔婆
Pūḷuhattha=Pulahattha〔ダミラ人，王〕プールハッタ
pūva プーヴ，菓子，團子，餅
pūva-ghara 餅屋
pūva-surā 餅酒
pūvika 菓子商，菓子屋
pekkhā 觀せ物，見世物
Pekhuniya〔塞〕ペークニヤ
Pegu〔ビルマの地方〕ペーグ
pecca na socati 來世を憂ふることなし
peccha〔乘物〕ペーッチャ
Pecchadāyaka 〔比丘の譬喩經〕ペーッチャダーヤカ Ap 3 519
Peṭaka〔書名〕ペータカ
peṇāhikā〔鳥〕ペーナーヒカー
Peṇṇakata〔町〕ペンナカタ
peta 餓鬼，亡者，餓鬼類，餓鬼男，鬼，屍，死靈
peta kālakata 先亡の靈
petatta 餓鬼
petanika 遺產相續者
peta-pariggaha 餓鬼物
peta-bhavana 餓鬼の世界
petarāja-visaya 餓鬼王の領域
peta-loka 餓鬼世界
Peta-vatthu ペータヴットゥ，餓鬼事經〔小部經の一〕Khuddaka 7
peta-visaya〜pitti-visaya, petti-visaya 餓鬼の世界
petavisayika 餓鬼界の，餓鬼の
peta-seyyā 死者の臥法
Petānaṁ uddissaphala-pañho 施餓鬼の果の問 Mil 4〔8〕8
petī 鬼女，餓鬼女
Peteṇika(A), Pitinika(A), Pitenika(A)〔國〕ピティニカ
Pettaṅgavālika〔精舍〕ペッタンガヴーリカ
pettika-gocare rato 父祖境界欣樂者

pettika-visaya 父母境界，父祖の地，父祖の境界，父親の里
petti-ghātin 父を殺せる者
petti-rājan 餓鬼王
petti-visaya＝pitti-visaya, peta-visaya 餓鬼境，餓鬼境界，餓鬼，餓鬼界，餓鬼趣，餓鬼道，餓鬼の世界
petteyyatā 父を敬ふこと
Petteyyā〔經〕父 S **56** 67
pema 愛，愛情，愛樂，愛著
pemaniya-vāda 愛語
peyya-vajja, peyya-vācā 愛語〔四攝事の一〕
Peyyāla-vagga ① 重說品 S **24** 19〜96 ② 中略品 S **37** 1〜24
Perādoṇī〔都〕ペーラードーニー
Perumpayala〔地名〕ペールンパヤラ
pelaka 兎
Pelagāma〔精舍〕ペーラガーマ
Peḷahāla〔村〕ペーラハーラ
Peḷivāpika〔村〕ペーリヴーピカ
pesakāra 機織業者，機織人，織物師，織師
pesakāra-dhītar 織師の娘
pesakāra-sippa 織技
pesanaka-cora 派遣盜賊
pesala 溫和なる，溫和者，穩和，善美
pesala bhikkhu 善比丘
Pesalā-atimaññanā 〔經〕溫和者をさげすむ S **8** 3
pesi ペーシ，閉尸，宍肉，肉片〔胎內五位の一〕
pesuñña〜pisuṇā-vācā 離間語，兩舌，離間せしむ，讒謗，惡口*
pesuñña-kāraka 讒言者
pesuṇa＝pesuñña 兩舌
Pesuṇāni〔經〕離間語 S **56** 75
pesuṇeyya＝pesuñña 兩舌，離間語，讒謗
pessa 使丁
Pessa〔象御者〕ペーッサ
pessika 奴僕
pokkhara ① 蓮葉，蓮，荷葉 ②〔樂器〕ポッカラ
Pokkharakkhī〔妃〕ポッカラッキー
Pokkharaṇiyā 〔地名〕ポッカラニヤー，補迦羅尼耶
pokkharaṇī 蓮池，池水，湖池，池，泉池，小池
Pokkharaṇī ①〔經〕蓮池 S **13** 2 ② 湖池 S **56** 52
pokkhara-patta 蓮の葉，蓮葉
Pokkharapāsaya〔池〕ポッカラパーサヤ
pokkhara-vassa 蓮雨
pokkhara-sataka, pokkhara-sātaka〔馬〕ポッカラサータカ，鶴
Pokkharasāti＝Pokkharasādi, Pokkharasāti-Opamañña〔婆，塞〕ポッカラサーティ，沸伽羅娑羅，沸伽羅娑帝
Pokkharasāti-Opamañña＝Pokkharasāti〔婆〕ポッカラサーティオーパマンニャ，沸伽羅娑羅嗚呼奴奴
Pokkharasādi＝Pokkharasāti〔婆〕ポッカラサーディ，沸伽羅娑羅，沸伽羅娑帝
Pokkhala〔地名〕ポッカラ
poṭakila〔草〕ポータキラ
Poṭṭhapāda ①〔比〕ポッタパーダ ②〔外，塞〕ポッタパーダ，布吒波陀，布吒婆樓 ③〔鸚鵡〕ポッタパーダ
Poṭṭhapāda-sutta ポッタパーダ・スッタ，布吒婆樓經，布吒婆陀經 D **9**
poṭṭhasīsa, poṭṭhasīsika 〔鳥〕ポッタシーサ，ポッタシーシカ
Poṭṭhila〔比〕ポッティラ
poṇa ポーナ，飲器
Poṇa-amarāvatī〔地名〕ポーナアマラーヴティー
potaka 雛
potaki-tūla 草綿
Potana〔城〕ポータナ，褒怛那
Potali〔都〕ポータリ
Potalināga〔町〕補多勒迦
Potaliputta〔外〕ポータリフッタ
Potaliya 〔遊行者，塞〕ポータリヤ，哺多利，晡多利
Potaliya-suttanta ポータリヤ・スッタンタ，哺多利經 M **54**

Potiriya〔人〕ポーティリヤ
Pottika, Pottiya 〔貧乏人〕ポッティカ，ポッティヤ
pottha 塑料
potthaka ① 書物，書册，書籍，經卷 ② マカチ纖維織，樹皮衣
Potthakuṭṭha〔ka〕〔アッガボーディ四世王の侍僕〕ポッタクッタ〔カ〕
potthakūpama puggala 樹皮衣喩人〔三種〕
Potthadāyaka〔比丘の譬喩經〕ポッタダーヤカ Ap 3 276
potthanikā 利劍
Potthasāta 〔將軍〕ポッタサータ
pothujjanika 凡俗者的，異生位，凡夫の所行
podalaka 串
ponobhavika 後有を起し，後有を齎す
ponobhavika bhava-saṅkhāra 當來有有行
ponti 襤褸衣
porāṇa 古人，古聖，古註釋家，昔の人
porāṇa-iṇamūla 舊借財
porāṇa isi 古仙
porāṇika 古人
porisa 傭人，寄食者
porisāda=purisāda 人食ひ，食人者，食人鬼，兇人
Porogāhalikhaṇḍaka〔地名〕ポーローガーハリカンダカ
porohicca 司祭，司祭官
Polajanaka〔王子〕ポーラヂャナカ
Polonnarutala〔池〕ポーローンナルタラ
posa 士夫，被養者
Posatha〔園〕ポーサタ
Posāla〔婆和利の弟子，婆，比〕ポーサーラ，布沙羅
Posāla-pañhā=Posālamāṇava-pucchā〔經〕布沙羅所問
Posālamāṇavakapañhā-niddesa 布沙羅學童所問の義釋 CNd 15
Posāla-māṇava-pucchā=Posāla-pañhā〔經〕布沙羅學童所問 Sn 5 15
posika 養育者
posikā 養母
Posiya〔比〕ポーシヤ
Posona〔城〕ポーソーナ
praṇa(A)=pāṇa 生類，生物
pradeśika(A)=padesika 地方長官
pravajita (A), pravrajita (A)=pabbajita 出家者，出家，出家行者，禁欲者
praṣaṁḍa(A)=pāsaṇḍa 宗派，外道
prāṇa(A)=pāṇa 生類，生物
prādesika(A), pādesika (A), pradeśika (A)=padesika 地方長官

phaggu〜phagguṇa ① パルグ，春 ②〔月〕パルグ，頗勒窶那
phagguṇa〜phaggu〔月，二月〜三月〕パッグナ，頗勒窶那，巴迦那，孟春
Phagguṇa=Phagguna〔比〕叵求那，頗勒具那
Phagguṇī 〔ナーラダ佛の第二比丘尼〕パッグニー
Phagguna ①=Phagguṇa〔比〕パッグナ，頗勒具那，叵求那 ②=Moriya-phagguna〔比〕パッグナ
Phagguno ①〔經〕破群那 S **12** 12 ②〔經〕頗勒具那 S **35** 83
phaṇa 鎌首，頭被，龍蓋
phaṇaka 蜷局櫛
phaṇa-hatthaka 蛇頭手〔者〕，手蛇冠の如き者
phaṇijjaka〔樹〕パニッヂャカ
phandana〔樹〕パンダナ
Phandana-jātaka パンダナ・ヂャータカ，パンダナ樹本生物語 J 475
phandant 戰慄する者
phandāpayant 戰慄しむる者
pharaṇā pīti 遍滿喜
pharasu 斤，斧，手斧
pharusa ① 粗暴，麁，麁暴，麤惡，麤澁，無慈 ②=phārusa, phārusaka〔果〕パルサ，麤澁，頗留沙
Pharusaṁ〔經〕麁惡語 S **56** 76
pharusaka=phārusaka, pharusa〔果〕麤澁，頗留沙，三色花
pharusa-vāca=pharusā-vāca 麤語者，麤惡語者，惡口者
pharusa〔-vācā〕粗惡語，麁惡語，麁語，粗語，粗暴の言，惡口
pharusāya vācāya veramaṇī 離麤惡語，麁惡語の離，麁惡語を離ること
pharusā-vāca=pharusa-vāca 麤惡語者，惡口者，麁語者，粗語者
pharusā-vācā=pharusa-vācā 麤惡語，麤惡の語，麁惡語，惡口，麁語，粗惡語，粗語，粗暴の言
pharusāvācā paṭivirato 離麁惡語者
pharusā-vācāya veramaṇī 麁惡語の離，麁惡語を離ること，離麤惡語
phala ① 果，果實，果物 ② 睾丸 ③〜pala〔重量〕パラ
Phala〔經〕果 S **48** 65, 66; **51** 25, 26; **54** 4, 5; **55** 55〜58
phalaka ①〔樹〕パラカ ② 板
phalaka-cīra 木片衣，木片の衣，木板衣，板衣，結木屑衣
Phalakadāyaka〔比丘の譬喩經〕パラカダーヤカ Ap 3 148
phalaka-pīṭha 板座
phala-khādaniya 果實嚼食
Phalagaṇḍa〔比〕パラガンダ，波羅揵陀
phala-gandha 果香
phala-citta 果心
Phala-jātaka パラ・ヂャータカ，果實本生物語 J 54
phala-ñāṇa=phale ñāṇaṁ 果智
Phalañāṇa-kathā 果智論 KV **5** 10
phalaṭṭha 果住者
phala-tumba 果壺
Phaladāyaka〔比丘の譬喩經〕パラダーヤカ Ap 3 87, 127, 140, 282, 305
Phala-dāyaka-vimāna 果實施者天宮 Vv 67
phala-paccavekkhaṇa 果省察
phala-bhājaka 分果人，果物分配者
phala-bhesajja 果藥
phala-rasa 果汁
phala-vipāka 異熟果
phala-visuddhi 果淸淨
phala-saṁgha 果僧伽
phala-sacchikiriyā 證果
phala-samaṅgin 果具者
phala-samaṅgissa ñāṇaṁ 果具足智
phala-samāpatti 果定，果等至，得果
phalasamāpatti-vipassanā 果定觀
phala-sīla 果戒
phala-sukha 果樂
phala-hārika 果物屋
phalāpaṇa 果實店（佛の）

phalāpaṇika 果實商人
phalārāma 果樹園
phalāsava 果酒
phalika ① 果實商 ②=phaḷika 水晶，水精，玻璃
Phalika〔山〕パリカ
phalika-guhā 玻璃の窟
phalika-pāsāda 水晶宮
phalika-maya 水精所成
phalika-vaṇṇa 水精色
phalika-vimāna 水晶の宮殿，水晶宮
Phalikasandāna〔比〕パリカサンダーナ
phalita=palita 白髪
phalu-bīja 節の種子，節より生ずる種子，節種，節種子
phale ñāṇaṁ=phala-ñāṇa 果智
phale ṭhitā〔四〕果住〔者〕
phaḷika=phalika 玻璃，水晶，水精
Phaḷudhiya〔ダミラ人〕パルディヤ
phassa 觸
Phassa〔經〕觸 S 14 9, 10 ; 25 4 ; 26 4 ; 27 4
phassa〔-āhāra〕觸食，觸〔食〕〔四食の一〕
phassa-kāya 觸身
phassa-nānatta 觸種種，種種觸
Phassamūlaka〔經〕觸を根本とするもの S 36 10
Phassalakkhaṇa-pañho 觸の特相の問 Mil 2〔3〕8
phassa-samudaya 觸より集起す
phassa-sampayutta 觸相應
phassa-sukha～passa-sukha 觸樂，倚樂，轉臥の樂，脇の樂
phassābhisamaya 觸の止滅
phassāyatana 觸處
phassāhāra 觸食，觸〔食〕〔四食の一〕
phasso sāsavo upādāniyo 有漏有取の觸
phāṇita 糖，砂糖，糖蜜，石蜜，糖霜
phārusa, phārusaka=pharusa, pharusaka〔果，花，樹〕パールサ，パールサカ，三色花，麤澁，頗留沙
Phārusaka ①〔園〕パールサカ，波婁沙迦，麤澁 ②〔園，セイロンにあり〕パールサカ
phārusaka-pāna パールサカ汁，波樓果漿〔八種飲料の一〕
Phārusaphaladāyaka〔比丘の譬喩經〕パールサパラダーヤカ Ap 3 382
phāla 鋤，鋤先，犂先，犂鑱
phālakāla〔官職〕パーラカーラ
phālibhaddaka=kiṁsuka〔樹〕パーリバッダカ
phāsu 安穩
phāsukaṭṭhi 肋骨
phāsuḷī 肋骨
phāsu-vihāra 樂住，安穩住，安穩，安住，安祥，安樂住
phāsuvihāra-pañcaka 安樂住處五事 V 2 a 7, 12
Phāsuvihāra-vagga 安穩住品 A 5 101～110
phāsu-vihārika 安樂住處
phīta〔-nagara〕繁榮の町
phuṭṭhattā paññā 觸の慧
Phullanāyaka〔傳◦轉輪王〕プッラナーヤカ
Phusati〔經〕觸るる S 1 22
Phusatī〔王女〕プサティー
phusana 觸接，觸るること
phusanā 觸
phussa ①〔月，十二～一月〕プッサ，弗沙，報沙 ②〔星〕フッサ，鬼宿
Phussa ①〔佛〕プッサ，弗沙 ②〔比〕プッサ
Phussatī〔王妃〕プッサティー
Phussadeva ①〔ダンマダッシー佛の第二弟子〕プッサデーヴ，觸天 ②〔相承比丘〕プッサデーヴ ③〔カタカンダカーラ住比丘〕プッサデーヴ ④=Ummāda-phussadeva〔戰士〕プッサデーヴ
Phussa-nakkhatta 鬼宿
phussanaṭṭhe ñāṇaṁ 觸接の義の智
Phussamittā〔夜叉女〕プッサミッター，補沙蜜多
phussa-ratha 華車
phussarāga〔寶珠〕赤琥珀
Phussā〔ティッサ佛の第一比丘尼〕プッサー，觸

Phussita 〔傳◦轉輪王〕プッシタ
Phussitakammiya 〔比丘の譬喩經〕プッシタカンミヤ Ap 3 332
pheggu 膚材，樹膚，織皮，不堅
pheggu-gandha 樹膚香
Pheggupabbatā 〔尼〕ペッグパッバター
pheṇa 泡沫
Pheṇaṁ 〔經〕泡沫 S 22 95
pheṇa-piṇḍa 泡沫，泡團，聚沫
pheṇapiṇḍūpamā 聚沫の如し
pheṇa-mālin 泡の華鬘，泡環
phoṭṭhabba 觸，所觸，觸接
phoṭṭhabba-dhātu 觸界，所觸界
phoṭṭhabba-taṇhā 觸愛
phoṭṭhabba-bhoga 觸樂
phoṭṭhabba-rasa 觸味
phoṭṭhabba-sañcetanā 觸思
phoṭṭhabba-saññā 觸想
phoṭṭhabbāyatana 觸處，所觸處
phoṭṭhabbūpahāra 觸持現

baṁdhana-mokha (A)=bandhana-mokkha 囚人の釋放
baṁbhana (A)=brāhmaṇa 婆羅門
baka バカ，青鷺，鶴
Baka ①〔梵天〕バカ，婆伽，婆迦 ②〔王〕バカ，婆迦
Bakagalluddhavāpī 〔地名〕バカガッルッダヴーピー
Baka-jātaka バカ・ヂャータカ，青鷺本生物語 J 38, 236
Bakabrahma-jātaka バカブラフマ・ヂャータカ，婆迦梵天本生物語 J 405
Baka-brahman〔比〕婆迦梵天
Baka Brahmā〔經〕婆伽梵天 S 6 4
bakula〔花〕バクラ
Bakkula=Bākula〔比，無病第一〕バックラ，薄拘羅，薄俱羅〔譬喩經〕Ap 3 393
Bakkula-sutta バックラ・スッタ，薄拘羅經 M 124
bata=vata 禁
Badaguṇa〔地名〕バダグナ
badaya-vaṣabhisita (A)=dvādasa-vassābhisitta 灌頂十二年
badara〔果〕バタラ，棗，棗子，跋達羅
badaraṭṭhi 棗の核
Badaravallī〔地名〕バダラヴッリー
Badarika〔園〕バダリカ，婆耆羅，跋陀利，跋陀梨
Badarī〔地名〕バダリー
Badalatthala, Badalatthali〔村〕バダラッタラ，バダラッタリ
badā-latā 林藤，蔓草
baddha 束縛，縛刑，捕縛
Baddhaguṇa〔精舍〕バッダグナ
Baddhacakka〔章〕結合章
baddha-pitta 停滯膽汁
Baddhasīmā〔殿〕バッダシーマー，結界
badhira 聾，聾者
bandha 捕縛，縛刑，束縛
bandhakī 弊惡女，弊女
bandhati 縛す
bandhana 縛，纒縛，繫縛，結縛，拘束，收縛，綴縛，接目，結節，結著，安緣，樹幹*
Bandhana ①〔經〕縛 S 1 65；3 10；22 117 ②〔經〕繫縛 A 8 17, 18
bandhana-palibodha 結髮障礙
Bandhanamokkha-jātaka バンダナモッカ・ヂャータカ，解縛本生物語 J 120
bandhana-suttaka 纒絲
bandhanāgāra 牢獄，獄，獄舍，監獄
Bandhanāgāra-jātaka バンダナーガーラ・ヂャータカ，獄舍本生物語 J 201
bandhanāgārika 獄卒，獄吏，司獄
bandhanā mokkho 出獄
bandhu 親類
bandhuka〔花〕バンドゥカ
bandhujīva=bandhujīvaka〔華〕般豆時婆
bandhujīvaka=bandhujīva〔花，樹〕バンドゥヂーヴカ，般豆時婆迦，槃豆時縛迦，盤豆時縛迦
Bandhujīvaka〔比丘の譬喩經〕バンドゥヂーヴカ Ap 3 151, 182
Bandhujīvaka-vagga バンドゥヂーヴカ品 Ap 3 151〜160
Bandhupādāpacca 梵天の趾より生ぜる者，梵天の足部より生れたる，下劣
Bandhumatī ①〔傳◦王妃，毘婆尸佛の母〕バンドゥマティー，バンヅゥマティー，槃頭婆提，盤頭摩帝 ②〔城〕バンドゥマー，バンドゥマティー，バンヅゥマティー，盤頭摩帝，槃頭摩帝，槃頭婆提，有親者，滿度摩
Bandhumant ①〔王，毘婆尸佛の父〕バンドゥマー，バンヅゥマー，盤頭摩，槃頭 ②〔傳◦王〕バンドゥマー，槃頭，槃頭摩 ③〔辟〕バンドゥマー
Bandhura ①〔比〕バンドゥラ ②〔象番〕
Bandhula〔將軍〕バンドゥラ
babbaja 〔草〕婆婆，婆羅婆，波羅波，刺蘿，燈心草
Babbara〔人〕バッバラ
bamaṇa (A)=brāhmaṇa 婆羅門
Barabbala〔地名〕バラッバラ

bala ① 力，威力 ② バラ鳥
Bala〔經〕力 S **43** 9；**45** 149；A **8** 27，28；**9** 5；**10** 90
Bala-kathā 力論 Pṭs **2** 9；KV **3** 1
Balakaraṇīya-vagga 力所作品 S **45** 149～160；**46** 99～100，143～154；**47** 73～82；**48** 93～104，151～162；**49** 23～34；**50** 23～34，79～90；**51** 55～66；**53** 23～34
bala-kāya 軍隊
Balakkārasa〔王子〕バラッカーラサ
balagga 兵列，列兵
Baladatta〔王〕バラダッタ
bala-dasaka 力十年
Baladeva〔力士〕バラデーヴ，力天
Baladeva-vata 力天務
Baladeva-vatika 力天〔力士〕務者
Baladhana-saṁgaha〔章〕軍備資財の蓄積 Cv 69
Balapāsāṇa〔地名，堡壘〕バラパーサーナ，力石
bala-rūpa 力色
balavant 力士，有力者，有大力者，强盛，權勢
balavā puriso 力士，壯士
Bala-saṁyutta 力相應 S **50** 1～110
Balasena〔傳◦轉輪王〕バラセーナ
balākā〔鳥〕バラーカー，鶴
balānaṁ akampiyaṭṭho 力の不動の義
bali 犧牲，牲，供犧，供祭，供物，供養，獻供，租稅
Bali〔阿修羅〕バリ，跋黎
bali-kamma 牲祭，犧牲祭，供物
balin ① 馬 ② 稅吏
balivadda 牛，牡牛，轭牛，犂牛
balivaddūpama puggala 轭牛喩人，牛に喩ふべき補特伽羅〔四種〕
Baliharaṇa vanasaṇḍa〔林〕バリハラナ林，靈供處密林
Ballika〔燃燈佛の優婆塞〕バッリカ
baḷavā 鯨海
baḷisa 釣針，鉤針，鉤羂
Baḷisaṁ〔經〕鉤針 S **17** 2
baḷisa-maṁsika 鉤肉刑
baḷīyakkha〔鳥〕バリーヤッカ
Bahalamassu-tissa〔比〕バハラマッス・ティッサ
bahi jaṭā 外縛
bahiddha-rūpa 外色
bahiddhā 外
bahiddhābhinivesā-paññā 外住〔慧〕
bahiddhārammaṇa 外所緣
bahiddhārammaṇa dhamma 外所緣法
bahiddhāvavatthāne paññā 外の決定の慧
bahiddhā-vuṭṭhāna vimokkha 外出離解脫
bahiddhāvuṭṭhāna-vivaṭṭane paññā 外出離退轉の慧
bahiddhā saṁyojana 外結，外結〔者〕
bahiddhā-suñña 外空
bahi-sīmā 界外
bahu-kāra 多く所作せらるべき，援助者
Bahucintī〔魚〕バフチンティー，過多思
Bahudhātuka-sutta バフダートゥカ・スッタ，多界經〔別名；四轉經，法鏡經，不死鼓經，無上戰經〕M **115**
Bahudhīti〔經〕婆富提低 S **7** 10
Bahuputtaka〔王〕バフプッタカ
Bahuputtaka-cetiya, Bahuputta-cetiya 多子塔，多子祠堂，多子廟，バフプッタ廟
bahuppada 多足，多足者
bahu-bhāṇin 饒舌〔者〕
Bahumaṅgala〔塔〕バフマンガラ，多吉祥
bahula〔博戲〕バフラ
Bahula〔經〕多多 S **55** 68
bahula〔-kamma〕多〔業〕＝數習業
Bahulika＝Bahussutaka〔部派〕多聞
Bahulīkātabba〔經〕應多修 A **10** 152，196
bahuvedaniya-kamma 多受の業
Bahuvedaniya-suttanta バフヱーダニヤ・スッタンタ，多受經 M **59**
Bahusodarī〔天女〕バフソーダリー
bahussuta 多聞，多聞者，多聞なる，博聞，博識
Bahussutaka＝Bahulika〔部派〕多聞
bahussuta dhammadhara 多聞持法者

Bahussuto〔經〕多聞 S 37 21
bahvābādha 多病
Bākula=Bakkula〔比〕バークラ，薄拘羅
bāmhaṇa (A), brāmhaṇa (A), baṁbhana (A), bābhana (A), bramaṇa (A), bamaṇa (A)=brāhmaṇa 婆羅門
Bāraṇī〔婢〕バーラニー
Bārāṇasī ①〔城〕バーラーナシー，波羅奈，波羅榇，波羅榇斯，婆羅奈，婆羅榇 ②〔王〕波羅奈
Bārāṇaseyyaka〔-vattha〕〔衣〕バーラーナシー，波羅奈，波羅榇，婆羅奈
bāla 愚者，愚癡者，愚夫，愚人，癡者，愚癡，愚羌，愚昧，無知，狂愚
Bālakaloṇa-kāra〔村〕バーラカローナカーラ，婆羅樓羅
bāla-codaka 無知呵責者
bāla thera 凡愚上座
bāla dhamma 愚法
Bālapaṇḍita-sutta ① バーラパンディタ・スッタ，賢愚經 M 129 ② 賢愚經 A 10 216
bāla-puggala 愚癡人
bāla-puthujjana 愚凡夫
bāla-bhūmi 愚者地
bāla-lakkhaṇa 愚相
Bālava〔村〕バーラブ
Bāla-vagga ① 愚人品 A 2 3；3 1～10 ② 愚者品 A 2 10 ③ 愚品 Dhp 5 vv 60～75
bālisaka=bāḷisika 漁夫，漁師，釣師
Bālisako〔經〕漁夫 S 35 189
Bālena paṇḍito〔經〕愚と賢 S 12 19
bāḷisika=bālisaka 漁師，漁夫，釣師
Bāḷha-gilāna〔經〕重患 S 52 10
Bāvarin〔婆，苦行者〕婆和利，跋婆犁
bāvīsatindriyāni 二十二根
Bāveru-jātaka バーヱール・ヂャータカ，バーヱール國本生物語 J 339
Bāveru-raṭṭha バーヱール國
bāhaṭṭhi 腕骨，上膊骨
bāhanta 臂帖
bāhā-bala 腕の力
Bāhitika-sutta バーヒティカ・スッタ，鞞訶提經 M 88
bāhitikā バーヒティカー，鞞訶提衣
Bāhiya ①=Bāhiya Dārucīriya〔比，速疾神通第一〕バーヒヤ，婆醯，婆醯迦，著樹皮衣〔譬喩經〕Ap 3 533 ②〔ダミラ人，將軍，王〕バーヒヤ
Bāhiya or Bāhika〔經〕婆醯迦 S 35 89；47 15
Bāhiya-jātaka バーヒヤ・ヂャータカ，田舍女本生物語 J 108
Bāhiya Dārucīriya=Bāhiya〔比，速疾神通第一〕バーヒヤダールチーリヤ，著樹皮衣，樹皮衣を著たる婆醯
Bāhira〔經〕外 S 35 186
bāhira aṅga 外の緣，外の人の因
bāhiraka 外道，外學
Bāhira-kathā 序話 Mil 1 2
bāhiraka diṭṭhigata 異學の成見
bāhira dhamma 外法
Bāhira-nidāna 律の外序
bāhira puthujjana 外の凡夫
bāhira-manta 外道の經文
bāhira-mātikā 外的論母
bāhira rūpa 外色
bāhira-lepa 外用塗藥，外傷用塗藥
bāhirā ākāsa-dhātu 外空界，外の空界
bāhirā āpo-dhātu 外水界，外の水界
bāhirā tejo-dhātu 外火界，外の火界
bāhirā paṭhavī-dhātu 外地界，外の地界
bāhirā vāyo-dhātu 外風界，外の風界
Bāhukā〔河〕バーフカー
Bāhuna ①〔比〕バーフナ，婆醯迦 ②〔經〕婆醯迦 A 10 81
bāhuppacālaka 腕を振る
bāhu-balin 膂力〔者〕
Bāhumatī〔河〕バーフマティー
Bāhuraggi〔比〕バーフラッギ，婆睺羅祇
bāhulika, bāhulla, bāhullika 奢侈，贅澤，贅澤者，驕奢
bāhusacca 博識，多智，多聞，多聞なる事

bidala-mañcaka 竹榻
bindu 充滿，簡潔〔八音の一〕
Bindumatī〔婬女〕ビンドゥマティー
Bindusāra 〔王〕ビンドゥサーラ，賓頭沙羅，頻頭娑羅
bimba ① 像，形像，身體 ②〔果，樹〕ビンバ，頻婆
bimbajāla〔花，樹〕ビンバヂャーラ
Bimbasundarī=Bimbā-devī 〔羅睺羅の母〕ビンバスンダリー，耶輸陀羅
Bimbādevī=Bimbasundarī〔尼〕ビンバーデーヸー，耶輸陀羅
bimbijāla, bimbijālaka, bimbijālika〔樹〕ビンビヂャーラ，ビンビヂャーラカ，ビンビヂャーリカ，金網
Bimbijāliya〔比丘の譬喩經〕ビンビヂャーリヤ Ap 3 249
Bimbisāra ①〔王〕ビンビサーラ，頻毘娑羅，頻婆娑羅 ②=Janavasabha〔夜叉〕頻婆娑羅
Bimbī〔夷〕ビンビー
bimbohana 枕
bila ① 凹地 ② 肉片 ③ 赤鹽
bilaṅga 酸粥
bilaṅga-thālika 粥鍋，酸粥鍋刑
Bilaṅgika〔經〕毘蘭耆迦 S 7 4
Bilaṅgika-Bhāradvāja〔婆，比〕毘蘭耆迦婆羅墮婆闍
bilāra=biḷāra 猫，山猫
bilāra-bhasta=biḷāra-bhasta 猫皮，猫の皮
Bilāro〔經〕猫 S 20 10
Bilālidāyaka 〔比丘の譬喩經〕ビラーリダーヤカ Ap 3 109, 265
Billa ①〔渡〕ビッラ ②〔山〕
Billagāma〔渡〕ビッラガーマ
Billaphaliya〔比丘の譬喩經〕ビッラパリヤ Ap 3 440
Billasela ①〔山〕ビッラセーラ ②〔精舍〕
biḷāra=bilāra〔動〕猫，山猫
Biḷāra-jātaka ビラーラ・ヂャータカ，猫本生物語 J 128
Biḷāratha〔王〕ビラーラタ
biḷāra-bhasta 猫の皮，猫皮
Biḷāri-kosiya〔長者〕ビラーリ・コーシヤ
Biḷārikosiya-jātaka ビラーリコーシヤ・ヂャータカ，布施比丘本生物語 J 450
biḷālī〔樹，草根〕ビラーリー
biḷibiḷikā 雜談，輕噪
bīja 種子，種，成種子
Bīja ①〔村〕ビーヂャ ②〔經〕種子 S 22 54; 45 150; 56 78; A 10 104
bījaka 續種，後嗣
Bījaka ①〔比，須提那の子〕續種 ②〔僕〕ビーヂャカ
Bījaka-pitar=Sudinna〔比〕續種父
Bījaka-mātar〔須提那の舊妻，尼〕續種母
bījagāma-bhūtagāma 草木
bījagāma-bhūtagāma-samārambha 草木の損壞
bīja-jāta 種生
bīja-bīja 種子種，種種子，種子の種子，種より生ずる種子
Bīja-vagga 種子品 A 1 17
bījūpamā 種子喩
bīraṇa〔草〕ビーラナ，毘羅那，香草
bīraṇatthambhaka ビーラナ叢
Bīraṇatthambhaka-vagga 香草叢品 J 211～220
Bīraṇī〔女神〕ビーラニー
bujjhanaka 覺他者
Budalaviṭṭhi〔地名〕ブダラギッティ
buddha 佛，佛陀，覺者〔如來十號の一〕
Buddha ①〔比〕ブッダ ②〔傳◦轉輪王〕佛陀 ③〔大臣〕ブッダ ④〔將軍〕ブッダ ⑤〔髮舍利官〕ブッダ ⑥〔村〕ブッダ ⑦〔經〕佛 S 51 8
Buddha-atthinatthibhāva-pañho 佛は實在するや實在せざるやの問 Mil 2〔5〕1
buddhaṁ paccakkhāti 佛を誹謗す
Buddha-kathā 佛陀論 KV 21 5
buddha-khetta 佛國土，佛刹土
buddhagata-saññā 佛念想
buddha-gāthā 佛陀の偈
Buddhagāma〔精舍〕ブッダガーマ
Buddhagāma〔ka〕〔地方〕ブッダガーマ〔カ〕

Buddhagāmakanijjhara 〔池〕ブッダガーマカニッヂャラ
Buddhaguṇānussati 佛德隨念＝佛隨念
Buddhaghosa〔比，大註釋家〕ブッダゴーサ，佛音，覺音
buddha-cakkhu 佛眼
buddha-ñāṇa 佛智
buddhatā 佛性
buddha-thūpa 佛塔
Buddhadatta〔王〕ブッダダッタ，佛陀達多
Buddhadāsa〔王〕ブッダダーサ，佛使
Buddhanātha〔將軍〕ブッダナータ
Buddhanidassana-pañho 佛の所在指示の問 Mil 2〔5〕10
buddha-paṭimā 佛像
buddha-pūjā 佛供養
Buddhapūjānuññāta-pañho 佛〔舍利〕供養の問 Mil 4〔3〕5
buddha-bimba 佛像
buddha-bhāsita 佛所說
buddha-bhūmi 佛地
Buddhabhela〔村〕ブッダベーラ
buddha-manta 佛典
buddha-mātar 佛母
Buddhamitta〔比〕ブッダミッタ，覺友
Buddharakkhita ①〔相承比丘〕ブッダラッキタ，佛護 ②〔比〕佛護 ③〔錫蘭比丘〕佛護 ④〔人〕佛護
Buddha-ratana 佛寶
Buddharāja 〔ローカ將軍の反賊〕ブッダラーヂャ，佛王
buddha-vaṁsa 佛統
Buddha-vaṁsa ブッダ・ヴンサ，佛種姓經〔小部經の一〕Khuddaka 14
Buddha-vagga 佛陀品 S 12 1～10; Dhp 14 vv 179～196; Ap 3 1～10
buddha-vacana 佛語
buddha-visaya 佛境界
Buddhasaññaka〔比丘の譬喩經〕ブッダサンニャカ Ap 3 117, 309, 479
buddha-saññā 佛想
Buddhasabbaññū-pañho 佛一切知者の問 Mil 4〔4〕4
buddha-sāsana 佛陀の教，佛教
buddha-sīla 佛戒
Buddhassa ācariyānācariya-pañho 佛の師の問 Mil 4〔3〕9
buddhassa dāyādo 佛の嗣續者
Buddhassa bhagavato sabbaññūbhāva-pañho 佛の一切知性の問 Mil 4〔1〕2
buddhassa vyākaraṇaṁ 佛の記別
buddhassa sāvako 佛の聲聞，佛弟子
Buddhā〔王女〕ブッダー
buddhāna sāsanaṁ 佛教，佛の教，諸佛の教
Buddhānuttarabhāvajānana-pañho 佛は無上者なるを知るやの問 Mil 2〔5〕3
Buddhānuttarabhāva-pañho 佛は無上者なりやの問 Mil 2〔5〕2
buddhānussati 念佛，佛隨念，佛念〔六念，十念の一〕
Buddhānussati-niddesa 佛隨念の解釋
Buddhāpadāna〔經〕佛陀の譬喩 Ap 1
buddhāpadāniya 佛前生譚
buddhārammaṇa-pīti 佛所緣の喜樂
buddhāsana 佛座
buddhi 覺，智慧
buddhi-carita 覺行者
buddhi-cariyā 覺行
Buddhija 〔比，拘留孫佛の侍者〕ブッディヂャ，覺生，善覺
Buddhūpaṭṭhāka 〔比丘の譬喩經〕ブッドゥーパッターカ Ap 3 100
Buddhūpaṭṭhāyaka 〔比丘の譬喩經〕ブッドゥーパッターヤカ Ap 3 289
buddhe aveccappasādo 佛證淨〔四證淨の一〕
bundikābaddha〔臥床〕ブンディカーバッダ，文蹄脚
bundikābaddha-pīṭha 文蹄小床
bundikābaddha-mañca 文蹄床
Bubbula〔村〕ブッブラ
bubbuḷa 水泡
bubbuḷaka 泡，泡沫

bubbuḷūpama 水泡の如し
Burudatthalī〔地名〕ブルダッタリー
Buli〔族，佛舍利八分の一を受く〕ブリ，跋離族
Būkakalla〔村〕ブーカカッラ
Belaṭṭha-Kaccāna〔塞〕ベーラッタカッチャーナ，毘羅吒迦旃
Belaṭṭhakāni〔比〕ベーラッタカーニ
Belaṭṭhasīsa〔比，阿難の和尚〕ベーラッタシーサ，毘羅吒師子
beluva=beḷuva〔樹，果〕ベールヴ，木瓜，橡，ビルヴ
Beluvagāmaka〔村〕ベールヴガーマカ，竹林邑，竹林村，竹林叢
beluva-salāṭuka 木瓜，橡
bella〔果，樹〕ベッラ
beḷuva=beluva〔樹，果〕ベールヴ，木瓜，橡，ビルヴ
Bokusala〔村〕ボークサラ
bojjhaṅga 覺支，菩提支，菩提分
Bojjhaṅga-kathā〔七〕覺支論 Pṭs 2 3
bojjhaṅga-kosalla 覺支善巧
bojjhaṅga-ratana 覺支寶
Bojjhaṅga-vibhaṅga 覺支分別 Vibh 10
Bojjhaṅga-saṁyutta ボッヂャンガ・サンユッタ，覺支相應 S 46 1～175
Bojjhaṅga-sākacca 覺支總攝品 S 46 51～56
Bojjhaṅgā〔經〕覺支 S 43 10；54 2；A 10 102
bojjhaṅgānaṁ niyyānaṭṭho 覺支の出離の義
bojjhaṅgupekkhā 覺支捨
Bojjhā ①〔夷〕ボッヂャー ②〔經〕ボッヂャー A 8 45
Bodhanā〔經〕覺 S 46 21
bodhi ① 菩提，覺，自覺 ② 菩提，菩提樹
Bodhi ①〔辟〕ボーディ ②〔普行沙門，佛の前生〕ボーディ，菩提 ③〔王子〕ボーディ，菩提 ④〔セイロンの王子〕ボーディ ⑤〔將軍〕ボーディ ⑥〔園〕菩提樹
Bodhi-āvāṭa[ka]〔村〕ボーディアーヴータカ〔カ〕
Bodhiupaṭṭhāyaka〔比丘の譬喩經〕ボーディウパッターヤカ Ap 3 186
bodhi-kathā 菩提〔樹下〕緣 V 2 a 1, 1
Bodhigāmavara〔村〕ボーディガーマヴラ
bodhi-ghara 菩提の家
Bodhighariya〔比丘の譬喩經〕ボーディガリヤ Ap 3 447
bodhija-ñāṇa 菩提生の智
bodhi-ñāṇa 菩提智，正覺智
bodhi-tala 菩提樹處
Bodhitala〔村〕ボーディタラ
Bodhitissa ①〔王〕ボーディティッサ ②〔精舍〕
bodhi-pakkhika=bodhi-pakkhiya 菩提分，菩提の支分
bodhipakkhika-dhamma=bodhipakkhiya-dhamma 菩提分法，覺分法=三十七菩提分
bodhi-pakkhiya=bodhi-pakkhika 菩提の支分，菩提分
bodhipakkhiya-dhamma=bodhipakkhika-dhamma 覺分法，菩提分法=三十七菩提分
Bodhipakkhiya-vagga 覺分品 S 48 61～70
Bodhipakkhiya-saṅgaha 攝菩提分 Abhsaṅg 7 3
bodhi-maṇḍa 菩提道場
Bodhimaṇḍa〔精舍〕ボーディマンダ
Bodhimaṇḍa-vihāra 菩提道場精舍
Bodhiyā buddho ti kathā 由菩提覺者論 KV 4 6
Bodhirājakumāra-sutta ボーディラーヂャクマーラ・スッタ，菩提王子經 M 85
bodhirukkha=bodhi〔樹〕菩提樹，菩提
Bodhi-vagga 菩提品 Ud 1
Bodhivandaka〔比丘の譬喩經〕ボーディヴンダカ Ap 3 368
Bodhivandaka-vagga ボーディヴンダカ品 Ap 3 368～377
Bodhivāla〔村〕ボーディヴーラ
Bodhisa ①〔比〕ボーディサ ②〔王〕
Bodhisaññaka〔比丘の譬喩經〕菩提サンニャカ Ap 3 89
bodhi-satta 菩薩

bodhisatta-mātar 菩薩の母
Bodhisattassa dhammatā-pañho 菩薩の法性の問 Mil 4〔5〕2
bodhisattānaṁ dasa-guṇā 菩薩の十德
bodhi-sambhāra 菩提の資糧
Bodhisammajjaka〔比丘の譬喩經〕ボーディサンマッヂャカ Ap 3 525
Bodhisenapabbata〔村〕ボーディセーナパッバタ
Bodhī ①〔尼〕ボーディー，菩提 ②〔王女〕
Bola〔村〕ボーラ
Byagghapajja～Vyaggapajja ビヤッガパッヂャ，虎路子＝拘利人
byañjana＝vyañjana ① 文，字句，相，記標，子音 ② 調味，添味，副菜，羹菜，助味，藥味，加味物，附屬分
byatta＝vyatta 有能，有能者，聰明，完全者，堪能者，明白
byappatha＝vyappatha 說
byasana＝vyasana 喪失，不幸，損失，厄難〔五種〕
byādhi-dhamma 病法，病の法
byādhi-bhaya＝vyādhi-bhaya 病の怖畏，病の畏，病畏，疾病の畏怖
byāpanna-citta＝vyāpanna-citta 瞋恚心，瞋恚心者，瞋恚者，嫉妬者
byāpāda＝vyāpāda 瞋恚，瞋，恚，害心〔三不善尋，五下分結，五蓋，十不善業道の一〕
byāpāda kāya-gantha＝vyāpāda kāya-gantha 瞋身繫，瞋恚身繫，恚身繫
byāpāda-padosa 瞋恚
byāpāda-vitakka＝vyāpāda-vitakka 恚尋，瞋恚觀，瞋恚の念，瞋恚の心，瞋念，瞋の考想，恚覺，恚念〔三不善尋の一〕
byāpāda-saṁkappa＝vyāpāda-saṁkappa 恚念，恚思，瞋思惟＝恚尋
byāpāda-saññā＝vyāpāda-saññā 恚相〔三不善想の一〕
byābādhāya ceteti 瞋害心あり
byābhaṅgī 擔棒，擔杆
byāma-matta 一尋量
byāruddha＝vyāruddha 不如意，違和
byārosa 忿怒
byūha＝vyūha 横町，巷路，小路
bramaṇa (A)＝brāhmaṇa 婆羅門
Brahāchatta-jātaka ブラハーチャッタ・ヂャータカ，大傘蓋王子本生物語 J 336
brahā-vāḷamiga 肉食の巨獸
brahma-ādhipateyya 梵王權
brahma uccāsayana mahāsayana 梵の高床大床
brahma-uposatha 梵布薩
brahma-kāya 梵身
Brahmakāyikā devā 梵衆天，梵身天
Brahma-kutta 梵天所造
brahma-cakka 梵輪
brahma-caṅkama 梵の經行
brahma-cariya 梵行，宗教的義務，淨行，清淨行，婆羅門行*
Brahmacariya ①〔婆〕ブラフマチャリヤ ②〔經〕梵行 S 45 39, 40
brahmacariya-addhaniya 梵行の永續
Brahmacariya-kathā 梵行論 KV 1 3
brahmacariya ciraṭṭhitika 梵行久住
brahmacariyattha 梵行義
brahmacariyantarāya 梵行難，梵行の障礙
brahmacariya-pariyosāna 究竟梵行，梵行の究盡
brahmacariya-phala 梵行の果報，梵行果
brahmacariya-maṇḍa 梵行醍醐
brahmacariya-vāsa 梵行住，梵行住者
brahmacariyassa āsīviso 梵行者の蛇
brahmacariyassa paṁko 梵行者の泥濘
brahmacariyassa papāto 梵行者の懸崖
brahmacariyassa malaṁ 梵行の垢
brahmacariyassa visaṁ 梵行者の毒液
brahma-cariyā＝dhamma-desanā 法敎
brahmacariyūpaddava 梵行者としての苦
brahmacariyesanā 梵行求，梵行愛，梵行尋，梵行尋覓〔三求の一〕
brahma-cārin 梵行者，淨行者，清淨行者
Brahmacāri-pañho 佛は梵行者なりやの問 Mil

2〔6〕4

Brahmajāla-sutta ブラフマヂャーラ・スッタ，梵網經 D 1

brahmañña=brāhmañña 婆羅門法，婆羅門位，婆羅門性，婆羅門道

Brahmañña〔經〕婆羅門法 S 45 37,38

brahmaññattha 婆羅門義，婆羅門の義

brahmañña-phala 婆羅門果

brahmatta 梵天性，梵天界

brahma-daṇḍa 梵罰，梵壇，梵壇罰

Brahmadatta ①〔傳○王〕ブラフマダッタ，梵施，梵與，梵授，梵摩達多 ②〔王子〕ブラフマダッタ，梵與 ③〔迦葉佛の父〕ブラフマダッタ，梵施 ④=Cūḷanī-Brahmadatta〔王〕ブラフマダッタ ⑤=Brahmadatta-māṇava〔青年，スッピヤ異學の弟子〕ブラフマダッタ，梵摩達

Brahmadatta-jātaka ブラフマダッタ・ヂャータカ，梵與王本生物語 J 323

Brahmadatta-māṇava～Brahmadatta⑤ 梵施童子

brahma-dāyāda 梵天の嗣子

brahma-deyya 淨施地

Brahmadeva ①〔ティッサ佛の第一比丘〕ブラフマデーヴ，梵天 ②〔レーヴタ佛の第二弟子〕ブラフマデーヴ，梵天 ③〔比〕梵天 ④〔王〕梵天 ⑤〔經〕梵天 S 6 3

brahman 梵，梵者，梵摩

Brahmanimantanika-sutta ブラフマニマンタニカ・スッタ，梵天請經 M 49

Brahma-parisā 梵天衆，梵天會，梵輔天*〔八衆の一〕

Brahma-pārisajjā devā 梵衆天

brahma-puñña 梵福

Brahmapurohita〔天〕梵輔

brahma-bandhu 梵親，梵天の親類

brahma-bhūta 梵たり，梵たる者，梵體，最高者

brahma-manta 梵呪

brahma-yasa 梵名聲

brahma-yāna 梵乘

brahma-loka 梵界，梵天界，梵世

Brahmaloke Kasmīranagara-pañho 梵天界と迦濕彌羅の問 Mil 2〔7〕5

brahma-vaccasin 梵威〔者〕，優れたる威嚴を有し

Brahmavaḍḍhana〔都〕ブラフマヴッダナ

brahma-vaṇṇin 梵色〔者〕，優れたる姿を有し

brahma-vata 梵天務

brahma-vatika 梵天務者

Brahmavatī〔彌勒佛の母〕ブラフマヴティー，梵摩婆帝

Brahma-vimāna 梵宮

brahma-vihāra 梵住，梵觀，梵堂

Brahmavihāra-niddesa 梵住の解釋 VM 9

brahmavihāra-bhāvanā 梵住觀

brahmavihārupekkhā 梵住捨

Brahma-saṁyutta ブラフマ・サムユッタ，梵天相應 S 6 1～15

Brahma-sahavyatā 梵天との共住

brahma-sukha 梵樂

brahmassara 梵音〔三十二相の一〕

Brahmā ①=Brahmā Sahampati ブラフマー，梵天，梵，梵摩，梵王，大梵天王 ②梵=如來 ③〔經〕梵天王 S 47 18 ④〔經〕梵天 S 48 57

Brahmānaṁ sahavyatāya maggo 梵天との共住に至る道

Brahmāli〔比〕ブラフマーリ

brahmāyācana 梵天勸請

Brahmāyācana-kathā 梵天勸請緣 V 2 a 1, 5

Brahmāyu〔婆〕ブラフマーユ，梵摩

Brahmāyu-sutta ブラフマーユ・スッタ，梵摩經 M 91

Brahmā Sahampati=Brahmā ブラフマー・サハンパティ，索訶主梵天，梵天サハンパティ，娑婆主梵天，娑婆主梵天王，娑婆世界主梵天，娑婆世界の主大梵天，娑婆の長たる梵天

Brahmujju-gatta 身肢は直なること梵天の如し〔三十二相の一〕

Brahmunā āyācito 梵天勸請

Brahmuno ajjhesanā 梵天の勸請

brāmhaṇa (A) =brāhmaṇa 婆羅門
brāhmañña=brahmañña 婆羅門位, 婆羅門性, 婆羅門道, 婆羅門法
brāhmaññatta 婆羅門性
brāhmaṇa 婆羅門, 梵志, 婆羅門種, 婆羅門族
Brāhmaṇa 〔經〕婆羅門 S **45** 4; **47** 25; **51** 15; **55** 12; **56** 69; A **9** 38; **10** 209
brāhmaṇakaraṇa-dhamma 婆羅門と作る法
brāhmaṇa-kula 婆羅門家, 婆羅門種, 婆羅門族
brāhmaṇa-gāma 婆羅門聚落
Brāhmaṇaggāma 〔池〕ブラーフマナッガーマ
brāhmaṇa-jāti 婆羅門種
brāhmaṇa-jātika 婆羅門種
brāhmaṇa-dhamma 婆羅門性, 婆羅門法
Brāhmaṇadhammika-sutta 婆羅門法經 Sn 2 7
brāhmaṇa-parisā 婆羅門衆, 婆羅門會〔八衆の一〕
Brāhmaṇa-vagga 婆羅門品 M **91**～**100**; A **3** 51～60; **5** 191～200; Dhp **26** vv 383～423
Brāhmaṇa-saṁyutta ブラーフマナ・サムユッタ, 婆羅門相應 S **7** 1～22
brāhmaṇa-sacca 婆羅門眞諦
brāhmaṇānaṁ manto 婆羅門の眞言
brāhmaṇī 婆羅門尼, 婆羅門女
brūhetā suññāgārānaṁ 空閑處住の行者

bha-kāra バの音
bhakuṭi 顰蹙，澁面
bhagandala 痔瘻，潰瘍
bhagandalābādha 痔
Bhagalavati〔天堂〕バガラヴティ
Bhagavaṁ 薄伽梵，世尊
Bhagavato appābādha-pañho　世尊無病の問 Mil 4〔5〕9
Bhagavato niravasesaṁ akusalaṁ chetvā sabbaññutaṁ patta-pañho　世尊は不善を殘なく斷じ了りて一切知性に達したりやの問 Mil 4〔1〕8
Bhagavato pādapapaṭikapatita-pañho 世尊の御足に石片落つるの問 Mil 4〔3〕6
Bhagavato bhikkhugaṇa-apekkhabhāva-pañho 世尊比丘伽那愛執の問 Mil 4〔2〕10
Bhagavato rāja-pañho　世尊は王なりやの問 Mil 4〔6〕7
Bhagavato lābhantarāya-pañho 世尊供養障礙の問 Mil 4〔2〕5
bhagavant ① 世尊 ② 破壞せる者
bhagavan-nettika　世尊を引導とす，世尊は導者，世尊を導師とす，世尊を導者とす，世尊を眼と爲す
bhagavam-paṭisaraṇa 世尊を依と爲す，世尊を依處とす，世尊を歸依處となす，世尊を依所とす，世尊を所依とす
bhagavam-mūlaka　世尊を根とす，世尊を根と爲す，世尊を根本とす，世尊を根本と爲し，世尊を根源とし，世尊は法の本，世尊を本とす
bhaginimāla〔樹〕バギニマーラ
bhaginī 姉妹
Bhaginī〔經〕姉妹 S **15** 17；**17** 40
bhaginī bhariyā　姐姉夫人，姉妹なる妻
bhaginī-rakkhitā　姉護女，姉妹に護られ〔たる女〕，姉妹の護る女
Bhagīrasa=Aṅgīrasa〔王〕バギーラサ
Bhagu　①〔古仙〕バグ，婆咎，婆恕，僕虞哥 ②〔釋氏，比〕バグ，婆咎，跋咎，跋宴
Bhagga〔國，城〕バッガ，婆祇，婆伽，跋伽，跋祇
Bhaggari-vāsin バッガリ住〔者〕
Bhaggava ①=Bhaggava-gotta〔婆〕バッガヴ ②=Ghaṭīkāra〔陶師〕バッガヴ，跋伽婆 ③〔人〕バッガヴ
Bhaggava-gotta〔婆〕バッガヴ・ゴッタ
Bhaggavant〔佛の前生〕婆伽梵
Bhaggavī〔女〕バッガギー
Bhaggiri〔地名〕バッギリ
bhaṅga ① 配分 ②〔樹〕バンガ ③ 大麻絲，大麻布，紵衣，粗麻，麻布
bhaṅga-ñāṇa 壞智
bhaṅgānupassanā 壞隨觀
bhaṅgānupassanā-ñāṇa 壞隨觀智
bhaṅgānupassane paññā　破壞を觀ずることの慧，壞隨觀慧
bhaṅgodaka 藥湯
bhajati 親近す
Bhajitabbo—Bahupuñña　〔經〕應親近—大福 A **10** 156
bhajjati 炒る
Bhañña〔外〕バンニャ
bhaṭaka=bhaṭika 傭人，奴僕
bhaṭa-patha 俸給
bhaṭika=bhaṭaka 傭人，奴僕
bhaṇita 言說
bhaṇḍa 財貨，〔盜〕品
Bhaṇḍa ①〔比，阿難の弟子〕バンダ ②〔村〕バンダ，揵茶
Bhaṇḍa-kucchi〔人〕バンダクッチ
Bhaṇḍagāma 揵茶村
Bhaṇḍagāma-vagga バンダガーマ品 A 4 1～10
bhaṇḍana 議論，口論，確執，訟，諍事，鬪爭，鬪諍，訴訟
Bhaṇḍana〔經〕訴訟
bhaṇḍana-kāraka 訴訟す
bhaṇḍana-kārika 鬪諍者
bhaṇḍa-rakkha 財官
bhaṇḍavāhana-pūjā 燈供養
bhaṇḍāgāra 藏庫，庫
bhaṇḍāgārika　守藏官，守庫人，大藏大臣，理財官，藏器物人，出納官，有財家長，寶藏を

司る者
bhaṇḍāgārika-pariyatti 有財家長の暗誦
bhaṇḍārapotthakin 〔官職〕バンダーラポッタキン
bhaṇḍi〔樹〕バンディ
bhaṇḍikā〔花〕バンディカー
Bhaṇḍikā〔房舎〕バンディカー
bhaṇḍu 禿頭，頭髮を剃れる
Bhaṇḍuka〔塞，比〕バンドゥカ，盤頭迦
Bhaṇḍukaṇṇa〔輕業師〕バンドゥカンナ，禿耳
bhaṇḍu-kamma 剃髮
bhaṇḍeti 諍論す
bhati 賃金
bhatta 食，食事，食物，請食，噉食，米飯，飯
bhatta-kāraka 料理人
bhatta-kāla 食時
bhatta-geha 厨
bhattagga 食堂
bhattagga-vatta 食堂の儀法
bhattantarāya 食障礙
bhattavant 受習せる者
bhatta-sammada 食不調，飽食
Bhattasūpa〔村〕バッタスーパ
bhattābhihāra 供養の食
bhatti-kamma 補綴
bhattuddesaka 差次食人，差次請食人，差遣請食人，配食者，請食差遣者，監食者，管齋者，管齋人，典座
bhadda 賢，吉祥，吉瑞
Bhadda ①〔憍陳如佛の第一弟子〕バッダ，賢 ②〔比〕バッダ，跋陀羅，跋陀 ③〔塞〕バッダ，婆頭樓，跋陀羅 ④〔將軍〕バッダ ⑤〔浴院〕バッダ，福
bhadda assājānīya 良馬，最良馬
bhaddaka 具妙寶
Bhaddakaccā〔釋迦佛の妃〕バッダカッチャー
Bhaddakaccānā ①〔王女〕バッダカッチャーナー ②＝Kaccānā〔王妃〕
bhadda-kappa 賢劫
bhaddaka-samādhi-nimitta 善の定相
bhaddaka-sīla bhaddikā-diṭṭhi 善戒と善見
Bhaddaji〔比〕バッダヂ，跋陀羅
Bhaddadeva〔王〕バッダデーヴ
bhadda-pīṭha 籐椅
bhadda purisājānīya 人中最良馬，人最良馬
bhaddamutta〔植〕バッダムッタ，蘇子香の木
bhaddamuttaka〔香料〕バッダムッタカ，蘇子
Bhaddayānika＝Bhadrayānika〔部派〕賢胄
bhaddavagga〔青年團〕バッダヴッガ，賢衆，賢部，跋陀羅群
Bhaddavaggiya-sahāyakānaṁ vatthu 賢衆友人事 V 2 a 1, 14
Bhaddavatikā ①〔象〕バッダヴティカー，跋陀羅婆提 ②〔邑〕バッダヴティカー，跋陀越
Bhaddavatī〔パラッカマバーフ一世王の妹〕バッダヴディー
Bhaddasāla ①〔樹〕バッダサーラ，跋陀薩羅，跋陀沙羅，跋陀娑羅，賢娑羅樹 ②〔ナーラダ佛の第一弟子〕バッダサーラ，賢沙羅 ③〔比〕バッダサーラ，拔陀娑羅，拔陀沙羅 ④〔將軍の子〕跋陀沙羅
Bhaddasāla-jātaka バッダサーラ・ヂャータカ，跋陀娑羅樹神本生物語 J 465
Bhaddasena〔王子〕バッダセーナ，婆陀先
Bhaddā ①〔天女〕バッダー，跋陀 ②〔レーヴタ佛の第一比丘尼〕バッダー，賢 ③〔迦葉佛の信女〕バッダー，賢 ④〔文荼王妃〕バッダー，跋陀 ⑤〔夷，死後生天〕バッダー ⑥〔揵闥婆女〕跋陀 ⑦〔尼乾の徒，尼〕跋提
Bhaddā-Kaccānā〔尼，大神通第一〕バッダーカッチャーナー
Bhaddā-Kapilānī〔尼，宿命智第一〕バッダーカピラーニー，拔陀迦比羅，跋陀迦比羅，跋提迦比羅〔譬喩經〕Ap 4 27
Bhaddā-Kuṇḍalakesā〔尼，速神足第一〕バッダークンダラケーサー，拔陀君荼羅繫頭，跋陀軍陀羅拘夷國〔譬喩經〕Ap 4 21
Bhaddālin〔比〕バッダーリ，跋陀利，賢〔譬喩經〕Ap 3 408
Bhaddāli-vagga 跋陀利品 Ap 3 408～417

Bhaddāli-suttanta バッダーリ・スッタンタ，跋陀利經 M **65**

Bhadditthikā〔夷，死後生天〕バッディッティカー

Bhadditthikā-vimāna バッディッティカー女天宮 Vv 22

Bhaddiya ①＝Bhaddiya Kāligodhāya-putta〔ゴーダーの子，釋氏王，貴族第一〕バッディヤ，抜提，跋提，跋提梨迦，跋陀 ②〔五比丘の一〕バッディヤ，跋提，跋提耶 ③＝Lakuṇṭaka-bhaddiya, Lakuṇṭaka〔比〕跋提耶，抜提 ④〔離車人〕バッディヤ，跋提 ⑤〔長者〕跋提 ⑥〔城，邑〕バッディヤ，跋提，抜提 ⑦〔經〕抜提 S **21** 6 ⑧〔經〕跋提 S **55** 48

Bhaddiya-Kaḷigodhāya-putta〔比丘の譬喩經〕抜提カリゴーダーヤプッタ Ap **3** 43＝次項

Bhaddiya-Kāligodhāya-putta＝Bhaddiya〔釋氏，王，比，貴族第一〕バッディヤ・カーリゴーダーヤ子，抜提カリゴーダーヤプッタ

Bhaddiya-vagga 抜提品 Ap **3** 538～547

bhaddekaratta-vihāra 賢善一夜住

Bhaddekaratta-sutta バッデーカラッタ・スッタ，一夜賢者經，賢善一夜經 M **131**

bhadra ①＝bhadda バドラ，賢者，善人 ②バドラ，善牛 ③〔博戯〕バドゥラ

Bhadra〔經〕驢姓 S **42** 11

bhadra assa 良馬，駿馬

Bhadrakāra〔賢者〕バドラカーラ

Bhadragaka〔村長〕バドラガカ

Bhadraghaṭa-jātaka バドラガタ・ヂャータカ，賢瓶本生物語 J 291

Bhadrayānika＝Bhaddayānika〔部派〕賢胄

Bhadrā〔尼〕バドラー，賢

Bhadrāvudha〔婆和利の弟子，婆，比〕バドラーヴダ，跋陀羅浮陀

Bhadrāvudha-pañhā＝Bhadrāvudhamāṇava-pucchā〔經〕跋陀羅浮陀所問

Bhadrāvudha-māṇavakapañhā-niddesa 跋陀羅浮陀學童所問の義釋 CNd 13

Bhadrāvudha-māṇava-pucchā＝Bhadrāvudha-pañhā〔經〕跋陀羅浮陀學童所問 Sn **5** 13

bhante 尊者よ

bhabbāgamaṇa 能行〔者〕

bhabbāpattika 適能罪人

bhama-kāra 轆轤工，轆轤匠

bhamara 蜂，蜜蜂

bhamuka-loma 眉間の白毫

bhaya 怖，怖畏，畏怖，畏，恐怖，危難

Bhaya〔經〕怖畏 S **55** 29；A **8** 56

bhaya-kathā 怖畏論，畏怖論，恐怖の話〔無用論の一〕

bhaya-ñāṇa 怖畏智

bhayatupaṭṭhāna-ñāṇa 怖畏現起智

bhayatupaṭṭhāne paññā 怖畏現起の慧，怖畏近住の慧

bhaya-bherava 畏怖驚駭，恐怖，怖駭

bhaya-bherava-sadda 恐しき聲

Bhayabherava-sutta バヤベーラヴ・スッタ，怖駭經 M 4

bhaya vera 怖と怨，怖畏怨讎

bhaya-saññā 怖畏想，怖畏の想

Bhayasīva＝Sīva〔アッガボーディサの父〕バヤシーヴ，怖畏安穩

bhayāgati 恐怖の非道，怖畏不應行，怖不行處，怖畏趣，怖道

bhayāgatiṁ gacchati 怖不行處行〔四不行處行の一〕

bhayūparata 怖畏抑制〔者〕

Bhayoluppala〔池〕バヨールッパラ

Bharaṇa〔戰士〕バラナ

Bharaṇḍu Kālāma〔外〕バランドゥ・カーラーマ

Bharata ①〔比〕バラタ ②〔王〕バラタ，婆娑囉他，明愛 ③〔王子〕バラタ ④〔仙〕バラタ ⑤〔纖師〕バラタ

Bharattāla〔村〕バラッターラ

bhariyā 妻，妻女，宮女

Bharu ①～Bharukaccha, Bhārukaccha〔國〕バル ②〔王〕③〔濱〕

Bharukaccha ①＝Bhārukaccha～Bharu〔國〕バルカッチャ，婆留迦車，婆盧迦車，婆紫迦

車 ②〔園〕バルカッチャ
Bharu-jātaka　バル・ヂャータカ，バル王本生物語 J 213
bhalla〔箭〕バッラ
Bhalla〔渡〕バッラ
Bhallāṭiya〔王〕バッラーティヤ
Bhallāṭiya-jātaka　バッラーティヤ・ヂャータカ，バッラーティヤ本生物語 J 504
bhallātaka バッラータカ，胡桃
Bhallātaka〔精舎〕バッラータカ
Bhallātakadāyaka〔比丘の譬喩經〕バッラータカダーヤカ Ap 3 441
bhalli〔樹〕バッリ
Bhallika=Bhalluka〔商人，塞〕バッリカ，波利，婆利迦，婆梨迦，跋利迦
Bhalliya〔比〕跋利迦
Bhalluka ①=Bhallika〔商人，塞〕跋利迦，波利，婆利迦，婆梨迦 ②〔戰士〕バッルカ
bhava 有，生存，存在，生有
Bhava〔經〕有 S 38 13；45 164
bhava-ogha 有瀑流，有流〔四瀑流の一〕
bhava-kantāra 有の沙漠
bhavagga 有頂天，有天=非想非非想處
bhavaṅga 有分
bhavaṅga-cala〔na〕有分の動搖
bhavaṅga-citta 有分心=有分意，有分識
bhavaṅgajjhāna 有分禪
bhavaṅga-mana 有分意=有分心，有分識
bhavaṅga-viññāṇa 有分識=有分意，有分心
bhavaṅga-vīthi 有分路
bhavaṅga-santati 有分相續
bhava-cakka 有輪
bhava-carimaka〔ānāpāna〕有を最後とする〔出入息〕
bhavajjhosāna 有著
bhava-taṇhā 有愛，有の渴愛，生有の渴愛〔三愛の一〕
Bhava-taṇhā〔經〕有愛 A 10 62
bhava-diṭṭhi 有見
bhavadiṭṭhi ca vibhavadiṭṭhi ca 有見と無有見
bhava-nandī 有喜
Bhavanimmita〔傳◦轉輪王〕バヴニンミタ
bhava-nirodha 存在の滅，有滅
bhava-nirodho nibbānaṁ 有滅は涅槃なり
bhava-netti 有綱，有に導くもの，有索，有繩
Bhavanetti〔經〕有綱 S 23 3
bhavant 勝存者
Bhavantānaṁ saṁkhārānaṁ jāyana-pañho 諸行が現に存在しつつあることなくして生ずるやの問 Mil 2〔3〕5
bhava-pariḷāha 有惱
bhava-pāra 有の彼岸
bhava-pipāsa 有渴
bhava-bandhana 有の結縛
bhavam atthu 幸福あれ
bhavamāna 大言者
bhava-mucchā 有悶
bhava-yoga 有軛〔四軛の一〕
bhava-rāga 有貪
bhavarāga-saṁyojana 有貪結
bhavarāgānusaya　有貪隨眠，存在欲隨眠〔七隨眠の一〕
bhava-saṁyojana 有結
bhava-saṅkhāra　有行，有の素因，生有の素因
bhava-sampatti 有の成就
bhava-salla 有の箭
bhava-sāgara 有法の海
bhava-sāta 有の樂
bhava-sudhi（A）=bhāva-suddhi 心清淨
bhava-sota 有の流
bhava-sneha 有親
bhavānaṁ nibbidā 有の厭
bhavābhava 生死，有と非有，種種の有
bhavāsava 有漏，存在の漏
bhaveyya〔樹〕バヱッヤ
bhavesanā 有求，有尋，有尋覓，有愛
bhavesu vanta-gamano 諸有中の彷徨〔者〕を棄捨せる者
bhavogha=bhava-ogha 有流，有瀑流
bhasman 灰
bhassa　談，談話，談說，言說，談論，論議，諍論

bhassakāraka, bhassakārika 談論す，論議者，論爭者
bhassappavādika 論を挑む者
bhassappavādin 論議家
bhassa-samācāra 言正行
bhassārāmatā 談愛樂
bhākuṭikā 譴面
bhākuṭiya 顰蹙
bhāga ① 配分 ② 領域
bhāgineyya 甥
Bhāgīrathī ①=Bhāgīrasī, Gaṅgā バーギーラティー，婆僟囉 ②〔水路〕バーギーラティー
Bhāgīrasī=Bhāgīrathī, Gaṅgā バーギーラシー，婆僟囉=恒河
bhāgyavant 瑞祥を有せる者
bhājana 器，容器，器具類，土器，陶器
Bhājanadāyaka〔比丘の譬喩經〕バーヂャナダーヤカ Ap 3 232
bhājana-vikati 容器
bhāṇaka, bhāṇika 誦出者，善說法者
bhātar 兄弟，同學
Bhātā〔經〕兄弟 S **15** 16；**17** 39
Bhātika=Bhātikābhaya〔王〕バーティカ
Bhātika-tissaka=Bhātu-tissa 〔王〕バーティカ・ティッサカ
Bhātikamāna〔地名〕バーティカマーナ
Bhātikābhaya=Bhātika 〔王〕バーティカーバヤ
Bhātiya〔王〕バーティヤ
Bhātivaṅka〔精舍〕バーティヴンカ
Bhātu-tissa=Bhātika-tissaka〔王〕バートゥティッサ
bhātu-rakkhitā 兄護女，兄弟の護る女，兄弟に護られたる〔女〕
bhāra ① 重擔，荷，擔物 ②〔量〕バーラ
Bhāraṁ〔經〕重擔 S **22** 22
Bhārata ①〔種族〕バーラタ ②〔王，七人〕婆羅多 ③〔大史詩〕〔マハー〕バーラタ
bhārataka 擔荷夫
Bhāradvāja ①〔姓〕バーラドヴーヂャ，婆羅墮闍，婆羅豆婆遮 ②〔天〕バーラドヴーヂャ ③〔辟〕バーラドヴーヂャ ④〔迦葉佛の第二弟子〕バーラドヴーヂャ，婆羅墮闍，婆羅婆 ⑤〔古仙〕バーラドヴーヂャ，ヴーラドヴーヂャ，跋羅陀皤闍，跋羅墮闍 ⑥=Piṇḍola-bhāradvāja〔比〕婆羅豆婆遮，婆羅陀闍 ⑦〔學童，多梨車の門人，比〕バーラドヴーヂャ，婆羅墮，婆羅墮闍，跋羅陀皤闍，婆羅特縛惹 ⑧=Kāpaṭhika〔學童〕バーラドヴーヂャ，跋羅陀皤闍 ⑨=Saṅgārava〔婆，塞〕跋羅陀皤闍 ⑩=Subha〔童子，塞〕跋羅陀皤闍 ⑪〔經〕婆羅陀闍 S **35** 127
Bhāradvāja-gotta〔婆，比〕婆羅墮婆闍，婆羅墮婆闍姓
bhāra-nikkhepana 重擔を卸せる，捨擔
Bhāra-vagga 重擔品 S **22** 22〜32
Bhāra-sutta 重擔經 S **22** 22
bhāra-hāra 擔者
bhārādāna 取擔
Bhārika〔山〕バーリカ
Bhārukaccha=Bharukaccha, Bharu〔城，港〕バールカッチャ，婆留迦車，婆嵬迦車，婆盧迦車
Bhārukacchaka 婆留迦車人
Bhārukacchaka bhikkhu 婆嵬迦車比丘
bhāva 本性，所想*
Bhāva〔長者〕バーヴ
bhāva-dasaka 性十法
bhāvanaṭṭhe paññā 修習の義の慧
bhāvanā 修，修習，修行
Bhāvanā〔經〕修習 S **47** 34, 39
Bhāvanā-duka 修二法 Duka 84
bhāvanā-paññā 修習の慧
bhāvanā-paṭivedha 修習通達
bhāvanā-padhāna 修勤
bhāvanā-bala 修習力，修力
bhāvanābhisamaya 修習現觀
bhāvanā-bhūmi 修地〔慧〕
bhāvanā-maya 修所成
bhāvanāmaya-puññakiriya-vatthu 修行福業事，修類福業事〔三福業事の一〕
bhāvanā-mayā paññā 修所成慧，修所成の慧

〔三慧の一〕
bhāvanāya pahātabba 修所斷
Bhāvanāyapahātabba-duka 修所斷二法 Duka 84
bhāvanāyapahātabbaduka-kusalattika 修所斷二法善三法 Duka-tika 93
bhāvanāya pahātabba-hetuka 修所斷因
bhāvanāya pahātabba-hetuka dhamma 修所斷因法
Bhāvanāya-pahātabba-hetu-duka 修所斷因二法 Duka 86
bhāvanāyapahātabbahetuduka-kusalattika 修所斷因二法善三法 Duka-tika 95
bhāvanāya pahātabba dhamma 修所斷法
bhāvanā-vāra 修習分 Y 9 3
bhāvanā-sacchikiriyā 修作證
bhāvanīya 可崇敬
bhāva-rūpa 性色
bhāva-sudhi (A)=bhāva-suddhi 心清淨
bhāvita-kāya 身修習〔者〕
bhāvita-citta 心修習〔者〕
Bhāvitatta〔辟〕バーギタッタ
Bhāvidatta〔スマナ佛の第二弟子〕バーギダッタ，修身
bhāvetabba 修せらるべき，修習せらるべき
Bhāvetabba〔經〕應修習 A **10** 151, 195
bhāvetabba dhamma 修せらるべき法，修習すべき法
bhāveti 修習す
bhāsa～bhassa 談論，談，談話，談說，言說，論議，論爭
bhāsa-magga 語法論
bhāsita 所言，所說
bhāsin 說者
bhiṁsanaka 恐怖
bhiṁsanaka-vanasaṇḍa 怖畏林
bhiṁsāpeti 恐怖せしむ
bhikkhaka 乞求
Bhikkhaka ①〔婆〕乞食 ②〔經〕乞食 S **7** 20
Bhikkhadāyaka〔比丘の譬喩經〕ビッカダーヤカ Ap 3 101
Bhikkhadāyikā〔王女，君荼羅の前生〕ビッカダーイカー
Bhikkhadāyī-vagga ビッカダーキー品 Ap 3 101～110
bhikkhā 施食
bhikkhā-cariya 行乞
Bhikkhā-dāyaka-vimāna 食施者天宮 Vv 70
bhikkhā-dāyika 施食者
Bhikkhā-dāyikā-vimāna 食施女天宮 Vv 27
Bhikkhāparampara-jātaka ビッカーパランパラ・ヂャータカ，次第供養本生物語 J 496
bhikkhu 比丘，苾芻
Bhikkhu〔經〕比丘 S **17** 30; **19** 17; **22** 35, 36; **35** 81; **36** 23; **46** 5; **47** 3; **51** 18, 23
bhikkhu kalyāṇasīla 戒に善き比丘
Bhikkhudāsikā〔王女〕ビックダーシカー
Bhikkhunā〔經〕比丘 S **36** 20, 25
bhikkhunī 比丘尼
Bhikkhunī ①〔王女，鉢吒左羅の前生〕ビックニー ②〔經〕比丘尼 S **19** 18; **47** 10
bhikkhunī-ovadant 比丘尼教誡者
Bhikkhunīovāda-vagga 比丘尼教誡品
Bhikkhunīkkhandhaka 比丘尼犍度 V **2** b 10
bhikkhunī-gocara 比丘尼に親近
bhikkhunī-dūsaka 比丘尼を汚す者，比丘尼を汚せり，比丘尼を汚せる者，汚比丘尼者
bhikkhunīnaṁ aṭṭhagarudhammo 比丘尼八重法
Bhikkhunī-vibhaṅga 比丘尼分別，比丘尼分別篇 V **1** b; **3** 2
bhikkhunī-saṁgha 比丘尼僧伽
Bhikkhunī-saṁyutta ビックニー・サムユッタ，比丘尼相應 S **5** 1～10
bhikkhunī-sīla 比丘尼戒
bhikkhunūpassaya 比丘尼の住房，比丘尼寺
bhikkhunovāda 比丘尼教誡
bhikkhunovādaka 比丘尼教誡〔者〕，比丘尼教誡師，比丘尼教誡人，教誡比丘尼人
bhikkhunovādaka-sammuti 教誡比丘尼人選定
Bhikkhupaṇāma-pañho 比丘退去の問 Mil 4〔4〕3

bhikkhu-bhūmi 比丘地
Bhikkhu-vagga 比丘品 M **61〜70**; Dhp **25** vv 360〜382
bhikkhu-saṁgha 比丘僧伽，比丘衆
Bhikkhu-saṁyutta ビック・サムユッタ，比丘相應 S **21** 1〜12
bhikkhu-sīla 比丘戒
Bhikkhū〔經〕比丘 S **12** 28; **51** 7, 29, 30; **54** 15, 16; **55** 46
bhiṅkāra ①=bhiṅgāra　黄金瓶，金澡罐，金瓶，頻加 ②〔鳥〕ビンカーラ
bhitti 壁
bhitti-khīla 壁材，杭
bhinna 離者，離間
bhinnatthūpa 壊れたる塔
bhinna-nāvā 難船
bhinnapaṭa=kāsāya 割截衣=袈裟
bhinna-patta 壞鉢者
bhinna-vāda 分派
Bhinnālavana〔村〕ビンナーラヴナ
Bhinnorudīpa〔精舍〕ビンノールディーパ
Bhiyya〔傳◦比〕ビッヤ
Bhiyyosa〔拘那含牟尼佛の第一弟子〕ビッヨーサ，ビヨーサ，舒槃那，漸多
Bhillivāna〔精舍〕ビッリヴーナ
bhisa ビサ，蓮根，蓮藕，藕，藕絲，藕根
bhisakka 醫者，內科醫，藥師
bhisakka-sallakatta 箭醫，外科醫
Bhisa-cariyā〔經〕ビサの所行 Cp 3 4
Bhisa-jātaka ビサ・ヂャータカ，蓮根本生物語 J 488
Bhisadāyaka〔比丘の譬喩經〕ビサダーヤカ Ap 3 65, 480
bhisa-puppha 蓮華
Bhisapuppha-jātaka ビサプッパ・ヂャータカ，蓮花本生物語 J 392
Bhisamuḷāladāyaka〔比丘の譬喩經〕ビサムラーラダーヤカ Ap 3 360
bhisa-mūla 蓮根，藕根
Bhisa-sammata〔傳◦轉輪王〕ビササンマタ
Bhisāluvadāyaka〔比丘の譬喩經〕ビサールヴダーヤカ Ap 3 74
bhisi ① 敷布，敷物，褥，臥褥，枕褥，長枕 ② 筏
bhisicchavi 褥覆，枕の皮
bhīta 怖畏，畏怖
Bhīta〔經〕恐怖 S **1** 75
bhīma〔樂器〕ビーマ
Bhīma〔國〕ビーマ，怖畏
Bhīmatittha〔精舍〕ビーマティッタ
Bhīmatitthaka〔港〕ビーマティッタカ
Bhīmaratha〔傳◦王〕ビーマラタ
Bhīmarāja〔王子〕ビーマラーヂャ
Bhīmasena ①〔王〕ビーマセーナ ②〔力士〕ビーマセーナ ③〔織師〕ビーマセーナ，殘忍軍
Bhīmasena-jātaka ビーマセーナ・ヂャータカ，ビーマセーナ職人本生物語 J 80
Bhīyya〔パドゥマ佛の信士〕ビーヤ
bhīru 怖畏
bhīruttāṇa 恐怖の救護，護畏
bhujaga ブヂャガ，曲行者，蛇
bhujalaṭṭhi〔樹〕ブヂャラッティ
bhujissa 自由，無礙
bhuñjati 食事をなす
Bhuñjatī〔毘沙門天后〕ブンヂャティー
bhuttāvasesa 殘食，餘食
Bhumu〔國〕ブム
bhumma 位格
Bhummaja=Bhummajaka bhikkhu〔六群比丘の一人〕ブンマヂャ，浮摩，地比丘
Bhummajaka bhikkhu=Bhummaja ブンマヂャカビック，地比丘，浮摩
bhummaṭṭha 地中物
bhummattharaṇa 地敷，敷物，敷布
bhummā devatā 地居天，地神
bhummā devā 地居天，地神，地居の諸神
Bhuvanekabhuja ①=Bhuvanekabāhu I〔王〕ブヴネーカブヂャ ②=Bhuvanekabāhu II〔王〕 ③=Bhuvanekabāhu III〔王〕 ④=Bhuvanekabāhu V ⑤=Bhuvanekabāhu VI〔王〕 ⑥=Bhuvanekabāhu VII〔王〕 ⑦〔王〕

〔ギヂャヤバーフ三世王の子〕⑧〔殿樓〕
bhusa 籾殻
Bhusa-petavatthu 籾殻鬼事 Pv 3 4
bhusāgāra ブサーガーラ，打穀場，穀倉，籾殻の家
bhusikā 籾
bhūja〔樹〕ブーヂャ
bhūta ① 眞實，實 ② 生類，生物，所生，有者，有類，萬物 ③ ブータ，鬼神，部多，鬼，鬼類，悪靈，物精，怪鬼 ④ 已生者＝漏盡者
Bhūta ①〔比〕ブータ ②〔王臣〕③〔房舎〕
bhūta abhūta 實と非實
Bhūtaṁ〔經〕生ぜるもの S 12 31
Bhūtagaṇa〔山〕ブータガナ
bhūtagāma 樹木，草木
Bhūtagāma-vagga 草木品 V 1 a 5 11〜20
bhūta-pati 生主
Bhūtapāla〔比〕ブータパーラ，部多波羅
bhūtappasāda 種淨
bhūta-rūpa 大種色
bhūta-vādin 實語者，實說者，實論者
bhūta-vijjā 鬼神明
bhūta-vejja 鬼祓ふ醫師，悪魔專門の醫者
bhūtāpagatuppanna 已存離去生起
Bhūtārāma〔精舎〕ブータ園
bhūtārocana-samuṭṭhāna 實說等起
bhūtinaka 香草
bhūtiya 精神病科
bhūtesu sotthānaṁ 有類の中に於ける吉祥
bhūnahu, bhūnahan〜bhūman-han 世間破壞者，殺生者
bhūmi ブーミ，地，大地，土地，國邑
bhūmi-kampa 地震
bhūmikkama 地の順序
bhūmi-cāla 地震
Bhūmi-cāla〔經〕地震 A 8 70
Bhūmicāla-vagga 地震品 A 8 61〜70
Bhūmija ①〔比〕ブーミヂャ，浮彌 ②〔經〕浮彌 S 12 25
Bhūmija-sutta ブーミヂャ・スッタ，浮彌經 M 126
bhūmi-devatā 地神，地居天
bhūmi-nānatte ñāṇaṁ 地の種種相の智
bhūmi-pappaṭaka 地餅
bhūmi-pāla 大地の守護者，大地の護者，地の衞者
bhū〔mi〕maṇḍa〔花〕ブー〔ミ〕マンダ，アラビヤ素馨
Bhūmiya〔傳◦轉輪王〕ブーミヤ
bhūmiyaṁ padaṁ 地上の足跡
bhūmi-laddha 地得
bhūmiladdhuppanna 地得生起
Bhūri〔經〕宏慧 S 55 67
bhūri-kamma 地に居て呪を誦する
Bhūridatta＝Datta〔龍王，佛の前生〕ブーリダッタ，槃達，宏大なダッタ
Bhūridatta-cariyā〔經〕ブーリダッタの所行 Cp 2 2
Bhūridatta-jātaka ブーリダッタ・ヂャータカ，槃達龍本生物語 J 543
bhūri-pañña 廣慧者
Bhūripañña〔傳◦轉輪王〕ブーリパンニャ
bhūri-paññatā 弘慧，廣慧，宏慧
bhūri-paññā 廣慧，宏慧，弘慧
Bhūri-pañha 廣慧問答〜次項
Bhūripañha-jātaka ブーリパンハ•ヂャータカ，ブーリパンハ本生物語 J 452
bhūri-medhasa 廣慧者，廣知者，黠慧の者
bhūri-vijjā 地明
bhūhana＝bhūti-hanaka 生類を殺し
bheka 蛙
bheṇḍi 投槍，擲槍
Bheṇṇākata〔地名〕ベンナーカタ
bheda 破壞，不和合，離間，破僧事
bhedakānuvattaka-bhikkhu 助破僧比丘
bhedana 變壞，破壞，斷絕
bhedana-dhamma 破壞の法
bhedapurekkhārā-pannarasaka 不和を願ふ十五事 V 2 a 2, 30; V 2 a 4, 11
bheraṇḍaka 豺，豺鳴
bherava 恐怖，駭
bheri 太鼓，大鼓，鼓

Bherivāda-jātaka ベーリヴーダ・ヂャータカ，打鼓本生物語 J 59
bheri-sadda 鼓聲，太鼓聲
Bherī〔尼〕ベーリー
Bheruva〔町〕ベールヴ
Bhesakalā〔林〕ベーサカラー，恐怖
Bhesakalā-vana 恐怖林
Bhesakalāvana-migadāya〔林園〕ベーサカラーヴナミガダーヤ，ベーサカラー林鹿園，恐怖林の鹿苑，恐怖林鹿園，恐怖林鹿野苑，恐怖鹿林
Bhesakaḷā=Bhesakalā〔林〕ベーサカラー，恐怖
bhesajja 藥，醫藥，藥草，藥品，藥物，醫術
Bhesajja-anuññāta-bhāṇavāra 藥法誦品 V 2 a 6, 1〜15
bhesajjaṁ yena na vijāyati 避妊藥
bhesajjaṁ yena vijāyati 妊娠藥
Bhesajjakkhandhaka 藥犍度 V 2 a 6
bhesajjatthavikā 藥袋
Bhesajja-mañjūsā-gantha〔書名〕ベーサッヂャマンヂューサーガンタ，藥箱の句
bhesajjasannidhikāra-sikkhāpada 藥物貯藏學處=捨墮二三藥戒
Bhesika〔理髮師〕ベーシカ
bhesiya 醫者
bho ボー，友よ，卿よ
bhoga ① 富，財，財產，財富，財寶，財物，收入，貨財，俸祿 ② 蜷局
Bhoga〔城〕ボーガ，負彌，菩伽
bhoga-parihāni 財產の失
bhoga-pārijuñña 財衰亡
bhoga-bala 財の力
bhoga-byasana=bhoga-vyasana 財產の喪失，財產の不幸，財損失，財富損減，財富の不幸，財富を失ふ
bhoga-byasana-dukkha 財富を失ふ苦，財富の不幸の苦
bhoga-mada 受用憍
Bhogavatī〔宮殿〕ボーガヴティー
bhogavant 富者
bhogavāsinī 雇住婦
bhoga-vuddhi 財產の得，財增長
bhoga-vyasana=bhoga-byasana 財產の喪失，財產の不幸，財損失，財富損減，財富の不幸，財富を失ふ
Bhogasaṁhara-petavatthu 蓄財鬼事 Pv 4 14
bhoga-sampatti 財成就
bhoga-sampadā 財成就，財產の圓足〔五成就の一〕
bhoga-sukha 受用の樂
bhogin 受用者，富豪
Bhoja ①〔五比丘の一〕ボーヂャ ②〔仙〕③〔醫〕④〔國，族〕
bhojana 飮食，噉食，供養食
Bhojanadāyaka〔比丘の譬喩經〕ボーヂャナダーヤカ Ap 3 312
bhojana-pariyantika 食による制限者
Bhojana-vagga 食品 V 1 a 5, 31〜40
bhojana-sālā 食堂，配食堂，籌食堂
Bhojanasuddhika-rājan 美食王
bhojanassa pañca guṇā 食の五德
bhojanīya 食ふべきもの，軟食，噉食
bhojane amattaññu 食不知量〔者〕
bhojane amattaññutā 食に於て量を知らざること，食に於ける不知量，食の量を知らず，食の量を知らざること，食の量を計らざる，食不知量，噉食に於ける不知量
bhojane mattaññu 食に於て節度を知る，食に節度を知るもの，食によく節を持し，於食知量〔者〕，食物に量を辨ず，食知量〔者〕
bhojane mattaññutā 食に於て量を知る〔こと〕，食に於ける知量，食に對する知量，食の量を知る〔こと〕，食知量，於食知量
bhojane mattaññutā-pariyanta 食知量周邊
bhojane mattaññū 食知量〔者〕，食物に量を辨ず，於食知量，食に於て節度を知る，食に節度を知るもの
Bhojaputta〔人〕ボーヂャプッタ
Bhojājānīya-jātaka ボーヂャーヂャーニーヤ・ヂャータカ，駿馬本生物語 J 23
bho-vādin 卿と呼ぶ者=婆羅門

maṁgala, magala (A) 祈願
Maṁgulitthi ikkhanitthi 〔經〕醜女卜占女 S 19 14
maṁ passanto dhammaṁ passati 我を見る者は法を見る
maṁsa 肉〔三十二身分の一〕
Maṁsaṁ〔經〕肉 S 56 85
maṁsa-kāya 肉聚
maṁsa-kumbhaṇḍa〔果〕マンサクンバンダ，肉瓜
maṁsa-khala 肉團
maṁsa-cakkhu 肉眼〔三眼，五眼の一〕
Maṁsa-jātaka マンサ・ヂャータカ，肉本生物語 J 315
maṁsa-piṇḍa 肉團，肉塊
maṁsa-puñja 肉塊
maṁsa-pesi 肉片，肉塊，肉臠
maṁsapesūpamā 肉片の喩，肉塊の如く，肉臠の喩
maṁsa-bhojana 肉食
maṁsa-sota 肉耳
maṁsi〔樹〕マンシ
maṁsika 肉商
Maka (A)=Makā (A)〔王〕マカー
makaci〔樹〕マカチ
makara マカラ，摩迦羅，摩竭魚，大魚
Makara〔水門〕マカラ
makaradantaka 摩竭魚牙
Makaraddhaja〔欲神〕マカラッダヂャ
makasa 蚊，蠅*
makasa-kuṭikā 蚊帳
Makasa-jātaka マカサ・ヂャータカ，蚊本生物語 J 44
makasa-vījanī 蚊拂
Makā (A)=Magā (A)〔王〕マカー
Makākaṁsa〔王〕マカーカンサ
Makilā〔アッタダッシー佛の信女〕マキラー
Makuṭa-bandhana マクタバンダナ，天冠寺
makkaṭa ① マッカタ，猿，獼猴，猿猴，猨猴 ② 蜘蛛
Makkaṭa〔經〕猨猴 S 47 7
makkaṭaka=makkaṭa② 蜘蛛
makkaṭaka-sutta 蜘蛛の巣
makkaṭa-camma 猿の皮
makkaṭacchāpaka 獼猴子
Makkaṭa-jātaka マッカタ・ヂャータカ，猿猴本生物語 J 173
makkaṭa-jāla 蜘蛛の巣
makkaṭa-maṁsa 猿の肉
Makkaṭa-vagga 蜘蛛品 Mil 5 7
makkaṭi-vatthu 獼猴の事
makkaṭī 牝猿，雌猿，獼猴〔女〕
Makkarakaṭa〔城〕マッカラカタ
makkha 覆
Makkha〔章〕覆 A 8〔10〕6
Makkhakudrūsa 〔地名〕マッカクドゥルーサ
Makkhali-Gosāla 〔六師外道の一〕マッカリゴーサーラ，摩伽梨倶賒子，末伽梨瞿舍利，末伽利瞿舍梨，末伽梨憍舍利，末伽梨瞿舍羅，末迦利瞿舍羅，末迦利瞿舍利，末迦利瞿舍梨，末迦梨瞿舍利，末迦梨瞿舍梨
Makkhalin〔癡人〕マッカリ
Makkhalin moghapurisa 末伽梨癡人
Makkhali-vagga 末伽梨品 A 1 18
Makkhali-vāda 末伽梨論
makkhikā 蠅，蚊*
makkhikā-madhu 蜂蜜
makkhin 覆惡者，覆僞者，覆者，覆あり，虚僞者
makkho ca paḷāso ca 覆と惱
Makhādeva ①〔王〕マカーデーヴ，大天，摩調，摩佉提婆 ②〔王，佛の前生〕マカーデーヴ ③〔夜叉〕摩佉提婆
Makhādeva-jātaka マカーデーヴ・ヂャータカ，摩迦王本生物語 J 9
Makhādevambavana マカーデーヴンバヴナ，大天㮈林，摩訶提婆菴婆羅林
Makhādeva-sutta マカーデーヴ・スッタ，大天㮈林經 M 83
Makhilā〔尸棄佛の第一比丘尼〕マキラー
maga ① 鹿，野鹿 ② 獸，獸〔人〕
Magadha〔國，族，十六大國の一〕マガダ，摩

掲陀，摩竭，摩竭陀，摩訶陀
Magadhāna-nirutti マカダ人の語法
magala (A)=maṅgala 祈願
magavya (A), migaviya (A), mrugaya (A), mrigaviya (A) 狩獵
magasira=maggasira〔月〕マガシラ，末伽尸羅
Magā(A), Makā(A), Maka(A)〔王〕マガー
magga 道，道路，正道
Magga〔經〕道 S **47** 43; **51** 21
Magga-kathā 道論 Pṭs **1** 9; KV **20** 5
magga-kovida 道の巧者
maggakkhaṇa 道刹那
maggaṅga 道支
magga-cariyā 道行
magga-jina 道による勝者
magga-ñāṇa 道智〔四智の一〕
maggaññū 道の知者
Maggadattika〔比丘の譬喩經〕マッガダッティカ Ap 3 176
Maggadāyaka〔比丘の譬喩經〕マッガダーヤカ Ap 3 147
magga-dūsin 道を汚す者
magga-desaka 道の說示者
magga-nimitta 道相
magga-paccaya 道緣〔二十四緣の一〕
maggapaccaya-niddesa 道緣廣說
magga-paccavekkhaṇa 道省察
magga-pariyāpanna 道繫屬
magga-phala 道果
magga-brahmacariyā 道梵行
magga-bhāvanā 道修，達道
Magga-vagga 道品 Dhp **20** vv 273〜289
magga-vidū 道の了者
magga-vippayutta citta 道不相應の心
Magga-vibhaṅga 道分別 Vibh **11**
magga-visuddhi 道淸淨
magga-vīthi 道經路，道の經路
Magga-saṁyutta マッガ・サンユッタ，道相應 S **45** 1〜180
magga-sacca 道諦
Maggasaññaka〔比丘の譬喩經〕マッガサンニャカ Ap 3 118
magga-samaṅgin 道具足者
maggasamaṅgissa ñāṇaṁ 道具足智
magga-samādhi 道定
maggasira=magasira〔月〕マッガシラー，末伽尸羅
magga-sīla 道戒
maggassa āvajjanaṁ 道への轉入=種姓智
maggassa hetuṭṭho 道の因の義
magga-hetuka 道因
maggahetuka dhamma 道因法
maggādhipati 道增上，道主
maggādhipati dhamma 道增上法
maggāmagga 道非道，道と非道
maggāmagga-ñāṇadassana 道非道智見
maggāmaggañāṇadassana-visuddhi 道非道智見淸淨〔七淸淨の一〕
Maggāmagga-ñāṇadassanavisuddhi-niddesa 道非道智見淸淨の解釋 VM **20**
maggāmagga-ñāṇadassana-visuddhi pārisuddhi-padhāniyaṅga 道非道知見淸淨淸淨勤支〔九淸淨勤支の一〕
maggārammaṇa 道所緣
Maggārammaṇattika 道所緣三法 Tika 16
maggārammaṇattika-kusalattika 道所緣三法善三法 Tika-tika 36
maggārammaṇattika-saraṇaduka 道所緣三法有諍二法 Tika-duka 88
maggārammaṇattika-hetuduka 道所緣三法因二法 Tika-duka 16
maggārammaṇa dhamma 道所緣法
maggāvaraṇa 道障
maggura〔魚〕マッグラ
magge ñāṇaṁ 道智〔四智の一〕
Maggena〔經〕道 S **43** 11
Magha ①〔學童，帝釋の前身〕マガ，摩佉 ②〔童子，佛の前生〕マガ
maghava〔花〕マガヴ
Maghavant マガヴー，マガヴン，摩伽婆，摩佉婆=帝釋

Maghavapupphiya 〔比丘の譬喩經〕マガヴフッピヤ Ap 3 285
maṅkuṇa 南京蟲
maṅku-bhūta 羞愧，愧赧者
Maṅkura 〔人〕マンクラ
maṅku hoti 羞愧す
Maṅgaṇa 〔精舍〕マンガナ
Maṅgaṇavāsin マンガナ住〔者〕
maṅgala マンガラ，吉兆，吉祥，吉瑞，吉凶判斷，迷信，祝典，祝祭
Maṅgala ①〔佛〕マンガラ，吉祥，曼伽羅 ②〔苦行者，佛の前生〕マンガラ，吉祥 ③〔辟〕マンガラ ④〔比〕マンガラ ⑤〔山〕マンガラ ⑥〔水門〕マンガラ ⑦〔池〕マンガラ ⑧〔園〕マンガラ ⑨〔宮殿〕マンガラ ⑩〔塔廟〕マンガラ，吉祥
maṅgala-uttama 最上の吉祥
Maṅgala〔koṭṭa〕〔地方〕マンガラ〔コッタ〕
Maṅgalagaṅgā 〔水路〕マンガラガンガー
maṅgala-gīta 吉祥歌
maṅgalacchaṇa 祭禮
Maṅgala-jātaka マンガラ・ヂャータカ，吉凶本生物語 J 87
Maṅgalabe 〔村〕マンガラベー
Maṅgalama 〔地名〕マンガラマ
Maṅgala-vagga 吉祥品 A 3 141〜150
Maṅgala-sutta=Mahāmaṅgala-sutta 吉祥經，吉兆經典 Khp 5〜Sn 2 4
maṅgala-hatthin 吉祥象
Maṅgalāna 〔童子〕マンガラーナ
Macala 〔村〕マチャラ
Macala-vagga 不動品 A 4 81〜90
macca 人，死すべき者
maccu 死，死神，死の神，死王，魔王，魔神，惡魔，死の魔神，死魔
maccu-jāla 死魔の網
Maccuttala 〔地名〕マッチュッタラ
maccu-dheyya 死の領域，死王の領域，死神界，死の境域，死の境界，死魔の國，死魔の領
maccuno senā=maccu-senā 死魔の軍，死の軍，魔王の軍，惡魔の軍
maccu-pada 死の道
maccu-pāsa 死の網，死網，死魔の羂，死魔の羂索
Maccupāsā muttika-pañho 死魔の羂より脫るるの問 Mil 4〔2〕4
Maccu-bhaya-pañho 死の怖畏の問 Mil 4〔2〕3
maccu-rājan 死王，死の王
maccurājassa pāraṁ 死王の彼岸
maccurājassa pāsā 死王の網
maccurājassa senā 魔王の軍勢
maccu-vasa 死の力
maccu-vasaṅga 死魔の領
maccu-senā 死の軍，魔軍，魔王の軍，惡魔の軍，死魔の軍
maccha 魚
Maccha 〔國，十六大國の一〕マッチャ，婆蹉
macchaka 魚
maccha-gumba 魚群，魚の群
maccha-ghātaka 捕魚者，漁夫
Maccha-jātaka ① マッチャ・ヂャータカ，魚本生物語 J 34 ② マッチャ・ヂャータカ，魚族本生物物語 J 75 ③ マッチャ・ヂャータカ，魚本生物語 J 216
Macchatittha 〔村〕マッチャティッタ
Macchadāyaka 〔比丘の譬喩經〕マッチャダーヤカ Ap 3 266
maccha-maṁsa 魚肉
macchamaṁsa-yūsa 魚肉汁
macchara-bhāva 慳悋
Maccharāja-cariyā 〔經〕魚王の所行 Cp 3 10
maccharāyati 慳嫉す，嫉妬を起す
Macchari 〔經〕慳貪 S 1 32, 49
Maccharikosi, Maccharikosiya 〔長者，司財官〕マッチャリコーシ，マッチャリコーシヤ，强慾富豪
maccharin 慳ある，慳あり，慳者，慳嫉す，慳悋者，慳貪者，吝嗇家，貪欲者
macchariya=macchera 慳，慳貪，慳悋，守
Macchariya 〔章〕慳 A 8〔10〕9
macchariya-saññojana 慳結

Maccharena〔經〕有慳 S **37** 8
maccha-vālaka 魚網衣
macchika 捕魚者，漁夫，魚商
Macchikāsaṇḍa〔地名〕マッチカーサンダ，マッチカー山，摩叉止陀
Macchikāsaṇḍika〔塞〕マッチカーサンディカ，摩師山
macchuddāna 魚族
Macchuddāna-jātaka マッチュッダーナ・ヂャータカ，魚群本生物語 J 288
macchera=macchariya 慳，慳貪，慳悋，守
Maccheraṁ〔經〕慳 A **9** 69
macchera-mala 慳悋垢，慳悋の汚れ，慳垢～慳貪の垢
majura (A)，majūla (A)=mora 孔雀
majja マッヂャ，末陀，酒
majja-pāna 飲酒
majjāri-camma 猫皮
majjika 酒商
majjha ① 中，中正の道 ② 中國
Majjha〔長者〕マッヂャ
majjhatta 中庸，無關心
majjhattatā 無關心
majjhattupekkhā 中捨
Majjhanta=Majjhantika〔比〕マッヂャンタ，末闡提，末田地
Majjhantika=Majjhanta〔比，摩哂陀の戒師，阿育王時代の開教師〕マッヂャンティカ，末闡提，末田地
Majjhantika or Saṇika〔經〕眞晝（鳴動）S **9** 12
Majjhapalli〔精舍〕マッヂャパッリ
Majjhavela〔精舍〕マッヂャヱーラ
majjhāru〔敷具〕マッヂャール
majjhima 中，中位，中臘
Majjhima〔比〕マッヂマ，末示摩
Majjhimagāmaka〔村〕マッヂマガーマカ，中村
majjhima-janapada 中國
Majjhimaṭṭhakathā 中部義疏
Majjhima-desa 中部地方
majjhima dhamma 中法
Majjhima-nikāya マッヂマ・ニカーヤ，中部，中部經典 M **1～152**
Majjhima-paññāsa 中五十經 S 22 53～102
Majjhima-paṇṇāsa マッヂマ・パンナーサ，中分五十經篇 M **51～100**
Majjhima-paṇṇāsaka=Majjhima-paṇṇāsa 中分五十〔經〕
majjhima-patta 中鉢
majjhima-porisa 黃門
Majjhima-bhāṇaka 中部誦者，中部師
majjhima bhikkhu 中位比丘，中臘比丘
majjhima-yāma 中夜，中夜分，中更，中分
Majjhimavagga〔ka〕〔地方〕マッヂマヷッガ〔カ〕
majjhima-sīla 中戒
majjhimā dhātu 中界〔三界の一〕
majjhimā paṭipattiyā sevanā 中道の習行
majjhimā paṭipadā 中道
majjhimitthī 中年の女
majjhimindriya 中根者
majjhe kalyāṇaṁ 中善
majha (A)=majjha 中正の道，中
mañca 床，禪榻，臥床，臥牀，寢臺
mañcaka 臥床
Mañcakkuṇḍi〔地名〕マンチャックンディ
Mañcadāyaka〔比丘の譬喩經〕マンチャダーヤカ Ap 3 417
mañca-paṭipādakā 床脚
mañca-pīṭha 床座，床椅子
mañjarika ①〔鳥〕マンヂャリカ ②〔花〕
Mañjaripūjaka〔比丘の譬喩經〕マンヂャリプーヂャカ Ap 3 257
mañjiṭṭha=mañjeṭṭha 茜
mañju 美妙，美音〔八音の一〕
Mañju〔王臣〕マンヂュ
mañjussaka〔華〕曼珠沙
mañjussara 妙音者
mañjeṭṭha=mañjiṭṭha 深紅，茜
Mañjeṭṭhaka-vagga 深紅品 Vv 39～50

Mañjeṭṭhaka-vimāna 深紅天宮 Vv 39
mañjeṭṭhika 茜，茜黴
Mañjerika〔龍，龍宮〕マンヂェーリカ
maññati 思量す
maññanā 思惟
Maññamāno〔經〕思 S 22 64
maññita 妄想，幻想
maññussava 想歡喜
maṭaja〔武器〕マタヂャ
maṭṭa 絹
Maṭṭakuṇḍali-jātaka マッタクンダリ・ヂャータカ，煌輝耳環本生物語 J 449
Maṭṭakuṇḍalin〔天子〕マッタクンダリー
Maṭṭakuṇḍali-petavatthu 耳環女鬼事 Pv 2 5
Maṭṭakuṇḍali-vimāna 煌輝耳環天宮 Vv 83
Maṇamekkuṇḍi〔地名〕マナメックンディ
maṇi ①摩尼，摩尼珠，珠，寶珠，寶玉，寶石，如意珠 ②骰子
Maṇi ①〔夜叉〕マニ ②〔山〕マニ ③〔宮殿〕マニ ④〔經〕摩尼珠 A 10 206
Maṇi-akkhika ①〔ダップラ王の弟〕マニアッキカ ②〔龍王〕マニアッキカ，摩尼眼
Maṇikaṇṭha〔龍王〕マニカンタ，摩尼犍大，寶珠頸
Maṇikaṇṭha-jātaka マニカンタ・ヂャータカ，寶珠頸龍王本生物語 J 253
maṇikā 水瓶
Maṇikā〔呪〕マニカー，摩尼柯
Maṇikāra〔村〕マニカーラ
maṇi-kuṇḍala 摩尼珠の耳環，摩尼の耳環，摩尼耳環，珠瑞，寶珠莊嚴
Maṇikuṇḍala-jātaka マニクンダラ・ヂャータカ，摩尼耳環本生物語 J 351
Maṇikuṇḍala-vagga 摩尼耳環品 J 351～360
Maṇicūḷaṁ〔經〕頂髻 S 42 10
Maṇicūḷaka〔村長〕マニチューラカ，摩尼珠髻
Maṇicora-jātaka マニチョーラ・ヂャータカ，寶珠竊盜本生物語 J 194
maṇi-jotirasa 星宿寶，星色寶
maṇi-thūṇa 摩尼の柱
Maṇithūṇa-vimāna 摩尼柱天宮 Vv 77
Maṇināgapabbata〔精舍〕マニナーガ山
Maṇipassa〔山〕摩尼邊
Maṇi-pāsāda 摩尼殿
Maṇipūjaka〔比丘の譬喩經〕マニプーヂャカ Ap 3 178，469
Maṇippabha〔傳◦轉輪王〕マニッパバ
Maṇibhadda ①〔夜叉〕マニバッダ，摩尼跋陀，珠賢 ②〔經〕摩尼跋陀 S 10 4
Maṇibhadda-vata 珠賢〔夜叉〕務
Maṇibhadda-vatika 珠賢〔夜叉〕務者
maṇi-maya 摩尼所成，摩尼製
Maṇimālaka〔塔廟〕マニマーラカ，摩尼摩羅迦
Maṇimekhala ①〔地方〕マニメーカラ ②〔池〕③〔殿〕
Maṇimekhalā〔女神〕マニメーカラー
maṇi-ratana 摩尼寶，摩尼寶珠，寶珠，珠寶，神珠寶，如意寶〔七寶の一〕
maṇiratanassa tayo guṇā 摩尼寶の三德
maṇila〔樹〕マニラ
maṇi-vimāna 摩尼寶宮，摩尼珠の宮殿，寶珠宮
maṇi-veḷuriya 琉璃寶珠，吠瑠璃珠
maṇi-sāra〔寶珠〕摩尼寶
maṇi-suvaṇṇa 摩尼黃金
Maṇisūkara-jātaka マニスーカラ・ヂャータカ，寶珠野猪本生物語 J 285
Maṇisoma〔精舍〕マニソーマ
Maṇihīra〔ka〕①〔池〕マニヒーラ〔カ〕②〔地名〕
Maṇihīraka〔精舍〕マニヒーラカ
maṇḍa 醍醐，醍醐味
Maṇḍa〔楞伽島の古名〕マンダ，慢陀
maṇḍa-kappa マンダ劫，精好劫
Maṇḍagallaka〔村〕マンダガッラカ
Maṇḍagāma〔村〕マンダガーマ
maṇḍana 裝飾，扮飾
maṇḍana-palibodha 莊飾障礙
maṇḍana-māḷa 講堂，假屋，周圓堂，圓形尖頭の屋舍，周廊
maṇḍana-vibhūsana 粉飾
maṇḍana-sīla 莊嚴戒，派手性

maṇḍapa 假屋，假堂，廷堂，天幕，集會堂，曼陀婆
Maṇḍapadāyikā 〔比丘尼の譬喩經〕マンダパダーイカー Ap 4 3
maṇḍa-peyya 醍醐味
Maṇḍapeyya-kathā 醍醐味論 Pṭs 1 10
Maṇḍabya=Maṇḍavya ①〔仙，道士〕マンダブヤ ②〔童子〕
maṇḍa bhikkhu 醍醐比丘
maṇḍala ① 壇，曼陀羅，圓相 ② 圓形馬場調練 ③ 綜合論
Maṇḍala〔殿〕曼荼羅
maṇḍala-ādāsa 圓鏡
Maṇḍalagiri=Maṇḍalīgiri 〔精舍〕マンダラ山
maṇḍala-baddha マンダラバッダ〔作〕
maṇḍala-māḷa 假屋，周圓堂，圓形尖頭の屋舍，講堂，周廊
maṇḍalika 郡主
Maṇḍalīgiri=Maṇḍalagiri 〔精舍〕マンダリーギリ
maṇḍalu 曼陀羅
Maṇḍavātaka〔池〕マンダヴータカ
Maṇḍavāpi〔精舍〕マンダヴーピ
Maṇḍavya=Maṇḍabya ①〔道士，仙〕マンダヴヤ ②〔童子〕
Maṇḍika〔池〕マンディカ
Maṇḍikā〔女〕マンディカー，文祁
Maṇḍikāputta=Muṇḍikāputta 〔外〕文祁子，文茶子=優波迦
Maṇḍissa〔遊行者〕マンディッサ，滿提左
maṇḍu マンドゥ，荆～マンドゥーカ刺
maṇḍūka～maṇḍūkiya 蛙
Maṇḍūka〔天子〕マンドゥーカ，蛙
maṇḍūka-kaṇṭaka～maṇḍu〔魚の刺〕マンドゥーカ刺
Maṇḍūka-devaputta 蛙天子
Maṇḍūka-devaputta-vimāna 蛙天宮 Vv 51
maṇḍūkiya～maṇḍūka 蛙
Maṇṇaya〔ダミラ人〕マンナヤ
mata ① 死者 ② 謬想
mataka-bhatta 死者供養，死者の供物
Matakabhatta-jātaka マタカバッタカ・ヂャータカ，死者供物本生物語 J 18
mata-kuṇapa 死屍，死者の屍
matapatikā 寡婦
Matarodana-jātaka マタローダナ・ヂャータカ，死者哀悼本生物語 J 317
mata-sarīra 死屍，死尸
mati-kamma 心念法
Matta ①〔王子〕マッタ ②〔ラビーヤヴサバ戰士の父〕
mattaṁ jānāti 量を知る
Mattakalā=Cittā〔王女〕マッタカラー
matta-kuñjara 狂象，醉象
matta-gaja 狂象
mattaññutā 知量
mattaññū 量を知る，量を知り
Mattatāla〔マーナーバラナ王臣〕マッタターラ
Mattapabbata〔精舍〕マッタ山
matta-hatthi 醉象
Mattā ①〔尼〕マッター ②〔女，餓鬼となる〕
Mattā-petīvatthu マッター鬼事 Pv 2 3
Mattābhaya ①〔天愛帝須王弟，比〕末多婆耶 ②〔閻茶私婆王の子〕マッターバヤ，末多婆耶
mattā-sukha 小樂
mattikā 粘土，泥，泥土，土，香泥，浴土，石鹼
mattikā-kuṇḍala 泥土の耳環
mattikā-doṇika 粘土桶，粘土瓶
mattikā-patta 泥鉢，土製の鉢，瓦鉢
〔mattikā-〕piṇḍa 泥團
mattikā-puñja 土堆
mattikā-bhaṇḍa 土具，土物，陶磁器
mattikā-bhājana 粘土の器具
mattikā-maya 粘土製
Mattikāvāṭatittha〔港〕マッティカーヴータティッタ
Mattikāvāpī〔地名〕マッティカーヴーピー
mattigha 殺母者
matti-sambhava 母系
matteyyatā 母を敬ふこと

Matteyyā〔經〕母 S **56** 66
mattha ① 腦 ②～mantha 乳精 ③ 攪拌器
Matthala〔人〕マッタラ
mattha-luṅga 腦，腦漿，腦子皮，頭腦〔三十二身分の一〕
matthaluṅga-pañcaka 腦の五種
mathita 混迷
mada 憍，憍慢，慢心，驕榮，肥悅
Mada〔章〕憍 A 8〔10〕16
Madagu〔池〕マダグ
madanayuta＝yakkha 荒醉夜叉
madanīya dhamma 醉はすべき物
madappamāda 憍醉放逸，憍放逸，狂醉放逸
mada-hatthi 醉象
madirā マディラー酒
Madda ①〔國〕マッダ，摩達 ②〔王〕
Maddakucchi〔林〕マッダクッチ，曼直，マッダクッチ鹿野苑＝鹿野苑，鹿園
Maddakucchi-migadāya 曼直鹿園＝前項
maddava 柔和，柔軟
Maddava〔王〕マッダヴ
Maddavāsin マッダ住〔者〕
maddaviṇā 小珠
maddālaka〔鳥〕マッダーラカ
Maddī〔王妃〕マッディー，曼坻
madhu 蜜，蜂蜜，蜂の蜜
madhuka ①〔樹，花，果〕マドゥカ，末頭迦，末度迦，蜜果，甘草 ② 蜂蜜の酒
Madhukaṇṇavant〔王子〕マドゥカンナヴ
madhuka-tela マドゥカ油，蜜樹油，蜜油
madhuka-puppha-rasa 蜜花汁
madhu-kara 蜜蜂
Madhukavanagaṇṭhi〔地名〕マドゥカヴナガンティ
madhu-gandhika〔華〕蜜香
madhu-goḷaka 蜜丸，蜜團
Madhutthala ①〔精舍〕マドゥッタラ ②〔堡壘〕
Madhudāyaka〔比丘の譬喩經〕マドゥダーヤカ Ap 3 391
madhu-pāka 熟蜜
Madhupādapa〔渡〕マドゥパーダパ
madhu-pāna 蜜漿，蜜汁〔八種飲料の一〕
madhu-pānīya 甘露水
madhu-pāyāsa 乳糜
madhu-piṇḍika 蜜丸
Madhupiṇḍika〔比丘の譬喩經〕マドゥピンディカ Ap 3 97
Madhupiṇḍika-pariyāya 蜜丸法門
Madhupiṇḍika-sutta マドゥピンディカ・スッタ，蜜丸經 M **18**
madhu-phāṇita 蜜糖
madhu-bhāṇin 蜜語者，蜜語人
Madhumaṁsadāyaka〔比丘の譬喩經〕マドゥマンサダーヤカ Ap 3 411
madhumedha-ābādha＝madhumeha 蜜便病，糖尿病
madhu-meha＝madhu-medha マドゥメーハ，糖尿病，蜜便病
madhura 甘，蜜の如き
Madhuraka＝Mādhuraka マドゥラ人，摩頭羅人
Madhurammāṇavīra〔地名〕マドゥランマーナギーラ
Madhura-sutta マドゥラ・スッタ，摩偸羅經 M 84
Madhurā〔國，城〕マドゥラー，摩偸羅，摩頭羅，秣莵羅
Madhuvāseṭṭha〔比〕摩頭婆私吒
madhu-sitthaka 蜜蠟
Madhūka〔象〕マドゥーカ
madhvāsava 蜜酒
manasa-cakkhu 意の眼
manasā asoceyyaṁ 意不淨行〔三種〕
Manasākaṭa〔村〕マナサーカタ
manasā soceyyaṁ 意淨行〔三種〕
manasikāra 作意，思念，思惟
Manasikāra〔經〕作意 A **11** 9
manasikāra-kusalatā 作意善巧
Manasikāra-pañho 作意の問 Mil 2〔1〕17
Manasikāralakkhaṇa-pañho 作意の特相の問 Mil 2〔1〕8；2〔4〕1

manasikāra-sambhava 思念より生起す
manāpa 可意，愛語
manāpa-kāyika deva 可意衆天
manāpa-rūpa 可意相
Manāpā amanāpā〔經〕可意不可意 S 37 1, 2
manāpāmanāpa 可意不可意
manāpika 快適なる
manāyatana 意處＝識蘊
Manikārāma＝Manikāragāmavāpi マニカ園
Manu〔律法〕マヌ，摩奴
manuja 摩奴所生者
Manujā〔夷〕マヌヂャー
manuñña 愛語
manuñña-bhojana 美食
Manurāya〔地名〕マヌラーヤ
manussa 人，人間〔五趣の一〕
manussa-khipa 人の網
manussa-nāga 人龍
manussantarāya 人の障礙〔十障礙の一〕
manussa-purisa 人男
manussa-peta 人間餓鬼，幽靈
manussa-bhūta 人の身
manussa-maṁsa 人肉
manussa-yakkha 人間夜叉
manussa-loka 人界
manussa-viggaha 人身，人體
manussa-viggaha〔voropana〕斷人命
manussa-saññā 人想
manussāyu 人壽
manussitthi 人女
manesikā 他人判じ，意志判じ
mano 心，意
mano-kasāva 意不純
mano kāmaguṇūpasaṁhitaṁ 妙欲を伴へる意
Manoja ①〔王〕マノーヂャ ②〔獅子〕マノーヂャ，意生
Manoja-jātaka マノーヂャ・ヂャータカ，意生獅子本生物語 J 397
Manojava〔仙〕マノーヂャヷ
mano-daṇḍa 意罰，意杖
mano-dvāra 意門
manodvārāvajjana 意門轉向，意門向轉
manodvārāvajjana citta 意門轉向心
Mano-nivāraṇā〔經〕心の制止 S 1 24
mano-padūsika 意亂，意憤
Manopadūsika〔天〕マノーパドゥーシカ，摩兎波頭灑
Manopadūsika-deva 意亂天，意憤天＝次々項
mano-padosa 瞋意，惡意
Mano-padosika-deva 意憤天，意亂天＝前々項
mano-bhāvanā 意修習
mano-bhāvanīya 意修習，意修習者
mano-maya 意所成，意生，意成，意より成り
Manomaya〔辟〕マノーマヤ
manomaya-kāya 意所成身，意生身，意成身，意成衆
manomaya-kāya-iddhi 神通意所成身
manomayā iddhi 意所成神變，意所成神通
mano-mānasa 意圖
mano-moneyya 意牟尼，意寂默
manoviññāṇa-dhātu 意識界
manoviññāṇadhātu-samphassa 意識界觸
mano-vitakka 心の想
Manosatta-deva 意著天
mano-samācāra 意正行，意行
mano-samphassa 意觸
manosamphassajā vedanā 意觸所生の受
manosilā マノーシラー，砒石，砒石の平岩，赤砒，赤砒石，赤砒の岩，悅意石，雄黃
mano-sucarita 意妙行，意妙行者，意善行，意善行者
mano-soceyya 意淸淨，意淨〔三淸淨の一〕
manohara〔寶珠〕マノーハラ
Manohara〔園〕マノーハラ
manta 呪，呪文，呪語，呪術，神呪，密呪，眞言，經典，經文，聖典，聖經，聖書，神典，吠陀の聖言，祕典，聖歌，吠陀，古聖書
mantajjhāyaka 誦呪者
mantaṇā 呪術
manta-dhara 持呪者，呪を執持し，神呪の護持者
mantanā 考量，對談，助言

manta-pada 呪文，眞言句，聖典句
manta-pāragū 吠陀に通ぜる，眞言に通曉せる
manta-mala 聖典の垢穢
Mantāṇi〔人〕彌多羅尼
Mantāṇī〔鴦掘摩の母〕曼多耶尼
Mantāṇī-putta ①=Aṅgulimāla〔賊，比〕マンターニープッタ，曼多耶尼子 ②=Puṇṇa-mantāṇiputta〔比〕マンターニープッタ，滿願子，滿慈子，滿慈の子
mantā-bhāsā 聰慧語
Mantāvatī〔城〕マンターヴァティー
Mantidatta〔比〕マンティダッタ
mantin 助言者
Mantī〔婆〕マンティー
manteti 密語す
mantodaka 呪水
mantra=manta マントラ，眞言，呪文，神呪
mantha 麨子
manda 遲鈍，愚鈍者，鈍
mandatta 遲鈍
manda-dasaka 鈍十年
manda momūha 鈍にして癡なるもの
Mandākinī〔七大湖の一〕マンダーキニー，曼陀祇尼，曼那吉尼
mandāmukhi=aggi-bhājana 火爐
Mandāra〔山〕曼陀羅
Mandārapupphiya-vagga マンダーラプッピヤ品 Ap 3 358～367
mandārava〔花〕マンダーラヴ，曼陀羅
Mandāravapūjaka〔比丘の譬喩經〕マンダーラヴプーヂャカ Ap 3 155
mandālaka=mandārava〔花〕マンダーラカ，曼陀羅，曼陀羅迦
Mandi〔王臣〕マンディ
Mandijīvitaputthikin〔將軍〕マンディヂーギタプッティキン
mandiya 懶惰
Mandiya〔夜叉〕マンディヤ
Mandhātar〔王〕マンダーター，曼陀多，頂生
Mandhātu-jātaka マンダートゥ・ヂャータカ，曼陀多王本生物語 J 258

Mannāya〔ダミラ人〕マンナーヤ
Mannāra〔村〕マンナーラ
Manyā〔村〕マニャー
mama 我所見，我所，我意
mamaṁkāra 我所見，我所愛，我所觀，我所心，我所の狀態，我所慢
mamatta 我執
maman ti māna-vinibandhā diṭṭhi 我所慢縛見
mamāyita 我執
mamma 末魔，死穴
mammana 吃
Mayanti〔池〕マヤンティ
mayūra=mora 孔雀
Mayūra ①〔殿〕マユーラ，孔雀 ②=Mora〔房舍〕マユーラ
mayūra-nacca 孔雀の踊
Mayūrapāsāṇa〔地名〕マユーラパーサーナ，孔雀岩
Mayetti〔池〕マエッティ
Mayettikassapa〔住院〕マエッティカッサパ
Mayhaka〔鳥〕マキハカ，我有
Mayhaka-jātaka マキハカ・ヂャータカ，我有鳥本生物語 J 390
maraṇa 死
Maraṇa〔經〕死 S **35** 36；**46** 68
maraṇaṁ dukkhaṁ 死は苦なり
maraṇa-dukkha 死苦
maraṇa-dhamma 死法，死の法
Maraṇapāra=Maraṇāpāra〔國〕死彼岸
maraṇa-bhaya 死畏，死の畏，死怖，死の怖畏，命終怖畏
maraṇa-saññā 死想
maraṇa-sati 死念，念死，死の觀念
Maraṇasati〔經〕念死 A 8 73，74
maraṇasati-kammaṭṭhāna 死に就いての正念の行處，死念業處
maraṇādhippāya 殺意
maraṇānussati 念死，死隨念〔六念，十念の一〕
Maraṇāpāra=Maraṇapāra〔國〕マラナーパーラ，死彼岸
maraṇāya samādapeti 死を勸む

Maravara ①〔ダミラ人〕マラヴラ ②〔軍〕
marica〔植〕マリチャ，胡椒
Maricavaṭṭi〔ka〕〔精舎〕マリチャヴッティ〔カ〕
Maricavaṭṭika〔塔〕マリチャヴッティカ
mariyādā 畔，境界
marīci, marīcika 陽炎，陽燄，蜃氣樓，幻影
marīcikūpamā 陽燄の如し
Maru-kantāra 〔國〕マルカンターラ，砂漠難處，沙漠難所，沙磧難所
Marugaṇa-pariveṇa 群神寮
Maruthukkoṭṭa〔地名〕マルトゥッコッタ
Maruthūpa〔村〕マルトゥーパ
marumba マルンバ，砂，礫
maruvā マルヴー，麻
mala 垢，垢穢
Mala〔經〕垢 S 45 167
malaṁ asmiṁ loke paramhi ca 此世後世の垢穢
Malata〔國，人〕マラタ
mala-macchera～macchera-mala 慳貪の垢
Malaya ①〔セイロン中部地方〕マラヤ，摩羅耶 ②〔南印度の地名〕マラヤ ③〔ビルマ方面の地方，マライ地方〕マラヤ ④〔戰士〕マラヤ ⑤〔人〕摩羅耶
Malayappa〔ダミラ人〕マラヤッパ
Malayarājan〔將軍〕マラヤラーヂャ
Malayāḷaka マラヤーラ人
Mala-vagga 垢穢品 Dhp 18 vv 235～255
Malāni〔經〕垢穢 A 8 15
Malāpaharaṇī〔水路〕マラーパハラニー
Malitavambha〔比〕マリタヴンバ
Malitthiya〔城〕マリッティヤ
Malimahādeva ①〔ウパリマンダラカマラヤ住比丘〕マリマハーデーヴ ②〔比〕
Maliya-mahādeva〔マッダ住比丘〕マリヤマハーデーヴ
malla 力士，角鬪士
Malla ①〔國，族，十六大國の一〕マッラ，マルラ，末羅，摩羅，力士 ②〔村〕末羅
mallaka〔背を掻く道具〕マッラカ
Mallaka〔比〕マッラカ
Mallagiri〔山〕マッラギリ
Malla-putta 摩羅子，末羅子
Mallaputta-Dabba＝Dabba〔比〕マッラプッタダッバ，摩羅子陀驃，沓婆摩羅子
malla-muṭṭhika 力士
malla-yuddhaka 拳鬪士
Mallavātaka〔精舍〕マッラヴータカ
Mallavāḷāna〔村〕マッラヴーラーナ
Mallā〔尼〕マッラー
Mallika ① 末羅國〔人〕，摩羅國人 ②〔王〕マッリカ，勝鬘 ③〔經〕末羅 S 48 52
mallikā〔植，花，香木〕マッリカー，次第花，末利迦，摩利迦
Mallikā ①〔華鬘師の女，波斯匿王妃〕マッリカー，摩利，摩利迦，末利，勝鬘 ②〔園〕マッリカー，末利，末梨 ③〔經〕末利 S 3 8
Mallikā-ārāma 末利園，末梨園
Mallikā-vimāna マッリカー女天宮 Vv 36
Mallī マッリー，摩羅女
maḷorikā 支杖
Masakkasāra〔天宮＝三十三天〕マサッカサーラ
masāṇa 麻莎衣，麻衣，麻の混織，雜衣，牛莎衣
masāraka〔臥床〕マサーラカ，波摩遮羅伽
masāraka-pīṭha 波摩遮羅伽小床
masāraka-mañca 波摩遮羅伽床
masāragalla 瑪瑙，琥珀，猫睛石，車渠*，紅玉*
masi 煤
massu 鬚
Mahaka〔沙彌，比〕マハカ，摩訶迦，磨竭
Mahaka-sutta＝Mahako マハカ經，摩訶迦經
Mahako〔經〕摩訶迦 S 41 4
mahaggata 廣大，大，高廣，高大，廣博
mahaggata citta 廣大心，廣大なる心，大心，高廣心，高大心＝上二界心
mahaggata-duka 大二法
mahaggataduka-hetuduka 大二法因二法 Duka-duka 45

mahaggata dhamma 大法
mahaggata-vipāka 大異熟
mahaggata samādhi 大定
mahaggatā ceto-vimutti 大心解脱
mahaggatārammaṇa 大所緣
mahaggatārammaṇa dhamma 大所緣法
Mahaṇṇa〔池〕マハンナ
mahaṇṇava 大海
mahati-daṇḍavākara 大罠
mahatthiya 大利
mahaddhana 大富
Mahaddhana〔經〕大富 S **1** 28
Mahaddhana or Aḍḍha〔經〕大寶 S **55** 44, 45
mahanta 大〔所緣〕
Mahanta〔石造佛〕マハンタ
mahantatta 偉大性
mahanta-patta 大鉢
mahantara 大中雙
mahappabhāsa 大極光
mahapphala 大果
Mahapphala〔經〕大果 S **51** 12; A **10** 125, 129
Mahariīvara〔堡壘〕マハリーヴラ
mahallaka 老邁
mahallaka-ghara 大屋
Mahallaka-Nāga=Mahallanāga〔王〕老ナーガ
mahallaka-vihāra 大精舍
Mahallanāga=Mahallaka-Nāga〔王〕マハッラナーガ
Mahallarājan〔精勤堂〕マハッララーヂャ
Mahā〔經〕大 S **55** 62
mahā-aggikkhandha 大火聚
mahā-aggidāha 大火災
Mahā-aṭṭhakathā マハーアッタカター, 大義疏
mahā-attha 大利
mahā-adhiṭṭhāna-pañcaka 五大決意, 五大遺勅
mahā-anattha 大無利
Mahā-Anuḷa〔比〕マハーアヌラ
Mahā-appamāda-sutta=Mahāppamāda-suttanta 大不放逸經
Mahā-ariṭṭha=Ariṭṭha ①〔比〕大阿栗吒, 大阿栗咤, 大アリッタ, 摩訶阿栗吒 ②〔將軍〕摩訶阿栗吒
Mahā-ariyavaṁsa-paṭipadā 大聖種行道
Mahāassapura-sutta マハーアッサプラ・スッタ, 馬邑大經 M **39**
Mahāassāroha〔王〕マハーアッサーローハ, 大騎手
Mahāassāroha-jātaka マハーアッサーローハ・ヂャータカ, 大騎手本生物語 J 302
Mahāukkusa-jātaka マハーウックサ・ヂャータカ, 大鶚本生物語 J 486
mahā-udakarahada 大池
mahā-ummagga 大隧道
Mahāummagga-jātaka=Ummagga-jātaka マハーウンマッガ・ヂャータカ, 大隧道本生物語 J 546
Mahāummāra〔地名〕マハーウンマーラ
mahā-uraga=mahoraga 大龍, 大腹行
Mahākaccāna=Mahākaccāyana, Kaccāyana〔比, 論議第一〕マハーカッチャーナ, 大迦旃延, 摩訶迦旃延〔譬喩經〕Ap 3 33, 528
Mahākaccānabhaddekaratta-sutta マハーカッチャーナバッデーカラッタ・スッタ, 大迦旃延一夜賢者經 M **133**
Mahākaccāyana=Mahākaccāna, Kaccāyana〔比〕マハーカッチャーヤナ, 大迦旃延, 摩訶迦旃延
Mahākañcanakumāra マハーカンチャナクマーラ, 金太苦行者童子
Mahākaṇha〔犬〕マハーカンハ, 大黑
Mahākaṇha-jātaka マハーカンハ・ヂャータカ, 大黒犬本生物語 J 469
Mahākanda〔ダミラ人〕マハーカンダ
Mahākandara〔河〕マハーカンダラ
mahākapi 大猿
Mahākapi-jātaka マハーカピ・ヂャータカ, 大猿本生物語 ① J 407 ② J 516=Vevaṭiyakapi-jātaka
mahā-kappa 大劫

Mahākappina ①=Kappina〔比，教誡比丘第一〕マハーカッピナ，摩訶劫賓那，大罽賓那，大劫賓那〔譬喩經〕Ap 3 530 ②〔王〕マハーカッピナ，大劫賓那
mahākamma-vibhaṅga 大業分別
Mahākammavibhaṅga-sutta マハーカンマギヴンガ・スッタ，大業分別經 M **136**
Mahākammāsadamma〔村〕大カンマーサダンマ
Mahākarañjiya〔精舎〕マハーカランヂヤ
mahā-karuṇā 大悲
mahākaruṇā-samāpatti 大悲定
mahākaruṇāsamāpatti-ñāṇa 大悲定智，成大悲智，大慈定智
Mahākassapa ①=Kassapa〔比，頭陀第一〕マハーカッサパ，摩訶迦葉，大迦葉〔譬喩經〕Ap 3 3 ②〔セイロンの比丘〕マハーカッサパ
Mahākassapa-saṁgaha 大迦葉の結集 Dv 4 (1)
mahākāruṇika 大悲の尊，大悲愍者，大悲の牟尼=佛
mahākāruṇikatā 大悲性
mahākāla〔鳥〕マハーカーラ
Mahākāla ①=Kāla〔龍王〕マハーカーラ，摩訶迦羅 ②〔比〕摩訶迦羅 ③〔山〕大黒
Mahākāliṅga〔王子〕大迦陵誐
Mahākālī〔尼〕摩訶迦利
Mahākirāḷa〔池〕マハーキラーラ
mahā-kula 大族
Mahākusa〔王〕マハークサ，摩訶矩舎
Mahākoṭṭha〔ダミラ人〕マハーコッタ
Mahākoṭṭhita=Mahākoṭṭhika, Koṭṭhita〔比，無礙解第一〕マハーコッティタ，摩訶倶稀羅，摩訶拘絺羅，摩訶拘瑟他迦，大倶絺羅，大拘絺羅，大拘致羅〔譬喩經〕Ap 3 534
Mahākosala=Kosala〔王〕摩訶拘薩羅
Mahākhandhaka 大犍度 V 2 a 1
Mahākhandhake uddānaṁ 大犍度攝頌
Mahākhetta〔地名〕マハーケッタ
Mahāgaṅgā〔セイロンの河〕マハーガンガー
Mahāgalla〔村〕マハーガッラ
Mahāgalla〔ka〕〔池〕マハーガッラ〔カ〕
Mahāgavaccha〔比〕マハーガヴッチャ
Mahāgāma〔ローハナの首都〕マハーガーマ，大村
Mahāgāmaṇika〔池〕マハーガーマニカ=ガーマニ
Mahāgāmanāga〔精舎〕マハーガーマナーガ
Mahāgotamī=Gotamī, Mahāpajāpatī〔尼〕摩訶瞿曇彌
Mahāgopālaka-sutta マハーゴーパーラカ・スッタ，牧牛者大經 M **33**
Mahāgovinda ①〔王，佛の前生〕マハーゴーギンダ ②〔賢者，佛の前生〕マハーゴーギンダ ③〔婆〕大典尊=護明童子
Mahāgovinda-cariyā〔經〕マハーゴーギンダの所行 Cp **1** 5
Mahāgovinda-suttanta マハーゴーギンダ・スッタンタ，大典尊經 D **19**
Mahāgovindasutta-vaṇṇanā 大典尊經の註釋
Mahāgosiṅga-sutta マハーゴーシンガ・スッタ，牛角林大經 M **32**
Mahācattārīsaka-dhammapariyāya=Mahācattārīsaka-sutta 大四十法門
Mahācattārīsaka-sutta マハーチャッターリーサカ・スッタ，大四十經 M **117**
Mahācandā〔河〕マハーチャンダー
Mahācunda ①=Cunda〔比，舎利弗の弟〕マハーチュンダ，摩訶周陀，摩訶周那，摩訶均頭，大純陀，大準陀，大淳陀，大周那 ②〔傳◦轉輪王〕マハーチュンダ
Mahācūḷi〔ka〕=Mahācūḷi-mahātissa〔王〕マハーチューリ〔カ〕
Mahācūḷi-Mahātissa=Mahācūḷi〔ka〕〔王〕マハーチューリ・マハーティッサ
Mahācetiya 大廟，大支提，大塔廟
mahā-cora 大賊
Mahājanaka ①〔王〕マハーヂャナカ ②〔王子，マハーヂャナカ王の孫〕
Mahājanaka-jātaka マハーヂャナカ・ヂャータカ，マハーヂャナカ本生物語 J 539
mahā-jhāyin 大禪定家
Mahātakkāri-jātaka=Takkāriya-jātaka マハー

タッカーリ・ヂャータカ J 481
Mahātaṇhāsaṅkhaya-sutta マハータンハーサンカヤ・スッタ，愛盡大經 M 38
mahā-taḷāka 大池
Mahātālita〔村〕マハーターリタ
Mahātittha ①〔港〕マハーティッタ，大渡海場，大津 ②〔園〕マハーティッタ
Mahātila〔地方〕マハーティラ
Mahātissa ①〔比〕大帝須 ②〔支提山住比丘〕大帝須 ③〔チーヴグンバ住比丘〕大帝須 ④〔フンナヴッリカ住比丘〕大帝須 ⑤〔マハーカランヂャ寺住比丘〕大帝須 ⑥〔バッガリ住比丘〕マハーティッサ ⑦=Hambugallaka-mahātissa〔比〕マハーティッサ ⑧〔アヌラ園住比丘〕マハーティッサ ⑨〔ダップラ王の父〕マハーティッサ ⑩=Abhaya Duṭṭhagāmani〔王〕摩訶帝須
Mahātissā〔尼〕摩訶帝須
Mahātuṇḍila〔豚〕マハートゥンディラ，大鼻
Mahāthala〔村〕マハータラ
Mahāthūpa マハートゥーパ，大塔
mahāthera〔職〕マハーテーラ，大長老
Mahādatta ①〔比〕マハーダッタ，摩訶達多 ②〔池〕マハーダッタ
Mahādattika〔池〕マハーダッティカ
Mahādaddara〔龍〕マハーダッダラ
Mahādāṭhika=Mahādāṭhin〔王〕マハーダーティカ
Mahādāṭhin〔王〕マハーダーティー
Mahādāragalla〔ka〕〔池〕マハーダーラガッラ〔カ〕
Mahādāragiri〔村〕マハーダーラギリ
〔Mahā-〕Diṭṭhena〔經〕〔大〕見 S 24 8
Mahādipariveṇa〔殿樓〕マハーディパリヹーナ
mahādipāda〔職〕マハーディパーダ
Mahādipādamahussava〔章〕大アーディパーダ（官）の祝祭 Cv 67
Mahādī〔河〕マハーディー
Mahādukkhakhandha-sutta マハードゥッカカンダ・スッタ，苦蘊大經 M 13
Mahādeva ①〔比，拘留孫佛の上足弟子〕摩訶提婆，大天 ②〔比，阿育王時代の傳道師〕摩訶提婆 ③〔ドゥッタ ガーマニー王時代の比丘〕大天 ④〔マラヤ住比丘〕大天 ⑤〔バッギリ住比丘〕マハーデーヴ ⑥〔ダーマガッラカ住比丘〕マハーデーヴ ⑦〔王〕大天，摩佉提婆，摩調 ⑧〔阿育王の大臣〕摩訶提婆 ⑨〔人〕マハーデーヴ
Mahādevarattakurava〔精舍〕マハーデーヴラッタクラヴ
Mahādevī〔尼〕マハーデーヸー
Mahādoṇa〔龍王〕マハードーナ
Mahādhana〔傳◦轉輪王〕マハーダナ
Mahādhana〔ka〕〔長者子〕マハーダナ〔カ〕，大富
Mahādhammakathin〔比〕マハーダンマカティー
Mahādhammapāla-jātaka マハーダンマパーラ・ヂャータカ，大護法本生物語 J 447
Mahādhammarakkhita ①〔比〕マハーダンマラッキタ，摩訶曇無勒棄多，摩訶達摩勒棄多 ②〔ドゥッタガーマニー王時代の比丘〕マハーダンマラッキタ ③〔比〕大法護 ④〔トゥラーダーラ山住比丘〕大法護 ⑤=Dhammarakkhita〔臾那人，比〕大法護
Mahādhammasamādāna-sutta マハーダンマサマーダーナ・スッタ，得法大經 M 46
mahādhātu-nidhāna 大舍利藏，大界藏，佛舍利藏
mahā-nadī 大河
Mahānadī マハーナディー，大河
Mahānandana=Nandana〔林〕大難陀
Mahānanda-vana〔園〕大歡喜林
mahā-nāga 大龍，大龍象，大龍隊，大那伽
Mahānāga ①〔比〕マハーナーガ ②〔カーラヴッリマンダパ住比丘〕マハーナーガ ③〔マッダ住比丘〕マハーナーガ ④〔ブータ園住比丘〕マハーナーガ ⑤〔ウッチャヴーリカ住比丘〕マハーナーガ，摩訶那伽 ⑥〔王〕マハーナーガ ⑦〔副王〕マハーナーガ ⑧〔ゴータインバラ戰士の父〕マハーナーガ ⑨=

Coranāga〔王子，王，賊〕マハーナーガ ⑩ =Mahādāṭhika〔王〕マハーナーガ ⑪〔精勤堂〕マハーナーガ ⑫〔園林〕摩訶那伽，大龍
Mahānāgakula=Mahānāgapura〔都〕マハーナーガクラ
Mahānāga-pabbata〔精舎〕マハーナーガ山
Mahānāgapura=Mahānāgakula〔都〕マハーナーガプラ
Mahānāgavana〔園〕大龍林，摩訶那伽林
Mahānāgasula〔都〕マハーナーガスラ
Mahānāthapiṇḍika=Anāthapiṇḍika, Sudatta〔長者〕大給孤獨
mahānāma〔樹〕マハーナーマ
Mahānāma ①〔辟〕マハーナーマ ②〔五比丘の一〕マハーナーマ，摩訶那摩，摩訶男 ③〔ディーガーサナ住比丘〕マハーナーマ ④〔王〕マハーナーマ ⑤〔釋氏，塞〕マハーナーマ，摩訶那摩，摩訶男，大名 ⑥〔離車人〕摩訶那摩 ⑦=Mahānoma〔園〕マハーナーマ ⑧〔經〕摩訶男 S **55** 21, 22, 37, 49; A 8 25; **11** 12, 13
Mahānāmamatthaka〔池〕マハーナーマママッタカ
mahānāma-ratta 落葉色
Mahānāma-Sakka=Mahānāma⑤〔塞〕釋摩訶男，釋氏摩訶男
Mahānāradakassapa-jātaka～Nāradakassapa-jātaka マハーナーラダカッサパ・ヂャータカ，大那羅陀迦葉梵天本生物語，摩訶那羅陀迦葉本生 J 544
Mahānikkaḍḍhika〔村〕マハーニッカッディカ
Mahānikkhavaṭṭi〔池〕マハーニッカヴァッティ
Mahānigghosa〔傳◦轉輪王〕マハーニッゴーサ
mahā-nigrodha 大榕樹
Mahāniṭṭhila〔村〕マハーニッティラ
Mahānidāna ①〔傳◦轉輪王〕マハーニダーナ ②〔經〕大因，大緣
Mahānidāna-suttanta マハーニダーナ・スッタンタ，大緣經 D **15**
Mahā-Niddesa マハーニッデーサ，大義釋〔小部經の一〕Khuddaka 11 1
Mahā-nipāta ① 大集〔長老偈經〕Thag 1209～1279 ② 大集〔長老尼偈經〕Thīg 448～522 ③ 第二十二篇〔本生經〕J 538～547
mahānimba〔樹〕マハーニンバ，大苦楝
Mahāniyyāma〔地方〕マハーニッヤーマ
mahā-niraya 大地獄
mahānisaṁsa 大功德
Mahānīkhavaṭṭi〔池〕マハーニーカヴァッティ
mahānīpa〔樹〕マハーニーパ
mahānīla〔寶珠〕大青
Mahānuggala〔塔廟〕マハーヌッガラ
mahānubhāva 大威光
mahānubhāvatā 大威力
maha-nekkhamma 大出家，大出離，大解脫
Mahānetta〔山〕マハーネッタ
Mahānettappāsāda〔住院〕マハーネッタパーサーダ
Mahānettādipādika〔精舎〕マハーネッターディパーディカ
Mahā-neru=Sumeru, Meru〔山〕大彌樓，大須彌，妙高
Mahānela〔傳◦轉輪王〕マハーネーラ
Mahānoma=Mahānāma〔園〕マハーノーマ
Mahāpaccarī〔註書〕マハーパッチャリー
Mahāpajāpatī=Gotamī〔佛の姨母，尼〕摩訶波闍波提，大愛道
Mahāpajāpatī Gotamī=Mahāpajāpatī〔佛の姨母，尼〕マハーパヂャーパティー・ゴータミー，摩訶波闍波提瞿曇彌，摩訶波闍波提憍曇彌，大愛道
mahāpañña 大慧者，大慧〔者〕，大智者
mahāpaññatā 大慧
mahā-paññā 大慧，大智
Mahāpaññā-kathā 大慧論 Pṭs 3 1
Mahāpaññā-vagga 大慧品 S **55** 62～74
Mahā-pañhā〔經〕大問 A **10** 27, 28
Mahāpatthānappakaraṇa-aṭṭhakathā マハーパッターナッパカラナ・アッタカター，大發趣論註，大發趣論釋，大論義疏，發趣論註釋
Mahā-paṭhavī〔猿〕大地

Mahāpatāpa 〔傳◦轉輪王〕マハーパターパ，大光輝，大照曜，大威勢
mahā-patha 大道
mahā-pathavī 大地
Mahāpadāna-suttanta マハーパダーナ・スッタンタ，大本經 D 14
Mahāpadāniya-suttanta＝Mahāpadāna-suttanta 大本經
Mahāpaduma ①〔比〕マハーパドゥマ ②〔王子〕③〔象〕
Mahāpaduma-jātaka マハーパドゥマ・ヂャータカ，大蓮華王子本生物語 J 472
mahāpadesa 大法敎
Mahāpadhāna 〔住院〕マハーパダーナ，大精勤
Mahāpanāda 〔王，王子〕マハーパナーダ，大波那，摩訶鉢囉拏那，摩訶波羅那〔陀〕
Mahāpanāda-jātaka マハーパナーダ・ヂャータカ，摩訶波羅那王本生物語 J 264
Mahāpanāla〔村〕マハーパナーラ
Mahāpanthaka〔比，慧解第一〕摩訶槃特，摩訶槃毒，摩訶半託迦，大路，大半託迦
Mahāpabbata ①〔山〕マハーパッバタ，大山 ②〔象〕マハーパッバタ
mahā-parinibbāna 大般涅槃
Mahāparinibbāna-suttanta マハーパリニッバーナ・スッタンタ，大般涅槃經 D 16
Mahā-pariḷāha〔地獄〕大熱
Mahāparivāra 〔比丘の譬喩經〕マハーパリヴーラ Ap 3 111
Mahāparivāra-vagga マハーパリヴーラ品 Ap 3 111～120
Mahāpariveṇa〔房舍〕マハーパリヹーナ
Mahāpalobhana-jātaka マハーパローバナ・ヂャータカ，大誘惑本生物語 J 507
Mahāpānādidīpaka 〔精舍〕マハーパーナーディディーパカ
Mahāpāraga 〔天〕マハーパーラガ，摩訶波羅
Mahāpāli〔精舍〕マハーパーリ
Mahāpāli〔ka〕〔食堂〕マハーパーリ〔カ〕
Mahāpiṅgala〔王〕マハーピンガラ，大黃
Mahāpiṅgala-jātaka マハーピンガラ・ヂャータカ，大黃王本生物語 J 240
Mahāpuṇṇama-sutta マハープンナマ・スッタ，滿月大經 M 109
mahā-purisa 大丈夫，大人，大士
Mahāpurisa〔經〕大丈夫 S 47 11
mahāpurisa-lakkhaṇa 大人相，大人相論，大人の相好，大人の行相
mahāpurisa-vihāra 大人住
Mahāpuḷiṇa〔傳◦轉輪王〕マハープリナ
Mahāpesakāra-petavatthu 機女鬼事 Pv 1 9
Mahāppamāda-suttanta＝Mahā-appamāda-sutta 大不放逸經
mahābodhi 大菩提樹
Mahābodhi＝Bodhi〔普行者〕大菩提
Mahābodhi-ghara 大菩提寺
Mahābodhi-jātaka マハーボーディ・ヂャータカ，大菩提普行沙門本生物語 J 528
mahābodhi-pūjā 大菩提樹供養
mahā-bodhimaṇḍa＝bodhimaṇḍa 大菩提座
mahā-bodhisatta 大菩薩
Mahābodhi-vaṁsa〔書名〕大菩提樹史
Mahābyūha〔殿堂〕マハービューハ，摩訶由訶
Mahābyūha-suttanta ＝Mahāviyūha-sutta 大積集經，大集積經
Mahābrahmā 大梵天
Mahābhaya＝Abhayagiri 〔精舍〕マハーアバヤ
mahābhiññatā 大通智
mahā-bhūta 大種
mahābhūta rūpa＝bhūta-rūpa 大種色
mahā-bhūmicāla 大地の震動
mahā-bhoga 大財，財富
mahābhoga-kula 大富家
Mahāmaga〔村〕マハーマガ
Mahāmaṅgala〔精舍〕マハーマンガラ
Mahāmaṅgala-jātaka マハーマンガラ・ヂャータカ，大吉兆本生物語 J 453
Mahāmaṅgala-sutta, Mahāmaṅgala-suttanta＝Maṅgala-sutta 大吉祥經，吉祥大經，吉兆に關する經典 Sn 2 4～Khp 5

mahā-maccha 大魚
Mahāmaṇi〔池〕マハーマニ
Mahāmaṇika〔村〕マハーマニカ
mahāmatta 大臣，大官，司政官
mahāmatta-kathā 大臣論，大臣の話〔無用論の一〕
Mahāmattā〔王妃〕マハーマッター
Mahāmāliyadeva〔カーラヹーラ住比丘〕マハーマリヤデーヴ
Mahāmallaka〔尼房〕マハーマッラカ
Mahāmallājana〔傳◦轉輪王〕マハーマッラーヂャナ
Mahā-mahinda=Mahinda〔比〕大摩哂陀
Mahāmahindabāhu〔房舍〕マハーマヒンダバーフ
Mahā-māyā=Māyā〔王妃，釋迦佛の母〕マハーマーヤー，摩訶摩耶，大清淨妙
Mahāmāladeva〔將軍〕マハーマーラデーヴ
Mahāmāluṅkya-suttanta マハーマールンクヤ・スッタンタ，摩羅迦大經 M **64**
Mahāmitta〔比〕大友
Mahāmittavinda-jātaka=Catudvāra-jātaka マハーミッタギンダ・ヂャータカ J 439
mahāmukha〔太鼓〕マハームカ
Mahāmucala ①〔王〕マハームチャラ，摩訶母唧 ②〔道場〕マハームチャラ
mahā-muni 大牟尼
mahā-megha 大雲，大雨
Mahāmegha〔林〕マハーメーガ，大雲，摩訶眉伽，大眉伽
Mahāmegha-vana=Tissārāma, Mahāvihāra〔園林〕大雲林，摩訶眉伽林，大眉伽林
Mahāmetta〔菩提樹〕マハーメッタ，大慈
Mahāmoggallāna=Moggallāna〔比，神通第一〕マハーモッガッラーナ，摩訶目犍連，大目犍連〔譬喩經〕Ap 3 2
Mahāmora-jātaka マハーモーラ・ヂャータカ，大孔雀王本生物語 J 491
mahā-yakkha 大夜叉
mahā-yañña 大供犧，大供養，大犧牲祭，大祠
Mahāyañña-vagga 大供犧品 A 7 41～50
Mahāyamaka-vagga マハーヤマカ・ヴッガ，雙大品 M **31～40**
Mahārakkhita ①〔比，阿育王時代の傳道師〕マハーラッキタ，摩訶勒棄多 ②〔ウパリマンダカマーラ住比丘〕マハーラッキタ ③〔苦行者〕マハーラッキタ
mahāraṅga-ratta 紅藍色
mahārañña 大林
Mahāraṭṭha〔國，人〕マハーラッタ，摩訶勒吒，摩訶勒咤
Mahārattaka〔將軍〕マハーラッタカ
Mahāratha〔傳◦轉輪王〕摩訶羅陀
Mahāratha-vagga 大車品 Vv 51～64
Mahāratha-vimāna 大車天宮 Vv 64
Mahāraha〔傳◦轉輪王〕マハーラハ
mahārājatta=mahārāja-bhavana 大王界
mahā-rājan 大王
Mahārājan〔堂〕マハーラーヂャ，大王
mahārāja-bhavana=mahārājatta 大王界
mahārāja-māsamugga 大王豆
Mahārāja-vaṁsa 大王系譜
mahārāja-vata 大王務
mahārāja-vatika 大王務者
Mahārājika 大天王
Mahārāma〔傳◦轉輪王〕マハーラーマ
Mahārāmetti〔池〕マハーラーメッティ
Mahārāhulovāda-suttanta マハーラーフローヴーダ・スッタンタ，教誡羅睺羅大經，大教誡羅睺羅經 M **62**
Mahāriṭṭha=Ariṭṭha〔大臣，比〕大アリッタ，大阿栗吒，摩訶阿栗吒
mahā-rukkha 大樹
Mahārukkha〔渡〕マハールッカ
Mahārukkho〔經〕大樹 S **12** 55, 56
Mahāruci=Suruci〔傳◦轉輪王〕マハールチ，摩訶嚕唧
Mahāruhā〔尼〕マハールハー
Mahāreṇu〔傳◦轉輪王〕マハーレーヌ
Mahāroruva〔地獄〕大叫喚
Mahārohaṇagutta〔比〕マハーローハナグッタ
Mahārohita〔傳◦轉輪王〕マハーローヒタ

Mahālabujagaccha ①〔村〕マハーラブヂャガッチャ ②〔森〕
Mahālānakitti〔王〕マハーラーナキッティ
Mahāli ①=Otthaddha〔離車人，尸婆羅の父，塞〕マハーリ，摩訶梨，摩訶利，摩訶離 ②〔經〕摩訶利 S 22 60 ③〔經〕摩訶梨 A **10** 47
Mahāli-sutta マハーリ・スッタ，摩訶梨經 D **6**
mahālekha〔官職〕マハーレーカ
Mahālekha〔ka〕〔住院〕マハーレーカ〔カ〕
Mahālomahaṁsa-cariyā〔經〕マハーローマハンサの所行 Cp 3 15
Mahālohita〔牛〕マハーローヒタ，大赤
Mahāvaṁsa〔書〕マハーヴンサ，大王統史 Mv 1～37
Mahāvaṁsaka〔マンガナ住比丘〕マハーヴンサカ
Mahāvagga ① マハー・ヴッガ，大品 V **2** a 1～10 ② 大品 S **12** 61～70 ③ マハー・ヴッガ，大篇 S **45～56** ④ 大品 A 3 61～70；4 191～200；6 55～64；7 61～70；**8** 11～20；**9** 32～41；**10** 21～30；Sn 3 1～12；Pv 4；Pṭs **1**；KV **1**
Mahāvagga-saṁyutta 大篇相應 S **45～56**
Mahāvacchagotta-suttanta マハーヴッチャゴーッタ・スッタンタ，婆蹉衢多大經 M **73**
Mahāvattani〔森〕マハーヴッタニ
Mahāvatthala〔村〕マハーヴッタラ
Mahāvana～Mahāvana-kūṭāgāra-sālā マハーヴナ，摩呵槃那，大園林，大林
Mahāvana-kūṭāgāra-sālā 大林重閣堂，大林重閣講堂
mahā-varāha 大豕
Mahāvaruṇa〔比〕マハーヴルナ，摩訶婆樓那，摩訶婆留那
Mahāvalligotta〔精舍〕マハーヴッリゴッタ
Mahāvāṇija-jātaka マハーヴーニヂャ・ヂャータカ，大商人本生物語 J 493
Mahāvāluka=Vāluka〔村〕マハーヴールカ
Mahāvāluka〔gaṅgā〕〔河〕マハーヴールカ〔ガンガー〕
mahāvikaṭa 汚物
mahāvikaṭa-bhojana 大不淨食
Mahāvijayabāhu マハーギヂャヤバーフ=ギヂャヤバーフ一世王
Mahāvijita〔王〕マハーギヂタ
Mahāvitthārika〔殿〕マハーギッターリカ
Mahā-vibhaṅga 大分別，大分別篇 V **1** a；**3** 1
Mahāviyūha-sutta=Mahābyūha-suttanta 大集積經，大積集經 Sn **4** 13
Mahāviyūhasutta-niddesa 大集積經の義釋 MNd 13
Mahāvihāra〔セイロンのアヌラーダプラにある精舍〕マハーギハーラ，大寺，大精舍
Mahāvihāra-paṭiggahaṇa〔章〕大寺の受納，大精舍受納 Dv 14 (1)；Mv 15
Mahāvihāra-vāsin 大寺住者
Mahāvihāravāsī-ācariya 大精舍所住の師
Mahāvīci=Avīci〔地獄〕大阿鼻
mahā-vīra 大雄，大英雄，大勇者
Mahāvedalla-sutta マハーヹーダッラ・スッタ，有明大經 M **43**
mahā-veyyākaraṇa 大文典家
mahāveḷu〔樹〕マハーヹール，大竹
Mahā-vessantara 大毘輸安咀囉
Mahāvessantara-jātaka=Vessantara-jātaka 大毘輸安咀囉王子本生物語
Mahāvyaggha〔比〕マハーギャッガ
Mahāvyūha-kūṭāgāra 大莊嚴樓
Mahāsaṁgāma〔章〕大諍 V 3 13
Mahāsaṁgīti 大合誦，大結集
Mahāsaṁgharakkhita〔ウパリマンダラカマラヤ住比丘〕マハーサンガラッキタ
Mahāsakuludāyi-sutta マハーサクルダーキ・スッタ，善生優陀夷大經 M **77**
Mahā Sakyamuni Gotamo〔經〕大釋迦牟尼瞿曇 S **12** 10
Mahāsaṅgharakkhita=Saṅgharakkhita〔比〕大僧護
Mahāsaṅghika〔部派〕大衆部
Mahāsaccaka-sutta マハーサッチャカ・スッタ，薩遮迦大經 M **36**

Mahāsatipaṭṭhāna-suttanta マハーサティパッターナ・スッタンタ，大念處經 D **22**
mahā-satta=bodhisatta 摩訶薩，大士，大薩埵
mahā-sadattha 大利
mahā-sadda 大聲
mahā-samaya 大衆會時
Mahāsamaya-suttanta マハーサマヤ・スッタンタ，大會經 D **20**
Mahāsamāna〔天〕マハーサマーナ，摩呵睒摩
mahā-samudda 大海，大洋
mahā-samudda-sāgara 大海
mahāsamuddassa cattāro guṇā 大海の四德
Mahāsammata〔王〕マハーサンマタ，摩訶三摩多，大選出
Mahāsammata-vaṁsa 摩訶三摩多王統 Dv 3；Mv 2
mahā-sayana 大床
Mahāsaḷāyatanika-sutta マハーサラーヤタニカ・スッタ，大六處經 M **149**
Mahāsāgara ①〔王〕マハーサーガラ ②=Sāgara〔園〕
mahāsāmin〔職〕マハーサーミ，大主
Mahāsāmin ①=Dappula〔王〕マハーサーミン ②=Moggallāna〔王〕マハーサーミン，大主
Mahāsāra-jātaka マハーサーラ・ヂャータカ，大精本生物語 J 92
Mahāsāropama-sutta マハーサーローパマ・スッタ，心材喩大經 M **29**
Mahāsāla〔經〕大富者 S **7** 14
mahā sāla-rukkha 大娑羅樹
mahā-sālā 大講堂
Mahāsālā〔地名〕マハーサーラー
Mahāsikhā〔傳∘轉輪王〕マハーシカー
Mahāsindhu〔河〕マハーシンドゥ
mahāsirīsa〔樹〕マハーシリーサ
mahā-silā 大石
Mahāsiva ①〔バーティヴンカ住比丘〕マハーシヴ ②〔比〕マハーシヴ ③〔王〕マハーシヴ，大安泰者
mahā-sīla 大戒
Mahāsīlava-jātaka マハーシーラヴ・ヂャータカ，大具戒王本生物語，具戒王本生物語 J 51
Mahāsīlava-rājan=Sīlava-kumāra〔王〕マハーシーラヴ・ラーヂャ，大具戒王
Mahāsīva ①〔相承比丘〕マハーシーヴ，摩訶私婆 ②〔ヴーマンタパッバーラ住比丘〕マハーシーヴ ③=Sīva〔王〕マハーシーヴ
Mahāsīhanāda-sutta マハーシーハナーダ・スッタ，師子吼大經 M **12**
Mahāsuka-jātaka マハースカ・ヂャータカ，大鸚鵡本生物語 J 429
Mahāsuññata-sutta マハースンニャタ・スッタ，空大經 M **122**
Mahāsuññatā-vādin 大空宗
Mahāsutasoma-jātaka〜Sutasoma-jātaka マハースタソーマ・ヂャータカ，大須陀須摩本生物語 J 537
Mahāsudassana〔王，佛の前生〕マハースダッサナ，大善見
Mahāsudassana-cariyā〔經〕マハースダッサナの所行 Cp **1** 4
Mahāsudassana-jātaka マハースダッサナ・ヂャータカ，大善見王本生物語 J 95
Mahāsudassana-sutta〜Mahāsudassana-suttanta 大善見經
Mahāsudassana-suttanta マハースダッサナ・スッタンタ，大善見王經 D **17**
Mahāsupina-jātaka マハースピナ・ヂャータカ，大夢本生物語 J 77
Mahāsubhaddā ①〔給孤獨の女〕マハースバッダー，大善賢 ②〔象王妃〕大善賢
Mahāsumana ①=Mahāsumma〔比，拘那含佛の上足弟子〕摩訶須摩那 ②〔天神王〕大須摩那
Mahāsumanā〔尼〕大須摩那
Mahāsumma ①=Mahāsumana〔拘那含牟尼佛の弟子〕マハースンマ ②〔ドゥッタガーマニ王時代の比丘〕③〔ヴッタガーマニ王時代の比丘〕
mahā-seda 大發汗法
Mahāsena ①〔王〕マハーセーナ，摩訶斯那

②〔マガダ國王〕マハーセーナ ③〔天子〕マハーセーナ，摩訶先 ④〔魔〕マハーセーナ ⑤〔村〕マハーセーナ ⑥〔精舍〕

mahā-senagutta 大將軍，大軍帥

mahā-senāpati 大軍帥，大將軍

mahāsela-pabbata 大巖山

mahāsoṇa ①〔樹〕マハーソーナ ②〔鳥〕

Mahāsoṇa〔戰士〕マハーソーナ

Mahāsoṇā〔尼〕マハーソーナー

mahā-sobbha 大池，大湖

Mahāhaṁsa-jātaka マハーハンサ・ヂャータカ，大鵞本生物語 J 534

Mahāhatthipadopama-sutta マハーハッティパドーパマスッタ，象跡喩大經，大象跡喩經 M 28

mahā-hatthirājan 大象王

Mahāheli〔池〕マハーヘーリ

Mahiṁsaka～Mahisa, Mahisamaṇḍala〔國〕マヒンサカ，彌沙塞

Mahiṁsakamaṇḍala＝Mahisa〔地名〕マヒンサカマンダラ，摩醯娑末陀羅

Mahiṁsarāja-cariyā〔經〕牛王の所行 Cp 2 5

Mahiṁsāsa〔王子，佛の前生〕マヒンサーサ，化地

Mahiṁsāsaka〔部派〕化地部

mahikā＝mahiyā 霧

mahiccha 多欲者，大欲，大欲者

mahicchatā 大欲，多欲

mahitthī 年增の女，老女

mahiddhi 大神力

Mahiddhi〔神〕マヒッディ，摩醯提

mahiddhika 大神通〔者〕

mahiddhikatā 大神力

mahinda 雷電，大因陀羅

Mahinda ①＝Mahāmahinda〔阿育王の子，比〕マヒンダ，摩哂陀 ②〔天〕マヒンダ，大帝釋天 ③〔一世王〕マヒンダ ④〔二世王〕⑤＝Dhammika-silāmegha〔三世王〕⑥〔四世王〕⑦〔五世王〕⑧〔六世王〕⑨〔セーナ一世王弟〕⑩〔キッタッガボーディの子〕⑪〔ローハナ領主〕⑫〔カッサパ五世王の子，ローハナ領主〕⑬〔王子〕⑭〔ギッカマバーフ王の子〕⑮〔戰士〕⑯〔大臣〕⑰〔マーナーバラナ王臣〕⑱〔窟〕

Mahinda-guhā 摩哂陀窟

Mahindataṭa ①〔池〕マヒンダタタ ②〔精舍〕

Mahindataḷāka〔池〕マヒンダタラーカ

Mahindadīpaka マヒンダディーパカ，大因陀羅島

Mahindasena ①〔住院〕マヒンダセーナ ②〔殿樓〕

Mahiya〔地名〕マヒヤ

Mahiyaṅga～Mahiyaṅgaṇa〔精舍〕マヒヤンガ

Mahiyaṅgaṇa ①〔地名〕マヒヤンガナ ②〔塔〕③＝Mahiyaṅga〔精舍〕

Mahiyaṅgaṇāgamana マヒヤンガナ來降 Mv 1 (1)

mahiyā＝mahikā 霧

Mahilā〔尼〕マヒラー

Mahilāmukha〔象〕マヒラームカ，女顏

Mahilāmukha-jātaka マヒラームカ・ヂャータカ，女顏象本生物語 J 26

Mahilāraṭṭha〔島〕マヒラーラッタ

mahisa 水牛，野牛

Mahisa＝Mahisamaṇḍala〔國〕マヒサ，摩醯沙

Mahisakamaṇḍala＝Mahisa, Mahisamaṇḍala〔地名〕摩醯娑末陀羅，摩醯沙，慢陀羅

Mahisa-jātaka マヒサ・ヂャータカ，水牛本生物語 J 278

Mahisadoṇika〔村〕マヒサドーニカ

Mahisamaṇḍala＝Mahisa, Mahisakamaṇḍala〔國〕マヒサマンダラ，摩醯沙慢陀羅

Mahisamanta〔傳◦轉輪王〕マヒサマンタ

mahisa-yuddha 水牛鬪

Mahisavatthu〔地名〕マヒサヴァットゥ

mahissara 大自在天

mahī マヒー，地

Mahī ①〔王臣〕マヒー ②〔五河の一〕マヒー，摩企，摩醯，擲企

Mahīpāla〔地方〕マヒーパーラ

Mahummāra〔村〕マフンマーラ

Mahejjā〔夜叉〕マヘーヂャー

Mahela〔城〕マヘーラ

mahesakkha 偉力，大偉力，大自在，權勢ある
mahesi 大仙，大聖
mahesī 王妃，第一夫人
mahodadhi 大河
Mahodara〔龍王〕マホーダラ，大腹
mahoraga 摩睺羅伽，大蛇，大龍，大腹行
Mahosadha〔賢者，佛の前生〕マホーサダ，大藥
Māgaṇḍika=Māgandiya〔外，比〕マーガンディカ，摩建僞迦，摩犍提，摩健地耶
māgadha 香商
Māgadha ①〔天子〕マーガダ，摩揭陀 ②〔族〕マーガダ，摩揭陀 ③〔王〕摩竭陀，摩揭陀 ④〔經〕摩揭陀 S 2 4
Māgadhaka〔人〕摩竭陀，摩揭陀
Māgadhika 摩竭陀語
Māgadhī マガダ語
Māgandiya=Māgaṇḍika〔外，比〕マーガンディヤ，摩健僞迦，摩犍提，摩健地耶
Māgandiya-pañha〔經〕摩健地耶問，摩犍提所問～次項
Māgandiya-sutta マーガンディヤ經，摩健地耶經 Sn 4 9
Māgandiyasutta-niddesa 摩健地耶經の義釋 MNd 9
Māgandiya-suttanta～Māgandiya-sutta マーガンディヤ・スッタンタ，摩犍提經 M **75**
māgavika 獵師，獵獸者，屠鹿者，捕獸者，捕鹿者
Māgha ①〔天子〕マーガ，摩佉 ②〔仙〕マーガ ③〔王〕マーガ ④〔學童〕摩迦 ⑤〔經〕摩佉 S 2 3
Māgha-sutta 摩迦經 Sn 3 5
māghāta 不殺
Māṭambiya〔精勤堂〕マータンビヤ
Māṭhara〔鸚鵡〕マータラ
māṇava マーナヴ，摩奴の子，摩納，學童，儒童，孺童，靑年
Māṇava〔比〕マーナヴ，摩那嚩
māṇavaka～māṇava 儒童，孺童
Māṇava-gāmika～Māṇava-gāmiya〔外，天子〕マーナヴガーミカ
Māṇava-gāmiya=Māṇava-gāmika〔外，天子〕マーナヴガーミヤ，摩納婆伽彌耶
māṇavikā 淨行女，若妻
mātaṅga ① 象 ②〔植〕マータンガ
Mātaṅga ①〔辟〕マータンガ ②〔佛の前生，旃陀羅，仙〕マータンガ，摩登伽，摩騰 ③〔森〕マータンガ
Mātaṅga-cariyā〔經〕マータンガの所行 Cp 2 7
Mātaṅga-jātaka マータンガ・ヂャータカ，摩登伽本生物語 J 497
Mātaṅga-putta〔比〕マータンガ兒
mātaṅgārañña 林中の象
mātapettika-sambhava, mātāpettika-sambhava 母と父とより生じ，父母より生じ，父母所生，父母の生む所
mātar 母
mātaraṁ jīvitā voropeti 母を殺す，母を殺害す，母の命を奪ふ
mātaraṁ pitaraṁ hanti 母(愛欲)と父(我慢)とを殺す
Mātari〔經〕母 S **17** 37
Mātali〔天の御者〕マータリ，摩頭羅，摩多利，摩多梨，摩兜麗
Mātā〔經〕母 S **15** 14
mātā jīvitā voropitā hoti 母を殺す，母を弑す
mātā-pitaro 父母，母や父
mātāpitaro sannipatitā 合會せる父母
mātāpitunnaṁ upaṭṭhānaṁ 父母に供事すること
mātāpitu-rakkhitā 父母護女，父母に護られたる〔女〕
mātāpettika-sambhava 父母所生，父母の生ずる所，父母の生む所，父母より生れ，母と父とより生じ
mātā bhariyā 母なる妻，阿母夫人
Mātikapiṭṭhika〔精舍〕マーティカピッティカ
mātikā ① マーティカー，摩夷，論母，本母，本典要目，智母，戒母，戒本，毘尼母 ② 灌漑路，水路 ③ 捨事
Mātikā-kathā 論母論 Pṭs 3 10

mātikā-dhara 摩夷を持す，摩夷を持つ，摩夷を持せる，摩夷を持し，論母を持する者，持論母者，智母を持せる
mātikā-nikkhepa 論母の概説
Mātikā-nikkhepa-vāra=Paccayuddesa 論母設置分
mātikā-pada 論母句
Mātiposaka-jātaka=Mātuposaka-jātaka マーティポーサカ・ヂャータカ，養母象本生物語 J 455
Mātiposaka-sutta マーティポーサカ・スッタ，扶養母經～前項
mātu-kucchi 母胎
Mātukucchi-paṭisandhi-pañho 母胎結生の問 Mil 2〔7〕7
mātugāma 婦人，婦女，婦女子，女人，母邑
Mātugāma〔經〕婦女 A 10 202
mātugāma-potthaka-rūpaka 婦人像
Mātugāma-saṁyutta マートゥガーマ・サンユッタ，女人相應 S 37 1～34
mātugāmassa balaṁ 女人の力〔五法〕
Mātugāmo〔經〕女 S 17 21
mātugāmopavicāra 女と交はる
mātu-ghāta 殺母
mātu-ghātaka 殺母者
mātughāta-kamma 殺母業
mātucchā 叔母，伯母，姨母
mātucchā-putta 叔母の子
mātu-thañña 母乳
Mātuposaka ①〔婆〕孝養 ②〔經〕孝養 S 7 19
Mātuposaka-jātaka マートゥポーサカ・ヂャータカ，養母象本生物語，養母本生話 J 455
mātu mātā 母の母
mātu-rakkhitā 母に護られ〔たる女〕，母の護る女，母護女
Mātulaṅgaṇaka〔村〕マートゥランガナカ
Mātulā〔地名〕マートゥラー，摩偸羅
mātulānī 義理の叔母，叔母
mātuluṅga〔果，樹〕マートゥルンガ，マートゥルンギー，枸櫞，摩獨龍伽
Mātuluṅgaphaladāyaka〔比丘の譬喩經〕マートゥルンガパラダーヤカ Ap 3 503
Mātu-vihāra 王母精舎
Mātuvelaṅga〔地名〕マートゥヹーランガ
Mādhava〔ダミラ人〕マーダヴ
Mādhuraka=Madhuraka 摩頭羅〔國〕人
māna ① 慢，慢心，憍慢，我慢 ② マーナ，量，尺度
Māna ①〔アッガボーディ三世王の弟〕マーナ ②〔カッサパ二世の甥〕③〔マーナヴンマの弟〕④〔ムーラポッタキン官〕⑤～Mānaka〔王〕⑥〔章〕慢 A 8〔10〕14
Māna〔ka〕=Mānavamma〔王，カッサパ二世の子〕マーナ〔カ〕
Mānakapiṭṭhi〔村〕マーナカピッティ
Mānakāma〔經〕慢の欲 S 1 9
māna-kūṭa 度量を詐り，僞斗，枡料を僞り，尺を欺き
māna-gāha 慢執
Mānaggabodhika〔精舎〕マーナッガボーディカ
mānatta〔贖罪の儀式〕マーナッタ，摩那埵
mānatta-dāna 與摩那埵
mānatta-sata 摩那埵百事 V 2 b 3，29～30
mānatthaddha 傲慢，憍傲
Mānatthaddha ①〔辟〕マーナッタッダ ②〔婆〕憍傲 ③〔經〕憍傲 S 7 15
Mānadinna〔居士〕マーナディンナ，摩那提那 ②〔經〕摩那提那 S 47 30
mānana 尊敬
māna-papañca 慢障礙
Mānabhūsana=Mānābharaṇa〔王〕マーナブーサナ
mānayati 尊重を受く
Mānavamma〔王〕マーナヴンマ
māna-vāda 慢の論議
mānavinaya dhamma 慢調伏の法
māna-vinibandhā diṭṭhi 我慢縛見
Mānavīramadhurā〔地名〕マーナギーラマドゥラー
māna-saṁyojana 慢結

māna-sambhūto ayaṁ kāyo　慢より此の身は生ず
māna-salla 慢箭
mānassin 憍慢あり
mānātimāna 慢過慢
mānānusaya　慢隨眠，慢使，憍慢心，憍慢愛執〔七隨眠の一〕
Mānābharaṇa ①〔パラッカマバーフ一世王の父，王子〕マーナーバラナ ②〔戰士〕
Mānābharaṇa〔ka〕〔王〕マーナーバラナ〔カ〕
Mānābharaṇamahārāja　〔ダミラ人〕マーナーバラナマハーラーヂャ
mānābhisamaya 慢現觀，慢の現觀
Mānāmatta〔地名〕マーナーマッタ
Mānicara〔夜叉〕マーニチャラ
mānin 慢心〔者〕
Mānusa〔天〕マーヌサ，麼㝹沙
mānusaka-yoga 人間の束縛，人の軛
Mānusiya〔蓮池〕マーヌシヤ
Mānusuttama　〔天〕マーヌスッタマ，摩㝹疏多摩
māneti 奉事す，尊敬す
māmaka 信奉者
māya 幻術者
māyā　① 誑，幻，幻術，詐瞞，誑惑，諂* ② 神秘な格言
Māyā ①＝Mahāmāyā〔王妃，佛の生母〕摩耶 ②〔夜叉神〕マーヤー，摩野 ③〔地方〕マーヤー ④〔經〕幻術 S 11 23 ⑤〔章〕諂 A 8〔10〕10
māyā-kāra 幻師，幻術師，幻術者
Māyāgeha〔將軍〕マーヤーゲーハ
māyā ca sāṭheyyañ ca 誑と諂
māyācāra〔植〕マーヤーチャーラ
Māyādhanavharājādi-dvirājadīpaka〔章〕マーヤーダヌ等二王 Cv 93
Māyādhanu ①〔王〕マーヤーダヌ ②〔地名〕
māyāvin 僞詐，誑者，誑僞者，誑惑者，詐瞞，詐瞞者，詭詐者，幻師，幻士，幻術あり，幻力ある，虚妄，諂者*
Māyāvin〔豺〕マーヤーギン
māyūpama 幻事の如し
Māyetti〔地名〕マーエッティ
māra　マーラ，魔，惡魔，魔羅，黑魔，魔王，魔羅，魔神，死神
Māra〔山〕マーラ
Māra-kathā 魔緣 V 2 a 1, 11
mārakāyikā devatā 魔衆天，魔神
Māragallaka〔地名〕マーラガッラカ
māragiri〔官職〕マーラギリ
māra-cakkhu 魔眼
Māratajjaniya-sutta　マーラタッヂャニヤ・スッタ，魔訶責經 M 50
māratta 魔羅
māra-dhamma 魔法
Māra-dhamma〔經〕魔法 S 23 12, 24, 36
māra-dhītar 魔女
māra-dheyya　魔の域，魔の領域，魔界，魔の支配，魔羅の世界，惡魔の領
māra-pakkha 魔(王)の所有物
māra-paññatti 魔羅の名義
māra-parisā 魔衆，魔會，魔天衆〔八衆の一〕
māra-pāpimant　マーラパーピマー，魔羅波卑面，惡魔波旬，魔波旬，魔羅波旬，惡しき者魔，惡魔
māra-pāsa 魔索，魔の羂索，魔の罠，魔羅の羂
Mārapāsa〔羅〕魔索 S 35 114, 115
māra-bandhana　魔の縛，魔縛，惡魔の縛，摩羅の縛
māra-vasa 魔の力，魔の權力，魔の領
māra-visaya 魔境，魔の領域，魔の世界，魔羅の世界
Māra-saṁyutta　マーラ・サムユッタ，惡魔相應 S 4 1～25
māra-saṁyoga 惡魔の結
mārasena-pamaddana magga 魔軍を摧伏する道
māra-senā 魔軍，惡魔の軍
mārassa āvāso 魔の住屋
mārassa gocaro 魔の食
mārassa nivāpo 魔の餌食
mārassa baḷisaṁ 魔の鈎

mārassa visayo 魔の境界，魔境，魔の領域，魔羅の世界

mārassa samanta-pāso 魔の普遍羂索

mārābhibhū 魔の征勝者

mārāmisa 魔食，魔財

māruta〜māluta 風神

māretar 殺者

mārena nimmita-buddharūpaṁ 魔が化作せる佛

Māro〔經〕魔 S 23 1, 11, 23, 35; 46 43

māla=māḷa 天幕，圓屋，公堂，廓

mālatī〔樹〕マーラティー

Mālatīpuppha〔水門〕マーラティープッパ

Mālabhi〔傳◦轉輪王〕マーラビ

Mālavacakkavattin 〔ダミラ人〕マーラヴチャッカヴッティン

Mālavatthuka〔村〕マーラヴットゥカ

Mālavalli〔池〕マーラヴッリ

Mālavalliya〔地名〕マーラヴッリヤ

mālā ① 華鬘，花鬘，鬘，花環，華環 ②〔樹〕マーラー

Mālā〔尼〕マーラー

mālā-kathā 華鬘論，花鬘論，華鬘の話，鬘論〔無用論の一〕

mālā-kāra 華鬘工，花鬘師，編鬘者

mālāgandhavilepanadhāraṇamaṇḍana-vibhūsanaṭṭhāna 鬘香塗飾

Mālāgāma〔渡〕マーラーガーマ

Mālāgāmasama〔村〕マーラーガーマサマ

Mālāgiri〔山〕マーラーギリ

mālāguṇa-parikkhittā〜mālāguḷa-parikkhittā 華鬘瓔珞を飾れる女人

mālā-guḷa 花束

mālāguḷa-parikkhittā〜mālāguṇa-parikkhittā 華鬘を飾れる女

mālā-palibodha 華鬘障礙

mālā-vaccha 華樹

Mālāvaratthalī〔村〕マーラーヴラッタリー

mālika ① 花鬘作人 ②〔博戲〕マーリカ

Mālukyaputta=Māluṅkyaputta 〔比〕マールクヤ子，摩路枳耶子

Māluṅkyaputta=Mālukyaputta 〔比〕マールンクヤフッタ，マールンクヤ子，鬘童子，摩羅迦子

māluta〜māruta マールタ，風

Māluta〔傳◦轉輪王〕マールタ

Māluta-jātaka マールタ・ヂャータカ，風本生物語 J 17

māluvā 〔蔓草〕マールヴー，摩樓迦，葛，蔓草

māluvā-bīja 葛の種子

māḷa=māla 公堂，圓屋，廓，天幕

Māḷava〔ダミラ人〕マーラヴ

māsa〜māsaka マーサ，蠶豆，豆顆，豆

māsaka ①=$^1/_5$ pāda, $^1/_{20}$ kahāpaṇa マーサカ，摩沙加，摩沙迦，磨沙迦，錢，貨幣 ②〜māsa マーサカ，豆

Māsaka〔王〕半錢

Māsagallā〔尼〕マーサガッラー

māsa-sūpa マーサ豆汁

Māsīviyala〔地名〕マーシーギヤラ

māhisa-khīra 水牛乳

māhisa-sappi 水牛乳酥，水牛の酥

Māhissatī〔城〕マーヒッサティー，摩醯沙底，摩呬沙摩

miga〜maga 鹿，獸

Migaketu〔傳◦轉輪王〕ミガケートゥ

Migagāma〔精舍〕ミガガーマ

miga-cakka 解獸聲法，獸輪

migacakka-pāṭhaka 獸輪者

miga-camma 鹿皮

miga-jāta 鹿群

Migajāla〔比〕ミガヂャーラ

Migajāla-vagga 鹿網品 S 35 63〜73

Migajālena〔經〕鹿網 S 35 63, 64

Miga-dāya ① ミガダーヤ，鹿野苑，鹿苑，鹿園，鹿林，施鹿林〔波羅奈にあり〕 ②=Maddakucchi-migadāya 鹿野苑，鹿園〔王舍城にあり〕③ 鹿野苑〔沙計多にあり〕

Migapathaka〔地名〕ミガパタカ

miga-potaka 幼鹿，鹿の兒

Migapotaka-jātaka ミガポータカ・ヂャータカ，

鹿兒本生物語 J 372
miga-bandhaka 獵鹿者，獵者
migabhūta-ceto 鹿心
miga-mātukā 牝鹿
miga-māyā 鹿の幻術
miga-rājan 獸王
Migalaṇḍika samaṇakuttaka〔比，第三波羅夷の初犯者〕鹿杖沙門
miga-luddaka 獵夫，獵者，狩獵夫
Migaludda-petavatthu 獵鹿鬼事 Pv 3 7, 8
migava 獵夫
migaviya(A)=migavā 狩獵
miga-visāṇa 鹿角
Migasammata〔傳◦轉輪王〕ミガサンマタ
Migasammatā〔河〕ミガサンマター
Migasālā ①〔夷〕ミガサーラー，鹿住 ②〔經〕鹿住 A **10** 75
Migasira〔比〕ミガシラ
Migācira〔園〕ミガーチラ
migācīra 鹿苑
Migājina〔苦行者〕ミガーヂナ
Migāra ①〔塞，長者〕ミガーラ，彌迦羅 ②〔軍師〕ミガーラ
migārañña 鹿林
Migāra-mātar=Visākhā〔夷〕彌迦羅母，鹿母，鹿子母
Migāramātu-pāsāda=Pubbārāma〔精舍〕鹿母講堂，鹿母殿，鹿母樓閣，鹿子母講堂，鹿子母殿，彌迦羅母の講堂，彌迦羅母の殿
Migāra Rohaṇeyya〔長者〕ミガーラ・ローハネッヤ
Migālopa〔兀鷹の子〕ミガーローパ
Migālopa-jātaka ミガーローパ・ヂャータカ，ミガーローパ兀鷹本生物語 J 381
migī 牝鹿
miṅgala～timiṅgala〔大魚〕ミンガラ
micchatta 邪性，邪惡
Micchatta〔經〕邪性 S **45** 21；A **10** 103, 132
Micchattattika 邪性三法 Tika **15**
micchattattika-kusalattika 邪性三法善三法 Tika-tika 35
micchattattika-saraṇaduka 邪性三法有諍二法 Tika-duka 87
micchattattika-hetuduka 邪性三法因二法 Tika-duka 15
micchatta-niyata 邪性決定，邪性決定者，邪決定
micchattaniyata-citta 邪性決定せる心
micchatta-niyata dhamma 邪定法，邪性決定法
micchatta-niyata-rāsi 邪性決定聚，邪性定聚，邪定聚
micchatta-niyāma 邪性決定
Micchatta-vagga 邪性品 S **45** 21～30
Micchā〔經〕邪 S **22** 153
micchā-ājīva, micchājīva 邪命，不正なる生活
micchā-kammanta 邪業，邪業者
micchā-ñāṇa 邪智
micchā-ñāṇin 邪智者，邪智〔者〕
micchā-dassana=micchā-diṭṭhi 謬見，邪見
micchā-diṭṭhi ① 邪見 ② 邪見者，邪見〔者〕
Micchā-diṭṭhi〔經〕邪見 S **35** 164
micchādiṭṭhika 邪見者，邪見〔者〕，邪見家，邪見人，邪教信者，異教徒
micchādiṭṭhi-kamma 邪見業
micchādiṭṭhi-niyata 邪見決定
micchā-dhamma 邪法，邪見法
micchā-paṭipatti 邪行
micchā-paṭipadā 邪道跡，邪道，邪行，邪向道
micchā-paṭipanna 邪行，邪行者
micchā-paṇihita citta 邪願心，謬れる方に向けたる心
micchā-māna 邪慢
micchā-vāca 邪語者
micchā-vācā 邪語
micchā-vāda 邪見
micchā-vāyāma 邪精進，邪策勵，邪精進者
micchā-vimutti 邪解脫，邪解脫者
micchā-saṁkappa 邪思，邪思惟，邪思惟者
micchā-sati 邪念
micchā-samādhi 邪定
Miñjavataṁsakiya〔比丘の譬喩經〕ミンヂャヴタンサキヤ Ap 3 228

miḍha 板榻
Mita〔城塞〕ミタ
Mitacinti-jātaka ミタチンティ・ヂャータカ，中思魚本生物語 J 114
Mitacintī〔魚〕ミタチンティー，中思
mitta 友人，友，朋友
Mitta ①〔王子〕ミッタ ②〔將軍〕ミッタ ③〔經〕友 S 1 53；47 48；56 26
Mittakālī〔尼〕ミッタカーリー
mittaddu 友に不實なる者
Mittanna〔比〕ミッタンナ
Mittabandhaka〔塞〕ミッタバンダカ，友結
Mittavinda〔人〕ミッタヸンダ
Mittavindaka ①〔ローサカティッサの前生〕ミッタヸンダカ，知友者 ②〔長者子〕ミッタヸンダカ
Mittavinda-jātaka ① ミッタヸンダ・ヂャータカ，知友本生物語 J 82 ② ミッタヸンダ・ヂャータカ，知友比丘本生物語 J 104 ③ ミッタヸンダ・ヂャータカ，知友本生物語 J 369
Mittasena ①〔比〕蜜多先那 ②〔大臣，王〕ミッタセーナ，友軍
Mittā ①〔尼〕ミッター，友 ②〔ヸヂャヤバーフ一世王の妹〕ミッター ③〔王女〕ミッター
mittāmacca 朋友
mittāmitta 怨親
Mittāmitta-jātaka ① ミッターミッタ・ヂャータカ，怨親本生物語 J 197 ② ミッターミッタ・ヂャータカ，眞友非友本生物語 J 473
Mittiṇṇa〔比〕ミッティンナ
Mittenāmaccā〔經〕朋友 S 55 16, 17
mittesu sotthānaṁ 友の間に於ける吉祥
Mithilā ①〔城〕ミティラー，彌絺羅，彌體羅，彌薩羅，彌提羅 ②〔園林〕ミティラー
mithu 敵對者
middha 眠，睡眠
middha-rūpa 眠色
middha-sukha 睡眠の樂，睡眠樂，眠樂
middhārāmatā 眠愛樂
midhi 椽臺
milakkha ミラッカ人，夷狄，蠻民
milakkhuka 邊地〔語〕人
Milāna〔平原〕ミラーナ
Milinda〔王〕ミリンダ，彌蘭
Milinda-pañhā〔書〕ミリンダ・パンハー，彌蘭王問經，彌蘭王の問 Mil 1～5
Missaka ①〔天〕ミッサカ，彌沙 ②〔園林〕ミッサカ，雜合，眉沙 ③〔山〕ミッサカ，眉沙迦
missaka-cakka 複合章
missakavāra-uddesa 雜分總說
missakavāra-niddesa 雜分義釋
Missaka-saṅgaha 攝雜 Abhsaṅg 7 2
missakuppāda 混合占
Missakesī〔女〕ミッサケーシー
Mihiraṇabibbila〔村〕ミヒラナビッビラ
Mīḷhaka〔經〕糞蟲 S 17 5
mīḷhakā 糞蟲
mīḷha-sukha 穢樂，穢汚の樂，不淨樂
Mīḷhābhaya〔比〕糞無畏
mukkhaka〔樹〕ムッカカ
mukha 口
mukha-cuṇṇaka 顏料
mukha-tuṇḍaka 嘴，口嘴
mukha-daddarika 口ダッダリカ
mukha-deṇḍimaka 口デンディマカ
mukha-dvāra 口腔
mukha-nimitta 面相，面貌，容姿
mukhapuñchana-colaka 拭面巾
mukhaphulla〔寶珠〕ムカプッラ
mukha-bheriya 口太鼓
mukha-bheruḷaka 口ベールラカ
mukhara 饒舌，擾騷，饒語する，口數多く
mukha-roga 口腔病，口病
mukha-valimaka 口ヴリマカ
mukha-satti 口戟，口舌の劍，口頭の刄物，激越の語，舌鋒，口の劍，鋭き舌鋒
mukha-homa 口の護摩
mukhādhāna 馬銜
mukhālepana 香油
mukhāḷambada 口アーランバダ

Mukhelu-vana ムケール林
mukhodaka 含嗽水，漱水
mugga ムッガ豆，綠豆，綠荳，豆，小豆，菽，豆粒
muggatiya〔樹〕ムッガティヤ
mugga-yūsa 綠荳汁
muggara 棍棒
muggasuppatā, muggasupyatā=muggasūpatā 出鱈目語，出任せの語，出鱈目，綠荳汁性，豆スープ
mugga-sūpa ムッガ豆汁
muggasūpatā=muggasuppatā 綠荳汁性，出鱈目語，出任せの語，豆スープ
Mucala〔王〕ムチャラ，母唧
Mucalinda ①〜Mujalinda〔王〕ムチャリンダ，母唧鱗陀 ②〔龍王〕ムチャリンダ，目支隣陀，文眞隣陀，文隣陀 ③〔夜叉〕ムチャリンダ ④〔樹〕ムチャリンダ，目支隣陀，目眞隣陀 ⑤〔湖〕目眞隣陀
Mucalinda-kathā 目支隣陀〔樹下〕縁 V 2 a 1, 3
Mucalinda-vagga 目眞隣陀品 Ud 2
mucela〔樹〕ムチェーラ
Mucela ①〔港〕ムチェーラ ②〔宮殿〕③〔精舍〕
muccitukamyatā-ñāṇa 脫欲智
mucchā 悟絶，氣絶
Mujalinda〜Mucalinda〔王〕ムヂャリンダ，目眞隣陀
muñcitukamyatā paṭisaṅkhā santiṭṭhanā paññā 解脫を欲し簡擇し停止する慧
muñja ①〔草〕ムンヂャ，文若，文邪，文者，們叉，鉤藤 ②〔魚〕ムンヂャ
Muṭasīva〔王〕ムタシーヴ，聞荼私婆，聞多私婆
muṭṭhasacca 忘念，失念
muṭṭhasaccañ ca asampajaññañ ca 失念と不正知
muṭṭhassati 多忘，多忘者，忘念，失念，忘念なる，忘念者，失念者，正念の忘失者，邪念者*
Muṭṭhassati〔經〕忘念 S 37 13
muṭṭhassati asampajāna 失念不正知，失念不注意
Muṭṭhika〔力士〕ムッティカ
Muṭṭhipūjaka〔比丘の譬喩經〕ムッティプーヂャカ Ap 3 193
muṭṭhi-yuddha 拳闘
muṭṭhīhi yujjhati 拳闘す
muḍiṅga〜mutiṅga 鼓，小鼓
Muṇayada〔ダミラ人〕ムナヤダ
Muṇika〔豚〕ムニカ
Muṇika-jātaka ムニカ・ヂャータカ，ムニカ豚本生物語 J 30
muṇḍa 剃頭，圓頂，禿頭
Muṇḍa〔王，阿闍世の孫〕ムンダ，文荼，聞荼，閔蹋
muṇḍaka ①〜muṇḍiya 禿頭，坊主，圓頭，禿頭者 ②〔果〕ムンダカ
Muṇḍaka ムンダ人
muṇḍaka samaṇaka 禿沙門，坊主，似而非沙門
muṇḍa-gahapatika 禿頭居士
Muṇḍannānaṁkoṭṭa〔地名〕ムンダンナーナンコッタ
Muṇḍamaṇi〔山〕文荼摩尼
Muṇḍarāja-vagga 文荼王品 A 5 41〜50
muṇḍa-vaṭṭin 擔夫
muṇḍa-sāvaka 剪鬚髮弟子
Muṇḍikāputta〔沙門〕ムンディカープッタ，文荼子
Muṇḍikkāra〔地名〕ムンディッカーラ
muṇḍiya=muṇḍeyya〜muṇḍaka 禿頭，圓頭，剃頭，剃髮
muṇḍeyya=muṇḍiya 剃頭，剃髮，圓頭，禿頭
muta 覺，所覺，所思
mutiṅga〜muḍiṅga 杖鼓，小鼓
mutiṅga-sadda 杖鼓聲，鼓聲
Mutiyaṅgaṇa〜Mahiyaṅgaṇa〔廟〕ムティヤンガナ
mutīmant 覺慧者
mutta ① 解脫 ② 尿，小便〔三十二身分の一〕
mutta-karaṇa 小便道，小便所，隱所

mutta-karīsa 糞尿，大小便
mutta-gata 小便
mutta-cāga 放捨者
mutta-chakka 尿の六種
mutta-paṭibhāna 自在辯
muttā 眞珠
Muttā ①〔尼〕ムッター，解脱 ②〔夷〕ムッター，眞珠
Muttākara〔地名〕ムッターカラ
muttācāra 不作法，不作法者
Muttāpabbata〔村〕ムッターパッバタ
mutti 解脱
Mutti〔經〕解脱 S 43 38
muttigāmi magga 解脱に達するの道
Muttipupphiya〔比丘の譬喩經〕ムッティプッピヤ Ap 3 105
Muttolamba〔殿樓〕ムットーランバ
mudayantī〔樹〕ムダヤンティー
mudiṅga～mutiṅga ムディンガ，小鼓，杖鼓，鼓
Mudita〔比〕ムディタ
muditā 喜，喜心
Muditā ①〔王女〕ムディター ②〔經〕喜 S 46 64
muditā ceto-vimutti 喜心解脱
muditā-bhāvanā 喜の修習
muditā-saññā 喜想
muditā-sahagata 喜倶行，喜倶
muditāsahagata ceto 喜倶行心，喜倶行の心，喜と倶なる心
mudindriya 鈍根，鈍根者
mudu 柔軟
mudu-aṭṭhi 軟骨
Mudukāvadī〔女〕ムドゥカーヴディー
mudu-citta 柔軟心
Mudutara-vagga 軟弱品 S 48 11～20
mudu-taluṇa-hattha-pāda 手足の柔軟〔三十二相の一〕
mudutā 柔かさ
Mudupāṇi-jātaka ムドゥパーニ・チャータカ，柔軟手本生物語 J 262
mudu-piṭṭhika 弱脊
mudu-bhūta 柔軟
Mudulakkhaṇa-jātaka ムドゥラッカナ・チャータカ，優相本生物語 J 66
Mudulakkhaṇā〔王妃〕優しき相
Mudusītala〔傳◦轉輪王〕ムドゥシータラ
muddā 印契，印算，記號，計
muddā-sippa 印契の術
muddika 指環製造人，說印者
muddikā ①〔果，樹〕葡萄，蔑栗墜 ②指環
muddikā-pāna 蒲桃果漿，葡萄水，葡萄汁〔八種飲料の一〕
muddha 頂
muddhaṭṭhi 頭骨
muddha-pāta 頂墮
muddhābhisitta 灌頂，灌頂卽位，卽位灌頂
muddhāvasitta-rājan 灌頂王，澆頭王
muddhāvasittassa jeṭṭho putto 灌頂王の長子〔五支成就〕
Munaru〔池〕ムナル
Munāli〔人〕ムナーリ
muni 牟尼，寂默，寂默者，賢人，默者
Muni-gāthā 牟尼偈
muni-dassana 牟尼の見
muni-muni 牟尼牟尼
muni sattama 第七牟尼＝釋迦佛，第七仙
Muni-sutta 牟尼經 Sn 1 12
Mundrannaddhāna〔地名〕ムンドランナッダーナ
muraja 小鼓，太鼓
Muraja〔人〕ムラヂャ
Mulutta〔村〕ムルッタ
muḷālikā 蓮根
Muva〔rāya〕〔ダミラ人〕ムヴ〔ラーヤ〕
musala 杵
musā ①虛僞，妄，虛妄 ②＝ukkā 竈
musā bhāsati 妄語す，妄語をなす
musā-vāda 妄語，虛誑語，虛言，妄言
Musāvāda〔經〕妄語 S 56 74
Musāvāda-garulahubhāva-pañho 妄語輕重の問 Mil 4〔4〕8

Musāvāda-vagga 妄語品 V 3 15, 7
musāvādā paṭivirato 離虚誑語者
musāvādā veramaṇī 虚誑語の離，虚誑語を離る，離虚誑語，離妄語
musāvādā veramaṇī sikkhāpada 虚妄語より遠離の學處，不妄語戒
musā-vādin 妄語者，虚誑語者
Musīla〔比〕ムシーラ，茂師羅
muhutta ムフッタ，須臾
muhuttikā 暫得婦
Muhunnaru〔村〕ムフンナル
Mūkanāga〔軍師〕ムーカナーガ
mūga 啞者，瘂者，啞瘂
Mūgapakkha ①〔仙〕ムーガパッカ，啞跛者 ②〔傳。外〕ムーガパッカ，牟犁破群那
Mūgapakkha-jātaka ムーガパッカ・ヂャータカ，啞躄本生物語 J 538
mūga-badhira 聾瘂者
mūgabbata 啞戒
Mūgasenāpati〔精舍〕ムーガセーナーパティ，啞將軍
mūla ① 根，根本，元金，代價 ②〔職〕ムーラ，根本
Mūla ①〔戰士〕ムーラ ②〔經〕根 S **17** 32；**45** 142 ③〔經〕根本 A **10** 58
Mūla-āsaya=Mūlavokāsa〔精舍〕ムーラーサヤ
mūlaka 根本
Mūlaka〔經〕根本 A 8 83
Mūlakadeva〔比〕ムーラカデーヴ
mūla-kammaṭṭhāna 根本業處
mūla-gandha 根香
mūla-cīvara 本衣
Mūla-paññāsa ① 根本五十經 S **22** 1〜52 ② 根本五十品 S **35** 1〜52
Mūlapaṇṇāsa ムーラパンナーサ，根本五十經篇，根本五十經 M **1〜50**
Mūlapariyāya-jātaka ムーラパリヤーヤ・ヂャータカ，根本方便本生物語 J 245
Mūlapariyāya-vagga ムーラパリヤーヤ・ヴッガ，根本法門品 M **1〜10**
Mūlapariyāya-sutta ムーラパリヤーヤ・スッタ，根本法門經，根法門經，根本方便羅 M **1**
mūlapotthakin〔官職〕ムーラポッタキン
mūlapphala 根果
mūla-bīja 根種，根種子，根の種子，根より生ずる種子
mūla-bhavaṅga 根本有分
mūla-bhāsā 根本語，根本言語=巴利語，摩揭陀語
mūla-bhesajja 根藥
mūla-mātikā 根本論母
Mūla-yamaka 根雙
mūla-rasa 根味
Mūlavārika〔池〕ムーラヴーリカ
mūlavā-latā 蔦の蔓
Mūlavokāsa=Mūla-āsaya〔精舍〕ムーラヴーカーサ
mūla-samādhi 根本定
Mūlasālā〔地名〕ムーラサーラー
mūlādāyaka bhikkhu 造車比丘
Mūlāna〔村〕ムーラーナ
mūlāya paṭikassati 本日治
mūlāya paṭikassanaṁ 本日治，根本に引き戻さるること
mūlāvisuddha-navaka 根本未清淨九事 V **2** b 3，35
mūḷha 癡冥，癡者，愚癡，狂亂
mūḷha-citta 癡心〔者〕
mūḷha-citta vipariṇata 迷亂變心
mūḷha-gabbha 異常姙娠
mūsika 鼠
Mūsika-jātaka ムーシカ・ヂャータカ，鼠本生物語 J 373
mūsika-vijjā 鼠明
Mūsikā〔婢〕ムーシカー，鼠
mūsikācchinna 鼠の咬所の占ひ，鼠嚙布判斷
mūsikūpama puggala 鼠喩人，鼠に喩ふべき補特伽羅〔四種〕
Mūsila〔樂師〕ムーシラ
mūsī 鼠
Mekala〔族，人〕メーカラ

mekhala〔寶珠〕メーカラ
Mekhala ①〔都〕メーカラ ②〔林園〕
Mekhaladāyikā〔比丘尼の譬喩經〕メーカラダーイカー Ap 4 2
megha 雨雲，雲
Megha ①〔傳◦轉輪王〕メーガ ②=Mahāmegha〔園林〕眉伽，雲 ③〔經〕雲 S **45** 156, 157
Meghabbha〔傳◦轉輪王〕メーガッバ
Meghavaṇṇa=Meghavaṇṇābhaya, Goṭhakābhaya〔王〕メーガヴンナ
Meghavaṇṇābhaya ①〔王〕メーガヴンナーバヤ ②〔大臣〕③〔精舎〕
Meghavana=Mahāmeghavana 雲林，眉伽林
megha-sadda 雷鳴
Meghiya ①〔比，佛の侍者〕メーギヤ，彌醯，彌喜，彌企哥 ②〔經〕彌醯 A 9 3
Meghiya-vagga 彌醯品 Ud 4
Mejjha ①〔國〕メッヂャ ②〔王〕③〔園，林〕
meṇḍa 羊，牡羊
Meṇḍaka ①〔長者〕メンダカ，メーンダカ，旻荼，文荼，蜜荼哥，面托迦 ②〔王〕メンダカ，文荼
Meṇḍaka-jātaka メーンダカ・ヂャータカ，牡羊本生物語 J 471
meṇḍaka-pañha 難問
meṇḍaka-visāṇa 羊角
Meṇḍakārambha-kathā 難問 Mil 4〔1〕～〔9〕
meṇḍa-yuddha 牡羊闘
Meṇḍasira〔比〕メーンダシラ
Meṇḍissara〔仙〕メーンディッサラ
Mettaṁ〔經〕慈 S 46 54
mettaṁ samāpajjati 慈定に入る
metta-kāyakamma 慈身業
Mettagū〔婆和利の弟子，婆，比〕メッタグー，彌多求〔譬喩經〕Ap 3 400
Mettagū-pañhā=Mettagūmāṇava-pucchā〔經〕彌多求所問
Mettagūmāṇavakapañhā-niddesa 彌多求學童所問の義釋 CNd 5
Mettagū-māṇava-pucchā=Mettagū-pañhā〔經〕彌多求學童所問 Sn **5** 5
metta-citta 慈心，慈悲心，慈悲の心
mettacitta dosantara 慈心と瞋心
mettacittena bhāsitā 慈心の語
Mettaji〔比〕メッタヂ
mettatā 慈愛
Metta-sutta～Mettā-sutta 慈悲經，慈經，慈念經 Khp 9
mettā 慈，慈行，慈悲，慈悲觀，慈悲定，慈悲心，めぐみ
Mettā ①〔王妃〕メッター ②〔經〕慈 S **46** 62；A 8 1；**9** 18；**11** 16
mettā-appamāṇa-citta=mettā-brahmavihāra 慈無量心〔四無量心の一〕
Mettā-kathā 慈論 Pṭs 2 4
Mettā-karuṇa-kāyika〔天〕慈悲
mettā-cariyā 慈行
mettā cetovimutti 慈心解脱
mettānisaṁsa 慈悲の功德
Mettānisaṁsa-pañho 慈功德の問 Mil 4〔5〕4
mettānubhāva 慈力，慈悲の力
mettā-pāramī 慈波羅蜜，慈悲波羅蜜〔十波羅蜜の一〕
mettā-brahmavihāra=mettā-appamāṇa-citta 慈梵住〔四梵住の一〕
mettā-bhāvanā 慈修習，慈の修習
mettā-manokamma 慈意業，慈意行
Mettā-vagga 慈品 A 8 1～10
mettā-vacīkamma 慈口業，慈語業，慈語行
mettā-vihāra 慈三昧，慈住
mettā-saññā 慈想
mettā-sahagata 慈俱行
mettā-sahagata ceto 慈俱行心，慈俱行の心，慈俱心，慈と俱なる心，慈と俱行する心
Mettā-sutta～Metta-sutta 慈經，慈念經，慈悲經 Sn **1** 8
Mettikā〔尼〕メッティカー，慈
Mettiya〔六群比丘の一人〕メッティヤ，慈，彌多羅～慈地
Mettiyā〔無恥比丘尼〕メッティヤー，慈
Metteyya ①〔未來佛〕彌勒 ②=Tissametteyya

〔婆，比〕メッテッヤ，メッテーヤ，彌德勒，彌勒
Metteyya-pañha=Tissametteyyamāṇava-pucchā〔經〕彌德勒所問
methuna 婬，婬欲，交會，行婬，欲行
methunaka 婬者
methuna-gāma-dhamma 婬欲の在俗法，婬欲の鄙法，婬欲凡鄙，婬の穢法，婬卑猥法，婬法
methuna-dhamma 婬法，淫法，不淨法，不淨行，婬欲，婬欲法，婬事，交會，交會事，交會の法，邪婬*
methuna-saṁyoga 婬欲偶合
methuna-saṁsagga 男女の交
methuna-sambhūto ayaṁ kāyo 交會より此の身は生ず
Methula〔辟〕メートゥラ
meda 脂肪，肪，脂，凝膏〔三十二身分の一〕
medaka-thālika 膏瓶
Medakathālika〔人，曲藝の弟子〕メーダカターリカ，迷勒迦
meda-chakka 脂肪の六種
Medaḷumpa〔村〕メーダルンパ，彌婁離
medavaṇṇa pāsāṇa 脂肪の色ある石
medinī メーディニー，地
Medha〔園〕メーダ
Medhaṁkara ①〔佛〕メーダンカラ，作慧 ②〔比〕メーダンカラ
medhaga 異執，確執
medhāvin 智慧者，有慧，智者，怜利，怜悧
meraya メーラヤ酒，迷麗耶，迷羅耶，果酒，花酒，濁酒，木酒
Meru=Neru〜Mahāneru 須彌山
Merukandara〔ka〕〔地方〕メールカンダラ〔カ〕
Merumajja〔林〕メールマッヂャ
Mereliya〔村〕メーレーリヤ
Melamaṅgala〔地名〕メーラマンガラ
Meḷajina〔比〕メーラヂナ
Meḷamātar〔山羊〕メーラマーター
mokkha 最勝
mokkhacika 逆立ち，逆立戲，宙返機
Moggalāna-saṁyutta モッガッラーヤナ・サンユッタ，目犍連相應 S **40** 1〜11
Moggali〔婆，目犍連子帝須の父〕目犍連
Moggaliputta=Moggaliputta-tissa〔比，阿育王師〕モッガリプッタ，目犍連子
Moggaliputta-tissa=Moggaliputta〔比，阿育王時代の長老〕モッガリプッタ・ティッサ，目犍連子帝須
Moggaliputtatissa-therodaya 目犍連子帝須長老の出生
Moggalla〔人〕モッガッラ
Moggallāna ①〔姓〕モッガッラーナ，目犍連 ②=Mahā-moggallāna〔比〕モッガッラーナ，目犍連，目連 ③〔セイロンの比丘〕モッガッラーナ ④〔一世王〕モッガッラーナ ⑤〔二世王〕モッガッラーナ ⑥〔三世王〕モッガッラーナ ⑦〔ギヂャヤバーフ一世王の父〕モッガッラーナ ⑧=Moggali〔婆，目犍連子帝須の父〕目犍連 ⑨〔精舍〕モッガッラーナ ⑩〔經〕目犍連 S 8 10；**44** 7；**51** 14, 31
mogha-dhamma 愚癡法
mogha-purisa 愚人，愚癡人
Mogharājan〔婆和利の弟子，婆，比〕モーガラーヂャ，莫伽羅闍，譲賀囉惹，譲賀羅惹，譲賀王〔譬喩經〕Ap **3** 35, 537
Mogharāja-pañhā=Mogharājamāṇava-pucchā〔經〕莫伽羅闍所問
Mogharājamāṇavakapañhā-niddesa 莫伽羅闍學童所問の義釋 CNd 16
Mogharāja-māṇava-pucchā=Mogharāja-pañhā〔經〕莫伽羅闍學童所問 Sn **5** 16
mogha-vāra 空時分
mogha-suttaka 空絲
moca〔植〕モーチャ，バナナ，無種蕉
moca-pāna 芭蕉漿，モーチャ汁〔八種飲料の一〕
modaka モーダカ菓子，糖果，糖菓，砂糖菓子，飴玉
Modakadāyikā〔比丘尼の譬喩經〕モーダカダーイカー Ap **4** 13
mona 牟那，牟尼，寂默

mona-patha 寂默の道，牟尼道
Monasīha〔反逆人〕モーナシーハ
Moneya-sūta (A) 寂默行經
moneyya 牟尼位，牟尼行，牟尼性，牟尼，寂默
momūha 愚鈍
momūha citta 愚癡心
momūhatta 昏迷
momūha-dasaka 蒙十年
momūha-dhamma 愚迷法
mora=mayūra 孔雀
Mora ①=Mayūra〔房舍〕モーラ，孔雀 ②=Moraka〔池〕
Moraka=Mora〔池〕モーラカ
moragu〔敷具〕モーラグ
Mora-jātaka モーラ・ヂャータカ，孔雀本生物語 J 159
Mora-nivāpa ①〔外道園〕モーラニヴーパ，孔雀林，養孔雀園，孔雀飼育處 ②〔經〕孔雀林 A **11** 11
Moranivāpa-paribbājakārāma 孔雀林普行者園
Mora-paritta 孔雀護呪
mora-piñcha 孔雀羽毛
Mora-maṇḍapa モーラマンダパ，孔雀堂
Mora-vaṅka〔村〕モーラヴンカ
Mora-vāpī〔地方〕モーラヴーピー
mora-hattha 孔雀尾羽の團扇
morahattha-cāmara 孔雀の尾羽の拂子〔の施と報〕
Morahatthiya 〔比丘の譬喩經〕モーラハッティヤ Ap 3 449
Moriya ①〔族，王家〕モーリヤ，孔雀 ②=Asoka〔王〕モーリヤ ③〔地方〕モーリヤ
Molinī〔都〕モーリニー
molibaddhā paribbājikā 髻髮の女行者
Moliya-phagguna〔比〕モーリヤパッグナ，牟犁破群那
Moliya-Sīvaka〔外，比〕モーリヤ・シーヴカ，尸婆
Moliyasīvaka-veyyākaraṇa モーリヤ・シーヴカに對する解答
mosa-dhamma 虚妄法，虚誑法
mosalla 杖刑に相當する
mosavajja 妄語，妄言
moha 癡，愚癡，愚さ
Moha〔章〕癡 A 8〔10〕3
moha-akusalamūla 癡不善根〔三不善根の一〕
mohaṁ āropeti 無知の罪を課す
moha-kiñcana 癡障〔三障の一〕
mohakkhaya 愚癡の壞滅
mohaggi 癡火
moha-carita 癡行者
moha-cariyā 癡行
mohana 愚癡林
mohaniya dhamma, mohanīya dhamma 所癡の法，迷ふべき法，迷ふべき物
moha-mūla 癡根
moha-vinaya 愚癡調伏，癡調伏
mohavinayāya paṭipanno 癡調伏の行跡
moha-salla 癡箭
moha-sahagata 癡俱行
moha-hetu 癡因
mohāgati 愚癡の非道，愚癡不應行，癡不行處行，癡趣，癡道
mriga (A)=miga 鹿
mrigaviya (A)=migavā 狩獵
mruga (A)=miga 鹿
mrugaya (A)=migavā 狩獵

yaṁ p'icchaṁ na labhati taṁ pi dukkhaṁ 求むる所を得ざる苦，求めて得ざるの苦，求めて得ざるは苦なり，求而不得苦
yakana 肝，肝臟〔三十二身分の一〕
yaka-peḷa 肝臟
ya-kāra ヤの音
yakkha ① ヤッカ，夜叉，藥叉，鬼神，夜叉男 ② 人 ③=Sakka-devarājan 帝釋天
yakkhatta 夜叉界
yakkha-nagara 夜叉の町
yakkha-bhavana 夜叉界
yakkha-yoni 夜叉界
yakkha-vata 夜叉務
yakkha-vatika 夜叉務者
Yakkha-saṁyutta ヤッカ・サムユッタ，夜叉相應 S **10** 1〜12
Yakkhasūkara〔渡〕ヤッカスーカラ
Yakkhānaṁ maraṇabhāva-pañho 夜叉の死の問 Mil 4〔8〕1
yakkhinī=yakkhī 女夜叉，夜叉女
yakkhī=yakkhinī 夜叉女
Yagālla〔地名〕ヤガーッラ
yajati 犧牲とす，犧牲祭る
yajana 供犧
Yajamāna〔經〕供犧者に S **11** 16
Yaju-veda 夜柔吠陀，耶柔吠陀
yañña 供犧，犧牲，犧牲祭，犧牲祭式，贄祭，供養，供養式，生贄，生贄の供養，獻供，祭祀，祭式，祭壇，祠祀，祀，祀祠，天祠
Yañña ①〔婆〕ヤンニャ ②〔經〕供犧 S 3 9
Yaññadatta ①〔拘那含牟尼佛の父〕ヤンニャダッタ，祭施，大德 ②〔婆羅門童子〕ヤンニャダッタ，祭施
yañña-patha 供養路
yaññena suddhi 祭祀に依りて淸淨あり
Yaṭṭhālatissa〔王〕ヤッターラティッサ
Yaṭṭhālāya〔精舍〕ヤッターラーヤ
Yaṭṭhālāyakatissa〔王〕ヤッターラーヤカティッサ
yaṭṭhi〜laṭṭhi ヤッティ，杖
Yaṭṭhikanda〔ka〕〔地方〕ヤッティカンダ〔カ〕
yata 自制し
yata mano 自制の心
yato ca verocano abbhudeti yattha ca attham eti 日の昇る處と沒する處
yattha-vāra 處章
yattha santiṭṭhati 止住する處，胃腸內
yathā 如〔十義〕
yathākammūpaga-ñāṇa 隨業趣智，如業生智，如業所往智
Yathākammūpagañāṇa-kathā 如業所往智論 KV 3 9
yathā-taccha 如眞
yathā-diṭṭhissa padhānaṁ 如見精進，見に依る精勤
yathā-dhamma 如法
yathādhamma-sāsana 如法の教誡=論藏
yathānuloma-sāsana 相應の教誡=經藏
yathāparādha-sāsana 罪過に隨ふ教誡=律藏
yathābhucca 如實性
yathābhūta-ñāṇa 如實智
yathābhūta-ñāṇadassana 如實知見，如實智見
yathāvajja 不具者眞似，不具者の模倣，傷占ひ
yathāsanthatika 隨處住者，隨請坐者，隨得座者，隨得坐行者
yathāsanthatikaṅga 隨處住支
Yadatthiya〔傳◦轉輪王〕ヤダッティヤ
Yad anicca〔經〕凡そ無常なるもの S **35** 179〜184
Yad aniccaṁ〔經〕無常なるもの S **22** 15〜17
yanta 機械
yantaka 鑰
Yama〜Yāma〔死王，地獄王〕ヤマ，夜摩，閻魔，閻羅，焰摩，焰摩
yamaka 雙生兒
Yamaka ①〔比〕焰摩迦 ②〔人〕ヤマカ ③ ヤマカ，雙論〔七論の一〕Abhidhamma 6
Yamaka pacchima-bhāga 雙論後分
yamaka-paññatti 雙制
Yamaka paṭhama-bhāga 雙論前分
yamaka-pāṭihāriya=yamaka-pāṭihīra, yamaka-vikubbana 二重の神變，雙神變，雙

示導，雙の奇蹟，雙つの奇蹟，對偶示導
yamakapāṭihāriya-ñāṇa 雙變智，雙神通智，對偶示導智
yamaka-pāṭihīra=yamaka-pāṭihāriya 對偶示導，雙神變，雙示導，雙の奇蹟、雙つの奇蹟，二重の神變
yamaka-pāṭihīra-ñāṇa=yamaka-pāṭihīre ñāṇaṁ 雙神通智，雙變智，對偶示導智
yamaka-pāṭihīre ñāṇaṁ=yamaka-pāṭihīra-ñāṇa 對偶示導智，雙神通智，雙變智
Yamaka-vagga ① 雙雙品 S **35** 13～22 ② 雙品 A **8** 71～80；**10** 61～70；Dhp **1** vv 1～20
yamaka-vikubbana=yamaka-pāṭihāriya 雙神通
yamaka-sālā 沙羅雙樹，沙羅の雙樹，娑羅雙樹
Yamaka-sutta 焰摩迦經=次項
Yamako〔經〕焰摩迦 S **22** 85
Yamataggi ①〔古仙〕ヤマタッギ，耶婆提伽，夜婆提犍尼 ②〔王〕耶婆提伽
Yama-loka 閻魔界
Yama-visaya 閻魔境
Yamunā ①〔五河の一〕ヤムナー，耶牟那，閻牟那，夜摩那，閻摩那，耶符那，耶蒲那，搖尤那 ②〔水路〕ヤムナー
Yameḷu〔比〕ヤメール，夜婆
yava 麥
Yava〔王子〕ヤヴ
Yavakalāpi〔經〕麥把 S **35** 207
yava-kalāpin 麥把
Yavakalāpiya〔比丘の譬喩經〕ヤヴカラーピヤ Ap **3** 349
yava-khetta 穀田，麥畑
Yavana ①=Yona〔國，人〕ヤヴナ，臾那，餘尼，希臘 ② ヤヴナ人，アラビヤ人
Yavanaka=Yonaka〔國，人〕ヨーナカ，臾那人，希臘人
yava-pālaka 麥の番人
Yavapālaka-vimāna 麥番天宮 Vv 71
yava-bhatta 麥飯
yavasa 穀草
yava-suka 麥の芒
yasa 稱，稱譽，名聲，名譽
Yasa ①〔比〕耶舍 ②=Kākaṇḍakaputta-yasa〔第二結集比丘〕耶舍 ③=Yasas〔天〕耶舍 ④〔宮殿〕ヤサ，名聲 ⑤〔經〕名稱 A **8** 86
Yasa-Kākaṇḍakaputta=Yasa②〔第二結集比丘〕ヤサ・カーカンダカプッタ，耶舍迦乾陀子，耶舍迦蘭陀子，迦蘭陀子耶舍
Yasadatta〔比〕ヤサダッタ
Yasa-pabbajjā 耶舍出家 V **2** a 1，7
yasa-parihāni 稱譽の失
Yasapāṇi〔王〕ヤサパーニ
yasa-mada 美稱憍，名稱憍
yasa-mahatta 名聲の偉大
yasa-lābha 名利
Yasalāla〔ka〕〔王〕ヤサラーラ〔カ〕
Yasalālakatissa〔王〕ヤサラーラカティッサ
Yasavatī ①〔尼〕ヤサヴティー ②〔毘沙浮佛の母〕ヤサヴティー，有稱，有名稱，稱戒 ③〔吉祥佛の妃〕ヤサヴティー，有名 ④〔レーヴタ佛の信女〕ヤサヴティー ⑤〔婆羅門女〕ヤサヴティー ⑥〔都〕ヤサヴティー，有名聲
Yasavatī-pamukhāni khattiya-kaññā bhikkhuniyo aṭṭhārasa-sahassāni ヤサヴティーを上首とする一萬八千の刹帝利童女比尼丘〔の譬喩經〕Ap **4** 31
yasavant 榮光
Yasavant ①〔王，アノーマダッシー佛の父〕ヤサヴー，有稱 ②〔スメーダ佛の信士〕ヤサヴー，名稱家 ③〔宮殿〕ヤサヴー，有名
yasa-vuddhi 稱譽の得
Yasas=Yasa③〔天〕ヤサス，耶舍
Yasassikā〔人〕ヤサッシカー
yasassin 名稱あり，稱譽あり
Yasassin〔辟〕ヤサッシン
Yasuttarā〔帝釋妃〕ヤスッタラー
Yasoja〔比〕ヤソーヂャ，野輸那
Yasodhara ①〔傳◦王〕ヤソーダラ，耶輸陀羅 ②〔傳◦轉輪王，二十億耳の前生〕
Yasodharā ①=Rāhulamātā〔釋尊の妃，尼〕耶輸陀羅〔譬喩經〕Ap 4 28 ②〔アノーマダッ

シー佛の母〕ヤソーダラー，耶輸陀羅 ③〔スメーダ佛の信女〕耶輸陀羅 ④〔王女〕ヤソーダラー ⑤〔ギヂャヤバーフ一世王女〕ヤソーダラー
Yasodharā-pamukhāni aṭṭhārasabhikkhunī-sahassāni 耶輸陀羅を上首とする一萬八千比丘尼〔の譬喩經〕Ap 4 30
Yasovatī-pamukkhāni dasabhikkhunī-sahassāni 耶輸陀羅を上首とする一萬比丘尼〔の譬喩經〕Ap 4 29
yāga 獻供祭
yāgin 供犧者，供犧
yāgu 粥，乳糜
Yāgudāyaka 〔比丘の譬喩經〕ヤーグダーヤカ Ap 3 415
yāgu-bhājaka 分粥人，粥分配者
yāca=yāja 犧牲
yācaka 乞求者，乞食，乞食者
yācanā 乞求
Yācita〔村〕ヤーチタ
yācitaka 借りた品物，借りたる品，借用物
yācitaka-bhoga 借用せる財物
yācitakūpamā 借用物の喩，借用物の如く
yājaka 祭官，獻供者
Yādhava〔ダミラ人〕ヤーダヴ
yāna 乘物，乘，駕獸，車乘
yāna-kathā 乘物論，乘物の話，乘論，車乘論，車馬論〔無用論の一〕
yāna-kāra 造車師
yānaṭṭha 乘物
yāpana 保養
Yābāla〔村〕ヤーバーラ
Yāma=Suyāma～Yama 〔六欲天の一〕ヤーマ，夜摩，耶摩，炎魔，焰摩
yāmakālika 非時藥=次項
yāmakālika〔bhesajja〕時分藥
yāma-saṁvara 禁戒律儀，禁戒，制戒防護〔四種，尼乾子の說〕
Yāmahanu〔仙〕ヤーマハヌ
Yāmuna〔龍〕ヤームナ
yāvakālika〔bhesajja〕時藥
yāva-jīvika〔bhesajja〕盡形壽藥
yiṭṭha 犧牲
yuga 軛
yuga-nandha 倶存，雙連=止と觀
Yuganandha-kathā 倶存論 Pṭs 2 1
yuganandha-dhamma 雙連法，倶存法=定慧
Yuganandha-vagga 倶存品 Pṭs 2
yuganandha samatha-vipassanā 倶存の止觀
Yugandhara ①〔山〕ユガンダラ，持雙，由揵陀羅 ②〔夜叉〕ユガンダラ
yugādhāna 羈
yuta(A) 收稅官
yutta-paṭibhāna 相應辯
yuddha 兵學，戰，戰爭，鬪，鬪技，戰鬪
yuddha-kathā 戰爭論，戰爭の話，戰鬪論，戰論，戰陣論〔無用論の一〕
yuddhaṇṇava〔海戰法〕ユッダンナヴ
Yuddhiṭṭhila～Yudhiṭṭhila〔族，王統〕ユッディッティラ
Yudhañjaya〔王子，佛の前生〕ユダンヂャヤ
Yudhañjaya-cariyā 〔經〕ユダンヂャヤの所行 Cp 3 1
Yudhiṭṭhila ①〔童子，王，力士〕ユディッティラ，財勝 ②=Yuddhiṭṭhila〔族，王統〕ユディッティラ
yuva 靑年
Yuvañjaya〔王子〕ユヴンヂャヤ
Yuvañjaya-jātaka ユヴンヂャヤ・ヂャータカ，ユヴンヂャヤ王子本生物語 J 460
Yūthikapupphiya〔比丘の譬喩經〕ユーティカプッピヤ Ap 3 167, 200
yūthikā=yothikā〔花〕ユーティカ，素馨，瑜底迦
yena ajjhoharati 嚥下する處，食道
yena cittena āvajjati 顧念する心=轉向心
yena cittena jānāti 知る心=速行心
yena jīrati 老いしむるもの
yena nikkhamati 排出する處=肛門
yena pariḍayhati 燃燒せしむるもの
yena pariṇāmaṁ gacchati 消化せしむるもの
yena santappati 熱せしむるもの

yebhuyyasikā 多人語，多人〔語〕，多數決，多覓毘尼〔七滅諍の一〕
yevāpanaka 省略せられたるもの
yo 何れの
yo agga-phalaṁ sacchākāsi 最上果を現證せし者
yo agga-phalaṁ sacchikaroti 最上果を現證する者
yo agga-maggaṁ paṭilabhissati 最上道を獲得すべき者
yo avajānāti 輕蔑するもの
yo karoti so paṭisaṁvedeti 作者卽受者〔論〕
yoga ① 瑜伽，冥想，修習，瑜伽說，觀行，祈禱 ② 束縛，軛，繫縛，縛軛
Yoga〔經〕軛 S 45 172
yogakkhema 瑜伽安穩，瑜伽寂靜，軛安穩，安穩
Yogakkhemi〔經〕安穩者 S 35 104
yogakkhemin 安穩〔者〕，安穩者
yogakkhemi-pariyāya 安穩者敎
Yogakkhemi-vagga 安穩者品 S 35 104～113
yoga-gocchaka 軛群，軛聚
yoga c'eva dhamma yoganiya ca 軛法にして順軛なる
yoga c'eva dhamma yoga-sampayutta ca 軛法にして軛相應なる
Yoga-duka 軛二法
yoga dhamma 軛法
yoganiya c'eva dhamma no ca yoga 順軛法にして非軛なる
yoganiya dhamma 順軛法
yoga-vippayutta dhamma 軛不相應法
yoga-vippayutta dhamma ayoganiya 軛不相應にして不順軛なる
yoga-vippayutta dhamma yoganiya 軛不相應にして順軛なる
yoga-sampayutta 軛相應
yoga-sampayutta c'eva dhamma no ca yoga 軛相應法にして非軛なる
yoga-sampayutta dhamma 軛相應法
yogācariya 瑜伽師
yogācāra 瑜伽行
yogāvacara 瑜伽行者，瑜伽行〔者〕，觀行者，修行者
Yogikathā-pañha 修行者說話問
yogin 瑜伽行者，瑜伽者，修行者
Yogo〔經〕瑜伽 S 12 84
yogga 軛牛
yoggācariya 御者，馭者，調馬師，馬術師，騎師
yojana〔里程〕ヨーヂャナ，由旬
yojana-sata 百由旬
yothikā=yūthikā〔花〕ヨーティカー，素馨
yodha 軍士，戰士
yo dhammaṁ passati so paṭiccasamuppādaṁ passati 法を見る者は彼は緣生を見る
Yodhalābha〔章〕戰士獲得 Mv 23
Yodha-vagga 戰士品 A 3 131～140
yodhājīva 武士，戰士
yodhājīva-gāmaṇi 戰士聚落主
Yodhājīva-vagga 戰士品 A 4 181～190；5 71～80
yodhājīvūpama puggala 戰士喩人〔五種〕
Yodhājīvo〔經〕戰士 S 42 3
yodhi〔香〕ヨーディ
Yona=Yavana〔國〕ヨーナ，餘尼，臾那，希臘
Yonaka=Yavanaka ヨーナカ，臾那人，希臘人
Yonaka-Dhammarakkhita〔比〕臾那人達摩勒棄多=次項
Yonaka Mahādhamma-rakkhita〔比，傳道師〕希臘人大法護
Yonaka-loka 臾那世界，希臘植民地
yoni ① 胎，胎藏，生門 ② 生〔四種；卵，胎，濕，化〕
yoni āsavānaṁ khayāya 漏盡の因〔六種〕
yoni-mukha 生門
Yoniso〔經〕如理 S 45 55, 62, 69, 76, 83, 90；46 35, 36
yoniso-brahmacariyā 正しき梵行
yoniso-manasikāra 如理作意，如理の作意，如

理思惟，如理に作意すること，正思惟

yonisomanasikāra-sampadā 如理作意具足

Yo no cedaṁ〔經〕もしこれなかりせば S 14 33

yo paṭiccasamuppādaṁ passati so dhammaṁ passati 緣生を見る者は彼は法を見る，緣起を見る者は法を見る

yo puthujjano maggaṁ na paṭilabhissati 道を獲得せざるべき異生

yobbana 青春

yobbana-mada 壯年憍，壯年の憍逸，靑壯憍，年壯憍，血氣憍

yo maggaṁ paṭilabhissati 道を獲得すべきもの

yo magge jīvati 道中に生活する者

yo mīyati 死者

Raṁsisaññaka 〔比丘の譬喩經〕ランシサンニャカ Ap 3 86, 215
Raṁsisaññika 〔比丘の譬喩經〕ランシサンニカ Ap 3 85
rakkha ① 護，守護 ②=paritta 護經
Rakkha ①=Rakkhaka 〔カンチュキナーヤカ官〕ラッカ ②〔ランカーディナータ官〕③〔ランカープラ官〕④〔セーナーディナータ官〕⑤〔マハーレーカ官〕⑥〔髮舍利官〕⑦〔精舍〕
Rakkha〔ka〕 ①〔ダミラーディカーリ官〕ラッカ〔カ〕②〔ダンダーディナーヤカ官〕
Rakkhaka ① =Rakkha 〔將軍〕ラッカカ ②〔サンカナーヤカ官〕
Rakkhaka-Ilaṅga 〔將軍〕ラッカカ・イランガ
Rakkhaṅga〔地方〕ラッカンガ
Rakkhacetiya-pabbata〔精舍〕ラッカチェーティヤ山
rakkhato malaṁ 番士の垢穢
Rakkhadīvāna〔將軍〕ラッカディーヴーナ
Rakkhapāsāṇa〔地名〕ラッカパーサーナ
Rakkhapāsāṇakaṇṭha 〔地名〕ラッカパーサーナカンタ
Rakkhamāna〔池〕ラッカマーナ
rakkhasa ラッカサ，羅刹娑，羅刹，惡鬼，鬼神，魔鬼
Rakkhasa〔大臣〕ラッカサ
rakkhasī 羅刹女
rakkhita 護者
Rakkhita ①〔辟〕ラッキタ ②〔比〕ラッキタ，勒棄多 ③=Buddharakkhita〔比〕護 ④〔仙〕ラッキタ ⑤〔王子〕ラッキタ ⑥〔窟〕ラッキタ，所護 ⑦〔林〕所護
Rakkhita-leṇa 所護窟
Rakkhita-vanasaṇḍa ラッキタヴナサンダ，護寺林
rakhasā 抓傷
Ragā〔魔女〕ラガー，染，貪，貪欲
raṅga 舞堂戲場
raṅga-kāra 染工
raṅga-palibodha 染色障礙
racchā=rathiyā 車道
rajaka 洗濯者，洗濯人，浣衣者，漂白者，染工，染絲者
rajakattharaṇa 洗濯處
Rajakatthala〔村〕ラヂャカッタラ
rajaka-doṇi 浴槽
rajaka-putta 染織子
Rajakamatasambādha〔地名〕ラヂャカマタサンバーダ
rajakkha 塵垢
rajagga 塵埃聚
rajata 銀，銀貨，錢
Rajata ①〔精舍〕ラヂャタ ②〔經〕銀 S 56 83
Rajatakedāra〔地名〕ラヂャタケーダーラ
Rajata-pabbata 白銀山
Rajataleṇa〔精舍〕ラヂャタレーナ
rajata-vimāna 銀の宮殿
rajana ① 染色 ② 染料，染汁
rajana-kumbhī 染釜
rajana-nipakka 顏料
rajanīya 染心を煽る，貪らるべき，貪るべき
rajanīya dhamma 貪らるべき法，貪るべき物
Rajanīyasaṇṭhitaṁ〔經〕所染止住 S 22 70
rajas 塵，不淨
rajā-patha 塵道
rajuka (A) 司直官
rajo-jalla 塵泥，塵垢，塵垢身，塵土者
rajojalla-dhara 著塵埃者
rajo-jallika 塵泥を塗る者
rajo-hara 塵垢の除去
rajoharaṇa 箒，雜巾
rajja 王國，王位，主權，王權，國政，統治，政權
Rajja〔經〕統治 S 4 20
rajjaṁ karoti 攝政をなす
Rajja-dāna〔章〕王權還附 Cv 70
Rajjabhārāropana 〔章〕王事の荷を譲ること Cv 87
rajja-sukha 政權の樂
rajju 繩

Rajju〔經〕紐 S **17** 29
rajju-bandhana 繩縛
Rajjumālā〔夷，死後生天〕ラッヂュマーラー
Rajjumālā-vimāna ラッヂュマーラー女天宮 Vv 50
rañño Udenassa uyyāno 優塡王の苑
rañño cakkavattissa jeṭṭho putto 轉輪王の長子〔五支成就〕
rañño nāgo 王象，王の象
rañño bhaddo assājāniyo 王良馬，王の良馬
Raṭhika (A)〔國〕ラティカ
raṭṭha-pāla 護國者
Raṭṭhapāla〔比〕ラッタパーラ，羅吒波羅，賴吒婆羅，賴吒恕羅，賴吒和羅，護國〔譬喩經〕羅吒波羅 Ap 3 18
Raṭṭhapāla-sutta ラッタパーラ・スッタ，賴吒恕羅經 M 82
raṭṭha-vaddhana 國土の增大者
raṭṭhika 封侯
raṇa 諍惱，諍亂
ratana ① 寶，寶石，寶物 ②〔長さの量〕ラタナ
Ratana ①〔村〕ラタナ ②〔道場〕③〔精舍〕
ratana-gaṇa 寶聚
Ratana-gaha 寶の家
Ratanagghi〔宮殿〕ラタナッギ
Ratanacaṅkama-kaṇḍa 寶珠經行處品 Bv 1
ratanattaya 三寶〔佛，法，僧〕
Ratanadāṭha〔ダートーパティッサ一世王の甥〕ラタナダータ
Ratanadoṇisama〔村〕ラタナドーニサマ
ratana-narī 女寶
Ratanappajjala〔傳◦轉輪王〕ラタナッパッヂャラ
Ratana-vagga 寶品 V **1** a 5, 83～92
Ratanavāluka=Mahāthūpa〔塔〕ラタナヴールカ
ratana-vimāna 寶宮
Ratana-sutta ① 三寶經，寶經 Khp 6 ② 寶經 Sn **2** 1 ③=Gaṅgārohana-sutta 寶經
Ratanākara〔地方〕ラタナーカラ
ratanāpaṇa 寶石店（佛の）
Ratanāvalī〔パラッカマバーフ一世王の母，王女〕ラタナーヴリー
Ratanāvālicetiya〔塔〕ラタナーヴーリチェーティヤ
ratanuccaya 寶塔
Ratambura〔村〕ラタンブラ
rati 樂，淫樂，淫欲
Rativaḍḍhana〔宮，園〕ラティヴッダナ，喜增
Rato〔經〕喜樂 S **35** 198
Rattakara〔地名〕ラッタカラ
rattakoraṇḍaka〔樹〕ラッタコーランダカ
ratta-candana 赤栴檀
ratta-citta 染心，情欲心
ratta-citta-vipariṇata 情欲變心
rattaññu 耆宿，長夜を經たる
rattaññu-mada 知識憍，經驗憍
rattandhakāra 闇夜
Rattandhakāra-vagga 闇夜品 V **1** b 4, 11～20
Rattapāṇi〔染織工〕ラッタパーニ
Rattabeduma〔地名〕ラッタベードゥマ
Rattamāla〔山〕ラッタマーラ
Rattamālakaṇḍaka〔池〕ラッタマーラカンダカ
ratta-sāli 赤稻
rattātikkanta 過夜
Ratti〔精舍〕ラッティ
rattiṁ bhuñjati 夜食す
rattika〔花〕ラッティカ
ratti-khitta sara 夜陰に放たれし箭
ratticcheda 夜斷
ratti-divā 晝夜
rattindivā parivattanti 晝夜の回轉す
Rattipupphiya〔比丘の譬喩經〕ラッティプッピヤ Ap 3 173
ratti-bhojana 夜食
rattiyo 日夜
rattuparata 夜食を廢す，夜不食者
ratha ラタ車，車，車駕，車輿，馬車
Ratha〔經〕車 S **1** 72；**17** 36
rathaka 車遊び，車戲，小車

ratha-kāya 車軍，車軍勢，車衆
ratha-kāra ① 車匠，車師，造車，製車人 ② =camma-kāra 皮作り，革職人
Rathakāra〔池〕造車
rathakāra-kula 賤族，造車族，車匠家
rathakāra-jāti 車師種
Rathakāra-vagga 車匠品 A 3 11〜20
Rathakārā〔七大湖の一〕ラタカーラー，造車
ratha-kārī 車匠女
Rathakārī-petavatthu 造車鬼事 Pv 3 3
rathatthara 車の覆
Rathalaṭṭhi-jātaka ラタラッティ・チャータカ，車鞭本生物語 J 332
Rathavatī〔緊那羅女〕ラタヴァティー
ratha-vinīta 傳車
Rathavinīta-paṭipadā=Rathavinīta-sutta ラタヴィニータ行道
Rathavinīta-sutta ラタヴィニータ・スッタ，傳車經 M 24
ratha-sadda 車聲，兵車聲
ratha-sippa 車を御するの術
rathānīka 車兵隊
rathārūha 乘車者
rathā-senā 車軍
rathika 車兵，車術師，乘車者
rathiya-coḷa 路上布
rathiyā=racchā 街，街路，道路，路巷，車道
rathīsā 車轅
rathesabha 車の御者，調御者の主
rathopamā 車の比喩
randha 缺點
Randhakandaka〔池〕ランダカンダカ
rabhasa=bahu-bhāṇin 饒舌
Ramaṇa=Rāmañña〔國〕ラマナ，ビルマ
Ramaṇīyakuṭika〔比〕可喜屋舍住
Ramaṇīyavihārin〔比〕ラマニーヤヴィハーリ
rambhā〔樹〕ランバー，バナナ
Ramma ①〔パドゥマ佛の子〕ランマ ②〔ソービタ佛の信士〕ランマ ③〔毘舍浮佛の信士〕ランマ，樂 ④=Rammaka〔傳◦城〕ランマ
rammaka〔月〕ランマカ
Rammaka ①〔婆〕ランマカ ②=Ramma〔傳◦城〕ランマカ，喜樂 ③=Rāmaka〔園〕ランマカ
Rammavatī〔城〕ランマヴァティー，有喜樂
Rammā〔スッダッタ佛の信女〕ランマー，所樂
Ralaggāma〔精舍〕ララッガーマ
rava 騷擾
ravattha 疾駈
ravi 太陽
Ravideva〔將軍〕ラヴィデーヴ
ravi-vaṁsa〔族〕日種
ravi-haṁsa〔鳥〕ラヴィハンサ，日鵝
rasa ① 味，好味，味覺，甘味，食味 ② 作用
rasaka 司厨
rasa-gandha 液香
rasagga 最上の味感〔三十二相の一〕
rasañjana 礬塗藥
rasa-taṇhā 味愛，味覺慾，味渴愛
rasa-dhātu 味界
Rasa-paṭisaṁvedi-pañho 味覺知の問 Mil 2〔6〕7
rasa-paṭhavī, rasa-pathavī 味地，地味
rasa-bhoga 味樂
rasa-rasa 味味
rasa-sañcetanā 味思〔六思身の一〕
rasa-saññā 味想
rasa-haraṇī 味覺處，味覺神經
rasānaṁ sādutaraṁ 最上の味
rasāyatana 味處
rasūpahāra 味持現
rasodaka 味水，椰子樹の液汁
rasmi 手綱
rahada 沼，湖，湖水
rahada nivāta 深き池の底
rahassa 祕密，隱處法
rahassaka 祕密義
Rahera ①〔山〕ラヘーラ ②〔池〕
Raheraka〔山〕ラヘーラカ
raho 祕密，閑靜處

raho-gata 孤坐，寂靜處
Rahogata〔經〕獨一 S 52 1, 2
Rahogataka〔經〕獨坐 S 36 11
Rahogata-vagga ① 獨坐品 S 36 11～20 ② 獨一品 S 52 1～10
raho-vāda 陰口
Rahosaññaka〔比丘の譬喩經〕ラホーサンニャカ Ap 3 135
rāga 貪，貪欲，染心，貪染，欲念，欲染，欲情，染欲
Rāga〔章〕貪 A 8〔10〕1；9〔10〕1
rāga-kiñcana 貪障〔三障の一〕
rāgakkhaya 貪欲の壞滅，染欲の消盡
rāgaggi 貪火
rāga-carita 貪行者
rāga-cariyā 貪行
rāga-dhamma 染法
rāga-patha 貪路
Rāga-vagga 貪品 A 8〔10〕；9〔10〕；10 217～219
Rāga-vinaya ①〔章〕貪欲調伏 ②〔經〕貪欲調伏 A 10 126, 130
rāga-vinayāya paṭipanno 貪調伏の行跡
rāga-virāga 染欲捨離，貪欲を遠離す
rāga-salla 貪箭
rāga-sahagata 貪倶行，貪倶
rāgānusaya 貪隨眠，染欲隨眠
Rāja ①〔大臣〕ラーヂャ ②〔精舍〕ラーヂャ ③〔經〕王 S 3 3；55 1
rāja-agha 王者の苦
rāja-kakudhabhaṇḍa 王の標幟，王の標章，王者の象徴〔五種〕
rāja-kathā 國王の話，國王論，王論，王の話〔無用論の一〕
Rājakārāma〔精舍〕王園
Rājakārāma-vagga=Sahassa-vagga 王園品 S 55 11～20
rāja-kumāra 王子
rāja-kula 王家，王宮，法廷
Rājakulantaka〔都〕ラーヂャクランタカ
Rājakulavaḍḍhana〔房舍〕ラーヂャクラヴッダナ
rāja-kosa 王庫
Rājagaha〔城，都〕ラーヂャガハ，王舍城，羅閱祇
Rājagāma〔城〕ラーヂャガーマ
Rājagiri〔象〕ラーヂャギリ
Rājagirika, Rājagiriya〔部派〕王山部
rāja-guṇa 王德藝
rājañña 王族
Rājadatta〔比〕ラーヂャダッタ
rāja-dāya 拜領地
rāja-dūta 王使
Rājadvayadīpana 二王章 Cv 39；51
rāja-dhamma 王道
rāja-dhānī 都城，王都
rājan 王，國王
〔upa〕rājan 副王
Rājanārāyaṇa〔園〕ラーヂャナーラーヤナ
rājantarāya 王の障礙，國王の障礙〔十障礙の一〕
rājantepura 王の後宮，王宮，宮廷
Rājantepurappavesana〔經〕入後宮 A 10 45
rāja-paccatthika 王怨家
rāja-putta 王子
Rājaputta-petavatthu 王兒鬼事 Pv 4 7
rāja-porisa 王臣，王事，官職
rāja-bhaṭa 王兵，王臣
rāja-bhaya 王の怖畏，王畏，王の畏
rāja-bhogga ① 王領地 ② 大臣
rāja-mahāmatta 王臣
Rājamahāvihāra ラーヂャ大精舍
Rājamātika〔精舍〕ラーヂャマーティカ
Rāja-mālaka 王道場
Rājamittaka〔村〕ラーヂャミッタカ
Rājaraṭṭha〔洲〕ラーヂャラッタ
rāja-ratha 王車
Rājarājakalappa〔ダミラ人〕ラーヂャラーヂャカラッパ
rāja-vaṁsa 王統，王種能力
Rāja-vagga ① 王品 M 81～90；A 5 131～140 ② 寶品

rāja-vatthu 王地
rāja-vasati 王住，王宮住
rāja-vāda 王者の論
Rājavesibhujaṅga ①〔都〕ラーヂャヹーシブヂャンガ ②〔假殿〕
Rājavesibhujaṅga-Silāmegha=Ilaṅkiya〔ダミラ人〕ラーヂャヹーシブヂャンガシラーメーガ
Rājasālā〔精舎〕ラーヂャサーラー，王庵
Rājasīha ①〔一世王〕ラーヂャシーハ ②〔二世王〕③=Sirivijaya-rājasīha〔王〕④〔王〕
Rājasīhamahāḷa〔地名〕ラーヂャシーハマハーラ
Rājasīharājadīpaka〔章〕ラーヂャシーハ王 Cv 96
Rājā〔經〕王 S 45 145
rājā khattiyo muddhāvasitto 灌頂せる王族の王，灌頂せられたる王族，刹帝利灌頂王
rājāgāra 王宮
rājāgāraka 王の家，王宮
rājābhirājan 王中の王
Rājāyatana ①〔樹〕ラーヂャーヤタナ，羅闍耶他那，羅闍那，王處 ②〔塔廟〕ラーヂャーヤタナ
Rājāyatana-kathā 羅闍耶他那〔樹下〕緣 V 2 a 1, 4
Rājāyatanadhātu〔精舎〕ラーヂャーヤタナダートゥ
rājāraka 國王休憩堂
Rājāvātasama〔傳◦轉輪王〕ラーヂャーヴータサマ
Rājāvilokana〔傳◦轉輪王〕ラーヂャーヸローカナ
rājika〔重量〕ラーヂカ
Rājinā〔地名〕ラーヂナー
Rājināpuragahaṇa-niddesa〔章〕ラーヂナープラ攻略次第 Cv 76
Rājini〔宮〕ラーヂニ
Rājinī ①〔カッサパ五世王妃〕ラーヂニー ②〔尼院〕ラーヂニー，女王 ③〔瀑布〕ラーヂニー
Rājinīdīpaka〔精舎〕ラーヂニーディーパカ
Rājindabrahmamahārāja〔ダミラ人〕ラーヂンダブラフママハーラーヂャ
rājisi 王仙
Rājuppala〔池〕ラーヂュッパラ，王青蓮
rājūka〔A〕司直官
rājūsu sotthānaṁ 王中の吉祥
rājorodhā 宮女
Rājovāda-jātaka ラーヂョーヴーダ・ヂャータカ，王訓本生物語 J 151, 334
Rādha ①〔比〕ラーダ，羅陀〔譬喩經〕Ap 3 536 ②〔鸚鵡〕ラーダ ③〔經〕羅陀 S 22 71；35 76〜78
Rādha-jātaka ラーダ・ヂャータカ，ラーダ鸚鵡本生物語 J 145, 198
Rādha-saṁyutta ラーダ・サンユッタ，羅陀相應 S 23 1〜46
Rādhā〔パドゥマ佛の上足尼〕ラーダー
Rāma ①〔神〕ラーマ ②〔王〕ラーマ，羅摩，邏摩 ③〔王子〕ラーマ，羅摩，邏摩 ④〔英雄，將軍〕ラーマ ⑤〔婆〕ラーマ ⑥=Uddaka Rāmaputta〔仙〕⑦〔釋種〕羅摩 ⑧〔村〕ラーマ ⑨〔宮殿〕ラーマ，悦樂
Rāmakula〔象〕ラーマクラ
Rāmagāma〔城，邑〕ラーマガーマ，羅摩伽，羅摩村
Rāmagoṇaka〔精舎〕ラーマゴーナカ
Rāmañña=Ramana〔國〕ラーマンニャ，ビルマ
Rāmaṇeyyaka ①〔比〕ラーマネッヤカ ②〔經〕樂しきところ S 11 15
Rāmaputta〔沙門〕ラーマプッタ，羅摩弗多
Rāmā ①〔パヅゥマ佛の第一比丘尼〕羅摩 ②〔スメーダ佛の第一比丘尼〕
Rāmāyaṇa〔詩書〕ラーマーヤナ
Rāmissara ①〔地名〕ラーミッサラ ②〔園〕
Rāmucchuvallika〔村〕ラームッチュヴッリカ
rāyara〔官職〕ラーヤラ
Rāvaṇa〔王〕ラーヴナ
rāsi 聚〔三種；正定，邪定，不定〕
Rāsiya-gāmaṇi ラーシヤ聚落主

Rāsiyo 〔經〕王髮 S **42** 12
Rāhu 〔鬼，阿修羅王〕ラーフ，羅睺，羅睺鬼，蝕
Rāhu-asurinda 阿修羅王，羅睺，羅睺阿修羅王
Rāhubhadda 〔阿修羅〕ラーフバッダ，羅耶跋兜樓
Rāhumukha 羅睺口刑
Rāhula ①=Rāhulabhadda 〔佛の實子，比〕ラーフラ，羅睺羅〔譬喩經〕Ap 3 16 ②〔經〕羅睺羅 S **22** 91，92；**35** 121
Rāhulabhadda=Rāhula 〔佛子，比〕ラーフラバッダ，羅睺羅跋陀〔羅〕
Rāhula-mātar=Bimbasundarī, Yasodharā, Bhaddakaccānā 〔妃，尼〕羅睺羅の母
Rāhula-saṁyutta ラーフラ・サムユッタ，羅睺羅相應 S **18** 1〜22
Rāhula-sutta ① 羅睺羅經 Sn 2 11 ②=Mahārāhulovāda-sutta
Rāhulovāda=Mahārāhulovāda-sutta 〔經〕羅睺羅誡
Rāhulovāda-pariyāya=Rāhulovāda 〔經〕教誡羅睺羅の法門
ritta 空無，空虚，空缺，缺
ritta-udakamaṇikā 空虚なる水瓶
ritta patta 空鉢
Risṭika (A)=Raṭṭhika 〔國〕ラティカ
rukkha 樹，木，樹木〔四種〕
Rukkha 〔經〕樹 S **45** 152；**46** 39；**48** 67〜70
rukkhakoṭṭha-sakuṇa 啄木鳥
rukkha-chāyā 樹蔭
rukkha-tūla 木綿
rukkha-devatā 樹神
rukkha-devatā kāḷa-sīha 樹神と黒獅子
Rukkhadhamma-jātaka ルッカダンマ・ヂャータカ，樹法本生物語 J 74
rukkha-nimitta 樹相
rukkha-phala 樹果
rukkha-phalūpamā 樹果の喩，樹果の如く，樹果に譬へられ
rukkha-mūla 樹下，樹根，樹の根
rukkhamūla-senāsana 樹下坐，樹下座
rukkhamūlika 樹下住者，樹下〔住者〕，樹下坐行者
rukkhamūlikaṅga 樹下住支
Rukkha-vagga 樹品 S **12** 51〜60
rukkha-viṭabhi 樹の杈
rukkha-susira 樹の洞
Rukkhānaṁ acetana-pañho 樹無思の問 Mil 4〔3〕3
rukkhikā nāvā 木舟
rukkhūpama puggala 樹に喩ふべき補特伽羅，樹喩人〔四種〕
rukkhūpamā 樹木の例，樹喩
ruca 〔樹〕ルチャ，幸
Rucānandā=Rūpanandā 〔尼〕ルチャーナンダー
ruci 喜，樂，愛好，欲，意欲，好み，所樂，目的
Ruci ①〔傳◦轉輪王〕ルチ，嚕唧，喜，善喜 ②〔宮殿〕ルチ，喜
Rucigattā 〔拘那含牟尼佛の妃〕ルチガッター，喜肢
Rucidevī 〔憍陳如佛の妃〕ルチデーヸー，喜妃
Rucira-jātaka ルチラ・ヂャータカ，美麗本生物語 J 275
Rucī 〔パドゥマ佛の信女〕ルチー
Rujā 〔王女〕ルヂャー
ruṇṇa=roṇṇa 涕泣，啼泣，號泣
ruppati 惱壞せらる
ruppana 惱壞〔色の相〕
ruru ルル，鹿
Ruru 〔鹿王〕ルル
Ruru-jātaka ルル・ヂャータカ，ルル鹿本生物語 J 482
Rururāja-cariyā 〔經〕ルル鹿王の所行 Cp 2 6
Ruhaka 〔司祭〕ルハカ
Ruhaka-jātaka ルハカ・ヂャータカ，ルハカ婆羅門本生物語 J 191
Ruhaka-vagga ルハカ品 J 191〜200
ruhiruppādaka=lohituppādaka 出〔佛身〕血者
ruhiruppāda-kamma 出〔佛身〕血業

rūpa 色，色身，色相，形相，容色，容姿，姿態，像，相，像相，畫，人形
Rūpa〔經〕色 S 18 2, 12; **25** 2; **26** 2; **27** 2
Rūpaṁ kamman ti kathā 色業論 KV 8 9
Rūpaṁ kusalākusalan ti kathā 色善不善論 KV **16** 7
Rūpaṁ maggo ti kathā 色道論 KV **10** 2
Rūpaṁ rūpāvacarārūpāvacaran ti kathā 色色界繫無色界繫論 KV **16** 9
Rūpaṁ vipāko ti kathā 色異熟論 KV **16** 8
Rūpaṁ sahetukan ti kathā 色有因論 KV **16** 6
Rūpaṁ sārammaṇan ti kathā 色有所緣論 KV 9 3
Rūpaṁ hetū ti kathā 色因論 KV **16** 5
rūpaka=rūpa 人形
rūpa-kammaṭṭhāna 色の業處
rūpa-kalāpa 色聚
rūpa-kāya 色身
rūpakkhandha 色蘊
rūpa-jīvitindriya 色命根，色の命根
rūpaññū 色を知る
rūpa-taṇhā 色愛〔三愛，六愛身の一〕
rūpa-dakkha 法官，色見者
rūpa-dhamma 色法
rūpa-dhātu 色界
Rūpadhātu-kathā 色界論 KV 8 5
Rūpa-dhātuyā āyatana-kathā 色界處論 KV 8 7
rūpa-nandi 色喜
rūpa-nimitta 色相
rūpa-puñja 色聚
rūpa-bhava 色有，色の存在=色界〔三有の一〕
rūpa-bhoga 色樂
rūpa-rasa 色味
rūpa-rāga 色貪
Rūparāgo rūpadhātu-pariyāpanno, arūparāgo arūpadhātu-pariyāpanno ti kathā 色貪色界繫屬無色貪無色界繫屬論 KV **16** 10
rūpa-rūpa 色色，壞色
Rūpavatī ①〔パラッカマバーフ一世王妃〕ルーパヴァティー ②〔王女〕③〔塔廟〕
rūpavavatthāpana-paññā 色差別慧
Rūpa-vibhatti 色品 Dhs **2**
rūpa-saṁgaha 色聚
Rūpa-saṅgaha-vibhāga 攝色分別 Abhsaṅg **6**
rūpa-sañcetanā 色思
rūpa-saññā 色想
rūpasaññin 色想〔者〕
rūpa-samāpatti 色界定
rūpasahagata saññā-manasikāra 色と俱行する想作意
rūpassa atthagamo 色の消滅
rūpassa aniccatā 色無常性
rūpassa ādīnavo 色の過患，色の患
rūpassa upacayo 色積集，色增廣
rūpassa kammaññatā 色適業性，色適應性
rūpassa jaratā 色老性
rūpassa mudutā 色柔軟性，色軟性
rūpassa lahutā 色輕快性，色輕性
rūpassa santati 色相續
rūpassa samudayo 色の集
Rūpādi-vagga 色等品 A **1** 1
rūpānaṁ assādo 色の味
rūpānaṁ nissaraṇaṁ 色の出離，色よりの出離
rūpānaṁ pariññā 色の遍智，色に就ての智
Rūpānandā=Rucānandā 〔尼〕ルーパーナンダー
rūpāyatana 色處
Rūpāramma〔精舍〕ルーパーランマ
rūpārammaṇa sukha 色緣樂
rūpāvacara 色界，色界繫，色纏
rūpāvacara-kiriyā 色界繫唯作
rūpāvacara-kiriyā-citta 色界唯作心
rūpāvacara-kusala 色界善，色界繫善，色纏善
rūpāvacara-kusala-citta 色界善心
rūpāvacara-kusala-dhamma 色纏善法
rūpāvacara-kusalahetu 色界繫善因
rūpāvacarajjhāna 色界禪
Rūpāvacara-duka 色界繫二法 Duka **94**
rūpāvacaraduka-kusalattika 色界繫二法善三法 Duka-tika 103
rūpāvacara-dhamma 色界繫法，色纏法

rūpāvacara-paṭisandhi 色界結生
rūpāvacara-bhūmi 色界地，色塵地
rūpāvacara-magga 色界の道
rūpāvacara-vipāka 色界繫異熟，色界異熟
rūpāvacara-vipāka-citta 色界異熟心
rūpāvacara-vipākahetu 色界繫異熟因
rūpāvacara-samādhi 色界定
rūpāvacara-samāpatti 色界の等至，色界定，色塵の等至
rūpāvacarā paññā 色塵慧，色界慧
Rūpāsobhiṇī〔尼〕ルーパーソービニー
rūpin 有色，有色者，色身，有形
rūpiya 金錢，銀，銀造，金銀
rūpiya-cuṇṇa 白銀の粉
rūpiyachaḍḍaka-bhikkhu 捨金銀比丘
rūpiya-pāti 銀鉢
rūpiya-maya 銀所成
rūpiya-saṁvohāra 金銀の賣買
Rūpī〔夷〕ルーピー
Rūpī attā〔經〕有色我 S 24 37
rūpī attā hoti arogo 有色無病の我有り
Rūpī ca arūpī ca〔經〕有色無色 S 24 39
Rūpī ca arūpī attā hoti arogo　有色にして無色なる無病の我有り
Rūpī-duka 有色二法 Duka **11**
rūpīduka-kusalattika　有色二法善三法 Duka-tika 32
rūpī dhamma 有色法
rūpī rūpāni passatīti vimokkha 有色觀諸色解脱
rūpupapattiyā maggo　色生の道，色界に生ずべき道
rūpupādānakkhandha 色取蘊
rūpūpahāra 色持現
rūpokāsa 色容有
rūhita 瘡
reṇu 花粉，塵芥
Reṇu　①〔傳◦轉輪王〕レーヌ，黎努 ②〔王子〕
Reṇupūjaka〔比丘の譬喩經〕レーヌプーヂャカ Ap 3 110
Reṇuvatī〔傳◦城〕レーヌヴティー
Remuṇasela〔地名〕レームナセーラ
Rerupallika〔地方〕レールパッリカ
Reva〔比〕レーヴ
Revata　①〔佛〕レーヴタ，離曰，離婆多，諂曲 ②〔シッダッタ佛の侍者〕レーヴタ，離曰 ③〔比〕レーヴタ，離婆多，離越，離曰，隷婆哆 ④=Kaṅkhā-revata〔比〕レーヴタ，離伐多 ⑤=Revata Khadiravaniya〔比，劫地羅林住〕隷婆哆 ⑥〔第二結集比丘〕レーヴタ，離婆多，離波多 ⑦〔佛音時代の比丘〕レーヴタ
Revata Khadiravaniya=Revata〔比，阿蘭若住第一〕レーヴタカディラヴニヤ，哩嚩帝佉彌囉嚩儞，隷婆多劫地羅林住
Revatā〔尼〕レーヴター
Revatī　①〔ナンディヤーの妻，死後墮獄〕レーヴティー ②=Sīvalī〔妃〕
Revatī-petavatthu　レーヴティー鬼事 Pv 4 4
Revatī-vimāna　レーヴティー女天宮 Vv 52
roga 病，疾，疾病，疫病，病苦
roga-nīḷa 病巣
roga-phassa 病觸
rogabyasana-dukkha〔健康を〕失ふ病氣の苦
roga-bhaya　疾病の畏怖，病畏，病の畏，病の怖畏
roga-rūpa 病色
roga-vyasana=roga-byasana　病の不幸，病の厄難，病損失，病損減，疾病の喪失
Roja ①〔王〕ローヂャ，樓夷，盧遮 ②〔天〕ローヂャ，槵耶 ③〔末羅人，阿難の幼友〕ローヂャ，盧夷
Rojāna〔城〕ローヂャーナ
roṇṇa=ruṇṇa 啼泣，涕泣，號泣
rodati 泣く
ropima 改良蘆
Roma〔傳◦轉輪王〕ローマ
Romaka-jātaka　ローマカ・ヂャータカ，羽毛本生物語 J 277
romaka-loṇa ローマカ鹽
romanthaka 呞者

Romasa ①〔佛〕ローマサ ②〔傳◦轉輪王〕③〔人〕④〔山〕

Roruka～Roruva〔城〕ロールカ，勞嚕迦

roruva 鹿

Roruva ①〔地獄〕ロールヴ，叫喚，號叫，嚕羅婆 ②～Roruka〔城〕

rosaka 惱害者

Rohaṇa ①〔人〕ローハナ ②〔比〕ローハナ，樓漢 ③〔釋種〕ローハナ ④〔塞〕ローハナ ⑤〔村，村長〕ローハナ ⑥〔錫蘭島南部地方〕ローハナ，樓醯那

Rohaṇanakula〔都〕ローハナナクラ

Rohaṇa-vijaya〔章〕ローハナ州征服 Cv 75

Rohaṇārātivijaya 〔章〕ローハナの敵征服 Cv 57

Rohanta ①〔湖〕ローハンタ ②〔鹿〕

Rohantamiga-jātaka ローハンタミガ・ヂャータカ，ローハンタ鹿本生物語 J 501

rohicca ①～rohita〔鹿〕ローヒッチャ ②〔鳥〕

rohiṇī〔星宿〕ローヒニー

Rohiṇī ①〔傳◦轉輪王〕ローヒニー ②〔給孤獨長者の婢〕ローヒニー，赤牛 ③〔尼〕ローヒニー ④〔河〕ローヒニー，盧奚多

Rohiṇī-jātaka ローヒニー・ヂャータカ，赤牛女本生物語 J 45

Rohiṇeyya ①〔大臣〕ローヒネーヤ ②＝Ghaṭa〔悪魔〕

rohita ①〔魚〕ローヒタ ②～rohicca〔鹿〕ローヒタ，ローヒタ鹿，赤鹿

Rohitassa ①〔天子〕赤馬 ②〔仙〕③〔人〕④〔經〕赤馬 S 2 26

Rohitassa-vagga 赤馬品 A 4 41～50

laṁghī 〔鹿〕 ランギー
Lakuṇṭaka＝Lakuṇṭaka-bhaddiya, Bhaddiya 〔比〕 ラクンタカ, 侏儒
Lakuṇṭaka-bhaddiya～Lakuṇṭaka 〔比, 妙音第一〕 ラクンタカバッディヤ, 羅婆那跋提, 侏儒拔提
lakkha 〔數〕 ラッカ, 洛叉, 十萬
Lakkha 〔園〕 ラッカ, 十萬
lakkhaṇa 相, 特相, 特徵, 標識, 相好, 相術, 觀相, 占相, 吉凶相, 體相の占ひ, 男女相判斷
Lakkhaṇa ① 〔比〕 ラッカナ, 勒佉尧, 勒叉那 ② 〔王子〕 ラッカナ, 相 ③ 〔婆〕 ラッカナ ④ 〔鹿〕 瑞相
Lakkhaṇa-kathā 相論 KV **4** 7
lakkhaṇa-kusala 相に通ず, 相を解す
Lakkhaṇa-jātaka ラッカナ・ヂャータカ, 瑞相鹿本生物語 J 11
Lakkhaṇa-pañho 特相の問 Mil **1** 2の中
lakkhaṇa-pāṭhaka 占相者
lakkhaṇa-manta 相好呪
lakkhaṇa-mātikā 相論母
lakkhaṇa-rūpa 相色
Lakkhaṇa-saṁyutta ラッカナ・サムユッタ, 勒叉那相應 S **19** 1～21
lakkhaṇa-suñña 相空
Lakkhaṇa-suttanta ラッカナ・スッタンタ, 三十二相經 D **30**
lakkhaṇāyutti-kathā 相問說
lakkhaṇāhata 烙印の刑を受けたる者
Lakkhadhammā 〔尼〕 ラッカダンマー
lakkhī 好運
Lakkhī＝Lacchī 吉祥天, 吉祥神
Lakhumā 〔夷, 死後生天〕 ラクマー
Lakhumā-vimāna ラクマー女天宮 Vv 19
laguḷa 木槌
Laṅka 〔將軍〕 ランカ
Laṅkā ① 〔城〕 楞伽 ② 〔精舍〕 ランカー, 楞伽
laṅkāgiri 〔官職〕 ランカーギリ
Laṅkāgiri 〔地名〕 ランカーギリ
Laṅkātilaka 〔堂, 園, 精舍〕 ランカーティラカ, 楞伽の飾り
Laṅkā-dīpa＝Sīhala-dīpa, Tambapaṇṇī 楞伽島, セイロン島
laṅkādhikāri〔ka〕 〔官職〕 ランカーディカーリ〔カ〕
laṅkādhinātha＝laṅkādhināyaka, laṅkādhikārika 〔官職〕 ランカーディナータ
laṅkādhināyaka＝laṅkādhinātha 〔官職〕 ランカーディナーヤカ
laṅkānātha＝laṅkādhinātha 〔官職〕 ランカーナータ
Laṅkāpabbata 〔地方〕 ランカーパッバタ, 楞伽山
laṅkāpura 〔官職〕 ランカープラ
Laṅkāpura＝Deva 〔將軍〕 ランカープラ
Laṅkā-bhāsā＝Sīhalabhāsā 楞伽國語
Laṅkāmahālāna 〔戰士〕 ランカーマハーラーナ
Laṅkāvilopa 〔章〕 楞伽島劫掠 Cv 55
laṅgī 閂
laṅghana-naṭaka 輕業師
laṅghika 曲藝師, 輕業師
Lacchī＝Lakkhī 吉祥神, 吉祥天
lajūka (A) 司直官
lajjava 柔和
Lajjika ① 〔村〕 ラッヂカ ② 〔座席堂〕
Lajji〔ka〕tissa 〔王〕 ラッヂ〔カ〕ティッサ
lajjin 有恥, 慚恥心〔者〕
lajji-puggala 有恥人
lañca 賄賂
laṭā 蔓, 蔓草
Laṭukika-jātaka ラトゥキカ・ヂャータカ, 鶉本生物語 J 357
laṭukikā 鶉
Laṭukikopama-suttanta ラトゥキコーパマ・スッタンタ, 鶉喩經 M 66
Laṭṭhi＝Laṭṭhivana 〔林〕 ラッティ, 杖
laṭṭhi-madhu 甘草
Laṭṭhimadhuka 〔林〕 ラッティマヅゥカ, 杖蜜
Laṭṭhivana＝Laṭṭhi ラッティヴナ, 杖林
Laṭṭhivanuyyāna 杖林の園

laṭṭhi-hattha 執杖〔道者〕
Laṭhika (A)〔國〕ラティカ
latā＝laṭā 蔓樹，蔓草，蔓，葛
Latā〔毘沙門天女〕ラター
latā-tūla 蔓綿
Latā-vimāna ラター天女天宮 Vv 32
Lada〔村〕ラダ
laddhi, laddhika 邪執，主張
lapa 饒舌，虚談
lapaka 虚談者，背信者
lapati 泣く
lapanā～lāpana 饒說，虚談
labuja〔樹，果〕ラブヂャ，麪麵樹，麪果，パン，羅浮闍，波羅蜜
Labujagāma〔精舍〕ラブヂャガーマ
Labujadāyaka〔比丘の譬喩經〕ラブヂャダーヤカ Ap 3 464
Labujaphaladāyaka〔比丘の譬喩經〕ラブヂャパラダーヤカ Ap 3 379
Labujamaṇḍaka〔村〕ラブヂャマンダカ
Labhīyavasabha〔戰士〕ラビーヤワサバ
Lambaka〔傳◦山〕ランバカ
Lambakaṇṇa〔族〕ランバカンナ，垂耳
Lambacūḷaka〔村〕ランバチューラカ
lambacūḷaka bhaṭa 垂髻の傭夫
lambin 長根
Lambītaka〔天〕ランビータカ，藍鞞
laya〔時間〕ラヤ，頃刻
lasikā 關節滑液，關節液，黃水，髓〔三十二身分の一〕
lasuṇa 蒜，大蒜，葫
Lasuṇadāyaka〔比丘の譬喩經〕ラスナダーヤカ Ap 3 37
Lasuṇa-vagga 蒜品 V 1 b 4, 1～10
lahu 輕快
Lahu〔經〕輕 S 55 70
lahuka 輕，輕利，一時的
lahuka parikkhāra 輕物
lahuka-vuttin 簡易生活者
lahukā āpatti 輕罪，輕犯
lahuṭṭhāna 起居輕利，輕快，爽快
lahutā＝rūpassa lahutā 輕快性
lahutādi ekādasaka 輕快性等十一法
lahu-paññatā 輕慧
lahu-paññā 輕慧
lahu-parivatta 容易に轉ずる
lahu-pāvuraṇa 輕衣
Lahulla〔堡壘〕ラフッラ
lahusa 輕卒
lahu-saññā 輕想
lākhā〔染料，塗料〕ラーカー，ラック，胭脂，勒叉，漆
Lāghulovāda (A)＝Rāhulovāda 說羅睺羅〔經〕
Lāghulovāde musā-vādaṁ adhigicya bhagavatā budhena bhāsite (A)〔經〕妄語に關して薄伽梵佛陀の說き給ひし說羅睺羅
lāpa 鶉
lāpana～lapanā 浮言
lāpa-sakuṇa 鶉
lāpu～lābu, lābuka, alāpu 葫蘆，瓠果，南瓜
lāpu-latā 葫蘆
Lāpulatā-vagga 葫蘆蔓品 Mil 5 3
lābu～lāpu, lābuka, alābū ラーブ，葫蘆，瓠果，南瓜
Lābu〔村〕ラーブ，瓢
lābuka～lābu, lāpu, alābuka 瓢簞
lābha 得，利，利得，利養，獲，所得
Lābhagaraha-jātaka ラーバガラハ・ヂャータカ，利得輕侮本生物語 J 287
lābha-nānatta 得種種，種種得
lābha-macchariya 利得慳，利養慳，所得慳〔五慳の一〕
lābha-mada 利得慳
Lābhavāsin〔比丘群〕ラーバ住〔者〕
Lābhasakkāra-saṁyutta ラーバサッカーラ・サムユッタ，利得と供養相應 S 17 1～43
lābha-sakkāra-siloka 利益名聞，利得恭敬名稱，利得恭敬讃歎，利養稱譽世評
lābha-sakkāra-siloka-paṭisaṁyutta vitakka 利得恭敬讃歎に關係せる尋，利養恭敬名稱相應の尋，利養稱譽世評相應の尋思
lābhasakkārasiloka-sukha 利養恭敬名聞樂

lābhānuttariya 利得無上，利無上〔六無上の一〕
lābhin 利得者
lābhena lābhaṁ nijigiṁsanatā 利を以て熱求す，以利成利
lābhena lābhaṁ nijigiṁsitā 利によりて利を貪る者，假利求利者
Lāma〔天〕ラーマ，藍婆
Lāḷa〔國〕ラーラ，羅羅
Lāḷudāyin＝Kāḷudāyin〔比〕ラールダーキ，迦留陀夷，愚鈍の優陀夷
Lāvarāva-pabbata〔精舍〕ラーヴラーヴ山
lāsikā 女優
likhitaka 罪狀表記せられたる者
liṅga 相，相形，相根，徵幖，記相，表，表示，標，標相
liṅgantaradhāna 外相隱沒
liṅga-lesa 根似
liṅga-visabhāga 異性
Licchavi〔族，人〕リッチャギ，離車，離車子，離車族，離車人，隷車人，栗姑毘，栗遮毘，麗掣人
Licchavi or Nandaka〔經〕離車 S **55** 30
Licchavi-kumāraka 離車族靑年
Licchavi-putta 離車子
Licchavi-bhāṇavāra 隷車人誦品 V **2** a 6, 16～30
Litta-jātaka リッタ・ヂャータカ，塗毒本生物語 J 91
Litta-vagga 塗毒品 J 91～100
līna 退縮，下劣，愛著
līna citta 退縮心，下劣心
līnatta 不動，昧劣，退縮
Līlāvatī ①〔ギヂャヤバーフ一世王妃〕リーラーヴティー ②〔パラッカマ大王妃〕③〔ギーラヴンマラの女〕④〔シリヴッラバの女〕
Lummini (A)＝Lumbinī〔村〕ルンミニ
ludda ① 凶暴，兇暴，凶暴者，殘忍 ② 獵師，獵夫，狩獵
luddaka～ludda 獵夫，獵師
ludda-kamma 無法の業
luddha 貪欲者，貪欲〔者〕，慳貪者，慳貪の人
luddha-citta 貪心〔者〕
Lumbinī〔園〕ルンビニー，蘭毘尼，藍毘尼
Lumbineyya〔園〕藍毘尼
lūkha 麤醜，貧穢行，貧穢行者
lūkha-cīvara 麤衣，破衣，粗服
lūkhacīvara-dhara 粗服者
lūkhajīvin 難澁生活〔者〕
lūkhājīva 弊穢生活
lekha, lekhā 文字，書，書寫，書簡，記號，習字
lekhaṇī 鉋
lekhācariya 書寫阿闍梨，書寫師
lekhāya saṁvaṇṇeti 書讚嘆
lekhā-sippa 書術
leḍḍu 土塊，棒，壠
leḍḍu-pāta 擲石所及所
leṇa 洞穴，窟，窟宅，山窟，避難所，洞房，住，住房，房舍，庇護の處
Leṇa〔經〕窟宅 S **43** 41
leṇagāmi magga 窟宅に達するの道
lepa 黐，著
lepa-citta 泥女像
lesa 類似，似
lehanīya 舐むべきもの
loka 世間，世，世界
Loka ①＝Lokissara〔一世王〕ローカ ②〔王子〕ローカ ③〔王臣〕ローカ ④〔經〕世間 S **1** 70；**3** 23；**12** 44；**35** 82, 107；**52** 18；**56** 28 ⑤〔經〕世界 S **47** 28
Lokakāmaguṇa〔經〕世間欲類 S **35** 116, 117
Lokakāmaguṇa-vagga 世間欲類品 S **35** 114～123
lokakkhāyika-kathā 世間論，世間譚，世界論，世界起源論，說世界論，俗哲學，途說論〔無用論の一〕
lokakkhāyika-samuddakkhāyikā 水陸起源論，世界論，海洋論〔無用論の一〕
lokakkhāyikā 世界論，世界起源論，世界說の話，說世界論，世間譚，世間論，創世記者，俗哲學，途說論〔無用論の一〕
lokagalla〔官職〕ローカガッラ
Lokagalla〔地名〕ローカガッラ

loka-citta 世間心
loka-cintā 世間思惟，世界の思惟
Lokajitvāṇa〔戰士〕ローカヂトヴーナ
loka-jeṭṭha 世の主
lokattha-cariyā 世間利益行
loka-dhamma 世間法，世間の法，世法，世界の法
loka-nātha 世主，世界の救主
Lokanāthā〔王女〕ローカナーター
loka-nāyaka 世間の導師，世界の導師
loka-nirutti 世間的言葉
Lokantara-niraya＝Lokantarika-niraya 世界の涯の地獄，世界中間地獄，世中間地獄，中間地獄
Lokantarika＝Lokantara-niraya〔地獄〕ローカンタリカ，世界中間，世界の涯の，世中間，中間，中間世界
loka-pajjota 世界光
loka-paññatti 世間の名義，世間の記述法，世間施設
loka-pariyāpanna 世間所攝
Lokapāla〔天子〕護世
lokapāla-devatā 世界の守護神
lokappadīpa 世界の燈明
lokappasāda〔神通〕世間攝護
Lokabyūha＝Lokavyūha ローカブユーハ，欲界天，世界群集
lokamānin 世思〔者〕
lokamhi anabhirati〔-saññā〕世間不可樂想
Loka-vagga 世品 Dhp 13 vv 167～178
loka-vajja 世間罪
loka-vāda 世界論，世論
lokavāda-paṭisaññuttā diṭṭhi 世論所應見
lokavidū 世間解，世間解者〔如來十號の一〕
Lokavipatti〔經〕世間の失 A 8 5, 6
loka-vivaraṇa〔神變〕世界開顯，世界展開，世間開顯
loka-vohāra 世間的名稱
Lokavyūha＝Lokabyūha ローカヴユーハ，欲界天，世界群集
loka-saṁketa 世間世俗
lokasaññin 世想〔者〕
loka-sannivāsa 世間住
loka-samaññā 世間の共相
Lokasāsanasaṁgahakaraṇa〔章〕世間と教の愛護の行政 Cv 60
lokassa atthaṅgamo 世間の滅，世間の滅沒
lokassa anto 世界の終邊，世界の邊，世間の邊，世の果
lokassa samudayo 世間の集，世間の生起
lokassa samudayo ca atthagamo ca 世間の生起と滅沒
lokādhipati 世〔界〕の主宰者，世界主
lokādhipati-sahavyatā 世界主の同侶
lokādhipateyya 世增上，世間增上
lokāmisa 世間財，世間食，世間的利得，世間味，世の欲
lokāyata 順世論，順世論者，順世外道，世間の領域，世間論
lokāyata-sippa 順世術
lokāyatika 順世派
Lokāyatika〔經〕順世派 S 12 48
lokāyatika brāhmaṇa 順世婆羅門
lokika-rati 世俗の樂
Lokitā ①〔カッサパ即ちギッカマバーフ王の妃〕ローキター ②〔ギヂャヤバーフ一世王の母〕
lokiya 世間
lokiya jhāna 世間禪
lokiya ñāṇa 世間智
Lokiya-duka 世間二法 Duka 12
lokiyaduka-kusalattika 世間二法善三法 Duka-tika 33
lokiya dhamma 世間法，世俗法
lokiya paṭhama jhāna 世間初禪
lokiya-bhāvanā 世間修習
lokiya-magga 世間の道
lokiya-vipassanā 世間の觀
lokiya-sacchikiriyā 世間作證
lokiya samādhi 世間定
lokiya〔sīla〕世間戒
lokiyā paññā 世間慧

lokiyā samāpatti 世間定
Lokissara〔二世王〕ローキッサラ
lokuttara 出世間，出世，超世間
lokuttara āyatana 出世間の處
lokuttara āhāra 出世間の食
lokuttara iddhipāda 出世間の神足
lokuttara indriya 出世間の根
Lokuttara-kathā 出世間論 Pṭs 2 8
lokuttara-kusala 出世間善
lokuttara-kusala-citta 出世間善心
lokuttara khandha 出世間の蘊
lokuttara-cariyā 出世間行
lokuttara-citta 出世間心，出世間の心
lokuttara jhāna 出世間禪，出世間禪定，出世間の靜慮
lokuttara-ñāṇa 出世間智
lokuttara dhamma 出世間法，出世法，超世間法
lokuttara paṭhama jhāna 出世間初禪
lokuttara phassa 出世間の觸
lokuttara bala 出世間の力
lokuttara bojjhaṅga 出世間の菩提分
lokuttara-bhāvanā 出世間修習
lokuttara-magga 出世間道，出世間の道
lokuttara-vipassanā 出世間の觀
lokuttara-vipāka 出世間異熟
lokuttara-vipāka citta 出世間異熟心
lokuttara sacca 出世間の諦
lokuttara-sacchikiriyā 出世間作證
lokuttara satipaṭṭhāna 出世間の念住
lokuttara samatha 出世間の止
lokuttara-samādhi 出世間定
lokuttara sammappadhāna 出世間の正勤
lokuttara〔-sīla〕出世間〔戒〕
lokuttarā cetanā 出世間の思
lokuttarā dhātu 出世間の界
lokuttarā paññā 出世間慧
lokuttarā vedanā 出世間の受
lokuttarā saññā 出世間の想
loke cakkhu 世間眼，世間の眼
Loke natthibhāva-pañho 出に有無の問 Mil 4〔7〕6
loṇa 鹽，鹹
loṇa-kāra, loṇa-kāraka 製鹽者
Loṇaphala-vagga 一掬鹽品 A 3 91～100
loṇa-maccha 鹽漬魚
loṇa-rasa 鹹味
loṇa-sovīraka 鹽粥，酸粥
loṇika 鹹
lodda〔樹〕ロッダ
lobha 貪，貪欲，貪慾，欲
lobha-akusalamūla 貪不善根〔三不善根の一〕
lobha pāpa 惡貪
lobha-mūla 貪根
lobha-sahagata citta 貪倶心，貪倶行心
lobhasahagatākusala 貪倶行不善
lobha-hetu 貪因
lobhiya-dhamma 所貪の法
loma 毛，髦，身毛，體毛〔三十二身分の一〕
loma-kūpa 毛孔
loma-padumaka〔花〕ローマパドゥマカ
Lomasakaṅgiya〔比〕ローマサカンギヤ，盧夷强耆，路摩尙祇迦〔譬喩經〕Ap 3 545
Lomasakaṅgiyabhaddekaratta-sutta ローマサカンギヤバッデーカラッタ・スッタ，盧夷强耆一夜賢者經 M 134
Lomasakassapa〔仙〕ローマサカッサパ，多毛迦葉
Lomasakassapa-jātaka ローマサカッサパ・ヂャータカ，多毛迦葉本生物語 J 433
Lomasakassapa-pañho ローマサカッサパ仙の問 Mil 4〔6〕4
Lomasavaṅgīsa〔比〕ローマサヴンギーサ，盧夷强耆
loma-haṁsa, loma-haṁsana 身毛竪立，毛髮竪立
Lomahaṁsa〔辟〕ローマハンサ
Lomahaṁsa-jātaka ローマハンサ・ヂャータカ，怖畏本生物語 J 94
Lomahaṁsana-pariyāya 身毛竪立法門
lomahaṭṭha-jāta 身毛竪立す
lola＝loḷa 動貪，確信なし，不確信のもの

Lola-jātaka ローラ・ヂャータカ，貪欲本生物語 J 274
Lolā〔尼乾子，尼〕ローラー，動轉又は愛著
lolupa 動貪
lolupā〔植〕ロールパー
loḷa＝lola 不確信のもの，動貪，確信なし
Losaka-jātaka ローサカ・ヂャータカ，ローサカ長老本生物語 J 41
Losaka-tissa〔比〕ローサカティッサ
loha 銅，赤銅，鐵*
loha-kaṭāha 銅花瓶，銅瓮
Lohakumbha〔地獄〕ローハクンバ，銅壺
Lohakumbhi〔地獄〕ローハクンビ，鐵鼎
Lohakumbhi-jātaka ローハクンビ・ヂャータカ，鐵鼎本生物語 J 314
loha-kumbhī 銅甕，銅甌，銅釜，鐵釜，鐵鑊，鐵鼎
loha-guḷa 銅丸，鐵丸
lohaḍḍhamāsa 銅の半錢
loha-tāla 銅鍵
loha-tumba 銅壺
Lohadvāra〔精舍〕ローハドヷーラ
loha-patta 銅鉢，鐵鉢
Lohapāsāda 銅殿，青銅殿，鐵殿
Lohapāsādamaha〔章〕青銅殿祭 Mv 27
lohapiṭṭha〔鳥〕ローハピッタ
loha-bhaṇḍa 銅物
loha-bhāṇaka 銅壺，銅瓶
loha-māsaka 銅壺
loha-vāraka 銅壺，銅甕，銅瓶
Lohicca〔婆，塞〕ローヒッチャ，露遮，魯醯遮
Lohicca-sutta ローヒッチャ・スッタ，露遮經 D **12**
Lohicco〔經〕魯醯遮 S **35** 132
lohita ① 赤 ② 血，膿血，血液〔三十二身分の一〕
Lohita〔天〕ローヒタ
lohitaka ① 赤 ② 血塗相
Lohitaka〔比，六群比丘の一人〕ローヒタカ，盧醯，盧咽得迦
lohitaka-vaṇṇa 赤色
lohitaka-saññā 血塗想，赤塗想
lohita-kasiṇa 赤遍〔十遍處の一〕
lohitaka〔sukka〕赤精
lohita-gata 血
lohitaṅka, lohitaṅga 赤珠，赤玉，紅玉，ルビー，珊瑚，猫睛石
lohitaṅka-maya 珊瑚所成
lohita-candana 赤栴檀，赤檀，紫檀
lohitacandanassa tayo guṇā 赤栴檀の三德
lohita-tuṇḍa 紅嘴鳥
lohita-pakkhandikā 赤痢，血痢，血を漏らす痢病
lohita-pitta 出血，血膽病
lohita-mala 血暗
lohita-vattha 赤衣，赤の衣
Lohitavāhakhaṇḍa〔戰場〕ローヒタヷーハカンダ，血車園
lohita-homa 血の護摩
lohitābhijāti 赤生類
lohitika 赤
lohituppādaka＝ruhiruppādaka〔佛身より〕血を出せり，血を出せる者，出〔佛身〕血者

vaṁsa ① 竹，竹棒戲 ② 種姓，姓，系嗣
Vaṁsa〔國，十六大國の一〕ヴンサ，拔沙，跋蹉，跋差
vaṁsa-kaḷīra 筍
vaṁsa-nāḷa 竹葦
vaka 狼
Vaka-jātaka ヴカ・ヂャータカ，狼本生物語 J 300
vakākoka 杜鵑，狼？
vakula〔樹〕ヴクラ
vakka 腎，腎臟〔三十二身分の一〕
vakkaṅga 鶖鳥，鵝鳥
vakka-pañcaka 腎臟の五種
Vakkalin ①〔比，信解第一〕ヴッカリ，婆迦利，薄迦利，跋迦梨〔譬喩經〕Ap 3 529 ②〔經〕跋迦梨 S 22 87
vagga 破亂，不和合，別衆
vagga-kamma 別衆羯磨〔六種羯磨の一〕
vagga parisā 不和合衆，不和合衆會
vaggāvaggasaññino-pannarasaka 別衆を別衆と思ふ十五事 V 2 a 2, 29; a 4, 8
Vaggāsaṅgahita-suttanta 品所不攝經 A 6 117〜124
Vaggumudā〔河〕ヴッグムダー，婆求末，婆裘，婆裘摩
vagguli 蝙蝠
vagguli-vata 蝙蝠行者，飛躍の行
vagguḷa〔樹〕ヴッグラ
vaggu-vada 妙語ある
vaṅka ① 歪，曲 ② 鵄
Vaṁka ①〔王〕ヴンカ ②=Vaṅkaka〔山〕
vaṅkaka 小鋤，玩具鋤，鋤遊び，鋤戲
Vaṅkaka=Vaṅka〔山〕ヴンカカ
vaṅka daṇḍa 曲れる杖
vaṅka-dasaka 曲十年
Vaṅkanāsika-tissa〔王〕ヴンカナーシカティッサ
Vaṅkāvaṭṭakagalla〔精舍〕ヴンカーヴッタカガッラ
vaṅkeyya 邪曲
Vaṅga ①〔國，十六大國の一〕ヴンガ，鵬伽，番伽 ②〔王〕ヴンガ
Vaṅganta〔婆，塞，舍利弗や純陀の父〕ヴンガンタ，婆檀提
Vaṅgīsa ①〔比，尼俱律陀劫波の弟子，詩人，辯才第一〕ヴンギーサ，婆耆沙，鵬耆舍，鵬耆沙〔譬喩經〕Ap 3 541 ②〔經〕婆耆沙 S 8 12
Vaṅgīsathera-saṁyutta ヴンギーサテーラ・サムユッタ，婆耆沙長老相應 S 8 1〜12
Vaṅgīsa-sutta 鵬耆舍經 Sn 2 12
Vaṅguttara〔山〕ヴングッタラ
vaca〔植〕ヴチャ，菖蒲
vacattha〔植〕ヴチャッタ，白菖蒲
vacanakkhama 語柔軟
vacana-patha 語法，語路，言路
vacana-sodhana 語吟味
vacanīya 可共語
vacabhumikya (A), vacabhūmika (A) 飼獸苑官
Vacāvāṭaka〔村〕ヴチャーヴータカ
vacī-kamma 語業，口業
vacī-kasāva 語不純
vacī-daṇḍa 口罰，語杖
vacī-duccarita 語惡行，語惡業，口の惡行，惡語行，語惡行者
vacī-dosa 語瑕
vacī-parama 言說を主とするもの
vacī-pārisuddhi 語遍淨
vacī-bheda 語發表，話
Vacībheda-kathā 語發表論 KV 2 5
vacī-moneyya 語寂默，語牟尼〔三寂默の一〕
vacī-vaṅka 語曲
vacī-viññatti 語表，口表
vacīviññatti anavajja 無罪語表
vacīviññatti-dasaka 語表十法
vacīviññatti-sāvajja 有罪語表
vacī-saṁkhāra 語行，口行=尋伺
vacī-saṁvara 語律儀
vacī-sañcetanā 語思，語故思
vacī-samācāra 語現行，語行，語正行，口行，口業

vacī-sucarita 語善行，語妙行，善語行，口の善行，語妙行者
vacī-soceyya 語淸淨，語淨
vacca 大便，糞堆
vaccakuṭi-vatta 厠房の儀法
vacca-kuṭī 厠，厠房，觸房，大便所
vacca-kūpa 屎坑
vacca-ghaṭa 澡罐，澡瓶
vaccaṭṭhāna 大便所，大便處
vacca-doṇikā 屎甕
vacca-magga～karīsa-magga 大便道
vaccha=vacchaka 犢，犢牛
Vaccha ①=Vacchagotta〔外，比〕ヴッチャ，婆蹉 ②〔人〕ヴッチャ
vacchaka=vaccha 犢，犢牛
Vacchagotta=Vaccha〔外，比〕ヴッチャゴッタ，ヴッチャ姓，婆蹉種，婆蹉姓，婆蹉衢多
Vacchagotta-saṁyutta ヴッチャゴッタ・サンユッタ，婆蹉種相應 S 33 1～55
vacchatara 牡犢，犢，犢牛，犢子，離乳牡牛，若き牡牛
vacchatarī 牝犢，牸牛，離乳牝牛，若き牝牛
vacchataruṇūpamā 犢喩
vaccha-danta 犢齒箭
Vacchanaka〔沙門〕ヴッチャナカ
Vacchanaka-jātaka ヴッチャナカ・ヂャータカ，ヴッチャナカ遊行者本生物語 J 235
Vacchapāla〔比〕ヴッチャパーラ
vaccha-pālaka 牧牛者，牧牛士
Vacchāyana=Pilotika〔出家行者，塞〕ヴッチャーヤナ
Vaccho or Bandhaṁ〔經〕婆蹉(繫縛) S 44 8
vaja 牛舎
vajira 金剛，金剛石，金剛杵
Vajira ①〔將軍〕ヴヂラ ②〔城〕金剛
Vajira-kumārī=Vajīrī〔波斯匿の女，阿闍世妃〕ヴヂラ・クマーリー，金剛孃
Vajiragga〔將軍〕ヴヂラッガ
Vajirapāṇi 金剛手=帝釋天
vajirapāṇi-yakkha 金剛手藥叉
Vajiravāpī〔地名〕ヴヂラヴーピー
Vajirasama〔傳◦轉輪王〕ヴヂラサマ
Vajirasenaka〔住院〕ヴヂラセーナカ
Vajira-hattha 金剛手
Vajirā ①〔尼〕ヴヂラー，婆夷羅，婆耆羅，金剛 ②〔カッサパ五世王妃〕ヴヂラー ③〔經〕金剛 S 5 10
vajirūpama-citta 金剛喩心
vajirūpama-citta puggala 金剛喩心人
vajirūpama dhamma 金剛喩法
Vajīrī=Vajirakumārī〔波斯匿王女〕ヴヂーリー，婆夷利
vajula〔樹〕ヴヂュラ
vajja 罪，罪過
vajja-paṭicchādika 覆罪波羅夷
vajjapaṭicchādikā bhikkhunī 覆罪比丘尼
vajja-bahula 多罪
Vajji〔經〕跋耆 S 56 21，22
Vajji-cetiya 跋祇廟
Vajjita〔比〕ヴッヂタ
Vajji-putta〔族，人〕跋耆子，伐地子
Vajjiputta or Vesālī〔經〕跋耆子(毘舍離) S 9 9
Vajjiputtaka ①〔族，人〕伐地子，跋耆子，跋闍子 ②〔部派〕犢子部
Vajjiputtaka bhikkhu 跋耆子比丘，跋闍子比丘
Vajjiya〔經〕ヴッヂヤ A 10 94
Vajjiyamāhita〔居士〕ヴッヂヤマーヒタ
Vajjihāra〔人〕ヴッヂハーラ
Vajjī ①〔國，族，十六大國の一〕ヴッヂ，ヴッヂー，跋耆，跋祇，跋闍，跋耆，伐地 ②ヴッヂー，跋祇王 ③〔經〕伐地 S 35 125
Vajjī-vagga 跋耆品 A 7 19～30
vajjha 死罪，屠殺せらるべき
Vajjha〔人〕ヴッヂャ
vajjha-ghāta 刑人
vañcana 瞞著，欺瞞，譎詐，虛僞
vañcanika 欺瞞者
vañjhā=vañjhitthī 石女，不姙女，無兒女
vañjhitthī=vañjhā 石女
Vaññī〔族〕ヴンニー

Vaṭaṁsa〔宮殿〕ヴタンサ
vaṭaṁsaka=vataṁsaka 耳飾，耳環，頭飾
Vaṭaṁsakiya〔比丘の譬喩經〕ヴタンサキヤ Ap 3 149, 227
Vaṭaṁsikā〔スマナ佛の妃〕ヴタンシカー
Vaṭagāmaka〔精舎〕ヴタガーマカ
Vaṭarakkhatthalī〔地名〕ヴタラッカッタリー
vaṭa-rukkha 榕樹
Vaṭuka〔王〕ヴトゥカ
vaṭuma 行路
vaṭṭa ① 相續法 ②=vaṭṭaka 鶉 ③ 輪廻，輪〔廻〕，輪轉 ④ 渦
Vaṭṭa〔浴院〕ヴッタ，圓
vaṭṭaka=vaṭṭa 鶉
Vaṭṭaka-jātaka ① ヴッタカ•ヂャータカ，鶉本生物語 J 35, 118, 394 ②=Sammodamāna-jātaka 和合本生物語 J 33
vaṭṭa-kathā 輪轉說
vaṭṭaka-yuddha 鶉鬪
Vaṭṭakākārapiṭṭhi〔地方〕ヴッタカーカーラピッティ
Vaṭṭagāmani〔王〕ヴッタガーマニ
vaṭṭa-dukkha 輪廻の苦
vaṭṭanā-valī 紡錘の連鎖
Vaṭṭapotaka-cariyā〔經〕鶉の雛の所行 Cp 3 9
vaṭṭi 燈心，燈炷，炷
vaṭṭupaccheda 輪廻の斷絶
vaṭhara 大堅身者
Vaḍakoṅgu〔地名〕ヴダコング
Vaḍamaṇamekkuṇḍi〔地名〕ヴダマナメックンディ
Vaḍali〔村〕ヴダリ
Vaḍavalattirukkādi〔ダミラ人〕ヴダヴラッティルッカーディ
Vaḍḍha ①〔比〕ヴッダ ②〔離車人，僧伽より覆鉢せらる〕ヴッダ ③〔長者〕ヴッダ ④〔宮殿〕ヴッダ ⑤〔精舎〕ヴッダ，增
vaḍḍhaka 司財の者
vaḍḍhaki 大工，建築家
Vaḍḍhakisūkara-jātaka ヴッダキスーカラ•ヂャータカ，工匠養猪本生物語 J 283
vaḍḍhana=vaddhana 增養者，國王
Vaḍḍhana ①〔宮殿〕ヴッダナ，增 ②〔池〕ヴッダナ
vaḍḍhamāna 萬字
Vaḍḍhamāna ①〔比〕ヴッダマーナ ②〔城〕ヴッダマーナ，跋闍摩
Vaḍḍhamāna〔ka〕〔菩提樹〕ヴッダマーナ〔カ〕
vaḍḍhi ① 增長，增大，增事，繁榮 ② 利息，金融
Vaḍḍhi〔經〕增張 S 37 34
vaṇa 傷，瘡，瘡痍
vaṇaṁ paṭicchādetā 瘡痍を處置する，瘡痍を覆護す
vaṇapaṭicchādana〔-upamā〕傷の繃帶〔の譬喩〕
vaṇa-bandhana-cola 繃帶
vaṇa-mukha 瘡口
Vaṇijjagāma〔精舍〕ヴニッヂャガーマ
vaṇijjā 商業，商賈，商賣，販賣
vaṇippatha 商賈の通路，商賈の集る
vaṇibbaka 浮浪者，乞食者，旅人
vaṇī 商估
vaṇṭika 華莖，莖の
vaṇṇa ① 色，色光，顯色，容色，顏色，美色，美貌，美點，德，稱讚 ② ヴンナ，階級，種姓，姓 ③ 音節，字
vaṇṇaṁ bhāsati 讃歎す，讃す
vaṇṇaka 脂粉
Vaṇṇaka〔溝〕ヴンナカ
vaṇṇa-kāra 繪具作人
Vaṇṇakāraka〔比丘の譬喩經〕ヴンナカーラカ Ap 3 236
vaṇṇa-dasaka 色十年
vaṇṇa-dāsī 遊女，娼婦
vaṇṇanā 註釋
vaṇṇanibhā rūpa 顯色，如顏色
Vaṇṇabhaṇana-pañho 讃言の問 Mil 4〔4〕1
vaṇṇa-macchariya 稱讃慳，容色慳，色慳，德慳〔五慳の一〕
vaṇṇa-mada 顯色憍
vaṇṇavant 美貌，端嚴，容麗，美しき
vaṇṇa-vādin 稱讚者，讃嘆者

vaṇṇa-sampatti 色成就
vaṇṇassa malaṁ 美の垢穢
vaṇṇāraha 讃むべき人，讃めらるべきもの
Vaṇṇāroha-jātaka ヴンナーローハ・ヂャータカ，色高本生物語 J 361
Vaṇṇāroha-vagga 色高品 J 361～370
Vaṇṇibhuvanekabāhu=Bhuvanekabāhu III〔王〕ヴンニブヴネーカバーフ
vaṇṇu-patha 砂道
Vaṇṇupatha-jātaka ヴンヌパタ・ヂャータカ，砂道本生物語 J 2
vata=bata～vatta 禁，禁戒，禁行，禁業～儀法，務め，善行，行，德行，聖行
vataṁsaka=vaṭaṁsaka ヴタンサカ，頭飾，耳飾
vata-pada 禁戒、足誓戒〔七種〕
vati 籬
vatta～vata 務め，義務，儀法，行法，善行，德行，聖行，行～禁，禁戒，禁行
Vatta〔經〕轉 S 46 4
Vattakālaka〔村〕ヴッタカーラカ
Vattakkhandhaka 儀法犍度，義務犍度 V 2 b 8
Vattati〔經〕行 A 8 90
Vattaniya〔地名〕ヴッタニヤ
vatta-paṭipatti 義務行
vattamānuppanna 現在生起，現行生起
vattar 說者，教說者，語者
Vattala〔村〕ヴッタラ
vattha 衣，衣服，衣裳
Vattha〔經〕衣 S 45 148
vattha-kathā 衣服論，衣服の話，衣論〔無用論の一〕
vatthaguyha～kosohita-vatthaguyha 陰馬藏
Vatthaguyhanidassana-pañho 陰馬藏示現の問 Mil 4〔3〕1
Vatthadāyaka〔比丘の譬喩經〕ヴッタダーヤカ Ap 3 67
vattha-dāyika-vimāna 衣服施者天宮
vattha-paṭicchādī 被覆衣物
Vattha-sutta 布〔喩〕經
vatthi ① 膀胱，腹 ② 風船玉
vatthi-kamma 灌腸
vatthu ① 事，婚事 ② 所依，基，基因，素因，宅地，土地，敷地，作處，城塞
Vatthu ①〔經〕支持 S 1 54 ②〔經〕事 A 10 79，80
Vatthuṁ〔經〕布施事 A 8 33
Vatthu-kathā 序說
vatthu-kāma 事欲，物欲，物質欲，欲の對象物
Vatthu-gāthā 序偈 Sn 5 1；CNd 1；VA 1
vatthuṭṭha 宅地物
vatthu-dasaka=hadayavatthu-dasaka 基十法
vatthu-nānatte ñāṇaṁ 事の種種相の智
vatthu-purejāta 所依前生
vatthu-rūpa 基色，所依色
vatthu-vijjā 事明，家相學，家相占ひ，宅地學，宅地明
vatthuvijjācariya 宅地學の師
vatthu-vibhāvanā paññā 所依觀相慧
Vatthu-saṁgaha 事聚，基(所依)の攝 Abhsaṅg 3 6
Vatthūpama-sutta ヴットゥウパマ・スッタ，布喩經 M 7
Vatra〔阿修羅〕ヴトラ
Vatrabhū ヴトラを破れる=帝釋
Vadatikā guhā (A) ヴダティカー洞院
vaddha 年長者～長老，老羸
vaddhana 增養者=國王
vadha 殺，殺戮，殺害，笞刑，體刑，死刑，忿の殺害
Vadha-ālopa-sāhasakāra〔經〕掠奪强盜 S 56 96～101
vadhaka 殺者，殺戮者，殺人者，害者
vadhaka-citta 殺意
vadhakā bhariyā 殺人者なる妻，殺害夫人
Vadhagāmakapāsāṇa〔村〕ヴダガーマカパーサーナ
vadhati 打つ
vadhukā～vadhū 嫁，養女
vadhū～vadhukā 花嫁
vana 森，森林，林，林野，欲林
Vana ①〔地名〕ヴナ，婆那 ②〔村〕ヴナ ③

〔河〕ヴナ
vana-kammika 樵夫
Vanakoraṇḍiya〔比丘の譬喩經〕ヴナコーランディヤ Ap 3 453
Vanaggāma-pāsāda〔精舍〕ヴナッガーマパーサーダ
vana-caraka 林務官，森林官，獵師
vana-cāraṇa 林行者
vanatimira ヴナティミラ，林闇草
vanatha 欲念，欲叢，欲の住居，愛林
vana-devatā 林神
vana-nimitta 林相
vana-pattha 山林，林藪，林叢，林間，森林，森地，藪林，高原
Vanapattha-pariyāya 林藪法門＝次項
Vanapattha-sutta ヴナパッタ・スッタ，林藪經 M **17**
vanappati＝vanaspati 樹，喬木
vana-bhaṅga 華果
Vanaropa〔經〕植林 S **1** 47
Vanavaccha〔比〕ヴナヴッチャ〔譬喩經〕Ap 3 546
Vanavāsa，Vanavāsi〔國，地名〕ヴナヴーサ，婆那婆私
Vana-saṁyutta ヴナ・サムユッタ，森相應 S **9** 1〜14
vana-saṇḍa 密林，林叢，叢林，深林，森の繁み
vanaspati＝vanappati 喬木，樹
vanibbaka 乞食者，旅人，浮浪者
vanta 吐瀉物，排除
Vantajīvaka〔比丘群〕ヴンタヂーヴカ
vantāsika 食吐物餓鬼
Vandana-vimāna 禮拜天宮 Vv 49
vandanā 禮
Vandanā〔經〕敬禮 S **11** 17
vandiya 禮を受くべき者
Vappa ①〔五比丘の一〕ヴッパ，婆頗，婆沙波，婆破 ②〔尼乾子，塞〕ヴッパ，恕破
vappa-maṅgala 種蒔式，種蒔祭，稼耕の祭
vamathu 嘔吐物
vamana 吐瀉，吐劑，吐藥
vamana-yogga 吐劑，吐藥
vambhanā 侮蔑
vambheti 輕蔑す
vamma 甲冑，鎧
vammika＝vammīka 蟻垤，蟻塔
vammika-nimitta 蟻垤相
vammīka＝vammika 蟻垤，蟻塔，蟻の垤，蟻塚
Vammīka-sutta ヴンミーカ・スッタ，蟻垤經，蟻塚經 M **23**
vaya ①＝vyaya 衰，衰滅，滅，謝滅，消散，消亡，壞 ② 時量，青春
Vaya ①〔經〕壞法 S **23** 20 ②〔經〕壞 S **23** 32，44 ③〔經〕消亡 S **35** 40 ④〔經〕滅 A 8〔附〕
vaya anupatta 高齡
vayakkhaṇa 滅刹那
vaya-guṇa 青春
vaya-dhamma 衰滅法，滅法，消亡の法，壞法，敗壞の法，敗壞法
vayadhammatā 滅法性
vaya-dhammā saṅkhārā 諸行は生滅の法なり
vaya-lakkhaṇa 滅相，衰滅相，壞相
vayalakkhaṇa-vipassanā 衰滅相觀，壞相正觀
vayānupassanā 衰滅隨觀，衰觀
Vayiga〔河〕ヴキガ
vayha，vayhā ヴキハ車，轎，山轎
vara 恵與，福利
Vara ① ヴラ，婆羅島，セイロン島の古名 ②＝Gavaratissa〔園〕ヴラ
varaka 豆，荳
Varaka〔地〕ヴラカ
Varakalyāṇa〔王〕ヴラカルヤーナ，跋蘭迦梨耶那，婆羅迦棃耶那
Varañāṇamuni〔アヨッヂャー(タイ)より來れる比丘〕ヴラニャーナムニ
varaṇa〔樹〕ヴラナ，波羅奈，婆那
Varaṇa-jātaka ヴラナ・ヂャータカ，婆那樹本生物語 J 71
Varaṇa-vagga 婆那樹品 J 71〜80
Varaṇā〔地名〕ヴラナー，跋蘭那

varatta 緒，革緒，革綱，革紐
varatta-khaṇḍa 布片，革紐
varattā-bandha 革紐
Varadassana〔傳◦轉輪王〕ヴラダッサナ
Varadhara〔遊行者〕ヴラダラ
Varamandhātu=Mandhātu〔王〕ヴラマンダートゥ
Vararoja〔王〕ヴラローヂャ，跋蘭樓夷，婆羅盧遮
vara-haya 駿馬
varāroha 大象
varāha 野猪，猪
varī〔植〕ヴリー
Varuṇa ①〔天，神〕ヴルナ，婆留那，嚩嚕拏，婆樓那，水天 ②〔傳◦轉輪王〕ヴルナ，婆留那，婆樓那 ③〔レーヴタ佛の第一弟子〕ヴルナ，婆樓那 ④〔アノーマダッシー佛の侍者〕ヴルナ，婆留那，婆樓那 ⑤〔ピヤダッシー佛の弟子〕ヴルナ ⑥〔パドゥマ佛の侍者〕ヴルナ，婆樓那 ⑦〔レーヴタ佛の子〕ヴルナ ⑧〔スマナ佛の信士〕ヴルナ ⑨〔苦行者〕ヴルナ ⑩〔人〕ヴルナ ⑪〔提頭賴吒龍王〕ヴルナ，波留尼，婆留那
Varuṇadanta〔象〕ヴルナダンタ
Varuṇadeva〔力士〕ヴルナデーヴ
Varuṇārāma ヴルナ園
Valāha=Valāhaka〔馬王〕ヴラーハ，婆羅訶
valāhaka 雲〔四種〕
Valāhaka=Valāha〔馬王〕ヴラーハカ，婆羅訶，雲馬
Valāhaka-assa-rāja 雲馬王
valāhakagabbhato candanīharaṇūpamā 叢雲より出づる月の譬喩
Valāhaka-vagga 雲品 A 4 101～110
valāhakāyika deva 雲天
valāhakūpama puggala 雲に喩ふべき補特伽羅，雲喩人〔四種〕
Valāha-saṁyutta ヴラーハ・サンユッタ，雲相應 S 32 1～57
valāhassa 雲馬
Valāhassa〔池〕ヴラーハッサ，雲馬
Valāhassa-jātaka ヴラーハッサ•ヂャータカ，雲馬本生物語 J 196
Valāhassa-rāja-kula ヴラーハッサラーヂャクラ，雲馬王種
valiya 飾環
Vallakkuttāra〔軍〕ヴッラックッターラ
Vallabha〔族〕ヴッラバ
vallabhā ヴッラバー，寵愛ある者
Valli ①〔渡〕ヴッリ ②〔村〕
Vallikaraphaladāyaka〔比丘の譬喩經〕ヴッリカラパラダーヤカ Ap 3 475
vallikā 耳環
vallikāra〔植〕ヴッリカーラ
Valligāma〔精舍〕ヴッリガーマ
Valliphaladāyaka〔比丘の譬喩經〕ヴッリパラダーヤカ Ap 3 383
vallibha〔樹〕ヴッリバ
Valliya〔比〕ヴッリヤ
Valliyera〔精舍〕ヴッリエーラ
vallī〔植〕ヴッリー，蔓，蔓草
Vallī=Villa〔精舍〕ヴッリー
vallūra 乾肉
Vaḷabhāmukha〔海〕ヴラバームカ
vaḷabhī 騍馬
vaḷavā 騍馬，牝馬
Vaḷiyā〔ダンマダッシー佛の信女〕ヴリヤー
Vaḷuṭṭhi〔ダミラ人〕ヴルッティ
vavatthāne paññā 決定することの慧，差別慧，確定慧
vavatthita 別立
vasa 自在
Vasanta〔窟院〕ヴサンタ
Vasabha ①〔比〕ヴサバ ②〔ナーラダ佛の信士〕ヴサバ ③〔王〕ヴサバ ④=Labhīya-vasabha〔戰士〕ヴサバ ⑤〔居士〕ヴサバ ⑥〔山〕ヴサバ，婆娑婆 ⑦〔村〕ヴサバ
vasala 賤民，鄙人
vasala duggandha 不淨臭處
vasala-dhamma 惡行
Vasala-sutta 賤民經 Sn 1 7

vasalī 賣女，賤女
Vasavatti〔經〕婆舍抜提天 S 40 15
Vasavatti-devaputta 自在天子
vasavattin 支配者，自在，自在者，世の統治者，全能者，化自在，指令者，婆舍抜提，調御する者〜他化自在
Vasavattin〔王〕ヴサヴッティ
Vasavattino devā 自在天＝他化自在天
vasavatti-vāda 自在天論
Vasavattī〔宮殿〕ヴサヴッティー
vasā ① 膏，脂，脂肪，淋巴液，血精，血漿，漿〔三十二身分の一〕②＝vaccha 犢牛
vasā-tela 獸油
vasā-bhesajja 脂藥
Vasiṭṭha＝Vasiṭṭhaka〔靑年〕ヴシッタ
Vasiṭṭhaka＝Vasiṭṭha〔靑年〕ヴシッタカ
vasito no gādhaṁ khatto 住んで穴を掘らざる人
vasin 自主者，自在，主權者，主宰者、能力者，ヴシン＝大梵天
vasī-bhāva 自在
vasībhāvatā-paññā 得自在の慧
Vasu〔天〕婆籔
Vasudattā〔蓮華上佛の妃〕ヴスダッター
vasudhā ヴスダー，地
vasundharā ヴスンダラー，地
vassa 雨，雨期，雨季，雨時，夏季，雨安居，雨期安居，安居
Vassa ①〔外〕ヴッサ ②〔經〕雨 S 32 57；55 38
vassaṁ vasati 安居に入る
Vassakāra〔婆，大臣〕ヴッサカーラ，禹舍，雨行，雨勢
vassa-devatā 雨神
vassanta 春季
Vassa-pañho 年齡 Mil 2〔1〕2
vassavara 宦官
vassavalāhaka deva 雨雲天
Vassa-vuttha〔經〕雨安居 S 55 52
vassa-sata 百歲
vassasata-jīva 百歲の壽
Vassasata-pañho 百年非福をなすの問 Mil 2〔7〕2
vassasata-huta 百年の祭祀
vassa-sahassaṁ saddhammo tiṭṭhati 正法一千年住す
vassassa antarāyo 雨の障礙〔五種〕
vassāna-māsa 雨安居月
vassāvāsa 雨季安居，雨安居
Vassāvāsa-bhāṇavāra 雨安居誦品 V 2 a 3, 1〜8
vassāvasika 雨安居のための食物，安居施
vassāvāsikaṁ deti 安居施をなす
vassika ① 雨期，雨季 ②〔花〕夏生花，婆尸迦，婆師，素馨
Vassika〔經〕夏生花 S 45 144
vassika-pāsāda 雨季の殿
vassika-mālā 雨生華鬘，夏生華鬘，婆師華鬘
vassika-sāṭikā 雨季衣，雨季用の外衣，雨期の外衣，雨浴衣
vassikā＝vassikī〔花，香〕ヴッシカー，婆尸迦，婆師，素馨，夏生花
vassikī＝vassikā ヴッシキー，夏生華
vassito no gajjito 雨らして鳴らざる人
vassupanāyika 入雨安居，入安居，雨安居，雨期の始
Vassupanāyikakkhandhaka 入雨安居犍度，入安居犍度章 V 2 a 3
vaha 牽獸
Vaha〔池〕ヴハ
Vahana〔宮殿〕ヴハナ，運載
Vahiṭṭha ①〔ダミラ人〕ヴヒッタ ②〔地名〕
Vahiyakā guhā(A) ヴヒヤカー洞院
vāka 樹皮
vāka-cīra 樹皮衣，樹皮の衣，結樹皮衣，跋拘草衣，木皮衣
vāka-bhisi 樹皮臥褥
Vāgissara〔比〕ヴーギッサラ
vācanā-magga 誦道
vācapeyya＝vājapeyya ① ソーマ祭，ソーマ祠，蘇摩の祭，勝利の飲，强飲 ② 投擲杖
vācasika-anācāra 語不正行

vācasika pāgabbhiya 語傲慢
vācasikā āpatti 語罪
vācasikā khiḍḍā 語戯
vācā 語，言，口業
vācāya asoceyyaṁ 語不浄行
vācāya saṁvaṇṇeti 語讃嘆
vācāya soceyyaṁ 語浄行
vācā-vatthuka 語の量
vācā-vikkhepa 語の錯亂，支離滅裂の言
vācā-sannitodaka 語の刺針
vācikā upasampadā 唱說の受具
Vācissara〔比〕ヴーチッサラ
vāja-peyya=vācapeyya 勝利の飲，强飲，ソーマ祭，ソーマ祠，蘇摩の祭，投擲杖
vājapeyya-mahāyañña ソーマ大祭
Vājiriya〔部派〕ヴーヂリヤ，金剛
vāṭa 柵
vāṇija 商人，商估，商賈，行商人，商主
vāta ヴータ，風
Vātagiri〔山〕ヴータギリ
Vātagga-sindhava ヴータッガ・シンダヴ，疾風辛頭馬
Vātaggasindhava-jātaka ヴータッガシンダヴ・ヂャータカ，疾風辛頭馬本生物語 J 266
vātaghāta〔樹〕ヴータガータ，防風
vātapāna 窓
vātapāna-kavāṭaka 窓戸
vātapāna-cakkalika 窓覆
vātapāna-bhisikā 窓袋
vāta-maṇḍalika 旋風
vāta-miga 〔鹿〕ヴータミガ，ヴータ鹿，羚羊
Vātamiga-jātaka ヴータミガ・ヂャータカ，風鹿本生物語 J 14
vāta-roga 風疾
vātavalāhaka deva 風雲天
vātavuṭṭhi-samaya 風雨時
vāta-sakuṇa 風鳥
vāta-samuṭṭhāna ābādha 風等起病，風等起の病，風質所起の病
Vātā〔經〕風 S 24 1, 19; 32 56
Vātātapanivāriya〔比丘の譬喩經〕ヴータータパニヴーリヤ Ap 3 210
vātābādha 風病，痛風，腹痛
vātāhaṭa 風散〔衣〕
vātika 風疾〔者〕
Vātīyamaṇḍapa〔村〕ヴーティーヤマンダパ
Vāthamaṅgaṇa〔池〕ヴータマンガナ
vāda-patha ① 語路 ② 抗論
vāda-sīla 論爭を事とする
vādānupāta〜vādānuvāda 反論
vādānuvāda〜vādānupāta 說隨說，說隨順說，論隨論，難詰の語，隨順說，順正說
vādikaya〔馬〕ヴーディカヤ
vādita 音樂，奏樂，聲樂*，舞樂*
vādin 論者，論師，說者
Vādino〔經〕論師 S **56** 40
vādi-sūra 論勇
vānara 猿，獼猴
Vānara〔村〕ヴーナラ
Vānara-jātaka ヴーナラ・ヂャータカ，猿本生物語 J 342
Vānarākara〔園〕ヴーナラーカラ
Vānarinda-jātaka ヴーナリンダ・ヂャータカ，猿王本生物語 J 57
vāneyya〔香草〕ヴーネッヤ
Vāpārani〔精舍〕ヴーパーラニ
Vāpinagara〔村〕ヴーピナガラ
Vāpivāṭaka〔地名〕ヴーピヴータカ
Vāpī〔地名〕ヴーピー
Vāmaka〔古仙〕ヴーマカ，婆摩，婆莫迦
Vāmatta-pabbhāra-vāsin〜Vāmantapabbhāra〔比〕ヴーマッタパッバーラ住〔者〕
Vāmadeva〔古仙〕ヴーマデーヴ，婆摩提婆
vāmana 侏儒
vāmanika 侏儒，矮小，傴僂
Vāmantapabbhāra〜Vāmattapabbhāra〔地名〕ヴーマンタパッバーラ
vāyasa 烏，鴉
vāyasa-vijjā 鴉明
vāyāpita 織物
vāyāma 精進，勤，策勵
Vāyu=Vāyo〔風神〕ヴーユ，婆由

vāyo ヴーヨー，風
Vāyo=Vāyu〔天〕風
vāyo-kasiṇa 風遍〔十遍處の一〕
vāyo-kāya 風身，風界〔七身の一〕
vāyo-gata 風態，風性
vāyo-dhātu 風界
vāyo-saṁvaṭṭa 風壞
vāyo-saññin 風想〔者〕
vāyosama-bhāvanā 風の如き修行
vāraka 瓶
vāraka-bhatta 時分食
vāraṇa ① 象 ②〔鳥〕ヴーラナ，鷹
Vāraṇa〔比〕ヴーラナ
Vāraṇavatī〔城〕ヴーラナヴティー
vāraṇā〔樹〕ヴーラナー
vāri ヴーリ，水
vāri-kiñjakkha 水百合
vāritta-sīla 止持戒
vāri-bindu 水滴
Vāruṇa 水天族
Vāruṇi-jātaka ヴールニ・ヂャータカ，酒本生物語 J 47
vāruṇi-vāṇija 酒屋
vāruṇī ヴールニー，酒
vāreyya 婚
vāla 毫毛，馬尾，馬毛，毛
vāla-kambala 馬毛の布，馬毛編衣，馬毛を編める衣，馬尾欽婆羅衣，毛欽婆羅衣，尾毛褐
Vālakkoṭṭa〔地名〕ヴーラコッタ
vālaja〔魚〕ヴーラヂャ
vālaṇḍuka 毛拂
vāla-rajju 髮索
vāla-vījanī 拂子
vāla-vedhi-rūpa 毛端をも射破する如き，毛髮を射るが如く，穿鑿を好む
Vālika ①=Vāḷuka〔園〕ヴーリカ，婆利迦 ②〔村〕ヴーリカ
Vālikaninnagā=Mahāvālukagaṅgā〔河〕ヴーリカニンナガー
vālikā=vālukā 砂
Vālikākhetta〔堡壘〕ヴーリカーケッタ
Vālivāsara〔村〕ヴーリヴーサラ
Vāluka=Mahāvāluka〔村〕ヴールカ
Vālukapatta〔村〕ヴールカパッタ
vālukā=vālikā 砂
Vālodaka-jātaka ヴーローダカ・ヂャータカ，濾水本生物語 J 183
vāḷa 猛獸，蛇
vāḷa amanussa 暴惡なる非人
vāḷa-kantāra 猛獸難處，猛獸の障礙，惡獸難處〔五種難所の一，十障礙の一〕
Vāḷagāma〔精舍〕ヴーラガーマ
vāḷa-miga 猛獸，惡獸，肉食獸
vāḷa-sunakha 猛犬
vāḷāvasatha 野獸住處
Vāḷuka=Vālika〔園〕ヴールカ，婆利迦
Vāḷugāma〔地名〕ヴールガーマ
vāsa 住處
vāsana-palibodha 塗香障礙
vāsanā 熏習，習氣
vāsanti〔植〕ヴーサンティ
Vāsabha〔村〕ヴーサバ，婆娑婆
Vāsabhakhattiyā=Vāsabhā〔王妃，瑠璃王の母〕ヴーサバカッティヤー，禹翅刹利
Vāsabhagāma-bhāṇavāra 婆娑婆村誦品 V 2 a 9, 1～4
Vāsabhagāmika=Vāsabhagāmin〔第二結集比丘〕ヴーサバガーミカ，婆沙藍，婆娑伽眉，婆娑伽摩迦
Vāsabhagāmin=Vāsabhagāmika〔第二結集比丘〕ヴーサバガーミ，婆沙藍，婆娑伽眉，婆娑伽摩迦
Vāsabhā=Vāsabhakhattiyā〔摩訶那摩の女，瑠璃王の母〕ヴーサバー，雨日蓋，行雨，禹翅
Vāsava ①〔天，神〕ヴーサバ，婆沙婆，婆娑婆，因陀羅，天王，帝釋 ②〔阿修羅〕ヴーサヴ，婆三婆
Vāsavanesi〔天〕ヴーサヴネーシ，毘沙門伊灑
vāsi=vāsī 斧，小斧
vāsi-jaṭa 手斧の柄
Vāsijaṭaṁ or Nāvā〔經〕手斧の柄(船舶) S

22 101
Vāsiṭṭha-gotta ヴーシッタ姓
Vāsiṭṭhī=Vāseṭṭhī 〔婆羅門婦，尼〕ヴーシッティー，婆斯搋
vāsita, vāsitaka 香料
Vāsidāyaka 〔比丘の譬喩經〕ヴーシダーヤカ Ap 3 240
vāsi-pharasuka 剃刀斧
vāsī=vāsi 斧，小斧，鋸
Vāsudeva 〔力士，王〕ヴースデーヴ，世天
Vāsudeva-vata 世天務
Vāsudeva-vatika 世天〔力士〕務者
Vāsula 〔王孫〕ヴースラ
Vāsuladatta 〔龍〕ヴースラダッタ
Vāseṭṭha ①〔姓〕ヴーセッタ，婆悉咤 ②〔古仙〕ヴーセッタ，婆悉咤，婆私吒，婆摩咤 ③〔ナーラダ佛の侍者〕ヴーセッタ，婆悉陀 ④〔婆，比〕ヴーセッタ，婆私吒，婆斯陀，婆悉吒 ⑤〔婆，塞，沸伽羅娑帝の門人〕婆私吒，婆斯陀，婆悉吒 ⑥〔塞〕ヴーセッタ，婆私多，婆私吒 ⑦〔學童〕ヴーセッタ，婆悉吒，婆私吒 ⑧〔經〕婆私吒 A 8 44
Vāseṭṭha-sutta ヴーセッタ・スッタ，婆私吒經 M 98 ; Sn 3 9
Vāseṭṭhī ①〔婆羅門女〕ヴーセッティー，婆斯搋 ②〔婆羅門婦，尼〕ヴーシッティー，婆斯搋
Vāhata 〔池〕ヴーハタ
Vāhadīpaka 〔精舎〕ヴーハディーパカ
Vāhana 〔傳◦轉輪王〕ヴーハナ
Vikaṭa 〔山〕ギカタ，毘羯吒
Vikaṇṇaka-jātaka ギカンナカ・ヂャータカ，鐖箭本生物語 J 233
vikappana 淨施
vikappita 說淨
vikāra-rūpa 變化色
vikāla 非時
Vikāla 〔經〕非時 S 56 79
vikāla-bhojana 非時食，非時に食す
vikāsika 亞痲布
vikiṇṇa-vāca 雜語者，雜話者
vikiṇṇa-vācā 無駄口
vikiraṇa 貸出
vikubbati 神變をなす，變化す
vikubbanā iddhi 變化神變，神變神通
vikūjati 寢言をなす
Vikkantacamūnakka 〔將軍〕ギッカンタチャムーナッカ
Vikkantabāhuka 〔王子〕ギッカンタバーフカ
Vikkama ①〔王臣〕ギッカマ ②〔都〕
Vikkama-coḷappera 〔堡壘〕ギッカマチョーラッペーラ
Vikkamapaṇḍu 〔王〕ギッカマパンドゥ
Vikkamabāhu ①〔一世王〕ギッカマバーフ ②〔二世王〕③〔三世王〕④〔王，マヒンダ五世の子カッサパ〕
Vikkamabhuja=Vikkamabāhu I 〔王〕ギッカマブヂャ
vikkāyika-bhaṇḍa 賣品
vikkhambhana 鎭伏〔解脫〕，消除，伏〔解脫〕
vikkhambhana-pahāna 鎭伏捨斷，消除斷
vikkhambhana-vimutti 伏解脫，鎭伏解脫
vikkhambhana-viveka 鎭伏離，消除離
vikkhambhana-suñña 鎭伏空，消除空
vikkhambhita-kilesa 已伏煩惱
vikkhāyitaka 食殘相
vikkhāyita-saññā 食殘想，食噉想，啄噉想
vikkhittaka 散亂相
vikkhittaka-saññā 散亂想，棄擲想，離散想
vikkhitta-citta 散亂心，散亂せる心，散心
vikkhitta-saññā 棄擲想，散亂想，離散想
vikkhepa 散亂
vigata-thīnamiddhatā 惛沈睡眠を離れたること
vigata-paccaya 離去緣，去緣〔二十四緣の一〕
vigatapaccaya-niddesa 去緣廣說
vigata-bhaya 無畏
vigata-lomahaṁsatā 身毛竪立を去れる
Vigatānanda 〔傳◦轉輪王〕ギガターナンダ
vigatāsa 離希望〔者〕
vigatāsa puggala 離希望の人
vigatūpakkilesa 無垢
vigarahati 呵責す

viggaha 爭，爭論，諍，諍爭，喧嘩，異執，論議，論難，闘諍
viggāhika-kathā 異執の論，諍論
Viggāhikā〔經〕諍 S 56 9
vighāta 煩勞，困惑，損壞，害，反論
vighāsa 殘食，殘飯
Vighāsa-jātaka ギガーサ・ヂャータカ、殘滓本生物語 J 393
vighāsāda ①〔動〕ギガーサーダ ② 殘食生活者，殘食を食ふ者，殘滓食者，殘飯食者
vicakkhaṇa 明眼の士
Vicakkhaṇa 〔天〕ギチャッカナ，韓波羅微那
vicāra 伺
vicāraṇa 計量，步脚
Vicāralakkhaṇa-pañho 伺の特相の問 Mil 2〔3〕14
vicikicchaṭṭhāniya 疑惑處
vicikicchā 疑，疑惑，疑念，猶豫
vicikicchā-nīvaraṇa 疑蓋〔五蓋の一〕
vicikicchānusaya 疑隨眠，猶豫隨眠〔七隨眠の一〕
vicikicchā-pariyuṭṭhāna 疑纒
vicikicchā-saṁyojana 疑結
vicikicchā-sahagata 疑俱行
vicikicchā-sahagata-citta 疑俱行心，疑俱心
Vicitoḷī〔ダンマダッシー佛の妃〕ギチトーリー
vicitta-kathika～vicitrakathin 巧說者
Vicittā〔蓮華上佛の信女〕ギチッター
vicitrakathin～vicitta-kathika 能辯〔者〕
viceta 狂亂せり
vicchika 蝎，蠍
vicchika-vijjā 蝎明
vicchiddaka 斷壞相，穿孔，斬斫離散，壞
Vicchiddaka〔經〕壞 S 46 60
vicchiddaka-saññā 穿孔想，斷壞想，壞想，斬斫離散想，敗壞想
vijaṭana-palibodha 解髮障礙
Vijambu-vatthu ギヂャンブ堂
vijambhikā～vijambhitā 欠呿，欠伸
vijambhitā～vijambhikā 欠呿
Vijaya ①=Vijayakumāra〔王〕ギヂャヤ，毘闍耶 ②=Vijayabāhu IV〔王〕ギヂャヤ ③〔長者〕ギヂャヤ，毘闍耶 ④〔比〕毘闍耶 ⑤〔大臣〕毘闍耶
Vijayakumāra, Vijayakumāraka=Vijaya〔王〕ギヂャヤクマーラ，ギヂャヤ王子
Vijayapāla〔セーナラタナ王の子〕ギヂャヤパーラ
Vijayabāhu ①=Sirisaṅghabodhi, Vijayabhuja〔一世王〕ギヂャヤバーフ ②=Paṇḍita-vijayabāhu〔二世王〕③〔三世王〕④〔四世王〕⑤〔五世王〕⑥〔七世王〕⑦〔精舍〕
Vijayabāhuādiaṭṭharājadīpaka 〔章〕ギヂャヤバーフ以下八王 Cv 90
Vijayabhuja=Vijayabāhu 〔一世王〕ギヂャヤブヂャ
Vijaya-sutta 征勝經 Sn 1 11
Vijayasundara〔精舍〕ギヂャヤスンダラ
Vijayā ①〔尼〕ギヂャヤー，毘闍耶 ②〔王妃〕毘闍耶 ③〔經〕毘闍耶 S 5 4
Vijayāgamana 毘闍耶の來島 Mv 6～Dv 9
Vijayābhiseka〔章〕毘闍耶の卽位 Mv 7
vijayuttara〔螺貝〕ギヂャユッタラ，勝上
vijānana 識知，了別
vijānāti 了知す，留意す
vijāyana 出產，產
vijāyanamūlaka-dukkha 出產に由る苦
vijāyamānā 出產〔者〕
vijāyinī 有兒女
Vijita ①〔王子〕ギヂタ ②〔市〕
vijita-saṁgāma 戰勝者，戰の勝利者，勝者
Vijitasena ①〔比〕ギヂタセーナ ②〔王〕ギヂタセーナ ③〔憍陳如佛の子〕ギヂタセーナ，能勝軍 ④〔迦葉佛の子〕ギヂタセーナ，能勝軍
Vijitasenā 〔迦葉佛の信女〕ギヂタセーナー，能勝軍
Vijitā〔宮殿〕ギヂター
Vijitāvin〔王，佛の前生〕ギヂターギー，ギヂターギン，已勝者，甚勝者
vijjaṭṭhāna 明處，學術
vijjamāna paññatti 存在施設

vijjamānena avijjamāna paññatti 存在非存在施設
vijjamānena vijjamāna paññatti 存在存在施設
vijjā 明，智，呪，明呪，呪文，陀羅尼，學術，魔法，魔術，世學
Vijjā〔經〕明 S **52** 22～24；**56** 18；A **10** 10，105
Vijjā or Bhikkhu〔經〕明(比丘) S **22** 114
vijjā-gata 明人，慧者
vijjā-caraṇa 明行
vijjācaraṇa-sampanna 明行足，明行足者，明行具足，明行具足者，明行具足せる者，明と行とを具足するもの，智德成就の人〔如來十號の一〕
vijjā ca vimutti ca 明と解脫
vijjā-dhara 持明者，持明呪者，呪術師，呪術者，呪術を具へた者，魔術師，魔術者，魔法使
Vijjādhara〔窟〕ギッヂャーダラ，呪術師
vijjābhāgi-dhamma 明分法
vijjābhāgiya dhamma 順明分法，明分法
vijjā-maṇḍapa 學藝館
vijjāmaya iddhi 明所成神通，呪術所成神變
vijjā-vimutti 明解脫，明と解脫，明智と解脫
Vijjā-vimutti〔經〕明解脫 S **45** 46
vijjāvimuttiphala-sacchikiriyā 明解脫果を現證す
vijjā-visesa 呪明
vijjā-sampanna 明具足
vijju 電光，雷光
vijjutā 電，電光
vijjuppāda 電光
vijjullatobhāsa 電光
vijjūpama-citta 電光喩心
vijjūpama-citta puggala 電光喩心人
vijjūpama dhamma 電光喩法
Viñjha〔山〕ギンヂャ
Viñjhāṭavī〔森〕ギンヂャータギー，賓陀林
viññatti 表，表示，語告
viññatti rūpa 表色
Viññatti sīlan ti kathā 表戒論 KV **10** 10

viññāṇa 識，識神，印象
viññāṇa-āhāra 識食〔四食の一〕
Viññāṇaṁ〔經〕識 S **12** 59；**18** 3，13；**25** 3；**26** 3；**27** 3；**28** 6；**40** 6
viññāṇaṁ samanvesati 識を求むる
viññāṇa-kasiṇa 識遍〔十遍處の一〕
viññāṇa-kāya 識身〔六種〕
viññāṇakkhandha 識蘊
viññāṇa-gata 識の類
viññāṇa-cariyā 識行
viññāṇañcāyatana 識無邊處
viññāṇañcāyatana-kammaṭṭhāna 識無邊處業處
viññāṇañcāyatana-kiriyā 識無邊處唯作
viññāṇañcāyatana-kusala 識無邊處善
viññāṇañcāyatana-dhātu 識無邊處界
viññāṇañcāyatana-vipāka 識無邊處異熟
viññāṇañcāyatana-saññin 識無邊處想〔者〕
viññāṇañcāyatana-sahagata saññā-manasikāra 識無邊處と俱行する想作意
viññāṇañcāyatanūpaga-deva 識無邊處天
viññāṇaṭṭhiti 識住〔四種，七種〕
viññāṇa-dhātu 識界
Viññāṇalakkhaṇa-pañho 識の特相の問 Mil 2〔3〕12
viññāṇa-samudaya 識の集
viññāṇa-sota 意識の流
viññāṇassa nirodho 識の滅
Viññāṇādīnaṁ nānattha-bhāva-pañho 識と慧と命の問 Mil 2〔7〕17
viññāta 所了別，所知
viññāpaka 教授者
viññuppasattha 無礙*
viññū 有知，有智，有智者，有智人，識者，智者
viññeyya ① 所識，所知 ② 清徹，明瞭，知的〔八音の一〕
viññeyya dhamma 所識法，所知法
viṭapa〔植〕ギタパ
Viṭucca〔夜叉神〕ギトゥッチャ
Viṭṭāra〔ダミラ人〕ギッターラ
Viḍūḍabha〔波斯匿の子，將軍，王〕ギドゥー

ダバ，鞞留羅，毘琉璃，瑠璃王，増長する者
vitakka 尋，覺，念，考想，尋求，尋思，覺知，思惟，疑惑*
Vitakka〔經〕尋 S 56 7
vitakka-carita 尋行者
vitakka-cariyā 尋行
Vitakkattika 尋三法 Tika 6
vitakkattika-kusalattika 尋三法善三法 Tika-tika 26
vitakkattika-saraṇaduka 尋三法有諍二法 Tika-duka 78
vitakkattika-hetuduka 尋三法因二法 Tika-duka 6
vitakka-patha 尋思の路
Vitakkalakkhaṇa-pañho 尋の特相の問 Mil 2〔3〕13
vitakka vicāra 尋伺，覺觀
vitakka-vicārānaṁ nirodho 尋伺の滅盡
vitakka-vipphāra 尋思遍滿，尋演出，尋の擴大
vitakka-vipphāra-sadda 尋伺の聲，尋演出聲，尋思遍滿聲
Vitakka-vipphārasadda-kathā 尋演出聲論 KV 9 9
vitakka-vūpasama 尋寂靜
vitakkasaṅkhāra-santhāna 考想の行の息止
Vitakkasanthāna-sutta ギタッカサンターナ・スッタ，考想息止經 M 20
vitakkasahagata saññā-manasikāra 尋と倶行する想作意
Vitakkānupatita-kathā 尋隨伴論 KV 9 8
Vitakko〔經〕有尋 S 43 3
vitacchikā 輝，連瘡，疥癬
vitaṇḍa 詭辯論者
vitathā 虛妄
vitāna 天蓋
Vitiṇṇa〔蓮華上佛の信士〕ギティンナ
Vitta〔經〕富 S 1 73
vittha ギッタ，椀
vitthata〔cīvara〕廣衣
Vitthate〔uposatho〕〔經〕廣布薩 A 8 42
vitthambhana-bhāva 支持性
vitthambhana-lakkhaṇa=vāyo-dhātu 支持相
Vitthā〔河〕ギッター
vitthāyati 困惑す
vitthāra 廣說
Vitthāra〔經〕廣說 S 48 15～17, 36～38
vidatthi〔長さ〕張手，手尺，搩手
viditattā paññā 已解の慧
vidisāmukho bhuñjati 口を四維に向けて食す
Viduragga〔將軍〕ギドゥラッガ
Vidurā〔ウダヤ三世王妃〕ギドゥラー
Vidūra=Vidhūra, Vidhura ①〔拘留孫佛の第一弟子〕ギヅーラ，甚遠，無類者，毘樓 ②〔賢者，佛の前生〕ギヅゥーラ，比豆梨
Videha ①〔王〕毘提訶 ②〔長者〕ギデーハ ③〔國，族〕ギデーハ，毘提訶，韋提訶，尾提呬，尾陀訶 ④〔湖〕ギデーハ，毘提訶
Videha-muni=Ānanda〔比〕鞞提訶の聖者，鞞提訶牟尼
viddasu 賢者
Viddumagāma〔村〕ギッドゥマガーマ
viddhaṁsana 分散，壞滅
vidvant 知者，智者
vidha ギダ小箱，扣子（ボタン）
vidhavā, vidhvā 寡婦
Vidhavā〔河〕ギダヴー
vidhavā-gocara 寡婦に親近
vidhā 次第，慢，慢類，偏見〔三種〕
Vidhā ①〔河〕ギダー ②〔經〕次第 S 45 162 ③〔經〕第一類 S 46 41
Vidhātar〔神〕ギダーター
vidhutika 華箭，花環
Vidhura ①〔比〕ギドゥラ ②=Vidūra, Vidhūra〔拘留孫佛の第一弟子〕ギドゥラ，甚遠，無類者，毘樓 ③=Vidūra, Vidhūra〔賢者，佛の前生〕ギドゥラ，比豆梨
Vidhura-jātaka=Vidhurapaṇḍita-jātaka 比豆梨賢者本生物語
Vidhurapaṇḍita-jātaka～Vidhura-jātaka, Vidhurapuṇṇaka-jātaka ギドゥラパンディタ・ヂャータカ，比豆梨賢者本生物語 J 545
Vidhurapuṇṇaka-jātaka=Vidhurapaṇḍita-

jātaka ギドゥラフンナカ本生經，比豆梨不那奇本生物語
vidhūpana 扇
Vidhūpanadāyaka〔比丘の譬喩經〕ギドゥーパナダーヤカ Ap 3 51
vidhūpeti na sandhūpeti 離薫して遍薫せず
vidhūma 無煙〔忿〕，無煙者，瞋恚の煙絶え
Vidhūra ①=Vidhura, Vidūra〔拘留孫佛の第一弟子〕ギヅーラ，甚遠，無類者，毘樓②=Vidhura, Vidūra〔賢者，佛の前生〕ギヅゥーラ，比豆梨 ③〔大臣〕毘樓
vidhvā=vidhavā 寡婦
vinaṭṭha 遣與
Vinataka〔山〕ギナタカ，毘那多迦，彎曲山
Vinatā ①〔金翅鳥女〕ギナター ②〔河〕
vinandhana-rajju 結綱
vinandhana-sutta 結絲
vinaya ギナヤ，毘尼，毘奈耶，律，戒律，調伏，律藏
vinayaṁ paṭijānanto 解律者
vinayaṁ vivaṇṇeti 律を誹謗す
vinaya-kathā 律論
vinaya-kamma 毘尼羯磨，如律羯磨，律業
vinaya-garuka 重律
Vinayaṭṭhakathā～Vinaya-vaṇṇanā 律の義疏，律の諸義疏
vinaya-dhara 持律，持律師，持律者，持戒者，律師，律を持し，律を持するもの，律比丘
vinaya-paññatti 律の制定
vinaya-pariyatti 解律者，律に通達する
vinaya-pariyāya 律の教説
vinaya-pāmokkha 律の上首
Vinaya-piṭaka 律藏〔三藏の一〕V 1～3
Vinaya-vagga 律品 A 7 71～80
Vinaya-vaṇṇanā～Vinayassa aṭṭhavaṇṇanā, Vinayaṭṭhakathā 律註釋，律の註釋
vinaya-vādin 律語者，律說者，律を說く者，如律說者，調伏語者
vinaya-vāra 毘尼章 V 3 4 (13)
vinaya-vyākaraṇa 律の解說
vinaya-saṁgīti 律結集，律合誦
Vinaya-samukasa(A)=Vinaya-samukkaṁsa 毘奈耶に於ける最勝〔法說〕
vinaya-sammukhatā 律現前
Vinayassa aṭṭhavaṇṇanā～Vinayaṭṭhakathā, Vinaya-vaṇṇanā 律の註釋
vinayassa mūlaṁ 律の根
vinayānuggaha 律の攝受
vinayānuloma 隨律
vināsa 消失，破壞
vinicchaya ① 決斷，決定，分別，裁判，用 ② 裁判所，法廷 ③ 裁判官，司法官
vinicchayaṭṭhāna 裁判所，法廷
vinicchaya-dhamma 裁判法
vinicchaya-sālā 裁判所
vinicchayāmacca 司法官，司法大臣，裁判官
vinicchita 裁決
vinipāta 墮處，地獄，墮獄，惡處，惡趣，惡生，奈落，苦趣，苦處，險難，險難處，極墮，極墮處，無樂處
vinipātika 墮處〔者〕，墮惡趣者，墮獄者，險難處者
vinibandha 繫
vinibbhoga-rūpa 簡別色
viniviṭṭha 執著深く
vinīta 調伏，調順，學行者，教導せられたる者
vinīta-vatthu 修習事
vinīlaka 青瘀，青瘀相，紺青
Vinīlaka〔鵝〕ギニーラカ，紺青
Vinīlaka-jātaka ギニーラカ・ヂャータカ，紺青鴉本生物語 J 160
vinīlaka-saññā 青瘀想
Viniḷaka〔經〕青瘀 S 46 59
vinīvaraṇa-citta 無蓋心，離障心
vinīvaraṇatā cittassa 心離蓋
vinetabba 所化
vinela〔花〕ギネーラ
Vinelapupphiya〔比丘の譬喩經〕ギネーラプッピヤ Ap 3 202
vinodana 除，除遣
vinodeti 遣除す
Vindaka〔馬〕ギンダカ

vipakka 變異
vipakka-vipāka 圓熟異熟
vipakkhasevin 賣國奴
vipaccitaññū 廣演知者，廣演知
vipatti 失壞，壞，缺損，衰耗，不幸
Vipattipaccaya-vāra 失壞緣章 V 3 4 (5)
Vipatti-vāra 失壞章 V 3 1 (3, 11)
vipatti-saṁgaha 失壞聚
vipanna-diṭṭhi 壞見人，壞見，破見〔三種〕
viparāmosa 剽奪，剽掠，埋伏
vipariṇata 變心
vipariṇāma 變易，變壞，變心，壞，轉變性
vipariṇāma-dukkha 壞苦，變易苦
vipariṇāma-dukkhatā 壞苦性，壞苦
vipariṇāma-dhamma 變易法，變壞法
vipariṇāma-dhammatā 變易法性
vipariṇāma-lakkhaṇa 壞相，變易相
vipariṇāma-suñña 壞空，變易空
vipariṇāmānupassanā 變易觀，變易隨觀，變壞觀
vipariṇāmānupassane paññā 變壞を觀ずることの慧，變易隨觀慧
vipariyāsa=vipariyesa, vipallāsa 顛倒
vipariyesa-saññā 顛倒想，顛倒の想
viparīta 顛倒
Viparīta-kathā 顛倒論 KV 5 3
viparīta ñāṇa 顛倒の智
viparīta-dassana ① 顛倒見，顛倒せる見，顛倒の見 ② 見の顛倒せる，顛倒見者
viparīta-saññā=vipariyesa-saññā 顛倒想，顛倒の想
viparīta-saññin 顛倒想〔者〕
vipallāsa=vipariyāsa 顛倒
Vipallāsa-kathā 顛倒論 Pṭs 1 8
vipassaka 觀念家，毘鉢舍那〔行〕者
vipassanā ギパッサナー，觀，毘鉢舍那，觀慧，觀行，觀察智，觀念三昧，觀念の修行，觀法，內觀，正觀
Vipassanā-kathā 正觀論 Pṭs 3 9
vipassanā-kammaṭṭhāna 觀業處
vipassanā-kammika 觀業〔處修習〕者
vipassanā-javana 觀證用，觀速行
vipassanā-ñāṇa 觀智，正觀の智
vipassanā-nimitta 觀(毘鉢舍那)の相
vipassanānukkama 次第觀
vipassanā-paññā 觀慧
vipassanā-pubbaṅgama ariya-magga 觀を先行とする聖道
vipassanā-bala 觀力，正觀力
vipassanā-yānika 毘鉢舍那(觀)行者
vipassanā-vīthi 觀路
vipassanupekkhā 觀捨，觀の捨
vipassanūpakkilesa 觀隨染，觀の隨煩惱〔十種〕
vipassane ñāṇaṁ 正觀の智，觀智
vipassin 觀慧者
Vipassin ①〔佛，七佛の一〕ギパッシー，毘婆尸，觀察者 ②〔經〕毘婆尸 S 12 4
Vipassin bodhisatta 毘婆尸菩薩
vipāka 異熟，異熟果，果報
vipāka-cetanā 異熟思
vipāka-ja 異熟果
Vipākattika 異熟三法 Tika 3
vipākattika-kusalattika 異熟三法善三法 Tika-tika 23
Vipākattika-vaṇṇanā 異熟三法之釋
vipākattika-saraṇaduka 異熟三法有諍二法 Tika-duka 75
vipākattika-hetuduka 異熟三法因二法 Tika-duka 3
vipāka dhamma 異熟法
vipākadhamma-dhamma 異熟法法
vipākadhammadhamma-cetanā 異熟法法思
Vipākadhammadhammo ti kathā 異熟法法論 KV 7 10
vipāka-paccaya 異熟緣〔二十四緣の一〕
vipākapaccaya-niddesa 異熟緣廣說
vipāka-phala 異熟果
vipāka-manodhātu 異熟意界
vipāka-manoviññāṇa-dhātu 異熟意識界
vipāka-vaṭṭa 異熟輪轉
vipāka-santati 異熟相續
vipāka-hetu 異熟因

vipākādhipati 異熟増上
vipākāvaraṇa 異熟障
vipākāvaraṇatā 異熟障
vipākāvyākata 異熟無記
vipina 叢林
vipubbaka 膿爛相
vipubbaka-saññā 膿爛想，潰爛想
vipula 廣大
Vipula ①〔王，レーヴタ佛の父〕ギフラ，廣大 ②=Vepulla〔山〕ギブラ，尾布羅，毘富羅，毘補羅，普廣，廣普 ③〔經〕廣大 S **55** 64
vipula-paññatā 廣慧，廣大慧
vipula-paññā 廣大慧
vipula-sukha 大樂
Vipulā〔妃，レーヴタ佛の母〕ギフラー
vippaṭipajjati 行婬す
vippaṭisāra 追悔，後悔，悔，悔心
vippaṭisārin 悔疑〔者〕，後悔者，追悔〔者〕
vippaṭisāriya 追悔
vippayutta-paccaya 不相應緣〔二十四緣の一〕
vippayuttapaccaya-niddesa 不相應緣廣說
Vippayuttena vippayutta 不相應〔なるものの〕不相應 Dhk 10
Vippayuttena saṅgahīta asaṅgahīta 不相應〔なるものの〕所攝と非攝 Dhk 14
Vippayuttena sampayutta 不相應〔なるものとの〕相應 Dhk 8
vippavāsa 獨住〔夜斷の一〕
vippavuttha 離衣
vipphandita 爭論，偏見，紛爭，動轉
vibbhanta 迷亂せる，散亂
vibbhantaka 還俗者
vibbhanta-citta=vibhanta-citta 散亂心，迷亂心
vibhaṅga ① 分別 ② 配分
Vibhaṅga ①=Suttavibhaṅga ギバンガ，分別，分別篇，毘崩伽 Vinaya **1** a～b ② ギバンガ，分別論〔七論の一〕Abhidhamma 2 ③〔經〕分別 S **12** 2；**45** 8；**47** 40；**48** 9，10；**51** 20
Vibhaṅga-kovida 毘崩伽師
Vibhaṅga-vagga ギバンガ・ヴッガ，分別品 M **131～142**
vibhajanā 分別
vibhajja-vāda 分別論者，分別說者
Vibhajjavādin〔部派〕分別論者，分別說者，分別說部
vibhajja-vyākaraṇīya-pañha 分別記問，分別して後に解答せらるべき問，應分別記問〔四記問の一〕
vibhattavant 分別せる者
vibhatti 細說
vibhanta-citta=vibbhanta-citta 迷亂心，散亂心
vibhava 非有，無有，死滅，有の滅
vibhava-taṇhā 無有愛，無有の渇愛，非有愛，非有の渇愛〔三愛の一〕
vibhava-diṭṭhi 無有見，無見，非有見
Vibhāta〔王子〕ギバータ
vibhāti 天明
vibhāvin 分別者
vibhīṭaka=vibhītaka〔果，樹〕ギビータカ，毘鞞得迦，毘醯勒，毘勒得迦，川練
Vibhīṭakamiñjiya〔比丘の譬喩經〕ギビータカミンヂヤ Ap 3 438
Vibhīṭaki-vagga ギビータキ品 Ap **3** 438～447
vibhītaka=vibhīṭaka〔果，樹〕ギビータカ，毘鞞得迦，毘勒得迦，毘醯勒，川練
vibhūta ālambana 明瞭所緣
vibhūta-saññin 無有想者
vibhūsana 裝飾，莊嚴，虛飾
vibhūsā 嚴飾
vibhedika〔樹〕ギベーディカ
vimati 疑慮，疑，猶豫
Vimaticchedana-pañha 斷惑の問
vimala 無垢，離垢
Vimala ①〔辟〕ギマラ ②〔耶舍の友人，比〕ギマラ，離垢，毘摩羅 ③〔傳◦轉輪王〕ギマラ，毘摩羅 ④〔宮殿〕ギマラ，離垢
Vimalakoṇḍañña〔比〕ギマラコーンダンニャ，毘摩羅憍陳如
Vimaladhammasuriya ①〔一世王〕ギマラダ

ンマスリヤ ②〔二世王〕
Vimaladhammādidvirājadīpaka〔章〕ギマラダンマ等二王 Cv 97
Vimalā ①〔尼〕ギマラー，無垢 ②〔ヒヤダッシー佛の妃〕ギマラー ③〔龍王妃〕ギマラー，毘摩羅
vimāna ① 天宮，宮殿 ② 勝慢
Vimāna-vatthu ギマーナ・ヴットゥ，天宮事經，天宮事，天宮〔事〕〔小部經の一〕Khuddaka 6
Vimuccamāna-kathā 正解脫論 KV 3 4
vimutta 解脫者，解脫
vimutta-citta 解脫心，解脫せる心，心解脫
vimuttānuttariya 解脫無上〔三無上の一〕
vimuttāyatana 解脫處〔五種〕
vimutti 解脫
vimutti-kathā 解脫論，解脫の話〔十論事の一〕
vimuttikkhandha 解脫蘊〔四法蘊の一〕
vimutti-ñāṇa 解脫智
vimuttiñāṇa-dassana 解脫智見，解脫知見
vimuttiñāṇadassana-kathā 解脫智見論，解脫知見論，解脫智見の話
vimuttiñāṇadassanakkhandha 解脫知見蘊
vimuttiñāṇadassana-ratana 解脫智見寶
vimuttiñāṇadassana-sampadā 解脫智見成就，解脫智見圓足，解脫智見具足
vimuttiñāṇadassana-sampadā-kathā 解脫智見成就の稱說
vimutti-paripācaniya-saññā 解脫成熟想〔五種〕
vimutti-pārisuddhi 解脫淸淨
vimutti-ratana 解脫寶
vimutti-rasa 解脫味，解脫の美味
vimutti-visuddhi pārisuddhi-padhāniyaṅga 解脫淸淨淸淨勤支〔九淸淨勤支の一〕
vimutti-sampadā 解脫成就，解脫圓足
vimuttisampadā-kathā 解脫成就の稱說
vimutti-sampanna 解脫具足
vimutti-sāra 解脫を核心と爲す，堅固解脫
vimutti-sukha 解脫の樂，解脫樂
vimutti-sukhe ñāṇaṁ 解脫樂智
vimokkha 解脫
Vimokkha〔經〕解脫 A 8 66
vimokkhantika-ñāṇa 解脫究竟智
vimokkha-vivaṭṭa 解脫退轉
vimokkha-vivaṭṭe ñāṇaṁ 解脫退轉の智
viyañjana=vyañjana，byañjana 相好，相
viyatta=vyatta，byatta ① 聰明，有能，完全者，堪能者，明白 ② 異諍者
viyohāla-samatā (A) 司法に於ける公平
viraja 離塵，遠塵
Viraja〔宮殿〕ギラヂャ，離塵
viraja-vītamala 遠塵離垢，離塵離垢
virajjati 離貪す
virati 離
virati〔cetasika〕離〔心所〕
virati-sīla 離戒
viratta-citta 無執心
Viraddha〔經〕失 S **45** 33；**46** 18；**47** 33；**51** 2
virava〔花〕ギラヴ
Viravapupphiya〔比丘の譬喩經〕ギラヴプッピヤ Ap 3 244
virāga 離貪，離欲，離，離貪者
Virāga ①〔經〕遠離 S **45** 41 ②〔經〕離貪 S **46** 75；**47** 32；A 8〔附〕
Virāga-kathā 離欲論 Pṭs **2** 5
virāgagāmi-magga 離欲に達するの道
virāga-dhamma 離貪法，離法，離欲の法，衰法
virāga-saññā 離貪想，離情想
virāga-saññin 離貪想〔者〕
virāgānupassanā 離貪隨觀，離貪觀
Virāgo〔經〕離欲 S **43** 36
viriccati 下痢す
viriya 精進，勤
Viriyaṁ〔經〕精進 S **12** 89；**37** 22
viriya-pāramī 精進波羅蜜〔十波羅蜜の一〕
viriya-bala 精進力，勤力
Viriyalakkhaṇa-pañho 精進の特相の問 Mil 2〔1〕11
viriyavant 具精進者
viriya-vāda 精進論者
viriya-saṁvara 精進律儀
viriya-samatā 平等の精進，精進平等

viriya〔-samādhi〕精進〔定〕
viriya-samādhi-padhāna-saṁkhāra-samannāgata-iddhipāda 精進三昧地勤行成就神足，勤三摩地勝行成就神足，勤三摩地勤行成就の神足＝精進神足〔四神足の一〕
viriya-sambojjhaṅga 精進覺支，精進等覺支，精進の覺意〔七覺支の一〕
viriyādhipati 精進增上，勤增上
viriyārambha 發勤精進，發勤，勤精進，精進，精進發勤，精勵，勇猛精進
viriyārambha-kathā 發勤論，發勤精進論，勤精進論，精進の話，精進發起の稱說〔十論事の一〕
Viriyārambhādi-vagga 發勤精進等品 A 1 7
viriyārambhe ñāṇaṁ 發勤の智，勤精進の智
viriyiddhipāda 精進神足，勤神足
viriyindriya 精進根，進根
viriyupekkhā 精進捨
Virukkha＝Virūpakkha〔四天王の一〕ギルッカ，廣目天，毘樓博叉
viruta, viruda 占〔鳥獸〕聲
viruddha 違和，相違，害意
viruddha-gabbha-karaṇa 墮胎
Virūpakkha＝Virukkha〔四天王の一，龍の主神，四蛇王族の一〕ギルーパッカ，廣目天，廣目天王，毘樓博叉，毘樓羅阿叉
Virūpakkha-mahārājan ギルーパッカ大王，廣目天
Virūḷha〔四天王の一，鳩槃茶の王〕ギルーラ，增長天，增長天王，毘樓勒
virūḷhi 興隆
vireka 下劑
virecana ① 下劑，吐下藥，下劑藥 ② 下痢
Virocana〔傳◦轉輪王〕微盧者那
Virocana-asurinda〔經〕毘留奢那阿須羅王 S 11 8
Virocana-jātaka ギローチャナ・ヂャータカ，威光本生物語 J 143
Virocamānā〔俱留孫佛の妃〕ギローチャマーナー，能遍照
vilaṅga〔藥，果實〕ギランガ
Vilattākhaṇḍa〔池〕ギラッターカンダ
vilāta 犨
Vilāta〔國，族〕ギラータ，韃靼*
vilāpa 戲論
vilāra＝viḷāra, biḷāra 猫
vilāsaya ギラーサヤ，穴居者，蛇
viliva-paṭṭa 竹布
vilīva-kāra 籠師
vilekha 混亂
vilepana 塗香，香水，塗油，化粧品，脂粉，塗料
Villa＝Vallī〔精舍〕ギッラ
Villava〔ダミラ人〕ギッラヴ
Villikābā〔地方〕ギッリカーバー
viḷāra＝vilāra, biḷāra 猫
vivaṭaka 公開〔行籌の一〕
vivaṭaka-salākagāha 公開行籌
vivaṭa-cakkhu 明眼者
vivaṭṭa 中條
vivaṭṭa-kappa 成劫
vivaṭṭana, vivaṭṭanā 還轉，退轉，還滅
vivaṭṭanānupassanā 還滅觀，還滅隨觀，退轉觀
vivaṭṭāṭṭhāyin 成住〔劫〕，住劫
vivaṇṇeti 誹謗す
vivadana 分裂
vivara 開空，虛空
vivaraṇā 解明，開演
Vivara-vagga 開門品 J 301～310
vivāda 諍論，諍，論，論爭，論諍，爭論，口論，異論，鬪諍，競，紛議，紛諍
vivāda-kāraka 爭論す，諍論す，諍論者，口論者，諍事を作す
vivāda-patha 確執路
vivāda-mūla 諍根，口論の根，惡諍根
Vivāda-mūla〔經〕諍根 A 10 42, 43
Vivādā〔經〕諍論 A 10 41
vivādātar 諍論者
vivādādhikaraṇa 口論諍事，爭論諍事，爭論諍事，論諍事，論事，言事〔四諍事の一〕
vivādādhikaraṇassa mūlaṁ 諍論諍事の根本
vivādo vivādādhikaraṇaṁ 諍論と諍論諍事

vivāha 嫁に遣ること，嫁入り，嫁すること
vivāhana 嫁すること，嫁に遣ること，嫁入り
vivitta āsana 遠離せる座所
vivitta senāsana 遠離せる臥坐所，遠離の住處，遠離處，獨居の坐臥處，獨離せる座處，離れたる坐臥處，離世閑居
Vividhakusalakaraṇa 〔章〕種種の善事を行ふこと Cv 85
Vividhakusala-kārāpana 〔章〕種種の善事を行はしむること Cv 86
viveka 離，遠離，獨處
Viveka 〔經〕遠離 S 9 1；48 71
Vivekaṁ 〔經〕離 S 28 1
Viveka-kathā 離論 Pṭs 3 4
viveka-dhamma 遠離法
Viveka-nissita 〔章〕遠離依止 S 45 49～55, 63～69, 77～83, 91～102
visa 毒，毒液，毒味，劇毒，蛇毒
visaṁyutta 離繫せり，縛を解きし者
visaṁyoga＝visaññoga 離縛，離繫，離軛
visaṁvādanā 不信
visa-kaṇṭaka 毒刺
visa-kumbha 毒瓶
visakkiyena dūtena 〔mārāpeti〕展轉使殺
visajjana-chanda 費消欲
visañña-saññin 異想者，異想〔者〕，無想想者
visaññīkaraṇa-bhesajja 痲醉劑
visaññoga＝visaṁyoga 離繫，離縛，離軛
visattikā 執著，愛著，縛著，染著，纏綿
visa-dosa 毒害
visa-patta 毒器
visapīta-salla 毒矢
visabhāga 非同分，異分，不同分，不同類，非相似，異性
visabhāga-nimitta 非相似の相
visabhāga-santati 非同分相續
visabhāga-suñña 異分空
visama 不正，不正者，不等，不等者，不平等，險，險難，邪，非理，逆運
visama-cariya 不平等行，非正道行
visama-cārin 非正行〔者〕
visama-parihāra 不平等の姿勢，不等の姿勢，險難の襲來
visamaparihāra-ja ābādha 不等姿勢所生病，不平等姿勢所生の病
visama-lobha 非理貪，邪貪，惡欲
visamā parisā 不等衆會
visa-mūla 毒根，毒の根
visaya＝ārammaṇa 對境，境，境界
visaya-rūpa 境色
Visayha 〔長者，佛の前生〕ギサイハ，ギサキハ
Visayha-jātaka ギサキハ・ヂャータカ，ギサキハ長者本生物語 J 340
visa-rukkha 毒樹
Visavanta-jātaka ギサヷンタ・ヂャータカ，吐毒本生物語 J 69
visa-vijjā 毒藥明
Visākha ①＝Pañcāliputta 〔比〕ギサーカ，毘舍佉 ②〔塞，法授尼の夫〕ギサーカ，毘舍佉 ③〔吉祥佛の信士〕ギサーカ ④〔プッサ佛の信士〕ギサーカ
visākhā 〔月〕ギサーカー，吠舍佉，毘舍佉，氐
Visākhā ①〔尼〕ギサーカー，毘舍佉 ②〔俱留孫佛の母〕ギサーカー，善枝，毘舍佉 ③〔アッタダッシー佛の妃〕ギサーカー ④〔ピヤダッシー佛の信女〕ギサーカー ⑤＝Migāramātar, Visākhā Migāramātar 〔夷〕ギサーカー，毘舍佉 ⑥〔經〕毘舍佉 A 8 43, 47
Visākhā-bhāṇavāra 毘舍佉誦品 V 2 a 8, 2～15
Visākhā Migāramātar＝Visākhā⑤, Migāramātar 〔夷，布施第一〕ギサーカーミガーラマーター，ギサーカーミガーラ母，毘舍佉彌伽羅母，毘舍佉鹿子母，毘舍佉鹿母，鹿母毘舍佉
Visākho 〔經〕毘舍佉 S 21 7
visāṇa 角
visāṇa-tāla 角鍵
visāṇato gavaṁ dohati 牛の角を搾る
visāṇa-maya 角製
Visāṇā 〔都〕ギサーナー
visārada 無畏，無畏者，無所畏，熟達者

Visāradā〔經〕無所畏 S **37** 25, 33
Visāla=Vesālī〔市〕ヸサーラ，毘沙羅
Visālakkhi-vimāna 廣目天宮 Vv 37
Visālamutta〔ダミラ人〕ヸサーラムッタ
visikhā 街衢，道路，街路，街道，市街
visikhā-kathā 道路論，道傍論，街路論，街道論，市街論，巷中論，風評論，風評の話〔無用論の一〕
Visirātthala〔池〕ヸシラーッタラ
visuddha 淸淨
visuddha-theravāda 純粹上座部
Visuddhācariya〔アヨッヂャー(タイ)より來れる比丘〕ヸスッダーチャリヤ
visuddhi 淸淨
visuddhi-kathā 淸淨說
visuddhi dakkhiṇā 淸淨施物〔四種〕
visuddhi-deva 淸淨天
Visuddhi-magga〔書〕ヸスッディマッガ，淸淨道論，淸淨道 VM **1～23**
visuddhiyā maggo 淸淨の爲の道
visūka 見世物，演藝，娛樂物
visūka-dassana 觀劇
visūkāyita 曲說，異說
visūcikā 虎列剌，虎疫
viseni〔-bhū or -kar〕破〔煩惱〕軍
viseneti no usseneti 退きて近づかず
visevita 奸計，歪曲
visesa ① 差別 ② 勝進 ③ 別論
visesaka 黥面
visesa-gāmin 勝進者
Visesa-pañho 別問 Mil 3
visesa-bhāgin 勝進分，順勝進分
visesa-bhāgiya 順勝進分，勝進分，勝分，勝分ある
visesabhāgiya-samādhi 勝分定，勝進分定，順勝進分定〔四定の一〕
visesabhāgiya-sīla 勝分戒
visesādhigama 勝智
visesika 勝論說
Vissakamma〔工神〕ヸッサカンマ，毘首羯磨，毘舍羯磨，毘舍技巧神，工藝天，妙匠
vissajjita 遣與
vissaṭṭha 玲瓏，明瞭〔八音の一〕
vissaṭṭhiya 奔放
Vissasena〔王〕ヸッサセーナ
vissāsa 信賴，親厚意，親厚想，親厚者
Vissāsabhojana-jātaka ヸッサーサボーヂャナ・ヂャータカ，信食本生物語 J 93
vissāseti 親厚想す
vissuta dhammika 高名法師
viha 虛空
vihaṁgama 空中の飛行者
vihaṅga-patha 鳥路
Vihatābha〔傳◦轉輪王〕ヸハターバ
viharanta 住者
vihaviha〔鳥聲〕ビハビハ
vihāra ① 精舍，住處，寺，住院，僧房，房舍，香室，香房 ② 住法
Vihāra〔經〕住 S **45** 11, 12
vihāraṁ karoti 精舍を建立す
vihārakāra-saṁghādisesa 造精舍僧殘〔第七僧殘〕
Vihārakārāpana〔章〕精舍を建立せしむること Cv 78
vihāra-cārika 精舍巡拜，精舍參拜
vihāra-cīvara 精舍衣
vihāraṭṭha 寺中物
vihāraṭṭhe ñāṇaṁ 住の義の智
Vihāradevī〔王妃〕ヸハーラデーヸー
vihāra-nānatte paññā 住の種種相の慧
vihāra-pāla 精舍の番人，守精舍人
Vihārabīja〔村〕ヸハーラビーヂャ
vihāra-bhatta 精舍食
Vihāra-vagga 住品 S **45** 11～20
vihāra-vatthu ① 寺の敷地，寺地，精舍地 ② 造寺の事
Vihāravāpi〔村〕ヸハーラヷーピ
Vihāra-vimāna 精舍天宮 Vv 44
Vihāravejjasāla〔渡〕ヸハーラヱッヂャサーラ
vihāra-samāpattaṭṭhe ñāṇaṁ 住等至の義の智
vihāra-samāpatti 住等至，住の成就
vihārasamāpatti-nānatte paññā 住等至の種種

相の慧
vihārin 住者，修行〔者〕
vihiṁsā=vihesā 害，害意，害心，毀害，苦惱，嬈惑
vihiṁsā-dhātu=vihesā-dhātu 害界〔三不善界の一〕
vihiṁsā-vitakka=vihiṁsā-saṅkappa 害尋，害覺，害悪觀，害傷の心，害念，害の考想，侵害の念〔三不善尋の一〕
vihiṁsā-saṁkappa=vihiṁsā-vitakka 害思，害思惟，害念
vihiṁsā-saññā 害想〔三不善想の一〕
vihesā=vihiṁsā 害，害心，害意，毀害，苦惱，嬈惑
vihesā-dhātu=vihiṁsā-dhātu 害界
vihesā-nandi 害喜
vihesāya nissaraṇaṁ 害よりの出離
vihesāvant 有害者
vihesika 惱亂者
vījanika 扇
vījanī 拂子，扇，團扇
Vījanī-vagga ヸーヂャニー品 Ap 3 51～60
Vījamānasa〔傳。轉輪王〕ヸーヂャマーナサ
vīṇa-vādaka 琵琶師
vīṇā ヸーナー，琵琶，琴，箜篌，絃，笛*
Vīṇā〔經〕琵琶 S 35 205
vīṇā-tantissara 琴絃
Vīṇāthūṇa-jātaka ヸーナートゥーナ・ヂャータカ，琵琶竿本生物語 J 232
vīṇā-doṇi 琴の胴
vīṇā-sadda 琵琶聲，箜篌聲
vītaṁsa 媒鳥
vītacchanda 離欲
vīta-taṇha 離渴愛
vīta-dosa 離瞋，離瞋者
vītadosa citta 離瞋心
vīta-pariḷāha 離惱
vīta-pipāsa 離渴
vīta-pema 離愛
vīta-mala 離垢
Vītamala〔傳。轉輪王〕ヸータマラ
vīta-moha 離癡，離癡者
vītamoha citta 離癡心
vīta-rāga 離貪，離欲，離貪者，離欲者
Vītarāga〔辟〕ヸータラーガ
vītarāga citta 離貪心
vītarāga-visaya 離欲の世界
vīta-salla 無刺箭
vīta-sārada 無畏者
Vītasoka〔比〕ヸータソーカ
vītikkama 違犯
vītikkama-paṭipakkha 違犯の對治
Vīticcha-jātaka ヸーティッチャ・ヂャータカ，離欲本生物語 J 244
vītimissa-dhamma 雜法
vīthi 路，人道，經路
vīthiṁ jānāti 道路を知る
vīthi-citta 路心，經路心
vīthicitta-pavatti-naya 路心轉起法
vīthi-paṭipādaka 路〔心〕に赴かしむる〔作意〕
vīthi-mutta 離路
Vīthimutta-saṅgaha-vibhāga 攝離路分別 Abhsaṅg 5
vīthi-saṅgaha 路の攝
Vīthi-saṅgaha-vibhāga 攝路分別 Abhsaṅg 4
Vīthisammajjaka〔比丘の譬喩經〕ヸーティサンマッヂャカ Ap 3 153
vīmaṁsaka-bhikkhu 思察比丘
Vīmaṁsaka-sutta ヸーマンサカ・スッタ，思察經 M 47
vīmaṁsā 觀，觀慧，觀定，思惟，思察，思量，自試，審察，推量
vīmaṁsādhipati 觀增上，思惟增上
vīmaṁsā-samādhi-padhāna-saṁkhāra-samannāgata iddhipāda 思惟三昧地勤行成就神足，觀三摩地勝行成就神足，觀三摩地勤行成就の神足=觀神足〔九清淨勤支の一〕
vīmaṁsiddhipāda 觀神足
vīmaṁsin 審察家，思量家，觀慧ある者
vīra 雄者，勇者，大雄
Vīra ①〔比〕毘羅 ②=Parakkamabāhu〔八世王〕ヸーラ ③〔池〕ヸーラ

Vīraka〔鵜，水鳥〕ギーラカ
Vīraka-jātaka ギーラカ・ヂャータカ，ギーラカ鳥本生物語 J 204
Vīragaṅga〔地方〕ギーラガンガ
Vīragaṅga〔ra〕〔ダミラ人〕ギーラガンガ〔ラ〕
Vīradeva〔王〕ギーラデーヴ
Vīranukkara〔軍〕ギーラヌッカラ
Vīrapaṇḍu〔王子〕ギーラパンドゥ
Vīrapperaya〔ra〕〔ダミラ人〕ギーラッペーラヤ〔ラ〕
Vīrabāhu ①〔一世王〕ギーラバーフ ②〔二世王〕③〔ギヂャヤバーフ一世王の弟〕④=Mānābharaṇa〔王子〕⑤〔パラッカマバーフ二世王の甥〕
Vīravamma〔ギヂャヤバーフ一世王の婿〕ギーラヴンマ
Vīravikkama〔王〕ギーラギッカマ
Vīrasena〔人〕ギーラセーナ，雄軍
Vīrā ①〔尼〕ビーラー，毘羅 ②〔經〕毘羅 S 10 11
vīsati akusala-pakkhā 二十不善分
vīsati ākārā〔緣起〕二十行相，二十相
vīsati kusala-pakkhā 二十善分
vīsati dhammā 二十法〔沙門の〕
Vīsati dhammā〔經〕二十法 A 10 211
Vīsati-nipāta ① 二十偈集〔長老偈經〕Thag 705～948 ② 二十偈集〔長老尼偈經〕Thīg 252～365 ③ 第十五篇〔本生經〕J 497～510
vīsativagga-karaṇa 二十衆可作
vīsativagga-bhikkhusaṁgha 二十比丘僧伽〔五種僧伽の一〕
vīsativatthukā sakkāya-diṭṭhi 二十事ある有身見
vīsati-vasābhisita (A) 灌頂二十年
vīhi ギーヒ，ギーヒ米，稻，米，粳，粟*
vuṭṭhahanta 出定者
vuṭṭhāna 出定，出起，起出，出離
Vuṭṭhāna〔經〕出起 S 34 3, 29～34
Vuṭṭhāna—Kallita〔經〕出起—安樂 S 34 28
vuṭṭhāna-kusala 出起善，起つに巧，起善能
vuṭṭhāna-kusalatā 起善能，出起善，起つに巧
vuṭṭhāna-gāminī vipassanā 出起に至る觀
vuṭṭhāna-vasin 出定自在，出離自在
vuṭṭhāna-vedanā 起出受
vuṭṭhāpeti ① 出罪せしむ ②=upasampādeti 受具せしむ
Vuṭṭhi〔經〕雨 S 1 74
vuḍḍha 長老，年長者，老贏
vuḍḍha-pabbajita 老年に出家せる人
vuḍḍhi=vuddhi, vaḍḍhi 增長，增大，增事，繁榮
Vuḍḍhi〔經〕增長 S 55 60 ; A 10 74
Vuttha ①〔塔〕ウッタ ②〔經〕〔安居〕住 A 9 11
vuddha-sīla 修戒具足
vuddha-sīlin 戒德增上者
vuddhi=vuḍḍhi, vaḍḍhi 增長，增大，繁榮，增事
Vuddhi〔經〕增長 S 46 37
vuddhi kusalesu dhammesu 善法の增長
vusitaṁ brahmacariyaṁ 梵行已に立ち，梵行已に立し，梵行已に立す，梵行已に果され，梵行已に成り，梵行は修せられ，梵行は修了せり，梵行は成就し，梵行は確立し，梵行は濟まされたり，梵行は已に行じ，梵行は已に住せられたり，梵行は已に成り
vusitavant 修行成滿し，所作圓滿し，已住
vusitāvin 梵行已に立せる者
vūpakāsa 閑靜，遠離〔二種；身，心〕
vūpasanta-citta 寂靜心性
vūpasama 靜止，鎭靜，終息
vekaṭika 食汚物者
vekaṇḍa 鉤箭
Vekhanassa=Kaccāyana〔遊行者〕ゴーカナッサ，鞞摩那修
Vekhanassa-sutta ゴーカナッサ・スッタ，鞞摩那修經 M 80
Veghanasa〔天〕ゴーガナサ，鞞摩尼娑
vecikicchin 懷疑者
Vejayanta ①〔天宮，天車〕ゴーヂャヤンタ，最勝，最勝講堂，最勝殿，皮闍延多，皮禪延

多，毘闍延哆，毘闍耶他，毘闍耶難提，超勝，勝利，樂聲 ②〔パラッカマ大王の宮殿〕ヹーヂャヤンタ
Vejayanta-pāsāda=Vejayanta① 勝利殿，最勝講堂
Vejayanta-ratha=Vejayanta① 毘闍耶難提車
vejja 醫，醫者，醫師
vejja-kamma 醫業，醫術
Vetambarin〔外，天子〕ヹータンバリー，吠坦婆利
veṭṭhita-sīsa 頭を纒ふ
Veṭhadīpa=Veṭhadīpaka 〔村〕ヹータディーパ，毘留提
Veṭhadīpaka=Veṭhadīpa 〔村〕ヹータディーパカ，毘留提
veṭhana ターバン，頭巾
veṇa 竹工，竹師，竹匠，竹籠作り，竹細工〔人〕，賤民
veṇa-jāti 竹師種
veṇi 髮
veṇī 篋匠女
Veṇī〔牝豺〕ヹーニー
veṇu ヹーヌ，管
veṇu-tinduka〔植〕ヹーヌティンドゥカ
Veṇumatī〔水路〕ヹーヌマティー
Veṇḍu ①=Veṇhu，Venhu〔天，神〕ヹーンドゥ，毘紐，韓弩 ②〔經〕毘紐 S 2 12
Veṇhu=Veṇḍu〔天〕ヹーンフ，韓弩，毘紐
vetaṇḍin 詭辯家
vetana=vettana 賃金，給料
Vetaraṇī ①〔地獄の河〕ヹータラニー，灰河，地獄河 ②〔醫〕ヹータラニー
vetasa〔樹〕ヹータサ
vetāla 鳴鉢，鐃鈸樂
vetālika 魔法使，呪術師
Vetulyaka=Vetulla〔部派〕方廣部
Vetulla=Vetulyaka〔部派〕ヹートゥッラ，方等部，不平等部
Vetulla-piṭaka ヹートゥッラピタカ，方廣說の〔三〕藏
Vetulla-vādin=Vetulla，Vetulyaka〔部派〕ヹートゥッラ說者，方等部
Veteṇḍu〔夜叉神〕ヹーテーンドゥ
vetta 籐，籐綴，杖，鞭，棒
vettagga 筍
vettana=vetana 給料，賃金
vetta-bandhana 籐蔓の縄
Vettavatī ①〔河〕ヹッタヴティー ②〔水路，水門〕③〔町〕
Vettavāsa〔精舍〕ヹッタヴーサ
veda ① ヹーダ，吠陀，圍陀 ② 信受
vedaka 受者
vedagū ① 吠陀達人，吠陀の達人，吠陀に達し，吠陀通，吠陀通達者，吠陀に通じ，吠陀に通曉し，吠陀に通ぜる，極智者，識者，明覺者，明者，明智者 ② ヹーダグー，靈
Vedagū-pañho 靈の問 Mil 2〔3〕6；2〔5〕6
vedaṅga ヹーダンガ，吠陀支
vedanakkhandha 受蘊
vedanaṭṭa 痛惱者，痛惱人，痛苦者，痛苦人
vedanā 受，苦痛，痛苦
Vedanā〔經〕受 S **14** 4,5；**18** 5，15；**38** 7；**45** 29，169；**47** 49
vedanā-kāya 受身〔六種〕
vedanā-gata 受の類
Vedanāttika 受三法 Tika **2**
vedanāttika-kusalattika 受三法善三法 Tika-tika 22
Vedanāttika-vaṇṇanā 受三法之釋
vedanāttika-saraṇaduka 受三法有諍二法 Tika-duka 74
vedanāttika-hetuduka 受三法因二法 Tika-duka 2
vedanānaṁ assādo 受の味
vedanānaṁ ādīnavo 受の患
vedanānaṁ khayo 受の滅盡
vedanānaṁ nissaraṇaṁ 受の出離
vedanānaṁ pariññā 受の遍智，受に就いての智
vedanā-nānatta 受種種，種種受
vedanānupassanā 受隨觀=受念處
vedanānupassanā-satipaṭṭhāna 受隨觀念處

Vedanāya〔經〕受 S **25** 5; **26** 5; **27** 5
Vedanā-lakkhaṇa-pañho 受の特相の問 Mil **2** 〔3〕9
Vedanā-saṁyutta ヹーダナー・サンユッタ，受相應 S **36** 1〜29
vedanā-saṅgaha 受の攝 Abhsaṅg 3 1
vedanā-samudaya 受の集
vedanā-samosaraṇa 受に等趣す
vedaniya kamma 所受の業
vedanupekkhā 受捨
vedantagū 吠陀の極に達し，吠陀に通じ，聖道に達し
vedabbha 呪師
Vedabbha〔呪〕ヹーダッバ，智雲
Vedabbha-jātaka ヹーダッバ・ヂャータカ，ヹーダッバ呪文本生物語 J 48
vedayita 受，感受，覺受
vedalla ヹーダッラ，吠陀羅，毘陀羅，知解，智解，有明，方廣，方等經〔九分敎の一〕
vedalla-kathā 智解の論
vedaveyaka ヹーダヹーヤカ魚
vedi 欄楯
vedikā 勾欄，欄楯，欄干
Vedikāraka〔比丘の譬喩經〕ヹーディカーラカ Ap 3 143, 446
vedikā-vātapāna 欄干窓
Vediyaka〔山〕ヹーディヤカ，毘陀
vediyati 領受す
Vediyadāyaka〔比丘の譬喩經〕ヹーディヤダーヤカ Ap 3 235
vedisa〔樹〕ヹーディサ
Vedisa=Vedissa〔地名〕ヹーディサ，卑地寫，卑提寫
Vedisagiri〔精舍〕卑提寫山
Vedissa=Vedisa〔地名〕ヹーディッサ，卑地寫，卑提寫
Vedehamuni=Ānanda〔比〕ヹーデーハムニ，鞞提訶牟尼
Vedehikā〔居士婦〕ヹーデーヒカー
Vedehi-putta=Ajātasattu〔王子，王〕ヹーデーヒプッタ，韋提希子
Vedehiputta Ajātasattu=Ajātasattu〔王〕韋提希子阿闍世，阿闍世韋提希子
Vedehī〔阿闍世の母，妃〕ヹーデーヒー
Vedehī-putta=Vedehiputta, Ajātasattu〔王子，王〕ヴェーデーヒープッタ，韋提希の子，韋提希子，韋提希夫人の御子
vedha=vegha 革紐
Vedhañña〔樓閣〕ヹーダンニャ，緬祇
vedhabba 寡婦たること
Venateyya〔王〕ヹーナテーヤ，ヹーナテッヤ，毘那怛
venayika ① 調伏者，持律者 ② 虛無論者
Venāgapura〔村〕ヹーナーガプラ
Venhu=Veṇhu, Veṇḍu〔天，神〕ヹーンフ，毘紐，鞞弩
vepakka kamma 異熟業
Vepaciti, Vepacitti=Vepacittiya〔阿修羅王〕ヹーパチッティ，毘摩質多，毘摩質多羅，吠波質底
Vepacitti or Khanti〔經〕吠波質底（忍辱）S **11** 4
Vepacitti-parisā〔阿修羅王〕毘摩質怛羅衆
Vepacittiya=Vepacitti〔阿修羅王〕ヹーパチッティヤ，毘摩質多，吠波質底
vepākin 消化をなす
vepākinī-gahaṇī 消化力
vepurisikā 出兩邊者
vepulla 成滿
Vepulla=Vipula〔山〕ヹープッラ，毘富羅，毘補羅，普廣，廣普，尾布羅
Vepullatā〔經〕廣大 S **55** 61
Vepulla-pabbataṁ〔經〕毘富羅山 S **15** 20
Vebhaḷinga=Vehaḷiṅga〔町〕ヹーバリンガ，鞞婆陵耆
vebhassi 噂
Vebhāra ①〔山〕ヹーバーラ，毘婆羅，負重 ②〔城〕ヹーバーラ，毘婆羅
vematika 疑想
vematika-sīla 疑惑戒
vematikā-pannarasaka 疑惑十五事 V **2** a 2, 30; a 4, 9

vemattatā 差別，種種性
veyyañjanika 占相者
veyyattiya 辯才
veyyākaraṇa ① ヹッヤーカラナ，記說，記別，記莂，授記經，懸記，和迦羅那，解說〔九分教の一〕② 答釋，解答，解說 ③=vyākaraṇa 文法，文典，語法論
veyyāvacca 仕事，執事
Veyyāvaccaka 〔比丘の譬喩經〕ヹッヤーヴッチャカ Ap 3 99
veyyāvacca-kara 執事人
vera 怨，怨恚，怨恨，怨心，怨讎，怨惱，敵意，怒，忿，忿怨，魔怨
Vera〔經〕怨讎 A 9 27, 28; 10 92
Verañja 〔婆，塞〕毘蘭若，鞞蘭若
Verañja-kaṇḍa 毘蘭若品
Verañjaka-sutta ヹーランヂャカ・スッタ，鞞蘭若村婆羅門經 M 42
Verañjā ①〔村〕ヹーランヂャー，毘蘭若，鞞蘭若 ②〔經〕鞞蘭若 A 8 11
veramaṇī 離〔五種〕
veramba〔風〕ヹーランバ，毘嵐，毘藍婆，吠嵐婆，季節風，颰風
veramba-vāta=verambha-vāta 毘嵐風，毘藍婆風，吠嵐婆風，颰風，季節風
Verambā〔經〕毘嵐風 S 17 9
verambha-vāta=veramba-vāta 吠嵐婆風
Verahaccānigotta ヹーラハッチャーニ族
Verahaccānī 〔經〕毘紐迦旃延婆羅門尼 S 35 133
Verāpatha 〔國〕ヹーラーパタ，怨敵路
verika 敵意
Veri-jātaka ヹーリ・ヂャータカ，仇敵本生物語 J 103
verin 敵，怨敵，怨憎者
veri-bhaya 怨敵の怖畏
Verirājavijaya-niddesa〔章〕敵王克服次第 Cv 83
Veroca=Verocana〔阿修羅王〕ヹーローチャ，毘盧遮，毘留奢那
Verocana ①〔寶珠〕ヹーローチャナ，鞞盧闍那 ②=Veroca〔阿修羅王〕ヹーローチャナ，毘留奢那
Velakkāra〔部隊〕ヹーラッカーラ
Velagāma〔精舍〕ヹーラガーマ
Velaṅkuṇḍi〔村〕ヹーランクンディ
Velaṅgaviṭṭhika ①〔池〕ヹーランガギッティカ ②〔精舍〕
Velamikā ヹーラミカー女
velā 砂地
Velāma ①〔族〕ヹーラーマ ②〔婆〕ヴェーラーマ，ヹーラーマ，毘羅摩 ③〔經〕毘羅摩〜ヹーラーマカ經 A 9 20
Velāmaka-sutta〜Velāma 〔經〕ヹーラーマカ經
velāmikā 少女
Velāvaka ヴェーラーヷ人
Veludvāreyya〔經〕鞞紐多羅 S 55 7
veluvalaṭṭhitā 毘羅婆若樹
velli〜vilāka〔蔓樹，細腰の〕ヹッリ
Vellināba〔堡壘〕ヹッリナーバ
Veḷa〔村人〕ヹーラ
veḷāra〔官職〕ヹーラーラ
veḷu 竹
veḷuka〔植〕ヹールカ
Veḷuka〔蛇〕竹
Veḷuka-jātaka ヹールカ・ヂャータカ，竹蛇本生物語 J 43
Veḷukaṇṭaka=Veḷukaṇḍaka〔地名〕ヹールカンタカ
Veḷukaṇṭakiyā Nandamātar=Veḷukaṇḍakiyā〔優婆夷の範〕ヹールカンタキーの難陀母
Veḷukaṇḍaka=Veḷukaṇṭaka〔地名〕ヹールカンダカ
Veḷukaṇḍakiyā=Veḷukaṇṭakiyā Nandamātar〔優婆夷の範〕ヹールカンダキヤー
Veḷuka-pitar〔行者〕竹の父
veḷu-gumbha 竹林，竹叢
Veḷudvāra〔村〕鞞紐多羅
Veḷudvāra-vagga 鞞紐多羅品 S 55 1〜10
veḷu-patta 竹葉
veḷu-pesikā 竹皮，竹篦

Veḷuppa〔ダミラ人〕ヱールッパ
veḷuriya〔寶珠〕ヱールリヤ，毘琉璃，吠瑠璃，琉璃，瑠璃，瑠璃珠
veḷuriya-thambha 琉璃の柱，琉璃柱
veḷuriya-maya 琉璃所成，琉璃造，瑠璃所成
veḷuriya-vimāna 琉璃の宮殿
veḷuva=beluva〔樹〕ヱールヴ
Veḷuva〔村〕ヱールヴ
Veḷuvana ①=Veḷuvana-Kalandakanivāpa〔精舍〕ヱールヴナ，竹林園 ②〔精舍，セイロンにあり〕ヱールヴナ，竹林
Veḷuvana-Kalandakanivāpa=Veḷuvana①, Kalandakanivāpa〔精舍〕ヱールヴナ・カランダカニヴーパ，竹林迦蘭陀〔迦〕園，竹林迦蘭陀迦尼婆波，竹林栗鼠養餌所，迦蘭陀竹〔林〕園
veḷu-vāṭa 竹柵
Veḷusumana〔英雄〕ヱールスマナ
Vevaṭiyakapi-jātaka=Mahākapi-jātaka ヱーヴティヤカピ・ヂャータカ=大猿本生物語
vevaṇṇiyamhi ajjhūpagato 彩色を棄つ
vevicchа 慳吝，慳悋
vesākha〔祭〕毘舍佉，吠舍佉
vesākhā=visākhā〔月〕吠舍佉
Vesāyin=Yama 閻魔
vesārajja 無畏，無所畏
Vesāla〔龍〕ヱーサーラ，毘舍離
Vesālika 毘舍離出
Vesālī ①〔城〕ヱーサーリ，毘舍離，吠舍離，廣嚴 ②〔經〕毘舍離 S 35 124；54 9
vesikā, vesiyā=vesī 遊女，婬女，淫賣，淫賣婦，倡婦，娼家，妓女，吠奢女
vesiyāna=vessa 吠舍
vesī=vesikā, vesiyā 妓女，遊女，倡婦，娼家，婬女，淫賣，淫賣婦
Vesuṅga〔國〕ヱースンガ，毘孫伽
vessa=vesiyāna〔族〕ヹッサ，毘舍，吠舍，庶民族，農業者
vessa-kula 庶民族，吠舍家
Vessagiri〔精舍〕ヹッサギリ，吠舍山
Vessantara〔王，菩薩〕ヹッサンタラ，一切度，毘輸安呾囉，毘輸安多羅，尾施縛多羅
Vessantara-cariyā〔經〕ヹッサンタラの所行 Cp 1 9
Vessantara-jātaka ヹッサンタラ・ヂャータカ，毘輸安呾囉王子本生物語，尾施縛多羅本生經，ベッサンタラ本生經 J 547
Vessantara-pañho ヹッサンタラ王の問 Mil 4〔8〕5
Vessantara-pariyāya=Vessantara-jātaka〔經〕ヹッサンタラの法門
Vessabhū ①〔佛，過去七佛の一〕ヹッサブー，毘舍浮，毘舍婆，毘沙浮，隨葉 ②〔天〕毘奢浮 ③〔王〕勝尊 ④〔經〕毘舍浮 S 12 6
Vessabhū bodhisatta 毘舍浮菩薩
Vessamitta=Vessāmitta〔古仙〕ヹッサミッタ，毘沙蜜多，毘婆審咤，毘波密，毘奢密哆羅，毘奢蜜哆邏，鼻沙密多
Vessara〔林，吉祥佛の入滅地〕ヹッサラ
Vessavaṇa=Kuvera, Kubera〔四天王の一〕ヹッサヴナ，毘沙門，毘沙門天，多聞，多聞天〔王〕
Vessavaṇassa paricārikā 毘沙門天后
Vessāmitta ①=Vessamitta〔古仙〕ヹッサーミッタ，毘沙蜜多，毘婆審咤，毘婆密，毘奢密哆羅，毘奢蜜哆邏，鼻沙密多 ②〔夜叉〕ヹッサーミッタ
Vessāmitta yakkha 毘波密の夜叉
vessī 毘舍女
Vehapphala〔天〕廣果
Vehapphalatta 廣果天性
Vehaḷiṅga=Vebhaḷinga〔町〕ヱーハリンガ，鞞婆陵耆
vehāsaṭṭha 上處物
vokkamana 墮落事
vocchijjatā 分斷
voṭṭhapana=votthapana 確定，建立
voṭṭhapana-manoviññāṇadhātu 確定意識界
voṭṭhappana-kiriyā 建立唯作，確定唯作
voṭṭhappana citta 確定心
voṭṭhappana〔-vāra〕確定〔時分〕
votthapana=voṭṭhapana 確定

vodāta-dhamma 純淨法
vodāna 淸淨，淸白，淨白
vodāniya-dhamma 淸淨なる法
vodāne ñāṇaṁ 淸淨智〔十三種〕
Voyalaggamu〔地名〕ヺーヤラッガム
vosāna 最終
vosāraṇiya 復歸
vosāsati 指圖をなす
vossagga 捨，捨遣，最捨，棄捨
vossagga-rata 喜捨を喜ぶ者
vossagge paññā 最捨の慧
voharati 決斷をなす
vohāra ① 言說，語業，通稱，名稱，慣用語，慣例 ② 俗事，賣買 ③ 裁判，決斷 ④ 魔魚
Vohāra〔經〕言說 A 8 67, 68
Vohārakatissa〔王〕ヺーハーラカ・ティッサ，裁判帝須
Vohāra-kathā 言說論 KV 2 10
vohāra-desanā 流通說示＝經藏
Vohāra-vagga 決斷品 V 3 15, 3
vohāra-samuccheda 俗事の斷絕
vohārika 司法，裁判，斷事
vohārika-mahāmatta 司法の大官，裁判官，斷事大臣
vyaggha 虎
vyaggha-camma 虎の皮，虎皮
Vyaggha-jātaka ヴヤッガ・ヂャータカ，虎本生物語 J 272
Vyaggha-pajja 虎路住者＝Sāpūga 村人
vyaghīnasa＝sena 鷹
vyañjana＝byañjana, viyañjana ① 相，相好，記標，文，字句 ② 調味，添味，副菜，羹菜，加味物，助味，藥味，カレー，附屬分
vyañjana-paṭibhāna 語辯
vyañjana-paṭirūpaka suttanta 類似の文の經
vyatta＝byatta, viyatta 聰明，有能，完全者，堪能者，明白
vyappatha 語路，言語
vyappanā 細專注
vyaya＝vaya 衰，衰滅，消亡，消散，滅，謝滅，壞
vyasana＝byasana 損失，不幸，喪失，厄難，災厄，損減，衰損
Vyasana〔經〕難 A **11** 6
vyākaraṇa＝veyyākaraṇa ① 記別，記莂，記說，解說，答釋，釋答 ② 文法，文典，語法論
Vyākaraṇa〔經〕記說 A **10** 84
vyākaroti 記別す，自記す，運命を說く
vyādhi＝byādhi 病
Vyādhi〔經〕病 S **35** 35
vyādhita 病者，病人
vyādhita purisa 病人
vyādhi dukkho 病は苦なり
Vyādhideva〔天〕ギヤーディデーヴ，獵天
vyādhi-pārijuñña 病衰亡
vyādhi-bhaya＝byādhi-bhaya 病畏，病の怖畏，病の畏，疾病の畏怖
vyāpajjha 瞋心，害心
vyāpanna-citta＝byāpanna-citta 瞋恚者，瞋恚心，瞋恚心者，嫉妬者*
vyāpāda＝byāpāda 瞋恚，瞋，恚，害心〔三不善尋、五下分結，五蓋，十不善業道の一〕
vyāpāda-kāyagantha 瞋恚身繫，瞋身繫，恚身繫
vyāpāda-dosa 瞋恚
vyāpāda-dhātu 恚界〔三不善界の一〕
vyāpāda-nandī 恚喜
vyāpāda-nīvaraṇa 瞋蓋，瞋恚蓋
vyāpādavant 有瞋者
vyāpāda-vitakka＝byāpāda-vitakka, vyāpāda-saṅkappa 瞋恚の念，瞋恚の心，恚念，恚尋，瞋恚觀，瞋覺，瞋念，瞋の考想
vyāpāda-saṁkappa＝byāpāda-saṁkappa, vyāpāda-vitakka 瞋思惟，恚思，恚念
vyāpāda-saṁyojana 瞋恚結
vyāpādassa nissaraṇaṁ 瞋よりの出離
vyābādha＝byābādha 惱害，瞋害
vyābhaṅgī 棒，連枷
vyāma＝byāma〔長さの量〕一尋，尋
vyūha＝byūha 巷路，小路，横町
vyosita＝vosita 完全
vracabhumika (A) 飼獸苑官

sa-uttara 有上
sauttara-citta 有上心，有上なる心
Sauttara-duka 有上二法 Duka **99**
sauttaraduka-kusalattika 有上二法善三法 Duka-tika 108
sa-uttara dhamma 有上法
sa-upadhika～sopādhika 有依
sa-upanisa 有依
sa-upādāna 有取著，有執著，取有る者
sa-upādisesa 有餘，有餘依
saupādisesa-nibbānadhātu 有餘依涅槃界，有餘涅槃界
Sa-upādiseso〔經〕有餘依 A **9** 12
saṁḍaka（A）サンダカ牛
saṁyama＝saññama 自制，禁制，禁戒，節制，止息，克己
Saṁyama〔王〕サンヤマ
Saṁyutta＝Saṁyutta-nikāya 相應〔尼柯耶〕，相應部
Saṁyuttaṭṭhakathā 相應〔部〕義疏，相應部の註
Saṁyutta-nikāya サンユッタ・ニカーヤ，サムユッタ・ニカーヤ，相應部經典，相應部，相應尼柯耶 S **1**～**56**
Saṁyutta-bhāṇaka 相應部〔誦〕師，相應部誦者
Saṁyuttāgama＝Saṁyutta-nikāya〔經〕雜阿含，相應阿含
saṁyoga＝saññoga ① 結縛，繫，繫縛，縛，合，具縛 ② 偶合
saṁyoga-visaṁyoga dhammapariyāya 繫離繫法門
saṁyogābhinivesa 結住著，結縛住著，合現貪
saṁyojana＝saññojana 結縛，結，結使，繫縛
Saṁyojana ①〔經〕結 S **1** 64；**22** 120；**45** 42；**48** 61；**54** 17；A **10** 13 ②〔經〕繫縛 S **35** 54, 55, 109, 122；**41** 1
Saṁyojana-kathā 結論 KV **21** 3
saṁyojanakkhaya 結の滅盡
Saṁyojana ceva saṁyojana-sampayutta-duka 結結相應二法 Duka **24**
saṁyojana ceva saṁyojana sampayutta dhamma 結結相應法，結法にして結相應なる
saṁyojana ceva saṁyojaniya ca dhamma 結順結法，結法にして順結なる
Saṁyojana-ceva-saṁyojaniya-duka 結順結二法 Duka **23**
saṁyojanaduka-kusalattika 結二法善三法 Duka-tika 41
saṁyojana-pahāna 諸結を斷ず
saṁyojana-vippayutta-asaṁyojaniya dhamma 結不相應非順結法，結不相應にして不順結なる
Saṁyojana-vippayutta-saṁyojaniya-duka 結不相應順結二法 Duka **25**
saṁyojanavippayuttasaṁyojaniyaduka-kusalattika 結不相應順結二法善三法 Duka-tika 46
saṁyojana-vippayutta-saṁyojaniya dhamma 結不相應順結法，結不相應にして順結なる
saṁyojanasaṁyojanasampayuttaduka-kusalattika 結結相應二法善三法 Duka-tika 45
saṁyojana-saṁyojaniyaduka-kusalattika 結順結二法善三法 Duka-tika 44
saṁyojana-sampayutta 結相應
saṁyojana-sampayutta ceva no ca saṁyojana dhamma 結相應非結法，結相應にして非結なる
Saṁyojana-sampayutta-duka 結相應二法 Duka **22**
saṁyojanasampayuttaduka-kusalattika 結相應二法善三法 Duka-tika 43
saṁyojaniya ceva no ca saṁyojana dhamma 順結非結法，順結法にして非結なる
Saṁyojaniya-duka 順結二法 Duka **21**
saṁyojaniyaduka-kusalattika 順結二法善三法 Duka-tika 42
saṁyojaniya dhamma 結法，順結法
saṁvacchara 年，歲數
saṁvaṭṭa-kappa 壞劫
Saṁvaṭṭakkhandha〔毘婆尸佛の子〕サンヴッタッカンダ
saṁvaṭṭaṭṭhāyin 壞住〔劫〕，空劫

saṁvaṭṭa-vivaṭṭa 成壞
saṁvaṭṭa-vivaṭṭa-kappa 壞成劫，成壞劫
saṁvaṇṇanā 註釋
saṁvadana 和睦
saṁvara 律儀，防護，守護，制御，制禁，攝護
Saṁvara ①〔童子〕サンヴラ，防護 ②＝Sambara〔阿修羅王〕サンヴラ，奢婆羅 ③〔經〕攝護 S 35 98
Saṁvara-kathā 律儀論 KV 3 10
Saṁvara-jātaka サンヴラ・ヂャータカ，防護童子本生物語 J 462
saṁvara-padhāna, saṁvarappadhāna 律儀勤，防護勤
saṁvara-pārisuddhi 律儀清淨
saṁvara-suddhi 律儀淨
saṁvarāsaṁvara-kathā 攝非攝論議，律儀非律儀論＝律藏
saṁvarī 夜
saṁvare paññā 律儀の慧
Saṁvaro kamman ti kathā 律儀業論 KV 12 1
Saṁvasita〔傳◦轉輪王〕サンヴシタ
saṁvāsa 共住，共住事，同住，倶に住むこと
saṁvāsati 共住す
saṁvāsanā 習氣
saṁvigga 驚愕
saṁviggassa yoniso padhānaṁ～saṁvegassa yoniso padhānaṁ 厭者の如理精勤，厭を生ずる爲の正精勤
saṁvidahita 豫約
saṁvidhāvahāra 共謀偸
saṁvibhāga 均分，均布
saṁvega 悚懼，厭離心，厭背，憂，感動
saṁvegassa yoniso padhānaṁ～saṁviggassa yoniso padhānaṁ 憂ひに對しての如理の努力
saṁvego saṁvejaniyesu ṭhānesu 可厭處に於ける厭，順厭處に於ける厭，憂ふべき事に對する憂
saṁvejanīya 厭離
saṁvelliya 褌襠
saṁvohāra 賣買，對談
saṁsagga 接觸，交はり，相交，雜鬧
saṁsaṭṭha 相合，相雜，會合，衆會，雜會，世俗に染む
Saṁsaṭṭha-vāra ① 相雜分 ② 親近章 V 3 4 (17)
Saṁsaṭṭhavāra-vaṇṇanā 相雜分之釋
saṁsaṭṭhā bhikkhunī 親近比丘尼
saṁsappa-jātika tiracchāna-gata 蛇行畜生
Saṁsappaniya-pariyāya〔經〕蛇行の法門，蛇行法
saṁsaraṇa 幕
saṁsaraṇa-kiṭika 引帳
saṁsaraṇa-lohita 循環せる血
Saṁsavaka〔地獄〕サンサヴカ，深坑
saṁsādiyā〔植〕サンサーディヤー
saṁsāra 輪廻，輪廻界，流轉，轉廻轉生
saṁsāra-cakka 輪廻の車輪
Saṁsāra-pañho 輪廻の問 Mil 2〔6〕9
saṁsāra-patha 輪廻路
Saṁsāra-phala〔園〕サンサーラパラ
Saṁsāramocaka-petavatthu 離輪廻鬼事 Pv 2 1
saṁsāra-vaṭṭa 輪廻轉生
saṁsāra-sāgara 輪廻の海
saṁsāra-suddhi 輪廻淨化
saṁsāra-sota 輪廻の流
saṁsārena suddhi 輪廻に依りて清淨あり
saṁsāre bhayaṁ 輪廻の怖畏
saṁsuddha-gahaṇika 血統清淨
saṁsedaja 濕生，濕生者〔四生の一〕
saṁsedaja-nāga 濕生龍
samsedaja-yoni＝saṁsedaja 濕生，濕生者
saṁsedaja-supaṇṇa 濕生金翅鳥
saṁhārima 持ち運ばるる〔地處〕
saṁhitā 詩書
Saka〔國〕塞
Saka (A), Śaka (A) 釋迦信者
saka-gocara 自行處
Sakacittaniya〔比丘の譬喩經〕サカチッタニヤ Ap 3 61

Sakacittaniya-vagga サカチッタニヤ品 Ap 3 61～70
sakaṭa 車，荷車，サカタ車
sakaṭa-vāha 車量
sakaṭa-vyūha 輜重軍，車形陣
sakaṇṇajappaka ① 竊語〔行籌の一〕② 耳語
sakaṇṇajappaka-salākagāha 竊語行籌
sakadāgāmin 一來，斯陀含，一來者，一來果に入る
sakadāgāmi-niyāma 一來決定
sakadāgāmi-phala 一來果，斯陀含果
sakadāgāmi-phala citta 斯陀含果心
sakadāgāmiphala-sacchikiriyā 一來果現證，一來果作證，一來果應證
sakadāgāmiphalasacchikiriyāya paṭipanno 向一來果現證者，一來果應證位成就〔人〕，一來果作證向，一來果能作證向人，一來果を證すべく修行する〔者〕，一來向，斯陀含向
sakadāgāmiphala-samāpatti 一來果得，斯陀含果定
sakadāgāmi-magga 斯陀含道，一來道
sakadāgāmi-magga citta 斯陀含道心
sakadāgāmi-magga-ñāṇa 斯陀含道智，斯陀含道の智
sakadāgāmī bhikkhu 一來の比丘
saka-nirutti 各自の言詞
sakalasāsana-brahmacariyā 全教梵行
Sakalika〔經〕岩の破片 S 1 38；4 13
sakalikaggi 木片火
sakalikā 岩の破片，木片
saka-vādin 自論師
saka-saññin 己物想
saka-samaya 自宗，自宗義
sakiṁ jātā, sakiṁ vijātā 一度お産した女，一度子を生める女
Sakiṁsammajjaka〔比丘の譬喩經〕 サキンサムマッヂャカ Ap 3 418
Sakiṁsammajjaka-vagga サキンサムマッヂャカ品 Ap 3 418～427
sakiñcana 有所得
Sakiya-māna 釋氏慢
sakuṇa 鳥
sakuṇagghi 鷹
Sakuṇagghi〔經〕鷹 S 47 6
Sakuṇagghi-jātaka サクナッギ・ヂャータカ，鷹本生物語 J 168
Sakuṇa-jātaka サクナ・ヂャタカ，鳥本生物語 J 36
sakuṇa-vijjā 鳥明
sakuṇa-saṁgha 鳥群
sakuṇī 雌鳥
Sakuṇovāda-sutta～Sakuṇa-jātaka 鳥訓經
sakula〔魚〕サクラ
Sakulā ①〔尼，天眼第一〕サクラー，奢拘梨〔譬喩經〕Ap 4 24 ②〔夷〕サクラー，賢
Sakuludāyin〔普行者〕サクルダーキ，善生優陀夷
Sakuḷa ①〔王〕サクラ ②〔都〕
Sakoṭakakoraṇḍadāyaka〔比丘の譬喩經〕サコータカコーランダダーヤカ Ap 3 351
sakka 可能者
Sakka ①〔天，神〕サッカ，釋迦，釋羅，帝釋，帝釋天 ②〔夜叉〕サッカ，釋羅 ③＝Sakkā, Sakya〔國，族〕サッカ，釋迦，釋氏，釋族 ④〔佛父〕釋迦 ⑤ 釋迦＝釋迦牟尼佛 ⑥〔經〕釋羅 S 10 2 ⑦〔經〕帝釋 S 35 118；40 10 ⑧〔經〕釋氏 A 10 46
Sakka Inda＝Sakko devānaṁ Indo 諸天の王帝釋
sakkacca 注意して
Sakkacca〔經〕恭敬〔作〕S 34 8
sakkacca-kata 恭敬作
sakkaccakārin 恭敬して作す，恭敬作
Sakkaccakārī—sappāyakārī〔經〕恭敬作―隨應作 S 34 54
Sakkaccakārī—sātaccakārī〔經〕恭敬作―常作 S 34 53
sakkacca-kiriyā 恭敬作
sakkacca-dāna 恭敬施
Sakkacca-vagga 注意品 V 1 a 7, 31～40
sakkata サンスクリット
Sakkadattiya〔地名〕サッカダッティヤ

Sakka-devarājan=Sakko devānaṁ Indo 天王帝釋，天王なる帝釋天，釋天王，神神の主帝釋
Sakka-devinda=Sakko devānaṁ Indo 天主帝釋，神王帝釋
Sakka-namassana〔經〕帝釋の禮敬 S **11** 18〜20
Sakka-pajāpatī 帝釋の妃
Sakkapañha-suttanta サッカパンハ・スッタンタ，帝釋所問經 D **21**
Sakkara〔村〕サッカラ
Sakka-rājan=Sakya-rājan 釋迦王
sakkaroti 恭敬す，尊敬す
Sakka-saṁyutta サッカ・サムユッタ，帝釋相應 S **11** 1〜25
Sakka sahassanetta 千眼ある帝釋
sakkasenāpati〔官職〕サッカセーナーパティ，帝釋將軍
Sakkā=Sakka, Sakya〜Sākiya〔國，族〕サッカー，釋迦，釋氏，釋族
sakkāya サッカーヤ，薩迦耶，有身，己身，個體
Sakkāya ①〔經〕有身 S **22** 105, 154 ②〔經〕己身見 S **35** 165
sakkāya-anta 有身邊〔三邊の一〕
sakkāya-diṭṭhi 有身見，有身の見，身見，薩迦耶見，己身見，個體見，個體常住見
sakkāya-nandi 有身喜
sakkāya-nirodha 個體の滅，有身の滅，有身滅
sakkāya-nirodha-anta 有身滅邊〔三邊の一〕
sakkāya-nirodha-gāmin 順有身滅盡，個體の滅
sakkāya-nirodhagāminī paṭipadā 個體の滅の道，順有身滅道
sakkāya-nissaraṇa 有身よりの出離
sakkāya-pariyāpanna-dhamma 有身所攝の法
sakkāya-vatthukā uccheda-diṭṭhi 有身事斷見
sakkāya-vatthukā sassata-diṭṭhi 有身事常見
sakkāya-samudaya 有身〔見〕の集，有身集，個體の集
sakkāya-samudaya-anta 有身集邊〔三邊の一〕
sakkāya-samudaya-gāmin 順有身集起
Sakkāyo〔經〕己身 S 38 15
sakkāra 恭敬，供養，敬，敬重，尊敬，名聞
Sakkāra〔經〕恭敬 It 81
sakkāra-mada 恭敬憍
Sakkodana〔王〕サッコ〔ーダナ〕，釋飯
Sakko devānaṁ Indo サッコーデーヷーナムインドー，釋提桓因，諸天の王帝釋，諸天の主帝釋，諸天の主なる帝釋，天帝釋，天帝なる釋迦，天の帝なる釋迦，天主帝釋，帝釋，帝釋天，帝釋天王
Sakko devāna sahassa-netto 千眼の帝釋天
Sakkhara〔町〕サッカラ，砂糖
sakkhara-kaṭhala 砂礫
Sakkharasobbha〔港〕サッカラソッバ
sakkharā 砂，礫，砂利，石
Sakkharālayagaṅgā〔河〕サッカラーラヤガンガー
sakkharikā〜sakkharā 礫
sakkhalakā=sakkhali 糖菓
sakkhali=sakkhalakā サッカリ菓子，糖菓
sakkhi 證人
sakkhi-dhamma 自內證の法
sakkhibhabbatā 現見力
sakkhī=sakhi 同輩，友人，朋友，伴黨
sakya サクヤ，能
Sakya=Sakka〔族〕サクヤ，釋迦，釋氏，釋族
Sakya〔-kula〕〔族〕釋迦，釋氏，釋族
Sakya-dhītā 釋女
Sakya-puṅgava 釋迦牡牛=釋迦牟尼
Sakya-putta 釋迦族の子，釋子，釋迦牟尼佛
Sakya-puttiya 釋子所屬，釋子の徒，釋子，釋迦子=佛弟子，佛敎徒
Sakya-muni 釋迦牟尼=釋迦佛，瞿曇佛，佛
Sakya-rājan 釋迦王
sakhi=sakkhī 友，友人，同輩，伴黨
sakhī bhariyā 友人なる妻，朋友夫人
Sagara〔王〕サガラ
Sagātha〔經〕有偈 S **14** 16
Sagāthaka〔經〕有偈 S **55** 51
Sagāthakaṁ〔經〕偈頌ある經 S **17** 10
Sagātha-puññābhisanda-vagga 有偈福德潤澤

品 S 55 41～50
Sagātha-vagga ① サガータ・ヴッガ, 有偈篇 S **1～11** ② 有偈品 S 36 1～10
Sagāma〔精舎〕サガーマ
sagārava 尊重, 有敬
saguḷa〔菓〕サグラ
sagga ① 天, 天界, 天國, 天上, 生天 ②〔鳥〕サッガ
Sagga〔乾闥婆〕サッガ, 天
sagga-kathā 生天論, 生天の話, 生天の說, 天上の說話, 天の說〔三論の一〕
sagga-kāya 天身
sagga-gāmin 生天者
sagga-magga 上天の道
sagga-loka 天界, 天世, 天の世界
saggāvaraṇa 天障
saggesu sotthānaṁ 天上の吉祥
saṁkacchika サンカッチカ, 僧祇支衣, 覆肩衣
saṅkaṭīra 塵埃溜
Saṁkantika〔部派〕說轉
saṁkappa 思惟, 思
Saṁkappa-jātaka サンカッパ・ヂャータカ, 思惟本生物語 J 251
saṁkappa-nānatta 思種種, 種種思惟
saṅkappa-rāga 思念の貪
Saṁkappa-vagga 思惟品 J 251～260
saṅkappa-vitakka 思覺
Saṅkamanattā〔比丘尼の譬喩經〕サンカマナッター Ap 4 4
Saṁkassa〔邑, 城〕サンカッサ, 僧伽尸, 僧伽舍, 僧伽赊, 僧伽舍, 僧迦施, 僧羯奢
saṁkāra 埃屑, 塵屑
saṁkāra-kūṭa 芥溜
saṅkāraggi 塵屑火
saṅkāra-coḷa 芥中布
saṁkāsana 辯
Saṅkāsanā〔經〕辯 S 56 19
Saṅkicca ①〔比〕サンキッチャ, 僧祇致耶 ②〔賢者, 佛の前生〕サンキッチャ
Saṁkicca-jātaka サンキッチャ・ヂャータカ, サンキッチャ仙本生物語 J 530
saṁkiṇṇa-parikha 塹を埋めたり, 壍を塡めし者
saṁkiraṇa 貸金取立
saṅkiliṭṭha 雜染, 已染, 已雜染, 恨心*
saṁkiliṭṭha-citta 染汚心
saṅkiliṭṭha c'eva dhamma no ca kilesa 已雜染法にして非煩惱なる, 已染非染法
saṅkiliṭṭha ceva no ca kilesa dhamma 已染非染法, 已雜染法にして非煩惱なる
Saṁkiliṭṭhattika 已染三法, 已雜染三法 Tika **5**
saṁkiliṭṭhattika-kusalattika 已染三法善三法 Tika-tika 25
saṅkiliṭṭhattika-saraṇaduka 已染三法有諍二法 Tika-duka 77
saṅkiliṭṭhattika-hetuduka 已染三法因二法 Tika-duka 5
Saṅkiliṭṭha-duka 已染二法 Duka **77**
saṅkiliṭṭhaduka-kusalattika 已染二法善三法 Duka-tika 86
saṅkiliṭṭha dhamma 染法, 已染法, 已雜染法, 雜染法, 穢汚法
saṅkiliṭṭha-saṅkilesika 有雜染雜染, 已染順染, 已染能染, 染汚
saṁkiliṭṭha-saṁkilesika-tika 已染順染三法
saṁkiliṭṭha-saṁkilesika dhamma 已染能染法, 已染順染法, 已雜染順雜染法, 有雜染雜染法, 染汚法
saṁkiliṭṭhā āpatti 雜染罪, 染汚犯
saṁkiliṭṭhābhā 雜染光
Saṁkiliṭṭhābhā-deva 雜染光天
saṅkilesa 雜染
Saṁkilesa〔經〕汚穢 S **35** 38
saṁkilesa-dhamma 雜染法, 順染法, 順雜染法, 有染法, 雜穢法, 汚法, 汚穢の法
saṁkilesika 雜染, 順染, 順雜染
saṅkilesika c'eva dhamma no ca kilesa 順雜染法にして非煩惱なる, 順染非染法
saṅkilesika ceva no ca kilesa dhamma 順染非染法, 順雜染法にして非煩惱なる
Saṅkilesika-duka 順染二法 Duka **76**

saṅkilesikaduka-kusalattika 順染二法善三法 Duka-tika 85
saṅkilesika dhamma 順染法，順雜染法，雜染法，有染法，汚法，汚穢の法
saṁkīḷati 戲樂す
saṁkulya=saṁkuli〔菓〕サンクリ
Saṅku-samāhata〔鐵〕杙地獄
saṁketa-kamma 指定，指示
saṅkopa 蠻賊
saṁkha 螺，螺貝，法螺貝，法螺，硨磲，硨渠，海螺，螺鈿，珂貝，青貝，貝玉，劫貝，眞珠*
Saṁkha ①〔未來の輪王〕サンカ，儴伽 ②〔婆，佛の前生〕サンカ ③〔長者〕サンカ，螺 ④〔將軍〕サンカ ⑤〔經〕螺貝 S 42 8
saṅkha〔ka〕nāyaka〔官職〕サンカ〔カ〕ナーヤカ
Saṅkha-cariyā〔經〕サンカの所行 Cp 1 2
Saṁkha-jātaka サンカ・ヂャータカ，サンカ婆羅門本生物語 J 442
saṅkhata 有爲，爲，作爲されたるもの
saṅkhata-āyatana 有爲處
Saṅkhata-duka 有爲二法 Duka 8
saṅkhataduka-kusalattika 有爲二法善三法 Duka-tika 29
saṅkhata dhamma 有爲法，有爲の法
saṅkhata-lakkhaṇa 有爲相
saṁkhatā ca dhātu asaṁkhatā ca dhātu 有爲界と無爲界
saṁkhatā-dhātu 有爲界
Saṅkhatthali=Saṅkhanāthatthali, Saṅkhanāyakatthali〔都〕サンカッタリ
Saṅkhatthalipurābhigamana〔章〕サンカッタリに上京 Cv 63
saṅkha-dhama 法螺貝吹，吹螺者，吹貝者
saṅkha-dhamaka 吹螺者
Saṅkhadhamana-jātaka サンカダマナ・ヂャータカ，吹螺本生物語 J 60
Saṁkha-dhātu〔王臣〕サンカダートゥ
Saṅkhanāthatthali=Saṅkhatthali〔都〕サンカナータッタリ
Saṅkhanāyakatthali=Saṅkhatthali〔村〕サンカナーヤカッタリ
Saṁkhapāla ①〔王〕サンカパーラ ②〔龍王〕サンカパーラ，護螺 ③〔湖〕サンカパーラ
Saṅkhapāla-cariyā〔經〕サンカパーラの所行 Cp 2 10
Saṁkhapāla-jātaka サンカパーラ・ヂャータカ，サンカパーラ龍王本生物語 J 524
saṅkha-muṇḍika 貝禿刑
saṅkhalikā 鎖
Saṅkhavaḍḍhamānā〔河〕サンカヴッダマーナー
saṅkha-sadda 螺聲
saṅkha-silā-maya 寶石製
saṅkhā ① 目算，數，算數，名數，名稱 ② 思念，智慧
saṁkhāta-dhamma 法の察悟者，法を究めたるもの
saṁkhāna〜saṅkhā 數法，目算
saṅkhāna-sippa 數術
saṅkhāyaka 說數者
saṁkhāra 行
saṅkhārakkhandha 行蘊
saṁkhāra-gata 行の類
saṅkhāra-dukkha 行苦
saṅkhāra-dukkhatā 行苦性，行苦の性，行苦〔三苦性の一〕
saṅkhāra-pariggaṇhanaka-vipassanā 行把握觀
saṅkhāra-pariccheda 行の甄別
Saṅkhārabhājaniya〔經〕諸行分散
Saṅkhāra-yamaka 行雙論 Y 6
saṅkhāra-loka 行世間
saṅkhāra-samatha 行の止靜
saṅkhāra-samudaya 行の集
saṅkhāra-suñña 行空
Saṁkhārānaṁ jāyana-pañho 諸行生ずるやの問 Mil 2〔3〕4
saṅkhārāvasesa-samāpatti 殘行定，行有餘等至
saṅkhārupekkhā 行捨
saṅkhārupekkhāsu ñāṇaṁ 諸行を捨する智，行捨智

saṁkhāruppatti 行の生
Saṁkhāruppatti-sutta サンカールッパッティ・スッタ，行生經 M 120
saṁkhitta ① 收了，略 ② 轉倒
Saṁkhitta ①〔經〕簡約 S 35 86 ②〔經〕略說 S 48 12〜14；A 8 53, 63 ③〔經〕略 A 10 171
saṅkhitta-citta 攝心，略心，收了心，沈鬱の心，凝湛せる心
Saṅkhitte〔uposatho〕〔經〕略布薩 A 8 41
saṅkhipanā 極嘲笑
Saṁkheyya〔房舍〕サンケッヤ
Saṁkheyyaka〔山〕サンケーヤカ
saṁkhyā ①=saṅkhā 名稱，名數，數 ② 數論說
saṅga 著，染著，結縛
Saṅgagāma〔地方〕サンガガーマ
saṅgaṇika 衆に雜る，衆中に交る，衆と雜處すること，衆，衆居，聚會，社會，雜處，伴侶
saṅgaṇika-vihāra 聚會住
saṁgaṇikārāma 衆居を樂ふもの，衆會の樂，衆愛樂，衆に雜るを好む，聚會を樂しむ者，雜處を欣ぶ
saṅgaṇikārāmatā 衆會の樂，衆愛樂，衆居を樂ふ，衆に雜るを好むこと，雜處を欣ぶ，伴侶を好み
saṅgati 結合
saṅgati-bhāva 結合の狀態
Saṁgayha ①〔經〕所攝取 S 35 94, 95 ②〔經〕執著 S 35 135
saṅgara 誓約
saṁgaha ① 攝，攝取，所攝，聚會，集合 ② 輯錄，藏外の書
Saṁgahakaraṇa〔章〕愛護の行政 Cv 59
saṅgaha-bala 攝力，能攝力
saṁgaha-vatthu 攝事〔四種〕
saṁgahācariyā 結集をなせし諸師
Saṅgahāsaṅgaha 所攝と非攝 Dhk 1
Saṁgahita-vāra 攝在章 V 3 1 (4, 12)
Saṅgahīta-kathā 攝論 KV 7 1
Saṅgahītena asaṅgahītaṁ 所攝〔なるものの〕非攝 Dhk 2
Saṅgahītena saṅgahīta 所攝〔なるものの〕所攝 Dhk 3
Saṅgahītena sampayutta-vippayuttaṁ 所攝〔なるものの〕相應と不相應 Dhk 11
saṅgāma 戰，戰鬪，戰場，戰陣，鬪諍
saṅgāmaji 戰勝者
Saṅgāmaji〔比〕戰勝
saṁgāma-sīsa 本營
Saṁgāmāvacara-jātaka サンガーマーヴチャラ・ヂャータカ，戰場住居本生物語 J 182
Saṁgāme dve vuttāni〔經〕戰についての二つの語 S 3 14, 15
saṁgāyati 結集す
Saṅgārava ①〔婆，塞〕サンガーラヴ，傷歌羅，傷歌邏，參伽羅婆 ②〔經〕參伽羅婆 S 7 21 ③〔經〕傷歌邏 S 46 55；A 10 117, 169
Saṅgārava-sutta サンガーラヴ・スッタ，傷歌邏經 M 100
saṁgāhaka 慈念ある
saṅgāha-pada 集心事
saṅgāhika 攝受者
Saṅgilla〔村〕サンギッラ
saṅgīta 歌謠
saṁgīti ① 結集，合誦，會誦，等誦 ② 法式
saṅgītika 合誦〔尼柯耶師〕
Saṅgītikkhandhaka 結集犍度
saṁgīti-pariyāya 等誦教法
Saṅgīti-suttanta サンギーティ・スッタンタ，等誦經 D 33
saṅgha サンガ，僧伽，僧，衆，僧衆，僧團，教團，衆僧，和合僧，佛教僧伽
Saṁgha ①〔辟〕サンガ ②〔比〕③〔居士〕④〔宿曜師〕
saṅgha ujubhūta 正直僧伽
saṅghaṁ paccakkhāti 僧伽を誹謗す
saṁghaṁ bhākhati (A) 僧伽を破る
saṅghaṁ bhindati 僧伽を破る，僧伽を破す
saṁgha-kamma 僧伽羯磨，僧伽議事，僧羯磨
saṁgha-karaṇīya 僧伽の行事

saṁghagatā dakkhiṇā 僧類施〔七種〕
saṅgha-gāravatā 僧伽の尊敬
saṁgha cila-thitika (A) 僧伽の久住
saṁghaṭṭana-valaya 腕環の摩擦
Saṁghatissa ①〔一世王〕サンガティッサ ②〔二世王〕③〔副王〕
Saṅghadāyikā〔王女, 毘舍佉の前生〕サンガダーイカー
Saṁghadāsī ①〔尼〕サンガダーシー ②〔王女〕
saṅgha-paṭimānana 僧伽の期待
saṅgha-pariṇāyaka 僧伽の導者, 僧伽の導師, 僧伽の首領
Saṁghapāla〔比〕サンガパーラ, 衆護, 僧護
saṅgha-pitar 僧伽の父
Saṁghabodhi〔王〕サンガボーディ
saṁghabhatta サンガバッタ, 僧食, 僧伽食, 僧次食, 僧衆食, 衆僧食
Saṁghabhaddā〔王妃〕サンガバッダー
saṁgha-bheda 破僧, 破僧伽, 破和合僧, 僧破
Saṁghabheda ①〔村〕サンガベーダ ②〔經〕破僧 A **10** 35,37,38
saṁghabhedaka 破僧伽者, 破僧伽の者, 破僧者, 破和合僧者
Saṁghabhedakakkhandhaka 教團破壞の章, 破僧揵度～Saṁghabhedakkhandhaka
saṁghabhedaka bhikkhu 破僧比丘
saṁghabheda-kamma 破僧業, 破僧伽業
Saṁghabhedaka-vagga 破僧者品 V **3** 15, 11
Saṁghabhedakkhandhaka 破僧揵度, 教團破壞の章 V **2** b 7
Saṁghamāna〔王〕サンガマーナ
Saṁghamitta ①〔比, 大寺破壞者〕サンガミッタ ②〔精舍〕
Saṁghamittā〔阿育王女, 尼〕サンガミッター, 僧伽蜜多
Saṁgharakkhita ①〔比〕サンガラッキタ, 僧護 ②＝Mahāsaṅgharakkhita 僧護 ③〔沙彌〕僧護 ④〔人〕僧護
saṁgha-ratana 僧寶
saṁgha-rājan 僧伽王
saṁgha-rāji 僧不和合, 僧諍, 不和合
saṅgha samukkaṭṭha 最勝僧伽
saṁgha-sammukhatā 僧伽現前, 僧現前
saṁgha-sammuti 僧伽選定
saṁgha-sāmaggī 僧和合, 僧伽和合, 僧伽の和合, 和合僧
Saṁgha-sāmaggī〔經〕和合僧 A **10** 36
Saṁghasivā〔ダップラ王の母〕サンガシヴー
Saṁghasena〔住院〕サンガセーナ
Saṁghasena-pabbata〔房舍〕サンガセーナ山
saṁghassa bhindanaṁ 僧團の分裂
Saṅghā ①〔尼〕僧伽 ②〔王女〕サンガー ③〔王妃〕サンガー ④〔アッガボーディ六世王女〕サンガー ⑤〔セーナ一世及び二世王妃〕サンガー
saṁghāṭa 戸柱
Saṁghāṭa〔村〕サンガータ
saṅghāṭika 大衣を持つ者
saṁghāṭikaṇṇa-gahana 衣を捉る
saṁghāṭī サンガーチ, サンガーティ, 僧伽梨衣, 僧伽胝, 重衣, 上衣*, 和合衣*
saṁghāṇi 跨衣
Saṁghāta, Saṁghātaka〔地獄〕衆合
saṅghātanika 攝聚者
saṁghādisesa〔罪〕サンガーディセーサ, 僧伽提尸沙法, 僧殘, 僧殘罪 V **1** a 2; b 2
saṁghādisesa-ajjhāpanna 僧殘犯戒者
saṅghānussati 僧隨念, 僧念, 念僧〔六念, 十念の一〕
saṁghārāma 僧伽藍
saṁghika 僧伽物, 僧物
saṅghin 僧伽の主
saṁghupaṭṭhāka 僧伽の近侍者
Saṅghupaṭṭhāka〔比丘の譬喩經〕サングパッターカ Ap **3** 180
saṅghe aveccappasādo 僧證淨, 僧伽證淨〔四證淨の一〕
saṁghe uposatho 僧伽布薩
saṁghe dinnaṁ mahapphalaṁ 僧伽に施せば大果あり
saṁghe pavāraṇā 僧伽自恣

saṅgho bhinno hoti 僧伽を破る
saca (A)=sacca 眞諦
Sacakkhu〔傳◦轉輪王〕サチャック
sacitta 己心
Sacitta〔經〕己心 A 10 51
sacittaka 有心〔者〕
Sacitta-vagga 己心品 A 10 51～60
sacca 諦，眞實，眞諦，眞理，眞實語，眞實の語，眞實の言，誓約，呪文
Sacca〔苦行者，佛の前生〕サッチャ
Saccaṁ〔經〕眞諦 S 43 15
Saccaṁkira-jātaka サッチャンキラ・ヂャータカ，眞實語本生物語 J 73
Saccaka〔尼乾子，塞〕サッチャカ，薩遮迦，眞實者
Sacca-kathā ①〔四〕諦論 Pṭs 2 2 ② 諦論 KV 6 3
sacca-kiriyā 誓言，眞言，眞實の誓，眞實の祈誓，眞實の誓言
saccagāmi magga 眞諦の達するの道
sacca-gira 眞實の語，眞實なる語
Saccatapāvī〔女行者〕サッチャタパーヸー
saccadhiṭṭhāna 諦住處，諦處〔四住處の一〕
sacca-nāma 審諦尊
Saccanāma〔辟〕サッチャナーマ
Saccanāmā〔ダンマダッシー佛の上足尼〕サッチャナーマー
Sacca-niddesa 諦の解釋
sacca-paññatti 諦施設
sacca-pāramī 眞諦波羅蜜，眞實波羅蜜，實諦波羅蜜〔十波羅蜜の一〕
saccappaṭiññā 眞實の約
Saccabaddha-pabbata サッチャバッダ〔佛〕足山
sacca bhāsita 眞實の語
Sacca-yamaka 諦雙論 Y 5
sacca-vajja 實語，眞實語
sacca-vācā 諦語
sacca-vāda 眞實語
sacca-vādin 實語者，眞實語者，諦論者
Sacca-vibhaṅga 諦分別 Vibh 4
Saccavibhaṅga-sutta サッチャヸバンガ・スッタ，諦分別經 M 141
sacca-vivaṭṭa 諦退轉
sacca-vivaṭṭe ñāṇaṁ 諦退轉の智
Sacca-saṁyutta サッチャ・サンユッタ，諦相應，四諦の教義 S 56 1～131
Saccasaññaka〔比丘の譬喩經〕サッチャサンニャカ Ap 3 213
sacca-sammata 眞諦具足
Saccasavhayapaṇḍita-cariyā〔經〕サッチャと呼ぶ賢者の所行 Cp 3 8
Saccā〔尼乾子，尼〕サッチャー，眞實
saccānaṁ tathaṭṭho 諦の如の義
saccānupatti 眞理の得達
saccānubodha 眞理の覺證
saccānurakkhanā 眞理の護持
saccānulomika 諦隨順
saccānulomika ñāṇa 諦隨順智
saccābhisamaya 諦現觀，聖諦現觀
saccikaṭṭha 諦義
sacchikaraṇīya dhamma=sacchikātabba dhamma 應證法〔四種〕
sacchi-karoti 作證す
sacchikātabba=sacchikaraṇīya 實證せらるべき，作證せらるべき，現證すべき
Sacchikātabba〔經〕應現證 A 10 154,198
Sacchikātabbaṁ〔經〕可所實證 S 35 49
sacchikātabba dhamma=sacchikaraṇīya dhamma 現證すべき法，作證せらるべき法，實證せらるべき法
sacchikiriyaṭṭhe paññā 現證の義の慧，作證の義の慧
sacchikiriya-paṭivedha 現證通達
sacchi-kiriyā 現證，作證，能證
sacchikiriyā-paññā 現證の慧，作證の慧
sacchikiriyābhisamaya 作證現觀
sacchi-bhabbatā 見證の可能
sajita(A)=sañjitar 創造者，主宰者，指定者
sajīva 共同者
Sajjanela〔村〕サッヂャネーラ
Sajjā〔毘沙門天女〕サッヂャー

sajjulasa〔薬脂樹〕サッヂュラサ
sajjha〜sajjhu 銀
Sajjha ①〔修行者〕サッヂャ ②〔經〕サッヂャ A 9 8
Sajjhadāyaka〔比丘の譬喩經〕サッヂャダーヤカ Ap 3 355
sajjhāya 讀誦，誦經，讀經
Sajjhāya or Dhamma〔經〕誦經（法）S **9** 10
sajjhāyaṁ karoti 讀誦す，問義す*
sajjhāya-kiriyā 學習
sajjhāyati 讀誦す
sajjhu〜sajjha 銀
sañcaritta 媒介，媒嫁
sañcaritta-samuṭṭhāna 媒嫁等起
sañcicca 故意に，故思に，故らに
sañcetanā 故思
Sañcetanā〔經〕思 S **18** 7, 17
sañcetanā-kamma 故思業
sañcetanā-kāya 思身
sañcetanika=sañcetaniya 故意の
Sañcetanika〔經〕思 A **10** 207
sañcetanika-kamma 故思業
Sañcetanika-vagga 故思品 A 4 171〜180
sañcetanika-sukkavisaṭṭhi-āpatti 故出精罪
sañcetaniya-kamma 故思業
sañjagghati 哄笑す
Sañjaya ①〔比〕删闍耶 ②〔王〕サンヂャヤ，珊闍耶，删闍耶 ③〔仙〕サンヂャヤ ④〔賢者〕サンヂャヤ ⑤〔園丁〕サンヂャヤ，删闍耶 ⑥=Sañjaya-Belaṭṭhiputta〔外，六師の一〕サンヂャヤ，删闍耶，删若，散若
Sañjaya-Ākāsagotta〔婆〕想年少吉祥子
Sañjaya-Belaṭṭhaputta, Sañjaya-Belaṭṭhiputta =Sañjaya⑥〔六師外道の一〕サンヂャヤベーラッタフッタ，サンヂャヤベーラッティプッタ，サンヂャヤヱーラッティフッタ，删闍耶吠羅底子，删闍耶毘羅胝子，散若夷毘羅梨沸，散若夷羅梨沸，散若耶毘羅弗多，散若耶毘羅提子，薩若毘那梨弗，珊闍耶毘羅茶子
sañjāti-desa 産地
sañjāti-saṅgaha 同生所攝
sañjānana 知覺，想念
sañjānāti 解了す
Sañjikāputta〔青年〕サンヂカーフッタ，薩闍子
sañjitar 創造者，能生者，主宰者，指定者
Sañjīva ①〔比〕サンヂーヴ，蘇生者，珊耆婆，僧祇婆 ②〔拘留孫佛の第二弟子〕サンヂーヴ，薩尼 ③〔青年〕サンヂーヴ ④〔地獄〕等活
Sañjīva-jātaka サンヂーヴ・ヂャータカ，等活本生物語 J 150
Saññaka〔比丘の譬喩經〕サンニャカ Ap 3 73
saññakkhandha 想蘊
saññata=saṁyata 自制，自制あり
saññama=saṁyama 節制，禁制，禁戒，自制，止息，克己
saññasaññin 想想者
Saññasāmika〔比丘の譬喩經〕サンニャサーミカ Ap 3 324
saññā 想
Saññā〔經〕想 S **14** 7; **18** 6, 16; **25** 6; **26** 6; **27** 6; A **9** 16; **10** 56, 57, 101; **11** 7, 8
saññā-kāya 想身
saññā-gata 想の類
saññāṇa 標識
saññā-nānatta 想種種，種種想
saññā-paṭilābha 想得
saññā-bhava 想有
saññā-manasikāra 想作意，想思惟
saññā-maya 想所成
Saññālakkhaṇa-pañho 想の特相の問 Mil 2〔3〕10
Saññā-vagga 想品 A 5 61〜70
saññā-vipariyesa=saññā-vipallāsa 想顚倒
saññā-vipallāsa=saññā-vipariyesa 想顚倒，想の顚倒
saññā-vimokkha 想解脫，有想解脫
saññā-vivaṭṭa 想退轉
saññā-vivaṭṭe ñāṇaṁ 想退轉の智
saññā-vūpasama 想寂靜
saññā vedanā 想と受，想受

Saññāvedayita-kathā 想受論 KV **15** 7
saññāvedayita-nirodha 想受滅，滅受想定
saññāvedayitanirodha-dhātu 想受滅界〔七界の一〕
saññāvedayitanirodha-samāpatti=nirodha-samāpatti 想受滅定，想受滅盡定，滅受想定
saññāvedayitanirodha-samāpatti vimokkha 想受滅定解脱
saññā-samatikkama 想の超越
saññā-samāpatti 想等至
saññin 有想，有想者
saññin samanaka 有想有意
Saññī〔經〕有想 S **28** 8
saññī-vāda 有想論，想説者〔十六種〕
saññogābhinivesa 合現貪，結住著，結縛住著
saññojana=saṁyojana 結，繋縛，結使，結縛
Saññojanaṁ〔經〕結 S **12** 53,54
saññojana-gocchaka 結聚
saññojana c'eva dhamma saññojana-sampayutta ca 結法にして結相應なる，結結相應法
saññojana c'eva dhamma saññojaniya ca 結法にして順結なる，結順結法
Saññojana-duka 結二法 Duka **20**
saññojana dhamma 結法
Saññojanappahāna-kathā 斷結法 KV **4** 10
saññojana-vippayutta dhamma 結不相應法
saññojana-vippayutta dhamma asaññojaniya 結不相應法にして不順結なる，結不相應非順結法
saññojana-vippayutta dhamma saññojaniya 結不相應法にして順結なる，結不相應順結法
saññojana-sampayutta c'eva dhamma no ca saññojana 結相應法にして非結なる，結相應非結法
saññojana-sampayutta dhamma 結相應法
saññojanikā diṭṭhi 順結見
saññojaniya c'eva dhamma no ca saññojana 順結法にして非結なる，順結非結法
saññojaniya dhamma 順結法，所結の法，繋縛すべき法

Saṭṭhika-nipāta 六十偈集〔長老偈經〕 Thag 1146〜1208
Saṭṭhikūṭasahassa-petavatthu 六萬槌鬼事 Pv **4** 16
Saṭṭhi-nipāta 第十九篇〔本生經〕J 529〜530
Saṭṭhi-peyyālaṁ〔vaggo〕六十乃至廣説〔品〕 S **35** 167〜186
saṭṭhi mahā-nahāru 六十本の大腱
saṭha 狡猾，諂，諂者，諂偽，諂偽者，奸詐，詐誑*，詐誑者*，欺誑者*，幻僞*，誑*，誑者*
saḍuvīsati-vasābhisita (A) 灌頂二十六年
Saṇamāno or Santikāya〔經〕大林鳴りつつ（寂靜身）S **1** 15
saṇṭha〔草〕サンタ
saṇṭhāna 形，形色，位相
saṇṭhāna-mada 形色憍
Saṇṭhita〔比丘の譬喩經〕サンティタ Ap 3 216
saṇḍāsa 鑷子
saṇha 柔軟，柔和，軟
saṇha〔-cīvara〕軟衣
saṇha pharusa 柔軟麁澁，軟と暴
saṇha-bhāsita 柔軟の語
Saṇhā〔尼〕サンハー
saṇhā vācā 柔軟語，柔和語
sata 念，念あり，有念，具念，正念
sataṁ dhammo 善人の法，善士の法
Satacakkhu〔傳◦轉輪王〕サタチャック
satañ ca dhammo asatañ ca dhammo 善士の法と不善士の法
sataṇha 渴愛有る者
sata-dhamma 正法
Sata-dhamma〔婆〕サタダンマ，正法
Satadhamma-jātaka サタダンマ・ヂャータカ，正法婆羅門本生物語 J 179
Satadhū〔河〕サタドゥー
sata-patta 啄木鳥，鶴
Satapatta〔傳◦轉輪王〕サタパッタ
Satapatta-jātaka サタパッタ・ヂャータカ，鶴本生物語 J 279
satapatta-sakuṇa 鶴〜啄木鳥
satapadī 百足，蜈蚣
sata-puñña-lakkhaṇa 百福相

satapupphā〔植〕サタプッパー
Sataporisa〔地獄〕サタポーリサ
Sataraṁsi〔佛〕サタランシ
Sataraṁsika〔比〕サタランシカ〔譬喩經〕Ap 3 52
Sataraṁsī〔傳○轉輪王〕サタランシー
Sataruddhā〔水路〕サタルッダー
satavaṁka〔魚〕サタヴンカ
sata-vallikā 百蔓
satavisati-vasābhisita (A) 灌頂二十七年
sata sampajāna 念正智，念あり正知あり
satasahassī-lokadhātu 百千世界
satādhipateyya 念を增上と爲す，增上念
sati 念，正念，憶念
Sati ①〔經〕正念 S 12 91 ②〔經〕有念 S 37 23 ③〔經〕念 A 8 81
sati-asammuṭṭha 明確なる正念
Satiākāra-pañho 念の行相の問 Mil 2〔7〕1
sati-cariyā 念行
sati ca sampajaññañ ca〜sati-sampajañña 念と正知，念正知，正念正知，正念正智
sati-nepakka 念慧
satindriya 念根
Sati-pañho 念の問 Mil 2〔6〕11
satipaṭṭhāna 念處，念住〔四種〕
Satipaṭṭhāna-kathā ①〔四〕念住論 Pṭs 3 8 ② 念處論 KV 1 9
satipaṭṭhāna-bhāvanā 念處の修習
Satipaṭṭhāna-vagga 念處品 A 9 63〜72
Satipaṭṭhāna-vibhaṅga 念處分別 Vibh 7
Satipaṭṭhāna-saṁyutta 念處相應 S 47 1〜103
Satipaṭṭhāna-sutta サティパッターナ・スッタ，念處經 M 10
Satipaṭṭhānā〔經〕念處 S 43 5
satipaṭṭhānānaṁ upaṭṭhānaṭṭho 念住の近住の義
sati-bala 念力
satibalañ ca samādhibalañ ca 念力と定力
satimant 念あり，念有る者，念慧〔者〕，具念，有念者，正念なる
Satiyaputa (A), Satiyaputra (A)〔國〕サーティヤプタ
Satilakkhaṇa-pañho 念の特相の問 Mil 2〔1〕12
Sati-vagga 念品 A 8 81〜90
sati-vinaya 憶念毘奈耶，憶念毘尼〔七滅諍の一〕
sati-vepulla 念廣大
sati-saṁvara 念律儀
sati-sacchikaraṇīya 念應證
sati-sampajañña〜sati ca sampajaññañ ca 正念正知，正念正智，念正知，念正智，念と正知
sati-sampajaññena samannāgato 念正智を具足せる者
sati-sambojjhaṅga 念覺支，念等覺支，思念の覺意
sati-sammosa〜sati-sammoha 念忘失，正念喪失，失念
sati-sammoha〜sati-sammosa 正念喪失，忘念，失念，念忘失
Satullapakāyika-vagga サトゥッラパ天群品 S 1 31〜40
Satullapakāyikā devatāyo サトゥッラパ天群
Sato〔經〕正念 S 47 2,35,44
satta ① サッタ，有情，衆生，靈 ② 著，著す
satta aggī 七火〔貪，瞋，癡，應請，長者，應施，薪〕
satta adhikaraṇa-samathā＝satta samathā 七止諍，七滅諍，七滅諍法，七種の滅諍〔現前毘奈耶，憶念毘奈耶，不癡毘奈耶，自認，多數決〔法〕，求其罪處〔法〕，草覆地〔法〕〕
satta anusayā 七隨眠〔欲貪，瞋，見，疑，慢，有貪，無明〕
satta aparihāniya-dhammā 七不退法，七不衰法，七不損法
satta abhiññā-ñāṇāni 七神通智
satta ariya-dhanāni＝satta dhanāni 七聖財
satta ariya-puggalā＝satta sekhā 七聖者
satta asaññi-gabbhā 七無想胎〔外道說〕
satta asaddhammā 七非正法，七不正法，七不妙法〔不信，無慚，無愧，少聞，懈怠，失

念，無慧〕
satta ānisaṁsā 七功德
satta āpattikkhandhā=satta āpattiyo 七種の罪聚，七罪蘊，七罪聚
satta āpattiyo～satta āpattikkhandhā 七種の罪，七罪〔波羅夷，僧殘，偸蘭遮，波逸提，提舍尼，惡作，惡說〕
sattaka 七法 V 3 6 (7)
Sattakadambapupphiya〔比丘の譬喩經〕サッタカダンバプッピヤ Ap 3 421
Sattaka-nipāta 七集 A 7 1～90
Satta-kammapatha〔經〕七業道 S 14 26
satta kammapathā 七業道
satta kāyā 七身，七界〔地，水，火，風，樂，苦，命〕〔外道說〕
sattakkhattu-parama 極七反，極七返，極七反有，極七返生，七返有
Sattakkhattuparama-kathā 極七返論 KV 12 5
satta khīṇāsava-balāni 七漏盡力
sattaṅga 凭椅，七肢椅子
satta cittāni=satta viññāṇa-dhātuyo 七心
satta cetanā 七思〔眼觸所生思乃至意識界觸所生思〕
satta jhānaṅgā 七靜慮支，七禪支
sattaṭṭhāna 七處〔四諦，味，過患，出離〕
Sattaṭṭhāna〔經〕七處 S 22 57
sattaṭṭhāna-kusala 七處に善巧
sattatanti-vīṇā 七絃の琵琶
satta-tāla 七多羅樹
sattatiṁsa bodhipakkhiya-dhammā 三十七菩提分法
Sattati-nipāta 第二十篇〔本生經〕J 531～532
satta-daha=satta mahāsarā 七湖
satta diṭṭhiyo 七見
satta duccaritāni 七惡行〔殺生，不與取，邪欲行，妄語，兩舌，麁語，綺語〕
satta devā 七天〔外道說〕
satta dhanāni=satta ariya-dhanāni 七財〔信，戒，慚，愧，聞，施，慧〕
sattadhā-uggaha-kosalla 七種の把持善巧
satta dhātuyo 七界〔光，淨，四無色，想受滅〕
sattadhā muddhā phalissati 頭は七裂
satta nigaṇṭhi-gabbhā 七離繫胎，七節胎〔外道說〕
satta niddasa-vatthūni～satta niddesa-vatthūni 七無過失事，七の無十事
satta niddesa-vatthūni～satta niddasa-vatthūni 七殊妙事
Satta-nipāta ① 七偈集〔長老偈經〕Thag 459～493 ② 七偈集〔長老尼偈經〕Thīg 175～195 ③ 第七篇〔本生經〕J 396～416
satta pakaraṇāni=sattappakaraṇāni 七パカラナ，七論，七部の論〔阿毘達磨〕
satta-paññatti 有情施設
satta paṭuvā～satta pavuṭā 七林〔外道說〕
sattapaṇṇa=sattapaṇṇi〔樹〕サッタパンナ
Sattapaṇṇaka-pāsāda 七葉大殿
Sattapaṇṇa-guhā=Sattapaṇṇi-guhā サッタパンナグハー，七葉窟
sattapaṇṇi=sattapaṇṇa〔樹〕サッタパンニ
Sattapaṇṇi-guhā=Sattapaṇṇa-guhā 七葉窟，サッタパンニ窟
Sattapaṇṇiya〔比丘の譬喩經〕サッタパンニヤ Ap 3 372
Sattapatta〔宮殿〕サッタパッタ
Sattapaduminiya〔比丘の譬喩經〕サッタパドゥミニヤ Ap 3 314
satta papātā 七嶮，七崖〔外道說〕
satta pabbatā=satta mahā-selā, satta paribhaṇḍa-pabbatā 七山
satta paribhaṇḍa-pabbatā=satta pabbatā 七帶山
satta pariyuṭṭhānā 七纏〔欲貪，瞋恚，慢，見，疑，有貪，無明〕
satta pavuṭā～satta paṭuvā 七山〔外道說〕
Sattapāṭaliya〔比丘の譬喩經〕サッタパータリヤ Ap 3 255
satta puggalā 七種人
satta puggalā dakkhiṇeyyā 七應供人〔俱分解脫，慧解脫，身證，見至，信解脫，隨法行，隨信行〕
satta-purohita 人師

satta pesācā 七悪鬼，七鬼〔外道説〕
sattappakaraṇāni=satta pakaraṇāni 七論，七部の論，七パカラナ〔阿毘達磨〕
sattappatiṭṭha 七處齊整，七處具拄
satta phalāni 七果
satta phassā 七觸〔眼，耳，鼻，舌，身，意界，意識界の觸〕
satta bandhanāni 七縛〔貪，瞋，癡，慢，見，煩惱，悪行〕
satta balāni 七力〔信，精進，慚，愧，念，定，慧〕
satta Buddhā=satta sammāsambuddhā 七佛〔過去七佛〕
Sattabojjhaṅga-pañho 七覺支の問 Mil 2〔7〕8
satta bojjhaṅgā=satta sambojjhaṅgā 七覺支，七菩提分，七覺分
satta bodhipakkhiyā dhammā 七菩提分法
Sattabhū〔王〕破寃王
Sattama-Abhidhammappakaraṇa=Paṭṭhāna 第七の阿毘曇論
sattama-pārājika 第七の波羅夷
sattama-bhavika 第七有〔者〕
Sattamabhavika-kathā 第七有論 KV 12 9
sattama-bhāṇavāra 第七誦品
sattama-saṁghādisesa 第七僧殘=造精舍戒
satta mahā-sarā=satta daha 七大湖，七大池
satta mahā-selā=satta pabbatā, satta paribhaṇḍa-pabbatā 七大山
satta mānā=sattavidha māna 七慢〔慢，過慢，慢過慢，卑慢，增上慢，我慢，邪慢〕
satta mānusā 七人〔外道説〕
Sattambaka-cetiya サッタンバカ廟，サッタンバ廟，サッタンバカ祠堂，七聚塔，七聚廟
satta-ratana-samannāgata 七寶具有者
satta ratanāni 七寶，輪王七寶〔輪，象，馬，珠，女，居士，將軍〕
sattali〔植〕サッタリ
sattaliyothika〔花〕サッタリヨーティカ
satta-loka 有情世間
satta vata-padāni 七禁戒尼，七つの誓
Sattavassāni〔經〕七年 S 4 24
satta viññāṇaṭṭhitiyo 七識住
sattavidha māna=satta mānā 七種慢
sattavidha-methuna-saṁyoga 七種婬相應
sattavidha visuddhi 七種淸淨
sattavidhena rūpakkhandho 七種色蘊
sattavidhena rūpa-saṅgaho 七種色聚
satta vinīta-vatthūni 七種の修習事
satta vedanā 七受〔眼觸所生受乃至意識界觸所生受〕
satta saṁyojanāni 七結 ①〔欲貪，瞋，見，疑，慢，有貪，無明〕②〔欲貪，瞋，見，疑，慢，嫉，慳〕
satta saṅgā 七著〔貪，瞋，癡，慢，見，煩惱，悪行〕
satta saññā ① 七想〔無常，無我，不淨，患，斷，離貪，滅〕② 七想〔不淨，死，食厭，一切世間不可樂，無常，無常苦，苦無我〕③ 七想〔眼觸所生想乃至意識界觸所生想〕
satta-saññā 有情想
satta saññi-gabbhā 七想胎〔外道説〕
Sattasati, Sattasatika 七百〔結集〕=第二結集
Sattasatikakkhandhaka 七百〔結集〕犍度 V 2 b 12
satta-sattati ñāṇa-vatthūni 七十七智事
satta-sattati ñāṇāni 七十七智
satta saddhammā ① 七正法，七妙法〔信，慚，愧，多聞，勤精進，念現前，具慧〕② 七正法，七善〔身三語四の善業〕
satta sappurisa-dhammā 七善士法
satta samathā=satta adhikaraṇa-samathā 七種の滅諍，七種の滅法，七止諍，七滅諍〔現前毘尼，憶念毘尼，不癡毘尼，自言治，多人語，覓罪相，如草覆地〕
satta samādhi-parikkhārā 七定具，七の定資糧〔正見，正思，正語，正業，正命，正精進，正念〕
satta sambojjhaṅgā=satta bojjhaṅgā 七等覺支
satta sammā-sambuddhā=satta Buddhā 七正等覺者〔過去七佛〕

satta-sarā 七湖，七池〔外道說〕
satta sallāni 七箭〔貪，瞋，癡，慢，見，愁，疑惑〕
satta sassatā-kāyā 七常住身
satta sahadhammikā 七共法者
Sattasāra-jaliṭa〔役人〕サッタサーラ•ヂャリタ
satta supinā 七夢〔外道說〕
Sattasuriya〔經〕七日～A **7** 62 Suriya
satta sekhā=satta ariya-puggalā 七有學〔預流向乃至阿羅漢向〕
sattahi saddhammehi samannāgato 七正法を具す
sattānaṁ anuggaho 有情の扶助
sattānaṁ āsayānusaye ñāṇaṁ 有情意樂意趣智
sattānaṁ cutūpapātaṁ yathābhūta-ñāṇa-balaṁ =sattānaṁ cutāpapāta-ñāṇaṁ, dibbacakkhu-ñāṇa 有情死生如實智力〔如來十力の一〕
sattānaṁ cutūpapāta-ñāṇaṁ=dibbacakkhu-ñāṇa, sattānaṁ cutūpapātaṁ yathābhūta-ñāṇa-balaṁ 有情死生智，有情衆の死生智，有情生死智，生死智=天眼通
sattānaṁ cutūpapāte ñāṇa-vijjā=sattānaṁ cutūpapāta-ñāṇaṁ 有情生死智明
sattānaṁ cutūpapāto 有情の死生，有情死生，有情生死
sattānaṁ ṭhiti 有情の住
sattānaṁ nānādhimuttikataṁ yathābhūta-ñāṇa-balaṁ 有情種種勝解如實智力，種種勝解智力〔如來十力の一〕
sattārasa ākārā 十七行相〔念の〕
sattārasa-vaggiyā dārakā 十七群童子
sattārasa-vaggiyā bhikkhū 十七群比丘
sattārasa saṁghādisesā dhamma 十七僧殘法
sattāvāsa 有情居，衆生居〔九種〕
Sattāvāsa〔經〕有情居 A **9** 24
Sattāvāsa-vagga 有情居品 A **9** 21～31
sattāha-kālika 七日藥
Sattāhapabbajita〔比丘の譬喩經〕サッターハパッバヂタ Ap **3** 288
satti ① 槍，鎗，劔，投鎗，鐵槍，刄物，矛，刄 ②〔植〕サッティ
Satti〔經〕刄 S **20** 5
Sattigumba〔鸚鵡〕サッティグンバ，槍群
Sattigumba-jātaka サッティグンバ・ヂャータカ，サッティグンバ鸚鵡本生物語 J 503
satti-pañjara 槍の垣
Sattipaṇṇiya〔比丘の譬喩經〕サッティパンニヤ Ap **3** 456
Satt' imā〔經〕これらの七 S **14** 11
Satti-māgavi〔經〕刄の獵師 S **19** 6
Sattiyā〔經〕劔に依りて S **1** 21
satti-loma 槍毛者
satti-loma purisa 刄の毛の人
Satti-vagga 劔品 S **1** 21～30
Satti-sata〔經〕百槍 S **56** 35
satti-sūla 劔戟，劔鎗，鎗矛，刀杭，槍の尖，鐵串，鐵刺，刄と串
Sattisūla〔地獄〕鐵刺
sattisūlūpamā 劍戟の譬喩，鎗矛の如く，刀杭の喩
sattu～satthu 小麥粉，麥粉，麨，團子，麥菓子，麥餅
Sattuka ①〔賊〕サットゥカ ②〔人〕
Sattuttama〔傳◦轉輪王〕サットゥッタマ
satt' udakūpamā puggalā 七水喩人
Sattuppalamālikāya〔比丘尼の譬喩經〕サットゥッパラマーリカーヤ Ap **4** 8
Sattubhatta-jātaka=Sattubhasta-jātaka サッツバッタ・ヂャータカ
Sattubhasta-jātaka=Sattubhatta-jātaka サットゥバスタ・ヂャータカ，菓子袋本生物語，砂糖袋本生物語 J 402
sattussada 七處平滿，七箇の隆滿せる處〔三十二相の一〕
sattussada-niraya 七突起地獄
satt' ussadā 七增盛〔貪，瞋，癡，慢，見，煩惱，業〕
Satto〔經〕衆生 S **23** 2
sattha ① 刀，刀劍，劔，劍，殺具，刀杖，利刀 ② 隊商，商賈，商主，旅商 ③ 書典，學問

satthaka 鋏，刀
satthaka-daṇḍa 刀欛
satthaka-vāta 劔風，刀風，刀劍の如き風質
satthantara-kappa 刀杖の劫
sattha-pati 隊商主
sattha-bhaya 刀劍の畏怖
sattha-mala 劔の銹
satthar 師，大師，教師，教主
Satthar〔辟〕サッター
satthari pasādo=buddhe pasādo 師に對する淨信
sattha-vāha 隊商主，隊商指導者，隊商を導く人，隊商の長，商主，商隊主，隊商*
Satthavāha〔拘那含牟尼佛の子〕サッタヴーハ，商主
sattha-hāraka 執刀者，刺客，刄物を執れるもの
Satthā〔經〕師 S 12 82
satthādāna 執刀，執劍，執兵器
satthā devamanussānaṁ 天人師，人天師，人天の師，天及び人の師〔如來十號の一〕
satthāraṁ pariyesati 師を求む
satthā lokassa sadevakassa 人天の師主，人天兩界の師
satthu〜sattu 麥粉，麥餠，麥菓子
satthu-gāravatā 師の尊敬，師を恭敬すること
satthu pakkosanaṁ 師の召換
satthu-vaṇṇa 黃金
satthu sāsanaṁ 師教，師の教
satva サットワ，純質
sadattha 己利
Sadāmatta〔天〕サダーマッタ，薩陀摩多
sadiso 'ham asmī ti māna=sadiso 'ham asmī ti vidhā 我は等しとの慢，我は等なりとの慢，我は如等なりとの慢，我等慢
sadiso 'ham asmī ti vidhā=sadiso 'ham asmī ti māna 我は等しといふ次第，われは等しとの慢
sadutiya-vihārin 隨伴住者
sadosa 瞋恚者，有瞋
sadosa-citta 瞋恚ある心，有瞋心
sadda 聲，音聲
sadda-taṇhā 聲愛
saddattha〜sadda-sattha 文法
sadda-dhātu 聲界
sadda-navaka 聲九法
sadda-bhoga 聲樂
sadda-rasa 聲味
sadda-sañcetanā 聲思
Saddasaññaka〔比丘の譬喩經〕サッダサンニャカ Ap 3 88,294, 317,348
Saddasaññaka-vagga サッダサンニャカ品 Ap 3 348〜357
sadda-saññā 聲想
sadda-sattha ① 聲論 ②〜saddattha 文典
sadda-sarikkhatā 聲相似性
saddāyatana 聲處
saddūpahāra 聲持現
saddo kaṇṭako 聲は刺なり
Saddo vipāko ti kathā 聲異熟論 KV 12 3
saddha ① 信者，信〔者〕，信有る〔者〕，信心者，篤信，篤信者，有信 ② 亡者供養會，靈供，供物
Saddha〔比〕サッダ，信
saddha kulaputta 正信の善男子
saddhamma 正法，妙法
Saddhamma〔經〕正法 A 10 147,191
saddhamma ciraṭṭhitika 正法久住，正法永住
saddhammaṭṭhiti 正法久住，正法の住
Saddhammanandī〔尼〕サッダンマナンディー
Saddhammantaradhāna-pañho 正法隱沒の問 Mil 4〔1〕7
saddhamma-paṭirūpaka 像法
Saddhamma-paṭirūpakaṁ〔經〕像法 S 16 13
saddhamma-parihāna 正法の損減
Saddhamma-vagga 妙法品 A 5 151〜160
saddhamma-saṁgaha=dhamma-saṅgīti 正法結集，正法合誦，正法會誦
Saddhamma-saṁgaha〔書名〕サッダンマサンガハ
saddhamma-savana 正法の聽受，正法の聽聞，正法聽聞，正法を聞くこと〔四預流向支の一〕

saddhammassa antaradhānaṁ 正法の滅
saddhammassa ṭhiti asammosaṁ anantaradhānaṁ 正法の住と不失と不隱
saddhammassa sammosaṁ antaradhānaṁ 正法の失壞と隱沒
saddhammādhāraka 正法の支持者
saddhā 信，信仰，信心，淨信，信用，篤信
Saddhā ①〔夷〕サッダー ②〔天女〕サッダー ③〔經〕信 S **1** 36；A **8** 71,72；**10** 8
Saddhā or Āpana〔經〕信 S **48** 50
saddhā-carita 信行者
saddhā-cariya 信行
Saddhātissa〔王〕サッダーティッサ
saddhā-deyya 信施，信施物
saddhādeyya-cīvara 信施の衣
saddhādeyya piṇḍapāta 信施の食物，信施の食
saddhādeyya bhojana 信施の食
saddhādeyya mañca-pīṭha 信施の牀床，信施の椅子や牀
saddhādeyya vihāra 信施の精舍，信施の房
saddhā-dhana 信財
saddhādhimutta 信勝解〔者〕
saddhānusārin 隨信行，隨信〔行〕，隨信行者，隨信者
saddhā-pakata 信施
saddhā-padāna 信の標識
saddhā-bala 信力
Saddhālakkhaṇa-pañho 信の特相の問 Mil **2**〔1〕10
saddhā-vimutta 信解，信解者，信解脫，信解脫者，信解人，信勝解*
saddhā-vepulla 信廣大
saddhā-sampadā 信具足
saddhā-sampanna 信具足〔者〕
saddhindriya 信根
saddhivihārika=saddhivihārin 弟子，徒弟，和尚弟子
saddhivihārika bhikkhu 共住の比丘，弟子比丘
Saddhivihārika-vatta 弟子に對する承事品 V **2** a 1，26
saddhivihārikānaṁ upajjhāyesu vattaṁ 弟子の和尚に於ける儀法
saddhivihārin〜saddhivihārika 共住，共住者，同住者
sadhana 榮者
san 狗
Sanaṁkumāra ①〔梵天〕サナンクマーラ，常童子，常童形，常童 ②〔經〕常童子 S **6** 11
sanidassana 可見，有見
sanidassanattika 有見三法
sanidassanattika-kusalattika 有見三法善三法 Tika-tika 42
sanidassanattika-saraṇaduka 有見三法有諍二法 Tika-duka 94
sanidassanattika-hetuduka 有見三法因二法 Tika-duka 22
Sanidassana-duka 有見二法 Duka **9**
sanidassanaduka-kusalattika 有見二法善三法 Duka-tika 30
sanidassana dhamma 有見法
sanidassana rūpa 有見色
sanidassana-sappaṭigha 有見有對
Sanidassana-sappaṭighattika 有見有對三法 Tika **22**
sanidassana-sappaṭigha dhamma 有見有對法
sanidassana-sappaṭigha-rūpa 有見有對色〔三色聚の一〕
sanidāna 有因
Sanidānaṁ〔經〕有因 S **14** 12
sanidāna-dhamma 因緣法
Sanimaṇḍapa〔堂〕サニマンダパ
sanimitta 有相
Sanimitta-vagga 有品 A 2 8
sankhārupekkhā-ñāṇa 行捨智
santa ① 寂靜，寂，淨行，寂者，寂靜者 ② 正，善き人，賢善人，善士，聖人
Santa ①〔アッタダッシー佛の第一弟子〕サンタ，息 ②〔王臣〕サンタ ③〔經〕寂靜 S **43** 24；A **10** 9
santa atthuttari pada 寂靜最上義句
santa isi 寂靜の仙，寂止仙
Santakaṁ〔經〕止息 S **36** 15,16

santagāmi magga 寂靜に達するの道
Santacitta〔辟〕サンタチッタ
santati 相續
santati-paccuppanna 相續現在
santa-pada=santi-pada 寂靜句，寂靜の句，寂句，寂止句，寂靜なる境，寂靜の道，寂靜の道足，寂滅處，靜道
santa-mānasa 意寂靜
santa-vimokkha 寂靜解脫
santa-vihāra 寂靜住
santa-vihārādhigama 寂靜なる得住
santa-sannivāsa 善士との同住
santa suvimutta 寂靜善解脫
santā ceto-vimutti 寂靜なる心解脫
santāna〔天樹〕サンターナ
Santāna〔比〕サンターナ
santānaka 蛛網
santāna-vāsanā 相續習氣
santāpa 熱惱，熱苦
santi 寂，寂止，寂靜
santika 近
santi-kamma 願をかける
santikā 石積戲，抜取り
santikāvacara 側近者，近侍
Santike-nidāna 近き因緣物語 JN 4
santike nibbānaṁ 涅槃に近づく
santike rūpaṁ 近色
santindriya 根寂靜
santi-pada=santa-pada 寂靜句，寂靜の句，寂句，寂止句，寂靜なる境，寂靜の道，寂滅處，靜道
santipade ñāṇaṁ 寂滅處の智
santi-magga 寂靜の道
santīraṇa 推度，判別
santīraṇa-kicca 推度作用
santīraṇa-kicca ahetukavipāka-manoviññāṇa-dhātu 推度作用無因異熟意識界
santīraṇa citta 推度心
santuṭṭha 知足，知足者，喜足者
Santuṭṭha ①=Santusita, Tusita〔天，宮殿〕サントゥッタ，删兜率，删兜率陀，善知足，都率 ②〔塞〕サントゥッタ，薮達利舍衛
Santuṭṭhaṁ〔經〕滿足 S 16 1
santuṭṭhi 知足，喜足，滿足
santuṭṭhi-kathā 知足論，知足の稱說，知足の話，喜足論〔十論事の一〕
santuṭṭhitā 知足，喜足
Santusita=Santuṭṭha, Tusita〔天，宮殿，天子〕サントゥシタ，删兜率，删兜率陀，善知足，都率
Santusito〔經〕删兜率陀(兜率)天 S 40 13
santevāsika 有內住
santhata ① 臥具 ② 有隔
santhata-sammuti 臥具認可
santhara〜santhāra 敷具
santhava 親愛，親暱，親交
Santhava-jātaka サンタヴ・ヂャータカ，親交本生物語 J 162
Santhava-pañho 親交の問 Mil 4〔5〕8
Santhava-vagga 親交品 J 161〜170
santhāgāra 公會堂，斷事堂，集會堂，會議所，會堂，祠壇
santhāra〜santhara 敷床
santhāraka 敷具
Santhāra-vagga 覆護品 A 2 14
santhuta 親厚
Sandaka〔普行者，塞〕サンダカ
Sandaka-suttanta サンダカ・スッタンタ，サンダカ經 M 76
sandana ① 戰車 ② 頸飾
sandamānikā 戰車，サンダマーニカー車
sandassaka 教示者，教示し，開示者
sandasseti 教訓す，開示す
sandāna 綱
sandiṭṭha 知人，親友，同見
sandiṭṭhi 同見
sandiṭṭhika 現見，現に見らるる，自ら見るべきもの
sandiṭṭhika dukkhakkhandha 現實的苦蘊
sandiṭṭhika dhamma 現見法，現生的の法
sandiṭṭhika nibbāna 現見涅槃
Sandiṭṭhika Nibbāna〔經〕現見涅槃 A 9 47

Sandiṭṭhiko dhammo〔經〕現見法 A **9** 46
sandiṭṭhin 自見を取著し
sandiṭṭhi-parāmāsin 現世を妄取す，世俗に染む
sandeha 積集，身體
Sandha ①〔比〕サンダ，詵陀 ②〔經〕詵陀 A **11** 10
sandhātar 和解者
Sandhāna〔居士，塞〕サンダーナ，散陀那
sandhāya 密意によりて
sandhāraṇa 保持，地
sandhāvita saṁsarita 流轉輪廻
sandhi ① 相續 ② 連聲 ③ 關節
Sandhita〔比〕サンディタ
Sandhibheda-jātaka サンディベーダ・ヂャータカ，破和睦本生物語 J 349
sandhūpāyati 火烟を出す，遍薫す
Sannaka〔ビヤダッシー佛の信士〕サンナカ，流下
sannāha 甲冑，鎖帷子
sannicita-lohita 集積せる血
Sannidhāpaka〔比丘の譬喩經〕サンニダーパカ Ap 3 44
sannidhi ① 貯藏，貯蓄 ② 延期
sannidhi-kāra 貯畜物，貯蓄物
sannidhi-kāraka 貯藏せし，蓄財
sannidhikāraka kāma 蓄財の欲
sannidhikāraka-bhojana〔波逸提〕殘宿食
sannidhi-chanda 貯藏欲
sannipātika 和合
sannipātika ābādha〔膽汁，痰，風〕集合病，和合生の病
Sannibbāpaka〔傳◦轉輪王〕サンニッバーパカ
sannisajjā 集會場，集會堂
sannisinna-gabbhā 懐胎せる
sannīra〔樹，果〕サンニーラ
Sannīra〔精舎〕サンニーラ
Sannīrasela〔村〕サンニーラセーラ
sa-pañña 有慧者
Sapañña-vagga 有慧品 S **55** 51～61
sapaṇṇaka-paṭipadā 有戯論道
sapatta 敵
sapattaka-citta 害心
Sapattā〔尼〕サパッター
sapattī 敵妻
sapatha 呪詛，呪詛の誓，宣誓，誓，詛誓
sapadānaṁ 順次に，次第
sapadānacārika 次第乞食者
sapadānacārikaṅga 次第乞食支
sapadānacārin 次第乞食，次第乞食者
sapadānañ carati 家毎に〔次第に〕行乞す，次第乞食す
Sapara〔地方〕サパラ
Saparagamu〔國〕サパラガム
saparikkamana 有行處
saparikkhāra 有資糧
saparidaṇḍā 罰護女，杖罰にて護られたる女人，主ある女
sapariyanta 有制限〔戒〕，有邊戒
Saparivāra〔傳◦轉輪王〕サパリヴーラ
Saparivārachattadāyaka〔比丘の譬喩經〕サパリヴーラチャッタダーヤカ Ap 3 330
Saparivārāsana〔比丘の譬喩經〕サパリヴーラーサナ Ap 3 56
Saparivāriya〔比丘の譬喩經〕サパリヴーリヤ Ap 3 144
sapāka ①〔植〕サパーカ ② 屠犬者
sappa サッパ，匍匐者，蛇
Sappa〔經〕蛇 S 4 6
Sappaka〔比〕サッパカ
sappaccaya 有緣
Sappaccaya-duka 有緣二法 Duka **7**
sappaccayaduka-kusalattika 有緣二法善三法 Duka-tika 28
sappaccaya dhamma 有緣法
sappañña 正慧者
sappaṭikammā āpattī 有懺除罪，有懺罪，有悔除犯，有悔除罪
sappaṭigha 有對
Sappaṭigha-duka 有對二法 Duka **10**
sappaṭighaduka-kusalattika 有對二法善三法 Duka-tika 31
sappaṭigha dhamma 有對法

sappaṭigha rūpa 有對色
sappaṭibhaya 可畏
sappaṭissa 畏敬，有崇
Sappadāsa〔比〕サッパダーサ
Sappanārukokilla〔村〕サッパナールコーキッラ
sappabhāsa citta 光耀心
sappa-rājan 蛇王
sappa-visa 蛇毒
sappa-sira, sappassa siro 蛇頭，蛇の頭，蛇首
sappasirūpamā 蛇頭の喩，蛇首の如く
Sappasoṇḍika-pabbhāra〔窟〕サッパソーンディカ巖，蛇頭巖，蛇鬚洞，薩簸恕直迦鉢婆羅
sappāṭihāriya 有神變，有折伏
sappāṭihāriya dhamma 神變法
sappāṇaka 有蟲
sappāṇaka-udaka 有蟲水
Sappāṇaka-vagga 有蟲水品 V **1** a 5, 61～70
Sappāya〔經〕有驗 S **35** 31,32, 146～149
Sappāyaṁ〔經〕隨應 S **34** 10
sappāyakārin 隨應作，順益することを作す
sappāya-kiriyā 適切作，攝生
sappāyā paṭipadā 有驗なる道
sappi 酥，蘇油，醍醐，醍醐味，熟酥，生酥
sappi-kumbha 酥瓶
sappi-tela 酥油，酥と油，熟酥油
Sappidāyaka〔比丘の譬喩經〕サッピダーヤカ Ap 3 166, 219
Sappinikā＝Sappinī〔河〕サッピニカー，葉毘尼
Sappinī＝Sappinikā〔河〕サッピニー，葉毘尼
sappi-pāyāsa 醍醐粥
sappi-maṇḍa 醍醐，醍醐味，酥精
sappimaṇḍassa tayo guṇā 醍醐の三德
sappivaṇṇa〔sukka〕酥色精
sappi-homa 熟酥の護摩
sappītika 有喜
sappītika-jhāna＝sappītika-samādhi 有喜禪
Sappītika-duka 有喜二法 Duka **89**
sappītikaduka-kusalattika 有喜二法善三法 Duka-tika 98
sappītika-dhamma 有喜法
sappītika-samādhi＝sappītikajjhāna 有喜定
sappītika-sukha 有喜樂
sappītikā paññā 有喜慧
sappītikārammaṇa-sukha 有喜緣樂
sappurisa 善人，善士，善知識，正士，眞人
Sappurisa〔經〕善士 A **8** 37,38
sappurisa-dāna 善士施
sappurisa-dhamma 善士法，善士の法，善知識の法，善人法，眞人の法
Sappurisa-dhamma〔經〕善士法 A **10** 148,192
sappurisa-bhūmi 善士地
Sappurisa-vagga 善士品 A **4** 201～210
sappurisa-saṁseva 善士との親近，善士に親しむこと，善士との交友，善知識に親近すること，善士親近，善士依倚〔四預流向支の一〕
Sappurisa-sutta サップリサ・スッタ，善士經 M **113**
sappurisūpassaya 善士に親近す
Sabara〔人〕サバラ
sabala 斑點
Sabala〔犬〕サバラ
Sabalā〔尼〕サバラー
sabba 一切
Sabba〔經〕一切 S **35** 23；**52** 9
sabbaṁ atthi 一切は有なり，一切有なり
sabbaṁ andhabhūtaṁ 一切は盲闇なり
sabbaṁ ādittaṁ 一切は燒かる，一切は熾燃なり
Sabbaṁ idaṁ kammato ti kathā 一切由業論 KV **17** 3
sabbaṁ natthi 一切は無なり
sabbaṁ me khamati 予は一切を認容す
sabbaṁ me na khamati 予は一切を認容せず〔長爪の說〕
Sabbakāma ①〔比〕サッバカーマ ②〔スメーダ佛の第二弟子〕サッバカーマ，一切欲
Sabbakāmā〔尸棄佛の妃〕サッバカーマー，一切欲
Sabbakāmin〔第二結集比丘〕サッバカーミー，一切去，薩婆迦眉，薩婆伽眉

sabba-kāya 全身
sabbakiccaparināyikā pārihāriyā paññā 一切所作に導入する將來慧
Sabbakittika〔比丘の譬喩經〕サッバキッティカ Ap 3 390
Sabbagandhiya〔比丘の譬喩經〕サッバガンディヤ Ap 3 302
Sabbagghana〔傳◦轉輪王〕サッバッガナ
sabbacitta-sādhāraṇa cetasika 共一切心心所
sabbaji 一切勝者
sabbaññutaññāṇa=sabbaññutā-ñāṇa 一切勝智者，一切知智，一切智性智，一切智
sabbaññutā 一切知性，一切智，一切智性
sabbaññutā-ñāṇa=sabbaññutaññāṇa 一切知智，一切智性智，一切勝智者
sabbaññu-buddha 一切知佛
sabbaññū 一切智者，一切知，一切智，一切知者，全知，全智者
sabbatta 一切性
sabbatthaka-kammaṭṭhāna 一切處業處
sabbatthaka-mahāmatta 庶務大臣
sabbatthagāminī-paṭipadaṁ yathābhūta-ñāṇa-bala 遍趣行如實智力〔如來十力の一〕
sabbatthagāminī paṭipadā 遍行道，遍趣行
sabbattha-paññatti 遍通制
sabbatthābhivassin 一切處降雨
Sabbatthi-vāda, Sabbatthi-vādin〔部派〕説一切有部
Sabbadatta〔王〕サッバダッタ，一切施
sabba-dassāvin 一切見者，全見
sabba-dassin 一切見〔者〕，一切見者
Sabbadassin〔ピヤダッシー佛の第二弟子〕サッバダッシー，一切見
Sabbadāṭha〔豺王〕サッバダータ，一切牙
Sabbadāṭha-jātaka サッバダータ・チャータカ，一切牙豺本生物語 J 241
Sabbadāyaka〔比丘の譬喩經〕サッバダーヤカ Ap 3 396
Sabbadinna〔人〕サッバディンナ
Sabbadisā-kathā 一切方論 KV 21 6
sabba-dhamma 一切法，一切諸法
sabbadhammamūla-pariyāya 一切法根本法門
Sabbananda〔迦葉佛の弟子〕サッバナンダ，薩婆難陀
Sabbanāmā〔ダンマダッシー佛の第二比丘尼〕サッバナーマー，一切名
sabba-paṁsukūlika 一切糞掃者
sabbappahāyin 一切斷〔者〕
Sabbaphaladāyaka〔比丘の譬喩經〕サッバパラダーヤカ Ap 3 516
sabba-phāliphulla 花が満開
Sabbabhaddā〔象王妃〕一切賢
sabba-bhava 一切有
sabbamaññita-samugghāta 一切思量の除滅
sabbamattikāmayā kuṭikā 純泥の屋
Sabbam atthīti-kathā 一切有論 KV 1 6
Sabbamitta ①〔比〕サッバミッタ ②〔迦葉佛の侍者〕サッバミッタ，一切友，善友 ③〔王〕サッバミッタ ④〔婆〕薩婆密多
Sabbamūlaka〔章〕全根章
Sabbalahuso〔經〕極輕 A 8 40
sabba-loka 一切世間
sabbaloke anabhirata-saññā 一切世間不可樂想，一切世間不歡喜想，一切世間不樂想，一切世間に於て不喜想，一切世界に於て不喜想，一切世界無欣喜想
sabbaloke anabhirata-saññin 一切世間に於て不可樂の想〔者〕
Sabba-vagga 一切品 S 35 23～32
sabbavidū 一切知者，一切智者
Sabbasaṁhāraka サッバサンハーラカ〔・チャータカ〕，全總括問〔本生物語〕J 110
sabbasaṅkhāra-samatha 一切行〔の〕寂止，一切行の〔靜〕止
sabbasaṅkhāresu-aniccasaññā 一切行無常想，一切諸行無常想
Sabba-saṅgaha 攝一切 Abhsaṅg 7 4
sabbākusala-sādhāraṇa cetasika 共一切不善心所
sabbāpaṇa 百貨店（佛の）
sabbābhibhū 一切勝者
sabbāsavasaṁvara-pariyāya 一切漏防護の法門

Sabbāsava-sutta サッバアーサワ・スッタ，一切漏經 M 2
sabbupādānapariññā-dhamma 一切取曉了の法
sabbupādāna-pariññā-vāda 一切取了知論者
sabbupādānapariyādāna-dhamma 一切取了悟の法
sabbūpadhi-paṭinissagga 一切依定棄，一切依の〔破〕棄，一切取の棄捨，一切餘依の定棄
sabbe dhammā 一切諸法，一切法
sabbe dhammā anattā 一切法は無我なり，一切法無我
sabbe dhammā satipaṭṭhānā 一切法は念處なり
sabbe saṅkhārā anattā 諸行は無我，一切行無我
sabbe saṅkhārā aniccā 一切行は無常なり，一切行無常，諸行は無常
sabbe saṅkhārā dukkhā 諸行は苦，一切行苦，一切行は苦なり
sabbe sattā āhāraṭṭhitikā 一切有情は食によりて住す，一切の有情は食に依りて住す，一切衆生は食によりて住す
Sabbosadha〔傳◦轉輪王〕サッボーサダ
Sabbhi〔經〕善人と共に S 1 31
sabyābajjha-loka 有恚界
sabrahmacārin 同梵行，同梵行者
Sabhattudesabhoga〔殿〕サバットゥデーサボーガ
sabhā 集會所，集會處，集會堂，集會，公會，會堂，法庭
sabhāga 同分
sabhāga-āpatti 同分の罪
sabhā-gata 朋輩
Sabhāgata〔經〕朋輩 S 55 36
sabhāga-nimitta 相似の相
sabhāga-vuttika 同類活命〔者〕
sabhāga-santati 同分相續
sabhāga-suñña 同分空
sabhāva 自性，實相，天然
sabhāva-dhamma 自性法，第一義的存在物
sabhāva-nirutti 自性詞，如法の文法
sabhāva-parisuddha 自性清淨
sabhāva-rūpa 自性色
sabhāva-lakkhaṇa 自性相
Sabhāsammata〔傳◦轉輪王〕サバーサンマタ
Sabhiya ①〔婆，比〕サビヤ，薩毘耶 ②〔ブッサ佛の侍者〕サビヤ
Sabhiya Kaccāna〔比〕詵陀迦旃延
Sabhiya-sutta 薩毘耶經 Sn 3 6
Sabhiyo〔經〕詵陀 S 44 11
Sabhogavant〔傳◦轉輪王〕サボーガヴー
sabhojana-kula 食事中の家
sama ① 等，平等，等者 ② 寂
Samaṁkara〔王〕サマンカラ
samagga 和合，順和
samagga-kamma 和合羯磨〔六種羯磨の一〕
samagga-saṁgha 和合僧
samaggā parisā 和合衆，和合衆會
Samaṅga ①〔ティッサ佛の侍者〕サマンガ，平等行 ②〔山〕サマンガ
samaṅgibhāva-samannāgama 具足しある具足
Samaṅgī〔ソービタ佛の妃〕サマンギー
sama-cariyā 等行，平等行，平等の行，正行，正業，正道行，寂靜行
sama-cāga 同捨
samacārin 寂靜行者，平和住者，正行者
Samacitta-pariyāya=Samacitta-sutta 平等心法門
Samacitta-vagga 等心品 A 2 4
Samacitta-sutta=Samacitta-pariyāya 平等心經
sama-jana 凡庸者
sama-jīvitā 等命
samajja 祭會，觀覽處，觀世物
samañña 共相
samaññā 稱呼，名目，通名，通稱，呼稱，俗稱
samaṇa 沙門
Samaṇa ①〔村〕サマナ ②〔經〕沙門 A 8 85
samaṇaka 似而非沙門，小沙門，貧沙門
samaṇakaraṇa-dhamma 沙門と作る法
samaṇa-kāraṇḍava 沙門の莠

Samaṇa-koraññā〔王〕サマナコーランニャ
Samaṇaguttaka〔盗賊〕サマナグッタカ
Samaṇaguttā〔王女，優鉢羅色の前生〕サマナグッター
samaṇa-cīvara 沙門衣
samaṇa-dukkha 沙門の苦〔五種〕
Samaṇadussīla-gihidussīla-pañho 無戒の沙門と無戒の在家の問 Mil 4〔7〕4
samaṇa-dūsin 沙門の汚
samaṇa-dhamma 沙門法，沙門の法
Samaṇa-pañho 沙門の問 Mil 4〔3〕10
samaṇa-paduma 紅蓮沙門，紅蓮華沙門，赤蓮華沙門
samaṇa-paribbājaka 沙門出家者
samaṇa-parisā 沙門衆，沙門會〔八衆の一〕
samaṇa-palāpa 沙門の稃
samaṇa-puṇḍarīka 白蓮華沙門，白蓮沙門
samaṇa-brāhmaṇa 沙門婆羅門
Samaṇabrāhmaṇa-vagga 沙門婆羅門品 S **12** 71～81
Samaṇa-brāhmaṇā〔經〕沙門婆羅門 S **12** 13, 14, 29, 30; **14** 37～39; **17** 25～27; **36** 26～28; **48** 6,7, 29,30,34,35; **51** 16,17; **56** 5,6
samaṇa-brāhmaṇānaṁ upakkileso 沙門婆羅門の翳〔四種；飲酒，不淨法，受金銀，邪命〕
samaṇabhatta-samaya 沙門施食時
samaṇa-bhadra 沙門の幸〔八種〕
samaṇa-m-acala 不動沙門
Samaṇamaṇḍikā-sutta サマナマンディカー・スッタ，沙門文祁子經 M 78
Samaṇa-vagga 沙門品 A 3 81～90
samaṇa Sakyaputtiya 沙門釋子，釋子沙門
samaṇa-saññā 沙門想〔三種〕
Samaṇasaññā-vagga 沙門想品 A **10** 101～112
samaṇa-sukha 沙門の樂〔五種〕
samaṇa sukhumāla 柔軟沙門，無苦沙門，妙軟沙門
samaṇassa karaṇīyaṁ 沙門行
Samaṇā ①〔王女〕サマナー ②〔經〕沙門 S **22** 107,108; **23** 5,6
Samaṇī ①〔王女，差摩尼の前生〕サマニー ②〔女〕
samaṇuddesa=sāmaṇera サマヌッデーサ，沙彌，將來の沙門，新學沙門，新學沙彌
samaṇupāsana～samaṇopāsana 沙門の行
Samaṇūpaṭṭhāka〔傳・轉輪王〕サマヌーパッターカ
samaṇo n' atthi bāhire 外道に沙門なし
samaṇopāsana～samaṇupāsana 親近沙門
samatā 公平，平等
samatikkama 超越
samatikkamana-pahāna 超越〔捨斷〕
samatikkama-vibhūta 超越無有
Samatta ①〔傳・轉輪王〕サマッタ ②〔經〕悉皆 S **47** 27; **51** 6
samatha ① サマタ，奢摩他，止，止息，寂止，寂靜者②=adhikaraṇa-samatha 止諍法，滅諍法，滅諍，滅，滅法
Samatha ①〔王〕サマタ ②〔經〕寂止 A **10** 54
samatha-kammaṭṭhāna 止業處
Samathakkhandhaka 滅諍犍度 V 2 b 4
samatha-nimitta 寂止相，止相
samatha-nimittañ ca paggaha-nimittañ ca 止相と精勤相
samatha-pubbaṅgama ariya-magga 止を先行とする聖道
samatha-bala 寂止力，止力
samatha-bheda 滅諍分解，滅法分解 V 3 4 (7～22)
samatha-yānika 奢摩他(止)行者
Samatha-vāra 滅諍章 V 3 1 (7, 15)
samatha-vipassanā 止觀，止と觀，奢摩他毘鉢舍那
samatha-saṁgaha ① 滅法聚 ② 止の攝
samatha-samādhi 奢摩多定
Samatha-sammukhāvinaya-vāra 滅法現前毘尼章 V 3 4 (12)
Samathādhikaraṇa-vāra 滅諍章 V 3 4 (20)
Samathā samathassa tabbhāgiya-vāraṁ 滅法同分章 V 3 4 (11)

Samathā samathassa sādhāraṇa-vāraṁ 滅法結合章 V 3 4（10）
Samatho〔經〕止觀 S 43 2
samatho ca vipassanā ca 止と觀，止觀，奢摩他と毘鉢舍那，寂止と正觀
sama-danta 歯の齊平〔三十二相の一〕
samana(A)=samaṇa 沙門
samanaka 有意
samanantara 等無間
samanantara-paccaya 等無間緣，近接緣〔二十四緣の一〕
samanantarapaccaya-niddesa 等無間緣廣說
Samanamaṇḍikā-putta=Uggāhamāna〔普行者〕沙門文祁の子
samanuggāhiyati 詰問せらる
Samanupassanā〔經〕觀見 S 22 47
samanubhāsati 諫告す
samanubhāsanā 諫告
samanubhāsanā-samuṭṭhāna 諫告等起
Samanta〔峯〕サマンタ
Samanta-kuṭācala〔山〕サマンタクターチャラ
Samanta-gandha〔傳◦轉輪王〕サマンタガンダ
samanta-cakkhu=sabbaññū 普眼，普眼者，一切眼，全眼者
Samanta-cakkhu〔傳◦轉輪王〕サマンタチャック
Samantacchadana〔傳◦轉輪王〕サマンタッチャダナ
Samanta-dharaṇa〔傳◦轉輪王〕サマンタダラナ
Samanta-nemi〔傳◦轉輪王〕サマンタネーミ
samanta-pāsādika 端嚴，普端嚴
Samanta-pāsādika〔傳◦轉輪王〕サマンタパーサーディカ
Samanta-pāsādikā サマンタパーサーディカー，一切善見律 VA
Samanta-malla〔ka〕〔戰士〕サマンタマッラ〔カ〕
Samanta-varuṇa〔傳◦轉輪王〕サマンタヴルナ
Samantā〔尼〕サマンター

samantā nimittā 四方相
samantā-nisseṇi 四周梯
samannāgata 具足
Samannāgata-kathā 具足論 KV 4 4
samannāgata-paññatti 具足施設
samannāhāra 存念，注意
samannesanā 吟味
sama-pañña 同慧〔者〕
samaya ① 時，是時 ② 因緣 ③ 會，集會 ④ 宗義
Samaya〔經〕會 S 1 37
samayappavādaka 會談室，教義論究所
Samaya-vāra 時章 V 3 4（16）
samaya-vimutta 時解脫〔者〕
samaya-vimutta arahant 時解脫阿羅漢
samaya-vimutti 時解脫
samaya-vimokkha 時解脫，一時的解脫
samayo padhānāya 精勤に堪ふる時〔五種〕
Samalaṅkata〔傳◦轉輪王〕サマランカタ
samavatta-khandha 兩肩は等しくして圓し〔三十二相の一〕
samavatta-cāra 定遊行〔の五德〕
samavatta-vāsa 限制住
samavāya 合，結合
samavāya-vādin=visesika 合論者=勝論者
samavepākin 等熟力あり
sama-saddha 同信
sama-sikkhātā 同一學戒
sama-sīla 同戒
sama-sīsa 齊首，首等
Samasīsa-kathā 齊首論 Pṭs 3 7
samasīsaṭṭhe ñāṇaṁ 齊首の義の智
samasīsin 首等〔者〕，齊首，等首
samācāra 正行，行事，儀法
samādapaka 勸導者，勸導し，勸發者
Samādapaka〔比丘の譬喩經〕サマーダパカ Ap 3 169
samādapetar サマーダペーター，導者，督勵者，勸導者
samādapeti=samādāpeti 訓誡す，勸發す
samādahati 燃す

samādahane paññā 定の慧
samādāna 受持
samādāna-virati 受離
Samādānahetu-kathā 受戒因論 KV **10** 9
samādāpeti=samādapeti 勸發す，訓誡す
Samādāyachakka 受持する六事 V 2 a 7, 5
Samādāyasattaka 受持する七事 V 2 a 7, 3
samādhāna 正持
samādhi 三摩地，定，三昧，等持
Samādhi ①〔經〕三昧 S **22** 5; **35** 99; **36** 1; A **10** 6; **11** 19〜22 ② 定 S **45** 28; **56** 1
Samādhi—samāpatti〔經〕三昧—等至 S **34** 1
samādhika ñāṇa 定智〔二百種〕
samādhi-kathā 定論，禪定の話〔十論事の一〕
samādhi-kammika 定業〔處修習〕者
samādhi-kusala 定善巧，三昧善，三摩地善巧
samādhi-kusalatā 定善能
samādhikkhandha 定蘊，定聚
samādhi-gandha 定香
samādhi-gāravatā 三摩地の尊敬
samādhi-cariyā 定行，三摩地行
Samādhi-niddesa 定の解釋 VM **11**
samādhi-nimitta 定の相，定相，三摩地因
samādhindriya 定根
samādhi-pamukha 定を上首と爲す
samādhi-parikkhāra 定の資具，定具，定資糧〔七種〕
samādhi-bala 定力，三昧力
samādhi-bhāvanā 修定，定修，定の修〔四種〕
samādhibhāvanā-maye ñāṇaṁ 修定所成智
samādhi maggo 定は道なり
samādhiyati 等持を得る
samādhi-ratana 定寶
Samādhilakkhaṇa-pañho 定の特相の問 Mil 2〔1〕13
Samādhi-vagga 定品 S **56** 1〜10
samādhi-vipphārā iddhi 定遍滿神通，定遍滿神變
samādhi-sampadā 定成就，定圓足，定具足，三昧成就
samādhisampadā-kathā 定成就の稱說
samādhi-sampanna 定具足，定具足者
samādhi-sambojjhaṅga 定覺支，定等覺支，三昧の覺意〔七覺支の一〕
samādhi-sukha 定樂
samādhissa abhinīhāra-kusalo 三摩地の引發に善巧
samādhissa kallita-kusalo 三摩地の喜悅に善巧
samādhissa gocara-kusalo 三摩地の境に善巧
samādhissa ṭhiti-kusalo 三摩地に住するに善巧
samādhissa vuṭṭhāna-kusalo 三摩地を出づるに善巧
samādhissa samāpatti-kusalo 三摩地を得るに善巧
samāna 有慢
Samāna〔天〕サマーナ，賒摩
samānatta 同事
samānattatā 同事〔四攝事の一〕
samāna-rūpa 肖像
samānavassikā-pavāraṇā 共安居者〔合說〕自恣
samāna-saṁvāsa 同一住處
samāna-saṁvāsaka 共住者，共住人，同住者
samānasaṁvāsaka-bhūmi 同住處地，同住處者地
samāna-sīmā 同一境界，同界
samānasīmā-ṭhita 同界住者
samāna-sukha-dukkha 樂にも苦にも一樣なる友
samānācariya, samānācariyaka 同阿闍梨，同一阿闍梨，阿闍梨を同じくする者，同一の阿闍梨を師とせる者，同門
samānupajjhāya, samānupajjhāyaka 同和尚，同一和尚，和尚を同じくする者，同一の和尚を師とせる者，弟子兄弟
samāpajjana 入定
samāpajjana-vasin 入定自在，等至自在
samā paṭipadā 寂靜行〔四行の一〕
samāpattaṭṭhe ñāṇaṁ 等至の義の智
samāpatti ① サマーパッティ，等至，三摩鉢底，三鉢底，正受，定，成就法 ② 定犯
Samāpatti—abhinīhāra〔經〕等至—引發 S **34** 16
Samāpatti—ārammaṇa〔經〕等至—所緣 S **34**

14
Samāpatti—kallita〔經〕等至—安樂 S 34 13
Samāpatti—gocara〔經〕等至—行境 S 34 15
Samāpatti—ṭhiti〔經〕等至—止住 S 34 11
Samāpatti—vuṭṭhāna〔經〕等至—出起 S 34 12
Samāpatti—sakkacca〔經〕等至—恭敬 S 34 17
Samāpatti—sappāyakārī〔經〕等至—隨應 S 34 19
Samāpatti—sātaccakārin〔經〕等至—常作 S 34 18
samāpatti-kusala 等至善巧，等至善，入定善巧，入るに巧
samāpatti-kusalatā 入定善巧，等至善能，入るに巧
samāpatti-kusalatā ca samāpatti-vuṭṭhāna-kusalatā ca 等至〔に關する〕善巧と等至より起つ〔ことに關する〕善巧
samāpatti-citta 定心
samāpatti-ñāṇa 等至智，定智
samāpatti-nānatte paññā 等至の種種相の慧
Samāpatti-vagga 入定品 A 2 15
samāpattivuṭṭhāna-kusala 等至を出づるに善巧，出定善巧
samāpatti-vuṭṭhāna-kusalatā～vuṭṭhāna-kusalatā 出定善巧
samāpanna 入定者
samāpannassa atthi vacībhedo 入定者に語發表あり
Samāpanno assādeti-kathā 入定者味樂論 KV 13 7
Samāpanno saddaṁ suṇātī ti kathā 入定者聞聲論 KV 18 8
samā parisā 等衆會
Samāpā (A)〔市〕サマーパー
samārambha 勞力
Samālā〔毘沙浮佛の第二比丘尼〕サマーラー，共鬘
samāsevita〔-kamma〕=bahula-kamma 數習〔業〕
samāhita 定者，定意者，定ある，入定者，等持，有定，得定，寂靜者
samāhita-citta 定心，定ある心，得定心，有定心，心の等持
samāhita citta ekagga 等持一向の心
Samita〔傳◦轉輪王〕サミタ
Samitanandana〔傳◦轉輪王〕サミタナンダナ
samitāvin 寂靜者
Samitigutta〔比〕サミティグッタ
Samiddha〔王〕サミッダ，沙滅地
Samiddhi ①〔比〕サミッディ，三彌提，三彌離提 ②〔經〕三彌提 S 1 20；4 22；A 9 14 ③〔經〕三彌離提 S 35 65～68
Samiddhi-jātaka サミッディ・ヂャータカ，完美本生物語 J 167
Samiddhisumana〔天子〕サミッディスマナ
Samī〔渡〕サミー
Samīti〔造車人〕サミーティ
samīpa-cārin 近行者
Samīrukkha〔渡〕サミールッカ
samukkhepanā 極冷笑
samugga 籃，箱
Samugga-jātaka サムッガ・ヂャータカ，箱本生物語 J 436
Samuggata〔傳◦轉輪王〕サムッガタ
samuggahīta 取著，執取
samuccaya 集
Samuccayakkhandhaka 集犍度 V 2 b 3
Samuccaya-vāra 集合章 V 3 1 (8, 16)
Samucca-saṅgaha-vibhāga 攝集分別 Abhsaṅg 7
samuccheda-pahāna 斷斷，正斷捨斷
samucchedappahāna 正斷捨斷，斷斷
samuccheda-maraṇa 正斷死
samuccheda-vimutti 正斷解脫
samuccheda-virati 斷離
samuccheda-viveka 斷離，正斷離
samuccheda-visuddhi 斷清淨
samuccheda-suñña 斷空，正斷空
samuñchaka 落穗を拾ひて
samuṭṭhāna 等起，等起法 V 3 16
samuṭṭhāna rūpa 等起色
Samuṭṭhāna-vāra 等起章 V 3 1 (5, 13)
samuṭṭhāna-saṁgaha 等起法聚

Samuṭṭhānasīsa-saṁkhepa 等起主頭要略
samuṭṭhānass' uddānaṁ 等起の攝頌 V 3 3
Samuṭṭhāpana-vāra 等起章 V 3 4 (21)
samuttejaka 讃勵者，讃勵し，鼓舞者，奬勵者
samuttejeti 奬勵す，鼓舞す
samudaya 集，生起，集起，因緣，起因
Samudaya ①〔經〕集 S 23 21,33,45 ②〔經〕生起 S 35 41 ③〔經〕集起 S 47 42
samudaya atthagama 生起と滅盡，集と滅，集起・滅沒
samudaya-dhamma 集法，集の法，生法，生起の法
Samudayadhamma〔經〕集法 S 22 126～128
samudayavaya-dhamma 生滅の法，集滅法
samudaya-sacca 集諦
samudaye ñāṇaṁ 集智〔四智の一〕
Samudayo〔經〕集 S 22 74,75,131,132
samudīraṇa 動搖，浮動＝風
samudīraṇa-bhāva 浮動性
samudda 海，大海，海岸*
Samudda ①〔シッダッタ佛の信士〕サムッダ，海 ②〔仙〕サムッダ ③〔精舍〕サムッダ ④〔經〕海 S 13 7,8；35 187,188；45 97～102，109～114，121～126，133～138；56 57，58
Samuddakappa〔傳◦轉輪王〕サムッダカッパ
samuddakappāsī〔樹〕サムッダカッパーシー
samuddakkhāyika-kathā 海洋論，海洋起源論，海洋說の話，海譚，大海論，說海論，宇宙發生論〔無用論の一〕
Samuddagiri〔房舍〕サムッダギリ，海山
Samuddajā〔王子と龍女との女〕サムッダチャー
Samudda-jātāka サムッダ・チャータカ，海本生物語 J 296
samudda-tīra 海岸
Samuddadatta〔比，提婆の徒〕サムッダダッタ，三文陀達，三聞達多，娑勿陀達
samudda-devatā 海神
Samuddanavā〔王妃，尼〕サムッダナヴー
Samudda-pañho 海の問 Mil 2〔7〕14
samudda-pheṇaka 海石
samudda-majjha 海中
Samudda-vagga 海品 S 35 187～196
Samuddavāṇija-jātaka サムッダヴーニヂャ・チャータカ，海商本生物語 J 466
Samuddavijayā〔王妃〕サムッダギヂャヤー
Samuddā ①〔拘那含牟尼佛の第一比丘尼〕サムッダー，海 ②〔尼〕サムッダー
Samuddhara〔傳◦轉輪王〕サムッダラ
samullapanā 極讃虛談
samussaya 合成，身體
samussita 高慢
Samogadha〔傳◦轉輪王〕サモーガダ
Samotthata〔傳◦轉輪王〕サモッタタ
Samodaka〔傳◦轉輪王〕サモーダカ
samodahane paññā 總攝の慧
Samodhāna〔傳◦轉輪王〕サモーダーナ
samodhāna-parivāsa 合一別住
samodhāna-mānatta 合一摩那埵
samosaraṇa 等趣，會合
samosaraṇaṭṭhāna 會合處
sa-moha 有癡，愚癡ある，愚癡者
samoha-citta 有癡心，愚癡ある心
sampaka〔鳥〕サンパカ
sampakkhandana 躍入
sampajañña 正知，正智，正心
Sampajaññaṁ〔經〕正心 S 12 92
sampajāna ① 正知，正知者，正知あり，正智，正意，正心，自覺 ② 故意の
sampajāna-musāvāda 故妄語，故意の妄語，知りて妄語すること，正知にして妄語す
sampajāno musā bhāsati 正知して虛誑語を說く
sampaṭicchana 領受
sampaṭicchana citta 領受心
Sampattakāla-pañho 時機到來の問 Mil 2〔6〕2
sampatta-virati 得離
sampatti 成就，成得
sampatti-bhava 成得有
sampadā 圓足，具足，成就
Sampadā〔經〕具足 A 8 75, 76

sampadussati 汚行をなす
sampanna-diṭṭhi 具見，見圓滿，見成就，見具足，具見人
sampanna-nibbāna 涅槃具足
sampayutta 相應
Sampayutta-kathā 相應論 KV 7 2
sampayuttaka dhamma, sampayutta dhamma 相應法
sampayutta-paccaya 相應緣〔二十四緣の一〕
sampayuttapaccaya-niddesa 相應緣廣說
sampayutta-parivāra 相應眷屬
Sampayutta-vāra 相應分
Sampayuttavāra-vaṇṇanā 相應分之釋
Sampayuttena vippayuttā 相應〔なるものとの〕不相應 Dhk 7
Sampayuttena saṅgahītā asaṅgahītā 相應〔なるものの〕所攝と非攝 Dhk 12
Sampayuttena sampayuttā 相應〔なるものの〕相應 Dhk 9
sampayoga 相應
sampayogaṅga 相應支
Sampayoga vippayoga 相應と不相應 Dhk 6
samparāyana 來世，當來，後世，依趣
samparāya-vedaniya kamma 順後受業，順後業，後後受業，後世受の業
samparāya-vedanīya 未來所受
samparāya-sukha 當來の樂
samparāyika 當來，後世の，來世の
samparāyika attha 未來の利，當來の利
samparāyika ānisaṁsa 來世の功德
samparāyika vajja 後世の罪
Sampasādaka〔比丘の譬喩經〕サンパサーダカ Ap 3 306
sampasādana 淨
Sampasādanīya-suttanta サンパサーダニーヤ・スッタンタ，自歡喜經 D 28
sampahaṁsaka 慶慰し，慶喜者
sampahaṁsanā 喜悅
sampahaṁseti 喜ばしむ，歡喜せしむ
sampāka 調合物
sampāpanā 極惡口
samphappalāpa 綺語，雜穢語，戲語
Samphappalāpa〔經〕雜穢語 S 56 77
samphappalāpā paṭivirato 離雜穢語者
samphappalāpā veramaṇī 雜穢語の離，雜穢語を離るること，離雜穢語
samphappalāpin 綺語者，雜穢語者，戲語者
Samphala＝Sambala 〔シッダッタ佛の第一弟子〕サンパラ，共果
samphassa 摩觸
Samphassaṁ〔經〕觸 S **14** 2；**18** 4，14
Samphusita〔傳∘轉輪王〕サンプシタ
sambandhana 相續
Sambara＝Saṁvara〔阿修羅王〕サンバラ，參婆羅，奢婆羅
Sambari-māyā 參婆羅の幻術
sambala 糧食，旅資
Sambala ①〔比〕サンバラ，參婆樓 ②＝Samphala〔シッダッタ佛の第一弟子〕サンバラ，水 ③〔ティッサ佛の信士〕サンバラ
sambahula 衆人
Sambahulā〔經〕多數 S 4 21
Sambahulā or Cārika 〔經〕多數（遊行者）S 9 4
sambādha ① 障礙，憒撓，憒亂，繁多，雜鬧 ② 陰部，隱所，密處
sambādhā gharāvāsā 家事繁多
Sambādhokāsa-sutta 障礙機會經
sambāhana シャンプー，揉身
sambuka 貝
sambuddha 正覺者，等覺者
Sambuddho〔經〕等覺者 S 22 58
Sambulakaccāna〔比〕サンブラカッチャーナ
Sambula-jātaka サンブラ・ヂャータカ，サンブラー妃本生物語 J 519
Sambulā〔妃〕サンブラー
sambojjhaṅga 覺支，等覺支〔七種〕
sambodha 正覺，等覺
sambodhapakkhika dhamma 等覺分法
Sambodha-vagga 等覺品 A 9 1～10
sambodha-sukha＝sambodhi-sukha 等覺樂，等覺の樂，自覺樂，正覺樂，正覺の樂

sambodhi ① 正覺，三菩提，正菩提，等覺 ② =bodhi-rukkha 三菩提樹
Sambodhi〔經〕等覺 A 9 1
sambodhi-anuttara 最上等覺
sambodhi-parāyana 三菩提に趣く
sambodhiyaṅga 菩提分，覺支，覺分，菩提の支分
sambodhi-rati 正覺の樂
Sambodhi-vagga 等覺品 A 3 101～110
sambodhi-sukha=sambodha-sukha 正覺樂，正覺の樂，自覺樂，等覺樂，等覺の樂
Sambodhena〔經〕正覺によりて S 35 13，14
sambhatta 親友，相親，同僚
sambhava 生起，出生，生成
Sambhava ①〔佛〕サンバヴ ②〔尸棄佛の第二弟子〕サンバヴ，三婆婆，參跋婆，出生 ③〔レーヴタ佛の侍者〕サンバヴ，出生 ④〔ティッサ佛の侍者〕サンバヴ，上生 ⑤〔理髮師〕サンバヴ ⑥〔少年〕三婆婆
Sambhava-jātaka サンバヴ・ヂャータカ，三婆婆本生物語 J 515
sambhava-rūpa 生成色
sambhavesin 求生者
sambhāra ① 資糧，集起，原因 ② 助味
sambhāra-saṁyutta 合洒
sambhāra-seda 罨法
sambhinna ① 破根者，壞根者 ② 相雜
sambhinnā 壞根女
Sambhiya〔フッサ佛の侍者〕サンビヤ
Sambhūta ①〔比〕サンブータ，三浮陀 ②〔旃陀羅の子〕サンブータ，三浮多 ③=Sambhūta-Sāṇavāsin〔第二結集比丘〕サンブータ，參浮多
Sambhūta-Sāṇavāsin=Sāṇavāsin-Sambhūta，Sambhūta③〔第二結集比丘〕サンブータ・サーナヴーシー，三浮陀舍那婆斯
sambhejja 合流
Sambhejja〔經〕合流 S 56 53，54
Sambhejja udaka〔經〕合流する水 S 13 3，4
sambhoga 共食，共事
samma 鐃，鐃鉢，鐃鈸

sammaggata 正行者
sammajjanī 掃帚，淸掃，箒
samma-tāḷa 鐃
sammati-ñāṇa=sammuti-ñāṇa 通俗の智，世俗智
sammati-deva 通俗天，世俗天
Sammati-na-sammati-vāra 滅不滅章 V 3 4 (19)
Sammati-vāra 滅法章 V 3 4 (18)
sammati-santi 世俗寂
sammatta 正性
Sammatta〔經〕正性 A 10 133
sammatta-niyata 正性決定者，正性決定，正定
sammatta-niyata dhamma 正定法，正性決定法
sammatta-niyata-rāsi 正定聚，正性決定聚，正性定聚〔三聚の一〕
sammatta-niyāma 正性決定，正決定，正性決定性，正法なる決定
sammatta-niyāma-dhamma 正性決定法，正定法
sammad-aññā 完全智
sammadda 馳驅
sammappaññā 正慧
sammappadhāna 正勤，正精勤，正斷，正勝〔四種〕
Sammappadhāna-vagga 正勤品 A 9 73～82
Sammappadhāna-vibhaṅga 正勤分別 Vibh 8
Sammappadhāna-saṁyutta サンマッパダーナ・サンユッタ，正勤相應 S 49 1～54
Sammappadhānā〔經〕正勤 S 43 6
sammappadhānānaṁ padahanaṭṭho 正勤の勤の義
Sammasaṁ〔經〕觸 S 12 66
samma-sadda 鐃聲，鈸聲
sammasana-rūpa 思惟色
sammasane ñāṇaṁ 思惟智，會得の智
sammā-ājīva 正命
sammā-kammanta ① 正業 ② 正業者
sammā-ñāṇa 正智
sammā-ñāṇin 正智者，正智〔者〕

sammā-dassana 正見
sammā-diṭṭhi 正見
Sammādiṭṭhi〔經〕正見 A 10 218
sammā-diṭṭhika 正見者
sammādiṭṭhi-kamma 正見業
sammādiṭṭhin 正見者
Sammādiṭṭhi-sutta サンマーディッティ・スッタ，正見經 M 9
sammānibbānādhimutta 正涅槃に心を傾く
sammā-paṭipatti 正行
sammā-paṭipadā 正行，正行道，正向道，正道，正道跡
sammā-paṭipanna 正行，正行者
sammā-paṇidhi 正願
sammāpaṇihita citta 正願心，正しき方向に向けられたる心
Sammāparibbājaniya-sutta 正普行經 Sn 2 13
sammā-pāsa 擲棒祠，擲棒祭，シャムヤの投擲，力飲，釘座
sammā-brahmacārin 正梵行者
sammā-manasikāra 正作意，正憶念
sammā-vāca 正語者
sammā-vācā 正語
sammā-vāyāma ① 正精進，正勤 ② 正精進者
sammā-vimutta 正解脫者
sammā-vimutti 正解脫
sammā-saṁvara 正律儀
sammā-saṅkappa ① 正思惟，正思 ② 正思惟者
sammā-sata 正念者
sammā-sati 正念
sammāsati-dhammapada 正念法足，正念法迹〔四法足の一〕
sammā-samādhi ① 正定 ② 正定者
sammāsamādhi-dhammapada 正定法足，正定法迹〔四法足の一〕
sammāsamucchede nirodhe ca anupaṭṭhānatā-paññā 正斷滅不近住性の慧
sammā-sambuddha 正等覺者，正自覺者，正覺者，三藐三佛陀，等正覺者，正徧知
Sammā-sambuddha〔經〕正等覺者 S 56 23
sammā-sambodhi 等正覺，正自覺，等正菩提，三藐三菩提
Sammiti, Sammitīya〔部派〕正量部
Sammilla-bhāsinī〔婆羅門女〕サンミッラバーシニー
sammukkācanā 極擧說
Sammukhāthavika ①〔傳◦轉輪王〕サンムカータギカ ②〔比丘の譬喩經〕Ap 3 125
sammukhā vikappanā 對面淨施
sammukhā-vinaya 現前毘奈耶，現前毘尼〔七滅諍の一〕
sammukhāvinaya-paṭirūpaka 似現前毘尼
sammukhī-bhūta 現前者
Sammukhībhūta-kathā 現前論 KV 13 6
sammuti=sammati ① 世俗，世俗法，通俗，假俗，假名，世俗名 ② 許可
sammuti-ñāṇa 世俗智〔四智の一〕
Sammutiñāṇa-kathā 世俗智論 KV 5 6
sammuti-thera 認定の長老〔三長老の一〕
sammuti-maraṇa 世俗死
sammuti-sacca 世俗諦
sammunnahanā 極纒絡語
sammūḷha 迷亂，癡者
sammodamāna 友誼
Sammodamāna-jātaka=Vaṭṭaka-jātaka② サンモーダマーナ・ヂャータカ，和合本生物語 J 33
sammoha ① 迷亂，迷妄 ②=sammosa 失念
sammohābhinivesa 癡蒙住著，迷妄現貪
sayaṁ-kata 自作，自造
sayaṁkatañ ca paraṁkatañ ca 自作と他作
sayaṁ-vasin 自在者
Sayakhettaka〔地名〕サヤケッタカ
sayañjāta-sāli 自然生の糠米，自然の糠米，自然生の稻
sayana=sena 臥所，牀，臥具，臥床，褥，床坐，床具
Sayana〔經〕床 S 56 82
sayana-kathā 床論，床臥論，牀床の話，臥具論，臥處論，几床論，寢床論〔無用論の一〕
sayana-dasaka 臥十年

Sayanadāyaka 〔比丘の譬喩經〕サヤナダーヤカ Ap 3 47, 53
sayani-ghara 寢室，臥處
sayama (A)=saṁyama 克己，自制，節制
Sayampaṭibhāniya 〔比丘の譬喩經〕サヤンパティバーニヤ Ap 3 466
Sayampabha〔傳◦轉輪王〕サヤンパバ
sayam-pabhā 自光者
Sayam-pabhā〔天〕自光
sayambhū 自存，自存者，自存の人，自在生，獨存，獨存者
Sayha ①〔辟〕サキハ ②〔大臣〕
Sayha-jātaka サキハ・チャータカ，サキハ大臣本生物語 J 310
sara ① 湖水，湖，湖沼，池 ② 篠，葦 ③ 聲，母音〔八種〕
Sarakāṇi〔塞〕百手
Sarakāṇi or Saraṇāni〔經〕百手 S 55 24, 25
Saraggāma〔村〕サラッガーマ
Sarajjasamiddhi-karaṇa 〔章〕自國繁栄の行政 Cv 68
Sarañjita ①〔地獄〕倶所樂 ②〔天〕
saraṇa ① 歸依，歸依所，歸依處，歸投處，依所，隱家 ② 有諍
Saraṇa ①〔スマナ佛の第一弟子〕サラナ，歸依 ②〔スメーダ佛の第一弟子〕サラナ，歸依 ③〔王，ダンマダッシー佛の父〕サラナ ④〔スマナ佛の信士〕サラナ ⑤〔都〕サラナ，歸依
Saraṇaṁ〔經〕歸依 S 43 43
Saraṇaṁkara ①〔佛〕サラナンカラ，作依，作歸依 ②〔比，僧伽王〕サラナンカラ
Saraṇagamaniya 〔比丘の譬喩經〕サラナガマニヤ Ap 3 298
saraṇagāmi magga 歸依に達するの道
Saraṇattaya 三歸依 Khp 1
Saraṇa-duka 有諍二法 Duka **100**
saraṇaduka-ajjhattattika 有諍二法內三法 Duka-tika 128
saraṇaduka-ajjhattārammaṇattika 有諍二法內所緣三法 Duka-tika 129
saraṇaduka-atītattika 有諍二法過去三法 Duka-tika 126
saraṇaduka-atītārammaṇattika 有諍二法過去所緣三法 Duka-tika 127
saraṇaduka-ācayagāmittika 有諍二法積集趣三法 Duka-tika 118
saraṇaduka-upādinnattika 有諍二法已取三法 Duka-tika 112
saraṇaduka-uppannattika 有諍二法已生三法 Duka-tika 125
saraṇaduka-kusalattika 有諍二法善三法 Duka-tika 109
saraṇaduka-dassanattika 有諍二法見三法 Duka-tika 116
saraṇaduka-dassanenapahātabbahetuttika 有諍二法見所斷因三法 Duka-tika 117
saraṇaduka-parittattika 有諍二法小三法 Duka-tika 120
saraṇaduka-parittārammaṇattika 有諍二法小所緣三法 Duka-tika 121
saraṇaduka-pītittika 有諍二法喜三法 Duka-tika 115
saraṇaduka-maggārammaṇattika 有諍二法道所緣三法 Duka-tika 124
saraṇaduka-micchattattika 有諍二法邪性三法 Duka-tika 123
saraṇaduka-vitakkattika 有諍二法尋三法 Duka-tika 114
saraṇaduka-vipākattika 有諍二法異熟三法 Duka-tika 111
saraṇaduka-vedanāttika 有諍二法受三法 Duka-tika 110
saraṇaduka-sanidassanattika 有諍二法有見三法 Duka-tika 130
saraṇaduka-saṅkiliṭṭhattika 有諍二法已染三法 Duka-tika 113
saraṇaduka-sekhattika 有諍二法有學三法 Duka-tika 119
saraṇaduka-hīnattika 有諍二法劣三法 Duka-tika 122
saraṇa-dhamma 有諍法

saraṇa-sīla 〔三〕歸戒
Saraṇāgamaniya 〔比丘の譬喩經〕サラナーガマニヤ Ap 3 113, 356, 520
Sapaṇāni-vagga 百手品 S 55 21～30
sarada 秋，秋季
sarada-samaya 秋時
sara-paṭibāhana 〔弓技〕箭除の法
sara-parittāna 防箭呪
sarabha 〔鹿〕サラバ，舍羅婆，沙羅婆
Sarabha 〔外〕サラバ，舍羅婆
Sarabhaṅga ①〔比〕サラバンガ，破葦 ②〔辟〕サラバンガ ③=Jotipāla〔仙，菩薩〕サラバンガ
Sarabhaṅga-jātaka サラバンガ・ヂャータカ，サラバンガ仙本生物語 J 522
sara-bhañña 梵唄，唱誦
sarabha-miga 沙羅婆鹿，舍羅婆鹿
Sarabhamiga-jātaka サラバミガ・ヂャータカ，舍羅婆鹿本生物語 J 483
sarabhāṇaka-bhikkhu 唱誦比丘，梵唄比丘
Sarabhu 〔比〕サラブ，沙羅浮
sarabhū 蜥蜴
Sarabhū ①〔比，舍利弗の弟子〕沙羅浮 ②〔五河の一〕サラブー，舍勞浮，舍牢浮，薩羅浮，薩羅遊 ③〔池〕サラブー
sara-rajju 〔弓技〕箭綱
sara-laṭṭhi 〔弓技〕箭杖
sara-veṇi 〔弓技〕箭の組紐
sarasa 自味，自己の作用
sarasa-maraṇa 自然死
sarasī 沼，池水
Sarasvatī=Sarassatī 〔河〕サラスヷティー，薩羅娑縛底
Sarassatī ①=Sarasvatī〔河〕サラッサティー，薩羅娑縛底 ②〔水路〕サラッサティー ③〔假殿〕サラッサティー
Sarā 〔經〕流れ S 1 27
sarāga 有貪，貪欲ある，貪欲者，具欲
sarāga citta 有貪心，貪欲ある心
sarāva サラーヷ，コップ
Saritacchedana 〔傳ヽ轉輪王〕サリタッチェーダナ
sarīra ① 身體 ② 舍利，遺骨，遺骸，死屍，死尸
sarīraṁ sīvathikāyaṁ chaḍḍitaṁ 墓場に投棄されたる身體
Sarīraṭṭhā 〔經〕住身 A 10 49
sarīra-dhātu 遺身舍利，遺骨
sarīrantima-dhārin 最後身を持てる者，最後身を持する者
sarīra-pūjā 舍利供養
sarīrānaṁ thūpo 舍利塔
sarīrāntima 最後身
sarīrika-pāribhogika-cetiya 舍利遺物塔
Sarīvaggapiṭṭhi 〔村〕サリーヷッガピッティ
Sareheru 〔池〕サレーヘール
Sarogāma 〔渡〕サローガーマ
salakkhaṇa-rūpa 自相色
salaḷa 〔樹，花〕サララ，沙羅羅，娑羅羅，芳香
Salaḷapupphikā 〔比丘尼の譬喩經〕サララプッピカー Ap 4 12
Salaḷapupphiya 〔比丘の譬喩經〕サララプッピヤ Ap 3 268, 367
Salaḷamaṇḍapiya 〔比丘の譬喩經〕サララマンダピヤ Ap 3 395
Salaḷamāliya 〔比丘の譬喩經〕サララマーリヤ Ap 3 207
salaḷa-labuja 〔草〕サラララブヂャ
Salaḷavatī 〔河〕サララヷティー
Salaḷāgāra ①=Salaḷāgāraka〔精舍〕松林精舍 ②〔經〕松林精舍 S 52 8
Salaḷāgāraka=Salaḷāgāra 〔精舍〕松林精舍
salāka 籌，食劵，食符，籌符，弓箭
salāka-gāha 行籌，集籌法
salāka-gāhāpaka 行籌人
salākagga 籌食堂，籌室，配食堂
salākabaddha 〔傘蓋〕サラーカバッダ作
salāka-bhatta 籌食，籌符食，行籌食，食劵
salāka-yāgu 籌粥
salāka-vātapāna 柵窓
salāka-hattha 手痕占ひ，手型戯，筆手遊び
salākodhāniya 筥筐

salābha 自己の所得
salila サリラ，水
salla ① 矢，箭，刺箭，投鎗，刺，毒箭 ②〔樹〕サッラ
Salla〔經〕薩羅 S 47 4
sallakatta 外科醫，醫者，治療者
sallakattika, sallakattiya 外科手術，外科
sallakī〔樹〕サッラキー
Sallattena〔經〕箭 S 36 6
sallapanā 極虚談
Sallavatī〔河〕サッラヴティー
Salla-sutta 箭經 Sn 3 8
sallekaṭṭhe ñāṇaṁ 漸損の義の智
sallekha 損減，削減，漸損，制邪，制欲，清淨，儉約，嚴肅
sallekhatā 損減，漸損，嚴肅なる行事，儉約
sallekha-pariyāya 削減の法門
sallekha-vihāra 嚴肅住
sallekha-vuttin 損減行者，嚴肅生活者
Sallekha-sutta サッレーカ・スッタ，削減經 M 8
sallekhitācāra 損減行者，損減行
sallekhiya 抖擻の行，損減行
saḷāyatana=cha āyatanāni 六處
Saḷāyatana-kathā 六處論 KV 12 4
saḷāyatana-nirodha 六處の滅盡
Saḷāyatana-vagga ① サラーヤタナ・ヴッガ，六處品 M 143〜152 ② 六處篇 S 35〜44
Saḷāyatanavagga-saṁyutta 六處篇相應
saḷāyatana-vibhaṅga 六處分別
Saḷāyatanavibhaṅga-sutta サラーヤタナギバンガ・スッタ，六處分別經 M 137
Saḷāyatana-saṁyutta サラーヤタナ・サンユッタ，六處相應 S 35 1〜207
Saḷāyatanuppatti-kathā 六處生論 KV 14 2
Sava〔城塞〕サヴ
savaṁka〔魚〕サヴンカ
savacanīya 共語，共語す
savaṭa-kapa (A) =saṁvaṭṭa-kappa 壞劫
savana 聞，聽聞
Savanaviyala〔地名〕サヴナギヤラ
savana-saṁsagga 聞交
savanānuttariya 聞無上〔六無上の一〕
savanīya 快音，和雅〔八音の一〕
savara サヴラ，蠻族，賤民の町
Savāraka〔村〕サヴーラカ
savicāra 有伺
Savicāra-duka 有伺二法 Duka 88
savicāraduka-kusalattika 有伺二法善三法 Duka-tika 97
savicāra dhamma 有伺法
savicārā paññā 有伺慧
saviññāṇaka-kāya 有識〔の〕身
Saviṭṭha〔比〕サギッタ，殊勝
Saviṭṭhaka ①〔鳥〕サギッタカ ②〔卑名〕
savitakka 有尋
Savitakka〔經〕有尋 S 40 1
Savitakka-duka 有尋二法 Duka 87
savitakkaduka-kusalattika 有尋二法善三法 Duka-tika 96
savitakka dhamma 有尋法
savitakka-savicāra 有尋有伺，有覺有觀，尋伺あるもの
savitakka-savicāra-jhāna=savitakka-savicāra-samādhi 有尋有伺禪
savitakka-savicāra dhamma 有尋有伺法
savitakka-savicāra-pacchima-citta 有尋有伺の最後心
savitakka-savicāra-bhūmi 有尋有伺地
savitakka-savicāra-samādhi=savitakka-savicāra-jhāna 有尋有伺定，有尋有伺三摩地〔三定の一〕
savitakka-savicārā pīti 有尋有伺の喜
savitakkā paññā 有尋慧
savipāka 有異熟
savisa salla 毒箭
savyañjana 有文
sa-vyāpajjha 有瞋害，有損害，有惱害，有害
savyāpajjha-attabhāva-paṭilābha 有害の自體得
sasa ① 兎 ② ササ鹿
sasaka 兎
sasaṅkhāra 有行，有行發，共行

sasaṁkhāra-parinibbāyin 有行般涅槃，有行般涅槃者〔五不還の一〕
sasaṁkhāra-samāpatti 行等至
sasaṅkhārika 有行
Sasa-jātaka ササ・ヂャータカ，兎本生物語 J 316
Sasapaṇḍita-cariyā〔經〕兎賢者の所行 Cp 1 10
Sasapaṇḍita-jātaka=Sasa-jātaka ササパンディタ・ヂャータカ
sasambhāra-kathā 有資糧論
sasambhārika 有資糧
sasalla 負傷者
sasa-visāṇa 兎角
sasin 月
sasura 舅
sassa-kāla 收獲時
sassata 常〔見〕，恒，常住，永住，久遠
sassata-kāya 常住身〔七種〕
sassata-diṭṭhi 常見
sassatadiṭṭhi-nissita 常見依者
sassata-bhāva 常住〔論〕
sassata-vāda 常論者，常見論者，常住論者，常說者，常論，常住論
sassata-vādin 常住說者
sassatika 常見說者
sassatucchedadiṭṭhi-nissita 常斷見依者
sassato attā ca loko ca 我と世界とは常住なり
sassato ca asassato ca attā ca loko ca 我と世界とは常住にして又無常なり
sassato loko 世間は常なり，世間は常恒なり，世間は常住なり，世は常なり，世界は常住なり
Sassato loko〔經〕世間常 S 24 9
sassāmikā 夫ある女，已婚の女人
sassū 姑
saha upapattiyā arahā 生阿羅漢
sahaka〔樹〕サハカ
Sahaka〔比〕サハカ，娑婆
sahakāla〔樹〕サハカーラ
sahagata 俱行
sahaja-netta 俱生眼者
sahaja-rūpa 俱生色
sahajāta 俱生
sahajāta〔-atthi〕俱生〔有〕
sahajāta-atthipaccaya 俱生有緣
sahajāta〔-kamma〕俱生〔業〕
sahajāta-kammapaccaya 俱生業緣
sahajāta dhamma 俱生法
sahajāta-paccaya 俱生緣，俱生起緣〔二十四緣の一〕
sahajātapaccaya-niddesa 俱生緣廣說
sahajāta-parivāra 俱生眷屬
Sahajāta-vāra 俱生分
Sahajātavāra-vaṇṇanā 俱生分之釋
sahajāta〔-vippayutta〕俱生〔不相應〕
sahajāta-vippayuttapaccaya 俱生不相應緣
sahajātādhipati 俱生增上
Sahajāti〔邑〕サハヂャーティ，薩寒若，娑呵邪提
sahajīvin 同活，弟子
Sahañcanika〔村〕サハンチャニカ
sahattha-dāna 親手施
Sahadeva ①〔比〕サハデーヴ，索訶提婆 ②〔王〕サハデーヴ
Sahadhamma〔天〕サハダンマ，遮婆陀幕
sahadhammikaṁ 如法に
Sahadhammika-vagga 如法品 V 1 a 5, 71～82
Sahanna〔城〕サハンナ
Sahabhu〔天〕サハブ
Sahampati=Brahmā〔天〕索訶主，娑婆主，娑婆世界主
Sahampati Mahābrahmā 娑婆主大梵天
Sahalin〔外，天子〕サハリー，舍波利，舍伽利
Sahaḷī〔天〕舍伽利，舍波利
saha-vāsa 共住，同住〔夜斷の一〕
sahasā-kāra～sāhasā-kāra 強盜，強暴
sahaseyya 同宿
saha seyyaṁ kappeti 共宿す
Sahassa ①〔渡〕サハッサ ②〔經〕千 S 52 11；55 11
Sahassakkha=Sahassa-cakkhu, Sahassa-netta, Sahassa-locana, Inda 千眼=帝釋

sahassa-gāthā 一千偈
Sahassa-cakkhu=Sahassa-netta, Inda 千眼
sahassadhā loka 千の世界
sahassadhā-lokadhātu 千世界
Sahassa-netta=Sahassakkha, Sahassa-cakkhu, Inda 千眼, 千眼あるもの, 千眼者
sahassa majjhimakā lokadhātu=dvisahassī majjhimikā lokadhātu 中千世界
Sahassaraṁsi〔佛〕サハッサランシー
Sahassaratha〔傳◦轉輪王〕サハッサラタ
Sahassarājan〔傳◦轉輪王〕サハッサラーヂャ
sahassa-loka 千世界, 千世間
Sahassa-locana=Sahassa-netta, Inda 千眼
Sahassa-vagga ① 千品=王園品 S 55 11〜20 ② 千品 Dhp 8 vv 100〜105
sahassāra 千輻, 千の輻
Sahassāra〔傳◦轉輪王〕サハッサーラ
sahassī cūḷanikā lokadhātu 小千世界
sahassī-lokadhātu 千世界
sahāya 朋友, 僚友, 親友, 伴黨
Sahāya〔經〕僚友 S 21 12
sahāyaka〜sahāya 俗友, 僚友, 朋友
sahāyesu sotthānaṁ 仲間に於ける吉祥
sahita ① 鵶鶶 ② 助伴, 合者 ③ 稱順
sahetuka 有因
sahetuka avyākata 具因の無記
sahetuka-kāmāvacarakiriyā-citta 欲界有因唯作心
sahetuka-kāmāvacara-vipāka 有因欲界繫異熟
sahetuka-kāmāvacara-vipāka-citta 欲界有因異熟心
sahetuka c'eva dhamma na ca hetu 有因法にして非因なる, 有因非因法
sahetuka ceva na ca hetu dhamma 有因非因法, 有因法にして非因なる
Sahetuka-duka 有因二法 Duka 2
sahetukaduka-kusalattika 有因二法善三法 Duka-tika 23
sahetukaduka-hetuduka 有因二法因二法 Duka-duka 37
sahetuka dhamma 有因法
sahetuka nāma 具因の名
sahetuka-paṭisandhi 有因結生
sahetuka-paṭisandhi-citta 有因結生心
sahetu-dhamma 緣起の法, 有因の法
sahetu-rūpa 有因事
Sahodarā〔村〕サホーダラー
sāka ① 菜茹, 野菜, 生菜 ②〔樹〕サーカ, 莠
sāka-kaṭṭha 菜薪
sākacchā 會話, 論議
sākaṭika 荷車挽, 車夫, 車力者
Sākavatthu〔精舍〕サーカヴァットゥ
Sākiya〜Sakka, Sakiya〔族〕釋迦, 釋氏, 釋族
Sākiya-dāsaka サーキヤの賤奴
sākuṇika ①〜sākuntika 捕鳥者 ②=sena-sakuṇa 鷹
sākuntika〜sākuṇika 鳥師, 捕禽者
Sākuḷa サークラ人
Sāketa ①〔城〕サーケータ, 沙祇, 沙竭陀, 沙計多, 沙枳多, 沙雞多, 娑埸陀, 娑祇, 娑祇多, 娑雞帝 ②〔婆〕沙雞帝 ③〔經〕沙祇城 S 48 43
Sāketa-jātaka ① サーケータ・ヂャータカ, 娑祇多城本生物語 J 68 ② サーケータ・ヂャータカ, 娑祇多婆羅門本生物語 J 237
Sākkuṇḍa〔遊園〕サークンダ
Sākya-sāsana 釋迦の教
Sākha ①〔將軍〕サーカ ②〔童子〕サーカ, 樹枝 ③〔鹿王〕サーカ, 枝
sākhalya 和順
sākhalyañ ca paṭisanthāro ca 和順と供養
sākhā 鋻, 渠
Sākhāpatta〔村〕サーカーパッタ
sākhā-palāsa 枝葉, 樹の枝葉
sākhā-miga サーカー鹿, 猿
Sāgata ①〔佛の侍者, 火界善巧第一〕サーガタ, 娑埸陀, 娑伽陀〔譬喩經〕Ap 3 32 ②〔燃燈佛の侍者〕サーガタ, 善來
Sāgara ①〔スメーダ佛の侍者〕サーガラ, 海 ②〔傳◦アッタダッシー佛の弟子〕娑伽羅 ③〔比〕サーガラ ④〔王, アッタダッシー佛の父〕サーガラ, 海 ⑤〔王〕サーガラ, 奢羯

羅 ⑥=Mahāsāgara〔園〕サーガラ
Sāgaradeva〔王〕サーガラデーヴ，海天
Sāgara-Brahmadatta 〔王子と龍女との子〕サーガラ・ブラフマダッタ
Sāgala ①=Sāgata〔佛の侍者〕サーガラ，娑竭陀 ②〔城〕サーガラ，沙竭，沙竭羅，舍竭，奢竭羅
Sāgalika=Sāgaliya, Jetavaniya〔部派〕海部
Sāgaliya=Sāgalika, Jetavaniya〔部派〕サーガリヤ，海
sācariyaka 有師範
sāciyoga 不誠，不實，欺瞞，邪行，邪曲
Sājīlakandaka=Pājalaka〔園〕サージーラカンダカ
sājīva 行規，戒
sāṭaka 衣
sāṭaka-patta 布鉢
Sāṭimattiya〔比〕サーティマッティヤ
sāṭiya-gāhāpaka 分浴衣人，受浴衣人，受内衣人
sāṭheyya 諂，詐誑*，誑*
Sāṭheyya〔章〕誑 A 8〔10〕11
sāṇa 麻，麻衣，麻布，粗麻絲，粗麻布，大麻絲，大麻の粗布，沙尼，莎衣
sāṇadhovika〔遊戲〕麻洗
Sāṇavāsin〔比〕サーナヴーシン
Sāṇavāsi-Saṁbhūta=Sāṇa-sambhūta〔第二結集比丘〕娑那の住人なる三浮多
Sāṇa-sambhūta=Sambhūta-Sāṇavāsin, Sāṇavāsi-Saṁbhūta〔比〕サーナサンブータ，娑那三浮多
sāṇa-sutta 麻絲
sāṇi 麻布
sāṇi-pākāra 幕，圍幕，天幕
sāta 可意
sātacca 恒常，堅忍，堪忍，不抜
Sātaccaṁ〔經〕不抜 S 12 90
sātacca-kārin 常作，恒に作す，常作者
Sātaccakārī〔經〕常作 S 34 9
Sātaccakārī—Sappāyakārī〔經〕常作—隨應作 S 34 55
sātacca-kiriyā 常時作
sāta-rūpa 悅色
sāta-sahagata 俱悅
sātasahagata-samādhi 樂俱行定，樂俱定
sāta-sukha 悅樂
Sātā〔尼〕サーター
Sātāgira〔夜叉〕サーターギラ，娑多山，娑多耆利，七岳
Sātāgiri サーター山
sātārammaṇa-sukha 悅緣樂
Sāti〔比，漁夫の子〕サーティ，嗏帝
Sātiyaputa (A)〔國〕サーティヤフタ
Sātodikā〔河〕サートーディカー，甘水
sāttha 有義
sāthalika 放慢
Sādiyaggāma〔池〕サーディヤッガーマ
sādutara-rasa 味中の美味
sādhāraṇa-paññatti 共通制
Sādhāraṇa-vāra〔章〕結合章 V 3 4 (8)
Sādhina=Sādhīna〔王〕サーディナ
Sādhīna=Sādhina〔王〕サーディーナ
Sādhīna-jātaka サーディーナ・ヂャータカ，サーディーナ王本生物語 J 494
sādhu ① 善，善良，善人 ② 善い哉
Sādhu ①〔經〕善い哉 S 1 33 ②〔經〕善良 A 10 134, 178
Sādhuka〔村〕サードゥカ
sādhunara-dhamma 善人法，善人の從ふ法
sādhurūpa nara 端正の人
Sādhu-vagga 善良品 A 10 134～144, 178～188
sādhuvādin〔樂器〕サードゥヴーディン
Sādhusīla-jātaka サードゥシーラ・ヂャータカ，善戒本生物語 J 200
Sānu ①〔比〕サーヌ ②〔童子〕サーヌ，左奴 ③〔山〕サーヌ ④〔經〕左奴 S 10 5
Sānuvāsi〔地名〕サーヌヴーシ
Sānuvāsi-petavatthu サーヌヴーシ鬼事 Pv 3 2
Sānuvindaka サーヌギンダ人
sānusaya 有隨眠
Sānusaya-vāra 有隨眠分 Y 7 2

Sāntaneri〔堡壘〕サーンタネーリ
Sāpatagamu〔地名〕サーハタガム
sāpāna-doṇī 狗槽
Sāpūga〔村〕サーフーガ
Sābhiya〔王〕サービヤ
sābhoga 有觀念，有功用
sāma〔蔓草〕サーマ
Sāma ①=Suvaṇṇasāma〔仙，佛の前生〕サーマ，睒摩 ②〔提婆達多の前生〕サーマ ③〔王，阿難の前生〕サーマ ④〔鹿〕サーマ ⑤〔犬〕サーマ ⑥=Sāmagāma〔村〕サーマ，舍彌
sāmaṁ marati 自殺
Sāmagalla〔地名〕サーマガッラ
Sāmagāma=Sāmagāmaka, Sāma〔村〕舍彌村
Sāmagāmaka=Sāma, Sāmagāma〔村〕サーマガーマカ，舍摩迦
Sāmagāma-sutta サーマガーマ・スッタ，舍彌村經 M 104
sāmaggi-uposatha 和合布薩
sāmaggi-pavāraṇā 和合自恣
sāmaggiya 和合=涅槃
sāmaggī 和合，和合集
Sāma-jātaka サーマ・ヂャータカ，睒摩賢者本生物語，睒摩仙本生物語 J 540
sāmañña ① 沙門性，沙門位，沙門果，沙門道，沙門の道，沙門法 ② 心平等
Sāmañña ①〔經〕沙門法 S 45 35, 36 ②〔經〕沙門 S 56 68
Sāmaññakāni〔比〕サーマンニャカーニ
sāmañña-guṇa 沙門位の功德
sāmaññaṅga 沙門性支，沙門支，沙門分
sāmaññatta 沙門性
sāmaññattha 沙門の義，沙門義
sāmañña-phala 沙門果，沙門生活の果報
Sāmaññaphala-kathā 沙門果論 KV 19 3
Sāmaññaphala-sutta サーマンニャパラ・スッタ，沙門果經 D 2
sāmaṇaka 沙門行
sāmaṇaka-parikkhāra 沙門の資具〔七種；鉢，衣，坐具，針筒，帶，漉水嚢，水甕〕
sāmaṇera 沙彌
Sāmaṇera〔經〕沙彌 S 19 20
sāmaṇeraṁ upaṭṭhāpeti 沙彌を畜ふる
sāmaṇera-daṇḍakamma 沙彌の罰
sāmaṇera-pabbajjā 沙彌の出家
sāmaṇera-pesaka 監沙彌人，使沙彌人
Sāmaṇeriyo〔經〕沙彌尼 S 19 21
sāmaṇerī 沙彌尼
Sāmaṇḍaka〔外〕サーマンダカ，沙門
Sāmaṇḍaka-saṁyutta サーマンダカ・サンユッタ，沙門出家相應 S 39 1〜16
sāmantajappanasaṅkhāta-kuhanavatthu なぞかけと稱せらるる詭詐事
sāmanta-jappanā 周邊語，なぞかけ
sāmantajappā なぞかけ
sāmayika-vimutta かりの解脱，時解脱
Sāmavatikā〔夷〕サーマヴァティカー=次項
Sāmavatī=Sāmāvatī〔夷〕サーマヴァティー
Sāma-veda 沙磨吠陀
sāma soṇa 黑色の犬
sāmā=sāmāka〔植〕サーマー，粟粒，稷，稗子
Sāmā ①〔尼〕サーマー，奢摩 ②〔拘留孫佛の第一比丘尼〕サーマー，黑 ③〔拘那含牟尼佛の信女〕サーマー，黑 ④〔遊女〕サーマー
sāmāka=sāmā〔植〕サーマーカ，粟粒，稷，稗子
sāmāyika-kanta-cetovimutti 時愛心解脱
sāmāyikā cetovimutti 時心解脱，一時的の心解脱
sāmāyikā vimutti 時解脱，かりの解脱
Sāmāvatikā=Sāmāvatī〔夷〕沙摩婆提迦
Sāmāvatī=Sāmavatī, Sāmavatikā, Sāmāvatikā〔夷，住慈第一〕サーマーヴァティー，奢摩嚩帝，奢摩嚩帝，沙摩婆提迦，差摩婆帝
sāmika ① 夫，主人，夫主，主夫 ② 施主
Sāmidatta〔比〕サーミダッタ
Sāminda〔シャム=タイ國〕サーミンダ
sāmi-paribhoga 主人受用
sāmisa 有味，有食樂，有染汚，物質的，愛染

sāmisa-adukkhamasukha-vedanā＝sāmisā upekkhā　物質的不苦不樂受，肉體的不苦不樂受
Sāmisaṁtosa〔園林〕サーミサントーサ
sāmisa-dukkha-vedanā　物質的苦受，肉體的苦受
sāmisa vimokkha 有食樂の解脫，愛染解脫
sāmisa-sukha 有染樂，物質的樂
sāmisa-sukha-vedanā 物質的樂受，肉體的樂受，有染樂受
sāmisā upekkhā＝sāmisa-adukkhamasukha-vedanā 有食樂の捨
sāmisā pīti 有食樂の喜
sāmīci 如法行，和敬，恭敬，方正
sāmīci-kamma 和敬，和敬業，恭敬，恭敬業
sāmīci-paṭipanna 和敬行，行跡方正，行和敬，正しく修し
sāmukkaṁsa 高揚
Sāmugāma〔村〕サームガーマ
sāmudda-loṇa 海鹽
sāmuddika 海濱衣
sāmuddika vāṇija 航海業者，航海の商人
sāyaṇha-samaya 晡時，夕刻
sāyatatiyaka-udakorohaṇa 一日三浴行者
sāyana 嘗
sāyana-jāgara 臥して醒めたる
sāyanā〔樹〕サーヤナー
sāyanīya 味食，味はふべきもの，美食
sāra ① 堅，堅固，堅實，實，髓，眞髓，精髓，核，核心，樹心，心材，堅木，堅固なる材 ② 流出
Sāra〔經〕核〔香〕S 45 143
sārakkhā 自護女
sāra-gandha 核香，樹心香，樹香，髓香
Sāragga〔塞〕サーラッガ
sārajja 有畏，畏怯，怯怖〔五因〕
sārajjamāna 羞恥
sāraṇā 憶念，憶念法
sāratta-citta 執著心
Sārattha-saṁgaha〔論書〕サーラッタサンガハ
sārathi　御者，馭者，乘御師，調御者，調馬者
sāradika 秋時
sāraddha-kāya 躁暴身
Sārandada-cetiya サーランダダ廟，サーランダダ制多，サーランダダ祠堂，娑羅塔
sārapāmaṅga〔鎖帶類〕サーラパーマンガ，沙羅パーマンガ
sārambha 激情，憤激，憤發，性急，怒，瞋恚，爭，有難處，憍慢
Sārambha　①〔牛〕サーランバ ②〔章〕憤發 A 8〔10〕13
Sārambha-jātaka サーランバ・チャータカ，サーランバ牛本生物語 J 88
sārambha yañña 劬勞を伴ふ祀
Sārammaṇa-duka 有所緣二法 Duka **55**
sārammaṇaduka-kusalattika 有所緣二法善三法 Duka-tika 64
sārammaṇa dhamma 有所緣法
sārāga 貪欲，貪著，情欲，愛染心
sārāgin 愛著者
sārāṇīya 可念
sārāṇīya-dhamma 可念法，和敬法〔六種〕
Sārāṇīya-vagga 可念品 A 6 11～20
sārādānābhinivesa 取堅實住著，堅執現貪
Sāriputta ①＝Dhamma-senāpati〔比，智慧第一〕サーリプッタ，舍利弗，舍利子〔譬喩經〕Ap 3 1 ②〔セイロンに於ける比丘〕サーリプッタ ③〔王子〕サーリフッタ ④〔經〕舍利弗 S 8 6；**35** 120；**45** 3；**55** 4，5；A **10** 7，52
Sāriputta—Koṭṭhika〔經〕舍利弗—拘絺羅 ① 第一（住著 Pagata）S **44** 3 ② 第二（生起 Samudaya）S **44** 4 ③ 第三（愛情 Pema）S **44** 5 ④ 第四（樂 Ārāma）S **44** 6
Sāriputtattherassa-mātu-petīvatthu 舍利弗母鬼事 Pv 2 2
Sāriputta-moggallāna-pabbajjā　舍利弗目犍連出家 V 2 a 1，23～24
Sāriputta-saṁyutta　サーリプッタ・サンユッタ，舍利弗相應 S **28** 1～10
Sāriputta-sutta 舍利弗經 Sn 4 16
Sāriputtasutta-niddesa　舍利弗經の義釋 MNd

16
Sārī〔舍利弗の母〕舍利
sārīrika=sarīra 舍利
Sārīrika〔塔廟〕サーリーリカ
sārīrika-dukkha-vedanā　身の苦受，身所屬の苦受
sārīrikā vedanā 身苦受
Sāruppa〔經〕適宜 S 35 30
sāruppā paṭipadā 適宜なる道
Sāre〔經〕核 S 48 55
sāla〔樹〕サーラ，沙羅，娑羅
Sāla　①〔ハドゥマ佛の第一弟子〕サーラ，沙羅 ②〔大臣〕サーラ
sālaka ① 大會堂 ② サーラカ蟲
Sālaka〔猿〕サーラカ
Sālaka-jātaka　サーラカ・ヂャータカ，サーラカ猿本生物語 J 249
sāla-kaṭṭha 娑羅薪
sāla kalyāṇika 美沙羅樹
sāla-kalyāṇī〔樹〕サーラカルヤーニー
Sālakusumiya　〔比丘の譬喩經〕サーラクスミヤ Ap 3 458
Sālaggāma ①〔村〕サーラッガーマ ②〔河〕
Sālapādapa〔沼〕サーラパーダパ
Sālapupphadāyaka　〔比丘の譬喩經〕娑羅フッパダーヤカ Ap 3 139
Sālapupphiya〔比丘の譬喩經〕サーラフッヒヤ Ap 3 233
Sālapupphiya-vagga　サーラフッピヤ品 Ap 3 458〜467
Sālamaṇḍapiya〔比丘の譬喩經〕サーラマンダピヤ Ap 3 487
sāla-rāja 沙羅王樹，娑羅王樹
Sālavatikā〔村〕サーラバティ，娑羅婆提
Sālavatī　〔婬女，耆婆の母〕サーラヴティー，娑羅跋提
sāla-vana　沙羅樹林，沙羅林，娑羅林，娑羅の森
Sālavāna〔精舍〕サーラワーナ
Sālavāna Vibhīsana〔精舍〕サーラワーナギビーサナ
sāla-sākhā 娑羅の枝
sālā 會堂，公堂，講堂
Sālā〔村〕サーラー，薩羅
sālākiya 眼科
sāli 稻，サーリ米，米，白粳米
Sāli〔王子〕サーリ
sāli-anna 米飯
sālikā=sāḷikā, sāḷi, sāliyā〔鳥〕サーリカー，舍利，舍羅，九官鳥，鴝，マイナ，百舌鳥，鷲鷺，鸜鵒
sāli-kedāra 稻田
Sālikedāra-jātaka　サーリケーダーラ・ヂャータカ，稻田本生物語 J 484
sālikkhetta 稻田
Sāligiri〔村〕サーリギリ
Sālittaka-jātaka　サーリッタカ・ヂャータカ，投擲術本生物語 J 107
Sālindiya〔婆羅門村〕サーリンディヤ
Sālipabbata〔精舍〕サーリパッバタ
Sālipota〔園〕サーリホータ
sāli-maṁsodana 粳米飯
Sāliya ①〔戰士〕サーリヤ ②〔牛〕
Sāliya-jātaka　サーリヤ・ヂャータカ，九官鳥本生物語 J 367
sāliyā=sālikā, sāḷi, sāḷikā 〔鳥〕舍利，舍羅，九官鳥，鴝，マイナ，百舌鳥，鷲鷺，鸜鵒
Sāliyārāma サーリヤ園
sāli-suka 稻の芒
Sālissara〔仙〕サーリッサラ
Sālī〔女〕サーリー
sālīnaṁ odano 米飯，白米飯，米粥
sāluka=sālūka, sāḷuka 水蓮，睡蓮，蓮根，舍樓伽，水百合
sāluka-pāna 舍樓伽漿，水百合根汁〔八種飲料の一〕
sālūka=sāluka　蓮根，水蓮，舍樓伽，水百合
Sālūka〔豚〕サールーカ，睡蓮根
Sālūka-jātaka　サールーカ・ヂャータカ，サールーカ豚本生物語 J 286
sāleyyaka〔植〕サーレーヤカ
Sāleyyaka-sutta　サーレーッヤカ・スッタ，薩

羅村婆羅門經 M **41**
sālohita 血緣者，緣者
sāḷava サラダ
sāḷikā=sālikā, sāliyā〔鳥〕九官鳥，舍利，舍羅，鵯，マイナ，百舌鳥，鷺鷥，鸜鵒
Sāḷiyā〔ダンマダッシー佛の信女〕サーリヤー
sāḷī=sāḷikā, sālikā〔鳥〕サーリー，舍利，舍羅，九官鳥，鵯，マイナ，百舌鳥，鷺鷥，鸜鵒
sāḷuka-pāna 水百合根汁，舍樓伽漿
Sāḷha ①〔比，離車人〕サールハ，沙留，遮樓 ②〔第二結集比丘〕サールハ，沙蘭，娑羅，蘇寐 ③〔塞，ミガーラの孫〕サールハ，沙羅
sāvaka 弟子，聲聞〔四衆：比，尼，塞，夷〕
sāvaka-pāramī 聲聞波羅蜜，聲聞成就
sāvaka-bala 聲聞力
sāvaka-bodhi 聲聞菩提
sāvaka-bhāsita 聲聞所說
sāvaka-bhūmi 聲聞地
sāvaka-yuga=yamaka-sāvaka 二弟子，二人の弟子〔舍利弗，目犍連〕
sāvaka-visaya 聲聞境
sāvaka-saṅgha 弟子僧伽
Sāvakā〔經〕聲聞 S **15** 7
sāvakānaṁ sannipāto 僧會
sāvajja 有罪，有過，有呵責
sāvajja anavajja 有罪と無罪
sāvajja anavajja dhamma 有罪無罪法，有呵責無呵責法
sāvajja-kamma 有罪業，有呵責業
sāvajja-paññatti 有罪制
sāvajja-bhogin 有罪受用者
sāvaṭa〔博戲〕サーヴタ
Sāvatthī〔城，憍薩羅國の首都〕サーヴッティー，舍衛城
sāvasesa-dohin 殘餘を存して乳を搾る，遺餘を留めて搾る
sāvasesā āpatti 有餘罪，有餘犯，有殘罪，有殘犯
sāvikā 女聲聞
Sāvittī〔吠陀の讃歌〕サーヴィッティー，薩韓帝，娑毘底

sāsa 喘息
sāsana ① 教，教說，聖教 ② 手紙，書信，書面，信書，使書，傳書，通牒
Sāsana-kathā 教論 KV **21** 1
sāsana-brahmacariya 教梵行
Sāsanopakārakaraṇa〔章〕教に奉仕を行ふこと Cv 84
sāsapa 芥子，芥子粒，芥子の種子，罌粟粒
sāsapa-kuṭṭa, sāsapa-kudda 芥子粉
sāsapa-tela サーサパ油，芥子油
Sāsapā〔經〕芥子 S **15** 6
sāsava 有漏
sāsava c`eva dhamma no ca āsava 有漏法にして非漏なる，有漏非漏法
sāsava ceva no ca āsava dhamma 有漏非漏法，有漏法にして非漏なる
Sāsava-duka 有漏二法 Duka **15**
sāsavaduka-kusalattika 有漏二法善三法 Duka-tika 36
sāsava dhamma 有漏法
sāsava-sukha 有漏樂
sāsavā paññā 有漏慧
sāhasa 暴力，暴惡，粗暴，無道
Sāhasamalla〔王〕サーハサマッラ
sāhasā-kāra〜sahasā-kāra 強暴，強盜
sāhasā-cariyā 暴惡行
sāhasika 粗暴者，暴力者
sāhuḷa-cīvara 粗衣
siṁsaka〔樹〕シンサカ
siṁsapā〔樹〕シンサパー，尸舍婆
Siṁsapā〔經〕申恕 S **56** 31
siṁsapā-paṇṇa 申恕葉
Siṁsapāvana〔林〕尸舍婆林，申恕林
Siṁsapāvana-vagga 申恕林品 S **56** 31〜40
Siṁhaḷaka シンハラカ，錫蘭人
sikkā 絡嚢
sikkhaṁ paccakkhāti 學を誹謗す
sikkha-paccakkhāta 學を捨せる者
sikkhamānā シッカマーナー，式叉摩那，式叉摩尼，正學女
Sikkhamānā〔經〕式叉摩那 S **19** 19

sikkhā 學，學戒，學術，規律
Sikkhā〔經〕學 S 12 83；A 9 63
sikkhāgāravatā 學の尊敬
sikkhā-dubbalya 戒羸，學の弱處
sikkhānisaṁsa 學の勝利，勝利ある學
sikkhānuttariya 學無上〔六無上の一〕
sikkhā paccakkhātā 捨戒
sikkhā-pada＝sīla 學處，學則，戒條，戒法
Sikkhāpada-apaññāpana-pañho 學處不制の問 Mil 4〔8〕2
sikkhāpadapaṭisaṁyutta-dhammī-kathā 學處相應の法話
Sikkhāpada-vibhaṅga 學處分別 Vibh 14
sikkhā-samādāna 學受，學の受持
sikkhā-sājīva 生活規定
sikkhita-sikkhā 學戒せる
Sikhaddhi〔マータリの子〕シカッヂ，尸漢陀
Sikha Moggallāna〔婆〕シカ・モッガッラーナ，尸佉目犍連
sikhara 刄，劔の先
sikharaṇī 長嘴，長嘴女
Sikhānāyaka〔戰士〕シカーナーヤカ
sikhā-bandha 髮飾
sikhin ① 火焔 ② 冠ある鳥，孔雀
Sikhin ①〔佛，過去七佛の一〕シキー，式，尸棄 ②〔辟〕シキン
Sikhin bodhisatta 尸棄菩薩
Sikhī ①〔山〕尸棄 ②〔經〕尸棄 S 12 5
sigāla＝siṅgāla〔動〕野干，豺，豺狼，狼
Sigālaka＝Siṅgālaka〔居士〕私伽羅，尸伽羅越＝善生
Sigāla-jātaka シガーラ・ヂャータカ，豺本生物語 J 113, 142, 148, 152
Sigālamātar〔尼，信解第一〕シガーラ母，私伽羅母〔譬喩經〕Ap 4 34
Sigāla-vagga 豺品 J 241～250
Sigālo〔經〕豺 S 17 8
Siggava ①〔律相承比丘〕シッガヴ，悉伽婆，私伽婆 ②〔人〕シッガヴ，悉伽符
siṅga 角
Siṅgatthala〔村〕シンガッタラ
Siṅgārasaddapubba〔宮殿〕シンガーラサッダプッバ
siṅgāla＝sigāla 豺，豺狼，野干
Siṅgāla〔長者〕シンガーラ
Siṅgālaka ①＝Sigālaka〔居士〕シンガーラカ，尸伽羅越，私伽羅 ②〔經〕豺 S 20 11, 12
Siṅgālapitar〔比〕シンガーラピター
Siṅgālovāda-suttanta シンガーローヴーダ・スッタンタ，教授尸伽羅越經＝六方禮經 D 31
siṅgi-nikkha 自然金の環
siṅgila-sakuṇa 有角鳥
siṅgiloṇa-kappa 角鹽認容，器中鹽淨
siṅgi-vaṇṇa シンギ金，金色
siṅgivera 生薑，生姜，蘘荷
siṅgī ① シンギー，黃金 ② 虛僞，婬猥
siṅgu〔魚〕シング
siṁghāṭaka ① 四辻，四衢，四衢街道，四衢道，四大衢街路，十字路，街衢，衢 ②〔植〕シンガータカ
siṅghāṇikā 洟，鼻汁，鼻液，粘液〔三十二身分の一〕
siṅghāti〔花〕シンガーティ
siñcati nāvaṁ 舟〔の水〕(身中の邪念)を汲み出す
siñcana 灌頂，灌頂式
Siṭṭhi〔王〕シッティ
sita＝hasita 微笑
sittha 飯粒
Sitthagāma〔房舍〕シッタガーマ
sittha-telaka 蠟油，蜜蠟油
sithilahanu〔鳥〕シティラハヌ
siddha 魔術師，魔術ある者
Siddhattha ①〔佛〕シッダッタ，義成就，悉達多 ②〔比〕シッダッタ，悉達多 ③〔沙彌〕シッダッタ ④〔王子，菩薩〕シッダッタ，悉達多，悉達，悉多 ⑤〔カッサパ五世王の子〕シッダッタ ⑥＝Siddhatthika〔部派〕義成部
Siddhatthika＝Siddhattha〔部派〕義成部
siddhi 悉地，成就
siddhippatta 完成〔の域〕に達し
sinānā＝nahāna, nhāna 沐浴，洗浴，水浴
sinānī 洗粉

Sineru ①=Neru, Meru, Sumeru, Mahāmeru〔山〕シネール，須彌，メール，スメール ②〔經〕須彌 S 56 49, 50

Sineru pabbatarājan 須彌山王，山王須彌

sinehaniya bhesajja 下劑

sindī〔植〕シンディー

Sindhaka〔人〕シンダカ

sindhava〔馬〕シンダバ，シンダヴ，シンド産，シンヅウ産，信度産，信度産の馬，信度産の駿馬，信度駿馬，信度馬，駿馬，信度，辛頭，辛馱

Sindhava ①〔國〕シンダバ ② 信度人

sindhava〔loṇa〕岩鹽

Sindhavasandana〔傳◦轉輪王〕シンダヴサンダナ

Sindhu～Sindhava〔國〕シンドゥ，信度，辛頭，印度

sindhuvāra, sindhuvārita〔花，樹〕シンドゥヴーラ，シンドゥヴーリタ

Sindhū〔河〕信度

Sindhūravāna〔地名〕シンドゥーラヴーナ

sippa ① 工巧，技藝，技術，技能，工藝，職技，才技，學藝 ② 職人

sippa-kamma 工巧業

sippaṭṭhāna 工巧處，工巧

Sippatthalaka〔地名〕シッパッタラカ

sippa-mada 工巧憍

sippavā ācariyo 工巧師

sippa-vāda 技術の論

sippāyatana 工巧處，技能職業

sippi 牡蠣，蠣

sippikā ①〔鳥〕シッピカー ② 眞珠貝

sippi-sambuka 貝殼，牡蠣と貝

sibala〔樹〕シバラ

Sibba=Sivi〔王〕シッバ

sibbana 刺縫

sibbani 縫

sibbinī 頭蓋の縫線

sibbeti 縫ふ

simala（A）シマラ鹿

simbali〔樹〕シンバリ，睒婆梨，絹綿，絹木棉，綿樹，木綿，綿の木

Simbalivana〔地獄〕シンバリヴナ，睒婆利婆那，針樹林

Siyāmahantakuddāla〔村〕シヤーマハンタクッダーラ

Sir`-avhāyana 吉祥天

sirā 靜脈

Sirāmegha ①=Aggabodhi〔六世王〕シラーメーガ ②=Sena〔一世王〕③〔尼房〕

Siri ①〔ティッサ佛の信士〕シリ ②〔林〕シリ，吉祥 ③〔宮殿〕シリ，榮

siriṁsapa シリンサパ，蛇，匍行，匍行者，爬行類，爬蟲類，頭匐者，蟲蛇，毒蛇，蝎蛇

siriṁsapantarāya 蛇の障礙〔十障礙の一〕

Sirika〔象〕シリカ

Sirikāḷakaṇṇi-jātaka シリカーラカンニ・チャータカ，吉祥黑耳本生物語 J 192, 382

Sirighaṇa シリガナ，吉祥密林

Sirighanānanda〔精舍〕シリガナーナンダ

Sirighara〔家〕シリガラ

Siri-jātaka シリ・チャータカ，吉祥本生物語 J 284

Siridevi〔山〕シリデーギ

Siridhara〔傳◦轉輪王〕シリダラ

Sirinanda〔宮殿〕シリナンダ，吉祥喜

Sirinandā〔スヂャータ佛の妃〕シリナンダー，榮喜

Sirināga ①〔一世王〕シリナーガ ②〔二世王〕③〔チェッタティッサ三世王の伯父〕

siriniggaṇḍi〔樹〕シリニッグンディ

Siripiṭṭhika〔村〕シリピッティカ

Sirimaṇḍa〔比〕シリマンダ

Sirimaṇḍagalla〔村〕シリマンダガッラ

sirimant, sirīmant 吉祥，幸運者，具祥者，祥瑞者

Sirimanda-jātaka シリマンダ・チャータカ，榮者の愚本生物語 J 500

Sirimanda-pañha 優劣問〔答〕～前項

Sirimā ①=Sirimant〔比〕シリマー ②〔プッサ佛の母〕シリマー，有瑞者 ③〔スマナ佛の

母〕シリマー，有瑞者 ④〔毘舍浮佛の信女〕シリマー ⑤〔燃燈佛の信女〕シリマー，有祥 ⑥〔憍陳如佛の信女〕シリマー ⑦〔レーヴタ佛の信女〕シリマー ⑧〔スメーダ佛の信女〕シリマー，光輝家 ⑨〔毘婆尸佛の信女〕シリマー ⑩〔アノーマダッシー佛の妃〕シリマー ⑪〔遊女〕シリマー，尸利摩 ⑫〔夷〕シリマー，師利摩，具祥 ⑬〔宮殿〕シリマー，有祥

Sirimā-vimāna 師利摩女天宮 Vv 16

Sirimitta〔比〕シリミッタ

Siriyavala〔地名〕シリヤブラ

Sirirājādhirājasīha〔王〕シリラーヂャーディラーヂャシーハ

Sirivaḍḍha ①〔比〕シリヴッダ ②〔大臣，塞〕シリヴッダ，尸利阿荼 ③〔傳◦長者〕シリヴッダ ④〔アノーマダッシー佛の信士〕シリヴッダ，吉祥增 ⑤〔尸棄佛の信士〕シリヴッダ，吉祥增 ⑥〔宮殿〕シリヴッダ ⑦〔經〕尸利阿荼 S 47 29

Sirivaḍḍhaka〔長者〕シリヴッダカ，尸利阿荼

Sirivaḍḍhana〔都〕シリヴッダナ

Sirivaḍḍhamāna〔池〕シリヴッダマーナ

Sirivallabha ①〔王子〕シリヴッラバ ②〔マーナーバラナ王の子〕③〔ダミラ人〕

Sirivikkamarājasīha〔王〕シリギッカマラーヂャシーハ

Sirivijaya=Sirivijayarājasīha〔王〕シリギヂャヤ

Sirivijayarājasīhadīpaka〔章〕シリギヂャヤラーヂャシーハ王 Cv 98

Sirivijayasundara〔精舍〕シリギヂャヤスンダラ

Sirivīraparakkamanarindasīha〔王〕シリギーラパラッカマナリンダシーハ

Sirisaṁghabodhi=Vijayabāhu〔一世王〕シリサンガボーディ

Sirisaṁghādibodhi〔ka〕①=Aggabodhi IV〔三世王〕シリサンガーディボーディ〔カ〕②〔精舍〕シリサンガーディボーディ〔カ〕，聖衆覺

siri-sayana 吉祥の座

sirī 吉祥，吉運，幸運

Sirī〔天女〕シリー，吉祥天，吉祥天女，室利天

sirīmant=sirimant 祥瑞者

Sirīmeghavaṇṇa〔王〕シリーメーガヴンナ

Sirīyāla〔村〕シリーヤーラ

sirīsa〔樹〕シリーサ，尸利沙

Sirīsaṁghabodhi ①〔一世王〕シリーサンガボーディ ②=Aggabodhi III〔二世王〕

sirīsapuppha〔寶珠〕シリーサプッパ

Sirīsavatthu〔町，夜叉都〕シリーサヴットゥ

silā 岩石，石，岩，寶石，璧石，玻璃*

Silā ①〔園〕シラー，岩石 ②〔塔廟〕シラー

Silākāla〔王〕シラーカーラ

Silākhaṇḍa〔地名〕シラーカンダ

silā-guḷa 石塊

Silā-cetiya シラー靈祠

silā-chadana 石屋

Silātissabodhi〔青年〕シラーティッサボーディ

silā-thaṁbha（A），silā-thabha（A）石柱

Silādāṭha=Kassapa II〔王〕シラーダータ

Silāpassaya〔僧院〕シラーパッサヤ

silā-phalaka 石板

Silāmegha-pabbata〔房舍〕シラーメーガ山

Silāmegha〔ra〕〔ダミラ人〕シラーメーガ〔ラ〕

Silāmeghavaṇṇa〔王〕シラーメーガヴンナ

silā-yūpa 石柱

Silāyūpo〔經〕石柱 A 9 26

Silāvatī〔地名〕シラーヴティー

silā-santhāra 石床

Silāsobbhakaṇḍaka ①〔地名〕シラーソッバカンダカ ②〔塔〕

Silesaloma〔夜叉〕粘毛

silesika〔金屬〕シレーシカ，シレーサ

siloka 敬禮，讃歎，名聲，名譽，名聞，名利，世評

siva 吉祥，安泰

Siva ①〔天子，神〕シヴ，濕婆，吉祥天 ②=Mahāsiva〔王〕シヴ ③〔王〕シヴ，私婆 ④=Girikaṇḍasiva〔王子〕尸婆 ⑤〔教〕シヴ ⑥〔經〕濕婆 S 2 21

Sivaṁ〔經〕安泰 S **43** 27
Sivaka〔比〕シヴカ
sivagāmi-magga 安泰に達するの道
siva-vijjā 濕婆明
sivā 豺狼
Sivi ①〔王，佛の前生〕シヴ，尸毘 ②〔國，族〕シギ，尸毘
sivikā 輿，轎
sivikā-gabbha 方房
Sivi-jātaka シギ・チャータカ，尸毘王本生物語 J 499
Siviraññо cakkhudāna-pañho 尸毘王施眼の問 Mil 4〔1〕5
Sivirāja-cariyā〔經〕シギ王の所行 Cp **1** 8
Siveyyaka 尸毘布
sisira 冷季
sisira-vuṭṭhi 冷雨
Sīkaviyala〔地名〕シーカギヤラ
Sīkā〔戰士〕シーカー
sīgālaka 豺鳴
Sīgha〔經〕迅 S **55** 69
sīgha-paññatā 速慧，迅慧
sīgha-paññā 迅慧，速慧
sīgha-sota 急流
sīghassa 駿馬
sīta 寒，寒冷，寒氣，冷
sīta〔udaka〕冷水
Sītaṁ〔經〕寒 S **32** 53
sīta-kāla 寒時
Sīta-naraka〔八〕寒地獄
sītala 清涼
Sītalaggāma〔窟院〕シーラッガーマ
Sītavana〔死屍を棄てる林〕シータヴナ，シータ林，尸陀林，寒林
Sītavaniya=Sambhūta〔比〕寒林住者
sīta-valāhaka deva 寒雲天
sītā 壟，畔
Sītā ①〔王女〕シーター，私多，清涼 ②〔王妃〕シーター
Sītāvaka〔都〕シーターヴカ
sīti-bhāva 清涼，清涼性
sīti-bhūta 清涼，清涼となり
Sīti-vagga 清涼品 A **6** 85～95
Sīdantara-samudda シーダンタラ海
Sīdarin〔辟〕シーダリー
Sīdā〔河，水路〕シーダー
Sīdupabbata〔村〕シードゥパッバタ
Sīnipura〔王子〕シーニプラ
sīpadin 象皮病者
sīmanta 越境
sīmā 境界，界場，界，結界，結界場，戒場，教區，戒壇
Sīmā〔河〕シーマー
sīmā-geha 結界堂
Sīmātālatthalī〔村〕シーマーターラッタリー
sīmā-maṇḍala 戒壇
sīmārāma 結界園
sīla 戒，戒行，戒德，戒律，持戒，禁戒，德
sīla-uposatha 戒布薩
Sīlaṁ〔經〕戒 S **22** 122；**45** 50，57，64，71，78，85；**46** 3；**47** 21；A **10** 3
Sīlaṁ acetasikan ti kathā 戒非心所論 KV **10** 7
Sīlaṁ na cittānuparivattī ti kathā 戒非心隨轉論 KV **10** 8
sīla-kathā ① 戒論，戒の說，持戒の說話，持戒の話，正義の說話〔三論の一〕② 戒論，戒法の話〔十論事の一〕
sīlakkhandha 戒蘊，戒聚
sīla-gandha 戒香，戒の香，戒の芳香
sīla-jala 戒水
Sīlaṭṭhiti-vagga 戒住品 S **47** 21～30
sīla-tittha 戒の渡場
sīla-dhana 戒財
sīlana 戒行
Sīla-niddesa 戒の解釋 VM **1**
sīla-paññāṇa 戒智ある人
sīla-pāramitā=sīla-pāramī 持戒波羅蜜，戒波羅蜜〔十波羅蜜の一〕
Sīla-pāramitā 戒波羅蜜〔品〕Cp **2**
sīla-pāramī=sīla-pāramitā 持戒波羅蜜，護戒波羅蜜，戒波羅蜜

sīla-pārisuddhi 戒清淨
sīlabbata=sīlavata 戒禁，戒と禁，戒と務，戒と行，戒と儀式
sīlabbata-parāmāsa 戒禁取〔三結，五下分結，十結の一〕
sīlabbata-parāmāsa-kāyagantha 戒禁取身繫〔四繫の一〕
sīlabbataparāmāsa-saṁyojana 戒禁取結
sīlabbata-sampanna 戒と禁とを具足せる
sīlabbatupādāna 戒禁取〔四取の一〕
sīlabyasana-dukkha 戒を失ふ苦，戒損失の苦
sīla-mada 戒憍
sīla-maya 戒所成
sīlamaya-gandha 戒德の香
sīlamaya-puññakiriya-vatthu 戒行福業事，戒類福業事〔三福業事の一〕
sīlamayā paññā 戒所成慧
sīlamaye ñāṇaṁ 戒所成智
sīla-ratana 戒寶
Sīla-lakkhaṇa-pañho 戒の特相の問 Mil 2〔1〕9
Sīla-vagga 戒行品 J 11〜20
Sīlava-jātaka=Sīlavanāga-jātaka 有德本生物語 J 72
sīla-vata=sīlabbata 戒と行，戒と儀式，戒と務め，戒禁
Sīlavatī〔王妃〕シーラヴティー
sīlavato paṭiggaho 具戒者の攝受
Sīlavanāga-cariyā〔經〕具戒象の所行 Cp 2 1
Sīlavanāga-jātaka=Sīlava-jātaka シーラヴナーガ・ヂャータカ，有德象王本生物語 J 72
Sīlavanāgarāja シーラヴナーガラーヂャ，有德象王
sīlavant 持戒，持戒者，具戒，具戒者，戒具足者，戒者，戒德者，有戒，戒を具せる者，戒を具足せる，戒を具へ，有德者
Sīlavant ①〔比〕シーラヴー ②=Sīlava-rāja〔王子，王〕シーラヴ，具戒王 ③〔龍王，佛の前生〕シーラヴ
Sīlava-rāja=Sīlavant〔王〕具戒王
Sīlavā〔經〕持戒 S 37 20
sīlavā kalyāṇa-dhammo 具戒善法
sīlavā bhikkhu 戒を具足せる比丘
sīla-vipatti 戒壞，戒缺損，戒衰耗，破戒，壞戒
sīla-vipatti ca diṭṭhi-vipatti ca 破戒と破見，戒衰耗と見衰耗
sīla-vipanna 破戒，壞戒者，戒の失壞
sīla-vibhatti 戒分別
sīla-visuddhi 戒清淨，淨戒〔七清淨の一〕
sīla-visuddhi ca diṭṭhi-visuddhi ca 戒清淨と見清淨，淨戒と淨見
Sīlavīmaṁsa-jātaka シーラヰーマンサ・ヂャータカ，驗德本生物語 J 86, 290, 305, 330, 362
sīla-velā 戒限界
sīla-vyasana=sīla-byasana 戒損失，戒損滅，戒の不幸，戒の喪失，戒を失ふ
sīla-saṁyama 戒調御者
sīla-saṁvara 戒律儀
sīlasaṁvara-pariyanta 戒律儀周邊
sīla-samācāra 戒正行
sīla-samādhi-paññā 戒定慧
sīla-sampadā 具戒，戒具足，戒圓足，戒成就，成戒
sīlasampadā-kathā 戒成就の稱說
sīla-sampadā ca diṭṭhi-sampadā ca 戒成就と見成就，具戒と具見
sīla-sampanna 戒具足，戒具足者，戒を成就してある，具戒者
sīla-sāmañña 戒相應，戒性
sīla-suddhi pārisuddhi-padhāniyaṅgaṁ 戒清淨清淨勤支〔九清淨勤支の一〕
sīla suvisuddha 戒の悉皆清淨
Sīlānisaṁsa-jātaka シーラーニサンサ・ヂャータカ，戒德利益本生物語 J 190
sīlānussati 念戒，戒隨念〔六念，十念の一〕
Sīlu〔峯〕シール
Sīluccaya〔傳◦轉輪王〕シールッチャヤ
sīlesu paripūrakāritā 戒に於ける成滿
Sīva ①〔相承比丘〕シーヴ，私婆 ②=Canda-mukha〔王〕シーヴ，私婆 ③=Mahāsīva〔王子，王〕私婆 ④=Bhayasīva〔人〕シー

ヴ ⑤=Sīvaka〔一世王〕シーヴ
Sīva[ka]〔一世王〕シーヴ[カ]
Sīvaka ①〔比〕シーヴカ, 尸婆迦 ②=Moriya-sīvaka 〔比〕シーヴカ, 尸婆 ③〔醫〕シーヴカ, 尸婆 ④〔夜叉〕シーヴカ, 尸婆迦, 尸呵 ⑤〔一世王〕シーヴカ
Sīvako〔經〕尸婆 S **36** 21
sīvathikā 墓處, 墓地, 墓田, 墓場, 塚間, 塚, 野墓
sīvathikūpamā 塚間喩
Sīvala〔吉祥佛の子〕シーヴラ
Sīvalā ①=Sīvalī〔吉祥佛の上尼尼〕シーヴラー ②=Sīvalī〔シッダッタ佛の上尼尼〕③〔拘那含牟尼佛の信女〕④〔王女, 尼〕
Sīvalin ①〔比, 利得第一〕シーヴリ, 尸拔羅, 尸婆羅〔譬喩經〕Ap 3 540 ②〔王子, 比〕シーヴリ ③〔比〕シーヴリー
Sīvaliputtūru〔地名〕シーヴリフットゥール
Sīvalī ①=Sīvalā〔マンガラ佛の第一比丘尼〕シーヴリー ②=Sīvalā〔シッダッタ佛の第一比丘尼〕シーヴリー ③〔王妃〕シーヴリー ④=Sīhasīvalī〔毘闍耶の母〕シーヴリー ⑤〔王女〕尸婆離
sīsa ① 頭, 髑髏 ② 鉛
sīsakapālaṭṭhi 頭蓋骨, 顱頂骨顳顬骨等
sīsacchinna〔譬喩〕截首
Sīsacchinnakabodhi〔地名〕シーサッチンナカボーディ
Sīsacchinno-coraghātako〔經〕斷頭司獄 S **19** 16
sīsappacālaka 頭を振る
sīsa-bhāra 頭荷
sīsa-maya 鉛所成
sīsa-roga 頭病
sīsa-veṭhana 頭巾
sīsābhitāpa 日射病
Sīsupacālā ①=Sīsūpacālā〔尼〕尸須波遮羅, 尸羅婆遮羅 ②〔經〕尸須波遮羅 S **5** 8
sīsūpaga 頭飾
Sīsūpacāla〔比〕シースーパチャーラ
Sīsūpacālā=Sīsupacālā〔尼〕シースーパチャーラー, 尸須波遮羅, 尸羅婆遮羅
sīha 獅子, 師子
Sīha ①〔沙彌〕シーハ, 師子 ②〔將軍, 尼乾の徒, 塞〕シーハ, 師子, 私呵 ③〔ソービタ佛の子〕シーハ ④〔山〕シーハ ⑤〔園〕シーハ, 獅子 ⑥〔經〕師子 S **22** 78, 79; A **8** 12; **10** 21 ⑦〔經〕獅子 S **4** 12
Sīhakoṭṭhuka-jātaka シーハコットゥカ・ヂャータカ, 獅子豺本生物語 J 188
Sīhagiri シーハギリ, 獅子山
sīha-camma 師子皮, 師子の皮
Sīhacamma-jātaka シーハチャンマ・ヂャータカ, 獅子皮本生物語 J 189
sīha-nāda 獅子吼, 師子吼
sīhanādaṁ nadati 師子吼す
Sīhanāda-vagga 師子吼品 M **11～20**; A **9** 11～20
sīhanādika 師子吼者
Sīhapapāta〔雪山の池, 七大湖の一〕シーハパパータ, 師子崖
sīha-pubbaddha-kāya 上軀は獅子の如し〔三十二相の一〕
Sīhapura ①〔ラーラ國の都〕シーハプラ, 師子城 ②〔カリンガ國の首都〕シーハプラ ③〔プラッティプラの近郊〕シーハプラ ④〔城〕師子の城, 獅子邑
Sīhabāhu=Sīhabhuja〔毘闍耶の父〕シーハバーフ, 獅子腕
Sīhabhuja=Sīhabāhu〔毘闍耶の父, 王〕シーハブヂャ, 獅子腕
sīha-maṁsa 師子肉
sīha migarājan 師子獸王, 獅子獸王
Sīhala〔國, 族, 島〕シーハラ, 執師子, 師子國, 師子胤, セイロン島, セイロン人
sīhala-gandabba セイロン音樂家
Sīhalaṭṭhakathā セイロン語の義解
Sīhala-dīpa セイロン島, 師子洲, 師子胤, 師子國
Sīhaladīpaka vākya=Sīhala-bhāsā 師子洲の言語
Sīhala-bhāsā=Sīhalā セイロン語, セーロン語,

シーハラ語
Sīhalā=Sīhala-bhāsā シーハラ語
sīhaḷa-kuddāla 錫蘭鍬
Sīha-vagga 獅子品 Mil 5 6
Sīhavāhana〔王〕シーハヴーハナ
Sīhasīvalin=Sīvalin〔比〕シーハシーヴリー
sīhasena シーハセーナ，獅子軍
sīha-seyya 師子臥，師子の臥法，獅子臥，獅子の臥
sīhaseyyaṁ kappeti 師子臥す，師子の如くに横たはる，獅子臥す
Sīhassara〔王〕シーハッサラ
sīha-hanu 頷は獅子の如し，師子の頬〔三十二相の一〕
Sīhahanu〔王〕シーハハヌ，師子頬
Sīhā〔尼〕シーハー，獅子
sīhāsana 師子座，獅子座=佛座
Sīhāsanadāyaka〔比丘の譬喩經〕シーハーサナダーヤカ Ap 3 11，175
Sīhāsana-vagga シーハーサナ品 Ap 3 11～20
Sīhāsanavījanīya〔比丘の譬喩經〕シーハーサナギーヂャニーヤ Ap 3 450
Sīhāsanika〔比丘の譬喩經〕シーハーサニカ Ap 3 444
Sīhopama-sutta 師子喩經
suṁsumāra 鰐，鱷，鰐魚，鱷魚
Suṁsumāra-gira=Suṁsumāra-giri〔邑〕スンスマーラギラ
Suṁsumāra-giri=Suṁsumāra-gira〔邑〕スンスマーラギリ，スンスマーラ山，尸收摩羅山，失悅摩羅山，失收魔羅山，設首婆羅山，首摩羅山，膠魚山，鼉山，鱷山
Suṁsumāra-jātaka スンスマーラ・ヂャータカ，鰐本生物語 J 208
suṁsumāra-bhaya 鰐魚の畏怖，鱷魚畏，鱷魚の怖畏
suka=suva スカ，鸚鵡，叔迦，能言鳥
Suka-jātaka スカ・ヂャータカ，鸚鵡本生物語 J 255
sukata 善行，善作
sukata-kammakārin 善所作〔者〕
sukata-dukkatānaṁ kammānaṁ phalaṁ vipāko 善惡業の異熟果，善惡業の果報
Sukatāveḷiya〔比丘の譬喩經〕スカターヹーリヤ Ap 3 229
sukka ①=sukka-pakkha 白，星 ② 精液，精，不淨〔十種〕
Sukka〔天〕スッカ，叔伽
sukka anavajja dhamma 白無罪法
sukka-kamma=kusala-kamma 白業
sukka-dhamma=kusala-dhamma 白法
sukka-pakkha 白分
sukkapakkha-candimā 白分の月
sukkapakkha-navaka 白分九事 V 2 b 4，3
sukka-magga 白道
sukkarāhu-carita 彗星の飛行
sukka-visaṭṭhi 失精，漏精，不淨を出す
sukkavisaṭṭhi-āpatti 出精罪
sukka-sukkavipāka 白にして白報，白にして白果，白白異熟
sukka sukkavipāka kamma 白にして白の異熟ある業，白にして白報ある業
Sukkā ①〔尼〕スッカー，叔迦羅，白淨，守迦〔譬喩經〕Ap 4 35 ②〔經〕叔迦羅 S 10 9，10
sukkābhijātika 白生類
Sukko〔經〕白 S 17 34
Sukkodana〔王〕スッコ〔ーダナ〕，白飯
sukkha kaṭṭha 枯木，乾燥せる薪
sukkha kūra 乾飯
sukkha gūtha 乾糞
sukkha yava 乾麥，馬麥
sukkha-vipassaka～suddha-vipassanā-yānika 乾觀者，枯渇觀
sukha 樂，安樂，安穩快樂，愉樂，受樂
Sukha ①〔將軍〕スカ ②〔經〕樂 A 10 65，66
sukhaṁ nibbānaṁ 涅槃は樂なり
sukhaṁ viharaṁ bhikkhu 樂住比丘
Sukha-giri〔村〕スカギリ
Sukhajīvita-putthikin〔將軍〕スカヂーギタ・フッティキン

sukha-dukkha ① 苦樂 ② 樂と苦〔の斷常，自他作〕
sukha-dukkhin 樂苦
Sukhadukkhī〔經〕樂苦 S **24** 43
sukhadukkhī attā ca loko ca 我と世界とは苦樂を有するものなり
sukhadukkhī attā hoti arogo 樂にして苦なる無病の我有り
sukhadhammānaṁ upahattā 樂法の將來者
sukha-dhātu 樂界
sukha pada 安樂境
sukha-pharaṇatā 樂遍滿，樂遍滿性〔五正定支の一〕
sukhallikānuyoga 安樂行〔四種一四禪〕
Sukha-vagga ① 樂品 A 2 7 ② 安樂品 Dhp **15** vv 197〜208
Sukhavacchana〔人〕スカヴッチャナ
sukha-vinicchaya 樂決定
sukha-vipāka 樂報，樂果報，樂の異熟
sukhavipāka-kamma 受樂異熟業，樂異熟業
sukhavipāka dhamma 樂報ある法
Sukhavedanā-pañho 樂受の問 Mil 2〔2〕5
sukhavedaniya kamma 樂受の業，順樂受業
sukha-vedanīya 樂所受，樂受，順樂受
sukha-saññā 樂想
sukha-santīraṇa 樂〔俱〕推度〔心〕
sukha-sahagata 樂俱，樂俱行
sukhasahagata-kāyaviññāṇa 樂俱行身識
Sukhasahagata-duka 樂俱行二法 Duka **91**
sukhasahagataduka-kusalattika 樂俱行二法善三法 Duka-tika 100
sukhasahagata dhamma 樂俱行法
sukhasahagatā paññā 樂俱行慧
sukha-sāra 樂堅實
sukha-sīla 樂天的，樂戒
sukha-seyya 樂眠
sukhassa āhāro 安樂食
sukhādhivāha dhamma 樂を引く法
Sukhānuppadāna-kathā 與樂論 KV **16** 3
sukhā-paṭipadā khippābhiññā 樂速通行，樂行道速通達，樂行道速知通〔四通行の一〕
sukhā-paṭipadā dandhābhiññā 樂遲通行，樂行道遲通達〔四通行の一〕
Sukhāya〔經〕樂 S **36** 2
sukhāya vedanāya sampayutta-cittaṁ 樂受相應の心
sukhāya vedanāya sampayutta-cetanā 樂受相應思
sukhāya vedanāya sampayutta-dhammo 樂受相應法
Sukhāvihāri-jātaka スカーヴィハーリ・ヂャータカ，樂住本生物語 J 10
sukhā vedanā 樂受
Sukhita〔プッサ佛の第一弟子〕スキタ，所樂
Sukhitaṁ〔經〕安樂 S **15** 12
Sukhitta〔傳◦轉輪王〕スキッタ
sukhin 具福者，幸福
sukhindriya 樂根
Sukhindriya-vagga 樂根品 S **48** 31〜40
sukhudraya dhamma 樂を引く法
sukhudra-sukhavipāka 樂果樂報
sukhupapatti 樂生〔三種〕
sukhuma 細
sukhumacchavi 皮膚は細滑〔三十二相の一〕
Sukhumachedana-pañho 最も微細なるものを截斷するの問 Mil 2〔7〕15
sukhuma rūpa 細色，精妙なる色
sukhuma viññāṇa 細識
sukhuma saṅkhāra 細行
sukhumā vedanā 細受
sukhumā saññā 細想
sukhetta 善田，良田
Sukhena〔經〕樂 S **40** 3
sugata 善逝，善逝者，善到者，完成者〔如來十號の一〕
sugataṅgula 善逝の指
sugata-cīvara 佛衣
sugatacīvarappamāṇa 佛衣量
sugata-vidatthi 佛搩手，佛磔手，佛手足
sugata-vinaya 善逝の律，善逝の調伏
sugati 善趣，善處，善道
Sugandha ①〔傳◦轉輪王〕スガンダ ②〔比〕

〔譬喩經〕Ap 3 527
sugandha-taṇḍula 香好き稲米
Sugalā〔王女〕スガラー
sugahīta 正解
Suguttā〔尸棄佛の信女〕スグッター，善所護
suggapota〔獸〕スッガポータ
suṅka 税，税物，身代金，結納金
suṅkaghāta 税處
suṅkaṭṭhāna 税處
Sucanda〔宮殿〕スチャンダ，善月
Sucandaka〔王宮〕スチャンダカ，善月
Sucandā〔ピヤダッシー佛の母〕スチャンダー，善月
sucarita 善行，妙行，善業〔三種〕
Sucaritaṁ〔經〕善行 S **31** 2；**32** 2
Sucarita-vagga 妙行品 A **4** 221～230
Sucārudassana〔傳◦轉輪王〕スチャールダッサナ
suci 淨，清淨，清淨者，清淨なる人
Sucittā〔毘舍浮佛の妃〕スチッター，善心
Sucitti〔修羅〕スチッティ，蘇唧怛囉
sucintita 善思
Sucintita ①〔佛〕スチンティタ ②〔傳◦轉輪王〕③〔比〕〔譬喩經〕Ap 3 66，92，425
sucintita-cintin 善思惟〔者〕
Suciparivāra〔商人〕スチパリヴーラ
Sucimā〔宮殿〕スチマー，有淨
Sucimukhī ①〔外道尼〕スチムキー，淨口 ②〔經〕淨口 S **28** 10
Sucimbhikā〔女〕スチンビカー
Sucira-jātaka＝Āditta-jātaka スチラ・ヂャータカ J 434
Sucīmatī〔拔陀迦比羅尼の母〕スチーマティー
Sucīrata〔婆〕スチーラタ
Sucela〔傳◦轉輪王〕スチェーラ
Succaja-jātaka スッチャヂャ・ヂャータカ，喜捨本生物語 J 320
Succhavi〔傳◦轉輪王〕スッチャギ
sujaṁ paggaṇhant 護摩捧持者
Sujampati〔天〕スヂャンパティ，スヂャーの夫，須闍の夫，舍脂鉢底，須禪鉢帝，善生の主＝帝釋
sujā 木酌，祭具杓子
Sujā〔阿修羅女，帝釋の妻〕スヂャー，須闍
sujāta 善生者，良き生れ
Sujāta ①〔佛〕スヂャータ，善生 ②〔パドゥムッタラ佛の第一弟子〕スヂャータ ③〔佛の前生〕スヂャータ，善生 ④〔婆，優波離の前生〕スヂャータ ⑤〔轉輪王〕スヂャータ，修闍多 ⑥〔長者〕スヂャータ ⑦〔死後生天〕スヂャータ ⑧〔人〕スヂャータ ⑨〔比〕善生 ⑩〔塞〕善生 ⑪〔婆〕善生
Sujāta-jātaka ① スヂャータ・ヂャータカ，善生女本生物語 J 269 ② スヂャータ・ヂャータカ，善生妃本生物語 J 306 ③ スヂャータ・ヂャータカ，善生居士子本生物語 J 352
Sujātā ①〔ソービタ佛の第二比丘尼〕スヂャーター，善生 ②〔ピヤダッシー佛の第一比丘尼〕スヂャーター，善生 ③〔憍陳如佛の母〕スヂャーター，善生 ④〔パドゥムッタラ佛の母〕スヂャーター，善生 ⑤〔尼〕スヂャーター，善生 ⑥〔夷〕スヂャーター，善生 ⑦＝Sujātā Senānīdhītā〔將軍村の女，菩薩に乳糜を獻ず，歸依第一〕スヂャーター，善生 ⑧〔ダナンヂャヤの女，給孤獨の嫁，毘舍佉の妹〕スヂャーター，善生 ⑨〔王妃〕スヂャーター，善生 ⑩〔女〕スヂャーター，善生 ⑪〔阿修羅女〕善生
Sujātā Senānīdhītā＝Sujātā ⑦〔夷，歸依第一〕スヂャーターセーナーニー女
Sujāto〔經〕善生 S **21** 5
suñña 空，空無
Suñña〔經〕空 S **35** 85
Suñña-kathā 空論 Pṭs 2 10
suñña-gāma 空村，空なる村落
suñña-geha 空舍
suññataṁ manasi-karoti 空を作意す
suññataphala-samāpatti 空果等至
suññata-phassa 空觸
Suññata-vagga スンニャタ・ヴッガ，空品 M **121～130**
suññata-vipassanā 空觀

suññata-vimokkha 空解脱，空性解脱〔三解脱の一〕
suññata-samādhi 空三昧，空定，空三摩地〔三三昧の一〕
suññatā 空，空性
Suññatā〔經〕空 S **43** 4
Suññatā kathā 空性論 KV **19** 2
suññatā-cetovimutti 空心解脱
suññatā-jhāna=suññata-samādhi 空禪
suññatānupassanā 空隨觀，空觀，空性觀
suññatā-paṭisaṁyutta 空性相應，空性と相應せる，空相應，空と相應せる
suññatā-paṭisaṁyutta-kathā 空と相應せる論
suññatā-pada 空の句
suññatāvakka 空類
suññatā-vāra 空段
suññatā-vihāra 空性住，空住，空三昧
suññatāvihāra-samāpatti 空住定
suññatā-samāpatti 空性等至，空正受
suññate paññā 空性の慧
suñña Brahmavimāna 空なる梵天宮，空虛の梵宮，空虛なる梵天宮
suñña loka 空世間
suñña-vimāna 空宮殿
suñña-suñña 空空
suññā attena 我空
suññāgāra 空屋，空閑處，空閑，空舍，空所，空處，靜室
suññāgāre abhirati 樂靜
suñño loko 世間は空
suṇisā=suṇhā 嫁，嫁婦，媳，新婦，義妹
suṇisā-bhoga 嫁事
Suṇisā-vimāna 嫁婦天宮 Vv 13，14
suṇhā=suṇisā 義妹，嫁，嫁婦，新婦，媳
suta ① 聞，所聞，聖知，天啓，博聞 ② 調師
suta-kavi 聞詩人
suta-dhana 聞財
Sutadhamma〔王子，佛の前生〕スタダンマ
suta-dhara 聞持者
Sutana〔居士，佛の前生〕スタナ
Sutanā ①〔吉祥佛の信女〕スタナー ②〔毘婆尸佛の妃〕③〔鹿〕
Sutanu〔經〕手成浴池 S **52** 3
Sutano-jātaka スタノー・ヂャータカ，スタナ青年本生物語 J 398
suta-mada 聞憍，博識憍
sutamayā paññā 聞所成慧
sutamaye ñāṇaṁ 聞所成智
Sutavat ①〔辟〕スタヴト ②〔傳◦轉輪王〕スタヴー ③〔修行者〕スタヴン
Sutavan〔經〕スタヴン A 9 7
sutavant 有聞，具聞，多聞，聞具足者
Sutavā〔經〕有聞 S **22** 123
sutavā ariyasāvako 多聞の聖弟子，有聞の聖弟子，具聞の聖弟子
sutavā nibbedhika-pañño 具聞の決擇慧者
suta-sannicaya 聞集者
Sutasoma=Soma〔王子，王〕スタソーマ，須陀須摩
Sutasoma-cariyā〔經〕スタソーマの所行 Cp 3 12
Sutasoma-jātaka=Mahāsutasoma-jātaka スタソーマ本生物語 J 537
Sutā〔毘沙門天女〕スター
sutāvudha 聞仗〔三仗の一〕
suti 隨聞
sutta ①=suttanta スッタ，經，契經，經典，修多，修多羅，修妬路，經藏〔九分教の一〕② 戒經，經=戒本 ③ 絲，繩墨 ④ 睡眠者
suttaka スッタカ，條蟲
sutta-kāra 紡績工
sutta-guḷa 絲毱，絲毬，絲球，縷丸
sutta-dhara 經の受持者
Suttanipāta スッタニパータ，經集，小經集經〔小部經の一〕Khuddaka 5=Sn **1〜5**
suttanta=sutta 經，經典，契經，修妬路
suttantaṭṭhakathā 經の義疏
Suttanta-piṭaka 經藏
suttanta-bhājaniya 經分別
suttanta-mātikā 經の論母
suttanta vinaya=sutta-vinaya 經と律
suttantika 經師，經家，經學〔者〕，誦經者，

經比丘
suttantika-gaṇa 經學の衆
suttantika-pariyāya 經の教說
suttantika-bhikkhu 誦經比丘
Sutta-petavatthu 絲餓鬼事 Pv 2 11
Suttara〔傳∘比〕スッタラ
sutta-vaṭṭi 絲褶
Sutta-vāda〔部派〕經量，經說
sutta-vinaya 經と律
Sutta-vibhaṅga スッタ・ギバンガ，經分別 V 1
sutta-veṇi 絲條
sutta-sādhanā 經證論
Suttāṇḍāra〔ダミラ人〕スッターンダーラ
suttānuloma 隨經
suttābhidhamma 經論
suttuddesa-uposatha 讀誦布薩
suda 製菓者
Sudatta ①〔王，スマナ佛の父〕スダッタ，善施 ②〔王，スメーダ佛の父〕スダッタ，善施 ③〔ピヤダッシー佛の父〕スダッタ ④〔スヂャータ佛の信士〕スダッタ ⑤〔ソービタ佛の信士〕スダッタ ⑥=Anāthapiṇḍika〔長者，塞，天子〕スダッタ，須達，須達多，須達哆，善施 ⑦〔婆〕スダッタ ⑧〔經〕須達多 S **2** 16；**10** 8
Sudattā ①〔ティッサ佛の第二比丘尼〕スダッター，善與 ②〔スメーダ佛の母〕スダッター
sudanta 調御者
Sudassa〔五淨居天の一〕善現，善見
Sudassana ①〔佛〕スダッサナ，須陀蘇那 ②〔辟〕スダッサナ，善觀 ③〔比〕スダッサナ，須陀蘇那，善見〔譬喩經〕Ap 3 132 ④〔天王〕スダッサナ，善現 ⑤〔王〕スダッサナ，善見 ⑥〔傳∘轉輪王〕須陀蘇那，善見 ⑦〔スヂャータ佛の第一弟子〕スダッサナ，善現 ⑧〔王，佛の前生〕スダッサナ，善現，須陀蘇那 ⑨〔龍王〕スダッサナ，須陀蘇那 ⑩〔人〕須陀蘇那 ⑪〔學童〕善見 ⑫〔山〕スダッサナ，善現，善見，須陀蘇那 ⑬〔都〕スダッサナ，善現，善見，須陀蘇那 ⑭〔宮殿〕スダッサナ，善現，善見，須陀蘇那 ⑮〔精舍〕スダッサナ，善現 ⑯〔道場〕スダッサナ
Sudassanā ①〔アッタダッシー佛の母〕スダッサナー，善現 ②〔レーヴタ佛の妃〕
Sudassin=Sudassī-deva〔五淨居天の一〕善見，善現，大妙見天
Sudassī-deva=Sudassin 大妙見天，善見天
Sudāṭha ①〔辟〕スダータ ②〔獅子〕スダータ，善牙
Sudāyaka〔傳∘轉輪王〕スダーヤカ
Sudinna ①=Sudinna-Kalandakaputta〔比〕スディンナ，須提那 ②〔王，ピヤダッシー佛の父〕スディンナ，善與
Sudinna-Kalandakaputta=Sudinna ①〔長者子，比，第一波羅夷の初犯者〕スディンナカランダカプッタ，須提那迦蘭陀子，迦蘭陀子須提那
Sudinna-bhāṇa-vāra 須提那品 V **1** a 1 (1)
Sudinnā〔夷，死後生天〕スディンナー
Sudinnā-vimāna スディンナー女天宮 Vv 26
sudivasa (A) 祝祭日
sududdasa 極難見
Sududdasaṁ〔經〕極難見（難見）S **43** 18
sududdasagāmi-magga 極難見に達するの道
Sudeva ①〔マンガラ佛の第一弟子〕スデーヴ，善天 ②〔スヂャータ佛の第二弟子〕③〔ナーラダ佛の父〕
sudda〔種族〕首陀，首陀羅，戍陀羅，奴隷族，商估*
Suddaka〔人〕スッダカ
sudda-kula 首陀羅家，奴隷族
suddī 首陀女
suddha 淸淨
Suddhaka〔經〕淸淨 S **47** 24；**51** 24；**54** 3
Suddhakaṁ〔經〕品類 S **31** 1
suddha-kāḷaka 純黑
suddhaṭṭhaka 純八法，單純八法
Suddhaṭṭhaka-sutta 淨八偈經 Sn 4 4
Suddhaṭṭhakasutta-niddesa 淨八偈經の義釋 MNd 4
suddha-diṭṭhi 淸淨の見
suddhanta-parivāsa 淸淨邊別住

suddhavipassanā-yānika～sukkha-vipassaka 純毘鉢舎那行者
suddhānupassin 浄觀者
Suddhāvāsa〔天〕浄居，浄心
Suddhāvāsa-kāyikā devatā＝Suddhāvāsa〔天〕浄居天神
suddhi 浄，清浄
Suddhi〔經〕清浄 S 43 37
suddhiṁ-vāda 浄説者
suddhika 洗浄
Suddhika ①〔章〕無雜章 ②〔經〕浄者 S 7 7 ③〔經〕清浄 S 22 98；48 1，25，31
Suddhikaṁ〔經〕品類 S **29** 1；**30** 1
Suddhikaṁ or Samuddakaṁ〔經〕清浄(海) S 22 98
Suddhikaṁ nirāmisaṁ 〔經〕清浄の無食樂 S 36 29
Suddhika-Bhāradvāja〔婆，比〕浄者婆羅墮婆闍
Suddhika-vagga 清浄品 S 48 1～10
suddhika-saṁsandanā 根本適用
suddhi-gāmi magga 清浄に達するの道
suddhi-magga 清浄の道
Suddhodana〔王，釋迦佛の父〕スッドーダナ，浄飯，閲頭檀，輸頭檀那
Sudhaja〔傳∘轉輪王〕スダヂャ
Sudhañña〔都〕スダンニャ，善穀
Sudhaññaka〔都〕スダンニャカ
Sudhaññavatī 〔都〕スダンニャヴティー，有善穀
Sudhanā〔夷〕スダナー，須頭
sudhanna 甘露食
Sudhamma ①〔天〕善法 ②〔比〕スダンマ，善法 ③〔王，ソービタ佛の父〕スダンマ ④〔夜叉〕スダンマ ⑤〔城〕スダンマ，善法 ⑥〔苑〕スダンマ
sudhammatā 善法性
Sudhamma-sabhā〔三十三天の堂〕善法堂，善法講堂，善法會堂，善法殿，善法樓閣，正法殿
Sudhammā ①〔アッタダッシー佛の第二比丘尼〕スダンマー，善法 ②〔尼〕スダンマー ③〔ソービタ佛の母〕スダンマー ④〔王妃〕スダンマー ⑤〔王女，曇摩提那の前生〕スダンマー ⑥〔王女〕スダンマー ⑦〔女〕スダンマー，善法 ⑧＝Sudhamma-sabhā〔堂〕スダンマー，善法，法高
sudhā セメント，漆喰，石灰，コンクリート
sudhā-kamma 漆喰工事
sudhā-chadana 石灰屋
sudhā-piṇḍa 漆喰
Sudhāpiṇḍiya〔比丘の譬喩經〕スダーピンディヤ Ap 3 91
sudhā-bhojana 天食
Sudhābhojana-jātaka スダーボーヂャナ・ヂャータカ，天食本生物語 J 535
sudhā-mattikā 石灰土
Sudhā-vagga スダー品 Ap 3 91～100
Suna～Sunāparanta〔國〕スナ，輸那
Sunakkhatta〔離車人，謗佛者〕スナッカッタ，善宿，善星，須那呵多
Sunakkhatta-sutta スナッカッタ・スッタ，善星經 M **105**
sunakha 犬，狗
Sunakha-jātaka スナカ・ヂャータカ，犬本生物語 J 242
sunakha-pati 犬主
sunakha-maṁsa 狗肉
sunakhī 牝狗
Sunanda ①〔傳∘ダンマダッシー佛の弟子〕スナンダ ②〔比〕スナンダ ③〔憍陳如佛の父〕スナンダ，善吉悦 ④〔傳∘轉輪王〕スナンダ，善慶 ⑤〔苦行者，佛の前生〕スナンダ ⑥〔傳∘婆〕スナンダ ⑦〔馭者〕スナンダ ⑧〔宮殿〕スナンダ，善吉悦
Sunandā ①〔燃燈佛の第二比丘尼〕スナンダー，善喜悦 ②〔ダンマダッシー佛の母〕スナンダー，善慶 ③〔倶留孫佛の信女〕スナンダー，善欣喜 ④〔アッタダッシー佛の信女〕スナンダー，善喜 ⑤〔迦葉佛の妃〕スナンダー，善喜 ⑥〔王妃〕スナンダー ⑦〔夷，死後生天〕スナンダー ⑧〔女〕

Sunāga〔比〕スナーガ
Sunāparanta〜Suna, Sunāparantaka〔地方〕スナーパランタ
Sunāparantaka〜Sunāparanta 西方輸那國
Sunāma〔大臣〕スナーマ
Sunārī〔ギッカマーバーフ一世王妃〕スナーリー
Sunikkhamma〔傳◦轉輪王〕スニッカンマ
sunikkhitta padavyañjana 正しく配置されたる文句
Sunikkhitta-vagga 整備天宮〔品〕Vv 75〜85
Sunikkhitta-vimāna 整備天宮 Vv 85
Suniddā〔夷，死後生天〕スニッダー
Suniddā-vimāna スニッダー女天宮 Vv 25
Sunidha〔大臣〕スニダ，須尼陀
Sunimala〔宮殿〕スニマラ，善無垢
Sunimmita=Paranimmitavasavattin〔天〕スニンミタ，化樂天王，善化作，善化樂天，妙化天=他化自在天
Sunimmita-devaputta〜Sunimmita 妙化天子，善化作天子，善化樂天子
Sunimmito〔經〕善化樂天 S 40 14
Sunīta〔比〕スニータ
sunīta attha 正解されたる義
Sunetta ①〔佛〕スネッタ ②〔ソービタ佛の第二弟子〕スネッタ，善眼 ③〔ダンマダッシー佛の侍者〕スネッタ，善眼 ④〔仙〕スネッタ ⑤〔傳◦外道祖〕妙眼
Sunettā〔寺〕スネッタ
Sunela〔傳◦轉輪王〕スネーラ
Sundara ①〔辟〕スンダラ ②〔比〕③〔山〕
Sundarapaṇḍu〔rājan〕〔ダミラ人〕スンダラパンドゥ〔ラーヂャ〕
Sundarasamudda〔比〕スンダラサムッダ
Sundarika〔經〕孫陀利迦 S 7 9
Sundarika-Bhāradvāja〔婆，比〕スンダリカ・バーラドヷーヂャ，孫陀利迦婆羅墮〔婆〕闍
Sundarikabhāradvāja-sutta 孫陀利迦婆羅墮闍經 Sn 3 4
Sundarikā〔河〕スンダリカー，孫陀利迦
Sundarī ①〔アノーマダッシー佛の上足尼〕スンダリー，孫陀利 ②=Sundarīnandā〔尼〕スンダリー，孫陀利 ③〔女〕スンダリー ④〔外道女〕孫陀利
Sundarīnandā ①〔尼〕スンダリーナンダー ②〔傳◦婆羅門女〕③〔女〕
Sunhāta 善浴庵
Supajjalita〔傳◦轉輪王〕スパッヂャリタ
supaṭipanna=suppaṭipanna 妙行者，善行者，善修行者
supaṇṇa 金翅鳥
supaṇṇatta 金翅鳥界
supaṇṇa-bhavana 金翅鳥界
supaṇṇa-rājan 金翅鳥王
supaṇṇa-vata 金翅鳥務
supaṇṇa-vatika 金翅鳥務者
supaṇṇa-vāta 金翅鳥風，金翅鳥の風
Supaṇṇa-saṁyutta スパンナ・サンユッタ，金翅鳥相應 S 30 1〜46
Supatiṭṭha〔靈廟〕スパティッタ，善住
Supatiṭṭhita〜Suppatiṭṭhita〔辟〕スパッティッティタ
Supatita=Suppatīta〔毘舍浮佛の父〕スパティタ
Supatta ①〔烏〕スパッタ，美翼 ②〔鷹〕スパッタ
Supatta-jātaka スパッタ・ヂャータカ，スパッタ烏王本生物語 J 292
Supabuddha〜Suppabuddha〔毘舍浮佛の子〕スパブッダ，善覺
Supabbā〔夷〕スパッバー
supasanna-citta 善欣樂心
Supassa ①〔龍王〕スパッサ ②〔山〕
Supassā〔女〕スパッサー
supāṇa=suvāṇa, suvāna, soṇa 犬，狗
Supāricariya ①〔傳◦轉輪王〕スパーリチャリヤ ②〔比丘の譬喩經〕Ap 3 161
Supāricariya-vagga スパーリチャリヤ品 Ap 3 161〜170
supina 夢，夢の判斷，夢判斷，占夢，夢中
supinaka 夢見る人
supinakūpamā 夢の如く，夢の喩

supinanta 夢境，夢者
Supina-pañho 夢の問 Mil 4〔8〕10
supina-pāṭhaka 占夢者
Supuṭakapūjaka〔比丘の譬喩經〕スプタカプーヂャカ Ap 3 354
suposatā 易養，給養し易く
suppa 箕
Suppakāsaka〔傳◦轉輪王〕スッパカーサカ
Suppagedha〔夜叉〕スッパゲーダ
suppaṭipadā 善向道
suppaṭipanna=supaṭipanna 善行者，妙行者
Suppati〔經〕睡眠 S 4 7
suppatiṭṭha〔樹〕善住
Suppatiṭṭhita～Supatiṭṭhita ①〔傳◦轉輪王〕スッパティッティタ ②〔婆〕スッパティッティタ ③〔浴場〕スッパティッティタ，善住
suppatiṭṭhita-pāda 安平足，足安らかに立てり〔三十二相の一〕
Suppatīta=Supatita〔王，毘舍浮佛の父〕スッパティータ，善悅，善燈
Suppabuddha～Supabuddha ①〔傳◦轉輪王〕スッパブッダ ②〔王〕スッパブッダ，善覺 ③〔塞，癩患者〕善覺
suppameyya 易計量〔者〕
Suppavāsā ①=Suppavāsā Koḷiyadhītā〔拘利女，尸婆羅の母，夷，施上味第一〕スッパヴーサー ②〔王女〕
Suppavāsā Koḷiyadhītā=Suppavāsā ①〔夷，施上味第一〕スッパヴーサーコーリヤ女
Suppasanna〔傳◦轉輪王〕スッパサンナ
Suppāra=Suppāraka〔國，港〕スッパーラ，蘇波羅，首波羅
Suppāraka ①=Suppāra，Suppārika〔港〕スッパーラカ，蘇波羅哥，首波羅 ②〔船頭〕スッパーラカ
Suppāraka-jātaka スッパーラカ・ヂャータカ，スッパーラカ賢者本生物語 J 463
Suppārika=Suppāraka スッパーリカ，蘇波羅哥人
Suppiya ①〔比〕スッピヤ，須卑 ②〔塞〕スッピヤ ③〔婆〕スッピヤ，須卑 ④〔シッダッタ佛の信士〕スッピヤ，善喜 ⑤〔人〕スッピヤ
Suppiyā〔夷，看病第一〕スッピヤー，蘇卑，須毘耶
suplavaṁgama (A)=makkaṭa 獼猴
suphassa〔樂器〕スパッサ
Suphassā ①〔シッダッタ佛の母〕スパッサー，善觸 ②〔鳥〕スパッサー，好觸
Subāhu ①〔辟〕スバーフ ②〔傳◦轉輪王〕スバーフ ③〔比，耶舍の友人〕スバーフ，善臂，善肘 ④〔虎〕スバーフ，善腕
subīja 良種子
subbaca=suvaca 善言者，善言〔者〕，善語，從順，易說者，說き易く
subbata 善行者，善務者，有德
Subbata〔傳◦轉輪王〕スッバタ
Subrahmā ①〔彌勒佛の父〕スブラフマー，須梵摩 ②=Brahmā〔天子〕須梵 ③〔經〕須梵 S 2 17
Subha ①〔辟〕スバ ②〔王〕スバ ③〔軍帥〕スバ ④=Todeyyaputta〔婆，童子，塞〕スバ，須婆，修婆 ⑤〔宮殿〕スバ，淨 ⑥〔園〕スバ ⑦〔山〕スバ ⑧〔經〕淨 S 4 3
Subhakiṇṇatta 徧淨天性
Subhakiṇṇā devā=Subhakiṇhā devā〔天〕遍淨天，徧淨天
Subhakiṇhā devā=Subhakiṇṇā devā〔天〕
Subhakūṭa〔山，支提山の古名〕スバクータ，修婆鳩吒，淸淨峰
Subhaga〔龍〕スバガ
Subhaga-vana スバガ林，幸福林
Subhagiri=Subhācala〔都〕スバギリ
Subhaṅgaṇa〔塔處〕スバンガナ
Subhata〔宮殿〕スバタ，善養
Subhadeva ①〔アバヤナーガ王の叔父〕スバデーヴ ② 淨天
Subhadda ①〔憍陳如佛の第二弟子〕スバッダ，善賢 ②〔ダンマダッシー佛の信士〕スバッダ，善賢 ③〔佛最後の弟子〕スバッダ，須跋，須跋陀，須跋陀羅〔譬喩經〕Ap 3 49 ④〔晩年僧，佛入滅を喜ぶ〕スバッダ，須跋，

須跋陀，須跋陀羅，善賢 ⑤〔塞〕スバッダ，須跋陀羅，蘇婆頭樓 ⑥〔靈祠〕スバッダ

Subhadda-kaṇḍa 須跋陀羅章

Subhaddā ①〔レーヴタ佛の第二比丘尼〕スバッダー，善賢 ②〔ティッサ佛の妃〕スバッダー，善賢 ③〔スヂャータ佛の信女〕スバッダー ④〔大善見王の妃〕スバッダー，須跋陀，善賢 ⑤〔王女〕スバッダー，善賢 ⑥〔王妃〕善賢 ⑦=Subbabhaddā〔象王妃〕善賢 ⑧〔夷，死後生天〕スバッダー ⑨〔女〕スバッダー

subha-dhamma 淨法

subha-dhātu 淨界〔七界の一〕

subha-nimitta 淨相，淸淨相

subhan teva adhimokkho hotī ti vimokkho 淨勝解解脫

Subhapabbata=Subhagiri〔都〕スバパッバタ，スバ山

subhara～subharatā 養ひ易く

subharatā 易養，易滿，扶養し易く

subha-vaṇṇanibha 美妙端麗

subha-vimokha 淨解脫

subha-saññā 淨想

Subha-sutta スバ・スッタ，須婆經 D 10；M 99

Subhā ①〔尼，鍛工女〕スバー ②〔尼，菴羅林中〕

Subhācala=Subhagiri〔城〕スバーチャラ

subhāsita 善說，善語，愛言

Subhāsita〔經〕善說 S 8 5

Subhāsita-jaya〔經〕善き語の勝利 S 11 5

subhāsita-bhāsin 善說〔者〕

Subhāsita-sutta 善說經 Sn 3 3

subhikkha 豐年，多量の收穫

Subhūta〔比〕スブータ

Subhūti ①〔比，無諍第一，如實第一，應供養第一〕スブーティ，須菩提，善現〔譬喩經〕Ap 3 21 ②〔經〕須菩提 A 11 15

Subhūti-vagga 須菩提品 Ap 3 21～30

Subhoja〔婆〕スボーヂャ

sumaṅgala 吉祥

Sumaṅgala ①=Maṅgala〔佛〕スマンガラ ②〔辟〕スマンガラ ③〔比〕スマンガラ〔譬喩經〕Ap 3 20, 112 ④〔燃燈佛の第一弟子〕スマンガラ，善吉祥 ⑤〔迦葉佛の信士〕スマンガラ，善吉祥 ⑥〔傳◦轉輪王〕スマンガラ ⑦〔傳◦長者〕スマンガラ ⑧〔園丁〕スマンガラ，善吉祥 ⑨〔都〕スマンガラ，善吉祥 ⑩〔苑林〕スマンガラ

Sumaṅgala-jātaka スマンガラ・ヂャータカ，善吉祥本生物語 J 420

sumana=sumanā〔花〕スマナ，素馨，須摩那

Sumana ①〔佛〕スマナ，須摩那，善意 ②〔パドゥムッタラ佛の侍者〕スマナ，須摩那 ③〔俱留孫佛の信士〕スマナ，善意 ④〔比〕スマナ，蘇摩那，須摩那〔譬喩經〕Ap 3 69 ⑤〔第二結集比丘〕スマナ，須嚤那，須摩㝹，須摩那，修摩那 ⑥=Mahāsumana〔沙彌，比，僧伽蜜多の子〕スマナ，修摩那，須摩那，須末那 ⑦〔ドゥッタガーマニ王時代の比丘〕須摩那 ⑧〔相承比丘〕スマナ，須末那 ⑨〔阿育王の長兄〕スマナ，須摩那，修摩那 ⑩〔華鬘作り〕スマナ，須摩那 ⑪〔傳◦王〕須摩那 ⑫〔郡長〕スマナ ⑬〔夜叉〕スマナ ⑭=Sumanakūṭa〔山〕スマナ

Sumanakūṭa=Sumana〔山〕スマナクータ，須摩那峯，須摩那鳩吒

Sumana-galla〔地名〕スマナガッラ

Sumanatālavaṇṭiya〔比丘の譬喩經〕スマナターラヴンティヤ Ap 3 375, 462

Sumanadāmadāyaka〔比丘の譬喩經〕スマナダーマダーヤカ Ap 3 376

Sumanadevī ①〔拔陀迦比羅尼の姑〕スマナデーギー ②〔ダナンヂャヤ長者の妻〕③〔婆羅門女〕④〔長者婦〕

Sumana-vagga 須摩那品 A 5 31～40

Sumanavāpi〔村〕スマナヷーピ

sumana-vījani 素馨の扇

Sumanavījaniya〔比丘の譬喩經〕スマナギーヂャニヤ Ap 3 471

sumanā=sumana〔花〕スマナー，素馨，須摩那

Sumanā ①〔アノーマダッシー佛の第二比丘

尼〕スマナー，善意 ②〔スメーダ佛の妃〕スマナー，善意 ③〔シッダッタ佛の妃〕スマナー，善意 ④〔尼〕スマナー，善意 ⑤〔王女，夷〕スマナー，善意，須摩那 ⑥〔龍女〕スマナー ⑦〔王妃〕修摩那
Sumanāveḷiya 〔比丘の譬喩經〕スマナーヹーリヤ Ap 3 328
Sumā〔尼〕スマー
Sumāgadhā〔池〕スマーガダー，須摩竭陀
Sumitta ①〔シッダッタ佛の第二弟子〕スミッタ，善友 ②〔スメーダ佛の子〕スミッタ，善友 ③〔比，拘多の子〕スミッタ，須蜜多 ④〔王〕スミッタ，須蜜多 ⑤〔人〕善友 ⑥〔園〕スミッタ，善友
Sumittaka〔拘多の子，比〕須蜜多
Sumittā ①〔耶輸陀羅妃の前生〕善友 ②〔王女〕スミッター
Sumukha ①〔夜叉〕スムカ ②〔鳥〕スムカ，好猜 ③〔鵝鳥〕スムカ
Sumuttikā〔尼〕スムッティカー，善脫
Sumekhara〔人〕スメーカラ
Sumekhalin〔傳◦轉輪王〕スメーカリ
Sumeghaghana〔傳◦轉輪王〕スメーガガナ
sumedha 善智者
Sumedha ①〔佛〕スメーダ，善慧，須彌陀 ②〔婆，佛の前生〕スメーダ，善慧 ③〔王，燃燈佛の父〕スメーダ，善慧 ④〔ナーラダ佛の父〕スメーダ，善慧 ⑤〔傳◦轉輪王〕スメーダ，須彌陀 ⑥＝Brahmadatta〔王〕スメーダ
Sumedha-kathā＝Sumedhavatthu-kathā スメーダ物語
Sumedhavatthu-kathā＝Sumedha-kathā スメーダ物語
Sumedhā ①〔尼〕スメーダー，善慧〔譬喩經〕Ap 4 1 ②〔燃燈佛の母〕スメーダー ③〔王女〕スメーダー，善慧
Sumedhā-vagga 善慧品 Ap 4 1～10
Sumeru＝Meru, Neru, Sineru, Mahāneru〔山〕須彌山
Sumbha ①〔辟〕スムバ ②〔國〕スンバ
Sumbhaka-patta スンバカの鉢
Summa〔比〕スンマ
Suyasā〔宮殿〕スヤサー
Suyāna〔傳◦轉輪王〕スヤーナ
Suyāma ①＝Yāma〔天〕スヤーマ，須夜摩，善時分，善侍 ②〔婆〕スヤーマ
Suyāmana〔比〕スヤーマナ
Suyāmo〔經〕須夜摩天 S 40 12
Sura〔人〕スラ
Suraṁmukha〔馬〕スランムカ
Surakkhita〔プッサ佛の第一弟子〕スラッキタ，善所護
Suragiri〔宮殿〕スラギリ，天山
Suraṭṭha〔國〕スラッタ，須賴吒，蘇刺吒
Surabhi〔辟〕スラビ
surabhi-karaṇḍaka 香匣
Suramāṇa〔池〕スラマーナ
Surammā〔シッダッタ佛の信女〕スランマー，善所樂
surā 酒，窣羅，穀酒，スラー酒，淸酒，木酒*
surā-chaṇa 酒祭
Surādha ①〔比〕スラーダ，修羅陀，須羅陀 ②〔經〕修羅陀 S 22 72
Surādhā〔パドゥマ佛の上足尼〕スラーダー
surā-dhutta 飲酒に惑溺
Surāpāna-jātaka スラーパーナ・ヂャータカ，飲酒本生物語 J 81
Surāpāna-vagga 飲酒品 V 1 a 5, 51～60
Surāma〔宮殿〕スラーマ，善悅樂
Surāmā ①〔シッダッタ佛の第二比丘尼〕スラーマー，善樂 ②〔スメーダ佛の上足尼〕スラーマー，須羅摩
Surā-meraya〔經〕酒 S 56 64
surāmeraya-pāna 飲酒
surā-meraya-majja 酒類，穀酒，果酒
surāmerayamajjapamādaṭṭhāna 飲酒
surāmerayamajja-pamādaṭṭhānā veramaṇī 離窣羅迷麗耶末陀等諸放逸處
surāmerayamajjapamādaṭṭhānā veramaṇī sikkhāpada 窣羅酒迷麗耶酒末陀酒放逸處より遠離の學處，不飲酒戒

surāmerayamajjapamādaṭṭhāyin 飲酒者
Surāmeraya-vagga 飲酒品
Surindadeva 天王天＝帝釋
suriya＝sūriya 太陽，日，日神，日天，日輪
Suriya ①〔王子，阿難の前生〕スリヤ，日 ②〔王子，舍利弗の前生〕スリヤ，蘇梨耶 ③＝Suriya devaputta，Sūriya〔天子，神〕スリヤ，蘇梨耶，蘇利耶，日天 ④〔經〕日天子 S 2 10 ⑤〔經〕日 S **45** 147
suriyakanta〔寶珠〕スリヤカンタ
Suriyagutta〔比〕スリヤグッタ
suriyaggāha 日蝕
Suriyadeva〔力士〕スリヤデーヴ
Suriya devaputta＝Suriya 日天子
Suriya-passa〔山〕日邊
suriya-maṇḍala 日輪
Suriyavacasā〔乾闥婆〕スリヤヴチャサー，修利婆折斯
suriya-vata 太陽務
suriya-vatika 太陽務者
suriyavallī〔植〕スリヤヴッリー
Suriyassa upamā ①〔經〕日輪喩 S **46** 12, 13 ②〔經〕日喩 S **56** 37, 38
Suriyassa Peyyālo 日輪廣說 S **45** 49～62
suriyābhā 日の光
Suruci ①＝Mahāruci〔王〕スルチ，修樓脂，善喜 ②〔王子，王〕善喜，修樓脂 ③〔婆，佛の前生〕スルチ，善喜 ④〔苦行者，舍利弗の前生〕スルチ，修樓脂 ⑤〔宮殿〕スルチ，善喜
Suruci-jātaka スルチ・ヂャータカ，善喜王本生物語 J 489
Surundhana〔都〕スルンダナ
Surulla〔村〕スルッラ
surusuru〔飲む音〕スルスル，吸食
Surusuru-vagga 吸食品 V **1** a 7, 51～60
Sulakkhaṇā〔瞿曇彌の母〕スラッカナー
suladdha 善利
Sulasā〔遊女〕スラサー
Sulasā-jātaka スラサー・ヂャータカ，美女スラサー本生物語 J 419
sulasi〔藥用植物〕スラシ
Sulopī〔鹿〕スローピー
suva＝suka 叔迦，鸚鵡
suvaca 善語，善言，從順，說き易く，善言者，易說者
Suvaccha〔傳◦婆〕スヴッチャ
suvaṇṇa 金，黃金，妙色金，金貨，錢
Suvaṇṇakakkaṭaka-jātaka スヴンナカッカタカ・ヂャータカ，金色蟹本生物語 J 389
suvaṇṇa-kāra 金匠，金工，金細工者，金細工人，煉金師，黃金匠，鍛冶師
Suvaṇṇakūṭa ①〔國〕スヴンナクータ，金頂 ②〔山，支提山の古名〕金峰
Suvaṇṇagāma〔大臣〕スヴンナガーマ
Suvaṇṇagiri〔地名〕スヴンナギリ
Suvaṇṇagiritāla〔山〕スヴンナギリターラ
Suvaṇṇa-guhā 黃金窟
Suvaṇṇatissa〔池〕スヴンナティッサ
Suvaṇṇatthambha〔河〕スヴンナッタンバ
Suvaṇṇadoṇi〔村〕スヴンナドーニ
suvaṇṇa-nikkha 金の飾，黃金の環，金環
Suvaṇṇanikkha—Janapadakalyāṇī〔經〕金環—地方の美人 S **17** 13～20
suvaṇṇa-paṭimā 黃金の像
suvaṇṇa-paṭṭaka 金布
suvaṇṇa-pabbata＝kañcana-pabbata 金山
suvaṇṇa-pabhassara 黃金の環
Suvaṇṇa-passa〔山〕金邊
suvaṇṇa-pāti 金鉢，黃金の鉢
suvaṇṇa-pādapa 黃金樹
suvaṇṇa-pādukā 黃金の靴，黃金の履
Suvaṇṇapālī〔王女〕スヴンナパーリー，黃金パーリー
Suvaṇṇapiṇḍatissa＝Sūratissa〔王〕スヴンナピンダティッサ
Savaṇṇapupphiya〔比丘の譬喩經〕スヴンナプッピヤ Ap 3 115
Suvaṇṇabibbohaniya〔比丘の譬喩經〕スヴンナビッボーハニヤ Ap 3 271
Suvaṇṇabimbohana-vagga スヴンナビンボーハナ品 Ap 3 271～280

Suvaṇṇabharā 〔宮殿〕スヴンナバラー，金養
Suvaṇṇabhūmi 〔國〕スヴンナブーミ，金地
Suvaṇṇamalaya 〔地名〕スヴンナマラヤ
suvaṇṇa-mālā 金華鬘，金鬘，金瓔珞，金環
suvaṇṇa-māsaka 金貨
Suvaṇṇamiga-jātaka スヴンナミガ・ヂャータカ，金鹿本生物語 J 359
suvaṇṇa-rājahaṁsa 金鵝王
suvaṇṇa-rūpa 黄金の像
suvaṇṇa-rūpiya 金銀
suvaṇṇa-vaṇṇa 黄金色，色は黄金の如し，金色〔三十二相の一〕
suvaṇṇavaṇṇa-mora 金色の孔雀
Suvaṇṇa-vimāna 黄金天宮 Vv 78
Suvaṇṇa-sāma＝Sāma〔佛の前生〕スヴンナサーマ，金色の睒摩
Suvaṇṇasāma-cariyā 〔經〕スヴンナサーマの所行 Cp 3 13
suvaṇṇa-haṁsa 金色鵞鳥，金鵝，黄金の鵞鳥
Suvaṇṇahaṁsa-jātaka スヴンナハンサ・ヂャータカ，金色鵝鳥本生物語 J 136
Suvaṇṇābha〔傳◦轉輪王〕スヴンナーバ
suvatthi＝sotthi 吉瑞，幸
Suvatthi-paritta 安全護呪
suvapota〔鳥〕スヴポータ
suvāṇa, suvāna＝sona, soṇa, supāṇa 犬，狗
suviññāpaya 教へ易き，教導し易き
suvidūra-vidūra 極遠〔四種〕
Suvideha＝Videha〔國〕スギデーハ
suvimutta-pañña 善解脫慧〔者〕
suvisada 極明淨
suvīra〔飲料〕スギーラ
Suvīra ①〔天子〕スビーラ，須毘羅 ②〔經〕須毘羅 S **11** 1
susaṁvuta 威儀を正す
Susammuṭṭhā〔經〕迷亂 S **1** 8
susāna 塚間，冢間，塚墓，墓，墓所，墓處，墓地，墓間，墓場，祠堂
Susāma＝Sāma〔獵師，提婆達多の前生〕スサーマ
Susārada〔比〕スサーラダ
Susimā〔王女〕スシマー
Susīma ①〔外，比〕スシーマ，須尸摩 ②〔童子，佛の前生〕スシーマ ③〔苦行者，佛の前生〕スシーマ，善界 ④〔天子〕スシーマ，須尸摩，須師摩 ⑤〔王〕スシーマ ⑥〔經〕須尸摩 S 2 29；**12** 70 ⑦〔經〕須師摩 S **11** 2
Susīma-jātaka スシーマ・ヂャータカ，スシーマ王本生物語 J 163, 411
Susīma-suttanta 須尸摩經
susu〔猛魚〕スス
susukā＝suṁsumāra 鰐，鰐魚，鱷魚
susukā-bhaya＝suṁsumāra-bhaya 鱷魚の怖畏，鱷魚畏，鰐魚の怖畏，鮫の怖
susukāḷa-kesa 漆黒の髮
susukka-dāṭha 齒牙極めて白し，犬齒白淨〔三十二相の一〕
susukhuma-nipuṇattha 最極微妙の義
Susuddha〔傳◦轉輪王〕ススッダ
Susunāga〔王〕ススナーガ，修修那伽
sussūsa 從順
sussūsā 恭敬聽聞
Sussondi-jātaka スッソンディ・ヂャータカ，スッソンディー妃本生物語 J 360
Sussondī〔王妃〕スッソンディー
suhajja 知己
Suhanu〔馬〕スハヌ，善頰
Suhanu-jātaka スハヌ・ヂャータカ，善頰本生物語 J 158
Suhema〔鵝鳥〕スヘーマ
Suhemanta〔比〕スヘーマンタ
sūka 芒
Sūka〔經〕芒 S **45** 9
sūkara 豚，豕，野猪，猪
Sūkara ①〔村〕スーカラ ②〔渡〕③〔園〕
Sūkarakhatā ①〔地名〕スーカラカター，豚掘穴 ②〔經〕スーカラカター S **48** 58
Sūkaraggāma〔池〕スーカラッガーマ
Sūkara-jātaka スーカラ・ヂャータカ，野猪本生物語 J 153
sūkara-doṇi 猪槽
Sūkaranijjhara ①〔地名〕スーカラニッヂャラ

② 〔堤〕
Sūkara-petavatthu 豚鬼事 Pv 1 2
sūkara-posaka 養豚者
Sūkarabhātu〔deva〕〔将軍〕 スーカラバートゥ〔デーヴ〕
sūkara-maṁsa 豚肉
sūkara-maddava 栴檀樹耳，旃檀樹耳，樹茸，茸
sūkara-sūnā 屠猪場
Sūkarālībheripāsāṇa〔地名〕スーカラーリーベーリパーサーナ
sūkarika 屠猪者，屠猪人，屠豕者，屠豚者
Sūkiya〔經〕芒 S 45 154
sūcaka 間諜，兩舌惡口者
Sūcako〔經〕間諜 S 19 9
sūci 針，貫
sūcika 針
sūci-kāra 針師
sūci-ghaṭika 針楔，閂
sūci-ghara 針筒，針箱〔比丘七道具の一〕
Sūci-jātaka スーチ・ヂャータカ，縫針本生物語 J 387
Sūcidāyaka〔比丘の譬喩經〕スーチダーヤカ Ap 3 77，94
sūci-mukhaka スーチムカカ，針口蟲
sūcimukha-pāṇa 針口を有する生物
sūci-loma 針毛者，錐毛者
Sūciloma ①〔夜叉〕スーチローマ，針毛 ②〔經〕針毛 S 10 3
sūciloma purisa 針の〔如き〕毛の人
Sūciloma-sutta 針毛〔夜叉〕經 Sn 2 5
sūci-vāṇijaka 針商人
Sūci-vimāna 針天宮 Vv 58
Sūci-sārathi〔經〕針の調師 S 19 8
sūta 詩人
Sūtighara〔塔〕スーティガラ，產室
sūda 料理人，司厨，厨士
Sūda〔經〕厨士 S 47 8
sūna-ghara 屠屋
sūnā ① 肉肆 ② 獄所
Sūnāparantaka〔比〕スーナアパランタカ，輸那鉢羅得迦
sūpa スープ，羹，汁，肉汁，調味
sūpa-rasa 羹味
sūpa-vyañjana カレー
sūpeyya 助味，羹，カレー
sūpeyya-paṇṇa スープにする野菜
sūra 勇士，英雄，勇者，勇猛
Sūra〔大臣〕スーラ
Sūra-Ambaṭṭha〔塞，證淨第一〕スーラアンバッタ
Sūra-ambavana〔地方〕スーラアンバヷナ
sūra-kathā 英雄論，英雄の話，英傑論，勇士論，勇者論〔無用論の一〕
sūrata〜surata, soracca 柔和
Sūratissa=Suvaṇṇapiṇḍatissa〔王〕スーラティッサ
Sūradaddara〔龍王〕スーラダッダラ
Sūradeva〔ダミラ人〕スーラデーヴ
Sūranimila=Nimila〔戰士〕スーラニミラ
Sūra-Vāmagotta〔王子〕スーラ・ヷーマゴッタ
Sūrasena ①〔國，十六大國の一〕スーラセーナ，首羅先那，戍羅西那，戍囉西那 ②〔人〕スーラセーナ，勇軍
Sūriya=Suriya 日神，日天，日，太陽
Sūriyatappa-pañho 太陽熱の問 Mil 4〔8〕4
Sūriyarogabhāva-pañho 太陽の病の問 Mil 4〔8〕3
Sūriyassama〔傳◦轉輪王〕スーリヤッサマ
sūla 炙串，串，杭，杙
sūlā 腹痛，疼痛
Sūleyya〔天〕スーレーヤ
sekadhāri〔花〕セーカダーリ
Sekīrapadma〔ダミラ人〕セーキーラパドマ
sekha 有學，學，有學者，學すべき者，學人，學地
Sekha〔經〕有學 S 45 13；48 53
sekha-ñāṇa 學智
Sekhattika 有學三法 Tika 11
sekhattika-kusalattika 有學三法善三法 Tika-tika 31
sekhattika-saraṇaduka 有學三法有諍二法 Tika-

duka 83
sekhattika-hetuduka 有學三法因二法 Tika-duka 11
sekha dhamma 學法，有學法
sekha-paññā 有學の慧
sekha-paṭipadā 學人の行道
sekha-paṭisambhidā 有學無礙辯
sekha puggala 學人〔三人の一〕
sekha-phala 有學果
sekha-bala 有學力〔五種〕
Sekhabala-vagga 學力品 A 5 1～10
sekha bhikkhu 有學比丘
sekha-bhūmi 有學地
sekha-muni 有學牟尼
sekha-vesārajja 有學の無畏〔信，戒，聞，進，慧〕
sekha-samādhi 有學の定
sekha-sammuti 學地認定
sekha-sīla 有學の戒
Sekha-suttanta セーカ・スッタンタ，有學經 M 53
sekhādhipati 有學增上
sekhā paññā 學の慧〔三慧の一〕
sekhā-vijjā 學明
sekhiya=sekhiya dhamma 衆學，學，學法
sekhiyā dhammā 衆學法
Seggu〔女〕セッグ V 1 a 7; b 6
Seggu-jātaka セッグ・ヂャータカ，セッグ女本生物語 J 217
Seṅkuṇḍi〔ya〕〔ダミラ人〕センクンディ〔ヤ〕
Seṅkhaṇḍasela〔都〕センカンダセーラ
seṭṭha 最勝，最勝者，最上，最上者，最尊者，優越者，殊勝，勝者
seṭṭha jīvita 最勝の生活，最勝の命
Seṭṭhadhamma-pañho 最勝法の問 Mil 4〔2〕7
seṭṭha-purisa 優者
seṭṭha vitta 最勝の富
Seṭṭhi〔池〕セッティ，長者
seṭṭhiṭṭhāna 財官
seṭṭhin 長者，財務官，司財官
Seṭṭhināyaka〔戰士〕セッティナーヤカ
seṭṭhi-putta 長者の子
Seṭṭhiputta-petavatthu 商子鬼事 Pv 4 15
seṭṭho devamanussānaṁ 人天中の最勝者，人天の最勝者
seṇi セーニ，組合
seta-aṭṭhika 白骨
seta-assa 白馬
Setaka〔村〕セータカ，セーダカ，私伽陀
Setakaṇṇika〔町〕セータカンニカ，白木調
Setaketu〔婆〕セータケートゥ，白旗
Setaketu-jātaka セータケートゥ・ヂャータカ，白旗婆羅門本生物語 J 377
setageru〔樹〕セータゲール
seta-chatta 白傘，白蓋，白布蓋，白布傘
setaṭṭhikā 白黴
seta-tila 白胡麻
seta-danta 白牙
setapaṇṇi〔樹〕セータパンニ
Setabbyā=Setavyā〔城，町〕セータッブヤー，斯波醯，制多毘耶
setavaccha〔樹〕セータヴッチャ
seta-vaṇṇa 白色
setavārisa〔樹〕セータヴーリサ
setavārī〔植〕セータヴーリ
Setavya〔園〕セータヴヤ
Setavyā=Setabbyā〔城，町〕セータヴヤー，斯波醯，制多毘耶
seta-saṅkha 貝白
seta-hatthi 白象
setā kimi 白き蟲
setu 橋，鋪道*
Setu〔學童〕セートゥ
Setuccha〔比〕セートゥッチャ
Setudāyaka〔比丘の譬喩經〕セートゥダーヤカ Ap 3 461
Setuppala〔池〕セートゥッパラ
seda 汗〔三十二身分の一〕
Sedaka ①〔村〕私伽陀 ②〔經〕私伽陀 S 47 19
seda-kamma 發汗法
Sedamocaka-gāthā〔章〕發汗偈 V 3 18

sena ①=sayana 臥具, 臥所, 臥處 ②=senaka 鷹

Sena ①〔傳◦婆〕セーナ ②〔アッタダッシー佛の子〕③〔王〕④=Silāmegha〔一世王〕⑤〔二世王〕⑥〔三世王〕⑦〔四世王〕⑧〔五世王〕⑨〔セーナ一世王の甥〕⑩〔マヒンダ四世王の將軍〕⑪〔大臣〕⑫〔ダミラ人〕

Sena-Ilaṅga〔將軍〕セーナイランガ

senaka=sena, sena-sakuṇa 鷹

Senaka ①〔比〕セーナカ ②〔王〕③〔賢者, 佛の前生〕④〔猿〕

Senaka-vagga セーナカ品 J 386〜395

Senagutta〔村〕セーナグッタ

Senaggabodhi〔殿, 住院〕セーナッガボーディ

sena-sakuṇa=sena, senaka 鷹

Senasenāpati〔房舍〕セーナセーナーパティ

senā 軍, 軍隊, 軍勢, 軍陣

Senā ①〔ダッフラ二世王妃〕セーナー ②〔カッサパ五世王妃〕③〔村〕④〔セイロンの村〕

senā-kathā 軍論, 軍兵論, 軍兵の話, 軍隊論, 兵論〔無用論の一〕

senādhinātha〔官職〕セーナーディナータ

Senānātha〔房舍〕セーナーナータ

senā-nāyaka 將軍

Senānigama=Senānī〔村〕セーナーニガマ, 軍村, 將軍村

Senānī ①〔長者〕セーナーニー, 將軍 ②=Senānigama〔村〕

senāpati 將軍, 軍帥, 軍師

Senāpativadha〔章〕將軍殺戮 Cv 65

Senāpati sāvaka=Dhammasenāpati, Sāriputta 將軍弟子

senā-byūha 兵團, 配兵

Senāma〔村〕セーナーマ

Senāratana〔王〕セーナーラタナ Cv 95

senāsana 臥坐具, 臥坐所, 臥坐處, 臥具, 臥具床座, 臥具坐具, 坐具臥具, 住家, 住所, 房舍, 坐臥具, 坐臥處, 床座, 牀座, 宿舍, 居住

Senāsanakkhandhaka 臥坐具犍度 V 2 b 6

senāsana-gāha 坐臥處の配分

senāsana-gāhāpaka 分臥坐具人

senāsana-cārika 房舍巡行

Senāsanadāyaka〔比丘の譬喩經〕セーナーサナダーヤカ Ap 3 98

senāsana duvidha 坐臥具の二種

senāsana-paññāpaka 分房舍人, 坐臥具分配者, 牀座設置者, 敷牀座者, 施設牀座人, 分坐臥處人, 知臥具人

senāsana-paviveka 牀座〔所生染〕の遠離

senāsana-lesa 房舍似

senāsana-vatta 臥坐具の儀法 V 2 b 8 (7)

Senāsanā〔經〕坐臥處 A 10 11

Seniya〔狗行者, 比〕セーニヤ

Seniya-Bimbisāra=Bimbisāra〔憍薩羅王, 塞〕セーニヤ・ビンビサーラ, 斯尼耶頻婆沙羅, 斯尼耶頻婆娑羅, 斯尼耶頻毘沙羅, 斯尼耶頻毘娑羅, 斯尼喩頻婆娑羅, 洗尼瓶沙, 洗尼耶頻毘沙羅, 有軍頻毘娑羅

Sepaṇṇi〔殿樓〕セーパンニ

Sepaṇṇipuppha〔殿樓〕セーパンニプッパ

sepaṇṇī〔樹〕セーパンニ, 吉祥葉

Semponamāri〔堡壘〕センポーナマーリ

Semponmāri〔地名〕センポンマーリ

semha 痰, 唙, 唙質, 粘液, 羊水*〔三十二身分の一〕

semha-samuṭṭhāna ābādha 痰等起病, 痰質所起の病, 痰等起の病

semhāra 猿

semhika 痰疾〔者〕

seyya ① 床坐, 床具, 臥具, 寢床, 臥床, 宿所, 座床* ② 善人

Seyya-jātaka セッヤ・ヂャータカ, 善人本生物語 J 282

Seyyasaka〔比, 出精戒の初犯者〕セッヤサカ, 施越

seyya-sukha 臥樂, 横臥の樂, 臥床の樂, 床座の樂, 勝樂*

seyyā 臥法〔四種〕

Seyyo〔經〕勝 S 35 108

seyyo 'ham asmī ti māna=seyyo 'ham asmī ti vidhā 我は勝れたりとの慢, 我は勝なりと

の慢，我は善妙なりとの慢，我勝慢
seyyo 'ham asmī ti vidhā=seyyo 'ham asmī ti māna 我は勝れたりといふ次第，われは勝るとの慢
Seriṇī-petavatthu セーリニー鬼事 Pv 3 6
seritā 獨存，自存の性
serin 獨存
Seriva ①〔商人〕セーリヴ ②〔地方〕
Serivāṇija-jātaka セーリヴーニヂャ・ヂャータカ，貪慾商人本生物語 J 3
serivihāra-sukha 無依住の樂
serissa〔大祭〕セーリッサ
Serissaka ①〔夜叉〕セーリッサカ②=Serīsaka〔樓閣〕セーリッサカ，樺樹林
Serissaka-petavatthu セーリッサカ鬼事 Pv 4 2
Serissaka-vimāna セーリッサカ天宮 Vv 84
Serī ①〔天子〕セーリー，世理 ②〔經〕世理 S 2 23
Serīsaka=Serissaka〔樓閣〕樺樹林
sereyyaka〔花〕セーレッヤカ
Sereyyaka〔比丘の譬喩經〕セーレッヤカ Ap 3 121
Sereyyaka-vagga セーレッヤカ品 Ap 3 121～130
sela 岩山，磐石，山
Sela ①〔婆私吒の子，婆，比〕セーラ，世羅，施羅〔譬喩經〕Ap 3 389 ②〔王〕セーラ
Selantarasamūha〔精舍〕セーランタラサムーハ
Selantarāyatana〔精舍〕セーランタラーヤタナ
sela-pabbata 石山
selamaya-patta 石鉢
Sela-sutta ① セーラ・スッタ，施羅經 M **92** ② 施羅經 Sn 3 7
Selā ①〔尼〕セーラー，世羅〔譬喩經〕Ap 4 40 ②〔王女〕セーラー，世羅 ③〔經〕世羅 S 5 9
selissaka 跳戲
Selu〔島〕セール
Seluma〔島〕セールマ
seḷeti 口笛を吹く
sevati 依附す
Sevanā〔經〕親近 A **9** 6
sevāla セーヴーラ，水草，苔草，青苔
sevāla-paṇaka 苔草
sevitabba 親しむべき，親近すべき
Sevitabba〔經〕應依附 A **10** 155
Sevitabba—Bahu-puñña〔經〕應依附—大福 A **10** 199
Sevitabbāsevitabba-sutta セーヰタッバアセーヰタッバ・スッタ，應習不應習經 M **114**
Sesakasiṇa-niddesa 餘遍の解釋 VM **5**
Sesavatī〔夷，死後生天〕セーサヴティー
Sesavatī-vimāna セーサヴティー女天宮 Vv 35
Sehālauparājaka〔房舍〕セーハーラウパラーヂャカ
So attā〔經〕我 S **24** 3
soka 憂，愁，憂患，憂愁
sokajjhāyika 萬歳師，道化師
sokajjhāyin 道化師，萬歳師
Sokañcakuḍiya ①〔ダミラ人〕ソーカンチャクディヤ ②〔地方〕
soka-dhamma 愁法，憂の法
soka-parideva-dukkha domanassupāyāsā dukkhā 愁悲苦憂惱は苦なり
soka-salla 憂箭，愁箭，愁ひの箭
sokasalla-haraṇa 抜憂箭
Soko〔經〕憂 S **35** 37
sokhumma 微細智〔四種〕
sogandhika 好香蓮華，青睡蓮華
Sogandhika〔地獄〕ソーガンディカー，青睡蓮
sogandhī 水百合，青睡蓮
socati 愁ふ
socaya (A)=soceyya 清淨
socayanta 悩ます者
soceya (A)=soceyya 清淨
soceyya 清淨，淨，淨くあること，淨行〔三種〕
Soṭṭhika〔毘舍浮佛の信士〕ソッティカ，吉祥者
soṇa ①=sona, suvāṇa, sunakha 犬，狗，野犬 ②〔樹〕ソーナ
Soṇa ①=Soṇa-Koḷivīsa, Soṇa-Koṭivīsa〔長者

子，比，彈琴喩を受く，精進第一〕ソーナ，守籠那，首樓那，室縷那，輸屢那 ②=Soṇa-Kuṭikaṇṇa, Soṇa-Koṭikaṇṇa〔塞，比，迦旃延の弟子〕ソーナ，首樓那，蘇那 ③〔比，ポーティリヤの子〕ソーナ ④〔比，阿育王時代の傳道師〕ソーナ，須那 ⑤〔比，毘舍浮佛の第一弟子〕ソーナ，扶遊 ⑥〔居士子〕ソーナ，須那，輸屢那 ⑦〔憍陳如佛の信士〕ソーナ ⑧〔賢者，佛の前生〕ソーナ ⑨=Mahāsoṇa〔戰士〕ソーナ ⑩〔仙〕數那 ⑪〔大臣〕ソーナ ⑫〔從者〕ソーナ ⑬〔園〕ソーナ

Soṇakāyana〔學童〕ソーナカーヤナ

Soṇa-Kuṭikaṇṇa=Soṇa-Kaṭikaṇṇa, Soṇa ②〔塞，比，摩訶迦旃延の弟子，善語第一〕ソーナクティカンナ，首樓那億耳，蘇那倶胝耳

Soṇa-Koṭikaṇṇa=Soṇa-Kuṭikaṇṇa, Soṇa ②〔塞，比〕ソーナコーティカンナ，首樓那億耳，蘇那倶胝耳

Soṇa-Koṭivīsa=Soṇa-Koḷivīsa, Soṇa① 〔長者子，比，精進第一〕ソーナコーティギーサ，室縷夆倶胝頻設，首樓那二十億，二十億耳

Soṇa-Koḷivīsa=Soṇa-Koṭivīsa, Soṇa① 〔比，精進第一〕ソーナコーリギーサ，室縷夆倶胝頻設，首樓那二十億，二十億耳〔譬喩經〕Ap 3 386

Soṇagiri〔地名〕ソーナギリ

Soṇadaṇḍa〔婆，塞〕ソーナダンダ，種德

Soṇadaṇḍa-sutta ソーナダンダ・スッタ，種德經 D 4

Soṇadinna〔天神〕ソーナディンナ

Soṇananda-jātaka ソーナナンダ・ヂャータカ，數那難陀仙本生物語 J 532

Soṇapaṇḍita-cariyā〔經〕賢者ソーナの所行 Cp 3 5

Soṇā ①〔尼，精進第一〕ソーナー，輸那〔譬喩經〕Ap 4 26 ②〔スマナ佛の上足尼〕ソーナー，輸那 ③〔セイロンの尼〕ソーナー，輸那 ④〔夷〕ソーナー，犉那 ⑤〔燃燈佛の信女〕ソーナー

Soṇāya mātā〔夷〕犉那の母

Soṇuttara ①〔比，ドゥッタガーマニー王時代〕ソーヌッタラ ②〔婆〕ソーヌッタラ ③〔獵師〕ソーヌッタラ ④〔人〕ソーヌッタラ，須鬱多羅

Soṇo ①〔經〕輸屢那 S 22 49, 50 ②〔經〕須那 S 35 128

soṇḍa 泥醉，亂行者

soṇḍa-sahāya 飲み友達

soṇḍika 酒屋

soṇḍika-kammakara 釀造者

soṇḍikā-dhutta 漉酒人

soṇḍī 龍蓋

Soṇṇabhūmaka=Suvaṇṇabhūmaka 金地〔國〕人

Soṇṇābha〔傳◦轉輪王〕ソーンナーバ

sota ① 耳 ② 流水，流れ，流

Sota〔經〕預流 S 48 32

Sota or Sotāpanna〔經〕預流 S 48 26

sotaṁ odahati 耳を用意す

sotañjana 長石塗藥

sota-dasaka 耳十法

sota-dvāra 耳門

sota-dhātu 耳界

sotadhātu-visuddhi=dibba-sotadhātu 耳界清淨，耳界清淨通

sotadhātu-visuddhiyā ñāṇaṁ 耳界清淨智

sotappasāda 耳淨

sotar 聞者，能聞者

sota-roga 耳病

sota-viññāṇa 耳識

sotaviññāṇa-dhātu 耳識界

sotaviññeyya-sadda 耳可識の聲

sota-samphassa 耳觸

sotasamphassajā vedanā 耳觸所生の受

sotassa raho 聞祕密

sotāpatti ソーターパッティ，預流，預流果，須陀洹〔果〕，預流犯

sotāpatti-niyāma 預流決定

sotāpatti-phala 預流果，須陀洹果

sotāpatti-phala citta 須陀洹果心

sotāpattiphala-sacchikiriyā 預流果現證，預流

果應證，預流果作證

sotāpattiphala-sacchikiriyāya-paṭipanna 預流果應證位成就〔人〕，預流果作證向，預流果能作證向人，預流果を證すべく修行する者，向預流果現證者＝須陀洹向〔八應供人の一〕

sotāpattiphala-samāpatti 須陀洹果定，預流果得

sotāpatti-magga 須陀洹道，預流道，預流向

sotāpatti-magga citta 須陀洹道心

sotāpatti-magge ñāṇaṁ 須陀洹道智，須陀洹道の智

sotāpattiyaṅga ① 預流支＝四預流支，四預流果支，四證淨〔四種〕② 預流向支，預流分〔四種；善士親近，正法聽聞，如理作意，法隨法行〕

Sotāpatti-vagga 預流品 S 24 1〜18

Sotāpatti-saṁyutta ソーターパッティ・サンユッタ，預流相應 S 55 1〜74

sotāpanna ソーターパンナ，預流，須陀洹，預流者，預流果に入れる

sotāpanna bhikkhu 預流の比丘

sotāpannassa aṅgaṁ 預流果支＝預流支，四證淨〔四種〕

Sotāpanno〔經〕預流 S 22 109；23 7；48 2, 3

sotāyatana 耳處

sotāvadhāna 傾聽，聽聞，耳を傾けること

sotāvadhāne paññā 聽聞の慧

sotindriya 耳根

Sotumbarā〔河〕ソートゥンバラー

sotti 洗具，石抹

sottiya〜sotthiya 聞解者，聖典に通ぜる者

sotthāna 吉祥，福祉

sotthi＝suvatthi 平安，安穩

Sotthija〔拘那含牟尼佛の侍者〕ソッティヂャ，吉祥生，安和

sotthiya ①〜sottiya 聞經者 ② 吉祥 ③ 胞胎布

Sotthiya ①〔傳。長者〕ソッティヤ ②〔人〕ソッティヤ，吉祥

Sotthiyākara〔精舍〕ソッティヤーカラ，幸福の源

Sotthivatī〔町〕ソッティヴァティー

Sotthisena ①〔王〕ソッティセーナ ②〔王子〕ソッティセーナ，吉祥軍

sona＝soṇa 犬

Sonaka ①〔相承比丘〕ソーナカ，須那迦，須那拘，蘇那拘 ②〔行者，辟〕ソーナカ，須那迦

Sonaka-jātaka ソーナカ・ヂャータカ，須那迦辟支佛本生物語 J 529

Sonatherassa-vagga 蘇那長老品 Ud 5

Sonadinnā ①〔夷，死後生天〕ソーナディンナー ②〔女〕

Sonadinnā-vimāna ソーナディンナー女天宮 Vv 23

sopadhīka〜sa-upadhika 有依者

Sopāka〔比，七歳にして出家，漏盡〕ソーパーカ〔譬喩經〕Ap 3 19

sopāna 階，階段，段，梯子

soppa＝supina 睡眠

Sobara〔村〕ソーバラ

sobbha 溝，坑坎，坑，河底

Sobbha〔精舍〕ソッバ

sobbha papāta 嶮峻

Sobha〔傳。王〕ソーバ，清淨，彩

sobhañjana＝sobhañjanaka〔樹〕ソーバンヂャナ

sobhañjanaka＝sobhañjana〔樹〕ソーバンヂャナカ

Sobhaṇa ①〔精舍〕ソーバナ ②〔城〕ソーバナ，嚴飾

sobhaṇa cetasika 淨心所

Sobhaṇa-vagga 莊飾品 A 4 211〜220

sobhaṇa-sādhāraṇa cetasika 共淨心所

Sobhaṇā〔尼〕ソーバナー

sobhaṇī 娼婦

sobhanagaraka 奇術，手品

Sobhavatī〔都〕ソーバヴァティー，有彩，清淨

Sobhita ①〔佛〕ソービタ，所照，蘇毘多，輸毘多 ②〔辟〕ソービタ ③〔比，宿命第一〕ソービタ，輸毘多，輸毘陀〔譬喩經〕Ap 3 131 ④〔ピヤダッシー佛の侍者〕ソービタ，

所照 ⑤〔婆，婆堀陀比丘の前生〕ソービタ，輸毘多 ⑥〔苦行者〕輸毘多 ⑦〔都〕ソービタ，所照 ⑧〔山〕ソービタ，輸毘多，衆寶莊嚴 ⑨〔園〕輸毘多
Sobhita-vagga 輸毘多品 Ap 3 131～140
Sobhitā〔尼〕輸毘多
sobhiya 道化師
soma〔酒〕ソーマ，蘇摩，神酒
Soma ①〔神，天〕ソーマ，蘇摩 ②〔王，月種王統の祖〕ソーマ，蘇摩 ③〔王子，佛の前生〕ソーマ，月 ④〔精舍〕ソーマ
Somadatta ①〔婆羅門子，佛の前生〕ソーマダッタ ②〔王弟〕ソーマダッタ ③〔象〕ソーマダッタ，蘇摩達多
Somadatta-jātaka ① ソーマダッタ・ヂャータカ，ソーマダッタ婆羅門子本生物語 J 211 ② ソーマダッタ・ヂャータカ，蘇摩達多象本生物語 J 410
Somadeva ①〔傳◦轉輪王〕ソーマデーヴ ②〔拘那含牟尼佛の信士〕ソーマデーヴ，月天
Somadevī〔王妃〕ソーマデーギー
Somanadeva〔人〕ソーマナデーヴ
somanassa 喜，歡喜，喜樂
Somanassa ①〔王子，佛の前生〕ソーマナッサ ②〔道場〕
Somanassa-cariyā〔經〕ソーマナッサの所行 Cp 3 2
Somanassa-jātaka ソーマナッサ・ヂャータカ，ソーマナッサ王子本生物語 J 505
somanassaṭṭhānīya 順喜處
somanassa-dhātu 喜界
somanassa-sahagata 喜俱，喜俱行
somanassasahagata-ahetuka-kiriyā 喜俱無因唯作
somanassa-sahagata citta 喜俱心
somanassasahagata-ñāṇavippayutta 喜俱智不相應，喜俱行智不相應
somanassasahagata-ñāṇasampayutta 喜俱智相應，喜俱行智相應
somanassasahagata-diṭṭhigata-vippayutta 喜俱惡見不相應，喜俱行成見不相應
somanassasahagata-diṭṭhigata-sampayutta 喜俱惡見相應，喜俱行成見相應
somanassasahagata-lobhasampayutta-citta 快俱行貪相應心，喜俱行貪相應心
somanassindriya 喜根
somanassūpavicāra 喜近伺〔六種〕
Somanātha〔園〕ソーマナータ
Somamitta〔比〕ソーマミッタ
soma-yāga ソーマ祭
Somayāga〔仙〕ソーマヤーガ
somarukkha〔樹〕ソーマルッカ
Somavatī〔池〕ソーマヴティー
Somā ①〔尼〕ソーマー，蘇摩 ②〔セイロンの尼〕ソーマー ③〔夷〕ソーマー，蘇摩 ④〔女〕ソーマー，月 ⑤〔經〕蘇摩 S 5 2
Somāra-paṭṭa ソーマーラ布
Sora〔王臣〕ソーラ
soracca 柔和，可樂，慈心，慈悲，淨性
Soraṭṭhaka 須賴吒人
sorata 柔和者，溫雅者，可樂者
Sorata〔辟〕ソーラタ
Sorandakkoṭta〔地名〕ソーランダッコッタ
Soreyya ①〔町〕ソーレッヤ，須離 ②〔長者〕ソーレーヤ，須離人
soḷasa ākārā 十六行相〔四諦の〕
soḷasa ussada-nirayā 十六小地獄，十六增地獄，十六突起地獄
soḷasa ñāṇa-cariyā 十六智行
Soḷasa-nipāta ① 十六偈集〔長老偈經〕Thag 673～704 ② 十六偈集〔長老尼偈經〕Thīg 236～251
soḷasa-parikkhāra 十六祭法
soḷasa Parivārā 十六附隨
soḷasa palibodhā 十六の障礙
soḷasappabheda-citta 十六種の心
soḷasa mahā-janapadā 十六大國，十六大地方
saḷasa-mahānidhī 十六の大伏藏
soḷasa mahā-supinā 十六大夢〔拘薩羅王の〕
Soḷasamāṇavakapañhā-nigama-niddesa 十六學童所問の結語の義釋 CNd 18
Soḷasarājaka 十六王章 Cv 80

soḷasa-vatthuka ānāpāna-kammaṭṭhāna 十六事ある安般念業處
soḷasavidhā vicikicchā 十六種の疑惑〔三世に關する〕
soḷasin 十六分の一
sovaggika 生天の因
sovacassa-karaṇa 柔順の性，從順事
sovacassa-karaṇa dhamma 從順事法，說諭し易からしむる法
sovacassatā 善言，善言性，善語，柔和，丁寧，從順性，溫順
sovacassatā ca kalyāṇa-mittatā ca 善言と善友
sovaṇṇa 金造，金の
Sovaṇṇakiṅkhaniya〔比丘の譬喩經〕ソーヴンナキンカニヤ Ap 3 426
Sovaṇṇakuntalika〔比丘の譬喩經〕ソーヴンナクンタリカ Ap 3 427
sovaṇṇa kūṭāgāra 黃金樓閣
sovaṇṇa-dhaja 金幢
sovaṇṇa-maya 黃金所成，黃金造，金所成
sovaṇṇamaya-bhiṅkāra 金澡瓶
sovaṇṇa-viggaha 金像，黃金體
sovatthika 卍字，卍字紋
Sovīra〔國〕ソーヴィーラ，蘇尾囉
Sovīra-jātaka=Āditta-jātaka ソーヴィーラ・ヂャータカ J 424
sosa 肺病，乾痟
sosānika ① 塚間住者，塚間坐行者，塚間坐者，冢間住者 ② 塚墓の〔布〕，棺架
sosānikaṅga 塚間住支
sosika=sosiya 肺患者，肺病者，乾痟者
sosiya=sosika 肺病〔者〕，肺患者，乾痟者
sneha=sineha 親愛，情愛，愛執
śramaṇa (A)=samaṇa 沙門
svākāra 善行相
svākkhāta-dhamma 善說法者
svāgama 經典に通じ

haṁsa 鵞鳥，鵝鳥，鵞，白鳥，白鵝，鵠，白鵠，水鳥
Haṁsa-jātaka ハンサ・ヂャータカ，白鳥本生物語 J 502
Haṁsa-papāta 〔雪山の池〕ハンサパパータ，鵞崖
haṁsa-rājan 鵞王
Haṁsavaṭṭa〔精舎〕ハンサヴッタ
Haṁsavatī〔城〕ハンサヴティー，有鵞
Haṁsā〔宮殿〕ハンサー，白鳥
Haṁsi-vagga 設問品 J 111～120
Haṅkanaka〔精舎〕ハンカナカ
Haṅkāra〔村〕ハンカーラ
haṭa ハタ草，蘚苔
haṭaka ハタカ，黄金
Haṭṭhaka Āḷavaka=Hatthaka Āḷavaka, Hatthāḷavaka〔塞〕ハッタカアーラヴカ，呵多阿羅婆，住林者なる訶哆
hata-pahata 殺戮
hata-vikkhittaka 斬斫離散相
hata-vikkhittaka-saññā 斬斫離散想，殺戮離散想，殺戮棄擲想
Hattanna〔堡壘〕ハッタンナ
hattha ① 手，手掌 ②〔尺度〕肘
Hatthaka ①=Citta〔居士，優婆塞中の第一人者〕ハッタカ ②〔王子〕ハッタカ，訶哆 ③〔天子〕ハッタカ
Hatthaka Āḷavaka=Haṭṭhaka Āḷavaka, Hatthāḷavaka〔塞，攝衆第一，優婆塞の範〕呵多阿羅婆，呵哆阿羅婆，住林者なる訶哆
Hatthaka-Sakyaputta〔比〕ハッタカ釋子
Hatthakā〔經〕呵哆 A 8 23, 24
hattha-gahaṇa 手を捉る
hatthacchinna 手截られし者，手切斷者
hatthatthara 象の覆，象韉
Hatthadāṭha ①=Dāṭhopatissa II〔一世王〕ハッタダータ ②〔二世王〕
hattha-niddhunaka 手を振る
hattha-nillehaka 手を舐む
hattha-pajjotika 燭手刑
Hatthapaṇṇika〔殿〕ハッタパンニカ
hatthapādacchinna 手足截られし者
Hatthapādupamā〔經〕手足喩 S 35 195, 196
hattha-pāsa 擲石所及所
hattha-bandha 手甲
hattha-muddā 手印
hattha-yogin 手瑜伽者
Hatthavanagalla〔精舎〕ハッタヴナガッラ
Hatthā〔蓮華上佛の信女〕ハッター
hatthācariya 象師
hatthājānīya 良象
hatthānīka 象兵隊
hatthāpalekhana 舐手者
hatthābharaṇa 手飾
hatthārūyha 象に乘る術
hatthārūha, hatthāroha 乘象者，調象師，象御者，象兵
hatthāroha-gāmaṇī 乘象聚落主
Hatthārohaputta 〔比〕ハッターローハプッタ
Hatthāḷavaka=Haṭṭhaka Āḷavaka, Hatthaka Āḷavaka〔塞〕ハッターラヴカ
Hatthāḷhaka〔精舎〕ハッタールハカ
hatthi=hatthin 象，牡象
Hatthi ①〔城〕象 ②〔村〕ハッティ，援手，象 ③〔經〕象 S 42 4
hatthi-kalabha～hatthi-kaḷāra 幼象，若き象
hatthi-kaḷāra～hatthi-kalabha 若き象，幼象
hatthi-kāya 象軍，象軍勢，象衆
Hatthikucchi〔窟，精舎〕ハッティクッチ，象腹山
hatthikkhandha 象の肩，象背
Hatthikkhandha〔精舎〕ハッティカンダ，象背
Hatthigāma 象村
Hatthigiri=Hatthisela〔都〕ハッティギリ
hatthicchāpa 子象，幼き象
hatthicchāpaka 幼き象，子象
hatthi-damaka 調象師
hatthidamma-sārathi 調象師
Hatthidāyaka〔比丘の譬喩經〕ハッティダーヤカ Ap 3 211
hatthin=hatthi 象，象龍，象兵，牡象
hatthi-nāga 象，龍象，大象，貴き象

hatthinikā=hatthinī 牝象
hatthinī=hatthinikā 牝象
Hatthinīya〔王子〕ハッティニーヤ
Hatthino〔經〕象 S 56 90
hatthi-pada 象跡，象迹，象の足跡
Hatthipada〔經〕象跡〔喩〕～M 27，28
hatthipadopamā 象跡喩
Hatthipāla ①〔傳◦外〕ハッティパーラ，害提婆羅 ②〔王子，佛の前生〕ハッティパーラ ③〔司祭の子〕ハッティパーラ，象護
Hatthipāla-jātaka ハッティパーラ・ヂャータカ，護象本生物語 J 509
Hatthi-pura 象の城
Hatthipora〔村〕ハッティポーラ
Hatthiporika 象城人
hatthippabhinna 狂象
hatthi-bhaṇḍa 象師，放象人
Hatthibhoga〔地方〕ハッティボーガ，象受用
hatthi-maṁsa 象肉
hatthi-maha 象の祭
Hatthiya〔傳◦轉輪王〕ハッティヤ
hatthi-yuddha 象闘
hatthi-ratana 象寶，白象寶〔七寶の一〕
hatthi-rājan 象王
hatthi-rūpaka 象人形
Hatthi-vagga ハッティ品 Ap 3 211～220
hatthi-vata 象務
hatthi-vatika 象務者
hatthi-sadda 象聲
hatthi-sālā 象屋，象厩，象小舎
Hatthisālā〔堂〕ハッティサーラー
hatthi-sippa 象を御するの術
hatthi-sutta 象經
hatthi〔-senā〕象兵
Hatthisela=Hatthigiri〔都〕ハッティセーラ
hatthi-soṇḍaka 象鼻衣
hatthīnaṁ maṅgalaṁ 象祝
hatthī-senā 象軍
hatthūpaga 手飾
hadaya 心，心臟〔三十二身分の一〕
hadayaṭṭhi 心骨，胸骨
hadaya-maṁsa 心臟肉，心臟の肉
hadaya-rūpa=hadaya-vatthu, vatthu-rūpa 心色
hadaya-vatthu 心基=hadaya-rūpa 心所依
hadayavatthu-dasaka=vatthu-dasaka 心基十法
hadayassānuppatti 心の得達
Hadayuṇha〔房舎〕ハダユンハ，心熱
hanati 殺す
hanukaṭṭhi 顎骨
hantar 殺者，能殺者
Hambaṭṭhī〔池〕ハンバッティー
Hambugallaka〔精舎〕ハンブガッラカ
Hambugallaka-mahātissa〔比〕ハンブガッラカ・マハーティッサ
hammiya 平屋，樓房，別房
hammiya-gabbha 樓房
haya 馬
haraṇaka 持去
Harati〔經〕取 S 30 2
harāyati 慚愧す
Hari〔天〕ハリ，呵羅
hari-candana 青栴檀，赤栴檀，黄栴檀香
harita 青草，作物
harita tiṇa 生草，綠の草，青草
Haritamāta-jātaka ハリタマータ・ヂャータカ，綠母本生物語 J 239
haritāla 雄黄
Harittaca〔仙〕ハリッタチャ，金膚
harīṭaka～harītakī〔果，藥果〕ハリータカ，訶梨勒，呵梨勒，呵利勒，呵羅勒，柯子
Harīṭakadāyaka〔比丘の譬喩經〕ハリータカダーヤカ Ap 3 435
harīṭaka-palibodha 訶梨勒障礙
harītaka=harīṭaka～harītakī〔果，藥果〕呵利勒，呵梨勒，呵羅勒，訶梨勒，柯子
harītaka-paṇṇika 蔬菜
harītakī～harītaka, harīṭaka〔樹，藥果〕ハリータキー，訶梨勒，呵梨勒，呵利勒，呵羅勒，柯子
Harītakīvāta〔地名〕ハリータキーヴータ

hareṇuka ハレーヌカ，豌豆
hareṇuka-yūsa 豌豆汁
halāhala=haḷāhala〔毒〕ハラーハラ，訶羅訶羅，猛毒
haliddaka ハリッダカ，鬱金
Haliddavasana〔村〕ハリッダヴサナ，黄枕邑
Haliddavasana-sutta=S 46 54 Mettaṁ ハリッダヴサナ經
haliddā=haliddī 姜黄，薑黄，鬱金，鬱金香
haliddābhijāti 黄生類
Haliddirāga-jātaka ハリッディラーガ・ヂャータカ，散亂本生物語 J 435
haliddī=haliddā〔色〕ハリッディー，鬱金，鬱金香，姜黄，薑黄
haḷāhala=halāhala 猛毒，訶羅訶羅
havya 供物
havya-sesa 供物の殘り，供物のおさがり
hasana citta=hasituppāda citta 笑心
hasita 戯笑
hasituppāda-kiriyā 發微笑唯作，笑起唯作
hasituppāda citta=hasana citta 笑記心
Hastinī〔町〕ハスティニー
hassa-khiḍḍā-rati-dhamma 笑戯樂法
hāṭaka 砂金
hāna-gāmin 退失者
hāna-bhāgin 退分
hāna-bhāgiya 退分，順退分，捨分ある
hāna-bhāgiya-samādhi 退分定，順退分定，捨分定〔四定の一〕
hāni 損減
hāni-dasaka 退十年
Hāragaja〔天〕ハーラガヂャ
Hārika〔行刑者〕ハーリカ
Hārita ①〔天〕ハーリタ ②〔比〕③=Hāritacca〔仙〕④〔山〕
Hārita-jātaka ハーリタ・ヂャータカ，ハーリタ仙本生物語 J 431
Hāritā～Harītī〔夜叉女〕ハーリター，鬼子母
Hāriddikāni=Hāliddikāni〔居士〕ハーリッディカ，ハーリッディカーニ，訶梨提迦，訶梨提迦尼，訶梨

Hālakora〔地名〕ハーラコーラ
Hālavāhanaka〔ダミラ人〕ハーラヴーハナカ
Hāliddako〔經〕訶梨提迦尼 S 35 130
Hāliddikāni ①=Hāriddikāni〔居士〕訶梨，訶梨提迦，訶梨提迦尼 ②〔經〕訶梨 S 22 3, 4
hāsa 笑，戯笑，嬉戯
Hāsa〔經〕捷 S 55 71
Hāsajanaka〔比丘の譬喩經〕ハーサヂャナカ Ap 3 323
hāsa-dhamma 嬉戯す
hāsa-pañña=hāsu-pañña 疾慧者，疾慧〔者〕，速慧〔者〕，速智〔者〕，明智〔者〕，敏き智慧〔者〕
hāsa-paññā=hāsu-paññā 疾慧，機智，明智，聰慧，捷慧
hāsu-pañña=hāsa-pañña 敏き智慧〔者〕，速慧者，速智者，疾慧者，明智者
hāsu-paññatā 聰慧，速慧，疾慧，捷慧
hāsu-paññā=hāsa-paññā 明智，疾慧，機智，捷慧，聰慧
hiṁsaka 殺害者，害するもの
Hiṅga～Hiṅgū〔辟〕ヒンガ
hiṅgu〔薬脂樹，草〕ヒング，ヒング樹脂，興渠
hiṅgurāja〔鳥〕ヒングラーヂャ
Hiṅgula〔山〕ヒングラ
hiṅgu-sipāṭika〔薬脂樹〕ヒングシパーティカ
Hiṅgū～Hiṅga〔辟〕ヒングー
hita 利益，利
hitānukampin 哀愍者，憐愍心者
hitesin 利益者
hintāla〔樹〕ヒンターラ，漢陀羅草
Hintālagāma〔地名〕ヒンターラガーマ
Hintālavanagāma〔村〕ヒンターラヴナガーマ
himapāta-samaya 降雪期
Himavant〔山〕ヒマラヤ，ヒマヴンタ，雪山
Himavanta〔經〕雪山 S 46 1
Himavanta-padesa 雪山地方
Himavanta pabbatarājan 雪山王，雪山山王
Himavanta-passa 雪山邊
Himiyānaka〔ヴンニー人〕ヒミヤーナカ

hiraññа 金，黄金，金貨，貨幣
Hiraññamalaya〔地名〕ヒランニャマラヤ
Hiraññavatī ①〔河〕ヒランニャヴティー，凞連禪河 ②〔宮殿〕ヒランニャヴティー
hirañña-suvaṇṇa 黄金，金貨，金塊，金銀，金銀財寶
Hiri〔夜叉〕ヒリ
hiri-ottappa 慚愧
hiri-kopīna 陰部，陰所，亂羞恥者
hiri-gāravatā 慚の尊敬
hiri ca ottappañ ca 慚と愧
Hiri-jātaka ヒリ・ヂャータカ，慚本生物語 J 363
hiri-dhana 慚財
hiri-bala 慚力
hirimant=hirīmant 慚あり，慚有る者，慚者，有慚，慚心あり，慚愧心者，慚，慚愧心
hirivera〔植〕ヒリヹーラ
Hirisāra〔傳◦轉輪王〕ヒリサーラ
Hiri-sutta 慚經 Sn 2 3
hirī=hiri 慚
Hirī ①〔天女〕ヒリー ②〔經〕慚 S **1** 18
hirīmant=hirimant 慚愧心〔者〕，慚者，慚，慚あり，慚有る者，有慚
hirottappena samannāgato 慚愧を具足せる者
Hillapattakakhaṇḍa ①〔地名〕ヒッラパッタカカンダ ②〔池〕
Hihobu〔地名〕ヒホーブ
hīna 劣，下者，下劣，卑，卑陋，卑少，卑俗
hīna-akkosa 卑罵
hīna-kamma 卑業
hīna-gotta 卑姓
Hīnattika 劣三法 Tika **14**
hīnattika-kusalattika 劣三法善三法 Tika-tika 34
hīnattika-saraṇaduka 劣三法有諍二法 Tika-duka 86
hīnattika-hetuduka 劣三法因二法 Tika-duka 4
hīna-dhamma 劣法
hīna-nāma 卑名
hīna-paṇīta dhamma 劣勝法
hīna-puthujjana 劣凡夫
hīna-purisa 劣者
hīna-vaṇṇa 賤種の階級
hīna-vāda 劣論者
hīna-viriya 不精進，懈怠者
hīna〔-samādhi〕劣〔定〕
hīna-sippa 卑技
hīna〔-sīla〕劣〔戒〕
hīnā jāti 卑種
hīnā dhātu 劣界，下劣界
hīnādhimutta 劣意向〔者〕，劣解勝者
Hīnādhimutti〔經〕劣意志 S **14** 14
hīnādhimuttika 劣意志
hīnādhimuttika satta 劣れる傾向の衆生
Hīnāyāvattana-pañho 俗に還る問 Mil 4〔7〕1
hīnena khuṁseti 輕侮す
hīnena vambheti 輕蔑す
hīno 'ham asmī ti māna=hīno 'ham asmī ti vidhā 我は劣れりとの慢，我は劣なりとの慢，我劣慢
hīno 'ham asmī ti vidhā=hīno 'ham asmī ti māna 我は劣れりといふ次第，われは劣るとの慢
huta 獻供，供犧，供養，犧牲
hutāsana フターサナ，火
hutta～huta 供物
Hundarīvāpi〔村〕フンダリーヴーピ
Huyala〔村〕フヤラ
huraṁ 他界
Huvāva〔地方〕フヷーヴ
huhuṅka 傲慢，憍慢
Huhuṅkajātika-brāhmaṇa 憍慢婆羅門
Hūva〔地方〕フーヴ
hetu 因
Hetu〔經〕因 S **22** 18～20；**24** 7；**37** 31；A **10** 174
hetu akusala dhamma 因不善法
hetu avyākata dhamma 因無記法
hetu kusala dhamma 因善法
hetu-gocchaka 因聚
hetu c'eva dhamma hetu-sampayutta ca 因法

duka 36
hetuduka-maggārammaṇattika 因二法道所緣三法 Duka-tika 16
hetuduka-micchattattika 因二法邪性三法 Duka-tika 15
hetuduka-rūpīduka 因二法有色二法 Duka-duka 10
hetuduka-lokiyaduka 因二法世間二法 Duka-duka 11
hetuduka-vitakkattika 因二法尋三法 Duka-tika 6
hetuduka-vipākattika 因二法異熟三法 Duka-tika 3
hetuduka-vedanattika 因二法受三法 Duka-tika 2
hetuduka-saṅkiliṭṭhattika 因二法已染三法 Duka-tika 5
hetuduka-saṅkhataduka 因二法有爲二法 Duka-duka 7
hetuduka-sanidassanaduka 因二法有見二法 Duka-duka 8
hetuduka-sanidassanasappaṭighattika 因二法有見有對三法 Duka-tika 22
hetuduka-sappaccayaduka 因二法有緣二法 Duka-duka 6
hetuduka-sappaṭighaduka 因二法有對二法 Duka-duka 9
hetuduka-sahetukaduka 因二法有因二法 Duka-duka 1
hetuduka-sārammaṇaduka 因二法有所緣二法 Duka-duka 20
hetuduka-sāsavaduka 因二法有漏二法 Duka-duka 14
hetuduka-sekhattika 因二法有學三法 Duka-tika 11
hetuduka-hīnattika 因二法劣三法 Duka-tika 14
hetuduka-hetusampayuttaduka 因二法因相應二法 Duka-duka 2
hetuduka-hetusahetukaduka 因二法因有因二法 Duka-duka 3
hetuduka-hetuhetusampayuttaduka 因二法因因相應二法 Duka-duka 4
hetu-dhamma 因法
hetu-na-hetuka-dhamma 因非因法
Hetunā ajjhatta〔經〕內の因 S 35 139～141
Hetunā bāhira〔經〕外の因 S 35 142～144
hetu-nibbatta 因生
hetu-paccaya 因緣
Hetupaccaya-niddesa 因緣廣說
hetuphalatā 因果性
hetu-rūpa 因事
hetu-vāda 有因論者
Hetu-vādin〔部派〕說因部
hetu〔-vijjā〕因明
hetu-vippayutta 因不相應
hetu-vippayutta dhamma 因不相應法
hetu-saṅgaha 因の攝 Abhsaṅg 3 2
hetu-samuppanna 因所生
hetu-sampayutta 因相應
hetu-sampayutta c'eva dhamma na ca hetu 因相應非因法，因相應法にして非因なる
Hetusampayutta-duka 因相應二法 Duka 3
hetusampayuttaduka-kusalattika 因相應二法善三法 Duka-tika 24
hetusampayuttaduka-hetuduka 因相應二法因二法 Duka-duka 38
hetu-sampayutta dhamma 因相應法
hetusahetukaduka-kusalattika 因有因二法善三法 Duka-tika 25
hetusahetukaduka-hetuduka 因有因二法因二法 Duka-duka 39
hetuhetusampayuttaduka-kusalattika 因因相應二法善三法 Duka-tika 26
hetuhetusampayuttaduka-hetuduka 因因相應二法因二法 Duka-duka 40
hetthimā disā dāsa-kammakarā 下方は奴僕傭人
Hedillakhaṇḍagāma〔村〕ヘーディッラカンダガーマ
Hema〔殿〕ヘーマ，黃金
Hemaka〔婆和利の弟子，婆，比〕ヘーマカ，

醯摩迦〔譬喩經〕Ap 3 404
Hemaka-pañhā=Hemakamāṇava-pucchā〔經〕醯摩迦所問，醯摩迦學童所問
Hemakamāṇavakapañhā-niddesa 醯摩迦學童所問の義釋 CNd 9
Hemaka-māṇava-pucchā=Hemaka-pañhā〔經〕醯摩迦學童所問，醯摩迦所問 Sn 5 9
hema-candana 金色栴檀
hemajāla 金網
hemanta〜hemantika 冬，冬期，冬季，冬時，寒季
hemantika〜hemanta 冬期，冬季，冬時，冬
hemantika-kāla 冬時，寒時
Hemamāli〔ka〕〔塔廟〕ヘーママーリ〔カ〕
Hemameru〜Mahāneru 須彌山
Hemavata ①〔夜叉〕ヘーマヴタ，雪山 ②=Hemavatika〔部派〕雪山部
hemavata-nāga 雪山象
Hemavata-sutta 雪山〔夜叉〕經 Sn 1 9
Hemavatā yakkhā 雪山夜叉
Hemavatika=Hemavata〔部派〕雪山部
Hemavatī〔水路〕ヘーマヴティー
Hemavāluka〔塔廟〕ヘーマヴールカ
Hemasālī〔精舍〕ヘーマサーリー
Hemā〔尼〕ヘーマー
Hemāsā〔尼〕ヘーマーサー
Herañňakāni〔比〕ヘーランニャカーニ
herañňika 銀行家，知藏官
Heligāmaka〜Heḷigāma〔住院〕ヘーリガーマカ
Helloli〔村〕ヘッローリ
Heḷigāma〜Heligāmaka〔村〕ヘーリガーマ
H' evatthi-kathā 如是有論 KV 1 10
Hoti ca na ca hoti tathāgato〔經〕如來有無 S 24 17
hoti ca na ca hoti tathāgato paraṁ maraṇā 如來は死後有り亦有るにあらず，如來は死後有にして無なり，如來は死後存在し又存在せず，如來は死後に於て又は存在し又は存在せず，タターガタは死後存し亦存せず
Hoti tathāgato〔經〕如來有 S 24 15
hoti tathāgato paraṁ maraṇā 如來は死後あり，如來は死後有なり，如來は死後存在す，如來は死後に於て存在す，如來はその死後に存す，タターガタは死後存す

# パーリ原典の総目次

# パーリ原典の總目次

Vinaya-piṭaka Vol. V 第5巻

**Saṁyutta-nikāya** Vol. I 第12卷

**Khuddaka-nikāya**　第23巻

Thera-gāthā

Dhamma-saṅgaṇi 〔Abhidhamma 1〕

第45卷

Dhātu-kathā 〔Abhidhamma 3〕
第47卷

Yamaka〔Abhidhamma 6〕
Vol. I 第48巻上

Dīpa-vaṁsa 第60卷

Mahā-vaṁsa



Cūḷa-vaṁsa　第61巻

Visuddhi-magga 第62巻

Samantapāsādikā　第65卷 (I)



Abhidhammattha-saṅgaha 〔1～9〕　第65卷 (II)

# 正　誤　表

（第一部上～下巻）

| 頁 | 段 | 行 | 誤 | 正 |
|---|---|---|---|---|
| | | | 【上　巻】 | |
| 28 | a下 | 18 | visattika | visattikā |
| 35 | a | 11 | patiṭṭha | patiṭṭhā |
| 48 | b下 | 12 | -pūja | -pūjā |
| 85 | a | 10 | haliddi, halidda | haliddī, haliddā |
| 〃 | 〃 | 14 | halidda | haliddā |
| 92 | a | 11 | patiṭṭha | patiṭṭhā |
| 〃 | a下 | 16 | （成就，究極） | 除去 |
| 149 | a | 16, 21 | rathiya | rathiyā |
| 152 | b下 | 4 | °sāmadāna | °samādāna |
| 162 | a下 | 6 | °bhāsana | °bhāsanā |
| 163 | a下 | 9 | 灌腸 | 灌腸 |
| 〃 | b下 | 7 | vīmaṁsa | vīmaṁsā |
| 170 | a下 | 3 | verambā | veramba |
| 187 | b | 8 | halidda | haliddā |
| 200 | a下 | 2 | 賢人 | 鋤賢人 |
| 219 | b下 | 4 | ritta udaka° | ritta-udaka° |
| 222 | a | 15 | saṅkhalika | saṅkhalikā |
| 226 | a | 18 | 285 | 485 |
| 〃 | b下 | 9 | 稀有 | 稀奇 |
| 228 | a下 | 7 | 雑 | 離 |
| 234 | a下 | 14 | 輕躁 | 輕噪 |
| 235 | a | 2 | 翅ソ | 翅鴦 |
| 240 | b下 | 11 | ditthi- | diṭṭhi- |
| 242 | a下 | 14 | 166, ……130 | 「見分別」の項に移す |
| 243 | a下 | 15 | deḷha° | daḷha° |
| 244 | a下 | 18 | 131, 4 | 13, 14 |
| 〃 | 〃 | 16 | codana | codanā |
| 247 | a | 18 | 賢人…… | この項除去 |
| 〃 | b | 4 | Khaṇḍaka | Kaṇḍaka |
| 248 | a | 16 | 佞 | 俟 |
| 〃 | a下 | 1 | 詞 | 詞 |
| 〃 | b下 | 12 | 疾疫, | 疾，疫, |
| 259 | b | 13 | 伽羅人, | 伽羅，人, |
| 271 | b | 7 | **191** 57° | **19** 157° |
| 272 | b下 | 9 | 呪 | 吒 |
| 〃 | 〃 | 3 | 護根 | 諸根 |
| 274 | a下 | 3 | **17** 340 | **17** 430 |
| 〃 | b | 20 | 人る | 入る |
| 276 | a | 2 | 劫寶耶 | 劫賓那 |
| 〃 | b | 7 | 佞 | 俟 |
| 282 | a下 | 16 | °vipākaja | °vipākajā |
| 285 | a下 | 4 | 409°, 412, | 409°, 410°, 412, |
| 286 | b | 4 | 14, 51 | 14, 15 |
| 287 | a | 16 | sūna | sūnā |
| 289 | a下 | 18 | **30** 240; **34** 66 | 「金剛杵」の項に移す |
| 290 | a下 | 12 | patiṭṭha | patiṭṭhā |
| 297 | a | 4 | 344 | 544 |
| 〃 | 〃 | 8 | 412 | 421 |
| 298 | a下 | 19 | Sappininikā | Sappinikā |
| 309 | a | 3 | 沒 | 歿 |
| 〃 | b下 | 8 | 觀處觀，覽世物 | 觀覽處，觀世物 |
| 311 | b | 21 | 延多 | 延哆 |
| 316 | a下 | 4 | vāruṇi | vāruṇī |
| 〃 | 〃 | 2 | 200*, | 270*, |
| 319 | a下 | 11 | 448 | 446 |
| 320 | a | 1 | 前項 | 前前項 |
| 323 | b | 19 | 三枝就 | 三成就 |
| 324 | b下 | 7 | 三天 Tidiva | 三天①Tidiva |
| 325 | a下 | 6 | 三百五十 | 三百五十 aḍḍhuḍḍha-sata |
| 328 | b下 | 7 | 瞰 | 瞰 |
| 329 | a下 | 17 | 珊闍耶 | 珊闍耶 |
| 〃 | 〃 | 13 | °Belaṭṭha | °Belaṭṭha- |

| 頁 | 段 | 行 | 誤 | 正 |
|---|---|---|---|---|
| | | | putta | putta |
| 329 | b | 7 | （珊…… | （刪…… |
| 330 | a | 12 | saṅkha | saṅkhā |
| 335 | a | 5 | （アッガ | （＝アッガ |
| 336 | a下 | 10 | 413 71° | 41 371° |
| 343 | b | 3 | 18 1 | 18 1° |
| 356 | a下 | 17 | sañjita | sañjitar |
| 359 | b | 15 | saṁhita | saṁhitā |
| 〃 | b下 | 7 | go-rakkha | go-rakkhā |
| 365 | a | 11 | -dhāraṇā | -dhāraṇa |
| 371 | b下 | 18 | 楷書 | 楷畫 |
| 383 | a | 12 | sālā | sāla |
| 387 | b | 11 | sālā | sāla |
| 391 | a | 11 | ① | 除去 |
| 392 | b下 | 10 | 邪三法 | 邪性三法 |
| 398 | b | 13 | sañjita | sañjitar |
| 411 | b | 12 | paccābaṭṭha | paccābhaṭṭha |
| 412 | b下 | 7 | 伽褥 | 臥褥 |
| 414 | a | 20 | visattika | visattikā |
| 417 | b下 | 17 | 449 | 449° |
| 429 | a | 14 | 343 | 342 |
| 430 | b下 | 18 | 三執 | 三法 |
| 441 | a下 | 4 | velāmika | velāmikā |
| 446 | a | 1 | 住と失と | 住と不失と |
| 452 | b | 12 | 第一義，諦眞諦 | 第一義諦，眞諦 |
| 462 | a | 15 | 膠見 | 謬見 |
| 〃 | a下 | 3 | niṭṭha…… | niṭṭhā…… |
| 467 | a下 | 16, 15 | ③ sassata ……354 | 常住身 sassata……別項目とする） |
| 468 | a下 | 12 | | 8 378；22上 76（入レ） |
| 473 | a下 | 9 | 一趣性 | 一趣相 |
| 480 | a | 17 | 信篤，信者 | 信，篤信者 |
| 481 | a | 3 | 神呋 | 神呪 |
| 483 | a | 16 | 神通變化 | 除去 |
| 486 | b | 22 | 瞋根 | 瞋恨 |
| 488 | b下 | 1 | 「深…… | ①「深…… |
| 489 | a | 1 | （深音） | ②（深音） |
| 490 | a | 3, 8, 10 | 塵垢者 | 塵垢身 |
| | | | 【下　巻】 | |
| 494 | a | 10 | スディンナ女 | スディンナー女 |
| 497 | a下 | 10 | Suramāna | °māṇa |
| 〃 | b | 1 | 30 | 306 |
| 502 | b下 | 2 | 224 | 223 |
| 510 | a下 | 15 | 100, | 100*, 110, |
| 514 | a下 | 1 | 55 1, | 5 51, |
| 522 | a | 11 | 黒山窟 | 黒石窟 |
| 529 | b | 17 | Sumedha | Sumedhā |
| 537 | a下 | 8 | マハーリーナ | マハーソーナ |
| 538 | a | 2 | 42；7 | 427； |
| 〃 | b下 | 13 | 瞻匐 | 瞻波迦 |
| 540 | b | 9 | 6 | 除去 |
| 〃 | b下 | 9 | 2 | 26 |
| 544 | a | 10 | sañjita | sañjitar |
| 〃 | b下 | 1 | 179 | 179° |
| 545 | a下 | 17 | 積 | 稸 |
| 547 | a下 | 2 | piḷaka | piḷakā |
| 〃 | b下 | 11 | 精知 | 精智 |
| 548 | a | 17 | °paṭihāriya | °pāṭihāriya |
| 555 | a | 2 | 40 | 140 |
| 556 | a下 | 3 | Soṇāyā | Soṇāya |
| 558 | b | 11 | Dakkiṇa° | Dakkhiṇa° |
| 559 | a | 11 | 639 | 396 |
| 〃 | 〃 | 16 | ダッパ草本生…… | ダッパ草花本生…… |
| 560 | b下 | 14 | 308, 331, | 308, 314*, 331, |
| 561 | b下 | 14 | Dhāropa〔村〕 | dhāropa（杍） |
| 563 | a下 | 6 | 法論 | 法輪 |
| 564 | b | 8 | catoparyāye | cetopariyāye |
| 567 | b | 11 | °kārikā | °kārika |
| 570 | b | 14 | 雙奇蹟 | 雙の奇蹟 |
| 574 | a | 14 | 大薩捶 | 大薩埵 |
| 〃 | a下 | 20 | （同上） | （同上） |
| 575 | a下 | 14 | 周那純陀 | 周那，純陀 |
| 577 | a | 1 | 現はれる | 現はるる |
| 582 | b | 13 | edādasama | ekādasama |

| 頁 | 段 | 行 | 誤 | 正 |
|---|---|---|---|---|
| 585 | a | 20 | 帝釋，伽羅 | 帝釋伽羅 |
| 606 | b 下 | 4 | °vedita | °veditā |
| 607 | b | 11 | Paññā- | paññā- |
| 614 | a 下 | 1 | 長者アーラー | 長者アーラーラ |
| 620 | b 下 | 13 | sakkharika | sakkharikā |
| 621 | b 下 | 10 | balāka | balākā |
| 623 | b 下 | 16 | Tīkicchaka | Tikicchaka |
| 626 | b 下 | 15 | 健 | 犍 |
| 635 | b 下 | 5 | 說法 | 說話 |
| 640 | b 下 | 2 | 都提 | 堵提 |
| 645 | a | 15 | (同上) | (同上) |
| 〃 | b 下 | 12 | 鹿講母堂 | 鹿子母堂 |
| 646 | b | 9 | 220* | 220 |
| 〃 | b 下 | 8, 7 | 知慧 | 智慧 |
| 647 | b | 5 | 31 | 310 |
| 649 | b 下 | 1 | sakkhalaka | sakkhalakā |
| 650 | a | 18 | dayhati | ḍayhati |
| 657 | a | 14 | 禪思 | 禪思三昧 |
| 〃 | 〃 | 15 | ③ | ② |
| 667 | a 下 | 7 | °sāpaññā | °sā paññā |
| 670 | b | 17 | 比〕① 3 | 比〕 3 |
| 672 | a 下 | 7 | 176 | 178 |
| 674 | b 下 | 6 | duvi-jātā | du-vijātā |
| 678 | a 下 | 18 | 127 | 227 |
| 〃 | b | 20 | 常務 | 常粥 |
| 679 | b | 10 | 3, 214 | 206, 213, 214 |
| 683 | a | 13 | **16**上213 ;**16**下 148 | **16**下 148 (一)—(四) **16**上 213 |
| 684 | b 下 | 20 | 尿篦檻褸 | この項除去 |
| 685 | a | 4 | 272 | 372 |
| 688 | b | 10 | °tantuka | °tantukā |
| 691 | a | 18 | partiḷāha | pariḷāha |
| 692 | a 下 | 19 | 1 | 1* |
| 693 | a 下 | 6 | semhā | semha |
| 707 | a 下 | 18 | **32** | **34** |
| 〃 | 〃 | 6 | 五四，四， | 四六，五四 |
| 〃 | 〃 | 4 | haliddhī | haliddī |
| 714 | b 下 | 8 | , 488 | 除去 |
| 716 | b 下 | 7 | 波利經 | 波梨經 |

| 頁 | 段 | 行 | 誤 | 正 |
|---|---|---|---|---|
| 717 | b 下 | 8 | (壞見 | (見壞 |
| 719 | b | 14 | 婆伽梵天 | 婆迦梵天 |
| 〃 | b 下 | 19 | 婆耆沙 | 婆耆沙，婆耆舍 |
| 722 | a | 5 | 256 | 265 |
| 〃 | b 下 | 8 | 婆羅門姓 | 婆羅門性 |
| 725 | a | 9 | paṭika | paṭikā |
| 〃 | a 下 | 15 | **92** | **2** |
| 732 | a 下 | 5, 1 | bhaddasālā | bhaddasāla |
| 734 | a | 6, 8 | siṅghāṇika | siṅghāṇikā |
| 741 | b | 16 | 跋羅 | 跋囉 |
| 743 | b 下 | 8 | 68 | 98 |
| 744 | a | 20 | 忌，想無厭想 | 忌想，無厭想 |
| 〃 | b 下 | 3 | 非樂可相 | 非可樂相 |
| 753 | a 下 | 11 | 128, | 128, 140, |
| 〃 | 〃 | 10 | 140 | 144 |
| 756 | b | 15 | venateyya | Venateyya 〔王〕 |
| 757 | b | 14 | 阿須羅 | 阿修羅 |
| 759 | a | 12 | 引張 | 引帳 |
| 〃 | b | 6 | 360* | 366* |
| 760 | a 下 | 3 | 402 14 | **40** 214 |
| 763 | a | 2 | ② | ③ |
| 〃 | 〃 | 7 | **26** | **29** |
| 〃 | b | 2 | (二) | (三) |
| 764 | a 下 | 12 | dukkhā | dukkho |
| 〃 | b 下 | 13 | 貪窮 | 貧窮 |
| 775 | b | 3 | 遍遍戒 | 遍淨戒 |
| 781 | a 下 | 16 | 不穢 | 無穢 |
| 784 | a | 15 | 350 | 250 |
| 785 | a 下 | 16 | 不樂 | 不樂 ① |
| 801 | a 下 | 1 | 196 | 169 |
| 804 | a 下 | 12 | 歸衣 | 歸依 |
| 811 | a | 19 | Potaliyasutta-nta | Potaliya-suttanta |
| 〃 | b 下 | 19 | Poṭṭhila | Poṭṭhila 〔比〕 |
| 816 | b | 5 | -dassanā | -dassana |
| 827 | a | 7 | ，微相 | 除去 |
| 838 | a 下 | 18 | 拘木緣 | 枸櫞 |
| 849 | b | 10 | 摩迦木生 | 摩迦王木生 |

| 頁 | 段 | 行 | 誤 | 正 |
|---|---|---|---|---|
| 856 | b 下 | 11 | 111 | 111, 118 |
| 〃 | 〃 | 7 | ②の項 | 除去 |
| 859 | b | 11 | 花鬘 | 花環 |
| 861 | a | 8 | Migasila | Migasira |
| 869 | a | 17 | jīvaṁ sarīraṁ | jīvaṁ taṁ sarīraṁ |
| 870 | a | 7 | vijjāmayā | vijjāmaya |
| 873 | a | 1 | 〔無畏山寺の建立〕…… | 別項として獨立さす |
| 875 | b | 1 | 〔經〕 | 〔經〕㈠—㈢ |
| 889 | b 下 | 7 | 無盤者 | 無盤碁 |
| 904 | b 下 | 16 | 〔經〕 | 〔經〕㈠ ㈡ |
| 906 | b | 15 | 博識者 | 博識憍 |
| 917 | b | 20 | 303 ; | 303 ㈠ ㈡ |
| 920 | a 下 | 4 | piḷandhana | pilandhana |
| 931 | a | 6 | **26** 357 | **26** 227, 357 |
| 〃 | b | 16 | 裸行沙門，裸行者 | 裸形沙門，裸形者 |
| 935 | a | 3 | Sukhavihāri- | Sukhāvihāri- |
| 939 | a | 4, 6 | 犛牛 | 犛牛 |
| 〃 | b 下 | 8 | 虚妄語 | 離妄語 |
| 944 | a 下 | 10 | 42 | **42** |
| 949 | a | 20 | （一九五） | （一九一） |
| 951 | a 下 | 5 | 智慧徹 | 智慧者 |
| 956 | b 下 | 8 | 諸盡き | 漏盡き |
| 957 | b | 18 | 〔漏の斷〕**20** 144* | 別項に獨立さす |
| 959 | b | 1 | Jarāsutta | Jarā-sutta |
| 960 | b | 21 | ajjhāsāyā | ajjhāsayā |
| 963 | b 下 | 10 | 施，捨 | 施捨， |
| 965 | a 下 | 2 | cha-saññā- | cha saññā- |
| 968 | a 下 | 6 | 爭論，諍事， | 爭論諍事， |
| 〃 | b 下 | 11 | 論母設置 | 論母設置分 |
| 970 | a | 10 | 299 | 299, 368 |
| 973 | b | 2 | 蟻蛭 | 蟻垤 |
| 975 | a 下 | 6 | -kāraṇa-palāla | -kāraṇa=palāla |
| 982 | a | 11 | 毘波密 | 毘婆密 |
| 〃 | a 下 | 3 | ② | ③ |
| 983 | a 下 | 17 | 〔池〕 | ①〔池〕 |
| | | | 【以下總目次】 | |
| 26 | b 下 | 1 | 待坐品 | 侍坐品 |
| 28 | b 下 | 9 | 不見 | 無見 |
| 30 | b 下 | 5 | 不放逸 | 〔不〕放逸 |
| 35 | 見出シ | | **10上** | **16上** |
| 〃 | b | 11 | 彼岸到 | 到彼岸 |
| 38 | b | 12 | 不貪 | 不貧 |
| 42 | a 下 | 6 | 153 | 152 |
| 43 | b | 18 | 難陀 | 難提 |
| 〃 | b 下 | 15 | 跋提 | 拔提 |
| 45 | a 下 | 11 | 鶏 | 雞 |
| 〃 | b 下 | 16 | 無堪忍 | 無堪任 |
| 〃 | 〃 | 12 | 發精進 | 發勤精進 |
| 46 | a 下 | 2 | 俱尸那 | 拘尸那 |
| | b | 19 | 遠切 | 適切 |
| 51 | a | 15 | 摩訶離 | 摩訶梨 |
| 57 | a | 12 | レーヴティ天 | レーヴティー女天 |
| 63 | b | 6 | サンタラ | サンターラ |
| 67 | a | 6 | ニッグンディ | ニッグンティ |
| 71 | b | 13, 15 | クレーンヂャパラ | クレーンヂヤパラ |
| 72 | b | 1 | 善慧 | 善慧品 |
| 73 | a 下 | 16 | 半迦尸迦 | 半迦尸 |
| 110 | b | 8 | 無色論 | 無色界論 |
| 113 | a 下 | 3 | 知るや | 知り得るや |
| 114 | a 下 | 7 | 惡行の間 | 惡行非福の間 |
| | | | 【以下畫引索引】 | |
| 7 | 右端 | 9 | 杆 | 杅 |
| 31 | 左端 | 1 | シキイ | シキミ |
| | | | 【以下追加表】 | |
| | 左 | 3 | 俱尸那 | 拘尸那 |
| | 右下 | 3 | **17** | **15** |

# 追　加　表

（第一部　上～下巻

p. 227 b　華（増長）Puppharn or Vaddharn〔經〕14 216

p. 356 a　屎箆鑑褸 avalekhana-pidhara 4 214

p. 504 b　鋤賢人本生物語 Kuddāla-jātaka（七〇）29 101

p. 578 a　大悲・一切知智の世尊によりて提婆達多出家の問　Bhagavatā mahākaruṇāya sabbaññutañāṇena Devadatta-pabbājita-pañho 59上 241

p. 619 b　痛根 ② Aghamūlaṁ〔經〕14 50

p. 624 a　ティタンヂャリヤ Ṭhitañjaliya〔比丘の譬喩經〕26 217

p. 631 b　適切業品　Pattakamma-vagga 18 113

p. 639 b　トゥッバラーナーガ　Tobbalānāga〔精舍〕60 398

p. 685 a　人界論 Manussaloka-kathā 58 337

p. 695 a　能 Bhabba〔經〕22上 178

p. 698 b　パータリプッピヤ　Pāṭalipupphiya〔比丘の譬喩經〕26 488

p. 703 a　パドゥマプーヂャカ Padumapūjaka〔比丘の譬喩經〕26 471

p. 730 a　般涅槃 Parinibbāna〔經〕22上 170

p. 730 a　般涅槃し供養を望まざる如來供養の效無效の問　Tathāgatassa parinibbutassa asādiyantassa vañjhāvañjha-pañho 59上 220

p. 788 b　怖畏品 Bhaya-vagga 18 215

p. 826 b　暴流・軛群二法 Ogha-yogagocchaka-duka 53 337

p. 942 a　力品 Bala-vagga 19 12

南傳大藏經總索引 第二部

昭和36年3月25日印刷
昭和36年3月30日発行

定価 2,000円

著者 水野弘元

発行者 東京都台東区上野公園 日本学術会議内
日本学術振興会
代表者 岡田要

印刷所 株式会社 第一印刷所
代表者 篠倉政一

発売所 東京都中央区日本橋通り2の6 丸善株式会社